

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第367集

長谷堂貝塚発掘調査報告書

県営長谷堂アパート建設事業関連遺跡発掘調査

(財) 岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

は せ どう
長谷堂貝塚発掘調査報告書

県営長谷堂アパート建設事業関連遺跡発掘調査



R A35 竪穴住居跡



R A33 貯蔵剥片の出土状況



R A33 貯蔵剥片



R A35 貯蔵剥片の出土状況



R A35 貯蔵剥片



土器に詰められたアスファルト



アスファルト



黒曜石



琥珀



垂飾品



垂飾品

序

本県には、縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地があり、平成12年3月現在10,000箇所を越える遺跡が確認されております。これら先人の残した文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは、県民に課せられた責務であります。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、地域開発にともなう社会資本の充実も重要な一施策であります。特に高速道路網の整備は産業経済開発の大動脈として多方面から期待されるところであります。

このような埋蔵文化財の保護・保存と開発との調和も今日的な課題であり、岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、県営長谷堂アパート建設事業に関連して、平成11年度に発掘調査を行った長谷堂貝塚の調査結果をまとめたものであります。長谷堂貝塚は、盛川と中井川の合流点付近の丘陵地に立地し、調査の結果、縄文時代の中期～晩期にかけての集落跡で、多くの遺構と遺物が出土し、貴重な資料を提供することができました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず、埋蔵文化財に対する理解の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、これまでの発掘調査及び報告書作成にご援助・ご協力を賜りました大船渡地方振興局土木部・大船渡市教育委員会をはじめとする関係者各位に衷心より謝意を表します。

平成13年2月

財団法人 岩手県文化振興事業団
理事長 千葉浩一

例 言

1. 本報告書は岩手県大船渡市猪川町字中井沢78番地2ほかに所在する長谷堂貝塚の発掘調査の結果を収録したものである。
2. 本遺跡の調査は、県営長谷堂アパート建設事業に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会文化課と大船渡地方振興局土木部住宅建築課との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団 埋蔵文化財センターが実施した。
3. 本遺跡の調査成果は、先に『現地公開資料』（平成11年10月16日）と『岩手県埋蔵文化財調査略報（平成11年度分）』（岩埋文340集）に発表しているが、本書の内容が優先するものである。
4. 岩手県遺跡台帳に登録される遺跡番号と遺跡略号は次のとおりである。
遺跡番号 NF39-1151、遺跡略号 HSD-99
5. 平成11年度の調査に先だって、平成8・9年度にも同事業に係わって同遺跡の調査が行われている。使用した遺跡略号は「HSD-96」「HSD-97」であり、調査成果については『長谷堂貝塚発掘調査報告書』岩埋文第296集（1999）として、既に発刊されている。
6. 発掘調査面積・調査期間と担当者は、次のとおりである。
調査面積：2,800㎡、発掘調査期間：平成11年7月1日～10月29日、担当者：阿部勝則・平めぐみ
7. 整理期間と担当者は、次のとおりである。
整理期間：平成11年11月1日～平成12年3月31日、担当者：阿部勝則・平めぐみ
平成12年7月3日～平成12年9月29日、担当者：阿部勝則
8. 本報告書の執筆・編集・校正は阿部勝則・平めぐみが担当した。
9. 土層の観察にあたっては『新版標準土色帖』10版、1990年（小山正忠・竹原秀雄編・著、農林水産省農林水産技術会議事務局 監修、色票観察 財団法人 日本色彩研究所）を参考にした。
10. 基準点測量は菊池技研企画株式会社に委託した。
11. 空中写真撮影は東邦航空株式会社に委託した。
12. 遺物の分析・鑑定に当たっては次の方々に委託した。
石材鑑定：花崗岩研究会（代表：矢内圭三） 炭化材樹種鑑定：早坂松次郎（岩手県木炭協会）
石器（貯蔵剥片）の実測・トレース・分析：株式会社アルカ。
黒曜石産地同定：藁科哲男（京都大学原子炉実験所）
アスファルト産地同定：小笠原正明（北海道大学高等教育機能開発総合センター）、古環境文化財研究所
琥珀産地同定：上田直美（元興寺文化財研究所）・中條利一郎（帝京科学大学）
13. 発掘・整理・執筆にあたっては次の方々に御協力、御指導をいただいた（順不同・敬称略）。
中村英俊・佐々木務（岩手県教育委員会）、佐藤嘉広（岩手県立博物館）、熊谷 賢（陸前高田市立博物館）、佐々木和久（久慈琥珀博物館）、金野良一・千葉貴子・山下浩幸（大船渡市教育委員会）、加納由美・安原誠（宮古市教育委員会）、井上雅孝（滝沢村教育委員会）、東本茂樹（安代町教育委員会）、佐々木嘉直・鈴木徹（大船渡高等学校）。
14. 本書で使用した地形図は以下のとおりである。
 - a. 建設省国土地理院発行の5万分の1地形図「盛」、同2万5千分の1地形図「盛」「大船渡」。
 - b. 大船渡市都市計画図2,500分の1地形図。
15. 本遺跡の調査で得られた一切の資料は岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。

目次

本文目次

序

例言

I. 調査に至る経過	1
II. 遺跡の位置と立地	2
1. 遺跡の位置と地理的環境	2
2. 遺跡の立地と周辺の地形・地質	2
3. 基本土層	2
4. 周辺の遺跡	3
III. 調査・整理の方法	8
1. 調査史	8
2. 野外調査	8
3. 室内整理	9
4. 掲載図版等について	10
IV. 検出遺構	15
1. 竪穴住居跡	15
2. 竪穴状遺構	23
3. 掘立柱建物跡	41
4. 土坑	48
5. 焼土遺構	48
6. 配石遺構	89
7. 土器埋設遺構	90
8. 柱穴群	90
9. 遺物包含層	97
V. 出土遺物	102
1. 土器	102
2. 土製品	184
3. 石器	190
4. 石製品	198
5. 骨角器	209
6. 動物遺存体	210
7. その他	248
VI. まとめ	249
VII. 分析・鑑定	251
1. 貯蔵剥片	251
2. 黒曜石	265
3. 垂れ飾り	279
4. アスファルト	282

5. 琥珀	287
報告書抄録	470

表 目 次

第1表 周辺の遺跡（大船渡市の貝塚遺跡）	3	第14表 骨角器観察表	209
第2表 長谷堂貝塚の調査史	8	第15表 動物遺存体遺構別出土一覧表	212
第3表 竪穴住居跡観察表	24	第16表 遺構別貝種名一覧表	213
第4表 竪穴住居跡別出土遺物一覧表	25	第17表 貝の計測値一覧表	214
第5表 土坑観察表	49	第18表 出土地点別動物遺存体（哺乳類）重量表	214
第6表 焼土遺構観察表	85	第19表 動物遺存体（哺乳類）観察表	215
第7表 配石遺構観察表	89	第20表 動物遺存体（魚類）観察表	216
第8表 土器埋設遺構観察表	90	第21表 動物遺存体（その他）観察表	216
第9表 グリッド別出土遺物一覧表	98	第22表 アスファルト観察表	248
第10表 土器観察表	217	第23表 琥珀観察表	248
第11表 土製品観察表	233	第24表 炭化種実観察表	248
第12表 石器観察表	238	第25表 炭化材観察表	248
第13表 石製品観察表	198		

図 版 目 次

第1図 岩手県における遺跡位置図	4	第23図 RA40住居跡（4）：遺構変遷図	40
第2図 遺跡位置図	5	第24図 第11号掘立柱建物跡（1）	42
第3図 遺跡周辺の地形図・調査区位置図	6	第25図 第11号掘立柱建物跡（2）	43
第4図 周辺の遺跡分布図（貝塚）	7	第26図 第11号掘立柱建物跡（3）	44
第5図 長谷堂貝塚遺構配置図： 全体（平成11年度調査分）	11	第27図 第12号掘立柱建物跡（1）	45
第6図 長谷堂貝塚遺構配置部分図（1）北西側	12	第28図 第12号掘立柱建物跡（2）	46
第7図 長谷堂貝塚遺構配置部分図（2）南側	13	第29図 第13号掘立柱建物跡	47
第8図 長谷堂貝塚遺構配置部分図（3）北東側	14	第30図 RD301・302・303・304・305・ 306・307・308土坑	65
第9図 RA24・25・26住居跡	26	第31図 RD309・310・311・312・313・314土坑	66
第10図 RA27・28・29・30住居跡	27	第32図 RD315・316・317・318土坑	67
第11図 RA31・32住居跡	28	第33図 RD319・320・321・322土坑	68
第12図 RA33・34・41住居跡	29	第34図 RD323・324・325・326土坑	69
第13図 RA33住居跡：貯蔵剥片出土状況	30	第35図 RD327・328・329・330・331・332土坑	70
第14図 RA35住居跡	31	第36図 RD333・334・335・345土坑	71
第15図 RA33・34・35住居跡	32	第37図 RD336・337・338・339土坑	72
第16図 RA35住居跡：貯蔵剥片出土状況	33	第38図 RD340・346・347・348・350土坑	73
第17図 RA36住居跡・RE02竪穴状遺構	34	第39図 RD341・342・343・344・349・351土坑	74
第18図 RA37・39住居跡	35	第40図 RD352・353・354・355・356・357土坑	75
第19図 RA38・43住居跡	36	第41図 RD358・359・360・361・362・367土坑	76
第20図 RA40・42住居跡（1）	37	第42図 RD363・364・365・366・368土坑	77
第21図 RA40住居跡（2）：貝層	38	第43図 RD369・370土坑	78
第22図 RA40住居跡（3）：貝層	39	第44図 RD371・372・373・374土坑	79

第45図	RD375・376・377・378土坑	80	24Q、25L	121
第46図	RD379・380・381・382・383・384土坑	81	第79図 土器(19): 25M、25Q、26I、	
第47図	RD385・386・387・388・389・390土坑	82	26L(1)	122
第48図	RD391・392・393土坑	83	第80図 土器(20): 26L(2)	123
第49図	RD394・395・396土坑	84	第81図 土器(21): 26L(3)	124
第50図	RF07・08・09・10・11・12・15・		第82図 土器(22): 26M(1)	125
	16・17・18焼土遺構	87	第83図 土器(23): 26M(2)、26N、26R、	
第51図	RF19・20・21・22・23・25・26		27I(1)	126
	焼土遺構	88	第84図 土器(24): 27I(2)	127
第52図	RH05・07・08配石遺構	91	第85図 土器(25): 27I(3)	128
第53図	RH09・10・11配石遺構	92	第86図 土器(26): 27L、27M(1)	129
第54図	RZ07・08・09・12・13土器埋設遺構	93	第87図 土器(27): 27M(2)	130
第55図	柱穴群(1)	94	第88図 土器(28): 28I、28L(1)	131
第56図	柱穴群(2)	95	第89図 土器(29): 28L(2)、29L、	
第57図	柱穴群(3)	96	28M(1)	132
第58図	グリッド別出土遺物重量分布図	99	第90図 土器(30): 28M(2)	133
第59図	遺物包含層(27I・29L)		第91図 土器(31): 28M(3)	134
	遺物出土状況: 土器	100	第92図 土器(32): 28M(4)、28Q、29I	135
第60図	遺物包含層(28M・29M)		第93図 土器(33): 29L(1)	136
	遺物出土状況: 土器	101	第94図 土器(34): 29L(2)、29M(1)	137
第61図	土器(1): RA26・27(1)	104	第95図 土器(35): 29M(2)	138
第62図	土器(2): RA27(2)・29・		第96図 土器(36): 29M(3)、29N、28M	139
	31・33・34	105	第97図 土器(37): 29Q、30K、30J	140
第63図	土器(3): RA35(1)	106	第98図 土器(38): 30M、30N	141
第64図	土器(4): RA35(2)	107	第99図 土器(39): 30O、30Q、31K、31L、	
第65図	土器(5): RA36・37・39	108	32K、32L、不明	142
第66図	土器(6): RA38・39	109	第100図 土器(40): RA24・26・27(1)	143
第67図	土器(7): RA40(1)	109	第101図 土器(41): RA27(2)・27・28・	
第68図	土器(8): RA40(2)・43	111	29・30(1)	144
第69図	土器(9): RD285・290・302・320・		第102図 土器(42): RA30(2)・31・32(1)	145
	343・350・361・362	112	第103図 土器(43): RA32(2)・33	146
第70図	土器(10): RD363・366・367・394・396	113	第104図 土器(44): RA33・34・35・36(1)	147
第71図	土器(11): RE02	114	第105図 土器(45): RA36(2)・37(1)・	
第72図	土器(12): RF16・17・21・23	115	37・39	148
第73図	土器(13): RF24、RH07	116	第106図 土器(46): RA37(2)・38・39(1)	149
第74図	土器(14): RH08・10・11、RZ07・08	117	第107図 土器(47): RA39(2)・40(1)	150
第75図	土器(15): RZ09・11	118	第108図 土器(48): RA40(2)	151
第76図	土器(16): RZ12・13	119	第109図 土器(49): RA40(3)・42・43、RE02	152
第77図	土器(17): 19L-PP1、30J-PP5・		第110図 土器(50): RD283・284・285・286・	
	PP14、31J-PP21、31L-PP3、		287・288・289・292・293・	
	12B、18L、21T	120	294・295・299・302	153
第78図	土器(18): 22T、22V、24L、24M、		第111図 土器(51): RD303・307・311・315・317・	

	326・331・332・333・338・ 339・340・341・342・344……154		
第112図	土器 (52) : RD346・348・349・354・357・ 358・359・361・362 (1)……155	第128図	土器 (68) : 26M (2)、26N、 27 I (1)……171
第113図	土器 (53) : RD362 (2)・363・364・ 365・366 (1) ……156	第129図	土器 (69) : 27 I (2)、27 L、 27M (1) ……172
第114図	土器 (54) : RD366 (2)・367・369・ 370・372・373・374 ……157	第130図	土器 (70) : 27M (2)、28 I (1) ……173
第115図	土器 (55) : RD375・376・380・382・383・ 384・385・387・388・389・ 390・391・392・394 ……158	第131図	土器 (71) : 28 I (2)、28 L (1) ……174
第116図	土器 (56) : RD396、RF07・09・10・ 11・14・15・16 ……159	第132図	土器 (72) : 28 L (2)、28 L~29 L ……175
第117図	土器 (57) : RF18・20・21・25、RH05・ 06・07・08・09 ……160	第133図	土器 (73) : 28M (1) ……176
第118図	土器 (58) : RH10・11、RZ10・11……161	第134図	土器 (74) : 28M (2)、28Q、29 J、 29K、29 L (1) ……177
第119図	土器 (59) : 17 L-PP1、18 L-PP2、18 H-PP4、 18 I-PP1、19 H-PP2、 19 J-PP1・PP2、19 L-PP1、 29 I-PP1、29 J-PP1、 30 J-PP1・PP2・PP3・PP4・5・ PP6・PP9 (1) ……162	第135図	土器 (75) : 29 L (2)、29M (1) ……178
第120図	土器 (60) : 30 J-PP9 (2)、PP11・12、 31 J-PP1・PP2・PP8・PP9・ PP19・PP21・PP22、31K-PP1・ PP11、31 L-PP1・PP2・PP3・ PP7、32 J-PP1・PP2・PP7・ PP11、32K-PP1・PP8・PP9・ PP10 ……163	第136図	土器 (76) : 29M (2) ……179
第121図	土器 (61) : 18 L、19 H、19 K、20 M、 23 P、23 Q (1)……164	第137図	土器 (77) : 29M (3) ……180
第122図	土器 (62) : 23 Q (2)、23 R、24 I、 24 L、24 M (1)……165	第138図	土器 (78) : 29M (4)、29 O、29 P、 29 Q、30 K、30 L、30 M ……181
第123図	土器 (63) : 24 M (2)、24 Q、24 R、 25 I、25 L、25 M (1)……166	第139図	土器 (79) : 30 N、30 O、30 Q、31 K (1) ……182
第124図	土器 (64) : 25 M (2)、25 M、26 M、 25 R、25 Q、26 I ……167	第140図	土器 (80) : 31 K (2)、31 L、31 M、 32 J、32 L、32 M、33 J ……183
第125図	土器 (65) : 26 L (1)……168	第141図	土製品 (1) ……185
第126図	土器 (66) : 26 L (2)……169	第142図	土製品 (2) ……186
第127図	土器 (67) : 26 L (3)、26 M (1) ……170	第143図	土製品 (3) ……187
		第144図	土製品 (4) ……188
		第145図	土製品 (5) ……189
		第146図	石器 (1) ……192
		第147図	石器 (2) ……193
		第148図	石器 (3) ……194
		第149図	石器 (4) ……195
		第150図	石器 (5) ……196
		第151図	石器 (6) ……197
		第152図	石製品 (1) ……199
		第153図	石製品 (2) ……200
		第154図	貯蔵剥片 (1) : RA33 (1) ……201
		第155図	貯蔵剥片 (2) : RA33 (2) ……202
		第156図	貯蔵剥片 (3) : RA33 (3)・35 (1) ……203
		第157図	貯蔵剥片 (4) : RA35 (2) ……204
		第158図	貯蔵剥片 (5) : RA35 (3) ……205
		第159図	貯蔵剥片 (6) : RA35 (4) ……206
		第160図	貯蔵剥片 (7) : RA35 (5)・37 (1) ……207
		第161図	貯蔵剥片 (8) : RA37 (2)、RD340 ……208
		第162図	骨角器 ……209

写真図版目次

巻頭カラー 1	縄文時代中期の遺構		
巻頭カラー 2	縄文時代中期の遺物		
写真図版 1	遺跡全景	307	
写真図版 2	調査区近景	308	
写真図版 3	RA24・25住居跡(1)	309	
写真図版 4	RA24・25(2)・26住居跡	310	
写真図版 5	RA27・28住居跡(1)	311	
写真図版 6	RA27・28(2)・29(1)住居跡	312	
写真図版 7	RA29(2)・30住居跡	313	
写真図版 8	RA31・32住居跡(1)	314	
写真図版 9	RA32(2)・33住居跡	315	
写真図版10	RA34・35住居跡(1)	316	
写真図版11	RA34・35住居跡(2)	317	
写真図版12	RA36・37・39住居跡(1)	318	
写真図版13	RA37・39住居跡(2)	319	
写真図版14	RA38住居跡	320	
写真図版15	RA40住居跡(1)	321	
写真図版16	RA40住居跡(2):貝層	322	
写真図版17	RA42・43住居跡	323	
写真図版18	RE02竪穴状遺構	324	
写真図版19	住居内遺物出土状況	325	
写真図版20	第11号掘立柱建物跡(1)	326	
写真図版21	第11号掘立柱建物跡(2)	327	
写真図版22	第11号掘立柱建物跡(3)	328	
写真図版23	第12号掘立柱建物跡	329	
写真図版24	第13号掘立柱建物跡	330	
写真図版25	RD301~307土坑	331	
写真図版26	RD308~312土坑	332	
写真図版27	RD313~318土坑	333	
写真図版28	RD319~323土坑	334	
写真図版29	RD324~328土坑	335	
写真図版30	RD329~333土坑	336	
写真図版31	RD334~337土坑	337	
写真図版32	RD338~341・344土坑	338	
写真図版33	RD342~347土坑	339	
写真図版34	RD348~351土坑	340	
写真図版35	RD352~358土坑	341	
写真図版36	RD359~367土坑	342	
写真図版37	RD368~372土坑	343	
写真図版38	RD375~378土坑	344	
写真図版39	RD379~384土坑	345	
写真図版40	RD385~389土坑	346	
写真図版41	RD389~395土坑	347	
写真図版42	RF07~10焼土遺構	348	
写真図版43	RF12~16焼土遺構	349	
写真図版44	RF17~20焼土遺構	350	
写真図版45	RD21~25焼土遺構	351	
写真図版46	RF26焼土遺構、RH05・07配石遺構	352	
写真図版47	RH08・09・10・11配石遺構	353	
写真図版48	RZ07~13土器埋設遺構	354	
写真図版49	土坑・遺物包含層の遺物出土状況	355	
写真図版50	土器(1)	356	
写真図版51	土器(2)	357	
写真図版52	土器(3)	358	
写真図版53	土器(4)	359	
写真図版54	土器(5)	360	
写真図版55	土器(6)	361	
写真図版56	土器(7)	362	
写真図版57	土器(8)	363	
写真図版58	土器(9)	364	
写真図版59	土器(10)	365	
写真図版60	土器(11)	366	
写真図版61	土器(12)	367	
写真図版62	土器(13)	368	
写真図版63	土器(14)	369	
写真図版64	土器(15)	370	
写真図版65	土器(16)	371	
写真図版66	土器(17)	372	
写真図版67	土器(18)	373	
写真図版68	土器(19)	374	
写真図版69	土器(20)	375	
写真図版70	土器(21)	376	
写真図版71	土器(22)	377	
写真図版72	土器(23)	378	
写真図版73	土器(24)	379	
写真図版74	土器(25)	380	
写真図版75	土器(26)	381	
写真図版76	土器(27)	382	
写真図版77	土器(28)	383	
写真図版78	土器(29)	384	
写真図版79	土器(30)	385	

写真図版80	土器 (31)……………	386	写真図版123	石器 (3)……………	429
写真図版81	土器 (32)……………	387	写真図版124	石器 (4)……………	430
写真図版82	土器 (33)……………	388	写真図版125	石器 (5)……………	431
写真図版83	土器 (34)……………	389	写真図版126	石器 (6)……………	432
写真図版84	土器 (35)……………	390	写真図版127	石器 (7)……………	433
写真図版85	土器 (36)……………	391	写真図版128	石器 (8)……………	434
写真図版86	土器 (37)……………	392	写真図版129	石器 (9)……………	435
写真図版87	土器 (38)……………	393	写真図版130	石器 (10)……………	436
写真図版88	土器 (39)……………	394	写真図版131	石器 (11)……………	437
写真図版89	土器 (40)……………	395	写真図版132	石器 (12)……………	438
写真図版90	土器 (41)……………	396	写真図版133	石器 (13)……………	439
写真図版91	土器 (42)……………	397	写真図版134	石器 (14)……………	440
写真図版92	土器 (43)……………	398	写真図版135	石器 (15)……………	441
写真図版93	土器 (44)……………	399	写真図版136	石器 (16)……………	442
写真図版94	土器 (45)……………	400	写真図版137	石器 (17)……………	443
写真図版95	土器 (46)……………	401	写真図版138	石器 (18)……………	444
写真図版96	土器 (47)……………	402	写真図版139	石器 (19)……………	445
写真図版97	土器 (48)……………	403	写真図版140	石器 (20)……………	446
写真図版98	土器 (49)……………	404	写真図版141	石器 (21)……………	447
写真図版99	土器 (50)……………	405	写真図版142	石器 (22)……………	448
写真図版100	土器 (51)……………	406	写真図版143	石器 (23)……………	449
写真図版101	土器 (52)……………	407	写真図版144	石器 (24)……………	450
写真図版102	土器 (53)……………	408	写真図版145	石器 (25)……………	451
写真図版103	土器 (54)……………	409	写真図版146	石器 (26)……………	452
写真図版104	土器 (55)……………	410	写真図版147	石器 (27)……………	453
写真図版105	土器 (56)……………	411	写真図版148	石製品……………	454
写真図版106	土器 (57)……………	412	写真図版149	貯蔵剥片 (1)……………	455
写真図版107	土器 (58)……………	413	写真図版150	貯蔵剥片 (2)……………	456
写真図版108	土器 (59)……………	414	写真図版151	貯蔵剥片 (3)……………	457
写真図版109	土器 (60)……………	415	写真図版152	貯蔵剥片 (4)……………	458
写真図版110	土器 (61)……………	416	写真図版153	貯蔵剥片 (5)……………	459
写真図版111	土器 (62)……………	417	写真図版154	貯蔵剥片 (6)……………	460
写真図版112	土器 (63)……………	418	写真図版155	動物遺存体 (貝類) 1 : RA40 (1) ……	461
写真図版113	土製品 (1)……………	419	写真図版156	動物遺存体 (貝類) 2 : RA40 (2) ……	462
写真図版114	土製品 (2)……………	420	写真図版157	動物遺存体 (貝類) 3 : RA40 (3)、 RD391、RF18……………	463
写真図版115	土製品 (3)……………	421	写真図版158	動物遺存体 (貝類) 4 : RZ11 (1) ……	464
写真図版116	土製品 (4)……………	422	写真図版159	動物遺存体 (貝類) 5 : RZ11 (2) ……	465
写真図版117	土製品 (5)……………	423	写真図版160	動物遺存体 (獣骨類) 1 : RA40 ……	466
写真図版118	土製品 (6)……………	424	写真図版161	動物遺存体 (獣骨類) 2 : RZ11 ……	467
写真図版119	土製品 (7)……………	425	写真図版162	動物遺存体 (獣骨類) 3 : RD391・ 396、遺構外……………	468
写真図版120	土製品 (8)……………	426	写真図版163	アスファルト・琥珀・植物遺存体……………	469
写真図版121	石器 (1)……………	427			
写真図版122	石器 (2)……………	428			

I. 調査に至る経過

長谷堂貝塚の発掘調査は、県営長谷堂アパート建設事業に係わって記録保存を目的として実施した緊急発掘調査である。

県営長谷堂アパート建設事業は、住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とした事業である。事業内容・計画は平成8年度から老朽化した簡易耐火構造平屋建建物および簡易耐火構造2階建建物全82戸を解体し、鉄筋コンクリート造り3階建建物跡8棟を建設する計画である。

発掘調査に至る協議等の経過は、平成7年9月21日付「建住第768号」により埋蔵文化財の試掘調査ならびに発掘調査についての依頼が岩手県土木部建築住宅課から岩手県教育委員会事務局文化課になされた。これを受けた県教育委員会文化課は平成7年10月、事業予定地約13,000㎡に対して範囲確認調査を実施した。この結果、長谷堂アパート建設事業予定地内は、昭和46年に調査された区域周辺を除いてほぼ全域に埋蔵文化財が保存されていることが確認され、県土木部建築住宅課に対してアパート建設事業実施前に発掘調査による記録保存が必要である旨を通知している。

これらの結果にもとづいて、県大船渡土木部建築住宅課と県教育委員会事務局との間で協議がなされ、平成8年度以降のアパート建設予定地については、計画年度に合わせて発掘調査を行うことにし、発掘調査の実施については財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受諾事業とすることにした。

以上の経緯の後、平成8年度に550㎡、平成9年度に2,700㎡の調査が行われ、平成10年度に報告書が刊行されている（岩埋分第296集）。調査が終了した平成10年度には、鉄筋コンクリート造り3階建建物跡2棟が建設された。

平成11年度の発掘調査事業の実施にあたっては、平成11年3月2日付「教文第1251号」により教育委員会事務局から財団法人岩手県文化振興事業団へ通知がなされ、これを受けて当事業団埋蔵文化財センターは平成11年6月24日付委託契約により同年7月1日から10日29日の予定で、野外調査を実施した。

II. 遺跡の位置と立地

1. 遺跡の位置と地理的環境（第1・2図）

長谷堂貝塚の所在する大船渡市は、岩手県の南東端、沿岸南部に位置し、北は三陸町、釜石市、東は住田町、南は陸前高田市に接している。町域は、北東に五葉山（1,351m）、東域に笠詰山（888m）、今出山（756m）、大股山（614m）、西域に高森山（718m）、氷上山（875m）、箱根山（447m）などの1,000m未満の山々が連なり、市域の南側に太平洋を望む大船渡湾がある。五葉山は県立自然公園に指定される動植物の宝庫で、今出山はツツジの名所である。大船渡湾はリアス式海岸として有名な陸中国立公園の南側に位置する。面積186.03km²、人口36,968人（註1）である。気候は、夏季は夏型で暑く、冬も比較的温暖である。

大船渡市の成立について簡単に触れると、明治12年（1874）に郡役所が置かれ、昭和27年（1952）に盛・大船渡両町と末崎・日頃市・立根・猪川村が合併して市制を施行した。現在の大船渡市は、福祉の里など県内の福祉モデル施設があり、鷹生ダム建設などの大型事業、三陸縦貫自動車の高速度交通網の整備も進み、気仙地区の中心としての役割も果たしている。文化面では、末崎半島に総合博物館として海をテーマとした大船渡市立博物館があり、また熊野神社には県指定の天然記念物の三面椿があり、世界の椿館・基石がある。

長谷堂貝塚は、大船渡市猪川町字中井沢78番地2他に所在し、東日本旅客鉄道大船渡線盛駅の北東約1.2km、大船渡高校の西南西約200mに位置し、北緯39度05分33秒、東経140度43分09秒付近、国土地理院発行の5万分の1地形図「盛」（NJ-54-20-1）および2万5千分の1地形図「盛」（NJ-54-20-1-3）の図幅に含まれる。

2. 遺跡の立地と周辺の地形・地質（第3図）

（1）遺跡の立地と周辺の地形・地質

大船渡市は、岩手県を南北に横切る北上山地の南東端にあり、南側に太平洋が面している。町域は約800～1,300m級の山々が連なって海岸付近まで迫り、山地率が高い。そのなかで五葉山の南西麓を源流として市域を南流する盛川と、その支流域にわずかに低地がひろがり、人々の居住域および耕作地となっている。

長谷堂貝塚は、今出山の裾野にあたる緩い南西斜面に立地する。遺跡は標高22～33m付近を示す範囲で、南側を西流する中井川との比高は約6mである。遺跡全体の面積は、南北300m、東西300mに及び、約91,000m²である。今回の調査区は、遺跡のほぼ中央の標高26～30mに位置している。

大船渡市の地形は、市域を大きく覆う山地（今出山山地・氷上山山地）、これらの山麓地の裾野から盛川の両岸に発達する丘陵地（洪積層）、さらにその下位で盛川流域に広がる低地（沖積層）に分けられる。上記の区分において、長谷堂貝塚は、大船渡丘陵（礫層・砂層・泥層からなる洪積層）に立地している（註2）。

3. 基本土層

基本土層は、基本的に平成8・9年度調査で確認されたものに準じている。層位の名称は、大別層はⅠ・Ⅱ・Ⅲ…のローマ数字で表わし、遺構内の埋土は1・2・3の算用数字で表した。土層は大きくⅠ～Ⅴ層に大別される。Ⅰ層は黒色土を主体とする腐植土層、Ⅱ層は遺物包含層、Ⅲ層は漸移層で、Ⅳ層以下は基盤となる層で、いわゆる地山である。各層の特徴（層位・色調・層厚・土性）は以下のとおりである。

Ⅰ層 10YR2/3 黒褐色 50～80cm、現表土層：攪乱層で動いている。

Ⅱ層 10YR3/2 黒褐色 0～40cm、遺物包含層。

Ⅲ層 10YR3/3 暗褐色 10～30cm、漸移層。

IV層 10YR5/6 黄褐色 10~20cm、遺構検出面。

V層 10YR6/6 明黄褐色 50cm以上、以下に礫層が入る個所がある。

調査では、はじめに試掘を行い、各地点の土層の把握を行った。実際は地点により層序に一部違いがあるものの基本的には調査区全体が削平を受けていることが判った。地山まで削平されているところは調査区の西側と南側の一部で、他はII層が残存していた。なお調査区内の旧アパート建築部分は調査開始以前に上屋と基礎が撤去されており、跡地は地山まで掘削され、掘り込みの深い遺構を除いて消滅していた。

4. 周辺の遺跡 (第4図)

現在、大船渡市内では101遺跡が確認されている(註3)。市内の遺跡を概観すると、時代は旧石器時代~近世まであり、遺跡の立地は大船渡湾周辺の低地や盛川とその支流の段丘および丘陵地に集中する。市内の遺跡や調査の概要は『長谷堂貝塚発掘調査報告書』(岩埋文296集)に詳しいので、参照していただきたい。ここでは長谷堂貝塚に関連して、貝塚遺跡について概観し、本報告の参考とする。

貝塚は、国指定史跡の蛸ノ浦貝塚・下船戸貝塚、県指定の大洞貝塚など、現在12の貝塚が確認されている(註4)。長崎貝塚を除けば大船渡湾周辺の段丘・丘陵地に立地している。貝塚の立地は、前期・中期を主体とする貝塚は標高30~40mの高位にあり、後期・晩期が主体の貝塚は標高30m未満の低位に立地する傾向がある。遺跡の立地の差(標高差)が時期による環境の変化(海水面の変動)を反映している可能性がある。

註

- (1) 岩手日報社 1998。
- (2) 大船渡市教育委員会 1997 「I遺跡の位置と立地」『岩手県大船渡市大洞貝塚』ほかを参照。
- (3) 岩手県教育委員会 1999 「大船渡市」『所属年度11 遺跡台帳』。
- (4) 岩手県教育委員会 1998 『岩手の貝塚—岩手県内重要遺跡詳細分布調査報告書II—』岩手県文化財調査報告第102集。

引用・参考文献

岩手県教育委員会 1994 『ふるさと岩手の文化財めぐり ロマンガイド』。

岩手県教育委員会 1999 『所属年度11 遺跡台帳』。

岩手日報社 1998 「大船渡市」『岩手年鑑』1999。

有限会社 平凡社地方資料センター編 1990 「岩手県の地名」『日本歴史地名大系』第三巻 平凡社。

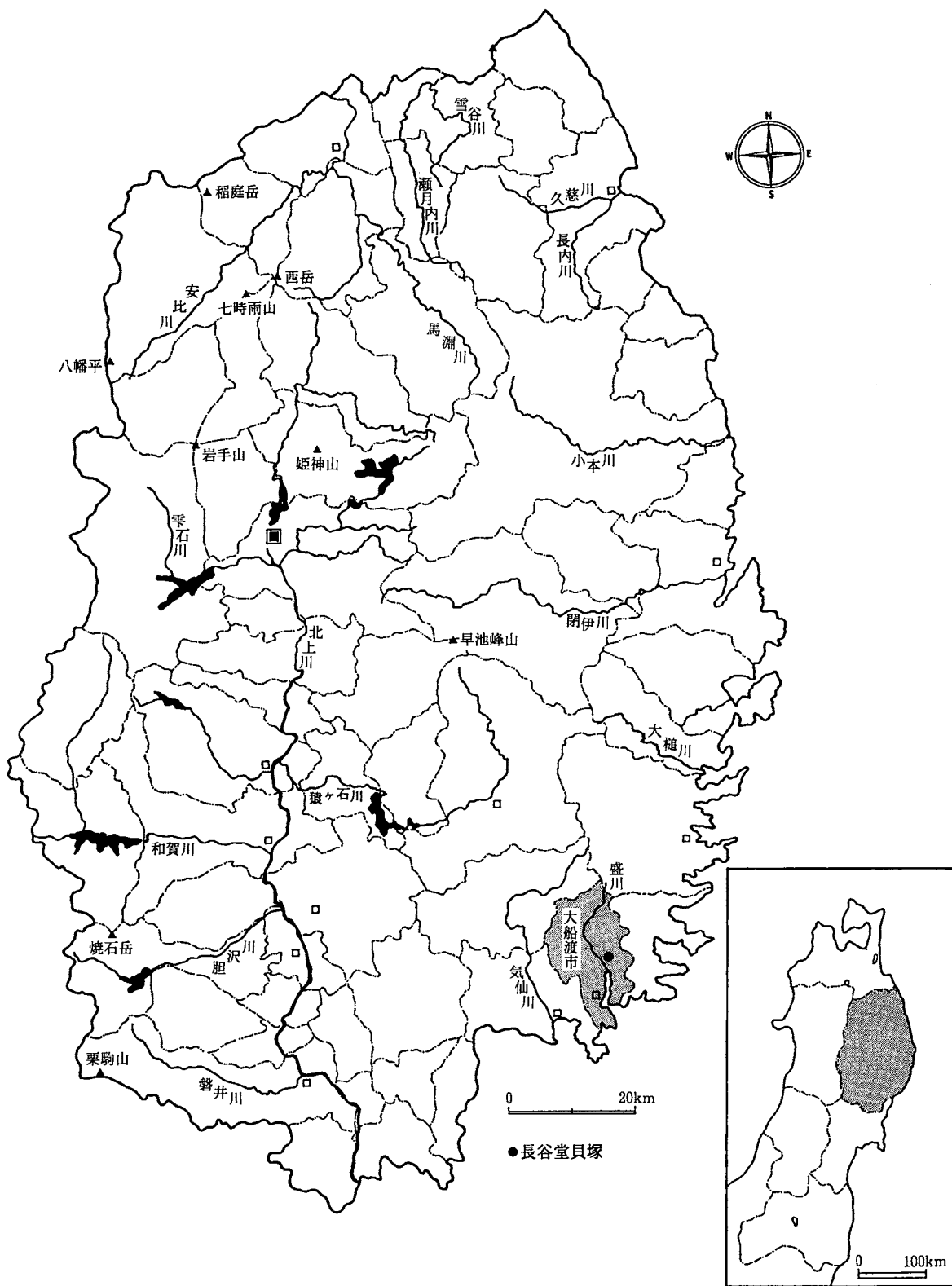
(財)岩埋文 1999 『長谷堂貝塚発掘調査報告書』岩埋文第296集。

大船渡市教育委員会 1997 『岩手県大船渡市大洞貝塚 平成6・7・8年度範囲確認調査概報』。

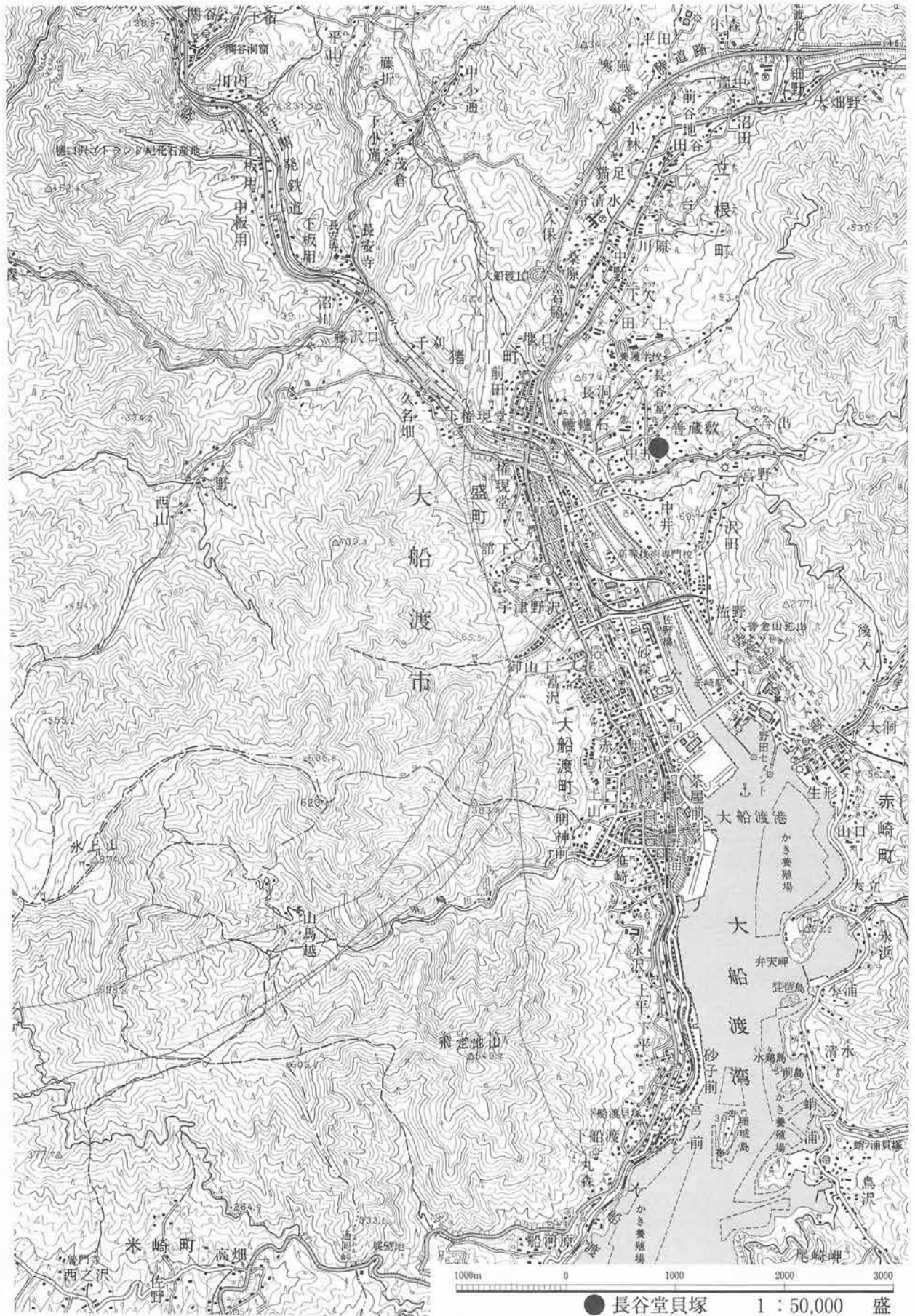
第1表 周辺の遺跡(大船渡市の貝塚遺跡)

No.	遺跡名	種別	立地	標高	時代	貝塚の時代					備考	遺跡略号	遺跡の位置	
						草	早	前	中	後				晩
1	長谷堂貝塚	貝塚	丘陵	25~30m	縄文・弥生				○			NF39-1151	猪川町字長谷堂他	
2	中井貝塚	貝塚	丘陵	30~40m	縄文				○			NF39-1098	赤崎町字中井	
3	沢田貝塚	貝塚	河岸段丘	20~30m	縄文						貝層年代不明	NF39-2152	赤崎町字沢田	
4	大洞貝塚	貝塚	河岸段丘	15~25m	縄文					○	S41国指定史跡	NF49-1341	赤崎町字大洞	
5	清水貝塚	貝塚	河岸段丘	40m	縄文				○	○		NF59-1235	赤崎町字清水	
6	蛸ノ浦貝塚	貝塚	河岸段丘	40m	縄文				○	○	S5国指定史跡	NF59-1826	赤崎町字蛸ノ浦	
7a	富沢I貝塚	貝塚	河岸段丘	10m	縄文					○		NF49-0093	大船渡町字地ノ森富沢	
7b	富沢II貝塚	貝塚	河岸段丘	10m	縄文					○		NF49-0094	大船渡町字地ノ森富沢	
8	下船渡貝塚	貝塚	丘陵	20m	縄文・弥生					○	○	S9国指定史跡	NF59-1068	大船渡町字宮ノ前
9	内田貝塚	貝塚	丘陵	40~60m	縄文				○	○		NF69-0060	末崎町字内田	
10	細浦上の山貝塚	貝塚	丘陵	15~30m	縄文					○	○	NF69-1025	赤崎町字細浦	
11	鬼沢(山岸)貝塚	貝塚	丘陵	30~50m	縄文					○	○	NF69-1151	赤崎町字山岸	
12	長崎貝塚	貝塚	台地	40m	縄文						○	NG60-0040	赤崎町字長崎	

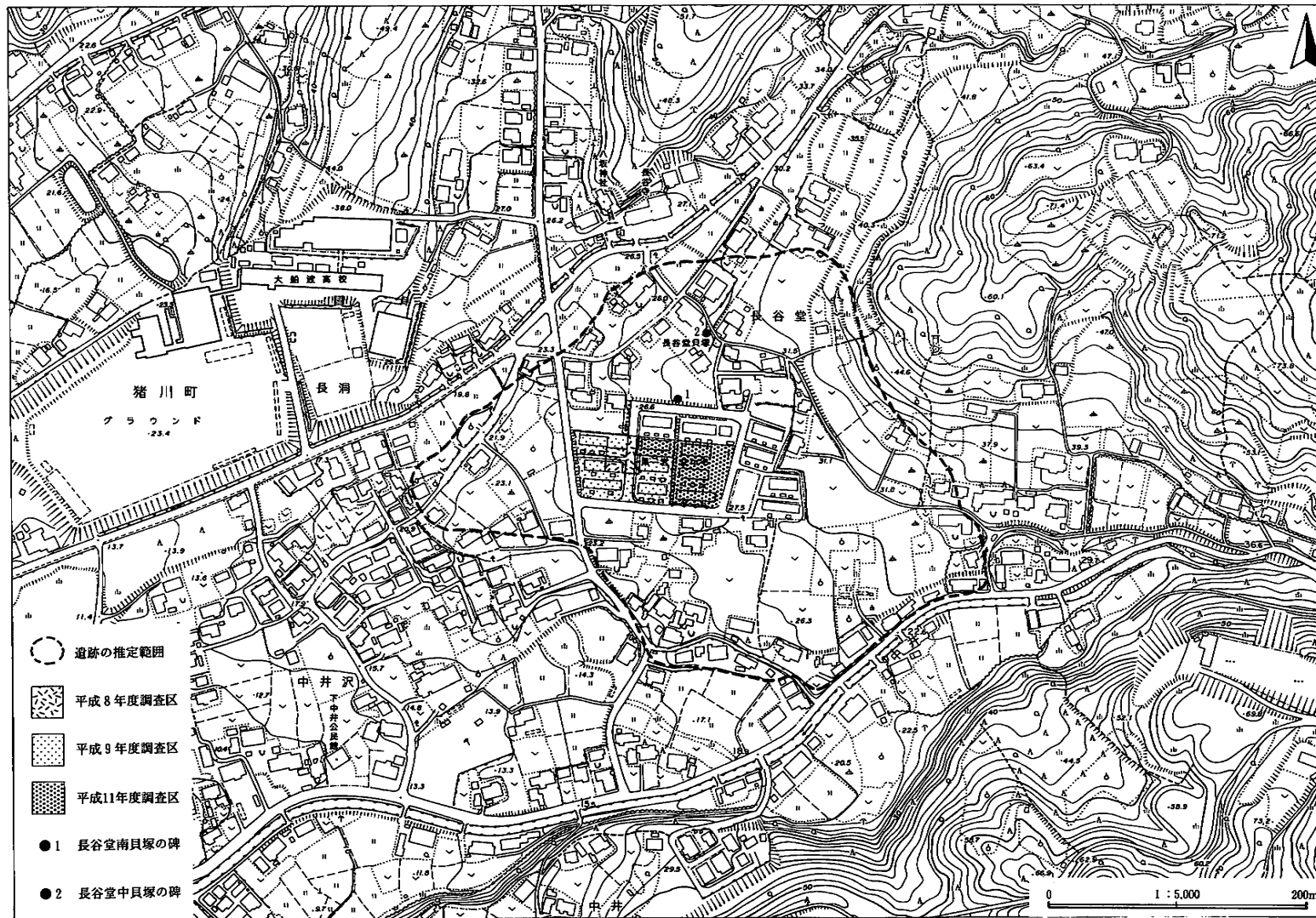
参考：岩手県教育委員会 1998 『岩手の貝塚—岩手県内重要遺跡詳細分布調査報告書II—』



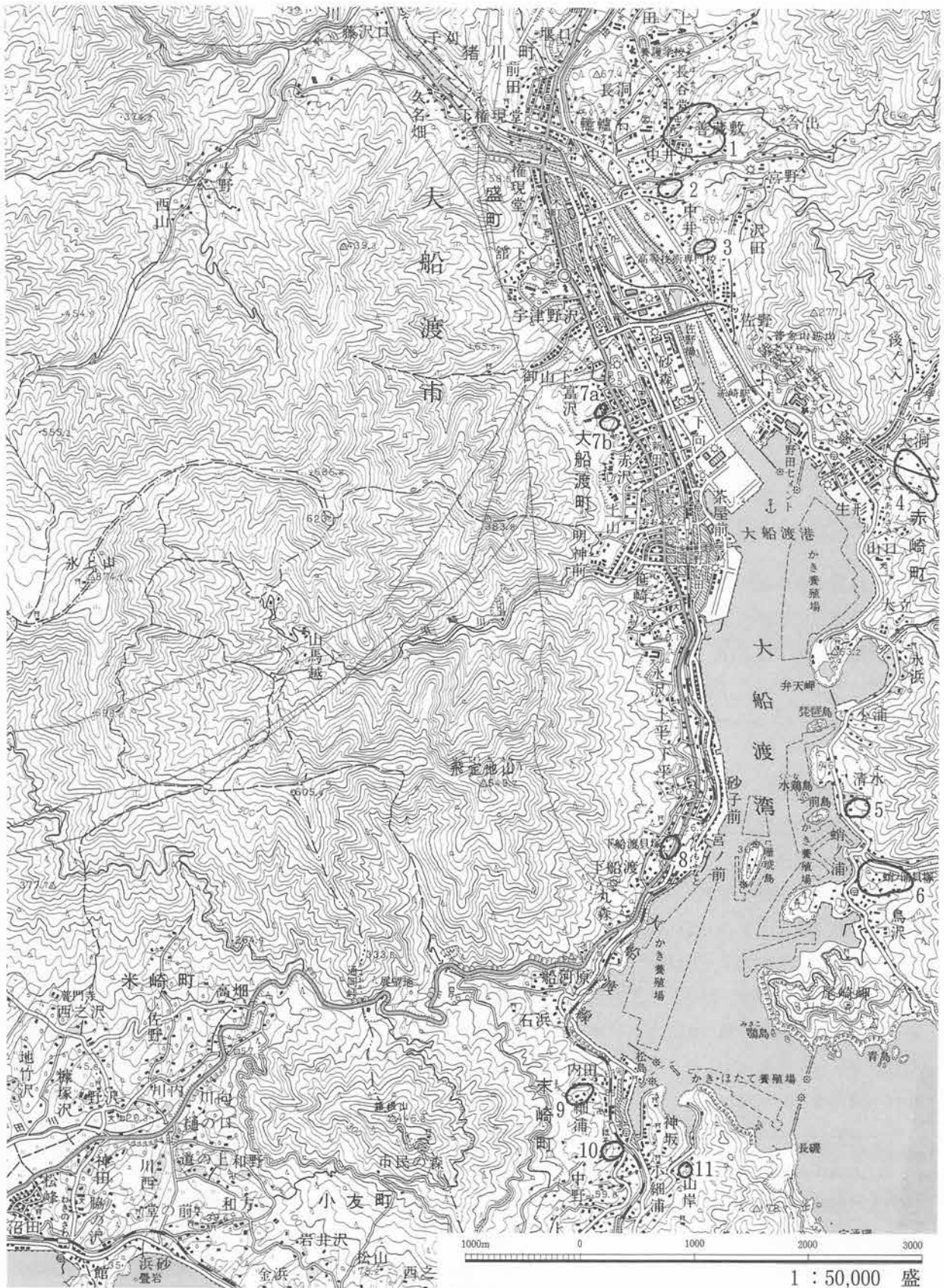
第1図 岩手県における遺跡位置図



第2図 遺跡位置図



第3図 遺跡周辺の地形図・調査区位置図



第4図 周辺の遺跡分布図(貝塚)

○ 1~11: 貝塚

Ⅲ. 調査・整理の方法

1. 調査史

(1) 長谷堂貝塚の過去の調査と成果

長谷堂貝塚の調査の歴史は旧く、過去5回の調査が行われている。昭和33・44年の調査では、縄文時代中期の貝塚、縄文後期・弥生時代の竪穴住居跡が発見されている。平成8・10年度の調査では、晩期末～弥生時代前期の住居跡・墓塚群などの集落跡が発見されており、時間幅の長い複合遺跡であることが指摘できる。

第2表 長谷堂貝塚の調査史

No.	調査年代	調査機関	調査成果			文献
			遺構	遺物	貝層	
1	昭和33年	早稲田大学	貝塚2カ所(アサリ主体)縄文中期、晩期 屈葬された人骨		4箇所、 中・晩	
2	昭和46年 7月	岩手県教育委員会	竪穴住居跡2棟(縄文後期・弥生) 土坑4基、貝層(アサリ主体)	縄文中期～晩期 弥生中期(柘形)	1箇所 中	岩手県教委 1971
3	昭和53年 7.26～8.27	大船渡市教育委員会	なし	縄文中期～晩期	なし	大船渡市教委 1953
4	平成8年 10.1～11.20	(財)岩手県文化振興 埋蔵文化財センター	竪穴住居跡7棟(縄文晩期～弥生前期)竪 穴状遺構1棟(弥生)土坑31基、焼土遺構 3基、配石遺構4基、土器埋設遺構3基	縄文中期～晩期 弥生中期(柘形)	なし	岩埋文 第296集
5	平成9年 6.17～11.14	(財)岩手県文化振興 埋蔵文化財センター	竪穴住居跡17棟(縄文晩期～弥生前期) 掘立柱建物跡10棟、土坑250基、焼土遺 構3基、土器埋設遺構3基	縄文中期～晩期 弥生中期(柘形)	なし	岩埋文 第296集

(2) 遺跡の名称について

過去の調査では地点の名称が付され、遺跡内には長谷堂中貝塚・南貝塚の碑が立っているが、7地点の比定が困難なため、現在は、遺跡名を長谷堂貝塚群としている。長谷堂は、地元では通称「はせんどう」と呼ばれているが、字名の台帳は「はせどう」であり、遺跡の名称を「はせどうかいつか」とする(註1)。

- (1) 金野良一氏のご教示による。99年度調査時の現地公開資料や略報報告で「はせんどうかいつか」としたことを訂正する。

2. 野外調査

(1) 調査区の設定と遺構の命名

野外調査の方法については、基本的には平成8年度に行われた調査の際に設定されたものを踏襲している。

- a. 基準点の設置 平成8年度に設置された基準点1・2をもとに調査区内に補点1～6を新設した。

基準点1 X=-100,658.389m Y=+76,951.855m、H=26.818m(既点)

基準点2 X=-100,663.514m Y=+77,050.166m、H=28.604m(既点)

- b. グリッドの設定 調査区の地区割りは、遺跡全体をカバーする碁盤状の格子を組むグリッド方式を用い、平成8年度調査の際に設定された平面直角座標の第X系の公共座標軸にのる4m四方のグリッドを踏襲した。グリッドの名称は、北から南に向かってA・B…(アルファベット大文字)、西から東へ向かって1・2…(算用数字)を用い、その組み合わせで1B・2Bグリッドなどと呼び表した。

- c. 調査区 調査区域は飛地となった北側(90㎡)と東側(2,710㎡)に分かれる。面積2,800㎡である。

- d. 遺構の命名と検出遺構 遺構の命名は、平成8年度調査と同一略号を用いて検出順に行った。

竪穴住居跡：RA24～43(21)、竪穴状遺構：RE02(1)、土坑類：RD282～396(115)※

焼土遺構：RF07～24(17)、集石遺構：RH05～10(6)、土器埋設遺構：RZ07～12(5)、貝層：RZ11。

※RD282～300は柱穴状土坑として報告している。掘立柱建物跡(第11～13号)柱穴状土坑110基、遺物包含層は略号を用いていない。使用していない番号は欠番である。

(2) 調査の経過と調査方法

a. 調査経過 調査は7月～10月(4ヶ月)の予定で行われた。作業員の登録員数は当初31名で、若干の増減があった。一日平均の稼働人数は21人、実働67.5日であった。以下に調査経過を簡略に記す。

7月1日(木) 8:30、資材搬入・調査開始、作業員登録31名。

7月5日(月) 基準点測量(菊池技研株式会社)。

7月29日(木) 部分終了確認:11:00～12:00(700㎡)。

10月16日(土) 現地公開:10:00～13:00、見学者170名。

10月19日(火) 航空写真撮影(東邦航空株式会社)。

10月21日(木) 終了確認:13:00～14:00(2,100㎡)。

10月29日(金) 調査終了、撤収。

4ヶ月の調査の進行状況を記す。試掘の結果、調査範囲の北西側ほど遺物出土量が多く、遺物包含層が残っていることを確認した。最初に平成9年度調査区に隣接する北側90㎡の飛地と東側および南側610㎡の調査を行い、晩期の住居跡と掘立柱建物跡を構成する大型の柱穴状土坑を検出した。同地点の終了確認は7月30日に行われた。その後、終了した部分を土捨場として排土を反転し、調査区の北東側の調査を開始し、調査区内にあった住宅内のゴミ置場は9月1日に撤去している。貝層が残る地点は10月から調査を開始し、北東側の中期の遺構群とともに調査終了日まで調査を行った。調査終了後は埋め戻し、現状に復旧して撤収した。

b. 粗掘と精査 当初2m幅のトレンチを任意に地形に応じて入れ、遺跡の状況把握を行い、表土部分を重機を用いて剥ぎ、それ以下の層位は人力で精査を行なった。遺構の精査は、住居跡の場合は4分法、土坑類は2分法を行い、必要に応じてその他の方法も併用した。遺物の採取は、遺構内埋土では可能な限り分層して取り上げ、床面出土の遺物は写真撮影・図面作成後に取り上げた。遺構外出土の遺物については、原則としてグリッドごとに出土した層位を記して取り上げ、適宜写真撮影・図面作成をしている。

c. 実測・写真撮影 平面実測は、グリッドに合わせた1mメッシュを基本とし、住居跡・土坑類は平面図・断面図とも1/20縮尺を基本に実測した。遺構の埋土が単層の場合は、その状態をField Cardに記し、断面図作成は省略した。レベルは基準点をもとに絶対高で測った。写真撮影は35mmモノクロームとカラースライド各1台、モノクローム6×9cm判1台を使用した。撮影に際しては整理時の混乱を避けるために撮影カードを利用し、各種の断面や平面と遺物出土状況などを撮影した。調査の終了段階で空中写真撮影を行った。

3. 室内整理

室内整理の期間は、平成11年11月～平成12年3月(5ヶ月間:整理員12名)、平成12年7月～9月(3ヶ月間:整理員15名)である。平成11年度整理では、遺物の水洗、仕分け、土器の接合・復元、登録、遺構図面の点検・合成、遺構トレースの作業を行った。平成12年度整理では、土器の復元、実測、拓影、写真撮影、トレース・図版作成を行った。調査員は、全体計画の進行管理・各作業の指示・点検と原稿執筆を行った。野外調査で得られた遺構の記録と遺物は、室内整理の段階で次のように整理し、報告書作成と資料化を行った。

(1) 遺構に係わる記録

各実測図面ごとに分類・点検し、必要に応じて第二原図を作成し、トレースを行った。撮影フィルムは、ネガアルバムに密着写真と一組で収納し、カラースライドフィルムはスライドファイルに撮影順に収納した。

(2) 遺物の整理

遺物は野外及び当センター整理室で水洗した後、仕分け・重量計測を行い、出土地点・層位ごとに接合を

行った。注記は遺跡略号・出土地点・層位を掲載資料についてのみ行った。遺物の実測図は実大とし、トレースは遺物の状況に応じて実大・縮小して図化した。貯蔵剥片・炭化物・石材・アスファルト・琥珀の分析は、外部の専門家に委託した。動物遺存体の整理は当センターで行い、諸先生方の指導・助言を受けて阿部が報告をまとめた。遺物の写真撮影は、センターの専門技師二人（村田鴻士・福士昭夫）が撮影を行った。

報告書に掲載された遺物は出土した遺物の全てではなく、整理の中で設定された基準をもとに選別された一部の資料である。各遺物の整理方針・掲載の基準については、関連する各章で触れている。

4. 掲載図版等について（凡例）

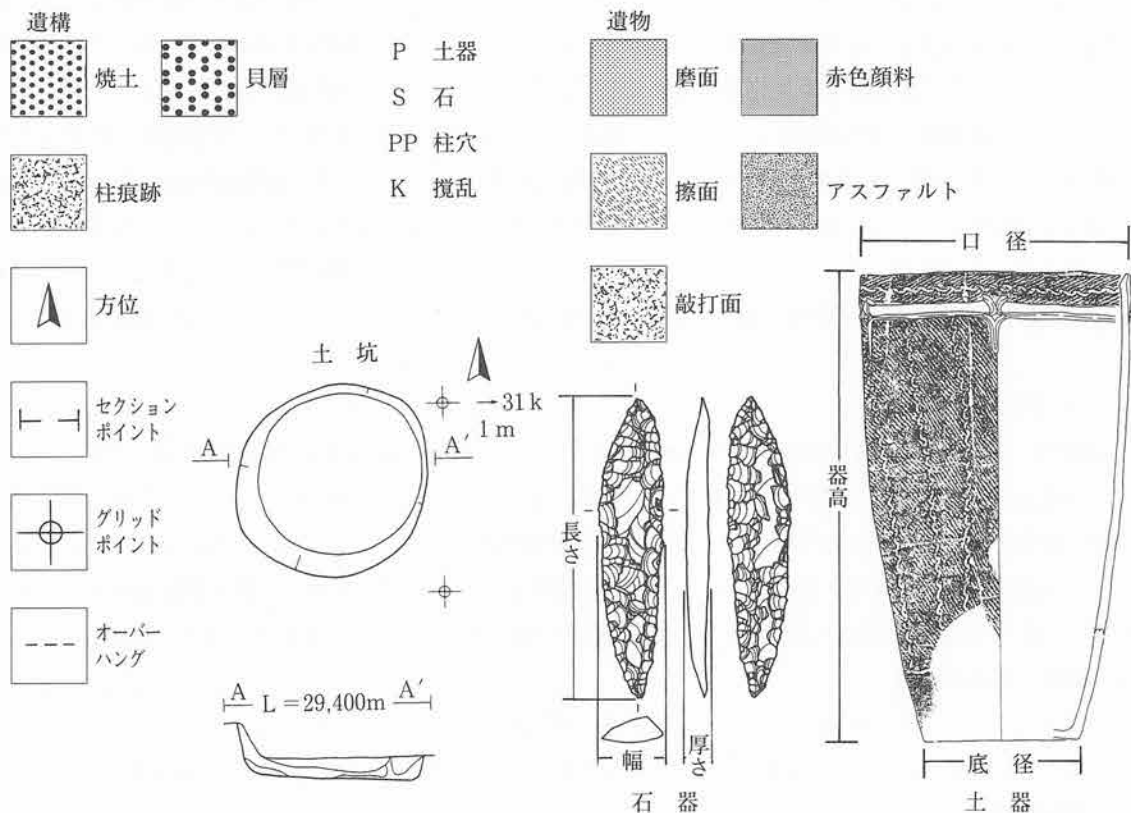
(1) 掲載図版の構成と縮尺

掲載図版は、遺構と遺物に分け、遺構図版は遺構の種類ごとに掲載し、遺物図版は土器・土製品・石器・石製品など種類ごとに掲載した。さらに各遺物図版は、出土地点、層位（上→下）を基準に掲載した。観察表の（ ）内数値は残存値である。遺物の掲載番号は図版・写真とも同一番号とし、掲載順に連番とした。

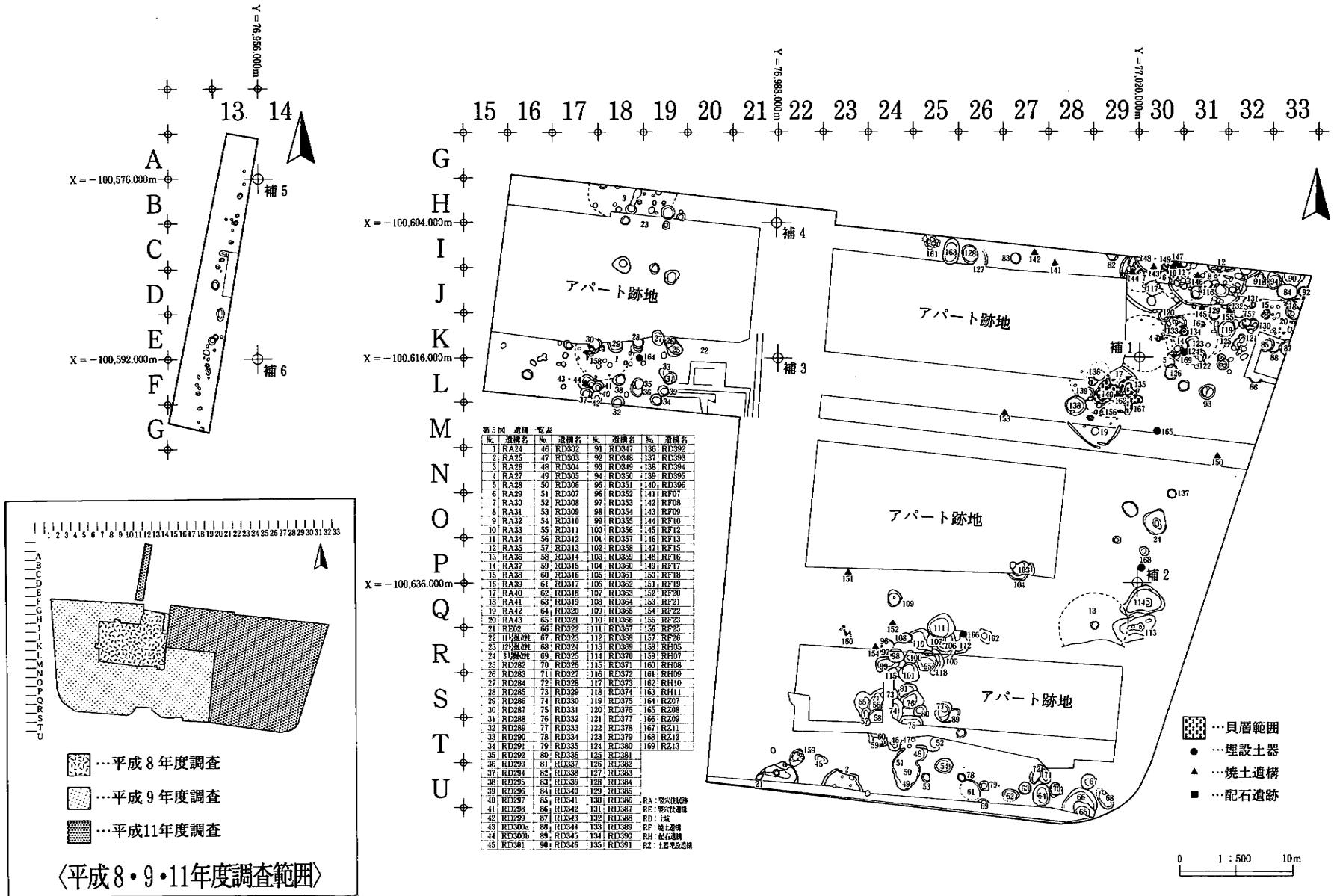
掲載した図版の縮尺は以下を基準としたが、一部変更しており、各図にスケール・縮尺を付した。

- 遺構図版：住居跡の平・断面図1/60、土坑の平・断面図1/40、焼土遺構の平・断面図1/60。
- 遺物図版：土器1/3、土製品1/2、剥片石器1/2、礫石器1/3、石製品1/2、骨角器1/2。
- 写真図版：遺構の写真図版は縮尺不定である。遺物の写真図版については、各図に縮尺を付した。

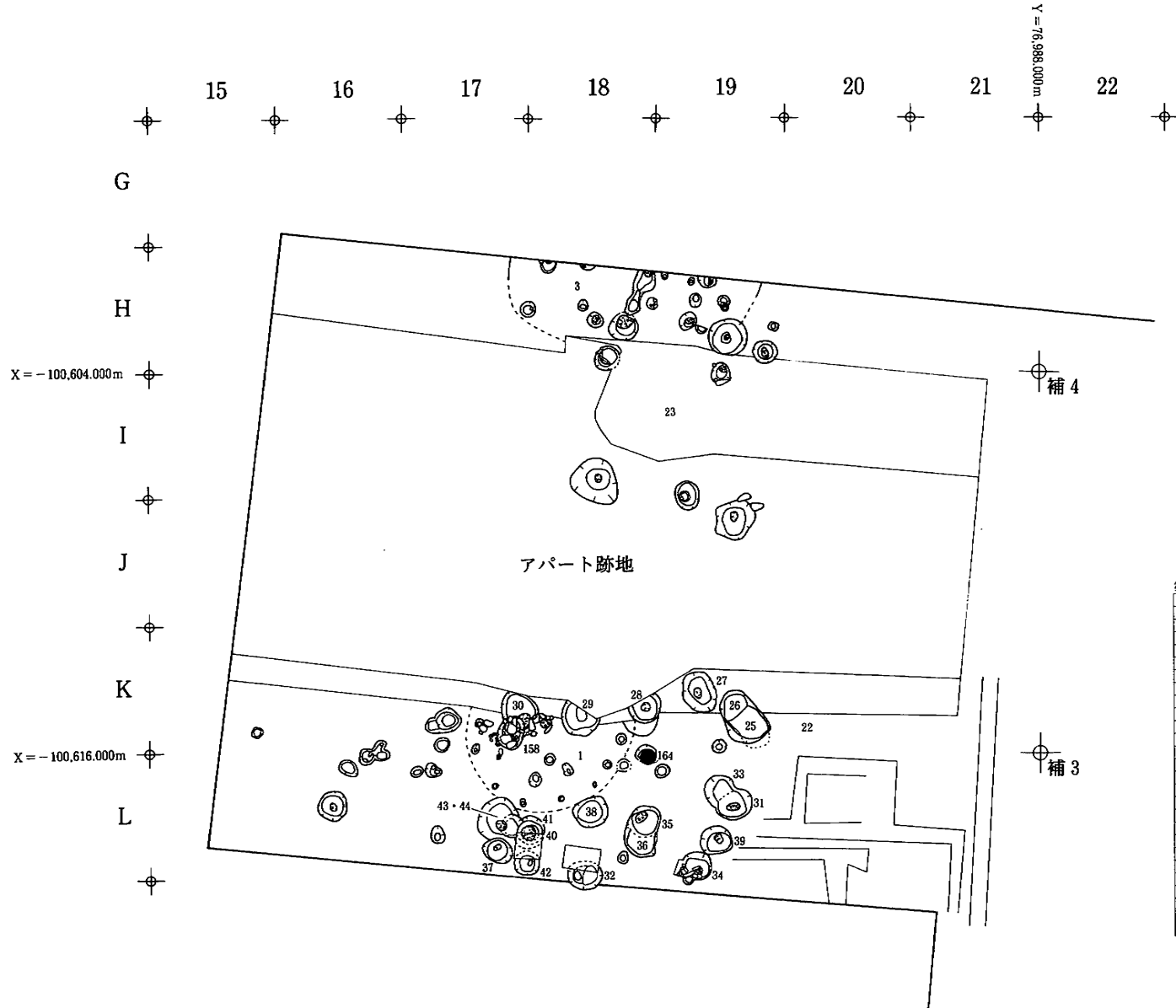
(2) 図版の凡例 図中に使用した記号・スクリーン・トーンの凡例は次のとおりである。



凡例



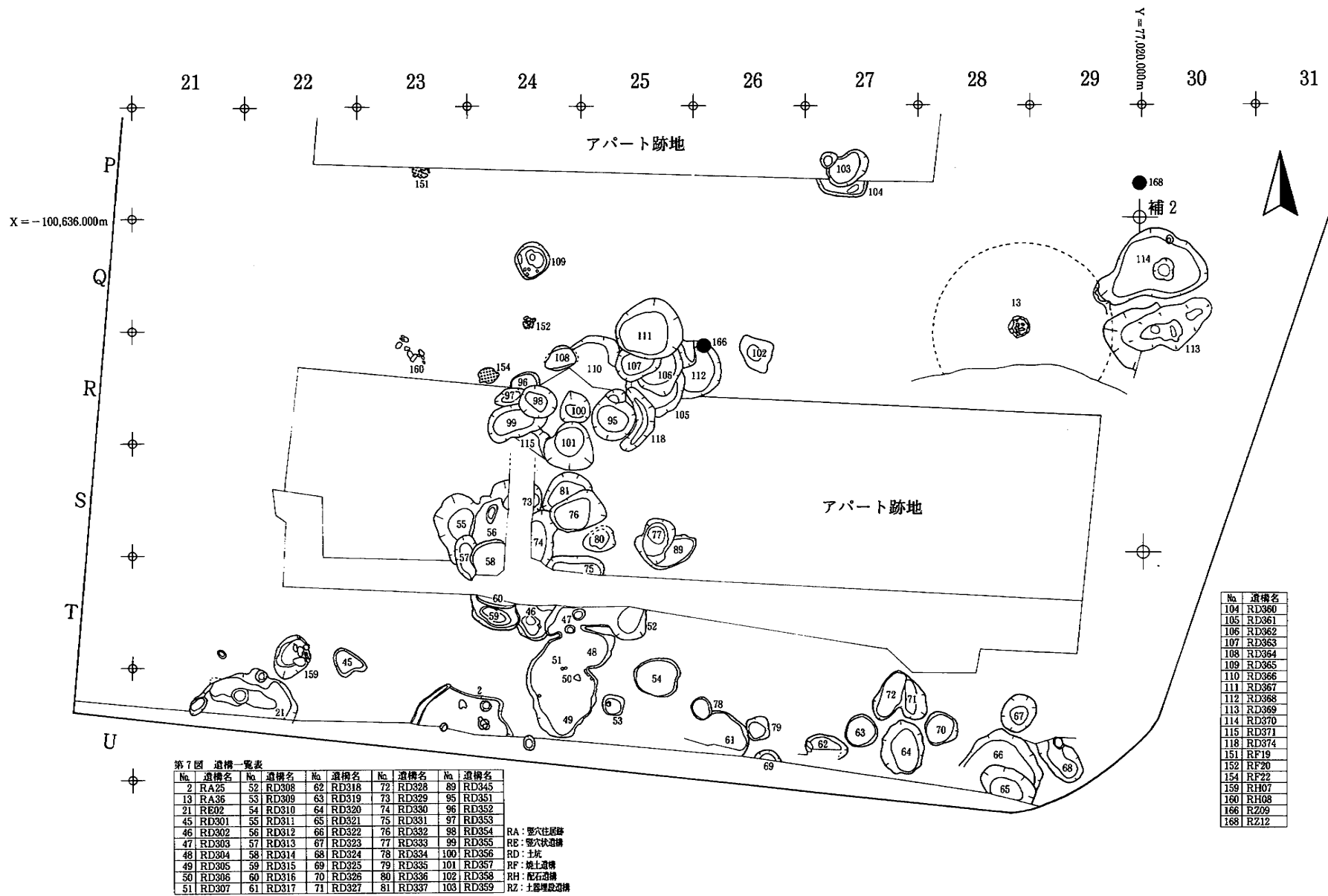
第5図 長谷堂貝塚遺構配置図：全体（平成11年度調査分）



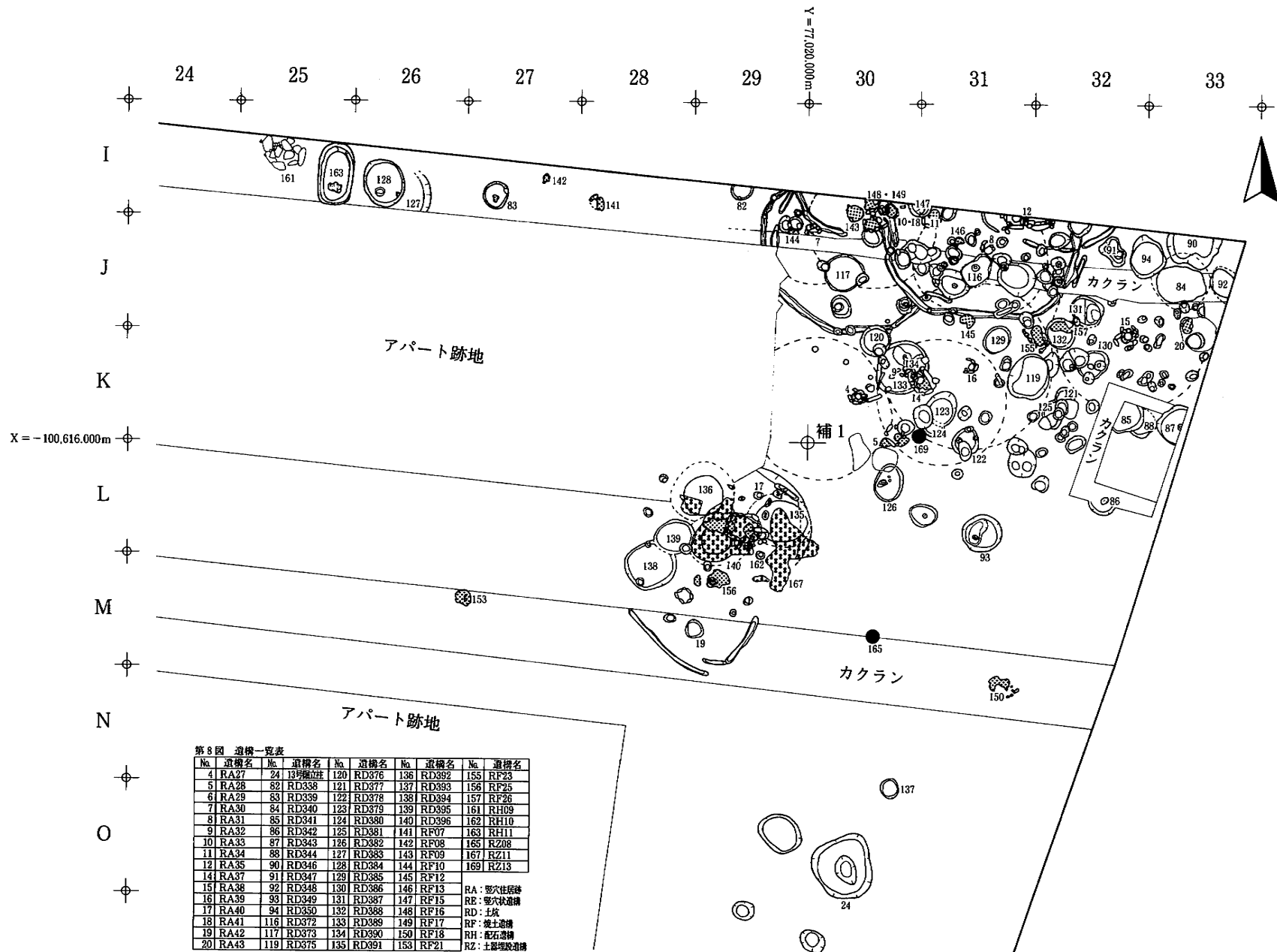
第 6 図 遺構一覧表

No.	遺構名	
1	RA24	
3	RA26	
22	11号風立柱	
23	12号風立柱	
25	RD282	
26	RD283	
27	RD284	
28	RD285	
29	RD286	
30	RD287	
31	RD288	
32	RD289	
33	RD290	
34	RD291	
35	RD292	
36	RD293	
37	RD294	
38	RD295	
39	RD296	
40	RD297	
41	RD298	RA: 竪穴住居跡
42	RD299	RE: 竪穴住居構
43	RD300a	RD: 土坑
44	RD300b	RF: 焼土遺構
158	RH05	RH: 焼石遺構
164	RZ07	RZ: 土器埋没遺構

第 6 図 長谷堂貝塚遺構配置部分図 (1) 北西側



第7図 長谷堂貝塚遺構配置部分図(2) 南側



第8図 遺構一覧表

No.	遺構名	No.	遺構名	No.	遺構名	No.	遺構名	No.	遺構名
4	RA27	24	137跡地	120	RD376	136	RD382	155	RF23
5	RA28	82	RD338	121	RD377	137	RD383	156	RF25
6	RA29	83	RD339	122	RD378	138	RD384	157	RF26
7	RA30	84	RD340	123	RD379	139	RD385	161	RH09
8	RA31	85	RD341	124	RD380	140	RD386	162	RH10
9	RA32	86	RD342	125	RD381	141	RF07	163	RH11
10	RA33	87	RD343	126	RD382	142	RF08	165	RZ08
11	RA34	88	RD344	127	RD383	143	RF09	167	RZ11
12	RA35	90	RD346	128	RD384	144	RF10	169	RZ13
14	RA37	91	RD347	129	RD385	145	RF12		
15	RA38	92	RD348	130	RD386	146	RF13		
16	RA39	93	RD349	131	RD387	147	RF15		RE: 竪穴状遺構
17	RA40	94	RD350	132	RD388	148	RF16		RD: 土坑
18	RA41	116	RD372	133	RD389	149	RF17		RF: 竪土遺構
19	RA42	117	RD373	134	RD390	150	RF18		RH: 竪石遺構
20	RA43	119	RD375	135	RD391	153	RF21		RZ: 土器埋没遺構

第8図 長谷堂貝塚遺構配置部分図(3)北東側

IV. 検出遺構

検出された遺構（5～8図）

今回の調査で検出された遺構は、竪穴住居跡20棟、竪穴状遺構1棟、掘立柱建物跡3棟、土坑96基、焼土遺構15基、配石遺構6基、土器埋設遺構5基、柱穴状土坑110基、遺物包含層である。それぞれの遺構の時期は縄文時代中期～晩期に亘る。個々の遺構は、時期により占地在り異なり、概ね調査区西側では晩期の遺構が中心になり、南側では後期の遺構が中心、北東側では中期の遺構が中心となる占地在りみられ、時期毎の遺構の変遷と占地のあり方を窺うことができる。

1. 竪穴住居跡（第7～23図、写真図版3～19）

竪穴住居跡は20棟を検出した。占地をみると、調査区の西側に2棟、南側に2棟、北東側に18棟が位置する。時期をみると、西側の2棟は縄文時代晩期である。南側にある2棟のうち、1棟は後期？、1棟は晩期と思われる。北東側にある18棟は中期であり、時期的にまとまりをもって占地していることが窺える。

遺構の認定に際しては、炉の有無と床面、柱・周溝などを手掛りとした。実際にはⅡ層（黒褐色土中）を掘り込んだ黒褐色土の埋土、床面の掘り込みが浅いことから、本来の住居跡の特徴を十分に抽出できなかった。とくに北東側でまとまって検出された18棟の中期の住居跡は重複が激しく、壁を確認できなかったことから、検出された多くの住居跡の規模・平面形が不明もしくは推定値を示すだけに終わっている。

そのなかで貯蔵剥片を伴う住居跡2棟（RA33・35）や4個の土器埋設を伴う複式炉をもつ住居跡（RA35）、廃絶後に貝類の廃棄の場とされた住居跡（RA40）など、いくつかの良好な資料も得られた。

以下に個々の住居跡について詳述するが、住居跡の規模・平面形・特徴や出土遺物については、第3表 竪穴住居跡観察表、第4表 竪穴住居跡出土遺物一覧表を参照されたい。

RA24住居跡

遺構（第9図、写真図版3・4）

〈位置・検出状況〉17K～18Lグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側は旧アパートの基礎による攪乱を受けている。〈重複関係〉中央付近でRH05配石遺構と重複し、切られている。〈規模・平面形〉(5.1)×(3.1)m以上で、円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉Ⅱ層起源の黒褐色土からなる自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁は確認できず、壁高は不明である。床面はⅢ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉炉を中心に9本が検出された。壁柱穴と思われる。規模は径20～43cm、深さ28～58cmで、埋土は黒褐色土の単層である。住居の規模は壁柱穴の位置から推定した。〈炉〉石囲炉が1基検出された。径75×70cmの方形基調で、焼土の厚さは最大4cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第100図、写真図版83）

〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉破片（243）。

時期 縄文時代晩期と思われる。

RA25住居跡

遺構（第9図、写真図版3・4）

〈位置・検出状況〉23U～24Uグリッド。Ⅲ層面で焼土を検出し、住居跡を想定して調査を進めた。

北側・南側ともに攪乱を受けている。〈重複関係〉なし。〈規模・平面形〉径3.6m以上で、円形基調と推定されるが詳細は不明である。〈埋土・堆積状況〉Ⅱ層起源の黒褐色土と推定されるが、詳細は不明である。

〈壁・床面〉壁は不明。床面はⅢ層を掘り込んでつくられている。概ね平坦で、西側の一部に周溝が廻る。

〈柱穴・配置〉PP1～PP3が検出されている。規模は、径20～50cm、深さ16～58cmで、埋土は黒褐色土である。〈炉〉地床炉が2基検出されている。焼土の厚さは最大4cmである。〈その他の付属施設〉東側の一部に幅12cm、深さ5cmの周溝が廻る。

遺物

〈石器〉剥片8.2gが出土している。

時期 詳細は不明である。縄文時代後期の可能性がある。

RA26住居跡

遺構（第9図、写真図版4）

〈位置・検出状況〉18H～19Hグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出された。南側は旧アパート基礎による攪乱を受けており、北側は調査区域外にかかる。複数棟の住居跡が重複している可能性がある。

〈重複関係〉なし。〈規模・平面形〉(7.90)×(2.80)m以上・円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉Ⅱ層起源の黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれており、壁高は南壁で10cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、西から東に向かい緩く傾斜する。

〈柱穴・配置〉13基検出された。径38×26cm、深さ34～76cmで、埋土は黒褐色土の単層で、配置は不明。

〈炉〉地床炉2基を検出している。焼土の厚さは最大5cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第61・100・147・150図、写真図版50・83・122・124・125・132・134・140・142）

〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉立体（1～8）、破片（244～257）。〈石器〉尖頭状石器（1527・1528）、石匙（1583・1586）、不定形石器（1610）、打製石斧（1840）、擦石（1877～1881）、敲打石（1981～1983）、凹石（2018・2019）。

時期 縄文時代晩期末葉～弥生時代と思われる。

RA27住居跡

遺構（第10図、写真図版5・6）

〈位置・検出状況〉29K～30Lグリッド。Ⅱ層で石組炉を検出し、住居跡を想定して調査を行った。

〈重複関係〉RA28住居跡と重複している。新旧関係は不明である。〈規模・平面形〉(5.10)×(4.90)mで、円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉Ⅱ層起源の黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁高は不明。床面はⅡ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉不明である。〈炉〉複式炉が1基検出された。石囲部+前庭部で、規模は径120×(70)cm、石囲部に埋設土器を伴う。焼土の厚さは最大8cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第61・62・100・101・144図、写真図版50・51・83・115・121・125・134）

〈出土状況〉炉の埋設土器（9）があり、他は埋土から出土している。〈土器〉立体（9・10）、破片（258～265）。〈土製品〉円盤状土製品（1079）。〈石器〉石鏃（1401）、不定形石器（1611）、擦石（1882）。

時期 縄文時代中期末葉と思われる。

RA28住居跡

遺構（第10図、写真図版5・6）

〈位置・検出状況〉30K～30Lグリッド。Ⅱ層で石組炉を検出し、住居跡を想定して調査を行った。

〈重複関係〉RA27住居跡と重複する。新旧関係は不明である。〈規模・平面形〉いずれも不明である。

〈埋土・堆積状況〉おもにⅡ層起源の黒褐色土である。自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁は不明である。床面はⅡ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉不明である。〈炉〉石組炉を1基検出している。複式炉の石囲部の可能性があるが判然としない。規模は95×90cmである。焼土の厚さは最大10cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第101・114図、写真図版83・115）

〈出土状況〉石囲炉の上部や周辺から土器（269・270）が出土している。他に埋土から土製品が出土している。〈土器〉破片（266～270）。〈土製品〉円盤状土製品（1080～1082）。

時期 縄文時代中期末葉と思われる。

RA29住居跡

遺構（第10図、写真図版6・7）

〈位置・検出状況〉30J～31Jグリッド。Ⅱ層を掘り下げ中に石組炉を検出した。〈重複関係〉RA30住居跡と重複し、RA29住居跡が新しい。〈規模・平面形〉(4.5)×(3.0)mで、円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれている。壁高は西壁で12cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅡ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉不明である。〈炉〉石囲炉を1基検出した。75×70cmの不整な楕円形で、焼土の厚さは最大4cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第62・101・144図、写真図版51・83・84・115・1883）

〈出土状況〉炉石に擦石（1883）が転用されている。他に土器・土製品が埋土から出土している。〈土器〉立体（11）、破片（271～277）。〈土製品〉円盤状土製品（1083～1085）。〈石器〉擦石（1883）。

時期 縄文時代中期後葉と思われる。

RA30住居跡

遺構（第10図、写真図版7）

〈位置・検出状況〉29I～30Jグリッド。Ⅱ層の精査中に石組炉を検出した。〈重複関係〉RA29住居跡と重複し、RA30住居跡が切られている。〈規模・平面形〉(3.65)×(3.05)mで、円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土であり、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれている。壁高は南壁で30cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅡ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴〉PP1・2の2基を検出している。埋土は黒褐色土である。配置は不明である。〈炉〉石囲炉を1基検出している。規模は60×(40)cmの円形基調で、焼土の厚さは最大7cmである。〈その他の付属施設〉幅30cm、深さ20cmの周溝が廻る。

遺物（第101・102・144図、写真図版84・115・121）

〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉破片（278～285）。〈土製品〉円盤状土製品（1086）。〈石器〉石鏃（1402）。

時期 縄文時代中期後葉と思われる。

RA31住居跡

遺構（第11図、写真図版8）

〈位置・検出状況〉31J～32Jグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりを調査し、石組炉を確認し、住居跡と認定した。住居跡の中央付近が東西に攪乱を受けている。北側は調査区域外である。〈重複関係〉なし。〈規模・平面形〉(4.8)×(3.90)m、円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁高は不明。床面はⅡ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉PP1～PP9の9基が検出された。埋土は黒褐色土である。配置は不明である。〈炉〉石組炉を1基検出した。径55～(35)cmで南側は攪乱を受け消失している。焼土の厚さ最大7cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第62・102・143・144図、写真図版51・84・114・115・120・121・122・125・129・134・140・142）
〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉立体（12～14）、破片（286～298）。〈土製品〉土錘（1077）、円盤状土製品（1087～1091）、焼成粘土塊（1355・1356）。〈石器〉石鏃（1403・1404）、尖頭器（1529）、不定形石器（1612）、RF（1744）、擦石（1884）、敲石（1984～1986）、凹石（2020）。

時期 縄文時代中期末葉と思われる。

RA32住居跡

遺構（第11図、写真図版8・9）

〈位置・検出状況〉31K～31Lグリッド。Ⅱ層を精査中に石囲炉を検出し、住居跡と認定した。〈重複関係〉なし。〈規模・平面形〉(4.5)×(4.5)m、円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれている。壁高は残存する西壁で5cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅡ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉炉の軸線上にPP1の1基が検出された。埋土は黒褐色土である。〈炉〉住居跡の北西側で複式炉1基が検出された。石囲部+前庭部で、規模は120×100cm、焼土の厚さは最大10cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第102・103・143・144・146図、写真図版84・114・115・121・123・125・128・129・147）
〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉破片（299～310）。〈土製品〉耳飾（1073）、円盤状土製品（1092～1095）。〈石器〉石鏃（1405～1407）、石錐（1559）、不定形石器（1613・1614）、両極石器（1711）、RF（1745）、石皿（2078）。

時期 縄文時代中期末葉と思われる。

RA33住居跡

遺構（第12・15図、写真図版9）

〈位置・検出状況〉29I～30Iグリッド。Ⅱ層を掘り下げ中、石囲炉を検出し、住居跡と認定した。北側が調査区域外にかかる。〈重複関係〉RA35（東側）・RA41と重複し、RA33が新しい。〈規模・平面形〉(4.0)×(3.9)m、円形を基調とするものと推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁は不明である。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉PP1～PP5の5基が検出された。大きさにややばらつきがある。〈炉〉石組炉が1基検出された。径150×70cmで、石囲部は調査区域外に延びる。複式炉の石囲部の可能性がある。焼土の厚さは最大6cmであ

る。〈その他の付属施設〉幅20cm、深さ8cmの周溝が廻る。住居跡の南東側から貯蔵剥片が出土している。径16.6×13.6cm、深さ8cmの楕円形の掘り込みに、同一石材（チャート）の剥片60点（2201～2257・2260～2262）が貯蔵されていた。3回に分けて採取しており、図示したのは2回目の出土状況である。図中では20点の剥片があり、2209・2212（接2）、2255・2256・2257（接7）が接合している。貯蔵剥片の分析結果は、第七章1. 貯蔵剥片の頁（P251）を参照されたい。

遺物（第62・103・144・154～156図、写真図版51・84・85・115・125・129・149～151・163）

〈出土状況〉埋土から土器・石器、琥珀、住居内土坑から貯蔵剥片が出土している。〈土器〉立体（15）、破片（311～327）。〈土製品〉円盤状土製品（1096・1097）。〈石器〉不定形石器（1615）、RF（1746）、貯蔵剥片（2201～2262）。琥珀（2593・2594）。琥珀の分析結果は、第七章5. 琥珀の頁（P287）を参照されたい。

時期 縄文時代中期後葉と思われる。

RA34住居跡

遺構（第12・15図、写真図版10・11）

〈位置・検出状況〉30J～31Jグリッド。Ⅱ層の精査中に石囲炉を検出し、住居跡として認定した。北側が調査区域外にかかる。〈重複関係〉RA35住居跡と重複する。〈規模・平面形〉6.0×(3.45)m以上、円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁は不明である。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉PP1～PP6の6基が検出された。埋土は黒褐色土である。配置は不明である。〈炉〉石囲炉1基を検出した。規模は径70×62cmで、焼土の厚さは最大6cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第62・104・143図、写真図版51・85・114・125）

〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉立体（16）、破片（328～333）。〈土製品〉土錘（1078）。〈石器〉不定形石器（1616）。

時期 縄文時代中期後葉～末葉と思われる。

RA35住居跡

遺構（第14・15図、写真図版10・11）

〈位置・検出状況〉30J～32Jグリッド。Ⅱ層の精査中に石囲炉を確認し、住居跡として認定した。北側が調査区域外にかかる。住居跡の南側半分の検出となった。〈重複関係〉RA34住居跡と重複する。〈規模・平面形〉7.2×(3.6)m以上、円形を基調とするものと推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれている。壁高は南壁で25cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉PP1～PP5の5基が検出された。PP2・3は柱の掘り方と当たりが確認された。複式炉の長軸の延長線にあたる住居跡の軸線を基準としたPP2・3・1・4を主柱穴とする8本柱と推定される。〈炉〉複式炉1基が検出された。北側が調査区域外にかかる。石囲土器埋設部+前庭部で、規模は、径200×(45)cmである。埋設土器は4基あり、石囲部の中央に正位で1基、南側に横位に並んだ状態で2基、西側に斜位で1基、いずれも石囲部の中央に口縁を向けて埋設されている。正位で埋設された土器（21）は精製の深鉢、他は粗製の深鉢で、いずれも上半部を欠いている。〈その他の付属施設〉幅10cm、深さ6cmの周溝が廻る。住居跡の西側の土坑から貯蔵剥片が出土している。径29×19cm、深さ10cmの楕円形の掘り込みに、同一石材（タンパク石）の剥片55

点(2263~2317)が貯蔵されていた。3回に分けて採取しており、図示したのは2回目の出土状況である。図中では32点の剥片があり、2305・2306(接15)、2307・2308(接16)が接合している。貯蔵剥片の分析結果は第七章1.貯蔵剥片の頁(P251)を参照されたい。

遺物(第63・64・104・148・153・156~160図、写真図版52・86・124・132・148・152・153)

〈出土状況〉複式炉から石組部の中央に正位で埋設された1基(21)、南側に横位で埋設された2基(18・19)、西側に斜位で埋設された1基(20)が出土しており、他に埋土から出土している。

〈土器〉立体(17~21)・破片(334~335)。〈石器〉石匙(1584)、磨製石斧(1850)、〈石製品〉石錘(2103)貯蔵剥片(2263~2317)。

時期 縄文時代中期末葉と思われる。

RA36住居跡

遺構(第17図、写真図版12)

〈位置・検出状況〉29Q~30Qグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出された。南側が攪乱を受けている。〈重複関係〉なし。〈規模・平面形〉6.2×(4.3)m、円形基調と思われるが、推定の域を出ない。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁は北西側に一部痕跡を確認しただけである。床面はⅡ層を掘り込み、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉不明である。〈炉〉石組炉が1基検出されている。径75×70cmの円形で、焼土の厚さは最大10cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物(第65・104・105・141・144・146・153図、写真図版53・86・113・115・121・123・142・147・148)

〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉立体(22)・破片(336~355)。〈土製品〉土偶(1053)。円盤状土製品(1098~1100)。〈石器〉石鏃(1408~1411)、石錐(1560)、凹石(2021・2022)、石皿(2079)、〈石製品〉石製円盤(2104)。

時期 縄文時代晩期前葉と思われる。

RA37住居跡

遺構(第18図、写真図版12・13)

〈位置・検出状況〉30K~31Kグリッド。Ⅱ層の精査中に石囲炉を確認し、住居跡と認定した。〈重複関係〉RA39と重複する。新旧関係は不明である。〈規模・平面形〉不明である。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉床面はⅡ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉炉を中心に周囲に検出されたPP1~PP10が伴う可能性がある。埋土は黒褐色土である。

〈炉〉複式炉が1基検出されている。石囲部+前庭部と思われるが、前庭部の形状は判然としないが、粘土を貼っていた痕跡が確認された。規模は径200×92cmで、焼土の厚さは最大12cmである。〈その他の付属施設〉貯蔵剥片が炉の直下から出土している。同一石材(頁岩)の剥片17点がまとまって出土したことから貯蔵剥片の可能性はあるが、貯蔵していたと考えられる掘り込み(ピット)は確認できていない。同地点は遺構の重複が激しい地点であり、他の住居跡に伴う貯蔵剥片の可能性もある。貯蔵剥片の分析結果は、第七章1.貯蔵剥片の頁(P251)を参照されたい。

遺物(第65・105・106・141・144・150・160図、写真図版53・86・113・115・128・134・140・154)

〈出土状況〉複式炉の北側床上から横転した状態で深鉢(27)が出土している。他は埋土から出土している。

〈土器〉立体(23~27)、破片(356~365)。〈土製品〉土偶(1054)、円盤状土製品(1101~1110)。〈石器〉

両極石器 (1712)、RF (1714)、擦石 (1885)、敲石 (1988)、貯蔵剥片 (2330~2336)。

時期 縄文時代中期末葉と思われる。

RA38住居跡

遺構 (第19図、写真図版14)

〈位置・検出状況〉32L~33Kグリッド。Ⅱ層の精査中に石囲炉を検出した。南北で攪乱を受け、西側は調査区域外にかかる。〈重複関係〉本来の住居跡は周辺の土坑群と重複していたものと思われる。〈規模・平面形〉(5.3)以上×(4.9)m、円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁は不明である。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉PP1~PP24の24基が炉の周辺に検出された。配置は不明だが、PP1-PP3-PP4-PP5-PP7が主柱穴を構成するものと思われる。埋土は黒褐色土である。〈炉〉土器埋設石囲炉を検出した。規模は、径85×75cmの石囲炉に深鉢形土器の口縁部が倒立で埋設されていた。焼土の厚さは最大10cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物 (第66・106・144・146図、写真図版53・87・115・121・123・125・129・142)

〈出土状況〉土器埋設石囲炉に埋設されていた土器 (28) が出土しており、他に埋土から出土している。

〈土器〉立体 (28~29)、破片 (366~376)。〈土製品〉円盤状土製品 (1111~1115)。〈石器〉石鏃 (1412・1413)、尖頭器 (1556)、石錐 (1566)、不定形石器 (1618・1619)、RF (1748)、凹石 (2023)。

時期 縄文時代中期後葉と思われる。

RA39住居跡

遺構 (第18図、写真図版12・13)

〈位置・検出状況〉31K~32Kグリッド。Ⅱ層の精査中に石囲炉を検出し、住居跡として認定した。〈重複関係〉RA37住居跡と重複する。新旧関係は不明である。〈規模・平面形〉(5.9)×(5.8)m以上、円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。〈壁・床面〉壁は不明である。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉PP1~PP25が検出された。PP1-PP12-PP13が主柱穴を構成する可能性がある。〈炉〉石組炉が1基検出されている。規模は径56×45cmで、西側には石組が確認されない。東側にある欠損している石は立石であった可能性がある。焼土の厚さは最大10cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物 (第66・106・107・145図、写真図版54・87・115・134)

〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉立体 (30)、破片 (377~379)。〈土製品〉円盤状土製品 (1116・1117)。〈石器〉擦石 (1886)。

時期 縄文時代中期末葉と思われる。

RA40住居跡

遺構 (第20~23図、写真図版15・16)

〈位置・検出状況〉28L~29Lグリッド。Ⅱ層を精査中に掘り込みを確認し、住居跡を想定して調査を行った。〈重複関係〉南側でRA42住居跡と重複し、RA42住居跡が新しい。住居跡埋土中に焼土遺構 (RF25)・配石遺構 (RH10)・貝層、住居跡の下位から土坑群 (RD391~396) が検出されている。新旧関係 (旧→

新)は、RD391～396→RA42→RA40→貝層の廃棄→RH10→RF25である。

〈規模・平面形〉(6.0)×(5.0)m以上、平面形は円形基調と思われる。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、堆積中に貝層、焼土遺構、配石遺構がある。〈壁・床面〉壁はⅡ層を掘り込んでつくられ、東側で外傾して立ち上がる。壁高は35cmである。床面はⅢ層を掘り込んでつくられている。〈柱穴・配置〉PP1～PP10が検出された。PP1-PP3-PP4-PP6-PP10が主柱穴を構成するものと思われる。径34～66cm、深さ32～58cmである。埋土は黒褐色土である。〈炉〉石囲炉1基を検出した。規模は径120×90cmの方形で、焼土の厚さは最大10cmである。〈その他の付属施設〉なし。

〈貝層〉RA40住居跡の埋土中から貝層が検出された。最初に北側の攪乱部分を掘り下げた際に断面から貝層の存在と下位にある土坑の存在を確認している。その後、同グリッドの精査を進め、30Mグリッド杭の付近で最初の貝層(RZ11)を確認した。RZ11の精査終了後、同地点の精査を進めたところ、断続的にさらに北側に向かって下位に貝層が形成されていることが判った。その後、断面図の土層観察から住居内に貝層が廃棄された可能性を考えて精査を進めた。以後の貝層にはRA40Na.1～番号を付している。貝層の採取に際しては、確認できた貝層の広がり単位として採取している。RA40Na.1付の貝層とRZ11貝層は一連の貝層と理解される。廃棄の新旧関係は、大局的にはRA40Na.20→19→13・15→11・8→RZ11と把握できる。時期は、住居廃絶後中期中葉～後葉と思われる。貝層の組成の分析結果については第V章6. 動物遺存体の頁(P210)を参照されたい。

遺物(第67・68・145・146・147・162図、写真図版54・55・115・121・124・125・131・134・147・148)
〈出土状況〉石囲炉の火床面が埋没した後に直上から土器底部片(38)と石棒(2089)が出土している他、埋土から多数の土器・石器・骨角器・動物遺存体が出土している。〈土器〉立体(31～39)、破片(380～480)。
〈土製品〉円盤状土製品(1118～1120)、〈石器〉石鏃(1414～1416)、石匙(1585)、不定形石器(1620・1621)、石核(1829)、擦石(1887～1889・1892)、凹石(2081)。〈石製品〉石棒(2089)、〈骨角器〉(2351・2352)。

時期 縄文時代中期中葉以降と思われる。

RA41住居跡

遺構(第12図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉29I～30Jグリッド。RA33住居跡の石囲炉の下位に先行する石囲炉を確認し、住居跡とした。〈重複関係〉RA33住居跡と重複し、RA41住居跡が切られている。〈規模・平面形〉不明。〈埋土・堆積状況〉不明。〈壁・床面〉不明。〈柱穴・配置〉不明。〈炉〉石囲炉が1基検出されている。径100×50cmの焼土の両側縁に石組みがある。焼土の厚さは最大10cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物 〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉破片416g。

時期 縄文時代中期後葉と思われる。

RA42住居跡

遺構(第20図、写真図版17)

〈位置・検出状況〉28L～29Mグリッド。RA40住居跡の精査中に石囲炉を確認して住居跡と認識した。〈重複関係〉RA40住居跡と重複し、RA42住居跡が切っている。〈規模・平面形〉5.5×(4.0)m以上、円形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土からなり、自然堆積である。〈壁・床面〉壁は不明。黒色土を掘り込んでいるものと思われる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられている。〈柱穴・配置〉PP1～

PP10が検出された。これらの規模は径17～65cm、深さ11～65cmである。〈炉〉石囲炉1基を検出した。径57×53cmで、焼土の厚さは最大8cmである。〈その他の付属施設〉住居跡の南西側に幅15cm、深さ5cmの周溝が廻る。

遺物（第109・149図、写真図版89・134）

〈出土状況〉石囲炉の囲の一部として用いられていた土器片（431）の他、埋土から出土している。

〈土器〉破片（431・432）。〈石器〉擦石（1893）。

時期 縄文時代中期中葉以降と思われる。

RA43住居跡

遺構（第19図、写真図版17）

〈位置・検出状況〉32K～33Lグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外にかかる。北東側の一部が攪乱を受けている。〈重複関係〉RA38住居跡と重複する。〈規模・平面形〉(2.8)×3.8m以上、方形基調と推定される。〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土からなり、自然堆積である。

〈壁・床面〉壁は不明である。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。〈柱穴・配置〉PP1～PP6が検出された。規模は径46～20cm、深さ9～39cmである。埋土は黒褐色土である。配置の詳細は不明だが、PP1・2-5が支柱穴を構成するものと思われる。〈炉〉土器埋設炉が1基検出されている。径60×40cmで、焼土の厚さは最大11cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第68・109・116図、写真図版55・89・94）

〈出土状況〉土器埋設炉の土器（601・602）の他、埋土から出土している。

〈土器〉立体（40～42）、破片（433・434・601・602）。

時期 縄文時代中期と思われる。

2. 竪穴状遺構（第17図、写真図版18）

竪穴住居跡と同様に竪穴状の掘り込みを確認したが、炉跡や平坦な床面などが確認できなかったものである。調査区南側で1棟検出している。

RE02竪穴状遺構

遺構（第17図、写真図版18）

〈位置・検出状況〉21T～22Uグリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出した。南側は攪乱を受けており、さらに調査区域外にかかる。〈重複関係〉なし。〈規模・平面形〉3.7×(1.65)m以上と推定される。円形基調と思われるが、やや不整である。〈埋土・堆積状況〉黒褐色土で、自然堆積と推定される。〈壁・床面〉壁は外傾する。北側の壁高は40cmである。床はⅢ層を掘り込んでつくられているが、やや凹凸をもつ。〈柱穴・配置〉PP1～3の3基を検出した。配置は不明である。埋土は黒褐色土である。〈炉〉なし。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第71・109図、写真図版58・89）

〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉立体（58・59）、破片（435～438）。

時期 縄文時代後期と思われる。

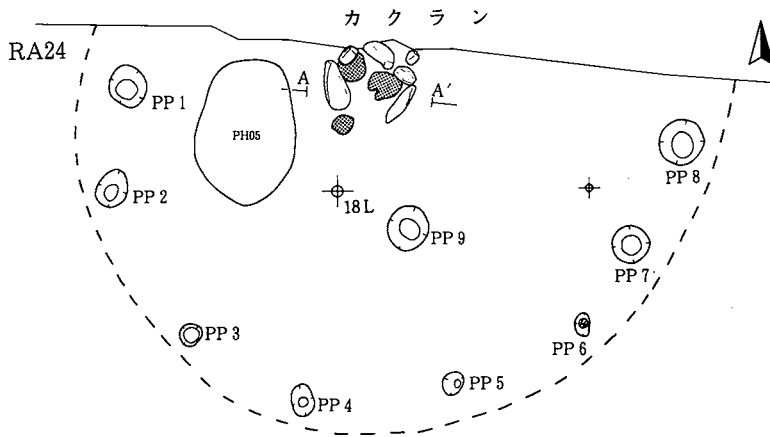
第3表 竪穴住居跡観察表

No.	遺構名	図版 No.	写図 No.	位置 (グリッド)	住居跡の規模・形態などの特徴					炉の形態・規模などの特徴		焼土の 厚さ (cm)	付属施設	重複関係(旧→新) (直接の重複関係のみ)	備考	時期
					検出面	床面	平面形	規模(m)※1	柱穴・柱配置	形態※2	規模(m)					
1	RA24	9	3・4	17K~18L	Ⅱ層	Ⅲ層	円形?	5.1×(3.1)	9・壁柱穴	石囲炉(方?)	75×70	4	なし	RA24→RH05	北側攪乱	晩期
2	RA25	9	3・4	23U~24U	Ⅲ層	Ⅲ層	不明	(3.6)以上	4・不明	地床炉	25×20	4	周溝	なし	周辺攪乱	不明、後期?
3	RA26	9	4	18H~19H	Ⅱ層	Ⅲ層	円形?	(7.90)×(2.8)	13・不明	地床炉	38×34	5	なし	なし	複数住居の重複	晩期末葉
4	RA27	10	5・6	29K~30L	Ⅱ層	Ⅱ層	円形?	(5.1)×(4.9)	3・柱穴?	複式炉(土器埋設)	120×(70)	8	なし	RA28と重複	なし	中期末葉
5	RA28	10	5・6	30K~30L	Ⅱ層	Ⅱ層	不明	不明	-	複式炉?	(95)×(90)	10	なし	RA27と重複	なし	中期末葉
6	RA29	10	6・7	30J~31J	Ⅱ層	Ⅱ層	円形?	(4.5)×(3.0)	-	石囲炉(円)	75×70	4	なし	RA30→RA29	北側調査区外	中期後葉?
7	RA30	10	7	29I~30J	Ⅱ層	Ⅱ層	円形?	(3.65)×(3.05)	2・不明	石囲炉(円)	60×(40)	7	周溝	RA30→RA29	北側調査区外	中期後葉?
8	RA31	11	8	31J~32J	Ⅱ層	Ⅱ層	円形?	(4.80)×(3.90)	9・不明	石囲炉(方?)	55×(35)	7	なし	なし	北側調査区外	中期末葉
9	RA32	11	8・9	31K~31L	Ⅱ層	Ⅱ層	円形?	(4.50)×(4.50)	1	複式炉(石組)	120×100	10	なし	RA39と重複	なし	中期末葉
10	RA33	12・15	9	29I~30J	Ⅱ層	Ⅲ層	円形	(5.00)×(6.20)	6	複式炉(石組)?	150	14	周溝・ 貯蔵剥片	RA41→RA33	北側調査区外	中期後葉
11	RA34	12・15	10・11	30J~31J	Ⅱ層	Ⅲ層	円形?	6.00×(3.45)	6	石囲炉(円?)	70×62	4	なし	RA35と重複	北側調査区外	中期後葉~末葉
12	RA35	14・15	10・11	30J~32J	Ⅱ層	Ⅲ層	円形?	7.20×(3.60)	5・8本柱	複式炉(土器埋設)	200×(45)	5	周溝・ 貯蔵剥片	RA33・34・41と重複	北側調査区外	中期末葉
13	RA36	17	12	29Q~30R	Ⅱ層	Ⅱ層	円形?	(6.20)×(4.30)	不明	石囲炉(円?)	70×75	10	なし	なし	なし	晩期前葉
14	RA37	18	12・13	30K~31K	Ⅱ層	Ⅲ層	不明	-	17・不明	複式炉(石組)	92×(200)	12	なし	RA39・32と重複	なし	中期末葉
15	RA38	19	14	32L~33K	Ⅱ層	Ⅲ層	円形?	(5.30)×(4.90)	24・不明	土器埋設石囲炉	85×75	10	なし	RA43と重複	周辺攪乱	中期後葉
16	RA39	18	12・13	31K~32K	Ⅱ層	Ⅲ層	円形?	(5.90)×(5.80)	17・不明	石囲炉(円形)	56×(45)	10	なし	RA37と重複	なし	中期末葉
17	RA40	20・21 22・23	15・16	28L~29M	Ⅱ層	Ⅲ層	楕円?	(6.00)×(5.00)	5?・不明	石囲炉(方)	120×90	10	周溝	RD391~396→RA42→ RA40 RA40→RH10→RF25	埋土に貝層混入 北側攪乱	中期中葉~
18	RA41	12	9	29I~30J	Ⅲ層	Ⅲ層	不明	不明	不明	石囲炉?	(50)×(50)	10	周溝	RA41→RA33	北側調査区域外	~中期後葉
19	RA42	20	17	28L~29M	Ⅱ層	Ⅲ層	-	(5.50)×(4.00)	8?・不明	石囲炉(方)	57×53	8	周溝	RA42→RA40	なし	中期中葉~
20	RA43	19	17	32K~33L	Ⅱ層	Ⅲ層	不明	径(3.00)以上	6	土器埋設石囲炉	60×40	11	なし	RA38と重複	東側調査区域外	中期
21	RE02	17	18	21T~22U	Ⅲ層	Ⅲ層	不整な 円形	3.70×(1.65)	3	-	-	-	なし	なし	なし	後期

※1()内数値:残存値、※2石囲炉の形態=円:円形基調、方:方形基調

第4表 竪穴住居跡別出土遺物一覧表(掲載No.)

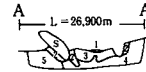
No.	遺構名	土器		土製品	石鏃	尖頭器	石錐	石匙	不定形	両極	RF	石核	石斧		敲磨器			台石 石皿	石製品	貯蔵 剥片	出土遺物重量(g)		備考		
		立体	破片										打製	磨製	擦石	敲打石	凹石				土器	石器剥片			
1	RA24		243																			1			
2	RA25																					8.72			
3	RA26	1~8	244~257			1527~ 1528		1583・ 1586	1610				1840		1877~ 1881	1981~ 1983	2018~ 2019				10,897	528.136			
4	RA27	9・10	258~265	1079	1401				1611						1882							7,026	317		
5	RA28		266~270	1080~1082																		3,818	323		
6	RA29	11	271~277	1083~1085											1883							10,067	25.55		
7	RA30		278~285	1076~1086	1402																	4,220	25.6		
8	RA31	12~14	286~298	1355~1356 1077・ 1087~1091	1403・1404	1529	1557 1558		1612		1744				1884	1984~ 1986	2020					22,277	121		
9	RA32		299~310	1073・ 1092~1095	1405~1407		1559		1613・ 1614	1711	1745							2078				21,122	303.58		
10	RA33	15	311~327	1096・1097					1615		1746									2201~ 2262		21,703	94.22	琥珀 貯蔵剥片	
11	RA34	16	328~333	1078					1616													3,298	44		
12	RA35	17~21	334~335					1584						1850					2103	2263~ 2217		9,286	74	貯蔵剥片	
13	RA36	22	336~355	1053 1098~1100	1408~1411		1560										2021・ 2022	2079	2104			16,164	112		
14	RA37	23~27	356~365	1054 1101~1110						1712	1747				1885	1988				2330~ 2336		21,785	259.63	貯蔵剥片	
15	RA38	28~29	366~376	1111~1115	1412~1413	1556	1566		1618・ 1619		1748											2023	15,585	31.3	
16	RA39	30	377~379	1116~1117											1886							22,719	8		
17	RA40	31~39	380~480	1118~1120 1357	1414~1416			1585	1620~ 1621			1829			1887 ~ 1889・ 1892			2081	2089			56,328	346	動物遺存体	
18	RA41																					416	0		
19	RA42		431・432												1893							261	0		
20	RA43	40~42	433・434																			2,424	0		
21	RE02	58・59	453~438																			2,782	3		



RA24

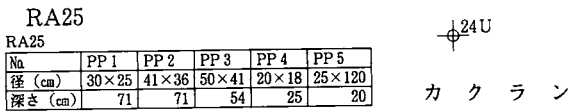
No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径 (cm)	30×28	30×25	19×16	25×18	20×16
深さ (cm)	5	10	6	15	5

No	PP 6	PP 7	PP 8	PP 9
径 (cm)	18×13	30×30	36×35	36×32
深さ (cm)	5	18	30	20

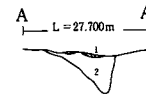


RA24 (A-A')

層位	色調	土性	
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	締まりや中硬 炭 2% 混入
2	10YR3/3 暗褐色	シルト	締まりや中硬 黄褐色土粒 2%、炭 2% 混入
3	10YR3/4 暗褐色	シルト	締まり中 黄褐色土粒 10%、焼土粒 2% 混入
4	10YR5/8 黄褐色	ローム	締まり中 暗褐色土混入
5	10YR3/3 暗褐色	シルト	締まり中 RD287の焼土



No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径 (cm)	30×25	41×36	50×41	20×18	25×120
深さ (cm)	71	71	54	25	20



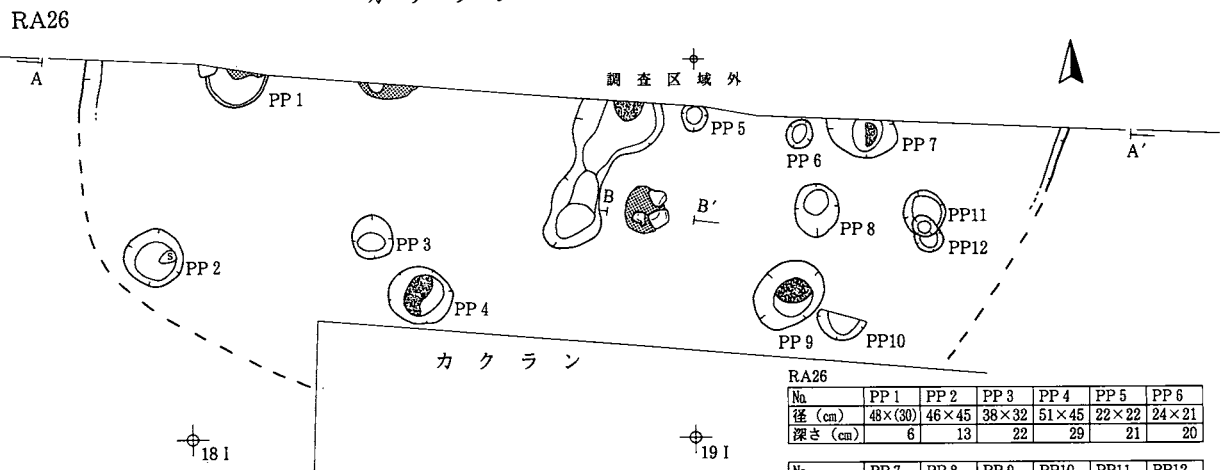
RA25 (A-A')

層位	色調	土性	
1	2.5Y5/8 明赤褐色	焼土	締まり密
2	10YR2/2 黒褐色	シルト	締まり中 炭化物 1%、黄褐色土 5% 混入



RA25 (B-B')

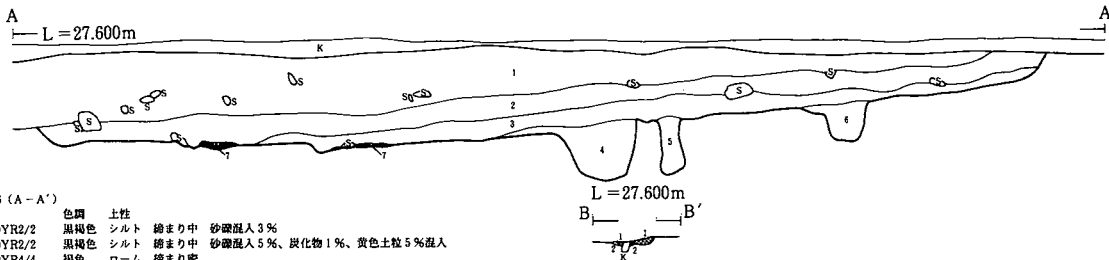
層位	色調	土性	
1a	2.5Y4/6 赤褐色	焼土	締まり中
1b	2.5Y5/8 明赤褐色	焼土	締まり密
2	10YR2/2 黒褐色	シルト	締まり中



RA26

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6
径 (cm)	48×(30)	46×45	38×32	51×45	22×22	24×21
深さ (cm)	6	13	22	29	21	20

No	PP 7	PP 8	PP 9	PP 10	PP 11	PP 12
径 (cm)	60×(32)	44×36	60×48	40×(20)	37×34	22×(18)
深さ (cm)	31	34	58	12	51	13

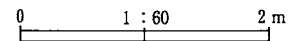


RA26 (A-A')

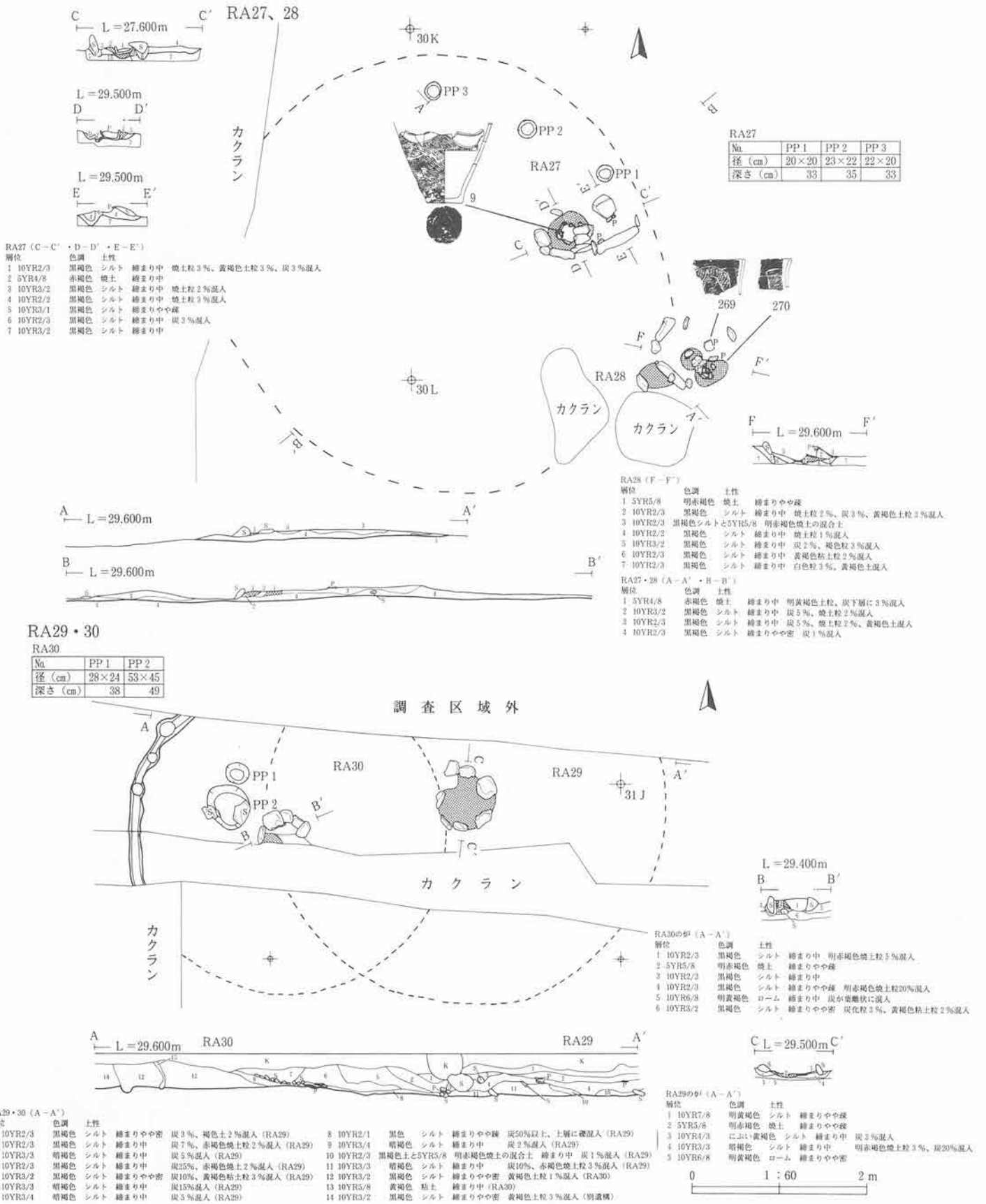
層位	色調	土性	
1	10YR2/2 黒褐色	シルト	締まり中 砂礫混入 3%
2	10YR2/2 黒褐色	シルト	締まり中 砂礫混入 5%、炭化物 1%、黄色土粒 5% 混入
3	10YR4/4 褐色	ローム	締まり密
4	10YR4/4 褐色	ローム	締まり密
5	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中 黄褐色土粒 3% 混入
6	10YR4/4 褐色	シルト	締まり中 黄褐色土粒 3% 混入
7	5YR4/6 赤褐色	焼土	締まり密 黄色土混入 1%

RA26 (B-B')

層位	色調	土性	
1	5YR4/6 赤褐色	焼土	締まり密 黄色土混入 1%
2	10YR1.7/1 黒色	シルト	締まり疎



第 9 図 RA24・25・26住居跡

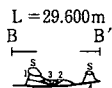


第10図 RA27・28・29・30住居跡

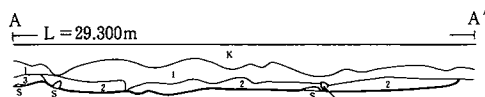
RA31

RA31					
No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径 (cm)	37×27	31×29	25×24	26×26	36×32
深さ (cm)	20	32	15	50	30

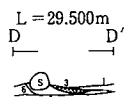
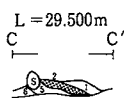
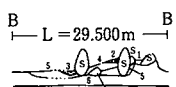
No	PP 6	PP 7	PP 8	PP 9
径 (cm)	38×37	25×21	47×(35)	36×(34)
深さ (cm)	40	45	25	22



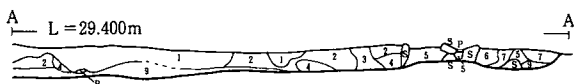
- RA31の跡 (B-B')
- | 層位 | 色調 | 土性 | 特徴 |
|----|---------|--------|----------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色シルト | 締まり中 炭3%混入 |
| 2 | 10YR7/8 | 黄褐色シルト | 締まりやや中密 |
| 3 | 5YR5/8 | 明赤褐色焼土 | 締まりやや中疎 |
| 4 | 10YR3/2 | 黒褐色シルト | 締まり中 炭5%、明赤褐色焼土粒2%混入 |



- RA31 (A-A')
- | 層位 | 色調 | 土性 | 特徴 |
|----|---------|--------|-----------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色シルト | 締まりやや中密 炭3%、褐色土2%混入 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色シルト | 締まり中 炭5%、明赤褐色焼土粒3%混入 |
| 3 | 10YR3/3 | 暗褐色シルト | 締まりやや中密 炭7%、赤褐色焼土2%混入 |

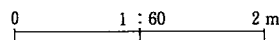


- RA32の跡 (B-B') (C-C') (D-D')
- | 層位 | 色調 | 土性 | 特徴 |
|----|---------|--------|------------------|
| 1 | 10YR3/3 | 暗褐色シルト | 締まり中 焼土粒3%、炭3%混入 |
| 2 | 10YR9/8 | 黄褐色焼土 | 締まりやや中疎 |
| 3 | 5YR5/8 | 明赤褐色焼土 | 締まり中 |
| 4 | 10YR2/3 | 黒褐色シルト | 締まり中 炭10%、炭7%混入 |
| 5 | 10YR3/3 | 暗褐色シルト | 締まり中 炭3%混入 |
| 6 | 10YR2/2 | 黒褐色シルト | 締まり中 |

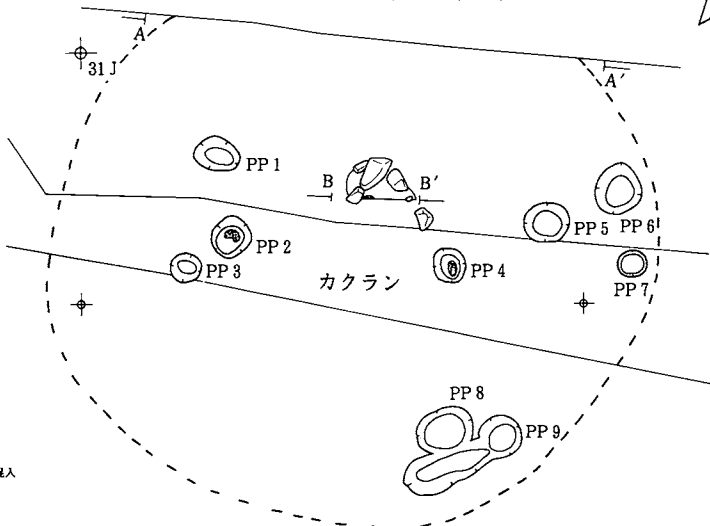


- RA32 (A-A')
- | 層位 | 色調 | 土性 | 特徴 |
|----|---------|--------|--------------------------|
| 1 | 10YR2/2 | 黒褐色シルト | 締まりやや中密 炭5%、褐色粒5%混入 |
| 2 | 10YR2/2 | 黒褐色シルト | 締まりやや中密 炭5%、微褐色粒土粒3%混入 |
| 3 | 10YR2/2 | 黒褐色シルト | 締まりやや中密 炭2%、褐色粒15%混入 |
| 4 | 10YR2/3 | 黒褐色シルト | 締まりやや中密 炭2%混入 |
| 5 | 10YR3/3 | 暗褐色シルト | 締まり中 炭10%、赤褐色粒3%、褐色粒3%混入 |
| 6 | 10YR2/3 | 黒褐色シルト | 締まり中 炭2%、褐色15%、赤褐色粒3%混入 |
| 7 | 10YR4/4 | 褐色ローム | 締まりやや中密 細砂混入 |
| 8 | 10YR3/4 | 暗褐色シルト | 締まり中 炭2%、褐色粒3%混入 |
| 9 | 10YR3/3 | 暗褐色シルト | 締まりやや中疎 炭2%、赤褐色焼土5%混入 |

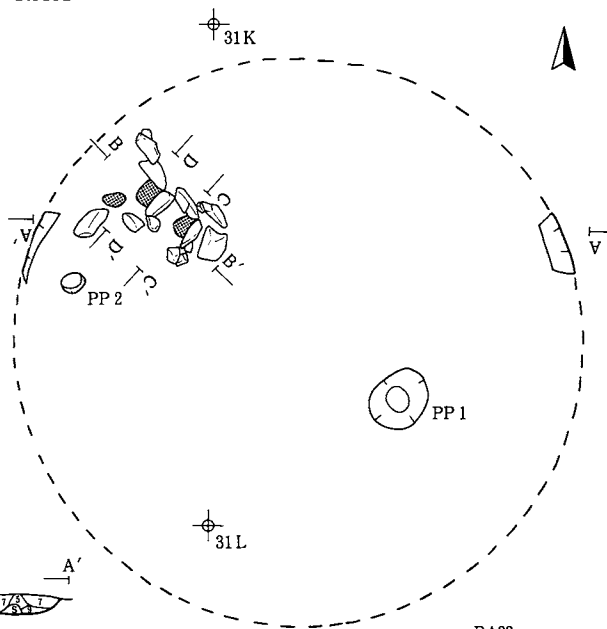
RA32		
No	PP 1	PP 2
径 (cm)	52×43	18×16
深さ (cm)	30	28



調査区域外



RA32



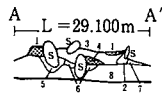
第11図 RA31・32住居跡

RA33・41

調査区域外

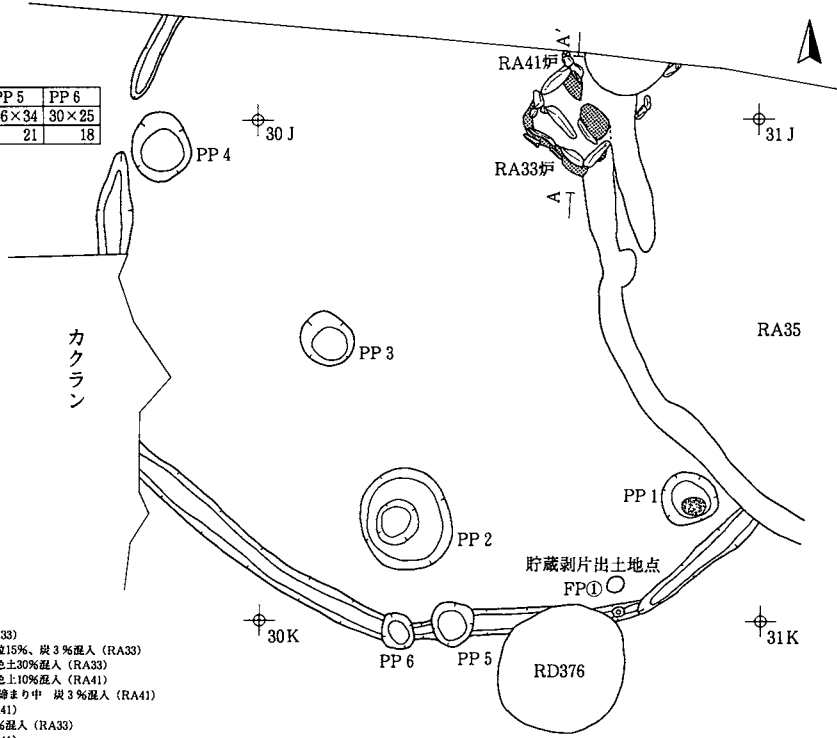
RA33

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6
径 (cm)	44×41	80×70	45×41	54×48	36×34	30×25
深さ (cm)	59	54	30	47	21	18



RA33・41の炉 (A-A')

層位	色調	土性		
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	締まりやや疎	(RA33)
2	10YR3/2 黒褐色	シルト	締まり中	焼土粒15%、炭3%混入 (RA33)
3	10YR6/8 明黄褐色	ローム	締まりやや密	暗褐色土30%混入 (RA33)
4	5YR5/8 明赤褐色	焼土	締まり中	暗褐色土10%混入 (RA41)
5	5YR5/8 明赤褐色焼土と10YR3/2 黒褐色	焼土の混合土	締まり中	炭3%混入 (RA41)
6	10YR3/2 黒褐色	シルト	締まり中	(RA41)
7	10YR5/4 にぶい黄褐色	ローム	締まり中	炭5%混入 (RA33)
8	10YR6/4 にぶい黄褐色	ローム	締まりやや密	(RA41)

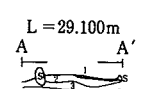


RA34

調査区域外

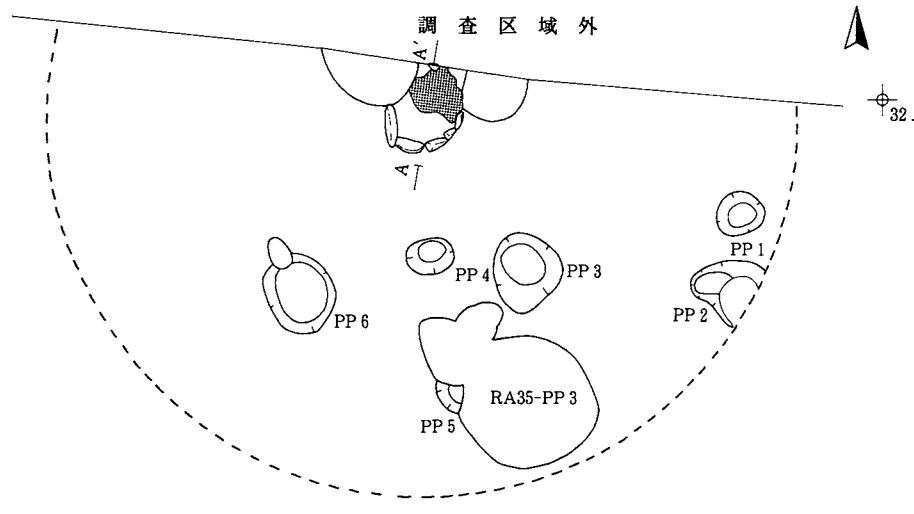
30 J

32 J



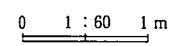
RA34の炉 (A-A')

層位	色調	土性		
1	10YR3/2 黒褐色	シルト	締まり中	黄色粘土粒3%、炭2%混入
2	10YR4/4 褐色	シルト	締まり中	黄色粘土粒15%混入
3	10YR6/8 明黄褐色	ローム	締まりやや密	

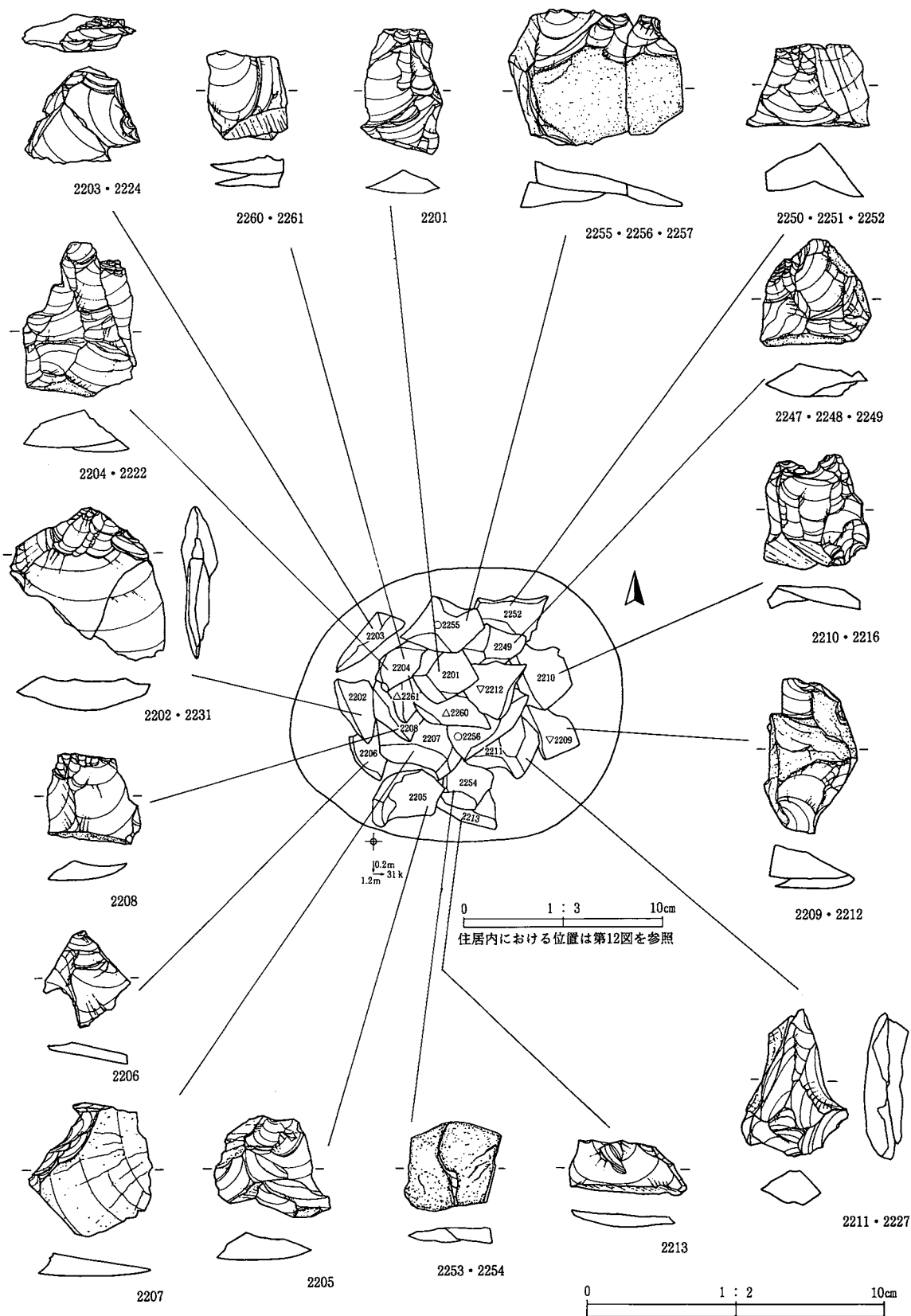


RA34

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6
径 (cm)	38×35	(30×42)	58×58	39×28	(22)	66×53
深さ (cm)	82	64	32	76	45	60

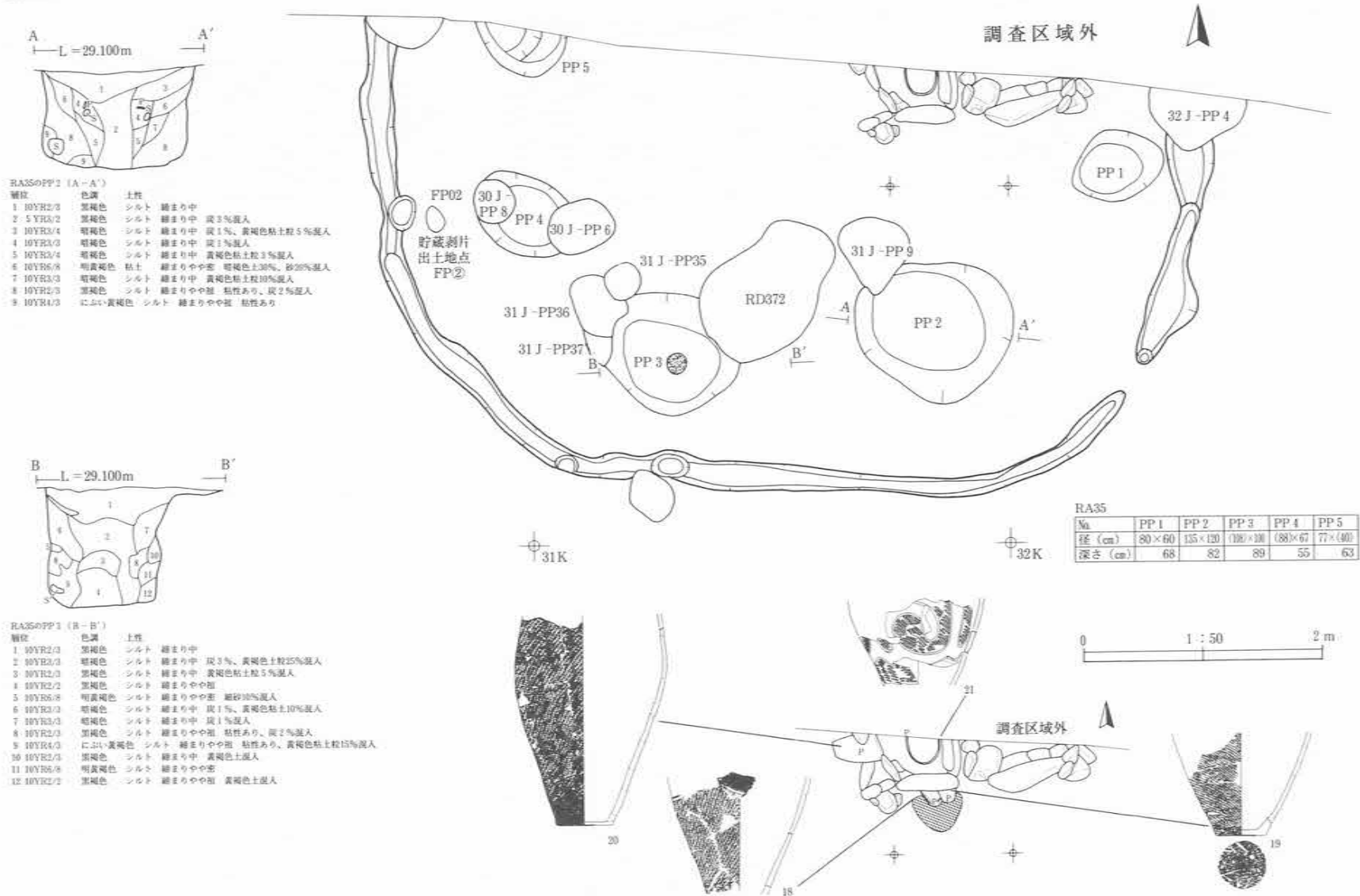


第12図 RA33・34・41住居跡

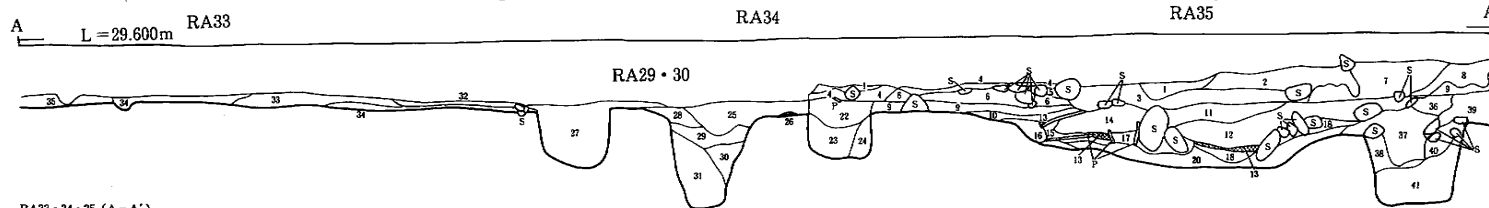
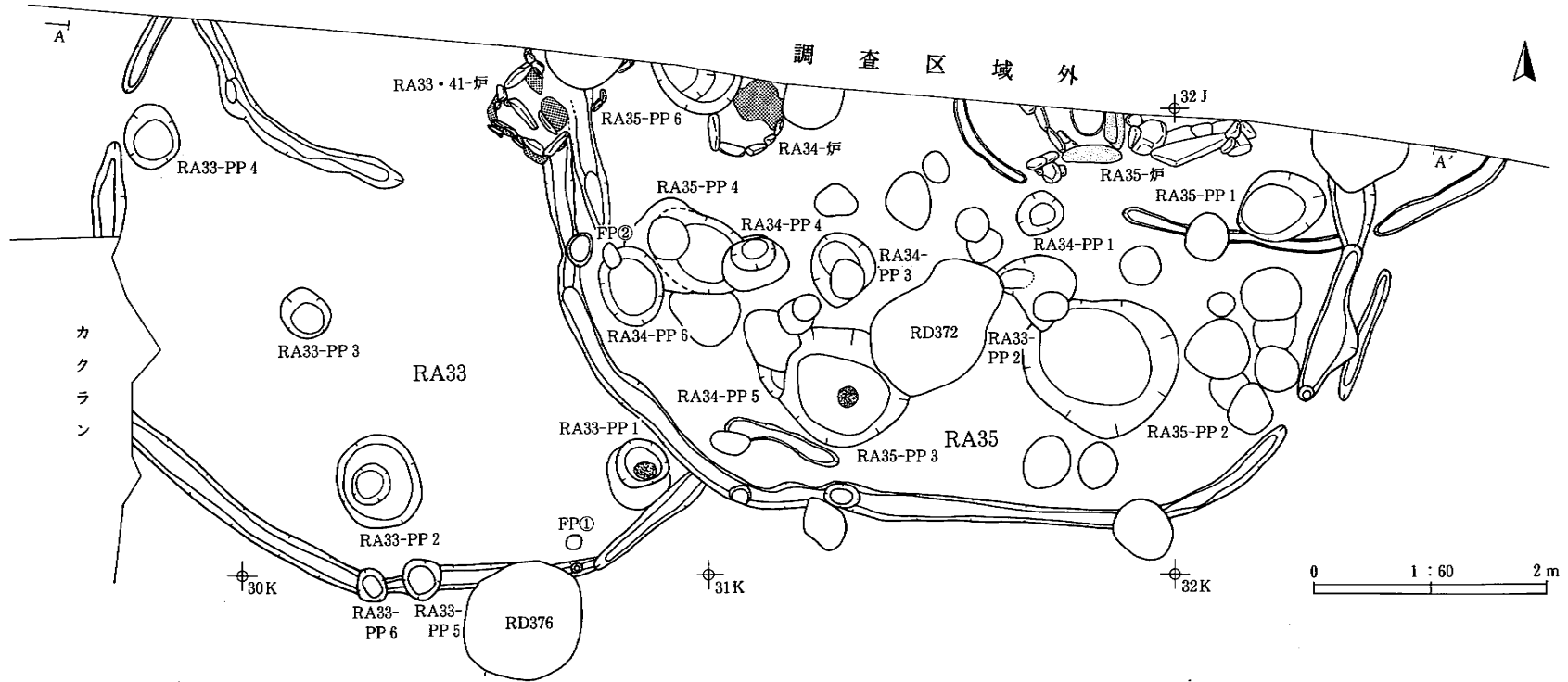


第13図 RA33住居跡：貯蔵剥片出土状況

RA35



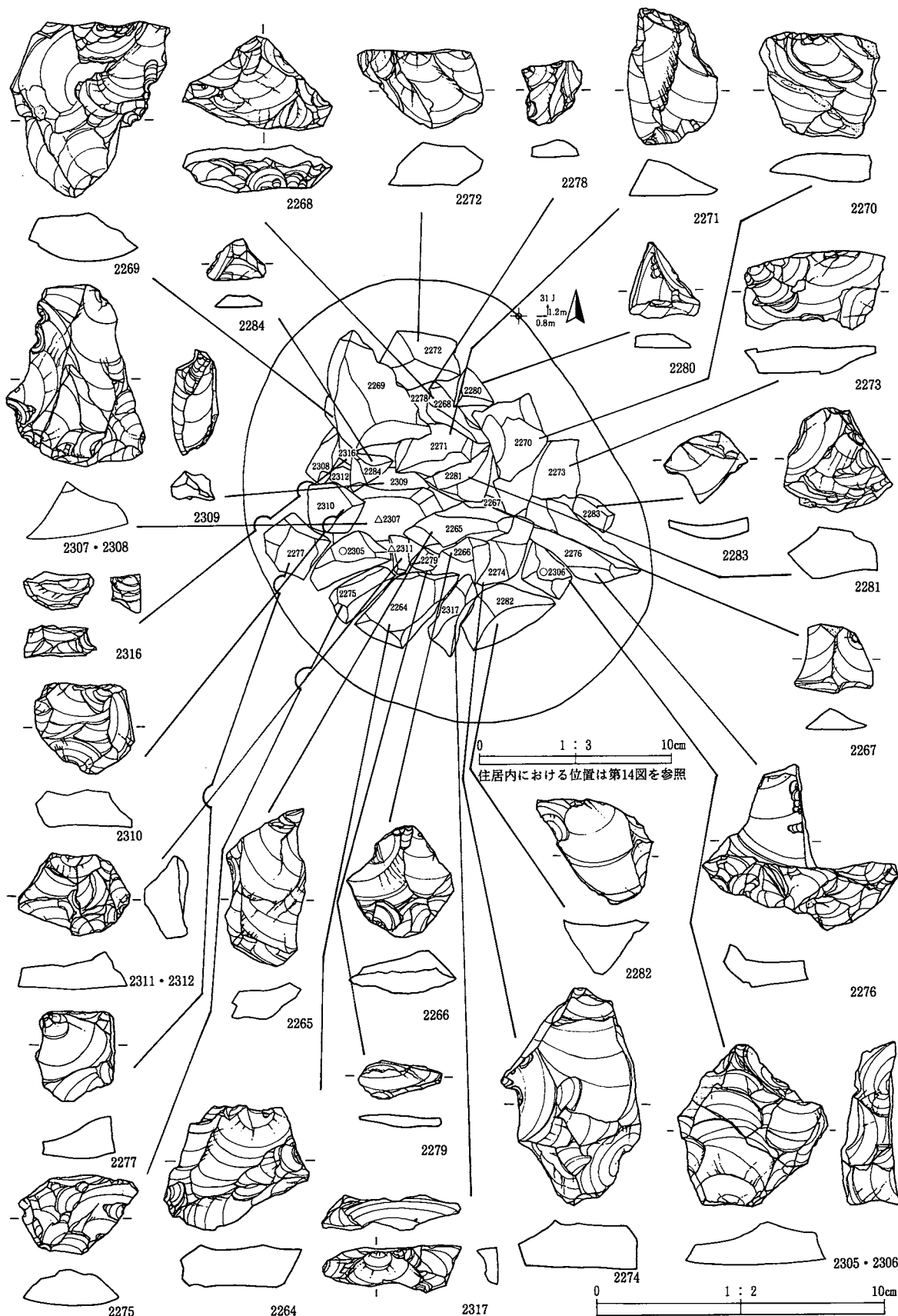
第14図 RA35住居跡



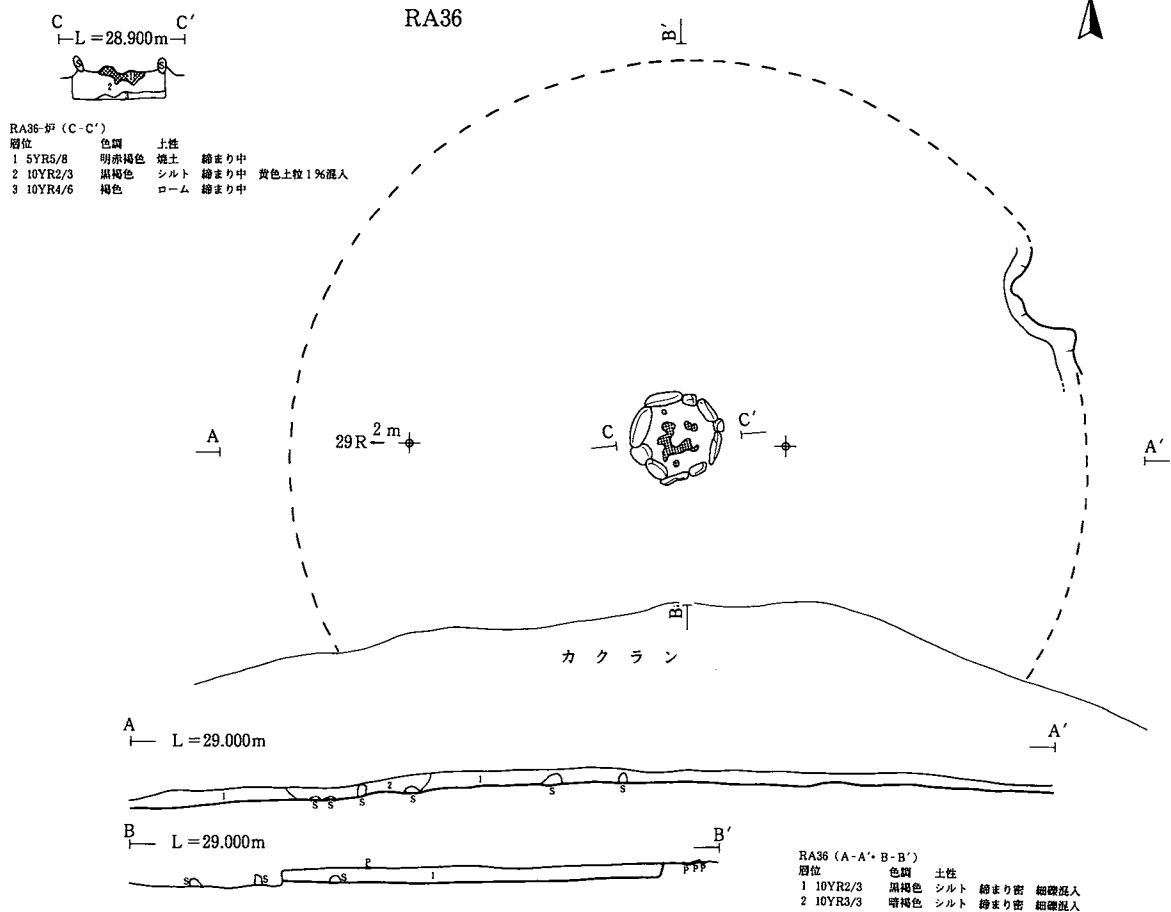
RA33-34-35 (A-A')

層位	色調	土性	15 10YR5/3	16 10YR5/6	17 10YR3/4	18 10YR6/8	19 10YR3/4	20 10YR6/6	21 10YR3/4	22 10YR3/3	23 10YR3/4	24 10YR6/8	25 10YR3/2	26 5YR5/8	27 10YR3/4	28 10YR6/8	29 10YR3/3	30 10YR4/4	31 10YR6/6	32 10YR3/4	33 10YR2/3	34 10YR5/8	35 10YR6/8	36 10YR3/2	37 10YR2/3	38 10YR2/2	39 10YR3/3	40 10YR6/6	41 10YR3/1																																																									
1	10YR2/3	黒褐色	シルト	締まり中	炭5%混入	15	明赤褐色	粘土質シルト	締まりやや密	炭15%、赤褐色焼土粒5%混入	29	暗褐色	シルト	締まり中	炭10%混入	30	10YR4/4	褐色	シルト	締まりやや密	炭1%混入	31	10YR6/6	明黄褐色	粘土質シルト	締まり中	黄褐色土粒5%、暗褐色土混入	32	10YR3/4	暗褐色	シルト	締まり中	炭1%、暗褐色土混入	33	10YR2/3	黒褐色	シルト	締まりやや密	黄褐色土粒7%混入	34	10YR5/8	黄褐色粘土質シルト	締まりやや密	黄褐色土粒7%混入	35	10YR6/8	明黄褐色	粘土質シルト	締まり中	暗褐色土混入	36	10YR3/2	黒褐色	シルト	締まりやや密	炭10%、黄褐色粘土粒3%混入	37	10YR2/3	黒褐色	シルト	締まり中	炭5%、黄褐色粘土粒7%混入	38	10YR2/2	黒褐色	シルト	締まりやや密	炭3%混入	39	10YR3/3	暗褐色	シルト	締まりやや密	炭3%混入	40	10YR6/6	明黄褐色	粘土質シルト	締まり中	暗褐色土、細砂、礫混入	41	10YR3/1	黒褐色	シルト	締まり中	細砂、小礫混入

第15図 RA33・34・35住居跡(2)

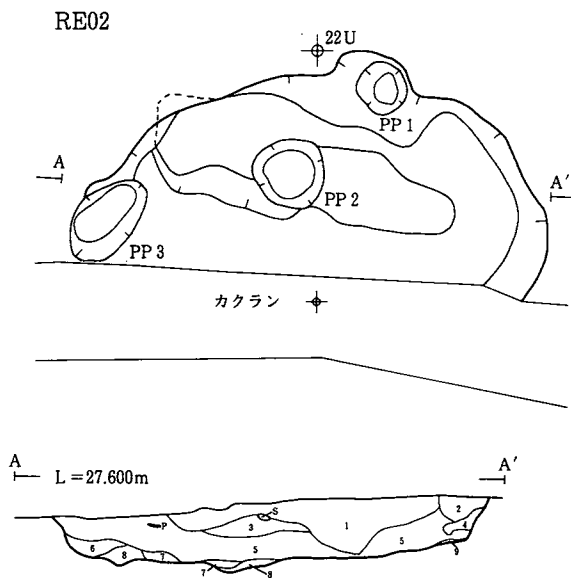


第16図 RA35住居跡：貯蔵剥片出土状況



RA36 (A-A'・B-B')

層位	色調	土性	
1	10YR2/3	黒褐色	シルト 締まり密 細礫混入
2	10YR3/3	暗褐色	シルト 締まり密 細礫混入

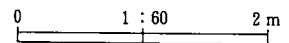


RE02

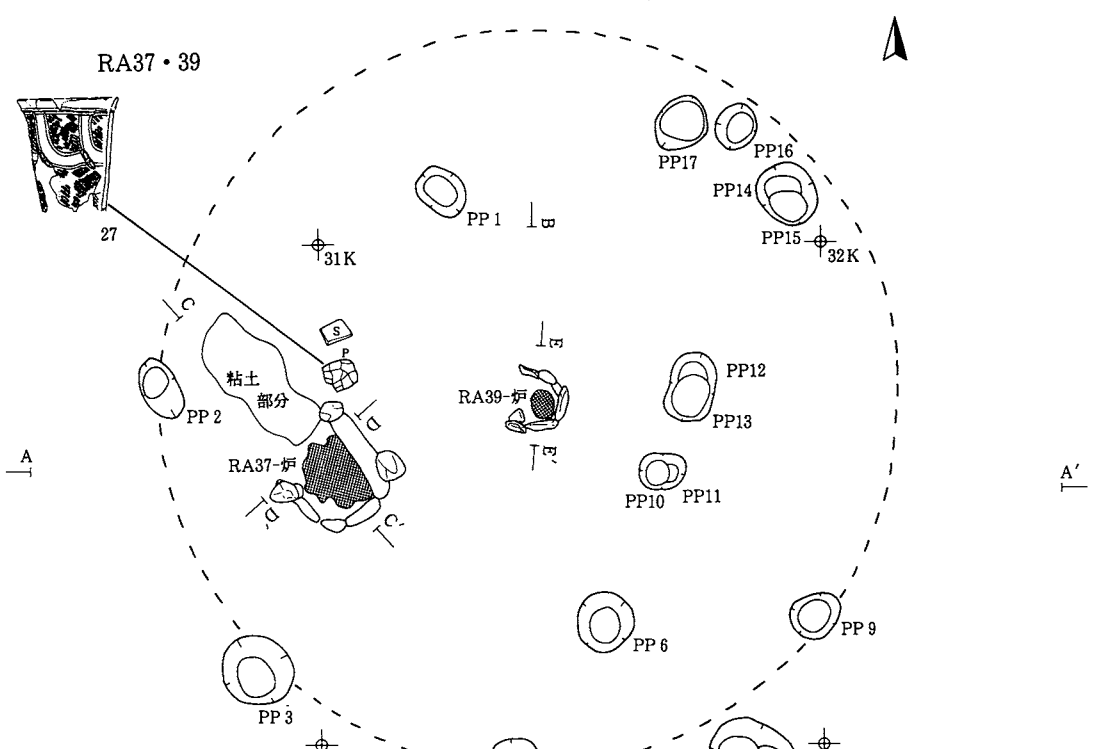
No.	PP 1	PP 2	PP 3
径 (cm)	40×37	58×56	77×48
深さ (cm)	31	17	5

RE02 (A-A')

層位	色調	土性	
1	10YR1.7/1	黒色	シルト 締まり中 炭化物1%、小礫、土器片混入
2	10YR3/4	暗褐色	シルト 締まり中 小礫混入
3	10YR2/3	黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒混入
4	10YR4/6	褐色	ローム 締まり密 暗褐色土混入
5	10YR2/2	黒褐色	シルト 締まり中 炭化物1%混入
6	10YR2/3	黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒混入
7	10YR3/4	暗褐色	シルト 締まり中 黄色土粒混入
8	10YR5/6	黄褐色	ローム 締まり密 暗褐色土混入
9	10YR4/6	褐色	ローム 締まり密 小礫混入



第17図 RA36住居跡・RE02竪穴状遺構

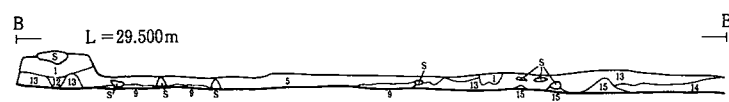
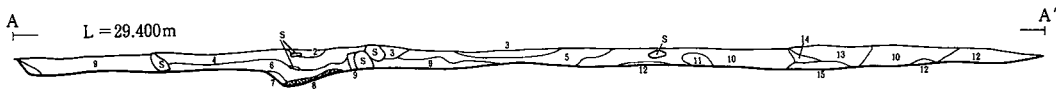


RA37・39

Na	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6
径 (cm)	43×34	50×32	60×56	60×40	36×36	48×45
深さ (cm)	37	36	64	81	67	24

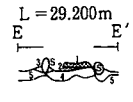
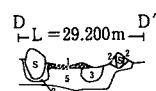
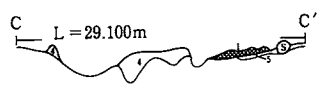
Na	PP 7	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12
径 (cm)	60×(45)	46×(30)	42×35	30×(24)	27×(13)	38×(38)
深さ (cm)	80	87	23	12	20	21

Na	PP13	PP14	PP15	PP16	PP17
径 (cm)	35×(18)	43×(25)	40×(30)	36×(33)	45×40
深さ (cm)	32	21	35	22	25



RA37 (A-A'・B-B')

層位	色調	土性	1 10YR3/2	2 10YR3/1	3 10YR2/2	4 10YR3/3	5 10YR3/2	6 10YR3/2	7 10YR3/2	8 7.5YR7/6	9 10YR4/4	10 10YR2/3	11 10YR3/4	12 10YR6/8	13 5YR4/6	14 10YR3/2	15 10YR6/6								
	黒褐色	シルト 締まりやや中密	炭 2%、褐色粒 1%混入	炭 3%混入	炭 2%混入	褐色粒 5%混入	炭 3%、褐色土粒 3%混入	炭 10%、焼土粒 3%混入	炭 15%、焼土粒 7%混入	褐色	シルト 締まりやや中密	炭 2%混入	炭 1%、赤褐色焼土粒 2%混入	暗褐色	シルト 締まり中	炭 5%混入	明黄褐色	ローム 締まりやや中密	褐色	ローム 締まりやや中密	黒褐色	シルト 締まり中	黄褐色	ローム 締まりやや中密	細砂混入



RA37-炉 (C-C'・D-D')

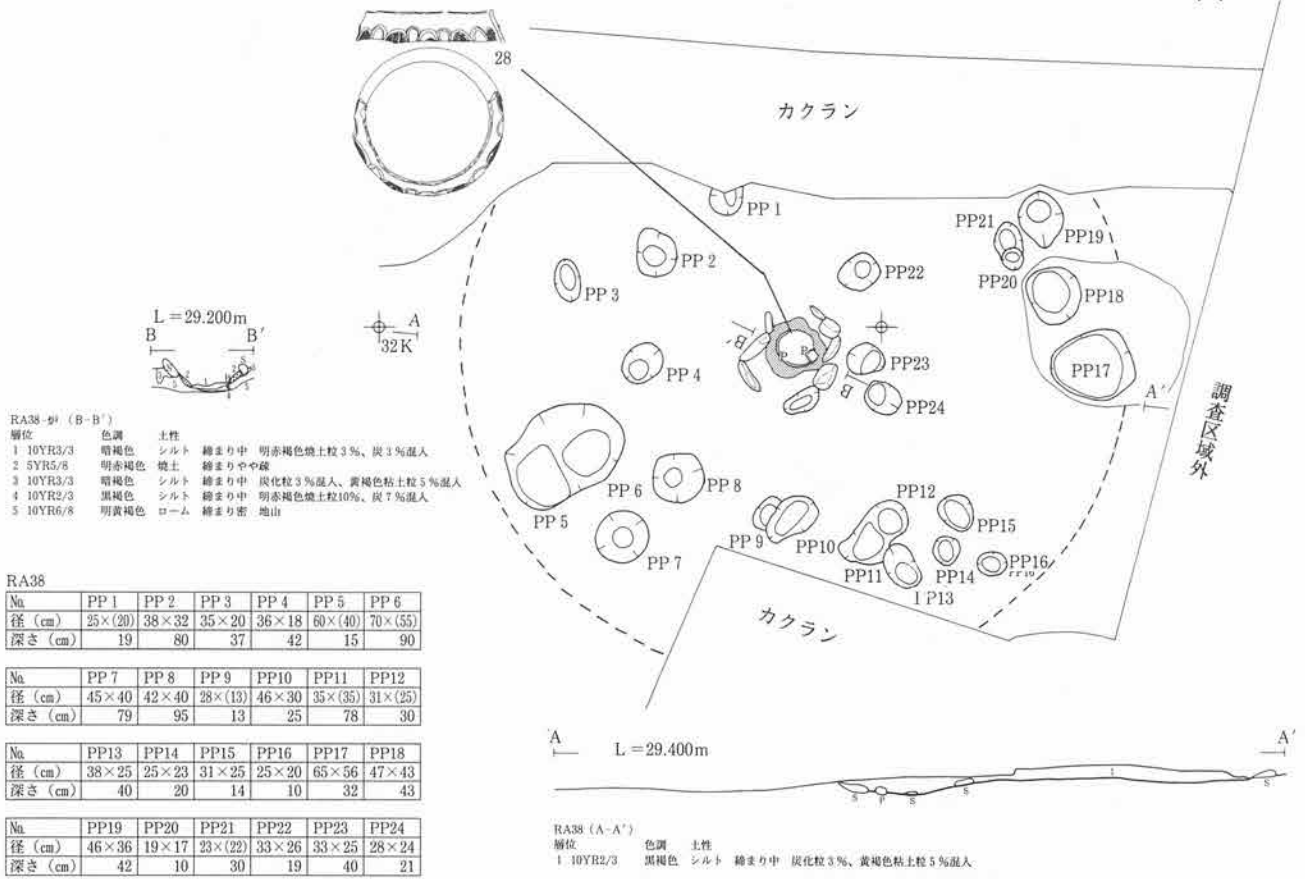
層位	色調	土性	1 5YR5/8	2 10YR4/2	3 10YR3/3	4 10YR5/8	5 10YR6/8						
	明赤褐色	焼土 締まりやや中疎	明赤褐色	焼土 締まり中	黄褐色粘土粒 2%、炭 2%混入	暗褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒 3%混入	黄褐色	ローム 締まりやや中密	ブロック状に堆積	明黄褐色	ローム 締まり弱

RA39-炉 (E-E')

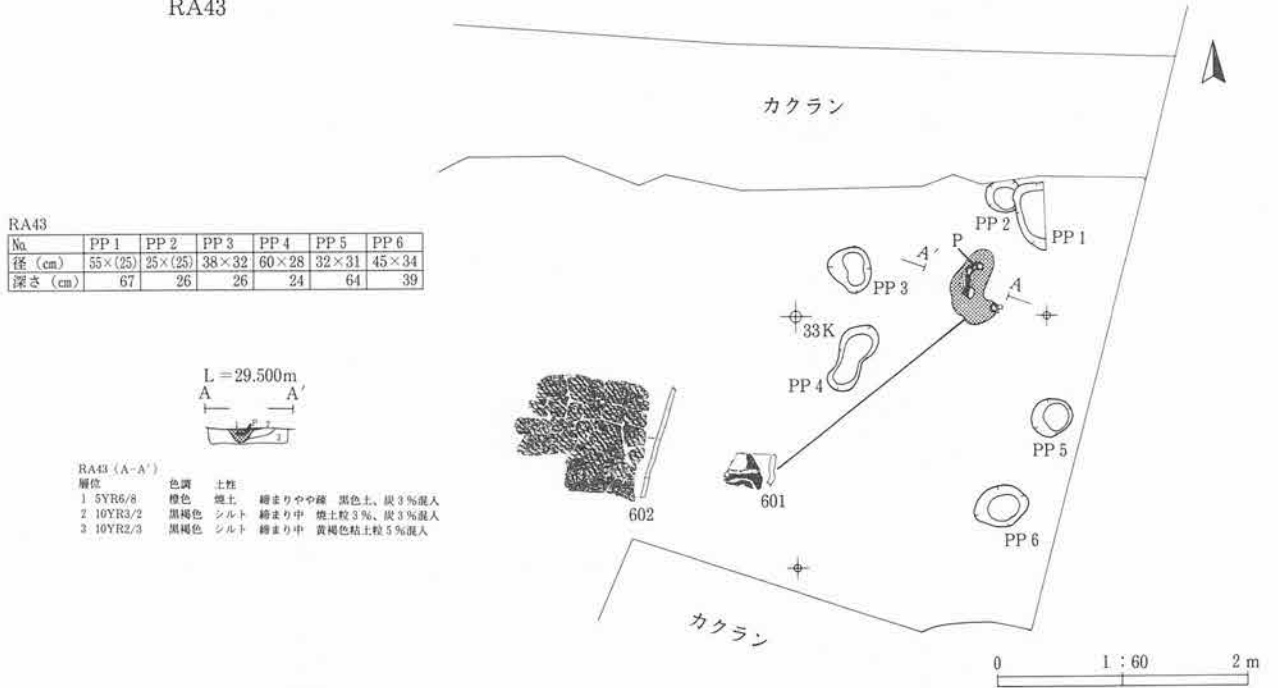
層位	色調	土性	1 5YR5/8	2 10YR4/6	3 10YR2/3	4 10YR3/3	5 10YR3/2						
	明赤褐色	焼土 締まりやや中疎	明赤褐色	ローム 締まり密	砂粒30%混入	黒褐色	シルト 締まり中	炭 3%混入	暗褐色	シルト 締まり中	明赤褐色焼土粒 3%、炭 3%混入	黒褐色	シルト 締まり中

第18図 RA37・39住居跡

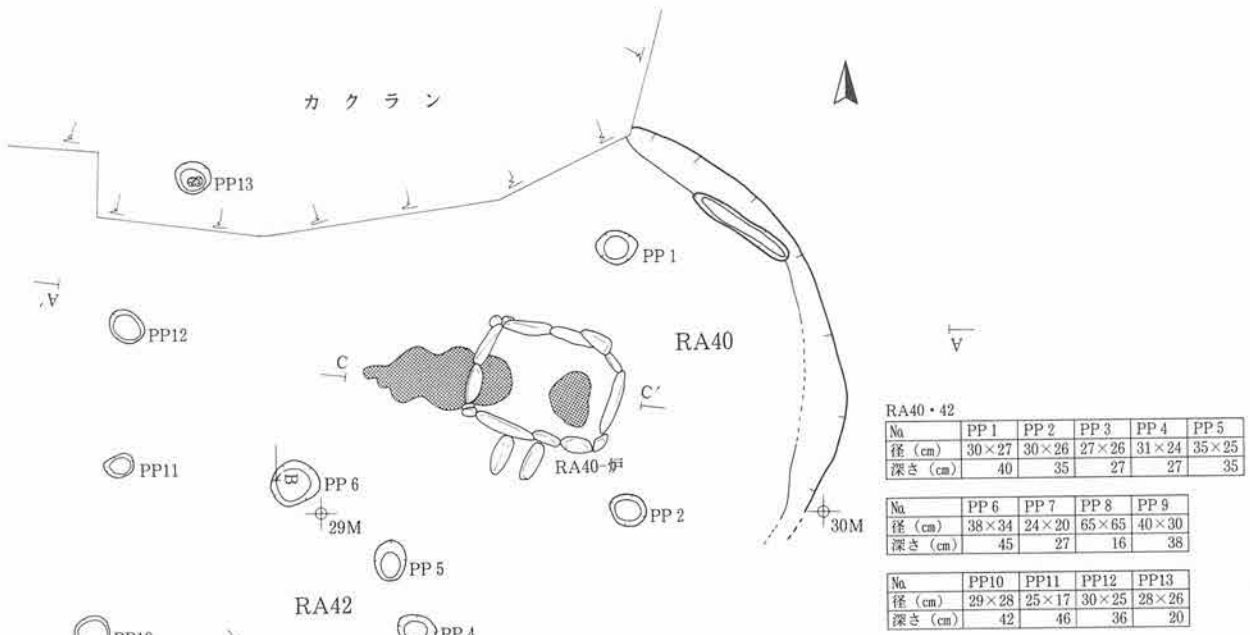
RA38



RA43



第19図 RA38・43住居跡

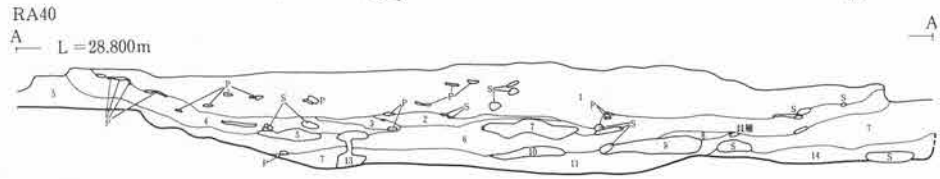
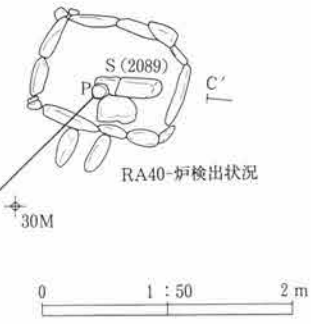


RA40・42

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径 (cm)	30×27	30×26	27×26	31×24	35×25
深さ (cm)	40	35	27	27	35

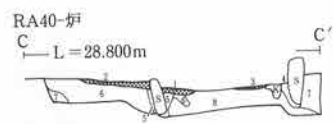
No.	PP 6	PP 7	PP 8	PP 9
径 (cm)	38×34	24×20	65×65	40×30
深さ (cm)	45	27	16	38

No.	PP10	PP11	PP12	PP13
径 (cm)	29×28	25×17	30×25	28×26
深さ (cm)	42	46	36	20



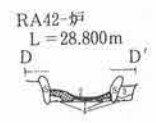
RA40 (A-A')

層位	色調	土性	特徴
1	10YR1/7/1 黒色	シルト	締まり密 土器包含多量、炭化物20%
2	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中 炭化物5%混入
3	10YR2/2 黒褐色	シルト	締まり中 炭化物10%混入
4	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中 炭化物10%混入、褐色粘土層入る
5	貝層No.8ブロック	純貝層	
6	10YR3/4 暗褐色	シルト	締まり中
7	貝層No.11ブロック	純貝層	
8	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中 黄色土粒10%混入
9	貝層No.13ブロック	純貝層	
10	貝層No.15ブロック	純貝層	
11	10YR3/3 暗褐色土と10YR2/3 黒褐色土の混合土	シルト	締まり中 炭化物5%混入
12	貝層No.17ブロック	混貝土層	
13	貝層No.18ブロック	混貝土層	
14	10YR6/6 明黄褐色土と10YR2/3 黒褐色土の混合土	シルト	締まり中 炭化物5%混入



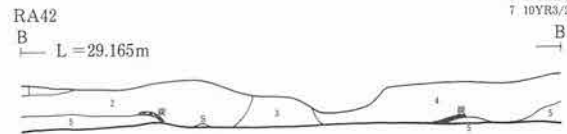
RA40 (C-C')

層位	色調	土性	特徴
1	5YR4/8 赤褐色	焼土	締まりやや硬
2	5YR5/6 明赤褐色	焼土	締まりやや硬
3	5YR4/8 赤褐色	焼土	締まりやや硬 黒褐土褐色土混入
4	10YR4/6 黒褐色	ローム	締まり中
5	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中 黄褐色土粒10%混入
6	10YR2/2 黒褐色	シルト	締まり中 (RD396埋土)
7	10YR3/2 黒褐色	シルト	締まり中 黄褐色土5%混入 (RD391埋藏土)



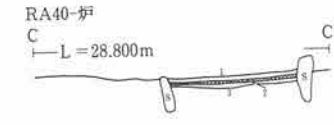
RA42-炉上面埋土 (C-C')

層位	色調	土性	特徴
1	10YR5/6 赤褐色	シルト	締まり中
2	5YR4/6 赤褐色	焼土	まり中
3	5YR6/1 灰色	灰	締まり硬



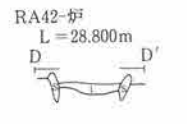
RA42 (B-B')

層位	色調	土性	特徴
1	10YR2/2 黒褐色	シルト	締まり中 黄褐色土粒10%混入
2	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中 炭10%、赤褐色土粒3%、黄褐色土粒10%混入
3	10YR3/3 暗褐色	シルト	締まり中 炭3%、黄褐色土10%混入
4	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中 炭3%、黄褐色土2%混入
5	10YR3/4 暗褐色	シルト	締まり中 黄褐色土30%混入 (漸移層)



RA40-炉 (D-D')

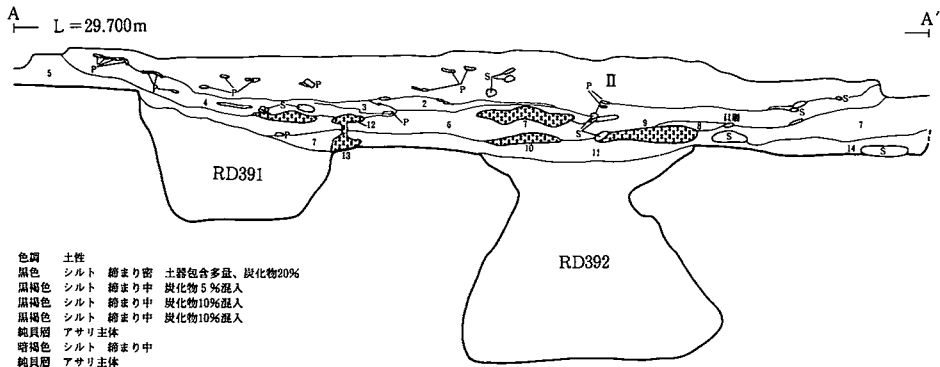
層位	色調	土性	特徴
1	5YR5/6 明赤褐色	シルト	締まり中 黒褐色土混入
2	10YR2/3 黒褐色	焼土	締まり中 焼土粒10%混入
3	10YR6/8 明黄褐色	ローム	締まりやや密



RA42-炉 (D-D')

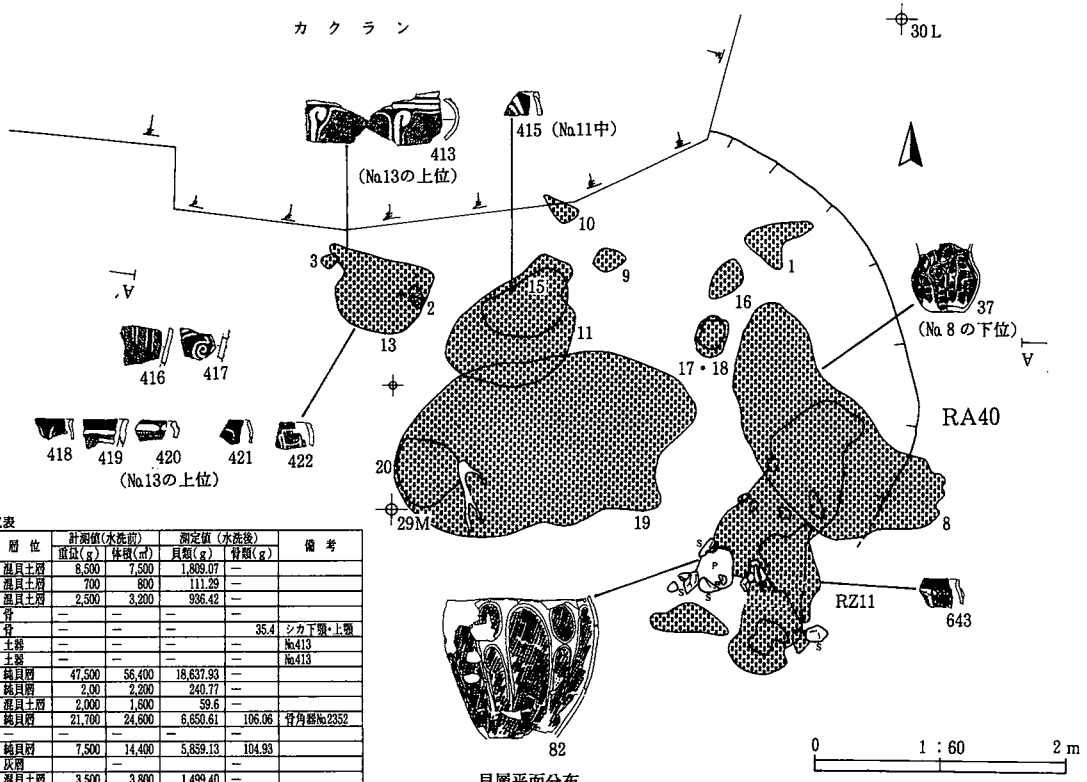
層位	色調	土性	特徴
1	10YR2/2 黒褐色	シルト	締まり中 黄褐色土粒2%混入

第20図 RA40・42住居跡



RA40 (A-A')

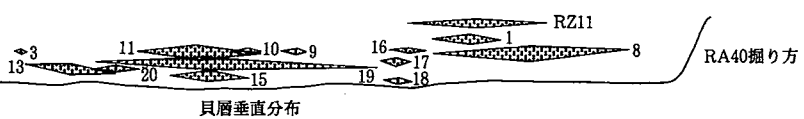
層位	色調	土性	備考
1 10YR1.7/1	黒色	シルト 締まり密	土器包含多量、炭化物20%
2 10YR2/3	黒褐色	シルト 締まり中	炭化物5%混入
3 10YR2/2	黒褐色	シルト 締まり中	炭化物10%混入
4 10YR2/3	黒褐色	シルト 締まり中	炭化物10%混入
5 貝層No.8ブロック	純貝層	アサリ主体	
6 10YR3/4	暗褐色	シルト 締まり中	
7 貝層No.11ブロック	純貝層	アサリ主体	
8 10YR2/3	黒褐色	シルト 締まり中	黄色土粒10%混入
9 貝層No.13ブロック	純貝層	アサリ主体	
10 貝層No.15ブロック	純貝層	アサリ主体	
11 10YR3/3暗褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合土	締まり中	炭化物5%混入	
12 貝層No.17ブロック	混貝層	アサリ主体	
13 貝層No.18ブロック	混貝層	アサリ主体	
14 10YR6/6明黄褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合土	締まり中	炭化物5%混入	



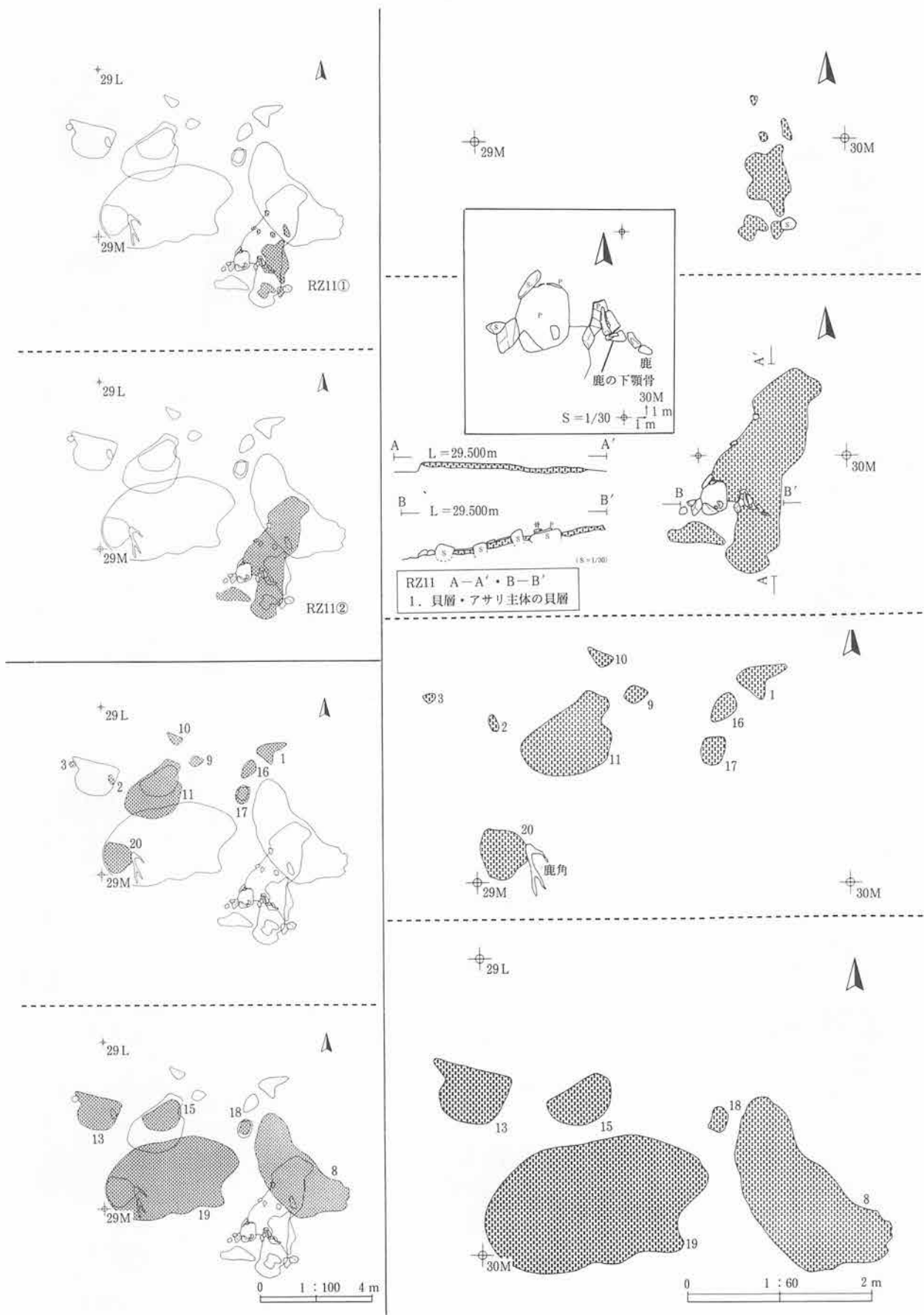
貝層の内容一覧表

No	出土地点	層位	計測値(水洗前)		測定値(水洗後)		備考
			重量(g)	体積(ml)	貝類(g)	骨類(g)	
1	RA40No.1	混貝土層	6,500	7,500	1,809.07	—	
2	RA40No.2	混貝土層	700	800	111.29	—	
3	RA40No.3	混貝土層	2,500	3,200	936.42	—	
4	RA40No.4	骨	—	—	—	—	
5	RA40No.5	骨	—	—	—	35.4	シカ下顎・上顎
6	RA40No.6	土層	—	—	—	—	No.413
7	RA40No.7	土層	—	—	—	—	No.413
8	RA40No.8	純貝層	47,500	56,400	18,637.93	—	
9	RA40No.9	純貝層	2,000	2,200	240.77	—	
10	RA40No.10	混貝土層	2,000	1,800	59.6	—	
11	RA40No.11	純貝層	21,700	24,800	6,650.61	—	骨角類No.2352
12	RA40No.12	—	—	—	—	—	
13	RA40No.13	純貝層	7,500	14,400	5,859.13	104.93	
14	RA40No.14	灰層	—	—	—	—	
15	RA40No.15	混貝土層	3,500	3,800	1,499.40	—	
16	RA40No.16	混貝土層	6,500	7,300	285.14	—	
17	RA40No.17	混貝土層	2,000	1,200	626.76	21.9	
18	RA40No.18	混貝土層	1,000	700	187.02	—	
19	RA40No.19	純貝層	128,000	211,700	61,139.88	892.88	
20	RA40No.20	純貝層	6,000	5,200	5,426.23	429.25	シカ角
21	RZ11	純貝層	198	151,600	67,179.87	627.23	骨角類No.2351
	合計		491,300	487,000	165,222.29	1,803.41	

- L = 29.700m

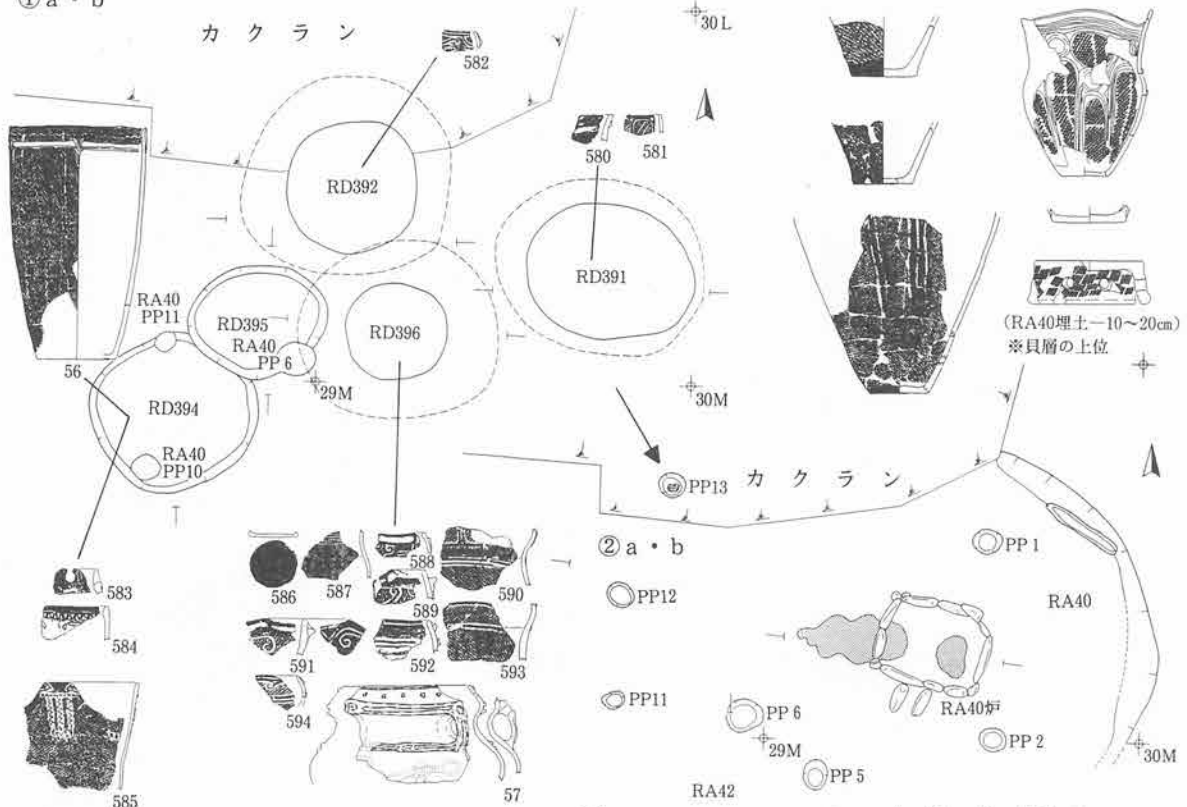


第21図 RA40住居跡(2): 貝層



第22図 RA40住居跡(3)：貝層

① a・b



① a. RD394・395土坑 (前葉)

↓

b. RD391・392・396土坑 (中葉)

↓

② a. RA42住居跡 (中葉)

↓

b. RA40住居跡 (中葉)

↓

③ 貝層廃棄 (中葉～後葉)

↓

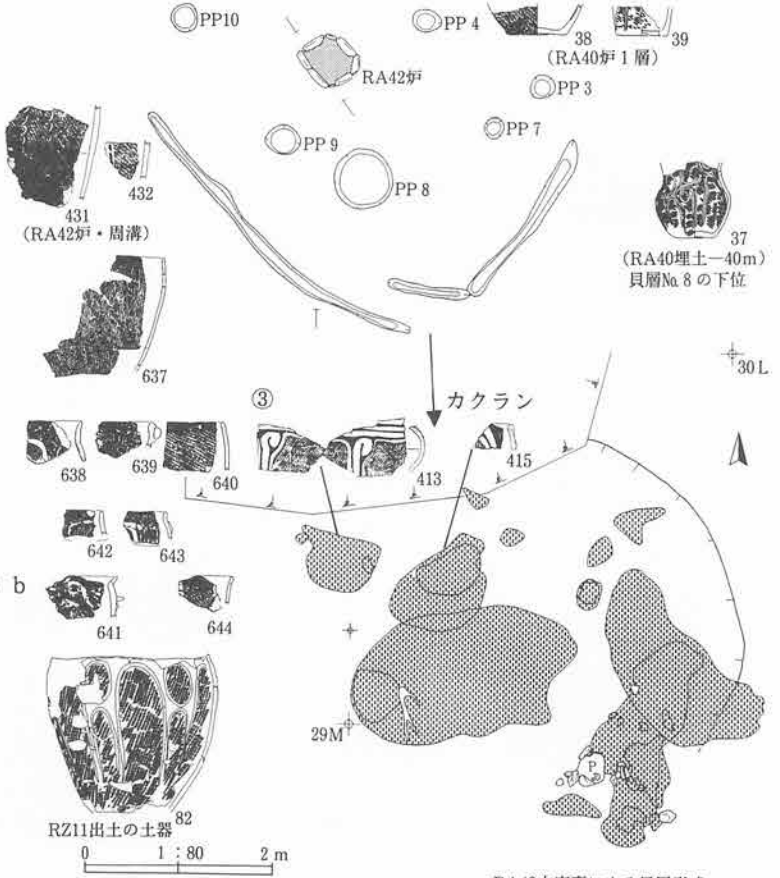
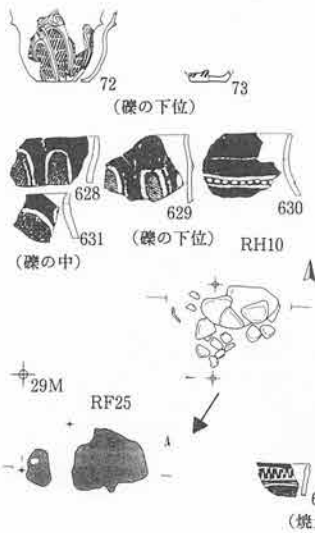
④ a. RH10配石遺構 (後葉)

↓

b. RF25焼土遺構

遺構の変遷模式図

※旧 ⇒ 新 (遺構から)
 旧 → 新 (遺物から)
 判断基準



第23図 RA40住居跡 (4) : 遺構変遷図

RA40内廃棄による貝層形成

3. 掘立柱建物跡（第24～29図、写真図版20～24）

まとまった柱穴状土坑が検出されており、掘立柱建物跡を構成するものと思われるものについて報告する。なお第11号掘立柱建物跡を構成する柱穴には、調査時に土坑名（RD）を付しているが、本報告では遺構名を変更せず、柱穴状土坑として報告する。

第11号掘立柱建物跡（第24～26図、写真図版20～22）

遺構（第24～26図、写真図版30）

〈位置・検出状況〉18L～19Lグリッド。Ⅲ層で柱穴状土坑を検出した。北側がアパート跡地、南側は調査区域外にかかる。〈重複関係〉RA24住居跡と重複する。炉跡がRD287の上位に位置することから、建物跡が古いと思われる。〈規模・平面形〉同地点で数回の建替があったものと思われ、柱穴は、南北に延びる可能性がある。RD284・286・296・289で構成される4本柱、RD285・287・292・297で構成される4本柱の建物跡の可能性がある。柱間は3.5～4.5mである。〈埋土・堆積状況〉暗褐色土と黒褐色土で、柱痕跡が確認できないことから、抜き取られた可能性が高い。〈柱穴〉RD282～300の15基が検出された。規模は径100～140cm、深さ50～106cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第69・110図、写真図版56・90）

〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉立体（43・44）・破片（439～463）。

時期 縄文時代晩期の可能性がある。

第12号掘立柱建物跡（第27・28図、写真図版23）

遺構（第27・28図、写真図版30）

〈位置・検出状況〉19I～Jグリッド。Ⅲ層で柱穴状土坑を検出した。南側が旧アパート跡地で攪乱を受けている。〈重複関係〉RA26住居跡と重複する。新旧関係は不明である。〈規模・平面形〉18H-PP2、19H-PP2、19J-PP2、18I-PP1で構成される4本柱の建物跡の可能性があるが、柱間が5～5.5mと、他の建物跡より長く、問題が残る。南北方向に柱穴列が延びる可能性もある。〈埋土・堆積状況〉黒褐色土で、柱痕跡が確認できる。底部にも柱当たりが確認できる。〈柱穴〉18H-PP1・2、19H-PP1・2、19J-PP1・2、18I-PP1、19I-PP1である。規模は径65～130cm、深さ12～90cmである。〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第119図、写真図版96）

〈出土状況〉埋土から出土している。〈土器〉破片（648～655）。

時期 縄文時代晩期の可能性がある。

第13号掘立柱建物跡（第29図、写真図版24）

遺構（第29図、写真図版30）

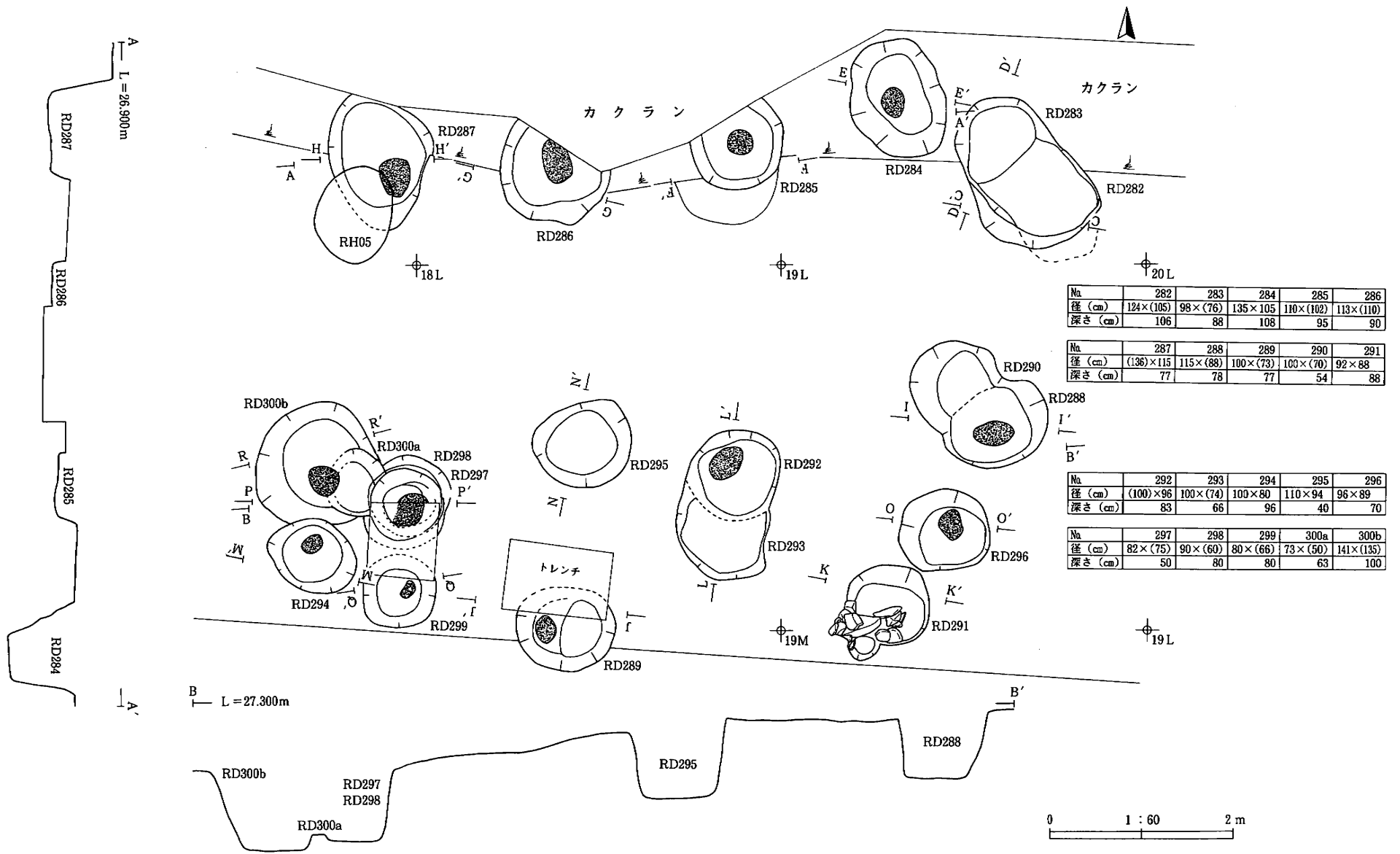
〈位置・検出状況〉29O～30Pグリッド。Ⅲ層で柱穴状土坑を検出した。〈重複関係〉なし。〈規模・平面形〉方一間の建物跡で、柱間は約3.5mである。〈埋土・堆積状況〉暗褐色土で、柱痕跡が確認できる。

〈柱穴〉28O-PP1、30O-PP1、28P-PP1、30P-PP1の4基で、規模は径200～80cm、深さ40～48cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

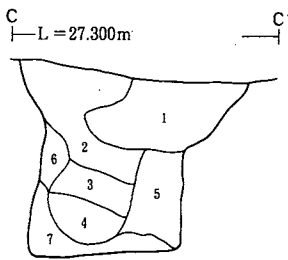
遺物 出土していない。

時期 縄文時代と思われるが、詳細は不明である。



第24図 第11号掘立柱建物跡 (1)

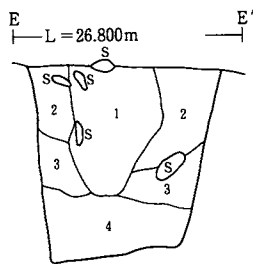
RD282



RD282 (A-A')

層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まりやや密 黄褐色粘土粒20%混入
2	10YR2/2	黒褐色	シルト	縮まりやや密 炭、赤褐色焼土粒10%混入
3	10YR5/6	黄褐色	ローム	縮まり中 褐色土粒3%、粗砂15%混入
4	10YR3/2	黒褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒7%混入
5	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒5%、砂礫10%混入
6	10YR3/4	暗褐色	シルト	縮まり中 褐色土粒3%、粗砂30%混入
7	10YR3/1	黒褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土5%混入

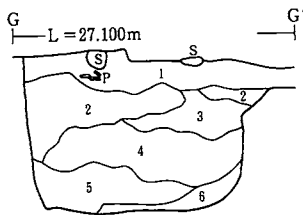
RD284



RD284 (A-A')

層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まり中 炭、赤褐色焼土粒10%混入
2	10YR4/6	褐色	ローム	縮まり中 炭、赤褐色焼土粒10%混入
3	10YR3/4	暗褐色	シルト	縮まりやや疎 褐色土、黒色土混入
4	10YR4/4	褐色	ローム	縮まり中 褐色土、粗砂30%混入

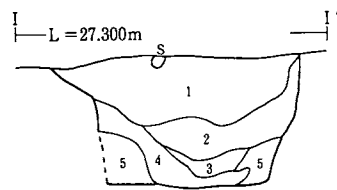
RD286



RD286 (A-A')

層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR2/2	黒褐色	シルト	縮まり中
2	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まりやや密 炭5%、黄褐色粘土粒5%混入
3	10YR3/2	黒褐色	シルト	縮まり中 炭3%、黄褐色粘土粒20%混入
4	10YR3/2	黒褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒30%混入
5	10YR2/2	黒褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒2%、炭1%、赤褐色焼土粒2%混入
6	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒5%混入

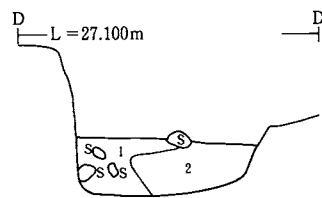
RD288



RD288 (A-A')

層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR3/2	黒褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒5%混入
2	10YR4/6	褐色	ローム	縮まり中 暗褐色土混入
3	10YR4/6	褐色	ローム	縮まり中 礫10%混入
4	10YR2/3	黒褐色	シルト	縮まり中 炭1%、褐色粘土粒3%混入
5	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まり中 明黄褐色粘土3%、礫10%混入

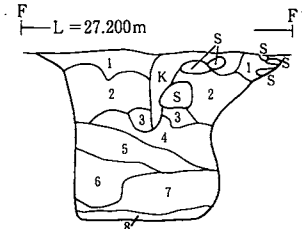
RD283



RD283 (A-A')

層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒5%、砂礫10%混入
2	10YR2/2	黒褐色	シルト	縮まりやや密 炭、赤褐色焼土粒10%混入

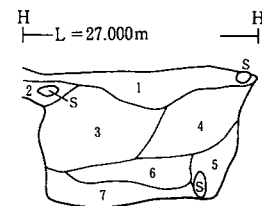
RD285



RD285 (A-A')

層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR2/2	黒褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒5%混入
2	10YR3/2	黒褐色	シルト	縮まり中 炭1%、黄褐色粘土粒5%混入
3	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まりやや密 黄褐色粘土粒5%混入
4	10YR5/8	黄褐色	ローム	縮まりやや密 暗褐色土、礫10%混入
5	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒5%、砂礫10%混入
6	10YR3/4	暗褐色	シルト	縮まりやや疎 黄褐色粘土粒5%混入
7	10YR5/6	黄褐色	ローム	縮まりやや密 黒色土、礫10%混入
8	10YR3/2	黒褐色	シルト	縮まり中 炭1%、赤褐色焼土粒2%混入

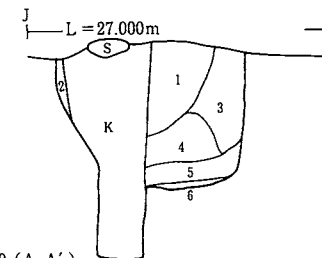
RD287



RD287 (A-A')

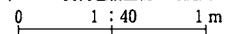
層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR2/2	黒褐色	シルト	縮まり中
2	10YR3/4	暗褐色	シルト	縮まり中 明赤褐色焼土混入
3	10YR3/4	暗褐色	シルト	縮まり中 礫10%混入
4	10YR5/3	にぶい黄褐色	ローム	縮まりやや密 暗褐色土混入
5	10YR4/4	褐色	ローム	縮まり中 暗褐色土混入
6	10YR5/3	にぶい黄褐色	ローム	縮まりやや密 明黄褐色粘土10%、黒色粒3%混入
7	10YR3/4	暗褐色	シルト	縮まり中 明黄褐色粘土10%混入

RD289



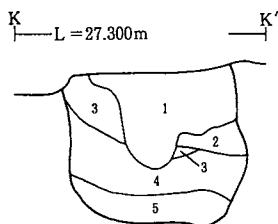
RD289 (A-A')

層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR3/2	黒褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒5%混入
2	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まり中 褐色土混入
3	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まり中 黒色土、褐色土混入
4	10YR6/8	明黄褐色	ローム	縮まりやや密
5	10YR4/6	褐色	シルト	縮まりやや密 礫10%混入
6	10YR2/2	黒褐色	シルト	縮まり中 黄褐色粘土粒5%混入



第25図 第11号掘立柱建物跡(2)

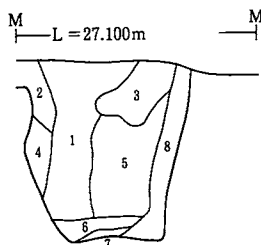
RD291



RD291 (A-A')

層位	色調	土性	混入物
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭 2%、黄褐色粘土粒 5% 混入
2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト 締まり中	
3	10YR4/2 灰黄褐色	シルト 締まり中	砂 20% 混入
4	10YR4/4 褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒 3% 混入
5	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	明黄褐色粘土 3%、礫 10% 混入

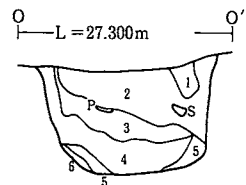
RD294



RD294 (A-A')

層位	色調	土性	混入物
1	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	明赤褐色焼土粒 5% 混入
2	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まりやや密	黒褐色土混入
3	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	黒褐色土、粗砂 5% 混入
4	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まりやや密	
5	10YR4/4 褐色	シルト 締まり中	礫 20% 混入
6	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まりやや密	礫 3% 混入
7	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まりやや疎	黄褐色粘土粒 3% 混入
8	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まり中	礫 3% 混入

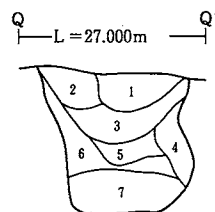
RD296



RD296 (A-A')

層位	色調	土性	混入物
1	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まりやや密	暗褐色土混入
3	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒 10% 混入
4	7.5YR4/6 褐色	ローム 締まりやや密	
5	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まりやや密	褐色土、礫 10% 混入
6	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まりやや密	

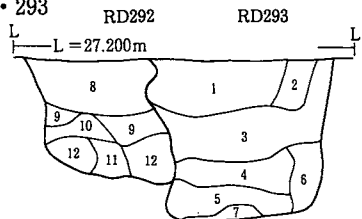
RD299



RD299 (A-A')

層位	色調	土性	混入物
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	褐色粘土粒 10% 混入
2	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	
3	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	褐色粘土粒 5%、礫 5% 混入
4	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黒色土、礫 5% 混入
5	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まりやや密	礫 3% 混入
6	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	橙粘土粒 7% 混入
7	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒 10%、礫 5% 混入

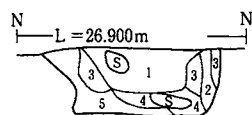
RD292・293



RD292・293 (A-A')

層位	色調	土性	混入物
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭 2%、黄褐色粘土粒 5% 混入 (RD292)
2	10YR5/4 にぶい黄褐色	ローム 締まりやや密	礫 3% 混入 (RD292)
3	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	明黄褐色粘土 3%、礫 5% 混入 (RD292)
4	10YR4/4 褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒 3% 混入 (RD292)
5	10YR4/4 褐色	シルト 締まり中	にぶい黄褐色粘土 5% 混入 (RD292)
6	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	(RD292)
7	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	炭 1%、明黄褐色粘土粒 3% 混入 (RD292)
8	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まりやや密	礫 10% 混入 (RD293)
9	10YR5/4 にぶい黄褐色	ローム 締まりやや密	明黄褐色粘土粒 3%、礫 5% 混入 (RD293)
10	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	明黄褐色粘土粒 3%、礫 5% 混入 (RD293)
11	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まりやや密	炭 1%、黄褐色粘土粒 3% 混入 (RD293)
12	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	礫 3% 混入 (RD293)

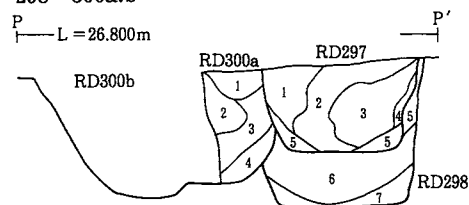
RD295



RD295 (A-A')

層位	色調	土性	混入物
1	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	炭、赤褐色焼土粒 10% 混入
2	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	褐色粘土粒 10%、礫 3% 混入
3	10YR4/6 褐色	シルト 締まりやや密	礫 20% 混入
4	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり中	明褐色粘土粒 5% 混入
5	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まりやや密	礫 3% 混入

RD297・298・300a.b



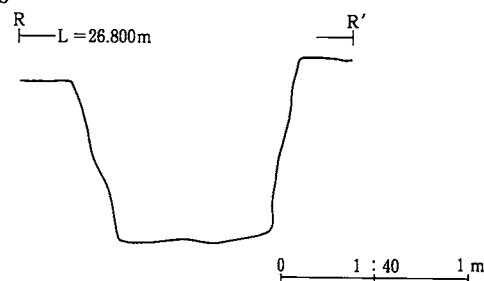
RD297 (A-A')

層位	色調	土性	混入物
1	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まりやや密	炭 1% 混入
2	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭 1%、礫 5% 混入
3	10YR4/3 にぶい褐色	ローム 締まりやや密	礫 3% 混入
4	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	橙粘土粒 5% 混入
5	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まりやや密	礫 3% 混入

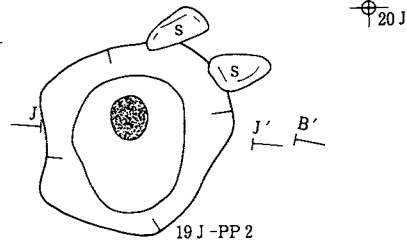
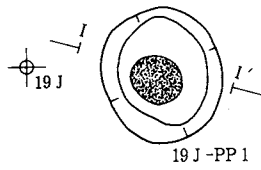
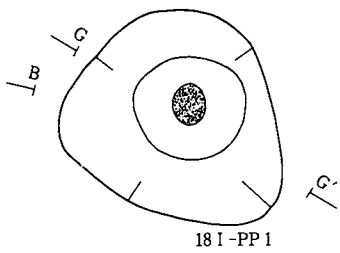
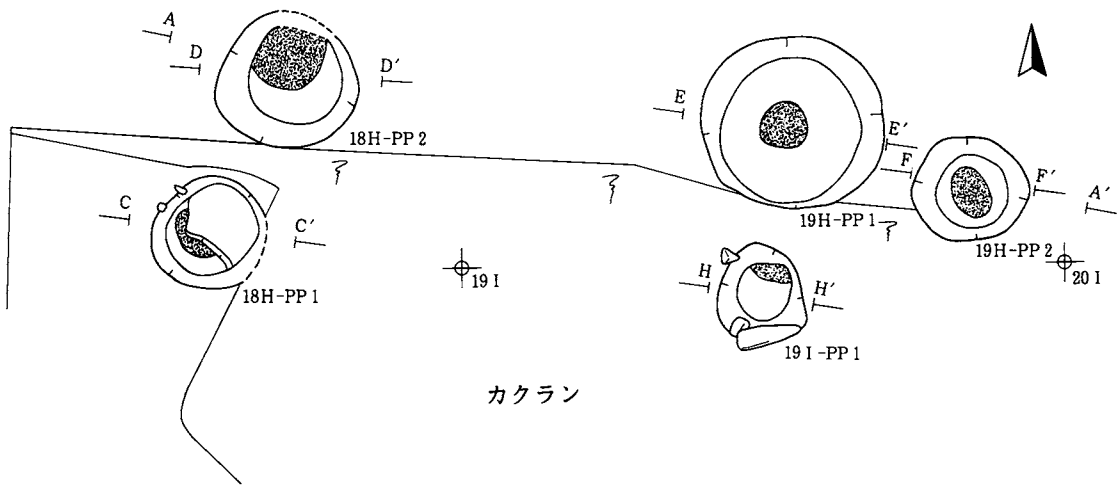
RD298・300 (A-A')

層位	色調	土性	混入物
1	10YR4/3 にぶい褐色	ローム 締まり中	礫 3% 混入 (RD300)
2	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭 1%、礫 5% 混入 (RD300)
3	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	橙粘土粒 5% 混入 (RD300)
4	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	橙粘土粒 5% 混入 (RD300)
5	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	炭 1%、褐色粘土粒 3% 混入 (RD298)
6	10YR4/4 褐色	ローム 締まりやや密	橙粘土粒 3%、礫 2% 混入 (RD298)
7	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まりやや密	橙粘土粒 7% 混入 (RD298)

RD300b

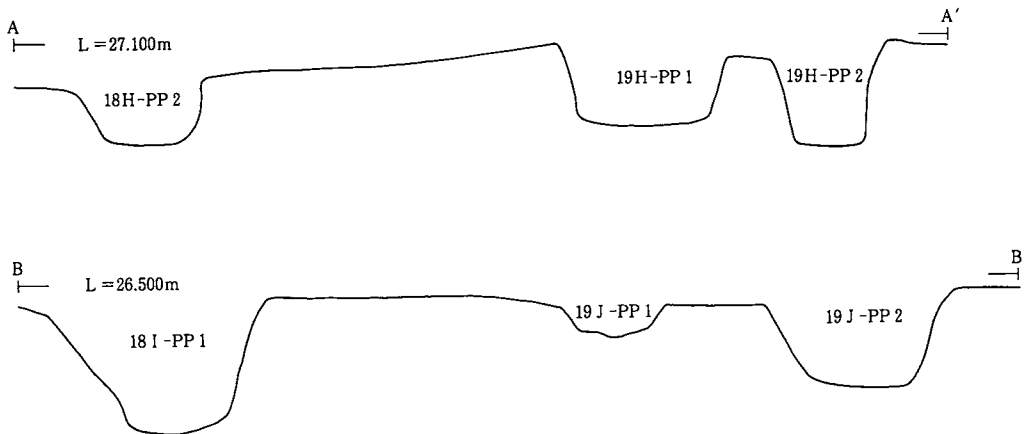
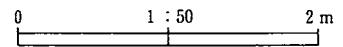


第26図 第11号掘立柱建物跡 (3)

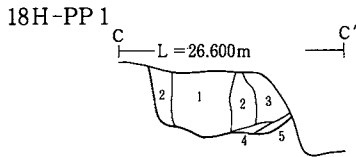


18H			19H			19J		
No	PP1	PP2	No	PP1	PP2	No	PP1	PP2
径 (cm)	75×(70)	90×(90)	径 (cm)	123×125	70×75	径 (cm)	88×80	125×130
深さ (cm)	16	69	深さ (cm)	60	60	深さ (cm)	12	63

18I		19I	
No	PP1	No	PP1
径 (cm)	154×135	径 (cm)	65×65
深さ (cm)	90	深さ (cm)	28

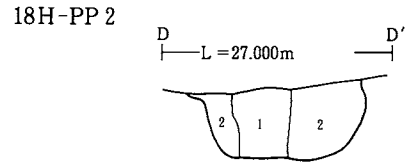


第27図 第12号掘立柱建物跡 (1)



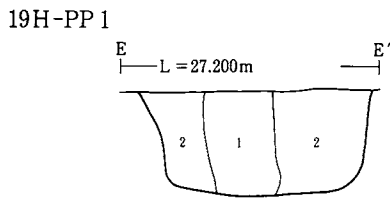
18H-PP1 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	小礫、炭化物1%混入
2	10YR4/6 褐色	ローム 締まり中	黒色土混入
3	10YR6/8 明黄褐色	ローム 締まり密	砂礫混入
4	10YR6/2 灰黄褐色	シルト 締まり密	
5	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	



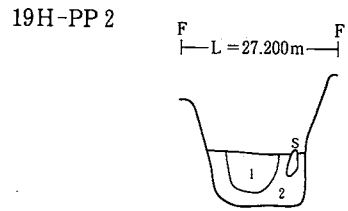
18H-PP2 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物1%、黄褐色土粒1%混入
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり密	小礫、黒褐色土粒1%混入



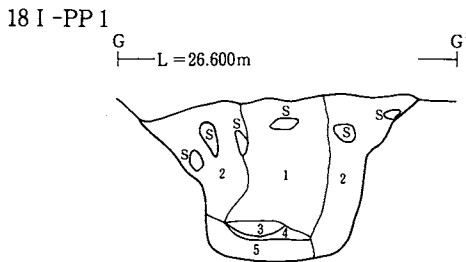
19H-PP1 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物1%、黄褐色土粒1%混入
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり密	黒褐色土粒1%、砂礫混入



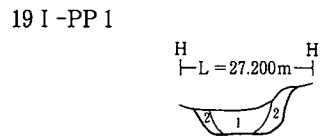
19H-PP2 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	小礫、炭化物1%混入
2	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり密	砂礫混入



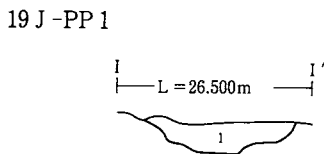
18I-PP1 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	小礫、炭化物5%、黄褐色土粒3%混入
2	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	小礫混入
3	10YR5/2 灰黄褐色	シルト 締まり中	
4	10YR4/6 褐色	ローム 締まり密	
5	10YR4/4 褐色	ローム 締まり密	



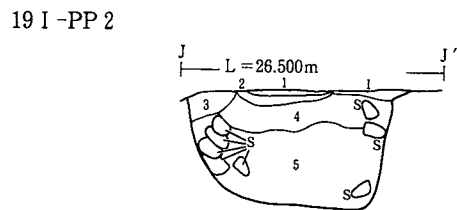
19I-PP1 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	
2	10YR4/3 にぶい黄褐色	ローム 締まり密	黒褐色土、砂礫混入



19J-PP1 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	炭化物1%、黄褐色土粒1%混入

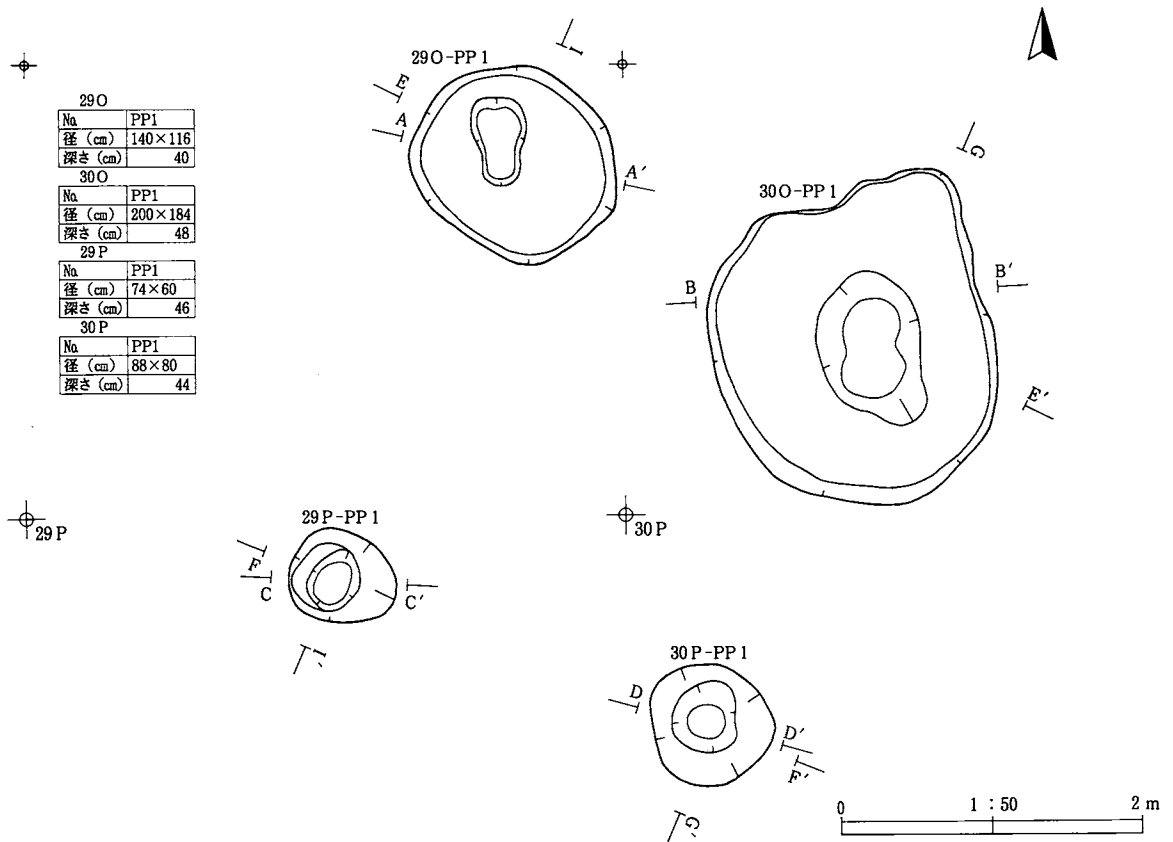


19I-PP2 (A-A')

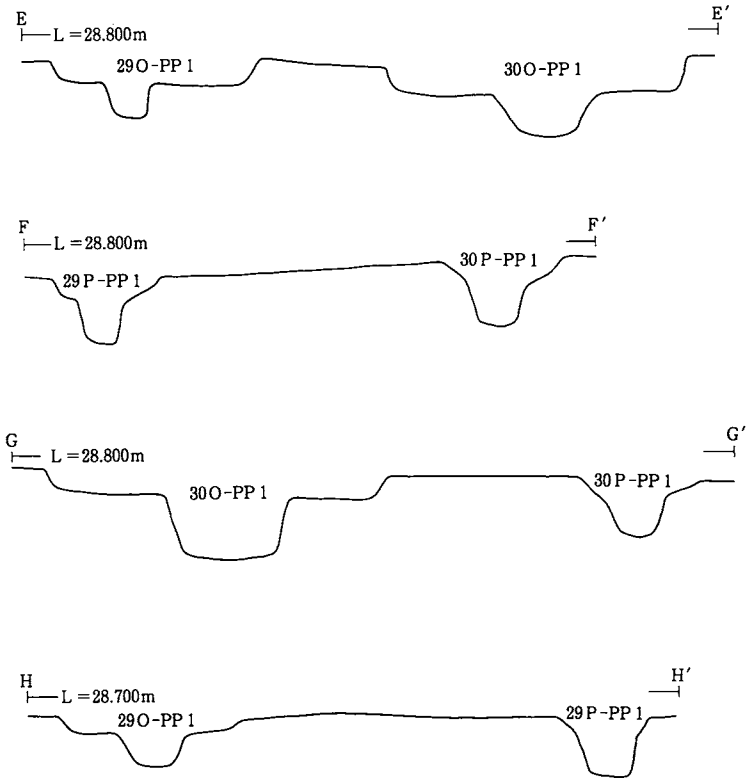
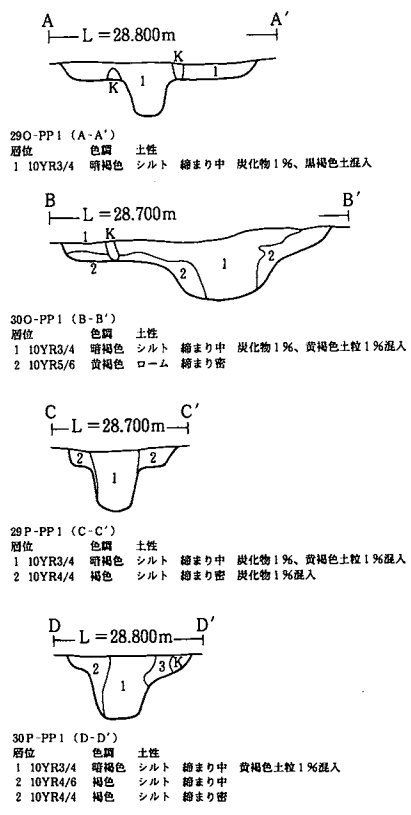
層位	色調	土性	備考
1	10YR4/4 褐色	ローム 締まり密	小礫混入(盛土)
2	10YR2/1 黒色	シルト 締まり密	小礫混入
3	10YR3/4 暗褐色	ローム 締まり密	黄褐色土粒、小礫混入
4	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物1%、小礫混入
5	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まりやや疎	炭化物1%、黄褐色土粒1%混入

0 1:40 1m

第28図 第12号掘立柱建物跡(2)



29O	
No	PP1
径 (cm)	140×116
深さ (cm)	40
30O	
No	PP1
径 (cm)	200×184
深さ (cm)	48
29P	
No	PP1
径 (cm)	74×60
深さ (cm)	46
30P	
No	PP1
径 (cm)	88×80
深さ (cm)	44



第29図 第13号掘立柱建物跡

4. 土坑

遺構（第30～49図、写真図版25～41）

土坑は、RD282～396の115基を登録・調査した。一部に調査時の命名の不便で柱穴状土坑となったものがあるが、遺構名の変更はせず、そのまま報告している。そのため登録した土坑の一部（RD282～300 a・bの20基）は掘立柱建物跡を構成する柱穴状土坑として報告しており、土坑の記載からは除外している。

土坑として報告するのはRD301～396の96基である。個々の土坑をみると、形状は、円形を基調とするものが60基と多く、楕円形を基調とするもの16基、不整形が20基である。規模は、最大のものはRD391で開口部径180×145cm、底部235×225cm、深さ135cmである。断面形は、皿形10基・碗形60基・ビーカ10形・フラスコ形16基がある。占地をみるとまとまる箇所が大きく2カ所見られる。ひとつは調査区南側、25R～25Sグリッド付近には30基以上の土坑が重複し、集中して発見された。やや不整形形状の土坑もあるが概ね円形を基調とするものが多い。攪乱・掘削を受けているため土坑の上部は削られている可能性が高く、本来の形状は留めていないと思われるが、断面フラスコ状を呈する土坑が数基確認されている。

また調査区北東側で33Jグリッド付近で断面フラスコ状を呈する土坑がまとまって検出された。いずれも竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は土坑が古いようである。

遺物（第69・70・110～116図、写真図版56・57・90～94：45～57・464～594）

出土遺物は少なく、破片が多いことから土坑埋没時に混入したものが多いと思われる。個体出土の土器が確認された土坑は、RD302、394である。RD340からは、剥片類がまとまって出土している。出土遺物は多くはないが、縄文時代後期中葉を中心とした時期と考えられる。北東側にまとまっている土坑は、同じく北東側に占地する竪穴住居跡に近接しており、縄文時代中期に属するものと思われる。

時期 縄文時代中期から後期の土坑が主体である。遺物が全く出土しない土坑もあるが、近接する土坑に近い時期であろうと思われる。

各土坑の規模・形状・埋土・出土遺物・時期など詳細は、第5表 土坑観察表に記載した。

5. 焼土遺構

遺構（第50・51図、写真図版42～46）

焼土遺構は19基検出された。本来は竪穴住居跡に帰属する炉跡としての可能性もあるが、周囲に住居跡としての痕跡が確認できなかったため焼土遺構・炉跡としたものである。

個々の焼土遺構の規模・形状をみると、形状は、やや不整形なものもあるが円形や楕円形を基調とし、規模は径50～80cmで、厚さは5cmで、色調は明赤褐色を呈するものが多い。分布をみると、調査区北東側と南側にまとまって検出されている。調査区北東側30I・30Jグリッド付近では、RF09・16・17焼土遺構がRA33・34住居跡と重複して検出された。RA33・34住居跡に後続する住居跡の炉跡である可能性がある。

調査区北東側で検出された焼土遺構は、竪穴住居跡より高い面で検出されている。位置的には重複することから、本来検出された竪穴住居跡よりも新しい時期の竪穴住居跡の炉跡であった可能性が高い。

遺物（第72・73・116・117図、写真図版58・59・94・95：60～67、595～612）

破片資料が多いが、RF15からは大型の深鉢（60）が出土しており、土器埋設炉であった可能性が高い。RF26焼土遺構では調査時に横倒した土器を確認しているが、整理時の不便で抽出できなかった。

時期 縄文時代中期～後期に属するものがあり、時期幅があるようである。

各焼土遺構の規模・形状・色調・出土遺物・時期など詳細は、第6表 焼土遺構観察表に記載した。

第5表 土坑観察表

() 内数値：残存値

遺構名		RD301		
図版	遺構	30	遺物	153
写真図版	遺構	25	遺物	132・148
位置		22U～2RD3Uグリッド		
検出状況		Ⅱ層		
重複関係		なし		
形状	平面形	不整形		
	断面形	箱形		
規模	開口部	125×88cm		
	底部	105×75cm		
	深さ	22cm		
埋土	黒色土と黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：289.65g、石器：(1841)、20.25g 石製品：(2106)、13.75g			
時期	縄文時代			

遺構名		RD302		
図版	遺構	30	遺物	69・110
写真図版	遺構	25	遺物	56・90
位置		24Tグリッド		
検出状況		Ⅲ層		
重複関係		なし		
形状	平面形	円形？		
	断面形	椀形		
規模	開口部	(125)×(125)cm		
	底部	(120)×(90)cm		
	深さ	35cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：立(45)、破(464・465) 土器：487.23g、石器：なし			
時期	縄文時代後期			

遺構名		RD303		
図版	遺構	30	遺物	111
写真図版	遺構	25	遺物	90
位置		24T～25Tグリッド		
検出状況		Ⅲ層		
重複関係		RD304を切る		
形状	平面形	不整形？		
	断面形	椀形		
規模	開口部	(140)×(140)cm		
	底部	(140)×(70)cm		
	深さ	40cm		
埋土	黒褐色土			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(466・467)、432.63g 石器：擦石(1891)			
時期	縄文時代後期			

遺構名		RD304		
図版	遺構	30	遺物	—
写真図版	遺構	25	遺物	—
位置		24T～25Tグリッド		
検出状況		Ⅲ層		
重複関係		RD303に切られる		
形状	平面形	長楕円形		
	断面形	椀形		
規模	開口部	(180)×(125)cm		
	底部	(170)×(110)cm		
	深さ	25cm		
埋土	黒褐色土と明赤褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代？			

遺構名		RD305		
図版	遺構	30	遺物	—
写真図版	遺構	25	遺物	—
位置		25Tグリッド		
検出状況		Ⅲ層		
重複関係		RD306を切る		
形状	平面形	不整形		
	断面形	椀形		
規模	開口部	(165)×(170)cm		
	底部	130cm		
	深さ	10cm		
埋土	黒褐色土			
底面	やや凹凸あり			
壁	不明			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代？			

遺構名		RD306		
図版	遺構	30	遺物	—
写真図版	遺構	25	遺物	—
位置		25Tグリッド		
検出状況		Ⅲ層		
重複関係		RD305に切られる		
形状	平面形	不整形		
	断面形	椀形		
規模	開口部	100cm		
	底部	110cm		
	深さ	15cm		
埋土	黒褐色土と暗褐色土が主体			
底面	やや凹凸あり			
壁	不明			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代？			

()内数値：残存値

遺構名	RD307		
図版	遺構 30	遺物	111
写真図版	遺構 25	遺物	90
位置	24Tグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD306を切る		
形状・規模	平面形	不整形	
	断面形	椀形	
	開口部	110×150cm	
	底部	80cm	
深さ	20cm		
埋土	黒褐色土と黄褐色土を主体		
底面	湾曲する		
壁	外傾する		
出土遺物	土器：破(468)、52.29g		
時期	縄文時代中期中葉？		

遺構名	RD308		
図版	遺構 30	遺物	—
写真図版	遺構 26	遺物	—
位置	25Tグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	なし		
形状・規模	平面形	円形？	
	断面形	椀形	
	開口部	(130)×(130)cm	
	底部	(95)×75cm	
深さ	30cm		
埋土	黒色土と黒褐色土が主体		
底面	湾曲する		
壁	外傾する		
出土遺物	土器：85.50g		
時期	縄文時代？		

遺構名	RD309		
図版	遺構 31	遺物	—
写真図版	遺構 26	遺物	—
位置	25Uグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	なし		
形状・規模	平面形	円形	
	断面形	椀形	
	開口部	80×75cm	
	底部	60×60cm	
深さ	10cm		
埋土	暗褐色土と褐色土が主体		
底面	湾曲する		
壁	外傾する		
出土遺物	なし		
時期	縄文時代？		

遺構名	RD310		
図版	遺構 31	遺物	—
写真図版	遺構 26	遺物	—
位置	25T～25Uグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	なし		
形状・規模	平面形	楕円形	
	断面形	椀形	
	開口部	165×135cm	
	底部	145×130cm	
深さ	15cm		
埋土	黒褐色土と暗褐色土が主体		
底面	東から西へ緩く傾斜		
壁	外傾する		
出土遺物	なし		
時期	縄文時代？		

遺構名	RD311		
図版	遺構 31	遺物	111
写真図版	遺構 26	遺物	90
位置	23S～24Sグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD312を切る		
形状・規模	平面形	円形	
	断面形	箱形	
	開口部	250×(140)cm	
	底部	130×120cm	
深さ	40cm		
埋土	黒色土と黒褐色土が主体		
底面	湾曲する		
壁	直立気味に立ち上がる		
出土遺物	土器：破(469・470)、449.34g		
時期	縄文時代後期		

遺構名	RD312		
図版	遺構 31	遺物	—
写真図版	遺構 26	遺物	—
位置	23S～24Sグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD311に切られる		
形状・規模	平面形	円形	
	断面形	箱形	
	開口部	(120)×(160)cm	
	底部	(110)×(140)cm	
深さ	20cm		
埋土	黒褐色土が主体		
底面	ほぼ平坦		
壁	外傾する		
出土遺物	なし		
時期	縄文時代？		

()内数値：残存値

遺構名	RD313			
図版	遺構 31	遺物	-	
写真図版	遺構 27	遺物	-	
位置	23T~24Tグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD314に切られる			
形状・規模	平面形	楕円形?		
	断面形	椀形		
	開口部	135×(60)cm		
	底部	110×(40)cm		
深さ	15cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代?			

遺構名	RD314			
図版	遺構 31	遺物	-	
写真図版	遺構 27	遺物	-	
位置	24Tグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD313を切る			
形状・規模	平面形	円形?		
	断面形	椀形		
	開口部	(125)×(125)cm		
	底部	115×115cm		
深さ	15cm			
埋土	黒褐色土			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代?			

遺構名	RD315			
図版	遺構 32	遺物	111	
写真図版	遺構 27	遺物	90	
位置	24Tグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD316と重複する			
形状・規模	平面形	楕円形?		
	断面形	椀形		
	開口部	170×(100)cm		
	底部	160×(90)cm		
深さ	62cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	緩く湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(471)、78.94g 土製品：(1125・1126)			
時期	縄文時代中期?			

遺構名	RD316			
図版	遺構 32	遺物	-	
写真図版	遺構 27	遺物	-	
位置	24Tグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD315と重複する			
形状・規模	平面形	楕円形?		
	断面形	皿形		
	開口部	146×(36)cm		
	底部	140×(28)cm		
深さ	14cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代?			

遺構名	RD317			
図版	遺構 32	遺物	111	
写真図版	遺構 27	遺物	90	
位置	26Uグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD334と重複する			
形状・規模	平面形	円形?		
	断面形	皿形		
	開口部	(200)×122cm		
	底部	(180)×116cm		
深さ	22cm			
埋土	黒色土と黒褐色土が主体			
底面	緩く凹凸する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(472・473)、326.59g			
時期	縄文時代中期以降?			

遺構名	RD318			
図版	遺構 32	遺物	-	
写真図版	遺構 27	遺物	-	
位置	27Uグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	皿形		
	開口部	150×(50)cm		
	底部	120×(40)cm		
深さ	20cm			
埋土	暗褐色土と明黄褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：9.67g			
時期	縄文時代?			

()内数値：残存値

遺構名	RD319			
図版	遺構	33	遺物	—
写真図版	遺構	28	遺物	—
位置	27Uグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	皿形		
	開口部	120×110cm		
	底部	106×102cm		
	深さ	18cm		
埋土	暗褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：52.39g			
時期	縄文時代			

遺構名	RD320			
図版	遺構	33	遺物	69
写真図版	遺構	28	遺物	56
位置	27U～28Uグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	不整な楕円形		
	断面形	椀形		
	開口部	150×175cm		
	底部	150×96cm		
	深さ	30cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：立(46・47)、562.74g			
時期	縄文時代			

遺構名	RD321			
図版	遺構	33	遺物	—
写真図版	遺構	28	遺物	—
位置	29Uグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD322を切る			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	椀形		
	開口部	200×(106)cm		
	底部	170×(70)cm		
	深さ	60cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	緩く湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破294.84g			
時期	縄文時代			

遺構名	RD322			
図版	遺構	33	遺物	—
写真図版	遺構	28	遺物	—
位置	28Uグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD321に切られる			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	不明		
	開口部	270×170cm		
	底部	260×130cm		
	深さ	40cm		
埋土	暗褐色土が主体			
底面	凹凸あり			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代			

遺構名	RD323			
図版	遺構	34	遺物	—
写真図版	遺構	28	遺物	—
位置	28W～29Wグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	椀形		
	開口部	132×116cm		
	底部	70×60cm		
	深さ	30cm		
埋土	暗褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：12.65g			
時期	縄文時代			

遺構名	RD324			
図版	遺構	34	遺物	—
写真図版	遺構	29	遺物	—
位置	29Uグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	溝状？		
	断面形	椀形		
	開口部	110×(175)cm		
	底部	150×(166)cm		
	深さ	40cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	土器：15.39g			
時期	縄文時代			

()内数値：残存値

遺構名	RD325			
図版	遺構 34	遺物	-	
写真図版	遺構 29	遺物	-	
位置	26Uグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	箱形		
	開口部	104×(20)cm		
	底部	50×(8)cm		
深さ	30cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	緩く湾曲する			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代			

遺構名	RD326			
図版	遺構 34	遺物	111	
写真図版	遺構 29	遺物	90	
位置	27Vグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	不整な円形		
	断面形	楕形		
	開口部	118×118cm		
	底部	102×94cm		
深さ	34cm			
埋土	黒褐色土と暗褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(474)、217.65g			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD327			
図版	遺構 35	遺物	-	
写真図版	遺構 29	遺物	-	
位置	27Vグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD328と重複する			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	皿形		
	開口部	186×90cm		
	底部	170×(75)cm		
深さ	14cm			
埋土	暗褐色土が主体			
底面	平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：14.77g			
時期	縄文時代			

遺構名	RD328			
図版	遺構 35	遺物	-	
写真図版	遺構 30	遺物	-	
位置	27V～28Vグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD327と重複する			
形状・規模	平面形	不整な円形		
	断面形	皿形		
	開口部	140×110cm		
	底部	125×40cm		
深さ	18cm			
埋土	黒褐色土と暗褐色土が主体			
底面	凹凸あり			
壁	不明			
出土遺物	土器：6.25g			
時期	縄文時代			

遺構名	RD329			
図版	遺構 35	遺物	-	
写真図版	遺構 30	遺物	-	
位置	24Sグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	楕形		
	開口部	95×(30)cm		
	底部	50×(21)cm		
深さ	22cm			
埋土	黒色土と黄褐色土の互層			
底面	湾曲する			
壁	緩く湾曲する			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代			

遺構名	RD330			
図版	遺構 35	遺物	-	
写真図版	遺構 30	遺物	-	
位置	24Sグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD331を切る			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	楕形		
	開口部	180×(80)cm		
	底部	135×(55)cm		
深さ	25cm			
埋土	黒褐色土と暗褐色土の互層			
底面	湾曲する			
壁	緩く湾曲する			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代			

()内数値：残存値

遺構名	RD331			
図版	遺構	35	遺物	111
写真図版	遺構	30	遺物	90
位置	24T～25Tグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD330に切られる			
形状・規模	平面形	楕円形？		
	断面形	皿形		
	開口部	200×64cm		
	底部	166×(38)cm		
深さ	20cm			
埋土	黒褐色土と明黄褐色土が主体			
底面	西から東へ傾斜する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(475)、31.53g			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD332			
図版	遺構	35	遺物	111
写真図版	遺構	30	遺物	91
位置	24S～25Sグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD337に切られる			
形状・規模	平面形	不整な隅丸方形		
	断面形	椀形		
	開口部	180×132cm		
	底部	140×110cm		
深さ	35cm			
埋土	黒褐色土と明黄褐色土の互層			
底面	緩く湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(476・477)、212.29g			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD333			
図版	遺構	36	遺物	111
写真図版	遺構	30	遺物	91
位置	25S～25Tグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD345を切る			
形状・規模	平面形	不整な楕円形		
	断面形	椀形		
	開口部	170×120cm		
	底部	125×90cm		
深さ	38cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	緩く湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(478)、137.61g			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD334			
図版	遺構	36	遺物	—
写真図版	遺構	31	遺物	—
位置	25U～26Uグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD317と重複する			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	箱形		
	開口部	78×72cm		
	底部	72×68cm		
深さ	10cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	西から東へ傾斜			
壁	外傾する			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代			

遺構名	RD335			
図版	遺構	36	遺物	—
写真図版	遺構	31	遺物	—
位置	26Uグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	不整な隅丸方形		
	断面形	椀形		
	開口部	80×78cm		
	底部	64×55cm		
深さ	24cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	緩く湾曲する			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代			

遺構名	RD336			
図版	遺構	37	遺物	—
写真図版	遺構	31	遺物	—
位置	25Sグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	不整な楕円形		
	断面形	椀形		
	開口部	114×88cm		
	底部	65×60cm		
深さ	24cm			
埋土	黒褐色土と黒色土が主体			
底面	緩く湾曲する			
壁	不明			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代			

()内数値：残存値

遺構名	RD337			
図版	遺構	37	遺物	—
写真図版	遺構	31	遺物	—
位置	24S～25Sグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD332を切る			
形状・規模	平面形	不整な楕円形		
	断面形	楕形		
	開口部	194×(120)cm		
	底部	144×65cm		
深さ	42cm			
埋土	黒色土と黄褐色土の互層			
底面	緩く湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：16.41g			
時期	縄文時代			

遺構名	RD338			
図版	遺構	37	遺物	111
写真図版	遺構	32	遺物	91
位置	29Iグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	箱形		
	開口部	72×(44)cm		
	底部	62×40cm		
深さ	58cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	直立する			
出土遺物	土器：破(479・480)、896.58g 石器：0.30g			
時期	縄文時代中期中葉			

遺構名	RD339			
図版	遺構	37	遺物	111
写真図版	遺構	32	遺物	91
位置	27Iグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	箱形		
	開口部	85×90cm		
	底部	75×80cm		
深さ	45cm			
埋土	暗褐色土と黒褐土が主体			
底面	緩く湾曲する			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	土器：破(481)、88.94g			
時期	縄文時代中期中葉			

遺構名	RD340			
図版	遺構	38	遺物	111
写真図版	遺構	32	遺物	91
位置	33Jグリッド			
検出状況	楕円形			
重複関係	RD350に切られる			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	フラスコ形		
	開口部	180×130cm		
	底部	208×192cm		
深さ	110cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	内湾する			
出土遺物	土器：破(482～484)、2215.52g			
時期	縄文時代中期中葉			

遺構名	RD341			
図版	遺構	39	遺物	111
写真図版	遺構	32	遺物	91
位置	32Kグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD344を切る			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	箱形		
	開口部	(120)×(76)cm		
	底部	(110)×(74)cm		
深さ	28cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	直立する			
出土遺物	土器：破(485～487)、1952.04g 土製品：(1127)、石器：9.55g			
時期	縄文時代中期中葉			

遺構名	RD342			
図版	遺構	39	遺物	111
写真図版	遺構	33	遺物	91
位置	32Lグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	楕形		
	開口部	(110)×(50)cm		
	底部	(90)×(40)cm		
深さ	25cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	湾曲する・柱あたり？			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(488・489)、611.13g			
時期	縄文時代中期中葉			

()内数値：残存値

遺構名		RD343		
図版	遺構	39	遺物	69・111
写真図版	遺構	33	遺物	56
位置	33Kグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	ビーカー形		
	開口部	140×(90)cm		
	底部	130×(70)cm		
	深さ	100cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦・副穴あり			
壁	直立する			
出土遺物	土器：立(48)、破(490・491)、2866.35g、石器：(1587・1622・1752)			
時期	縄文時代中期後葉～			

遺構名		RD344		
図版	遺構	39	遺物	111
写真図版	遺構	32・33	遺物	91
位置	33L～33Kグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD341に切られる			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	皿形		
	開口部	(100)×(50)cm		
	底部	(80)×(45)cm		
	深さ	8cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(492)、122.42g 石器：(1989・2027)、 石製品(2091)			
時期	縄文時代中期			

遺構名		RD345		
図版	遺構	36	遺物	—
写真図版	遺構	30	遺物	—
位置	25S～25Tグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD333に切られる			
形状・規模	平面形	不整な楕円形		
	断面形	皿形		
	開口部	(125)×95cm		
	底部	120×75cm		
	深さ	15cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	やや凹凸あり			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：647.87g			
時期	縄文時代中期			

遺構名		RD346		
図版	遺構	38	遺物	112
写真図版	遺構	33	遺物	91
位置	33Jグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	不整形		
	断面形	箱形		
	開口部	190×105cm		
	底部	150×72cm		
	深さ	55cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	中央付近が高まる			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(493～495)、4376.12g 土製品：(1128・1129)、 石器：(2028)、11.93g			
時期	縄文時代中期後葉			

遺構名		RD347		
図版	遺構	38	遺物	—
写真図版	遺構	33	遺物	—
位置	32Jグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	不整形		
	断面形	皿形		
	開口部	105×72cm		
	底部	75×58cm		
	深さ	28cm		
埋土	暗褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：53.01g			
時期	縄文時代中期			

遺構名		RD348		
図版	遺構	38	遺物	112
写真図版	遺構	34	遺物	91
位置	33Jグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	ビーカー形		
	開口部	(105)×62cm		
	底部	(88)×68cm		
	深さ	70cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	直立する			
出土遺物	土器：破(496)、729.11g 石器：(2028)			
時期	縄文時代中期後葉			

()内数値：残存値

遺構名	RD349			
図版	遺構	39	遺物	111・112
写真図版	遺構	34	遺物	91
位置	31Lグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	逆台形		
	開口部	130×134cm		
	底部	114×100cm		
深さ	46cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦・柱あたり？			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(487~505)、4135.09g 土製品：(1130)、 石器：(1530)、94.22g			
時期	縄文時代中期			

遺構名	RD350			
図版	遺構	38	遺物	69
写真図版	遺構	34	遺物	56
位置	32J~33Jグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD340を切る			
形状・規模	平面形	不整な円形		
	断面形	ビーカー形		
	開口部	134×124cm		
	底部	113×107cm		
深さ	180cm			
埋土	褐色土が主体？			
底面	やや凹凸あり			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	土器：立(49)、1062.09g			
時期	縄文時代中期？			

遺構名	RD351			
図版	遺構	39	遺物	—
写真図版	遺構	34	遺物	—
位置	25Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	皿形		
	開口部	153×150cm		
	底部	140×90cm		
深さ	23cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：56.21g			
時期	縄文時代後期？			

遺構名	RD352			
図版	遺構	40	遺物	—
写真図版	遺構	35	遺物	—
位置	24Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	フラスコ状		
	開口部	70×(30)cm		
	底部	96×(45)cm		
深さ	60cm			
埋土	暗褐色土と黒褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	内湾する			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代後期？			

遺構名	RD353			
図版	遺構	40	遺物	—
写真図版	遺構	35	遺物	—
位置	24Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD354に切られる			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	不整形		
	開口部	116×56cm		
	底部	70×24cm		
深さ	36cm			
埋土	黄褐色土が主体			
底面	凹凸あり			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：96.39g			
時期	縄文時代後期？			

遺構名	RD354			
図版	遺構	40	遺物	112
写真図版	遺構	35	遺物	91
位置	24Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD353を切る			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	碗形		
	開口部	130×115cm		
	底部	85×58cm		
深さ	30cm			
埋土	黄褐色土と明黄褐色土と黒褐色土の互層			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(506)、51.76g			
時期	縄文時代後期			

()内数値：残存値

遺構名	RD355		
図版	遺構 40	遺物	—
写真図版	遺構 35	遺物	—
位置	24Rグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD354・371と重複		
形状・規模	平面形	楕円形	
	断面形	皿形	
	開口部	210×118cm	
	底部	152×68cm	
深さ	42cm		
埋土	黒褐色土が主体		
底面	西から東へ緩く傾斜		
壁	外傾する		
出土遺物	土器：78.31g 石器：6.66g		
時期	縄文時代後期		

遺構名	RD356		
図版	遺構 40	遺物	—
写真図版	遺構 35	遺物	—
位置	24R～25Rグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	なし		
形状・規模	平面形	不整な円形	
	断面形	椀形	
	開口部	110×110cm	
	底部	70×45cm	
深さ	24cm		
埋土	黄褐色土と黒褐色土の互層		
底面	湾曲する		
壁	不明		
出土遺物	土器：14.44g		
時期	縄文時代後期		

遺構名	RD357		
図版	遺構 40	遺物	112
写真図版	遺構 35	遺物	91
位置	24S～25Sグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD371を切る		
形状・規模	平面形	不整な円形	
	断面形	椀形	
	開口部	180×70cm	
	底部	106×92cm	
深さ	46cm		
埋土	黄褐色土と黒褐色土の互層と暗褐色土		
底面	緩く湾曲する		
壁	外傾する		
出土遺物	土器：破(507・508)、157.78g		
時期	縄文時代後期		

遺構名	RD358		
図版	遺構 41	遺物	112
写真図版	遺構 35	遺物	91
位置	26Rグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	なし		
形状・規模	平面形	不整形	
	断面形	椀形	
	開口部	120×115cm	
	底部	55×55cm	
深さ	40cm		
埋土	黒褐色土		
底面	湾曲する		
壁	外傾する		
出土遺物	土器：破(509・510)、221.85g		
時期	縄文時代後期		

遺構名	RD359		
図版	遺構 41	遺物	112
写真図版	遺構 36	遺物	91
位置	27Pグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD360を切る		
形状・規模	平面形	不整な楕円形	
	断面形	逆台形	
	開口部	180×(60)cm	
	底部	160×(45)cm	
深さ	56cm		
埋土	黒褐色土と暗褐色土が主体		
底面	湾曲する		
壁	外傾する		
出土遺物	土器：破(511)、386.00g		
時期	縄文時代後期		

遺構名	RD360		
図版	遺構 41	遺物	—
写真図版	遺構 36	遺物	—
位置	27Pグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD359に切られる		
形状・規模	平面形	不整な楕円形	
	断面形	椀形	
	開口部	185×105cm	
	底部	125×80cm	
深さ	35cm		
埋土	黒褐色土と暗褐色土が主体		
底面	やや凹凸あり		
壁	外傾する		
出土遺物	土器：96.89g		
時期	縄文時代後期？		

()内数値：残存値

遺構名	RD361			
図版	遺構	41	遺物	69・112
写真図版	遺構	36	遺物	56・92
位置	25Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD362を切る			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	フラスコ形？		
	開口部	215×(150)cm		
	底部	165×(130)cm		
深さ	70cm			
埋土	上位は黒色土、下位は暗褐色土と黒褐色土			
底面	ほぼ平坦			
壁	内湾する			
出土遺物	土器：立(50)、破(512・513) 887.84g、石器：(1830)			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD362			
図版	遺構	41	遺物	69・112・113
写真図版	遺構	36	遺物	56・92
位置	25Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD361に切られる			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	皿形？		
	開口部	185×(170)cm		
	底部	95×(135)cm		
深さ	45cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：立(51)、破(514～521)、3045.59g 石器：37.55g、石製品：(2108)			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD363			
図版	遺構	42	遺物	70・113
写真図版	遺構	36	遺物	57・92
位置	25Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD366を切る			
形状・規模	平面形	不整な楕円形		
	断面形	碗形		
	開口部	170×125cm		
	底部	115×75cm		
深さ	90cm			
埋土	上位は黒褐色土、下位は黒褐色土と黄褐色土の互層			
底面	湾曲する			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	土器：立(52・53)、破(522～532)、4705.73g、石器：(1632)、114.71g			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD364			
図版	遺構	42	遺物	113
写真図版	遺構	36	遺物	92
位置	24Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD366を切る			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	フラスコ形？		
	開口部	115×85cm		
	底部	120×60cm		
深さ	70cm			
埋土	上位は黒褐色土、下位は暗褐色土と黄褐色土			
底面	ほぼ平坦			
壁	内湾する			
出土遺物	土器：破(533～536)、2335.65g 石器：(1624)、83.77g			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD365			
図版	遺構	42	遺物	113
写真図版	遺構	36	遺物	92
位置	24Qグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	不整な円形		
	断面形	不整な碗形		
	開口部	130×120cm		
	底部	110×105cm		
深さ	30cm			
埋土	黒褐色土と明黄褐色土			
底面	凹凸しながら湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(537～539)、335.64g 土製品：(1132)			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD366			
図版	遺構	42	遺物	70・113・114
写真図版	遺構	36	遺物	57・92
位置	26Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD363に切られる			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	不明		
	開口部	(180)×(140)cm		
	底部	(150)×(120)cm		
深さ	60cm			
埋土	上位は黒褐色土、下位は暗褐色土			
底面	平坦			
壁	内湾？			
出土遺物	土器：立(54)、破(540・541)			
時期	縄文時代後期？			

()内数値：残存値

遺構名	RD367			
図版	遺構 41	遺物	70・114	
写真図版	遺構 36	遺物	57・92・93	
位置	25Q～25Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD362に切られる			
形状	平面形	円形		
	断面形	逆台形		
規模	開口部	240×210cm		
	底部	180×160cm		
	深さ	56cm		
埋土	黒褐色土と黒色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：立(55)、破(542～544)、2898.73g、石器：26.21g			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD368			
図版	遺構 42	遺物	-	
写真図版	遺構 37	遺物	-	
位置	25R～26Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD361・362・367と重複			
形状	平面形	円形？		
	断面形	椀形		
規模	開口部	200×140cm		
	底部	160×120cm		
	深さ	50cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：52.71g 石器：29.49g			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD369			
図版	遺構 43	遺物	114	
写真図版	遺構 37	遺物	93	
位置	29R～RD30Rグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状	平面形	不整形		
	断面形	不整形		
規模	開口部	(390)×(210)cm		
	底部	150×75cm		
	深さ	50cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	凹凸あり、湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(545～547)、1125.67g 土製品：(1133)			
時期	縄文時代後期			

遺構名	RD370			
図版	遺構 43	遺物	114	
写真図版	遺構 37	遺物	93	
位置	29Q～30Qグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状	平面形	不整形		
	断面形	椀形		
規模	開口部	400×260cm		
	底部	320×215cm		
	深さ	65cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(548～555)、2501.83g 土製品：(1134)、石器：46.10g			
時期	縄文時代晩期前葉			

遺構名	RD371			
図版	遺構 44	遺物	-	
写真図版	遺構 -	遺物	-	
位置	24R～24Sグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD355・357に切られる			
形状	平面形	円形？		
	断面形	皿形		
規模	開口部	(150)×(80)cm		
	底部	(60)cm		
	深さ	17cm		
埋土	黒色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：213.53g 石器：23.58g			
時期	縄文時代			

遺構名	RD372			
図版	遺構 44	遺物	114	
写真図版	遺構 37	遺物	93	
位置	31Jグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状	平面形	不整形な椀円形		
	断面形	箱形		
規模	開口部	(130)×(88)cm		
	底部	(120)×(92)cm		
	深さ	28cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	湾曲する、副穴			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	土器：破(556)、352.21g 石器：34.69g			
時期	縄文時代			

()内数値：残存値

遺構名	RD373			
図版	遺構	44	遺物	114
写真図版	遺構	37	遺物	93
位置	30Tグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	P Pに切られる			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	皿形		
	開口部	140×130cm		
	底部	130×120cm		
	深さ	20cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(557・559)、1754.34g 土製品：(1135・1136)、石器： (1531・1625・1753)、74.13g			
時期	縄文時代中期末葉			

遺構名	RD374			
図版	遺構	44	遺物	114
写真図版	遺構	—	遺物	93
位置	24S～25Sグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD361と重複する			
形状・規模	平面形	溝状		
	断面形	皿形		
	開口部	350×65cm		
	底部	295×35cm		
	深さ	23cm		
埋土	黒色土が主体			
底面	緩く湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：(破)559			
時期	縄文時代中期末葉			

遺構名	RD375			
図版	遺構	45	遺物	115
写真図版	遺構	38	遺物	93
位置	31K～32Kグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	碗形		
	開口部	155×142cm		
	底部	145×96cm		
	深さ	50cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	土器：破(560)、1045.86g 土製品：(1358～1360)、 石器：(1896)			
時期	縄文時代中期末葉			

遺構名	RD376			
図版	遺構	45	遺物	115
写真図版	遺構	38	遺物	93
位置	30J～30Kグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	箱形		
	開口部	102×100cm		
	底部	86×85cm		
	深さ	30cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	平坦			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	土器：破(561)、367.20g 石器：(1588)			
時期	縄文時代中期後葉			

遺構名	RD377			
図版	遺構	45	遺物	—
写真図版	遺構	38	遺物	—
位置	32Lグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	隅丸方形？		
	断面形	碗形		
	開口部	82×(45)cm		
	底部	70×(22)cm		
	深さ	36cm		
埋土	黒褐色土が主体			
底面	湾曲する			
壁	外傾する			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代中期			

遺構名	RD378			
図版	遺構	45	遺物	—
写真図版	遺構	38	遺物	—
位置	31K～31Lグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	P Pを切る			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	皿形		
	開口部	100×95cm		
	底部	70×85cm		
	深さ	20cm		
埋土	黒褐色土と暗褐色土と黄褐色土の互層			
底面	平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：547.32g			
時期	縄文時代中期			

()内数値：残存値

遺構名	RD379			
図版	遺構	46	遺物	—
写真図版	遺構	39	遺物	—
位置	31Kグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD380を切る			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	皿形		
	開口部	120×104cm		
	底部	90×82cm		
深さ	27cm			
埋土	暗褐色土と黄褐色土と黒褐色土の互層			
底面	平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：428.08g 石器：29.95g			
時期	縄文時代中期			

遺構名	RD380			
図版	遺構	46	遺物	115
写真図版	遺構	39	遺物	93
位置	31Kグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	RD379に切られる			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	皿形？		
	開口部	(50)×(50)cm		
	底部	(40)×(38)cm		
深さ	20cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(562)、272.56g 土製品：(1362)、 石器：18.86g			
時期	縄文時代中期末葉			

遺構名	RD381			
図版	遺構	46	遺物	—
写真図版	遺構	39	遺物	—
位置	32Kグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	箱形		
	開口部	98×(88)cm		
	底部	85×(28)cm		
深さ	35cm			
埋土	上位は黒褐色土、下位は明黄褐色土			
底面	ほぼ平坦			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	土器：32.35g			
時期	縄文時代中期			

遺構名	RD382			
図版	遺構	46	遺物	115
写真図版	遺構	39	遺物	93
位置	RD30Lグリッド			
検出状況	Ⅲ層			
重複関係	なし			
形状・規模	平面形	楕円形		
	断面形	不整な皿形		
	開口部	130×100cm		
	底部	120×100cm		
深さ	12cm			
埋土	黒褐色土			
底面	やや凹凸あり			
壁	不明			
出土遺物	土器：破(563)、149.46g			
時期	縄文時代中期末葉			

遺構名	RD383			
図版	遺構	46	遺物	115
写真図版	遺構	39	遺物	93
位置	26Iグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	RD384を切る			
形状・規模	平面形	円形？		
	断面形	皿形		
	開口部	235×(100)cm		
	底部	150cm		
深さ	20cm			
埋土	黒褐色土が主体			
底面	ほぼ平坦			
壁	外傾する			
出土遺物	土器：破(564~566)、 石器：(1831)			
時期	縄文時代中期末葉			

遺構名	RD384			
図版	遺構	46	遺物	115
写真図版	遺構	39	遺物	93
位置	26Iグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	RD383に切られる			
形状・規模	平面形	円形		
	断面形	ビーカー形		
	開口部	144×145cm		
	底部	140×130cm		
深さ	85cm			
埋土	上位は暗褐色土、下位は黒褐色土と褐色土の互層			
底面	凹凸あり			
壁	直立気味に立ち上がる			
出土遺物	土器：破(567~570)、2791.75g 石製品：(2102)			
時期	縄文時代中期？			

()内数値：残存値

遺構名	RD385		
図版	遺構 47	遺物	115
写真図版	遺構 40	遺物	93
位置	31J～31Kグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	なし		
形状	平面形	楕円形	
	断面形	皿形	
・開口部	106×86cm		
規模	底部	90×78cm	
	深さ	8cm	
埋土	黒褐色土が主体		
底面	ほぼ平坦		
壁	外傾する		
出土遺物	土器：破(571・572)、165.46g		
時期	縄文時代中期末葉		

遺構名	RD386		
図版	遺構 47	遺物	—
写真図版	遺構 40	遺物	—
位置	32Kグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	PPに切られる		
形状	平面形	円形？	
	断面形	皿形？	
・開口部	115×90cm		
規模	底部	90×80cm	
	深さ	13cm	
埋土	黒褐色土が主体		
底面	平坦		
壁	外傾する		
出土遺物	なし		
時期	縄文時代		

遺構名	RD387		
図版	遺構 47	遺物	115
写真図版	遺構 40	遺物	93
位置	32Jグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RA38・PPに切られる		
形状	平面形	不整な円形	
	断面形	皿形	
・開口部	118×100cm		
規模	底部	108×88cm	
	深さ	20cm	
埋土	黒褐色土が主体		
底面	西から東へ傾斜		
壁	外傾する		
出土遺物	土器：破(573)、178.95g 石器：5.98g		
時期	縄文時代		

遺構名	RD388		
図版	遺構 47	遺物	115
写真図版	遺構 40	遺物	93
位置	32J～32Kグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	なし		
形状	平面形	円形	
	断面形	箱形	
・開口部	110×100cm		
規模	底部	90×90cm	
	深さ	46cm	
埋土	黒褐色土と暗褐色土が主体		
底面	緩く湾曲する		
壁	直立気味に立ち上がる		
出土遺物	土器：破(574～576)		
時期	縄文時代中期末葉		

遺構名	RD389		
図版	遺構 47	遺物	115
写真図版	遺構 40・41	遺物	94
位置	30K～31Kグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD390と重複する		
形状	平面形	円形？	
	断面形	皿形？	
・開口部	192×180cm		
規模	底部	172×155cm	
	深さ	25cm	
埋土	黒褐色土が主体		
底面	ほぼ平坦		
壁	直立気味に立ち上がる		
出土遺物	土器：破(577)、1151.89g		
時期	縄文時代中期末葉		

遺構名	RD390		
図版	遺構 47	遺物	115
写真図版	遺構 41	遺物	94
位置	30K～31Kグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD389と重複する		
形状	平面形	楕円形	
	断面形	いびつな箱形	
・開口部	120×50cm		
規模	底部	120×48cm	
	深さ	40cm	
埋土	暗褐色土と黒褐色土が主体		
底面	ほぼ平坦？		
壁	直立気味に立ち上がる		
出土遺物	土器：破(578・579)、187.59g		
時期	縄文時代中期末葉		

()内数値：残存値

遺構名	RD391		
図版	遺構 48	遺物	115
写真図版	遺構 -	遺物	94
位置	29L～30Lグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RA40に切られる		
形状	平面形	楕円形	
	断面形	フラスコ形	
規模	開口部	180×145cm	
	底部	235×225cm	
	深さ	135cm	
埋土	上位は黒褐色土、下位は黄褐色土と黒褐色土の互層		
底面	西から東へ傾斜する		
壁	内湾する		
出土遺物	土器：破(580・581)、760.71g 石器：3.80g		
時期	縄文時代中期		

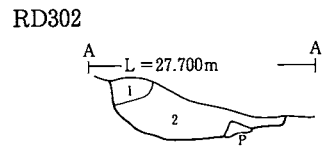
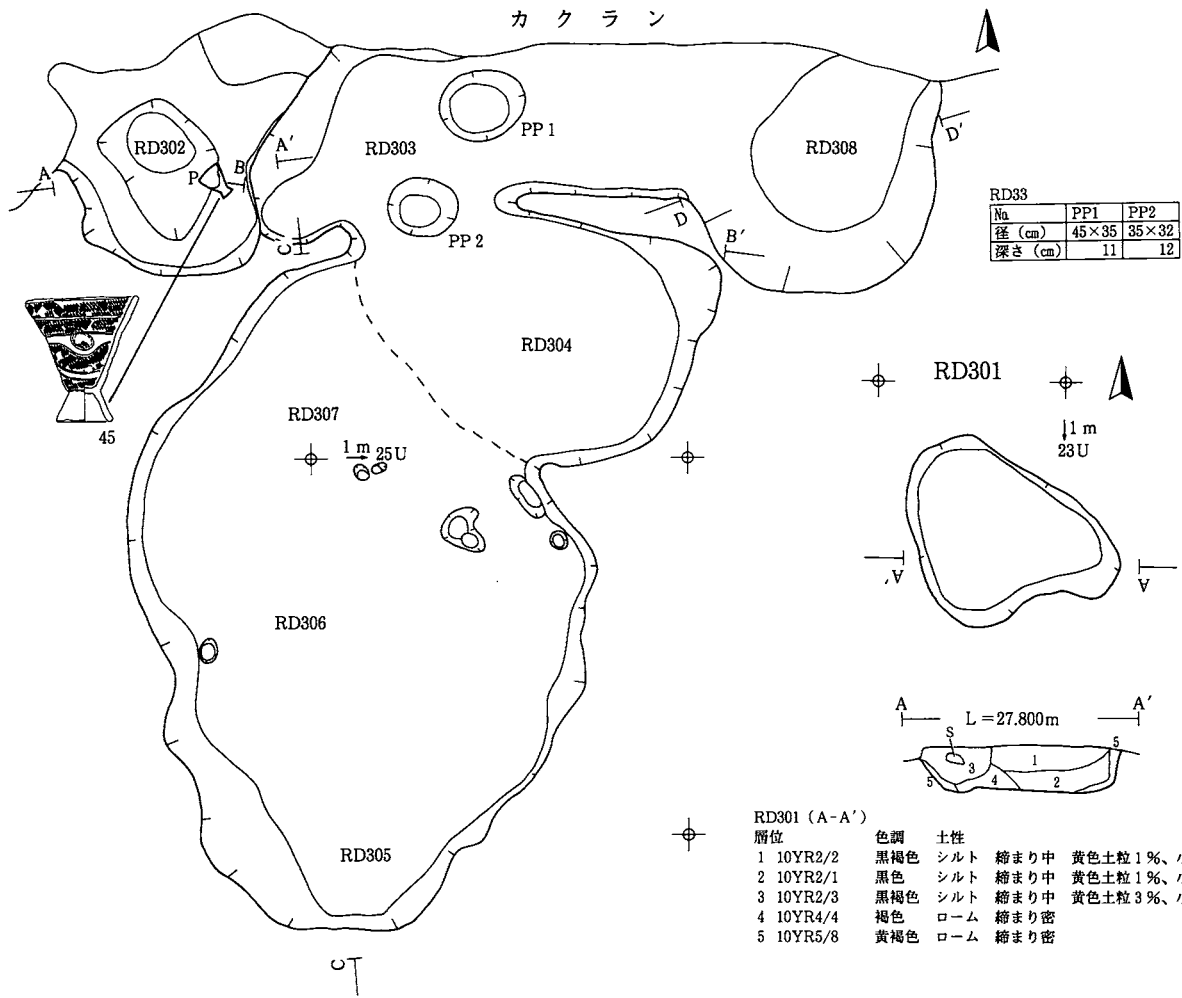
遺構名	RD392		
図版	遺構 48	遺物	115
写真図版	遺構 41	遺物	94
位置	28L～29Lグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RA40に切られる		
形状	平面形	円形	
	断面形	フラスコ形	
規模	開口部	138×138cm	
	底部	210×220cm	
	深さ	155cm	
埋土	上位は黒褐色土、下位は明黄褐色土		
底面	ほぼ平坦		
壁	内湾する		
出土遺物	土器：破(582)、216.07g		
時期	縄文時代中期中葉		

遺構名	RD393		
図版	遺構 48	遺物	-
写真図版	遺構 41	遺物	-
位置	30Oグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	なし		
形状	平面形	円形	
	断面形	箱形	
規模	開口部	63×72cm	
	底部	56×54cm	
	深さ	30cm	
埋土	黒褐色土が主体		
底面	緩く湾曲する		
壁	外傾する		
出土遺物	なし		
時期	縄文時代中期？		

遺構名	RD394		
図版	遺構 49	遺物	70・115
写真図版	遺構 41	遺物	57・94
位置	28Mグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD395と重複する・RA40に切られる		
形状	平面形	円形	
	断面形	皿形？	
規模	開口部	160×175cm	
	底部	155×145cm	
	深さ	25cm	
埋土	黒褐色土と暗褐色土と褐色土の互層		
底面	ほぼ平坦		
壁	外傾する		
出土遺物	土器：立(56)、破(583～585)、1123.53g		
時期	縄文時代中期前葉		

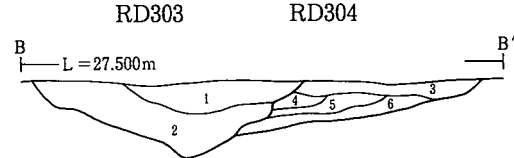
遺構名	RD395		
図版	遺構 49	遺物	-
写真図版	遺構 41	遺物	-
位置	28Lグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RD394と重複する・RA40に切られる		
形状	平面形	楕円形	
	断面形	フラスコ形？	
規模	開口部	150×122cm	
	底部	128×102cm	
	深さ	50cm	
埋土	暗褐色土と黄褐色土と黒褐色土の互層		
底面	平坦		
壁	内湾する		
出土遺物	なし		
時期	縄文時代中期前葉？		

遺構名	RD396		
図版	遺構 49	遺物	70・116
写真図版	遺構 -	遺物	57・94
位置	29L～29Mグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	RA40に切られる		
形状	平面形	円形	
	断面形	フラスコ形	
規模	開口部	106×102cm	
	底部	212×180cm	
	深さ	130cm	
埋土	黒褐色土と黄褐色土の互層		
底面	ほぼ平坦		
壁	内湾する		
出土遺物	土器：立(57)、破(586～594)、4374.07g、石器：1.74g		
時期	縄文時代中期中葉		



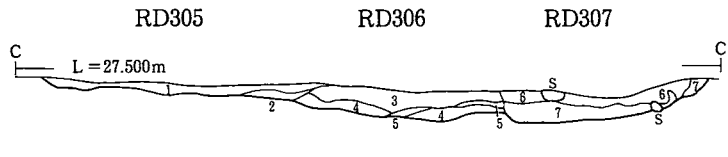
RD302 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり密
2	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 5% 混入



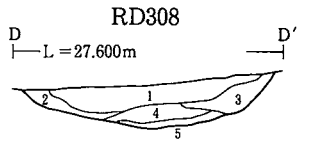
RD303・304 (B-B')

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 1%、暗褐色土混入 (RD303)
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 1% 混入 (RD303)
3	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 3% 混入 (RD304)
4	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり中 (RD304)
5	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり密 小礫混入 (RD304)
6	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり密 (RD304)



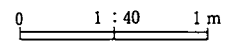
RD305・306・307 (C-C')

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 1% 混入 (RD305)
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中 黒色土混入 (RD305)
3	10YR1.7/1 黒褐色	シルト 締まり疎 黄色土粒 3% 混入 (RD306)
4	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 3% 混入 (RD306)
5	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まり中 (RD306)
6	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 3%、礫混入 (RD307)
7	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中 暗褐色土、礫混入 (RD307)



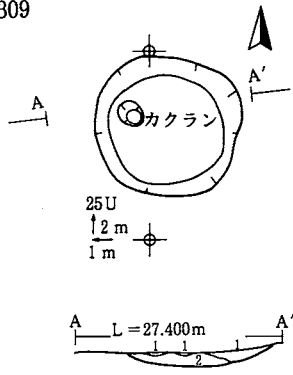
RD308 (D-D')

層位	色調	土性
1	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中 黄色土粒 1%、小礫混入
2	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 1% 混入
3	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中 黒色土 5% 混入
4	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 1% 混入
5	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり密 小礫混入



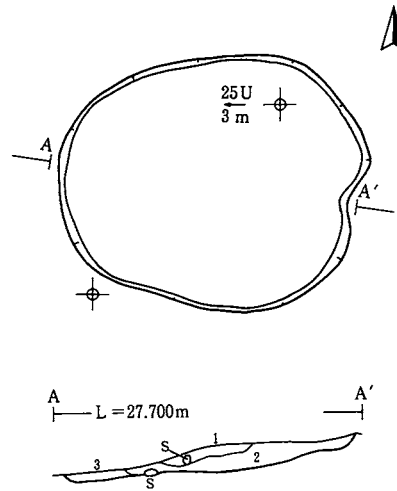
第30図 RD301・302・303・304・305・306・307・308土坑

RD309



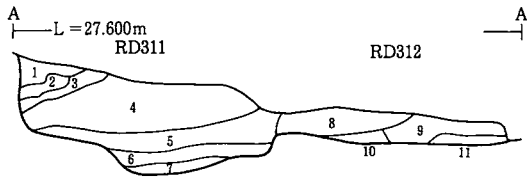
RD309 (A-A')
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色と10YR褐色土の混合土 締まり中
 2 10YR5/6 黄褐色 ローム 締まり中

RD310



RD310 (A-A')
 層位 色調 土性
 1 10YR5/6 黄褐色 ローム 締まり中 黒色土、細礫混入
 2 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中 黄色土粒1%混入
 3 10YR3/4 暗褐色 シルト 締まり中

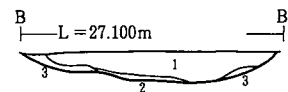
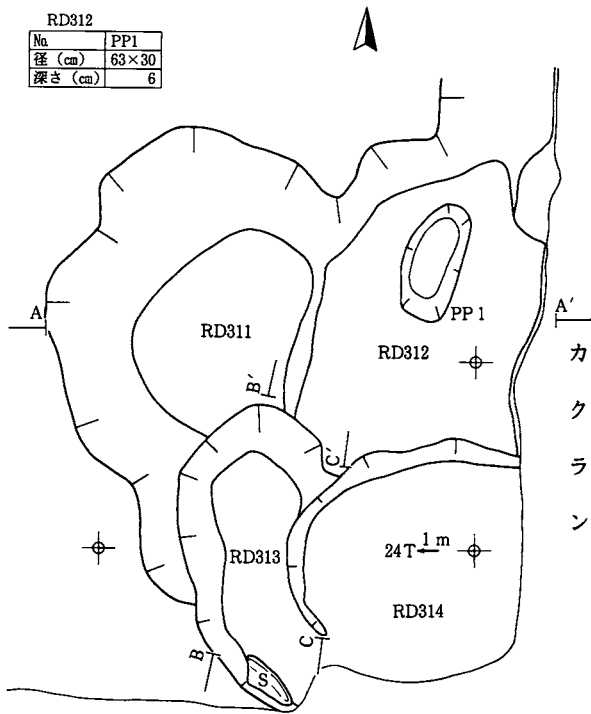
RD311・312・313・314



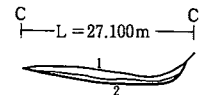
RD311・312 (A-A')
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中 (RD311)
 2 10YR5/6 黄褐色 ローム 締まり密 (RD311)
 3 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中 (RD311)
 4 10YR2/1 黒色 シルト 締まり中 (RD311)
 5 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中 黄色土粒1%混入 (RD311)
 6 10YR5/6 黄褐色 ローム 締まり密 黒褐色土、小礫混入 (RD311)
 7 10YR5/6 黄褐色 ローム 締まり中 (RD311)
 8 10YR2/2 黒褐色 シルト 締まり中 (RD312)
 9 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中 黄色土粒1%混入 (RD312)
 10 10YR5/6 黄褐色土と10YR3/4 暗褐色土の混合土 締まり密 小礫混入 (RD312)
 11 10YR6/6 明黄褐色 ローム 締まり密 (RD312)

RD312

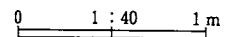
№	PP1
径 (cm)	63×30
深さ (cm)	6



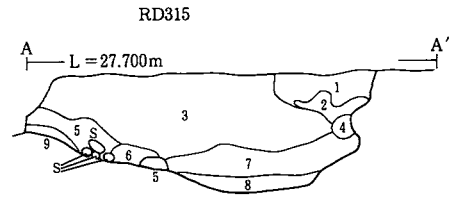
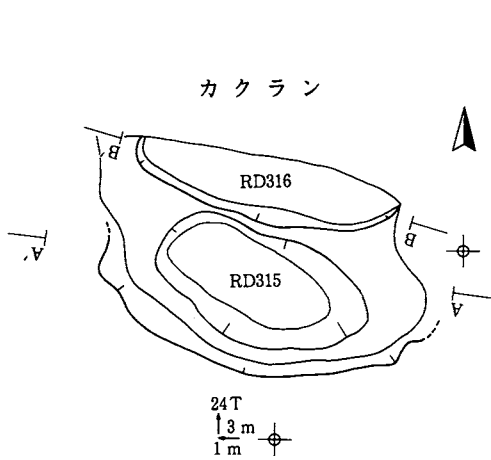
RD313 (B-B')
 層位 色調 土性
 1 10YR2/2 黒褐色 シルト 締まり中 黄色土粒混入
 2 10YR5/8 黄褐色 ローム 締まり中
 3 10YR6/6 明黄褐色 ローム 締まり密



RD314 (C-C')
 層位 色調 土性
 1 10YR2/2 黒褐色土と10YR5/8 明黄褐色土の混合土 締まり中
 2 10YR6/6 明黄褐色 ローム 締まり密

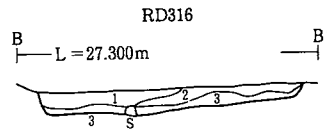


第31図 RD309・310・311・312・313・314土坑



RD315 (A-A')

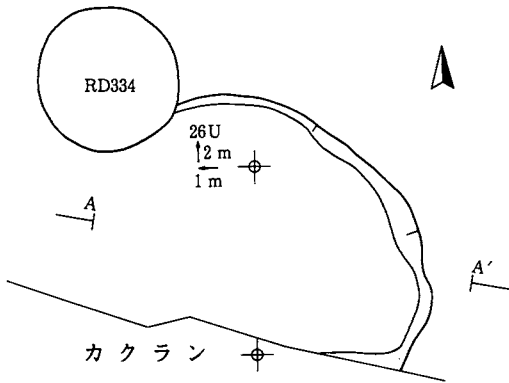
層位	色調	土性	縮まり中	黄色土粒、小礫混入
1	10YR3/4 暗褐色	シルト	縮まり中	
2	10YR4/6 褐色	ローム	縮まり中	
3	10YR2/3 黒褐色	シルト	縮まり中	黄色土粒、小礫混入
4	10YR3/3 暗褐色	シルト	縮まり中	黄色土粒、小礫混入
5	10YR3/4 暗褐色	シルト	縮まり中	
6	10YR2/2 黒褐色	シルト	縮まり中	
7	10YR3/4 暗褐色	シルト	縮まり中	黄色土40%混入
8	10YR3/2 黒褐色	シルト	縮まり中	
9	10YR6/6 明黄褐色	シルト	縮まり密	



RD316 (B-B')

層位	色調	土性	縮まり中	黄色土粒混入
1	10YR2/3 黒褐色	シルト	縮まり中	黄色土粒混入
2	10YR5/6 黄褐色	ローム	縮まり中	暗褐色土混入
3	10YR6/6 明黄褐色	ローム	縮まり中	

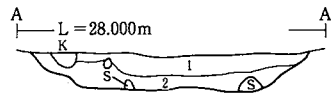
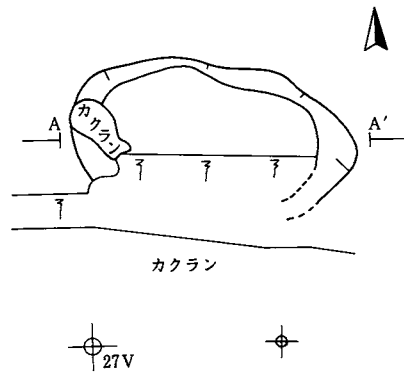
RD317



RD317 (A-A')

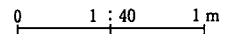
層位	色調	土性	縮まり中	細礫混入
1	10YR2/1 黒色	シルト	縮まり中	細礫混入
2	10YR2/3 黒褐色	シルト	縮まり中	黄色土粒10%混入
3	10YR5/6 黄褐色	ローム	縮まり密	黒褐色土、細礫混入

RD318



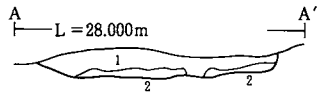
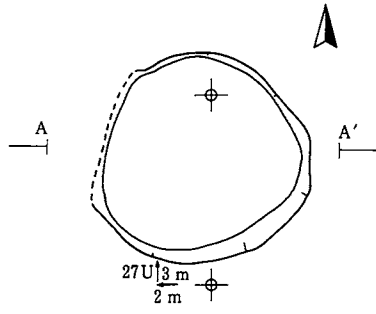
RD318 (A-A')

層位	色調	土性	縮まり中	黄色土粒、細礫混入
1	10YR3/4 黒色	シルト	縮まり中	黄色土粒、細礫混入
2	10YR6/6 明黄褐色	ローム	縮まり中	細礫混入



第32図 RD315・316・317・318土坑

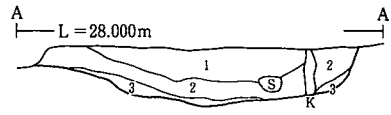
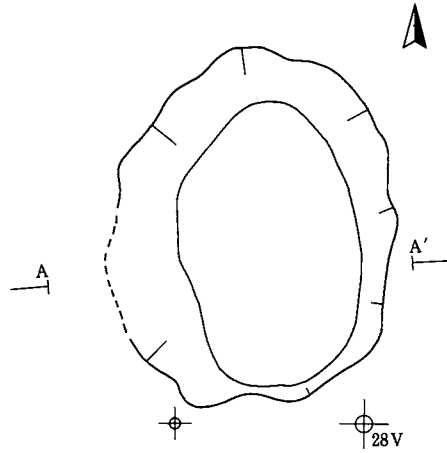
RD319



RD319 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり密

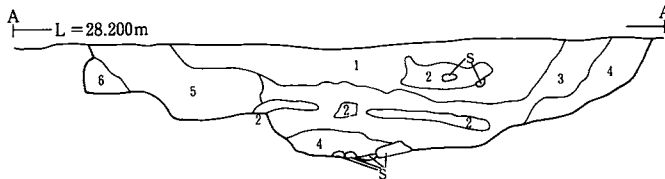
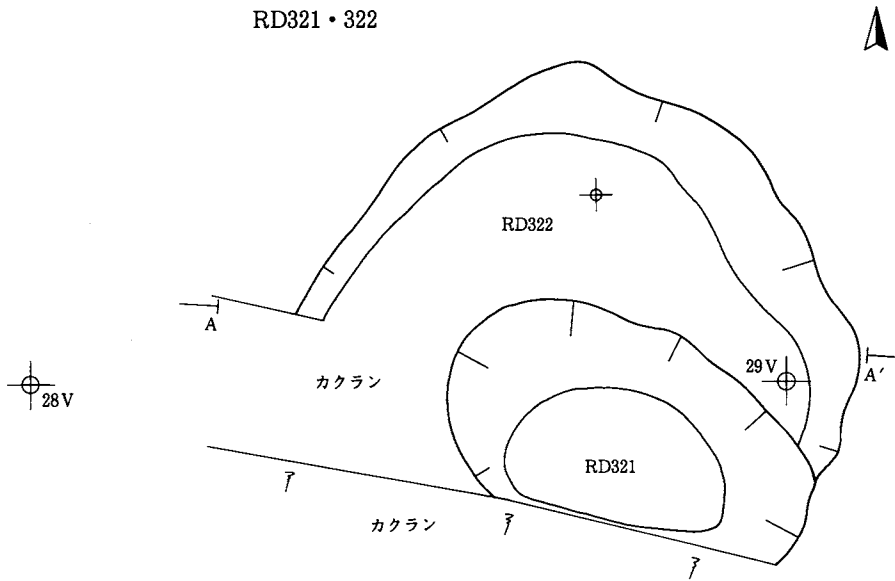
RD320



RD320 (A-A')

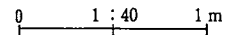
層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中 細礫混入
2	10YR4/6 褐色	ローム 締まり密 細礫混入
3	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり密 細礫混入

RD321・322



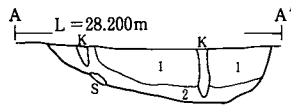
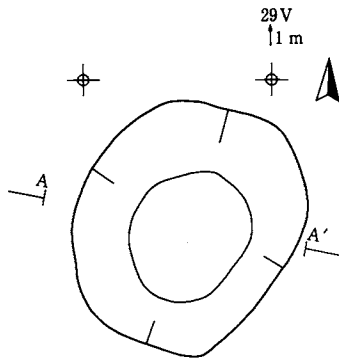
RD321・322 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 3%混入 (RD321)
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中 (RD321)
3	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中 黄色土粒 1%混入 (RD321)
4	10YR3/4 暗褐色土と10YR5/6 黄褐色土の混合土	締まり中 (RD321)
5	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中 (RD322)
6	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり密 細礫混入 (RD322)



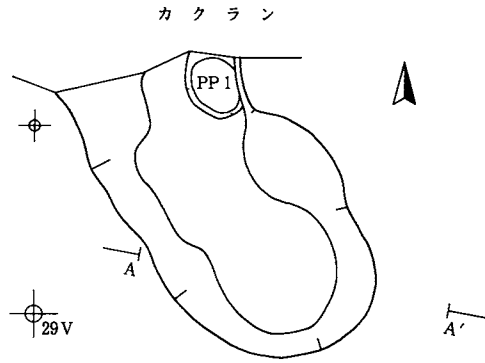
第33図 RD319・320・321・322土坑

RD323

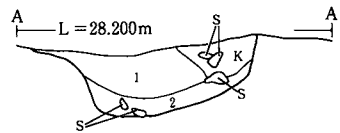


RD323 (A-A')
 層位 色調 土性
 1 10YR3/3 暗褐色 シルト 締まり中 細礫混入
 2 10YR5/6 黄褐色 ローム 締まり密 細礫混入

RD324

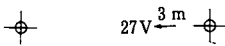


RD324	
Na	PP1
径 (cm)	(35)×30
深さ (cm)	11



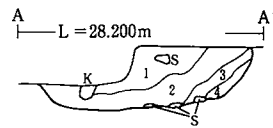
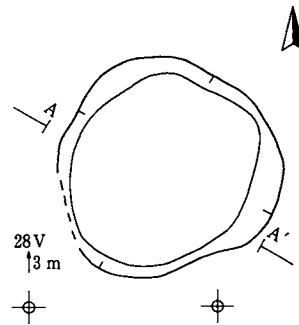
RD324 (A-A')
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中 細礫混入
 2 10YR5/6 黄褐色 ローム 締まり中 黒褐色土、細礫混入

RD325



RD325 (A-A')
 層位 色調 土性
 1 10YR4/4 褐色 ローム 締まり中 黒褐色土 3%、細礫混入
 2 10YR3/1 黒褐色 シルト 締まり中 黄褐色粘土粒20%混入

RD326

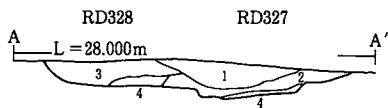
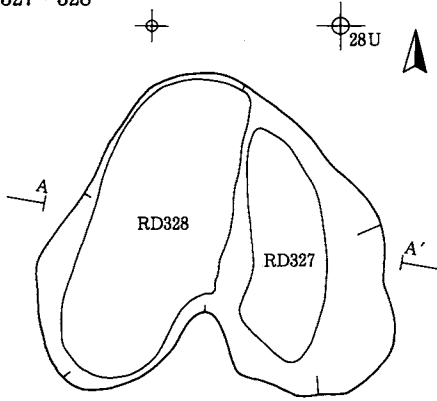


RD326 (A-A')
 層位 色調 土性
 1 10YR2/1 黒色 シルト 締まり中 小礫混入
 2 10YR3/4 暗褐色 ローム 締まり中 小礫混入
 3 10YR4/6 褐色 ローム 締まり中 黄色土粒 1%混入
 4 10YR6/6 明黄褐色 ローム 締まり密

0 1 : 40 1 m

第34図 RD323・324・325・326土坑

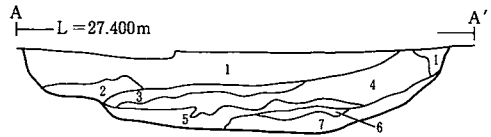
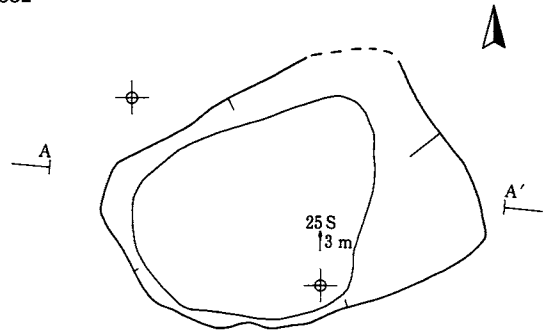
RD327・328



R RD327・328 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1 1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	小礫混入
2 2	10YR3/4 暗褐色	ローム 締まり中	
3 3	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄色土粒1%混入
4 4	10YR4/6 褐色	ローム 締まり密	

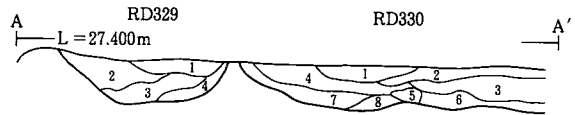
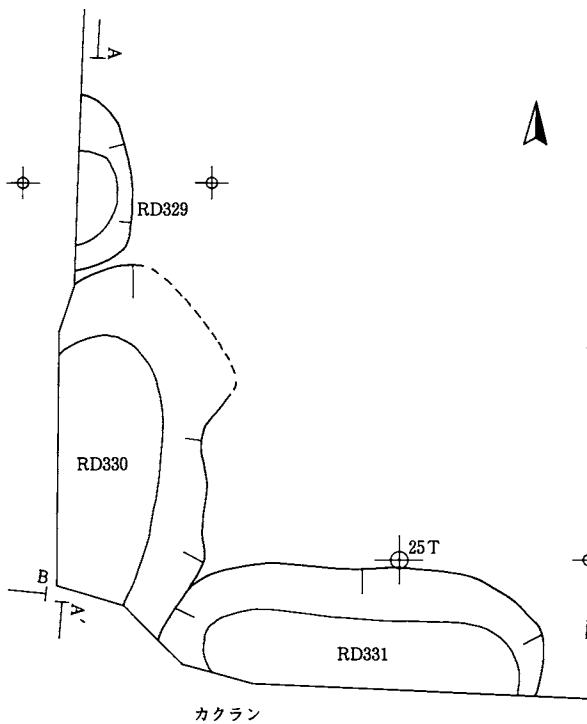
RD332



RD332 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黄色土粒1%
2	10YR4/6 褐色	ローム 締まり中	黒褐色土5%
3	10YR6/8 明黄褐色	ローム 締まり中	
4	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	
5	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	
6	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	
7	10YR4/6 褐色	ローム 締まり中	

RD329・330・331

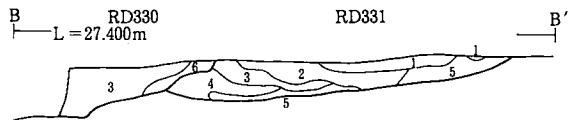


RD329 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中	
2	10YR5/6 黄褐色	シルト 締まり中	暗褐色土30%混入
3	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中	
4	10YR6/8 明黄褐色	ローム 締まり中	暗褐色土30%混入

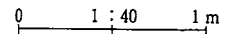
RD330 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中	褐色土粒10%混入
2	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄褐色土混入
3	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中	
4	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	黄褐色土粒5%混入
5	10YR4/4 褐色	ローム 締まり中	
6	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄褐色土粒5%混入
7	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中	黄褐色土粒2%混入
8	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり密	



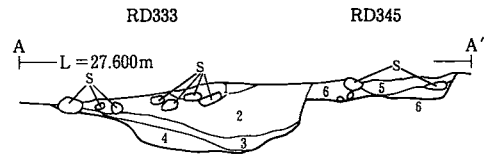
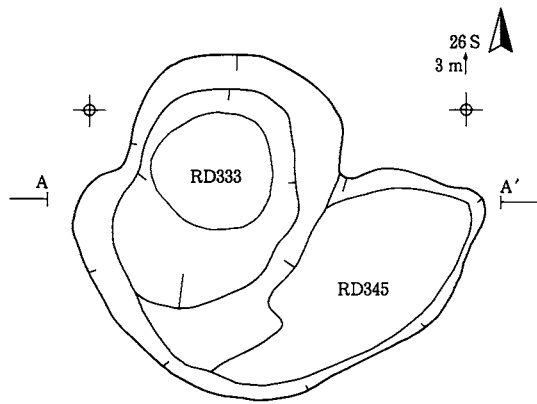
RD331 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	締まり中
2	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中 黄色土粒混入
3	10YR3/4 褐色	ローム	締まり中
4	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中
5	10YR6/8 明黄褐色	ローム	締まり密 細礫混入
6	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	締まり中 細礫、黄色土粒混入



第35図 RD327・328・329・330・331・332土坑

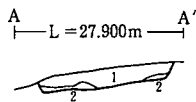
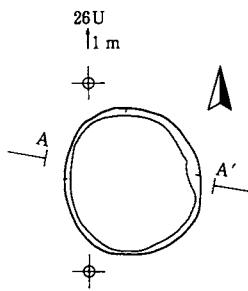
RD333・345



RD333・345 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	粘性あり、黄褐色土混入 (RD333)
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	細礫、黄色土粒混入 (RD333)
3	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	細礫混入 (RD333)
4	10YR4/4 褐色	ローム 締まり中	細礫混入 (RD333)
5	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	黄色土混入 (RD345)
6	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり密	細礫混入 (RD345)

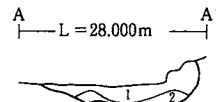
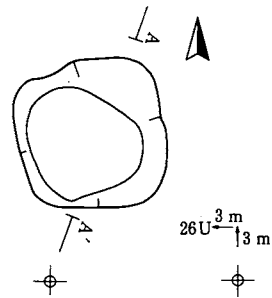
RD334



RD334 (A-A')

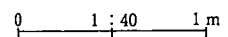
層位	色調	土性	備考
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黄褐色土30%、炭化物1%混入
2	10YR5/6 明黄褐色	ローム 締まり中	

RD335



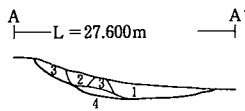
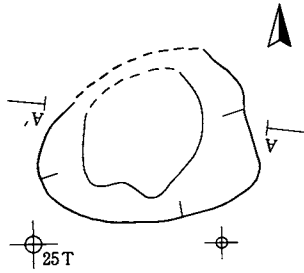
RD335 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黄色土粒混入
2	10YR5/6 明黄褐色	ローム 締まり密	細礫混入



第36図 RD333・334・335・345土坑

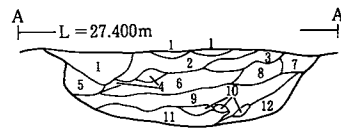
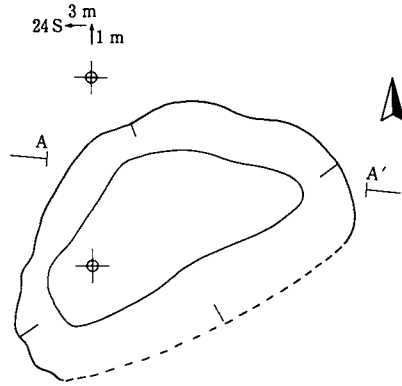
RD336



RD336 (A-A')

層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR2/2	黒褐色	シルト	締まり中 黄色土粒10%混入
2	10YR1.7/1	黒色	シルト	締まり疎
3	10YR2/3	黒褐色	シルト	締まり中 黄色土30%混入
4	10YR6/6	明黄褐色	ローム	締まり密 細礫混入

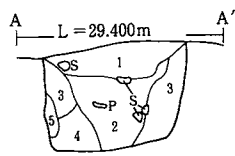
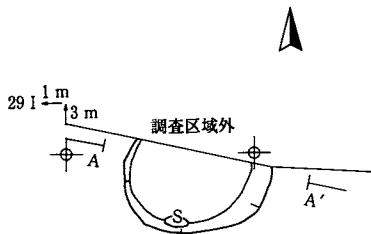
RD337



RD337 (A-A')

層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR1.7/1	黒色	シルト	締まり疎
2	10YR5/8	黄褐色	ローム	締まり中 細礫混入
3	10YR3/4	暗褐色	シルト	締まり中 褐色粘土30%混入
4	10YR1.7/1	黒色	シルト	締まり中
5	10YR5/8	黄褐色	ローム	締まり密 細礫混入
6	10YR5/8	黄褐色	ローム	締まり密 暗褐色土30%混入
7	10YR3/4	暗褐色	シルト	締まり疎
8	10YR3/4	暗褐色	ローム質シルト	締まり密
9	10YR2/2	黒褐色	シルト	締まり中 黄色土粒10%混入
10	10YR3/4	暗褐色	シルト	締まり中
11	10YR5/8	黄褐色	ローム	締まり中
12	10YR6/6	明黄褐色	ローム	締まり密 細礫混入

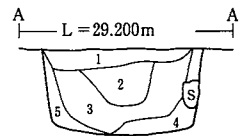
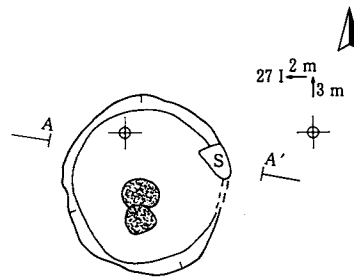
RD338



RD338 (A-A')

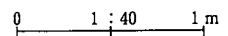
層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR2/3	黒褐色	シルト	締まりやや密 黄褐色粘土粒5%、炭化粒1%混入
2	10YR2/3	黒褐色	シルト	締まり中 黄褐色粘土粒10%、炭化粒3%混入
3	10YR3/2	黒褐色	シルト	締まり中 黄褐色粘土粒2%、炭化粒2%混入
4	10YR3/2	黒褐色	シルト	締まり中 黄褐色粘土粒10%、炭化粒1%混入
5	10YR5/8	黄褐色	ローム	締まりやや疎 黒褐色土混入

RD339

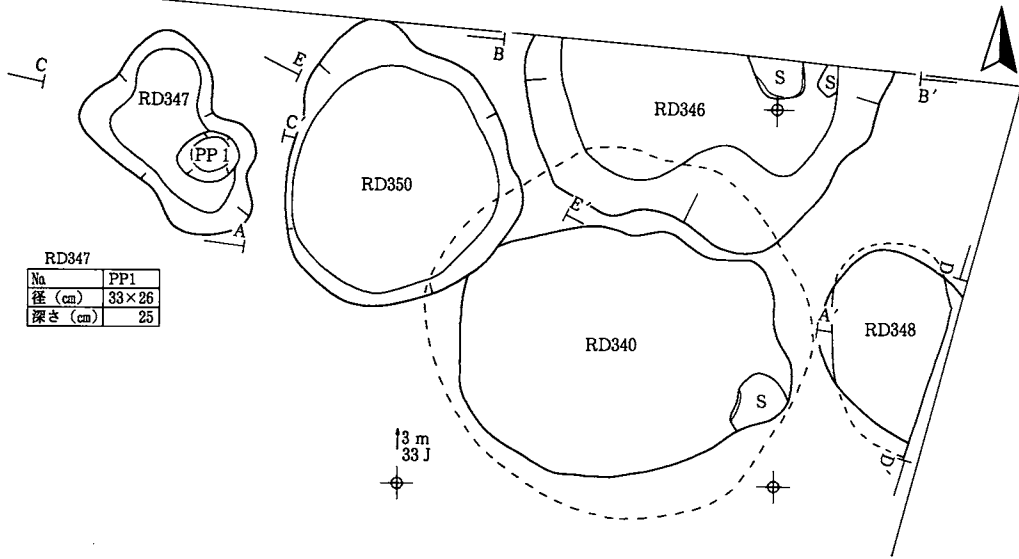


RD339 (A-A')

層位	色調	土性	土性	土性
1	10YR3/3	暗褐色	シルト	締まり中 5/8黄褐色土ブロック15%、7.5YR5/8明褐焼土ブロック5%、炭3%含
2	10YR3/3	暗褐色	シルト	締まり中 とっても細かい黄褐土7%含
3	10YR3/3	暗褐色	シルト	締まり中 5/8黄褐色土の混合土、黄褐土ブロック10%含
4	10YR3/2	黒褐色	シルト	締まり中 黄褐土ブロック、下層を中心に5%含
5	10YR2/3	黒褐色	シルト	締まり中 黄褐、褐粒3%含 炭1~2%含(ほりすぎ)

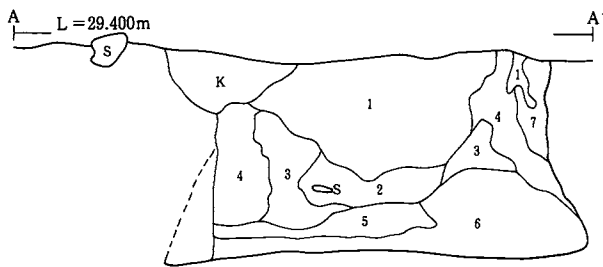


第37図 RD336・337・338・339土坑



RD347	
Na	PP1
径 (cm)	33×26
深さ (cm)	25

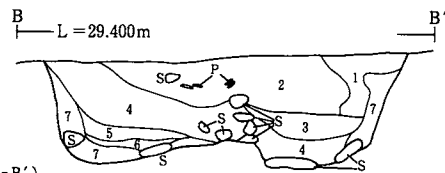
RD340



RD340 (A-A')

層位	色調	土性	土質
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黄色土粒 1%、炭化物 1%混入
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物 1%混入
3	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黄色土粒 1%、炭化物 1%混入
4	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄色土粒 15%混入
5	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄褐色土 20%混入
6	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	底部下に炭化物堆積
7	10YR5/6 明黄褐色	ローム 締まり密	黒褐色土混入

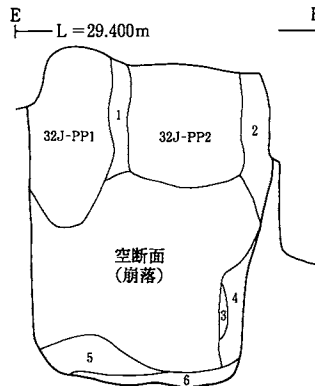
RD346



RD346 (B-B')

層位	色調	土性	土質
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	褐色粘土粒 3%混入
2	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物 3%、細礫混入
3	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物下層に堆積、黄褐色粘土粒 15%混入
4	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物 2%、褐色土粒 2%混入
5	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中	貝 30%混入
6	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まりやや疎	
7	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり疎	炭化物 1%混入

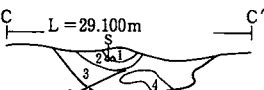
RD350



RD350 (E-E')

層位	色調	土性	土質
1	10YR4/4 褐色	シルト 締まりやや疎	粗砂 15%混入
2	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物 3%、黄褐色粘土粒 2%、土器片混入
3	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト 締まり中	粗砂 5%混入
4	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	細礫 10%混入
5	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト 締まり中	粘性あり、炭 15%混入
6	10YR4/2 灰褐色	ローム 締まり中	炭化物 3%、細礫 3%混入

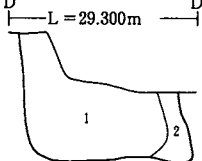
RD347



RD347 (C-C')

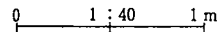
層位	色調	土性	土質
1	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	炭化物 3%、明黄褐色粘土粒 15%混入
2	10YR6/8 明黄褐色	ローム 締まり中	暗色土混入
3	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	炭化物 3%、黄褐色粘土粒 5%混入
4	10YR6/8 明黄褐色	シルト 締まりやや密	暗褐色土混入

RD348



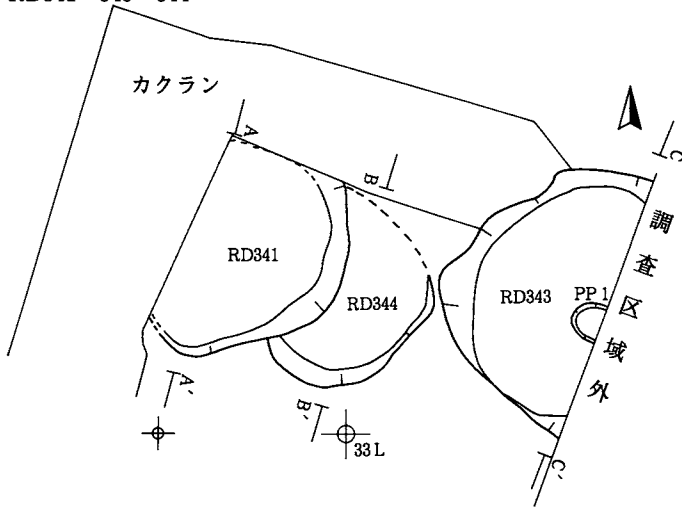
RD348 (D-D')

層位	色調	土性	土質
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物 3%、褐色粘土粒 3%混入
2	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	

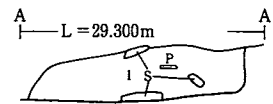


第38図 RD340・346・347・348・350土坑

RD341・343・344



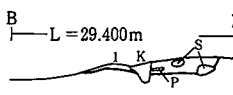
RD341



RD341 (A-A')

層位 色調 土性
1 10YR2/2 黒褐色 シルト 締まり中 炭化物10%、黄色土粒1%混入

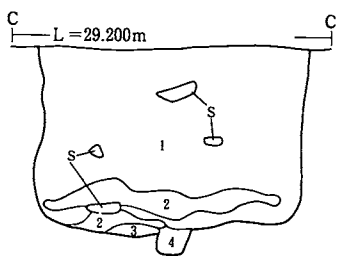
RD344



RD344 (B-B')

層位 色調 土性
1 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中 黄色土粒3%、炭化物3%、礫、土器混入

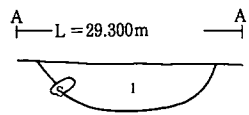
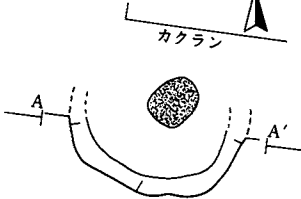
RD343



RD343 (C-C')

層位 色調 土性
1 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中 炭化物5%、細礫混入
2 10YR5/6 黄褐色 ローム 締まり中 黒色土混入
3 10YR6/6 明黄褐色 ローム 締まり密 黒褐色土混入
4 10YR2/2 黒褐色 シルト 締まり疎 炭化物1%混入

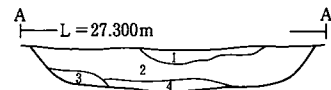
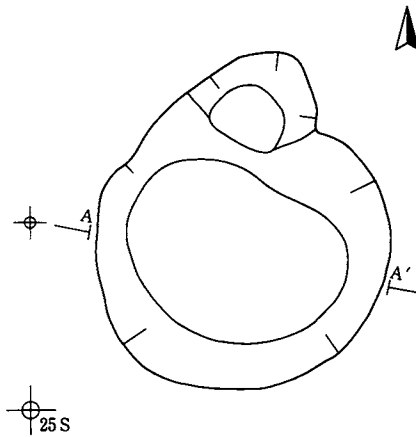
RD342



RD342 (A-A')

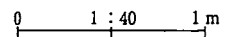
層位 色調 土性
1 10YR2/2 黒褐色 シルト 締まり中 炭化物1%、黄色土粒1%混入

RD351

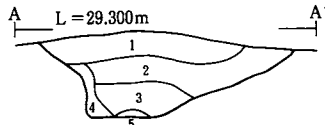
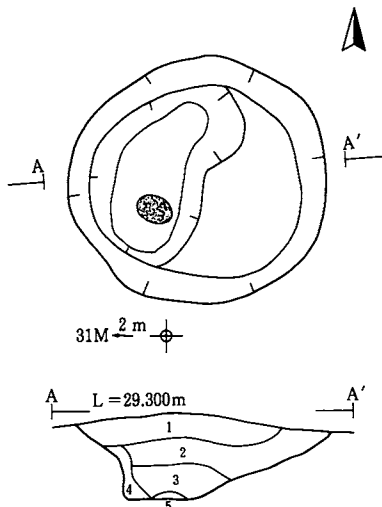


RD351 (A-A')

層位 色調 土性
1 10YR1.7/1 黒色 シルト 締まり中
2 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中 黄色土粒3%混入
3 10YR4/6 褐色 ローム 締まり中 細礫、明黄褐色土粒5%混入
4 10YR2/2 黒色 シルト 締まり中 黄色土粒10%混入



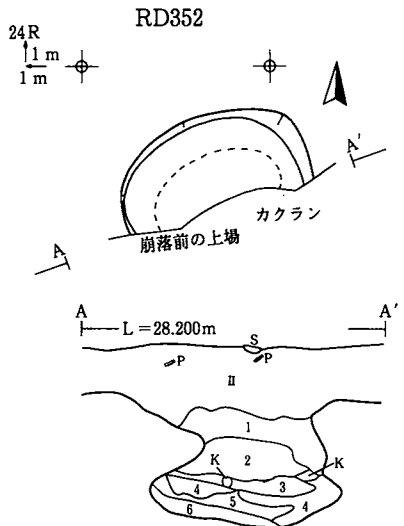
RD349



RD349 (A-A')

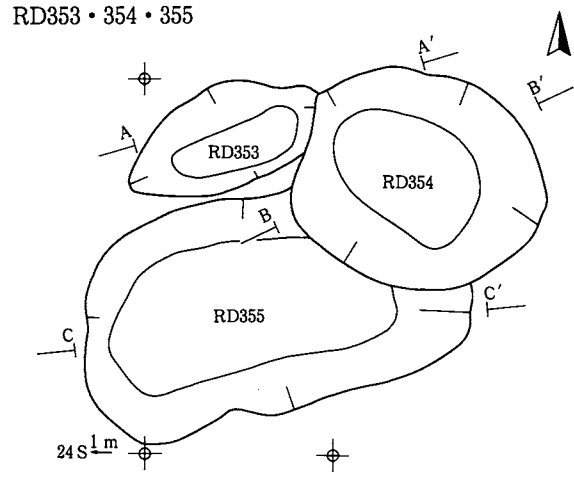
層位 色調 土性
1 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まりやや密 炭化物5%、明黄褐色粘土粒7%混入
2 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中 炭化物7%、明黄褐色粘土粒3%混入
3 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中 炭化物3%、黄褐色粘土粒10%混入
4 10YR3/3 暗褐色 シルト 締まりやや密 炭化物5%、黄褐色粘土粒15%混入
5 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まりやや疎 粘性あり

第39図 RD341・342・343・344・349・351土坑



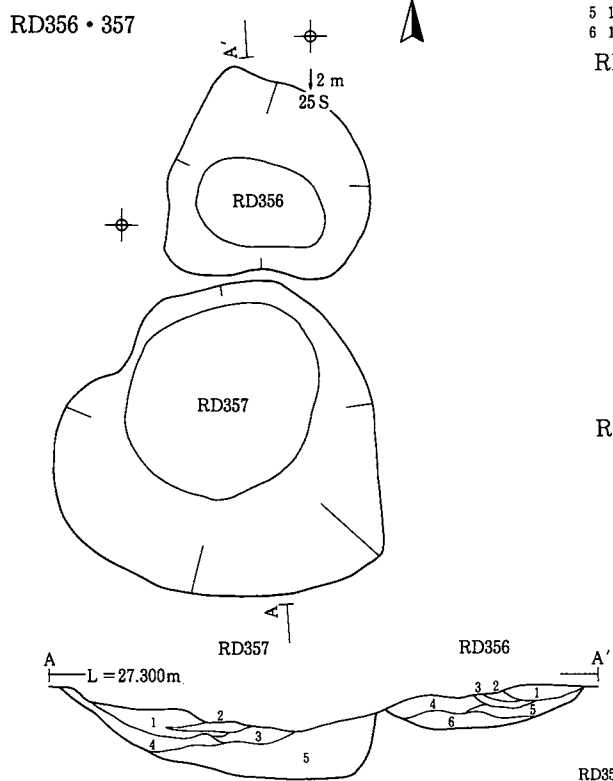
RD352 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物1%、黄色土粒3%混入
3	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	暗褐色土混入
4	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黄色土粒1%混入
5	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	
6	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黄色土、暗褐色土混入



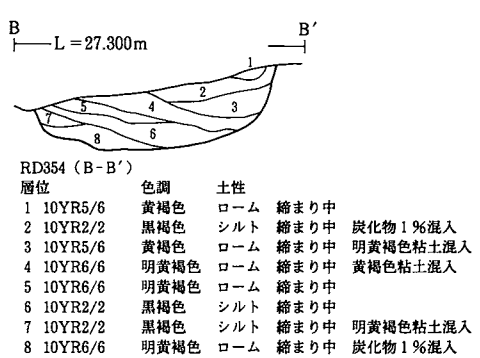
RD353・RD354 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	(RD353)
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	明黄褐色粘土混入 (RD353)
3	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	暗褐色土混入 (RD353)
4	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	明黄褐色粘土、暗褐色土混入 (RD353)
5	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	(RD354)
6	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり中	暗褐色土混入 (RD354)



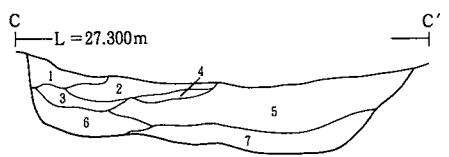
RD357 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	暗褐色土混入
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	黒色土混入
3	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄褐色土粒5%混入
4	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり中	
5	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黒褐色土30%、黄褐色粘土粒10%混入



RD354 (B-B')

層位	色調	土性	備考
1	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物1%混入
3	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	明黄褐色粘土混入
4	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり中	黄褐色粘土混入
5	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり中	
6	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	
7	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	明黄褐色粘土混入
8	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり中	炭化物1%混入



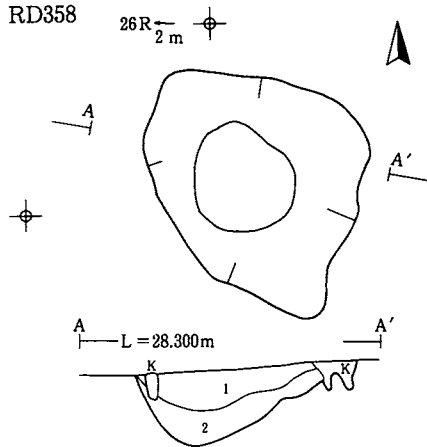
RD355 (C-C')

層位	色調	土性	備考
1	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり中	
2	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	
3	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	
4	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	黒褐色土30%混入
5	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物1%、黄褐色土粘土混入
6	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	褐色土30%混入
7	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり中	黒褐色土30%混入

RD356 (A-A')

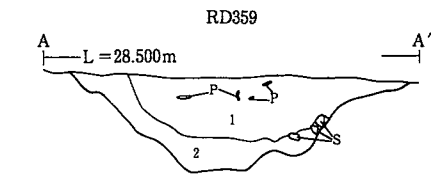
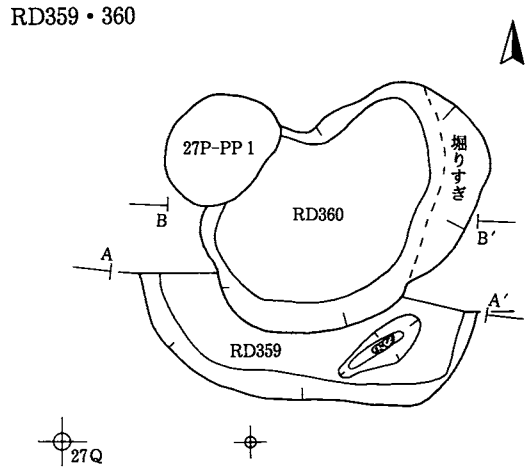
層位	色調	土性	備考
1	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり密	
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	
3	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	
4	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	黒褐色土30%混入
5	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まり中	
6	10YR5/4 におい黄褐色	ローム 締まり中	

第40図 RD352・353・354・355・356・357土坑



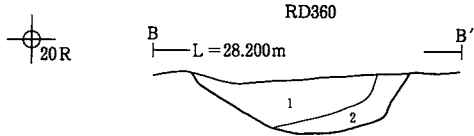
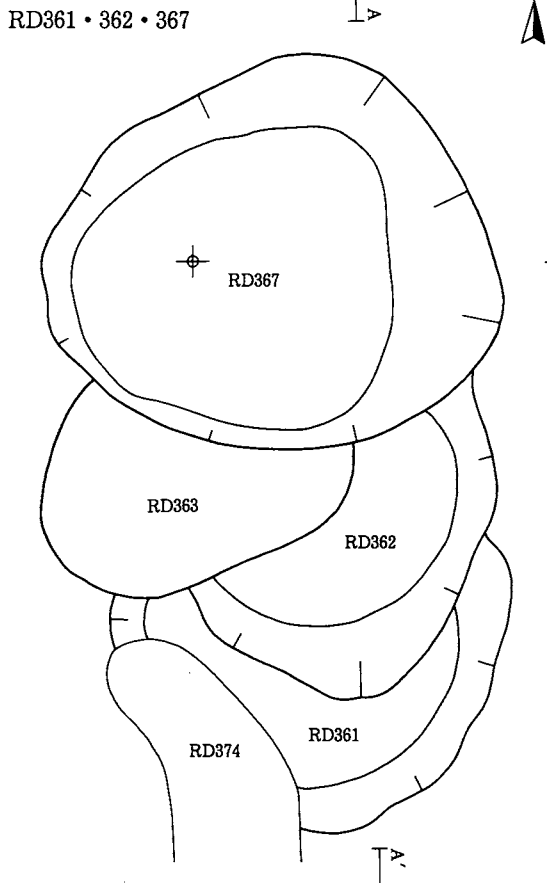
RD358 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 小礫1%混入
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中 小礫1%、黄色土粒3%混入
3	10YR4/6 褐色	ローム 締まり中



RD359 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中 炭化物10%、土器片混入
2	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 黄色土粒5%混入

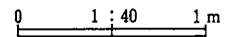
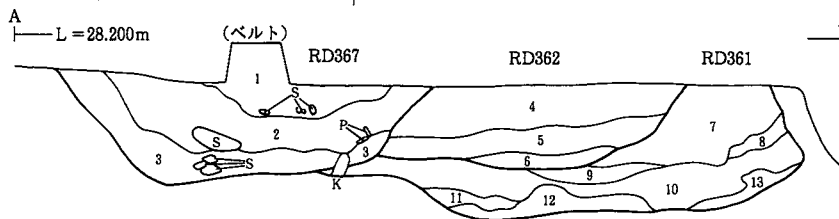


RD360 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 炭化物1%混入
2	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中 黄褐色土粒30%混入

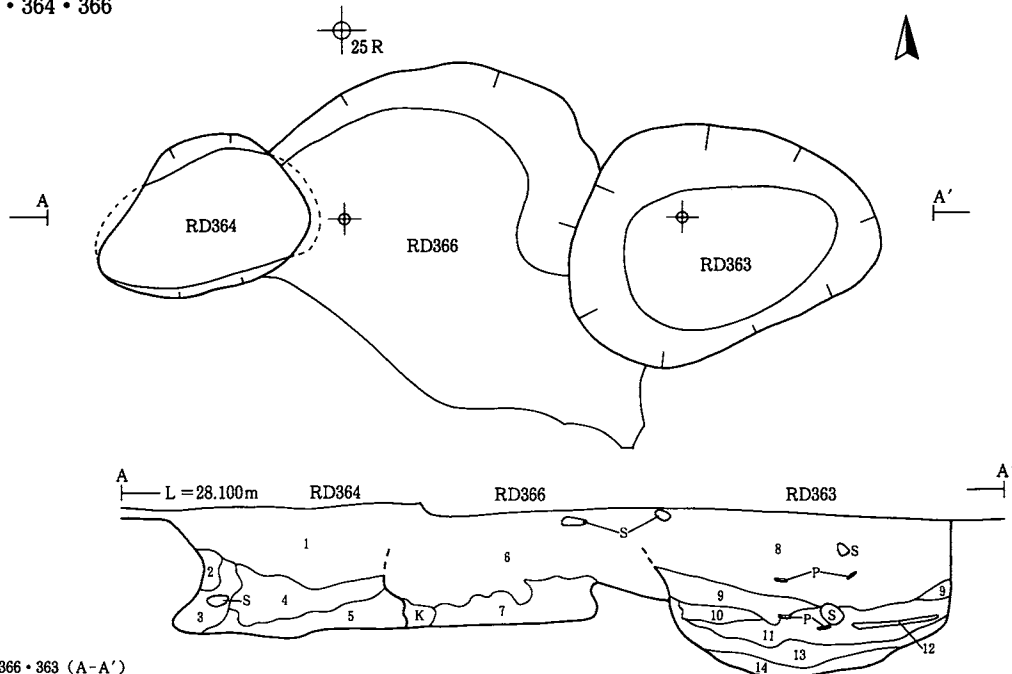
RD361・362・367 (A-A')

層位	色調	土性	
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	焼土粒混入 (RD367)
2	10YR1.7/1 黒色	シルト 締まり中	炭化物5%、黄色土粒3%混入 (RD367)
3	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	褐色土粒30%混入 (RD367)
4	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり疎	炭化物3%混入 (RD362)
5	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黄色土粒5%混入 (RD362)
6	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	黄色土粒1%混入 (RD362)
7	10YR2/1 黒色	シルト 締まり中	黄色土粒3%、小礫混入 (RD361)
8	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄色土粒3%混入 (RD361)
9	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	(RD361)
10	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黄褐色土混入 (RD361)
11	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり密	(RD361)
12	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黒色土混入 (RD361)
13	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり密	(RD361)



第41図 RD358・359・360・361・362・367土坑

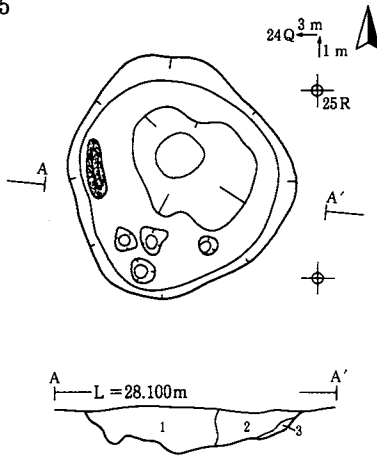
RD363・364・366



RD364・366・363 (A-A')

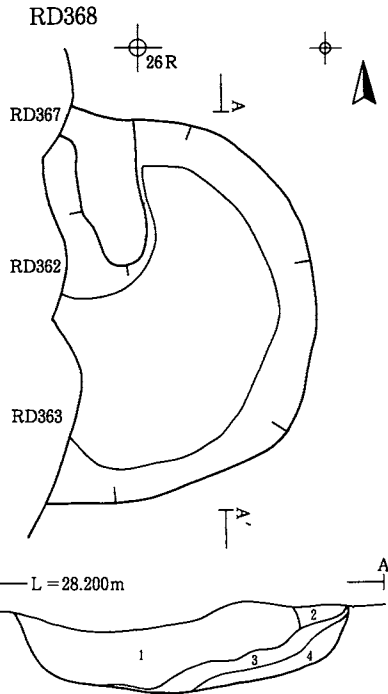
層位	色調	土性	備考	層位
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物1%混入	(RD364)
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中		(RD364)
3	10YR1.7/1 黒褐色	シルト 締まり疎	礫混入	(RD364)
4	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黒褐色食土30%混入	(RD364)
5	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	黒褐色土混入	(RD364)
6	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中		(RD366)
7	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黒褐色土、黄褐色土粒10%混入	(RD366)
8	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物10%、土器片多量に混入	(RD363)
9	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄褐色土粒3%混入	(RD363)
10	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中		(RD363)
11	10YR1.7/1 黒褐色	シルト 締まり疎		(RD363)
12	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まり中		(RD363)
13	10YR1.7/1 黒褐色	シルト 締まり疎	黄褐色土粒3%混入	(RD363)
14	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中	黒褐色土混入	(RD363)

RD365



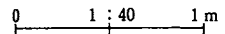
RD365 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物1%、小礫混入
2	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中	黄色粘土粒3%混入
3	10YR4/3 ぶい黄褐色	ローム 締まり中	



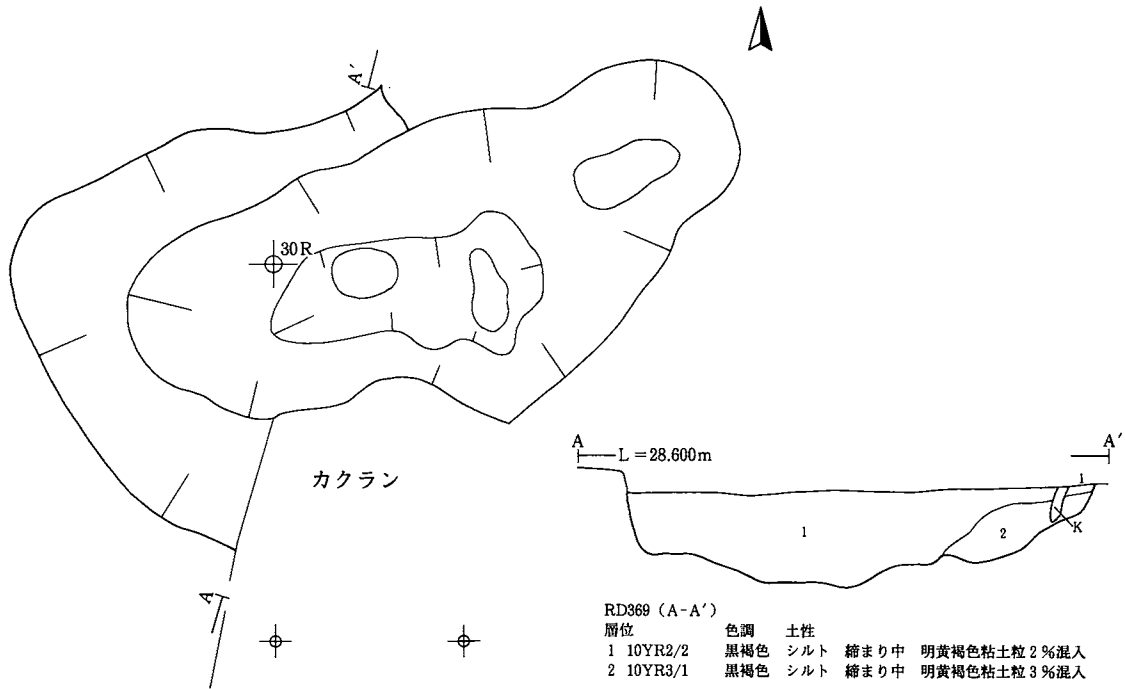
RD368 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	炭化物1%、黄色土粒1%混入
2	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まり密	
3	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	褐色土30%混入
4	10YR4/4 褐色	ローム 締まり中	

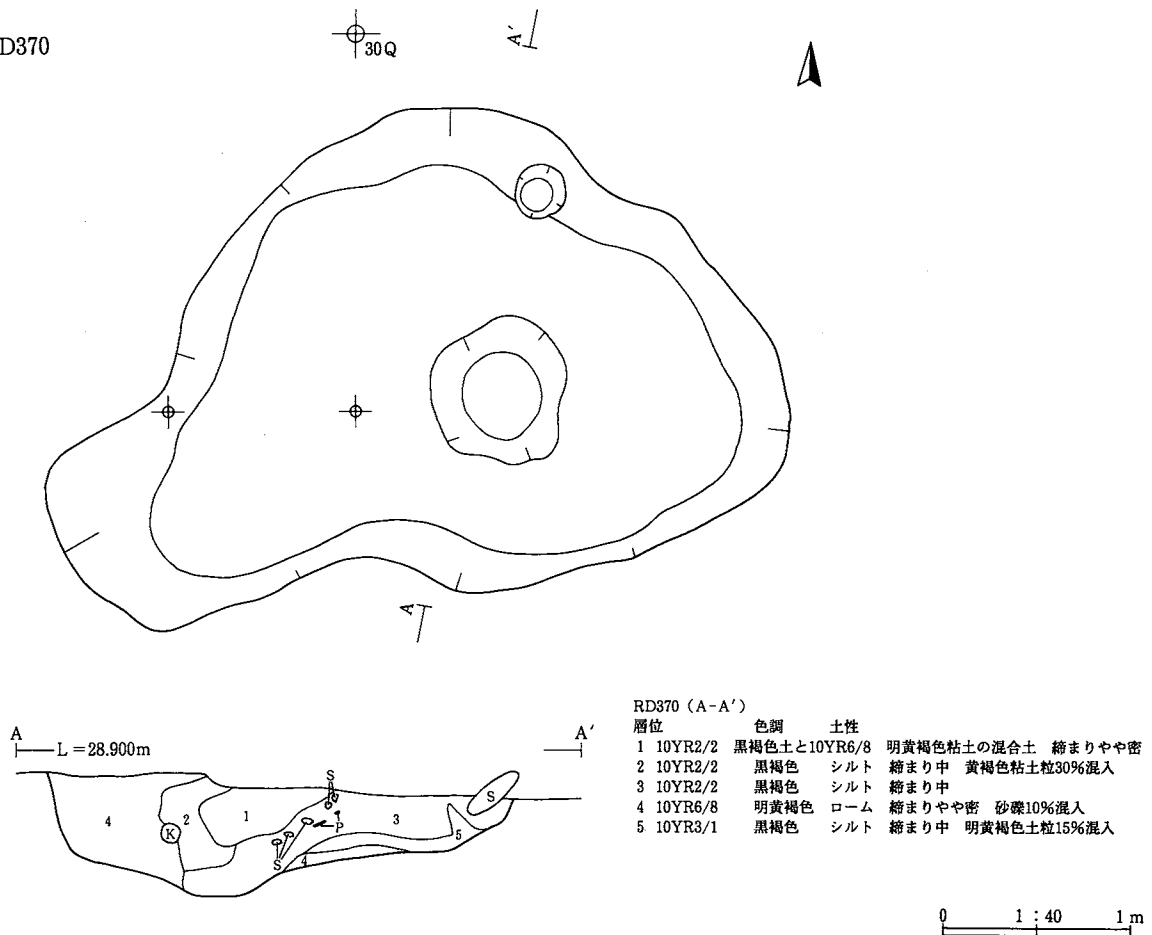


第42図 RD363・364・365・366・368土坑

RD369

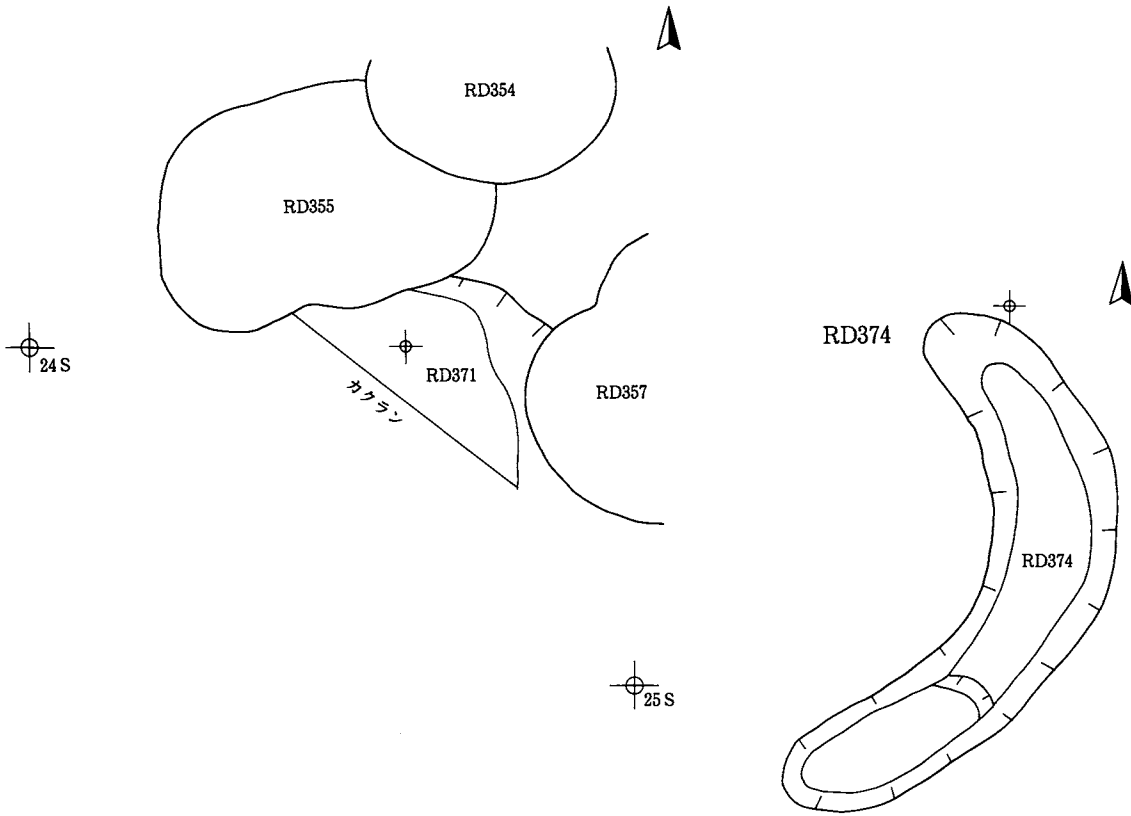


RD370

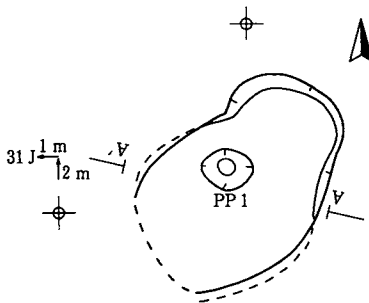


第43図 RD369・370土坑

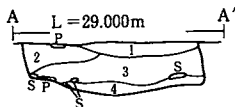
RD371



RD372



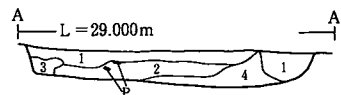
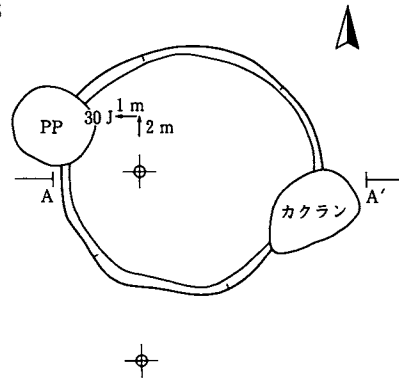
RD372	
Na	PP1
径 (cm)	27×21
深さ (cm)	27



RD372 (A-A')

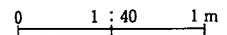
層位	色調	土性	縮まり	中	黄褐色粘土粒5%、炭3%混入
1	10YR2/2	黒褐色	シルト	縮まり中	黄褐色粘土粒5%、炭3%混入
2	10YR3/2	黒褐色	シルト	縮まり中	炭10%混入
3	10YR3/3	暗褐色	シルト	縮まり中	黄褐色粘土粒10%、炭7%混入
4	10YR2/1	黒褐色	シルト	縮まりやや疎	

RD373



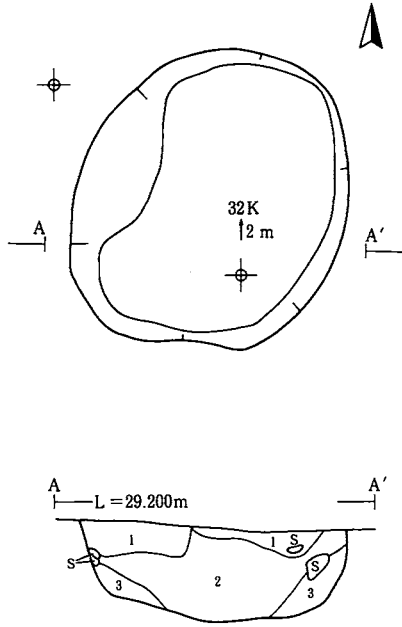
RD373 (A-A')

層位	色調	土性	縮まり	中	黄褐色粘土粒5%、炭3%混入
1	10YR3/2	黒褐色	シルト	縮まり中	黄褐色粘土粒5%、炭3%混入
2	10YR2/2	黒褐色	シルト	縮まり中	黄褐色粘土粒3%、炭10%混入
3	10YR3/4	暗褐色	シルト	縮まり中	黄褐色粘土粒30%、炭2%混入
4	10YR2/3	黒褐色	シルト	縮まり中	黄褐色粘土粒5%、炭1%混入



第44図 RD371・372・373・374土坑

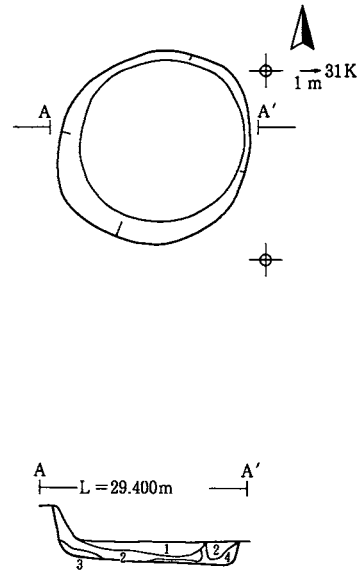
RD375



RD375 (A-A')

層位	色調	土性	
1	10YR3/3	暗褐色シルト	締まり中 黄褐色粘土粒3%、炭2%混入
2	10YR3/2	黒褐色シルト	締まり中 黄褐色粘土粒15%、炭2%、焼土粒10%混入
3	10YR2/2	黒褐色シルト	締まり中 黄褐色粘土粒2%、炭2%混入

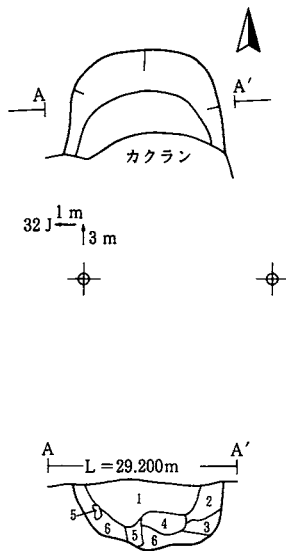
RD376



RD376 (A-A')

層位	色調	土性	
1	10YR2/2	黒褐色シルト	締まり中 黄褐色粘土粒5%、炭5%混入
2	10YR3/2	黒褐色シルト	締まり中 黄褐色粘土粒3%混入
3	10YR3/2	暗褐色シルト	締まり中 黄褐色粘土30%混入
4	10YR5/8	黄褐色ローム	締まりやや密

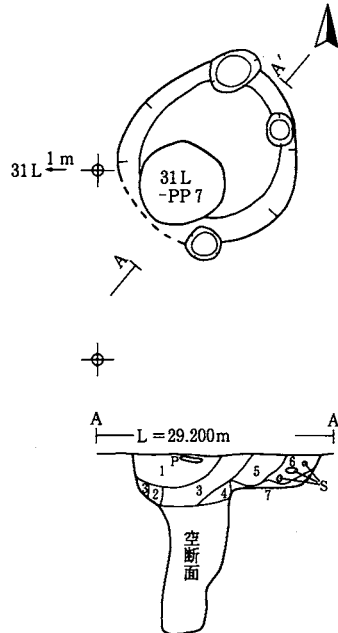
RD377



RD377 (A-A')

層位	色調	土性	
1	10YR3/2	黒褐色シルト	締まり中 黄褐色粘土粒10%、炭5%混入
2	10YR3/2	黒褐色シルト	締まり中 黄褐色粘土粒5%、炭1%混入
3	10YR3/1	黒褐色シルト	締まり中 黄褐色粘土粒20%混入
4	10YR7/8	黄橙色ローム	締まりやや密 黒褐色土30%、細砂混入
5	10YR3/1	黒褐色シルト	締まりやや疎 黄褐色粘土粒30%、炭3%混入
6	10YR7/8	黄橙色ローム	締まりやや密

RD378



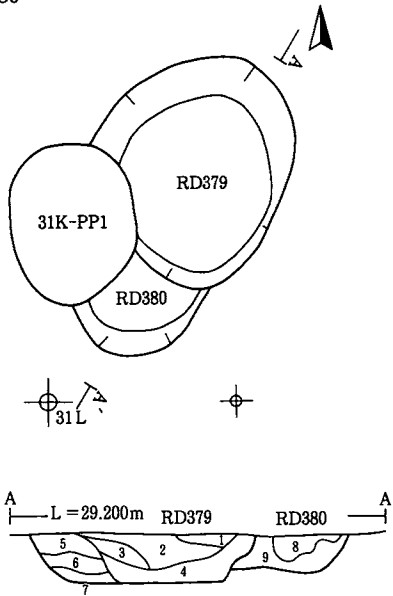
RD378 (A-A')

層位	色調	土性	
1	10YR3/2	黒褐色シルト	締まり中 黄橙粘土30%、炭2%混入
2	10YR7/8	黄橙色ローム	締まりやや密
3	10YR3/3	暗褐色シルト	締まり中 黄橙粘土粒10%、炭3%混入
4	10YR7/8	黄橙色ローム	締まりやや密 暗褐色土粒30%混入
5	10YR2/2	黒褐色シルト	締まり中 黄橙粘土粒2%、炭3%混入
6	10YR2/2	黒褐色シルト	締まり中 黄橙粘土粒2%、炭7%、礫20%混入
7	10YR3/2	黒褐色シルト	締まりやや疎 黄褐色粘土粒15%混入

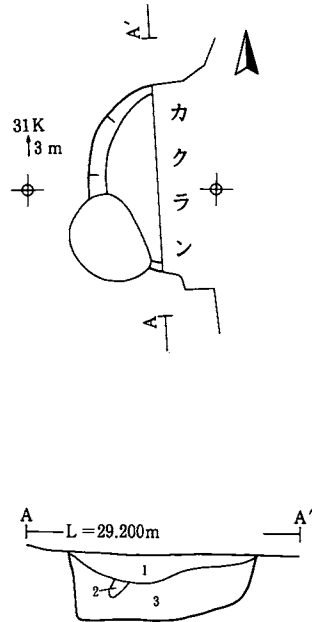
0 1 : 40 1 m

第45図 RD375・376・377・378土坑

RD379・380



RD381



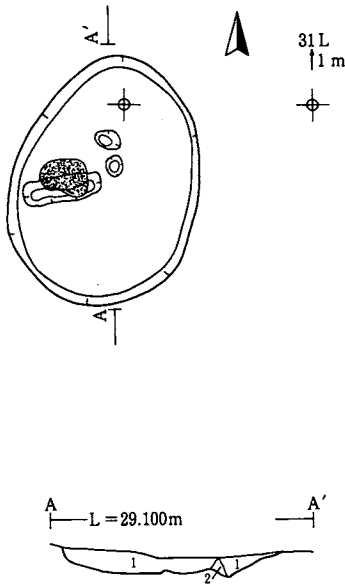
RD380・379 (A-A')

層位	色調	土性	土質	備考
1	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒10%、炭7%混入	(RD379)
2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト 締まり中		(RD379)
3	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒15%、炭3%、赤褐色焼土粒3%混入	(RD379)
4	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭7%、黄褐色粘土ブロック15%	(RD379)
5	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒20%、炭1%混入	(RD379)
6	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒10%、炭5%混入	(RD379)
7	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まりやや密	黄褐色粘土粒30%、炭10%混入	(RD379)
8	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	炭1%混入	(RD380)
9	10YR5/4 にぶい黄褐色	ローム 締まり中	黄褐土ブロック10%	(RD380)

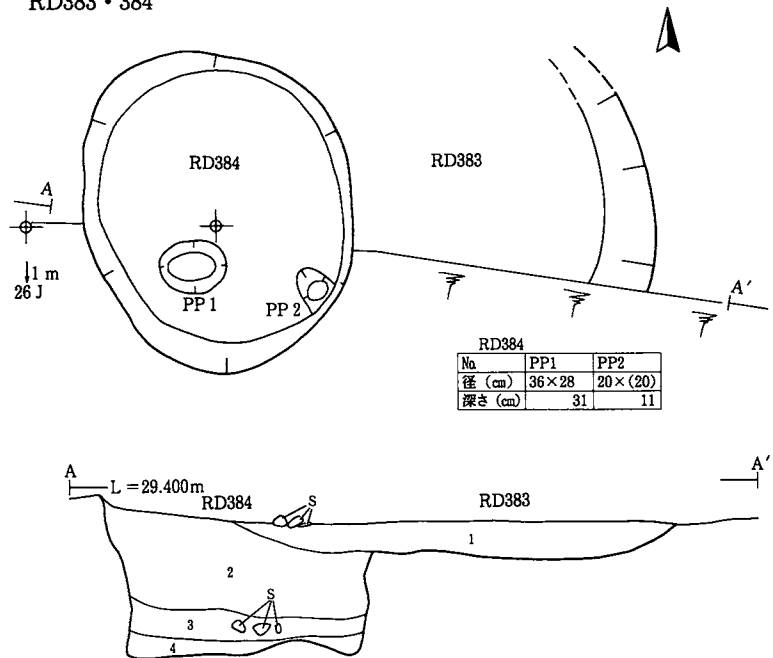
RD381 (A-A')

層位	色調	土性	土質	備考
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒20%混入	
2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト 締まり中	黄褐色粘土粒10%混入	
3	10YR6/8 明黄褐色	ローム 締まりやや密	(地山)	

RD382



RD383・384



RD384		
No	PP1	PP2
径 (cm)	36×28	20×(20)
深さ (cm)	31	11

RD382 (A-A')

層位	色調	土性	土質	備考
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中	炭3%、焼土粒2%、褐色土粒3%混入	
2	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まりやや疎	地山	

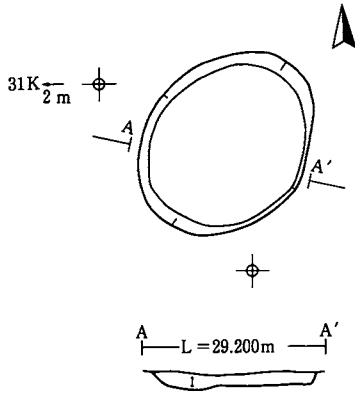
RD383・384 (A-A')

層位	色調	土性	土質	備考
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中	黒色土、炭化物2%、土器片混入	(RD383)
2	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中	黄色土粒3%、土器片、細礫混入	(RD384)
3	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中	黄色土粒1%、炭化物1%混入	(RD384)
4	10YR4/6 褐色	ローム 締まり中		(RD384)

0 1:40 1 m

第46図 RD379・380・381・382・383・384土坑

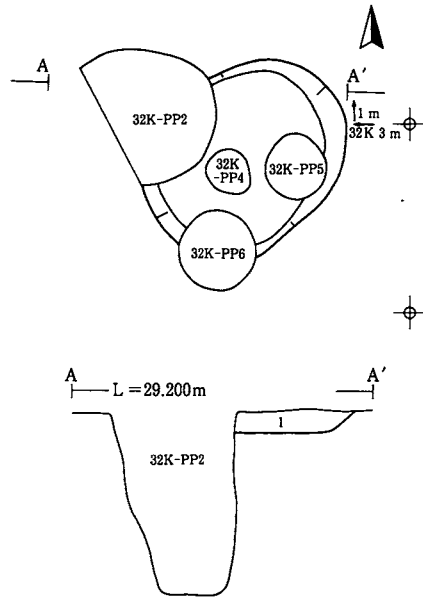
RD385



RD385 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中 炭15%、黄褐色粘土粒3%混入

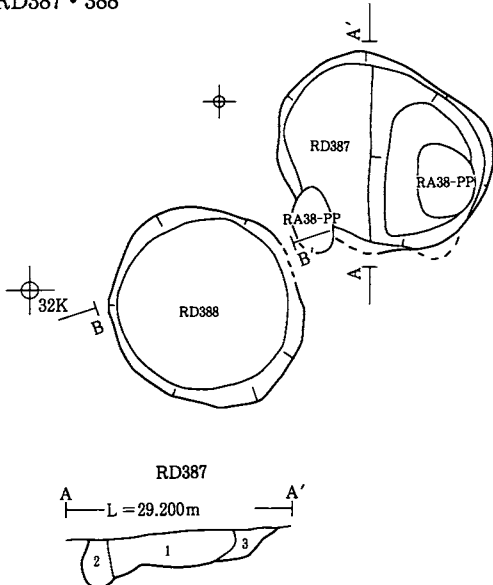
RD386



RD386 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中 炭3%、焼土粒2%、褐色土粒3%混入

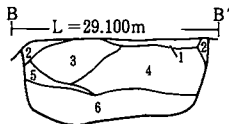
RD387・388



RD387 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 締まり中 褐色粘土粒10%混入
2	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 黄褐色粘土粒15%混入
3	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まりやや密 黄褐色粘土粒30%混入

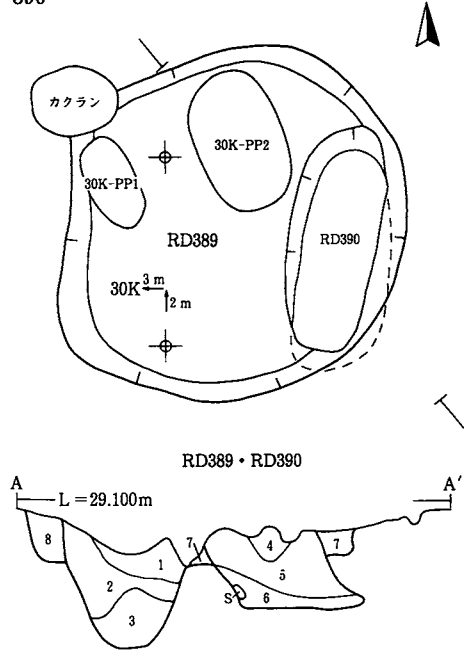
RD388



RD388 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 焼土粒2%混入
2	10YR8/4 浅黄橙土	シルト 締まりやや密 焼土粒2%混入
3	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中 炭3%、焼土粒20%、褐色土粒15%混入
4	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 炭10%、黄褐色土粒15%、砂粒混入
5	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 炭3%、焼土粒3%混入
6	10YR2/2 暗褐色	シルト 締まり中 炭3%、焼土粒3%、黄褐色土粒5%混入

RD389・390



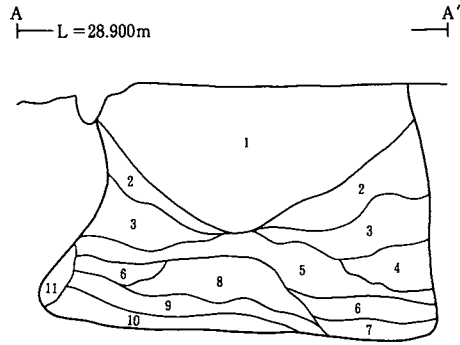
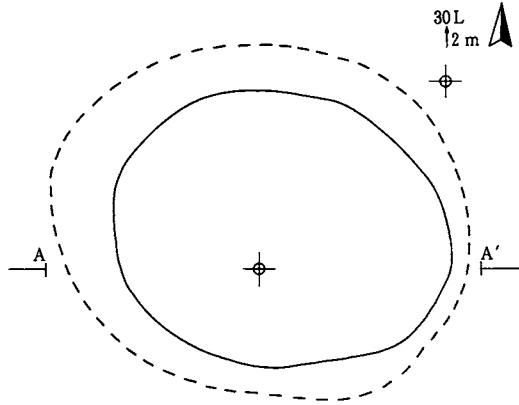
RD389・390 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中 焼土粒2%、褐色土粒20%混入 (30K-PP2)
2	10YR5/8 黄褐色	ローム 締まりやや密 黄褐色土粒の集合体 (30K-PP2)
3	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まりやや密 焼土粒2%混入 (30K-PP2)
4	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中 焼土粒2%、黄色土粒3%混入 (RD390)
5	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 炭3%、焼土粒2%、褐色土粒5%混入 (RD390)
6	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中 炭3%、焼土粒3%、褐色土粒15%混入 (RD390)
7	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まりやや疎 黄褐色土粒3%混入 (RD389)
8	10YR3/1 黒褐色	シルト 締まりやや密 焼土粒2%、黄色土粒5%混入 (RD389)

0 1 : 40 1m

第47図 RD385・386・387・388・389・390土坑

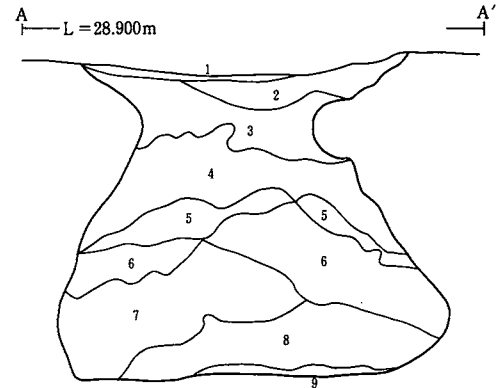
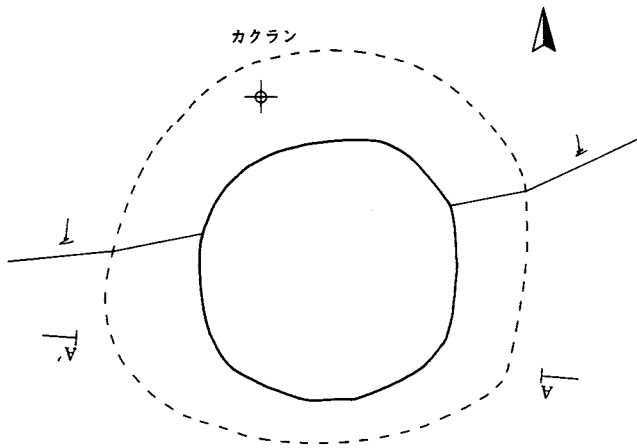
RD391



RD391 (A-A')

層位	色調	土性	
1	10YR3/2 黒褐色	シルト	締まり中 黄褐色土粒 3%、炭 5%混入
2	10YR3/2 黒褐色土と10YR6/8	明黄褐色粘土の混合土	締まり中 炭 2%混入
3	10YR5/8 黄褐色	シルト	締まり中 黒褐色土20%、細砂10%混入
4	10YR7/8 黄色	シルト	締まりやや密 小礫30%混入
5	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中 黄褐色土30%混入
6	10YR5/8 黄褐色	シルト	締まり中 黒褐色土20%、明黄褐色粘土 5%混入
7	10YR3/4 暗褐色	シルト	締まり中 炭 3%、明黄褐色粘土粒 3%混入
8	10YR3/3 暗褐色	シルト	締まり中 明黄褐色粘土30%混入
9	10YR7/8 黄色	シルト	締まりやや密 暗褐色土10%混入、炭 2%混入
10	10YR4/2 灰黄褐色	ローム	締まり中 炭 3%、明黄褐色粘土粒 5%混入
11	10YR6/8 明黄褐色	ローム	締まりやや密

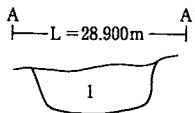
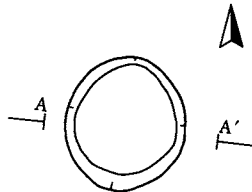
RD392



RD392 (A-A')

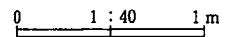
層位	色調	土性	
1	7.5YR5/8 明褐色	焼土	締まり中
2	10YR2/1 黒色	シルト	締まり中 炭化物 1%
3	10YR2/2 黒褐色	シルト	締まり中 炭化物 1%
4	10YR1.7/1 黒色	シルト	締まり中 黄色土粒 3%混入
5	10YR6/8 明黄褐色	ローム	締まり中
6	10YR6/6 明黄褐色	ローム	締まり中 黒色土混入
7	10YR6/6 明黄褐色	ローム	締まり中 砂礫混入
8	10YR6/6 明黄褐色	ローム	締まりやや密
9	10YR2/3 黒褐色	シルト	締まり中

RD393



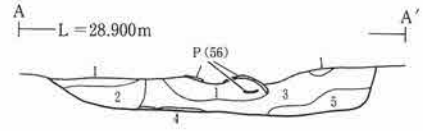
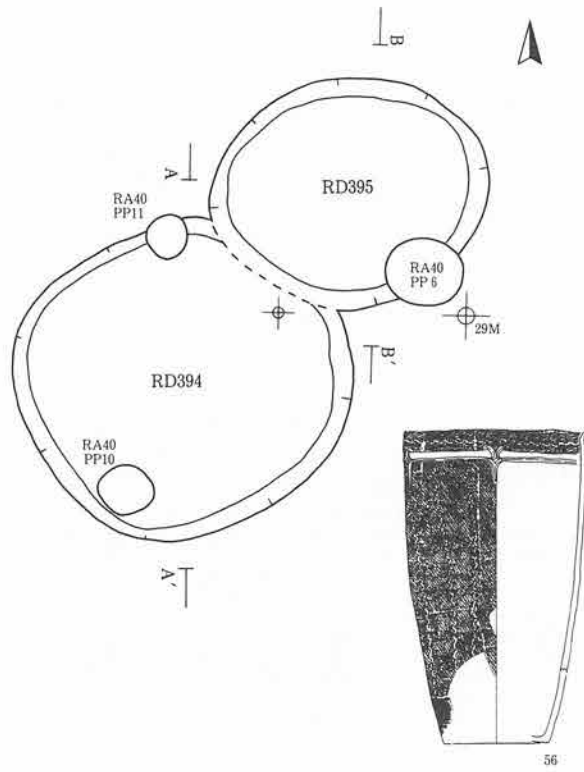
RD393 (A-A')

層位	色調	土性	
1	10YR3/2 黒褐色	シルト	締まり中 炭 3%、焼土粒 2%、褐色土粒 3%混入



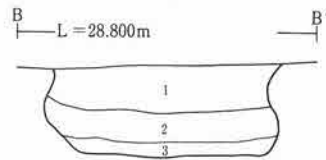
第48図 RD391・392・393土坑

RD394・395



RD394 (A-A')

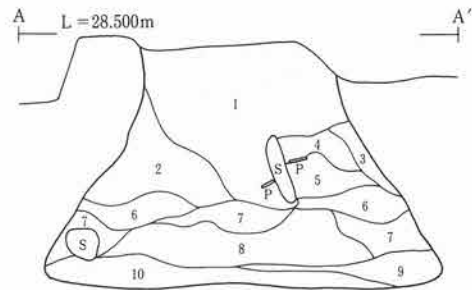
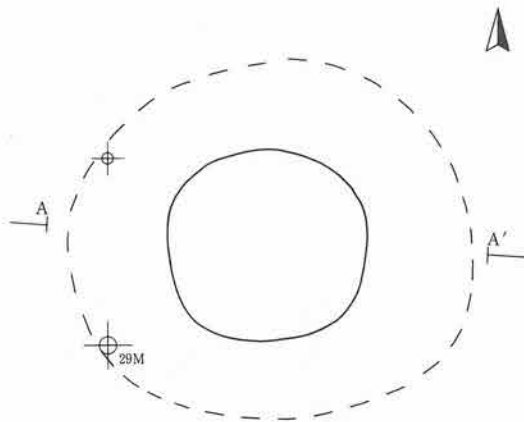
層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中 炭化物1%混入
2	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中
3	10YR4/6 褐色土と10YR6/2 明黄褐色粘土の混合土	締まりやや密
4	10YR1.7/1 黒色	炭化物層
5	10YR6/6 明黄褐色	ローム 締まりやや密



RD395 (B-B')

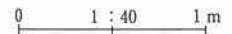
層位	色調	土性
1	10YR3/4 暗褐色	シルト 締まり中 黄色土粒混入
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 締まり中
3	10YR2/3 黒褐色	シルト 締まり中

RD396



RD396 (A-A')

層位	色調	土性
1	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中 黄褐色土粒3%、炭5%混入
2	10YR3/2 黒褐色土と10YR6/8 明黄褐色粘土の混合土	締まり中 炭2%混入
3	10YR5/8 黄褐色	シルト 締まり中 黒褐色土20%混入
4	10YR5/6 黄褐色	シルト 締まり中 黒褐色土30%、炭3%混入
5	10YR3/2 黒褐色	シルト 締まり中 炭7%、焼土5%混入
6	10YR6/8 明黄褐色	ローム 締まりやや密 黒褐色土10%混入
7	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まり中 炭10%、黄褐色粘土粒10%混入
8	10YR6/8 明黄褐色	ローム 締まりやや密 黒褐色土20%、炭10%混入
9	10YR3/3 暗褐色土と10YR6/8 明黄褐色粘土の混合土	締まり中 炭10%、小礫10%混入
10	10YR3/3 暗褐色	シルト 締まりやや疎 炭15%、焼土粒5%、小礫5%混入



第49図 RD394・395・396土坑

第6表 焼土遺構観察表

() 内数値：残存値

遺構名	RF07			
図版	遺構	50	遺物	116
写真図版	遺構	42	遺物	94
位置	27Jグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	なし			
平面形	不整な円形			
規模	平面	53×45cm		
	厚さ	5cm		
状況	橙色の焼土			
出土遺物	土器：破(598)、333.43g			
時期	縄文時代中期中葉			

遺構名	RF08			
図版	遺構	50	遺物	—
写真図版	遺構	42	遺物	—
位置	27Iグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	なし			
平面形	不整形			
規模	平面	25×20cm		
	厚さ	6cm		
状況	橙色の焼土			
出土遺物	なし			
時期	縄文時代			

遺構名	RF09			
図版	遺構	50	遺物	116
写真図版	遺構	42	遺物	94
位置	30I～30Jグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	なし			
平面形	不整な円形			
規模	平面	60×50cm		
	厚さ	8cm		
状況	明赤褐色の焼土、炉跡？			
出土遺物	土器：破(595・597)、657.74g 土製品(1137)、石器：25.52g			
時期	縄文時代中期末葉			

遺構名	RF10			
図版	遺構	50	遺物	116
写真図版	遺構	42	遺物	94
位置	29Jグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	なし			
平面形	不整な円形			
規模	平面	37×22cm		
	厚さ	9cm		
状況	明赤褐色の焼土			
出土遺物	土器：破(599・600)、694.60g 石器：2.28g			
時期	縄文時代中期後葉			

遺構名	RF12			
図版	遺構	50	遺物	—
写真図版	遺構	43	遺物	—
位置	30Jグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	なし			
平面形	不整な円形			
規模	平面	45×47cm		
	厚さ	8cm		
状況	明赤褐色の焼土			
出土遺物	土器：42.02g 石器：4.28g			
時期	縄文時代			

遺構名	RF13			
図版	遺構	50	遺物	—
写真図版	遺構	43	遺物	—
位置	31Jグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	なし			
平面形	不整形			
規模	平面	34×25cm		
	厚さ	4cm		
状況	明赤褐色の焼土			
出土遺物	土器：29.37g			
時期	縄文時代			

遺構名	RF15			
図版	遺構	50	遺物	116
写真図版	遺構	43	遺物	94
位置	20Iグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	なし			
平面形	方形			
規模	平面	10×10cm		
	厚さ	8cm		
状況	明赤褐色の焼土、石囲炉？			
出土遺物	土器：破(604)、476.12g 石器：1.49g			
時期	縄文時代中期			

遺構名	RF16			
図版	遺構	50	遺物	72・116
写真図版	遺構	43	遺物	58・94
位置	20Iグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	なし			
平面形	不整形			
規模	平面	(40)×(35)cm		
	厚さ	8cm		
状況	明赤褐色の焼土			
出土遺物	土器：立(60)、 破(605)、2031.27g 土製品：(1138・1139)			
時期	縄文時代中期末葉			

遺構名	RF17			
図版	遺構	50	遺物	72
写真図版	遺構	44	遺物	58
位置	30Iグリッド			
検出状況	Ⅱ層			
重複関係	なし			
平面形	円形			
規模	平面	45×40cm		
	厚さ	5cm		
状況	明褐色の焼土			
出土遺物	土器：立(61)、564.56g 土製品：(1140)、 石器：(1418)、4.71g			
時期	縄文時代中期			

()内数値：残存値

遺構名	RF18		
図版	遺構 50	遺物	117
写真図版	遺構 44	遺物	95
位置	31Hグリッド		
検出状況	Ⅱ層		
重複関係	なし		
平面形	不整形		
規模	平面	70×51cm	
	厚さ	7cm	
状況	明赤褐色の焼土		
出土遺物	土器：破(606)、299.46g 石器：(1754)、8.41g		
時期	縄文時代		

遺構名	RF19		
図版	遺構 51	遺物	—
写真図版	遺構 44	遺物	—
位置	23Pグリッド		
検出状況	Ⅱ層		
重複関係	なし		
平面形	不整形		
規模	平面	58×38cm	
	厚さ	7cm	
状況	赤褐色の焼土		
出土遺物	なし		
時期	縄文時代		

遺構名	RF20		
図版	遺構 51	遺物	117
写真図版	遺構 44	遺物	95
位置	23Rグリッド		
検出状況	Ⅱ層		
重複関係	なし		
平面形	不整形		
規模	平面	40×35cm	
	厚さ	8cm	
状況	明赤褐色の焼土		
出土遺物	土器：破(607~609)、423.50g 石器：98.15g		
時期	縄文時代後期		

遺構名	RF21		
図版	遺構 51	遺物	72・117
写真図版	遺構 45	遺物	58・95
位置	26M~27Mグリッド		
検出状況	Ⅱ層		
重複関係	なし		
平面形	不整な円形		
規模	平面	60×55cm	
	厚さ	16cm	
状況	明赤褐色の焼土		
出土遺物	土器：立(62)、破(610・611)、 1004.60g、石器：(1419・1628・ 1899)、7.05g		
時期	縄文時代後期		

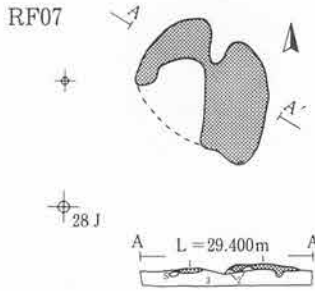
遺構名	RF22		
図版	遺構 51	遺物	—
写真図版	遺構 45	遺物	—
位置	24Rグリッド		
検出状況	Ⅱ層		
重複関係	なし		
平面形	不整な円形		
規模	平面	70×55cm	
	厚さ	10cm	
状況	明赤褐色の焼土		
出土遺物	土器：14.19g		
時期	縄文時代		

遺構名	RF23		
図版	遺構 51	遺物	72
写真図版	遺構 45	遺物	58
位置	32K~Lグリッド		
検出状況	Ⅲ層		
重複関係	なし		
平面形	いびつな長楕円形		
規模	平面	75×42cm	
	厚さ	15cm	
状況	明赤褐色の焼土		
出土遺物	土器：立(63)、458.05g 石器：5.33g		
時期	縄文時代		

遺構名	RF25		
図版	遺構 51	遺物	117
写真図版	遺構 45	遺物	95
位置	29Mグリッド		
検出状況	Ⅱ層		
重複関係	RA40→RH10→RF25		
平面形	不整な方形		
規模	平面	80×65cm	
	厚さ	3cm	
状況	明赤褐色の焼土		
出土遺物	土器：破(612)、2915.49g		
時期	縄文時代		

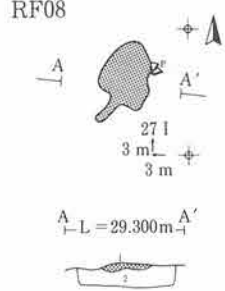
遺構名	RF26		
図版	遺構 57	遺物	—
写真図版	遺構 46	遺物	—
位置	31Kグリッド		
検出状況	Ⅱ層		
重複関係	なし		
平面形	不整な楕円形		
規模	平面	90×50cm	
	厚さ	7cm	
状況	暗赤褐色の焼土		
出土遺物	土器：54.58g		
時期	縄文時代		

RF11・14・24は欠番。



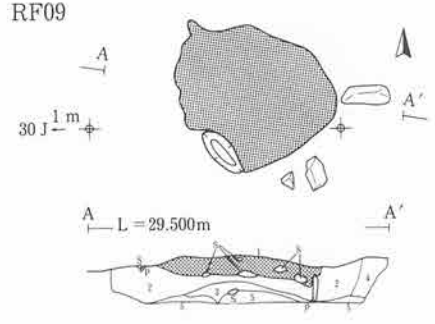
RF07 (A-A')

層位	色調	土性	説明
1	7.5YR6/8 棕色	焼土	綿まりやや礫 暗褐色土、炭混入
2	10YR2/3 黒褐色	シルト	綿まりやや礫 暗褐色土、炭混入
3	10YR2/2 黒褐色	シルト	綿まり中



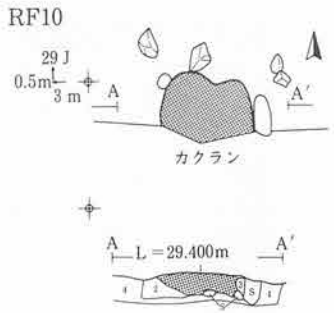
RF08 (A-A')

層位	色調	土性	説明
1	7.5YR6/8 棕色	焼土	綿まりやや礫 炭1%混入
2	10YR2/2 黒褐色	シルト	綿まり中 暗褐色土、炭1%混入



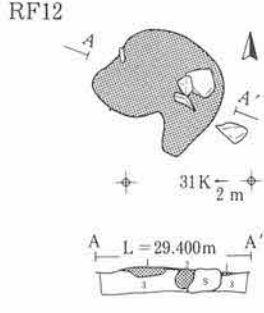
RF09 (A-A')

層位	色調	土性	説明
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	綿まりやや礫 暗褐色土混入
2	10YR3/3 暗褐色	シルト	綿まりやや礫 焼土粒、炭2%混入
3	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	綿まりやや礫
4	10YR3/2 暗褐色	シルト	綿まり中 焼土粒、炭2%混入
5	10YR3/2 暗褐色	シルト	綿まりやや礫 炭5%混入



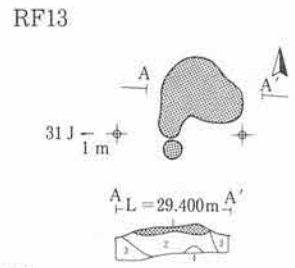
RF10 (A-A')

層位	色調	土性	説明
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	綿まりやや礫 黄褐色土混入
2	10YR3/2 暗褐色	シルト	綿まり中 焼土粒3%、炭5%混入
3	10YR3/3 暗褐色	シルト	綿まり中 焼土粒1%、炭1%混入
4	10YR3/3 暗褐色	シルト	綿まり中 下部に炭塊



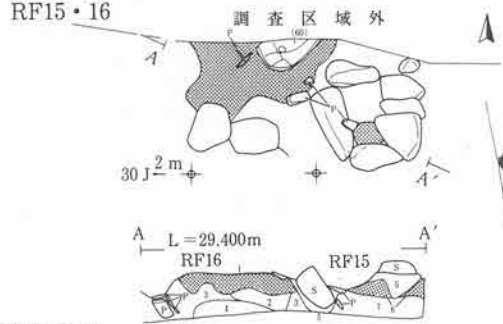
RF12 (A-A')

層位	色調	土性	説明
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	綿まり中
2	5YR5/8 明赤褐色	焼土	綿まり中 暗褐色土混入
3	10YR3/3 暗褐色	シルト	綿まり中 炭1%混入



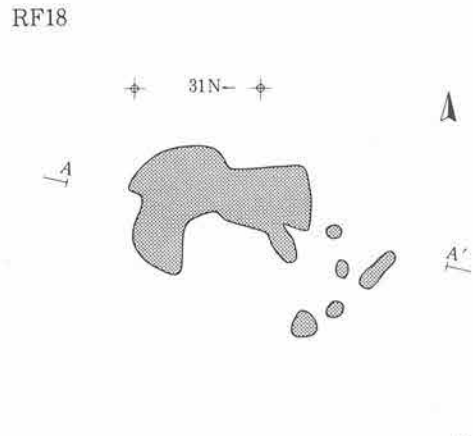
RF13 (A-A')

層位	色調	土性	説明
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	綿まり中 暗褐色土、炭5%混入
2	10YR3/4 暗褐色	シルト	綿まりやや礫 焼土粒3%、黄褐色土粒3%混入
3	10YR3/3 暗褐色	シルト	綿まり中 炭5%混入
4	10YR8/8 黄褐色	砂質シルト	綿まりやや礫



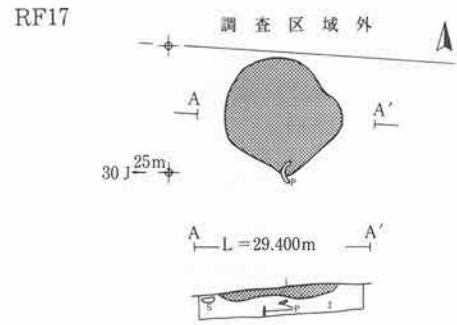
RF15・16 (A-A')

層位	色調	土性	説明
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	綿まりやや礫 暗褐色土混入 (RF16)
2	10YR2/1 黒色	シルト	綿まり中 炭50%混入 (RF16)
3	10YR3/2 暗褐色	シルト	綿まり中 明赤褐色焼土粒3%、炭3%混入 (RF16)
4	10YR3/2 暗褐色	シルト	綿まり中 炭20%混入 (RF16)
5	10YR3/1 暗褐色	シルト	綿まりやや礫 明赤褐色土粒3%混入 (RF15)
6	5YR5/6 明赤褐色	焼土	綿まりやや礫 (RF15)
7	10YR2/3 黒褐色	シルト	綿まり中 明赤褐色焼土粒5%混入 (RF15)



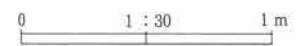
RF18 (A-A')

層位	色調	土性	説明
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	綿まり中
2	10YR3/1 暗褐色	シルト	綿まり中 焼土30%混入
3	10YR2/3 暗褐色	シルト	綿まりやや礫 焼土粒5%混入
4	10YR4/4 褐色	ローム	綿まり中 黒褐色土混入

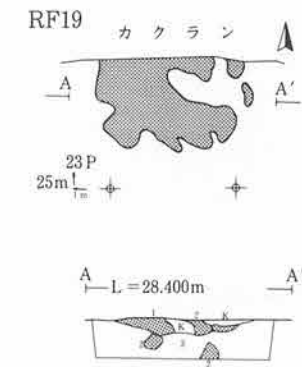


RF17 (A-A')

層位	色調	土性	説明
1	7.5YR5/8 明褐色	焼土	綿まりやや礫 黒褐色土混入
2	10YR3/2 暗褐色	シルト	綿まり中 明褐色焼土粒3%混入

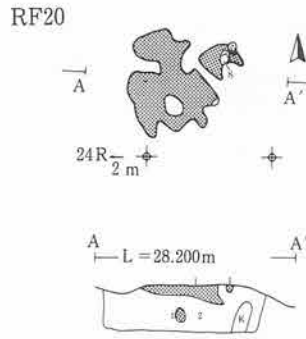


第50図 RF07・08・09・10・11・12・15・16・17・18焼土遺構



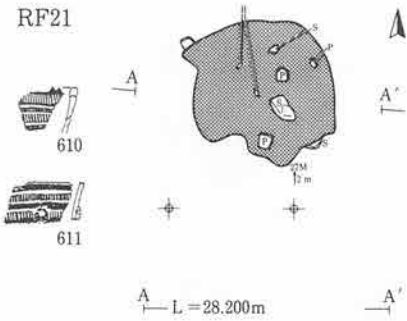
RF19 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	5YR4/8 赤褐色	焼土	織まりやや雑 明赤褐色焼土粒混入
2	5YR3/4 暗赤褐色	焼土	織まり中 黒褐色土混入
3	10YR2/3 黒褐色	シルト	織まり中



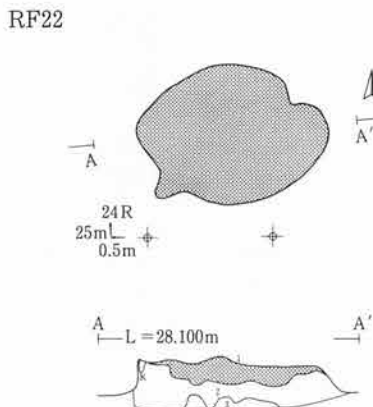
RF20 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	織まり中
2	10YR3/4 暗褐色	シルト	織まり中



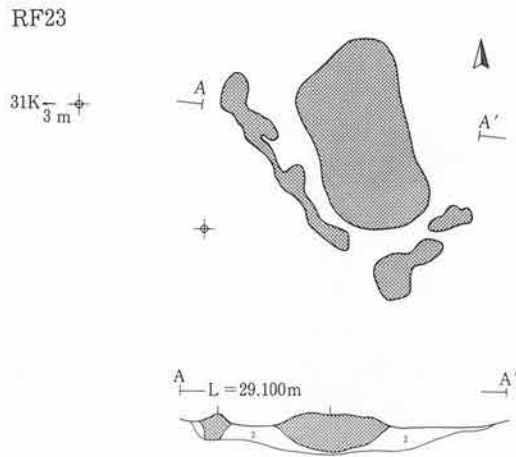
RF21 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	織まり中 土器片、骨片混入
2	10YR3/1 黒褐色	シルト	織まり中 礫、土器片混入



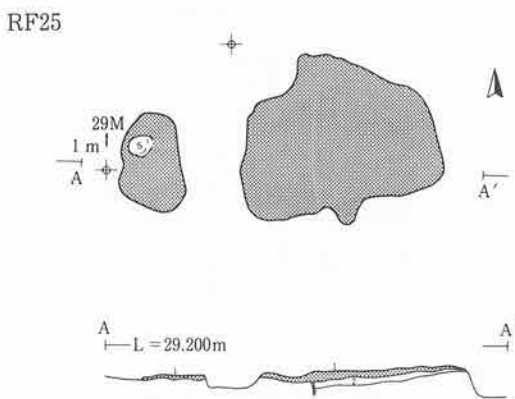
RF22 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	織まり中
2	10YR3/4 暗褐色	シルト	織まり中
3	10YR5/6 黄褐色	ローム	織まり中



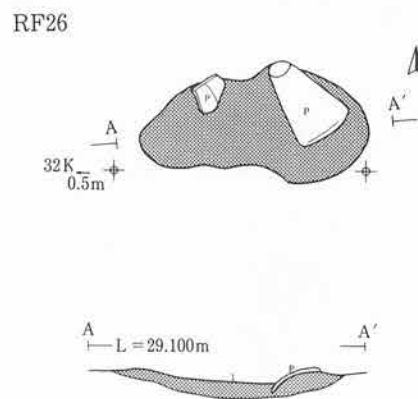
RF23 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	織まり中
2	10YR5/6 黄褐色	ローム	織まり中



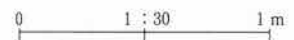
RF25 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	5YR5/8 明赤褐色	焼土	織まり中
2	7.5YR5/8 暗褐色	シルト	織まり中



RF26 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	5YR3/4 暗赤褐色	焼土	織まり中 黒褐色土混入



第51図 RF19・20・21・22・23・25・26焼土遺構

6. 配石遺構（第52・53図・写真図版46・47）

配石遺構は6基検出された。占地と出土遺物から判断すると、時期は中期から晩期に亘る。以下に各配石遺構を詳述するが、各配石遺構の規模・形状などは、第7表 配石遺構観察表に記載した。

RH05配石遺構 遺構（第52図・写真図版46）〈位置・検出状況〉17Kグリッド。Ⅱ層で検出した。〈重複関係〉RA24住居跡を切る。〈規模・形状〉径1.1×0.6mの範囲で配石が確認された。〈付属施設〉下位から径1.0×0.8m、深さ0.4mの土坑が検出された。遺物（第117図・写真図版95）土器：破片（613）。時期 縄文時代晩期末葉以降と思われる。墓壇の可能性が考えられる。

RH07配石遺構 遺構（第52図・写真図版46）〈位置・検出状況〉23T～23Uグリッド。Ⅱ層で検出した。〈重複関係〉なし。〈規模・形状〉径1.5×1.35mの範囲で配石が確認された。〈付属施設〉下位に1.5×1.25m、深さ0.65mの土坑が検出された。遺物（第117図・写真図版95）土器：破片（616～620）。時期 縄文時代後期と思われる。

RH08配石遺構 遺構（第52図・写真図版47）〈位置・検出状況〉23Rグリッド。Ⅱ層で検出した。〈重複関係〉なし。〈規模・形状〉径1.2×0.6mの範囲で配石が確認された。〈付属施設〉なし。遺物（第74・117図・写真図版59・95）土器：立体（70・71）・破片（621～625）。時期 縄文時代後期中葉と思われる。

RH09配石遺構 遺構（第53図・写真図版47）〈位置・検出状況〉25～26Iグリッド。Ⅱ層で検出した。〈重複関係〉なし。〈規模・形状〉径1.4×(1.0)mの範囲で配石が確認された。〈付属施設〉下位から径1.7m、深さ0.9mの土坑が検出された。遺物（第117図・写真図版95）土器：破片（626・627）。時期 縄文時代後期と思われる。墓壇の可能性が考えられる。

RH10配石遺構 遺構（第53図・写真図版47）〈位置・検出状況〉28Mグリッド。Ⅱ層で検出した。〈重複関係〉RA40住居跡より新しい。〈規模・形状〉径1.0×0.8mの範囲で配石が確認された。〈付属施設〉なし。遺物（第74・118図・写真図版60・95）土器：立体（72・73）・破片（628～631）。時期 縄文時代中期後葉以降と思われる。

RH11配石遺構 遺構（第53図・写真図版47）〈位置・検出状況〉17Kグリッド。Ⅱ層で検出した。〈重複関係〉なし。〈規模・形状〉径1.0mの範囲で配石が確認された。〈付属施設〉下位から径2.2×1.2m、深さ0.9mの土坑が検出された。底部には幅10cm、深さ20cmの周溝が廻る。遺物（第74・118図・写真図版60・95）土器：立体（74・75）、破片（632～635）。時期 縄文時代後期と思われる。墓壇の可能性が考えられる。

第7表 配石遺構観察表

No.	遺構名	図版No.	写真No.	位置 (グリッド)	検出面	規模 (m)	構成礫	付属施設 の有無	重複関係 (旧→新)	出土遺物(土器)	時期
1	RH05	52	46	17K	Ⅱ～Ⅲ層	1.1×0.6	径30cmの亜角礫	○	RA24→RH05	破(613)	晩期
2	RH07	52	46	22T～23U	Ⅲ層上位	1.5×1.35	径20～30cmの亜角礫	○	なし	破(616・620)	後期?
3	RH08	52	47	23R	Ⅱ層上位	1.2×0.6	径20～30cmの亜角礫	—	なし	立(68・69)、破(621～625)	後期?
4	RH09	53	47	25I～28M	Ⅱ層上位	1.4×(1.0)	径30～50cmの亜角礫	○	なし	立(70・71)、破(626～627)	中期
5	RH10	53	47	28M	Ⅱ層	1.0×0.8	径20～50cmの亜円礫	—	RA40→RH11	立(72・73)、破(628～631)	中期
6	RH11	53	47	25I	Ⅱ層上位	1.0×1.0	径30～50cmの亜角礫	○	なし	立(74・75)、破(632～635)	中期

()内数値：残存値

RH06は欠番。

7. 土器埋設遺構（第54図・写真図版48）

土器埋設遺構は5基検出された。帰属施設が判然とせず、単独の土器埋設遺構として判断したものである。使用された土器から判断すると、時期は中期から晩期に亘る。まとまった占地は確認できていない。以下に各土器埋設遺構を概観するが、個々の規模・形状などは、第8表 土器埋設遺構観察表を参照されたい。

RZ07土器埋設遺構 遺構（第54図・写真図版48）〈位置・検出状況〉18～19Lグリッド。Ⅱ層で検出した。〈掘り方の規模・埋土〉径50×40cm、深さ5cm。暗褐色土。〈埋設土器の出土状況〉壺形土器の胴部が横位で埋設されていた。〈土器内部の様子〉焼土粒が混入する黒褐色土。遺物（第74図・写真図版60）土器：立体（76）。時期 縄文時代晩期末葉以降と思われる。

RZ08土器埋設遺構 遺構（第54図・写真図版48）〈位置・検出状況〉30Mグリッド。Ⅱ層で検出した。〈掘り方の規模・埋土〉径35cm以上、黒褐色土〈埋設土器の出土状況〉深鉢形土器を確認するが、埋設方法は不明。〈土器内部の様子〉黒褐色土中に骨片が含まれる。遺物（第74図・写真図版60）土器：立体（77）。時期 縄文時代中期末葉と思われる。

RZ09土器埋設遺構 遺構（第54図・写真図版48）〈位置・検出状況〉26Rグリッド。Ⅱ層で焼土遺構に近接して検出された。〈重複関係〉RD368土坑より新しい。〈掘り方の規模・埋土〉不明である。〈埋設土器の出土状況〉不明。〈埋設土器〉深鉢形土器の胴部下半。〈土器内部の様子〉土器片の上に磨製石斧が置かれていた。遺物（第75・148図・写真図版60・142）土器：立体（78）・石器：磨製石斧（1852）。時期 縄文時代後期以降と思われる。

RZ12土器埋設遺構 遺構（第54図・写真図版48）〈位置・検出状況〉29Pグリッド。Ⅱ層で検出した。〈掘り方の規模・埋土〉径60×50cm以上、深さ37cm。黒褐色土。〈埋設土器の出土状況〉深鉢形土器が正位で埋設されていた。〈土器内部の様子〉黒褐色土が詰まっていた。遺物（第76図・写真図版61）土器：立体（83）。時期 縄文時代晩期と思われる。

RZ13土器埋設遺構 遺構（第54図・写真図版48）〈位置・検出状況〉30K～31Kグリッド。Ⅱ層で検出した。〈掘り方の規模・埋土〉径16cm、深さ20cm。暗褐色土。〈埋設土器の出土状況〉深鉢形土器が正位で埋設されていた。〈土器内部の様子〉アスファルトが詰まっていた。遺物（第76図・写真図版61）土器：立体（84）。時期 縄文時代中期末葉以降と思われる。

第8表 土器埋設遺構観察表

（ ）内数値：残存値

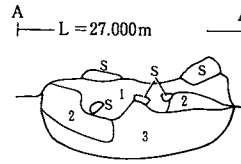
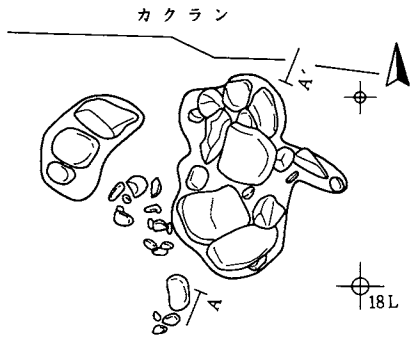
No	遺構名	図版 No	写図 No	位置 (グリッド)	検出面	掘り方の 規模(cm)	深さ (cm)	埋設方法	重複関係 (旧→新)	埋設土器	土器内部の様子	時期
1	RZ07	54	48	18L～19L	Ⅱ～Ⅲ層	50×45	-5	横位?	なし	深鉢(76)	黒褐色土	晩期
2	RZ08	54	48	30M	Ⅱ層	35以上	-10	不明	なし	深鉢(77)	黒褐色土	後期?
3	RZ09	54	48	26R	Ⅱ層	46以上?	-10	不明	なし	深鉢(78)	土器片の上に磨製石斧(1852)	晩期
4	RZ12	54	48	29P	Ⅱ～Ⅲ層	60×50	28	正位	なし	深鉢(83)	黒褐色土	中期
5	RZ13	54	48	30K～31K	Ⅲ層	18×18	20	正位	なし	深鉢(84)	アスファルト	中期

RZ10は欠番。

8. 柱穴群（第55・56・57図）

柱穴群が3地点で検出されている。いずれも複数の柱穴がまとまって検出されたが、建物跡として確認できなかったため柱穴群として報告する。各柱穴状土坑の規模・形態は図中の観察表に示した。

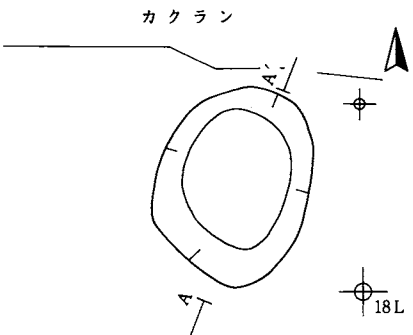
RH05



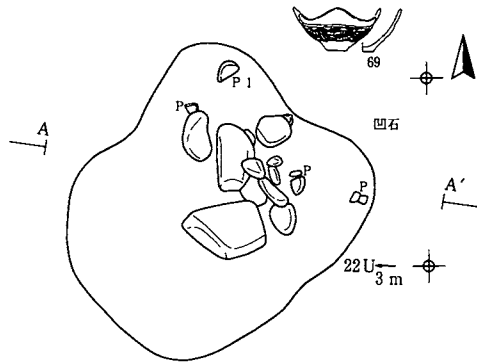
RH05 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR2/2	黒褐色 シルト	締まり中 黄褐色土ブロック7%混入
2	10YR2/2	黒褐色 シルト	締まり中 褐色土、礫10%混入
3	10YR3/3	暗褐色 シルト	締まり中 黄褐色土、礫7%混入

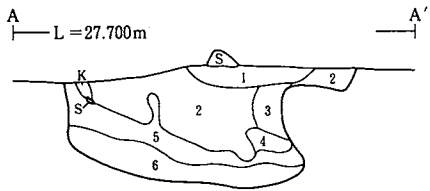
RH05



RH07

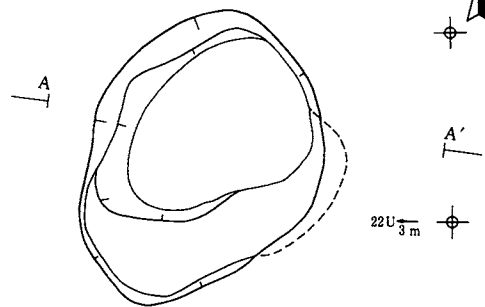


RH07

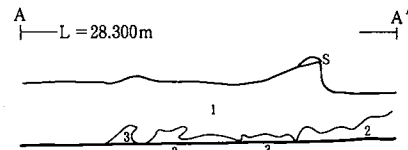
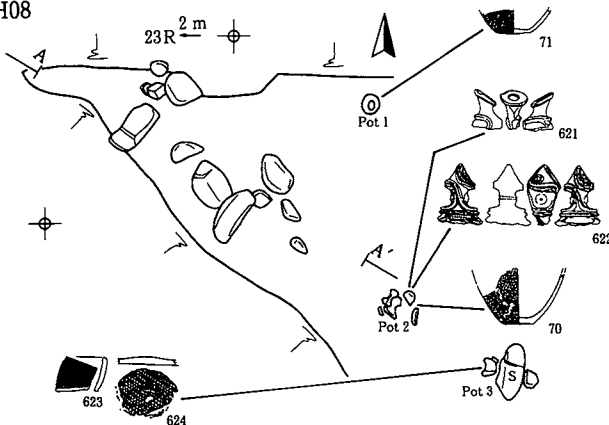


RH07 (A-A')

層位	色調	土性	備考
1	10YR1.7/1	黒色 シルト	締まり中 礫、炭化物1%混入
2	10YR2/3	黒褐色 シルト	締まり中
3	10YR5/6	黄褐色 ローム	締まり密
4	10YR5/8	黄褐色 ローム	締まり密
5	10YR5/6	黄褐色 ローム	締まり密 礫混入
6	10YR6/6	明黄褐色 ローム	締まり密 礫混入



RH08



RH08 (A-A')

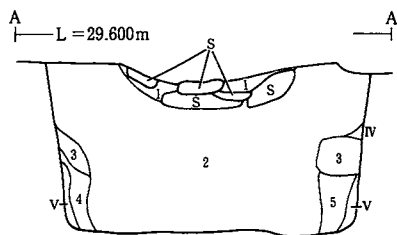
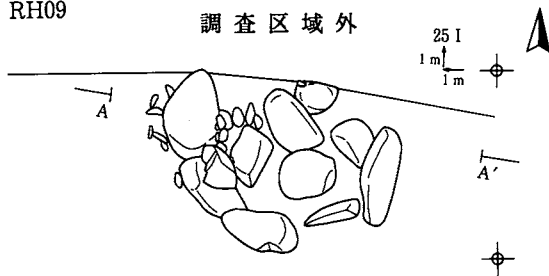
層位	色調	土性	備考
1	10YR2/3	黒褐色 シルト	締まり中 黄褐色土粒、炭化物1%混入
2	10YR4/6	褐色 ローム	締まり中
3	10YR5/8	黄褐色 ローム	締まり中

0 1 : 40 1 m

第52図 RH05・07・08配石遺構

RH09

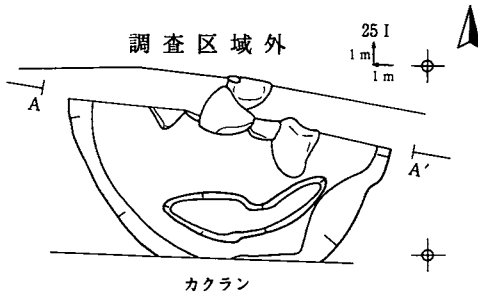
調査区域外



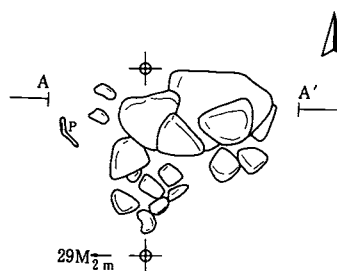
RH09 (A-A')

層位	色調	土性	
1 10YR2/3	黒褐色	シルト 締まり中	
2 10YR2/2	黒褐色	シルト 締まり中	炭化物1%、黄褐色土粒1%混入
3 10YR3/2	黒褐色	シルト 締まり中	礫、粗砂混入
4 10YR6/6	明黄褐色	ローム 締まりやや密	
5 10YR5/8	黄褐色	シルト 締まり中	黒褐色土混入

調査区域外

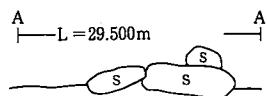
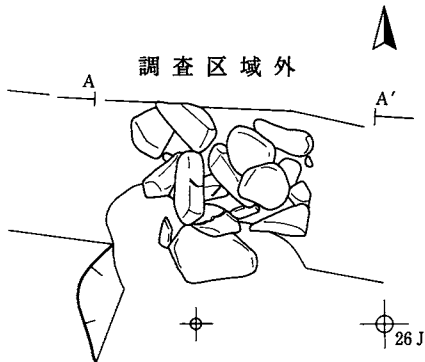


RH10

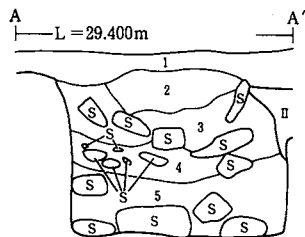
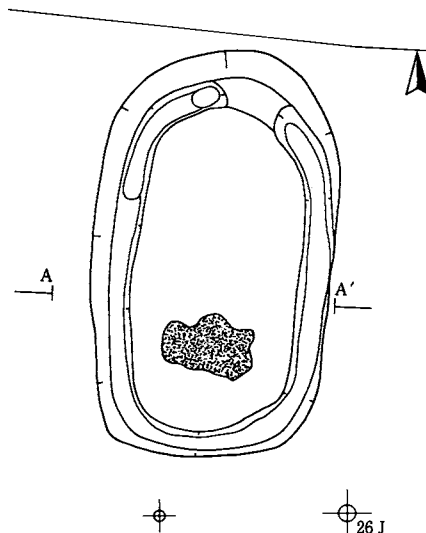


RH11

調査区域外



調査区域外



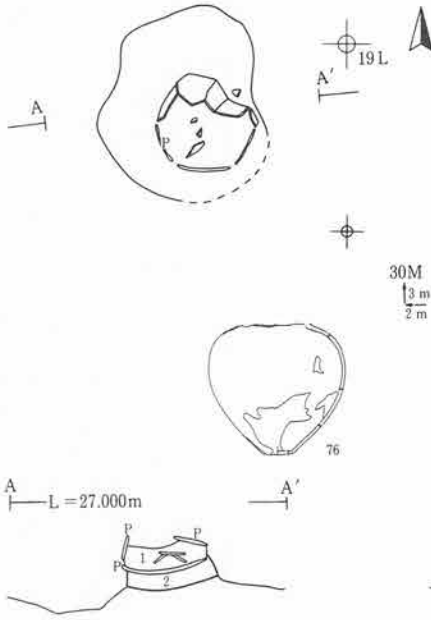
RH11 (A-A')

層位	色調	土性	
1 10YR1.7/1	黒色	シルト 締まり中	
2 10YR2/2	黒褐色	シルト 締まり中	小礫混入
3 10YR3/4	暗褐色	シルト 締まり中	黄褐色色粒3%
4 10YR3/2	黒褐色	シルト 締まり中	大型礫混入
5 10YR2/3	黒褐色	シルト 締まり中	黄褐色色粒10%、大型礫混入

0 1:40 1m

第53図 RH09・10・11配石遺構

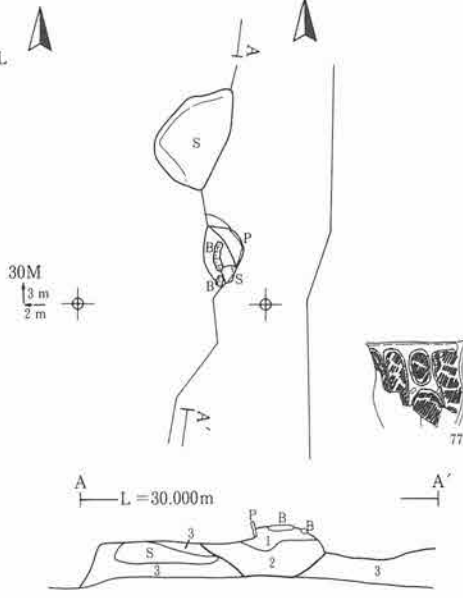
RZ07



RZ07 (A-A')

層位	色調	土性	縮まり	焼土粒、黄色土粒1%混入
1	10YR2/3	黒褐色シルト	縮まり中	焼土粒、黄色土粒1%混入
2	10YR3/3	暗褐色シルト	縮まり中	砂粒混入

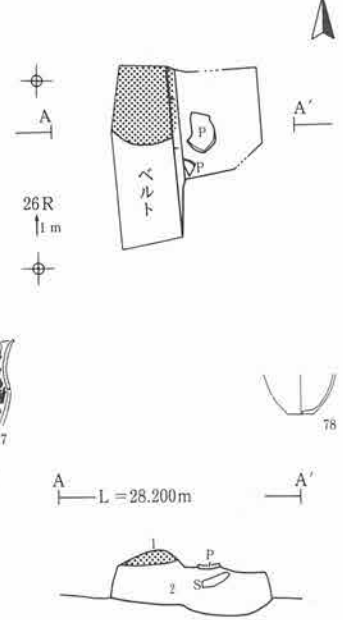
RZ08



RZ08 (A-A')

層位	色調	土性	縮まり
1	10YR3/2	黒褐色シルト	縮まりやや密
2	10YR2/2	黒褐色シルト	縮まり中 炭2%
3	10YR3/2	黒褐色シルト	縮まり中

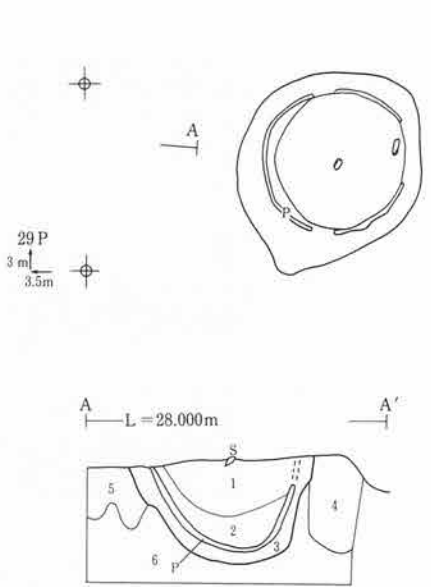
RZ09



RZ09 (A-A')

層位	色調	土性	縮まり	焼土	焼土粒、黄色土粒1%混入
1	5YR5/6	明赤褐色	焼土	縮まりやや疎	黒色土ブロック混入
2	10YR2/2	黒褐色シルト	縮まり中		焼土粒、黄色土粒1%混入

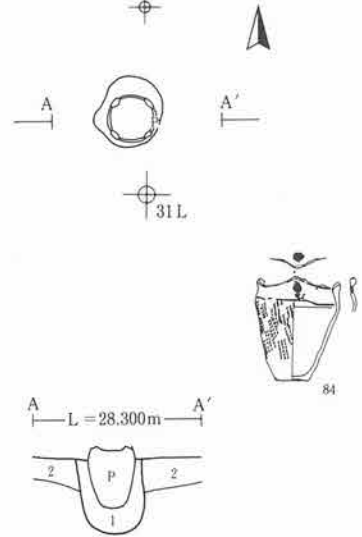
RZ12



RZ12 (A-A')

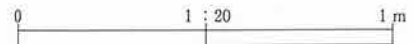
層位	色調	土性	縮まり	黄色土粒10%混入
1	10YR2/2	黒褐色シルト	縮まり疎	黄色土粒10%混入
2	10YR1.7/1	黒色シルト	縮まり疎	
3	10YR3/4	暗褐色シルトと10YR6/6黄褐色シルトの混合土		
4	10YR3/4	暗褐色シルト	縮まり中	
5	10YR1.7/1	黒色シルト	縮まり疎	
6	10YR6/6	明黄褐色ローム	縮まり密	風倒木埋土

RZ13

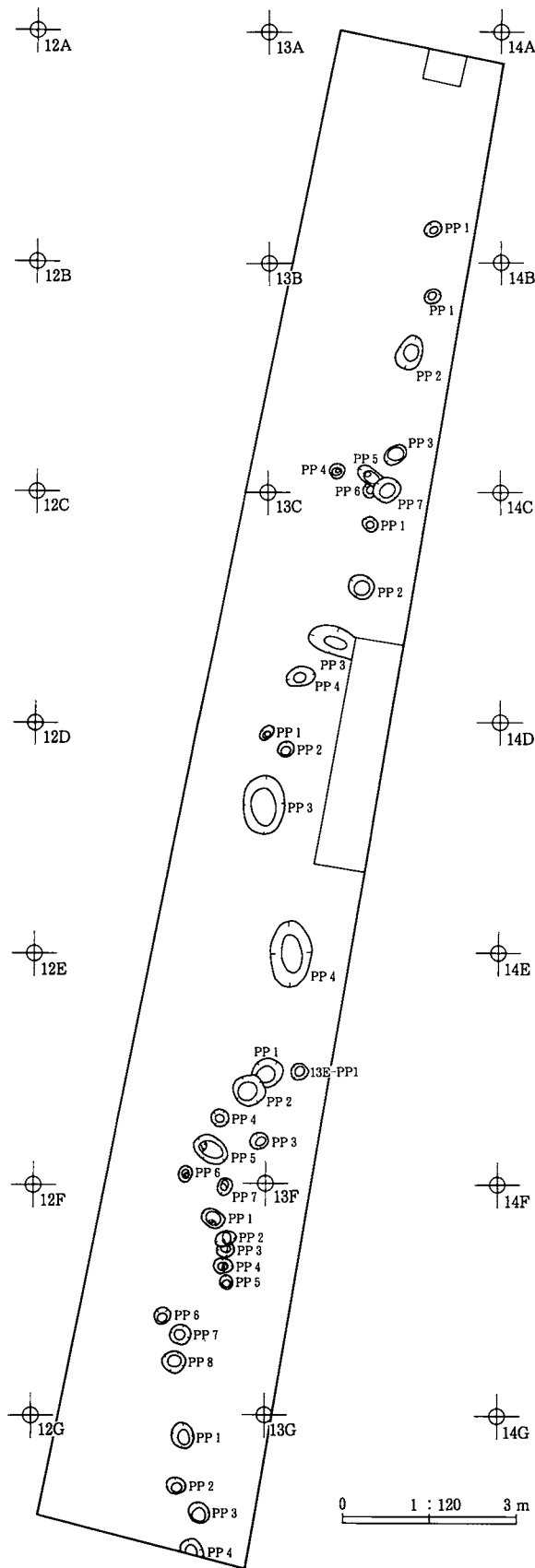


RZ13 (A-A')

層位	色調	土性	縮まり	黄褐色土粒10%混入
1	10YR3/4	暗褐色シルト	縮まり中	黄褐色土粒10%混入
2	10YR3/4	黒褐色シルト	縮まり中	



第54図 RZ07・08・09・12・13土器埋設遺構



13 A

No	PP1
径 (cm)	25×27
深さ (cm)	38

13 B

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7
径 (cm)	30×25	60×40	30×25	30×25	(30)×15	22×(22)	30×30
深さ (cm)	40	20	21	19	11	7	11

13 C

No	PP1	PP2	PP3	PP4
径 (cm)	15×17	30×25	(95)×45	34×27
深さ (cm)	24	12	17	17

13 D

No	PP1	PP2	PP3	PP4
径 (cm)	25×20	20×20	72×52	120×58
深さ (cm)	26	25	35	30

12 E

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7
径 (cm)	50×(50)	50×50	30×25	25×25	50×40	15×13	28×22
深さ (cm)	15	12	20	41	47	9	18

13 E

No	PP1
径 (cm)	30×30
深さ (cm)	9

12 F

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7
径 (cm)	38×30	27×25	15×(15)	18×16	15×15	25×10	35×25
深さ (cm)	14	10	9	10	12	25	47

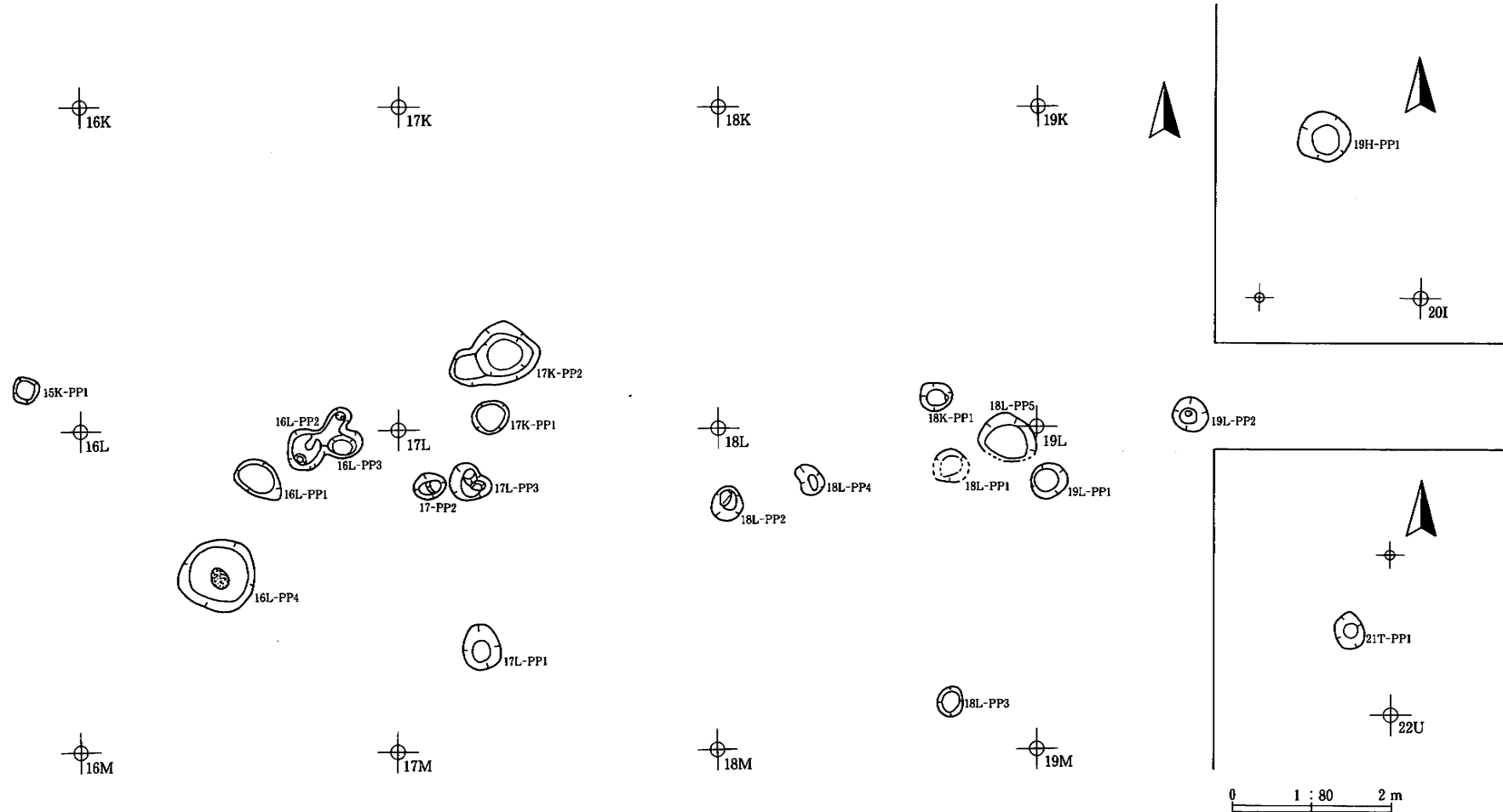
12 F

No	PP8
径 (cm)	25×26
深さ (cm)	34

12 G

No	PP1	PP2	PP3	PP4
径 (cm)	38×30	20×16	38×35	17×(17)
深さ (cm)	22	19	27	26

第55図 柱穴群 (1)



19H	
Na	PP1
径 (cm)	32×30
深さ (cm)	50

15K	
Na	PP1
径 (cm)	30×30
深さ (cm)	15.5

17K		
Na	PP1	PP2
径 (cm)	48×40	80×75
深さ (cm)	25.0	86.5

18K	
Na	PP1
径 (cm)	40×36
深さ (cm)	30.8

16L				
Na	PP1	PP2	PP3	PP4
径 (cm)	65×40	50×(46)	(50)×35	90×90
深さ (cm)	26.5	10.5	4.0	44.0

17L			
Na	PP1	PP2	PP3
径 (cm)	53×48	40×32	50×49
深さ (cm)	37.8	21.5	25.0

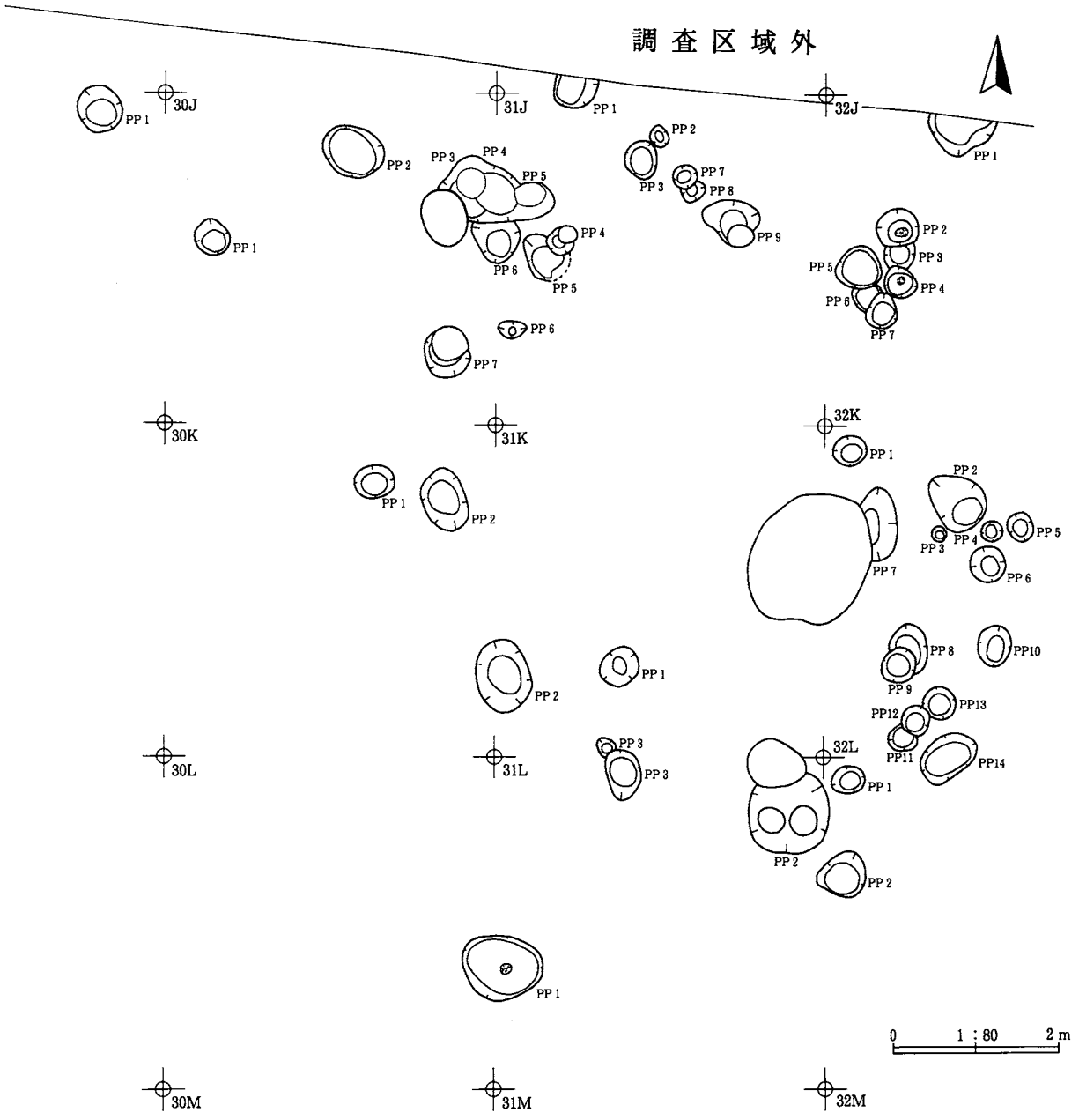
18L					
Na	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5
径 (cm)	40×(40)	44×38	38×30	40×30	72×(58)
深さ (cm)	19.1	26.6	12.4	24.0	50.0

19L		
Na	PP1	PP2
径 (cm)	48×42	44×40
深さ (cm)	22.0	15.7

21T	
Na	PP1
径 (cm)	35×45
深さ (cm)	39

第56図 柱穴群 (2)

調査区域外



29 J

No	PP1
径 (cm)	58×52
深さ (cm)	46

30 J

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7
径 (cm)	46×40	72×62	70×(30)	60×(60)	70×(40)	50×(50)	58×50
深さ (cm)	28	21	57	62	50	54	58

31 J

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7	PP8	PP9
径 (cm)	50×(36)	26×20	46×40	30×(30)	60×(50)	32×20	30×30	30×(20)	65×50
深さ (cm)	35	8	12	90	71	31	65	24	64

32 J

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7
径 (cm)	84×(40)	50×45	35×(20)	40×40	54×52	(34)×(20)	38×42
深さ (cm)	66	34	42	41	25	67	83

30 K

No	PP1	PP2
径 (cm)	28×27	56×38
深さ (cm)	18	55

31 K

No	PP1	PP2	PP3
径 (cm)	48×44	88×60	20×(21)
深さ (cm)	20	73	30

32 K

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7
径 (cm)	40×35	70×60	18×18	26×24	34×32	44×42	78×(34)
深さ (cm)	25	35	21	38	40	79	32

31 L

No	PP8	PP9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径 (cm)	46×(30)	40×38	38×38	36×(30)	34×34	40×(38)	72×46
深さ (cm)	93	95	41	17	79	77	22

31 L

No	PP1	PP2	PP3
径 (cm)	100×100	100×100	28×20
深さ (cm)	65	58	81

32 L

No	PP1	PP2
径 (cm)	20×17	30×25
深さ (cm)	21	26

第57図 柱穴群 (3)

9. 遺物包含層（第58～60図、写真図版49）

遺物包含層の範囲は、攪乱・削平により失われた部分を除けば、調査区全体に及ぶものと推定される。東西80m、南北80mで、面積640㎡以上に及ぶものと推定される。地点により出土遺物に時期的なまとまりが認められた。このことは下位から検出された遺構の時期をある程度反映しており、時期により占地に違いがあったことが窺われた。大局的には、調査区北東側は縄文時代中期、調査区南側は後晩期、調査区東側は晩期と把握することが可能である。

今回の調査で出土した遺物（縄文土器・石器＝剥片で、製品は含まれていない。）の出土量をグリッド別に集計した結果、掘削された旧アパート部分を除く、ほぼ全域から遺物は出土している。遺物の集中区は遺構の集中する区域とほぼ重なるようである。

もっとも出土遺物量が多い地点は調査区北東側で縄文時代中期の遺構がまとまって検出された地点である。

第58図は、出土遺物を時期別に分けていないので、袋毎に時期別の内訳を見てみると、中期に属する土器の出土量が多いことが判る。

中期：1383袋、後期：380袋、晩期：157袋、不明：95袋、計2015袋。

遺物包含層と認識されたのは基本層序のⅡ層である。色調は黒褐色で、層厚は地点により異なるが、平均20～30cmで、厚いところでは40cm以上のところもあった。実際の精査に際しては、土層観察からⅡ層を細分しえなかったため、10cm単位で掘り下げ、Ⅱ層-10cm（掘り下げた深さ）、Ⅱ層-20cmとして遺物を採取している。

各グリッドの出土遺物の概要、掲載遺物Noについては、第9表 グリッド別出土遺物一覧表を参照されたい。遺物の出土状況について記録を図化したのは、27I・29L・28M・29Mグリッドである。

27Iグリッド（第59図）

層序はⅠ・Ⅱ・Ⅲ層で、Ⅱ層の層厚は30cmである。遺物はⅡ層から出土し、中期後葉から中期末葉の遺物（129～145、821～833）が出土している。出土遺物は、土器53,263g、土製品、石匙・不定形石器・敲石、剥片23gが出土している。

29Lグリッド（第59図）

層序はⅠ・Ⅱ・Ⅲ層で、Ⅱ層の層厚は30cmである。遺物は、Ⅱ層から多く出土し、中期中葉から末葉の遺物（198～206、941～961）が出土している。出土遺物は、土器55,079g、土製品、石鏃・尖頭状石器・石匙・不定形石器・両極石器・RF・磨製石斧・擦石・敲打石・凹石・石皿、石製品、剥片263gが出土している。

28Mグリッド（第60図）

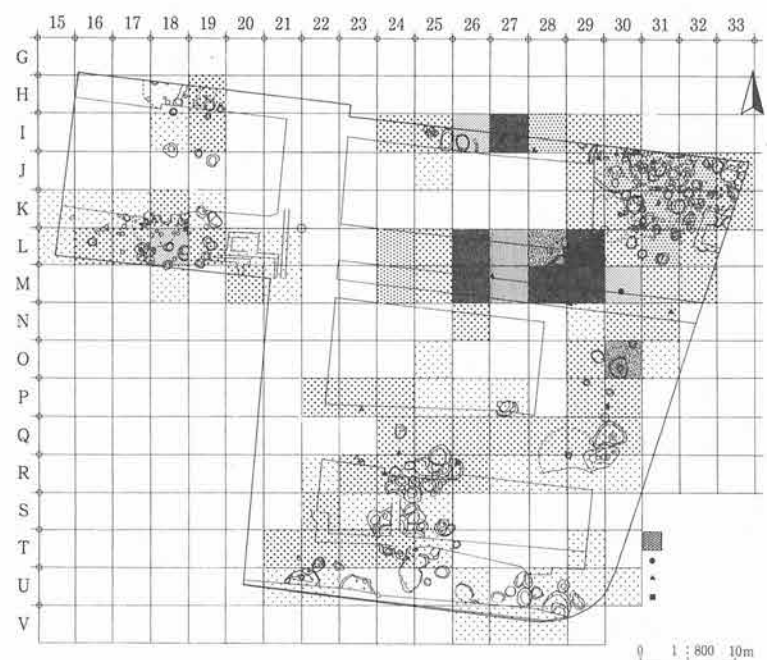
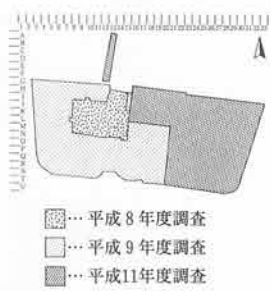
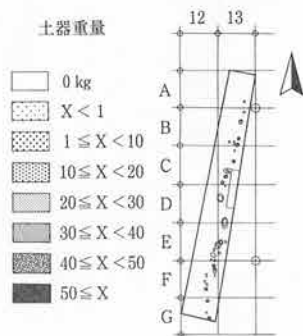
層序はⅠ・Ⅱ・Ⅲ層で、Ⅱ層の層厚は30cmである。遺物は、Ⅱ層から多く出土し、中期中葉から末葉の遺物（170～195、906～931）が出土している。出土遺物は、土器64,518g、土製品、石鏃・尖頭状石器・石錐・石匙・不定形石器・両極石器・RF・磨製石斧・擦石・凹石、剥片272gが出土している。

29Mグリッド（第60図）

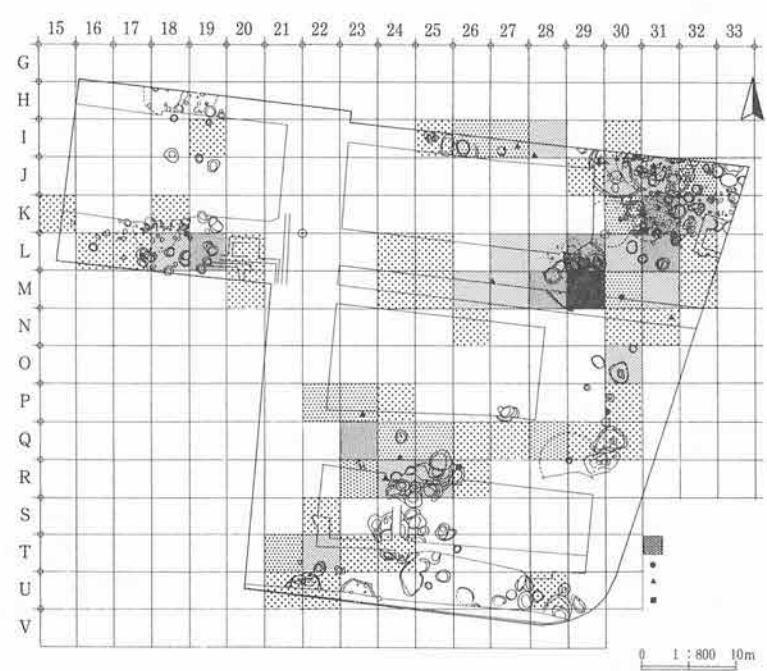
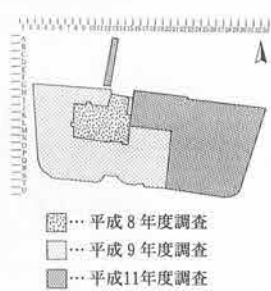
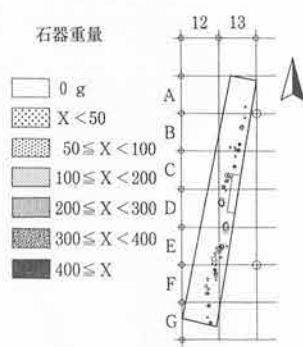
層序はⅠ・Ⅱ・Ⅲ層で、Ⅱ層の層厚は30cmである。遺物は、Ⅱ層から多く出土し、中期中葉から末葉の遺物（207・214、962～997）が出土している。出土遺物は、土器116,734g、土製品、石鏃・石匙・不定形石器・両極石器・RF・石核・磨製石斧・擦石・凹石、石皿、剥片614gが出土している。

第9表 グリッド別出土遺物一覧表(掲載No)

No	グリッド	土器		土製品	石 鏡	尖頭器	石 錐	石 匙	不定形	両 極	R F	石 核	石 斧		敲 磨 器			台石 石皿	石製品	出土遺物重量(g)	
		立 体	破 片										打製	磨製	擦 石	敲石	凹 石			土 器	石器剥片
1	18H	1873.07	697~700		1424・1425	1533	1564		1637				1844	1854 1855	1904	1992	2039			1,587	—
2	19H		701・702														2040		2094	1,878	—
3	19K																			718	—
4	20M		703		1427			1589							1907・1908					3,988	—
5	21T	93・94	704		1428・1429															2,738	—
6	22V	95																		657	20
7	23P		705		1433				1640											1,411	54
8	23Q		706~711	1148~1151	1434・1435	1536・1537		1590	1641~1644	1717	1761				1912~1914		2042・2043		2105	10,224	223
9	23R		712~715	1152・1365		1538		1591			1762~1764				1915・1916					6,064	67
10	24I		716~717															2082		3,057	—
11	24L	96~98	718	1153・1156													2044			11,390	39
12	24M	99	719~730	1157~1159												1997				10,889	24
13	24Q	100	731~733	1050~1162	1437	1539			1645				1858	1917		2045・2046			4,842	72	
14	24R		734~736						1646・1647		1765									5,394	137
15	25I		737~740	1163~1164																5,559	32
16	25L	101	741~742	1165~1166	1439		1565		1648	1718	1766				1923					9,688	28
17	25M	102・103	743~749										1860	1924						6,777	38
18	25Q	104	750・751	1167									1861				2079			2,367	53
19	25R		752~753	1168・1169	1440			1592	1649	1719	1767・1768		1862	1925・1926	1999				6,350	154	
20	26I	105・106	754~760	1170~1173				1593			1769				1927		2051			22,073	78
21	26L	107・114	761~799	1174~1191	1443~1450			1594 ・1595	1650~1653	1720	1770		1863	1928		2052		2099	76,919	637	
22	26M	115~125	800~818	1192~1212				1596 ・1597	1654~1657		1771~1773									83,360	138
23	26N	126・127	819~820	1213~1214																4,579	8
24	26R	128							1659							2054・2055				2,991	23
25	27I	129~145	821~833	1216~1219				1598	1661・1662							2000				53,263	75
26	27L	146~152	834~847	1220~1228	1453	1540		1599	1663~1665							2056				36,773	177
27	27M	153~158	848~859	1056・1371			1566		1666	1723	1774・1775			1930・1931						33,449	155
28	28I	159~163	860~880		1451・ 1455~1457	1541											2001			18,627	135
29	28L	164~169	881~905	1060	1454・ 1458~1460		1567		1667・1668	1725 ~1729	1777		1865 ~1867	1932~1934	2002 2003	2057~2060		2097	40,071	177	
30	28M	170~195	906~931	1372・1373	1461~1464	1542	1568・ 1569	1600 ~1602	1669~1671	1724	1778~1780		1868	1935・1936		2061・2062			64,518	272	
31	28Q	196	932~938	1059										1937						6,518	76
32	29L	198~206	941~961	1251~1262	1466~1471	1543 1544	1570~ 1572		1673~1676	1730	1781~1783		1869 ・1870	1938~1943	2004	2063・2064	2084	2100	55,079	263	
33	29M	207・214 ・216	962~997	1072・1385	1472			1603	1677~1679	1731	1784~1789	1832	1871	1944		2065	2087		116,734	614	
34	30J	219		1144・1354	1474~1478	1545			1680	1732	1791			1947		2066	2085		15,905	165	
35	30K	220	1005~1011	1294・1378	1479~1483				1685・1678 1681		1792~1794				2005				3,452	70	
36	30L		1012~1015	1065・1070		1546・1547	1573		1682~1684		1795~1797	1834	1872						7,005	125	
37	30M	221・224	1016~1017	1068				1605			1798		1873						23,308	81	
38	30N	225・227	1018	1061・1295		1548	1574		1686		1799			1948	2007 2008	2068・2069	2086		8,074	44	
39	30O	228・231	1019~1023	1062	1484~1486	1549					1800			1949				2107	42,204	157	
40	30Q	232・233	1024~1028	1301・1302															6,270	16	
41	31K	234~236	1029~1035	1067・1380、 1309・1318	1490・ 1496~1553	1577 ~1579	1606		1690~1693	1737 ~1739	1801・1802	1833	1874 ・1875	1955~1959			2088	2109	19,809	320	
42	31L	237	1036~1038	1319~1322					1694・1695					1960					12,050	220.78	

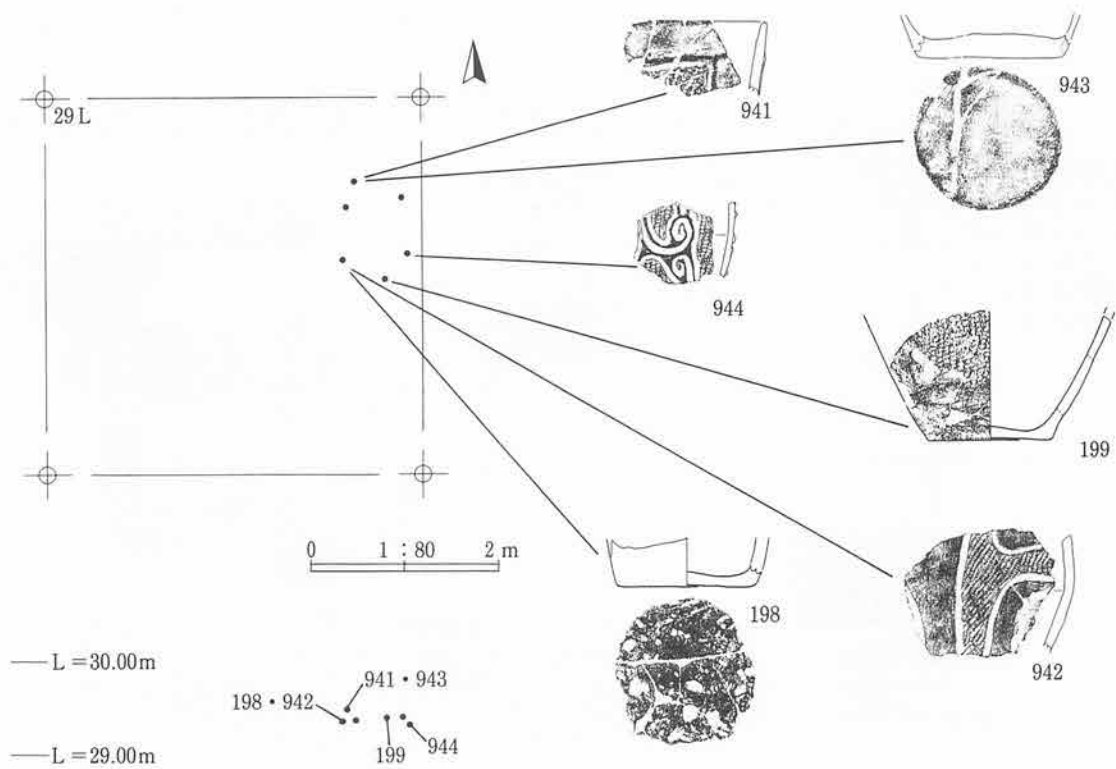
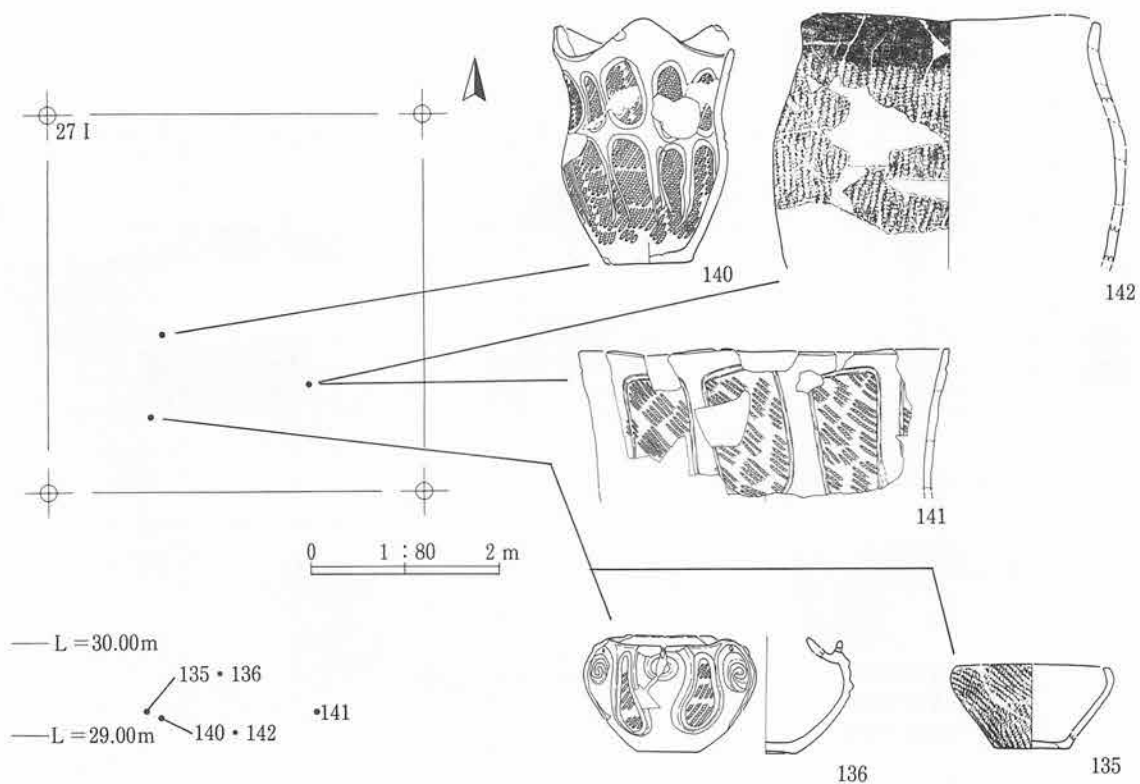


土器



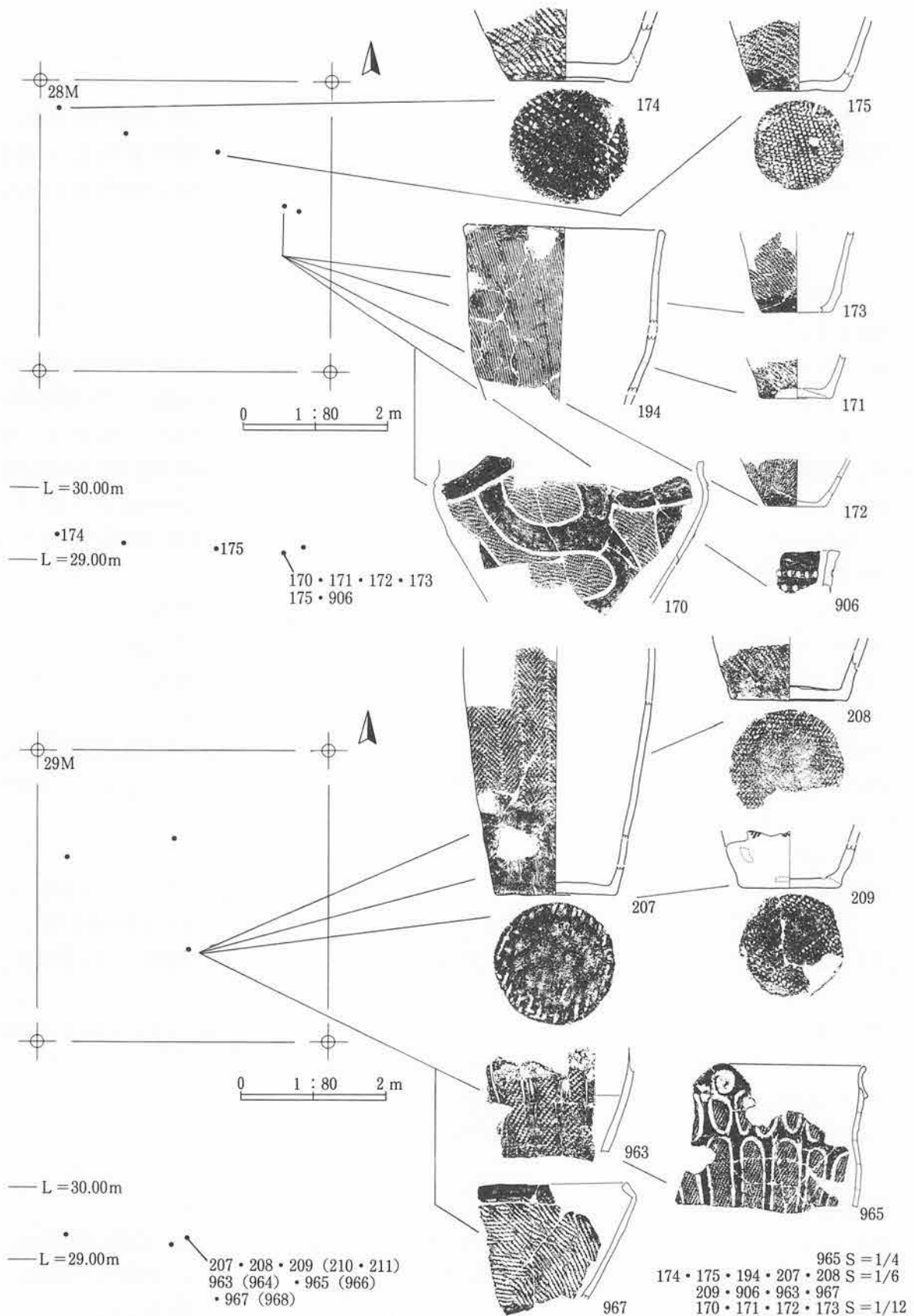
石器 (剥片)

第58図 グリッド別出土遺物重量分布図



第59図 遺物包含層 (27 I · 29 L) 遺物出土状況：土器

S = 1/6



第60図 遺物包含層 (28M・29M) 遺物出土状況：土器

V. 出土遺物

長谷堂貝塚から出土した遺物は、縄文土器大コンテナ（T40：42×32×30cm）130箱（重量1545.56kg）・土製品302点・石器大コンテナ（T40：42×32×30cm）10箱（重量71.2476kg）で、登録点数661点、石製品21点、骨角器2点、動物遺存体（貝・獣骨類）大コンテナ（T40：42×32×30cm）20箱、植物遺存体（炭化種実）・自然遺物などがある。

1. 縄文土器（第618～140図、写真図版50～112：1～1052）

掲載基準について

接合を行った結果、口径・器高・底径の計測値のうち1箇所以上計測可能なものを立体土器として登録・図化し、掲載した。破片資料はすべて実見し、以下の基準で選別した。掲載資料は、原則として口縁部破片とし、径5cm以上のものとした。胴部破片は文様・成形痕・特異な文様が施されているものに限定した。底部破片は残存状況について基準を設けて統計処理を行い、掲載遺物は、底部圧痕や器形が特異なものに限定した。その他、可能な限り図化し遺物を掲載する方針で、上記の基準を満たさないものでも図化し掲載した。

土器はすべて図・写真・観察表を掲載し、個々の土器の特徴は、第9表 土器観察表に記載している。

観察項目：以下の項目について観察を行った。

- ・計測値（器高・口径・底径）※立体土器のみ。　　・器種：深鉢・浅鉢・壺・器台など。
- ・器形：口縁部：平縁・波状縁他。　　・文様：各部位の縄文原体と施文方法。
- ・色調：土色帳に照合する。　　・胎土：繊維・礫などの混入の有無。
- ・内面調整：ミガキ・ナデなど調整の有無と方向。
- ・時期：時期的には中期・後期・晩期に属するものがあり、以下のように大別して、時期毎に群を設定し、大局的な時期を示すことにした。本文中の遺構の時期の記載についても、これに準じている。（ ）内は相当するあるいは並行すると考えられる既存の土器型式である。

I群：前期、1：後葉（大木5）。

II群：中期、1：前葉（大木7）、2・3：中葉（大木8a・8b）、4：後葉（大木9）、5：末葉（大木10）、6・7：前葉（円筒上層a・b）、8：中葉（円筒上層c）、9：中葉（榎木林）。

III群：後期、1：初頭（門前・上村）、2：前葉（十腰内1・宮戸I）、3：中葉（十腰内2・3・宮戸II）、4：後葉（十腰内4・西ノ浜）、5：末葉（十腰内5・宮戸III）。

IV群：晩期、1：初頭（大洞B1）、2：前葉（大洞B・BC）、3：中葉（大洞C1・C2）、4：後葉（大洞A）、5：末葉（大洞A'）。

V群：その他、時期不明のものなど。VI群：弥生。

- ・その他：成形の痕跡（輪積痕）、使用の痕跡（補修孔・煮炊の痕跡）など。

出土遺物について

総量：コンテナ大（T40：42×32×30cm）130箱で、総重量1545.56kgが出土している。掲載した遺物は、立体土器229点、破片資料913点である。また本来の個体数を類推する手掛かりとして、底部破片の残存状況について統計処理を行ったが、接合率が悪く、完形、1/2以上残存するものについては掲載した。

出土状況：重量比でみると、総量1145.56kgに対して、遺構内380.88kg（25%）、包含層1022.66kg（66%）、

表採他142.01kg（9%）である。地点別では調査区北東側からの出土量が多く、時期別では、中期に属する遺物が多い。ただし調査区北東側でⅡ層として精査した包含層は遺構内とくに住居跡の埋土であった可能性が高く、本来の比率は遺構内とくに住居内出土の遺物がさらに多かったのだろうと思われる。

原形を保って出土した例は稀だが、個体単位で出土している例は幾つかある。個々の土器の残存状況から使用の様子や廃棄の過程などを類推することはできなかった。

接合状況：接合が叶わなかった資料は、調査精度の問題もあり、一概にいけないが、多くは出土した地点もしくは隣接地点（グリッド）で接合は完了している。地点を離れての接合や遺構間で接合した事例はない。

胎土：全般に砂・礫の混入が少なく、胎土が緻密である。摩滅はあまり顕著でない。焼成も比較的良い。色調：暗～黒褐色・灰白色があり、時期により色調の傾向があるようである。

内面調整：ナデとミガキがあるが、いずれかが施され、内面では口縁部は横位・胴部は縦位に調整されることが多い。底面は圧痕が残されているものを除いてミガキが施されているものが多い。

使用の痕跡：煤の付着が多く見られた土器は少ない。赤色顔料が塗布された痕跡が残る土器が数点出土している。中期末葉の壺型土器、と晩期の土器に多く見られた。

竪穴住居跡出土の土器（第61～68・71・100～109図、写真図版50～55・58・63～89：1～42、243～438）

縄文時代中期から晩期の土器が出土している。埋土中から土器片での出土が多い。中期の住居跡出土の遺物については、重複が激しく、採取に際して帰属が明確にできなかった遺物が多い。そのなかで、比較的まとまって土器が出土したのはRA35住居跡で、複式炉に伴う埋設土器4基（18～21）がある。

土坑出土の土器（第69～70・110・116図、写真図版56・57・90～94：45～57・464～594）

縄文時代中期から晩期までの土器が出土している。総じて埋土からの破片資料が多い。個体で出土した資料には、RD302の出土の台付深鉢（45）・RD394の出土の深鉢（56）が挙げられる。

焼土遺構出土の土器（第72・73・116・117図、写真図版58・59・94・95：61・67・603～612）

焼土遺構から出土した土器は破片が多い。個体復元できた粗製の深鉢（61・67）があるが、炉に埋設された土器であった可能性がある。

土器埋設遺構出土の土器（第74・76図、写真図版60・61：76～78・83・84）

埋設されていた土器と掘り方に混入する土器片がある。埋設された土器は無文（76・78）または地紋のみの粗製の深鉢（83）と、文様をもつ精製土器（77・84）がある。

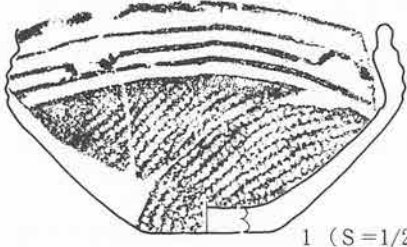
遺物包含層出土の土器（第77・79・120～140図、写真図版62～82・97～112：90～242・697～1052）

遺物包含層（Ⅱ層）から出土した土器で、グリッドによる出土量に多寡は、検出された遺構密度を反映して、調査区北東側から出土した中期に属する土器がもっとも多い。まとまった量が出土している地点もあるが、破片が多く、遺構の構築などが重なっているため、層序の上下間で、出土土器に混在が多く認められた。

註

- （1）時期区分の記載にあたり土器型式については、小林達雄編集 1989『縄文土器大観』1 草創期 早期 前期・4 後期 晩期 続縄文、および岩手県立博物館 1982『岩手の土器』を参考にした。

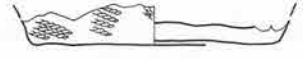
RA26



1 (S=1/2)



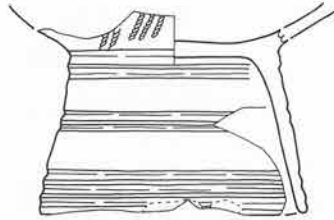
2 (S=1/2)



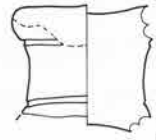
3



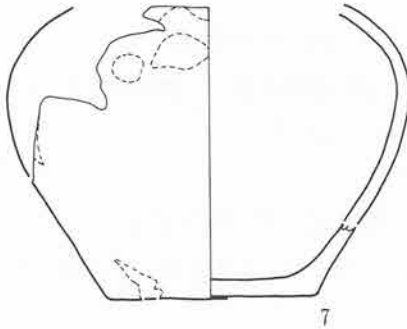
4 (S=1/2)



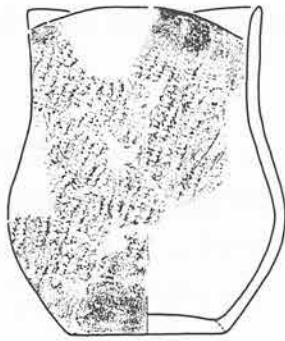
5



6 (S=1/2)

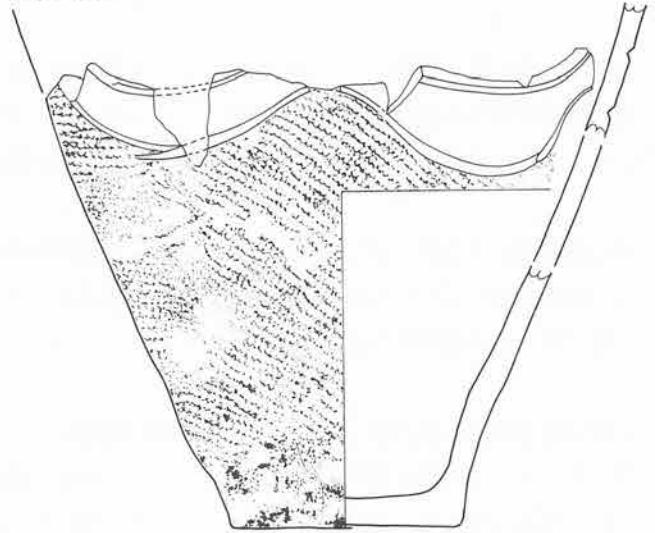


7

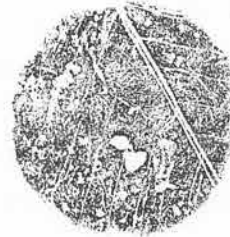


8

RA27 (1)



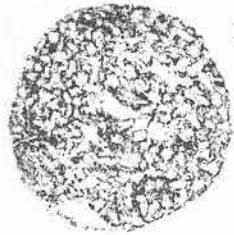
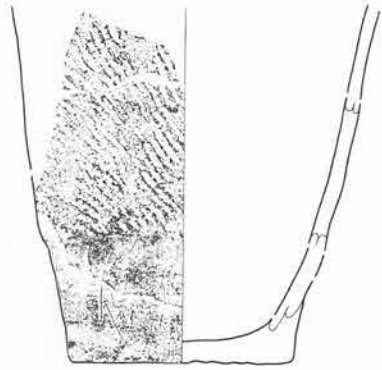
9



0 1 : 3 10cm

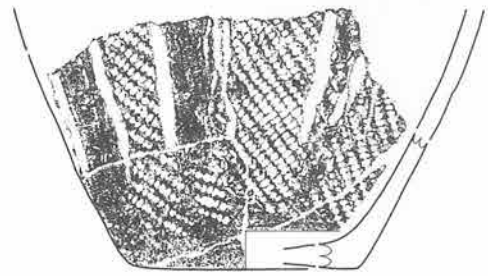
第61図 土器 (1) : RA26・27 (1)

RA27 (2)



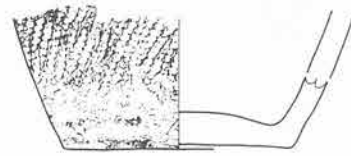
10

RA29



11

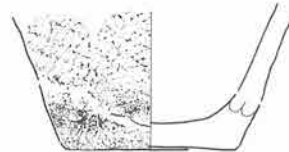
RA31



12

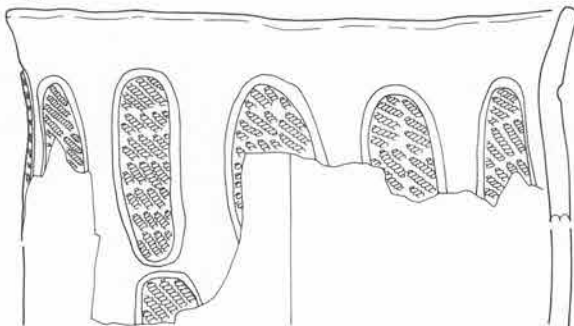


13



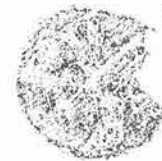
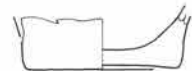
14

RA33



15

RA34

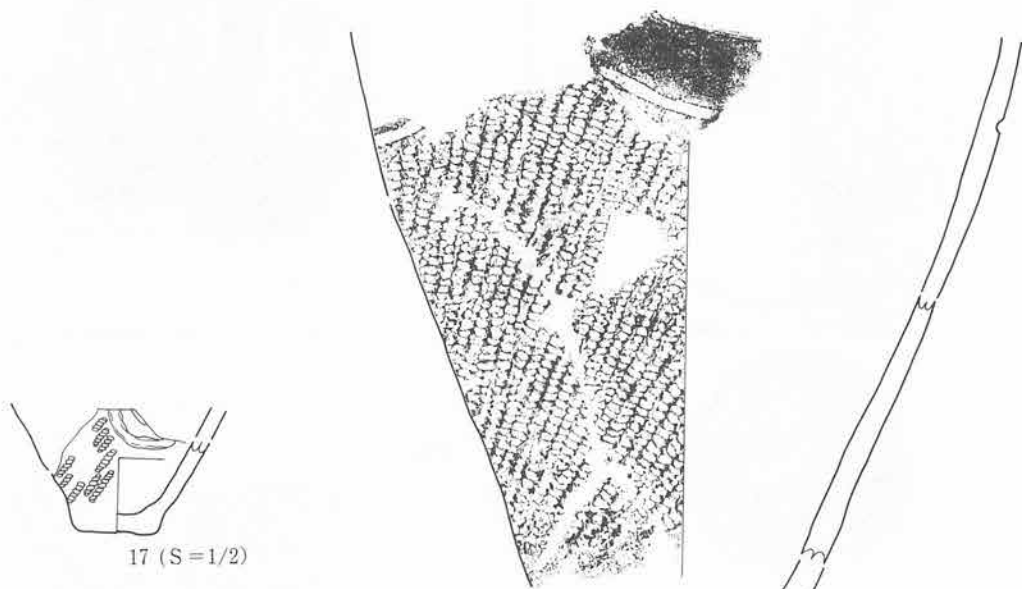


16

0 1 : 3 10cm

第62図 土器 (2) : RA27 (2) ・ 29 ・ 31 ・ 33 ・ 34

RA35 (1)

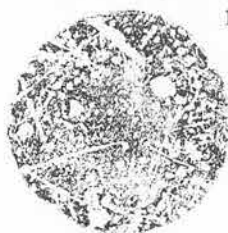


17 (S=1/2)

18



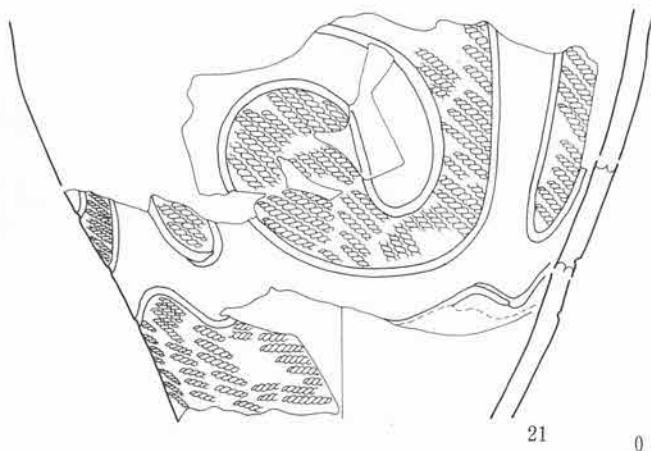
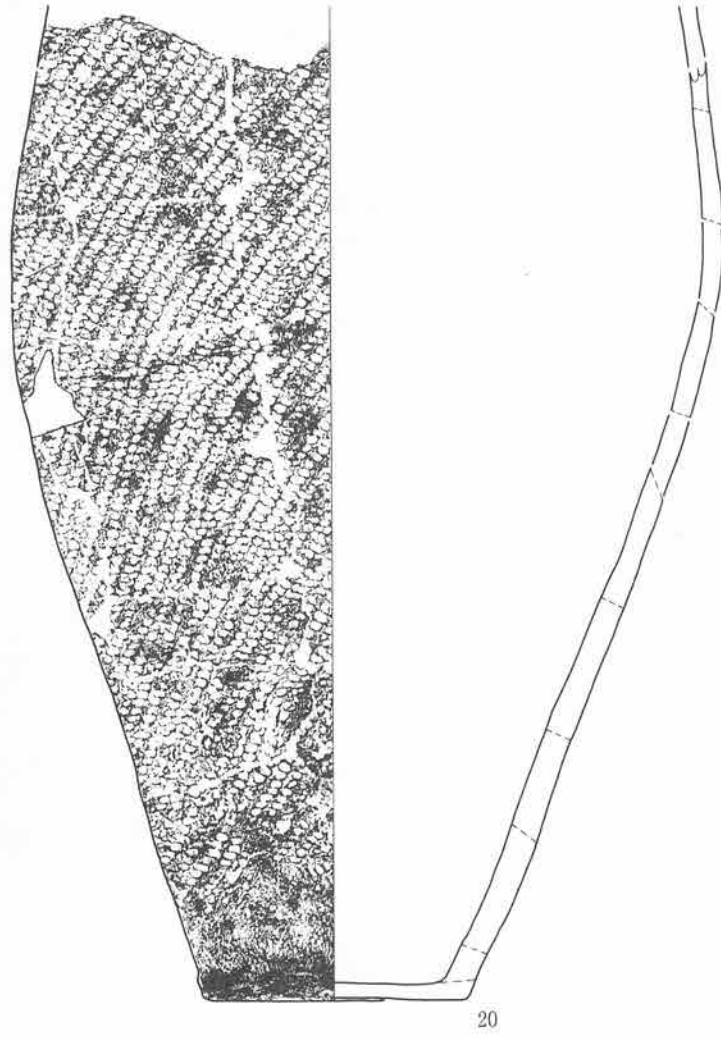
19



0 1 : 3 10cm

第63図 土器 (3) : RA35 (1)

RA35 (2)



0 1 : 3 10cm

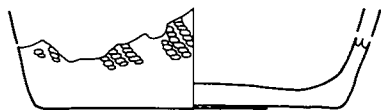
第64図 土器 (4) : RA35 (2)

RA36

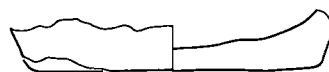


22

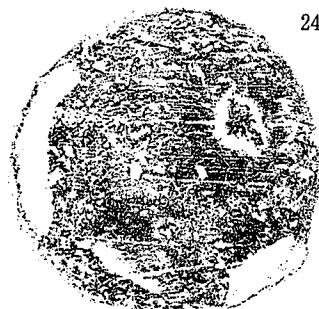
RA37



23

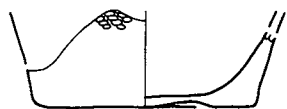


24

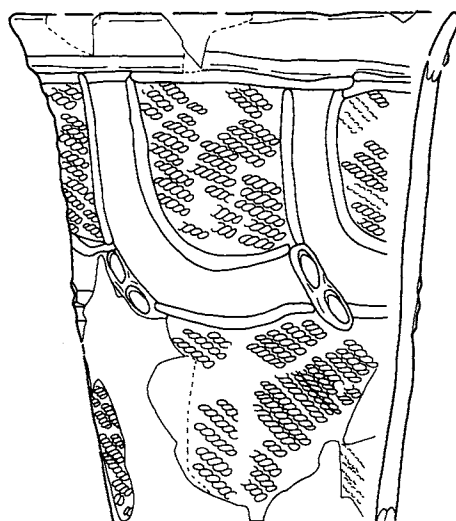


25

RA37 · 39



26

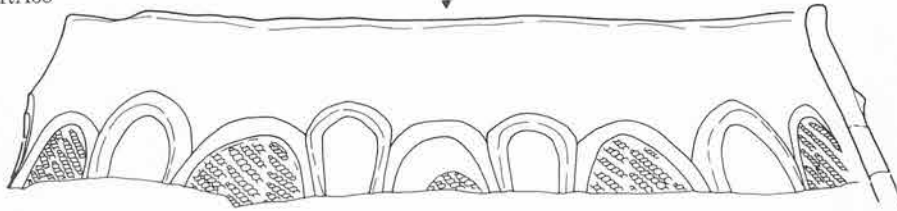


27

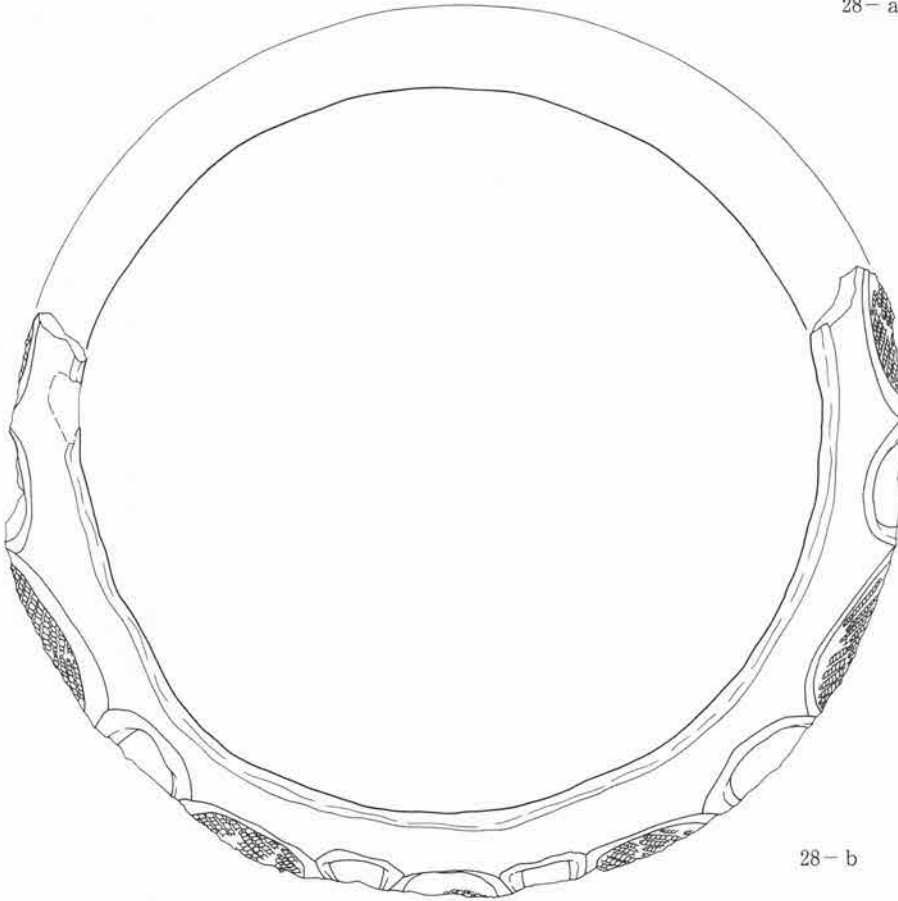
0 1 : 3 10cm

第65图 土器 (5) : RA36 · 37 · 39

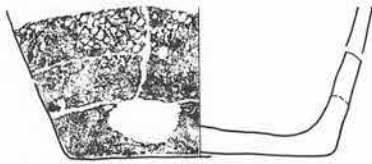
RA38



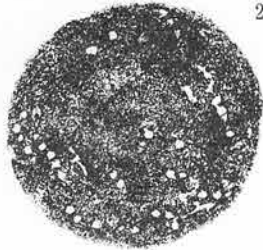
28-a



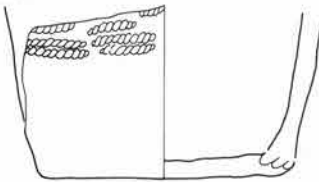
28-b



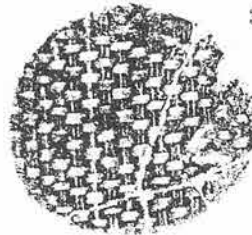
29



RA39



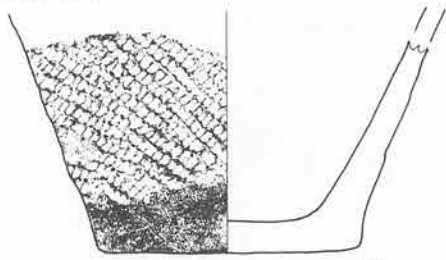
30



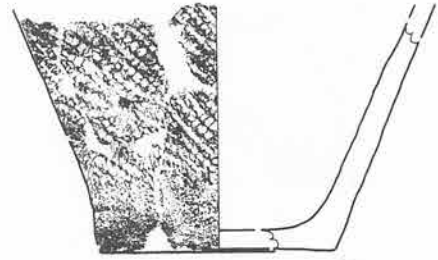
0 1 : 3 10cm

第66図 土器(6) : RA38・39

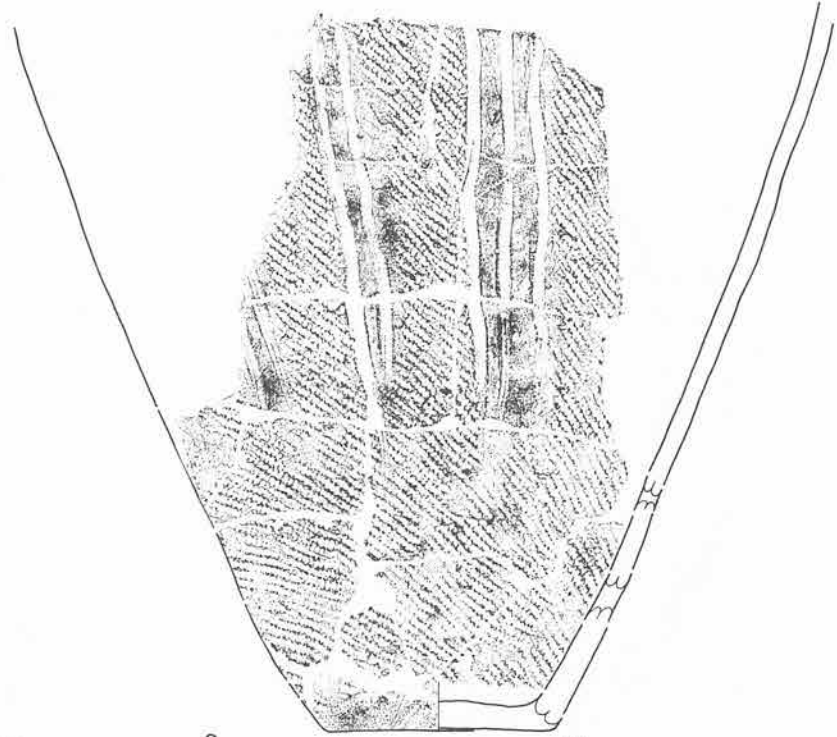
RA40 (1)



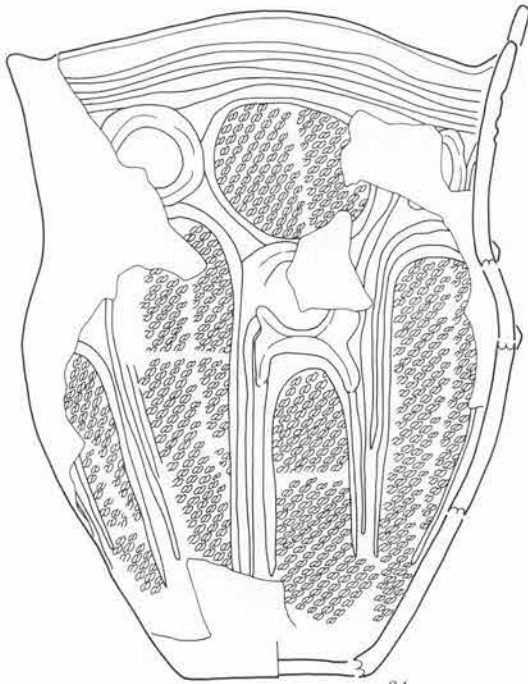
31



32



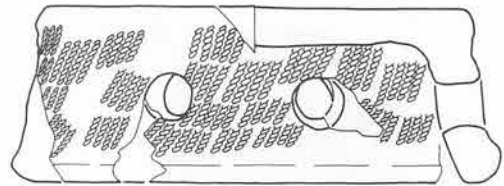
33



34



35

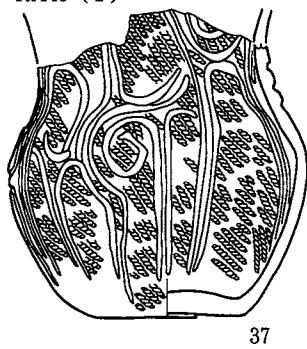


36

0 1 : 3 10cm

第67図 土器 (7) : RA40 (1)

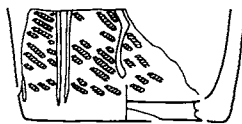
RA40 (2)



37



38

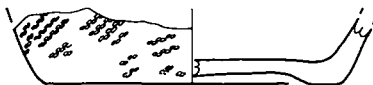
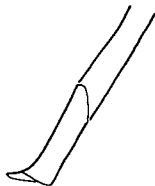


39

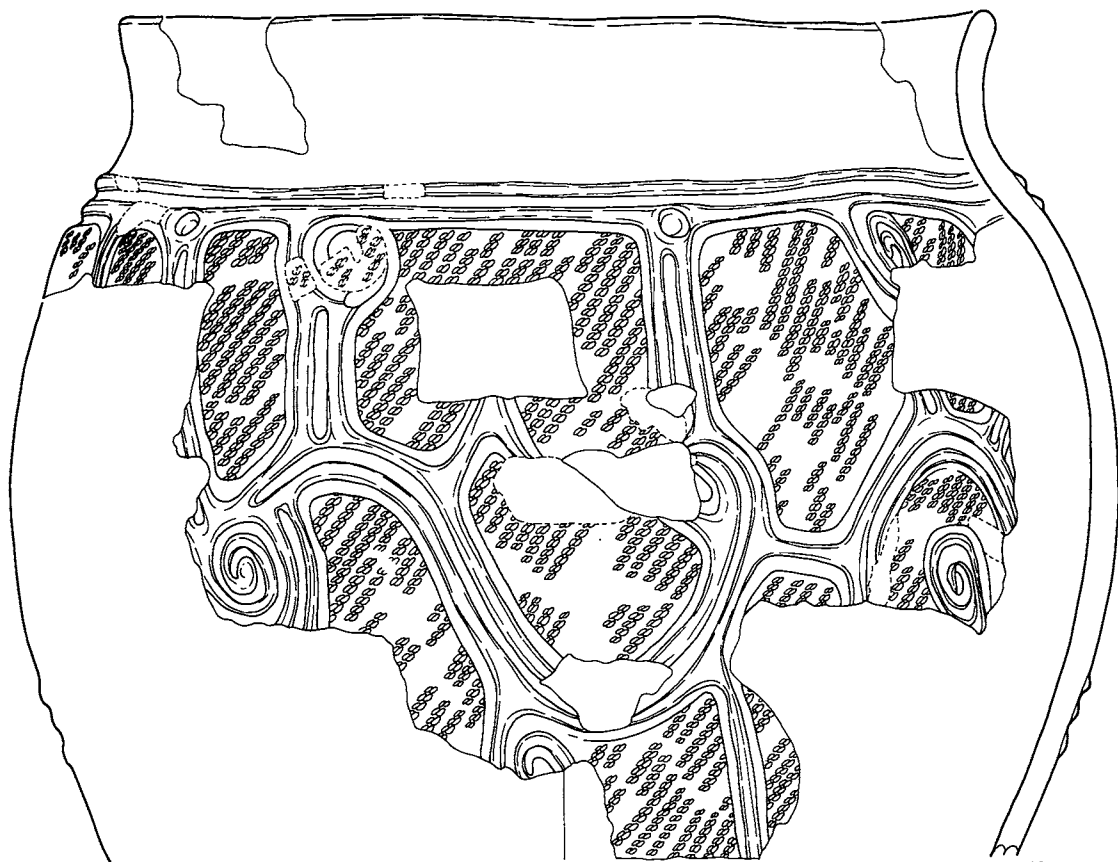
RA43



40



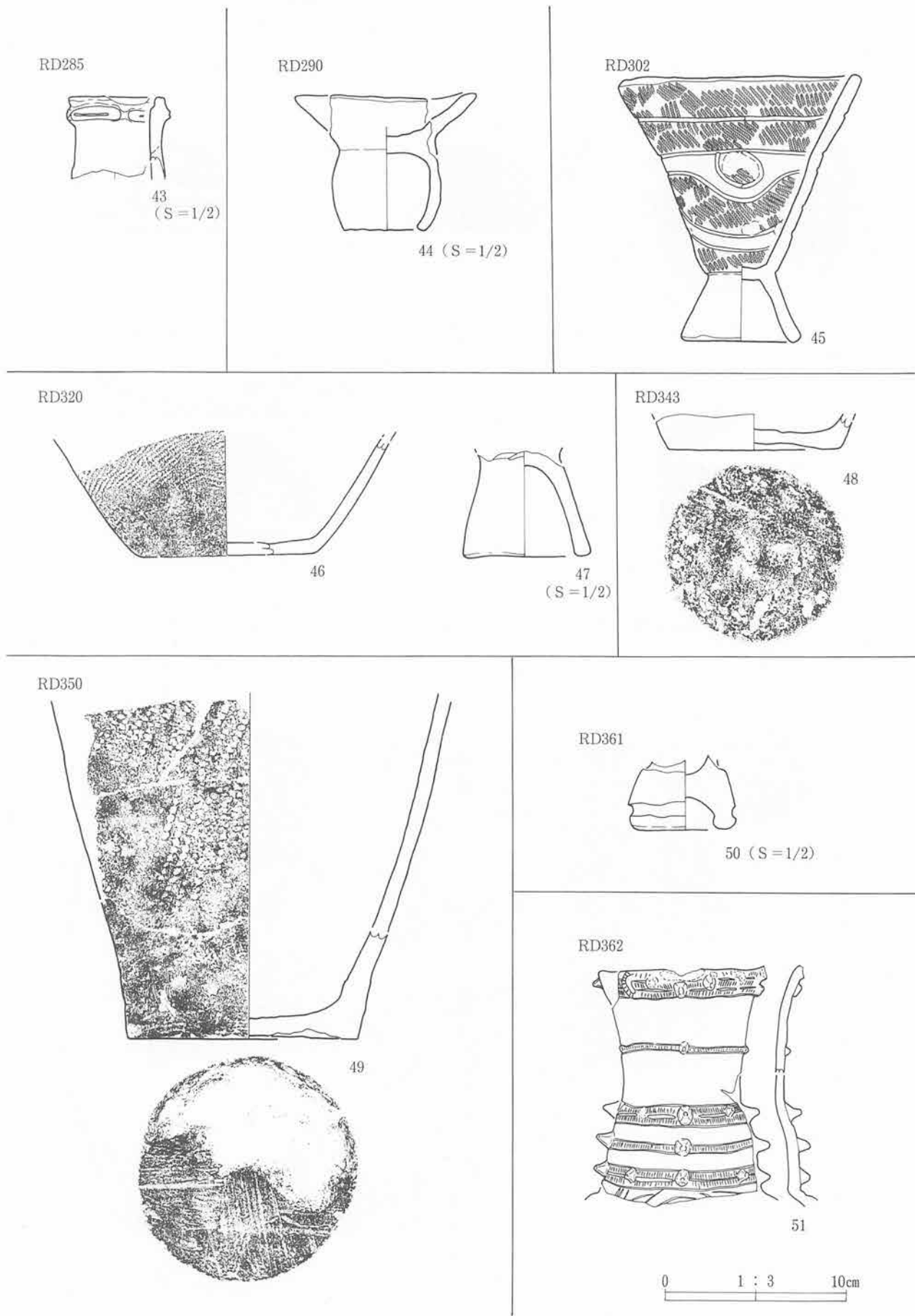
41



42

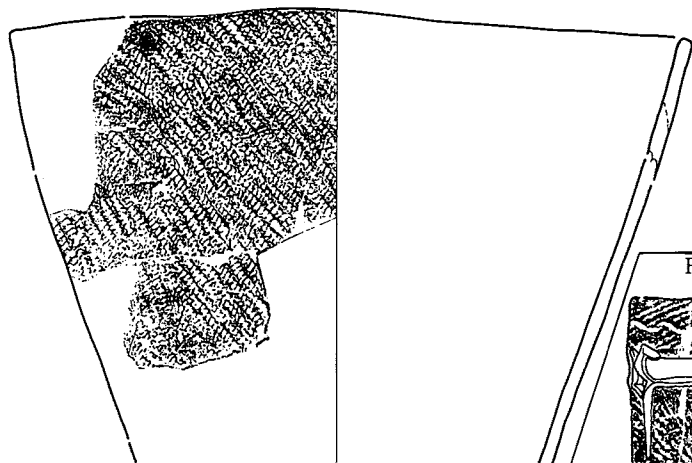
0 1 : 3 10cm

第68図 土器 (8) : RA40 (2) ・ 43



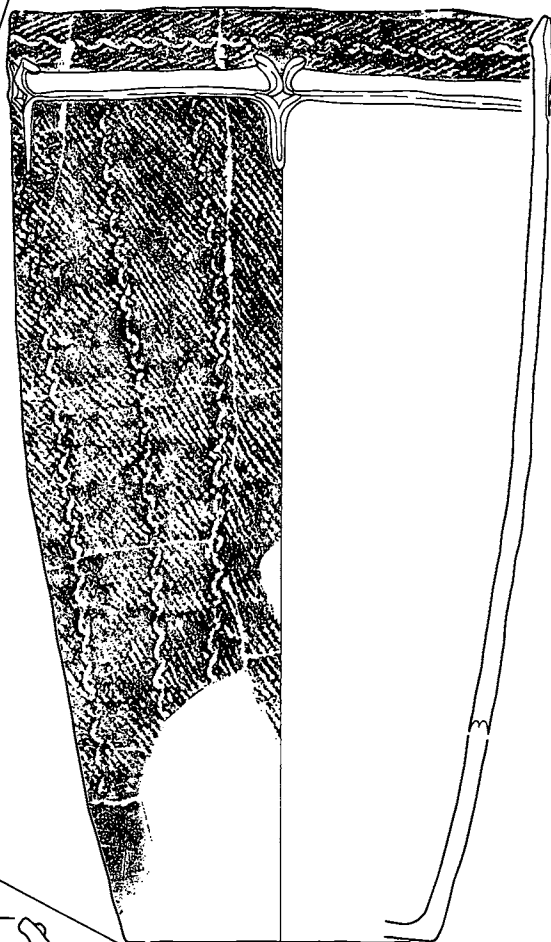
第69図 土器(9) : RD285・290・302・320・343・350・361・362

RD363



53

RD394



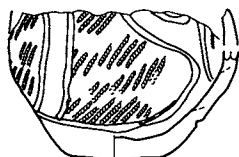
52

RD366



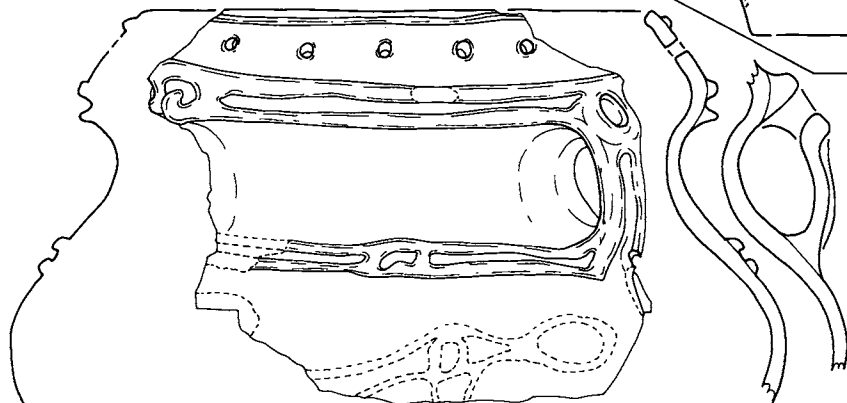
54

RD367



55 (S=1/2)

RD396



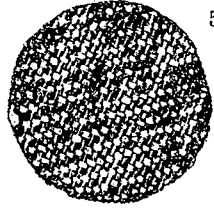
56

57

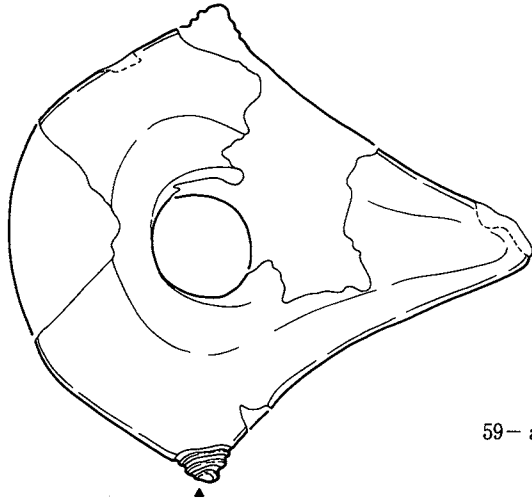
0 1 : 3 10cm

第70図 土器 (10) : RD363・366・367・394・396

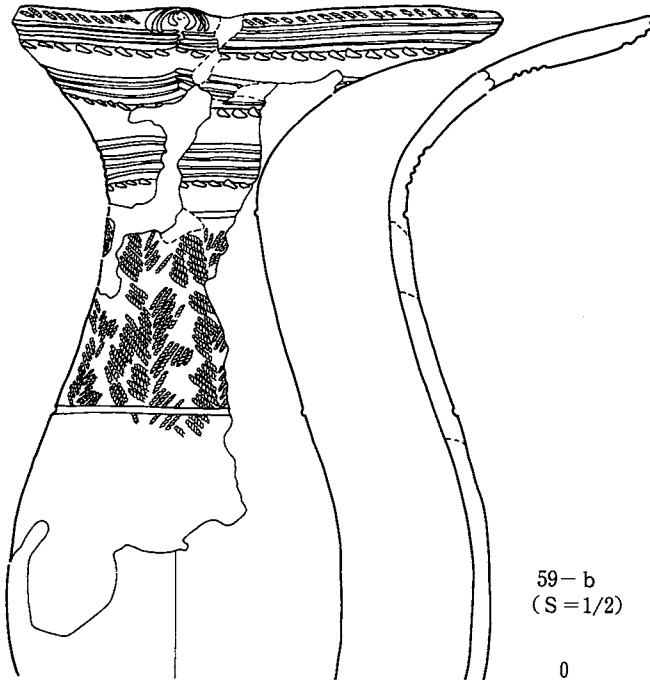
RE02



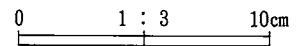
58



59-a

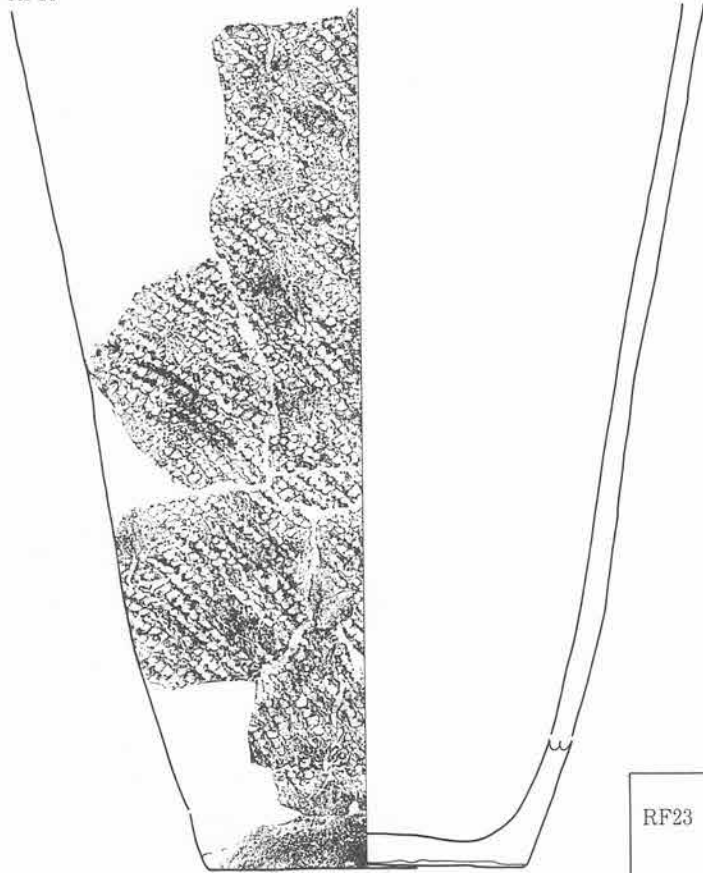


59-b
(S=1/2)

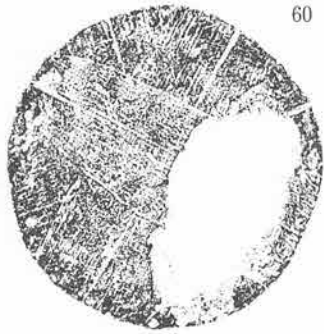


第71図 土器(11) : RE02

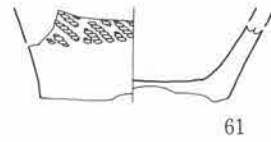
RF16



60



RF17



61

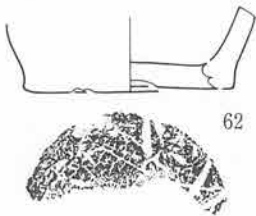
RF23



63



RF21

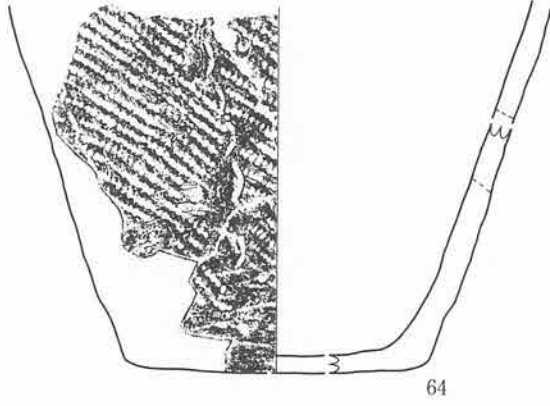


62

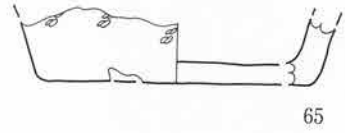
0 1 : 3 10cm

第72図 土器 (12) : RF16・17・21・23

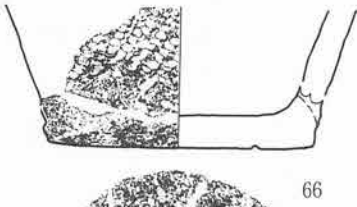
RF24



64



65

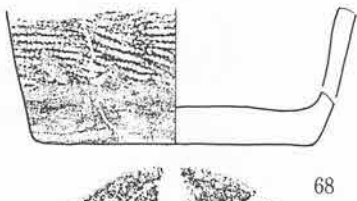


66

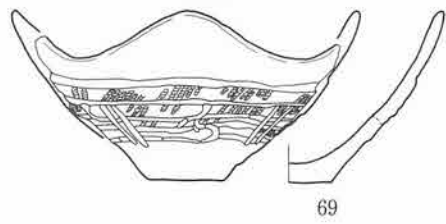


67

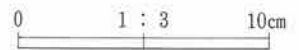
RH07



68

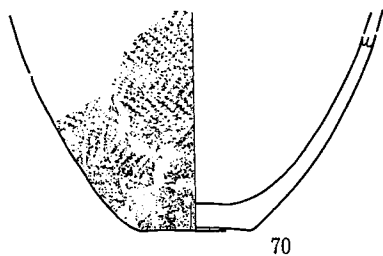


69

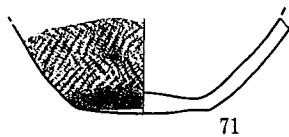


第73図 土器 (13) : RF24、RH07

RH08

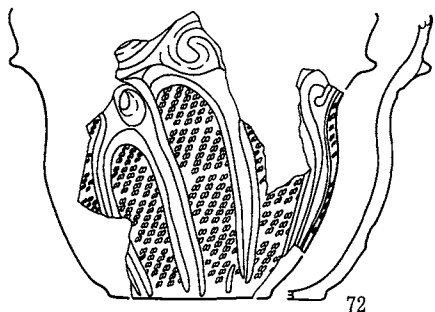


70



71

RH10

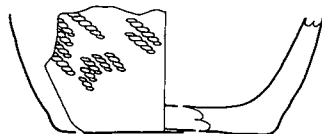


72



73 (S=1/2)

RH11

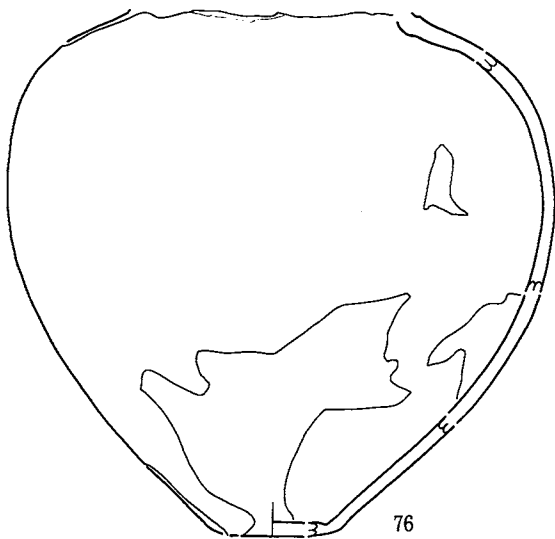


74 (S=1/2)



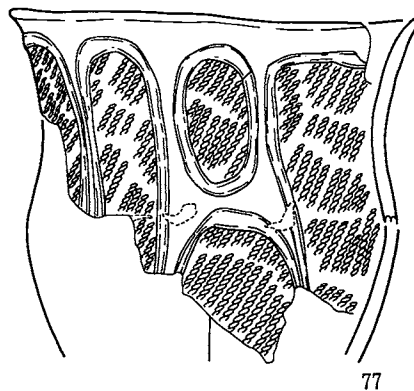
75 (S=1/2)

RZ07



76

RZ08

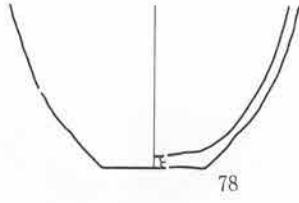


77

0 1 : 3 10cm

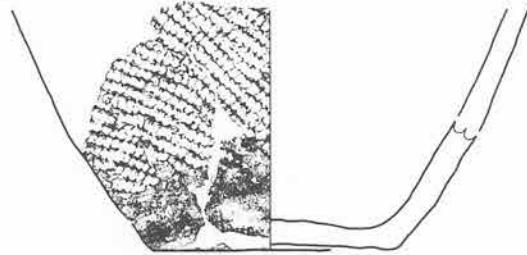
第74図 土器 (14) : RH08・10・11、RZ07・08

RZ09

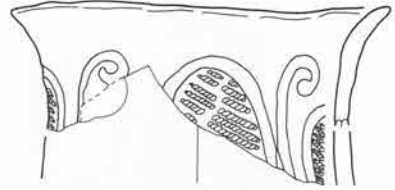


78

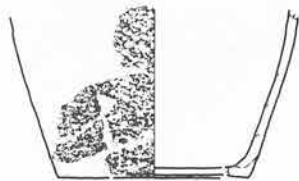
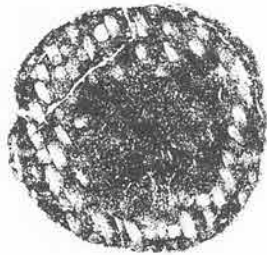
RZ11



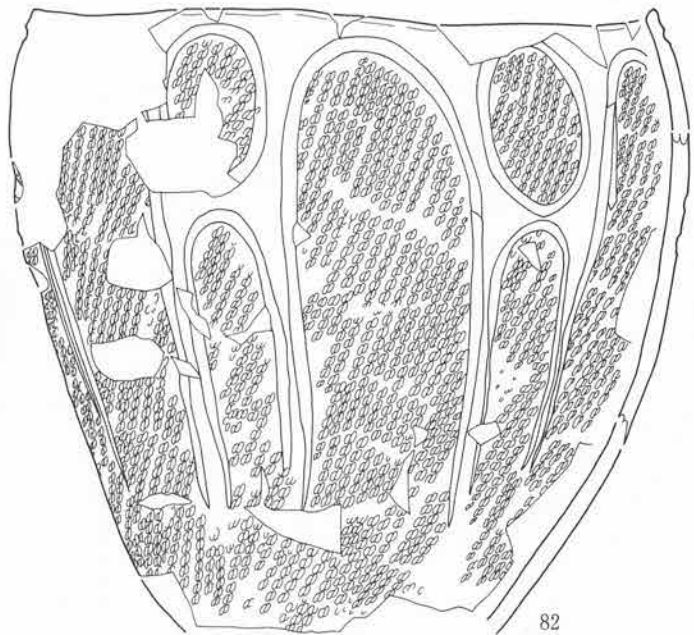
79



80



81

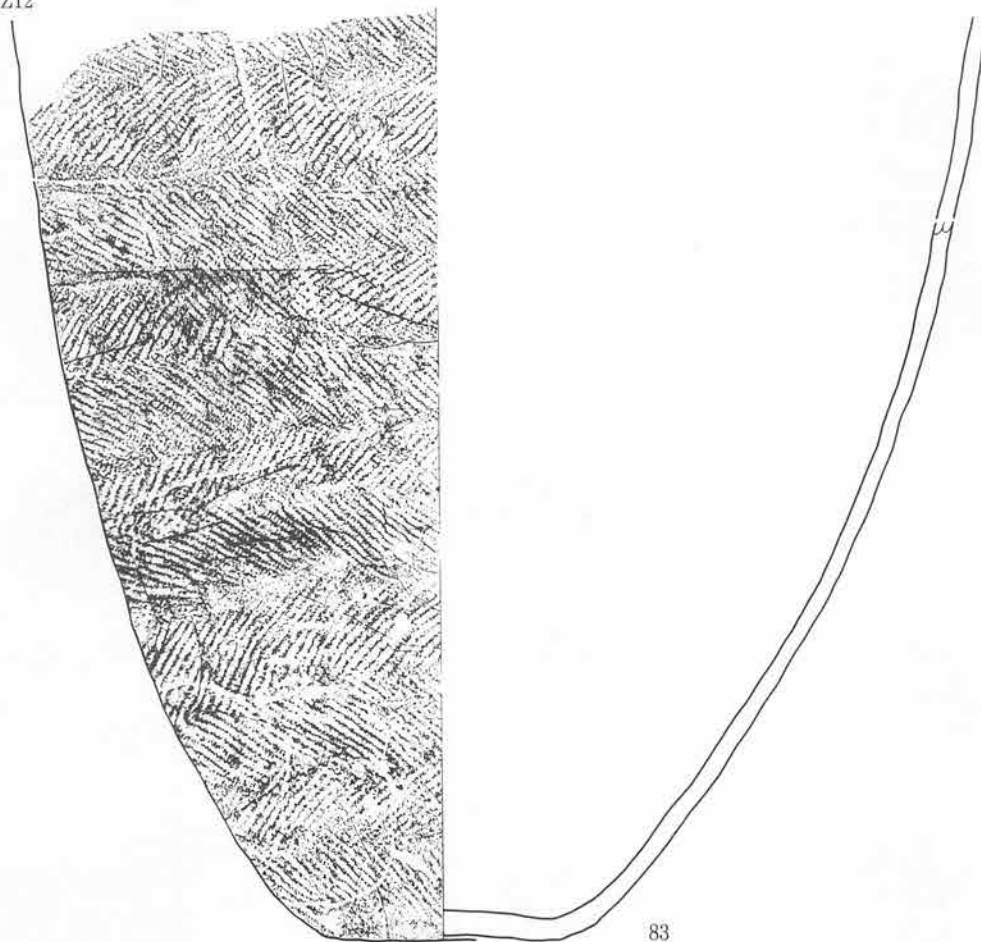


82

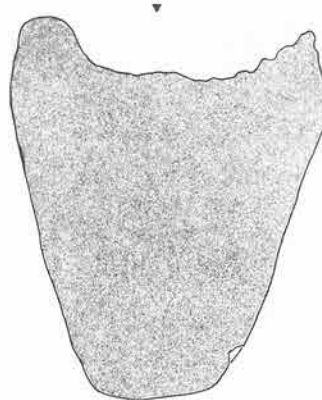
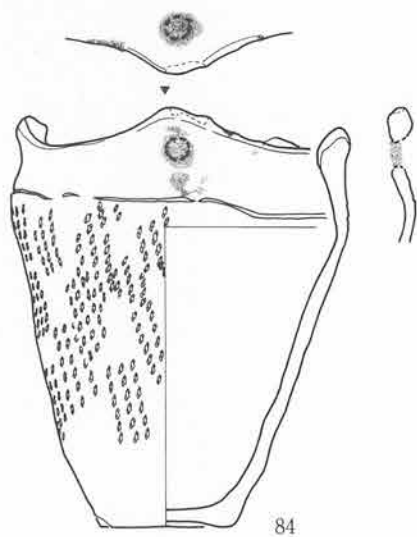
0 1 : 3 10cm

第75図 土器 (15) : RZ09・11

RZ12



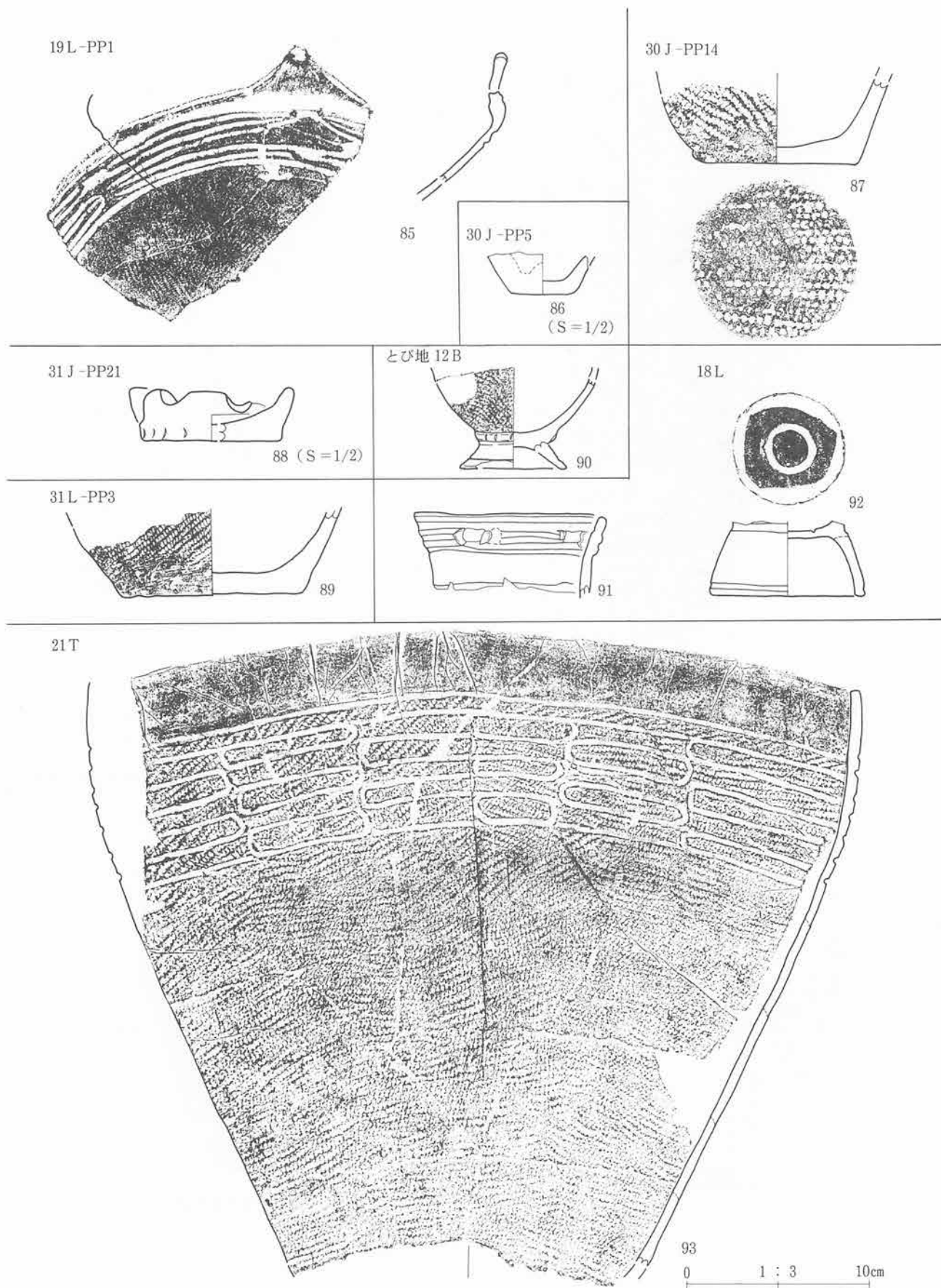
RZ13



84の土器のなかに入っていたアスファルト

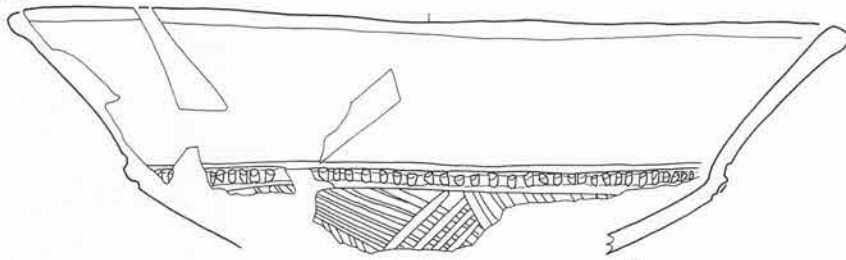
0 1 : 3 10cm

第76図 土器 (16) : RZ12・13



第77図 土器 (17) : 19LPP1、30JPP5・PP14、31JPP21、31LPP3、12B、18L、21T

22T



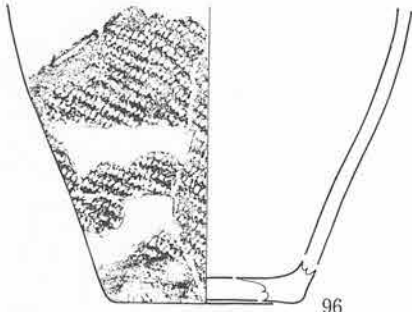
94

22V

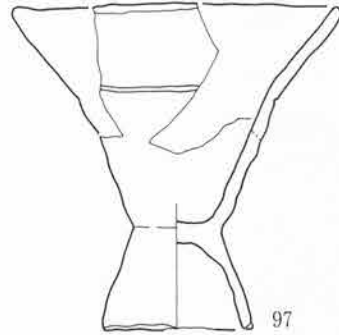


95

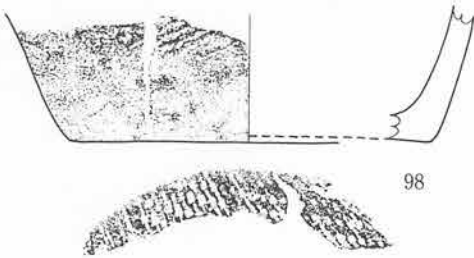
24L



96

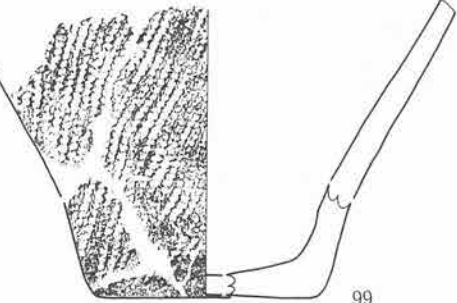


97



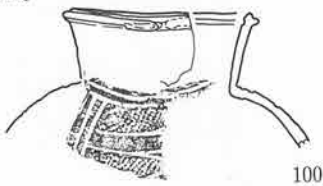
98

24M



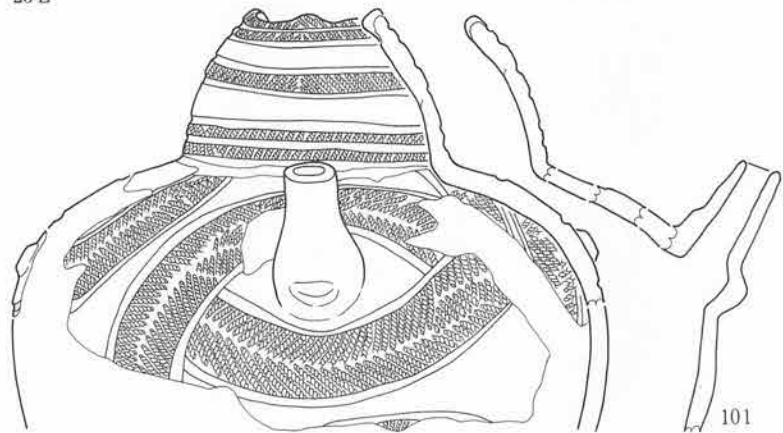
99

24Q



100

25L



101

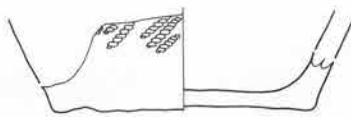
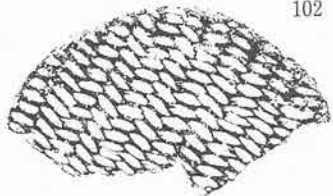
0 1 : 3 10cm

第78图 土器 (18) : 22T、22V、24L、24M、24Q、25L

25M



102



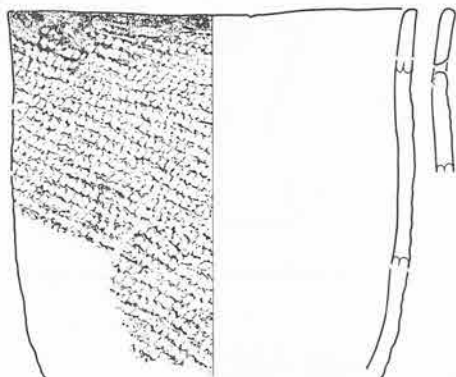
103

25Q

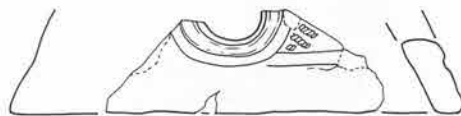


104
(S=1/2)

26 I



105

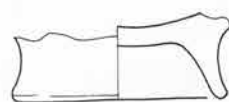


106

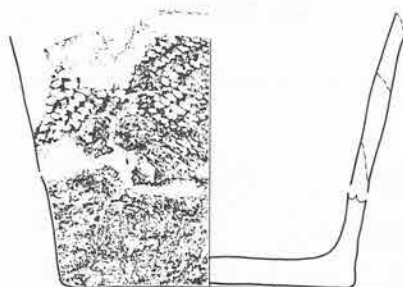
26 L (1)



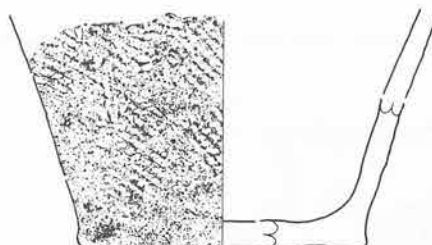
107



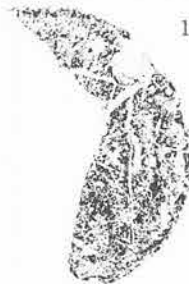
108 (S=1/2)



109



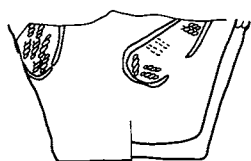
110



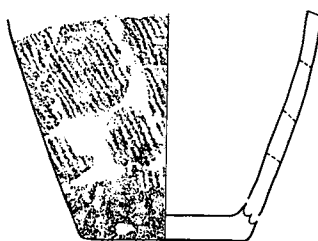
0 1 : 3 10cm

第79図 土器 (19) : 25M、25Q、26 I、26 L (1)

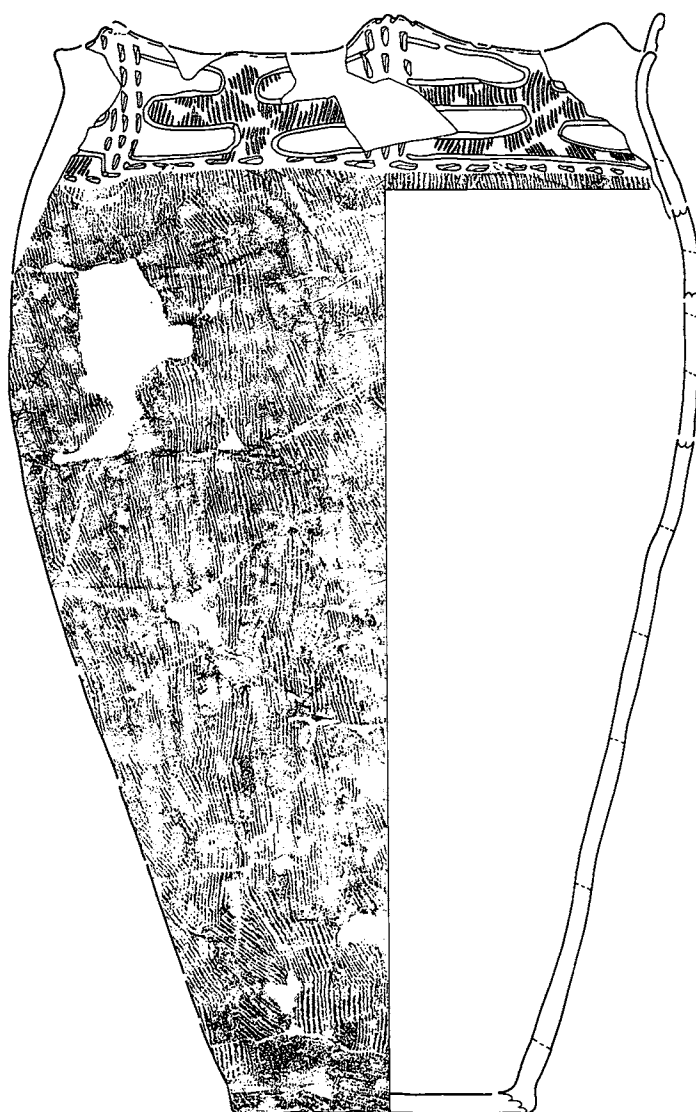
26L (2)



111



112

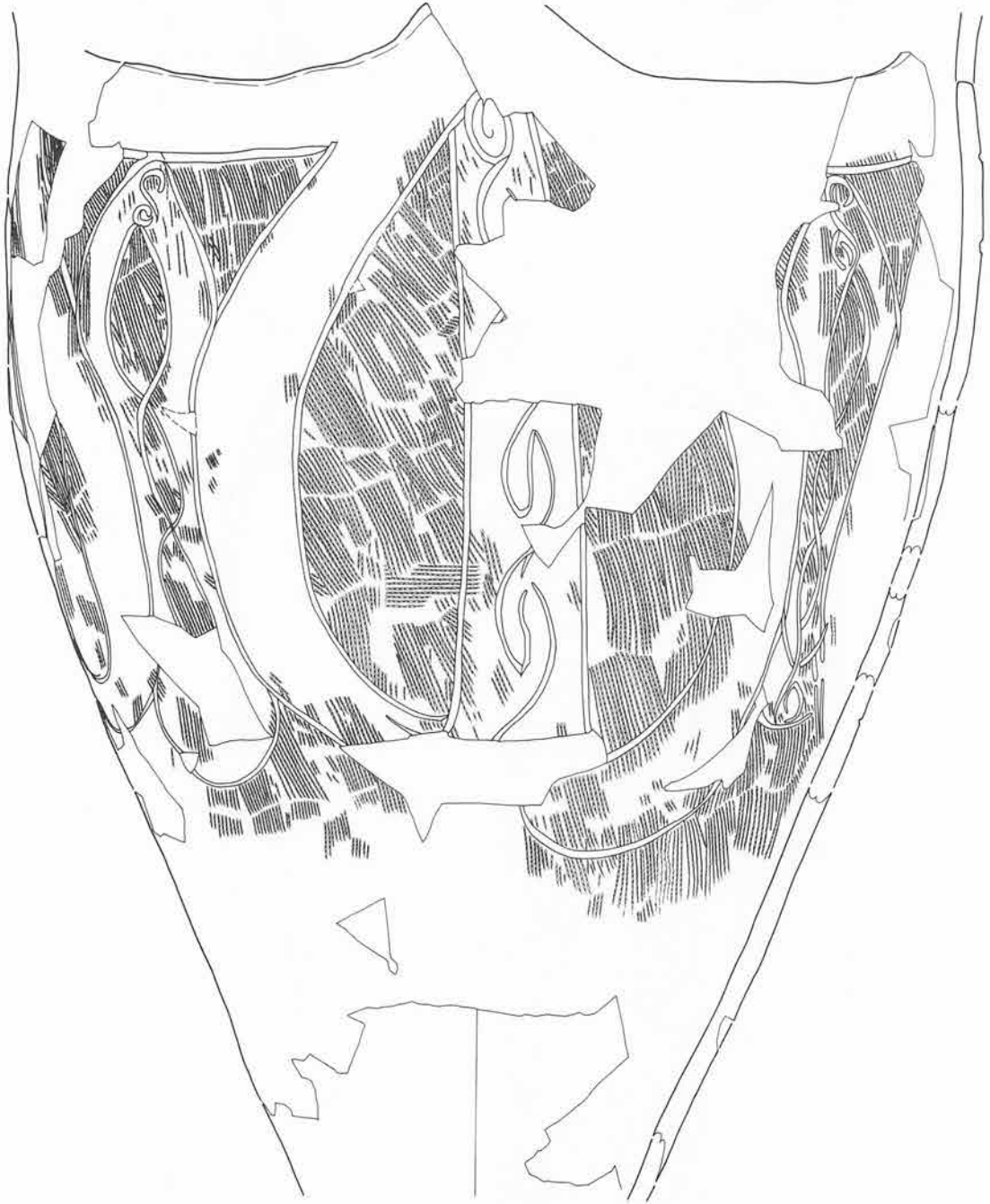


113 (S=1/4)

0 1 : 3 10cm

第80図 土器 (20) : 26L (2)

26L (3)

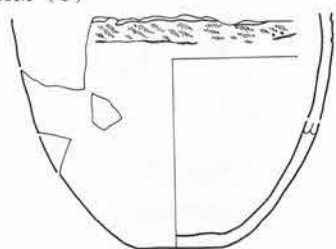


114

0 1 : 3 10cm

第81図 土器 (21) : 26L (3)

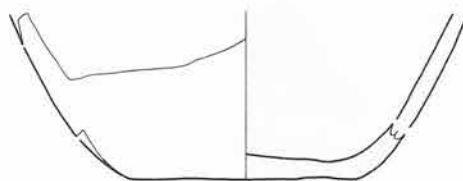
26M (1)



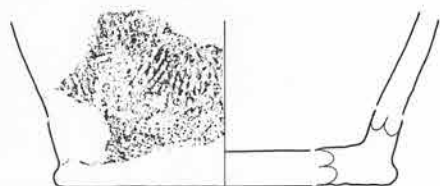
115



116



117



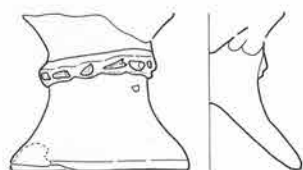
118



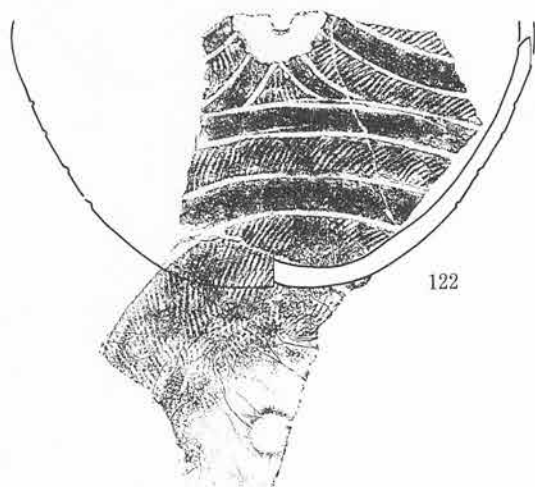
119



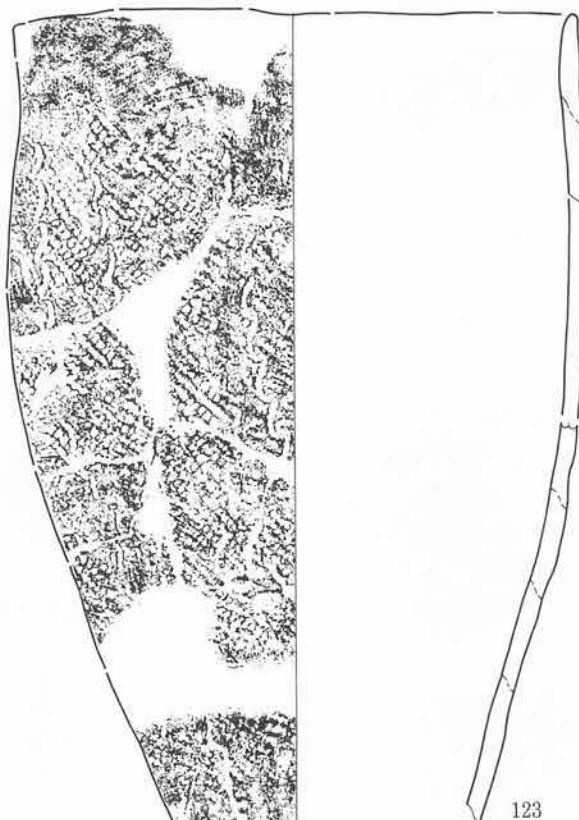
120



121



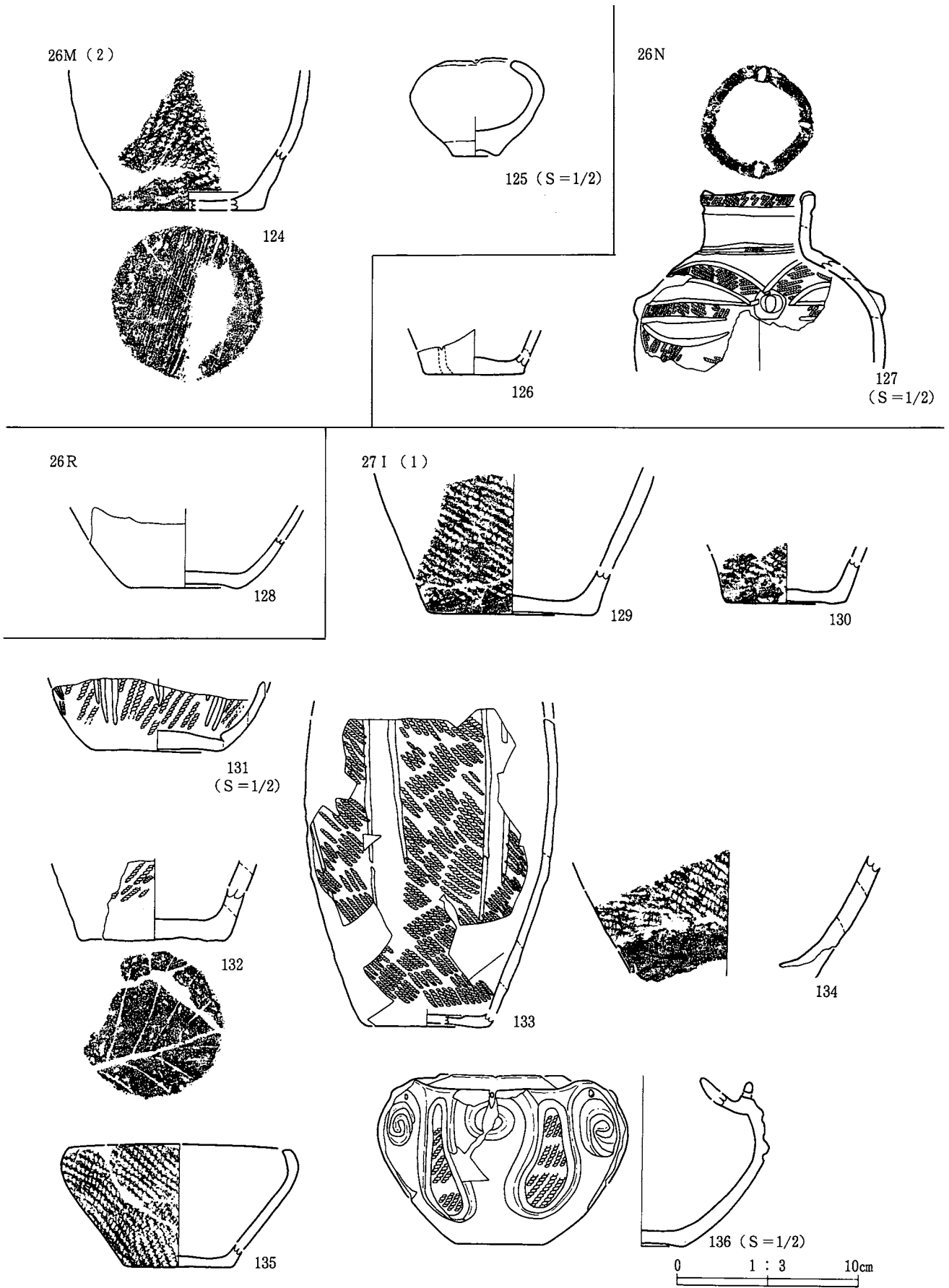
122



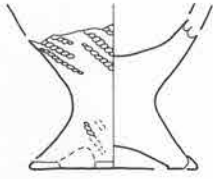
123

0 1 : 3 10cm

第82図 土器 (22) : 26M (1)



第83図 土器 (23) : 26M (2)、26N、26R、27 I (1)



137 (S=1/2)



138

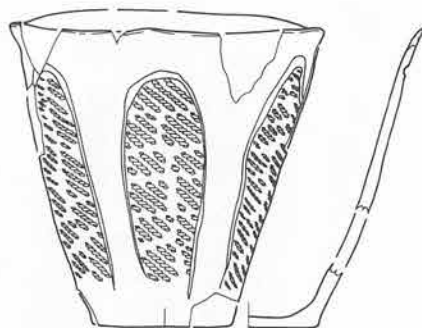
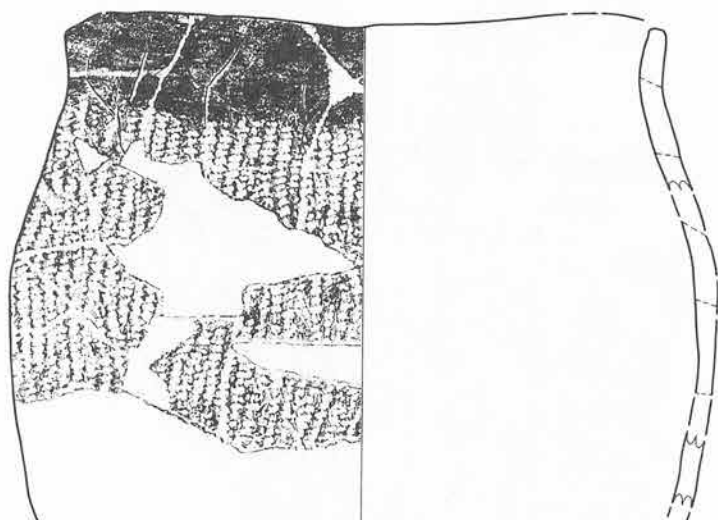
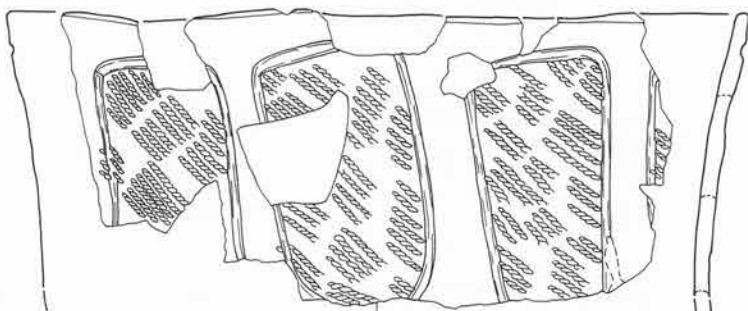
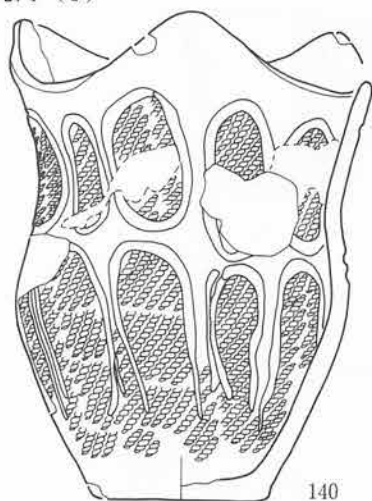


139

0 1 : 3 10cm

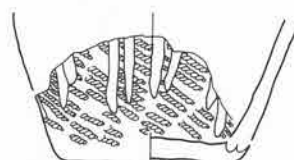
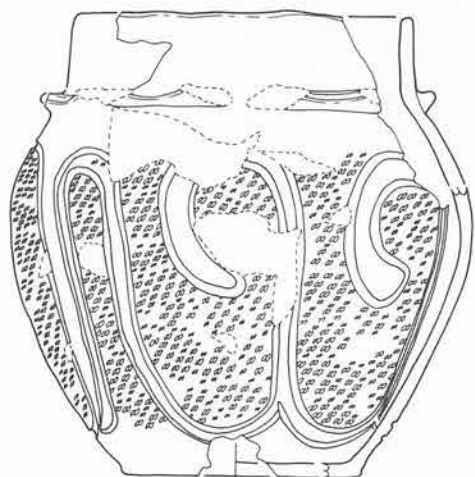
第84図 土器 (24) : 271 (2)

27 I (3)



142

143

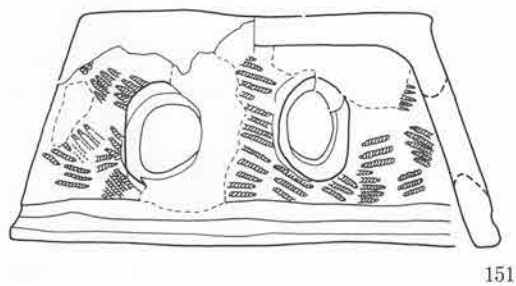
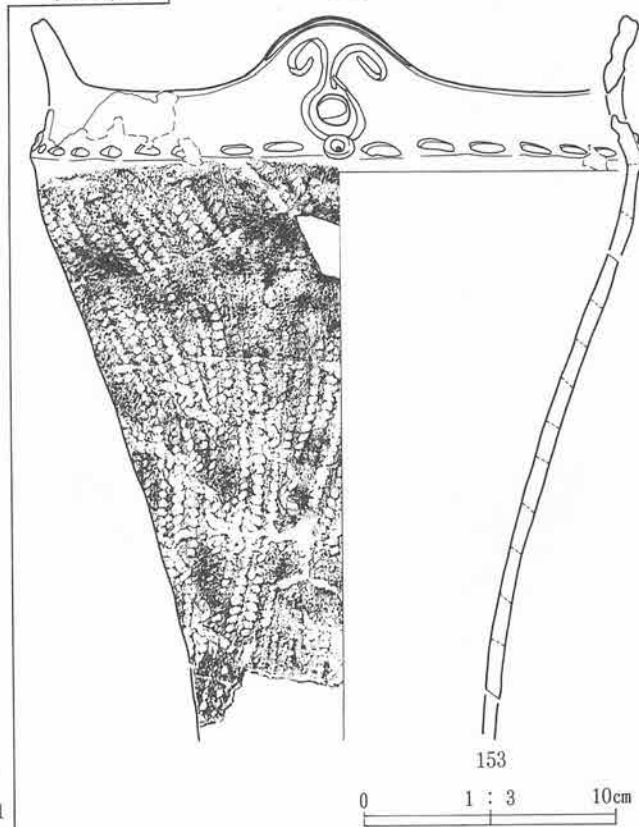
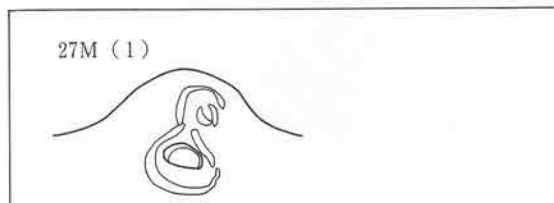
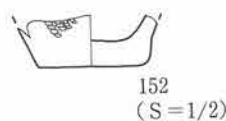
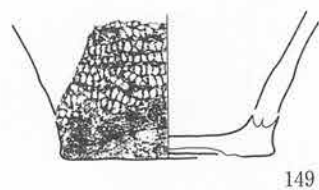
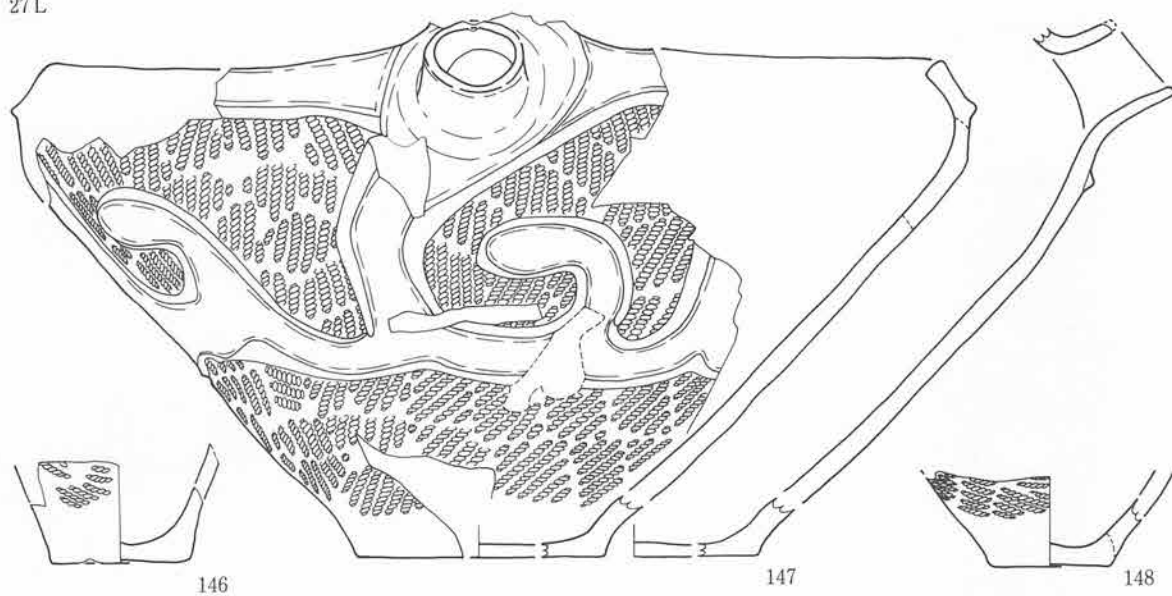


145

0 1 : 3 10cm

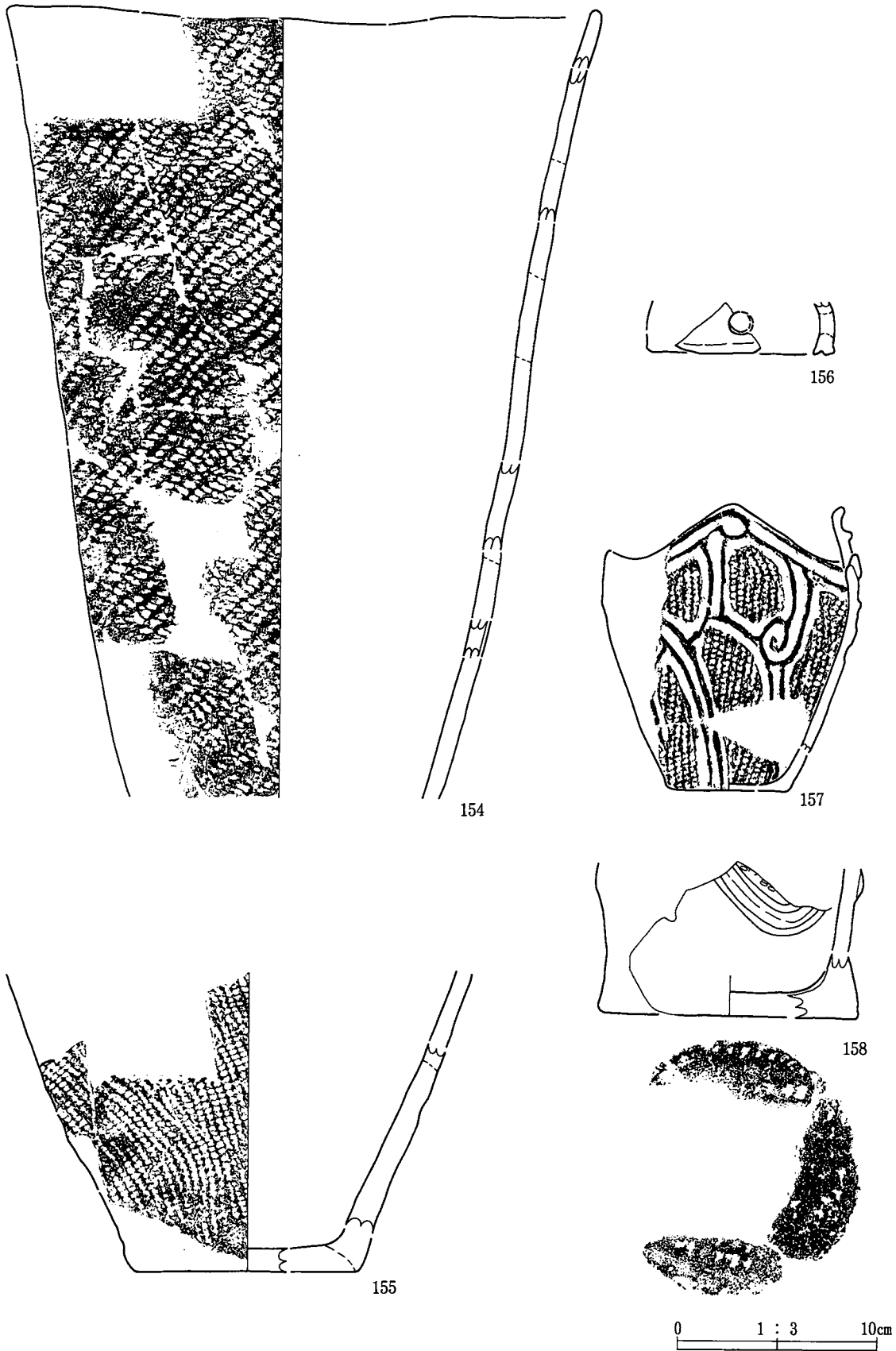
第85图 土器 (25) : 27 I (3)

27L



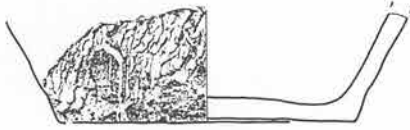
第86図 土器 (26) : 27L、27M (1)

27M (2)

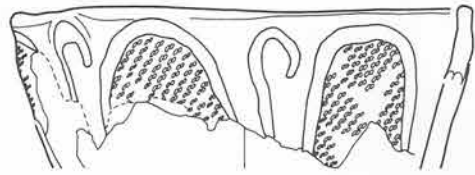


第87图 土器 (27) : 27M (2)

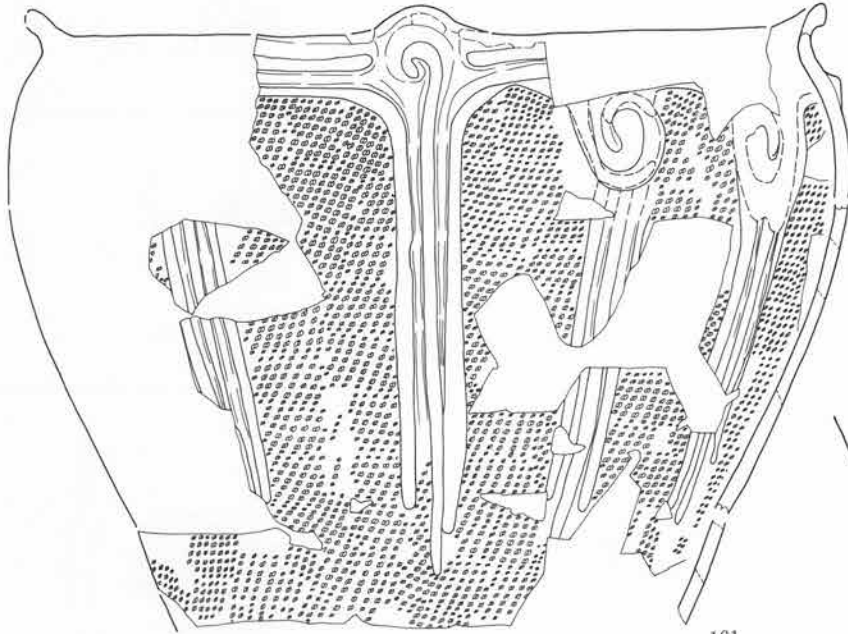
28 I



159



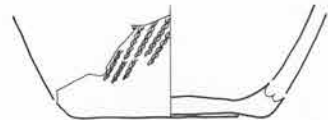
160



161



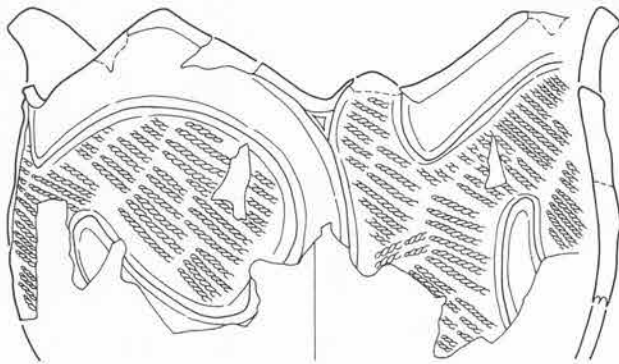
162



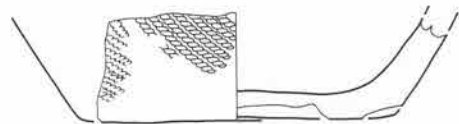
163



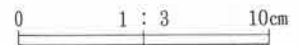
28L (1)



164

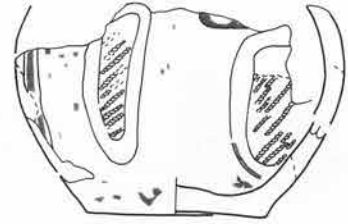
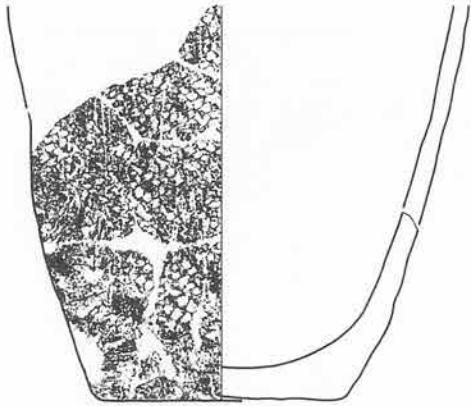


165



第88図 土器 (28) : 28 I、28L (1)

28L (2)



167 (S=1/2)



168 (S=1/2)

166

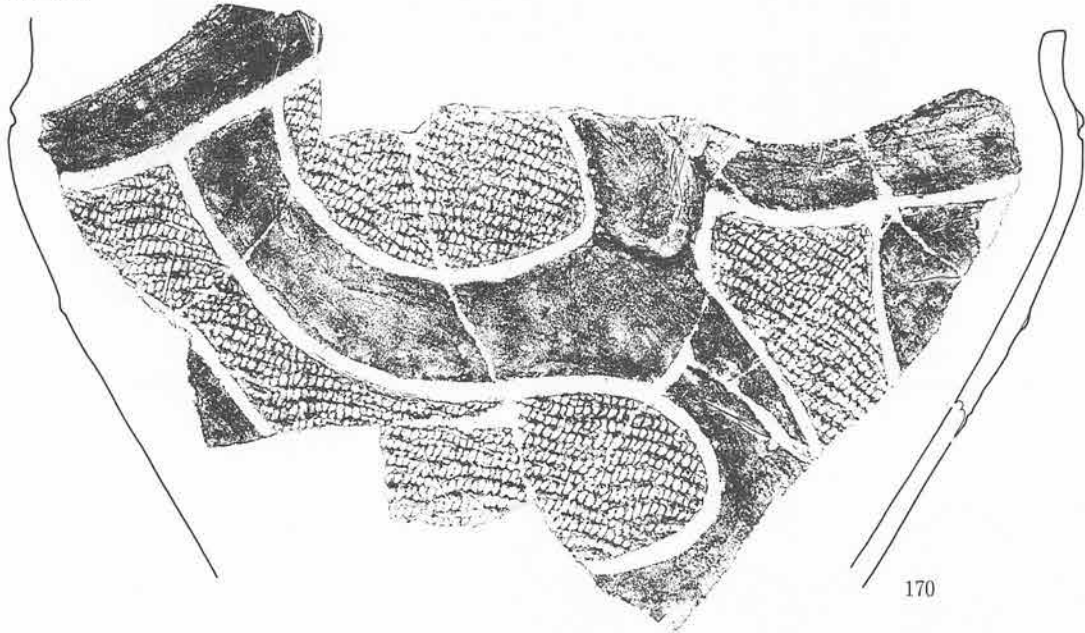


28L~29L

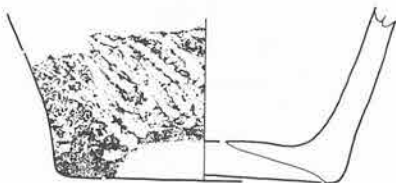


169

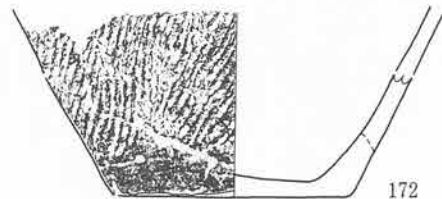
28M (1)



170



171

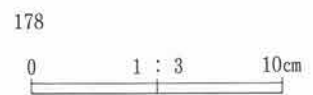
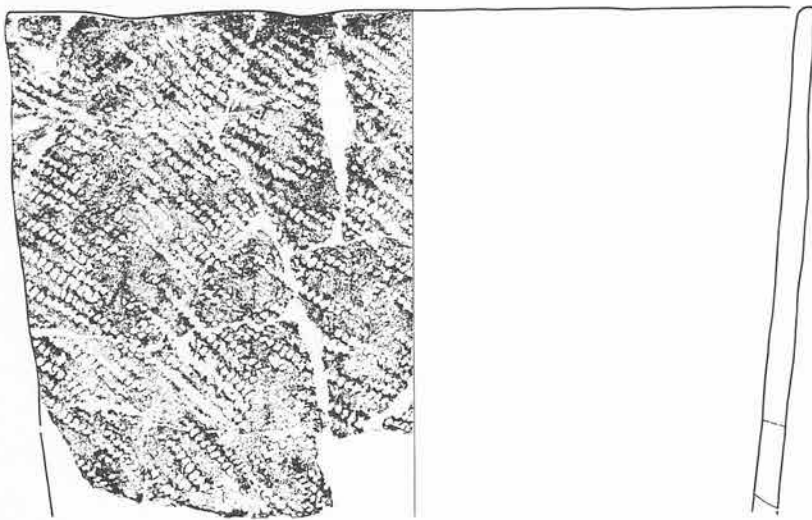
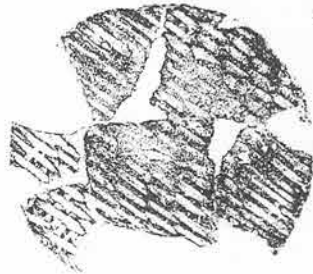
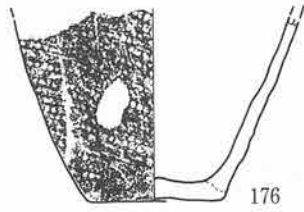
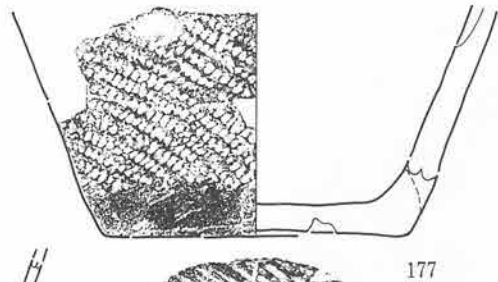
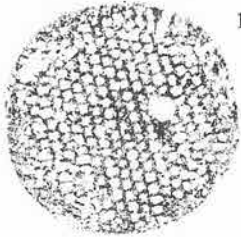
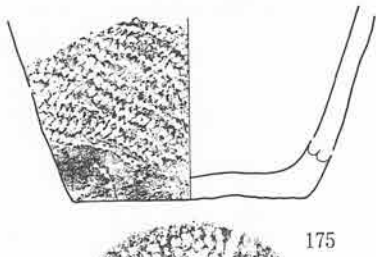
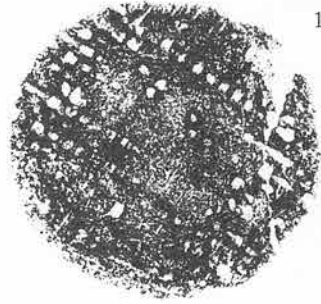
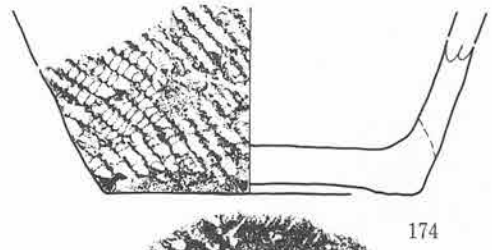
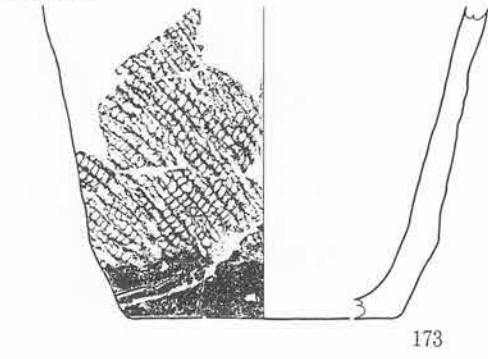


172

0 1 : 3 10cm

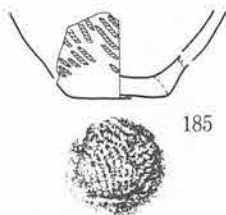
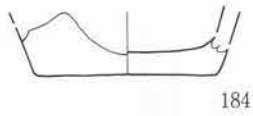
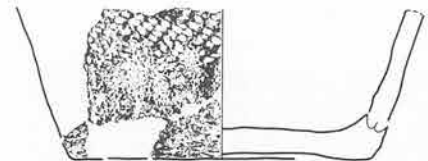
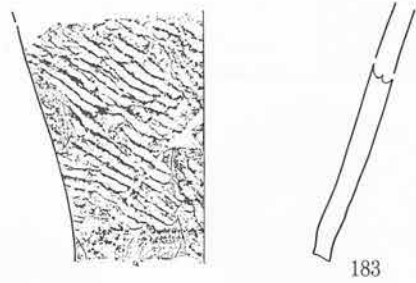
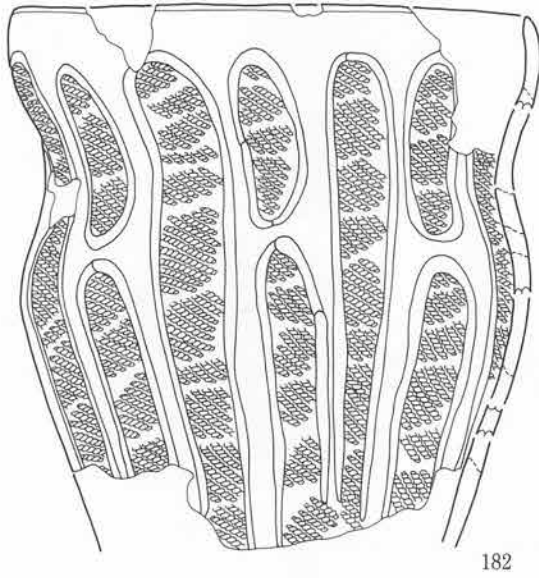
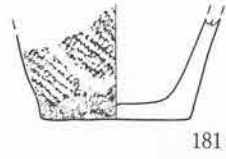
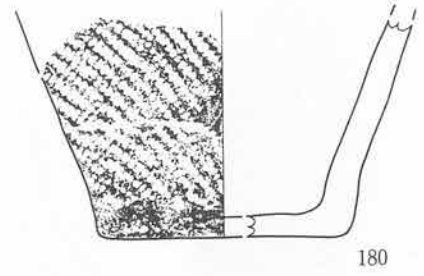
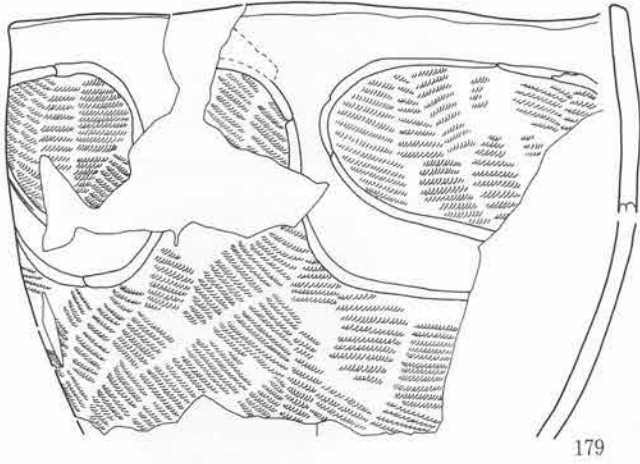
第89図 土器 (29) : 28L (2)、29L、28M (1)

28M (2)



第90図 土器 (30) : 28M (2)

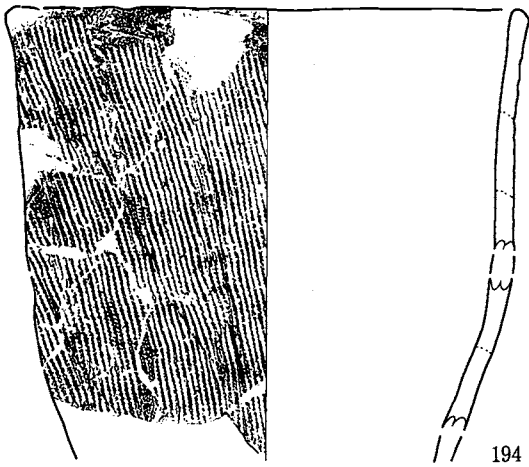
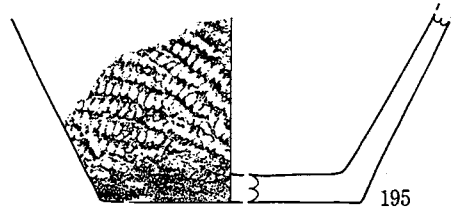
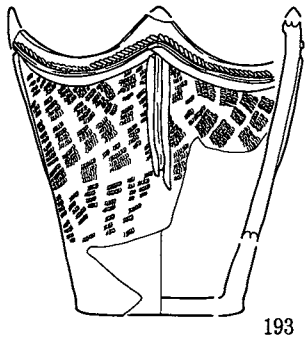
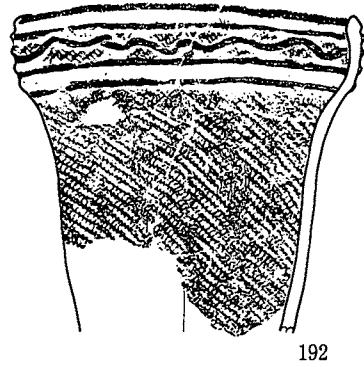
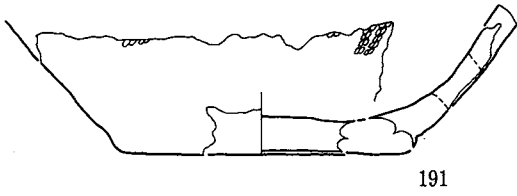
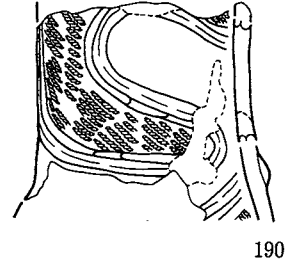
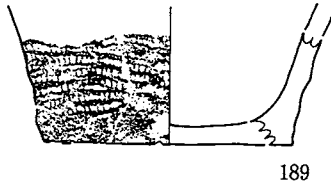
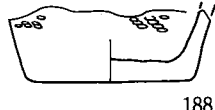
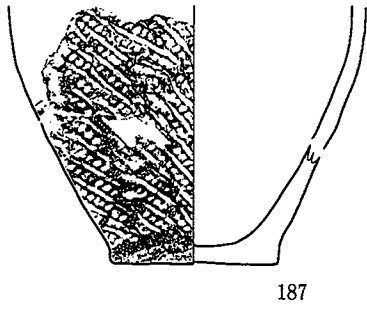
28M (3)



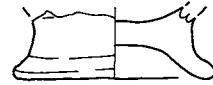
0 1 : 3 10cm

第91図 土器 (31) : 28M (3)

28M (4)

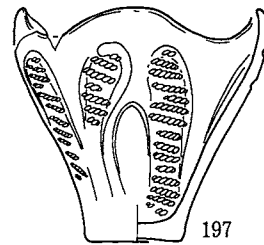


28Q



196 (S=1/2)

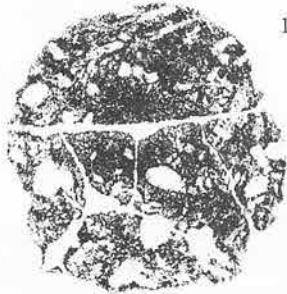
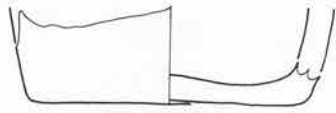
29 I



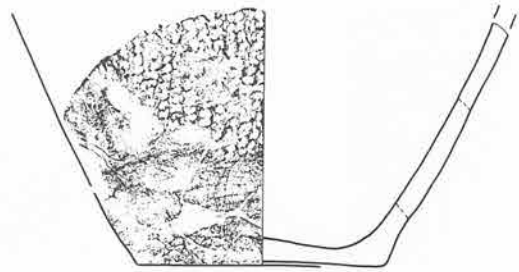
0 1 : 3 10cm

第92圖 土器 (32) : 28M (4)、28Q、29 I

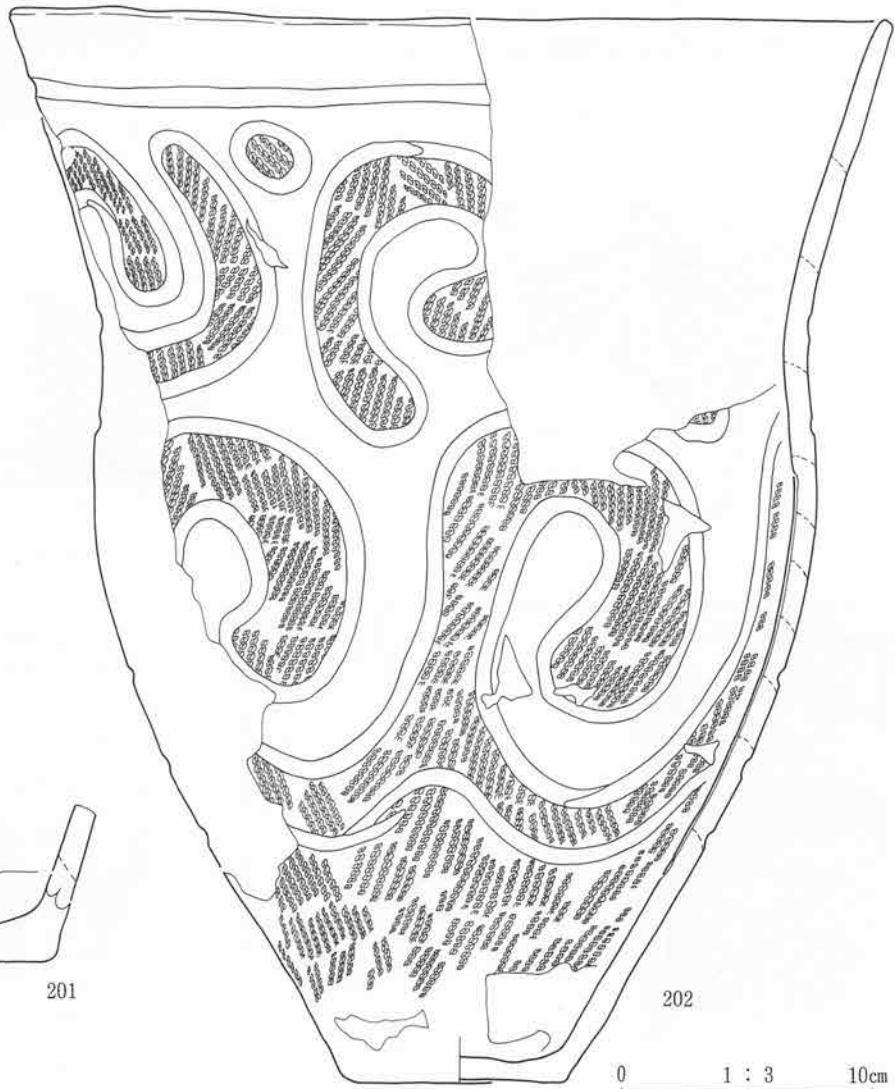
29L (1)



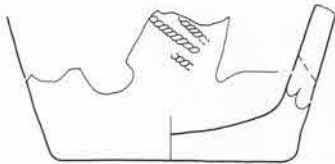
198



199



200



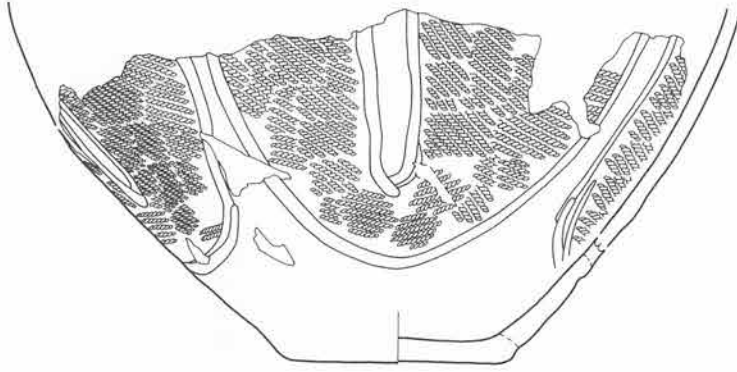
201

202

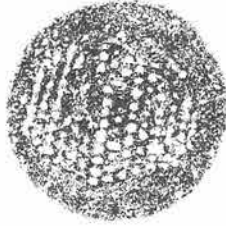
0 1 : 3 10cm

第93図 土器 (33) : 29L (1)

29L (2)

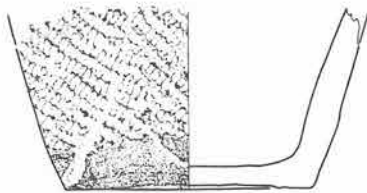


203

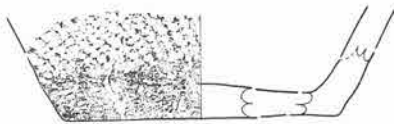


204 (S=1/2)

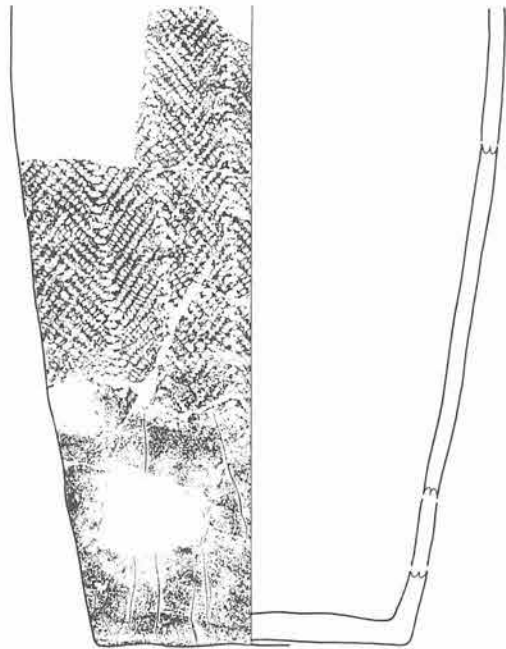
29M (1)



205



206



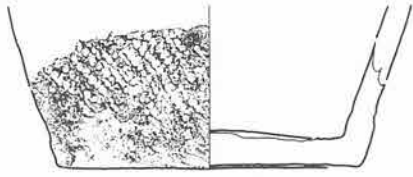
207



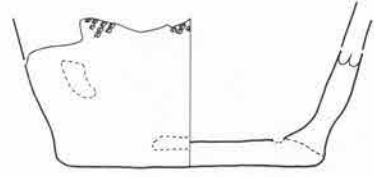
0 1 : 3 10cm

第94図 土器 (34) : 29L (2)、29M (1)

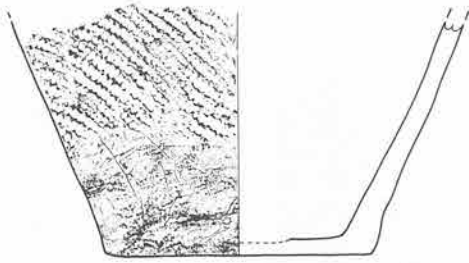
29M (2)



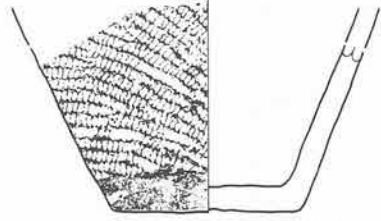
208



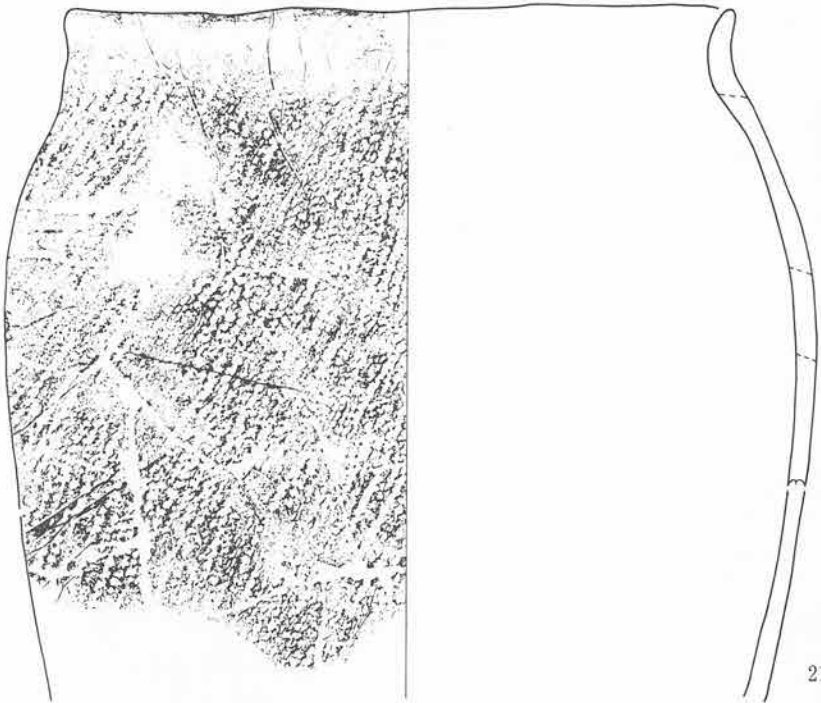
209



210



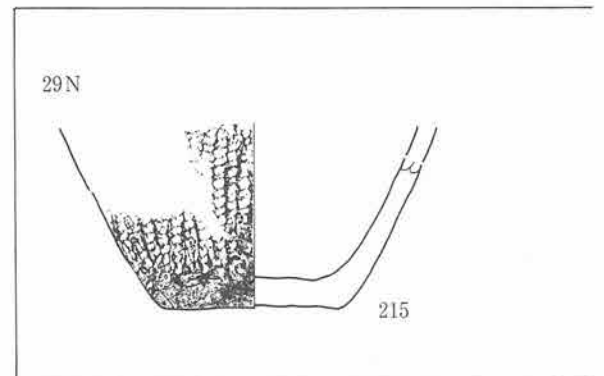
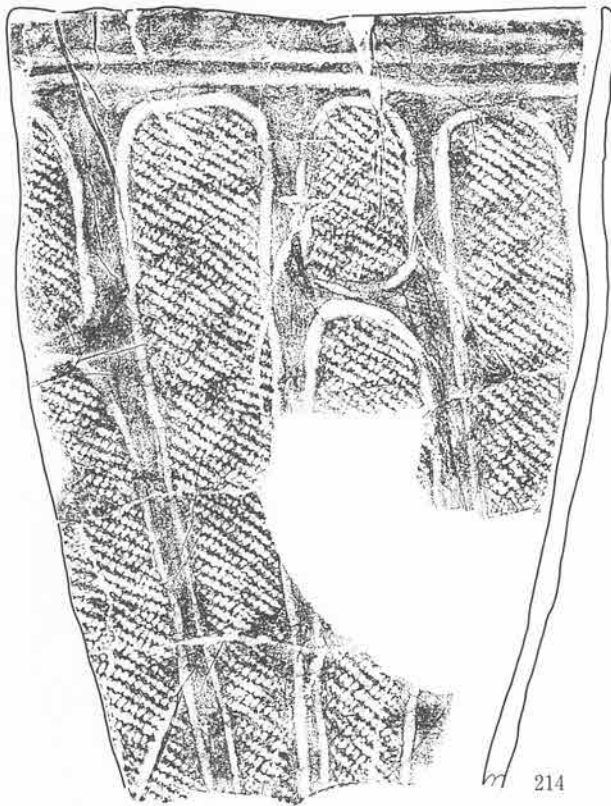
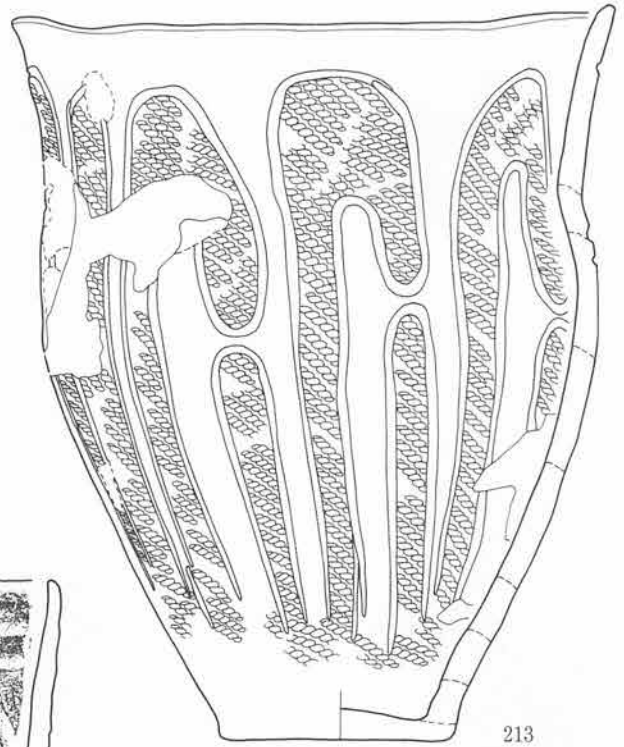
211



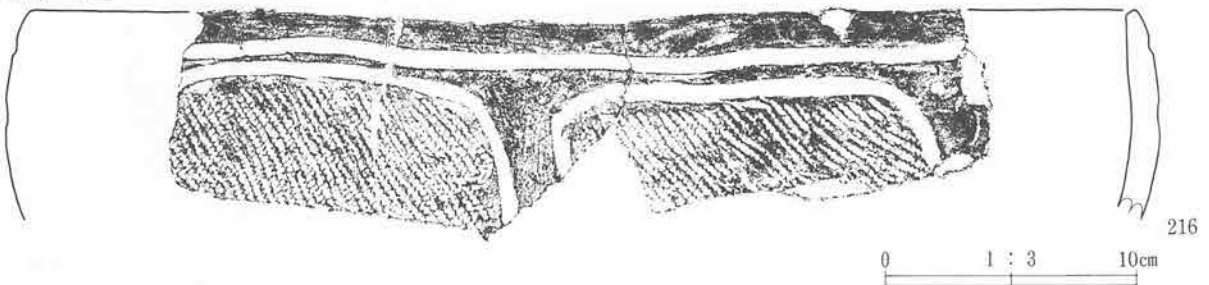
212

0 1 : 3 10cm

第95图 土器 (35) : 29M (2)



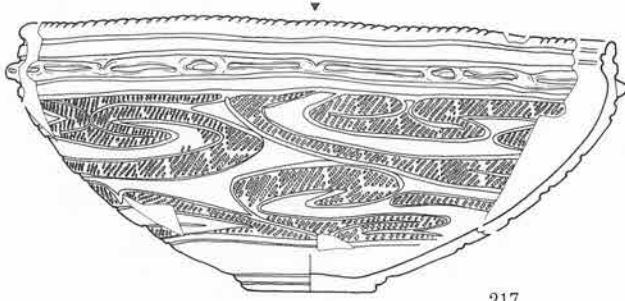
28M • 29M



0 1 : 3 10cm

第96図 土器 (36) : 29M (3)、29N、28M

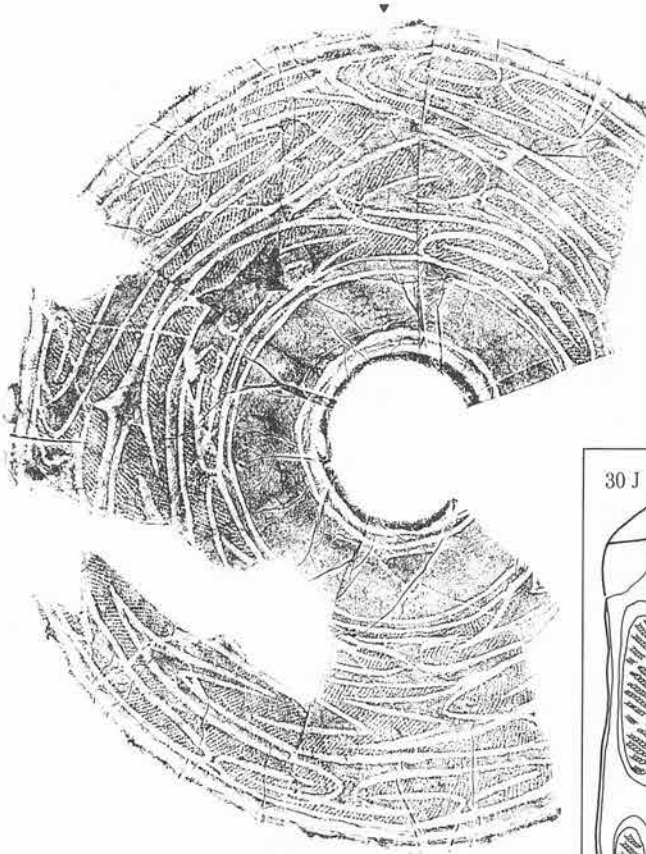
29Q



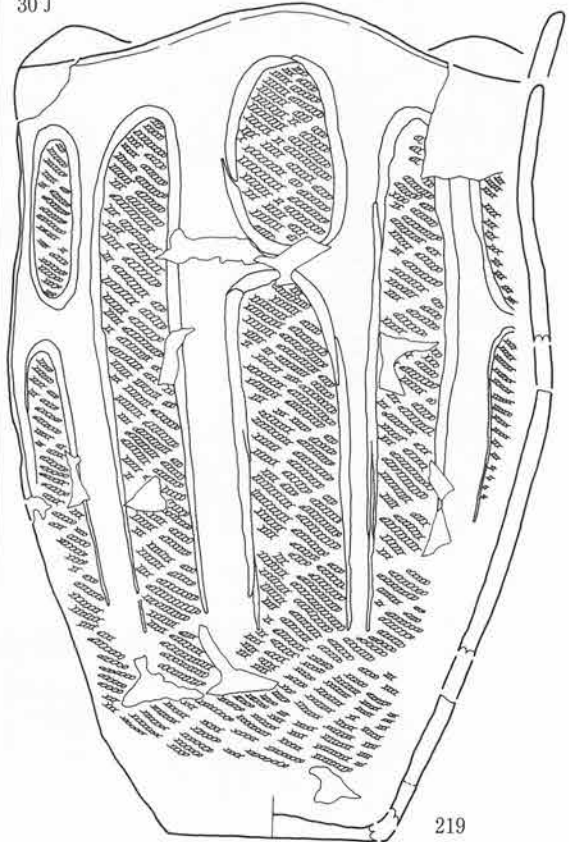
217



218



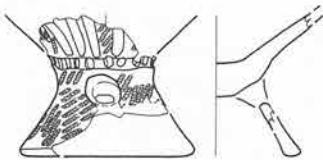
30 J



219

0 1 3 10cm

30K



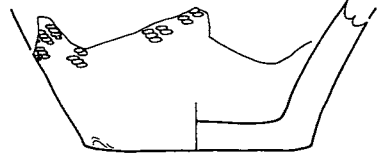
220

第97図 土器 (37) : 29Q、30K、30 J

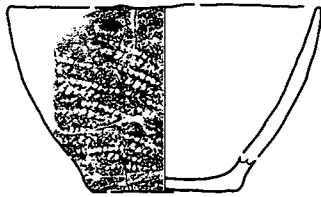
30M



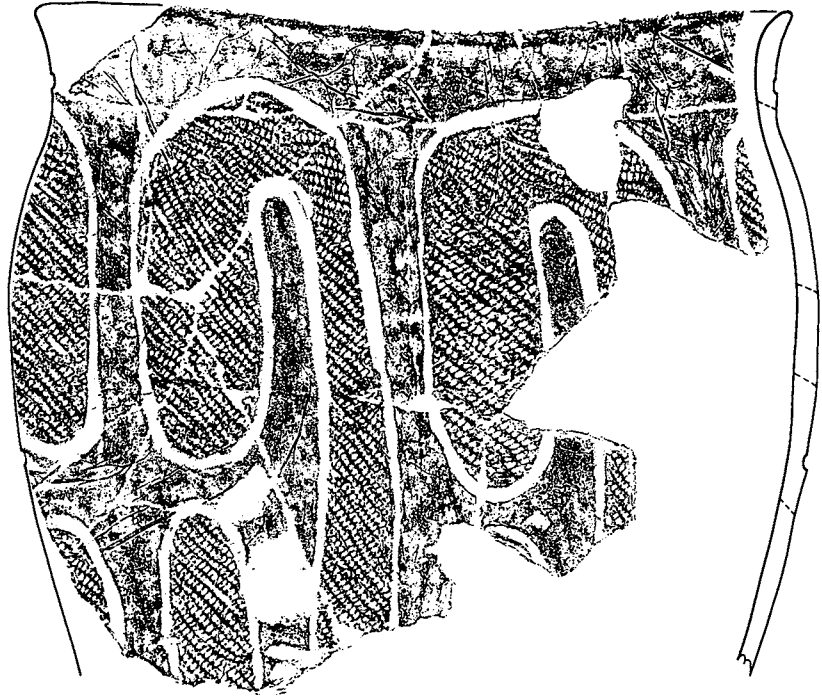
221



222

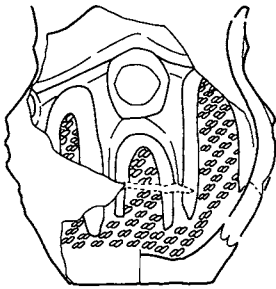


223

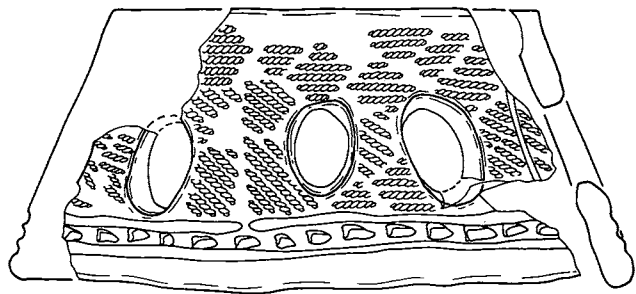


224

30N



225 (S=1/2)



227



226 (S=1/2)

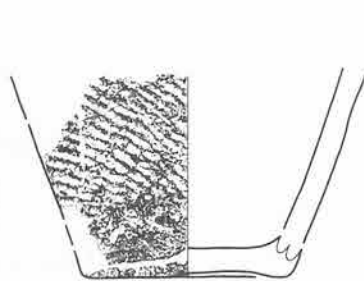
0 1 : 3 10cm

第98図 土器 (38) : 30M、30N

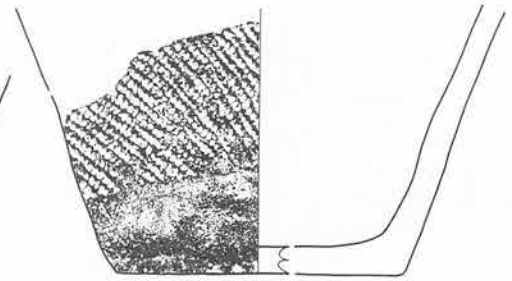
300



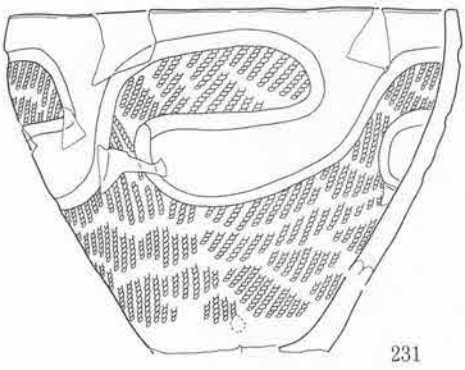
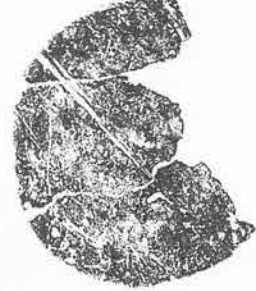
228



229

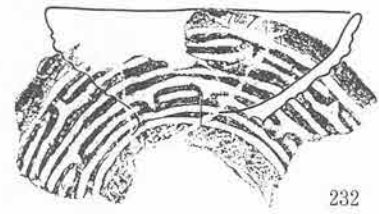


230



231

30Q

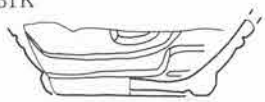


232



233

31K



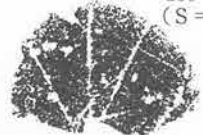
234 (S=1/2)



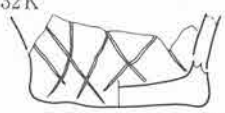
236 (S=1/2)



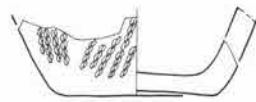
235 (S=1/2)



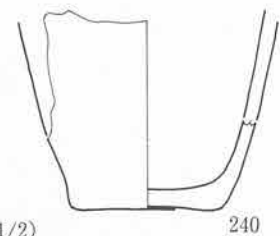
32K



238 (S=1/2)



239 (S=1/2)



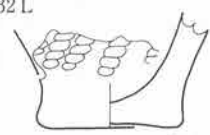
240

31L



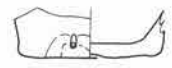
237

32L



241 (S=1/2)

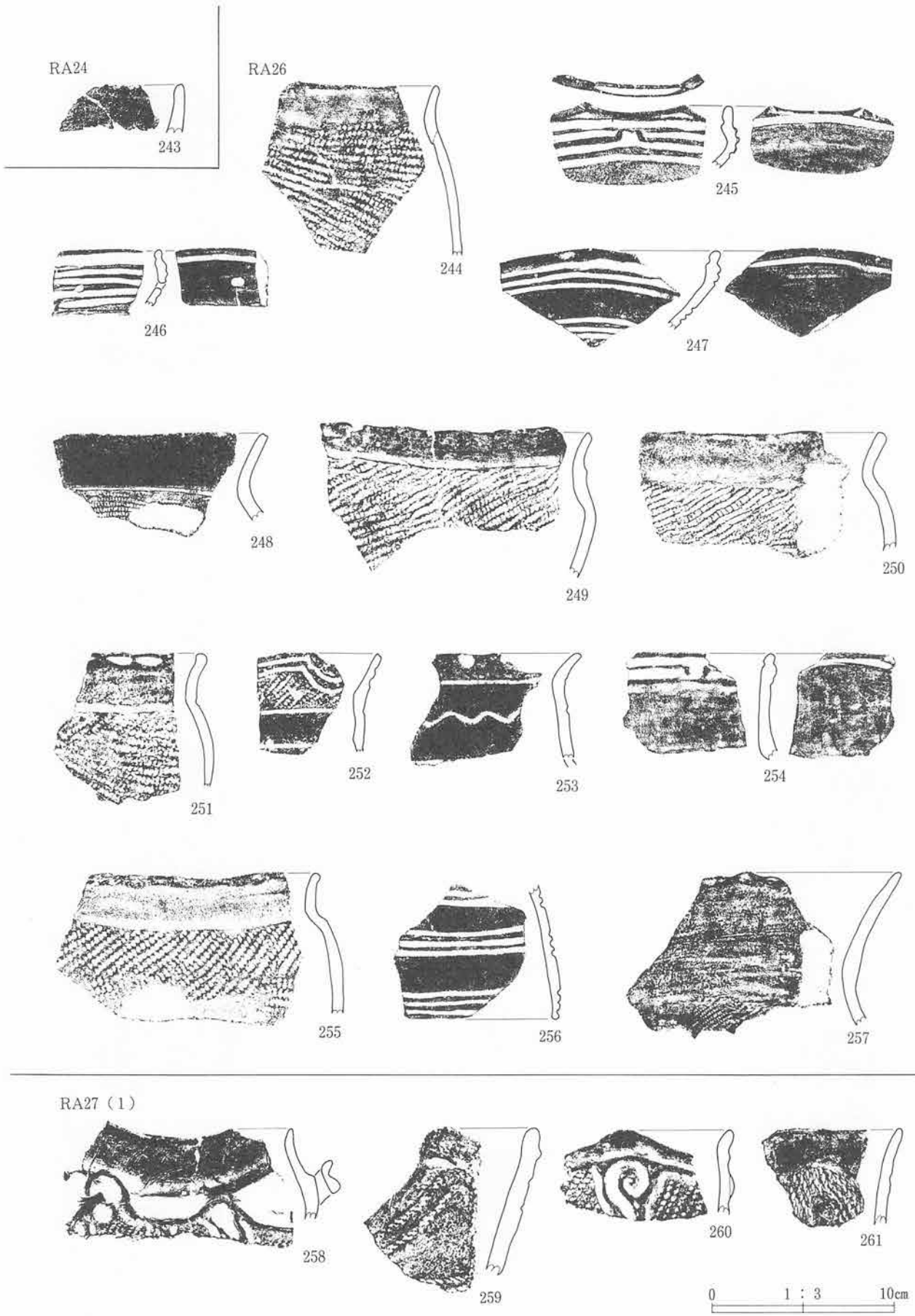
不明



242

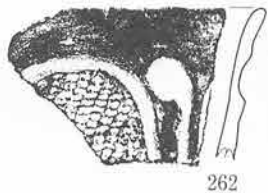
0 1 : 3 10cm

第99図 土器 (39) : 30O、30Q、31K、31L、32K、32L、不明

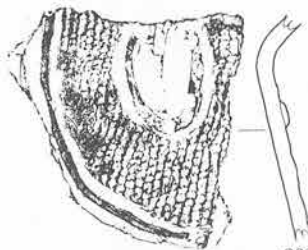


第100図 土器 (40) : RA24・26・27 (1)

RA27 (2)

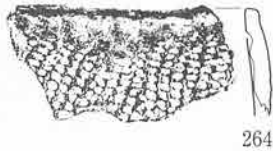


262



263

RA27・28



264



265

RA28



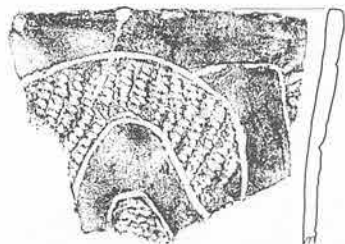
266



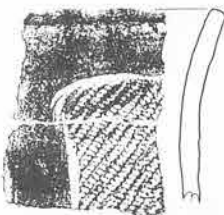
267



268



269



270

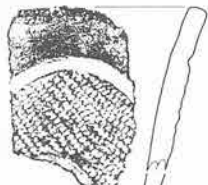
RA29



271



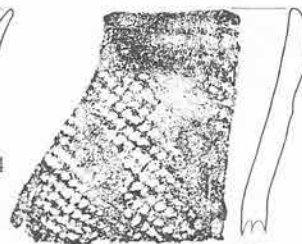
272



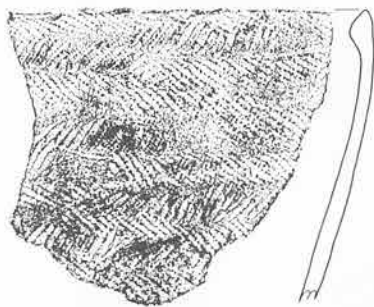
273



274



275



276

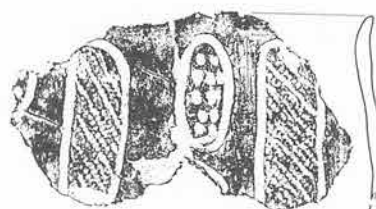


277

RA30 (1)



278



279



280

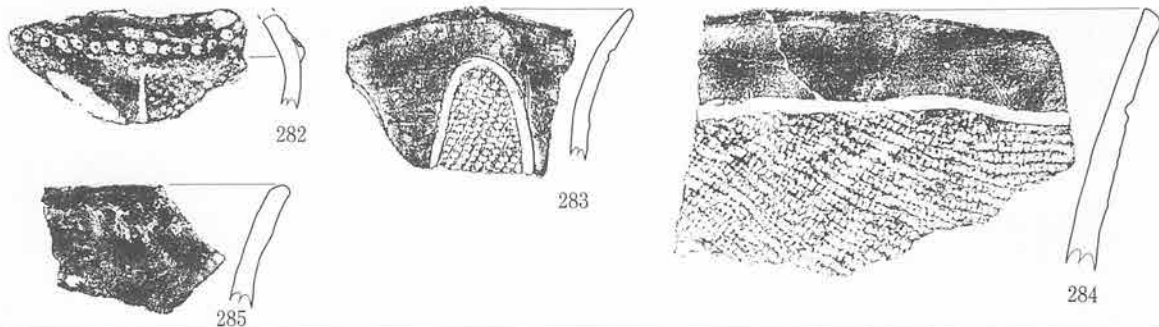


281

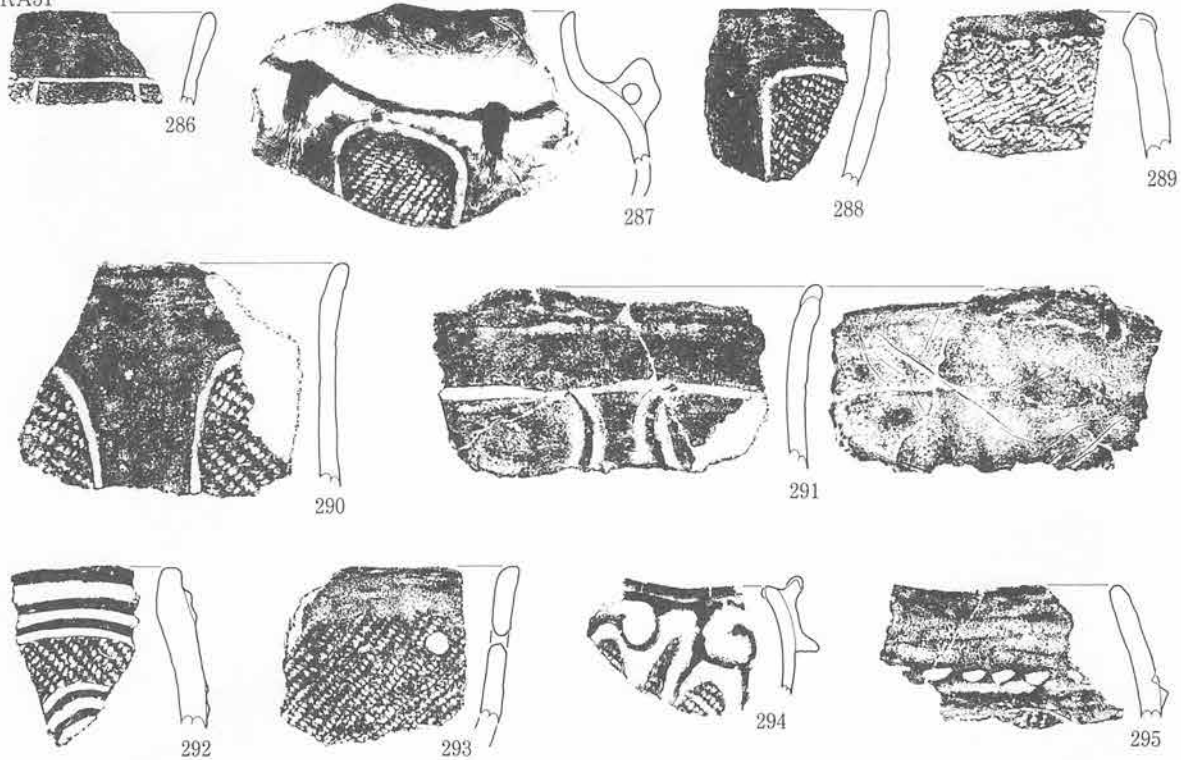
0 1 : 3 10cm

第101図 土器 (41) : RA27 (2) ・27・28・29・30 (1)

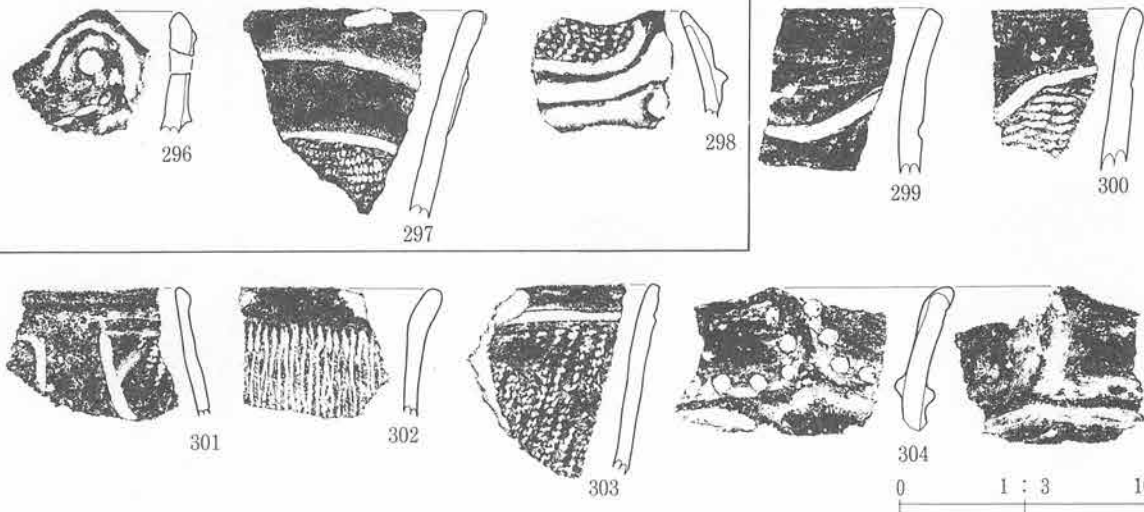
RA30 (2)



RA31

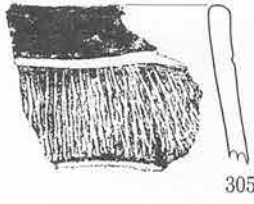


RA32 (1)

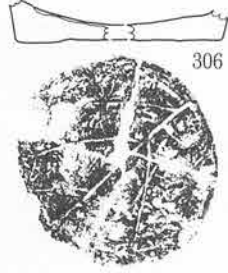


第102図 土器 (42) : RA30 (2) ・ 31 ・ 32 (1)

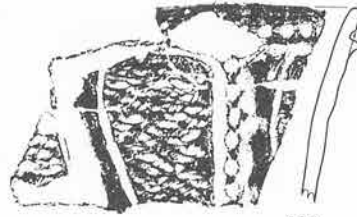
RA32 (2)



305



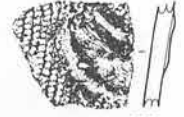
306



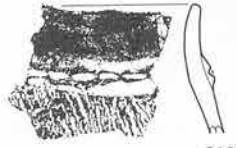
307



308

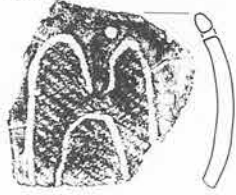


309



310

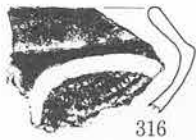
RA33



311



312



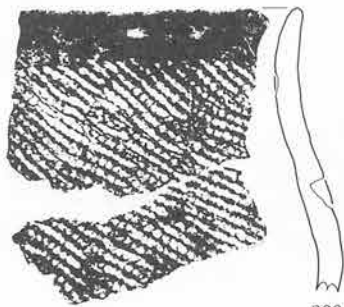
316



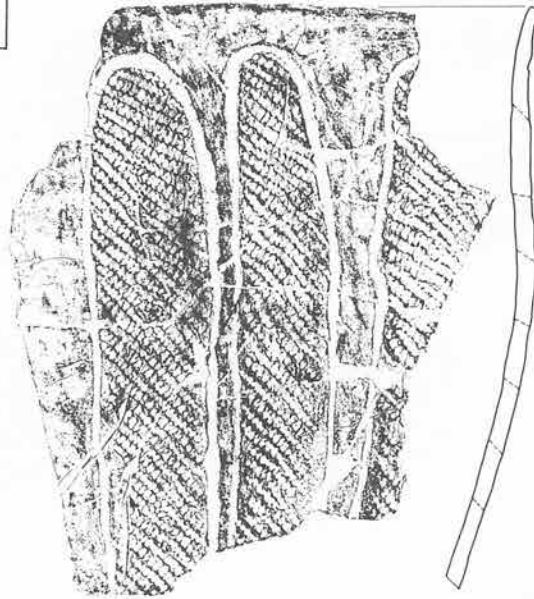
317



319



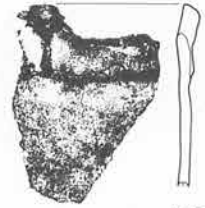
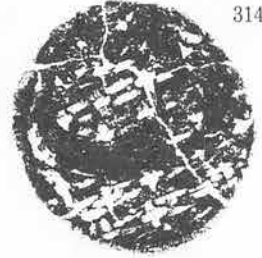
322



313



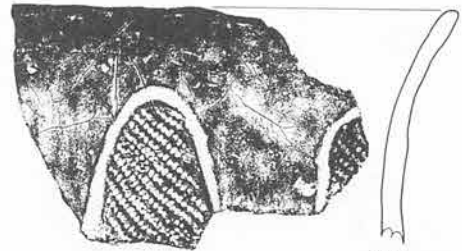
314



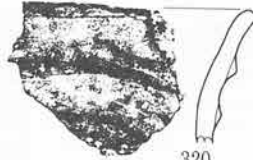
315



318



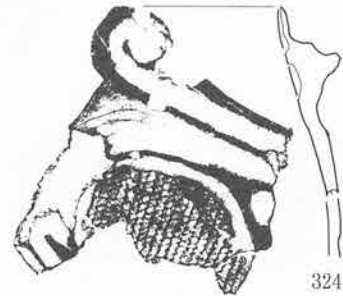
321



320



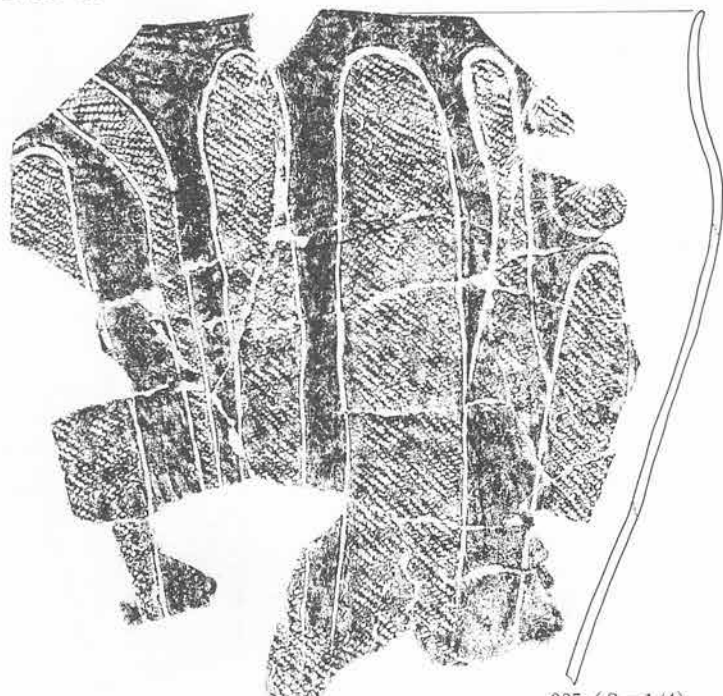
323



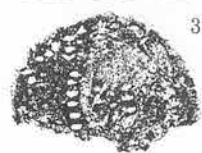
324

0 1 : 3 10cm

第103図 土器 (43) : RA32 (2) ・ 33



325 (S=1/4)



326



327 (S=1/4)

RA34



328



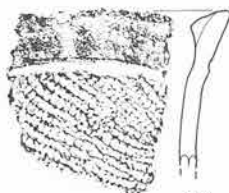
329



330



331

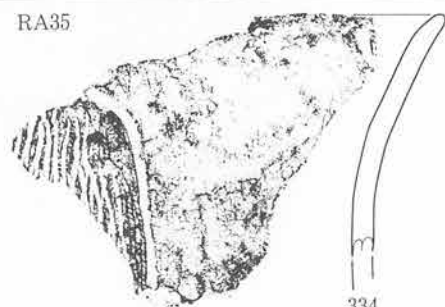


332

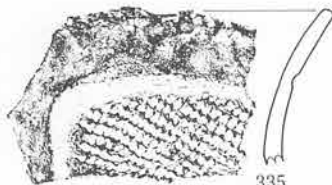


333

RA35

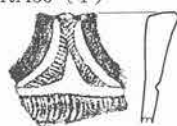


334



335

RA36 (1)



336



337



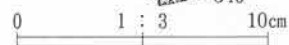
338



339

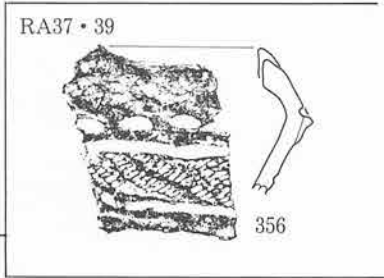
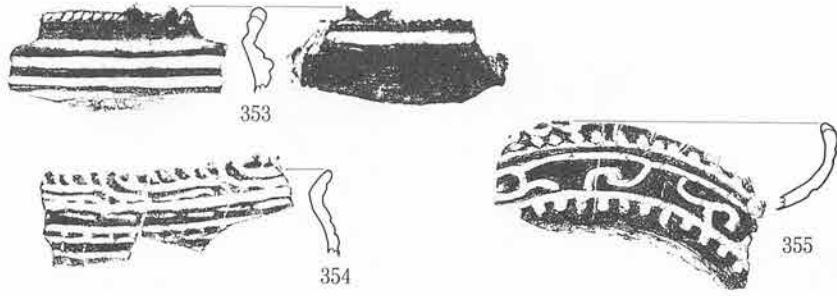
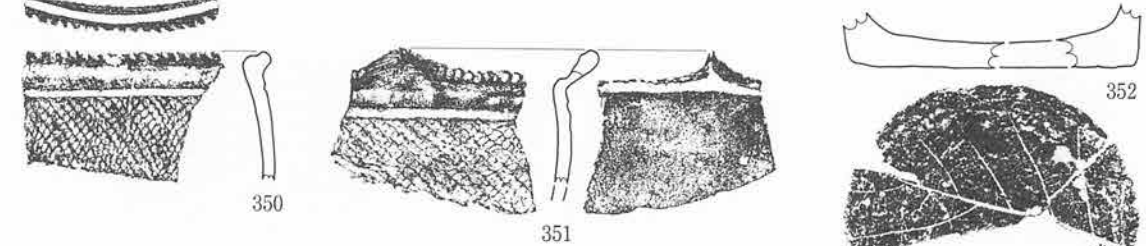
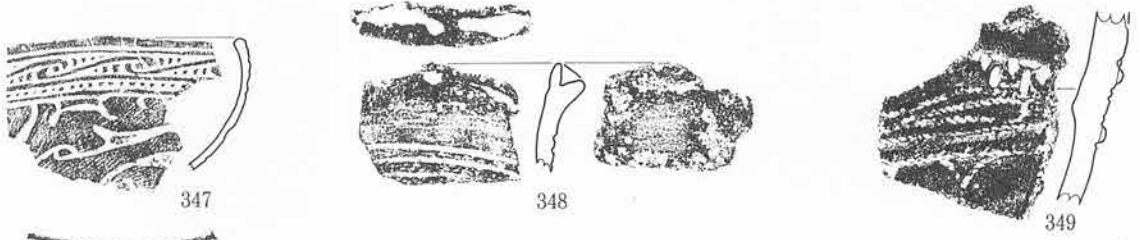
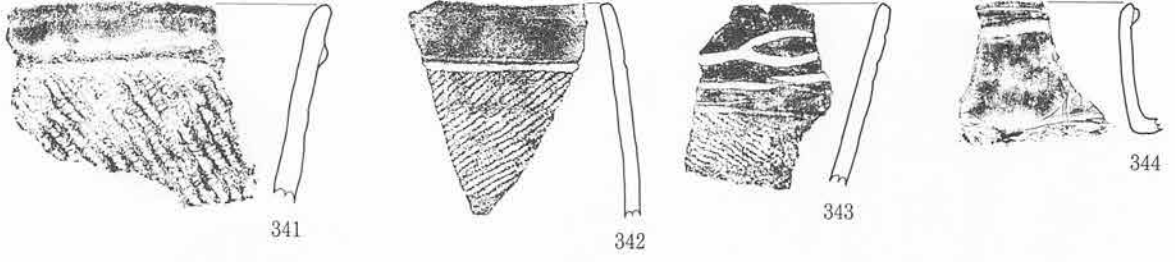


340

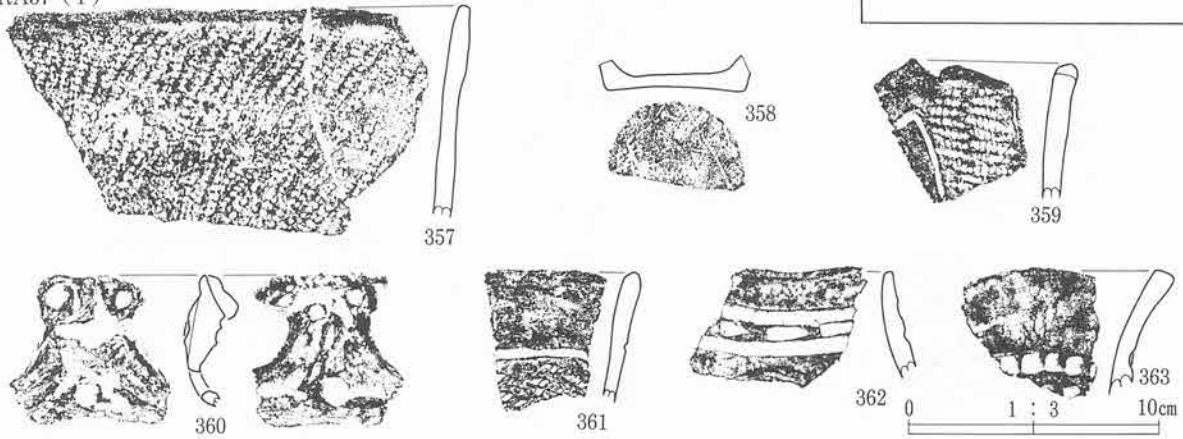


第104図 土器 (44) : RA33・34・35・36 (1)

RA36 (2)



RA37 (1)

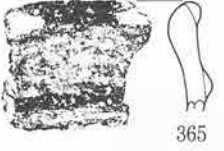


第105图 土器 (45) : RA36 (2) · 37 (1) · 37 · 39

RA37 (2)



364

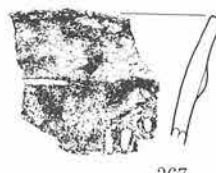


365

RA38



366



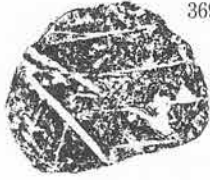
367



368



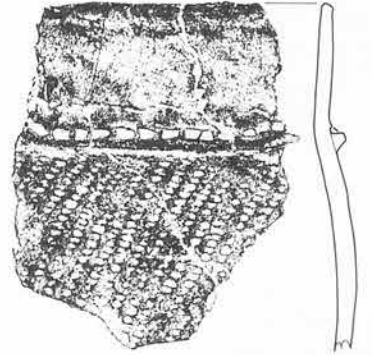
369



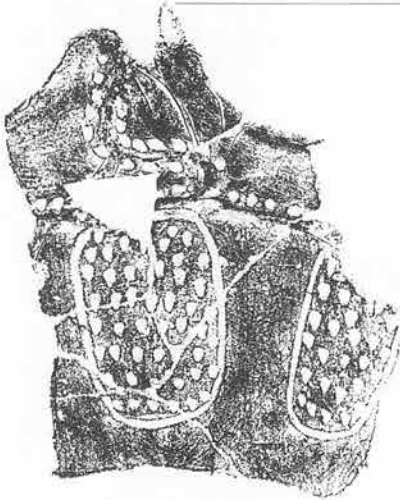
370



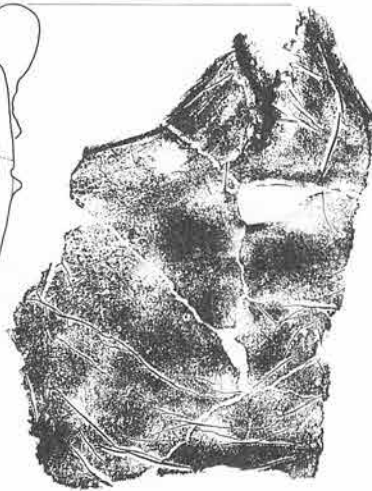
371



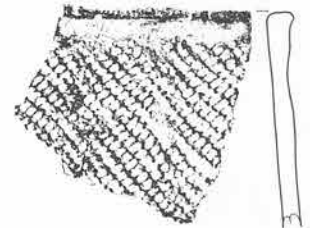
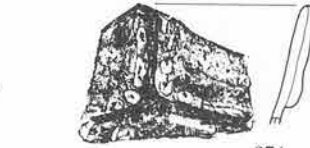
372



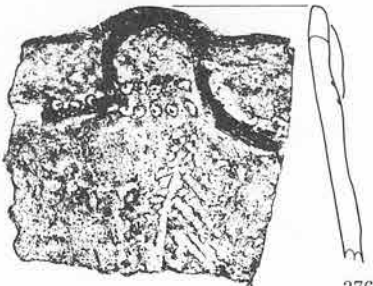
373



374

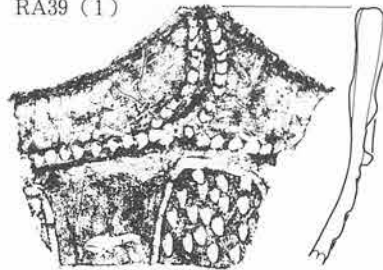


375



376

RA39 (1)



377



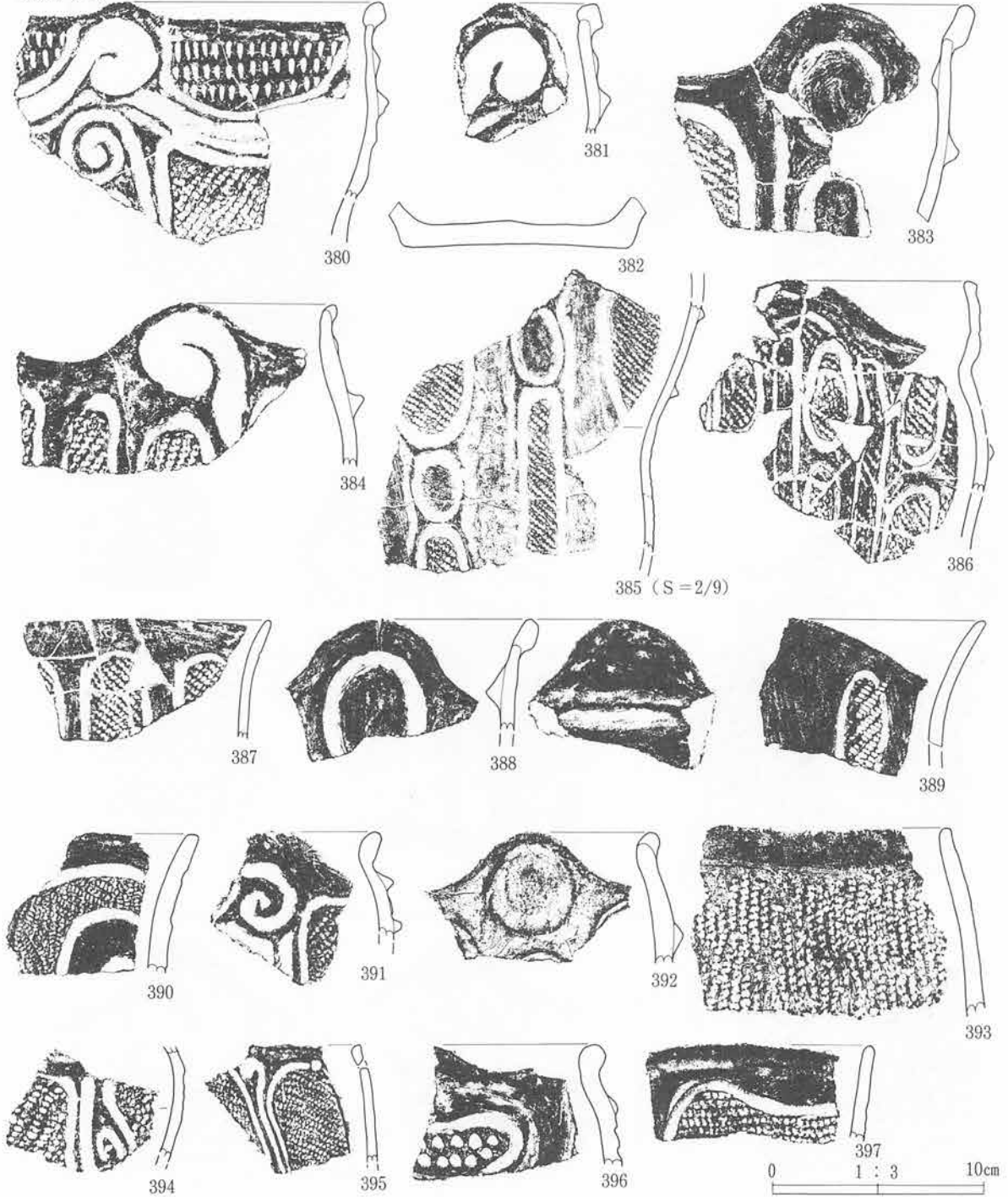
0 1 : 3 10cm

第106图 土器 (46) : RA37 (2) · 38 · 39 (1)

RA39 (2)

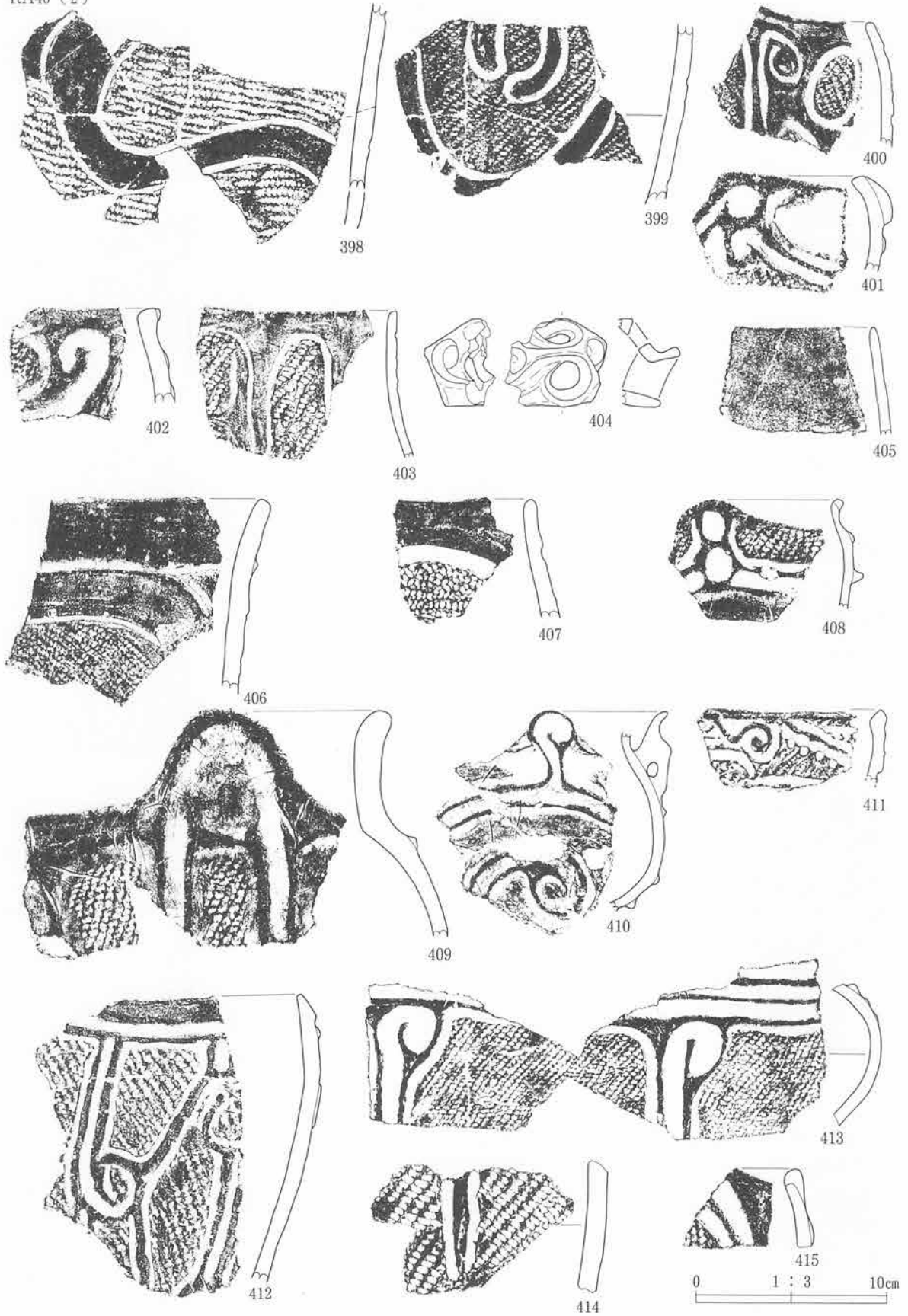


RA40 (1)



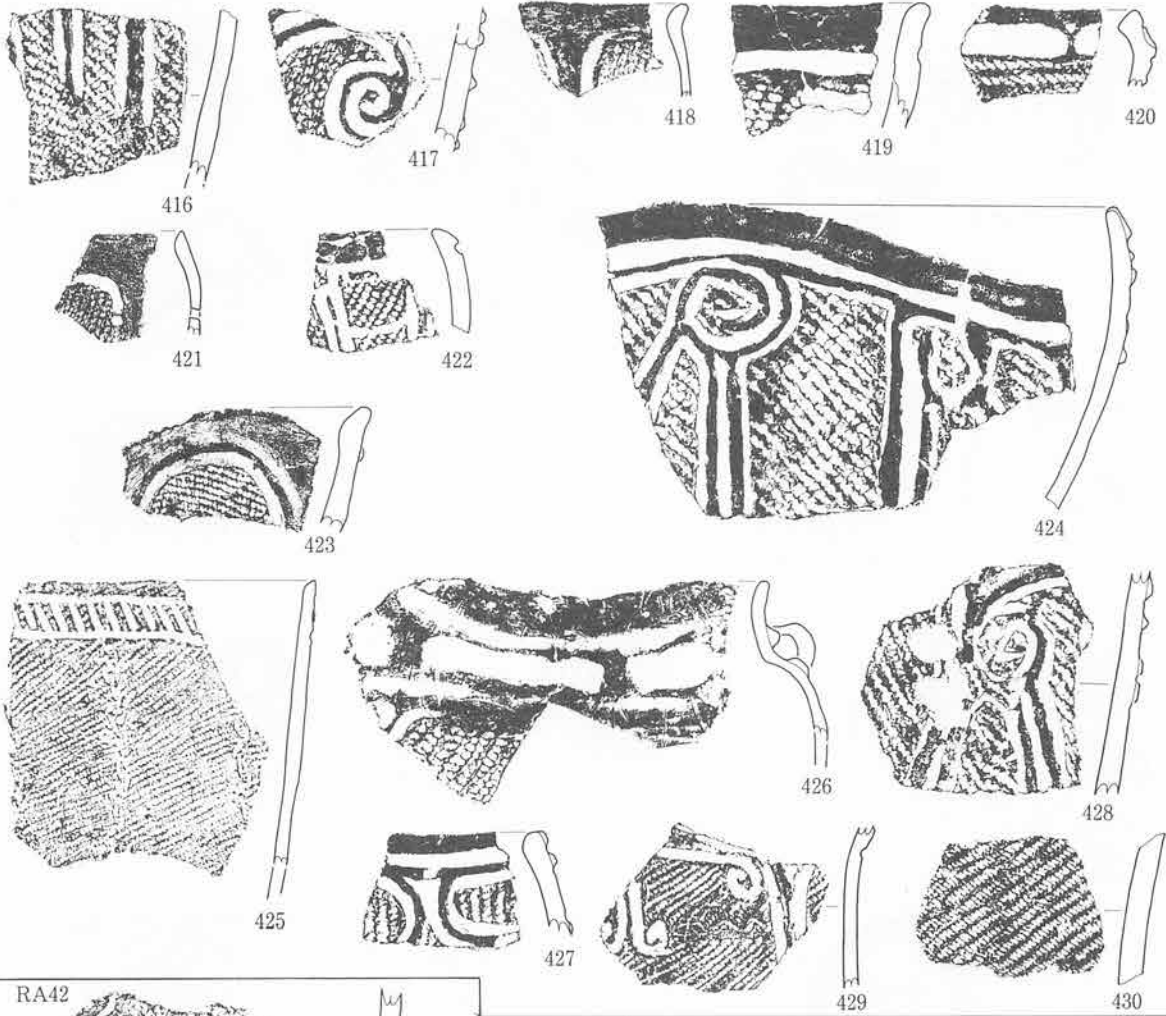
第107図 土器 (47) : RA39 (2) ・ 40 (1)

RA40 (2)

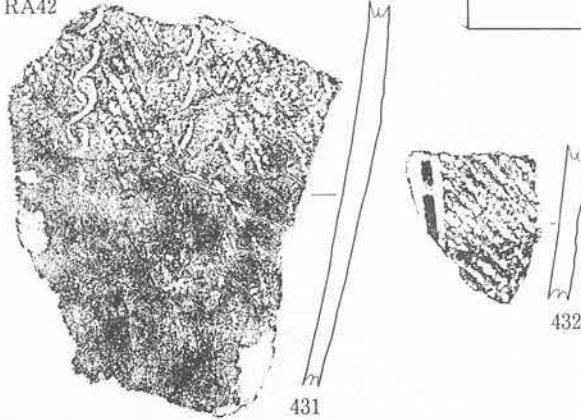


第108图 土器 (48) : RA40 (2)

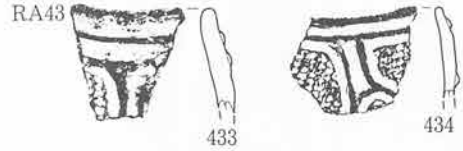
RA40 (3)



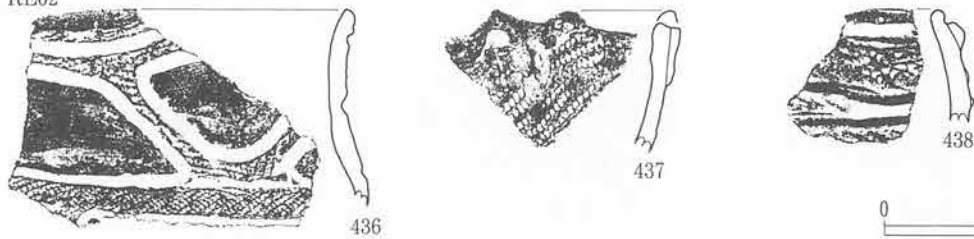
RA42



RA43

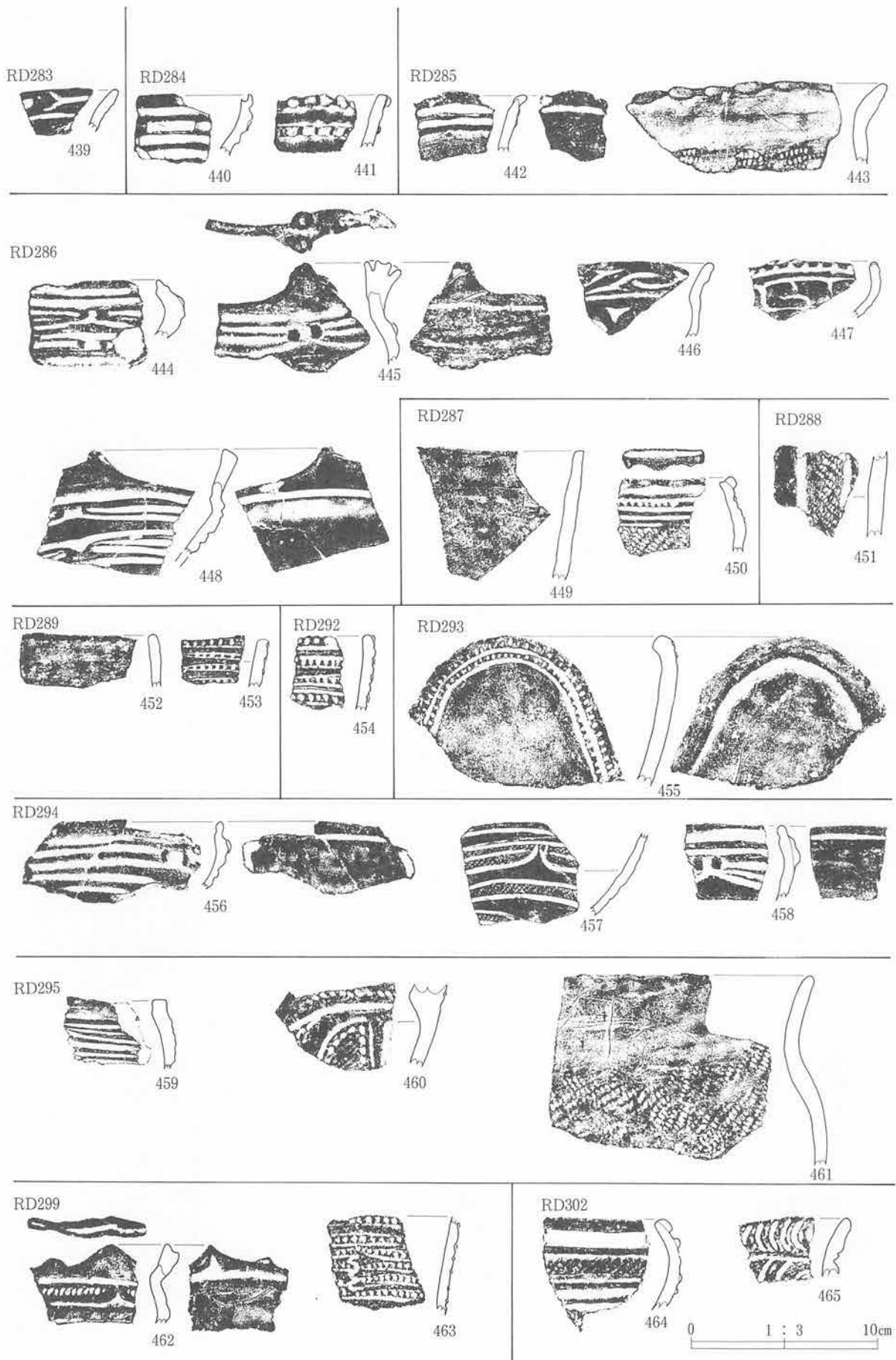


RE02

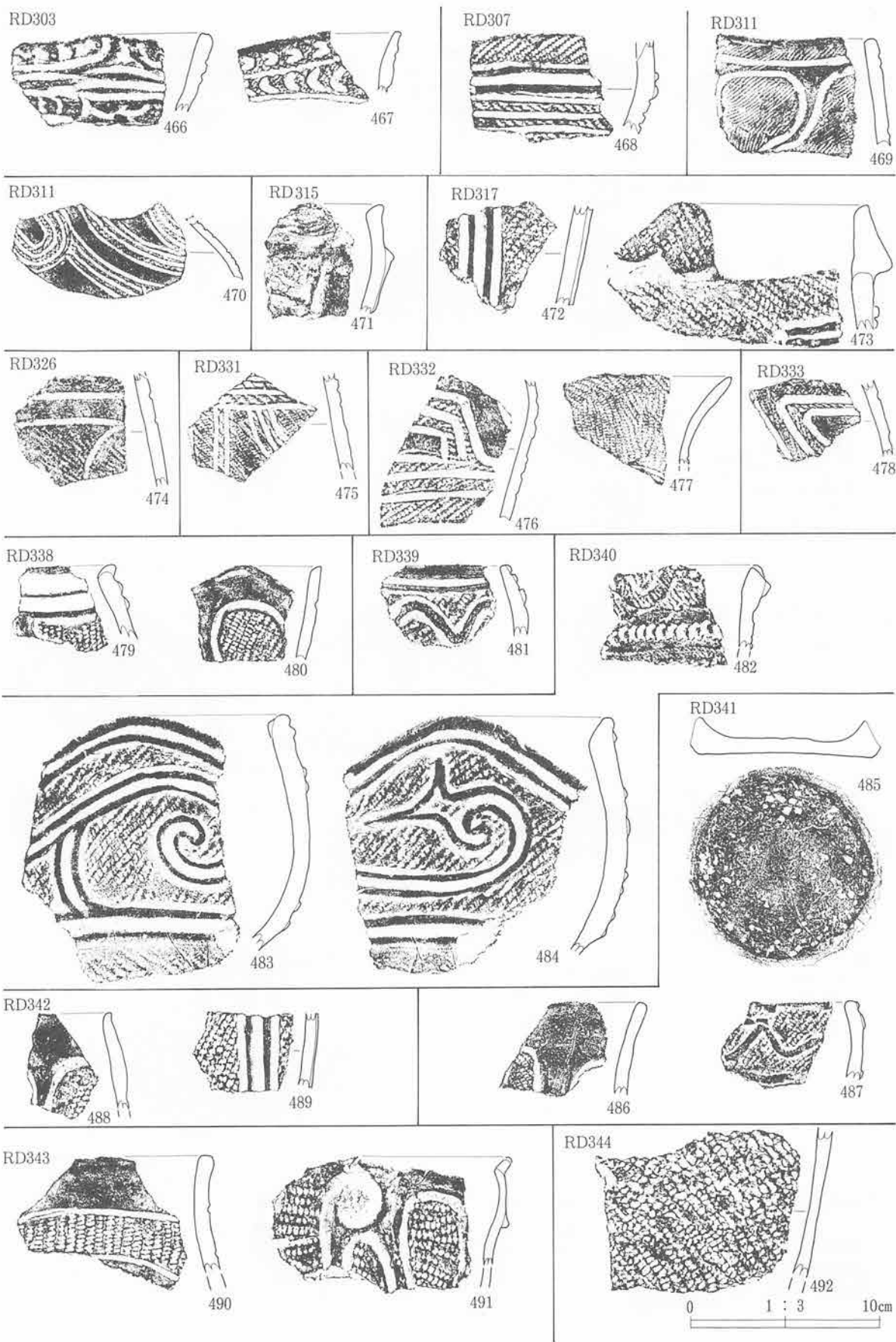


0 1 : 3 10cm

第109図 土器 (49) : RA40 (3) ・42・43、RE02

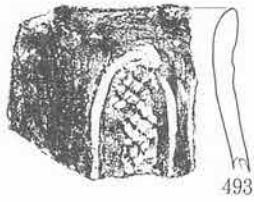


第110図 土器 (50) : RD283・284・285・286・287・288・289・292・293・294・295・299・302

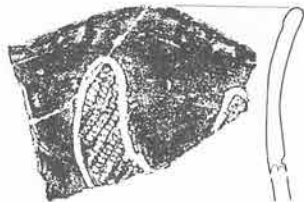


第111圖 土器 (51) : RD303・307・311・315・317・326・331・332・333・338・339・340・341・342・343・344

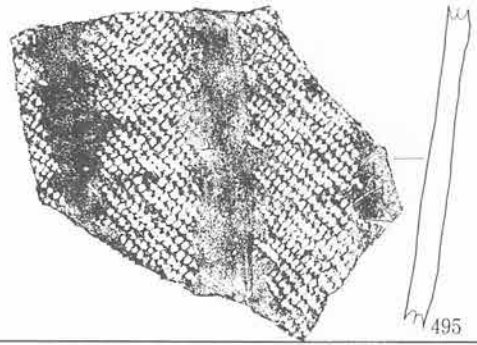
RD346



493



494



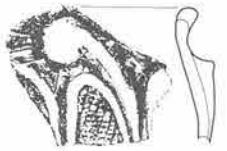
495

RD348

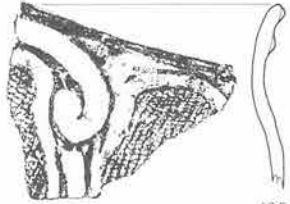


496

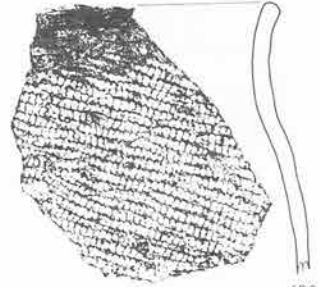
RD349



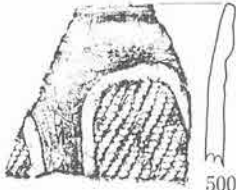
497



498



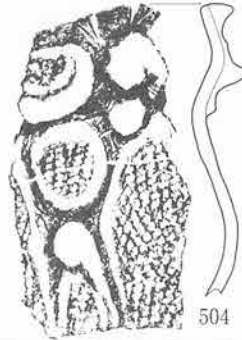
499



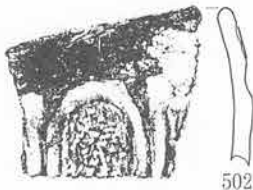
500



501



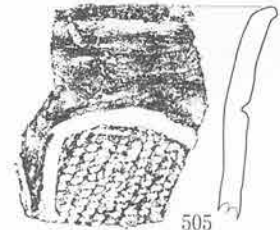
504



502

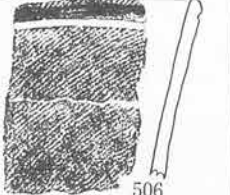


503



505

RD354



506

RD357

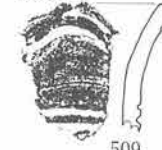


507



508

RD358



509



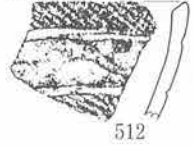
510

RD359

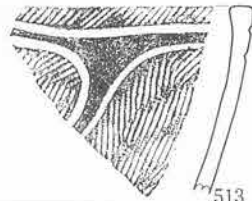


511

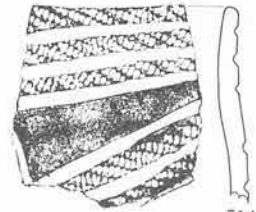
RD361



512

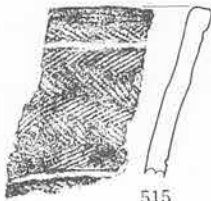


513

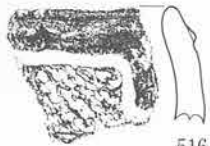


514

RD362 (1)



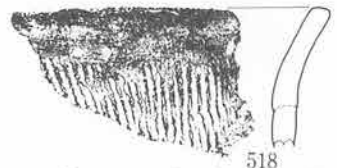
515



516



517

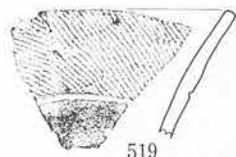


518

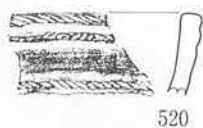
0 1 : 3 10cm

第112図 土器 (52) : RD346・348・349・354・357・358・359・361・362 (1)

RD362 (2)



519



520



521

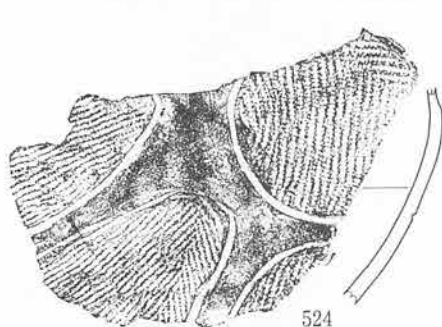
RD363



522



523



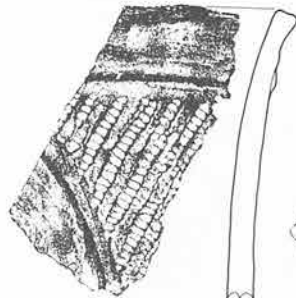
524



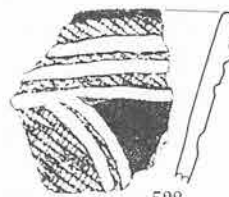
525



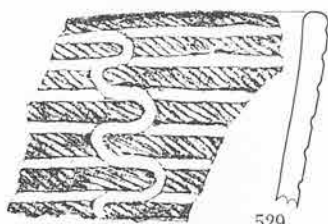
526



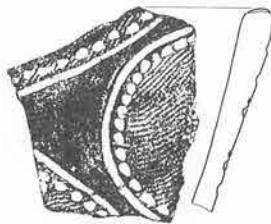
527



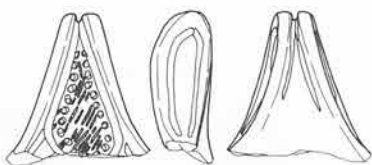
528



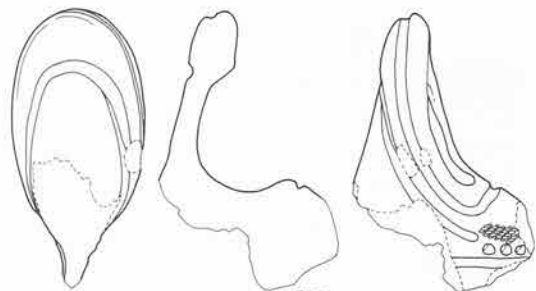
529



530

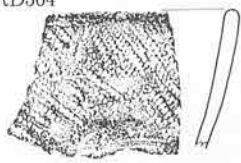


531



532

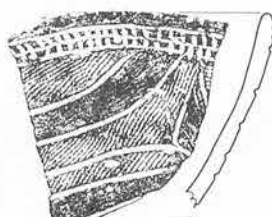
RD364



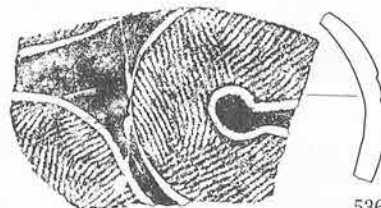
533



534

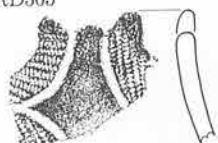


535

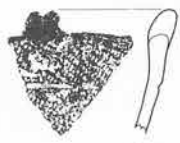


536

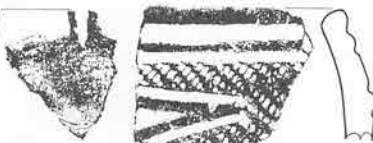
RD365



537

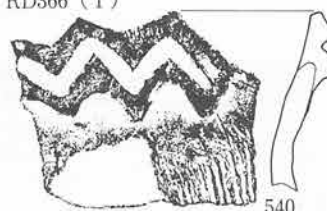


538

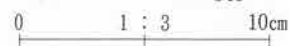


539

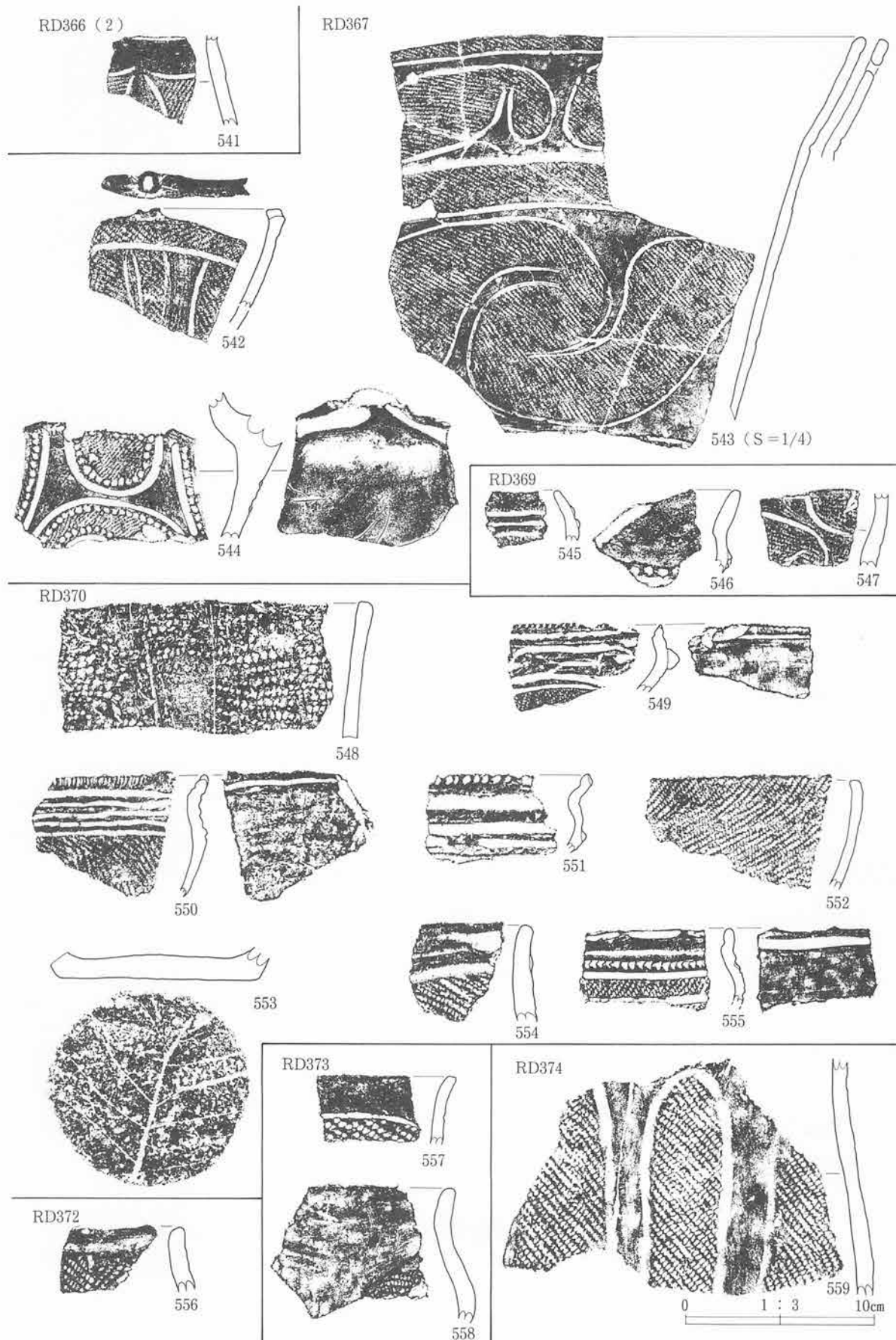
RD366 (1)



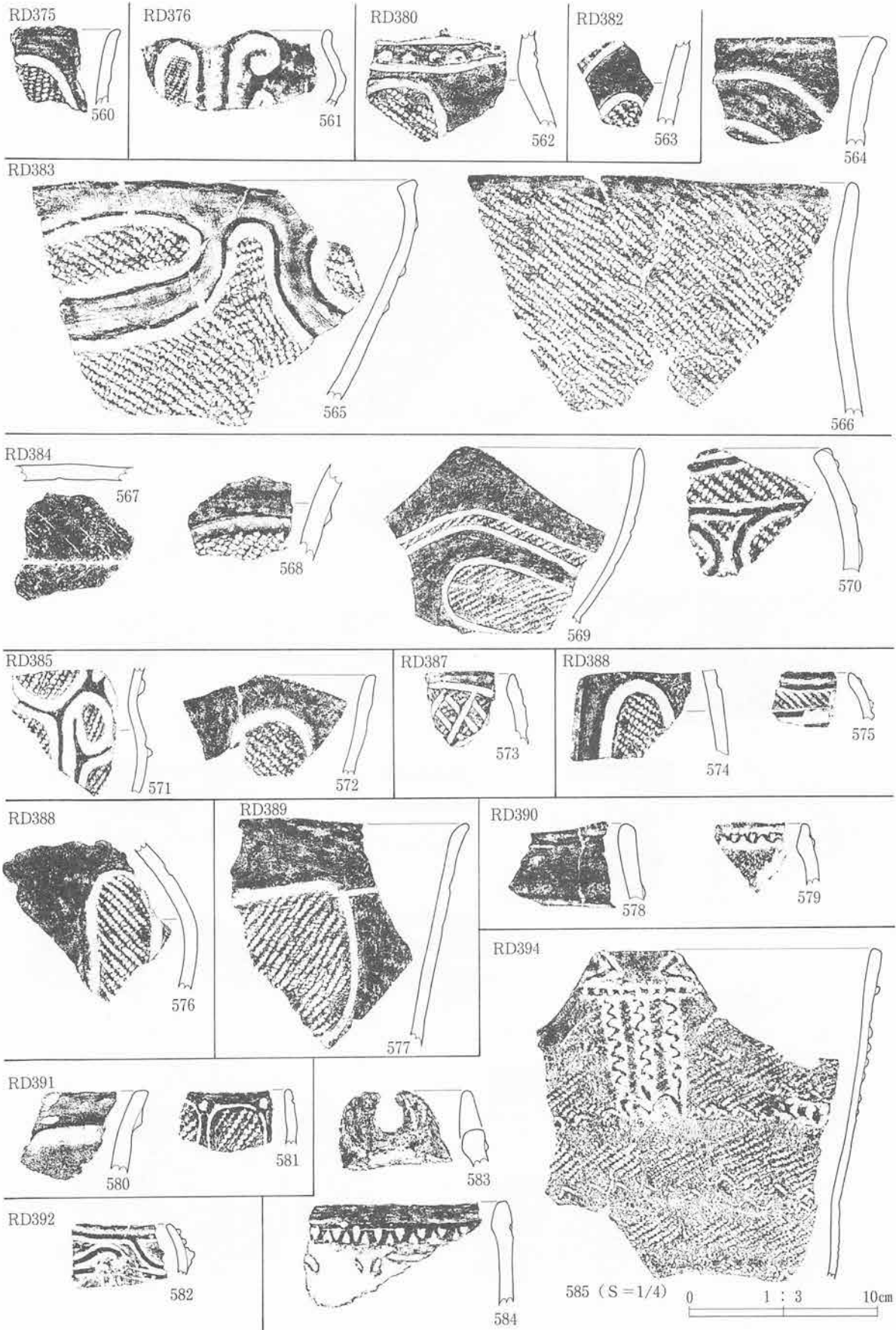
540



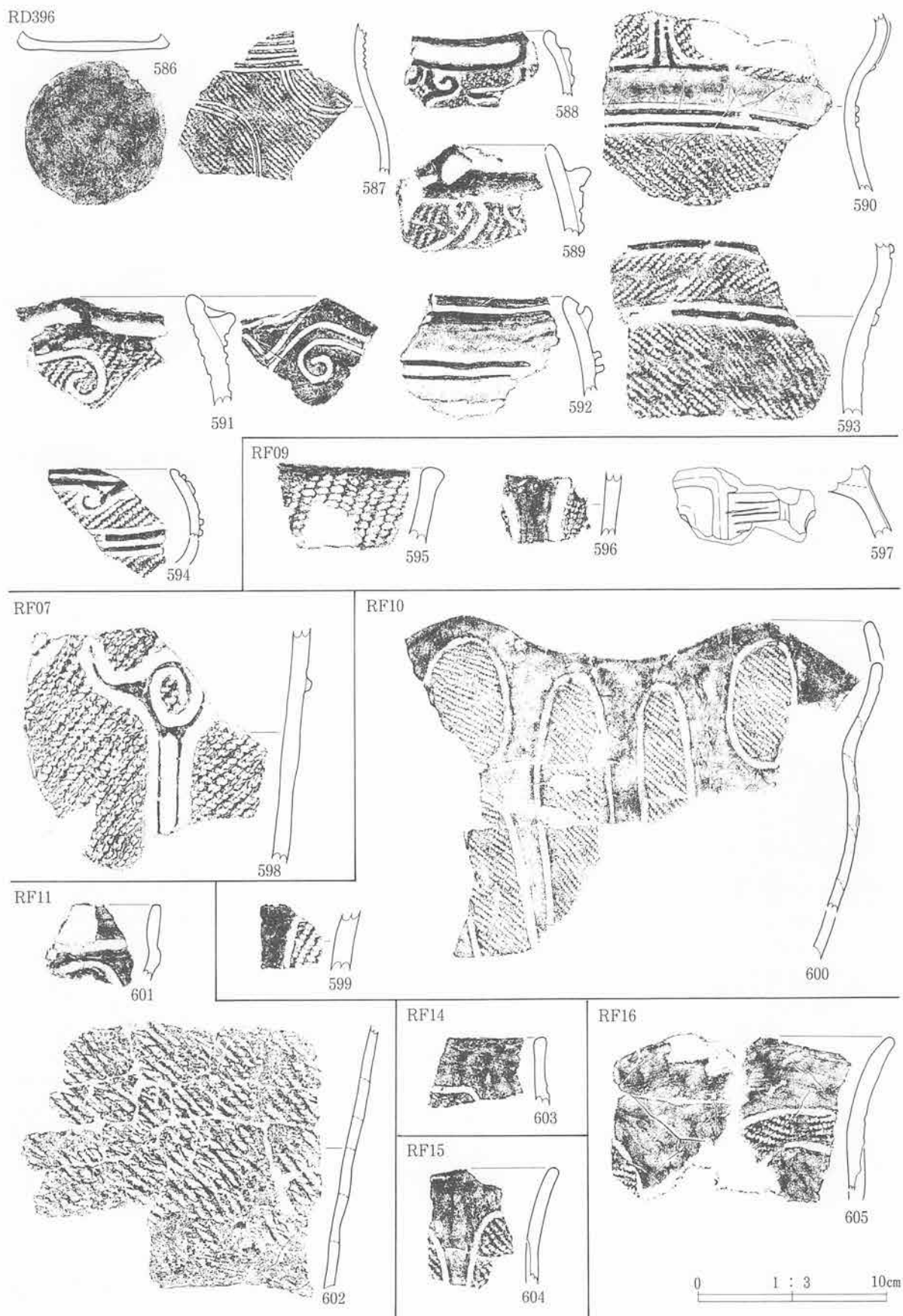
第113图 土器 (53) : RD362 (2) • 363 • 364 • 365 • 366 (1)



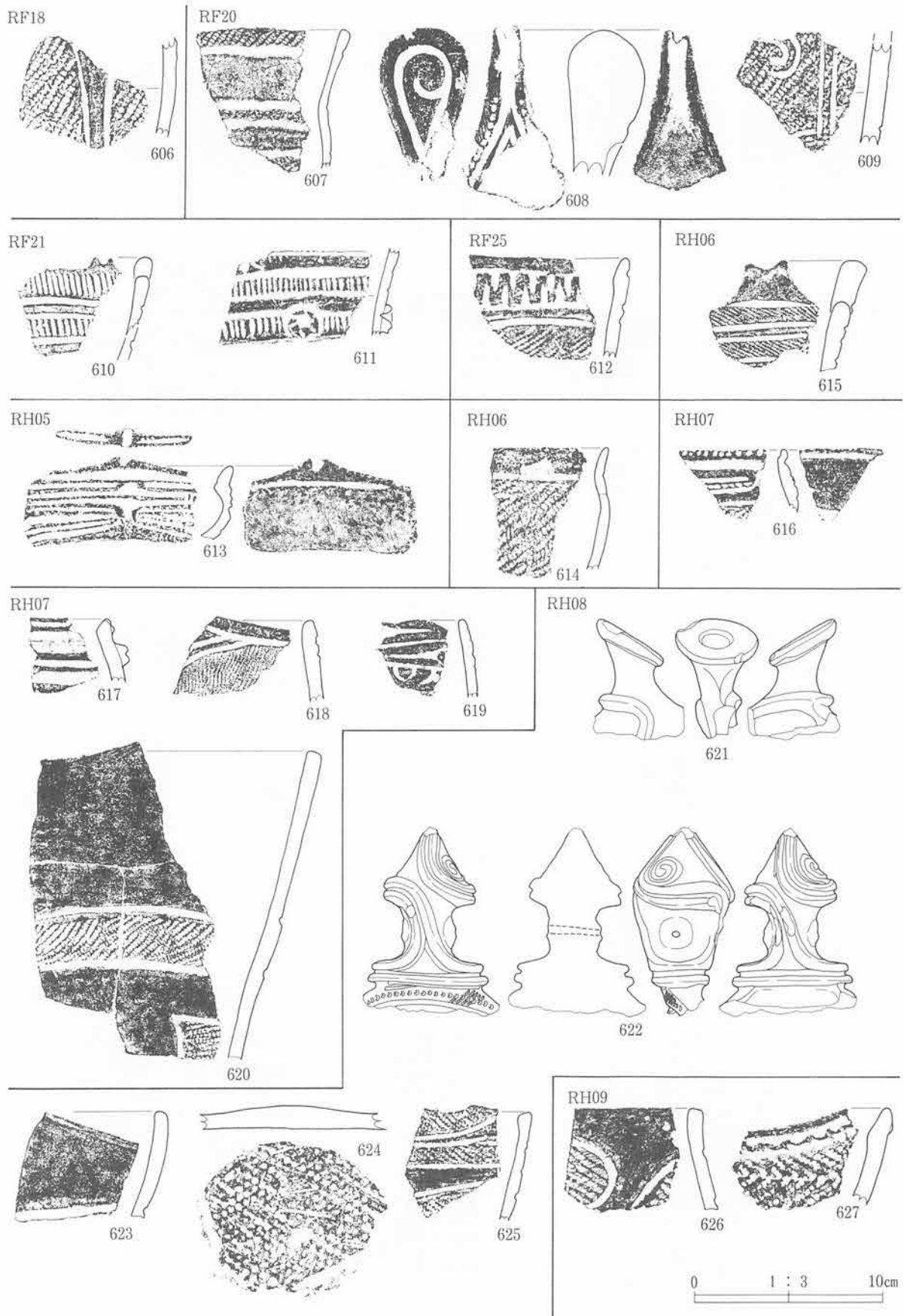
第114图 土器 (54) : RD366 (2) • 367 • 369 • 370 • 372 • 373 • 374



第115図 土器 (55) : RD375・376・380・382・383・384・385・387・388・389・390・391・392・394

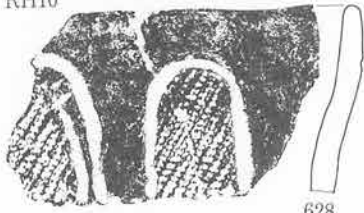


第116図 土器 (56) : RD396、RF07・09・10・11・14・15・16



第117图 土器 (57) : RF18・20・21・25、RH05・06・07・08・09

RH10



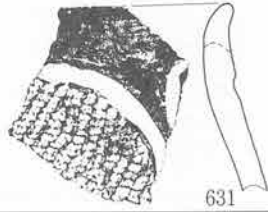
628



629

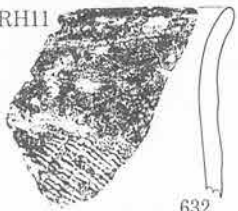


630

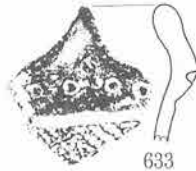


631

RH11



632



633

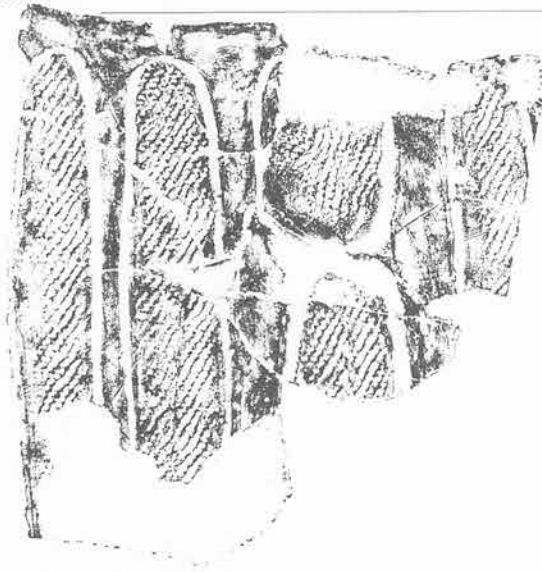


634



635

RZ10

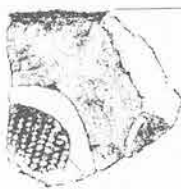


636

RZ11



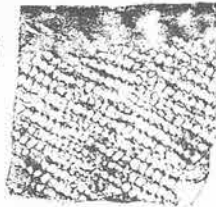
637



638



639



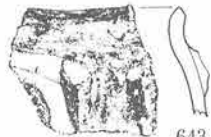
640



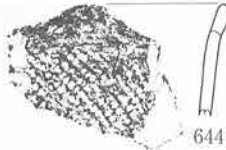
641



642



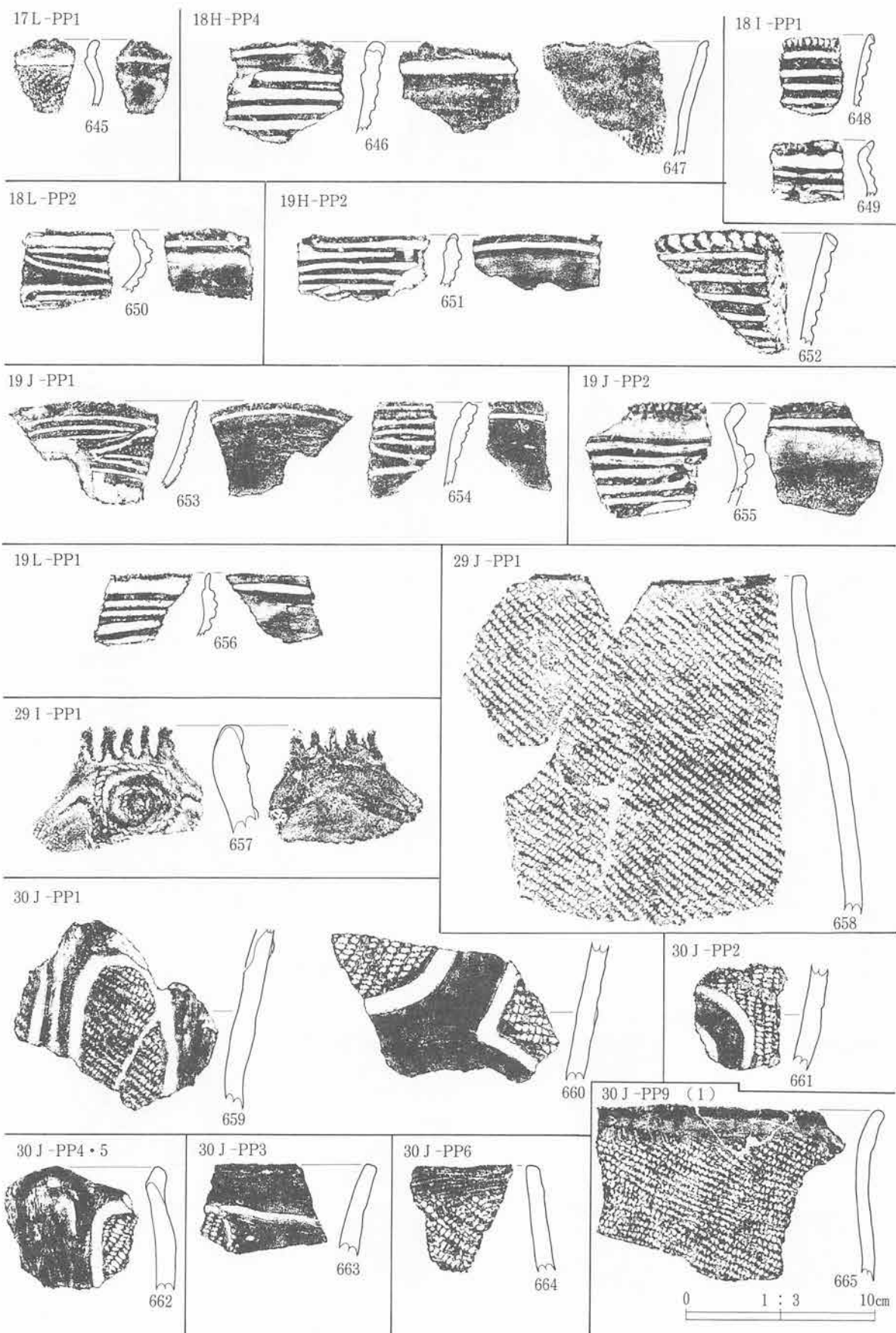
643



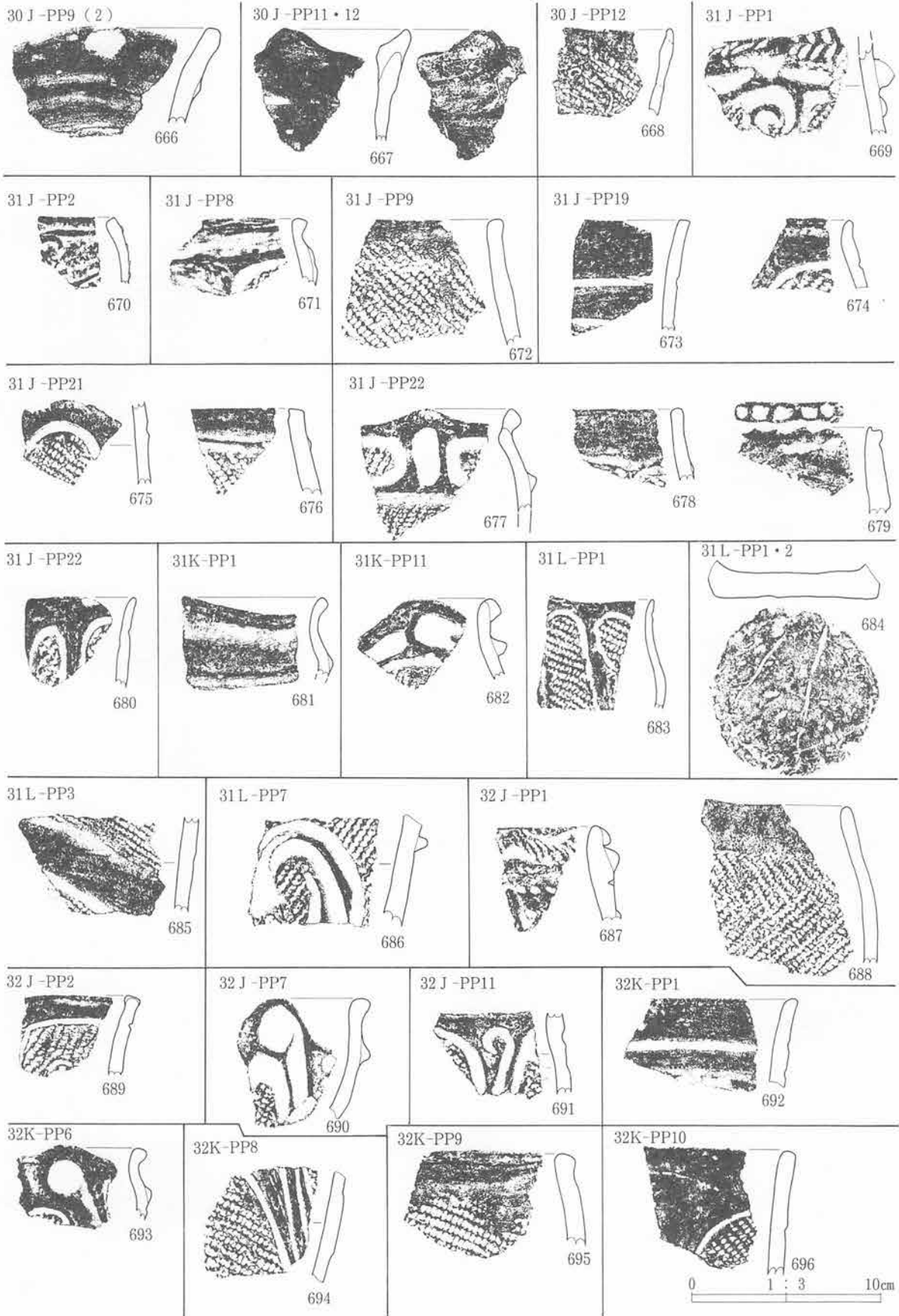
644

0 1 : 3 10cm

第118図 土器 (58) : RH10・11、RZ10・11

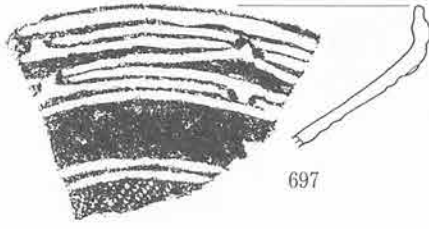


第119図 土器 (59) : 17L-PP1、18L-PP2、18H-PP4、18I-PP1、19H-PP2、19J-PP1・PP2、19L-PP1、29I-PP1、29J-PP1、30J-PP1・PP2・PP3・PP4・5・PP6・PP9 (1)

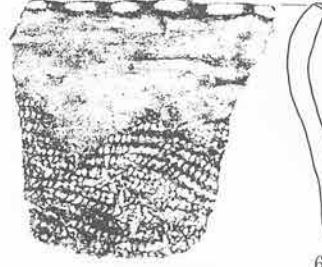


第120図 土器 (60) : 30 J-PP9 (2)、PP11 • 12、31 J-PP1 • PP2 • PP8 • PP9 • PP19 • PP21 • PP22、31K-PP1 • PP11、31L-PP1 • PP2 • PP3 • PP7、32 J-PP1 • PP2 • PP7 • PP11、32K-PP1 • PP6 • PP8 • PP9 • PP10

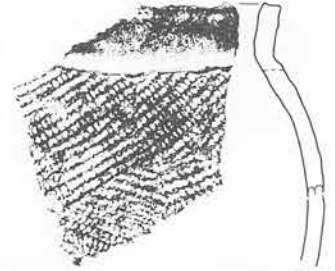
18L



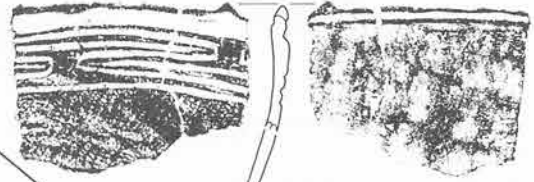
697



698

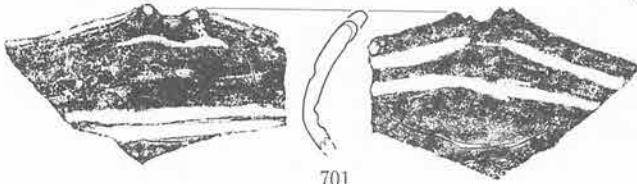


699



700

19H

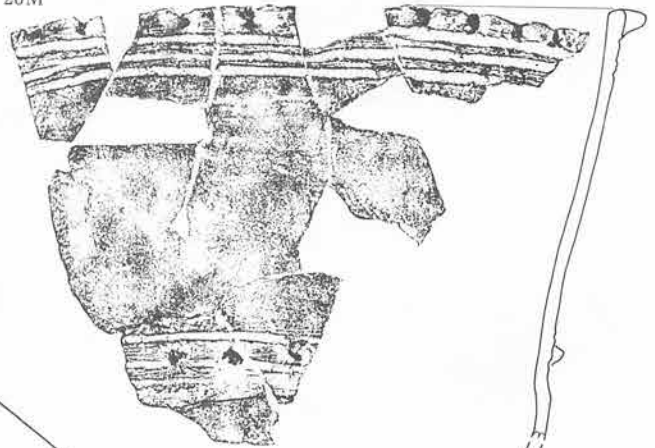


701



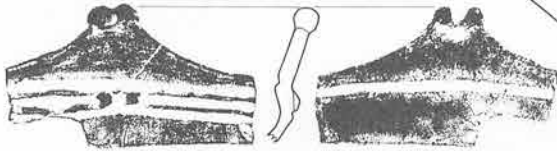
702

20M



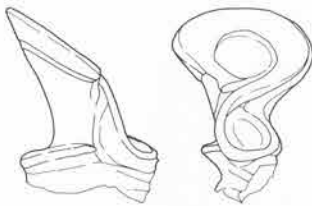
704
(S=1/4)

19K



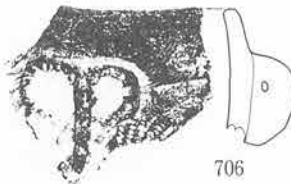
703

23P

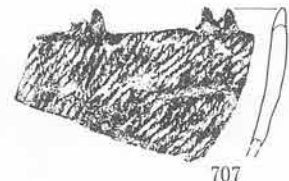


705

23Q (1)



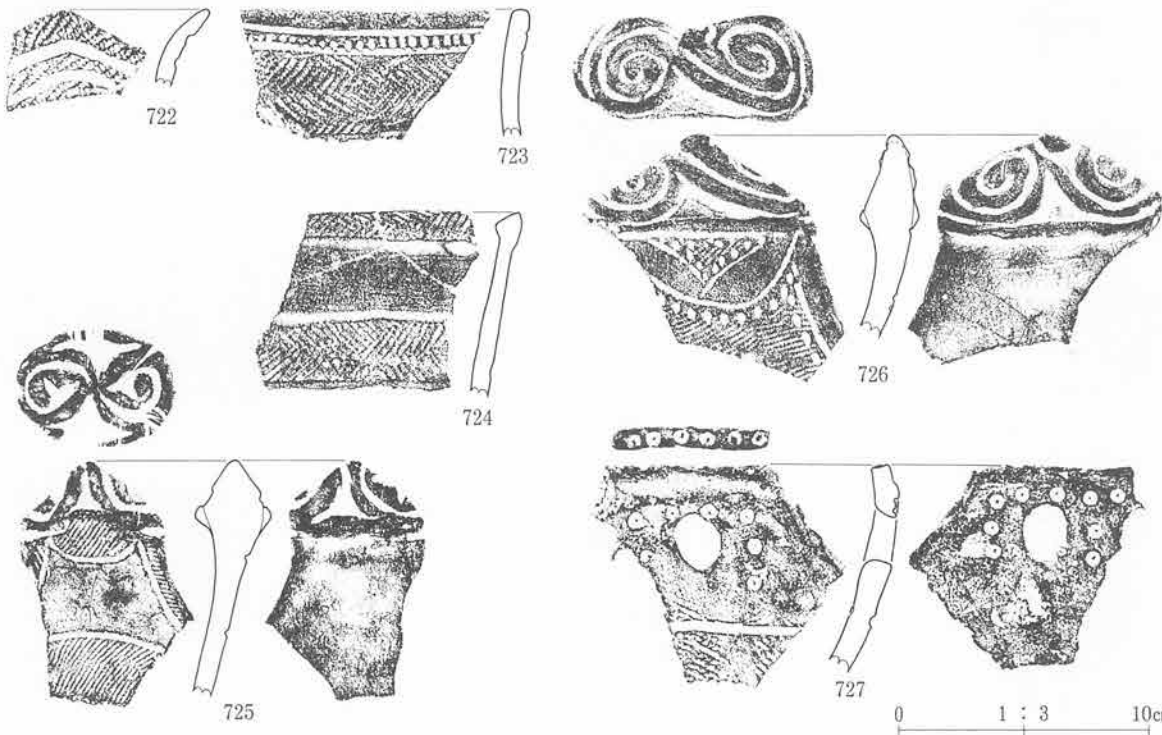
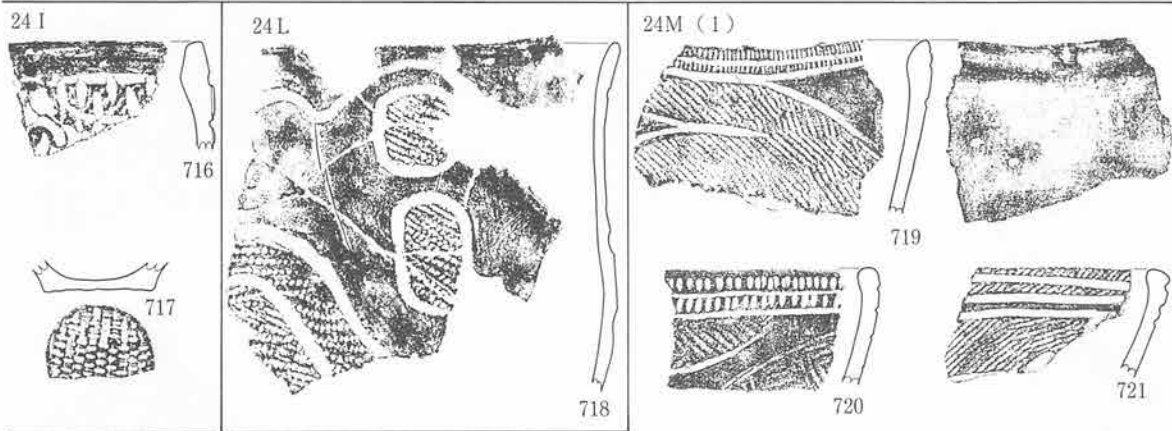
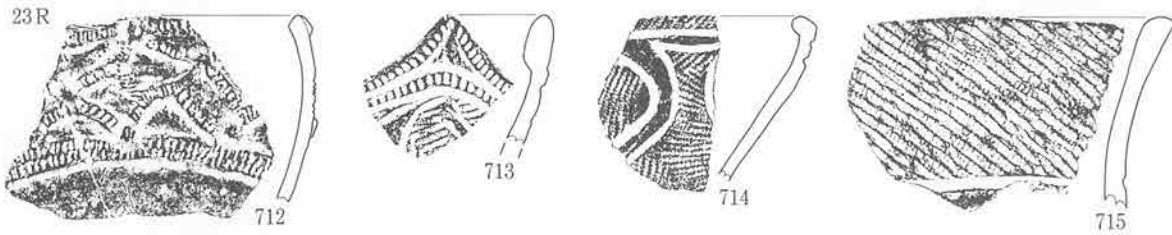
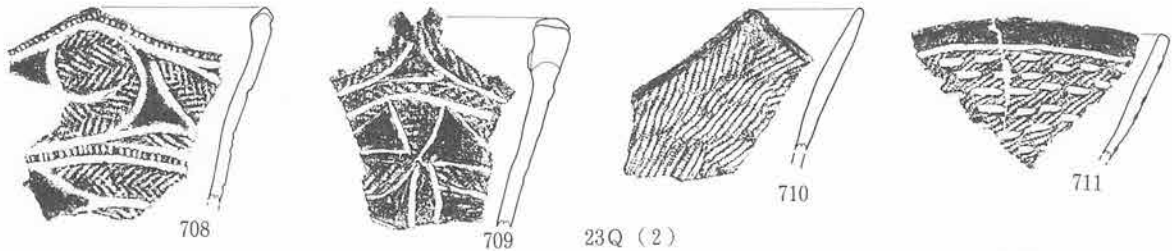
706



707

0 1 : 3 10cm

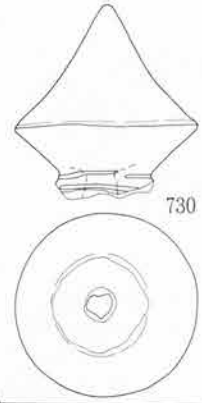
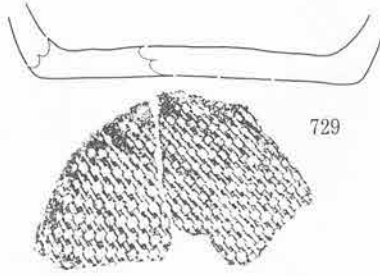
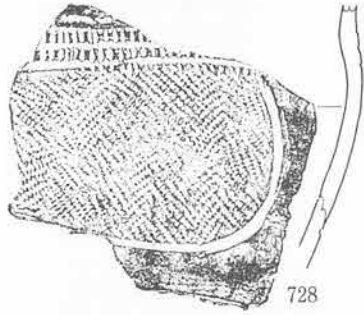
第121図 土器 (61) : 18L、19H、19K、20M、23P、23Q (1)



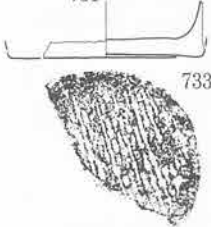
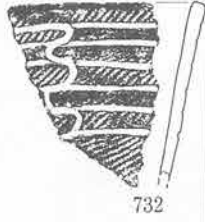
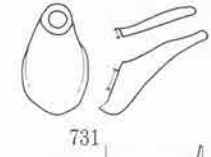
0 1 : 3 10cm

第122图 土器 (62) : 23Q (2)、23R、24I、24L、24M (1)

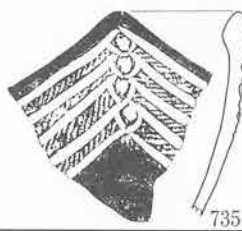
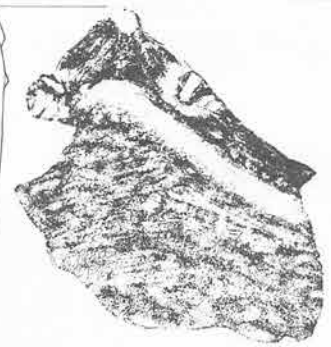
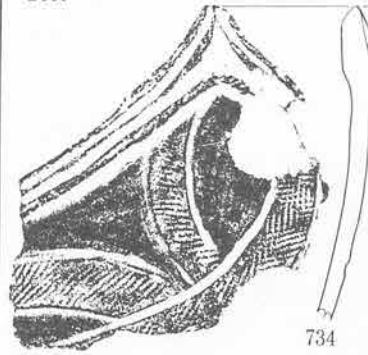
24M (2)



24Q アスファルト付着



24R



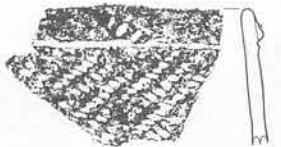
736



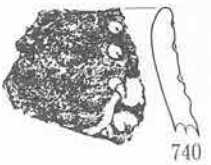
25 I



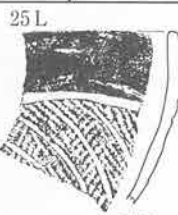
738



739



740

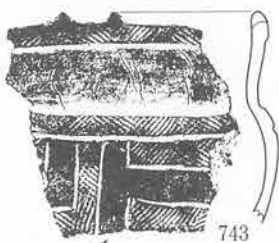


741

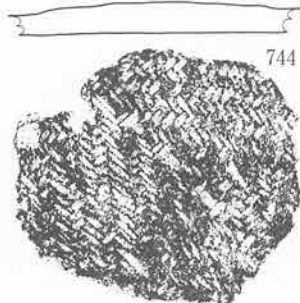


742

25M (1)



743



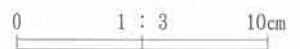
744



745

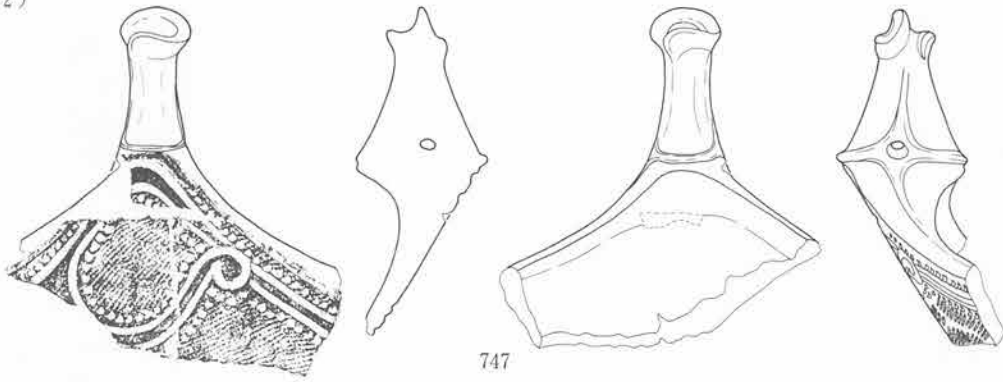


746

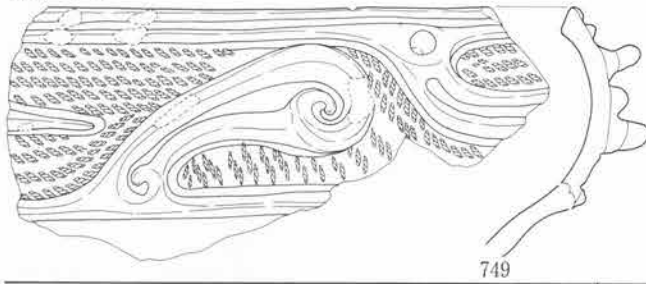


第123図 土器 (63) : 24M (2)、24Q、24R、25 I、25L、25M (1)

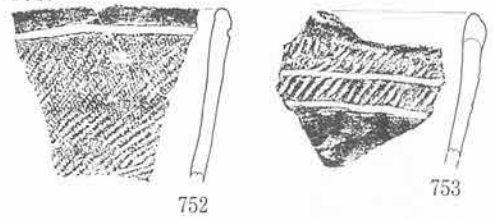
25M (2)



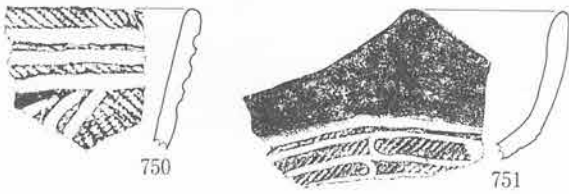
25M・26M



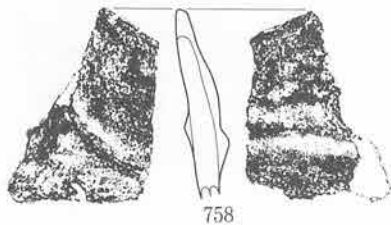
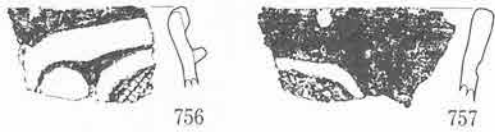
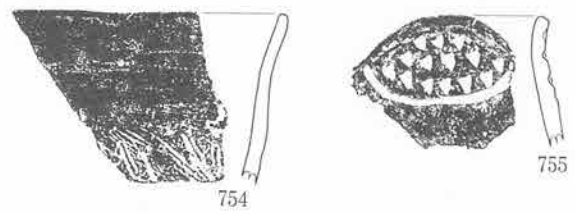
25R



25Q



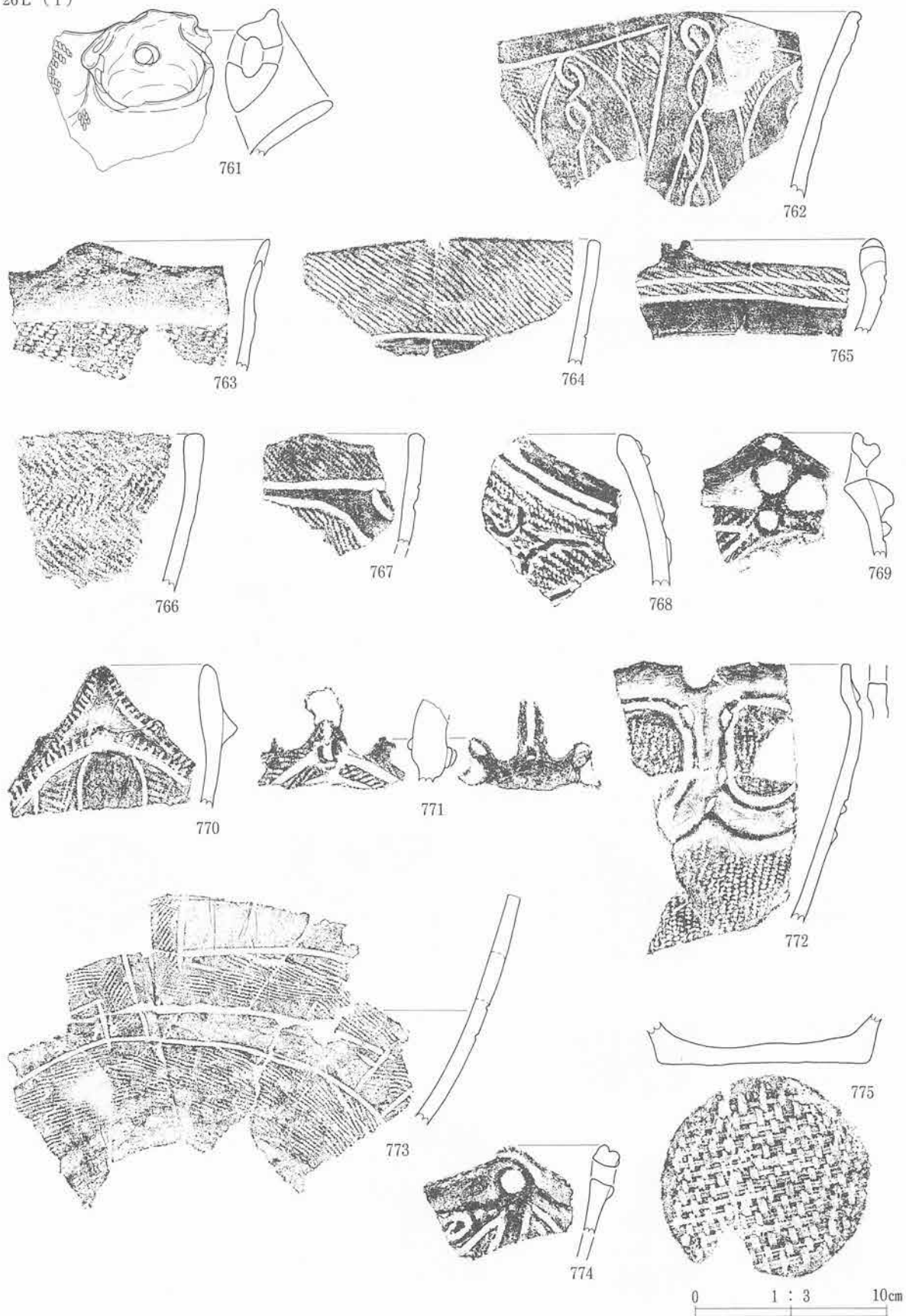
26 I



0 1 : 3 10cm

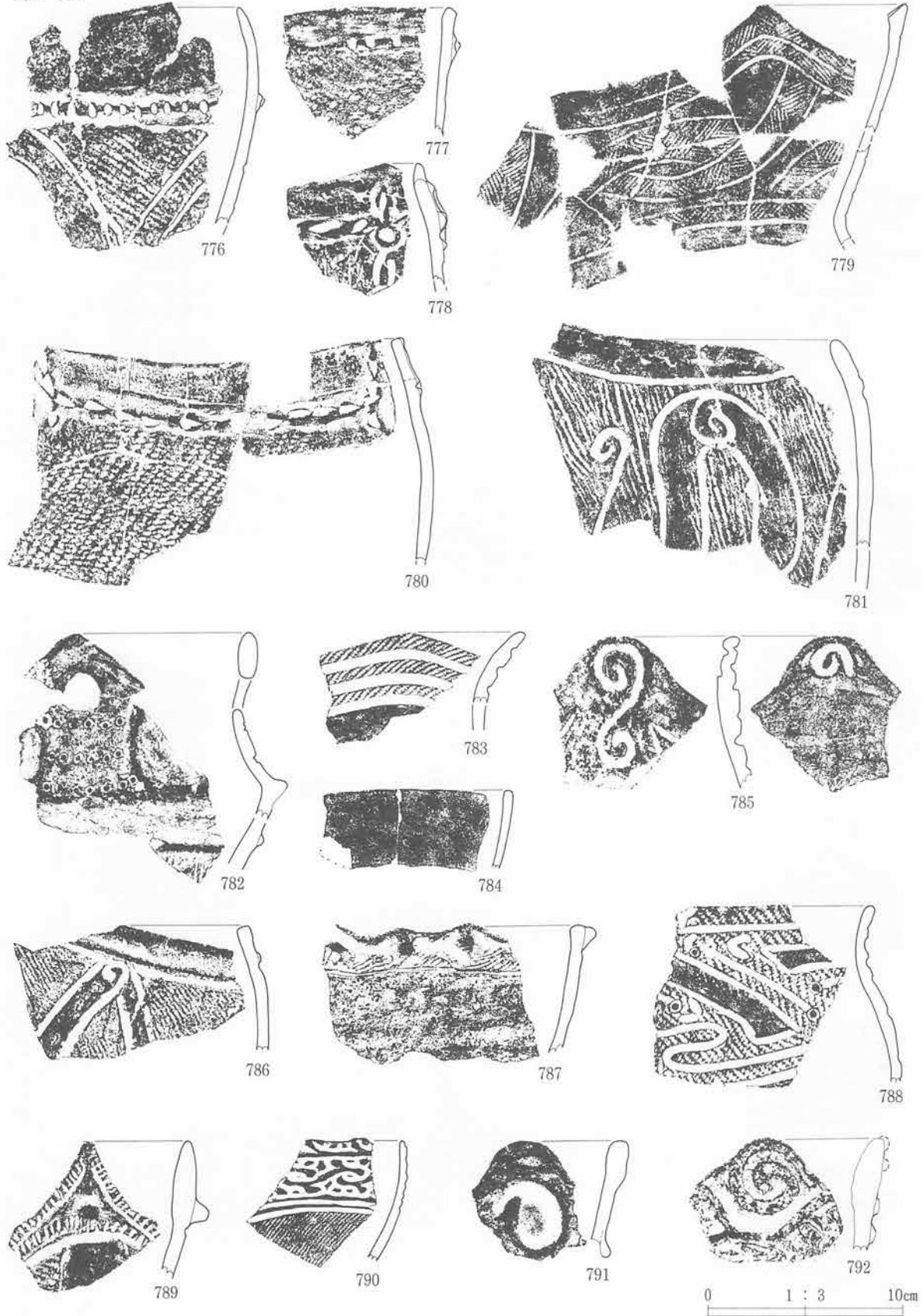
第124図 土器 (64) : 25M (2)、25M、26M、25R、25Q、26 I

26L (1)



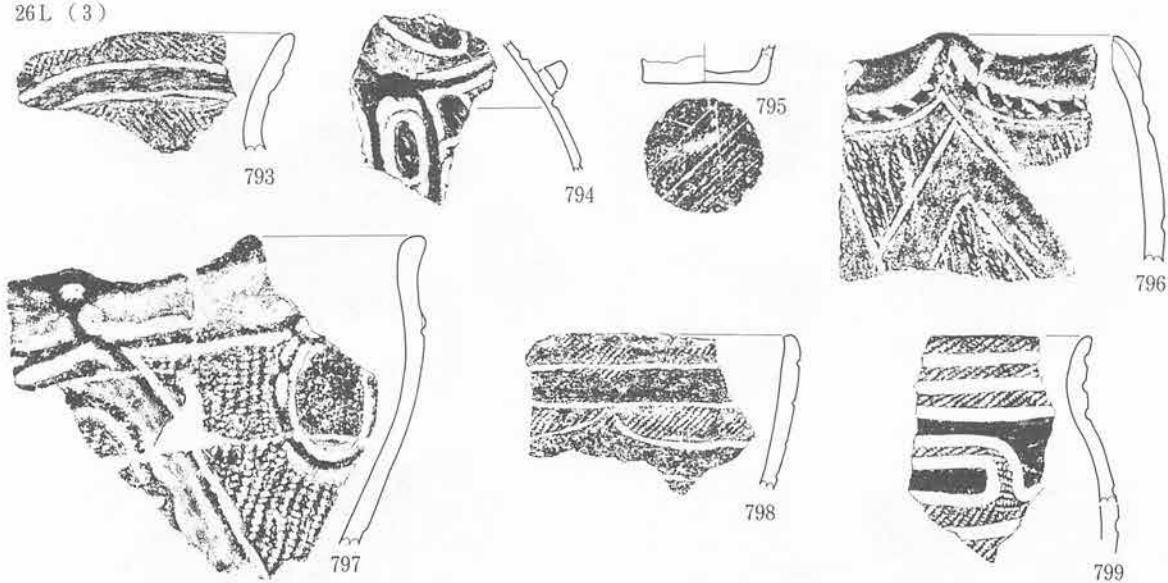
第125图 土器 (65) : 26L (1)

26L (2)

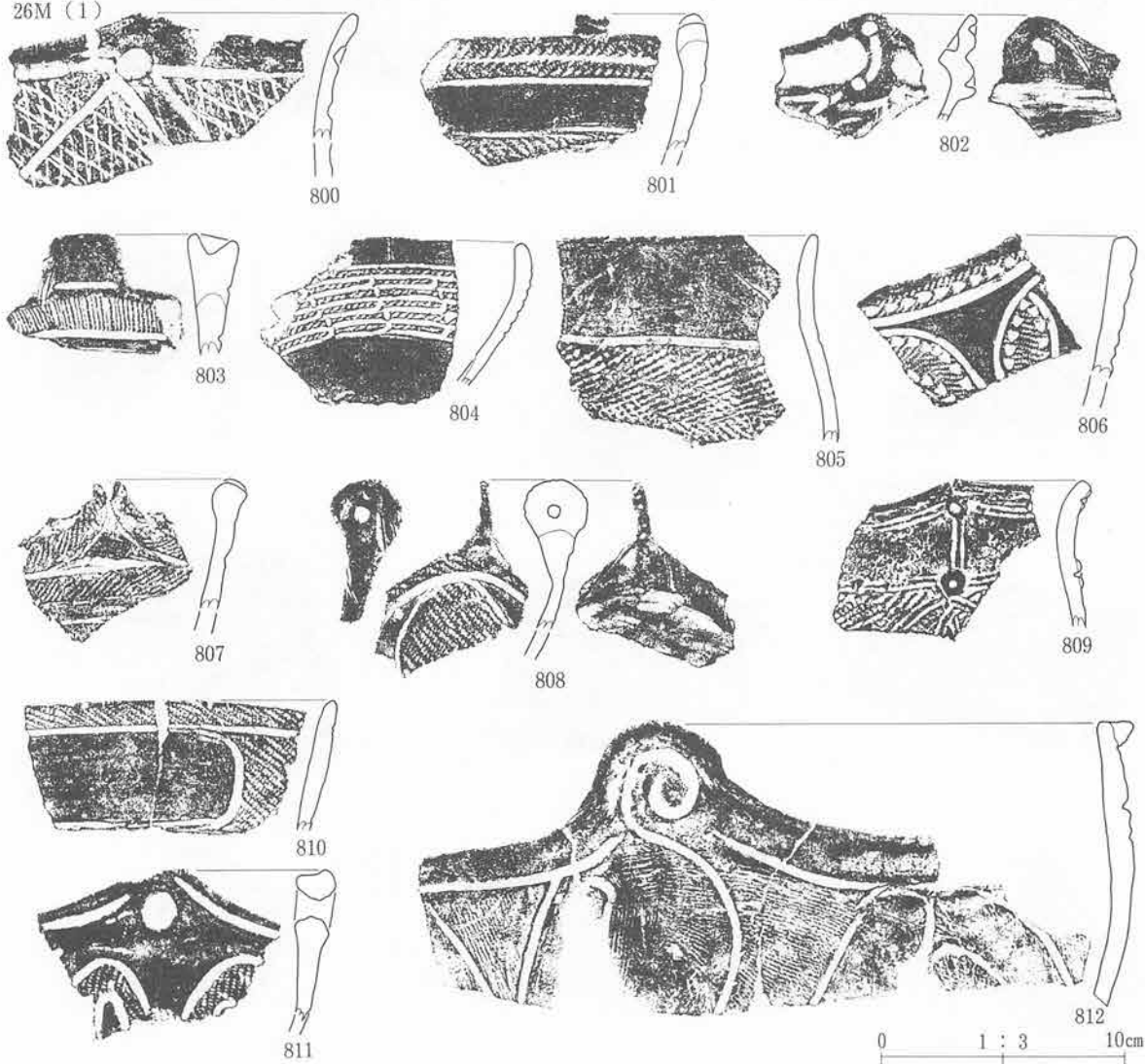


第126図 土器 (66) : 26L (2)

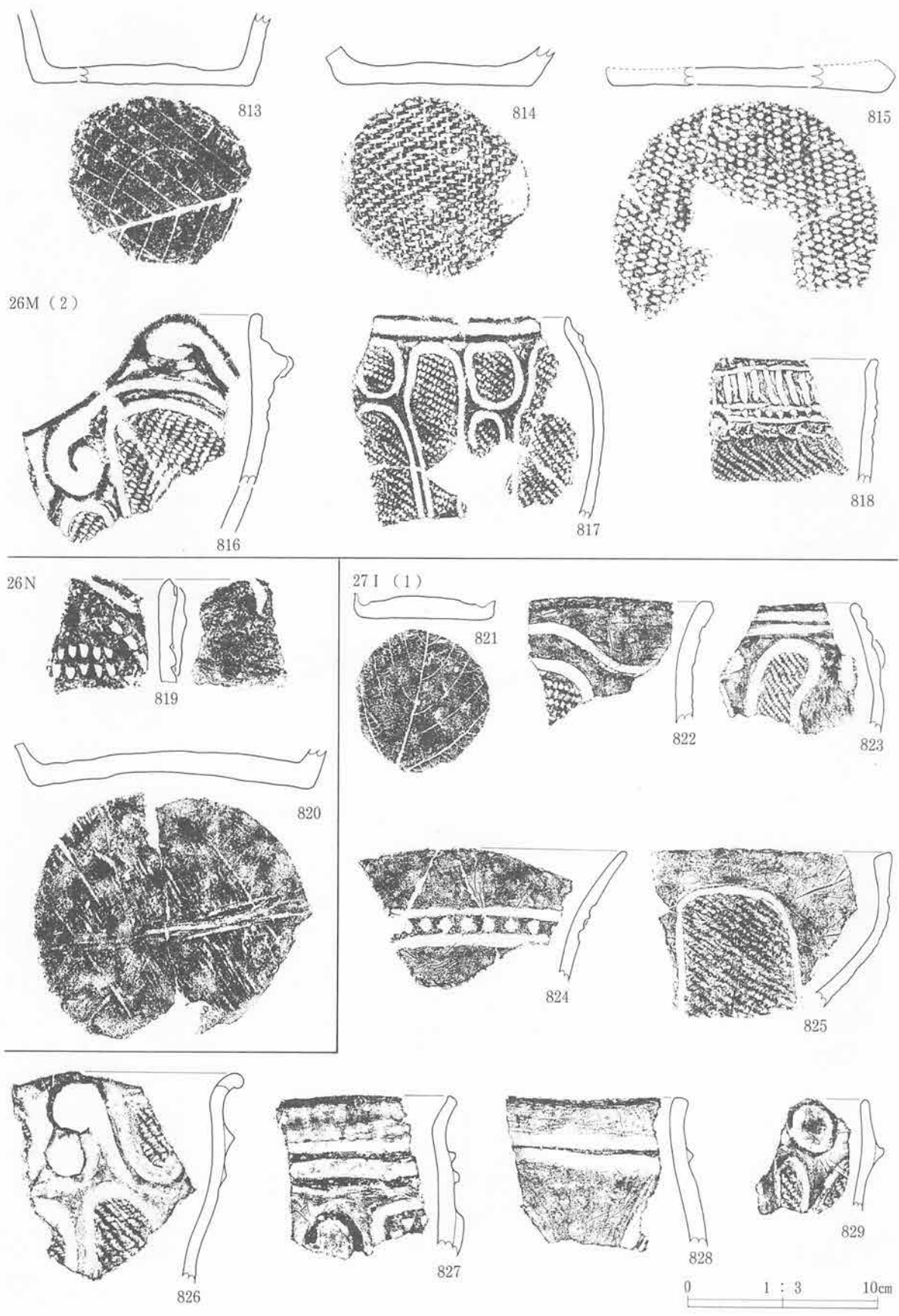
26L (3)



26M (1)

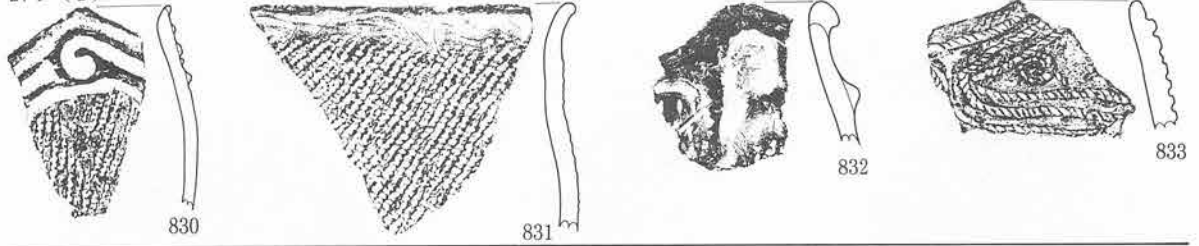


第127图 土器 (67) : 26L (3)、26M (1)

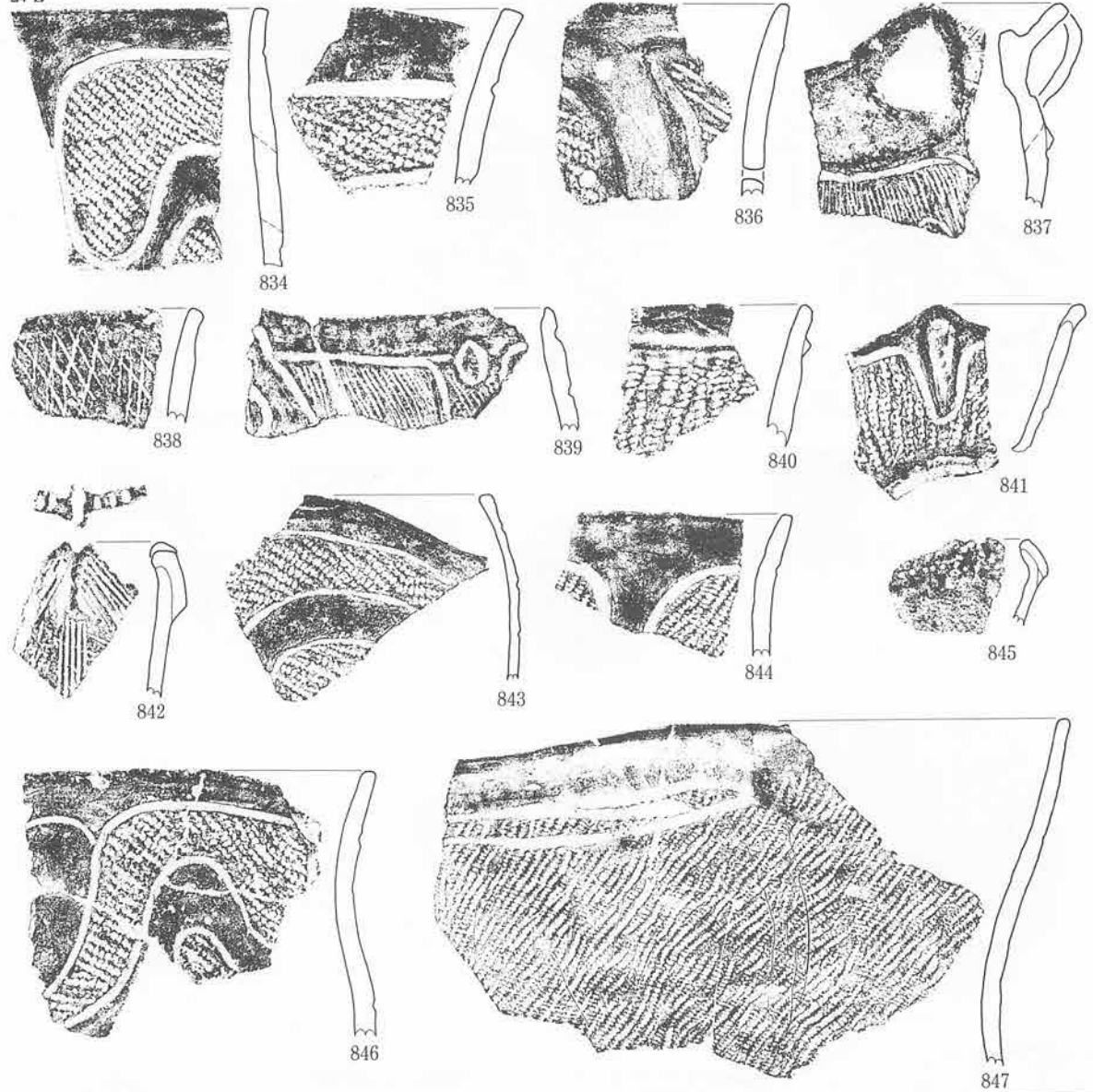


第128図 土器 (68) : 26M (2)、26N、27I (1)

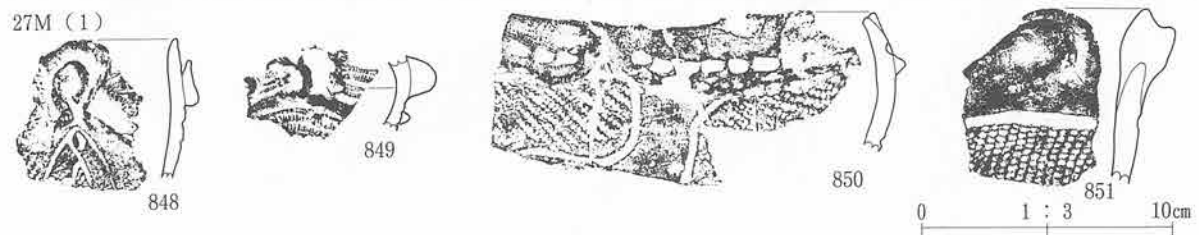
27 I (2)



27 L

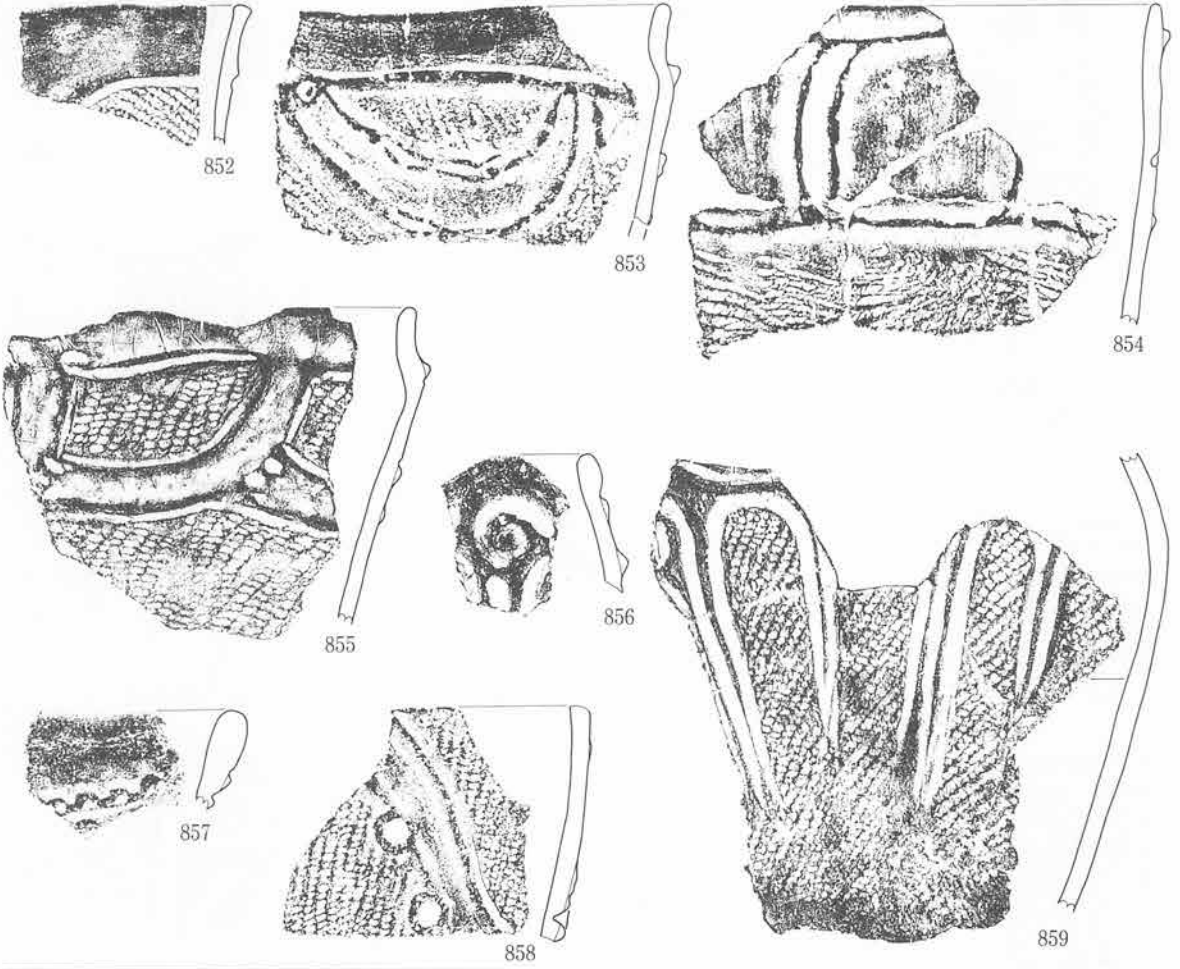


27 M (1)

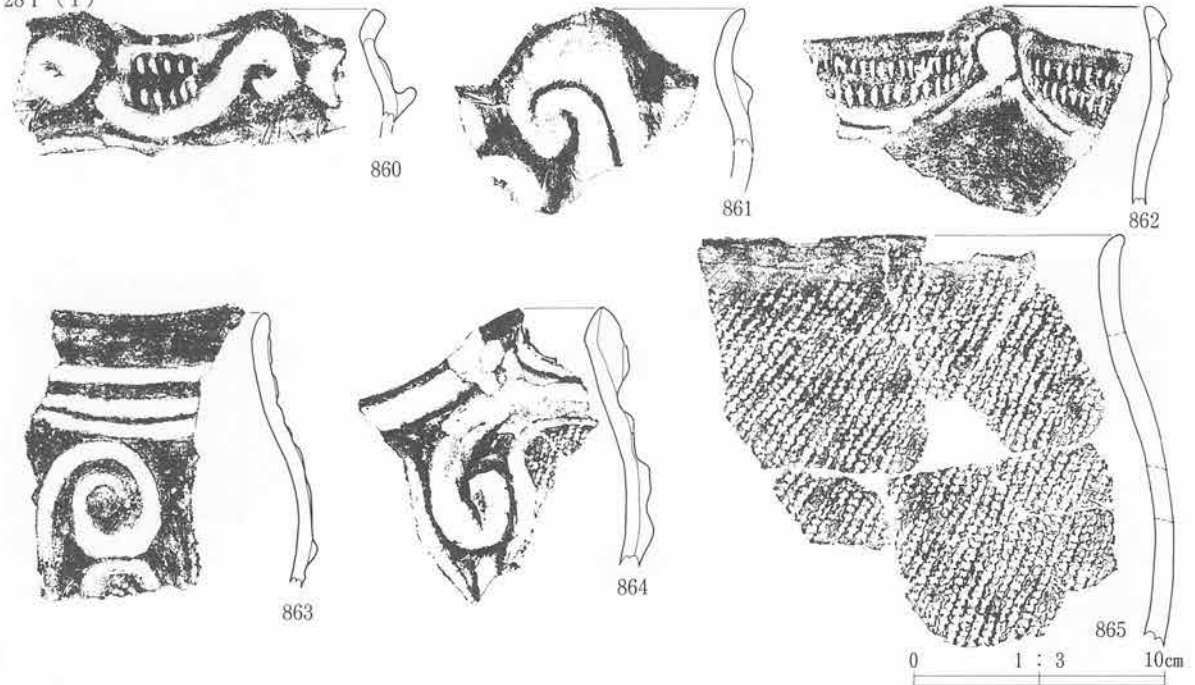


第129図 土器 (69) : 27 I (2)、27 L、27 M (1)

27M (2)

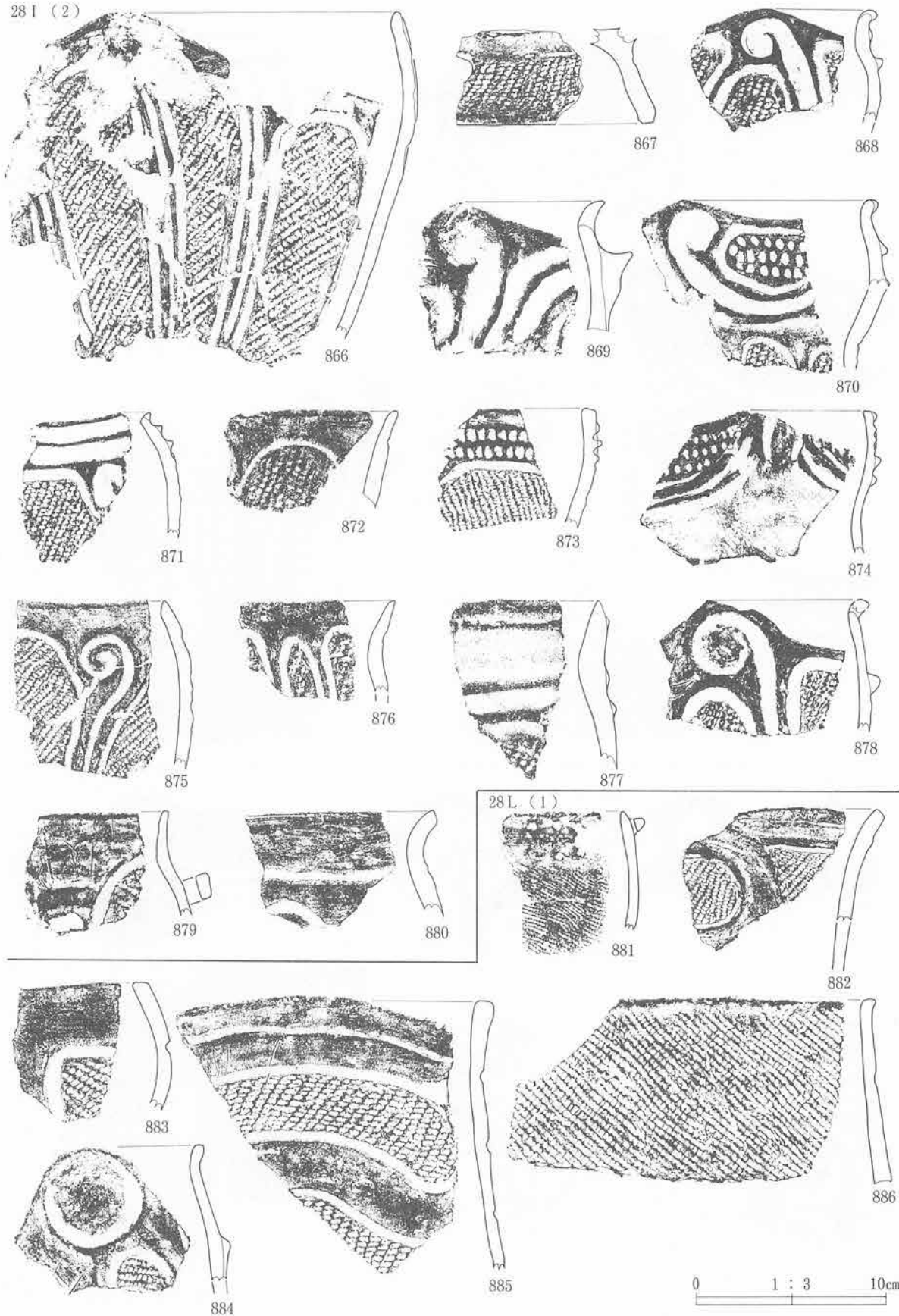


28 I (1)



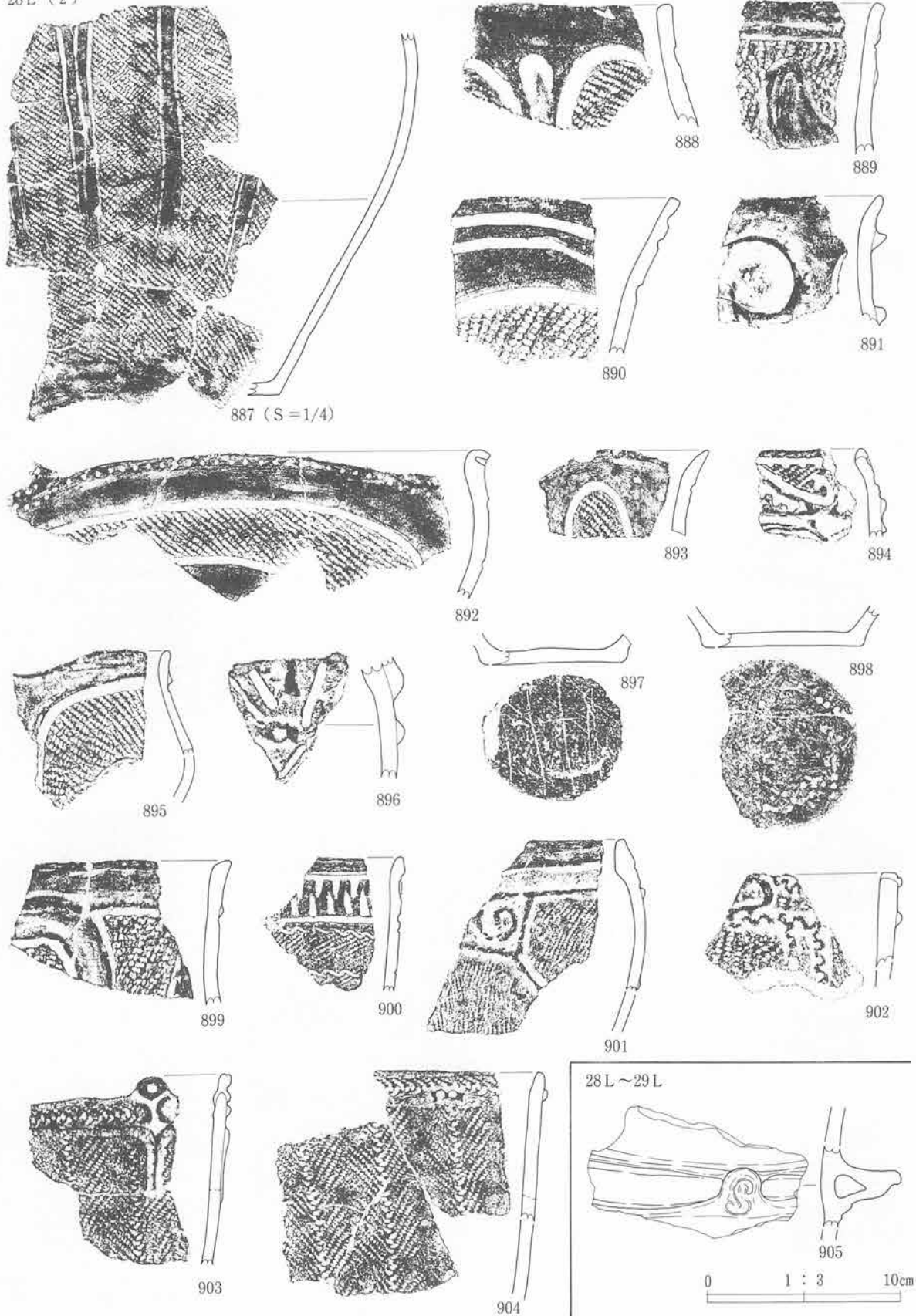
第130图 土器 (70) : 27M (2)、28 I (1)

28 I (2)



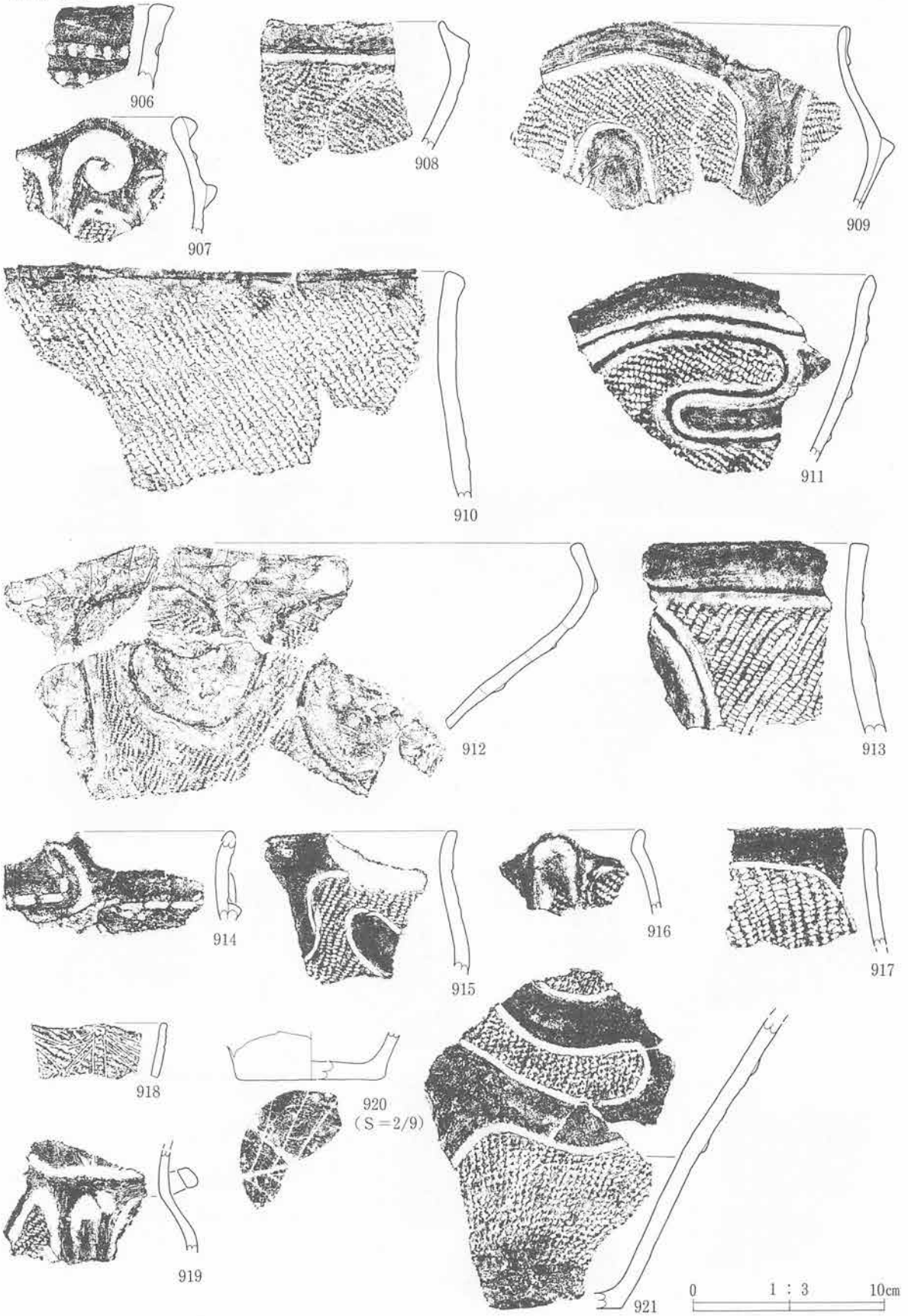
第131图 土器 (71) : 28 I (2)、28 L (1)

28L (2)



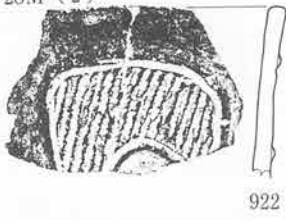
第132図 土器 (72) : 28L (2)、28L~29L

28M (1)

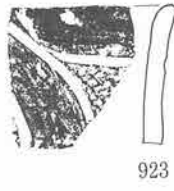


第133図 土器 (73) : 28M (1)

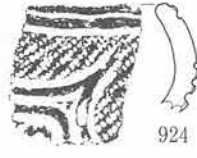
28M (2)



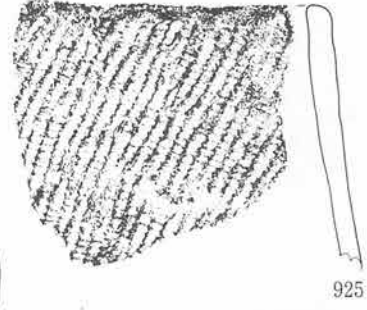
922



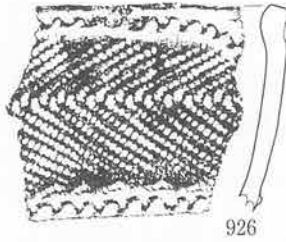
923



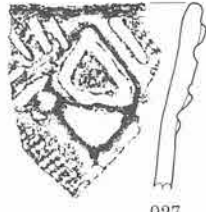
924



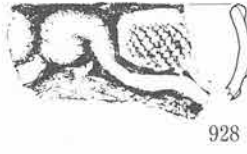
925



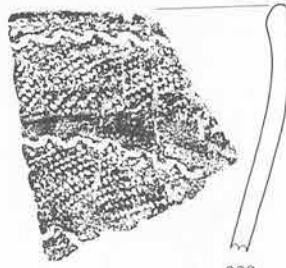
926



927



928



929

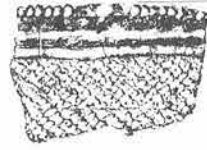


930

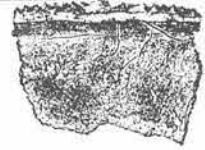


931

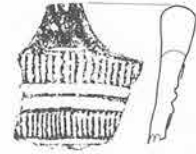
28Q



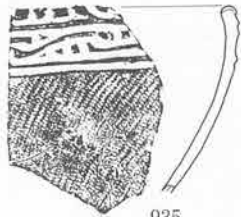
932



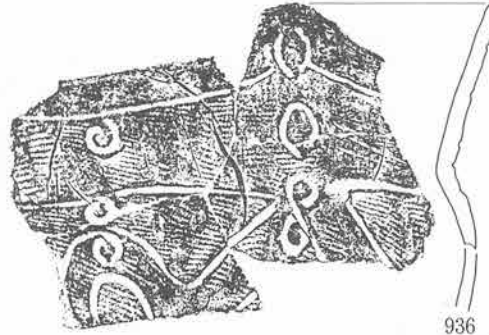
933



934



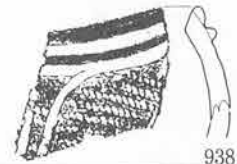
935



936

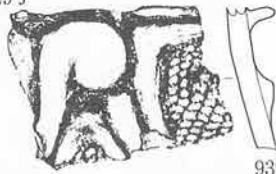


937



938

29J



939

29L (1)



941



943

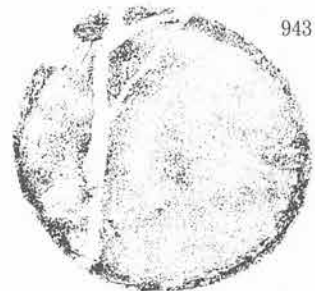
29K



940



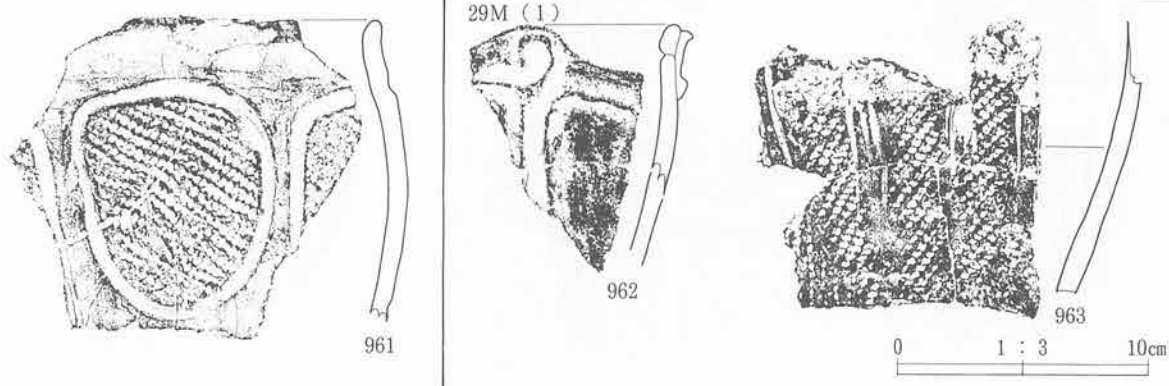
942



0 1 : 3 10cm

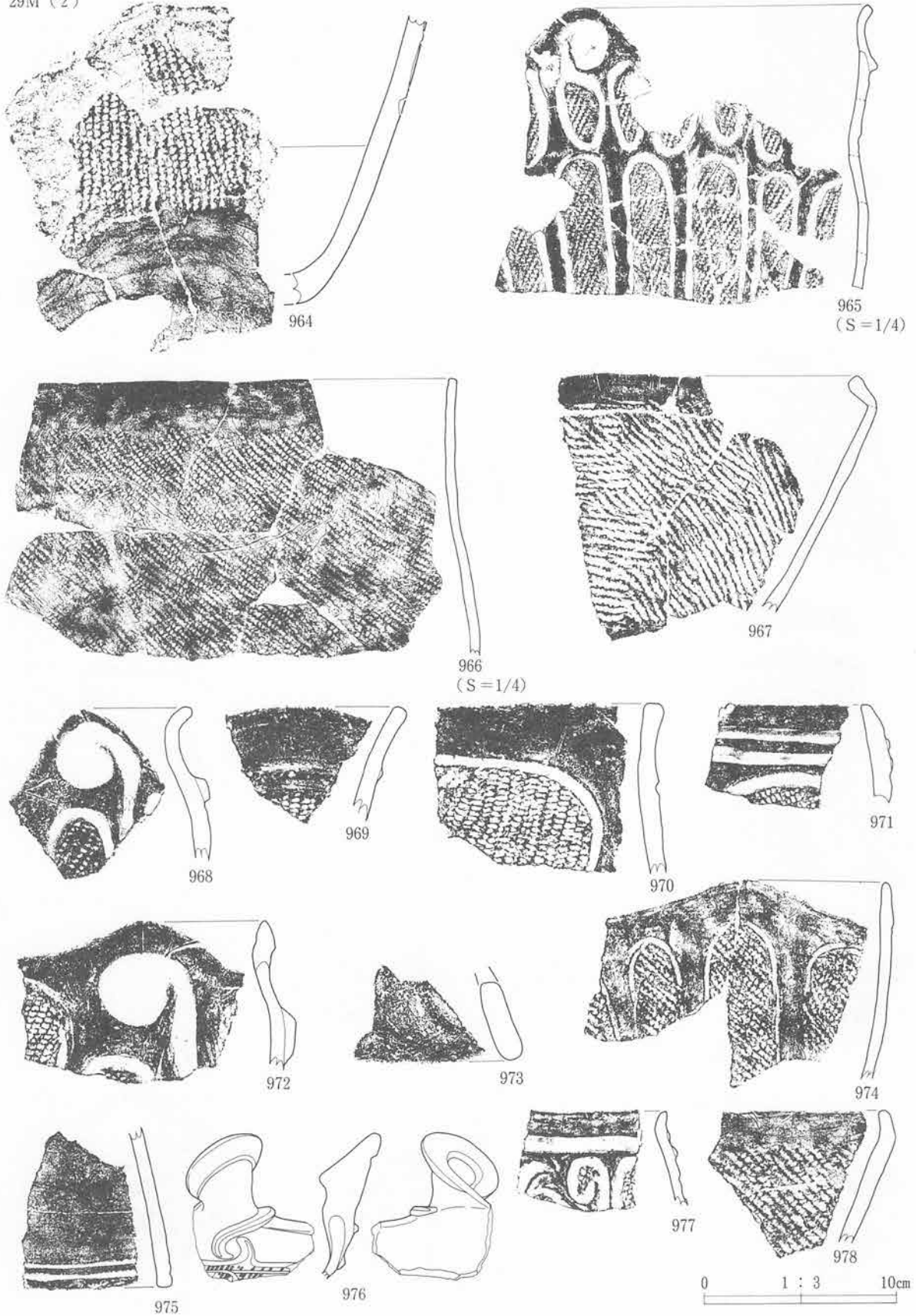
第134图 土器 (74) : 28M (2)、28Q、29J、29K、29L (1)

29L (2)



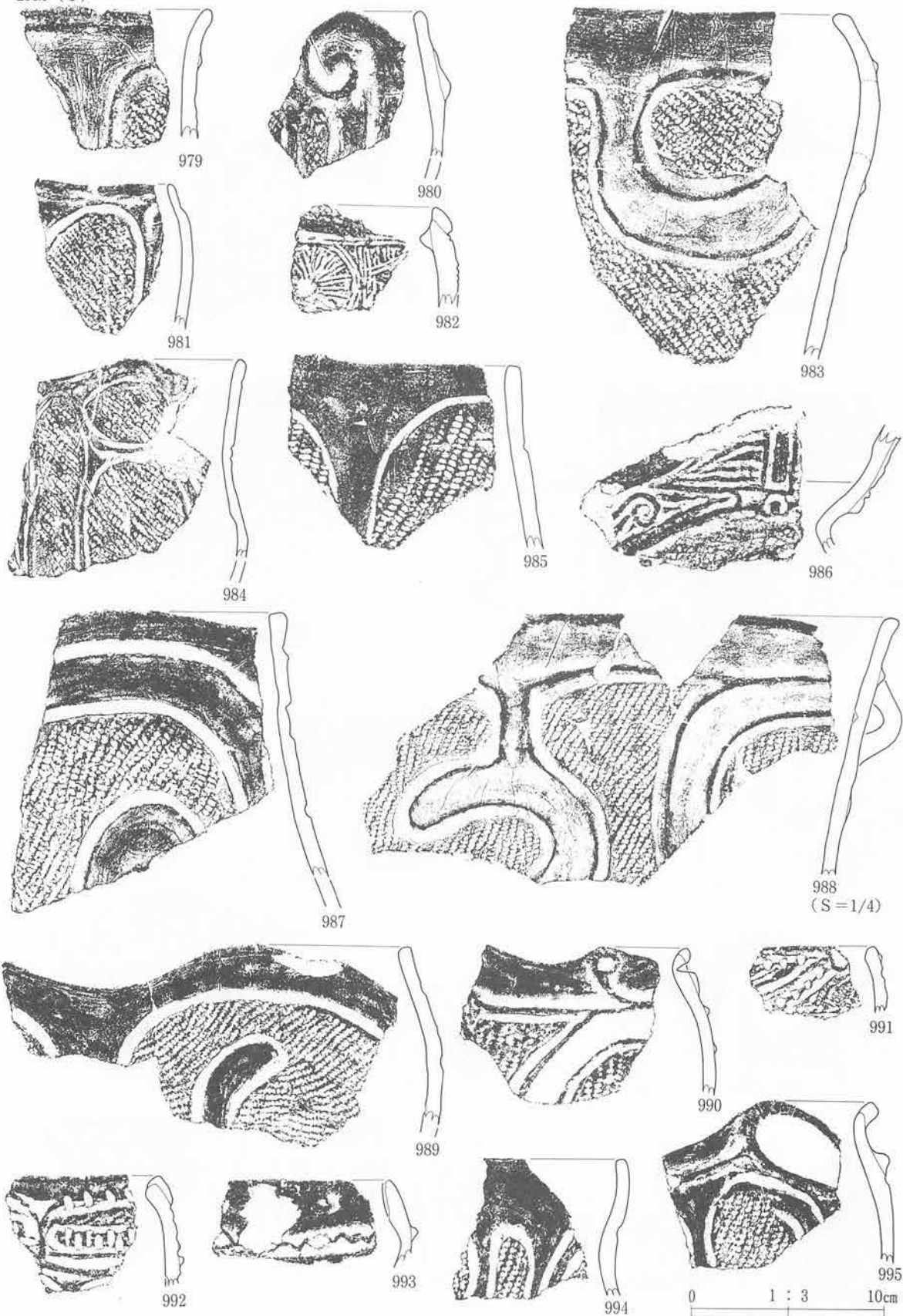
第135图 土器 (75) : 29L (2)、29M (1)

29M (2)

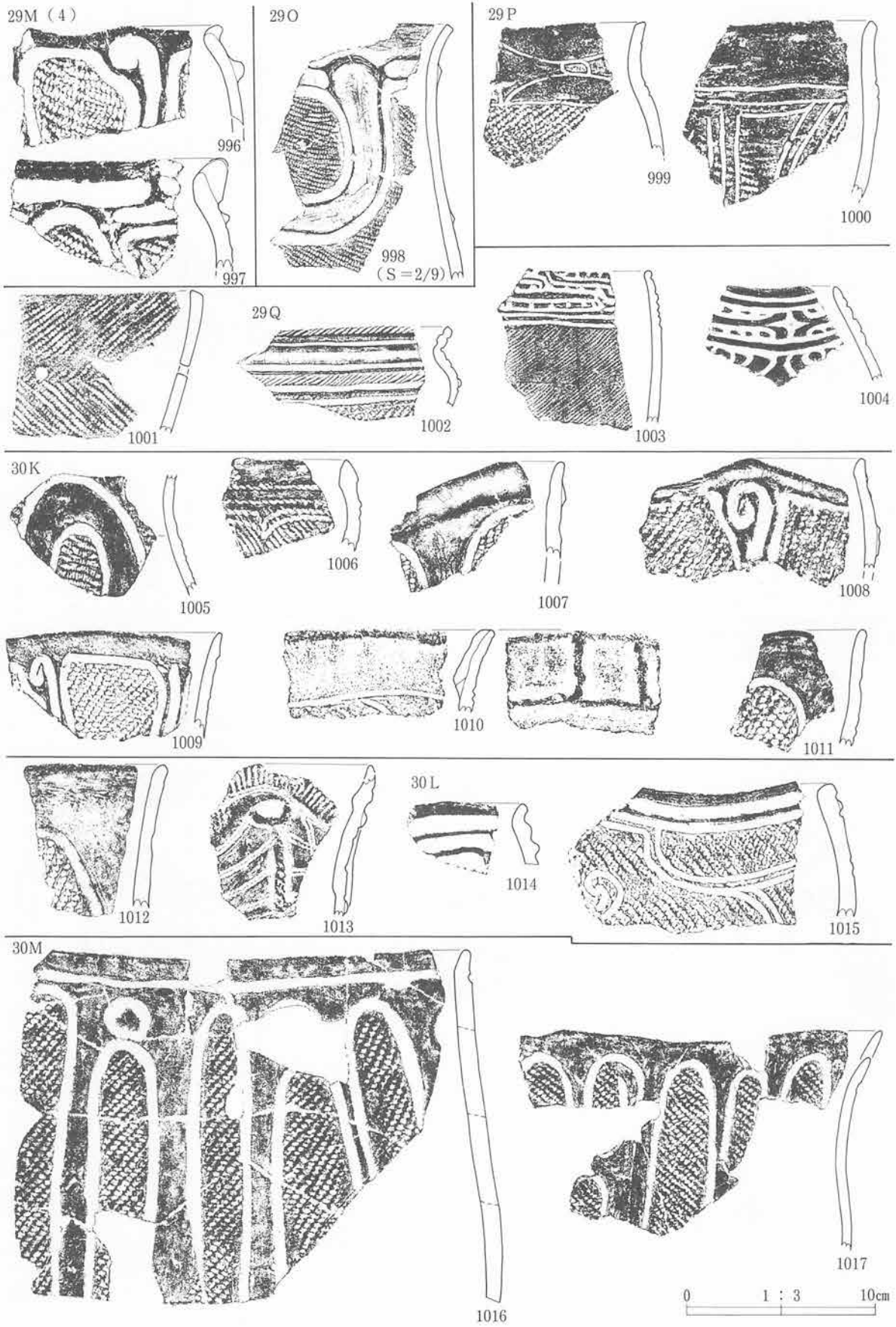


第136図 土器 (76) : 29M (2)

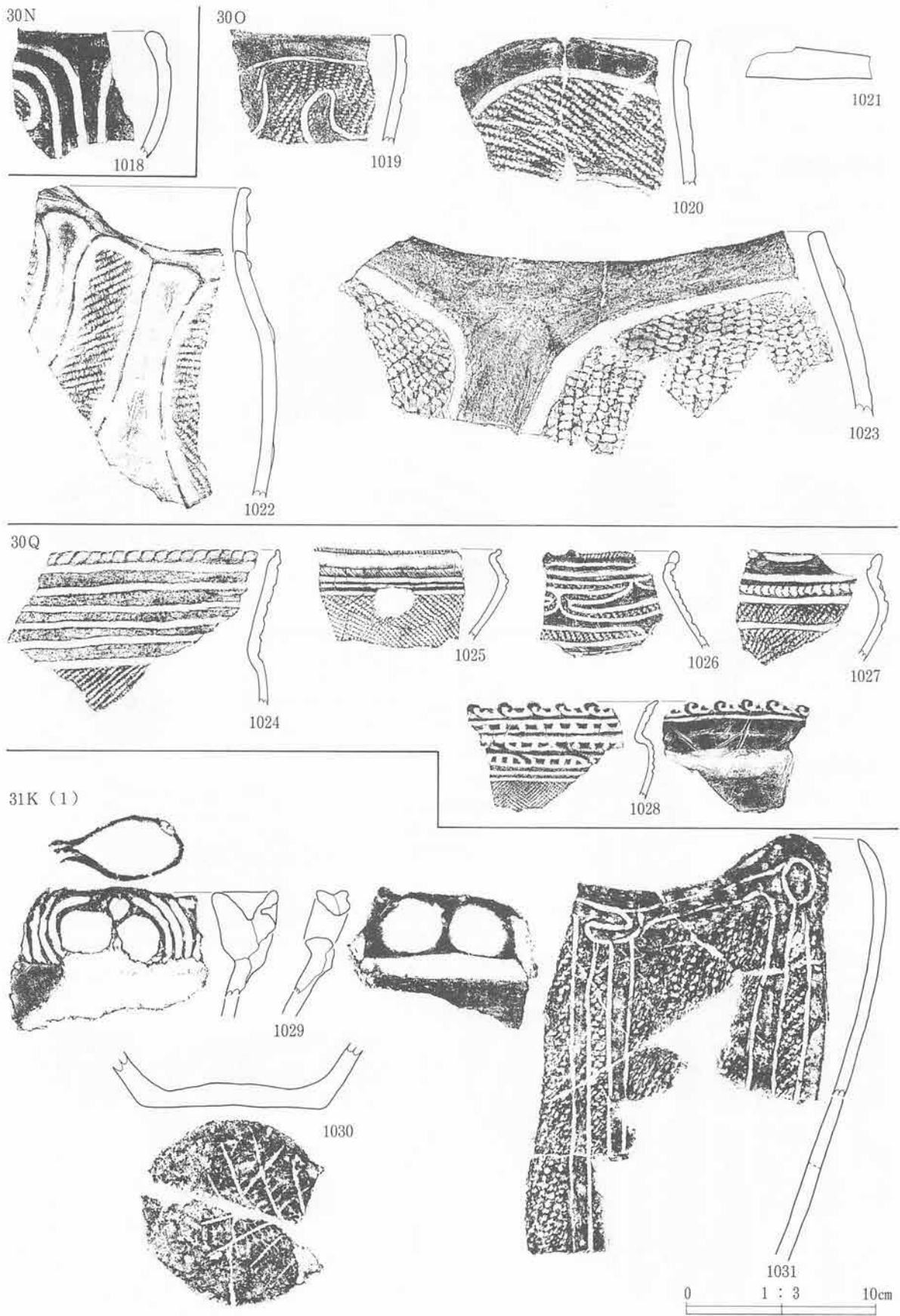
29M (3)



第137图 土器 (77) : 29M (3)



第138图 土器 (78) : 29M (4)、29O、29P、29Q、30K、30L、30M

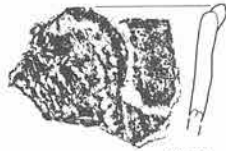
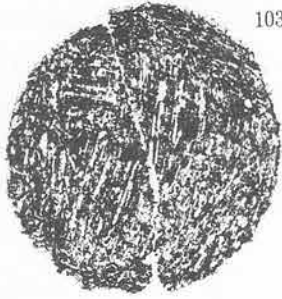


第139図 土器 (79) : 30N、30O、30Q、31K (1)

31K (2)



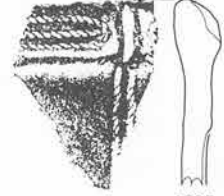
1032



1033



1034



1035

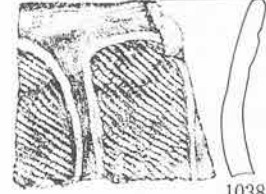
31L



1036



1037



1038

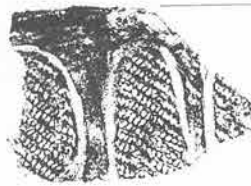
31M



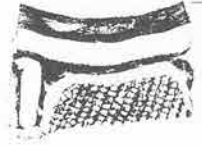
1039



1040



1041



1042

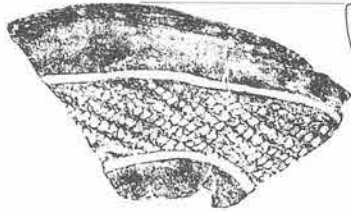
32J



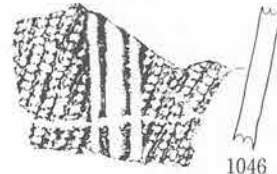
1043



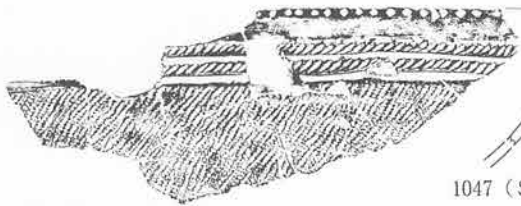
1044



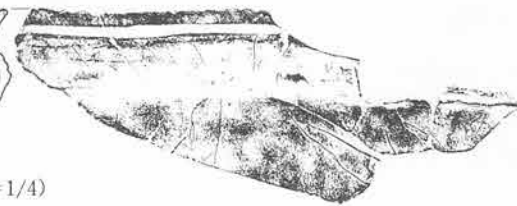
1045



1046



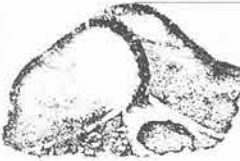
1047 (S=1/4)



32L



1048



1049



1050

32M



1051

33J



1052

0 1 : 3 10cm

第140图 土器 (80) : 31K (2)、31L、31M、32J、32L、32M、33J

2. 土製品（第141～145図、写真図版113～120：1053～1385）

土製品は、302点が出土している。内訳は土偶13点、斧状土製品3点、垂飾品3点、耳飾3点・土錘5点、円盤状土製品275点、三角形状土製品1点、他に製品ではないが焼成粘土塊31点も掲載した。土製品は全点の写真・観察表を掲載し、一部を図示した。個々の土製品の出土地点・計測値・特徴などは第11表 土製品観察表に記載した。時期は、縄文時代前中期から晩期に属する可能性が考えられる。

土偶（第141・142図、写真図版114：1053～1065）

13点出土している。すべて欠損品である。1055の頸部と1063の側面部にはアスファルトが付着している。1053・1057・1059は中空である。後期～晩期に属する土偶が多く出土している。

斧状土製品（第143図、写真図版114：1066～1068）

斧状に作られた土製品で3点出土している。すべて欠損品である。1067はRL縄文の後に沈線が施されている。1068はRL縄文が施されている。

その他の土製品（第143図、写真図版114：1069～1071）

1069・1070は不明土製品で、かなり大型のものである。表面のみに縄文が施文されている。1071は欠損品だが、三角状を呈するものと思われ、表面は沈線と刺突による文様が施文され、3ヶ所の穿孔が確認できる。

耳飾品（第143図、写真図版114：1072・1073）

1072・1073は、いわゆる滑車型耳飾りと思われる。いずれも欠損品であるが、1072は両面に、1073は両面と側縁に刺突列による文様を施している。

有孔土製品（第143図、写真図版114：1074～1078）

穿孔された土製品5点を一括する。1074は単軸方向に穿孔がある。1075は単軸方向の一端にアスファルトが付着している。1076～1078は土錘と思われる。やや方形がかかるものと円筒状のものがあるが、いずれも長軸方向に穿孔され、貫通孔がある。

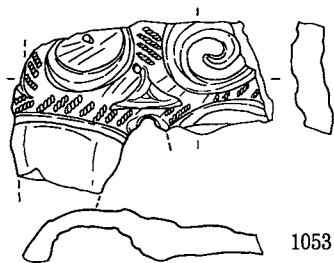
円盤状土製品（第144～145図、写真図版115～120：1079～1353）

土器の破片を再利用して、円盤状に加工したものである。275点出土している。うち108点が欠損品である。使用されている土器片は、中期の土器片265点、後期の土器片4点、晩期の土器片6点である。

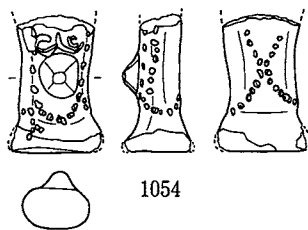
大きさの平均は4.0～3.5cm、重量は15～17gである。周縁加工は、打ち欠きと全周あるいは部分を研磨するものがある。使用される部位は胴部破片が多い。穿孔を有する円盤状土製品は出土していない。

三角形状土製品（第145図、写真図版120：1354）

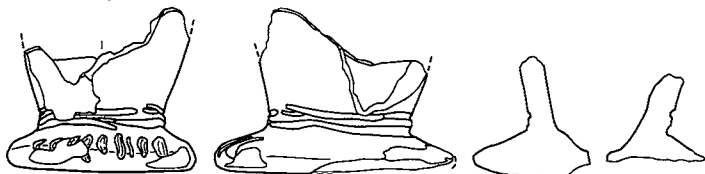
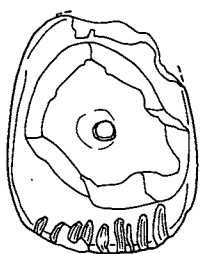
三角形状に整形された土製品が1点出土している。土器の胴部破片を用い、周縁は部分研磨している。



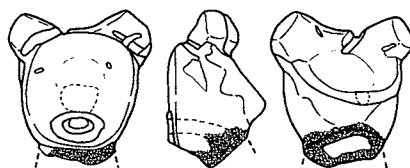
1053



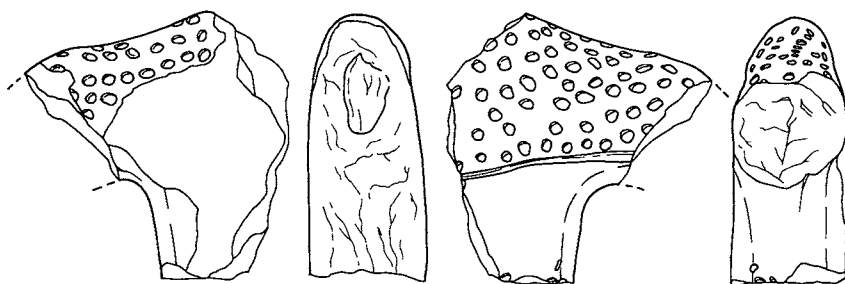
1054



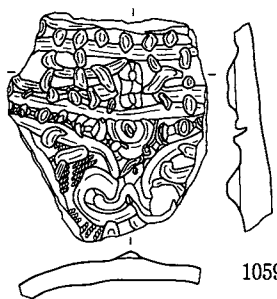
1057



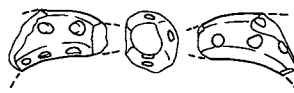
1055



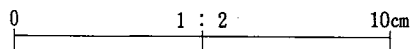
1058



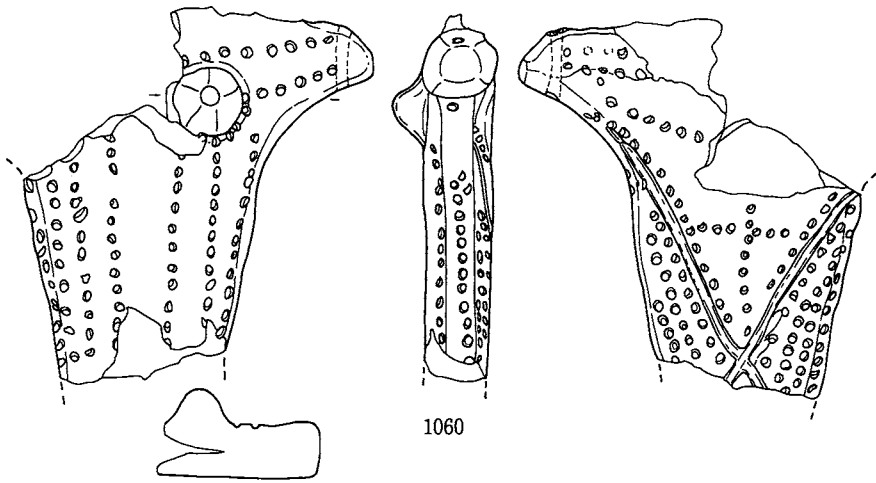
1059



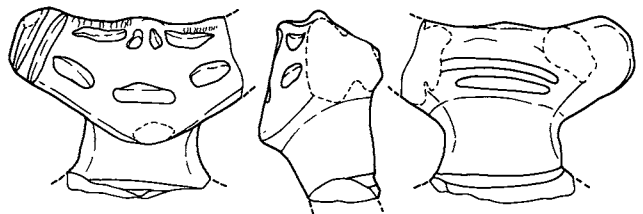
1056



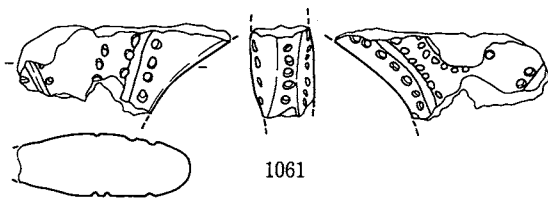
第141图 土製品(1)



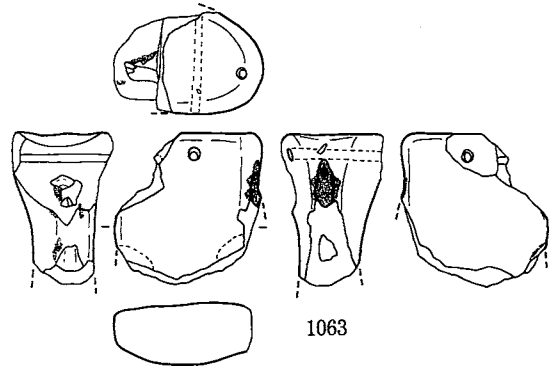
1060



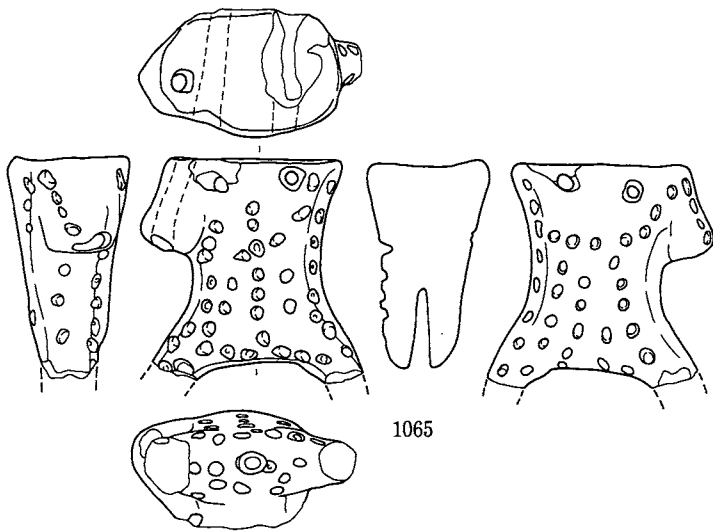
1062



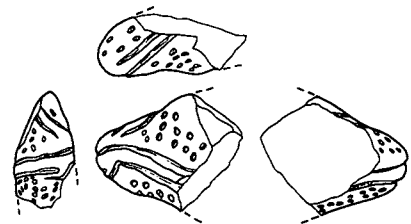
1061



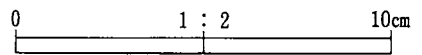
1063



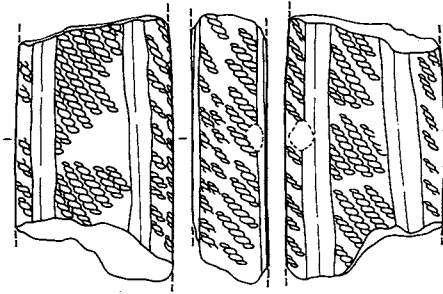
1065



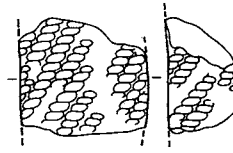
1064



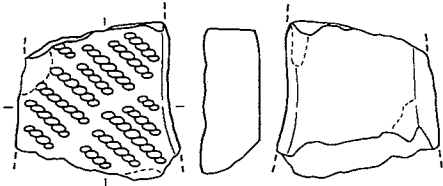
第142図 土製品(2)



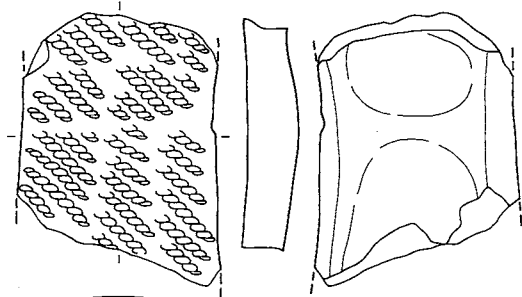
1067



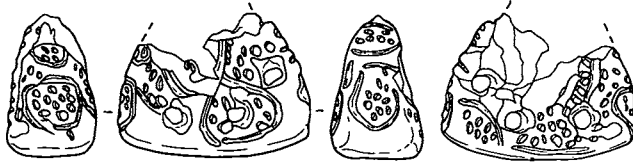
1068



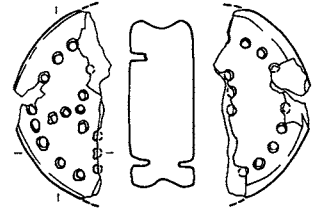
1069



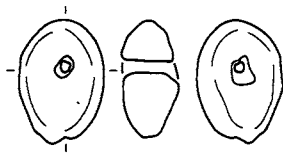
1070



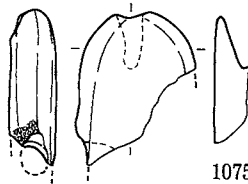
1071



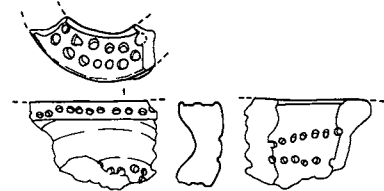
1072



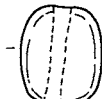
1074



1075



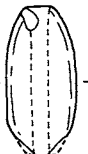
1073



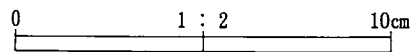
1076



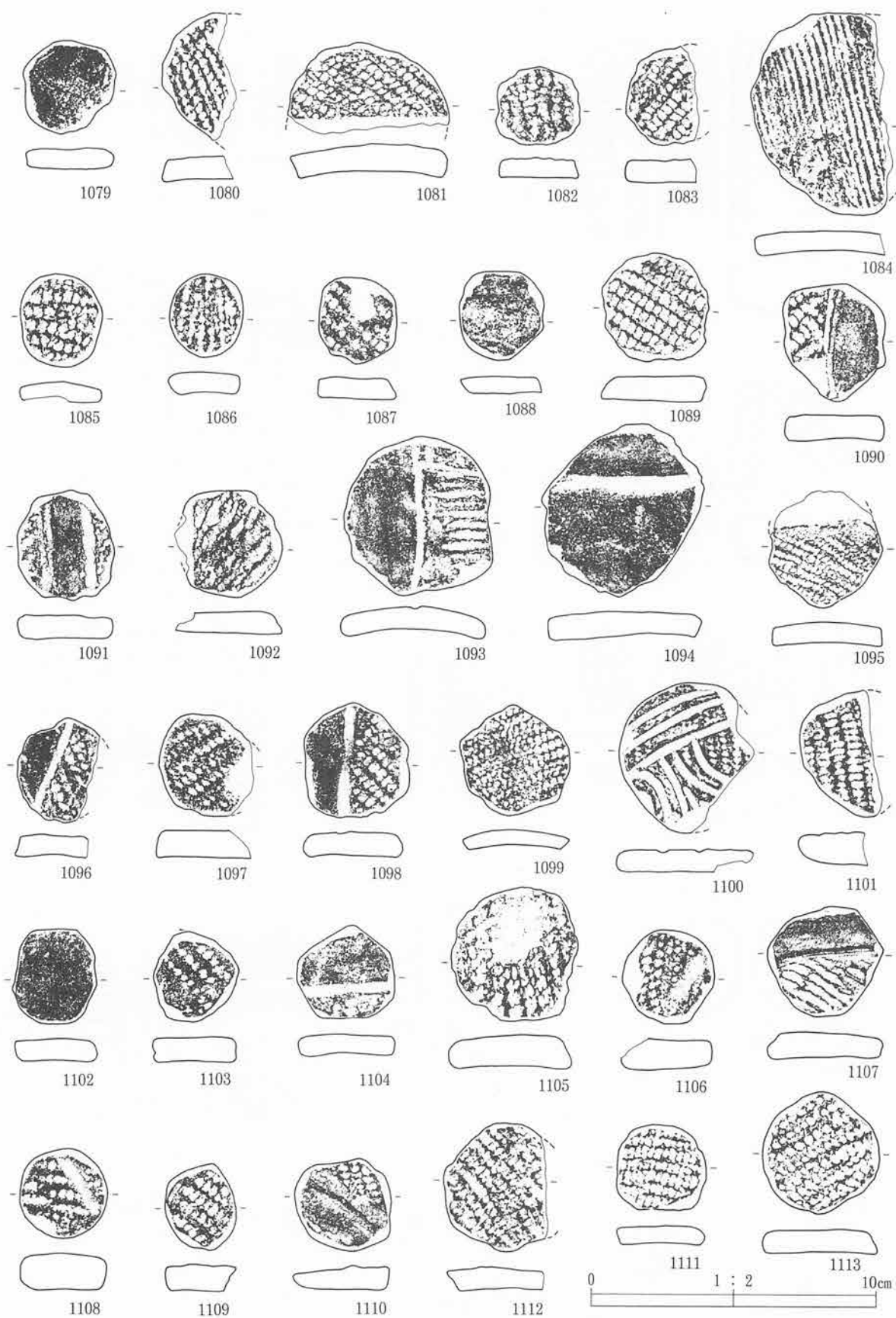
1077



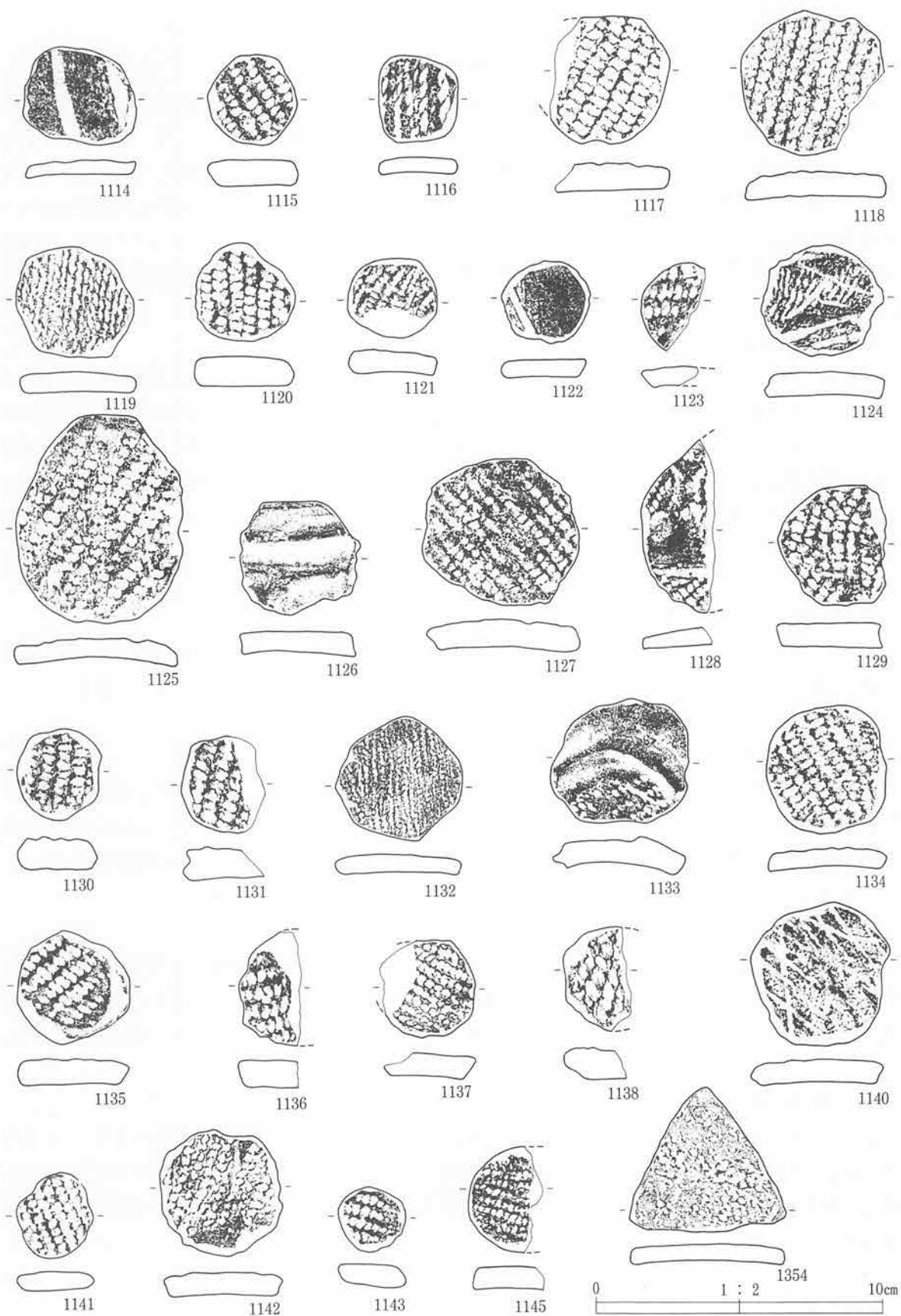
1078



第143图 土製品 (3)



第144图 土製品 (4)



第145图 土製品 (5)

3. 石器（第146～151図、写真図版121～147：1401～2088）

石器は、大コンテナ（T40：42×32×30cm）10箱（総重量71.2476kg）出土しており、製品として選別・登録した点数は661点である。全点について写真・観察表を付し、61点について図示した。内訳は、石鏃126点、尖頭状石器30点、石錐26点、石匙27点、不定形石器101点、両極石器33点、RF66点、石核11点、打製石斧6点、磨製石斧31点、擦石104点、敲打石37点、凹石60点、石皿類11点である。他に石材の産地同定を行った黒曜石の剥片19点（1810～1828）を参考までに掲載した。貯蔵剥片（4地点164点）については、第七章1 貯蔵剥片の項を参照されたい。個々の石器の計測値と石材・特徴については観察表に記載している。

石鏃（第146図、写真図版121・122：1401～1526）

矢の先に装着して用いたと思われる石器で、126点出土しており、13点を図示した。形態的な特徴は、尖頭部と巾広の基部を有し、左右対象で、断面形は凸レンズ状もしくは扁平である。大きさの平均は、長さは1.8cm～6.3cm、幅は1.0cm～1.8cm、重量は0.64g～4.42gである。基部の形態から分類すると、凹基無茎鏃81点・凸基有茎鏃13点・円基鏃6点・平基鏃8点、尖基鏃1点・不明13点である。欠損部位は尖頭部と基部が多い。1410はアスファルトが付着している。石材は、頁岩（84）・珪質頁岩（7）・赤色頁岩（18）・めのう（5）・チャート（3）・黒曜石（5）・凝灰岩（3）が使用されている。

尖頭状石器（第146図、写真図版122・123：1527～1555・1556）

石鏃より大型で、刺突具として使用された可能性がある。29点出土している。1556は尖頭器である。石材は頁岩（17）・珪質頁岩（1）・赤色頁岩（8）・チャート（1）・ホルンフェルス（1）である。

石錐（第146図、写真図版123：1557～1582）

穿孔具として使われた可能性の高いものである。剥片の素材を残し、一端に加工を施し、錐部を作っているもの、棒状のもの、摘みを有するものがある。錐部の断面形は、菱形や四角形である。26点出土しており、8点を図示した。石材は、頁岩（20）・珪質頁岩（2）・赤色頁岩（1）・チャート（3）が使用されている。

石匙（第147図、写真図版124：1583～1609）

両側ないし片側から抉りを入れて作った摘み部と刃部をもつ石器である。27点出土しており、6点図示した。摘み部と刃部の位置関係から、摘み部が刃部と並行に作り出されている縦型（18）と、摘み部が刃部に直交するように作りだされている横型（9）がある。石材は、頁岩（26）・凝灰岩（1）が使用されている。

不定形石器（第147・148図、写真図版125～128：1610～1710）

定形化していない不定形な石器で、削る掻くの用途が考えられるもので、機能から削搔器と考えられるものである。101点出土しており、6点を図示した。1側縁ないし2側縁に直線的な刃部を有するもの（削器）、端部に凸状で急斜度の刃部を形成しているもの（搔器）などがある。石材は、頁岩（81）・珪質頁岩（4）・赤色頁岩（8）・めのう（2）・チャート（3）・凝灰岩（3）が使用されている。

両極石器（第148図、写真図版128：1711～1743）

対向する2側縁あるいは4側縁に剥離をもち、両極打法によりつくられた石器である。33点出土している。

形状は方形ないし台形状を呈し、大きさは、1.7～3.6cm、重さは、0.6～2.8g前後である。石材は、頁岩(24)・珪質頁岩(1)・赤色頁岩(4)・チャート(1)・黒曜石(2)・凝灰岩(1)が使用されている。

リタッチド・フレイク(R・F)(写真図版129～130:1744～1809)

二次加工が認められる剥片で、66点出土している。石材は、頁岩(54)・赤色頁岩(7)・チャート(2)・黒曜石(1)・凝灰岩(2)が使用されている。

石核(写真図版131:1829～1839)

残核が11点出土している。石材は頁岩(10)・チャート(1)が使用されている。

打製石斧(写真図版132:1840～1845)

打ち欠きにより石斧の形状に整え、刃部を有する石器である。6点出土している。平面形は、ばち形を呈するものが多く、断面形は凸レンズ状を呈する。石材は頁岩(3)・泥岩(1)・砂岩(2)が使用されている。

磨製石斧(第148図、写真図版132・133:1846～1876)

研磨により石斧の形状に整えたものである。破片を含め31点出土しており、7点を図示した。欠損品が多い。1874は擦切磨製石斧である。石材は、頁岩(4)・泥岩(4)・凝灰岩(3)・凝灰質砂岩(1)・砂岩(6)・安山岩(1)・斑禰岩(5)・玢岩(5)・ホルンヘルス(1)が使用されている。

擦石(第149図、写真図版134～138:1877～1980)

円形基調の自然礫の一部や全部に擦痕を有する礫で、104点出土しており、6点を図示した。敲打石や凹石と複合する。石材は、泥岩(1)・凝灰質砂岩(1)・砂岩(10)・安山岩(2)・斑禰岩(3)・礫岩(1)・花崗閃緑岩(29)・斑岩(4)・玢岩(44)・ホルンフェルス(1)・デイサイト(7)が使用されている。

敲打石(第150図、写真図版140・141:1981～2017)

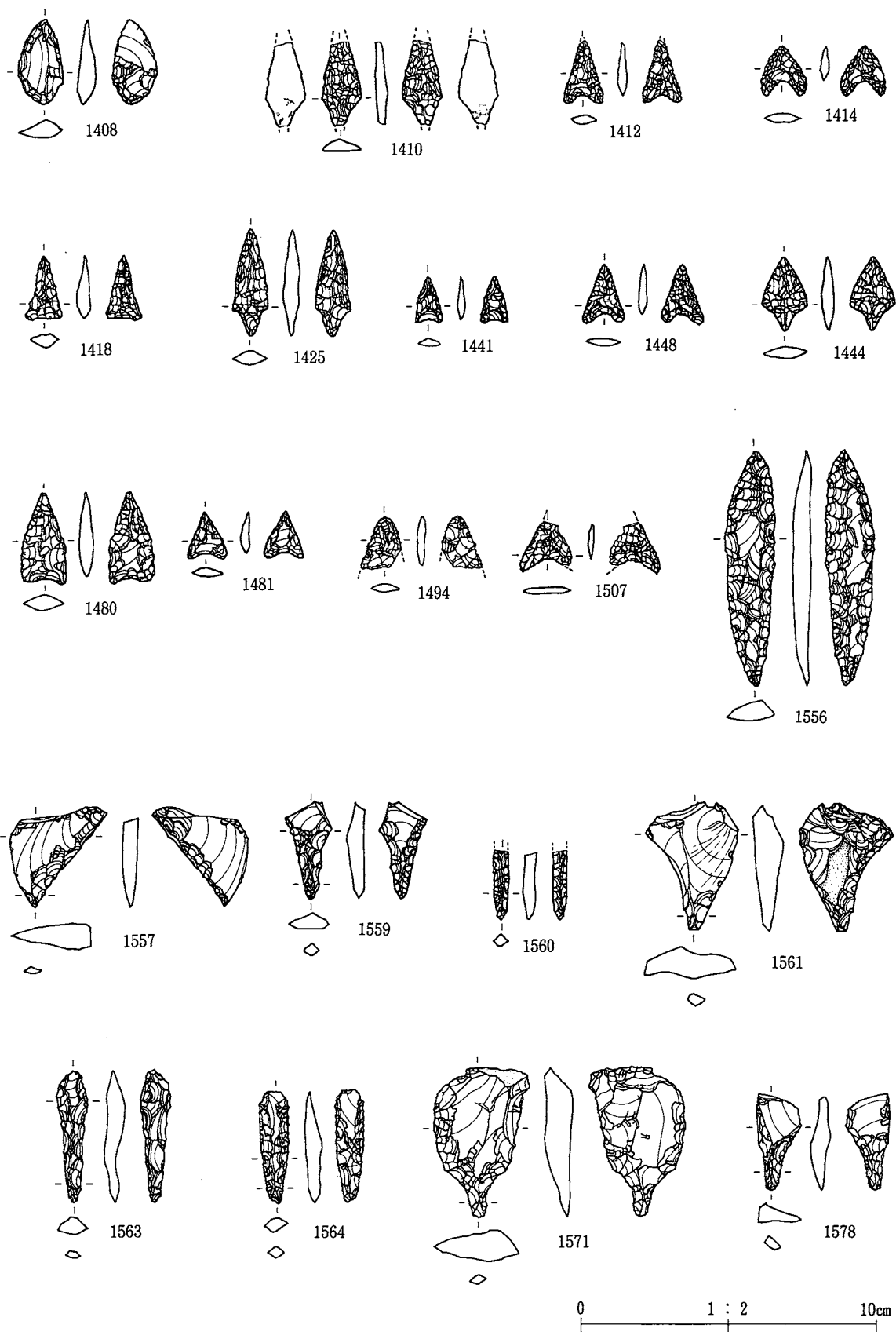
円形基調の自然礫の一部や全部に敲打痕を有する礫で、37点出土しており、5点を図示した。礫の周縁に敲打痕を有するものと、端部に敲打痕を有するものがある。石材は、頁岩(15)・凝灰岩(2)・凝灰質砂岩(3)・砂岩(10)・スレート(1)・斑禰岩(1)・礫岩(2)・玢岩(2)が使用されている。

凹石(第150・151図、写真図版142～146:2018～2077)

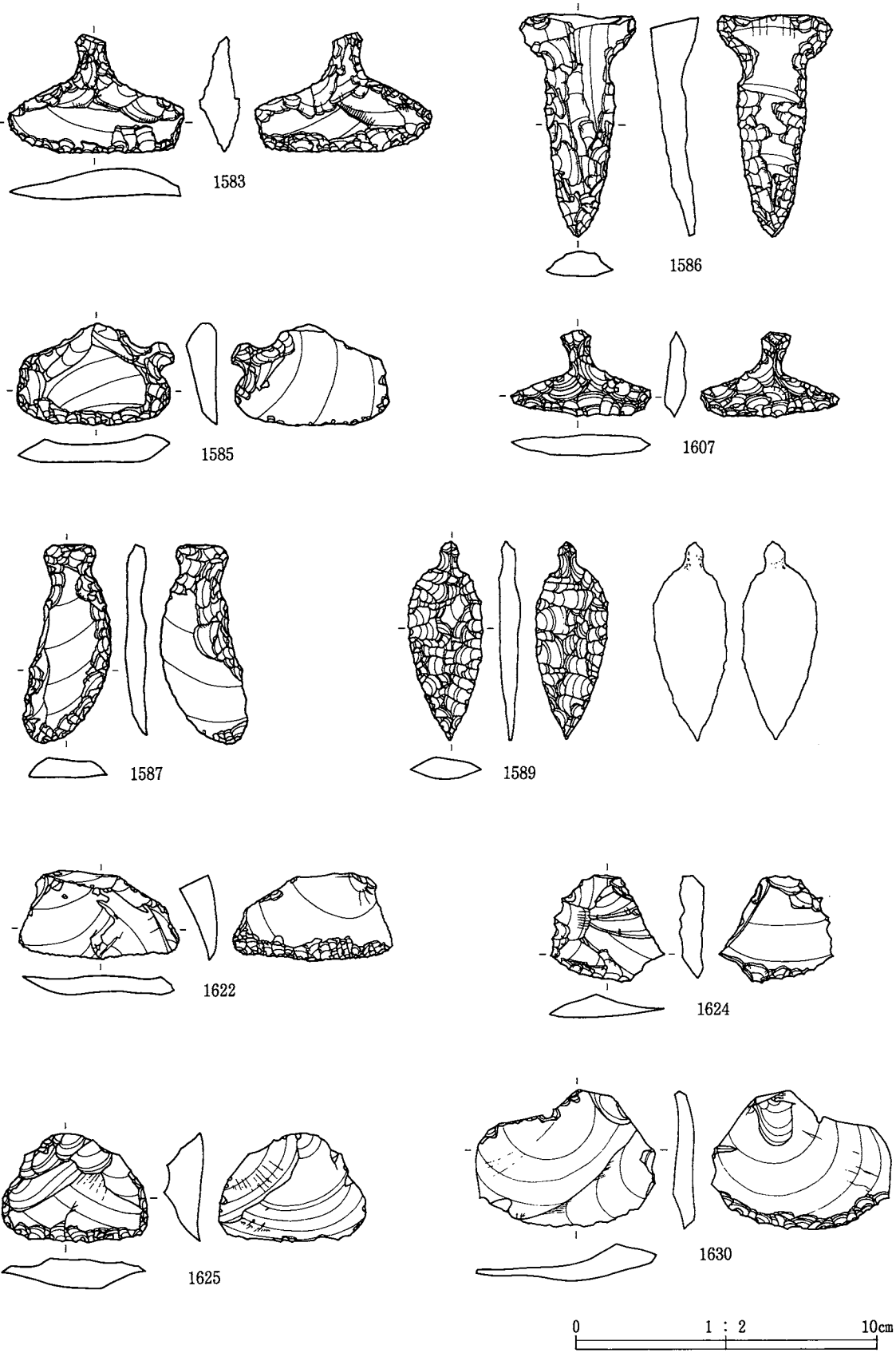
円形基調や棒状の自然礫の片面や両面あるいは複数面に敲打による凹を有する石器である。60点出土しており、6点を図示した。凹の形状には円錐状、溝状、敲打が浅く凹に至らないものがある。石材は、頁岩(1)・珪質頁岩(1)・チャート(1)・凝灰岩(25)・凝灰質砂岩(13)・砂岩(9)・礫岩(4)・花崗閃緑岩(3)・斑岩(1)・ホルンフェルス(1)が使用されている。

石皿(第151図、写真図版147:2078～2088)

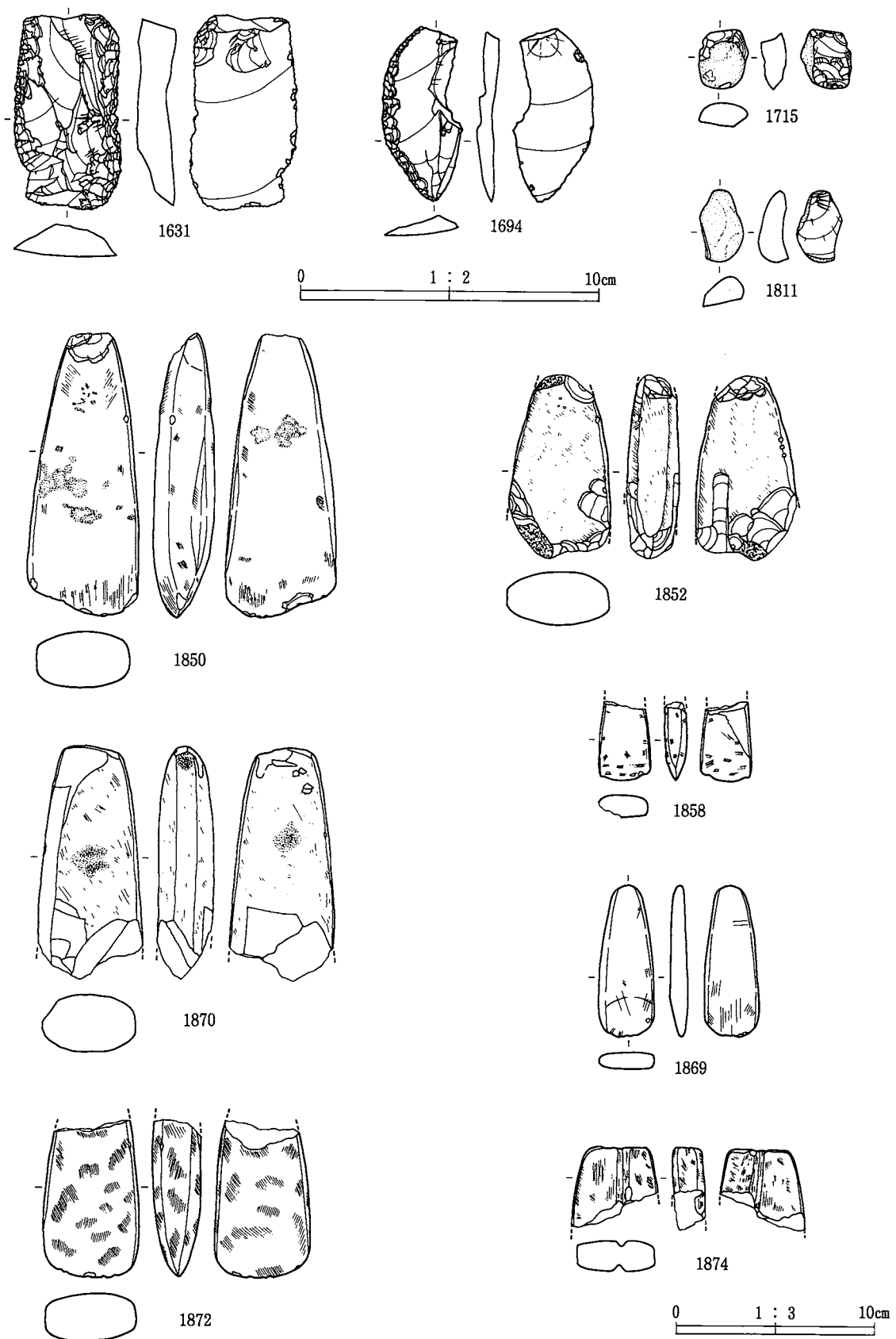
11点出土している。2088は脚をもつ。石材は凝灰岩(2)・凝灰質砂岩(6)・砂岩(1)・安山岩溶岩(2)である。



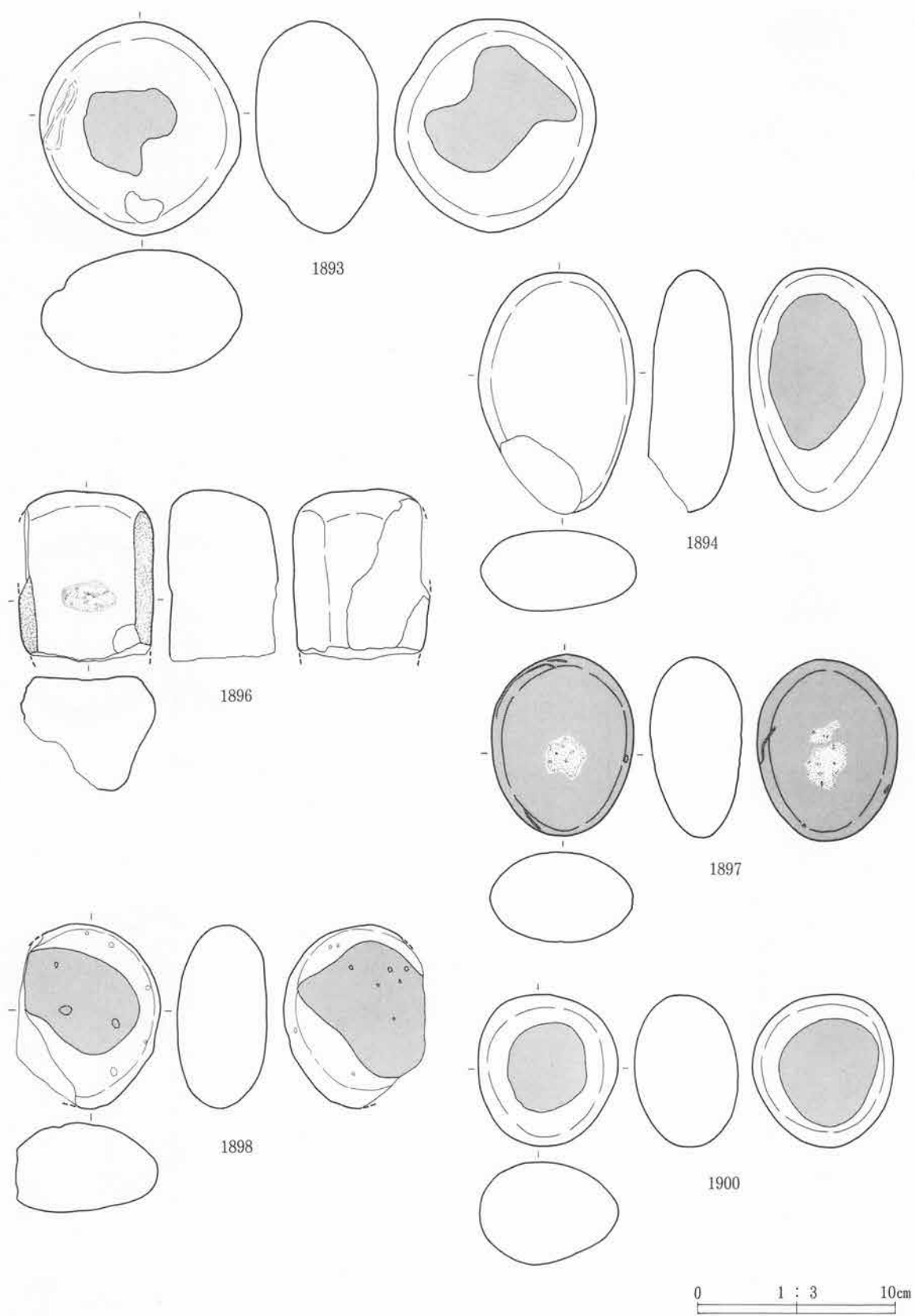
第146图 石器 (1)



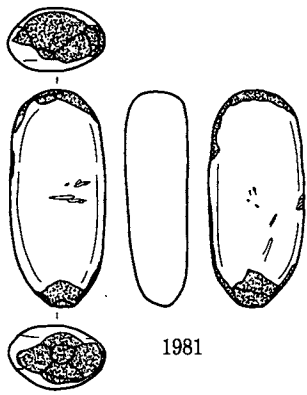
第147图 石器(2)



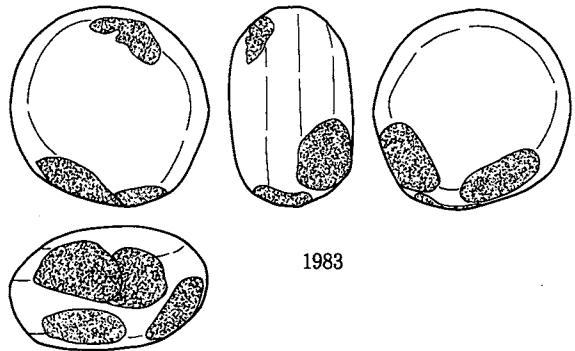
第148图 石器 (3)



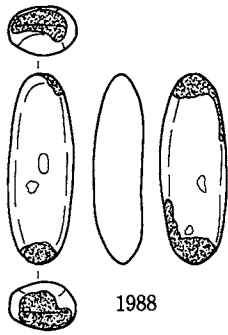
第149図 石器 (4)



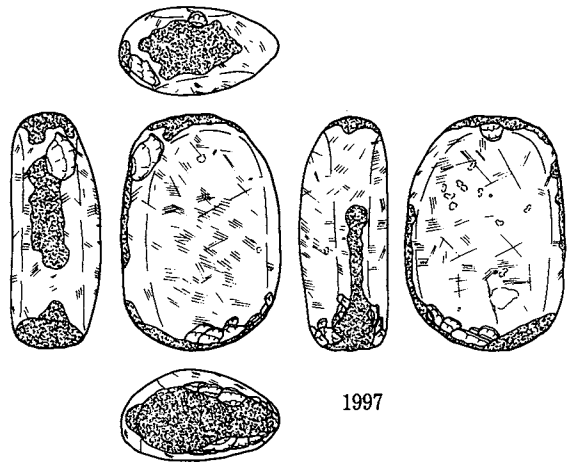
1981



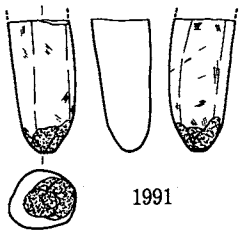
1983



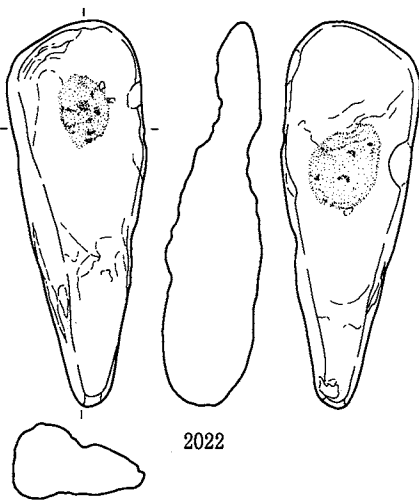
1988



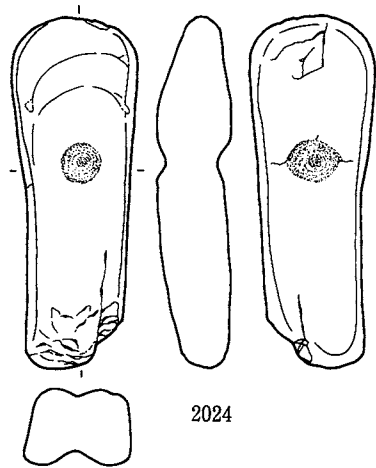
1997



1991



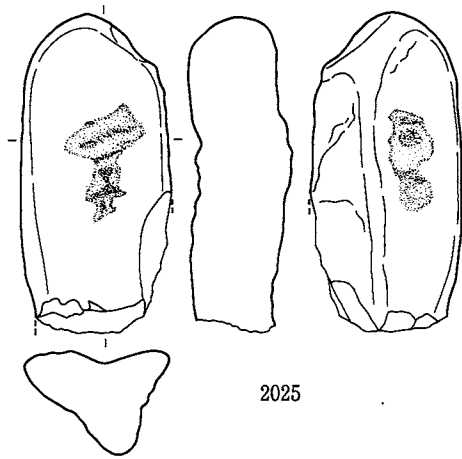
2022



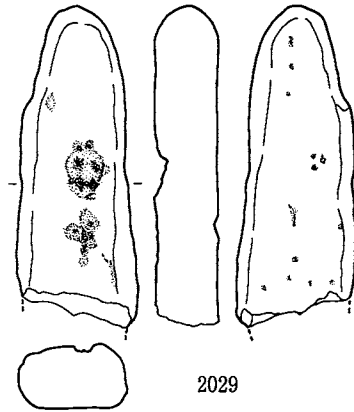
2024

0 1 : 3 10cm

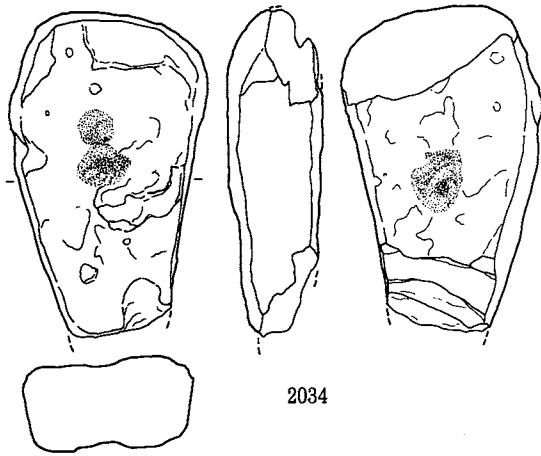
第150図 石器 (5)



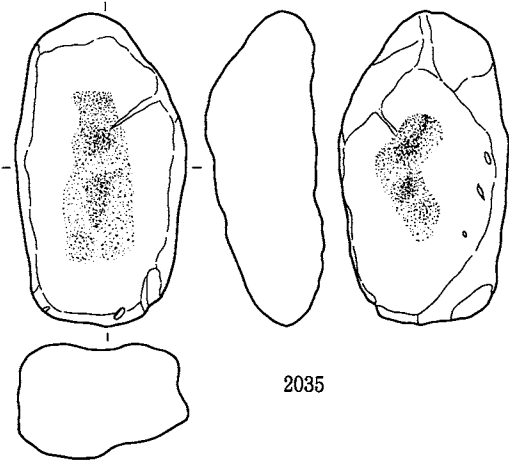
2025



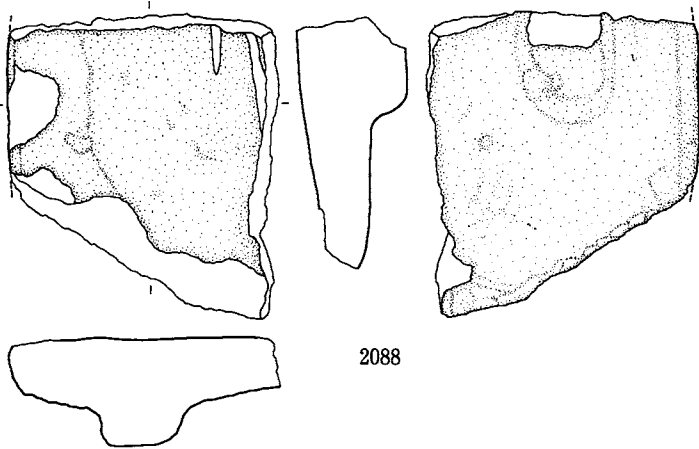
2029



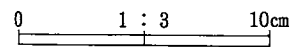
2034



2035



2088



第151图 石器(6)

4. 石製品（第152・153図、写真図版148：2089～2109）

石製品は21点出土している。内訳は、石棒10点・垂飾品3点・岩偶1点・石錘1点・石製円盤2点・線刻磔1点・有孔磔3点である。全点について写真・観察表を付し、一部を図示した。

石棒（第152・153図、写真図版148：2162～2166）

棒状の石器で10点出土している。時期は縄文時代中期と晩期のものである。石材は、凝灰岩（1）・緑色凝灰岩（1）・砂岩（1）・頁岩（1）・スレート（6）が用いられている。

垂飾品（第153図、写真図版148：2099・2100・2101）

3点出土している。2099は、細く弧状に整形された素材に螺旋状に沈線、やや膨らむ先端に十字の刻目を施している。2100は三角形の一面と2側縁に沈線文が施されている。時期は縄文時代中期と思われる。

石錘（第153図、写真図版148：2103）

1点出土している。完形品で円筒状の磔の長軸の両方向から穿孔が施されている。石材は泥岩である。

石製円盤（第153図、写真図版148：2104・2105）

意図的に円盤状に加工した製品で2点出土している。径5cm前後の大きさに打ち欠きで整形している。

線刻磔（第153図、写真図版148：2106）

棒状の磔の一面に6本の平行な線刻が施されている。線刻の幅は0.1mmで、2～3mmの間隔で施されている。

岩偶（第153図、写真図版148：2102）

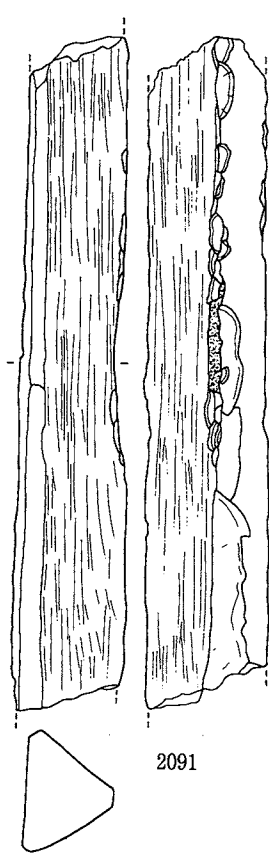
1点出土している。磔の端部に顔部を刻んだようにみえるが判然としない。石材は凝灰岩である。

第13表 石製品観察表

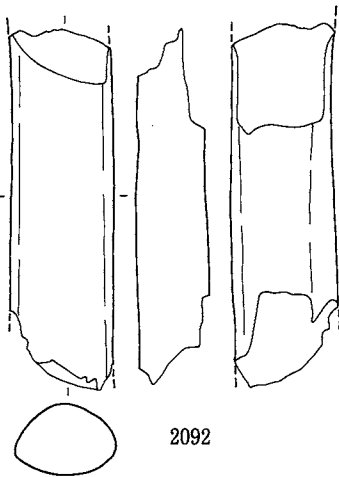
() 内数値：残存値

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・備考	石材	産地
						長さ	幅	厚さ				
—	148	2089	RA40	炉直上	石棒?	51.0	13.0	12.5	11,500.00	両端部を整形?	J	NK
—	148	2090	RD285	北半埋土上位	石棒	(8.00)	(2.50)	(1.90)	(36.11)	身部：敲打痕	A	NK
152	148	2091	RD344	西半埋土1層	石棒	(18.10)	3.00	2.80	(220.13)	角柱状、擦面、剥離痕	Q	NK
152	148	2092	15K	II層	石棒	(9.70)	2.70	1.90	(73.77)	身部：磨滅	I	NK
152	148	2093	18K (S側)	II層	石棒	(20.60)	3.40	2.80	(258.78)	柄：沈線、刻目、身部：擦痕、敲打痕	Q	NK
152	148	2094	19H	II層	石棒	(14.00)	3.20	(1.00)	(74.13)	身部：擦痕	Q	NK
152	148	2095	19I	攪乱	石棒	(5.80)	(3.50)	2.30	(64.55)	身部：一辺にさく剥離痕密集	M	NK
152	148	2096	22T	II層	石棒	(18.90)	2.40	(1.40)	(115.10)	身部：擦痕	Q	NK
152	148	2097	28L	II層-20cm	石棒	(6.90)	3.80	3.40	(129.45)	擦痕	Q	NK
153	148	2098	12Dトレンチ	II層-20cm	石棒	(14.80)	3.10	1.60	(162.47)	角柱状、身部：擦痕	Q	NK
153	148	2099	26L	II層-5cm	垂飾	3.05	1.05	0.40	1.23	沈線(螺旋状)、両端に刻目十字	C	NK
153	148	2100	29L	II層-5cm	垂飾	2.90	2.95	1.70	19.85	貫通孔、沈線、擦痕	I	NK
153	148	2101	試掘トレンチ4	II層	垂飾	2.50	2.50	1.75	12.39	貫通孔1、擦痕	P	NK
153	148	2102	RD384	南半埋土	岩偶?	(2.70)	(2.10)	(1.20)	(5.71)	頭部：盲孔2、擦痕	I	NK
153	148	2103	RA35	炉南のくぼみ	石錘?	5.80	3.35	2.80	71.85	貫通孔1、擦痕	E	NK
153	148	2104	RA36	北半埋土上位	石製円盤	4.30	4.60	1.00	34.76	打ち欠き	S	NK
153	148	2105	23Q	II層-10cm	石製円盤	5.00	5.00	1.15	45.51	打ち欠き	S	NK
153	148	2106	RD301	北半埋土	線刻磔	(5.40)	(2.90)	1.90	(42.84)	一面に線刻5本、端部に敲打痕	I	NK
—	148	2107	30O	II層-20cm	有孔磔	7.80	6.70	5.10	345.45	盲孔2	Q	NK
—	148	2108	RD362	西半埋土	有孔磔	16.60	12.00	7.00	881.11	貫通孔2、盲孔1	M	NK
153	148	2109	31K・32K	II層-15cm	有孔磔	8.10	4.90	3.20	28.41	貫通孔1	T	不明

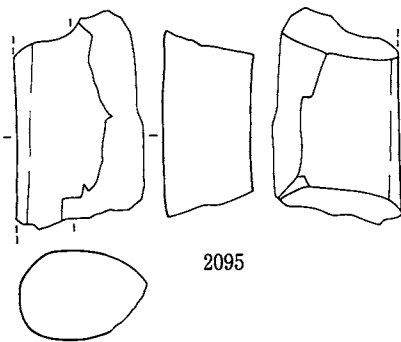
※2100の石材の分析結果は第七章2 垂れ飾りの頁 (P279) を参照。 ※石材・産地は第12表 石器観察表P247を参照。



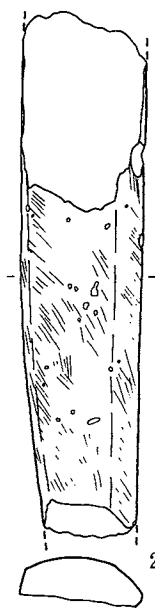
2091



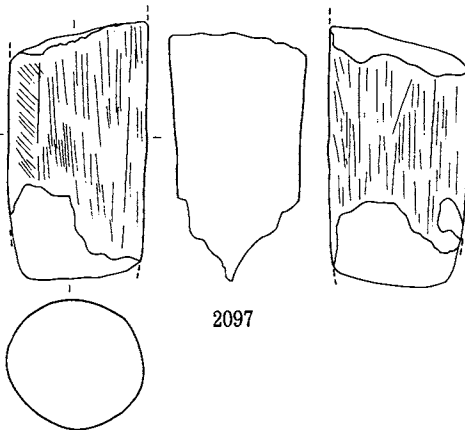
2092



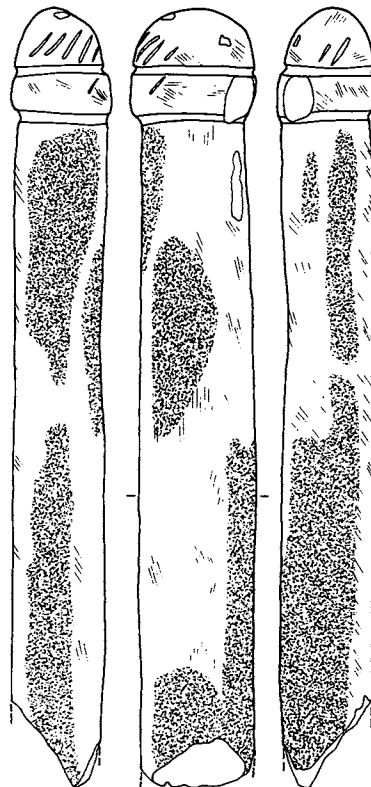
2095



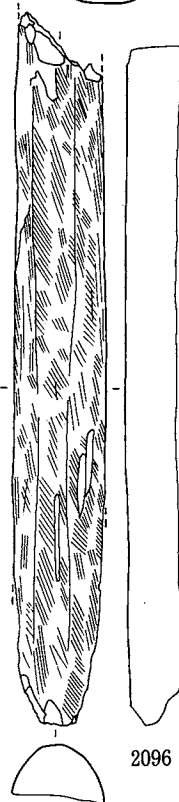
2094



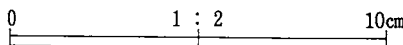
2097



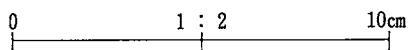
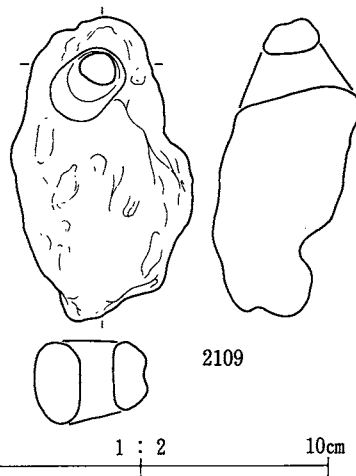
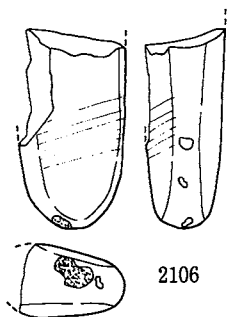
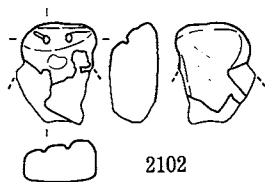
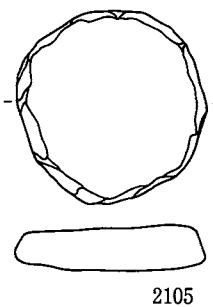
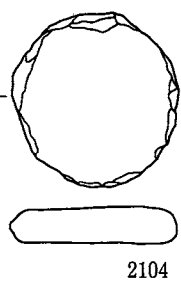
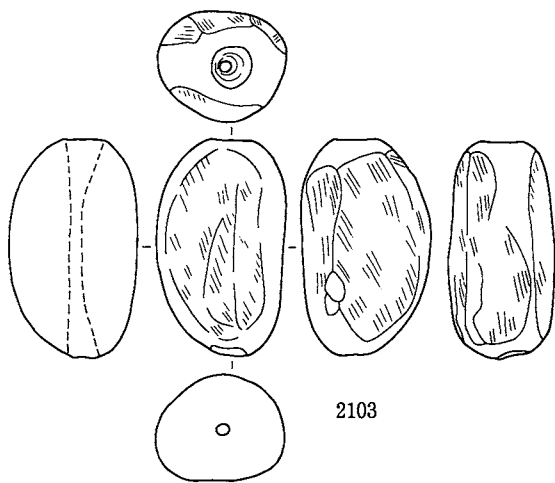
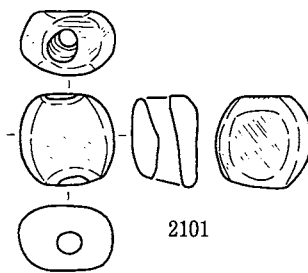
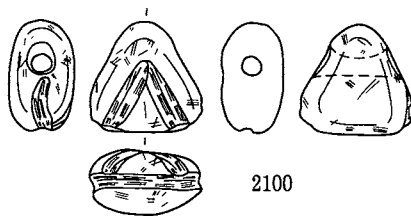
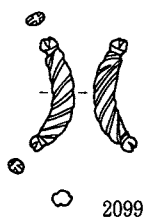
2093



2096

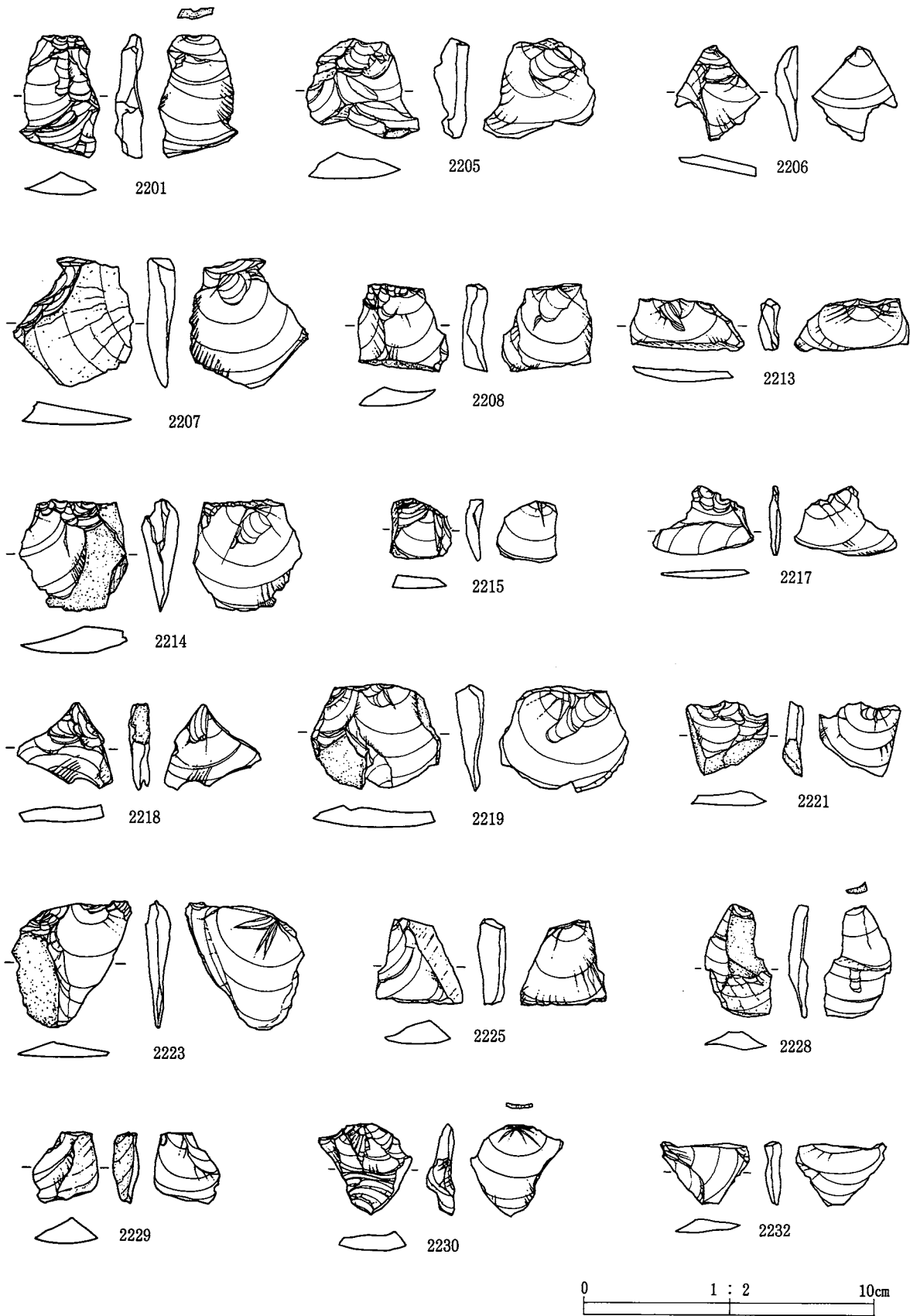


第152図 石製品 (1)

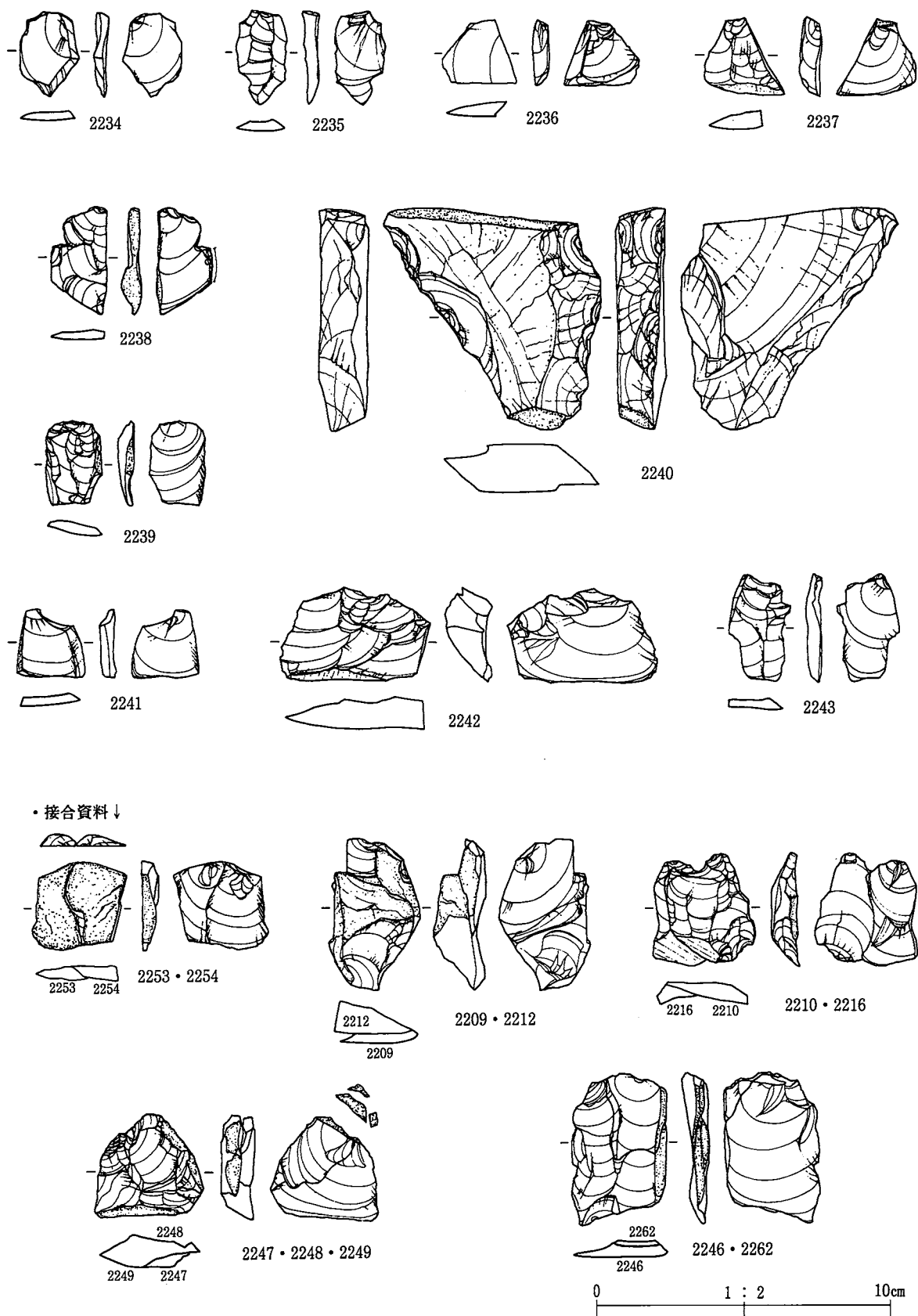


第153図 石製品(2)

RA33 (1)

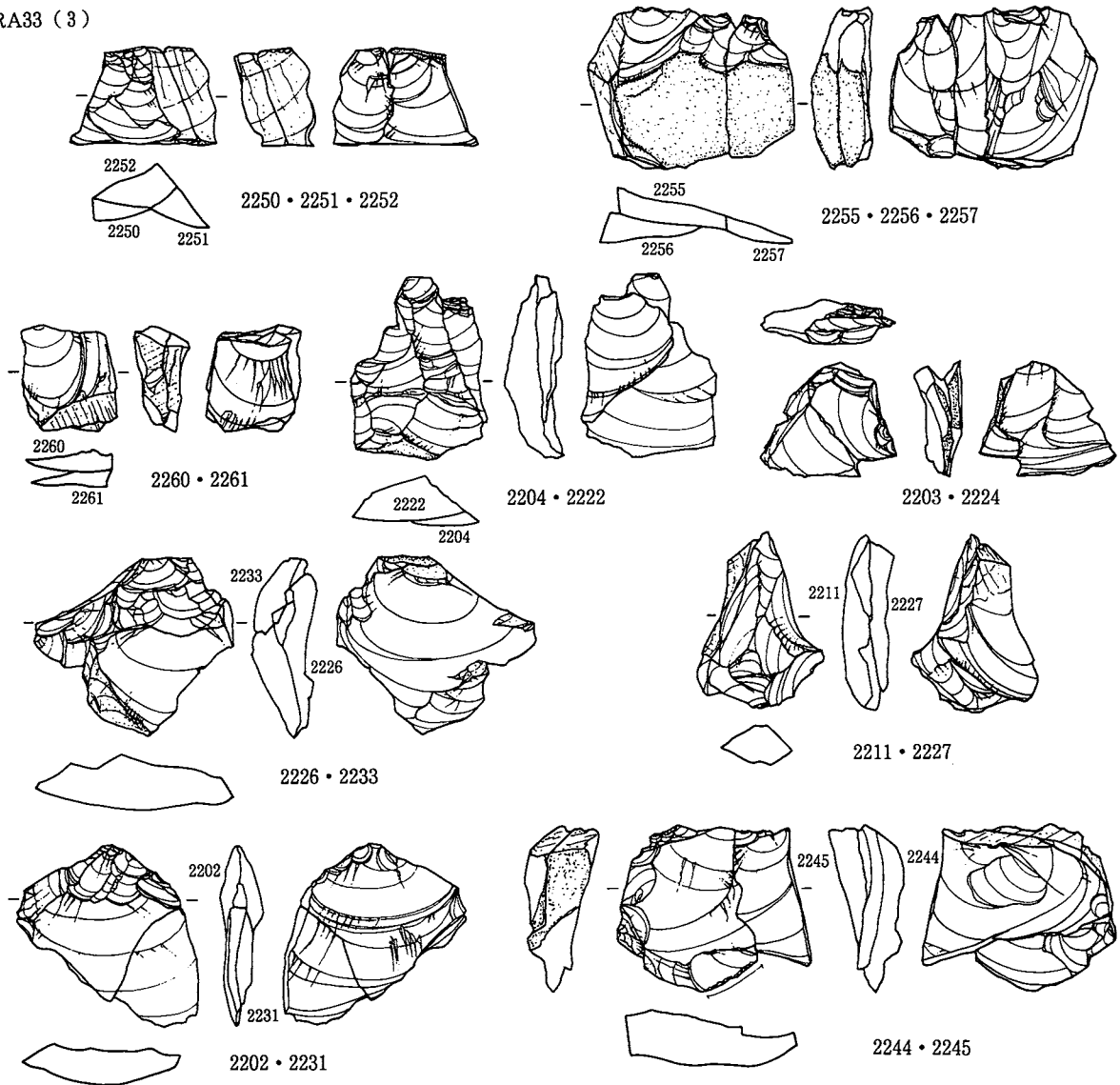


第154図 貯蔵剥片：RA33 (1)

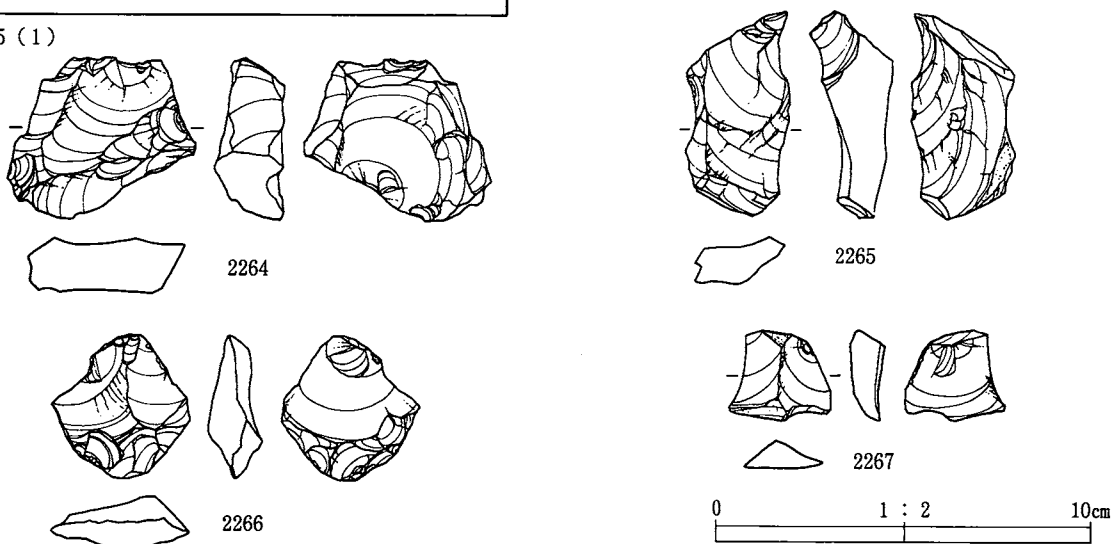


第155図 貯蔵剥片：RA33 (2)

RA33 (3)

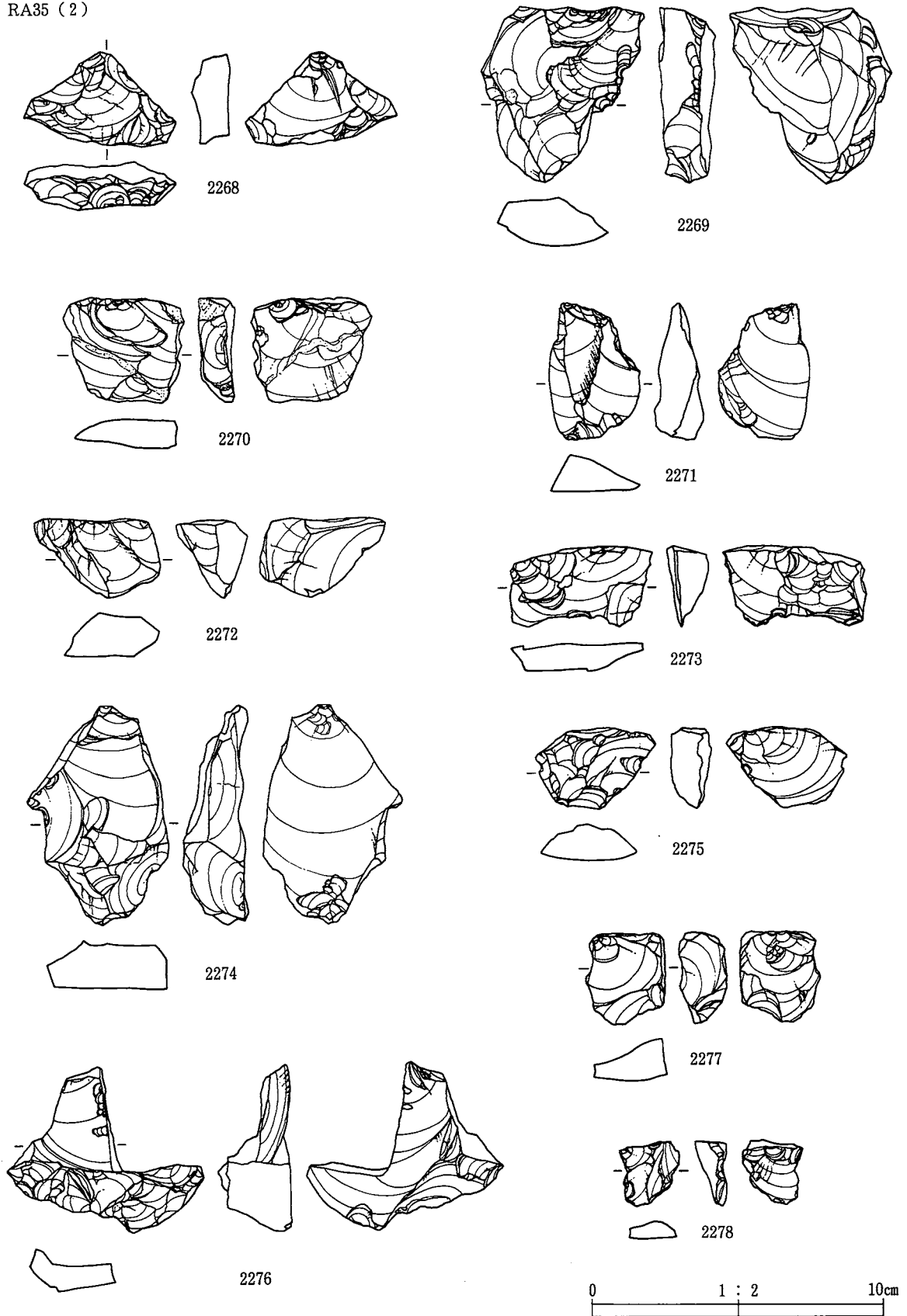


RA35 (1)



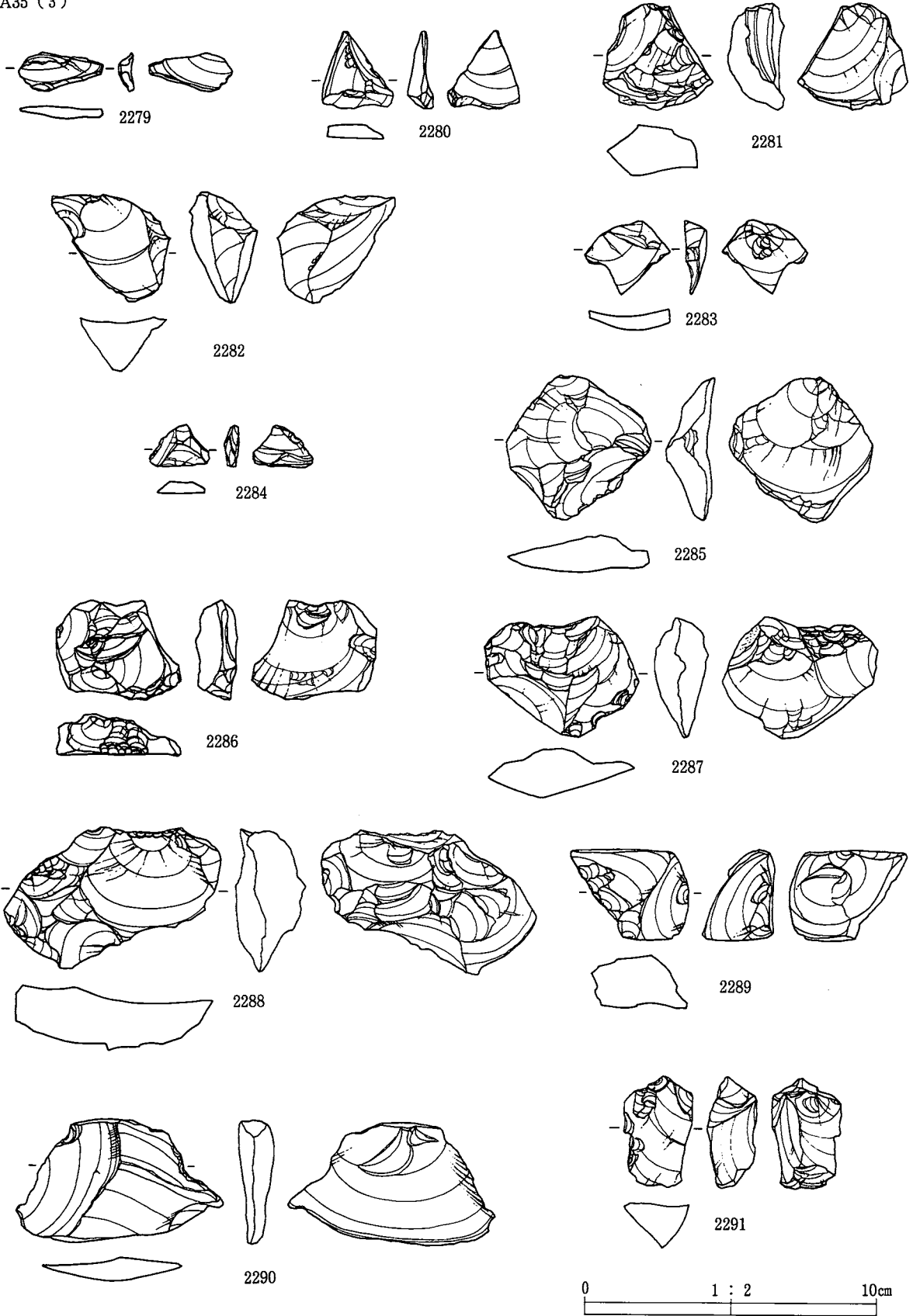
第156图 貯蔵剥片：RA33 (3)・35 (1)

RA35 (2)



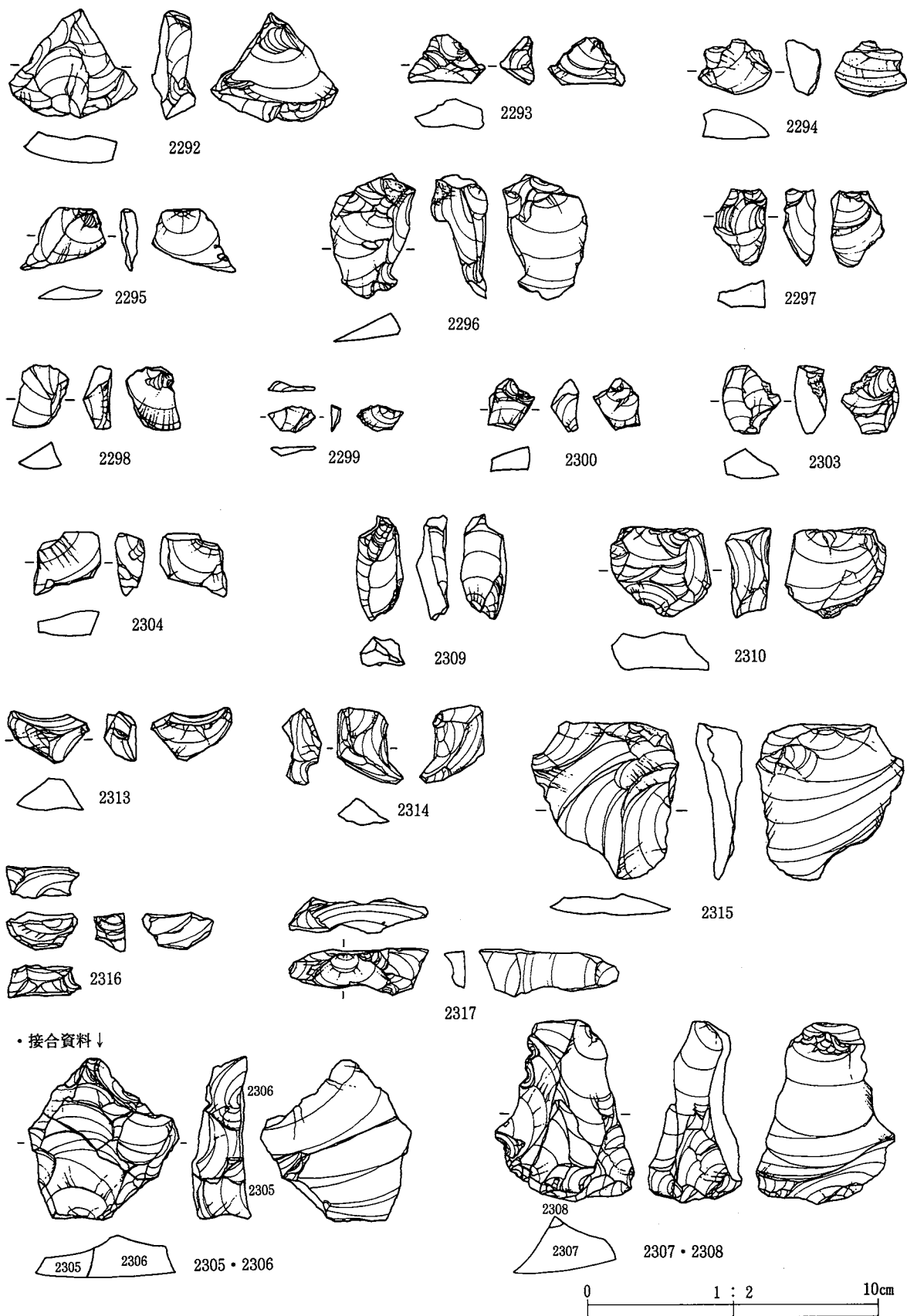
第157図 貯蔵剥片：RA35 (2)

RA35 (3)



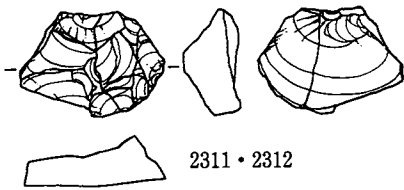
第158图 貯蔵剥片：RA35 (3)

RA35 (4)

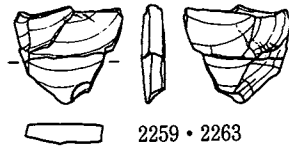


第159図 貯蔵剥片：RA35 (4)

RA35 (5)

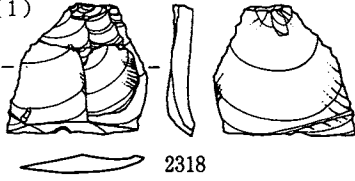


2311 • 2312

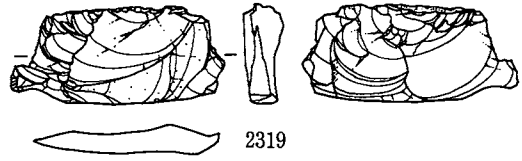


2259 • 2263

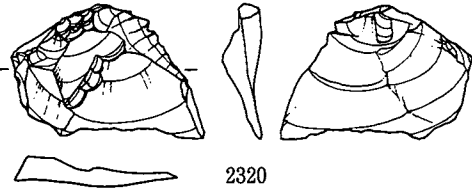
RA37 (1)



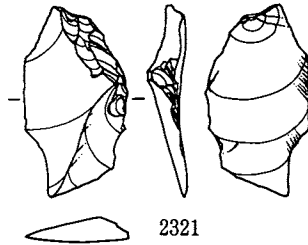
2318



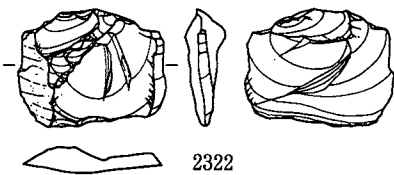
2319



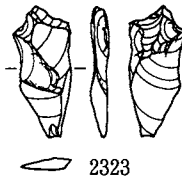
2320



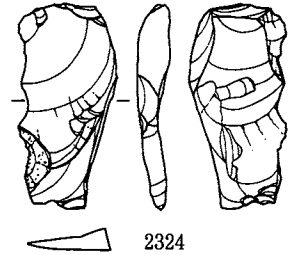
2321



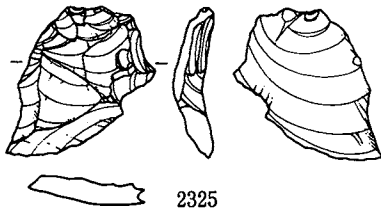
2322



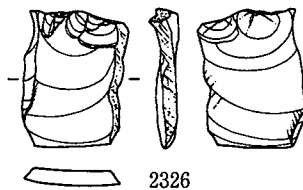
2323



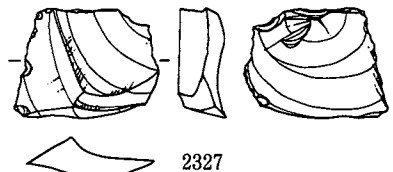
2324



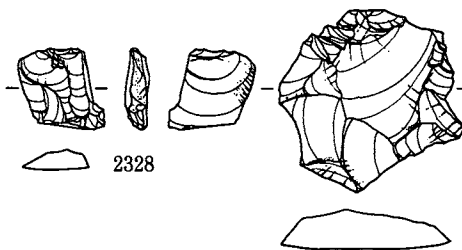
2325



2326

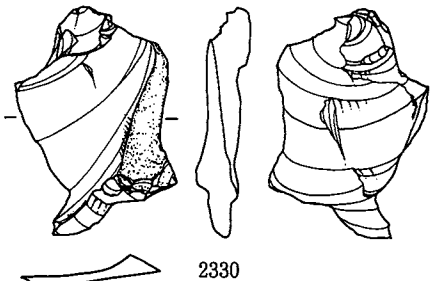


2327

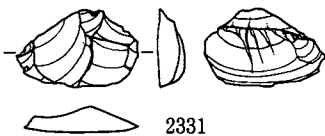


2328

2329



2330



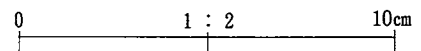
2331



2332

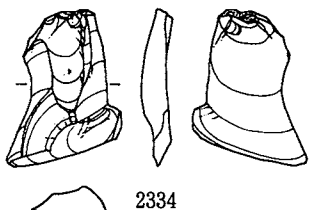


2333

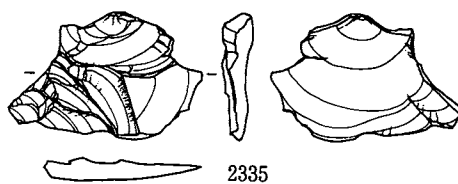


第160圖 貯藏剥片：RA35 (5) • 37 (1)

RA37 (2)

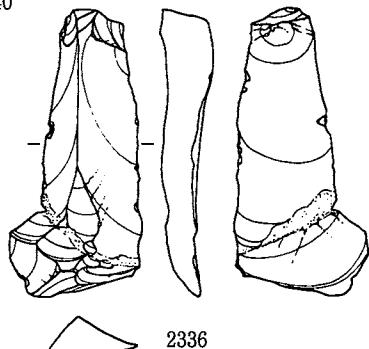


2334

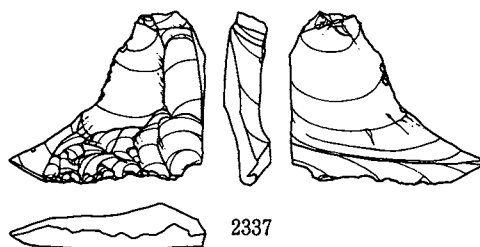


2335

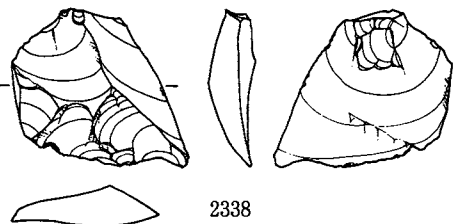
RD340



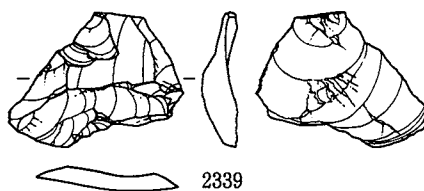
2336



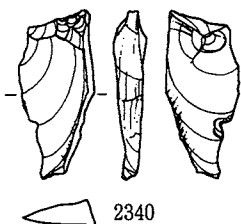
2337



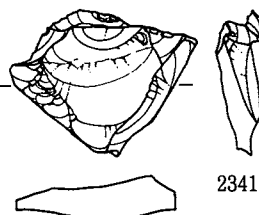
2338



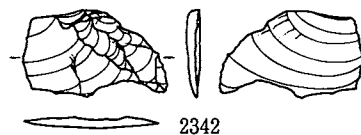
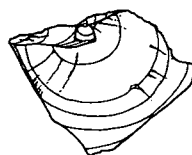
2339



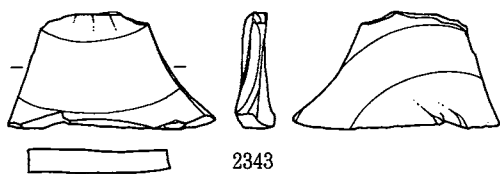
2340



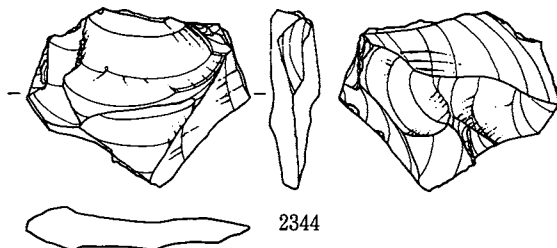
2341



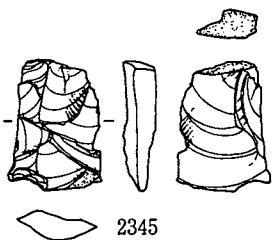
2342



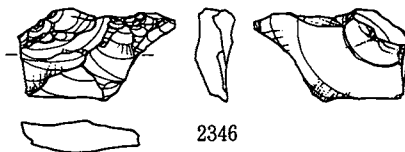
2343



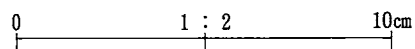
2344



2345



2346



第161图 貯藏剥片：RA37 (2)、RD340

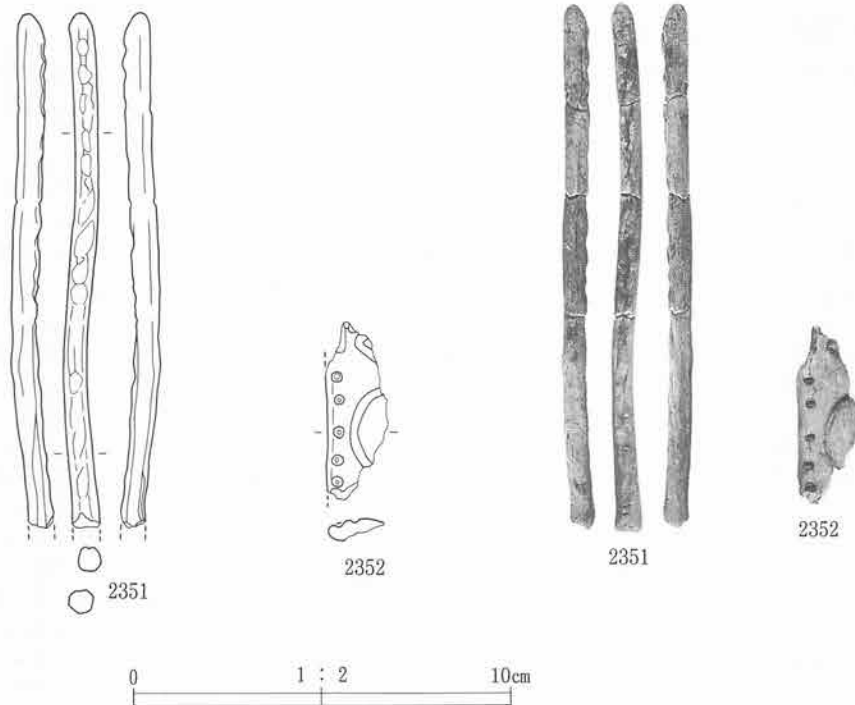
5. 骨角器 (第162図、写真図版138：2351・2352)

骨角器はRA40住居跡埋土中に廃棄された貝層から2点出土している。いずれも欠損品である。2351は鹿角の素材として、面取りして整形し、細長い棒の形状に仕上げている。一面に鹿角の表部分が僅かに残されている。2352は沈線により円文の文様を描き、刺突列を施している。素材は鹿角製で、細長い形状のものであったと思われるが詳細は不明である。

時期は、縄文時代中期中葉以降に属するものと思われる。

第14表 骨角器観察表

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	種別	計測値(cm)			重量 (g)	形状	特徴・備考
						長さ	幅	厚さ			
162	162	2351	RZ11	①B	骨角器	(13.7)	1	1	5.86g	棒状、面取り	鹿角製
162	162	2352	RA40	No.11	骨角器	(4.7)	(1.6)	(0.6)	2.20g	沈線・刺突	鹿角製



第162図 骨角器

6. 動物遺存体 (写真図版155~162: 2401~2585)

(1) 調査の方法

長谷堂貝塚の平成11年度調査では、縄文時代の遺構に伴って、大コンテナ(40×30×30cm) 20箱の動物遺存体が出土した。獣骨・魚骨類は包含層や焼土遺構・炉跡から出土しているが、貝類はRA40住居跡の埋土から大コンテナ19箱(重量43.1kg、容積48.7cc)分が出土した。動物遺存体の取り上げは、遺構名・層位を記して取り上げたが、RA40住居跡内の各貝層については、貝層の範囲の記録を作成した後に取り上げを行った。貝層の具体的な様相は、V. 検出遺構のRA40住居跡の項(P21)を参照されたい。

(2) 整理の方法

整理は当センターで行い、調査員の指示のもとに作業員が整理作業の実務に当たった。平成12年11月~平成13年3月(5ヶ月: 1日平均2名)は、動物遺存体の水洗・計測・仕分け・分類を行った。平成13年7月~9月(3ヶ月: 1日平均1名)は、計測・集計・編集・写真図版の作成を行った。調査員は、各作業の指示・点検と原稿執筆を行った。各作業は具体的に次のように進めた。

採取した遺物は、重量計測・容量計測後に水洗を行った。水洗はウォーターセパレーションを使用し、5mm、3mm、1mmの3種類の篩を使用した。水洗後に日干しで乾燥させ、各篩に分けられた資料ごとに仕分けと、重量計測を行った。仕分けは5mm・3mm・1mm(大→小)の順に進め、貝類・獣骨・魚骨・骨角器・炭化物・その他(土器・石器:チップ類)に分類した。貝類・獣骨・魚骨類は同定作業を併せて行った。

貝類は、各種毎に個体数が把握可能なものについて集計を行った。基本的には殻頂部が残存するものを選び、左右別に行ったが、ウミナなど巻貝については、殻口の軸唇の残存しているものを数えた。計測可能な個体は計測値を把握し、計測不可能な破片資料も可能な限り分類を行い、重量計測を行い資料化を図った。

報告は、以上の作業を経て作成された資料を阿部が編集した。種の同定、配列に際しては、学研生物図鑑、『原色日本哺乳類図鑑』保育社、および動物遺存体が出土し、報告されている既刊の(財)岩手県文化振興事業団の発掘調査報告書などを参考にした。

実際の種の同定にあたっては、陸前高田市立博物館の館谷 賢氏・岩手県教育委員会の佐々木 務氏にご指導を頂いた。とくに獣骨・魚骨の同定は両氏に拠るものである。記してお礼申し上げたい。なお本報告内容の責任はすべて阿部が負っている。

(3) 同定された動物遺存体

長谷堂貝塚の平成11年度調査で出土した動物遺存体で、同定された種名は、以下のとおりである。

種名	学名	種名	学名
軟体動物		アズマニシキガイ	<i>Chlamys farreri farreri</i> (Jones et Preston)
腹足綱	スガイ	ホタテガイ	<i>Patinopecten (Mizuhopecten)</i> <i>yessoensis (Jay)</i>
	タマキビガイ	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i> (Thunberg)
	ウミナ	ウチムラサキガイ	<i>Saxidomus purpuratus</i> (Sowerby)
	ツメタガイ	ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i> (Roding)
	エゾタマガイ	オキシジミガイ	<i>Cyclina sinensis</i> (Gmelin)
		オニアサリ	<i>Notochione jodoensis</i> (Lischke)
	アカニシ	アサリ	<i>Ruditapes philip pinarum</i> (Adams et Reeve)
		クチバガイ	<i>Coecella chinensis</i> (Deshayes)
	イボニシ	シオフキガイ	<i>Mactra veneriformis</i> Reeve
	レイシガイ	ウバガイ	<i>Pseudocardium sachalinense</i> (Schrenck)
	チヂミボラ		
	アラムシログイ		
二枚貝綱	イガイ		

種名	学名	種名	学名
ミルクイガイ	<i>Tresus keenae</i> (Kuroda Habe)	マアナゴ	<i>Conger myriaster</i> (Brevoort)
イソジミガイ	<i>Nuttallia olivacea</i> (Jay)	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i> Temminck et Schlegel
オオノガイ	<i>Mya (Arenomya) arenaria oonogai</i> Makiyama	アイナメ属	<i>Hexagrammos</i> sp. Indet
節足動物		マフグ科?	Tetradontidae gen. et sp. Indet
蔓脚亜綱	チシマフジツボ <i>Balanus cariosus</i> (Pallas)	ハゼ科	Gobiidae gen. et sp. Indet
棘皮動物		板鰓亜綱	<i>Elasmobranchii</i>
海胆綱	ムラサキウニ <i>Anthocidaris crassispina</i> (A. Agassiz)	哺乳綱	ハタネズミ亜科 <i>Microtinae</i> gen. et sp. Indet
脊椎動物		ネズミ	<i>Muridae</i> gen. et sp. indet
硬骨魚綱	ウグイ属 <i>Tribolodon</i> sp. Indet	イヌ	<i>Canis familiaris</i>
コイ科	Cyprinidae gen. et sp. Indet	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
ニシン科	Clupeoidei gen. et sp. Indet	ウサギ?	<i>Lepus brachyurus</i>
サケ科	Salmonidae gen. et sp. Indet	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>
サバ属	<i>Scomber</i> sp. Indet	シカ	<i>Cervus nippon</i>
スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i> (Curvier)	オットセイ?	<i>Callorhinus ursinus</i>
		爬虫綱	ヘビ科 <i>Colubridae</i> gen. et sp. Indet

(4) まとめ

- ①動物遺存体の種の内訳は、軟体動物腹足綱10種・二枚貝綱15種、節足動物蔓脚亜綱1種、棘皮動物海胆綱1種、脊椎動物硬骨魚綱11種、板鰓亜綱1種、哺乳綱8種、爬虫綱1種、計48種が確認された。
- ②軟体動物(貝類)の種はアサリが主体(出現率97.35%)で、次がマガキ(出現率0.72%)である。いずれも内湾の淡水の影響のある河口付近に棲息するものである。他の多くの貝類も内湾の砂泥底に棲息するものである。
- ③魚綱は、量は少ないが、ウナギ・コイ科(多くはウグイ属)、ニシン科、サバ属、サケ科が多い。サケ科は大型と小型の個体があり、大型のものは、産卵に遡河してきたシロザケかサクラマスと考えられる。小型のものはイワナあるいはヤマメの可能性が高い。どの魚種も内湾や河川で捕獲できるものである。ウグイ属は、河川にも沿岸部にも棲息する。一方で、大型のマグロ・カツオ類は見られない
- ④哺乳綱は、シカ・イノシシ(幼獣・若獣)が多い。他にネズミ・イヌ・タヌキ・ウサギ?オットセイ?などがある。
- ⑤焼骨とそうでない骨がある。焼骨は炉跡・焼土遺構から多く出土しており、同定不能・種不明が多い。
- ⑥長谷堂貝塚は、現在大船渡湾の奥にあり、盛川河口から約2.7km上流に位置する。②・③の状況から、貝層が形成された当時は、河口が現在より上流側であった可能性がある。
- ⑦確認できた動物遺存体は、遺跡の周辺2~3kmで入手可能なものばかりであり、全てとは言えないが、日常の食物(動物)はごく狭い範囲で調達していたようである。
- ⑧小規模な貝層の形成状況からみて、日常の生活のなかで生じたゴミを廃棄したものであると考えられる。

参考文献

- 波部忠重監修 1999(第5刷)『学研生物図鑑 貝類I』株式会社学習研究社。
 波部忠重・奥谷喬司監修 1999(第5刷)『学研生物図鑑 貝類II』株式会社学習研究社。
 金子浩昌 1984『貝塚の獣骨の知識』東京美術。
 江坂輝弥 1984『化石の知識(貝塚の貝)』東京美術。
 今泉吉典 1979『原色日本哺乳類図鑑』保育社。

第15表 動物遺存体遺構別出土一覧表

種名/遺構名	RA40	RA30	RD296	RD364	RD391	RD392	RD396	RD491	RF18	RF21	RZ08	RZ11	18M	24T	251	27L	29J	29L	29M	30J	30K	30L	30M	30N	30O	31N	32K	合計	出現率	
スガイ	○				○							○																99	0.20%	
タマキビ	○											○														○			49	0.10%
ウミニナ	○				○							○														○			587	1.19%
ツメタガイ	○											○																	6	0.01%
エゾタマガイ	○																												1	
アカニシ	○		○									○	○																33	0.07%
イボニシ	○																												0	
レイシガイ	○																												3	0.01%
チヂミボラ	○											○																	1	
アラムシロガイ	○											○																	11	0.02%
イガイ	○				○							○																	3	0.01%
アズマニシキガイ	○											○																	10	0.02%
ホタテガイ	○																												0	
マガキ	○				○				○			○						○	○					○		○			356	0.72%
ウチムラサキガイ	○																										○		4	0.01%
ハマグリ	○											○																	0	
オキシジミガイ	○											○																	1	
オニアサリ	○											○																	1	
アサリ	○	○		○	○				○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	48,178	97.53%
クチバガイ	○											○																	16	0.03%
シオフキガイ	○																												1	
ウバガイ	○																												0	
ミルケイガイ	○				○							○																	2	
イソシジミガイ	○																												2	
オオノガイ	○																									○	○		30	0.06%
貝合計																													49,395	99.72%
チシマフジツボ	○				○							○																		
ムラサキウニ	○																													
ウグイ属	○											○					○													
コイ科	○											○					○													
ニシン科	○							○				○					○													
サケ科	○											○																		
サバ属	○							○				○																		
スズキ	○																													
マアナゴ	○											○																		
ウナギ	○																													
アイナメ属	○											○																		
マフグ科?	○																													
ハゼ科	○																													
ネズミ	○											○																		
ハタネズミ亜科	○											○																		
イヌ	○																													
タヌキ	○																													
ウサギ	○											○																		
イノシシ	○				○		○					○							○			○								
シカ	○				○		○				○											○		○	○					
オットセイ?	○											○																		
板鰓亜綱	○											○																		
ヘビ科	○											○																		

第17表 貝の計測値一覧表
RA40№8 アサリL

殻長(cm)	0.5未満	0.5以上 1.0未満	1.0以上 1.5未満	1.5以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.0未満	3.0以上 3.5未満	3.5以上 4.0未満	4.0以上 4.5未満	4.5以上 5.0未満	5.0以上	合計
0.5未満												
0.5以上1.0未満												
1.0以上1.5未満												
1.5以上2.0未満												
2.0以上2.5未満							2(4.25%)	9(19.57%)	1(2.18%)			12(26.09%)
2.5以上3.0未満							3(6.52%)	16(34.78%)	2(4.25%)	1(2.18%)		22(47.83%)
3.0以上3.5未満								1(2.18%)	5(10.87%)	4(8.67%)		10(21.74%)
3.5以上4.0未満									1(2.18%)	1(2.18%)		2(4.25%)
4.5以上5.0未満												
5.0以上												
合計							2(4.25%)	12(26.09%)	18(39.13%)	8(17.39%)	6(13.04%)	46(100%)

RA40№8 アサリR

殻長(cm)	0.5未満	0.5以上 1.0未満	1.0以上 1.5未満	1.5以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.0未満	3.0以上 3.5未満	3.5以上 4.0未満	4.0以上 4.5未満	4.5以上 5.0未満	5.0以上	合計
0.5未満												
0.5以上1.0未満												
1.0以上1.5未満												
1.5以上2.0未満												
2.0以上2.5未満					1(1.72%)	1(1.72%)						2(3.45%)
2.5以上3.0未満					6(10.34%)	7(12.07%)	1(1.72%)					14(24.14%)
3.0以上3.5未満						5(8.62%)	22(39.29%)	2(3.45%)				29(50.05%)
3.5以上4.0未満								11(19.77%)	1(1.72%)			12(20.65%)
4.0以上4.5未満									1(1.72%)			1(1.72%)
4.5以上5.0未満												
5.0以上												
合計					1(1.72%)	7(12.07%)	12(20.69%)	23(39.66%)	13(22.41%)	2(3.45%)		58(100%)

RA40№19 アサリL

殻長(cm)	0.5未満	0.5以上 1.0未満	1.0以上 1.5未満	1.5以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.0未満	3.0以上 3.5未満	3.5以上 4.0未満	4.0以上 4.5未満	4.5以上 5.0未満	5.0以上	合計
0.5未満												
0.5以上1.0未満												
1.0以上1.5未満												
1.5以上2.0未満												
2.0以上2.5未満												
2.5以上3.0未満												
3.0以上3.5未満												
3.5以上4.0未満												
4.0以上4.5未満												
4.5以上5.0未満												
5.0以上												
合計					1(0.41%)	1(0.41%)	24(9.76%)	4(1.66%)	16(6.50%)	10(4.14%)		2(0.81%)

RA40№19 アサリR

殻長(cm)	0.5未満	0.5以上 1.0未満	1.0以上 1.5未満	1.5以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.0未満	3.0以上 3.5未満	3.5以上 4.0未満	4.0以上 4.5未満	4.5以上 5.0未満	5.0以上	合計
0.5未満												
0.5以上1.0未満												
1.0以上1.5未満												
1.5以上2.0未満												
2.0以上2.5未満												
2.5以上3.0未満												
3.0以上3.5未満												
3.5以上4.0未満												
4.0以上4.5未満												
4.5以上5.0未満												
5.0以上												
合計												

RZ11 アサリL

殻長(cm)	0.5未満	0.5以上 1.0未満	1.0以上 1.5未満	1.5以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.0未満	3.0以上 3.5未満	3.5以上 4.0未満	4.0以上 4.5未満	4.5以上 5.0未満	5.0以上	合計
0.5未満												
0.5以上1.0未満												
1.0以上1.5未満												
1.5以上2.0未満												
2.0以上2.5未満												
2.5以上3.0未満												
3.0以上3.5未満												
3.5以上4.0未満												
4.0以上4.5未満												
4.5以上5.0未満												
5.0以上												
合計												

RZ11 アサリR

殻長(cm)	0.5未満	0.5以上 1.0未満	1.0以上 1.5未満	1.5以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.0未満	3.0以上 3.5未満	3.5以上 4.0未満	4.0以上 4.5未満	4.5以上 5.0未満	5.0以上	合計
0.5未満												
0.5以上1.0未満												
1.0以上1.5未満												
1.5以上2.0未満												
2.0以上2.5未満												
2.5以上3.0未満												
3.0以上3.5未満												
3.5以上4.0未満												
4.0以上4.5未満												
4.5以上5.0未満												
5.0以上												
合計												

第18表 出土地点別動物遺存体(哺乳類)重量表

No	出土地点	層位	重量			合計: g (%)	種名
			骨: g (%)	焼骨: g (%)	小計: g (%)		
1	RA27	埋土・炉内	0	1.8	1.8		イノシシ
2	RA28	炉内・焼土	0	0.48	0.48		不明
3	RA31	炉下位	0	0.5	0.5		不明
4	RA36	炉内埋土	0	2.83	2.83		不明
5	RA37	炉内埋土	0	1.89	1.89		不明
6	RA38	炉内埋土	0	2.51	2.51		不明
7	RA40	貝層	1166.17	0	1166.17		イノシシ・シカ・タヌキ
小計			1166.17(99)	10.01(1)	1176.18(100)	1176.18(49)	
8	RD287	埋土下位	0	0.13	0.13		不明
9	RD338	埋土下位	0	0.84	0.84		不明
10	RD339	埋土中位	0.14	0	0.14		不明
11	RD341	東埋土層	0	3.93	3.93		不明
12	RD391	I層	106.08	0	106.08		イノシシ・シカ
13	RD392	北半埋土	0.27	0	0.27		シカ
14	RD396	埋土	160.17	0	160.17		イノシシ・シカ
小計			266.66(98)	4.9(2)	271.56(100)	271.56(11)	
15	RF14	焼土	0	0.13	0.13		不明
16	RF16	焼土	0	0.18	0.18		不明
17	RF20	焼土	0	1.37	1.37		不明
18	RF21	焼土	0	3.19	3.19		不明
19	RF22	焼土	0	1.5	1.5		不明
20	RF24	埋設土器内	0	0.57	0.57		不明
小計			0	6.94	6.94(100)	6.94(0.3)	
21	RH06	埋土下位	0	6.47	6.47		不明
小計			0	6.47(100)	6.47(100)	6.47(0.3)	
22	RZ08	埋設土器内	0	9.28	9.28		不明・シカ・人骨?
23	RZ09	埋設土器内	0	3.94	3.94		不明
24	RZ11	貝層	627.23	0	627.23		イノシシ・シカ・オットセイ?
小計			636.51(99)	3.94(1)	640.45(100)	640.45(26)	
25	22P	II層-10cm	0	2.11	2.11		不明
26	23P	II層-10cm	0	2.49	2.49		不明
27	23Q	II層-20cm	0	0.31	0.31		不明
28	24R	II層-5cm	0	4.4	4.4		不明
29	25I	II層-5cm	0	7.22	7.22		シカ
30	25M	II層-30cm	0	1.04	1.04		不明
31	25R	II層-10cm	0.65	0	0.65		不明
32	26L	II層-5cm	0	33.12	33.12		不明
33	26M	II層-20cm	0	3.27	3.27		不明
34	27M	II層-30cm	0	6.16	6.16		不明
35	28I	II層-10cm	0	7.31	7.31		不明
36	28M	II層-15cm	0	5.96	5.96		不明
37	29J	II層-5cm	0	3.3	3.3		イヌ科?
38	29L	II層-10cm	100.02	0	100.02		イノシシ
39	29M	II層-5cm	1.68	10.56	12.24		シカ
40	30J	II層-10cm	1.55	0	1.55		不明
41	30K	II層	0	4.41	4.41		イノシシ?
42	30L	II層-5cm	1.16	0	1.16		シカ
43	30M	II層-10cm	8.02	0	8.02		シカ
44	30N	I層	38.05	0	38.05		シカ
45	30O	II層-10cm	73.58	0	73.58		イヌ
46	31J	II層-5cm	0	1.55	1.55		不明
47	31K	II層	0	1.37	1.37		不明
48	31M	II層-10cm	2.81	0	2.81		不明
49	31N	II層-5cm	23.1	0	23.1		不明
50	32K	II層	0	0.08	0.08		不明
小計			258.85	66.63	325.48(100)	325.48(13)	
合計			2328.19(96)	98.89(4)	2427.08(100)	2427.08(100)	

第19表 動物遺存体(哺乳類)観察表

No	出土地点	層位	種名	部位	左右・数	近・遠	焼骨	備考
1	RA27	埋土-20cm	イノシシ	手根骨	R1	近位端	○	
2	RA31	埋土	シカ	角	1		○	
3	RA40	No.5	シカ	下顎骨[M1P4P2]?	R1			
4	RA40	No.5	シカ	上顎骨[P4P3M1M2]?	R1			
5	RA40	No.5	シカ	第3後臼歯	R1			若獣 破片
6	RA40	貝層8	ハタネズミ亜科	臼歯				破片
7	RA40	貝層8	不明	歯				破片 奇形?
8	RA40	貝層8	シカ	角座骨	1			
9	RA40	貝層8	シカ	頸椎	2			
10	RA40	貝層8	シカ	腰椎	1			破片
11	RA40	貝層8	シカ	肋骨	1			
12	RA40	貝層8	シカ	上腕骨	L1	遠位端		
13	RA40	貝層8	シカ	手根骨	L1			
14	RA40	貝層8	シカ	脛骨	L1	遠位端		
15	RA40	貝層8	シカ	踵骨	R1			
16	RA40	貝層8	シカ	基礎骨	R1	遠位端		
17	RA40	貝層8	シカ	中節骨	R1			
18	RA40	貝層8	タヌキ	下顎骨[CP1P2P3P4]	R1			P?半欠 棘突起
19	RA40	貝層11	シカ	胸椎	1			
20	RA40	貝層11	シカ	仙骨	1			
21	RA40	貝層11	シカ	寛骨	R1			
22	RA40	貝層11	シカ	機骨	R1	遠位端		
23	RA40	貝層11	シカ	中足骨	L1	遠位端		
24	RA40	貝層11	シカ	基礎骨	R1			
25	RA40	貝層11	シカ	基礎骨	L1			
26	RA40	貝層13	イノシシ	上顎[切歯・P3?]	L			遊離歯
27	RA40	貝層13	イノシシ	上顎[第1切歯・第3切歯?]	R			
28	RA40	貝層13	イノシシ	基礎骨	L1			
29	RA40	貝層13	イノシシ	中節骨	L1			
30	RA40	貝層13	シカ	上腕骨	R1	遠位端		
31	RA40	貝層13	シカ	機骨	R1	遠位端		
32	RA40	貝層17	シカ	脛骨	R1	遠位端		
33	RA40	貝層19	ハタネズミ亜科	臼歯				破片
34	RA40	貝層19	イノシシ	臼歯	1			破片、未萌出
35	RA40	貝層19	小型哺乳類?	下顎骨	L1			コウモリ類?
36	RA40	貝層20	シカ	角	R			第4枝・自然脱落・オス
37	RA40	炉内直上	シカ	角	R1			第1枝・オス
38	RA40	炉内直上	シカ	角座骨	R1			
39	RD391	埋土1層	イノシシ	下顎骨	1			破片
40	RD391	埋土1層	シカ	中足骨?	不明			
41	RD391	埋土1層	シカ	肋骨	1			破片
42	RD391	埋土1層	シカ	寛骨	L1			破片
43	RD391	埋土1層	シカ	機骨	R1			破片
44	RD391	埋土1層	小型哺乳類?	尾椎	1			
45	RD392	北半埋土	シカ	未萌出歯	不明			破片
46	RD396	埋土上位	イノシシ	頸椎	2			
47	RD396	埋土上位	イノシシ	胸椎	1			
48	RD396	埋土上位	イノシシ	基礎骨	1	遠位端		
49	RD396	埋土上位	シカ	角	不明			破片
50	RD396	埋土中位	シカ	角座骨	R1			角座骨
51	RD396	埋土中位	シカ	腰椎	2			
52	RZ08	埋土中位	シカ?	歯	?			未萌出歯
53	RZ08	埋土器内	人骨?	不明				
54	RZ11	貝層中	ハタネズミ亜科	臼歯				破片
55	RZ11	貝層中	ハタネズミ亜科	臼歯				破片
56	RZ11	貝層中	ネズミ類	大臼歯	L1	遠位端		破片
57	RZ11	貝層中	ネズミ類	上顎切歯	R2			
58	RZ11	貝層中	ネズミ類	切歯	R1			
59	RZ11	貝層中	イヌ科	中節骨	1			
60	RZ11	貝層中	イノシシ	下顎骨第2後臼歯	L1			遊離歯
61	RZ11	貝層中	イノシシ?	切歯	1			破片
62	RZ11	貝層中	イノシシ?	臼歯	1			破片
63	RZ11	貝層中	イノシシ	肩甲骨?	L1			未萌出
64	RZ11	貝層中	イノシシ	肩甲骨	L1	近位端		近似
65	RZ11	貝層中	イノシシ	尺骨	L1	近位端		
66	RZ11	貝層中	イノシシ	第3中手骨	R1	近位端		
67	RZ11	貝層中	イノシシ	第4中手骨?	L1			近似
68	RZ11	貝層中	イノシシ	第4中手骨	L1			
69	RZ11	貝層中	イノシシ	踵骨	R1	遠位端		
70	RZ11	貝層中	イノシシ	基礎骨	L1	近位端		骨端・若獣
71	RZ11	貝層中	イノシシ	中節骨	R1			
72	RZ11	貝層中	シカ	下顎[P2P3P4M1M2M3]	R1		○	
73	RZ11	貝層中	シカ	下顎骨関節突起	1			
74	RZ11	貝層中	シカ	腰椎	1			
75	RZ11	貝層中	シカ	胸椎	1			
76	RZ11	貝層中	シカ	機骨	L1	近位端		
77	RZ11	貝層中	シカ	尺骨	L1			
78	RZ11	貝層中	シカ	尺骨	L1			
79	RZ11	貝層中	シカ	中手骨	R1	近位端		
80	RZ11	貝層中	シカ	距骨	1			
81	RZ11	貝層中	シカ	足根骨	L1	近位端		
82	RZ11	貝層中	シカ	踵骨	L1	近位端		骨端・若獣
83	RZ11	貝層中	シカ	距骨	R1			
84	RZ11	貝層中	ウサギ?	上腕骨	R1			
85	RZ11	貝層中	オットセイ?	肩甲骨	L1	近位端		
86	RZ11	貝層中	オットセイ?	尺骨	R1	近位端		
87	RZ11	貝層中	小型哺乳類?	臼歯				破片
88	25 I	II層-5cm	シカ	角			○	
89	29 J	II層-30cm	イヌ科?	中足骨			○	
90	29 L	II層-20cm	イノシシ	上腕骨	R1	遠位端		
91	29 L	II層-10cm	イノシシ	第4中手骨	L1			
92	29 M	II層-5cm	シカ	基礎骨	R1	遠位端		
93	30 K	II層	イノシシ	距骨?	L1			
94	30 L	II層-5cm	シカ	肋骨	L1?			破片
95	30 L	II層-5cm	シカ?	大臼歯?	L1?	遠位端		破片
96	30 M	II層-15cm	シカ	上顎[第1後臼歯[M1]]	L1			遊離歯
97	30 N	I層	シカ	上腕骨	L1	近位端		
98	30 N	I層	シカ	尺骨	R1	近位端		
99	30 O	II層-10cm	イヌ	頸椎	1			
100	30 O	II層-10cm	イヌ	腰椎	1			

※同定可能なもののみ掲載。同定不能ものは別表に重量のみ記載。※R=右、※L=左

第20表 動物遺存体(魚類)観察表

No	出土地点	層位	種名	部位	左右・数	備考
101	RA40	貝層1	コイ科	腹椎	2	
102	RA40	貝層1	ニシン科	腹椎	5	
103	RA40	貝層1	ニシン科	尾椎	3	
104	RA40	貝層1	サバ属	腹椎	3	
105	RA40	貝層1	サバ属	方骨	L 1	
106	RA40	貝層1	サバ属	尾椎	3	
107	RA40	貝層1	ウナギ	腹椎	10	
108	RA40	貝層1	ウナギ	尾椎	11	
109	RA40	貝層1	不明	腹椎	4	
110	RA40	貝層1	不明	椎骨	2	
111	RA40	貝層1	不明	方骨	L 1	
112	RA40	貝層8	ウグイ属	角骨	R 1	
113	RA40	貝層8	コイ科	角骨	R 1	
114	RA40	貝層8	コイ科	腹椎	1	
115	RA40	貝層8	コイ科	尾椎	4	
116	RA40	貝層8	ニシン科	腹椎	23	
117	RA40	貝層8	ニシン科	尾椎	10	
118	RA40	貝層8	サケ科(大)	椎骨破片		
119	RA40	貝層8	サケ科(大)	腹椎	1	
120	RA40	貝層8	サバ属	腹椎	3	
121	RA40	貝層8	サバ属	尾椎	1	
122	RA40	貝層8	マアナゴ	腹椎	1	
123	RA40	貝層8	マアナゴ	尾椎	6	
124	RA40	貝層8	マアナゴ?	腹椎	2	
125	RA40	貝層8	ウナギ	尾椎	8	
126	RA40	貝層8	ウナギ	腹椎	1	
127	RA40	貝層8	アイナメ	歯骨	L 1	
128	RA40	貝層8	アイナメ	尾椎	1	
129	RA40	貝層8	不明	椎骨	11	
130	RA40	貝層8	不明	方骨	R 1	
131	RA40	貝層10	コイ科	腹椎	1	
132	RA40	貝層10	コイ科	尾椎	1	
133	RA40	貝層10	ニシン科	腹椎	4	
134	RA40	貝層10	ニシン科	尾椎	1	
135	RA40	貝層10	サケ科(大)	椎骨破片		
136	RA40	貝層10	不明	尾椎	1	
137	RA40	貝層11	ウグイ属	咽頭骨	R 1	
138	RA40	貝層11	ウグイ属?	咽頭骨	L R 1 ?	
139	RA40	貝層11	ウグイ属?	肩甲骨	R 1	
140	RA40	貝層11	コイ科	腹椎	4	
141	RA40	貝層11	コイ科	尾椎	5	
142	RA40	貝層11	ニシン科	腹椎	14	
143	RA40	貝層11	ニシン科	尾椎	21	
144	RA40	貝層11	サケ科(大)	椎骨破片		
145	RA40	貝層11	サバ属	腹椎	4	
146	RA40	貝層11	サバ属	尾椎	8	
147	RA40	貝層11	スズキ	基後頭骨	1	
148	RA40	貝層11	マアナゴ	椎骨	1	
149	RA40	貝層11	ウナギ	尾椎	2	
150	RA40	貝層11	アイナメ	尾椎	1	
151	RA40	貝層11	マフグ科?	腹椎	1	
152	RA40	貝層11	不明	椎骨	14	
153	RA40	貝層11	不明	角舌骨	R 1	
154	RA40	貝層13	コイ科	尾椎	3	
155	RA40	貝層13	ニシン科	腹椎	7	
156	RA40	貝層13	ニシン科	尾椎	2	
157	RA40	貝層13	サケ科(大)	椎骨破片		
158	RA40	貝層13	サバ属	腹椎	3	
159	RA40	貝層13	サバ属	尾椎	8	
160	RA40	貝層13	スズキ	尾椎	1	
161	RA40	貝層13	アイナメ?	尾椎	1	
162	RA40	貝層13	不明	尾部棒状骨	1	
163	RA40	貝層13	不明	椎骨	4	
164	RA40	貝層19	ウグイ属	肩甲骨	R 1	
165	RA40	貝層19	ウグイ属	尾舌骨	1	
166	RA40	貝層19	ウグイ属	咽頭骨	L 1	
167	RA40	貝層19	ウグイ属	咽頭骨	R 3	
168	RA40	貝層19	ウグイ属	角骨	L 1	
169	RA40	貝層19	ウグイ属	角骨	R 1	
170	RA40	貝層19	コイ科	腹椎	20	
171	RA40	貝層19	コイ科	尾椎	24	
172	RA40	貝層19	ニシン科	腹椎	87	
173	RA40	貝層19	ニシン科	尾椎	33	
174	RA40	貝層19	ニシン科	尾部棒状骨	2	
175	RA40	貝層19	サケ科(大)	椎骨破片		
176	RA40	貝層19	サケ科(小)	尾椎	1	
177	RA40	貝層19	サバ属	前上顎骨	L 1	
178	RA40	貝層19	サバ属	腹椎	5	
179	RA40	貝層19	サバ属	尾椎	15	
180	RA40	貝層19	サバ属	前上顎骨	R 1	
181	RA40	貝層19	スズキ	腹椎	2	
182	RA40	貝層19	スズキ	尾椎	10	

No	出土地点	層位	種名	部位	左右・数	備考
183	RA40	貝層19	スズキ	歯骨	L 1	
184	RA40	貝層19	スズキ?	腹椎	2	
185	RA40	貝層19	マアナゴ	尾椎	1	
186	RA40	貝層19	不明	椎骨	18	
187	RA40	貝層19	不明	椎骨	1	熱で黒変
188	RA40	貝層19	不明	尾椎	12	
189	RA40	貝層19	不明	腹椎	4	
190	RA40	貝層19	不明	方骨	R2	
191	RD491	北半埋土	ニシン科	腹椎	2	
192	RD491	北半埋土	サバ属?	腹椎	1	
193	RZ11	貝層中	アイナメ	尾椎	5	
194	RZ11	貝層中	ウグイ属	咽頭骨	R 1	
195	RZ11	貝層中	ウグイ属	角骨	R 1	
196	RZ11	貝層中	ウグイ属	角骨	L 1	
197	RZ11	貝層中	ウグイ属	角舌骨	L 1	
198	RZ11	貝層中	ウグイ属	翼耳骨	R 1	
199	RZ11	貝層中	ウナギ	尾椎	30	
200	RZ11	貝層中	ウナギ	腹椎	17	
201	RZ11	貝層中	ウナギ?	腹椎	1	
202	RZ11	貝層中	コイ科	歯骨	L 1	
203	RZ11	貝層中	コイ科	主上顎骨	R 1	
204	RZ11	貝層中	コイ科	前上顎骨	R 1	
205	RZ11	貝層中	コイ科	尾椎	46	
206	RZ11	貝層中	コイ科	腹椎	11	
207	RZ11	貝層中	サケ科(小)	尾椎	10	
208	RZ11	貝層中	サケ科(小)	腹椎	10	
209	RZ11	貝層中	サケ科(大)	椎骨破片		
210	RZ11	貝層中	サケ科?	遊離歯	4	
211	RZ11	貝層中	サバ属	前上顎骨	L 1	
212	RZ11	貝層中	サバ属	尾椎	24	
213	RZ11	貝層中	サバ属	腹椎	9	
214	RZ11	貝層中	ニシン科	主鋸蓋骨	L 1	
215	RZ11	貝層中	ニシン科	尾椎	21	
216	RZ11	貝層中	ニシン科	腹椎	57	
217	RZ11	貝層中	ハゼ科	腹椎	2	
218	RZ11	貝層中	マアナゴ	尾椎	3	
219	RZ11	貝層中	不明	舌顎骨	L 2	
220	RZ11	貝層中	不明	椎骨	31	
221	RZ11	貝層中	不明	尾椎	21	
222	RZ11	貝層中	不明	腹椎	1	
223	RZ11	貝層中	不明	腹椎	2	
224	RZ11	貝層中	不明	方骨	R 1	
225	RZ11	貝層中		椎骨破片		
226	RZ11	貝層 a	アイナメ	前上顎骨	R 1	
227	RZ11	貝層 a	アイナメ	尾椎	11	
228	RZ11	貝層 a	アイナメ	腹椎	3	
229	RZ11	貝層 a	ウグイ属	角骨	R 1	
230	RZ11	貝層 a	ウグイ属?	咽頭骨	L 1	
231	RZ11	貝層 a	ウナギ	椎骨	1	
232	RZ11	貝層 a	ウナギ	尾椎	5	
233	RZ11	貝層 a	コイ科	尾椎	14	
234	RZ11	貝層 a	コイ科	腹椎	13	
235	RZ11	貝層 a	サケ科(小)	腹椎	2	
236	RZ11	貝層 a	サケ科(大)	椎骨破片		
237	RZ11	貝層 a	サバ属	前上顎骨	1	
238	RZ11	貝層 a	サバ属	尾椎	8	
239	RZ11	貝層 a	サバ属	腹椎	5	
240	RZ11	貝層 a	スズキ	尾椎	3	
241	RZ11	貝層 a	ニシン科	尾椎	7	
242	RZ11	貝層 a	ニシン科	尾部棒状骨	1	
243	RZ11	貝層 a	ニシン科	腹椎	8	
244	RZ11	貝層 a	マアナゴ	尾椎	2	
245	RZ11	貝層 a	マアナゴ	腹椎	4	
246	RZ11	貝層 a	板鯢亜綱	椎骨	14	
247	RZ11	貝層 a	不明	前上顎骨	R 1	
248	RZ11	貝層 a	不明	椎骨	1	
249	RZ11	貝層 a	不明	尾椎	12	
250	RZ11	貝層 a	不明	腹椎	8	
251	RZ11	貝層 a	不明	方骨	R 5	
252	RZ11	貝層 a	不明	方骨	L 3	
253	27L	II層下位	ウグイ属	角骨	L 1	
254	27L	II層下位	コイ科	腹椎	2	
255	27L	II層下位	コイ科	尾椎	1	
256	27L	II層下位	ニシン科	腹椎	3	
257	27L	II層下位	ニシン科	尾椎	1	

第21表 動物遺存体(その他)観察表

No	出土地点	層位	種名	部位	左右・数	備考
258	RA40	貝層11	ヘビ類	椎骨	1	
259	RZ11	貝層中	ウニ綱	棘	3	
260	RZ11	貝層中	不明小型鳥類	脛骨	L 1	
261	RZ11	貝層中	ヘビ類	椎骨	2	

第10表 土器観察表

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
61	50	1	RA26	埋土上位	深鉢	口:沈線・貼瘤(工字文)、胴:LR横	—	N	2	IV 5
61	50	2	RA26	西側埋土下位	深鉢	脚:無文	—	—	2	IV 5
61	50	3	RA26	南側埋土下位	深鉢	胴:LR縦、底面:網代痕	—	N	2	IV
61	50	4	RA26	南側埋土下位	深鉢	脚:沈線	—	N	3	IV 5
61	50	5	RA26	東側埋土下位・Pot 2	台付浅鉢?	胴:RL縦、脚:平行沈線	—	N	1	VI
61	50	6	RA26	東側埋土下位・Pot 2	深鉢	脚:沈線	—	—	3	IV 5
61	50	7	RA26	II層・18HPot 1	深鉢	胴:無文、底面:ナデ	—	N	1	IV 5
61	50	8	RA26	II層・Pot 1	深鉢	3波状、胴:RL縦、底面:ミガキ	—	N	3	II 3
61	50	9	RA27	炉上の埋土	深鉢	胴:LR縦斜→沈線、底面:木葉痕	—	M	2	II 5
62	51	10	RA27	土器埋設炉	深鉢	胴:L縦、底面:丘痕	—	N	3	II
62	51	11	RA29	ベルト	深鉢	胴:LR縦→沈線、底面:ミガキ	—	N	3	II 4
62	51	12	RA31	II層-20cm	深鉢	胴:RLR縦、底面:ミガキ	○	N	4	II
62	51	13	RA31	II層-20~30cm	深鉢	胴:単軸絡1・R縦→沈線	—	N	4	II
62	51	14	RA31	床直Pot 1	深鉢	胴:LR縦、底面:ミガキ	—	N	3	II
62	51	15	RA33	地山5cm上クリーニング	深鉢	平縁、口~:沈線(槽凹文)→LR縦	—	M	3	II 4
62	51	16	RA34	II層-40cm	深鉢	底部:不明、底面:網代痕	—	M	2	II
63	52	17	RA35	周溝①	深鉢	胴:RL縦→沈線	—	N	3	II 5
63	52	18	RA35	埋設土器③	深鉢	胴:沈線/RL縦	—	N	2	II 5
63	52	19	RA35	埋設土器④	深鉢	胴:LR縦、底面:木葉痕→ミガキ	—	N	3	II 5
64	52	20	RA35	埋設土器②	深鉢	胴:RL縦、輪積痕、底面:ミガキ	—	N	2	II 5
64	52	21	RA35	埋設土器①	深鉢	胴:LR縦横→沈線	—	N	3	II 5
65	53	22	RA36	埋土下位	注口土器	胴:沈線(羊歯状文)、注口1、輪積痕	—	N	2	IV 2
65	53	23	RA37	II層-20cm	深鉢	底部:LR縦、底面:木葉痕→ミガキ	—	N	3	II
65	53	25	RA37	II層-20cm	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	M	2	II
65	53	24	RA37	炉の北西側埋土	深鉢	底部:不明、輪積痕、底面:木葉痕	—	N	2	II
65	53	26	RA37・39	II層-15cm	深鉢	底部:LR縦、底面:木葉痕	—	N	2	II
65	53	27	RA37・39	RA37床面出土	深鉢	平縁、口:無文、胴:LR縦→沈線/隆帯+刺突	—	M	3	II 5
66	53	28	RA38	II層-20cm	深鉢	平縁、口~:隆帯/LR縦→沈線、輪積痕	○	M	1	II 4
66	53	29	RA38	炉土器埋設	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:ミガキ	—	M	2	II
66	54	30	RA39	北側埋土	深鉢	胴:LR斜、底面:網代痕	—	N	2	II
67	54	31	RA40	東西ベルトII層	深鉢	胴:LR縦、底面:ミガキ	—	M	3	II
67	54	32	RA40	II層-5cm	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	N	3	II
67	54	33	RA40	II層-10~15cm	深鉢	胴:沈線→LR縦、底面:ナデ	—	N	3	II 4
67	54	34	RA40	II層-20cm	深鉢	3波状、口:沈線、胴:RLR縦→沈線/隆帯、底面:不明	—	M	4	II 4
67	54	35	RA40	ベルトII層-20cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:ミガキ	—	N	2	II
67	54	36	RA40	II層-20cm	器台	胴:RL縦→貫通孔2対4単位、台:ミガキ	—	N	4	II
68	55	37	RA40	II層-40cmNo.8貝層より下	深鉢	胴:LR縦→沈線、底面:ミガキ	—	M	3	II 3
68	55	38	RA40	石囲炉1層	深鉢	底部:LR縦、底面:ミガキ	—	N	2	II
68	55	39	RA40	石囲炉1層	深鉢	胴:LR縦→沈線、底面:ナデ	—	N	2	II 3
68	55	40	RA43	焼土上	深鉢	底部:RLR縦、輪積痕	—	M	3	II
68	55	41	RA43	焼土上	深鉢	底部:RLR縦、底面:網代痕→ミガキ	—	M	3	II
68	55	42	RA43	焼土上(床直)	深鉢	平縁、口:無文、胴:RLR縦→隆沈線	—	N	3	II 3
69	56	43	RD285	埋土上	壺?	頸:隆帯貼付→沈線	—	N	2	IV 5
69	56	44	RD290	埋土上	台付浅鉢	胴:無文、ミニチュア	—	N	2	IV?
69	56	45	RD302	南半埋土	台付深鉢	平縁、口~:RL横→沈線(2単位)	○?	M	1	III 3
69	56	46	RD320	南半埋土	深鉢	胴:LR横斜	—	N	2	III
69	56	47	RD320	南半埋土	台?	胴:沈線?、脚:無文	—	N	3	III?
69	56	48	RD343	西半埋土下位	深鉢	底面:木葉痕	—	N	4	III?
69	56	49	RD350	埋土下位	深鉢	胴:RL縦、底面:木葉痕	—	M	4	III
69	56	50	RD361	西半埋土	台?	脚:沈線	—	N	3	III
69	56	51	RD362	西半埋土	壺?	底部:隆帯+刻目/貼瘤/沈線、胴:沈線	—	N	2	III 5
70	57	52	RD363	南半埋土	深鉢	平縁、口唇:RL、胴:RL横斜、輪積痕	—	M?	2	III
70	57	53	RD363	北半埋土2層	台	脚:ミガキ	●	N	3	III?
70	57	54	RD366	北半埋土1層	深鉢	底部:不明、底面:ミガキ	—	N	4	III?
70	57	55	RD367	西半埋土上位	深鉢	胴:LR横→沈線(3単位)、輪積痕	—	N	2	III 3?
70	57	56	RD394	東半埋土	深鉢	平縁、口:LR横・結節横、頸:隆帯貼付、胴:LR縦・結節縦	—	N	2	II 1
70	57	57	RD396	埋土中位	深鉢	平縁、口:沈線・刺突、頸:橋状隆帯、胴:隆帯貼付	—	N	2	II 2
71	58	58	RE02	南半埋土	深鉢	底部:輪積痕、底面:網代痕	—	N	1	III?
71	58	59	RE02	南半埋土	片口	口:LR縦・沈線・刺突、胴:RL縦横、輪積痕	—	M	4	II 2
72	58	60	RF16	焼土内一括	深鉢	胴:LR縦、底面:木葉痕	—	M	4	III
72	58	61	RF17	焼土下位	深鉢	胴:LR縦	—	N	2	III?
72	58	62	RF21	焼土下の黒褐色土	深鉢	底部:不明、輪積痕、底面:木葉痕	—	N	4	II
72	58	63	RF23	焼土の上面埋土	深鉢	胴:LR縦・結節縦、底面:木葉痕	○	N	2	III?
73	59	64	RF24	焼土内	深鉢	胴:LR縦・結節縦、輪積痕、底面:ナデ	—	N	3	II
73	59	65	RF24	焼土内	深鉢	底部:RLR縦?、底面:ミガキ	—	N	4	II?
73	59	66	RF24	北側焼土②	深鉢	胴:RL縦、底面:木葉痕	—	N	2	II?
73	59	67	RF24	北側焼土②	深鉢	胴:LR縦、底面:ミガキ	—	N	3	II?

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
73	59	68	RH07	北半埋土1層	深鉢	胴:LR斜、輪積痕、底面:庄痕?	—	N	2	Ⅲ?
73	59	69	RH07	周辺Pot2Ⅱ層	浅鉢	4波状、口:無文、胴:RL縦→沈線、輪積痕	—	M	1	Ⅲ3
74	59	70	RH08	周辺Pot2Ⅱ層-5cm	深鉢	胴:RL・LR横(非結束)、底面:ミガキ	—	M	2	Ⅲ?
74	59	71	RH08	周辺Pot1Ⅱ層-15cm	深鉢	胴:RL・LR横(非結束)、底面:ミガキ	—	N	2	Ⅲ?
74	60	72	RH10	礫下の土器	深鉢	口~:隆沈線、胴:RLR縦→沈線	—	M	2	Ⅱ4
74	60	73	RH10	礫下の土器	深鉢	底部:RLR縦、底面:ミガキ	—	N	4	Ⅱ
74	60	74	RH11	下位の土坑埋土	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	—	4	Ⅱ
74	60	75	RH11	下位の土坑埋土	深鉢	底部:不明、底面:ミガキ	—	N	4	Ⅱ
74	60	76	RZ07	埋設土器	壺	胴:無文	—	M	2	Ⅳ5?
74	60	77	RZ08	Ⅱ層-5cm	深鉢	平縁、口~:LR縦→沈線(楕円文)	—	M	2	Ⅱ4
75	60	78	RZ09	埋設土器	深鉢	胴:無文?	—	N	2	Ⅳ?
75	60	79	RZ11	Ⅱ層-10cm	深鉢	胴:LR縦、底面:網代痕	—	N	3	Ⅱ
75	60	80	RZ11	Ⅱ層-10cm	深鉢	平縁、胴:LR縦→沈線	—	N	3	Ⅱ4
75	61	81	RZ11	①-K	深鉢	胴:LR縦?、輪積痕、底面:ミガキ?	—	N	3	Ⅱ
75	61	82	RZ11	Ⅱ層-20cm	深鉢	平縁、口~:RLR縦→沈線(楕円文6単位)	—	N	3	Ⅱ4
76	61	83	RZ12	埋設土器	深鉢	胴:LR・RL横、底面:ナデ	◎	N	3	Ⅲ4
76	61	84	RZ13	埋設土器	深鉢	4波状、貫通孔4、口:無文、頸:沈線、胴:単軸絡1縦:LR、底面:ミガキ、アスファルト付着	○	M	3	Ⅲ1?
77	62	85	19L-PP1	埋土	浅鉢	口唇:突起3単位?・沈線、口:沈線・貼瘤(変形工字文)				Ⅳ5?
77	62	86	30J-PP5	埋土上位	小型深鉢	胴:無文、ミニチュア	—	N	3	V
77	62	87	30J-PP14	埋土	深鉢	胴:LR縦、底面:網代痕	—	N	4	Ⅲ?
77	62	88	31J-PP21	埋土下	深鉢	胴:貫通孔3?、底部:底縁に刻目	—	N	3	Ⅳ
77	62	89	31L-PP3	埋土	深鉢	胴:LR横、底面:ナデ	—	N	3	Ⅱ?
77	62	90	13B	Ⅱ層	台付深鉢	胴:RL横、脚:隆帯貼付→刻目/沈線、脚:(5.8cm)	—	N	4	Ⅳ
77	62	91	18L	Ⅱ層	壺	頸:沈線、対貼瘤	—	M	2	Ⅳ5?
77	62	92	18L	Ⅱ層	台	脚:沈線、輪積痕	—	N	4	Ⅳ5
77	62	93	21T	Ⅱ層	深鉢	口:無文、胴:LR横→沈線、輪積痕	—	M	2	Ⅲ3
78	63	94	22T	Ⅱ層	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付+刺突、胴:沈線	—	M	2	Ⅲ3
78	63	95	22V	盛土除去後攪乱	深鉢	胴:LR縦横→沈線(磨消)、輪積痕、底面:ナデ	—	N	2	Ⅲ3
78	63	96	24L	Ⅱ層-20cm	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	N	3	Ⅲ?
78	63	97	24L	Ⅱ層-20cm	台付深鉢	平縁、口:無文、頸:沈線、胴:無文、脚:5.9cm	○	N	4	Ⅲ3
78	63	98	24L	Ⅱ層-20cm	深鉢	胴:RL縦?、底面:網代痕	—	N	2	Ⅲ?
78	63	99	24M	Ⅱ層-20cm	深鉢	胴:RLR縦、底面:ナデ	—	M	4	Ⅲ?
78	63	100	24Q	Ⅱ層-5cm	壺	口:隆帯+貼瘤、頸:無文、胴:LR縦→沈線	—	M	1	Ⅳ3
78	63	101	25L	Ⅱ層-30cm	注口	胴:LR・RL横(非結束)→沈線、輪積痕	—	N	2	Ⅲ4
79	64	102	25M	Ⅱ層-30~50cm	深鉢	胴:単軸絡5R縦、底面:網代痕	—	N	4	Ⅲ1?
79	64	103	25M	Ⅱ層-30~50cm	深鉢	胴:RL縦、底面:ナデ	—	M	3	Ⅲ1?
79	64	104	25Q	Ⅱ層-10cm	台	台:無文	—	N	4	Ⅲ?
79	64	105	26I	Ⅱ層-10cm	深鉢	平縁、口~:LR縦斜、補修孔	○	M	2	Ⅱ?
79	64	106	26I	Ⅱ層-15cm	台?	脚:LR縦斜・沈線・隆帯、貫通孔	—	N	4	Ⅱ5?
79	64	107	26L	Ⅱ層-5cm	深鉢	胴:無文?、底面:ナデ	—	N	4	Ⅳ
79	64	108	26L	Ⅱ層-20cm	台付鉢?	脚:無文・ミガキ	—	M	1	Ⅳ
79	64	109	26L	Ⅱ層-20cm	深鉢	胴:RL縦、輪積痕、底面:木葉痕	—	M	4	Ⅲ?
79	64	110	26L	Ⅱ層-20cm	深鉢	胴:LR縦、底面:木葉痕	—	N	3	Ⅲ?
80	65	111	26L	Ⅱ層-20cm	深鉢	胴:沈線→RL・LR縦、底面:ナデ	—	N?	4	Ⅲ2
80	65	112	26L	Ⅱ層-20cm	深鉢	胴:単軸絡1R縦、輪積痕、底面:ナデ	○	N	4	Ⅲ?
80	65	113	26L	Ⅱ層	深鉢	6波状?、口:単軸絡1R縦→沈線/刺突、胴:単軸絡1縦、輪積痕、底面:ナデ?	—	N	4	Ⅲ1
81	65	114	26L	Ⅱ層-40cm	深鉢	4波状?、胴:単軸絡1R縦→沈線(磨消)	○	N	3	Ⅲ1
82	66	115	26M	Ⅱ層-10cm	深鉢	頸:R横?・斜沈線、胴:無文、輪積痕、底面:ナデ	—	N	2	Ⅳ
82	66	116	26M	Ⅱ層-10cm	深鉢	胴:RL・LR横(非結束)、沈線、輪積痕	—	N	3	Ⅲ
82	66	117	26M	Ⅱ層-20cm	深鉢	底部:無文、底面:ナデ	—	N	4	Ⅳ
82	66	118	26M	Ⅱ層-20cm	深鉢	胴:単軸絡1L縦、底面:網代痕	—	N	4	Ⅱ?
82	66	119	26M	Ⅱ層-20cm	深鉢	胴:L縦、底面:ナデ	○	M	3	Ⅱ?
82	66	120	26M	Ⅱ層-20cm	深鉢	胴:LR縦?、底面:庄痕	—	N?	4	Ⅱ?
82	66	121	26M	Ⅱ層-20cm	台付深鉢	脚:隆帯貼付+刺突	—	N	4	V
82	66	122	26M	Ⅱ層-20cm	注口	胴:LR縦斜→沈線、輪積痕	—	N	4	Ⅲ4?
82	66	123	26M	Ⅱ層-30cm	深鉢	平縁、胴:LR縦・結節R縦	—	N	4	Ⅱ?
83	66	124	26M	Ⅱ層-30cm	深鉢	胴:RL縦、底面:木葉痕	—	N	3	Ⅲ?
83	66	125	26M	Ⅱ層-60cm	小型壺	平縁、胴:無文	—	N	4	Ⅲ?
83	67	126	26N	Ⅱ層-10cm	深鉢	胴:不明、輪積痕、底面:ナデ	—	N	2	V
83	67	127	26N	Ⅱ層-20cm	壺	胴:RL縦→沈線/貼瘤4、輪積痕	—	N	3	Ⅲ5
83	67	128	26R	Ⅱ層-5cm	深鉢	胴:無文、底面:ミガキ	—	N	2	Ⅳ?
83	67	129	27I	盛土	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	N	4	Ⅱ
83	67	130	27I	Ⅱ層クリーニング	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	N	4	Ⅱ
83	67	131	27I	Ⅱ層-5cm③	深鉢	胴:RL縦→沈線、輪積痕、底面:ナデ	—	M	3	Ⅱ3?
83	67	132	27I	Ⅱ層-5~10cm	深鉢	底部:RL縦、輪積痕、底面:木葉痕	○	—	3	Ⅱ
83	67	133	27I	Ⅱ層-10~15cm・遺物出土②	深鉢	胴:沈線→LR縦、輪積痕、底面:ナデ	—	M?	4	Ⅱ4

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
83	67	134	27 I	II層-10~15cm	深鉢	胴:RL横、輪積痕	—	M	4	II
83	67	135	27 I	遺物検出②	深鉢	平縁、胴:RLR横、底面:ナデ	—	M	3	II
83	67	136	27 I	遺物出土②	深鉢	平縁、口:無文、胴:RL縦→沈線(5単位?)、貫通孔、底面:ミガキ	—	N	2	II 5
84	67	137	27 I	II層-10~15cm	台付深鉢?	胴:LR縦、脚:(4.5cm)	—	N	3	II?
84	67	138	27 I	II層-15~20cm	深鉢	平縁、口:LR縦、底面:ナデ	—	N	3	II
84	68	139	27 I	II層-15~20cm	深鉢	平縁、胴:RL(0段多条)横斜、沈線(9単位)、輪積痕、底面:ナデ	—	N	4	II 4
85	68	140	27 I	II層-20cm	深鉢	3波状、胴:RL縦→沈線(楕円文9単位)、底面:ミガキ	—	M	4	II 4
85	68	141	27 I	遺物出土①	深鉢	平縁、口~:沈線→LR縦、輪積痕	—	N	4	II 4
85	69	142	27 I	遺物出土①	深鉢	平縁、胴:RLR縦斜、輪積痕	◎	N	4	II
85	69	143	27 I	II層-20~25cm・10~15cm	深鉢	平縁、口:補修孔1、胴:沈線→LR縦(6単位)、底面:ナデ	—	M	2	II 4
85	69	144	27 I	II層-20~25cm	深鉢	平縁、口:無文、頸:隆帯(貼付)、胴:RLR縦→沈線、底面:ミガキ	—	M	3	II 5
85	69	145	27 I	II層-25cm	深鉢	胴:LR縦→沈線、底面:ナデ	—	N	4	II 4?
86	70	146	27 L	II層-5cm	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:ナデ	—	N	3	II
86	69	147	27 L	II層-10cm	深鉢	胴:隆帯→RL縦斜→沈線(6単位)	—	M	3	II 5
86	70	148	27 L	II層-10cm	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:ナデ	—	M	2	II
86	70	149	27 L	II層-10cm	深鉢	胴:LR縦斜、底面:ナデ	—	N	2	II
86	70	150	27 L	II層-10cm	深鉢	胴:LR縦・斜沈線?、底面:ナデ	—	N	4	II
86	70	151	27 L	II層-10cm	器台	胴:LR縦→沈線、貫通孔3単位、台:ミガキ	—	N	4	II 5
86	70	152	27 L	II層-20cm	小型深鉢	胴:LR縦?、ミニチュア	—	N	2	II
86	70	153	27 M	II層-20cm	深鉢	4波状、口:刺突・沈線・貼瘤4・貫通孔、胴:RL横斜・結節L斜、輪積痕	—	M	3	III 1
87	71	154	27 M	II層-20cm	深鉢	平縁、口~:RL縦	—	N	4	III 1?
87	70	155	27 M	II層-20cm	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:ミガキ	—	N	1	II
87	71	156	27 M	II層-20cm	脚?	脚:貫通孔・脚:縁に沈線	—	N	2	II 5?
87	71	157	27 M	II層-40cm	深鉢	波状、口~:RLR縦→隆沈線、底面:ミガキ	—	M	1	II 3
87	71	158	27 M	II層-40cm	深鉢	胴:隆帯/沈線→RL縦、底面:ナデ	—	M	4	II 5?
88	71	159	28 I	II層	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:ナデ	—	N	3	II
88	71	160	28 I	II層-10cm	深鉢	平縁、口~:RLR縦→沈線	—	M	2	II 4
88	72	161	28 I	II層-10cm	深鉢	突起4?、口:隆沈線、胴:RLR縦→沈線、輪積痕	—	N	4	II 4
88	71	162	28 I	II層-10cm	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:ナデ	○	N	2	II
88	71	163	28 I	II層-10cm	深鉢	胴:RLR縦、底面:網代痕	—	N	4	II
88	72	164	28 L	II層-5cm	深鉢	4波状、胴:LR縦→隆帯、輪積痕	—	M	3	II 5
88	72	165	28 L	II層-5cm	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	N	4	II
89	72	166	28 L	II層-5cm	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:木葉痕	○	M	4	III?
89	72	167	28 L	II層-50~60cm	深鉢	胴:RL縦→沈線、輪積痕、朱塗	—	M	2	II 5
89	72	168	28 L	II層-50~60cm	小型深鉢	底部:不明、底面:ナデ、ミニチュア	—	N?	2	II
89	73	169	28 L~29 L	貝層付近排土	深鉢	胴:LR縦→沈線、輪積痕、底面:ナデ	—	M	3	II 4
89	73	170	28 M	II層遺物検出①	深鉢	口~:LR横斜→隆帯・沈線	—	N	4	II 5
89	73	171	28 M	II層遺物検出①	深鉢	胴:L縦、底面:	—	N	4	II
89	73	172	28 M	II層遺物検出①	深鉢	胴:RL縦、輪積痕、底面:ミガキ	—	M	4	II
90	73	173	28 M	II層遺物検出①	深鉢	胴:LR縦	—	N	4	II
90	73	174	28 M	II層遺物検出④	深鉢	胴:LR縦/指紋痕?、輪積痕、底面:網代痕	—	—	4	II
90	74	175	28 M	II層遺物検出⑤	深鉢	胴:LR縦、底面:網代痕	—	M	4	II
90	74	176	28 M	II層遺物検出⑥	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:ミガキ	—	N	2	II
90	74	177	28 M	II層-5~10cm	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:網代痕	—	N	4	II
90	74	178	28 M	II層-5cm	深鉢	口~:LR縦、輪積痕	—	N	4	II?
91	74	179	28 M	II層-10cm	深鉢	平縁、口~:沈線→L縦斜	—	M	3	II 5
91	74	180	28 M	II層-10cm	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	N	4	II
91	74	181	28 M	II層-10cm	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	M	1	II
91	75	182	28 M	II層-15cm	深鉢	平縁、口~:LR縦→沈線(楕円文8単位)、輪積痕	—	M	2	II 4
91	75	183	28 M	II層-15cm	深鉢	胴:L縦、輪積痕	—	M	3	II?
91	75	184	28 M	II層-15cm	深鉢	胴:不明、底面:ナデ	—	N	4	II?
91	75	185	28 M	II層-15cm	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:LR	—	N	4	II?
91	75	186	28 M	II層-15cm	深鉢	胴:RL縦、底面:木葉痕	—	—	4	III?
92	75	187	28 M	II層-15~20cm	深鉢	胴:LR+L(異条縄文)、底面:ナデ	—	N	4	II?
92	75	188	28 M	II層-20cm	小型深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:ナデ	—	N	2	II
92	75	189	28 M	II層-20cm	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	N	4	II
92	75	190	28 M	II層-20cm	壺?	頸:LR縦→隆帯/沈線、輪積痕	—	N	4	II 5
92	75	191	28 M	II層-25cm	深鉢	胴:RLR縦、輪積痕、底面:ミガキ	—	N	2	II
92	75	192	28 M	II層-25~30cm	深鉢	口:LR横→隆帯貼付、胴:LR縦	—	M	2	II 2
92	75	193	28 M	II層-40cm	深鉢	4波状、頸:原体側圧L→隆帯・沈線、胴:L横→隆帯・沈線、底面:	—	M	2	II 1
92	76	194	28 M	II層-15~25cm	深鉢	平縁、口~:単軸絡1R縦、輪積痕	—	N	4	II?

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
92	76	195	28M	II層-40cm	深鉢	胴:LR縦、底面:ミガキ	—	—	4	II
92	76	196	28Q	II層-10cm	台	脚:無文	—	N	1	IV
92	76	197	29 I	II層-5cm	深鉢	4波状、胴:沈線→LR縦、底面:ナデ	—	M	1	II 4
93	76	198	29 L	遺物出土④	深鉢	底部:無文?、底面:網代痕	—	N	4	II
93	76	199	29 L	遺物検出⑥	深鉢	胴:RLR斜、輪積痕、底面:ナデ	—	N	4	II
93	76	200	29 L	II層-20cm	深鉢	胴:RLR縦、輪積痕、底面:ナデ	—	N	3	II
93	76	201	29 L	II層-20cm	深鉢	胴:LR縦、輪積痕、底面:ナデ	○	N	4	II
93	77	202	29 L	II層-20cm	深鉢	平縁、口:無文、頸:沈線、胴:RLR縦斜 →沈線(6単位?)、輪積痕、底面:ミガキ	—	N	2	II 5
94	76	203	29 L	II層-20cm	深鉢	胴:LR縦→沈線、輪積痕、底面:網代痕	—	N	4	II 5
94	77	204	29 L	II層-20cm	小型深鉢	底部:不明、ミニチュア	—	N	2	II ?
94	77	205	29 L	II層-20cm	深鉢	胴:LR縦、底面:網代痕→ミガキ	—	M	4	II
94	77	206	29 L	II層-20cm	深鉢	胴:LR縦、底面:網代痕→ミガキ	—	N	4	II
94	78	207	29M	遺物出土状況③	深鉢	胴:結束第1RL+LR縦、輪積痕底、網代痕	○	N	3	II
95	78	208	29M	遺物出土状況③	深鉢	胴:LR縦、底面:網代痕→ミガキ	—	N	4	II
95	78	209	29M	遺物出土状況③	深鉢	胴:RLR縦、輪積痕、底面:ミガキ	—	N	4	II
95	78	210	29M	遺物出土状況③	深鉢	胴:LR縦、底面:ミガキ	—	N	4	II
95	78	211	29M	遺物出土状況③	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	—	N	4	II
95	78	212	29M	II層-10cm	深鉢	平縁、口~:RLR縦、輪積痕	—	M	2	II
96	79	213	29M	II層-10cm	深鉢	平縁、胴:LR縦→沈線(9単位)、輪積痕、 底面:ミガキ	—	M	2	II 4
96	79	214	29M	II層-15cm	深鉢	平縁、頸:沈線、胴:LR縦→沈線(磨消)	—	M	3	II 4
96	79	215	29N	II層-10cm	深鉢	胴:RLR斜、底面:ミガキ	—	M	3	II
96	79	216	28M・29M	II層-15~25cm	深鉢	口~:沈線・LR縦	—	N	4	II 4
97	80	217	29Q	II層-10cm	浅鉢	口唇:刻目、口:隆帯+刻目、胴:LR横→ 沈線(磨消)	—	M	1	IV 3
97	80	218	29Q	II層-10cm	台	胴:沈線、脚:隆帯+刻目	—	N	1	IV
97	80	219	30 J	不明	深鉢	3波状?、胴:LR縦→沈線(楕円文13単位)、 輪積痕、底面:ミガキ	—	M	2	II 4
97	80	220	30K	II層-5cm	台付深鉢	胴:RL縦→沈線、底面:沈線+刺突、脚: RL縦→貫通孔	—	M	2	II 3
98	80	221	30M	II層-10cm	深鉢	口:無文、頸:突起4、胴:LR縦横→隆沈 線、朱塗、輪積痕	—	N	1	II 5
98	80	222	30M	II層-10cm	深鉢	胴:LR縦、底面:ナデ	○	N	4	II
98	80	223	30M	II層-10cm	深鉢	平縁、口~:LR縦、底面:ナデ	—	N	3	II
98	81	224	30M	II層-20cm	深鉢	口~:沈線・LR縦、輪積痕	—	M	4	II 4
98	81	225	30N	I	深鉢	波状、胴:RLR縦→沈線・隆帯、輪積痕、底面:ナデ	—	N	3	II 4
98	81	226	30N	I	小型深鉢	胴:不明、底面:ナデ、ミニチュア	—	M	2	II
98	81	227	30N	I	器台	胴:LR縦斜→沈線・刺突、貫通孔対6単位?、台:ミガキ	—	N	4	II
99	81	228	30O	II層上位	深鉢	頸:無文、胴:LR縦→沈線、朱塗、輪積痕、底面:ナデ	—	N	1	IV
99	81	229	30O	II層-10cm	深鉢	胴:L縦、底面:木葉痕	—	N	4	II ?
99	81	230	30O	II層-10cm	深鉢	胴:LR縦、底面:木葉痕?→ミガキ	—	N	4	II ?
99	82	231	30O	II層-10cm	深鉢	平縁、口~:RL縦斜→沈線、輪積痕	—	M	1	II 5
99	82	232	30Q	II層-10cm	台付浅鉢	平縁、胴:LR横/沈線	—	N	3	IV 4
99	82	233	30Q	II層-10cm	浅鉢?	胴:LR横→沈線(磨消)	—	N	1	IV 3 ?
99	82	234	31K	II層	深鉢	胴:沈線・朱塗・輪積痕・底面:沈線	—	N	2	IV
99	82	235	31K	II層-20cm	深鉢	胴:LR縦・横、朱付着、底部:丸底	—	—	3	IV
99	82	236	31K	II層-5~20cm	深鉢	胴:不明、底面:木葉痕	—	N	3	IV
99	82	237	31L	II層-10cm	浅鉢	平縁、口:原体側面庄痕LR・隆帯・貼瘤4、 胴:LR縦、輪積痕	—	M	2	II 1
99	82	238	32K	雑物撤去後	深鉢	胴:沈線(網目状)、輪積痕	—	N	4	III 1 ?
99	82	239	32K	I層-10cm	深鉢	胴:RLR縦、輪積痕、底面:ナデ	—	M	2	II
99	82	240	32K	表土除去後	深鉢	胴:無文、底面:ナデ	—	N	2	II ?
99	82	241	32L	II層-10cm	小型深鉢	胴:RLR縦、底面:ナデ、ミニチュア	—	N	2	II
99	82	242	不明	不明	深鉢	底:輪積痕、底縁に貼付→貫通孔1	—	N	4	III ?
100	83	243	RA24炉	埋土	深鉢	口:無文	—	N	3	VI
100	83	244	RA26	埋土上位	深鉢	口唇:庄痕、胴:LR斜、輪積痕	—	N	2	IV
100	83	245	RA26	南側埋土下位	浅鉢	口:変形工字文・貼瘤、内面に沈線	—	N	2	IV 5
100	83	246	RA26	南側埋土下位	浅鉢?	口:沈線、補修孔1	—	M	1	IV 5
100	83	247	RA26	南側埋土下位	浅鉢	口:沈線	—	M	2	VI
100	83	248	RA26	南側埋土下位	深鉢	口:無文、胴:LR斜	—	N	2	IV 5
100	83	249	RA26	南側埋土下位	深鉢	口唇:庄痕、口:無文、胴:LR横	○	N	2	IV 5
100	83	250	RA26	南側埋土下位	深鉢	口:無文、胴:LR縦	—	N	3	IV 5
100	83	251	RA26	南側埋土下位	深鉢	口唇:庄痕、口:無文、胴:LR縦	—	N	4	IV 5
100	83	252	RA26	南側埋土下位	深鉢	口唇:沈線・刻目、口:沈線・LR横	—	—	4	VI
100	83	253	RA26	南側埋土下位	深鉢	口:沈線	—	N	3	VI
100	83	254	RA26	南側埋土下位	壺	頸:隆帯貼付・沈線・貼瘤(工字文)・無文	—	N	1	IV 5
100	83	255	RA26	南側埋土下位	深鉢	口唇:庄痕、口:無文、胴:LR横	—	N	3	IV 5

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 附着	内面 調整	胎土	時期
100	83	256	RA26	黒褐色土	台付?	脚:沈線	—	M	1	VI
100	83	257	RA26	層黒褐色土	深鉢	口唇:圧痕、口:無文、胴:LR横	—	N	2	IV 5
100	83	258	RA27	SEベルト	深鉢	口:無文、頸:橋状貼付、胴:RLR縦・隆帯	—	N	4	II 5
100	83	259	RA27	埋下	深鉢	口:隆帯→原体側面圧痕L	—	N	4	II 1
100	83	260	RA27	埋下Q 3	深鉢	口:RLR縦→隆沈線(渦巻文)	—	N	3	II 3
100	83	261	RA27	床直?(30L)	深鉢	口:単軸絡1L縦→沈線(磨消)	—	M	3	II 5
101	83	262	RA27	床直?(30L)	深鉢	口:RLR縦・沈線、輪積痕	—	M	3	II 4
101	83	263	RA27・28	SWベルト	深鉢	胴:RLR縦→隆沈線、輪積痕	—	M	3	II 3
101	83	264	RA27・28	SWベルト	深鉢	口:LR縦	—	N	3	II ?
101	83	265	RA27・28	床直(3cm位上)	深鉢	口:RL縦	—		4	II ?
101	83	266	RA28	黒褐色土-20cm	深鉢	口:隆帯貼付・無文	—	N	4	II 3
101	83	267	RA28	黒褐色土-20cm	深鉢	口:沈線→貼瘤、胴:沈線	—	M	4	II 1
101	83	268	RA28	黒褐色土-20cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯・橋状貼付、朱塗	—	N	3	II 5
101	83	269	RA28炉	埋土	深鉢	口:LR斜→沈線	—	M	3	II 5
101	83	270	RA28炉	埋土	深鉢	口:RL縦→沈線、輪積痕	—	M	4	II 5
101	83	271	RA29	黒褐土-15cm	深鉢	口~:RLR縦→隆沈線(渦巻文)	—	N	3	II 3
101	83	272	RA29	黒褐土-15cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯・刺突	—	N	4	II 5
101	83	273	RA29	黒褐土-15cm	深鉢	口:LR縦→沈線	—	M	3	II 5
101	83	274	RA29	II層15~20cm	深鉢	口:LR縦→沈線、輪積痕	—	N	3	II 4
101	83	275	RA29	II層-20cm	深鉢	口:LR縦	—	M	3	II 4 ?
101	84	276	RA29	西側床直	深鉢	口:RL・LR横(羽状縄文)	—	M	4	III 4 ?
101	84	277	RA29	西側床直3cm	深鉢	突起:朱塗	—		2	II ?
101	84	278	RA30	埋土上~下	深鉢	口:無文、頸:隆帯・橋状貼付、胴:LR縦・沈線、朱塗	—	N	2	II 5 ?
101	84	279	RA30	黒褐土-15cm	深鉢	口~:沈線→刺突・LR縦	—	N	4	II 4
101	84	280	RA30	黒褐土3cm	深鉢	口:原体側面圧痕LR、胴:LR横	—	N	4	III ?
101	84	281	RA30	II層-15cm土器、礫、炭集中地点	深鉢	口:無文、胴:LR縦・沈線/隆帯貼付+刺突	—	N	2	II 5
102	84	282	RA30	II層-15cm土器、礫、炭集中地点	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付+刺突、胴:LR縦・沈線、輪積痕	—	M	2	II 5
102	84	283	RA30炉	焼土下	深鉢	口:RLR縦→沈線	—	M	4	II 4
102	84	284	RA30炉	焼土内	深鉢	口:LR縦→沈線	—	N	4	II 4
102	84	285	RA30	周溝下	深鉢	口:無文	—	M	3	II
102	84	286	RA31	Sベルト埋土上位	深鉢	口:無文、胴:沈線	—	N	2	II 5
102	84	287	RA31	II層10cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付、橋状貼付、胴:RLR縦・沈線	—	N	4	II 4 ?
102	84	288	RA31	II層10cm	深鉢	口~:LR縦→沈線	—	N	4	II 4 ?
102	84	289	RA31	II層10cm	深鉢	口~:LR横・結節横	—	N	4	II ?
102	84	290	RA31	II層-20cm	深鉢	口~:LR縦・沈線	—	N	2	II 4
102	84	291	RA31	II層-20cm	深鉢	口唇:隆帯貼付、口:無文、胴:沈線・隆帯貼付	—	N	4	II 5
102	84	292	RA31	II層-20cm	深鉢	口:RL横→隆沈線	—	N	4	II 3
102	84	293	RA31	II層-20cm	深鉢	口~:RL縦、補修孔1	—	N	2	II
102	84	294	RA31	II層30cm	深鉢	口~:LR斜→隆沈線(渦巻文)	○	M	2	II 3
102	84	295	RA31	Sベルト埋土下	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付・刺突	—	N	4	II 5
102	84	296	RA31	Sベルト埋土下	深鉢	口:隆帯+刻目、貫通孔1	—	N	3	II 5
102	84	297	RA31床下	31J II層-40cm	深鉢	口:無文、胴:沈線・LR斜	—	M	2	II 5
102	84	298	RA31床下	31J II層-40cm	深鉢	口:RLR縦→隆帯貼付	—	N	2	II 3
102	84	299	RA32	Eベルト上位黒褐土	深鉢	口~:沈線	—	N	3	II 4
102	84	300	RA32	31K II層-10cm	深鉢	口~:LR斜・沈線	—	N	4	II 4
102	84	301	RA32	31K II層-10cm	深鉢	口~:沈線・RL縦	—	N	2	II 4
102	84	302	RA32	II層15cm土器集中	深鉢	口~:単軸絡1R縦	—	N	2	II 5
102	84	303	RA32	II層15cm土器集中	深鉢	口:沈線、胴:RLR縦	—	M	4	II 5
102	84	304	RA32	II層15cm(No.6)	深鉢	口:隆帯貼付・刺突、内面に隆帯貼付	—	N	4	II 5
103	84	305	RA32	II層15cm(No.6)	深鉢	口~:単軸絡1R→沈線	—	N	2	II 5
103	84	306	RA32	II層-30cm	深鉢	底面:木葉痕	—	N	2	II ?
103	84	307	RA32	II層-30cm	深鉢	口~:隆帯貼付+刺突・LR縦・沈線、輪積痕	—	M	2	III 1
103	84	308	RA32	炉付近	深鉢	口:隆帯+刻目、貫通孔1	—	N	2	II 5
103	84	309	RA32炉	前庭部埋土	深鉢	胴:RLR縦/隆帯貼付	—	M	2	II 5
103	84	310	RA32	II層-20cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付+刺突、胴:単軸絡1L縦	—	M	3	II 5
103	84	311	RA33	Sベルト埋土上	深鉢	口:貫通孔・沈線・LR縦	—	N	3	II 4
103	84	312	RA33	Sベルト埋土上	深鉢	口~:RLR縦→隆沈線	—	M	1	II 3
103	85	313	RA33	地上5cmクリーニング	深鉢	口~:沈線・LR縦(楕円文)、輪積痕	—	N	2	II 4
103	85	314	RA33	黒褐土-15cm	深鉢	底面:網代痕	—		4	II
103	85	315	RA33	黒褐土-15cm	深鉢	口唇:突起、口:隆帯貼付、胴:無文	—	N	4	III ?
103	85	316	RA33	黒褐土-15cm	深鉢	口:無文、胴:LR斜→沈線	—	M	2	II 5
103	85	317	RA33	黒褐土-15cm	深鉢	口~:RLR縦→隆沈線、輪積痕	—	M	1	II 3
103	85	318	RA33	黒褐土-15cm	深鉢	口:隆帯貼付	—	N	4	II 5
103	85	319	RA33	黒褐土-15cm	深鉢	口~:沈線	—	N	3	II 5
103	85	320	RA33	黒褐土-15cm	深鉢	口:隆帯	—	M	2	II 5
103	85	321	RA33・30J	II層-30cm	深鉢	口~:LR縦・沈線、輪積痕	—	M	2	II 4

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
103	85	322	RA33・30J	Ⅱ層-30cm	深鉢	口～:LR縦	—	M	4	Ⅱ?
103	85	323	RA33	炉上面埋土	深鉢	口:無文	—	M	3	Ⅱ5
103	85	324	RA33	床面	深鉢	口唇:突起、口～:RL縦→隆沈線	—	M	2	Ⅱ3
104	85	325	RA33・34	Ⅱ層-30cm	深鉢	口～:LR縦・結節R縦→沈線・逆U字文	—	N	3	Ⅱ4
104	85	326	RA33・34	Ⅱ層-30cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:網代痕	—	—	2	Ⅱ
104	85	327	RA33・34	Ⅱ層-30cm	深鉢	胴:単軸絡1L縦・沈線	—	N	4	Ⅱ4
104	85	328	RA34(35)	Ⅱ層-30cm	深鉢	口～:LR斜・沈線	—	N	4	Ⅱ5
104	85	329	RA34(35)	Ⅱ層-30cm	深鉢	口:橋状貼付、胴:沈線・LR縦	—	M	4	Ⅱ5
104	85	330	RA34	Ⅱ層-40cm	深鉢	胴:LR縦横→沈線	—	N	4	Ⅱ5
104	85	331	RA34	土器、礫、炭集中地点	深鉢	口:橋状貼付、注口、頸:隆帯貼付+刺突	—	N	3	Ⅱ5
104	85	332	RA34	炉上面埋土	深鉢	口～:沈線・LR縦、内面に隆帯貼付	—	N	3	Ⅱ5
104	85	333	RA34	炉上面埋土	深鉢	口:無文、頸:刺突	—	M	4	Ⅱ5
104	86	334	RA35	Ⅱ層-30cm	深鉢	口～:刺突・沈線・単軸絡1R縦	—	N	3	Ⅱ5
104	86	335	RA35	前庭部	深鉢	口～:LR縦・沈線	—	M	3	Ⅱ5
104	86	336	RA36	南北ベルト1層	深鉢	口唇:突起・沈線・刻目	—	N	2	Ⅳ1
104	86	337	RA36	南北ベルト1層	深鉢	口:沈線(羊齒状文)、胴:LR横	—	M	2	Ⅳ2
104	86	338	RA36	北東埋土上位	台付浅鉢?	口～:刺突・沈線、輪積痕	—	N	1	Ⅳ2
104	86	339	RA36	北西埋土上位	深鉢	口:沈線、胴:LR横	—	M	1	Ⅳ2
104	86	340	RA36	北半埋土上位	深鉢	口:沈線(羊齒状文)、胴:LR横	○	N	1	Ⅳ2
105	86	341	RA36	北東埋土上位	深鉢	口:無文、頸:隆帯、胴:LR縦	—	M	3	Ⅱ5
105	86	342	RA36	北西埋土上位	深鉢	口:無文、頸:沈線、胴:LR横	—	N	2	Ⅲ?
105	86	343	RA36	北西埋土上位	深鉢	口:沈線、胴:RL横	—	M	2	Ⅳ2
105	86	344	RA36	北西埋土上位	壺	口唇:沈線、頸:無文	—	M	1	Ⅳ
105	86	345	RA36	北西埋土下位	深鉢	口唇:突起・刻目、頸:沈線・刻目、胴:LR横	—	M	1	Ⅳ3
105	86	346	RA36	南西埋土上位	深鉢	口:橋状隆帯・沈線、胴:RL縦	—	N	2	Ⅲ1
105	86	347	RA36	南西埋土上位	深鉢	口:沈線(羊齒状文)、胴:LR横・沈線(雲形文)	—	M	1	Ⅳ2
105	86	348	RA36	南西埋土上位	深鉢	口唇:沈線、頸:沈線	—	—	3	Ⅱ3
105	86	349	RA36	南西埋土上位	深鉢	口唇:突起、口:隆帯貼付・沈線・原体側面圧痕LR	—	N	3	Ⅱ1
105	86	350	RA36	埋土	深鉢	口唇:刻目・沈線、頸:沈線、胴:RL横	—	M	1	Ⅳ3
105	86	351	RA36	埋土	深鉢	口唇:突起・刻目、頸:沈線、胴:RL横	—	N	3	Ⅳ3
105	86	352	RA36	Ⅱ層-20cm	深鉢	底面:木葉痕	—	—	4	Ⅲ?
105	86	353	RA36	埋土下位	深鉢	口唇:突起・刻目、口:沈線	—	M	1	Ⅳ3
105	86	354	RA36	石囲炉内埋土	深鉢	口唇:沈線(羊齒状文)、口～:沈線(羊齒状文)	—	M	1	Ⅳ2
105	86	355	RA36	石囲炉内埋土	皿	口唇:突起、口:沈線(羊齒状文)	—	M	1	Ⅳ2
105	86	356	RA37・39	Ⅱ層-15cm	深鉢	口:隆帯貼付+刺突、頸:LR縦→沈線	—	N	4	Ⅲ1?
105	86	357	RA37	Ⅱ層-20cm	深鉢	口～:RLR縦	—	N	3	Ⅲ?
105	86	358	RA37	Ⅱ層-20cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:木葉痕	—	N	3	Ⅱ?
105	86	359	RA37	Ⅱ層-20cm	深鉢	口唇:刻目、口～:LR横・沈線	—	N	3	Ⅱ5?
105	86	360	RA37	Ⅱ層-20cm	深鉢	口:突起、橋状貼付2、貫通孔1、内面に隆帯貼付、刺突	—	N	3	Ⅲ1
105	86	361	RA37	Ⅱ層-20cm	深鉢	口:無文、頸:沈線、胴:LR縦	—	M	3	Ⅱ5
105	86	362	RA37	Ⅱ層-30cm	深鉢	口:沈線・刺突	—	N	4	Ⅱ5
105	86	363	RA37	Ⅱ層-30cm	深鉢	口:無文、頸:沈線+刺突	—	M	4	Ⅱ5
106	86	364	RA37	Ⅱ層-30cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯+刺突、胴:L縦・沈線・隆帯貼付+刺突	—	M	2	Ⅲ1
106	86	365	RA37	EWベルト下位	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付	—	M	4	Ⅱ5
106	87	366	RA38	Eベルト上層	深鉢	口～:RL縦	—	M	2	Ⅱ?
106	87	367	RA38	Ⅱ層-15cm	深鉢	口:無文、頸:沈線・隆帯貼付	—	N	3	Ⅱ5
106	87	368	RA38	Ⅱ層-15cm	深鉢	底面:木葉痕	—	—	4	Ⅱ?
106	87	369	RA38	Ⅱ層20cm	深鉢	底面:木葉痕	—	—	4	Ⅱ?
106	87	370	RA38	Ⅱ層-20cm	深鉢	口:RL縦	—	M	4	Ⅱ?
106	87	371	RA38	Ⅱ層-20cm	台付?	脚:貫通孔1	—	N	3	Ⅱ?
106	87	372	RA38	Ⅱ層-20cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付+刺突、胴:RL縦	—	M	3	Ⅱ5
106	87	373	RA38	Ⅱ層-20cm	深鉢	突起、口:無文、頸:隆帯貼付・刺突、胴:沈線・刺突、輪積痕	—	N	2	Ⅱ5
106	87	374	RA38	Ⅱ層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付+刺突	—	M	3	Ⅱ5
106	87	375	RA38	Ⅱ層25cm	深鉢	口～:LR縦	—	N	4	Ⅱ
106	87	376	RA38	Ⅱ層25cm	深鉢	口:隆帯貼付・刺突、胴:LR縦	—	M	4	Ⅱ?
106	87	377	RA39	床直埋土北側	深鉢	口:隆帯貼付+刺突、胴:沈線・刺突、輪積痕	—	N	4	Ⅱ5
107	87	378	RA39	床直埋土北側	深鉢	口:隆帯貼付→刺突、胴:LR縦・沈線	—	N	3	Ⅱ5
107	87	379	RA39炉	上面	深鉢	口:無文、頸:沈線、胴:LR縦	—	N	3	Ⅱ5
107	87	380	RA40	I層-5cm	深鉢	口:刺突、胴:RLR縦→隆沈線	—	M	4	Ⅱ4
107	87	381	RA40	Ⅱ層-5cm	深鉢	口:刺突、胴:RLR縦→隆沈線、No380と同一個体。	—	M	4	Ⅱ4
107	87	382	RA40	Ⅱ層-5cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:ナデ	—	N	3	Ⅱ
107	88	383	RA40	遺物検出①Ⅱ層-5cm	深鉢	口:隆帯貼付、胴:LR縦→沈線、輪積痕	—	N	3	Ⅱ4
107	88	384	RA40	遺物検出①Ⅱ層-10cm	深鉢	口～:RLR縦→沈線・隆帯貼付、朱塗	—	N	3	Ⅱ4
107	88	385	RA40	Ⅱ層-10cm、遺物検出①	深鉢	胴:隆帯・沈線・LR縦	—	N	3	Ⅱ4
107	88	386	RA40	Ⅱ層10cm	深鉢	口～:LR縦→沈線・隆帯貼付	—	N	4	Ⅱ4
107	88	387	RA40	Ⅱ層10cm	深鉢	口～:LR縦→隆沈線、No424と同一個体	—	M	4	Ⅱ4
107	88	388	RA40	Ⅱ層10cm	深鉢	口:隆帯貼付、No383と同一個体	—	N	3	Ⅱ4
107	88	389	RA40	Ⅱ層10cm	深鉢	口:沈線・RL縦、無文、輪積痕	—	N	4	Ⅱ4

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
107	88	390	RA40	II層10cm	深鉢	口～:RL縦・沈線	—	M	4	II 5
107	88	391	RA40	II層10cm	深鉢	口～:RL縦→隆帯貼付	—	N	4	II 4
107	88	392	RA40	II層-19cm	深鉢	口:隆帯貼付	—	N	4	II 4
107	88	393	RA40	II層-10~15cm	深鉢	口～:RLR縦・輪積痕	—	N	4	II
107	88	394	RA40	II層15cm	深鉢	胴:RL縦→隆沈線	—	M	4	II 3
107	88	395	RA40	II層15cm	深鉢	口～:LR縦→沈線・補修孔1	—	M	3	II 4
107	88	396	RA40	II層15cm	深鉢	口:隆帯・刺突	—	N	4	II 4
107	88	397	RA40	II層15cm	深鉢	口～:LR斜→沈線	—	M	4	II 5
108	88	398	RA40	II層-5cm埋土上位	深鉢	胴:沈線→LR横	—	M	3	II 5
108	88	399	RA40	(土器集中)II層-10cm	深鉢	胴:RL縦→沈線	—	N	2	II 5
108	88	400	RA40	II層20cm	深鉢	口～:LR縦→沈線	—	N	2	II 4
108	88	401	RA40	II層20cm	深鉢	口～:RLR縦→隆沈線	—	M	2	II 3
108	88	402	RA40	II層20cm	深鉢	口:RLR縦→隆帯	—	N	4	II 4
108	88	403	RA40	II層20cm	深鉢	口～:RL縦→沈線(槽円文)?	○	N	4	II 4
108	88	404	RA40	II層20cm	深鉢	突起:隆帯(渦巻文)、貫通孔3	—	N	2	II 3
108	88	405	RA40	II層-20cm	深鉢	口:無文・朱塗	—	M	2	II 5
108	88	406	RA40	ベルトII層-20cm	深鉢	口～:LR縦・隆帯貼付→沈線	—	N	4	II 5
108	88	407	RA40	ベルトII層-20cm	深鉢	口～:LR縦→沈線	—	M	3	II 5
108	88	408	RA40	II層-30cm	深鉢	口:RLR縦→隆沈線・輪積痕	—	N	2	II 3
108	89	409	RA40	II層-30cm	深鉢	突起、口～:隆帯貼付・RLR縦	—	N	2	II 4
108	89	410	RA40	II層30-50cm	深鉢	胴:隆帯貼付・環状貼付・朱塗	—	N	2	II 3
108	89	411	RA40	II層-40cm	深鉢	口～:LR横→隆帯・沈線・刺突	—	N	3	II 2
108	89	412	RA40	II層-40cm	深鉢	口～:LR縦→隆沈線	—	N	4	II 3
108	89	413	RA40	No.7 Pot	深鉢	胴:RLR縦→隆沈線	—	N	2	II 4
108	89	414	RA40	No.8貝層サンプル②-X	深鉢	胴:RL縦→沈線	—	N	4	II 3
108	89	415	RA40	No.11II層-5cm②-M	深鉢	口～:RLR横→隆沈線	—	N	2	II 3
109	89	416	RA40	貝層ブロック13	深鉢	胴:LR縦→沈線・輪積痕	—	M	3	II 4
109	89	417	RA40	貝層ブロック13	深鉢	胴:RLR縦→隆沈線	—	N	4	II 3
109	89	418	RA40	貝層ブロック13の上	深鉢	口:RL縦・沈線	—	M	2	II 4
109	89	419	RA40	貝層ブロック13の上	深鉢	口～:RL縦・沈線	—	N	4	II 5
109	89	420	RA40	貝層ブロック13の上	深鉢	口:原体側面圧痕LR→隆帯貼付	—	N	3	II 1
109	89	421	RA40	貝層ブロック13の上	深鉢	口～:RLR縦→沈線・補修孔1	—	N	2	II 4
109	89	422	RA40	貝層ブロック骨の上	深鉢	口～:RL縦→沈線・朱塗	—	M	1	II 3
109	89	423	RA40	東西ベルト2層	深鉢	口～:隆帯貼付・LR縦	—	N	2	II 5
109	89	424	RA40	埋土	深鉢	口～:LR縦→隆沈線・No.387と同一個体	—	M	4	II 3
109	89	425	RA40	埋土	深鉢	口～:RL横結節縦→頸部に沈線	—	M	2	II 1
109	89	426	RA40	埋土	深鉢	口:無文・頸:隆帯貼付・橋状貼付・胴:RL縦	—	N	4	II 5
109	89	427	RA40石囲炉	1層黄色土	深鉢	口:RL縦→隆沈線	—	M	4	II 3
109	89	428	RA40炉	埋土	深鉢	胴:LR縦→隆沈線	—	N	4	II 3
109	89	429	RA40炉	直上	深鉢	胴:LR横結節→隆沈線	—	M	4	II 2
109	89	430	RA40炉	西側焼土内	深鉢	胴:RL縦	—	N	3	II
109	89	431	RA42	炉の土器	深鉢	胴:LR・結節R縦	—	N	3	II?
109	89	432	RA42	炉周溝	深鉢	胴:LR縦→隆沈線	○	N	4	II 3
109	89	433	RA43	—	深鉢	口:RLR縦→隆沈線	—	N	3	II 3
109	89	434	RA43	焼上(床直)	深鉢	口:RLR縦→隆沈線	—	N	2	II 3
109	89	435	RE02	北半埋土1層	深鉢	口～:LR横・結節R横→隆帯貼付	—	N	4	II 1
109	89	436	RE02	南半埋土	深鉢	口～:LR横→沈線	—	N	4	III 2
109	89	437	RE02	南半埋土	深鉢	口唇:隆帯貼付・突起・胴:LR横	—	N	3	II 1
109	89	438	RE02	南半埋土	深鉢	口～:LR縦→隆帯	—	N	3	II 2
110	90	439	RD283	黒褐色	深鉢	口～:沈線・三叉文	—	N	1	IV 2
110	90	440	RD284	上～中位(N側)	浅鉢	口:沈線・朱付着	—	M	1	IV 5
110	90	441	RD284	埋土(N側)	深鉢	口～:隆帯貼付・刻目	—	M	1	IV 7
110	90	442	RD285	埋土上(黒褐)	深鉢	口:隆帯貼付・沈線	—	N	2	IV 3
110	90	443	RD285	埋土上位(18KII層黒褐)	深鉢	口唇:圧痕、口:無文・胴:LR横	—	N	2	IV 3
110	90	444	RD286	埋土上位(18KII層黒褐)	浅鉢	口:沈線・貼瘤(変形工字文)	—	N	2	IV 5
110	90	445	RD286	埋土上位(18KII層黒褐)	深鉢	口唇:突起・沈線、口:隆帯貼付・貼瘤(変形工字文)	—	N	1	IV 5
110	90	446	RD286	埋土S上位	深鉢	口～:沈線(三叉文)	—	N	1	IV 2
110	90	447	RD286	埋土S上位	深鉢	口唇:突起、口:沈線(三叉文)	—	M	1	IV 2
110	90	448	RD286	埋土(S)下位	浅鉢	口唇:突起、口:沈線・貼瘤(変形工字文)	—	M	1	IV 5
110	90	449	RD287	S側埋土上位(暗褐色)	深鉢	口:無文?	—	N	4	IV 7
110	90	450	RD287	S側埋土上位(暗褐色)	深鉢	口唇:沈線・刻目、頸:沈線・刻目、胴:LR横	—	N	1	IV 3
110	90	451	RD288	S側埋土	深鉢	胴:LR縦・沈線	—	N	2	II?
110	90	452	RD289	S側埋土	深鉢	口:無文	—	N	2	III?
110	90	453	RD289	S側埋土	深鉢	胴:沈線・刻目・輪積痕	—	N	2	III 5
110	90	454	RD292	上位	深鉢	口～:沈線・刺突	—	N	3	III 5
110	90	455	RD293	II層下位	深鉢	突起:沈線・刻目	—	N	3	III 3
110	90	456	RD294	II層下位	浅鉢	口:沈線・貼瘤(変形工字文)	—	N	1	IV 5
110	90	457	RD294	埋土	深鉢	胴:LR横・沈線(工字文)	—	N	1	IV 4

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
110	90	458	RD294	17LはじめのRDのその下	深鉢	口：沈線・貼瘤(変形工字文)	—	M	1	IV 5
110	90	459	RD295	埋土下位	深鉢	口：沈線(変形工字文)	—	N	1	IV 5
110	90	460	RD295	埋土下位	深鉢	口：沈線・刺突・縄文?	—	N	2	III 3
110	90	461	RD295	埋土下位	深鉢	口唇：圧痕、口：無文、胴：LR横	—	N	2	IV
110	90	462	RD299	埋土上位	深鉢	口唇：突起・沈線、口：沈線・刺突	—	N	1	IV 3
110	90	463	RD299	埋土上位	深鉢	胴：沈線・刺突	—	N	2	III 5
110	90	464	RD302	南半埋土	深鉢	口：LR横→隆帯	—	M	4	II 2
110	90	465	RD302	北半埋土	深鉢	口：沈線・LR縦	—	N	3	III 3
111	90	466	RD303	南半埋土	深鉢	口：沈線(羊歯状文)	—	N	4	IV 2
111	90	467	RD303	南半埋土	深鉢	口：RL横→沈線刺突	—	N	2	III 2
111	90	468	RD307	西半埋土	深鉢	口：LR横→沈線、頸：隆沈線、胴：LR縦→沈線	—	M	3	II 2
111	90	469	RD311	北半埋土4層	深鉢	口：RL横→沈線	—	N	4	III 3
111	90	470	RD311	南半埋土	深鉢	胴：LR横→沈線(磨消)、輪積痕	—	N	3	III 2
111	90	471	RD315	S側埋土	深鉢	口：無文、胴：LR横・隆帯貼付	—	M	3	III ?
111	90	472	RD317	北半埋土1層	深鉢	胴：RLR縦→隆沈線	—	N	3	II 3
111	90	473	RD317	北半埋土1層	深鉢	口唇：突起貼付、口：RLR横→隆帯+沈線	—	N	3	I 1
111	90	474	RD326	南半埋土	深鉢	胴：RL縦?・沈線	—	N	4	III 2
111	90	475	RD331	北半埋土	深鉢	胴：LR縦→沈線	—	M	2	III 2
111	91	476	RD332	北半埋土1層	深鉢	胴：LR横→沈線	—	M	3	III 2
111	91	477	RD332	南半埋土	深鉢	口：RL横斜、頸：沈線	—	M	3	III 2
111	91	478	RD333	南半埋土	深鉢	胴：RL横→沈線	—	N	3	III 2
111	91	479	RD338	埋土下位	深鉢	口～：RLR縦→隆沈線	—	N	4	II 3
111	91	480	RD338	埋土下位	深鉢	口～：RL縦→沈線	—	M	1	II 4
111	91	481	RD339	埋土上位	深鉢	口：LR横→隆沈線	—	M	4	II 2
111	91	482	RD340	南半埋土	深鉢	口：隆帯貼付・原体側面圧痕L	—	M	3	II 7
111	91	483	RD340	南半埋土	深鉢	口：LR横→隆帯	—	N	2	II 2
111	91	484	RD340	北半埋土1層	深鉢	口：LR横→隆帯、No483と同一個体	—	N	2	II 2
111	91	485	RD341	南半埋土1層	深鉢	底部：輪積痕、底面：網代痕	—	N	3	II ?
111	91	486	RD341	南半埋土1層	深鉢	口：LR縦→沈線	—	N	3	II 4
111	91	487	RD341	南半埋土1層	深鉢	口：LR横→隆帯	—	N	2	II 2
111	91	488	RD342	南半埋土1層	深鉢	口：RLR縦→沈線	—	M	2	II
111	91	489	RD342	南半埋土1層	深鉢	胴：RLR縦→隆沈線	—	M	2	II 3
111	91	490	RD343	西半埋土下位黄色土より下位	深鉢	口～：RL縦→沈線	—	N	2	II 5
111	91	491	RD343	西半埋土下位黄色土より下位	深鉢	口：隆帯貼付・LR斜→沈線	—	M	2	II 4
111	91	492	RD344	南半埋土1層	深鉢	胴：LR縦	○	N	4	II ?
112	91	493	RD346	南半埋土	深鉢	口：LR縦→沈線	—	N	4	II 4
112	91	494	RD346	南半埋土	深鉢	口：沈線→RL縦	—	M	4	II 4
112	91	495	RD346	南半埋土	深鉢	胴：LR縦(磨消)	—	N	3	II 4
112	91	496	RD348	西半埋土	深鉢	胴：LR縦・沈線	—	N	3	II 4
112	91	497	RD349	埋土上位	深鉢	口～：RLR縦→隆沈線	—	M	1	II 4
112	91	498	RD349	埋土上位	深鉢	口：RLR縦→隆沈線	—	M	3	II 4
112	91	499	RD349	埋土上位	深鉢	口：LR縦	—	N	4	II
112	91	500	RD349	埋土上位	深鉢	口～：RLR縦→沈線	—	M	4	II 4
112	91	501	RD349	埋土上位	深鉢	口：隆帯貼付・刺突	—	N	2	II 8
112	91	502	RD349	埋土上位	深鉢	口～：RL縦→沈線、輪積痕	—	N	3	II 4
112	91	503	RD349	埋土上～中位	深鉢	底部：輪積痕、底面：ミガキ	—	N	3	II
112	91	504	RD349	埋土上～中位	深鉢	口：RLR横→隆沈線、胴：RLR縦→隆沈線、輪積痕	—	M	2	II 3
112	91	505	RD349	埋土上～中位	深鉢	口～：RLR縦→沈線	—	M	4	II 4
112	91	506	RD354	北半埋土2層	深鉢	口唇：LR、口：沈線、胴：LR横	—	M	3	III 3
112	91	507	RD357	西半埋土5層	深鉢	口～：沈線・LR斜	—	M	2	II 5
112	91	508	RD357	—	深鉢	胴：LR横→刺突・沈線	—	M	4	III 3
112	91	509	RD358	南半埋土	深鉢	口：隆帯貼付・沈線	—	N	2	III 3
112	91	510	RD358	北半埋土1層	深鉢	口：沈線、胴：RL横	—	N	3	IV ?
112	91	511	RD359	南半埋土1層	深鉢	胴：LR横→沈線	—	N	3	III 3
112	92	512	RD361	西半埋土	深鉢	口：RL横→沈線	—	N	3	III 3 ?
112	92	513	RD361	西半埋土	深鉢	口：LR横→沈線	—	N	2	III 3
112	92	514	RD362	西半埋土上位	深鉢	口：RL横→沈線	—	N	3	III 2
112	92	515	RD362	西半埋土上位	深鉢	口：RL横縦(羽状縄文)・沈線	—	N	4	III 3
112	92	516	RD362	西半埋土上位	深鉢	口：LRL縦→隆沈線	—	N	4	II 5 ?
112	92	517	RD362	西半埋土上位	壺	胴上：RL横→沈線、胴下：無文、輪積痕	—	N	4	III 3
112	92	518	RD362	西半埋土上位	深鉢	口：単軸絡1R縦	—	N	4	II ?
113	92	519	RD362	西半埋土	深鉢	口：沈線→RL横	—	N	2	III 3
113	92	520	RD362	西半埋土	深鉢	口：RL縦横?→沈線	—	M	2	III 2
113	92	521	RD362	西半埋土	深鉢	口：沈線	—	N	4	III 2
113	92	522	RD363	北半埋土1層	深鉢	口：隆帯貼付	—	N	2	II 3 ?
113	92	523	RD363	北半埋土1層	深鉢	突起：LR横→沈線	—	N	2	III 3
113	92	524	RD363	北半埋土1層	深鉢	胴：LR横→沈線	—	N	3	III 3
113	92	525	RD363	北半埋土1層	突起	突起：隆帯/沈線、ミガキ	—	N	1	III 3

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
113	92	526	RD363	北半埋土2層	深鉢	底部:輪積痕、底面:網代痕	—	N	2	Ⅲ3
113	92	527	RD363	南半埋土上位	深鉢	口:RL縦→隆帯貼付	—	N	4	Ⅱ5
113	92	528	RD363	南半埋土上位	深鉢	口:RL横→沈線	—	N	3	Ⅲ2
113	92	529	RD363	南半埋土上位	深鉢	口:RL横→沈線	—	M	3	Ⅲ3
113	92	530	RD363	南半埋土上位	深鉢	口:RL縦→沈線・刺突	—	N	2	Ⅲ3
113	92	531	RD363	南半埋土上位	深鉢	突起:LR横→刺突・沈線	—	N	3	Ⅲ3
113	92	532	RD363	南半埋土上位	深鉢	突起:沈線、口:LR横・刺突・沈線	—	N	4	Ⅲ3
113	92	533	RD364	北半埋土1層	深鉢	口:RL横	—	N	3	Ⅲ?
113	92	534	RD364	北半埋土1層	深鉢	口:LR横	—	N	2	Ⅲ?
113	92	535	RD364	北半埋土1層	深鉢	口:沈線→刺突、胴:L横・沈線	—	M	3	Ⅲ3
113	92	536	RD364	南半埋土上位	深鉢	胴:LR横・沈線	—	N	2	Ⅲ2
113	92	537	RD365	北半埋土	深鉢	口:RL横斜→沈線	—	N	2	Ⅲ5
113	92	538	RD365	南半埋土	深鉢	突起:刻目、口唇:隆帯貼付、口:RL横	—	N	3	Ⅲ5
113	92	539	RD365	南半埋土	深鉢	口:RL横→隆沈線	—	N	3	Ⅱ2
113	92	540	RD366	北半埋土1層	深鉢	突起:隆帯貼付(鋸齒状)+沈線、胴:単輪絡1R、輪積痕	—	N	4	Ⅰ1
114	92	541	RD366	北半埋土1層	深鉢	胴:沈線・LR横	—	N	2	Ⅲ3
114	92	542	RD367	西半埋土2層	深鉢	突起:隆帯貼付+刻目、口~:RL・LR横(羽状観文)→沈線	—	N	4	Ⅲ3
114	92	543	RD367	西半埋土	深鉢	口~:RL横→沈線、補修孔1	—	M	2	Ⅲ3
114	93	544	RD367	西半埋土上位	深鉢	突起:LR横→刺突・沈線	—	M	4	Ⅲ3
114	93	545	RD369	南半埋土1層	深鉢	口:RL横→隆沈線	—	N	3	Ⅱ3?
114	93	546	RD369	南半埋土1層	深鉢	口:無文、頸:隆帯+刺突	—	N	4	Ⅱ5
114	93	547	RD369	北半埋土	深鉢	胴:RL横→沈線	—	N	2	Ⅲ3
114	93	548	RD370	西半埋土上位	深鉢	口:LR斜、輪積痕	—	N	3	V
114	93	549	RD370	西半埋土上位	浅鉢	口唇:刻目、口:隆帯貼付・沈線、胴:LR横	—	M	1	Ⅳ3
114	93	550	RD370	西半埋土上位	深鉢	口唇:刻目、貼瘤、頸:沈線、胴:RL横	—	N	3	Ⅳ3
114	93	551	RD370	西半埋土下位	浅鉢	口唇:刻目、口:隆帯貼付・沈線・貼瘤(工字文)	—	M	3	Ⅳ5
114	93	552	RD370	西半埋土下位	深鉢	口:LR横	—	N	4	Ⅳ?
114	93	553	RD370	西半埋土上位	深鉢	底部:輪積痕、底面:木葉痕	—	N	2	V
114	93	554	RD370	東半埋土	浅鉢	口~:隆帯貼付・LR縦	—	N	4	Ⅱ5
114	93	555	RD370	東半埋土	深鉢	口唇:沈線、頸:刻目・沈線、胴:LR横	—	M	1	Ⅳ3
114	93	556	RD372	埋土下	深鉢	口:RL横縦	—	N	2	Ⅱ
114	93	557	RD373	南側一括	深鉢	口~:沈線→LR縦	—	N	4	Ⅱ5
114	93	558	RD373	北側一括	深鉢	口:隆帯貼付・LR横	—	N	4	Ⅱ5
114	93	559	RD374	埋土	深鉢	胴:沈線→LR縦・逆U字文?、輪積痕	—	N	3	Ⅱ4
115	93	560	RD375	埋土下位	深鉢	口:RLR縦→沈線	●	M	3	Ⅱ4
115	93	561	RD376	埋土	深鉢	口:隆帯貼付・RL縦→沈線	—	N	3	Ⅱ4
115	93	562	RD380	埋土	深鉢	頸:沈線・刺突、胴:LR縦・沈線	—	N	4	Ⅱ5
115	93	563	RD382	東半埋土	深鉢	口:LR縦・沈線	—	M	2	Ⅱ5
115	93	564	RD383	埋土	深鉢	口:沈線	—	N	4	Ⅱ5
115	93	565	RA37炉横のPit(大)	深鉢	口~:隆帯貼付→LR縦横	—	M	3	Ⅱ5	
115	93	566	RA37炉横のPit(大)	深鉢	口:LR縦	—	N	4	Ⅱ	
115	93	567	RD384	北半埋土	深鉢	底部:内面に朱付着、底面:木葉痕	—	N	2	Ⅱ?
115	93	568	RD384	北半埋土	深鉢	胴:RL縦・隆帯	—	M	3	Ⅱ5
115	93	569	RD384	北半埋土	深鉢	口:LR横・沈線	—	N	3	Ⅲ3
115	93	570	RD384	南半埋土	深鉢	口:RL横→隆帯	—	N	2	Ⅱ2
115	93	571	RD385	南半埋土	深鉢	胴:RLR縦→隆沈線	—	M	3	Ⅱ3
115	93	572	RD385	埋土	深鉢	口:LR縦・沈線	—	N	3	Ⅱ4
115	93	573	RD387	埋土	深鉢	口:R縦→沈線	—	N	4	Ⅱ?
115	93	574	RD388	埋土	深鉢	胴:LR縦→沈線	—	N	2	Ⅱ4
115	93	575	RD388	埋土	深鉢	口:RL横→隆沈線	—	N	4	Ⅱ2
115	93	576	RD388	埋土	深鉢	胴:LR縦→沈線・無文帯	—	N	4	Ⅱ4
115	94	577	RD389	埋土	深鉢	口:無文、胴:LR縦→沈線	—	M	4	Ⅱ5
115	94	578	RD390	埋土	深鉢	口:無文、頸:沈線?	—	N	3	Ⅱ?
115	94	579	RD390	埋土	深鉢	口:隆帯貼付+刺突	—	N	4	Ⅱ1
115	94	580	RD391	1層	深鉢	口:隆帯貼付	—	N	2	Ⅱ5
115	94	581	RD391	北半埋土	深鉢	口:RLR縦→沈線・刺突	—	M	4	Ⅱ4
115	94	582	RD392	北半埋土	深鉢	口:隆沈線	—	N	2	Ⅱ2
115	94	583	RD394	埋土	深鉢	突起	—	—	4	Ⅱ1
115	94	584	RD394	西半埋土	深鉢	口:刺突	—	N	4	Ⅱ1
115	94	585	RD394	西半埋土	深鉢	口~:LR横・結節R横→隆帯貼付	—	N	3	Ⅱ1
116	94	586	RD396	埋土上	深鉢	底部:輪積痕、底面:ミガキ	—	N	1	Ⅱ?
116	94	587	RD396	埋土上	深鉢	胴:LR横→沈線	—	N	3	Ⅱ2
116	94	588	RD396	埋土中位	深鉢	口:RL横→隆沈線	—	M	3	Ⅱ2
116	94	589	RD396	埋土中位	深鉢	口唇:沈線、口:RL縦→沈線	—	N	3	Ⅱ9
116	94	590	RD396	埋土中位	深鉢	口:LR横・隆沈線、頸:隆帯・沈線、胴:LR縦	—	M	3	Ⅱ2
116	94	591	RD396	埋土中位	深鉢	口唇:隆帯、口~:RL横→沈線	—	N	4	Ⅱ9
116	94	592	RD396	埋土中位	深鉢	口:隆帯貼付	—	N	2	Ⅱ2
116	94	593	RD396	埋土下	深鉢	口:LR横→隆沈線、胴:LR縦	—	N	3	Ⅱ2

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層 位	器 種	文様(原体)の特徴	煤の 附着	内面 調整	胎土	時期
116	94	594	RD396	埋土	深鉢	口:LR横→隆沈線	—	M	2	II 2
116	94	595	RF09	焼土の中	深鉢	口:RL縦	—	N	3	II
116	94	596	RF09	焼土の中	深鉢	胴:RLR縦・沈線	—	N	3	II 4
116	94	597	RF09	焼土の中	台付深鉢?	脚:隆帯貼付・沈線・貫通孔	—	M	3	II 5
116	94	598	RF07付近	—	深鉢	胴:RLR縦→隆沈線	—	N	4	II 3
116	94	599	RF10	—	深鉢	胴:RLR縦→沈線	—	M	4	II 4
116	94	600	RF10	RF10の下からでてきた大9	深鉢	口~:LR縦・沈線・輪積痕	—	M	3	II 4
116	94	601	RF11	付近一括	深鉢	口:LR縦・沈線	—	N	2	II 5
116	94	602	RF11	焼土の中	深鉢	胴:L縦・輪積痕	—	N	4	II
116	94	603	RF14	—	深鉢	口:沈線	—	N	3	II 4
116	94	604	RF15	—	深鉢	口:LR縦・沈線	—	N	3	II 4
116	94	605	RF16	焼土下	深鉢	口~:沈線→LR横斜	—	M	3	II 5
117	95	606	RF18	—	深鉢	胴:RLR縦→沈線	—	N	4	II 4
117	95	607	RF20	焼土下2層	深鉢	口:LR横→沈線・無文帯	—	M	2	III 3
117	95	608	RF20	焼土下(図あり) Pot	深鉢	突起:RL縦→刺突・沈線	—	M	3	III 3
117	95	609	RF20	南半焼土中	深鉢	胴:LR横→沈線	—	N	4	II 2
117	95	610	RF21	焼土上の土器(南側)	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口:沈線	—	N	3	III 5
117	95	611	RF21	焼土上の土器(南側) 篋比割	深鉢	胴:沈線→貼瘤+刻目	—	M	3	III 5
117	95	612	RF25	焼土中	深鉢	口:刺突・沈線→RL縦	—	M	4	II 1
117	95	613	RH05	下の土坑南半埋土	浅鉢	口唇:沈線、口:沈線・貼瘤(変形工字文)	—	N	4	IV 5
117	95	614	RH06	の周囲	深鉢	口:無文、頸:沈線、胴:LR横	—	—	4	IV?
117	95	615	RH06	下の下のピット下位	深鉢	口唇:突起、口:RL横→沈線	—	N	2	IV 1
117	95	616	RH07	下位の土坑	深鉢	口唇:刻目、口:沈線・刺突、胴:LR横	—	N	1	IV 3
117	95	617	RH07	下の土坑南半埋土	深鉢	口:隆帯貼付	—	N	2	II 3
117	95	618	RH07	礫周辺の黒色土	深鉢	口:LR横縦→沈線	—	N	3	III 3
117	95	619	RH07	礫周辺の黒色土	深鉢	口:沈線・三叉文	—	N	1	IV 2
117	95	620	RH07	集石周辺の黒色土	深鉢	口:無文帯・LR横→沈線	—	M	3	III 3
117	95	621	RH08	周辺Pot 2 II層-5cm	深鉢	突起:環状、口:隆帯貼付	—	M	2	III 3
117	95	622	RH08	周辺Pot 2 II層-5cm	深鉢	突起:隆帯貼付・沈線(渦巻文)、貫通孔、口:LR横→刺突・沈線	—	M	2	III 3
117	95	623	RH08	周辺Pot 3 II層-10cm	深鉢	口:無文、頸:沈線	—	M	1	III 3
117	95	624	RH08	周辺Pot 3 II層-10cm	深鉢	底面:網代痕	—	—	4	III?
117	95	625	RH08	下位のII層黒色土	深鉢	口:RL横→沈線	—	N	2	III 2
117	95	626	RH09	下のPit埋土	深鉢	口~:L縦→沈線	—	N	3	II 5
117	95	627	RH09	直平南半礫下位黒色土	深鉢	口:隆帯貼付・結束第1LR・RL(羽状縄文)	—	N	3	II 1
118	95	628	RH10	礫中の土器	深鉢	口~:RLR縦→沈線(楕円文?)	—	N	4	II 4
118	95	629	RH10	礫下の土器	深鉢	口:隆帯貼付・LR縦→沈線	—	N	4	II 4
118	95	630	RH10	礫下の土器	深鉢	口:無文、頸:沈線→刺突、輪積痕	—	N	4	II 5
118	95	631	RH10	礫中の土器	深鉢	口~:RLR縦→沈線	—	M	2	II 4
118	95	632	RH11	南半埋土	深鉢	口:無文、胴:L縦	—	N	4	III
118	95	633	RH11	下の土坑埋土	深鉢	口唇:突起、口:刺突・沈線、胴:LR縦	—	N	4	III?
118	95	634	RH11	下の土坑埋土	深鉢	口~:RLR縦	—	M	3	II?
118	95	635	RH11	下の土坑埋土	深鉢	口唇:LR、口:無文、胴:LR横	—	M	3	III
118	95	636	RZ10	II層-10cm	深鉢	口~:隆帯→沈線・RL縦・楕円文	—	N	4	II 4
118	96	637	RZ11	II層-10cmPot 4RZの貝層	深鉢	口~:RLR縦	—	N	4	II?
118	96	638	RZ11付近	貝層の上II層-20cm	深鉢	口~:RLR縦・沈線	—	M	2	II 4
118	96	639	RZ11付近	貝層の上II層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付・原体側面圧痕R	—	N	3	II 1
118	96	640	RZ11	貝層a(貝層上の土器)	深鉢	口:LR縦	—	M	2	II
118	96	641	RZ11	南東側下位の土器(直下)	深鉢	口:隆帯貼付・刺突	—	M	3	II 3
118	96	642	RZ11	北東側貝層下位直下の土器	深鉢	口:沈線・RLR縦	—	N	4	II 4
118	96	643	RZ11	下位の骨	深鉢	口:隆帯貼付・沈線	—	N	4	II 4
118	96	644	RZ11	下の土坑埋土	深鉢	口唇:突起、口:LR横	—	N	3	II
119	96	645	17L-PP1	埋土下位	深鉢	口唇:突起、口:沈線・LR横	—	N	3	IV
119	96	646	18L-PP4	北半埋土	深鉢	口唇:突起・沈線、口:沈線、朱塗	—	N	1	IV 5
119	96	647	18H-PP4	北半埋土	深鉢	口唇:圧痕、口:無文、胴:LR横?	—	N	3	IV 5
119	96	648	18I-PP1	北半埋土1層	深鉢	口唇:刻目、口:沈線	○	N	2	IV 3
119	96	649	18I-PP1	北半埋土1層	深鉢	口唇:突起、口:沈線・貼瘤	○	M	1	IV 3
119	96	650	18L-PP2	埋土	深鉢	口:沈線・貼瘤(変形工字文)	—	M	1	IV 5
119	96	651	19H-PP2	南半埋土	深鉢	口:沈線・貼瘤(変形工字文)	—	M	1	IV 5
119	96	652	19H-PP2	南半埋土	深鉢	口唇:刻目、口:沈線	◎	—	4	IV 3
119	96	653	19J-PP1	南半埋土1層	深鉢	口~:沈線	—	N	1	IV 5
119	96	654	19J-PP1	北半埋土1層	深鉢	口唇:沈線、口:沈線(工字文)	—	M	1	IV 5
119	96	655	19J-PP2	北半埋土3層	深鉢	口唇:刻目、口:隆帯貼付・沈線・貼瘤(工字文)	○	M	1	IV 5
119	96	656	19L-PP1	南半埋土	深鉢	口:隆帯貼付・沈線	—	N	1	IV 5
119	96	657	29I-PP1	埋土中位	深鉢	口唇:突起、刻目、口:隆帯貼付+刻目・原体側面圧痕LR	—	N	4	II 1
119	96	658	29J-PP1	埋土中位	深鉢	口:LR縦	—	M	4	II?
119	96	659	30J-PP1	埋土	深鉢	胴:隆帯貼付・沈線・LR縦	—	N	2	II 4
119	96	660	30J-PP1	埋土	深鉢	胴:隆帯貼付・沈線・RLR縦・LR横	—	M	4	II 5

図版 Na	写図 Na	掲載 Na	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
119	97	661	30J-PP2	埋土	深鉢	胴:LR縦→沈線	—	N	4	II 5
119	97	662	30J-PP4・5	南側一括	深鉢	口唇:突起・隆帯貼付、口:RL縦・沈線	—	M	4	II 4
119	97	663	30J-PP3	埋土	深鉢	口:沈線・RL縦	—	M	2	II 5
119	97	664	30J-PP6	埋土	深鉢	口:LR縦	—	N	4	II
119	97	665	30J-PP9	埋土	深鉢	口~:LR縦	—	N	3	II
120	97	666	30J-PP9	埋土	深鉢	口:隆帯貼付	—	M	4	II 4
120	97	667	30J-PP11・12	西半埋土	深鉢	口唇:突起、口:無文	—	N	2	II 4
120	97	668	30J-PP12	東半埋土	深鉢	口~:LR縦	—	N	4	II?
120	97	669	31J-PP1	埋土上位	深鉢	口:刺突、胴:RL縦→隆沈線	—	N	3	II 3
120	97	670	31J-PP2	埋土	深鉢	口:RL横→隆帯貼付	—	M	1	II 3
120	97	671	31J-PP8	埋土	深鉢	口:隆帯貼付・沈線	—	M	3	II 3
120	97	672	31J-PP9	埋土	深鉢	口:LR縦	—	N	3	II?
120	97	673	31J-PP19	埋土	深鉢	口:沈線	—	M	3	II 5
120	97	674	31J-PP19	埋土	深鉢	口~:沈線・RL縦	—	M	2	II 4
120	97	675	31J-PP21	?	深鉢	胴:沈線・LR縦	—	M	3	II 5
120	97	676	31J-PP21	埋土下	深鉢	口:隆帯、胴:LR縦	—	N	4	II 5
120	97	677	31J-PP22	南半埋土	深鉢	口:隆帯貼付、胴:RLR縦	—	M	3	III?
120	97	678	31J-PP22	南半埋土	深鉢	口:隆帯貼付	—	N	3	II
120	97	679	21J-PP22	南半埋土	深鉢	口唇:突起・丘痕	—	N	3	II?
120	97	680	21J-PP22	南半埋土	深鉢	口~:RLR縦・沈線(楕円文)	—	N	2	II 4
120	97	681	31K-PP1(F)	埋土	深鉢	口:隆帯貼付	—	M	1	II 5
120	97	682	31K-PP11	埋土上の中一括	深鉢	口:隆帯貼付、胴:RLR縦	—	N	2	II 3
120	97	683	31L-PP1	北半埋土1層	深鉢	口~:沈線→LR縦	—	M	4	II 4
120	97	684	31L-PP1・2	南半一括	深鉢	底部:輪積痕、底面:木葉痕	—	N	4	II?
120	97	685	31L-PP3	埋土	深鉢	胴:LR縦・沈線	—	N	4	II 5
120	97	686	31L-PP7	埋土	深鉢	胴:RLR縦→隆沈線、輪積痕	—	M	4	II 3
120	97	687	32J-PP1	埋土	深鉢	口:隆帯貼付・原体側面丘痕LR、頸:隆帯・刺突	—	N	4	II 7
120	97	688	32J-PP1	埋土	深鉢	口:無文、胴:RL縦横	—	M	2	III
120	97	689	32J-PP2	埋土	深鉢	口:沈線→RL縦	—	M	2	II 5
120	97	690	32J-PP7	埋土	深鉢	口~:隆沈線・RL縦?	—	N	2	II 4
120	97	691	32J-PP11	埋土	深鉢	胴:LR縦→隆沈線	—	N	3	II 4
120	97	692	32K-PP1	埋土	深鉢	口:沈線	—	N	4	II 5
120	97	693	32K-PP6	埋土	深鉢	口~:隆沈線	●	N	2	II 4
120	97	694	32K-PP8	埋土	深鉢	胴:沈線・LR縦	—	N	4	II 4
120	97	695	32K-PP9	埋土	深鉢	口~:LR縦	—	N	4	II
120	97	696	32K-PP10	埋土	深鉢	口~:沈線・LR縦	—	N	3	II 5
121	97	697	18L	II層	浅鉢	口:沈線・貼瘤(変形工字文)、胴:LR横	—	N	1	IV 5
121	97	698	18L	II層	深鉢	口唇:丘痕、口:無文、胴:LR縦	—	M	2	IV 5
121	97	699	18L	II層	深鉢	口:無文、胴:LR縦横	—	N	3	IV 5
121	98	700	18Lベルト	II層	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口:沈線・工字文、胴:LR横	—	M	1	IV 5
121	98	701	19H	黒褐土一括	深鉢	口唇:沈線・刻目、口:無文、胴:沈線	—	N	1	VI
121	98	702	19H	黒褐土一括	深鉢	口:無文、胴:LR横	—	N	2	IV 5
121	98	703	19K	II層	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口:隆帯貼付・沈線・貼瘤(工字文)	—	N	1	IV 5
121	98	704	20M	II層-20cm	深鉢	口:貼瘤・突起、頸:沈線、胴:沈線+貼瘤・突起	—	N	3	IV 5
121	98	705	23P	II層-10cm	深鉢	突起:貼付(8の字状)、口:隆帯貼付	—	M	2	III 3
121	98	706	23Q	II層-5cm	深鉢	口:無文、胴:LR横・隆帯貼付・突起	—	N	4	III?
121	98	707	23Q	II層-5cm	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口:L横	○	N	2	III 5
122	98	708	23Q	II層-5cm	深鉢	口唇:刻目、胴:LR・RL横→沈線	○	N	2	III 3
122	98	709	23Q	II層-10cm	深鉢	口唇:貼瘤・突起、胴:LR縦→沈線	—	M	2	III 4
122	98	710	23Q	II層-10cm	深鉢	口:LR横	—	M	2	III 3
122	98	711	23Q	II層-10cm	深鉢	口:LR横→沈線・刺突	—	N	3	III 3
122	98	712	23R	II層-5cm	深鉢	口:刻目・貼瘤	—	M	4	III 5
122	98	713	23R	II層-10cm	深鉢	口:隆帯貼付+刻目、胴:LR横→沈線	—	M	4	III 3
122	98	714	23R	II層-10cm	深鉢	口~:LR横→沈線	—	M	4	III 3
122	98	715	23R	II層-10cm	深鉢	口:LR横→沈線	—	M	2	III 3
122	98	716	24I	II層-40cm	深鉢	口:沈線→刺突	—	N	3	II 1
122	98	717	24I	II層-40cm	深鉢	底面:網代痕	—	N	2	III?
122	98	718	24L	II層-20cm	深鉢	口~:沈線・LR縦	—	N	3	II 5
122	98	719	24M	II層-5cm	深鉢	口:沈線・刻目、胴:RL横→沈線、内面に貼瘤・刻目	—	N	2	III 4
122	98	720	24M	II層-5cm	深鉢	口:沈線・刻目、胴:RL横→沈線	—	M	2	III 4
122	98	721	24M	II層-20cm	深鉢	口~:RL縦→沈線	—	M	3	III 3
122	98	722	24M	II層-20cm	深鉢	口~:LR縦→沈線	—	N	4	III 2
122	98	723	24M	II層-20cm	深鉢	口:刺突→沈線、胴:LR・RL横(羽状縄文)	—	N	4	III 3
122	98	724	24M	II層-20cm	深鉢	口~:RL・LR横(羽状縄文)→沈線	—	M	3	III 3
122	99	725	24M	II層-20cm	深鉢	突起:隆帯貼付(渦巻文)、口:LR横→沈線	—	M	2	III 3
122	99	726	24M	II層-20cm	深鉢	突起:隆帯貼付(渦巻文)、口:LR横→刺突・沈線(磨消)	—	N	3	III 3
122	99	727	24M	II層-20cm	深鉢	口唇:刺突、口:刺突・貫通孔1、胴:L縦→沈線	—	N	4	III 3
123	99	728	24M	II層-20cm	深鉢	胴:沈線・刺突・RL縦横	—	N	3	III 3

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 附着	内面 調整	胎土	時期
123	99	729	24M	II層-20cm	深鉢	底面:網代痕	-	N	3	III 3
123	99	730	24M	II層-20cm	深鉢	突起:沈線、ミガキ・中空	-	N	2	III 3
123	99	731	24Q	II層-5cm	注口土器	注口:ミガキ、接着部にアスファルト附着	-	-	1	III
123	99	732	24Q	II層-10cm	深鉢	口:LR横→沈線	-	N	1	III 3
123	99	733	24Q	II層-20cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:網代痕	-	N	4	III
123	99	734	24R	II層-5cm	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口:隆帯貼付、胴:LR縦横→沈線	-	N	2	III 4
123	99	735	24R	II層-5cm	深鉢	口:LR横→沈線・刺突	-	M	1	III 3
123	99	736	24R	II層-10cm	注口土器	注口:ミガキ、胴部にLR・RL縦、接着部にアスファルト附着	-	-	3	III
123	99	737	25 I	II層-5cm	深鉢	突起:LR横縦・沈線	-	N	2	III 3
123	99	738	25 I	II層-20cm	深鉢	口唇:貼瘤、口:沈線→刻目	-	N	2	III 5
123	99	739	25 I	II層-50cm	深鉢	口:隆帯+刻目・沈線、胴:RL縦	-	N	4	II 5
123	99	740	25 I	II層-50cm	深鉢	口:刺突・沈線、輪積痕	-	N	4	II 5
123	99	741	25 L	II層-10cm	深鉢	口:無文、胴:RL縦横→沈線	-	M	3	III 3
123	99	742	25 L	II層-10cm	深鉢	口唇:突起、口:RL・LR横→沈線	-	N	2	III 5
123	99	743	25M	II層-20cm	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口~:LR・RL横(羽状縄文)→沈線	-	N	3	III 3
123	99	744	25M	II層-20cm	深鉢	底面:網代痕	-	N	4	III?
123	100	745	25M	II層-20cm	深鉢	口~:LR横→沈線	-	N	3	III 2
123	100	746	25M	II層-20cm	深鉢	口~:RL横・沈線	-	M	4	III 2
124	100	747	25M	II層-20cm	深鉢	突起:隆帯貼付・貫通孔1、胴:LR横→刺突・沈線	○	M	2	III 3
124	100	748	25M	II層-20cm	深鉢	口~:LR横・刺突	-	M	3	III 3
124	100	749	25M・26M	II層-10cm・II層-30~50cm	深鉢	口~:隆帯貼付・隆沈線→原体側面圧痕LR	-	M	3	II 3
124	100	750	25Q	II層-5cm	深鉢	口:RL横→沈線	-	M	2	III 2
124	100	751	25Q	II層-10cm	深鉢	口:無文、胴:LR横→沈線	-	M	2	III 3
124	100	752	25R	II層-5cm	深鉢	口~:LR横→沈線	-	N	2	III 3
124	100	753	25R	II層-10cm	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口:LR横→沈線	-	N	2	IV 1
124	100	754	26 I	II層-5cm	深鉢	口:無文、胴:L縦	-	N	4	III?
124	100	755	26 I	II層-10cm	深鉢	口:刺突・沈線	-	N	4	II 5?
124	100	756	26 I	II層-15cm	深鉢	口:RLR縦→隆沈線	-	N	4	II 3
124	100	757	26 I	II層-15cm	深鉢	口:沈線	-	N	3	II 4
124	100	758	26 I	II層-15cm	深鉢	口:隆帯貼付・貫通孔1	-	N	4	II 5
124	100	759	26 I	II層-15cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付・貼瘤、胴:RL横→沈線	-	M	3	III 1
124	100	760	26 I	II層	深鉢	口:貼瘤+刻目・沈線→LR縦	-	N	4	II 4
125	100	761	26 L	II層-5cm	深鉢	口:LR縦・環状突起、貫通孔1、盲孔1	-	N	4	II 5
125	100	762	26 L	II層-5cm	深鉢	口~:単軸絡1R→沈線(磨消)	-	M	2	III 1
125	100	763	26 L	II層-5cm	深鉢	口:無文(磨消)、胴:RL縦	-	N	4	III
125	101	764	26 L	II層-5cm	深鉢	口:LR横、頸:沈線	-	N	2	III 3
125	101	765	26 L	II層-5cm	深鉢	口唇:突起、口:RL横→沈線	-	N	2	III 5
125	101	766	26 L	II層-5cm	深鉢	口:RL・LR横(羽状縄文)	-	N	2	III?
125	101	767	26 L	II層-5cm	深鉢	口~:LR横→沈線	●	N	2	III 3
125	101	768	26 L	II層-5cm	深鉢	口:RL横+隆帯	-	M	2	II 3
125	101	769	26 L	II層-5cm	深鉢	口:無文、貫通孔1、胴:沈線、盲孔1	-	N	2	III 1?
125	101	770	26 L	II層-5cm	深鉢	口:貼瘤→刻目、胴:沈線・RL縦横	-	N	4	III 3
125	101	771	26 L	II層-5cm	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口:RL縦→沈線+貼瘤	-	N	2	III 4
125	101	772	26 L	II層-5cm	深鉢	口:無文、貫通孔1、胴:隆帯+刺突・RL縦	-	M	2	III 1
125	101	773	26 L	II層-5cm	深鉢	胴:沈線→RL縦横、輪積痕	○	M	4	III 3
125	101	774	26 L	II層-10cm	深鉢	口:無文、貫通孔1、胴:沈線	-	N	4	III 1
125	101	775	26 L	II層-10cm	深鉢	底面:網代痕	-	N	4	III
126	101	776	26 L	II層-5~20cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯+刻目、胴:LR横→沈線	-	N	4	III 1
126	101	777	26 L	II層-20cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯+刻目、胴:L縦	-	M	1	III 1
126	101	778	26 L	II層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付+刺突、胴:沈線	-	M	2	III 1
126	101	779	26 L	II層-20cm	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口~:LR縦横・沈線、輪積痕	-	N	1	III 4
126	101	780	26 L	II層-20cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯+刺突、胴:RL縦、輪積痕	-	N	4	III 1
126	101	781	26 L	II層-20cm	深鉢	口:無文、胴:単軸絡1L→沈線	-	N	2	III 1
126	101	782	26 L	II層-20cm	深鉢	突起:貫通孔1、隆帯→刺突	-	N	4	III 1
126	101	783	26 L	II層-20cm	深鉢	口:LR横→沈線	-	M	2	III 2
126	101	784	26 L	II層-20cm	深鉢	口:無文	-	M	1	III
126	102	785	26 L	II層-20cm	深鉢	口~:沈線、内面に沈線	-	N	2	III 1
126	102	786	26 L	II層-20cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付、胴:LR縦→沈線	-	N	4	III 1
126	102	787	26 L	II層-20cm	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口:LR横→沈線、胴:無文?	-	N	4	III 5
126	102	788	26 L	II層-20cm	深鉢	口~:RL横→沈線・刺突	-	N	2	III 2
126	102	789	26 L	II層-20cm	深鉢	口:貼瘤・刻目、胴:沈線・LR縦	-	N	4	III 3
126	102	790	26 L	II層-20cm	深鉢	口:沈線(羊歯状文)、胴:LR横	-	M	1	IV 2
126	102	791	26 L	II層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付	-	N	3	II 4
126	102	792	26 L	II層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付、磨滅著しい	-	-	4	II?
127	102	793	26 L	II層-20cm	深鉢	口:RL・LR横→沈線	-	N	2	III?
127	102	794	26 L	II層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付→沈線、朱塗	-	N	1	II 5?
127	102	795	26 L	II層-20cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:木葉痕	-	N	2	III
127	102	796	26 L	II層-20cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯・刻目、胴:単軸絡1R縦→沈線	-	N	4	III 1

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
127	102	797	26 L	II層-50cm	深鉢	口:無文、胴:隆帯貼付→刺突・沈線・RL縦、輪積痕	—	N	2	III 1
127	102	798	26 L	II層-30cm	深鉢	口:LR横→沈線	—	N	4	III 4
127	102	799	26 L	II層-30cm	深鉢	口:LR横→沈線	—	N	3	III 2
127	102	800	26M	II層-5cm	深鉢	口~:単軸絡5R縦→沈線・盲孔	—	N	4	III 1
127	102	801	26M	II層-10cm	深鉢	口唇:貼瘤・突起、口~:沈線→LR横	—	N	3	III 5
127	102	802	26M	II層-10cm	深鉢	口:隆帯貼付+沈線・刺突	—	N	2	III 1
127	102	803	26M	II層-10cm	深鉢	環状突起、口:沈線・刻目	—	N	3	IV 1
127	102	804	26M	II層-10cm	深鉢	口:RL横→沈線	—	M	2	III 2
127	102	805	26M	II層-20cm	深鉢	口:無文、胴:沈線・LR縦横	—	N	4	III
127	102	806	26M	II層-20cm	深鉢	口~:LR横→刺突・沈線	—	M	2	III 3
127	102	807	26M	II層-20cm	深鉢	口唇:突起、口:RL縦横→沈線	○	M	4	III 5
127	102	808	26M	II層-20cm	深鉢	突起:貫通孔1、口:RL横→沈線	—	M	4	III 3
127	102	809	26M	II層-20cm	深鉢	口:沈線・貼瘤+刺突、胴:LR横→沈線	—	N	3	III 1
127	102	810	26M	II層-20cm	深鉢	口:RL横→沈線	—	N	3	III 2
127	102	811	26M	II層-20cm	深鉢	口:沈線、貫通孔1、胴:LR縦斜→沈線	—	N	2	III 1
127	102	812	26M	II層-20cm	深鉢	口唇:貼付・突起、口~:単軸絡1R縦横→沈線、輪積痕	—	N	3	III 1
128	103	813	26M	II層-20cm	深鉢	底面:木葉痕	—	N	4	II
128	103	814	26M	II層-20cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:網代痕	—	N	4	II
128	103	815	26M	II層-20cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:網代痕	—	—	4	II
128	103	816	26M	II層-50~70cm	深鉢	口~:RL縦→隆沈線	—	M	3	II 4
128	103	817	26M	II層-50~70cm	深鉢	口:無文、胴:LR縦→沈線	—	M	3	II 4
128	103	818	26M	II層-50~70cm	深鉢	口:沈線、胴:RL横・結節L横	—	M	4	II 1
128	103	819	26N	II層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付→刺突、輪積痕	—	N	4	II 5
128	103	820	26N	II層-20cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:木葉痕	—	N	4	II
128	103	821	27 I	II層-8~10cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:木葉痕	—	N	2	II
128	103	822	27 I	II層-10~15cm	深鉢	口~:沈線・LR縦	—	M	4	II 5
128	103	823	27 I	II層-10~15cm	深鉢	口~:沈線・LR縦	—	N	2	II 5
128	103	824	27 I	II層-10~15cm	深鉢	口:無文、頸:沈線・刺突	—	M	4	II 5
128	103	825	27 I	II層-10~15cm	深鉢	口~:LR縦・沈線	○	M	2	II 5
128	103	826	27 I	II層-10~15cm	深鉢	口~:隆帯貼付・LR縦	—	N	4	II 4
128	103	827	27 I	II層-15cm	深鉢	口:隆帯貼付、胴:隆帯貼付・沈線・刺突	—	M	4	II 4
128	103	828	27 I	II層-15cm	深鉢	口:隆帯貼付、胴:隆帯・沈線	—	M	2	II 5
128	103	829	27 I	II層-15~20cm	深鉢	口~:隆帯貼付・沈線・LR縦	—	M	2	II 4
129	103	830	27 I	II層-15~20cm	深鉢	口:隆沈線、胴、RLR縦	—	M	1	II 4
129	103	831	27 I	II層-15~20cm	深鉢	口:RLR縦	—	N	4	II
129	103	832	27 I	II層-25cm	深鉢	口:隆帯貼付・刺突	—	N	3	II 4
129	103	833	27 I	II層-30~35cm	深鉢	口:原体側面圧痕LR	—	N	4	II 1
129	103	834	27 L	II層-5cm	深鉢	口~:沈線・LR縦	—	M	3	II 5
129	103	835	27 L	II層-5cm	深鉢	口~:沈線・LR縦	—	N	3	II 5
129	103	836	27 L	II層-5cm	深鉢	口~:隆帯・LR縦、補修孔1	—	N	3	II 5
129	104	837	27 L	II層-5cm	深鉢	環状突起、口:無文、胴:沈線・単軸絡1R	—	N	4	II 5
129	104	838	27 L	II層-5cm	深鉢	口~:単軸絡5R縦	—	N	4	III 1
129	104	839	27 L	II層-5cm	深鉢	口:無文、胴:単軸絡1R縦・沈線	—	N	2	III 1
129	104	840	27 L	II層-5cm	深鉢	口:隆帯貼付・RL縦	—	N	4	II 5
129	104	841	27 L	II層-5cm	深鉢	口~:RLR縦→隆帯・沈線、輪積痕	—	N	3	II 4
129	104	842	27 L	II層-5cm	深鉢	口唇:圧痕、口~:隆帯貼付・沈線(半截竹管)・L縦・LR斜	—	N	4	III?
129	104	843	27 L	II層-10cm	深鉢	口~:沈線・LR縦横	—	M	2	II 5
129	104	844	27 L	II層-10cm	深鉢	口~:RL縦・沈線	—	N	2	II 4
129	104	845	27 L	II層-10cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付+刺突、胴:L縦	—	N	4	II 5?
129	104	846	27 L	II層-10cm	深鉢	口~:LR縦→沈線	—	M	4	II 5
129	104	847	27 L	II層-20cm	深鉢	口~:RL縦→沈線	—	M	1	II
129	104	848	27M	II層-5cm	深鉢	口:貼付、胴:沈線	—	N	4	III 1
129	104	849	27M	II層-5cm	深鉢	口:隆帯+沈線・刻目・貼瘤、アスファルト付着・朱塗	—	N	3	III?
129	104	850	27M	II層-20cm	深鉢	口:隆帯・刺突、胴:LR縦→沈線	—	N	4	II 5
129	104	851	27M	II層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付・突起、胴:RLR縦→沈線	—	N	2	II 5
130	104	852	27M	II層-20cm	深鉢	口:LR縦・沈線	—	N	2	II 5
130	104	853	27M	II層-20cm	深鉢	口:無文、隆帯貼付、胴:LR縦→隆帯貼付+刻目	—	N	4	III 1
130	104	854	27M	II層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付、胴:L縦	—	N	4	III 1
130	104	855	27M	II層-40cm	深鉢	口:無文、胴:RL縦→隆帯・沈線・刻目	—	M	3	III 1
130	104	856	27M	ベルトII層-40cm	深鉢	口:隆帯貼付、輪積痕	—	N	3	II 4
130	104	857	27M	II層-40cm	深鉢	口:無文、胴:隆帯貼付・沈線	—	N	4	II 1
130	104	858	27M	ベルトII層-40cm	深鉢	胴:RL縦→隆帯貼付、盲孔	—	M	4	III 1
130	104	859	27M	II層-40cm	深鉢	口~:RLR縦→沈線	—	M	4	II 4
130	104	860	28 I	II層	深鉢	口:隆帯貼付・刺突	●	M	3	II 4
130	105	861	28 I	II層	深鉢	突起:隆帯貼付	—	N	2	II 4
130	105	862	28 I	II層	深鉢	口:隆帯貼付・刺突、頸:無文	—	M	2	II 4
130	105	863	28 I	II層	深鉢	口:沈線、胴:隆帯貼付・沈線	—	N	2	II 4
130	105	864	28 I	II層	深鉢	口唇:突起、貫通孔1、口~:RLR縦→隆沈線	—	N	2	II 3

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 附着	内面 調整	胎土	時期
130	105	865	28 I	II層-10cm	深鉢	口~:RLR縦・輪積痕	—	N	4	II
131	105	866	28 I	II層-10cm	深鉢	口~:RL縦・沈線・楕円文	○	M	4	II 4
131	105	867	28 I	II層-10cm	台付	脚:RLR縦・沈線・貫通孔2	—	M	2	II 4
131	105	868	28 I	II層-10~15cm	深鉢	口~:隆帯貼付・RL縦	—	M	4	II 4
131	105	869	28 I	II層-10~15cm	深鉢	口~:隆帯貼付	—	N	3	II 4
131	105	870	28 I	II層-10~15cm	深鉢	口:隆帯貼付・刺突・胴:沈線・RLR縦	—	M	2	II 4
131	105	871	28 I	II層-10~15cm	深鉢	口~:隆帯貼付・RLR縦→沈線	—	N	3	II 4
131	105	872	28 I	II層-10~15cm	深鉢	口~:沈線・RLR縦	—	N	3	II 4
131	105	873	28 I	II層-10~15cm	深鉢	口:隆帯・刺突・胴:LR縦→沈線	—	M	3	II 4
131	105	874	28 I	II層-15cm	深鉢	口:隆帯貼付・刺突・頸:無文	—	N	2	II 4
131	105	875	28 I	II層-15cm	深鉢	口~:沈線・RL縦	—	M	2	II 4
131	105	876	28 I	II層-15cm	深鉢	口~:沈線・RLR縦	—	N	3	II 4
131	105	877	28 I	II層-15cm	深鉢	口:隆帯貼付・輪積痕	—	N	3	II 5
131	105	878	28 I	II層-15cm	深鉢	口~:隆帯貼付・沈線・RLR縦	—	M	2	II 4
131	105	879	28 I	焼土付近(II層-15~20cm)	深鉢	口~:橋状貼付・L縦・沈線	—	N	4	II 5
131	105	880	28 I	焼土付近(II層-15~20cm)	深鉢	口:沈線	—	M	4	II 5
131	105	881	28 L	II層-5cm	深鉢	頸:隆帯貼付・貫通孔・胴:LR縦	—	M	3	III?
131	105	882	28 L	II層-5cm	深鉢	口~:RL縦→隆帯	—	N	4	II 5
131	105	883	28 L	II層-10cm	深鉢	口~:LR縦→沈線	—	M	4	II 4
131	105	884	28 L	II層-10cm	深鉢	口~:隆帯貼付・沈線・LR縦	—	M	4	II 4
131	105	885	28 L	II層-10cm	深鉢	口~:RLR縦→沈線	—	N	4	II 5
131	106	886	28 L	II層-10cm	深鉢	口:LR縦・輪積痕	—	M	4	II
132	106	887	28 L	II層-10cm	深鉢	胴:沈線・LR縦	—	N	4	II 4
132	106	888	28 L	II層-10cm	深鉢	口~:LR縦・沈線	—	M	2	II 4
132	106	889	28 L	II層-20cm	深鉢	口:無文・胴:隆帯貼付・RL縦横	—	M	4	II 5
132	106	890	28 L	II層-20cm	深鉢	口~:RL縦→沈線	—	N	3	II 5
132	106	891	28 L	II層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付	—	N	4	II 5
132	106	892	28 L	II層-20cm	深鉢	口唇:突起・口:刺突・胴:LR縦→沈線	—	M	3	II 5
132	106	893	28 L	II層-20cm	深鉢	口~:LR縦・沈線・輪積痕	—	N	3	II 4
132	106	894	28 L	II層-20cm	深鉢	口:LR横→隆沈線・刺突	—	N	4	II 3
132	106	895	28 L	II層-20cm	深鉢	口:LR横→沈線	○	M	2	II 5
132	106	896	28 L	II層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付・沈線	—	N	4	II 1
132	106	897	28 L	II層-20cm	深鉢	底部:輪積痕・底面:木葉痕	—	—	2	II?
132	106	898	28 L	II層-20cm	深鉢	底面:網代痕→ミガキ	—	N	4	II?
132	106	899	28 L	II層-20cm	深鉢	口:RLR縦→隆帯・沈線	—	M	4	II 5
132	106	900	28 L	II層-50cm	深鉢	口:沈線・刺突・胴:LR横・結節R横	—	M	3	II 1
132	106	901	28 L	II層-50cm	深鉢	口:無文帯・胴:LR縦→隆帯	—	M	2	II 3
132	106	902	28 L	II層-50~60cm	深鉢	口:LR斜→隆帯	—	N	4	II 1
132	106	903	28 L	II層	深鉢	口:貼瘤・結節1LR・RL横・胴:結節1LR・RL縦	—	N	4	II 1
132	106	904	28 L	II層	深鉢	口:結節1LR・RL横・頸:貼瘤・胴:結節1LR・RL縦	—	M	4	II 1
132	106	905	28 L~29 L	貝層付近排土	深鉢	頸:隆帯・橋状貼付・沈線	—	N	2	II 3
133	106	906	28 M	遺物検出①	深鉢	口~:沈線+刺突	—	M	3	II 5
133	106	907	28 M	II層-5cm	深鉢	口~:RLR縦→隆帯・沈線	—	N	3	II 4
133	106	908	28 M	II層-5cm	深鉢	口:無文・胴:LR縦横	—	N	4	II 5
133	106	909	28 M	II層-15cm	深鉢	口~:LR縦・隆帯・沈線	○	N	2	II 5
133	107	910	28 M	II層-15cm	深鉢	口:LR縦	—	N	2	II?
133	107	911	28 M	II層-15cm	深鉢	口~:隆帯貼付・LR縦	—	N	3	II 5
133	107	912	28 M	II層-15cm	深鉢	口~:隆帯貼付・RL縦・朱塗(無文帯部分)・輪積痕	—	N	3	II 5
133	107	913	28 M	II層-15cm	深鉢	口:無文・胴:隆帯貼付・RL縦	—	N	3	II 5
133	107	914	28 M	II層-15cm	深鉢	口唇:貼付・突起・口:無文・頸:隆帯・刺突	—	N	2	II 5
133	107	915	28 M	II層-15cm	深鉢	口~:沈線・RL縦	—	M	3	II 5
133	107	916	28 M	II層-15cm	深鉢	口~:隆帯貼付・沈線・LR縦	—	M	2	II 4
133	107	917	28 M	II層-15cm	深鉢	口:LR縦・沈線	—	N	4	II 5
133	107	918	28 M	II層-15cm	深鉢	口~:L縦→沈線・刺突・輪積痕	—	M	2	III?
133	107	919	28 M	II層-15cm	深鉢	胴:隆帯・橋状隆帯・沈線・RLR縦	—	N	3	II 4
133	107	920	28 M	II層-15cm	深鉢	底面:木葉痕	—	N	4	II
133	107	921	28 M	II層-15cm	深鉢	胴:RLR縦→隆帯・沈線	—	N	2	II 5
134	107	922	28 M	II層-20cm	深鉢	口~:RL縦・隆帯・沈線	—	N	4	II 5
134	107	923	28 M	II層-20cm	深鉢	口~:LR縦・沈線	—	N	3	II 5
134	107	924	28 M	II層-20cm	深鉢	口:LR横→隆沈線	—	M	2	II 3
134	107	925	28 M	ベルトII層-20cm	深鉢	口:RL縦	—	N	4	II
134	107	926	28 M	II層-25cm	深鉢	口~:結束1LR・RL横(羽状縄文)・結節L横→隆帯貼付	—	N	3	II 1
134	107	927	28 M	II層-25cm	深鉢	口~:LR横→隆帯貼付・沈線	—	N	4	II 1
134	107	928	28 M	II層-25cm	深鉢	口~:RLR横→隆帯	—	N	3	II 3
134	107	929	28 M	II層-40cm	深鉢	口~:LR横・結節R横	—	N	2	II 1
134	107	930	28 M	II層-40cm	深鉢	口~:LR横→沈線・刺突・隆沈線	—	M	4	II 2
134	107	931	28 M	II層-40cm	器台?	脚:RL縦・貫通孔2・輪積痕	—	N	3	II
134	107	932	28 Q	II層-5cm	深鉢	口唇:刻目・口:沈線・胴:RL横	○	N	1	IV 3

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
134	107	933	28Q	II層-5cm	深鉢	口:隆帯貼付・刻目、胴:LR横・沈線(雲形文)	—	N	1	IV 3
134	107	934	28Q	II層-5cm	深鉢	口唇:貼付・突起、口:沈線・刻目	—	N	3	III 5
134	108	935	28Q	II層-5cm	深鉢	口:沈線・刻目(羊歯状文)、胴:LR横	○	M	1	IV 2
134	108	936	28Q	II層-10cm	深鉢	口~:LR横斜→沈線、輪積痕	○	N	3	III 1
134	108	937	28Q	II層-10cm	深鉢	口:隆沈線	—	M	2	II 3
134	108	938	28Q	II層-20cm	深鉢	口:RL横→隆沈線	—	N	4	II 3
134	108	939	29J	黒褐土(5~10cm)	深鉢	胴:RLR縦→隆沈線	—	N	3	II 3
134	108	940	29K	黒褐土(15cm)	深鉢	胴:RL縦→隆帯・沈線	—	N	3	II 3
134	108	941	29L	遺物出土⑤	深鉢	口:無文・隆帯貼付、胴:RLR縦・沈線	—	N	3	II 5
134	108	942	29L	遺物出土④	深鉢	胴:LR縦→沈線	—	N	2	II 5
134	108	943	29L	遺物出土⑤	深鉢	底部:輪積痕、底面:ナデ	—	N	3	II ?
135	108	944	29L	③-Z	深鉢	胴:RLR縦→隆沈線	—	M	2	II 3
135	108	945	29L	II層-5cm	深鉢	頸:橋状貼付、貫通孔2	—	N	2	II 3
135	108	946	29L	II層-5cm	深鉢	口:無文、胴:隆帯貼付・RL縦横	—	N	4	II 5
135	108	947	29L	II層-5cm	深鉢	口:無文、胴:RLR縦→沈線	—	N	2	II 5
135	108	948	29L	II層-10cm	深鉢	口:LR縦・隆帯・沈線、輪積痕	—	N	2	II 4
135	108	949	29L	II層-10cm	深鉢	口:隆帯貼付・刻目、胴:沈線・LR縦	—	N	2	III 1
135	108	950	29L	II層-10~15cm	深鉢	口:隆帯貼付・刻目	—	N	2	II 4
135	108	951	29L	II層-20cm	深鉢	口:沈線・RLR縦、輪積痕	—	N	3	II 4
135	108	952	29L	II層-20cm	深鉢	口:隆帯	—	N	4	II 4
135	108	953	29L	II層-20cm	深鉢	口~:沈線・RLR縦、補修孔1	—	N	3	II 4
135	108	954	29L	II層-20cm	深鉢	口:無文、頸:刺突、胴:沈線	—	N	2	II 5
135	108	955	29L	II層-20cm	深鉢	口:隆帯・沈線・刺突	—	N	2	II 4
135	108	956	29L	II層-20cm	深鉢	口~:隆帯貼付・RL縦・沈線	—	N	2	II 4
135	108	957	29L	II層-20cm	深鉢	口:沈線、輪積痕	—	M	2	II 5
135	108	958	29L	II層-20cm	深鉢	胴:沈線・刺突・LR縦、輪積痕	—	N	3	II 4
135	108	959	29L	II層-20cm	深鉢	胴:隆帯・橋状貼付	—	N	2	II 4
135	108	960	29L	II層-20cm	深鉢	口:無文、胴:RLR縦	—	M	4	II ?
135	108	961	29L	II層-30~50cm	深鉢	口:沈線・LR縦	—	N	3	II 4
135	109	962	29M	表土除去後	深鉢	口唇:貼付・突起、口~:隆帯貼付	—	N	4	III 1 ?
135	109	963	29M	遺物出土状況の下の土③	深鉢	胴:RLR縦→沈線、輪積痕	—	N	4	II 4
136	109	964	29M	遺物出土状況の下の土③	深鉢	胴:RLR縦	—	N	4	II 3
136	109	965	29M	遺物出土状況の下の土③	深鉢	口唇:貼付・突起、口~:隆帯貼付・RLR縦→沈線、輪積痕	—	N	4	II 4
136	109	966	29M	遺物出土状況?	深鉢	口:無文、胴:LR縦	—	N	3	II
136	109	967	29M	遺物検出状況③	深鉢	口:無文、胴:L縦斜	—	M	4	II 5
136	109	968	29M	II層-5cm	深鉢	口~:隆帯・RL縦・沈線	—	N	2	II 4
136	109	969	29M	II層-5cm	深鉢	口:無文、胴:隆帯貼付・RL縦	—	N	2	II 5
136	109	970	29M	II層-5cm	深鉢	口~:RL縦→沈線	—	N	2	II 5
136	109	971	29M	II層-5cm	深鉢	口:隆帯・沈線・RL横、輪積痕	—	N	2	II 4
136	109	972	29M	II層-5cm	深鉢	口~:隆帯貼付・RL横→沈線	—	N	4	II 4
136	109	973	29M	II層-5cm	器台?	脚:隆帯貼付、貫通孔1	—	N	1	II
136	109	974	29M	II層-5cm	深鉢	口~:LR縦→沈線	—	N	1	II 4
136	109	975	29M	II層-5cm	台付?	脚:沈線	—	N	2	III ?
136	109	976	29M	II層-5cm	深鉢	突起:隆帯貼付、口:隆帯貼付、胴:LR縦→沈線	—	M	1	III 3
136	109	977	29M	II層-5~10cm	深鉢	口~:RLR縦→隆沈線	—	M	4	II 3
136	109	978	29M	II層-10cm	深鉢	口~:LR縦	—	N	4	II 5
137	109	979	29M	II層-10cm	深鉢	口~:隆帯貼付・LR縦	—	N	4	II 4
137	109	980	29M	II層-10cm	深鉢	口~:隆帯貼付・沈線・LR縦	—	N	4	II 4
137	109	981	29M	II層-10cm	深鉢	口~:LR縦→沈線(楕円文)	—	M	2	II 4
137	109	982	29M	II層-10cm	深鉢	口:沈線(円文)、内面に隆帯貼付	—	N	4	II 1
137	110	983	29M	II層-10cm	深鉢	口~:LR縦・隆帯貼付、輪積痕	—	N	4	II 5
137	110	984	29M	II層-15cm	深鉢	口~:LR縦→沈線	—	M	3	II 4
137	110	985	29M	II層-15cm	深鉢	口~:沈線→RL縦	—	N	4	II 4
137	110	986	29M	II層-15cm	深鉢	口:隆帯貼付・原体側面圧痕LR、胴:LR横	—	N	4	II 1
137	110	987	29M	II層-15cm	深鉢	口~:隆帯貼付・RL縦→沈線	—	N	4	II 5
137	110	988	29M	II層-15cm	深鉢	口~:RLR縦→隆帯・沈線・橋状隆帯	—	M	4	II 5
137	110	989	29M	II層-20cm	深鉢	口~:沈線・RL縦	—	M	4	II 5
137	110	990	29M	II層-20cm	深鉢	口:無文、胴:RL縦→隆帯・沈線	—	N	2	III 1
137	110	991	29M	II層-25cm	深鉢	口:LR横→隆帯・沈線・刺突	—	N	4	II 2
137	110	992	29M	II層-25cm	深鉢	口:LR横→沈線・刺突・隆帯貼付	—	N	4	II 1
137	110	993	29M	II層-25cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯貼付	—	N	4	II 1
137	110	994	29M	II層-25cm	深鉢	口~:沈線・RLR縦(楕円文)	—	N	3	II 4
137	110	995	29M	II層-25cm	深鉢	口~:隆帯・沈線・RLR縦	—	M	2	II 4
138	110	996	29M	II層-30~50cm	深鉢	口~:LR縦→隆沈線、輪積痕	—	N	4	II 4
138	110	997	29M	II層-30~50cm	深鉢	口~:LR縦→隆帯	—	N	4	II 4
138	110	998	29O	II層-5cm	深鉢	口~:LR横→隆帯・沈線	—	N	4	II 5
138	110	999	29P	II層-10cm	深鉢	口:沈線、胴:LR横	—	M	2	III 1
138	110	1000	29P	II層	深鉢	口:無文、胴:LR縦→沈線	—	N	3	III 1

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	時期
138	110	1001	29Q	II層-10cm	深鉢	口:LR・RL横、補修孔1	-	N	2	IV?
138	110	1002	29Q	II層-10cm	深鉢	口唇:刻目、口:沈線・刻目、胴:LR横	-	M	1	IV 3
138	110	1003	29Q	II層-10cm	深鉢	口:沈線・刻目(羊歯状文)、胴:LR横	-	N	1	IV 2
138	110	1004	29Q	II層-10cm	深鉢	口:沈線・刻目(羊歯状文)	-	N	1	IV 2
138	111	1005	30K	表土除去後	深鉢	胴:LR横・沈線	-	M	2	II 5
138	111	1006	30K	II層	深鉢	口:原体側面圧痕L、胴:L縦	-	M	3	II 1
138	111	1007	30K	II層	深鉢	口:隆帯貼付、胴:RLR縦→沈線	-	M	4	II 5
138	111	1008	30K	II層-5cm	深鉢	口~:RLR縦→隆帯	-	N	2	II 4
138	111	1009	30K	II層-5cm	深鉢	口:RLR縦→沈線	-	M	1	II 4
138	111	1010	30K	II層-5cm	深鉢	口:無文、頸:沈線、内面に隆帯貼付	-	-	3	III 1
138	111	1011	30K	II層-10~40cm	深鉢	口~:RLR縦→沈線	-	M	2	II 4
138	111	1012	30L	II層-10cm	深鉢	口~:沈線・RLR縦	-	N	3	II 4
138	111	1013	30L	II層-10cm	深鉢	口~:隆帯貼付、原体側面圧痕R	-	N	4	II 6
138	111	1014	30L	ベルトII層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付	-	N	3	II 3
138	111	1015	30L	ベルトII層-20cm	深鉢	口:隆帯貼付・RLR横→沈線	-	N	3	II 2
138	111	1016	30M	II層-10cm	深鉢	口~:沈線(長楕円文)・RLR縦、輪積痕	-	N	3	II 4
138	111	1017	30M	II層-10cm	深鉢	口~:沈線・LR縦	-	M	2	II 4
139	111	1018	30N	表土	深鉢	口~:沈線→LR縦	-	M	2	II 4
139	111	1019	30O	II層-10cm	深鉢	口~:RL縦→沈線	-	N	2	II 5
139	111	1020	30O	II層-10cm	深鉢	口~:沈線・LR縦	-	M	3	II 5
139	111	1021	30O	II層-10cm	器台?	台:ミガキ	-	M	2	II
139	111	1022	30O	II層-10cm	深鉢	口~:LR横→隆帯	-	N	4	II 5
139	111	1023	30O	II層-20cm	深鉢	口~:RL縦・沈線	-	N	4	II 5
139	111	1024	30Q	II層-10cm	深鉢	口唇:刻目、口:沈線、胴:LR横	-	N	2	IV 3
139	111	1025	30Q	II層-10cm	深鉢	口唇:刻目、口:刻目・沈線、胴:RL横	○	M	1	IV 3
139	111	1026	30Q	II層-10cm	深鉢	口唇:刻目・貼瘤・突起、頸:RL横→沈線(変形J字文)	-	N	1	IV 3
139	111	1027	30Q	II層-10cm	深鉢	口唇:沈線、口:刻目・沈線、胴:LR横	-	M	1	IV 3
139	112	1028	30Q	II層-10cm	深鉢	口:沈線・刻目(羊歯状文)、胴:LR縦横	-	M	1	IV 2
139	112	1029	31K	II層	深鉢	突起:沈線、盲孔、貫通孔2	-	N	4	III
139	112	1030	31K	II層	深鉢	底面:木葉痕	-	N	4	III
139	112	1031	31K	II層-5cm	深鉢	口~:RLR縦→沈線(磨消)	-	N	2	III 1
140	112	1032	31K	II層-5cm	深鉢	底部:輪積痕、底面:ケズリ	-	N	4	III?
140	112	1033	31K	II層-5cm	深鉢	口:隆帯貼付・単軸絡1L縦	-	N	2	II 5
140	112	1034	31K	II層-40cm	深鉢	口:LR横→隆帯+刻目・沈線	-	N	2	II 2
140	112	1035	31K	II層-40cm	深鉢	口:隆帯貼付・原体側面圧痕LR	-	N	2	II 1
140	112	1036	31L	表土除去後	深鉢	口~:結束1LR・RL横→隆帯貼付	-	N	4	II 1
140	112	1037	31L	II層-10cm	深鉢	口~:RL横→隆帯貼付	-	N	4	II 1
140	112	1038	31L	II層-10cm	深鉢	口~:沈線・LR縦、輪積痕	-	M	2	II 4
140	112	1039	31M	表土除去後	深鉢	口~:沈線・LR縦、輪積痕	-	N	2	II 4
140	112	1040	31M	II層-10cm	深鉢	口:結束1LR・RL横・隆帯貼付+刺突、胴:結束1LR・RL縦	-	M	4	II 1
140	112	1041	31M	II層-10cm	深鉢	口~:LR縦→沈線(楕円文)	-	M	2	II 4
140	112	1042	31M	II層-10cm	深鉢	口~:RLR縦→隆沈線	-	M	2	II 3
140	112	1043	32J	II層-5~10cm	深鉢	口~:RLR縦→沈線	-	M	2	II 4
140	112	1044	32J	II層-10cm	深鉢	口~:沈線・単軸絡1L	-	N	3	II 5
140	112	1045	32J	II層	深鉢	口~:LR縦→沈線	-	M	3	II 5
140	112	1046	32J	II層-20cm	深鉢	胴:RLR縦→隆沈線	-	M	4	II 3
140	112	1047	32J	II層-15cm	鉢	口唇:刻目、頸:沈線・刻目、胴:LR横	-	N	1	IV 3
140	112	1048	32L	II層-5cm	深鉢	口:無文、胴:LR縦→沈線	-	M	3	III?
140	112	1049	32L	II層-5cm	深鉢	環状突起、口:無文、胴:RL縦→隆帯貼付	-	N	4	II 5
140	112	1050	32L	II層-10cm	深鉢	口:無文、胴:LR斜→沈線	-	M	3	II 5
140	112	1051	32M	II層-10cm	深鉢	口~:RLR縦→隆沈線	-	M	2	II 3
140	112	1052	33J	II層-15cm	深鉢	口:RLR縦	-	N	2	II

部位の名称、口唇:口唇部、口:口縁部、頸:頸部、胴:胴部、底:底部。

文様、原体側圧:原体側面圧痕、絡条体圧:絡条体圧痕、

単軸絡:単軸絡条体、多軸絡:多軸絡条体、半竹:半截竹管、

結束1:結束第1種、結束2:結束第2種、結節:結節繩文、

煤の付着、○:内面付着、●:外面付着、◎:内外面付着、-付着なし
内面調整、M:ミガキ、N:ナデ、-:なし。

胎土、1:緻密である。

2:細礫を含まず、砂粒を含む。

3:細礫・砂粒を僅かに含む。

4:細礫・砂粒を僅かに含む。

第11表 土製品観察表

()内数値: 残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	部位	計測値 (cm)			重さ (g)	備考	時期
						長さ (cm)	幅	厚さ			
141	113	1053	RA36	埋土下位	土偶	(5.6)	(6.9)	(1.9)	(25.83)	右腕: 沈線・LR縦横、中空	晩期
141	113	1054	RA37	Ⅱ層-30cm	土偶	(3.6)	2.4	1.7	(12.19)	胴: 貼瘤・沈線・刺突	後期
141	113	1055	RD282	上面黒褐色	土偶?	(4.0)	3.8	2.5	(23.20)	頭: アスファルト付着	後期
141	113	1056	27M	Ⅱ層-5cm	土偶?	(2.5)	(1.9)	(1.5)	(20.71)	腕: 刺突	後期
141	113	1057	18K	Ⅱ層	土偶	(4.2)	(5.0)	(6.4)	(48.82)	脚: 貫通孔・沈線・刻目、中空	弥生?
141	113	1058	26P	排土	土偶	(7.0)	(7.0)	(3.0)	(126.16)	肩: 刺突・沈線	後期
141	113	1059	28Q	Ⅱ層-5cm	土偶	(6.1)	(5.4)	(1.0)	(25.43)	胴: 沈線・貼瘤・LR横、中空	晩期
142	113	1060	28・29L	Ⅱ層-20cm	土偶	(10.0)	(9.6)	(2.4)	(115.70)	胴: 刺突	後期
142	113	1061	30N	表土	土偶	(5.6)	(2.5)	1.6	(18.13)	胴: 刺突・沈線	後期
142	113	1062	30O	Ⅱ層	土偶	(5.2)	(6.2)	(3.4)	(57.18)	頭: 沈線・刻目、結髪	晩・弥生
142	114	1063	31J	Ⅱ層-15cm	土偶	(4.0)	(4.2)	(2.8)	(32.84)	頭: 貫通孔2、アスファルト付着	後期
142	114	1064	12C	Ⅱ層-20cm	土偶	(2.9)	(3.1)	(1.6)	(13.49)	腕: 沈線・刺突	後期
142	114	1065	31I	セクション	土偶	(6.1)	(6.8)	3.3	(86.54)	胴: 貫通孔・刺突	後期
—	114	1066	30L	Ⅱ層-5cm	斧状土製品	(3.8)	(3.0)	(2.1)	(20.43)	LR縦	中期
143	114	1067	31K	Ⅱ層-10cm	斧状土製品	(7.2)	4.3	2.0	(71.92)	RL縦→沈線	中期
143	114	1068	30M	Ⅱ層-5cm	斧状土製品	(3.1)	3.4	1.9	(20.81)	RL縦	中期
143	114	1069	不明	—	土製品	(3.9)	5.0	2.5	(37.07)	貫通孔、刺突・沈線	中期?
143	114	1070	30L	Ⅱ層-5cm	土製品	2.9	0.8	0.8	68.51	LR縦	中期?
143	114	1071	31O	Ⅱ層-10cm	斧状土製品?	(4.0)	4.3	1.5	(31.78)	LR縦	後期?
143	114	1072	29M	Ⅱ層-5cm	垂飾り	(5.0)	(2.3)	1.8	(21.26)	刺突	後期?
143	114	1073	RA32	Ⅱ層-15cm	垂飾り	(3.0)	(2.0)	(2.3)	(9.11)	刺突	後期?
143	114	1074	27L	Ⅱ層-10cm	垂飾り	3.2	2.3	1.5	7.92	無文、貫通孔	中期?
143	114	1075	31J	Ⅱ層-15cm	垂飾り	(4.0)	(3.1)	(1.2)	(10.89)	穿孔4、アスファルト付着	中期?
143	114	1076	RA30	Ⅱ層-40cm	土錘	3.6	2.1	1.4	8.93	無文、貫通孔	中期?
143	114	1077	RA31	Sベルト埋土下位	土錘	1.7	1.2	1.2	3.06	無文、貫通孔	中期?
143	114	1078	RA34	炉北側	土錘	(4.0)	1.9	1.9	(12.65)	無文、貫通孔	中期?
144	115	1079	RA27・28	SEベルト埋土下位	円盤状土製品	(3.1)	(3.1)	0.7	(9.05)	部分研磨、胴: 無文、内面ナデ	中期
144	115	1080	RA28	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	(4.4)	(2.5)	1.0	(9.01)	打ち欠き、胴: RLR、内面ナデ	中期
144	115	1081	RA28	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	5.0	(3.1)	0.9	(18.36)	打ち欠き、胴: LR	中期
144	115	1082	RA28	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.0	(2.7)	0.8	(6.90)	打ち欠き、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1083	RA29	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.3	(2.5)	0.8	(8.60)	打ち欠き、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1084	RA29	Ⅱ層-15cm	円盤状土製品	7.0	(4.7)	0.9	(35.04)	部分研磨、胴: 単軸絡1R、内面ナデ	中期
144	115	1085	RA29	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	2.8	3.1	0.7	6.72	全周研磨、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1086	RA30	床面北側	円盤状土製品	2.5	2.8	0.8	6.59	全周研磨、胴: RL?、内面ナデ	中期
144	115	1087	RA31	Sベルト埋土下位	円盤状土製品	2.8	2.9	0.8	7.51	部分研磨、胴: RL、内面ナデ	中期
144	115	1088	RA31	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.1	2.9	0.7	7.62	部分研磨、口: 無文、内面ナデ	中期
144	115	1089	RA31	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.7	3.7	1.0	15.82	打ち欠き、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1090	RA31	Ⅱ層-30cm	円盤状土製品	4.0	3.5	0.9	13.82	打ち欠き、胴: 沈線・RL縦、内面ナデ	中期
144	115	1091	RA31の床下	Ⅱ層-40cm	円盤状土製品	3.9	3.4	0.9	14.37	打ち欠き、胴: 沈線・RL、内面ナデ	中期
144	115	1092	RA32	床面	円盤状土製品	3.7	(3.7)	0.8	(11.11)	打ち欠き、胴: L、内面ミガキ	中期
144	115	1093	RA32	埋土	円盤状土製品	5.5	5.1	0.8	24.98	打ち欠き、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1094	RA32	埋土	円盤状土製品	6.0	4.9	0.9	34.23	打ち欠き、胴: 沈線、内面ミガキ	中期
144	115	1095	RA32	Ⅱ層-35cm	円盤状土製品	4.0	(4.0)	0.7	(12.35)	打ち欠き、胴: LR、内面ミガキ	中期
144	115	1096	RA33	Ⅱ層-30cm	円盤状土製品	3.6	(2.6)	0.7	(8.31)	打ち欠き、胴: LR→沈線、内面ナデ	中期
144	115	1097	RA33	Ⅱ層-30cm	円盤状土製品	3.4	(3.4)	0.9	(12.03)	部分研磨、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1098	RA36	北西埋土上位	円盤状土製品	4.0	3.6	0.8	15.66	部分研磨、胴: 沈線・LR、内面ナデ	中期
144	115	1099	RA36	北西埋土下位	円盤状土製品	3.8	3.7	0.5	8.10	打ち欠き、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1100	RA36	南西埋土上位	円盤状土製品	(4.9)	(4.6)	0.7	(19.21)	全周研磨、胴: RL横→沈線、内面ナデ	中期
144	115	1101	RA37炉	北西側埋土	円盤状土製品	(4.4)	(2.6)	1.1	(13.58)	部分研磨、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1102	RA37炉	北西側埋土	円盤状土製品	3.3	2.9	0.9	9.27	打ち欠き、口: 無文、内面ナデ	中期
144	115	1103	RA37	炉上面	円盤状土製品	(3.1)	(2.9)	0.8	(8.99)	打ち欠き、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1104	RA37	東側床面	円盤状土製品	3.4	3.2	0.8	11.10	部分研磨、胴: 沈線・RL、内面ミガキ	中期
144	115	1105	RA37	Eベルト	円盤状土製品	4.7	(4.4)	1.1	(26.92)	打ち欠き、胴: RLR、内面ナデ	中期
144	115	1106	RA37	Ⅱ層-30cm	円盤状土製品	3.1	(3.1)	1.1	(12.53)	全周研磨、胴: RL、内面ナデ	中期
144	115	1107	RA37	Ⅱ層-30cm	円盤状土製品	(3.7)	4.0	1.0	(16.11)	打ち欠き、口: 隆帯→L、内面ナデ	中期
144	115	1108	RA37	Ⅱ層-30cm	円盤状土製品	3.0	2.3	1.0	8.18	全面研磨、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1109	RA37	埋土	円盤状土製品	(2.9)	2.3	1.0	(8.18)	打ち欠き、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1110	RA37	埋土	円盤状土製品	3.3	3.1	0.8	10.16	部分研磨、胴: 隆帯・LR、内面ナデ	中期
144	115	1111	RA38	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.0	3.0	0.8	8.99	打ち欠き、胴: LR→沈線、内面ミガキ	中期
144	115	1112	RA38	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	(4.4)	(3.6)	0.9	(17.48)	打ち欠き、胴: LR、内面ナデ	中期
144	115	1113	RA38	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.1	3.8	0.9	18.21	部分研磨、胴: LR、内面ミガキ	中期
145	115	1114	RA38	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.0	3.3	0.6	9.39	打ち欠き、胴: 沈線、内面ミガキ	中期
145	115	1115	RA38-PP2	埋土	円盤状土製品	3.0	3.0	0.9	9.32	全周研磨、胴: RL、内面ナデ	中期
145	115	1116	RA39	床直埋土北側	円盤状土製品	(2.8)	3.0	0.6	(6.78)	全周研磨、胴: 単軸絡1L、内面ミガキ、隅丸方形	中期
145	115	1117	RA39	炉上面	円盤状土製品	0.8	(4.2)	1.1	(23.84)	打ち欠き、胴: LR、内面ナデ	中期
145	115	1118	RA40	Ⅱ層(Na.8 Pot)	円盤状土製品	5.1	(5.0)	1.0	(28.70)	部分研磨、胴: RLR、内面ナデ	中期
145	115	1119	RA40	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.8	4.2	0.8	16.18	部分研磨、胴: 単軸絡1R、内面ミガキ	中期

()内数値：残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	部位	計測値 (cm)			重さ (g)	備考	時期
						長さ (cm)	幅	厚さ			
145	115	1120	RA40	II層-20cm	円盤状土製品	3.4	3.3	1.0	14.25	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
145	115	1121	RE03	埋土	円盤状土製品	3.1	(2.8)	0.7	(7.13)	全周研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
145	115	1122	RE03	埋土	円盤状土製品	2.9	3.0	0.7	7.01	打ち欠き、胴：沈線、内面ミガキ	中期
145	115	1123	RD287	南側埋土上位	円盤状土製品	(1.8)	(3.1)	(0.8)	(4.58)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
145	115	1124	RD296	南半埋土	円盤状土製品	(4.0)	(4.0)	0.9	(15.83)	打ち欠き、胴：沈線・L、内面ミガキ	晩期?
145	115	1125	RD315	南側埋土	円盤状土製品	7.2	(5.9)	(0.7)	(36.77)	打ち欠き、口：RLR、内面ミガキ	中期
145	115	1126	RD315	南側埋土	円盤状土製品	(3.9)	(4.1)	0.9	(16.12)	打ち欠き、口：隆帯、内面ミガキ	中期
145	115	1127	RD341	南半埋土	円盤状土製品	5.1	5.5	0.9	29.22	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
145	115	1128	RD346	南半埋土	円盤状土製品	(5.9)	(2.5)	0.7	(10.91)	打ち欠き、胴：LR・沈線、内面ナデ	中期
145	115	1129	RD346	南半埋土	円盤状土製品	4.2	(3.7)	(0.8)	(16.24)	打ち欠き、胴：LR、内面ミガキ	中期
145	116	1130	RD349	埋土	円盤状土製品	(2.8)	(3.1)	1.1	(11.92)	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
145	116	1131	RD362	西半埋土	円盤状土製品	3.3	(2.8)	1.1	(11.67)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
145	116	1132	RD365	南半埋土	円盤状土製品	4.2	4.2	0.6	12.44	全周研磨、胴：L、内面ナデ	晩期
145	116	1133	RD369	南半埋土1層	円盤状土製品	(4.3)	(4.8)	1.0	(21.08)	打ち欠き、胴：RL・隆帯、内面ミガキ、煤附着	中期
145	116	1134	RD370	西半埋土上位	円盤状土製品	4.4	4.2	0.8	15.75	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
145	116	1135	RF16	南側一括	円盤状土製品	(3.6)	(4.0)	1.0	(17.03)	部分研磨、胴：沈線・RLR、内面ナデ	中期
145	116	1136	RD373	南側一括	円盤状土製品	(4.0)	(2.2)	1.0	(9.48)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
145	116	1137	RF09	焼土内	円盤状土製品	3.3	(3.1)	0.8	(10.66)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
145	116	1138	RF16	焼土内一括	円盤状土製品	(3.5)	(2.3)	1.0	(9.74)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1139	RF16	焼土内一括	円盤状土製品	(3.9)	(2.8)	0.7	(9.37)	打ち欠き、胴：LR、内面ミガキ	中期
145	116	1140	RF17	焼土内	円盤状土製品	(4.8)	(4.9)	1.0	(28.04)	打ち欠き、胴：単軸絡5L、内面ナデ	中期
145	116	1141	R H11	下の土坑埋土	円盤状土製品	3.0	2.8	0.7	6.68	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
145	116	1142	R Z11	①-E	円盤状土製品	(4.4)	(4.2)	0.9	(21.48)	打ち欠き、胴：RLR、内面ミガキ	中期
145	116	1143	R Z11付近	I層-20cm(貝層の上)	円盤状土製品	2.1	2.1	0.8	4.30	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1144	30J-PP12	東半埋土	円盤状土製品	3.3	3.7	0.9	15.16	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
145	116	1145	31J-PP20	埋土	円盤状土製品	(3.7)	(3.5)	0.8	(8.59)	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1146	15K	II層	円盤状土製品	3.7	3.6	0.9	1.03	全周研磨、胴：不明、内面ナデ	中期
—	116	1147	18・19K・L	II層上位	円盤状土製品	3.6	3.6	0.9	14.14	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1148	23Q	II層-5cm	円盤状土製品	4.9	(4.6)	0.9	(22.94)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1149	23Q	II層-10cm	円盤状土製品	3.3	3.4	0.7	8.79	打ち欠き、胴：沈線→LR、内面ナデ	中期
—	116	1150	23Q	II層-10cm	円盤状土製品	3.9	4.0	0.9	15.61	打ち欠き、胴：RL→沈線、内面ナデ	中期
—	116	1151	23Q	II層-10cm	円盤状土製品	3.2	3.7	0.8	12.06	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1152	23R	II層-10cm	円盤状土製品	2.7	2.3	0.6	5.24	全周研磨、胴：LR、内面ミガキ、隅丸方形	中期
—	116	1153	24L	II層-10cm	円盤状土製品	4.8	(4.6)	1.0	(25.14)	打ち欠き、胴：沈線、内面ナデ	中期
—	116	1154	24L	II層-20cm	円盤状土製品	3.5	3.2	0.9	11.87	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1155	24L	II層-20cm	円盤状土製品	3.3	3.7	0.9	13.28	部分研磨、胴：RLR、内面ナデ	中期
—	116	1156	24L	II層-20cm	円盤状土製品	4.2	4.3	0.8	16.94	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1157	24M	II層-20cm	円盤状土製品	3.3	3.5	0.8	12.03	全周研磨、胴：無文、内面ナデ	中期
—	116	1158	24M	II層-20cm	円盤状土製品	(4.1)	(4.1)	0.8	(16.36)	打ち欠き、胴：LR・RL(非結束)、内面ナデ	後期?
—	116	1159	24M	II層-20cm	円盤状土製品	4.2	3.6	1.0	18.90	全周研磨、胴：LR、内面ナデ、隅丸方形	中期
—	116	1160	24Q	II層-5cm	円盤状土製品	4.5	4.2	0.9	14.96	全周研磨、胴：隆帯・LR・貼籠、内面ミガキ	晩期
—	116	1161	24Q(PP20の組)	II層-5cm	円盤状土製品	3.0	(2.9)	0.8	(9.32)	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1162	24Q	II層-10cm	円盤状土製品	4.5	4.2	0.9	20.29	打ち欠き、胴：無文、内面ナデ	中期
—	116	1163	25I	II層-5cm	円盤状土製品	4.0	(2.9)	0.8	(11.70)	部分研磨、胴：沈線、内面ナデ	中期
—	116	1164	25I	II層-20cm	円盤状土製品	4.0	3.9	1.0	17.99	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1165	25L	II層-20cm	円盤状土製品	4.5	(3.2)	0.7	(12.46)	部分研磨、胴：LR、内面ミガキ、煤附着	後期
—	116	1166	25L	II層-30cm	円盤状土製品	5.3	6.0	1.1	40.46	打ち欠き、底：木葉痕、内面ナデ	中期
—	116	1167	25Q	II層-10cm	円盤状土製品	3.0	3.2	0.9	10.69	打ち欠き、胴：RL、内面ミガキ	中期
—	116	1168	25R	盛土攪乱	円盤状土製品	4.2	4.8	1.0	25.58	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1169	25R	II層-20cm	円盤状土製品	(3.2)	3.0	0.7	(8.58)	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	晩期
—	116	1170	26I	II層-10cm	円盤状土製品	4.3	(4.1)	0.7	(16.40)	打ち欠き、胴：沈線、内面ナデ	中期
—	116	1171	26I	II層-10cm	円盤状土製品	3.1	3.4	0.9	11.65	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1172	26I	II層-10cm	円盤状土製品	3.0	3.0	0.8	8.70	部分研磨、胴：無文、内面ミガキ	中期
—	116	1173	26I	II層-15cm	円盤状土製品	4.4	4.3	1.0	26.47	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1174	26L	攪乱層(盛土)	円盤状土製品	5.9	6.0	0.9	36.60	部分研磨、胴：隆帯・L横、内面ミガキ	中期
—	116	1175	26L	II層-5cm	円盤状土製品	3.8	3.5	0.7	11.42	部分研磨、胴：無文、内面ナデ	中期
—	116	1176	26L	II層-5cm	円盤状土製品	3.0	3.0	1.0	10.58	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1177	26L	II層-5cm	円盤状土製品	4.3	4.2	0.8	19.87	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	116	1178	26L	II層-5cm	円盤状土製品	5.2	5.0	0.7	20.81	部分研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	116	1179	26L	II層-5cm	円盤状土製品	3.0	2.9	0.9	7.93	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1180	26L	II層-5cm	円盤状土製品	2.8	3.3	0.8	7.96	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1181	26L	II層-5cm	円盤状土製品	3.9	3.4	0.8	14.70	全周研磨、胴：無文、煤附着、内面ナデ、隅丸方形	中期
—	117	1182	26L	II層-5cm	円盤状土製品	(3.4)	(3.1)	0.7	(8.42)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1183	26L	II層-5cm	円盤状土製品	3.2	3.2	0.7	9.24	部分研磨、胴：LR、内面ミガキ	中期
—	117	1184	26L	II層-10cm	円盤状土製品	3.1	3.3	0.9	10.62	全周研磨、胴：RL、内面ミガキ	中期
—	117	1185	26L	II層-10cm	円盤状土製品	3.6	(3.5)	0.8	(12.51)	部分研磨、胴：LR、内面ミガキ、三角形?	中期
—	117	1186	26L	II層-20cm	円盤状土製品	(3.8)	4.0	0.8	(14.36)	全周研磨、胴：沈線、内面ナデ	中期

()内数値：残存値

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	部位	計測値 (cm)			重さ(g)	備考	時期
						長さ(cm)	幅	厚さ			
—	117	1187	26 L	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.1	3.0	0.8	8.55	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1188	26 L	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.7	4.3	1.2	24.13	打ち欠き、胴：単軸絡6、内面ナデ、煤附着	中期
—	117	1189	26 L	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.7	(3.2)	0.7	(9.64)	部分研磨、胴：LR、内面ミガキ	中期
—	117	1190	26 L	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.0	(4.0)	0.9	(17.88)	部分研磨、胴：単軸絡1 L、内面ナデ	中期
—	117	1191	26 L	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.9	5.0	1.0	28.72	全周研磨、胴：単軸絡1 R、内面ナデ	中期
—	117	1192	26 M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.0	(3.4)	0.8	(15.43)	全周研磨、胴：LR?、内面ナデ	中期
—	117	1193	26 M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	(4.1)	(3.9)	0.9	(18.25)	部分研磨、胴：不明、内面ナデ	中期
—	117	1194	26 M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.6	5.1	0.6	26.35	打ち欠き、胴：LR→沈線、内面ナデ	後期
—	117	1195	26 M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	(4.0)	(4.0)	1.0	(19.38)	打ち欠き、胴：LR→沈線、内面ナデ	中期
—	117	1196	26 M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.0	(3.9)	0.9	(17.00)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1197	26 M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.2	4.6	0.7	16.89	打ち欠き、胴：RL、内面ナデ	中期
—	117	1198	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.0	2.8	1.0	10.25	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1199	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.2	(4.4)	1.0	(20.87)	打ち欠き、胴：RL、内面ナデ	中期
—	117	1200	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.1	3.2	0.9	9.57	全周研磨、胴：RL、内面ミガキ	中期
—	117	1201	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	5.0	5.4	0.8	28.21	打ち欠き、胴：RL・沈線、内面ミガキ	後期
—	117	1202	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.5	4.6	0.8	17.49	打ち欠き、胴：LR→沈線、内面ナデ	中期
—	117	1203	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.9	3.9	0.9	16.40	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1204	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.5	3.4	0.9	15.16	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1205	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	6.3	(5.0)	1.0	(38.58)	部分研磨、胴：単軸絡1 L、内面ナデ、小判	中期
—	117	1206	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	(5.0)	(4.7)	1.0	(26.15)	打ち欠き、胴：RL	中期
—	117	1207	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.5	4.7	0.8	20.62	全周研磨、胴：RL・沈線、内面ナデ	中期
—	117	1208	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.6	4.0	1.3	14.44	全周研磨、胴：隆帯・沈線、内面ナデ	晩期?
—	117	1209	26 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.4	3.0	0.7	7.62	打ち欠き、胴：沈線・RLR、内面ナデ	中期
—	117	1210	26 M	Ⅱ層-40cm	円盤状土製品	3.5	(3.7)	0.8	(12.34)	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1211	26 M	Ⅱ層-60cm	円盤状土製品	(4.4)	5.7	1.0	(31.68)	打ち欠き、胴：単軸絡1 R、内面ミガキ	中期
—	117	1212	26 M	Ⅱ層-60cm	円盤状土製品	3.4	3.4	1.0	13.68	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1213	26 N	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.3	(4.0)	0.7	(16.18)	部分研磨、胴：隆帯、内面ミガキ	中期
—	117	1214	26 N	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	(3.9)	(3.4)	1.0	(16.27)	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1215	26 Q	盛土	円盤状土製品	4.2	5.0	0.9	23.44	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1216	27 I	Ⅱ層	円盤状土製品	3.2	3.0	0.8	9.53	全周研磨、胴：刺突、内面ナデ	中期
—	117	1217	27 I	Ⅱ層-10~15cm	円盤状土製品	3.3	3.3	0.7	9.39	全周研磨、胴：沈線、内面ナデ	中期
—	117	1218	27 I	Ⅱ層-15cm	円盤状土製品	4.3	4.6	0.8	21.56	打ち欠き、胴：沈線・LR?、内面ナデ	中期
—	117	1219	27 I	Ⅱ層-15cm	円盤状土製品	3.6	3.6	0.9	15.72	部分研磨、胴：LR、内面ミガキ	中期
—	117	1220	27 L	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	3.4	3.3	0.7	9.52	部分研磨、胴：沈線、内面ナデ	中期
—	117	1221	27 L	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	(4.5)	(2.6)	0.7	(8.91)	打ち欠き、胴：隆帯+刺突、内面ナデ	中期
—	117	1222	27 L	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	3.9	4.0	0.9	15.74	全周研磨、胴：沈線、内面ナデ、隅丸方形	中期
—	117	1223	27 L	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	2.7	2.5	0.8	7.54	全周研磨、胴：無文、内面ナデ、隅丸方形	中期
—	117	1224	27 L	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	3.2	3.7	0.9	13.40	全周研磨、胴：沈線・RL、内面ミガキ、隅丸方形	中期
—	117	1225	27 L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	(2.9)	(3.0)	1.0	(10.01)	打ち欠き、胴：LR、内面ミガキ	中期
—	117	1226	27 L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	(4.4)	(3.6)	0.7	(13.13)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	117	1227	27 L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.9	3.9	0.8	15.48	全周研磨、胴：LR、煤、内面ナデ	中期
—	118	1228	27 L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	2.7	2.5	0.7	5.48	打ち欠き、胴：無文、内面ナデ、隅丸方形	中期
—	118	1229	27 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	(3.1)	(2.9)	0.9	(9.05)	打ち欠き、胴：RL、内面ナデ	中期
—	118	1230	27 M	Ⅱ層-40cm	円盤状土製品	4.4	4.0	0.6	13.61	全周研磨、胴：無文、内面ミガキ	中期
—	118	1231	27 M	Ⅱ層-40cm	円盤状土製品	(5.4)	(3.5)	(1.1)	(23.81)	打ち欠き、胴：RLR、内面ナデ	中期
—	118	1232	27 M	Ⅱ層-40cm	円盤状土製品	5.3	4.3	0.9	26.18	全周研磨、胴：LR→沈線、内面ナデ	中期
—	118	1233	28 L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.6	3.6	1.0	12.42	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1234	28 L	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.3	3.0	1.1	12.47	打ち欠き、胴：沈線、内面ナデ	中期
—	118	1235	28 M	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	3.6	3.1	0.8	10.97	部分研磨、胴：沈線、内面ナデ	中期
—	118	1236	28 M	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	4.6	4.3	0.9	17.52	全周研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	118	1237	28 M	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	(3.1)	(2.6)	0.8	(8.46)	打ち欠き、胴：RL、内面ミガキ	中期
—	118	1238	28 M	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	4.0	(3.5)	0.7	(11.15)	部分研磨、胴：LR、内面ミガキ	中期
—	118	1239	28 M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.0	3.8	0.7	11.18	部分研磨、胴：L、内面ナデ	中期
—	118	1240	28 M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	2.7	3.0	0.8	9.30	全周研磨、胴：沈線・RL、内面ミガキ	中期
—	118	1241	28 M	Ⅱ層-15cm	円盤状土製品	4.5	4.0	1.0	22.16	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1242	28 M	Ⅱ層-15cm	円盤状土製品	2.6	2.6	1.0	8.87	全周研磨、胴：RL、内面ナデ、煤附着	中期
—	118	1243	28 M	Ⅱ層-15cm	円盤状土製品	2.9	2.9	0.8	8.06	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1244	28 M	Ⅱ層-15cm	円盤状土製品	(3.6)	(3.6)	0.9	(15.50)	打ち欠き、胴：RL、内面ナデ	中期
—	118	1245	28 M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.1	3.0	1.0	11.50	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1246	28 M	Ⅱ層-40cm	円盤状土製品	4.5	4.7	1.0	24.91	部分研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	118	1247	28 M	Ⅱ層-40cm	円盤状土製品	2.8	(2.6)	0.9	(1.05)	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1248	28 Q	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	3.1	3.1	0.8	9.31	部分研磨、胴：無文、内面ナデ	中期
—	118	1249	28 Q	Ⅱ層-40cm	円盤状土製品	(4.6)	(4.4)	1.0	(25.27)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1250	29 K	Ⅱ層	円盤状土製品	3.5	(3.5)	1.0	(15.69)	打ち欠き、胴：RLR複節・沈線、内面ナデ	中期
—	118	1251	29 L	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	(3.8)	4.6	1.0	(18.56)	部分研磨、胴：単軸絡1 R、内面ナデ	中期
—	118	1252	29 L	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	3.2	3.1	0.7	7.91	全周研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	118	1253	29 L	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	(4.4)	(2.5)	0.6	(8.09)	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期

()内数値：残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	部位	計測値 (cm)			重さ (g)	備考	時期
						長さ (cm)	幅	厚さ			
—	118	1254	29L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.9	(3.0)	0.8	(11.07)	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1255	29L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.6	3.5	0.8	3.78	打ち欠き、胴：RLR、内面ミガキ	中期
—	118	1256	29L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	(3.6)	(2.5)	0.9	(9.02)	全周研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	118	1257	29L~30L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.3	3.4	1.0	13.45	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1258	29L~30L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.0	3.1	0.9	9.33	全周研磨、胴：LR→沈線、内面ミガキ	中期
—	118	1259	29L~30L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	(3.8)	3.8	0.8	(14.77)	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1260	29L	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	5.0	(4.1)	1.1	(24.44)	打ち欠き、胴：隆帯、内面ナデ	中期
—	118	1261	29L	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.8	(3.3)	0.7	(13.93)	打ち欠き、胴：RL	中期
—	118	1262	29L	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.8	3.4	0.8	13.22	部分研磨、胴：LR→沈線、内面ナデ	中期
—	118	1263	29M	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	5.3	(3.1)	0.7	(17.31)	打ち欠き、胴：RL、内面ナデ	中期
—	118	1264	29M	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	3.0	3.0	0.8	9.00	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1265	29M	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	3.0	3.1	0.7	8.59	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1266	29M	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	4.0	4.0	1.2	24.21	打ち欠き、胴：隆帯、内面ナデ	中期
—	118	1267	29M	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	3.2	(3.0)	0.8	(9.05)	打ち欠き、胴：単軸絡1R、内面ナデ	中期
—	118	1268	29M	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	4.4	4.3	1.0	24.00	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1269	29M	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	2.7	3.0	0.8	8.70	打ち欠き、胴：LR→沈線、内面ナデ	中期
—	118	1270	29M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	2.5	2.7	0.8	6.72	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1271	29M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.3	3.5	0.9	17.48	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1272	29M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	2.9	3.0	0.8	8.93	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	118	1273	29M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.0	3.3	1.1	14.14	全周研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	118	1274	29M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.6	5.0	1.0	30.70	打ち欠き、胴：LR→沈線、内面ナデ	中期
—	118	1275	29M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	5.6	(3.2)	1.0	(18.44)	打ち欠き、胴：RL、内面ナデ	中期
—	119	1276	29M	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	(4.4)	(2.0)	0.9	(8.25)	全周研磨、胴：無文、内面ナデ	中期
—	119	1277	29M	Ⅱ層-10~15cm	円盤状土製品	3.1	2.9	0.9	9.79	部分研磨、胴：隆帯・RL、内面ナデ	中期
—	119	1278	29M	Ⅱ層-15cm	円盤状土製品	3.1	3.9	0.8	14.13	部分研磨、胴：無文、内面ナデ	中期
—	119	1279	29M	Ⅱ層-15cm	円盤状土製品	3.4	3.4	0.9	12.80	打ち欠き、胴：RL、内面ナデ	中期
—	119	1280	29M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.0	3.2	0.9	10.99	全周研磨、胴：RLR、内面ナデ	中期
—	119	1281	29M	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.2	3.4	0.9	12.51	全周研磨、胴：RLR、内面ナデ	中期
—	119	1282	29M	Ⅱ層-20~30cm	円盤状土製品	3.6	(3.4)	0.8	(12.95)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1283	29O	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	3.6	3.8	1.0	17.47	全周研磨、胴：L、内面ナデ	中期
—	119	1284	29P	Ⅱ層	円盤状土製品	4.7	5.1	0.8	26.44	部分研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	119	1285	29P	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.6	3.5	1.2	15.53	打ち欠き、胴：隆帯、内面ナデ	中期
—	119	1286	30J	攪乱	円盤状土製品	3.3	2.9	0.7	8.88	全周研磨、胴：LR、内面ナデ、隅丸方形	中期
—	119	1287	30J	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	3.7	3.5	0.8	12.96	打ち欠き、胴：隆帯・刺突、内面ナデ	中期
—	119	1288	30J	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	(2.9)	(3.4)	0.9	(9.84)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1289	30J	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	2.9	2.8	0.8	7.95	部分研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	119	1290	30J	Ⅱ層-10~15cm	円盤状土製品	4.0	3.6	0.9	15.69	全周研磨、胴：単軸絡1R、内面ナデ	中期
—	119	1291	30J	Ⅱ層-15~20cm	円盤状土製品	4.1	(3.9)	0.8	(16.55)	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1292	30J	Ⅱ層-15~20cm	円盤状土製品	3.8	3.9	1.0	18.78	部分研磨、胴：隆帯・沈線、RL、内面ナデ	中期
—	119	1293	30J	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.2	3.3	0.9	11.86	全周研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	119	1294	30K	Ⅱ層	円盤状土製品	5.0	(5.4)	0.8	(28.17)	打ち欠き、胴：RL、内面ミガキ	中期
—	119	1295	30N	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.0	3.6	1.0	16.72	部分研磨、胴：隆帯、内面ナデ	中期
—	119	1296	30O	盛土除去	円盤状土製品	5.0	4.6	1.0	26.23	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1297	30O	盛土除去	円盤状土製品	4.5	4.3	0.7	21.00	全周研磨、口：隆帯・RL、内面ナデ	中期
—	119	1298	30O	表土除去後	円盤状土製品	4.0	4.0	1.5	29.41	全周研磨、胴：無文、内面ナデ	中期
—	119	1299	30O	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	3.8	3.9	1.2	20.99	全周研磨、胴：LR→沈線、内面ナデ	中期
—	119	1300	30O	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.8	4.0	1.0	17.88	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1301	30Q	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.5	3.4	1.0	15.18	部分研磨、胴：無文、内面ナデ	中期
—	119	1302	30Q	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.1	(3.6)	0.7	(11.92)	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1303	31J	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	3.2	(3.1)	0.7	(9.52)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1304	31J	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	5.7	(4.8)	0.7	(21.81)	全周研磨、胴：RLR、内面ナデ	中期
—	119	1305	31J	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	4.0	4.0	0.9	17.83	打ち欠き、胴：単軸絡1R、内面ナデ	中期
—	119	1306	31J	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	2.5	2.5	0.9	6.31	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1307	31J	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	2.9	2.7	1.1	12.16	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1308	31J北側	Ⅱ層-15~25cm	円盤状土製品	2.4	2.1	0.8	5.43	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1309	31K	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	4.0	2.8	0.7	9.58	部分研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	119	1310	31K	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	(3.8)	(2.6)	1.1	(11.63)	打ち欠き、胴：RL、内面ナデ	中期
—	119	1311	31K	Ⅱ層-5cm	円盤状土製品	2.6	2.8	0.5	4.92	全周研磨、胴：単軸絡1L、内面ナデ	中期
—	119	1312	31K	Ⅱ層-5~20cm	円盤状土製品	(2.9)	(2.6)	0.9	(7.46)	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1313	31K(SE隅)	Ⅱ層-5~20cm	円盤状土製品	2.7	2.6	0.7	6.51	全周研磨、胴：R、内面ナデ	中期
—	119	1314	31K(NE隅)	Ⅱ層-5~25cm	円盤状土製品	2.3	2.3	0.7	4.20	全周研磨、胴：無文、内面ナデ	中期
—	119	1315	31K	Ⅱ層-15cm	円盤状土製品	3.3	3.4	1.0	13.49	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1316	31K(SW)	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.7	(4.6)	0.8	(21.73)	打ち欠き、胴：沈線、内面ミガキ、煤付着	中期
—	119	1317	31K	Ⅱ層-30cm	円盤状土製品	(2.7)	2.4	0.9	(4.10)	全周研磨、胴：RL、内面ナデ	中期
—	119	1318	31K	Ⅱ層-30cm	円盤状土製品	2.9	2.9	0.8	8.47	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	119	1319	31L	Ⅱ層-5~25cm	円盤状土製品	2.4	(2.4)	0.8	(5.68)	全周研磨、胴：沈線、内面ナデ	中期
—	119	1320	31L	Ⅱ層-5~25cm	円盤状土製品	2.8	2.8	0.8	7.78	部分研磨、胴：LR→沈線、内面ナデ	中期

()内数値：残存値

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	部位	計測値 (cm)			重さ (g)	備考	時期
						長さ (cm)	幅	厚さ			
—	119	1321	31 L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.5	(3.6)	1.0	(21.66)	部分研磨、胴：RL、内面ミガキ	中期
—	119	1322	31 L	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	2.5	2.4	0.7	6.31	打ち欠き、胴：LR、内面ミガキ	中期
—	119	1323	31M	Ⅱ層	円盤状土製品	2.7	(2.8)	0.6	(5.12)	全周研磨、胴：無文、内面ナデ	中期
—	120	1324	32 J	Ⅱ層-5~10cm	円盤状土製品	6.3	(6.4)	1.0	(42.86)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	120	1325	32 J	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.2	3.0	0.9	10.02	全周研磨、胴：沈線、内面ナデ	中期
—	120	1326	32 K	Ⅱ層上位	円盤状土製品	3.4	3.8	0.8	10.78	全周研磨、胴：L、内面ナデ	中期
—	120	1327	32 K	Ⅱ層上層	円盤状土製品	(3.6)	(3.0)	0.8	(9.99)	部分研磨、胴：無文、内面ナデ	中期
—	120	1328	32 K	Ⅱ層上層	円盤状土製品	2.8	2.9	1.0	9.09	打ち欠き、胴：単軸絡1R、内面ナデ	中期
—	120	1329	32 K	攪乱	円盤状土製品	3.6	3.7	0.9	13.70	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	120	1330	32 K	ゴミ置場クリーニング	円盤状土製品	3.7	3.6	0.9	14.33	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	120	1331	32 K	Ⅱ層	円盤状土製品	4.0	3.9	0.7	17.93	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	120	1332	32 K	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	5.0	4.9	0.9	22.97	部分研磨、胴：LR+結節、内面ナデ	中期
—	120	1333	32 K	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	4.0	4.0	0.8	17.54	部分研磨、胴：沈線、内面ナデ	中期
—	120	1334	32 K	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.3	3.4	1.0	13.30	打ち欠き、胴：無文、内面ナデ	中期
—	120	1335	32 K	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	3.3	3.2	0.7	8.76	打ち欠き、胴：RLR、内面ナデ	中期
—	120	1336	32 K	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	2.9	2.9	0.7	7.25	打ち欠き、胴：L、内面ナデ	中期
—	120	1337	32 K	Ⅱ層-10cm	円盤状土製品	(2.6)	(2.8)	0.7	(5.55)	全周研磨、胴：RLR、内面ナデ	中期
—	120	1338	32 K	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	4.0	(3.8)	0.8	(15.03)	部分研磨、胴：沈線・RL、内面ナデ	中期
—	120	1339	32 K	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	(3.6)	(1.8)	0.8	(5.46)	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	120	1340	32 L	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	3.3	(2.4)	0.9	(8.67)	打ち欠き、胴：L、内面ナデ	中期
—	120	1341	33 J	Ⅱ層-5 cm	円盤状土製品	2.5	2.6	0.9	7.32	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	120	1342	33 K	攪乱	円盤状土製品	3.5	3.3	0.8	12.24	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	120	1343	33 K	攪乱ゴミ置場除去後	円盤状土製品	4.2	4.3	1.0	24.36	打ち欠き、胴：RLR、内面ナデ	中期
—	120	1344	33 K	攪乱ゴミ置場除去後	円盤状土製品	3.9	4.0	0.8	15.34	打ち欠き、胴：L、内面ナデ	中期
—	120	1345	不明	攪乱	円盤状土製品	3.5	3.2	0.7	10.32	打ち欠き、胴：L、内面ナデ	中期
—	120	1346	不明	攪乱	円盤状土製品	3.3	3.5	0.6	8.44	打ち欠き、胴：LR→沈線、内面ナデ	晩期
—	120	1347	表探	—	円盤状土製品	3.8	2.8	1.1	12.43	部分研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	120	1348	表探	—	円盤状土製品	(4.3)	(2.2)	0.8	(9.84)	打ち欠き、胴：RL・沈線、内面ナデ	中期
—	120	1349	排土	—	円盤状土製品	5.2	4.8	0.8	23.17	打ち欠き、胴：RLR、内面ナデ	中期
—	120	1350	謎トレンチ5	—	円盤状土製品	(4.3)	(2.3)	0.7	(8.66)	打ち欠き、胴：LR、内面ナデ	中期
—	120	1351	謎トレンチ4	—	円盤状土製品	3.3	2.7	0.7	7.85	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
—	120	1352	謎トレンチ近	焼土	円盤状土製品	3.5	(3.1)	0.8	(12.67)	部分研磨、胴：L、内面ナデ	中期
—	120	1353	不明	Ⅱ層-20cm	円盤状土製品	3.0	3.3	1.1	16.06	全周研磨、胴：LR、内面ナデ	中期
145	120	1354	30 J	Ⅱ層-10~15cm	三角形土製品	5.0	5.0	0.6	17.40	胴：RLR	
—	120	1355	RA31	Ⅱ層-20cm	焼成粘土塊	3.3	2.9	1.1	9.51		
—	120	1356	RA31	Ⅱ層-20cm	焼成粘土塊	2.0	2.9	1.9	8.53		
—	—	1357	RA40	Ⅱ層-15cm	焼成粘土塊	3.3	2.8	1.7	7.52		
—	—	1358	RD375	埋土上~中位	焼成粘土塊	4.0	2.8	2.2	17.86		
—	120	1359	RD375	埋土上~中位	焼成粘土塊	0.8	0.6	0.6	0.22		
—	—	1360	RD375	埋土上~中位	焼成粘土塊	2.0	2.1	1.3	4.88		
—	120	1361	RD379	埋土	焼成粘土塊	3.9	2.6	2.4	16.89		
—	120	1362	RD380	埋土	焼成粘土塊	1.3	1.4	1.0	1.30		
—	120	1363	30 J-PP1	埋土	焼成粘土塊	4.9	4.2	3.7	54.92		
—	120	1364	30 J-PP12	東半埋土	焼成粘土塊	2.6	2.3	1.6	7.81		
—	—	1365	23 R	Ⅱ層-20~30cm	焼成粘土塊	2.4	2.3	1.6	5.71		
—	120	1366	24M	Ⅱ層-5 cm	焼成粘土塊	(2.2)	(4.9)	(3.1)	(24.98)		
—	—	1367	24M	Ⅱ層-5 cm	焼成粘土塊	1.8	1.7	1.9	3.45		
—	—	1368	26 L	Ⅱ層-5 cm	焼成粘土塊	2.8	3.0	1.9	10.97		
—	—	1369	26 L	Ⅱ層-20cm	焼成粘土塊	2.9	2.5	2.0	9.66		
—	120	1370	27 L	Ⅱ層-5 cm	焼成粘土塊	4.5	2.0	2.0	19.02		
—	120	1371	27M	Ⅱ層-20cm	焼成粘土塊	5.0	4.2	2.6	37.75		
—	—	1372	28M	Ⅱ層-15cm	焼成粘土塊	2.3	2.6	1.4	7.12		
—	—	1373	28M	Ⅱ層-20cm	焼成粘土塊	(5.0)	8.1	4.0	(109.39)		
—	120	1374	29M	Ⅱ層-5 cm	焼成粘土塊	2.8	2.6	2.0	8.57		
—	120	1375	29M	Ⅱ層-5 cm	焼成粘土塊	4.1	2.4	2.1	13.21		
—	—	1376	29M	Ⅱ層-10cm	焼成粘土塊	2.7	1.6	1.8	4.28		
—	—	1377	29M	Ⅱ層-15cm	焼成粘土塊	4.1	3.0	2.0	18.03		
—	—	1378	30K	Ⅱ層	焼成粘土塊	3.2	2.4	2.3	10.57		
—	120	1379	30N	Ⅱ層-10cm	焼成粘土塊	4.3	3.7	2.0	23.66		
—	—	1380	31~32K	Ⅱ層-15cm	焼成粘土塊	3.4	(3.0)	2.6	(21.79)		
—	—	1381	31 J	Ⅱ層-15~8 cm	焼成粘土塊	(1.9)	(2.8)	(2.0)	(10.33)		
—	—	1382	31M	Ⅱ層-10cm	焼成粘土塊	2.6	2.4	2.3	14.02		
—	—	1383	32K	Ⅱ層上位	焼成粘土塊	2.1	1.8	1.4	4.01		
—	—	1384	32K	ゴミ置場クリーニング	焼成粘土塊	1.7	1.5	1.4	4.46		
—	—	1385	29M	Ⅱ層-10cm	焼成粘土塊	(4.5)	3.9	1.5	(55.11)		

第12表 石器観察表

()内数値：残存値

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
						長さ (cm)	幅	厚さ				
—	121	1401	RA27	床直クリーニング	石鏃	1.70	1.10	0.40	0.44	凹基無茎鏃	I	NK
—	121	1402	RA30下	Ⅱ層-3cm	石鏃	(2.15)	(1.35)	0.30	(0.62)	凹基無茎鏃、基部欠損	A	NK
—	121	1403	RA31	Ⅱ層-20cm	石鏃	2.40	(1.70)	0.60	(0.89)	凹基無茎鏃、基部欠損	A	NK
—	121	1404	RA31	埋土Ⅱ層-25cm	石鏃	(2.10)	(1.15)	(0.30)	(0.58)	基部・身部欠損	A	NK
—	121	1405	RA32	(断)	石鏃	(2.00)	1.60	0.35	(0.78)	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1406	RA32	埋土下位-5cm	石鏃	1.20	(1.10)	0.40	0.30	凹基無茎鏃、基部欠損	D	NK
—	121	1407	RA32	炉石下	石鏃	(1.80)	2.00	0.45	(0.99)	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
146	121	1408	RA36	南北ベルト1層	石鏃	2.80	1.50	0.60	2.20	尖基鏃	F	NK
—	121	1409	RA36	北西埋土下位	石鏃	(1.30)	1.35	0.25	(0.29)	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
146	121	1410	RA36	北西埋土下位	石鏃	(2.85)	1.35	0.45	(1.47)	凸基有茎鏃、尖頭部・身部欠損、アスファルト付着	A	NK
—	121	1411	RA36の下	Ⅱ層-10cm	石鏃	3.10	1.45	0.30	0.68	凸基有茎鏃	A	NK
146	121	1412	RA38	南半埋土	石鏃	2.10	1.30	0.30	0.58	凹基無茎鏃	A	NK
—	121	1413	RA38	埋土層ベルト	石鏃	1.90	1.25	0.25	0.28	凹基無茎鏃	I	NK
146	121	1414	RA40	断面クリーニング東	石鏃	1.70	1.55	0.30	0.50	凹基無茎鏃	A	NK
—	121	1415	RA40	No.10	石鏃	(1.45)	1.40	0.30	(0.54)	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1416	RA40	㊷-H	石鏃	2.55	1.90	0.70	2.37	円基鏃	A	NK
—	121	1417	RE03	埋土	石鏃	(2.00)	1.30	0.35	(0.67)	凹基無茎鏃	A	NK
146	121	1418	RF17	焼土内	石鏃	(2.10)	1.30	0.45	(0.81)	平基鏃	A	NK
—	121	1419	RF21	南半焼土	石鏃	(2.20)	1.15	0.40	(0.77)	凸基有茎鏃、基部欠損	A	NK
—	121	1420	RZ11	埋土	石鏃	2.25	1.30	0.50	0.90	凸基有茎鏃	A	NK
—	121	1421	RZ11	埋土	石鏃	(1.05)	(1.20)	(0.30)	(0.20)	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1422	30J-PP 3.4.5	埋土	石鏃	(1.60)	(0.90)	(0.20)	(0.24)	凹基無茎鏃、尖頭部・基部欠損		
—	121	1423	30U新PP	埋土	石鏃	1.95	1.55	0.30	0.74	平基無茎鏃	B	NK
—	121	1424	18L	中位	石鏃	4.22	1.70	0.95	3.57	尖基鏃	A	NK
146	121	1425	18L	Ⅱ層	石鏃	3.55	1.15	0.55	0.61	凸基有茎鏃	A	NK
—	121	1426	20L	攪乱	石鏃	(1.90)	(1.60)	0.60	(0.36)	基部欠損	A	NK
—	121	1427	20M	Ⅱ層-20cm	石鏃	1.95	1.55	0.25	0.40	凹基無茎鏃	C	NK
—	121	1428	21T	Ⅱ層	石鏃	(2.10)	1.60	0.40	(1.04)	凸基有茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1429	21T	Ⅱ層	石鏃	2.95	(1.80)	0.40	(1.23)	凸基有茎鏃、側部欠損	A	NK
—	121	1430	22P	Ⅱ層-10cm	石鏃	2.30	(1.60)	0.50	(1.31)	凹基無茎鏃、基部欠損	A	NK
—	121	1431	22T	攪乱	石鏃	2.10	1.30	0.60	1.40	未製品?	C	NK
—	121	1432	22T	Ⅱ層	石鏃	2.05	1.45	0.70	1.95	円基鏃	B	NK
—	121	1433	23P	Ⅱ層-10cm	石鏃	(1.55)	1.45	0.30	(0.66)	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1434	23Q	Ⅱ層-10cm	石鏃	(2.10)	(1.90)	0.25	(0.77)	凸基有茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1435	23Q	Ⅱ層-10cm	石鏃	(2.85)	(1.55)	0.35	(0.96)	凹基無茎鏃、基部欠損	A	NK
—	121	1436	23R	Ⅱ層-10cm	石鏃	2.40	1.15	0.75	0.73	凸基有茎鏃	C	NK
—	121	1437	24Q	Ⅱ層-10cm	石鏃	2.40	(1.80)	0.55	(1.64)	凹基平基鏃	A	NK
—	121	1438	24T	攪乱	石鏃	1.55	1.65	0.27	0.61	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	D	NK
—	121	1439	25L	Ⅱ層-20cm	石鏃	2.10	1.50	0.70	1.96	円基鏃?	C	NK
—	121	1440	25R	Ⅱ層-10cm	石鏃	1.65	1.30	0.30	0.52	凹基無茎鏃	A	NK
146	121	1441	25T~U	盛土除去後の排土	石鏃	1.60	0.90	0.25	0.30	凹基無茎鏃	F	NK
—	121	1442	25T~U	盛土除去後の排土	石鏃	(2.10)	1.40	0.35	(0.72)	凸基有茎鏃	A	NK
—	121	1443	26L	Ⅱ層-5cm	石鏃	2.25	1.60	0.50	1.61	平基鏃	A	NK
146	121	1444	26L	Ⅱ層-5cm	石鏃	2.45	1.50	0.40	1.03	凸基有茎鏃	B	NK
—	121	1445	26Lベルト	Ⅱ層-20cm	石鏃	(2.30)	(1.35)	0.30	(0.44)	凹基無茎鏃、基部欠損	A	NK
—	121	1446	26Lベルト	Ⅱ層-20cm	石鏃	(1.30)	(0.60)	0.20	(0.09)	尖頭部・基部欠損	C	NK
—	121	1447	26L	Ⅱ層-5cm	石鏃	2.85	(1.30)	0.45	(1.42)	円基鏃?、基部欠損	A	NK
146	121	1448	26L	Ⅱ層-5cm	石鏃	1.90	1.40	0.30	0.49	凹基無茎鏃	G	—
—	121	1449	26L	Ⅱ層-5cm	石鏃	2.00	(1.45)	0.35	(0.65)	凹基無茎鏃	A	NK
—	121	1450	26L	Ⅱ層-30cm	石鏃	(1.60)	1.10	0.20	(0.28)	凹基無茎鏃、尖頭部・身部欠損	D	—
—	121	1451	28I	クリーニング	石鏃	(1.00)	(1.00)	0.25	(0.17)	基部欠損	C	NK
—	121	1452	26Q	Ⅲ層	石鏃	(1.75)	(1.40)	0.30	(0.70)	凹基無茎鏃、尖頭部・基部欠損	A	NK
—	121	1453	27L	Ⅱ層-5cm	石鏃	1.55	1.15	0.35	0.56	凹基無茎鏃、尖頭部・基部欠損	C	NK
—	121	1454	28L	Ⅱ層-20cm	石鏃	(2.30)	1.50	0.40	(1.37)	平基鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1455	27L	Ⅱ層-5cm	石鏃	(1.55)	(1.45)	0.70	(0.74)	尖頭部・基部欠損	D	—
—	121	1456	27L	Ⅱ層-5cm	石鏃	1.80	(1.50)	0.30	0.47	凹基無茎鏃、基部欠損	C	NK
—	121	1457	27L	Ⅱ層-10cm	石鏃	1.75	(1.20)	0.30	0.48	凹基無茎鏃、基部欠損	D	NK
—	121	1458	28L	Ⅱ層-20cm	石鏃	(2.60)	(1.25)	0.35	(0.74)	基部欠損	A	NK
—	121	1459	28L	Ⅱ層-20cm	石鏃	0.75	1.55	0.35	0.63	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1460	28L	Ⅱ層-20cm	石鏃	(1.45)	1.50	0.25	(0.43)	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1461	28M	Ⅱ層-5cm	石鏃	2.10	1.30	1.00	2.62	未製品?	A	NK
—	121	1462	28M	Ⅱ層-15cm	石鏃	(1.70)	(1.40)	0.30	(0.51)	凹基無茎鏃、基部欠損	C	NK
—	121	1463	28M	Ⅱ層-15cm	石鏃	2.00	1.15	0.35	0.48	凹基無茎鏃	A	NK
—	121	1464	28M	Ⅱ層-15cm	石鏃	2.90	1.80	0.30	0.94	凹基無茎鏃、身部欠損	A	NK
—	121	1465	29C	Ⅱ層-20cm	石鏃	2.30	(1.40)	0.35	(0.68)	凹基無茎鏃、尖頭部・基部欠損	A	NK
—	121	1466	29L	Ⅱ層-5cm	石鏃	1.30	(1.25)	0.25	(0.24)	凹基無茎鏃、基部欠損	B	NK
—	121	1467	29L	Ⅱ層-5cm	石鏃	(1.20)	(1.35)	0.45	(0.48)	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	C	NK
—	121	1468	29L	Ⅱ層-5cm	石鏃	(1.45)	1.25	0.30	(1.22)	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1469	29L	Ⅱ層-5cm	石鏃	(1.45)	(1.40)	0.35	(0.51)	凹基無茎鏃、尖頭部欠損	A	NK
—	121	1470	29L	Ⅱ層-10cm	石鏃	(2.35)	(1.50)	0.40	(1.23)	基部欠損	A	NK

()内数値：残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
						長さ(cm)	幅	厚さ				
—	122	1471	29L	II層-30~50cm	石鍬	(1.80)	(1.35)	0.45	(0.73)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	C	NK
—	122	1472	29M	II層-5cm	石鍬	1.60	1.70	0.30	0.48	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1473	29R	II層-5cm	石鍬	1.50	1.30	0.30	0.45	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1474	30J	RA30の下30cm	石鍬	1.55	1.45	0.35	0.43	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1475	30J	II層-5cm	石鍬	2.55	1.25	0.30	0.57	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1476	30J	II層15~20cm	石鍬	2.70	1.50	0.40	0.85	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1477	30J	II層-25cm	石鍬	(1.30)	(1.40)	0.30	(0.48)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	C	NK
—	122	1478	30J	II層-30cm	石鍬	2.10	1.40	0.30	0.45	凸基有茎鍬	A	NK
—	122	1479	30K Q1.Q2	II層-5cm	石鍬	(2.15)	1.90	0.30	(0.81)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	B	NK
146	122	1480	30K Q1.Q2	II層-5cm	石鍬	3.10	1.50	0.50	1.93	凹基無茎鍬	A	NK
146	122	1481	30K	II層-10cm	石鍬	1.60	1.35	0.30	0.48	凹基無茎鍬	F	NK
—	122	1482	30K	II層-25cm	石鍬	1.65	(1.55)	0.30	(0.62)	平基鍬、尖頭部欠損	A	NK
—	122	1483	30K	II層-25cm	石鍬	1.70	1.35	0.30	0.43	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1484	30O	II層-10cm	石鍬	(2.40)	1.55	0.30	(0.82)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	A	NK
—	122	1485	30O	II層-10cm	石鍬	2.30	1.60	0.50	1.42	平基鍬	A	NK
—	122	1486	30O	II層-10cm	石鍬	2.10	1.40	0.30	0.61	凹基無茎鍬、基部欠損	A	NK
—	122	1487	31J・31K	II層	石鍬	(1.65)	(1.00)	0.30	(0.29)	凹基無茎鍬、基部欠損	A	NK
—	122	1488	31J	II層-5~10cm	石鍬	(1.80)	(1.50)	0.40	(0.91)	未製品?	G	—
—	122	1489	31J	II層-5~10cm	石鍬	(1.50)	(1.05)	0.30	(0.41)	凹基無茎鍬、尖頭部・基部欠損	A	NK
—	122	1490	31K	不明	尖頭状石器	2.30	1.90	0.65	2.11	凹基無茎鍬	C	NK
—	122	1491	31J	II層-10cm	石鍬	2.55	(1.30)	0.30	(0.64)	凹基無茎鍬、身部・基部欠損	A	NK
—	122	1492	31J	II層-10cm	石鍬	2.45	(1.40)	0.45	(1.19)	凹基無茎鍬、身部欠損	B	NK
—	122	1493	31J	II層-15cm	石鍬	2.10	1.60	0.40	0.76	凹基無茎鍬	A	NK
146	122	1494	31J	II層-20cm	石鍬	(1.90)	(1.40)	0.30	(0.54)	凹基無茎鍬?基部欠損	G	—
—	122	1495	31J	II層-25cm	石鍬	2.65	(1.27)	0.35	(0.68)	凹基無茎鍬、基部欠損	A	NK
—	122	1496	31K	EWベルト下位	石鍬	1.55	1.30	0.25	0.39	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1497	31K	II層	石鍬	(1.95)	(1.50)	0.30	(0.46)	凹基無茎鍬、基部欠損	B	NK
—	122	1498	31K	SE隅5~20cm	石鍬	1.70	(1.50)	0.30	(0.57)	平基鍬	C	NK
—	122	1499	31KSW隅	II層-5~10cm	石鍬	(1.30)	(1.25)	0.40	(0.47)	凸基有茎鍬、尖頭部欠損	A	NK
—	122	1500	31K	II層-5cm	石鍬	2.85	1.80	0.60	2.11	尖頭状石器?	A	NK
—	122	1501	31K	II層-15cm	石鍬	(1.40)	1.55	0.35	(115.10)	平基無茎鍬、尖頭部欠損	C	NK
—	122	1502	31K	II層-15cm	石鍬	(1.70)	1.35	0.30	(124.55)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	C	NK
—	122	1503	31K	II層-20cm	石鍬	(2.06)	1.45	0.30	(0.58)	凹基無茎鍬、尖頭部・基部欠損	A	NK
—	122	1504	31K	II層-20cm	石鍬	1.73	(1.00)	0.40	0.61	凹基無茎鍬、側部欠損	G	—
—	122	1505	31K	II層-20cm	石鍬	1.70	1.15	0.35	0.53	凹基無茎鍬	C	NK
—	122	1506	31K	II層-20cm	石鍬	2.50	1.30	0.30	0.55	凹基無茎鍬	A	NK
146	122	1507	31K	不明	石鍬	(1.80)	1.70	0.25	(0.51)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	G	—
—	122	1508	31K	不明	石鍬	(2.00)	1.70	0.30	(0.69)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	A	NK
—	122	1509	31K	不明	石鍬	(1.70)	(1.20)	0.30	(0.52)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	A	NK
—	122	1510	31K	不明	石鍬	2.50	(1.60)	0.70	(0.52)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	A	NK
—	122	1511	31M	黒縄土クリーニング	石鍬	2.10	1.40	0.20	0.45	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1512	32J	地山クリーニング	石鍬	2.10	1.10	0.35	0.55	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1513	32J	II層-5cm	石鍬	1.60	1.15	0.35	0.38	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1514	32K	北西埋土上位	石鍬	(2.20)	1.70	0.50	(1.38)	尖頭状石器、尖頭部欠損	C	NK
—	122	1515	32K・Eベルト	上層	石鍬	2.90	(1.30)	0.20	0.53	凹基無茎鍬、基部欠損	A	NK
—	122	1516	32K	北半埋土	石鍬	(1.60)	(1.50)	0.30	(0.56)	凹基無茎鍬、尖頭部・基部欠損	A	NK
—	122	1517	32K	攪乱	石鍬	(2.10)	(1.35)	0.40	(0.65)	基部欠損	A	NK
—	122	1518	32K	攪乱	石鍬	(1.25)	(1.10)	0.20	(0.25)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	A	NK
—	122	1519	32K	EWベルト上位	石鍬	(1.60)	(1.50)	0.30	(0.61)	基部欠損	A	NK
—	122	1520	32K	II層-10cm	石鍬	2.05	1.40	0.30	0.56	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1521	試掘トレンチ4	II層-15cm	石鍬	2.02	1.20	0.30	0.49	凹基無茎鍬	A	NK
—	122	1522	試掘トレンチ5	不明	石鍬	2.80	1.60	0.40	1.67	凹基無茎鍬?、尖頭部欠損	A	NK
—	122	1523	試掘7付近の焼土	不明	石鍬	2.00	(1.70)	0.50	(1.74)	身部・基部欠損	A	NK
—	122	1524	不明	II層-20cm	石鍬	(1.30)	(1.70)	0.30	(0.37)	凹基無茎鍬、尖頭部・基部欠損	I	NK
—	122	1525	不明	II層-5cm貝層サンプル	石鍬	(1.35)	(1.20)	(0.30)	(0.33)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	A	NK
—	122	1526	不明	不明	石鍬	(1.80)	1.50	0.30	(0.54)	凹基無茎鍬、尖頭部欠損	A	NK
—	122	1527	RA26	埋土下位南半	尖頭状石器	(1.90)	(1.90)	0.75	(2.27)	両面加工、基部欠損	A	NK
—	122	1528	RA26	南側埋土下位	尖頭状石器	3.95	2.00	0.95	5.02	尖頭器?、両面加工	F	NK
—	122	1529	RA31	周溝	尖頭状石器	3.15	(2.20)	0.60	(3.45)	周縁加工、身部欠損	A	NK
—	122	1530	RD349	埋土上	尖頭状石器	2.70	2.10	0.70	3.39	周縁加工	A	NK
—	122	1531	RD373	埋土	尖頭状石器	2.25	1.90	0.40	1.36	平基鍬	A	NK
—	122	1532	18K SW角	II層	尖頭状石器	3.50	1.70	0.90	4.35	尖頭状石器?	A	NK
—	122	1533	18L	排土	尖頭状石器	(2.10)	(1.85)	0.80	(1.91)	身部欠損	C	NK
—	122	1534	22T	攪乱	尖頭状石器	2.85	2.05	0.80	4.01	両面加工	C	NK
—	122	1535	22T	II層	尖頭状石器	3.45	2.65	0.70	5.43	両面加工	A	NK
—	122	1536	23Q	II層-10cm	尖頭状石器	3.30	2.10	0.75	5.45	両面加工、有茎?	A	NK
—	122	1537	23Q	II層-10cm	尖頭状石器	(3.30)	(2.40)	0.70	(3.97)	周縁加工、基部欠損	A	NK
—	123	1538	23R	攪乱	尖頭状石器	(4.10)	2.50	0.90	(7.49)	尖頭状石器?	X	O
—	123	1539	24Q	II層-5cm	尖頭状石器	3.40	(1.70)	0.60	(3.54)	凸基有茎鍬?、身部欠損	A	NK
—	123	1540	27L	II層-5cm	尖頭状石器	2.30	2.00	0.80	3.02	両面加工、尖頭部欠損	C	NK
—	123	1541	28I	クリーニング	尖頭状石器	(2.45)	2.05	0.50	(1.84)	尖頭状石器?、尖頭部・基部欠損	A	NK

() 内数値：残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
						長さ (cm)	幅	厚さ				
—	123	1542	28M	Ⅱ層-15cm	尖頭状石器	(3.05)	1.70	0.90	(4.11)	両面加工、アスファルト付着	A	NK
—	123	1543	29L	Ⅱ層-5cm	尖頭状石器	(2.30)	(1.75)	0.60	(1.70)	両面加工、未製品?	C	NK
—	123	1544	29L	Ⅱ層-30~50cm	尖頭状石器	2.55	1.80	1.10	4.00	刃部：両面加工、未製品?	A	NK
—	123	1545	30J	Ⅱ層-30cm	尖頭状石器	2.85	2.20	1.10	5.32	両面加工	C	NK
—	123	1546	30L	黒褐色土クリーニング	尖頭状石器	(2.50)	(1.90)	0.60	(2.05)	凹基無茎鏃、未製品?	C	NK
—	123	1547	30L~30M	Ⅱ層-20cm	尖頭状石器	2.75	1.85	0.80	4.19	両面加工	A	NK
—	123	1548	30N	Ⅱ層-20cm	尖頭状石器	(2.30)	1.80	0.40	(2.41)	両面加工、尖頭部欠損、基部に挟り	A	NK
—	123	1549	30O	Ⅱ層-10cm	尖頭状石器	2.40	2.20	0.80	3.35	両面加工	A	NK
—	123	1550	31J	Ⅱ層-5~10cm	尖頭状石器	(2.55)	(2.10)	0.45	(1.97)	両面加工、基部欠損	C	NK
—	123	1551	31K	Ⅱ層-20cm	尖頭状石器	3.00	2.10	1.00	5.42	両面加工	A	NK
—	123	1552	31K	クリーニング	尖頭状石器	(2.60)	1.80	0.80	(2.85)	基部欠損	C	NK
—	123	1553	31K	不明	尖頭状石器	2.25	2.25	0.60	2.87	両面加工	C	NK
—	123	1554	Q2	不明	尖頭状石器	2.60	(2.05)	1.10	(1.39)	両面加工	A	NK
—	123	1555	表探	不明	尖頭状石器	3.34	2.06	1.47	4.37	尖頭器?	B	NK
146	123	1556	RA38-PP5	埋土	尖頭器	8.00	2.70	0.75	9.74	両面加工	A	NK
146	123	1557	RA31	炉の下位の土坑の埋土	石錐	3.80	3.20	1.00	5.89	柄付き	A	NK
—	123	1558	RA31の床下	Ⅱ層-40cm	石錐	(4.30)	(1.90)	0.90	(3.79)	柄付き?	A	NK
146	123	1559	RA32	炉石下	石錐	(3.25)	1.50	0.70	(2.42)	柄付き	A	NK
146	123	1560	RA36	北西埋土下位	石錐	(2.40)	0.60	0.45	(0.67)	棒状?、先端部のみ	A	NK
146	123	1561	RD286	埋土(S)下位	石錐	(4.40)	3.15	1.20	(10.36)	柄付き	F	NK
—	123	1562	RD286	上面	石錐	(2.10)	2.60	0.70	(3.12)	柄付き、身部欠損	A	NK
146	123	1563	17K	Ⅱ層下	石錐	4.45	1.00	0.65	2.35	棒状	F	NK
146	123	1564	18L	Ⅱ層	石錐	3.75	0.95	0.60	1.97	棒状	A	NK
—	123	1565	25L	Ⅱ層-20cm	石錐	2.80	1.10	0.80	2.22	身部欠損	C	NK
—	123	1566	27M	Ⅱ層-20cm	石錐	3.15	1.85	1.00	2.52	柄付き	A	NK
—	123	1567	28L	Ⅱ層-20cm	石錐	4.25	4.70	1.10	18.28	柄付き、身部欠損	A	NK
—	123	1568	28M	Ⅱ層-15cm	石錐	(2.65)	(1.90)	0.80	(3.05)	柄付き、身部欠損	A	NK
—	123	1569	28M	Ⅱ層-15cm	石錐	2.50	0.95	0.90	1.79	柄付き、身部欠損	A	NK
—	123	1570	29L	Ⅱ層-5cm	石錐	(2.65)	2.00	0.60	(2.34)	柄付き、身部欠損	A	NK
146	123	1571	29L	Ⅱ層-10cm	石錐	5.10	2.90	1.10	13.53	柄付き	A	NK
—	123	1572	29L	Ⅱ層-30~50cm	石錐	1.70	1.35	0.55	0.87	柄付き、身部欠損	A	NK
—	123	1573	30L	Ⅱ層-5cm	石錐	(3.60)	1.70	0.90	(6.16)	柄付き、身部欠損	A	NK
—	123	1574	30N	表土	石錐	(3.45)	1.20	0.80	(2.53)	柄付き、身部欠損	A	NK
—	123	1575	31J	Ⅱ層-15cm	石錐	2.45	1.65	0.70	1.89	柄付き	A	NK
—	123	1576	31J	Ⅱ層-20cm	石錐	3.70	2.40	1.00	6.99	柄付き	A	NK
—	123	1577	31K	EWベルト下位	石錐	(2.45)	1.60	0.50	(1.57)	柄付き、身部欠損	A	NK
146	123	1578	31K	NW隅-10cm	石錐	3.20	1.50	0.70	2.33	柄付き	F	NK
—	123	1579	31K	Ⅱ層-20cm	石錐	(2.90)	1.80	1.00	(3.69)	柄付き、身部欠損	B	NK
—	123	1580	32K	Ⅱ層-10cm	石錐	3.30	2.45	0.90	5.24	柄付き、錐部：片面加工	B	NK
—	123	1581	盛土下	Ⅱ層	石錐	(5.55)	1.05	0.90	(5.11)	棒状	A	NK
—	123	1582	調査区東側試掘	不明	石錐	(3.40)	1.55	0.60	(1.99)	柄付き	A	NK
147	124	1583	RA26	南側埋土下位	石匙	3.90	5.80	1.30	19.13	縦型、両面周縁加工	A	NK
—	124	1584	RA35	燃焼部西側の埋設土器埋土上	石匙	(2.85)	(1.50)	0.45	(1.70)	縦型、両面二側縁加工	I	NK
147	124	1585	RA40	Ⅱ層-5cm	石匙	3.40	5.15	0.95	18.03	縦型、片面周縁加工	A	NK
147	124	1586	RA26	南側埋土下位	石匙	7.30	3.80	1.50	22.55	縦型、両面周縁加工	A	NK
147	124	1587	RD343	西半埋土上	石匙	6.75	2.50	0.80	14.84	縦型、片面周縁加工	A	NK
—	124	1588	RD376	Ⅱ層をきって小ピット	石匙	4.80	1.50	0.60	3.99	縦型、片面加工	A	NK
147	124	1589	20M	Ⅱ層-20cm	石匙	6.60	2.50	0.60	9.80	縦型、両面加工	A	NK
—	124	1590	23Q	Ⅱ層-10cm	石匙	5.20	2.20	1.10	9.47	縦型、片面一側縁加工、柄欠損	A	NK
—	124	1591	23R	Ⅱ層-10cm	石匙	2.40	4.90	0.50	4.73	横型、両面周縁加工、刃部欠損	A	NK
—	124	1592	25R	Ⅱ層-10cm	石匙	5.35	1.80	0.80	6.25	縦型、片面周縁加工	A	NK
—	124	1593	26I	Ⅱ層-10cm	石匙	(2.60)	(5.90)	1.10	(10.57)	縦型、片面一側縁加工	A	NK
—	124	1594	26L	Ⅱ層-5cm	石匙	(4.10)	2.05	0.40	(4.11)	縦型、片面加工、刃部欠損	A	NK
—	124	1595	26L	Ⅱ層-20cm	石匙	3.90	2.10	0.45	3.18	縦型、片面加工	A	NK
—	124	1596	26M	Ⅱ層-10cm	石匙	1.90	3.75	1.10	2.40	横型、両面周縁加工、身部欠損	A	NK
—	124	1597	26M	不明	石匙	3.00	4.90	0.65	7.39	横型、両面周縁加工	A	NK
—	124	1598	27I	Ⅱ層-10~15cm	石匙	(3.20)	(4.75)	0.95	(8.52)	横型、両面周縁加工、刃部欠損	A	NK
—	124	1599	27L	Ⅱ層-10cm	石匙	6.30	2.10	0.70	9.71	縦型、片面周縁加工	A	NK
—	124	1600	28M	Ⅱ層-15cm	石匙	1.90	6.00	0.90	6.36	縦型、身部欠損	A	NK
—	124	1601	28M	Ⅱ層-15cm	石匙	3.15	1.05	0.35	1.04	縦型、未製品?	A	NK
—	124	1602	28M	Ⅱ層-25cm	石匙	2.00	6.00	0.60	5.66	横型、両面周縁加工	A	NK
—	124	1603	29M	Ⅱ層-20cm	石匙	(3.50)	1.20	0.50	(2.76)	縦型、片面周縁加工、刃部欠損	A	NK
—	124	1604	29M	表土除去後	石匙	3.55	(4.45)	0.60	(7.26)	横型、片面周縁加工、刃部欠損	A	NK
—	124	1605	30M	Ⅱ層-10cm	石匙	5.45	2.65	0.95	11.17	縦型、両面周縁加工	A	NK
—	124	1606	31K	SEⅡ層-10cm	石匙	5.90	2.00	0.80	8.32	縦型、両面周縁加工	A	NK
147	124	1607	31M	Ⅱ層-10cm	石匙	2.90	4.60	0.65	5.18	横型、両面加工	A	NK
—	124	1608	不明	表探	石匙	4.45	7.70	1.10	20.47	横型、両面周縁加工	A	NK
—	124	1609	飛地トレンチ	南側盛土	石匙	6.30	3.50	1.00	20.22	縦型、両面周縁加工	A	NK
—	125	1610	RA26	Ⅱ層	不定形石器	(3.50)	3.20	1.30	(12.19)	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	125	1611	RA27・28	SEベルト	不定形石器	4.80	4.70	0.90	14.52	刃部：片面一側縁加工	A	NK

()内数値：残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
						長さ(cm)	幅	厚さ				
—	125	1612	RA31	炉の前のPit	不定形石器	3.70	5.00	1.50	14.61	刃部：両面一側縁加工	A	NK
—	125	1613	RA32	埋土下位-5cm	不定形石器	4.10	2.60	1.20	8.49	刃部：片面一端部加工	A	NK
—	125	1614	RA32	東側ベルト下	不定形石器	(2.00)	2.40	1.10	(5.09)	刃部：両面周縁加工	A	NK
—	125	1615	RA33	炉の上の埋土	不定形石器	(2.60)	1.20	0.70	(2.00)	刃部：両面一側縁加工	A	NK
—	125	1616	RA34	床面	不定形石器	3.50	2.40	1.30	8.27	刃部：両面周縁加工	A	NK
—	125	1617	不明	II層-30cm	不定形石器	(2.60)	3.00	0.80	(6.41)	刃部：両面一側縁加工	A	NK
—	125	1618	RA38	埋土層ベルト	不定形石器	3.90	2.10	1.00	8.44	刃部：片面一側縁加工	C	NK
—	125	1619	RA38	埋土層ベルト	不定形石器	4.40	2.60	0.80	9.06	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	125	1620	RA40	II層-10cm	不定形石器	2.80	1.80	0.80	3.78	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	125	1621	RA40	II層-20cm	不定形石器	3.05	(1.70)	0.80	(2.72)	刃部：両面一側縁加工?	A	NK
147	125	1622	RD343	西半埋土上位	不定形石器	2.80	5.30	1.20	14.04	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	125	1623	RD363	南半埋土上位	不定形石器	3.55	5.10	1.20	17.77	刃部：片面一側縁加工	A	NK
147	125	1624	RD364	南半埋土上位	不定形石器	3.40	3.75	0.90	9.92	刃部：両面一側縁加工	A	NK
147	125	1625	RD373	南一括	不定形石器	4.80	3.60	1.40	17.03	刃部：片面一側縁加工	C	NK
—	125	1626	RD379	埋土	不定形石器	3.00	4.00	1.15	13.84	刃部：片面一側縁加工	C	NK
—	125	1627	RE03	壁きわ(N)	不定形石器	4.95	3.30	1.00	15.73	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	125	1628	RF21	焼土下の黒褐色土	不定形石器	2.40	1.50	0.70	2.24	刃部：片面一側縁加工	C	NK
—	125	1629	RH01	下の土壌	不定形石器	4.00	2.80	1.30	13.46	刃部：片面周縁加工	A	NK
147	125	1630	RH09	礫直下黒色土	不定形石器	4.60	5.90	1.20	22.19	刃部：片面一側縁加工(主要剥離面)	A	NK
148	125	1631	RH09	礫直下黒色土	不定形石器	6.60	3.60	1.70	32.49	刃部：片面周縁加工	A	NK
—	125	1632	RZ03	南側のフレイクビット	不定形石器	6.60	3.10	0.90	26.09	刃部：両面一側縁加工	A	NK
—	125	1633	30J-PP2	埋土	不定形石器	3.25	1.45	0.90	4.11	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	125	1634	30J-PP3.4.5	埋土	不定形石器	5.00	4.90	1.30	30.88	刃部：片面二側縁加工、尖頭部	A	NK
—	125	1635	32K-PP1	埋土	不定形石器	2.50	2.20	0.40	3.12	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	125	1636	18 I	攪乱	不定形石器	3.60	3.20	1.30	12.70	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	125	1637	18 L	排土	不定形石器	3.45	2.80	1.15	10.17	刃部：両面周縁加工	A	NK
—	125	1638	21 U	II層	不定形石器	2.60	1.90	0.85	3.09	刃部：片面二側縁加工、尖頭部	A	NK
—	125	1639	22 P	II層-10cm	不定形石器	3.80	3.90	1.20	14.58	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	125	1640	23 P	II層-10cm	不定形石器	5.35	4.80	1.50	25.01	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	126	1641	23 Q	II層上位カレ-ング	不定形石器	3.30	1.70	0.60	7.61	刃部：片面一側縁加工	D	NK
—	126	1642	23 Q	II層-5cm	不定形石器	5.30	1.75	0.90	9.10	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	126	1643	23 Q	II層-10cm	不定形石器	2.40	(2.70)	0.90	(3.19)	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	126	1644	23 Q	II層-10~15cm	不定形石器	2.50	3.80	0.75	7.54	刃部：両面一側縁加工	A	NK
—	126	1645	24 Q	II層-20cm	不定形石器	1.70	2.30	0.50	1.87	刃部：両面一側縁加工	B	NK
—	126	1646	24R(RP20周辺)	II層-5cm	不定形石器	3.75	6.20	0.60	11.77	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	126	1647	24 R	II層-10cm	不定形石器	4.10	3.10	2.00	21.12	刃部：片面二側縁加工、搔器	A	NK
—	126	1648	25 L	II層-20cm	不定形石器	4.30	6.65	1.20	30.36	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	126	1649	25 R	盛土攪乱	不定形石器	9.80	5.80	1.20	59.29	刃部：両面一側縁加工	A	NK
—	126	1650	26 L	II層-5cm	不定形石器	(2.00)	2.10	1.85	(2.80)	刃部：両面一側縁加工	B	NK
—	126	1651	26 L	II層-5cm	不定形石器	4.30	3.20	1.30	13.22	刃部：両面二側縁加工、尖頭部	A	NK
—	126	1652	26 L	II層-20cm	不定形石器	1.80	2.30	0.90	4.50	刃部：片面一側縁加工	C	NK
—	126	1653	26 L	II層-20cm	不定形石器	3.60	2.70	1.00	10.37	刃部：片面一側縁加工	F	NK
—	126	1654	26 M	II層-5cm	不定形石器	3.30	2.70	0.80	8.41	刃部：片面周縁加工	A	NK
—	126	1655	26 M	II層-10cm	不定形石器	5.35	3.45	1.10	15.69	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	126	1656	26 M	II層-20cm	不定形石器	5.10	2.80	0.70	10.15	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	126	1657	26 M	II層-50cm	不定形石器	2.50	4.10	0.95	7.49	刃部：片面二側縁加工	I	NK
—	126	1658	26 Q	III層	不定形石器	4.30	8.30	1.20	47.32	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	126	1659	26 R	II層-10cm	尖頭状石器	(2.40)	2.25	0.70	(3.74)	両面加工、尖頭部・基部欠損	A	NK
—	126	1660	26 U	攪乱	不定形石器	5.70	4.00	1.00	16.99	刃部：両面二側縁加工	A	NK
—	126	1661	27 I	盛土	不定形石器	7.10	5.20	0.90	33.89	刃部：片面一側縁加工	C	NK
—	126	1662	27 I	II層-10~15cm	不定形石器	2.30	1.55	0.45	1.25	刃部：片面加工	A	NK
—	126	1663	27 L	II層-5cm	不定形石器	5.80	3.25	0.90	16.65	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	126	1664	27 L	II層-5cm	不定形石器	2.40	1.90	0.90	2.78	刃部：両面二側縁加工、尖頭部	A	NK
—	126	1665	27 L	II層-10cm	不定形石器	3.30	1.30	0.70	1.57	刃部：両面加工	I	NK
—	126	1666	27 M	II層-20cm	不定形石器	3.70	2.90	0.80	7.89	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	126	1667	28 L	II層-20cm	不定形石器	4.60	4.30	1.50	18.19	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	127	1668	28 L	II層-50~60cm	不定形石器	3.40	0.90	1.00	7.37	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	127	1669	28 M	盛土	不定形石器	3.40	1.70	0.80	3.76	刃部：片面一側縁加工、主要剥離面	C	NK
—	127	1670	28 M	II層-25cm	不定形石器	3.10	(2.15)	0.90	(7.88)	刃部：片面周縁加工、搔器	A	NK
—	127	1671	28 Mベルト	II層-20cm	不定形石器	2.50	2.70	1.70	4.52	刃部：片面二側縁加工、尖頭部	I	NK
—	127	1672	29 I・J	攪乱	不定形石器	5.30	2.30	0.50	9.34	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	127	1673	29 L	II層-5cm	不定形石器	4.95	4.50	0.90	17.62	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	127	1674	29 L	II層-20cm	不定形石器	3.50	2.70	0.60	2.27	刃部：両面加工、異型?	A	NK
—	127	1675	29 L	II層-30~50cm	不定形石器	(3.00)	3.10	1.10	(11.17)	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	127	1676	29 L	II層-30~50cm	不定形石器	2.55	0.80	0.50	1.07	刃部：両面加工、尖頭状	A	NK
—	127	1677	29 M	II層-10cm	不定形石器	7.10	1.80	1.00	8.68	刃部：片面周縁加工	A	NK
—	127	1678	30KQ1・Q2	II層-5cm	不定形石器	3.20	2.35	0.85	4.39	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	127	1679	29 M	II層-10cm	不定形石器	4.00	2.60	0.80	9.62	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	127	1680	30 J	攪乱	不定形石器	2.95	4.80	1.00	13.32	刃部：片面一側縁加工、搔器	A	NK
—	127	1681	30 K	表土除去後	不定形石器	2.40	(1.60)	0.80	(2.81)	刃部：両面一側縁加工	A	NK
—	127	1682	30 L	II層-10cm	不定形石器	(2.30)	(1.95)	0.70	(3.53)	刃部：両面周縁加工	A	NK

()内数値：残存値

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
						長さ (cm)	幅	厚さ				
—	127	1683	30L・30M	II層-10cm	不定形石器	3.30	2.40	0.70	5.07	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	127	1684	30L・30M	II層10~15cm	不定形石器	3.00	1.75	0.50	2.87	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	127	1685	30KQ1・Q2	II層-5cm	不定形石器	5.20	1.80	1.90	7.81	刃部：片面二側縁加工、尖頭部	A	NK
—	127	1686	30N	II層-10cm	不定形石器	3.50	6.60	1.40	23.75	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	127	1687	31J	クリーニング	不定形石器	(2.75)	3.40	0.90	(10.17)	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	127	1688	31J	II層-15cm	不定形石器	6.50	2.80	0.80	14.68	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	127	1689	31J	II層-25cm	不定形石器	5.40	3.10	1.00	15.02	刃部：片面一側縁加工	B	NK
—	127	1690	31K	SE隅5~20cm	不定形石器	3.05	2.45	0.60	4.12	刃部：両面一側縁加工	A	NK
—	127	1691	31K	II層-20cm	不定形石器	3.00	4.90	0.60	10.52	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	127	1692	31K	II層-20cm	不定形石器	3.80	3.00	1.00	13.02	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	127	1693	31K・32K	II層-25cm	不定形石器	2.80	2.10	0.90	4.58	刃部：片面一側縁加工	A	NK
148	127	1694	31L	NSベルト5~25cm	不定形石器	5.70	(2.70)	0.65	(8.96)	刃部：片面一側縁加工	C	NK
—	127	1695	31L	II層-40cm	不定形石器	5.50	4.20	1.40	27.33	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	127	1696	31N	II層-40cm	不定形石器	3.60	2.40	1.00	6.63	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	127	1697	32J	II層-20cm	不定形石器	3.95	2.80	1.00	12.55	刃部：両面一側縁加工	F	NK
—	127	1698	32K	攪乱	不定形石器	3.50	3.80	1.20	11.71	刃部：片面二側縁加工	B	NK
—	127	1699	32K	Eベルト上層	不定形石器	2.80	2.75	0.55	7.05	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	127	1700	32K	II層-10cm	不定形石器	4.95	3.60	1.80	18.97	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	128	1701	33J	II層-10cm	不定形石器	(2.50)	2.50	0.85	(7.26)	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	128	1702	表探	不明	不定形石器	3.70	3.80	1.05	14.78	刃部：両面一側縁加工	A	NK
—	128	1703	表探	不明	不定形石器	4.30	3.20	1.45	16.52	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	128	1704	飛地トレンチ南側	黒褐~暗褐~底	不定形石器	4.40	2.20	0.90	8.07	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	128	1705	不明	不明	不定形石器	2.90	2.40	0.80	5.42	刃部：両面二側縁加工	A	NK
—	128	1706	不明	南側埋土下位	不定形石器	6.00	3.60	1.00	24.60	刃部：片面二側縁加工、ノッチ?、極器	D	NK
—	128	1707	不明	試掘トレンチ6	不定形石器	5.50	4.30	1.40	25.18	刃部：片面一側縁加工、ノッチ?	A	NK
—	128	1708	不明	試掘トレンチ6	不定形石器	(2.00)	2.80	0.90	(5.10)	刃部：両面加工、刃部欠損?	A	NK
—	128	1709	不明	II層-20cm	不定形石器	3.10	3.70	0.90	8.00	刃部：片面二側縁加工	A	NK
—	128	1710	不明	Q1	不定形石器	2.70	2.60	0.90	4.62	刃部：片面二側縁加工	F	NK
—	128	1711	RA32	(断)	両極石器	2.10	2.75	1.05	6.29	4辺二対の剥離	A	NK
—	128	1712	RA37	炉内	両極石器	2.20	1.25	1.20	1.43	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1713	RD373	南一括	両極石器	2.30	2.20	0.70	3.34	4辺二対の剥離	A	NK
—	128	1714	RF11	付近一括	両極石器	2.60	3.05	0.80	5.81	4辺二対の剥離	A	NK
148	128	1715	31J-PP2	埋土	両極石器	1.90	1.60	0.90	3.01	2辺一対の剥離	G	—
—	128	1716	31J-PP21	埋土下位	両極石器	2.45	1.95	0.65	3.44	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1717	23Q	II層-20cm	両極石器	2.55	2.10	0.50	2.34	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1718	25L	II層-20cm	両極石器	1.95	2.55	0.70	3.50	4辺二対の剥離	C	NK
—	128	1719	25R	II層-10cm	両極石器	2.30	3.40	1.30	8.80	2辺一対の剥離	B	NK
—	128	1720	26L	II層-5cm	両極石器	2.25	2.30	0.60	4.30	4辺二対の剥離	A	NK
—	128	1721	26L	II層-20cm	両極石器	2.90	2.30	0.90	6.45	2辺一対の剥離	C	NK
—	128	1722	26V	排土	両極石器	2.85	3.10	1.10	11.09	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1723	27M	II層-10cm	両極石器	2.00	3.80	1.80	11.23	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1724	28M	置出土	両極石器	3.50	1.70	1.20	6.08	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1725	28M	II層-10cm	両極石器	4.20	2.10	1.30	8.89	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1726	28M	II層-15cm	両極石器	2.50	2.70	0.55	1.99	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1727	28M	II層-15cm	両極石器	(2.10)	2.00	0.60	(1.83)	2辺一対の剥離?	A	NK
—	128	1728	28M	II層-15cm	両極石器	1.45	1.50	0.85	1.55	2辺一対の剥離	I	NK
—	128	1729	28M	II層-15cm	両極石器	2.05	1.80	0.60	3.06	2辺一対の剥離	C	NK
—	128	1730	29L	II層	両極石器	1.95	1.45	0.80	2.17	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1731	29M	II層-5cm	両極石器	2.30	1.55	0.95	3.41	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1732	30J	II層-5cm	両極石器	2.90	2.95	1.15	8.56	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1733	30J	II層-30cm	両極石器	2.30	3.05	0.95	5.69	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1734	30P	II層-10cm	両極石器	2.00	1.55	0.60	1.67	2辺一対の剥離	C	NK
—	128	1735	31J	II層-5cmクリーニング	両極石器	1.90	1.60	0.80	1.76	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1736	31J	II層-15cm	両極石器	2.15	2.05	1.00	4.31	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1737	31K	II層-20cm	両極石器	3.20	4.05	0.80	9.99	2辺一対の剥離	F	NK
—	128	1738	31K	II層-40cm	両極石器	2.50	2.70	1.00	7.23	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1739	31K	黒褐土クリーニング	両極石器	2.80	2.80	0.65	6.89	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1740	32K	攪乱	両極石器	1.70	1.30	0.60	1.42	2辺一対の剥離	G	—
—	128	1741	不明	Q2	両極石器	2.25	3.10	1.00	6.42	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1742	試掘7付近の埋土	不明	両極石器	2.30	2.50	0.95	2.76	2辺一対の剥離	A	NK
—	128	1743	表土	不明	両極石器	2.50	1.60	0.75	3.55	2辺一対の剥離	A	NK
—	129	1744	RA31	床下	R・F	3.70	3.00	0.80	8.19	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	129	1745	RA32	炉石下	R・F	2.70	3.75	0.95	7.81	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	129	1746	RA33	炉の上の埋土	R・F	2.90	3.45	0.90	6.45	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	129	1747	RA37	炉の北西側	R・F	3.10	2.45	1.20	6.25	刃部：片面一側縁加工	C	NK
—	129	1748	RA38	南半埋土	R・F	4.80	1.70	0.90	2.23	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	129	1749	RE03		R・F	2.90	0.90	0.25	0.84	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	129	1750	RD296	南半埋土	R・F	3.55	3.00	0.80	4.32	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	129	1751	RD338	埋土下(底西)	R・F	2.20	2.40	1.60	6.19	刃部：片面一側縁加工	A	NK
—	129	1752	RD343	西半埋土上位	R・F	2.85	1.40	0.70	2.81	刃部：両面周縁加工	C	NK
—	129	1753	RD373	北側一括	R・F	4.10	4.00	1.40	27.11	刃部：両面周縁加工	A	NK

() 内数値: 残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
						長さ (cm)	幅	厚さ				
—	129	1754	RF18	焼土土層	R・F	1.90	2.00	0.50	1.57	刃部:両面一側縁加工	F	NK
—	129	1755	RH06	下のピット	R・F	1.60	0.80	0.40	0.34	刃部:片面一側縁加工	G	—
—	129	1756	RH09	礫直下黒色土	R・F	3.10	1.15	0.90	2.89	刃部:片面一側縁加工	C	NK
—	129	1757	15L	盛土下黒褐色土	R・F	3.75	2.10	1.05	8.57	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1758	21U	II層	R・F	4.40	3.30	1.60	22.91	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1759	22S	II層	R・F	2.20	2.00	1.00	4.73	刃部:片面加工	C	NK
—	129	1760	22T	II層	R・F	2.60	1.70	0.40	2.07	刃部:両面二側縁加工	A	NK
—	129	1761	23Q	II層-10~15cm	R・F	2.05	2.10	1.00	3.26	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1762	23R	II層-5cm	R・F	3.20	2.40	0.70	5.04	刃部:片面二側縁加工	A	NK
—	129	1763	23R	II層-5cm	R・F	2.20	2.20	0.40	1.71	刃部:両面一側縁加工	A	NK
—	129	1764	23R	II層-10cm	R・F	5.95	3.80	1.10	26.38	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1765	24R	III層-5cm	R・F	3.60	1.70	0.90	4.60	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1766	25L	攪乱層	R・F	2.30	2.70	0.75	4.26	刃部:両面一側縁加工	A	NK
—	129	1767	25R	盛土攪乱	R・F	6.00	3.90	0.60	12.29	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1768	25R	盛土攪乱	R・F	5.00	3.10	1.10	14.87	刃部:片面一側縁加工、鋸刃状	A	NK
—	129	1769	26I	II層-5cm	R・F	3.00	2.10	0.95	5.59	刃部:片面一側縁加工	C	NK
—	129	1770	26L	II層-5cm	R・F	2.80	1.30	0.70	2.58	刃部:片面加工	C	NK
—	129	1771	26M	II層-10cm	R・F	4.60	2.40	0.90	10.60	刃部:片面一側縁加工、ノッチ	A	NK
—	129	1772	26M	II層-10cm	R・F	2.50	3.95	1.60	12.15	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1773	26M	II層-10cm	R・F	3.70	3.40	1.60	19.35	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1774	27M	II層-10cm	R・F	2.30	1.40	0.40	1.71	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1775	27M	II層-10cm	R・F	2.10	2.20	0.50	3.71	刃部:片面二側縁加工	A	NK
—	129	1776	27Q	II層-5cm	R・F	3.65	2.65	1.20	10.25	刃部:片面二側縁加工	F	NK
—	129	1777	28~29L	貝層付近・排土	R・F	3.80	3.00	1.10	10.51	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1778	28M	II層-5cm	R・F	3.85	2.70	1.05	8.31	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1779	28M	II層-15cm	R・F	2.50	2.30	0.70	4.54	刃部:両面加工	C	NK
—	129	1780	28M	II層-15cm	R・F	(1.00)	1.60	0.50	(0.56)	刃部:両面加工	I	NK
—	129	1781	29L	II層-5cm	R・F	3.10	3.70	1.00	9.14	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	129	1782	29L	II層-5cm	R・F	2.70	3.40	0.70	3.54	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1783	29L	II層-30~50cm	R・F	(2.20)	2.10	0.60	(3.40)	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1784	29M	遺物出土◎	R・F	3.00	1.30	0.70	2.29	刃部:片面加工	A	NK
—	130	1785	29M	II層-15cm	R・F	3.00	3.00	1.00	7.55	刃部:両面一側縁加工	A	NK
—	130	1786	29M	II層-15cm	R・F	1.70	2.75	0.80	3.16	刃部:両面二側縁加工	A	NK
—	130	1787	29M	II層-20cm	R・F	2.80	2.80	1.20	7.69	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1788	29M(RZ11の上)	II層-10cm	R・F	(1.10)	1.90	0.40	(0.67)	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1789	29M(RZ11の北側)	II層-20cm	R・F	3.60	1.50	0.70	2.90	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1790	30I	II層-20cm	R・F	1.85	(1.85)	0.40	(1.17)	刃部:片面二側縁加工	A	NK
—	130	1791	30J	攪乱	R・F	1.35	1.70	0.25	0.52	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1792	30K	Q3	R・F	(2.10)	1.90	0.40	(1.31)	刃部:片面二側縁加工	A	NK
—	130	1793	30K	II層-5cm	R・F	2.30	1.20	0.50	0.89	刃部:片面加工	A	NK
—	130	1794	30K	II層-5cm	R・F	0.70	2.05	0.50	1.86	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1795	30L, 30M	II層-15cm	R・F	2.40	2.40	0.90	5.45	刃部:片面二側縁加工	A	NK
—	130	1796	30L, 30M	II層-15cm	R・F	3.40	2.40	0.80	6.06	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1797	30L~30M	II層-20cm	R・F	2.40	2.10	1.10	6.12	刃部:片面二側縁加工	A	NK
—	130	1798	30M	表土	R・F	2.75	2.20	0.80	4.36	刃部:両面一側縁加工	A	NK
—	130	1799	30N	表土	R・F	2.45	3.00	0.75	4.79	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1800	30O	II層-10cm	R・F	3.90	3.90	1.00	12.80	刃部:片面二側縁加工	A	NK
—	130	1801	31K	II層-30cm	R・F	3.40	2.50	1.90	3.75	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1802	31K, 32K	II層-15cm	R・F	2.75	2.30	1.30	6.76	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1803	32J	II層-25~30cm	R・F	4.60	1.70	1.45	11.40	刃部:両面一側縁加工	A	NK
—	130	1804	32K	Eベルト上層	R・F	3.20	2.10	0.95	5.33	刃部:片面二側縁加工	A	NK
—	130	1805	試掘トレンチ6	不明	R・F	5.10	4.80	1.40	24.54	刃部:片面二側縁加工	A	NK
—	130	1806	抛地トレンチ北側	II層-50cm	R・F	3.80	3.00	0.90	11.46	刃部:両面一側縁加工	A	NK
—	130	1807	不明	試掘トレンチ	R・F	8.10	3.85	1.10	31.22	刃部:片面一側縁加工	A	NK
—	130	1808	不明	不明	R・F	3.70	3.30	1.00	10.49	刃部:片面一側縁加工	I	NK
—	130	1809	不明	II層-40cm	R・F	2.30	2.55	0.70	3.36	刃部:両面一側縁加工	A	NK
—	130	1810	RA36	北西埋土下位	剥片	2.05	0.70	0.40	0.47		G	—
148	130	1811	RA40	貝層ブロック	剥片	2.40	1.50	1.10	3.67		G	—
—	130	1812	RA40ベルト	II層-20cm	剥片	2.20	1.50	0.30	0.73		G	—
—	130	1813	24Q	II層-5cm	剥片	2.10	1.10	0.50	0.77		G	—
—	130	1814	27M	II層-20cm	剥片	2.70	1.40	0.90	2.61		G	—
—	130	1815	28L	II層-20cm	剥片	2.50	1.50	0.80	1.72		G	—
—	130	1816	28L	II層-10cm	剥片	1.75	1.60	0.40	1.10		G	—
—	130	1817	29J	5cm	剥片	2.50	0.70	0.50	0.90		G	—
—	130	1818	29M	表土除去後	剥片	1.45	1.25	0.35	0.52		G	—
—	130	1819	30J	Q4	剥片	2.10	1.70	1.00	3.95		G	—
—	130	1820	30M	II層-15cm	剥片	3.95	1.60	0.80	3.90		G	—
—	130	1821	31J	地山より20cm上	剥片	2.10	1.70	0.90	2.22		G	—
—	130	1822	31J	II層-20cm	剥片	2.10	1.70	0.50	1.23		G	—
—	130	1823	31K	SW隅5~10cm	剥片	1.40	0.80	0.30	0.25		G	—
—	130	1824	31K	SW隅5~10cm	剥片	1.80	2.15	0.70	3.74		G	—

()内数値：残存値

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
						長さ	幅	厚さ				
—	130	1825	32K	攪乱	剥片	0.90	0.80	0.20	0.13		G	—
—	130	1826	表採	不明	剥片	2.15	2.40	1.00	3.98		G	—
—	130	1827	試掘トレンチ黒曜石	不明	剥片	2.35	1.60	0.60	2.13		G	—
—	130	1828	試掘トレンチ黒曜石	不明	剥片	1.30	1.30	0.30	0.43		G	—
—	131	1829	RA40	I層-5cm	石核	6.10	6.60	3.50	156.11	表皮、打面2	A	NK
—	131	1830	RD361	西半埋土下位	石核	4.70	9.10	3.70	186.57	打面2	A	NK
—	131	1831	RD383	埋土	石核	7.70	5.00	4.00	216.67	母岩	F	NK
—	131	1832	29M	II層-5cm	石核	4.20	3.50	3.40	62.47	表皮、打面2	A	NK
—	131	1833	31K	SW隅5~10cm	石核	6.70	3.50	3.00	72.20	打面1	A	NK
—	131	1834	30L	II層-10cm	石核	7.10	5.40	4.00	151.87	表皮、打面2	A	NK
—	131	1835	中央-南側にかけて	不明	石核	4.30	4.80	2.10	42.51	表皮、打面1	A	NK
—	131	1836	32N	II層	石核	10.60	8.00	4.10	400.43	表皮、母岩	A	NK
—	131	1837	試掘トレンチ1	不明	石核	6.80	4.50	4.80	142.06	打面3	A	NK
—	131	1838	試掘トレンチ6	不明	石核	6.10	5.40	2.60	98.99	表皮、打面1	A	NK
—	131	1839	試掘7と16の間のトレンチ	不明	石核	5.80	6.30	2.80	108.55	表皮、打面2	A	NK
—	132	1840	RA26	南側埋土下位	礫器	11.60	8.25	4.10	524.16	周縁打ち欠き	M	OF
—	132	1841	RD301	北半埋土I層	打製石器	10.20	5.40	2.10	142.32	短冊型、片面加工、直刃	A	OF
—	132	1842	17L	II層	打製石器	(8.65)	3.75	2.25	(140.22)	短冊型、周縁打ち欠き、刃部欠損	A	OF
—	132	1843	17L	II層	打製石器	10.10	4.20	2.50	104.22	短冊型、片面加工、凹刃	M	OF
—	132	1844	18L	II層	打製石器	7.95	4.00	1.50	58.80	短冊型、片面加工、凹刃	A	OF
—	132	1845	29Q	II層-10cm	打製石器	7.40	6.65	2.60	105.81	ばち型、両面加工	E	OF
—	132	1846	表採(埋土付近)	不明	磨製石斧	(4.30)	(3.50)	(3.10)	(90.02)	基部・刃部欠損	R	OF
—	132	1847	試掘トレンチ4	砂利層下	磨製石斧	(2.30)	(3.30)	(2.00)	(21.58)	欠損品、基部のみ	R	OF
—	132	1848	表採	不明	磨製石斧	(6.70)	3.70	(1.90)	(65.71)	刃部・基部欠損	E	OF
—	132	1849	飛地トレンチ	II層-50cm	磨製石斧	(6.05)	(3.60)	(2.80)	(77.52)	刃部欠損	E	OF
148	132	1850	RA35	炉下	磨製石斧	(14.20)	5.50	3.00	(366.82)	刃部欠損、両刃	W	O
—	132	1851	RD295	南側ピット埋土	磨製石斧	(13.80)	4.10	3.15	(253.13)	周縁打ち欠き	K	NK
148	132	1852	RZ09	埋設土器上の石	磨製石斧	(9.05)	(5.00)	2.70	(184.26)	基部・刃部欠損、両端に敲打痕、敲石に転用	A	OF
—	132	1853	16L	盛土	磨製石斧	11.05	4.00	2.50	152.36	両刃、斜め	E	OF
—	132	1854	18L	II層	磨製石斧	(9.10)	4.55	3.30	(197.65)	両刃、基部欠損	M	OF
—	132	1855	18L	II層	磨製石斧	(10.95)	4.65	(1.30)	(57.27)	刃部・基部欠損	M	OF
—	133	1856	24P	II層-5cm	磨製石斧	(10.75)	5.10	2.50	(216.36)	刃部・基部欠損、刃部再加工?	R	OF
—	133	1857	24P	II層-20cm	磨製石斧	(11.80)	4.50	(2.60)	(228.97)	刃部欠損	M	OF
148	133	1858	24Q	II層-5cmRF20円辺	磨製石斧	(3.90)	2.50	1.10	(19.00)	両刃、基部欠損	A	OF
—	133	1859	25C	II層-30cm	磨製石斧	(7.70)	(4.40)	(3.10)	(176.77)	両刃、基部欠損	N	OF
—	133	1860	25M	II層-30~50cm	磨製石斧	19.10	5.70	2.70	436.83	両刃、両側縁に敲打痕、未製品?	X	OF
—	133	1861	25Q	II層-10cm	磨製石斧	(5.20)	(5.80)	2.80	(127.50)	基部欠損、両刃	W	O
—	133	1862	25R	II層-10cm	磨製石斧	(2.20)	4.65	1.70	(21.08)	両刃：刃部、基部欠損	W	O
—	133	1863	26L	II層-5cm	磨製石斧	(8.00)	5.25	2.40	(160.63)	両刃、基部欠損	R	OF
—	133	1864	27V	攪乱	磨製石斧	(7.50)	4.85	2.50	(142.48)	両刃、基部欠損	I	OF
—	133	1865	28L	II層-10cm	磨製石斧	(8.50)	(4.50)	3.00	(166.01)	刃部欠損	M	OF
—	133	1866	28L	II層-20cm	磨製石斧	(5.20)	(4.10)	(2.50)	(74.42)	刃部欠損	W	O
—	133	1867	28L	II層-20cm	磨製石斧	(9.90)	6.30	3.00	(340.56)	基部欠損、両刃	I	—
—	133	1868	28M	II層-5cm	磨製石斧	(6.30)	4.80	2.25	(109.99)	基部欠損、両刃	M	OF
148	133	1869	29L	II層-5cm	磨製石斧	5.10	1.80	1.40	8.14	石鑿?	I	NK
148	133	1870	29L	II層-10cm	磨製石斧	(11.40)	(5.05)	2.80	(245.89)	刃部欠損、両面に敲打痕	E	OF
—	133	1871	29M	II層-5cm	磨製石斧	(7.05)	(3.45)	1.20	(49.27)	刃部欠損、両刃	A	OF
148	133	1872	30L	II層-5cm	磨製石斧	(7.70)	4.80	2.40	(172.44)	両刃、基部欠損	R	OF
—	133	1873	30M	II層-5cm	磨製石斧	(4.60)	(3.45)	(1.60)	(45.47)	刃部欠損	A	OF
148	133	1874	31K	EWベルト下位	磨製石斧	(4.10)	(4.30)	1.45	(39.87)	基部のみ、擦切磨製石斧	A	OF
—	133	1875	31K	II層-10cm	磨製石斧	(6.10)	4.50	2.80	(103.50)	刃部欠損	M	OF
—	133	1876	32J	雑物撤去後	磨製石斧	(6.00)	(4.30)	(3.00)	(132.53)	基部・刃部欠損	W	O
—	134	1877	RA26	南側埋土下位	擦石	8.00	6.10	(2.00)	(143.50)	全面	V	—
—	134	1878	RA26	南側埋土下位	擦石	(8.80)	(8.90)	(2.80)	(295.45)	片面に敲打痕	N	OF
—	134	1879	RA26	埋土上位	擦石	(5.10)	7.70	4.70	(233.02)	全面、両面に敲打痕	Y	—
—	134	1880	RA26	II層	擦石	(5.00)	(3.45)	(5.00)	(110.29)	全面	N	OF
—	134	1881	RA26	II層	擦石	(7.20)	(5.20)	(2.60)	(89.98)	片面に敲打痕	M	OF
—	134	1882	RA27	埋土下Q3	擦石	(3.90)	(3.40)	(5.80)	(108.48)	全面	R	OF
—	134	1883	RA29	炉の石	擦石	8.40	6.90	6.00	492.80	全面	V	OF
—	134	1884	RA31	炉の下位の土坑の埋土	擦石	(12.50)	9.40	5.30	(872.69)	一側縁打ち欠き	U	HG
—	134	1885	RA37	Nベルト	擦石	7.60	6.50	5.20	382.75	全面、片面に敲打痕	U	HG
—	134	1886	RA39	床直埋土北側	擦石	9.10	8.30	6.30	646.66	全面	Y	—
—	134	1887	RA40	II層-10cm	擦石	7.50	4.10	2.60	123.61	全面	W	O
—	134	1888	RA40ベルト	II層-20cm	擦石	6.05	5.90	5.20	257.59	全面	W	O
—	134	1889	RA40ベルト	II層-20cm	擦石	8.35	7.15	5.80	407.42	全面	X	OF
—	134	1890	RD283上面	黒褐色土中	擦石	(5.50)	(4.30)	(1.80)	(36.01)	全面	W	O
—	134	1891	RD303	南半埋土	擦石	4.90	3.70	3.30	79.76	全面	W	O
—	134	1892	RA40	II層-30~50cm	擦石	(6.70)	(9.50)	(6.30)	(496.24)	全面、火を受けてる	W	O
149	134	1893	RA43	Pit上?	擦石	10.50	10.00	6.10	963.31	全面、両面に浅い窪み(円形)	W	O

()内数値：残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
						長さ (cm)	幅	厚さ				
149	135	1894	RD345	埋土下	擦石	(12.00)	7.80	4.10	(562.40)	全面	W	O
—	135	1895	RD355	北半埋土一5層	擦石	5.50	4.00	3.90	92.58	全面	W	O
149	135	1896	RD375	埋土中位	擦石	(8.45)	6.50	5.70	(559.00)	断面三角形、3側縁擦面、2面に敲打痕	R	OF
149	135	1897	RD377	不明	擦石	9.10	7.10	4.80	431.04	全面、両面に敲打痕	Y	—
149	135	1898	RD377	不明	擦石	(9.10)	(7.00)	4.50	(438.34)	全面	W	O
—	135	1899	RF21	焼土下の黒褐色土	擦石	(2.40)	(6.80)	(2.40)	(90.69)	全面	W	O
149	135	1900	31 J-PP21	不明	擦石	7.80	7.20	5.20	421.53	全面	W	O
—	135	1901	10 L	II層	擦石	12.80	9.20	5.70	1038.00	全面、周縁に敲打痕	U	HG
—	135	1902	10 L	II層	擦石	(10.00)	9.90	7.80	(1098.00)	全面、片面に浅い窪み(円形)	U	HG
—	135	1903	17・18K	築石と炉の所	擦石	(11.50)	(9.90)	(7.50)	(968.75)	全面	U	HG
—	135	1904	18 L	(盛土除去後の)排土	擦石	10.50	8.30	5.50	728.00	両端に敲打痕	U	HG
—	135	1905	20 L	攪乱	擦石	(2.10)	(7.10)	(5.00)	(79.44)	一端に敲打痕	W	O
—	136	1906	20 L	攪乱	擦石	17.00	10.20	7.70	2162.07	全面	W	O
—	136	1907	20 M	II層-20cm	擦石	(4.60)	(4.20)	2.80	(71.23)	全面	U	HG
—	136	1908	20 M	II層-20cm	磨石	5.60	6.00	4.90	227.43	両面に擦面	W	O
—	136	1909	22 T	II層	擦石	(5.80)	(2.50)	(5.40)	(75.00)	全面	E	OF
—	136	1910	22 U	II層	擦石	10.10	5.90	5.30	478.16	全面	U	HG
—	136	1911	23・24 T-U	(盛土除去後の)排土	擦石	9.35	4.70	(3.20)	(131.25)	全面	W	O
—	136	1912	23 Q	II層-10cm	擦石	14.15	8.60	5.80	1098.16	両端に敲打痕	U	HG
—	136	1913	23 Q	II層-10cm	擦石	7.10	5.90	5.40	332.70	全面	W	O
—	136	1914	23 Q	II層-10~15cm	擦石	(7.00)	(4.80)	4.05	(222.57)	全面	R	OF
—	136	1915	23 R	II層-10cm	擦石	10.80	8.05	4.70	601.47	全面	W	O
—	136	1916	23 R	II層-10cm	擦石	(5.60)	(6.00)	(1.90)	(71.95)	全面	W	O
—	136	1917	24 Q	II層-10cm	擦石	5.00	4.50	3.20	107.64	全面	Y	—
—	136	1918	24 T	攪乱	擦石	(6.20)	(7.40)	(6.70)	(391.11)	全面	Y	—
—	136	1919	25・26 T-U	(盛土除去後の)排土	擦石	(10.50)	(9.00)	(5.30)	(344.32)	全面	W	O
—	136	1920	25 C	II層-30cm	擦石	6.20	5.10	3.80	167.07	全面	M	OF
—	136	1921	25 C	II層-30cm	擦石	4.80	4.05	3.55	94.46	全面	W	O
—	136	1922	25 C	II層-30cm	擦石	3.90	3.50	3.15	55.94	全面	U	HG
—	136	1923	25 L	攪乱層	擦石	7.35	5.00	4.40	216.59	全面	U	HG
—	136	1924	25 M	II層-20cm	擦石	5.90	6.25	3.60	178.48	全面	U	HG
—	136	1925	25 R	盛土攪乱	擦石	5.80	5.40	5.30	256.70	全面、一端に敲打痕	W	O
—	136	1926	25 R	II層-10cm	擦石	5.20	5.10	4.30	151.91	全面	U	HG
—	137	1927	26 I	II層	擦石	11.95	9.20	4.80	812.15	全面	W	O
—	137	1928	26 L	II層-5 cm	擦石	8.75	7.90	5.90	646.65	全面	V	—
—	137	1929	26 P	排土	擦石	(6.80)	5.90	6.50	(290.14)	全面	W	O
—	137	1930	27 M	II層-20cm	擦石	9.50	8.40	4.50	454.91	両面に敲打痕	K	OF+HK
—	137	1931	27 Mベルト	II層-40cm	擦石	4.70	4.80	4.05	131.21	全面	W	O
—	137	1932	28 L	II層-5 cm	擦石	(2.50)	(7.05)	(4.70)	(73.60)	全面	M	OF
—	137	1933	28 L	II層-50~60cm	擦石	10.25	4.90	3.40	278.75	全面	M	OF
—	137	1934	28 L	II層-20cm	擦石	4.10	4.40	3.70	93.47	全面	W	O
—	137	1935	28 M	II層-15cm	擦石	5.20	4.50	4.10	106.79	全面	U	HG
—	137	1936	28 M	II層-25cm	擦石	7.80	7.20	6.40	509.05	全面	W	O
—	137	1937	28 Q	II層-5 cm	擦石	4.40	4.05	3.35	88.47	全面	W	O
—	137	1938	29 L	II層-5 cm	擦石	8.70	7.80	5.15	512.91	両面磨面、周縁擦面	M	OF
—	137	1939	29 L	II層-5 cm	擦石	(5.90)	(7.90)	4.90	(297.94)	全面、片面に敲打痕	Y	—
—	137	1940	29 L	II層-5 cm	擦石	5.50	4.30	4.10	134.88	全面	W	O
—	137	1941	29 L	II層-10cm	擦石	5.70	5.50	4.10	190.72	全面	W	O
—	137	1942	29 L	II層-20cm	擦石	5.85	4.90	4.00	145.83	全面	U	HG
—	137	1943	29 L	II層-20cm	擦石	(8.90)	8.00	(7.70)	(647.91)	全面	U	HG
—	137	1944	29 M	II層-10cm	擦石	7.60	6.40	5.30	340.46	全面	U	HG
—	137	1945	29 M	遺物出土状況③	擦石	(2.80)	(5.90)	(4.85)	(83.59)	全面	W	O
—	137	1946	29 Q	II層-10cm	擦石	6.60	5.50	4.50	233.23	全面	M	OF
—	137	1947	30 J	II層-30cm	擦石	5.55	4.85	3.00	120.29	全面	W	O
—	138	1948	30 N	II層-20cm	擦石	10.60	9.20	6.90	1004.36	全面	W	O
—	138	1949	30 O	II層-10cm	擦石	9.25	7.90	5.10	576.31	全面	W	O
—	138	1950	31 J	II層-5 cm	擦石	7.90	7.15	6.10	489.52	全面	S	OF
—	138	1951	31 J	II層-5 cm	擦石	8.90	6.90	6.50	656.54	全面、一端に敲打痕	Y	—
—	138	1952	31 J	II層-5~10cm	擦石	10.20	7.40	4.90	581.80	全面、一面に敲打痕	W	O
—	138	1953	31 J	II層-25cm	擦石	(3.80)	(5.30)	(5.10)	(108.25)	全面	W	O
—	138	1954	31 J	II層-30cm	擦石	4.90	4.90	4.40	135.32	全面	W	O
—	138	1955	31 K	II層-15cm	擦石	9.80	6.70	3.60	361.60	全面、両面に敲打痕	V	OF
—	138	1956	31 K	II層-5 cm	擦石	5.80	5.35	4.45	170.29	全面	U	HG
—	138	1957	31 K	II層-10~15cm	擦石	4.60	4.70	3.80	124.75	全面	W	O
—	138	1958	31 K	II層-25cm	擦石	8.50	7.20	7.30	569.00	全面	U	HG
—	138	1959	31 K	クリーニング	擦石	4.50	3.70	3.60	91.66	全面	W	O
—	138	1960	31 L	NSベルト	擦石	9.50	8.40	4.40	518.23	全面	M	OF
—	138	1961	31 M	II層-10cm	擦石	(6.70)	8.40	4.80	395.00	全面	M	OF
—	138	1962	31 N	II層-10cm	擦石	4.10	4.00	3.40	85.00	全面	W	O
—	138	1963	31 N	II層-10cm	擦石	(7.40)	(3.90)	(6.90)	(230.80)	全面?	M	OF
—	138	1964	32 J	II層-25cm	擦石	7.10	5.60	4.70	286.69	全面	W	O

()内数値:残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
						長さ (cm)	幅	厚さ				
—	138	1965	32 J	Ⅱ層-25cm	擦石	6.70	5.30	4.35	225.12	片面に敲打痕	M	OF
—	139	1966	試掘トレンチ4	不明	擦石	(3.00)	(6.20)	(5.60)	(128.18)	全面	W	O
—	139	1967	試掘トレンチ4	不明	擦石	(3.50)	(5.20)	(5.90)	(91.30)	全面	W	O
—	139	1968	試掘トレンチ5	不明	擦石	9.30	7.70	6.20	584.00	断面三角形、2側縁擦面	U	HG
—	139	1969	試掘トレンチ5	不明	擦石	(7.10)	(6.50)	(4.60)	(266.25)	全面	U	HG
—	139	1970	飛地トレンチ	Ⅱ層-50cm	擦石	4.80	4.55	3.75	107.43	全面	W	O
—	139	1971	試掘7	不明	擦石	10.70	8.65	5.45	751.00	全面	U	HG
—	139	1972	飛地トレンチ北側	Ⅱ層-50cm	擦石	(10.20)	8.40	6.10	(689.00)	全面、一端に敲打痕	U	HG
—	139	1973	飛地中央部	不明	擦石	5.50	4.00	3.25	104.12	全面	U	HG
—	139	1974	飛地中央部	不明	擦石	8.00	7.25	5.30	460.31	全面	U	HG
—	139	1975	飛地中央部	不明	擦石	8.50	8.30	5.80	602.09	全面	U	HG
—	139	1976	Wベルト	上層	擦石	8.40	6.60	7.20	517.40	全面	U	HG
—	139	1977	不明	盛土	擦石	10.40	6.40	5.20	555.70	全面に敲打痕	U	HG
—	139	1978	不明	表探	擦石	14.00	10.80	4.90	1151.39	全面	W	O
—	139	1979	不明	不明	擦石	7.30	6.60	6.00	408.62	全面	U	O
—	139	1980	不明	不明	擦石	12.40	9.80	7.60	1306.84	全面に敲打痕	W	HG
150	140	1981	RA26	埋土上位の包含層	敲打石	8.60	3.70	2.50	130.84	棒状、両端に敲打痕	M	OF
—	140	1982	RA26	南半埋土下位	敲打石	(5.70)	(2.60)	(4.50)	(103.10)	一端に敲打痕	M	OF
150	140	1983	RA26	Ⅱ層黒褐色土	敲打石	7.80	7.90	4.85	448.60	一端に敲打痕	M	OF
—	140	1984	RA31	Ⅱ層-20cm	敲打石	7.50	5.20	3.30	176.62	球状、両端に敲打痕	S	OF
—	140	1985	RA31	Ⅱ層-20cm	敲打石	11.10	8.70	3.20	481.94	球状、一端に打ち欠き	K	OF・HK
—	140	1986	RA31	Ⅱ層-20cm	敲打石	(5.35)	7.40	2.90	(147.48)	球状、周縁擦面	I	HK
—	140	1987	15K	Ⅱ層	敲打石	(9.20)	3.00	1.90	(83.67)	棒状、片面に敲打痕	A	OF
150	140	1988	RA37	Eベルト	敲打石	7.50	2.60	1.80	57.40	棒状、両端に敲打痕	A	OF
—	140	1989	RD344	西半埋土Ⅰ層	敲打石	7.10	4.90	3.05	162.95	球状、一側縁擦面	W	O
—	140	1990	18H-PP4	北半埋土	敲打石	(6.80)	2.85	1.95	(55.33)	棒状、両面に敲打痕	M	OF
150	140	1991	31K-PP3		敲打石	(5.20)	2.60	2.20	(43.25)	棒状、一端に敲打痕	A	OF
—	140	1992	18L	Ⅱ層	敲打石	8.40	3.65	2.60	132.81	棒状、一端に敲打痕	W	O
—	140	1993	23・24T~U	(盛土除去後の)排土	敲打石	(7.80)	4.40	3.00	(158.58)	棒状、一端に敲打痕	Q	NK
—	140	1994	23R	Ⅱ層-5cm	敲打石	9.80	3.90	1.40	89.73	棒状、両端打ち欠き	M	OF
—	140	1995	17K	遺物検出状況	敲打石	9.90	7.50	6.60	773.00	球状、両端に敲打痕、片面に窪み(円形)、朱付着	R	OF
—	140	1996	23T	攪乱	敲打石	8.50	3.60	3.10	145.56	球状、両面に敲打痕	A	OF
150	140	1997	24M	Ⅱ層-5cm	敲打石	9.15	6.20	3.35	338.22	棒状、両端に敲打痕	A	OF
—	140	1998	25・26T~U	(盛土除去後の)排土	敲打石	12.50	7.65	3.20	505.82	球状、一端に打ち欠き	A	OF
—	141	1999	25R	盛土攪乱	敲打石	9.20	6.10	3.70	304.20	一端に打ち欠き	M	OF
—	141	2000	27I	クリーニング	敲打石	5.60	3.40	2.90	81.78	棒状、片面に敲打痕	K	OF・HK
—	141	2001	28I	Ⅱ層-15cm	敲打石	11.80	3.80	2.40	146.40	一端に敲打痕	M	HK
—	141	2002	28L	Ⅱ層-5cm	敲打石	(6.20)	2.50	1.90	(46.38)	棒状、一端に敲打痕	A	NK
—	141	2003	28L	Ⅱ層-5cm	敲打石	(5.80)	2.75	2.40	(57.42)	棒状、片面に敲打痕	M	OF
—	141	2004	29L	Ⅱ層-20cm	敲打石	(5.40)	4.00	3.00	(71.48)	球状、両面・一端に敲打痕	M	OF
—	141	2005	30KQ1・Q2	Ⅱ層-5cm	敲打石	7.10	3.20	2.20	69.20	棒状、片面に敲打痕	M	OF
—	141	2006	30L	Ⅱ層-5cm	敲打石	(6.40)	2.30	(1.30)	(30.31)	棒状、両面に敲打痕	A	OF
—	141	2007	30N	表土	敲打石	7.00	3.20	2.25	74.50	棒状、両端に敲打痕	A	OF
—	141	2008	30N	表土	敲打石	12.20	5.20	3.90	323.20	一端に敲打痕、両面に敲打痕	I	HK
—	141	2009	31J	Ⅱ層-15cm	敲打石	(4.70)	2.40	2.10	(28.93)	棒状、一端に敲打痕	A	NK
—	141	2010	試掘2	不明	敲打石	(9.00)	2.80	3.20	(125.05)	棒状、片面に敲打痕	A	NK
—	141	2011	試掘トレンチ5	不明	敲打石	(6.90)	7.00	4.50	(287.46)	球状、一端に敲打痕	A	OF
—	141	2012	試掘トレンチ5	不明	敲打石	8.00	2.70	2.40	77.40	棒状、両端に敲打痕	A	NK
—	141	2013	飛地トレンチ	Ⅱ層-50cm	敲打石	13.60	7.60	4.90	746.00	球状、一端に打ち欠き	A	OF
—	141	2014	飛地トレンチ中央	不明	敲打石	(13.60)	3.40	2.95	(228.22)	球状、一端に敲打痕	K	OF・HK
—	141	2015	飛地トレンチ中央	黒褐~暗褐~底	敲打石	(7.00)	4.40	2.40	(121.68)	棒状、一端に敲打痕	A	OF
—	141	2016	不明	Q1	敲打石	(7.45)	3.30	2.00	(71.85)	棒状、一端に敲打痕	A	OF
—	141	2017	不明	南側埋土下位	敲打石	6.40	6.40	3.20	204.95	球状、一側縁に敲打痕	S	OF
—	142	2018	RA26	埋土上位の包含層	凹石	11.90	7.20	3.90	369.56	片面に敲打痕、周縁打ち欠き	I	HK
—	142	2019	RA26	埋土下位	凹石	11.50	7.50	4.10	476.40	片面に窪み(円形)、剥落著しい	I	HK
—	142	2020	RA31Pot.1	床直	凹石	5.40	5.05	3.60	129.86	円錐状、片面に窪み(円形)	S	OF
—	142	2021	RA36	北西埋土上位	敲打石	(8.55)	(7.00)	3.90	(326.81)	片面に敲打痕、一端に敲打面	M	OF
150	142	2022	RA36	北西埋土下位	凹石	15.30	5.30	4.00	327.00	棒状、両面に窪み(円形)	I	HK
—	142	2023	RA38	埋土Ⅰ層Wベルト	凹石	10.05	6.50	5.20	447.00	片面に敲打痕	I	HK
150	142	2024	RA40	Ⅰ層-5cm	凹石	14.00	4.80	3.00	309.63	棒状、両面に窪み(円形)	I	HK
151	142	2025	RD301	北半埋土Ⅲ層	凹石	(12.65)	5.70	4.60	(373.00)	両面に窪み(溝状)	I	HK
—	142	2026	RD341	西半埋土	凹石	9.80	9.60	2.80	337.85	片面に窪み(円形)、周縁打ち欠き	I	HK
—	142	2027	RD344	東半埋土Ⅰ層	凹石	16.00	6.40	4.20	683.95	棒状、両面に窪み(円形)	B	OF
—	142	2028	RD348	西埋土	凹石	10.10	8.20	3.70	433.30	片面に窪み	I	HK
151	142	2029	RD377	埋土	凹石	(12.70)	(4.70)	2.50	(246.00)	片面に窪み(円形)、片面に敲打痕	I	HK
—	142	2030	RD496	埋土中位	凹石	16.40	6.20	4.00	416.12	片面に敲打痕	I	HK
—	143	2031	RH07	構成礫	凹石	13.40	10.00	4.00	763.50	両面に窪み、一側縁に擦面	S	OF
—	143	2032	RH08	周辺Ⅱ層-15cm	凹石	15.40	6.05	4.00	510.14	棒状、片面に窪み(円形)	I	HK
—	143	2033	RH08	集石内	凹石	10.60	5.60	4.90	389.00	棒状、3面に窪み(円形)	K	OF・HK
151	143	2034	RH10	構成礫	凹石	12.90	7.70	3.70	491.33	円錐状、両面に窪み(円形)、両端打ち欠き	M	OF

()内数値：残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
						長さ (cm)	幅	厚さ				
151	143	2035	RH11	下の土坑構成礫	凹石	12.40	6.70	4.70	541.64	両面に窪み(溝状)	S	OF
—	143	2036	RZ09	埋設土器上の石	凹石	11.90	5.20	2.20	201.84	片面に敲打痕	I	HK
—	143	2037	30 J - PP 2		凹石	(11.90)	9.70	4.20	673.29	円錐状、片面に窪み(円形)	M	OF
—	143	2038	17・18K	集石と炉の所	凹石	(12.00)	(7.00)	(1.60)	(156.40)	円錐状、片面に窪み(円形)	M	OF
—	143	2039	18L	Ⅲ層上	凹石	7.90	7.90	1.75	138.84	片面に浅い窪み(円形)	K	OF・HK
—	143	2040	19H	黒褐土一括	凹石	12.70	6.70	3.90	326.40	片面に敲打痕	I	HK
—	143	2041	22T	攪乱	凹石	19.10	5.30	3.60	484.33	円錐状、両面に窪み(円形)	K	OF・HK
—	143	2042	23Q	Ⅱ層-10cm	凹石	14.80	7.80	4.20	659.00	両面に窪み(円形)	K	OF・HK
—	144	2043	23Q	Ⅱ層-60cm	凹石	9.30	8.50	4.50	512.02	片面に浅い窪み(円形)、周縁に磨面	M	OF
—	144	2044	24L	Ⅱ層-20cm	凹石	11.55	8.00	5.70	772.10	片面に敲打痕	F	—
—	144	2045	24Q	Ⅱ層-5cm	凹石	9.15	6.90	3.40	231.89	片面に敲打痕、周縁に打ち欠き	I	HK
—	144	2046	24Q	Ⅱ層-5cm	凹石	10.20	9.30	2.65	370.63	片面に浅い窪み(円形)、周縁打ち欠き	K	OF・HK
—	144	2047	25・26T~U	盛土除去後の排土	凹石	15.50	4.90	3.90	424.78	両面に浅い敲打痕(円形)	M	OF
—	144	2048	25C	Ⅱ層-30cm	凹石	5.65	4.10	1.55	47.09	両面に敲打痕	K	OF・HK
—	144	2049	25C	Ⅱ層-30cm	凹石	12.40	4.40	1.90	179.42	両面に窪み(溝状)	M	OF
—	144	2050	25T~U	盛土除去後の排土	凹石	(13.00)	6.50	2.60	(341.00)	両面に敲打痕、一端打ち欠き	I	HK
—	144	2051	26 I グリット	Ⅱ層	凹石	9.60	6.90	4.10	415.34	両面に窪み(溝状)、周縁に擦面	K	OF・HK
—	144	2052	26L	Ⅱ層	凹石	7.05	7.35	3.00	199.22	片面に敲打痕	K	OF・HK
—	144	2053	26Q	Ⅲ層	凹石	9.80	6.90	2.30	180.18	円錐状、両面に敲打痕	K	OF・HK
—	144	2054	26R	Ⅱ層-10cm	凹石	12.75	8.40	2.60	373.00	両面に窪み(溝状)	S	OF
—	144	2055	26R	Ⅱ層-10cm	凹石	13.95	6.10	4.00	461.52	片面に浅い窪み(円形)	K	OF・HK
—	144	2056	27L	Ⅱ層-5cm	凹石	10.90	9.30	2.65	363.64	片面に窪み(円形)、周縁打ち欠き	K	OF・HK
—	145	2057	28L	Ⅱ層-5cm	凹石	13.30	6.40	2.00	285.58	棒状、両面に浅い窪み(円形)	I	HK
—	145	2058	28L	Ⅱ層-10cm	凹石	14.90	7.00	3.30	736.00	片面に窪み(円形)、一端に打ち欠き	I	HK
—	145	2059	28L	Ⅱ層-20cm	凹石	17.20	11.15	4.80	1188.85	片面に窪み(円形)	I	HK
—	145	2060	28L	Ⅱ層-50~60cm	凹石	9.70	6.80	3.00	298.44	両面に浅い敲打痕(円形)	M	OF
—	145	2061	28M	Ⅱ層-10cm	凹石	15.40	4.60	3.00	297.52	円錐状、片面に窪み(円形)	K	OF・HK
—	145	2062	28M	Ⅱ層-25cm	凹石	11.80	7.70	5.40	691.93	両面に窪み(円形)	I	HK
—	145	2063	29L	Ⅱ層-5cm	凹石	9.90	8.60	2.60	320.64	球状、両面に窪み(円形)	I	HK
—	145	2064	29L	Ⅱ層-20cm	凹石	14.30	6.20	3.00	317.63	円錐状、片面に窪み(円形)	I	HK
—	145	2065	29M	Ⅱ層-10cm	凹石	13.90	5.85	4.00	448.26	棒状、片面に窪み(円形)	I	HK
—	145	2066	29N	Ⅱ層-10cm	凹石	14.30	9.20	3.20	621.95	両面に窪み(円形)、一端に敲打痕	I	HK
—	145	2067	29Q	Ⅱ層-10cm	凹石	7.00	6.50	4.70	295.87	球状、両面に窪み(円形)	U	H G
—	145	2068	30N	表土	凹石	(9.30)	(10.20)	(4.60)	(604.80)	片面に敲打痕	M	OF
—	146	2069	30N	Ⅱ層-20cm	凹石	11.20	6.60	3.10	357.23	片面に敲打痕	K	OF・HK
—	146	2070	31 J	Ⅱ層-5cm	凹石	8.30	6.90	5.40	423.55	円錐状、片面に窪み(円形)	V	—
—	146	2071	31 J アト(断片)	Ⅱ層-5cm	凹石	13.90	7.80	4.30	527.83	円錐状、片面に窪み(円形)	I	HK
—	146	2072	31M	Ⅱ層-10cm	凹石	5.35	4.85	4.10	170.76	両面に敲打痕	X	OF
—	146	2073	32 J	Ⅱ層-25cm	凹石	(11.60)	4.00	2.45	(201.01)	両面に敲打痕	A	OF
—	146	2074	32 J	Ⅱ層-25cm	凹石	13.00	7.30	4.00	494.59	両面に窪み(溝状)	I	HK
—	146	2075	32K	上層	凹石	10.10	7.20	4.00	344.28	片面に敲打痕	I	HK
—	146	2076	飛地トレン チ北側	暗褐土~下位- 20cm	凹石	14.40	9.20	6.70	1206.43	片面に窪み(円形)、片面 に磨面、二側縁に擦面	U	H G
—	146	2077	不明	不明	凹石	11.30	9.70	6.10	789.07	3面に窪み(円形)	U	H G
—	147	2078	RA32	不明	石皿	15.00	10.20	5.00	409.29	片面浅い窪み	O	OF
—	147	2079	RA36	東西ベルト I 層(西侧)	石皿	(7.40)	(4.10)	2.10	(88.12)	?	K	OF
—	147	2080	RD346	南半埋土	石皿	(4.90)	(4.00)	(3.00)	(35.81)	縁	I	HK
—	147	2081	RA40	Ⅱ層-20cm	石皿	(4.30)	(7.00)	(3.00)	(78.83)	縁?	K	OF
—	147	2082	24 I	Ⅱ層-40cm	石皿	(23.80)	(23.30)	7.80	(3500.00)	縁、片面に敲打痕	M	OF
—	147	2083	29C	Ⅱ層-20cm	石皿	(6.50)	(6.10)	2.00	(67.83)	凹状沈線	K	OF
—	147	2084	29L	Ⅱ層-15cm	石皿?	(10.70)	(9.40)	4.40	(249.70)	片面浅い窪み	O	OF
—	147	2085	30 J	Ⅱ層-10~15cm	石皿	(4.00)	(4.10)	1.80	(33.17)	凹状沈線	K	OF
—	147	2086	30N	表土	石皿	(4.50)	(4.60)	(2.30)	(40.10)	縁?	K	OF
—	147	2087	29M	Ⅱ層-15cm	石皿	(15.00)	(7.50)	(2.60)	(270.54)	縁	K	OF
151	147	2088	31K	Ⅱ層-15cm	石皿	(11.90)	(10.60)	(4.30)	(450.00)	片面に磨面、脚付	I	HK

※石材略号 A：頁岩、B：珪質頁岩、C：赤色頁岩、D：めのう、E：泥岩、F：チャート、G：黒曜石
H：石英、I：凝灰岩、J：緑色凝灰岩、K：凝灰質砂岩、L：アコース砂岩、M：砂岩
N：安山岩、O：安山岩溶岩、P：石英安山岩、Q：スレート、R：斑礫岩、S：礫岩
T：軽石、U：崗岩閃緑岩、V：斑岩、W：玢岩、X：ホルンフェルス、Y：デイサイト
※産地略号NK：南部北上山地、O：大船渡市、OH：大船渡市付近、HK：日頃市付近、HG：氷上岩体、

7. その他 (第76図、写真図版163:84・2519~2595)

その他の遺物として、アスファルト・琥珀・炭化種実・炭化材が出土している。

アスファルト (第76図、写真図版163:84・2591・2592)

アスファルトは2地点から出土している。2591は、RZ13埋設土器内に詰まっていたもので、形状は土器内部の形状が反映されている。長さ10.1cm、最大幅7.8cm、最小幅3.5cm、重量1161.76gである。上部に凸凹があり、大きく抉れているが、使用のため抽出した痕跡かもしれない。31JグリッドのII層から出土した2592は、径4.7×3.2cm、厚さ2.3cm、不整な形状で重量21.29gである。時期は、縄文時代中期末葉~後期初頭に属するものと考えられる。分析結果は、第七章7 アスファルトの頁(P282)を参照されたい。

琥珀 (写真図版163:2593・2594)

琥珀は、RA33住居跡の埋土と周溝埋土の2地点から出土している。数個体確認できるが、いずれも加工の痕跡はなく、径1cm未満の原石のようである。時期は、縄文時代中期に属するものと思われる。分析結果は、第七章5 琥珀の頁(P287)を参照されたい。

炭化種実 (写真図版163:2595)

炭化種実は2点出土している。18L・28LグリッドのII層から出土している。種実名は形状などからオニグルミと判断される。時期は、縄文時代晩期に属する可能性が高いと思われる。

炭化樹種

炭化材は、住居跡の埋土、土坑の埋土、炉跡や焼土の周囲、遺物包含層などから出土している。樹種名はすべてクリであるとの鑑定結果を得ている。いずれも縄文時代に属するものである。

第22表 アスファルト観察表

図版No	写図No	掲載No	出土地点	層位	種別	計測値(cm)			重量(g)	形状	特徴・備考
						長さ	幅	厚さ			
—	163	2591	RZ13	埋設土器内	アスファルト	10.1	7.8	3.5	1161.76g	土器内部の形状	埋設土器
—	163	2592	31J	II-40cm	アスファルト	4.7	3.25	2.3	21.29g	不整な塊	

第23表 琥珀観察表

図版No	写図No	掲載No	出土地点	層位	種別	計測値(cm)			重量(g)	形状	特徴・備考
						長さ	幅	厚さ			
—	163	2593	RA33	周溝埋土	琥珀・原石	径1cm未満			2.8g	球体、1個体	整形・加工痕なし。非透明。
—	163	2594	RA33	埋土	琥珀・原石	径1cm未満			9.4g	球体、3個体	整形・加工痕なし。非透明。

第24表 炭化種実観察表

() 内数値: 残存値

図版No	写図No	掲載No	出土地点	層位	種別	計測値(cm)			重量(g)	形状	特徴・備考
						長さ	幅	厚さ			
76	163	2595	18L	II層下位	オニグルミ	2.97	2.37	(0.96)	1.6g	球体、1個体。	半欠。

第25表 炭化材観察表

No	出土地点	出土層位	樹種名	写真図版	掲載No	No	出土地点	出土層位	樹種名	写真図版	掲載No
1	RA38	II層-20cm	不明	—	—	9	18L	II層下位	クルミ	163	2595
2	RA40	Na.15 貝層下の炭化材	クリ	—	—	10	27M	II層-50cm	クルミ	—	—
3	RA40石囲炉	1層	クリ	—	—	11	31J	II層-10cm	クリ	—	—
4	RA41炉内	埋土	クリ	—	—	12	31J	II層-20cm	クリ	—	—
5	RD365	北半埋土	クリ	—	—	13	31K	II層-15cm	クリ	—	—
6	RD394	埋土	クリ	—	—	14	31K	II層-15cm	クリ	—	—
7	RF20	焼土下II層	クリ	—	—	15	31K	II層-30cm	クリ	—	—
8	30J-PP1	埋土下	クリ	—	—						

VI. まとめ

今回の調査成果をまとめる。

(1) 遺跡の立地

遺跡は、盛川とその支流中井川の合流点付近の丘陵地に立地する。標高20m～33mで、中井川との比高は約6mである。遺跡の面積は約91,000㎡で、現況は宅地・畑地である。

(2) 検出された遺構

縄文時代の竪穴住居跡20棟、竪穴状遺構1棟、掘立柱建物跡3棟、土坑96基、焼土遺構17基、配石遺構6基、土器埋設遺構5基、柱穴状土坑110基、遺物包含層1、貝層1である。

(3) 遺構の占地

縄文時代の遺構は、中期から晩期の時期に亘る。時期別に占地を見ると、調査区の北東側に中期の竪穴住居跡・土坑、南側～東側にかけて後期・晩期の土坑・住居跡がある。遺物包含層の分布と遺物の出土状況も同様の傾向を示しており、時期により集落の中心が微妙に移動していた可能性が考えられる。

中期の竪穴住居跡については貯蔵剥片を伴う住居跡2棟(RA33・35)や4基の土器埋設を伴う複式炉をもつ住居跡(RA35)、廃絶後に貝類の廃棄の場とされた住居跡(RA40)などの資料が得られている。

(4) 出土遺物

出土した遺物は、縄文土器・土製品・石器・石製品・骨角器・動物遺存体・植物遺存体・自然遺物がある。

a. 土器：縄文土器は大コンテナ(T40:30×40×30cm)で130箱(総重量1545.56kg)が出土している。時期の内訳は、縄文時代中期：大木式に属するものが多く、中葉～末葉が主体を占める。他に前期・後期・晩期の土器も出土している。遺物の時期毎の比率は、中期の土器が多く、出土地点と検出された時期毎の遺構数を反映している。

b. 土製品は302点で、土偶13点、斧状土製品3点、不明土製品2点・耳飾2点・土錘3点・円盤状土製品275点、三角形状土製品1点が出土している。他に製品ではないが、焼成粘土塊31点が出土している。

c. 石器：大コンテナ(T40:30×40×30cm)で10箱(総重量71.2467kg)が出土している。製品として登録した石器の総点数は661点である。内訳は、石鏃126点、尖頭状石器31点、石錐26点、石匙27点、不定形石器101点、両極石器33点、リタッチド・フレイク66点、石核11点、打製石斧6点、磨製石斧31点、擦石104点、敲打石37点、凹石60点、石皿11点、他に貯蔵剥片が4ヶ所で計164点出土している。石器組成は、器種では石鏃(19%)、擦石(15%)・凹石(9%)の占める割合が高く、擦石・敲打石・凹石で全体の約3割を占める。石材は、剥片石器では頁岩、礫石器では安山岩・花崗閃緑岩・玢岩など南部北上山地産・大船渡・日頃市産など遺跡周辺から採取できる原石を用いている。併せて多数の剥片類や石核の出土状況から、当遺跡に石材を搬入して、石器製作を行っていたものと考えられる。

d. 石製品：21点出土している。内訳は、石棒10点・垂飾品3点・岩偶?1点・石錘1点・石製円盤2点・線刻礫1点・有孔礫3点である。石材は南部北上山地産で、石棒は、頁岩・スレート、垂飾品は加工しやすい凝灰岩など、目的に応じた石材を選択している。

e. 骨角器：2点出土している。いずれも鹿角製である。欠損品で、用途などは不明である。

f. 動物遺存体：貝類・獣骨・魚骨が、大コンテナで20箱出土している。RA40住居の廃絶後に廃棄された貝層から出土しており、軟体動物腹足綱10種、二枚貝綱15種、節足動物蔓脚亜綱1種、棘皮動物海胆綱1種、脊椎動物硬骨魚綱11種、板鰓亜綱1種、哺乳綱8種、爬虫綱1種で、計48種が確認された。貝の組成は

アサリが97%を占める。他に焼土遺構や炉跡から出土している。

g. 植物遺存体：炭化材はクリ、炭化種実はおニグルミが出土している。

h. 自然遺物：琥珀は原石で、アスファルトは深鉢の土器に貯蔵された状態で見つっている。

(5) まとめ

今回の長谷堂貝塚の調査成果をまとめると次の2点になる。①縄文時代の前期～晩期に亘り、時期毎に集落の中心が移動している可能性がある。特に今まで不明であった中期の集落域が明かになったこと、また、同遺跡において前期の集落の存在も予想される。②黒曜石・琥珀・アスファルトなど、遺跡周辺では入手できない遺物が出土しており、いずれも縄文時代中期に属すると考えられる。このことに留意して、同遺跡における縄文時代中期の集落について考えていくことが今後の課題である。

謝辞

本報告をまとめるにあたり、多くの諸先生、職場の先輩・同僚に沢山の貴重なご指導をいただいた。整理を担当していただいた臨時職員の方々には、拙ない指示にもかかわらず、的確・迅速に作業を進めていただいた。また大船渡地方振興局・大船渡市教育委員会には、多くの便宜を図っていただいた。厚くお礼申し上げたい。4ヶ月の調査期間と8ヶ月の整理期間を費やして後世に残されることになった本報告書と引き替えに失われたものは余りにも大きい。担当調査員の力量不足から、貴重な資料が発信した多くの信号に耳を傾けず、見落とししたものは多かたに違いない。貴重な資料を残した長谷堂の地に生きた人々と、資料を受け継ぐ後世の人々に、十分な記録保存の橋渡しができなかったことを心から深謝したい。

参考文献

- 岩手県教育委員会 1972『長谷堂貝塚』。
- 岩手県教育委員会 1996『岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成7年度)』岩手県文化財調査報告第98集。
- 岩手県教育委員会 1998『岩手の貝塚－岩手県内重要遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ－』岩手県文化財調査報告第102集。
- (財)岩埋文 1983『名高根遺跡発掘調査報告書』岩埋文第53集。
- (財)岩埋文 1994『猪川館跡発掘調査報告書』岩埋文第203集。
- (財)岩埋文 1996『久保遺跡発掘調査報告書』岩埋文第251集。
- (財)岩埋文 1997『上鷹生遺跡発掘調査報告書』岩埋文第253集。
- (財)岩埋文 1997『上甲子遺跡発掘調査報告書』岩埋文第254集。
- (財)岩埋文 1998『萱中Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第286集。
- (財)岩埋文 1999『長谷堂貝塚発掘調査報告書』岩埋文第296集。
- 及川 洵 1978『考古編』『大船渡市史 第1巻 地質・考古編』。
- 及川 洵『気仙地方の縄文貝塚』陸前高田市郷土史 第二集。
- 西村正衛 1955『長谷堂貝塚』『日本考古学年報』8 日本考古学協会。
- 岩手県文化財愛護協会 1976『大船渡市清水遺跡発掘調査概報』。
- 大船渡市教育委員会 1974『基石遺跡』社教シリーズ第17集。
- 大船渡市教育委員会 1987『善蔵敷遺跡発掘調査報告書』。
- 大船渡市教育委員会 1997『野尻Ⅱ遺跡』平成8年度緊急発掘調査報告書。
- 大船渡市教育委員会 1997『岩手県大船渡市大洞貝塚 平成6・7・8年度範囲確認調査概報』。
- 大船渡市教育委員会 1980『史跡 蛸の浦貝塚・史跡 下船渡貝塚 保存管理計画書』。
- 大船渡市教育委員会 1979『長谷堂中貝塚緊急発掘調査概報』。
- 大船渡市立博物館 1991『気仙の遺跡－大船渡市・三陸町の各遺跡の出土品－』。
- 大船渡市立博物館 1984『縄文時代の気仙』。
- 大船渡市立博物館 1987『岩手県大船渡市 蛸の浦貝塚』大船渡市立博物館調査研究報告。

VII. 分析・鑑定

1. 貯蔵剥片

長谷堂貝塚出土の剥片の分析

株式会社 アルカ 角張 淳一

長谷堂貝塚の石器

要約

長谷堂貝塚のフラスコ状ピットに貯蔵された剥片類は、岩石の種類ごとに異なる目的剥片が剥離されていた。長谷堂貝塚の縄文人は、これらの異なる目的剥片を得るために、剥離技術を変えるのではなく、剥離技術の内容であるハンマーの種類と素材を得る手順にいくつかの段階を設けて、目的を達成していた。

キーワード；剥離技術・剥片剥離技法・間接打撃

資料の概要と分析の目的

扱う資料は長谷堂貝塚出土の剥片145点である。資料は頁岩・チャート・タンパク石（オパール）の3種類の岩石からなる剥片類である。剥片は主に遺構内から出土している一括性の高い資料である。

これらの剥片がどのようなものなのかを剥離技術の分析で明らかにするのが目的である。

なお属性の一般的な記述方法については、「石器研究法」（竹岡俊樹著、言叢社、1989）と『続石器研究の感想』（角張淳一、「東京考古」18号、東京考古談話会、2000）に準じている。

属性の説明

第1節 母岩別資料と接合資料

分析にあたって、最初に母岩別資料を作成した。母岩別資料は色調、てざわり、節理面の状態などを手がかりにして作成した。その結果、チャートが2種類、頁岩が6種類、タンパク石が2種類の母岩に分類された。その中で接合作業を行った結果、全資料中で17個体37点の接合資料を得た。内訳はチャート母岩Aが8個体19点の接合、チャート母岩Bが6個体12点、タンパク石が3個体6点の接合資料となった。頁岩の接合はなかった。

これらの母岩別資料と接合資料を資料体を分類の大項目とし、次にその中の個別の石器について属性をとった。とりあげた属性は、いずれも剥片の剥離技術を特定するために必要な属性である。以下に母岩別資料の特徴を記述した。

チャートの母岩

- A；青みの強い滑らかな表面をもつチャート。
- B；Aよりも暗い色調で、自然面に特徴のあるチャート。

タンパク石の母岩

- C；濃いあめ色のタンパク石。
- D；あめ色が淡く、純白が濃いタンパク石。

頁岩の母岩

- E；表面がなめらかな珪質。色は淡茶褐色。
- F；あまり珪質化していない黒褐色の頁岩。
- G；色はCと同じで、珪質化していない頁岩。
- H；褐色の頁岩。一点。

I；灰に黒縞の頁岩。一点。

第2節 器種

器種は考古学の分類の操作の上で、最初に行われる分類である。その本質は、我々からみて特徴のある石器を区分するために、我々が石器に付けた名前である。製作者の意図に従った分類ではないことに注意しなくてはならない。

凡例

剥片；ハンマーによって剥がされた石片で、打面が残るもの、もしくは打面が推定できるものに限定する。

裂片；打面が残らず剥離技術が明らかにならない石片。意味のない碎片も本稿では裂片とする。

石核；剥片を剥離する母岩。

石刃状剥片；長さが幅よりも顕著であり、優美な縦長の剥片。

縦折剥片；打撃の衝撃でコーンがふたつに裂けてしまった剥片。

横長剥片；長さよりも幅が著しく長い剥片。

二次加工剥片；二次加工が刃部とならない剥片。

二次加工の剥片；石器を二次加工したときに生ずる剥片。石鏃ならば押圧剥離で剥がされた剥片のことを指す。

使用痕剥片；使用痕が顕著に観察できる剥片のこと。本稿で扱う使用痕は、刃こぼれのこと、マイクロ・フレイキングと呼称される傷である。

断片；器種名はわかるが、その一部しか残らないもの。両極剥片の断片とは、両極剥片の一部と認識された石片。

第3節 剥離技術の記号化

剥片は、剥離技術の分析で剥離技法の区分ができるので、二次加工技術を記号化して属性表を作成した。その記述方法は、煩雑さを避けるために付編に記した。

凡例

SI；軟質ハンマーの間接打撃。硬質ハンマーの垂直剥離。ハンマーの種類で剥離面の様相が異なる。本資料では比較的径の広いハンマーと狭いハンマーの2種類が用いられている。後者の剥離の開始部はクサビタイプとなっている。

SD；軟質ハンマーの直接打撃。

第4節 工具の径

ハンマーの役割を分析するのに必要な属性。径をミリ単位で計測した。径はハンマーを記述する上で重要な属性である。たとえば、前者が剥片剥離、後者が二次加工というように同じSIでも6mmのハンマーと3mmのハンマーでは、その役割は異なる。

第5節 打面

剥離技法を記述するのに非常に重要な属性である。打面は剥がれる剥片の形態を物理的に決める重要な属性である。

凡例

礫打面；自然面をそのまま利用した打面。

節理面打面；自然面打面と平坦打面の中間に位置する打面。節理面が意図的か否かで、自然面打面か平坦打面のどちらかになる。

平坦打面：剥離面打面とも呼ぶ。一枚の剥離面からなる打面。

切子打面；2枚以上の剥離面からなる打面

線状打面・点状打面；ハンマーが石核をこする場合、もしくは径の狭いハンマーによって生ずる打面。

第6節 打面厚

打面厚はハンマーの作法と強い相関をもつ。比較的幅の狭い同じ幅の打面をもつ剥片は直接打撃ではできないので、間接打撃の可能性を推定できる。

第7節 背面構成

剥片の背面構成は、石核の打面上で、打点がどのように移動したのかを理解できる属性とともに、その剥片の性質も明らかにできる属性である。

凡例

第1項 A類；剥離軸と同じ方向、もしくは180度反対方向からの剥離面がある場合。

本遺跡では以下に細分された。

A1類；背面に自然面を残す場合。

A2類；剥離軸と連続して同じ方向の背面の場合。

A3類；A2類の背面に180度方向からの剥離面も観察できる場合。

A4類；剥離軸と同じ方向に一枚の大きな剥離面がはいる場合。

第2項 T；A類の一部に90度異なる方向の剥離面がみられる場合につけた記号

一部だけの打面転位なので、A類の記述のあとに「T」をつけた。本資料ではA2Tが1点ある。

第3項 B類；頻繁な打面転位がみられる背面。

第4項 U類；多方向からの剥離面で構成され、意図的な打面の動きがみられない背面。

第5項 P類；ポジティブな面で構成されている背面。

第6項 自然面；自然面で覆われている背面。

第8節 所見

必要に応じて資料の性質の理解を補なうための記述。属性表以外の必要情報を記述するが、予測不可能な事後的剥離などの記述や、現段階では最重要とは認められないが、資料の理解に必要と思われる情報を記述した。

資料の記述

第9節 チャートの母岩の記述

第1項 母岩の概要

母岩A；資料数29点。接合8個体19点。単独個体10点

母岩B；資料数32点。接合6個体12点。単独個体20点

第2項 剥離技術と剥片剥離技法の概要

資料を観察すると、主要剥離面にコーンが発達せず、比較的ハンマー径の広いものがある。打面にリップ状のもりあがりも観察できる。これらはソフトハンマーの特徴である。

こうした観点から打点とパルプの観察を行うと、チャートは主に3種類の剥離技術を用いて剥離作業が行われている。

それらは、(a 径が3mm前後の非常に尖ったハンマーを用いた間接打撃、(b 平坦打面か切子打面を6mm程度のハンマーを用いた間接打、(c 径が3mm程度の直接打撃である。加撃していると推定できる。また剥離

技術がある。本資料の間接打撃は、こうしたハンマーの材は「石」ではなく、「骨」や「角」の可能性が高いと推定できる。

バルブの発達の場合いで直接打撃か間接打撃かの区別が可能である。

第3項 資料の内容

チャートは母岩が分かれていても内容は同じである。角礫素材の石核（1540）、SDで剥離された比較的大形の剥片、SIで剥離された小形の石刃状剥片や不定形の剥片である。三者ともに面のいずれかに自然面の一部や節理面が残る場合がほとんどである。剥片素材の石核（1542）があるので、SD剥片が石核となり、SIの小形剥片が剥離されたようである。また角礫素材の石核からは、SIの小形不定形の剥片が剥離されている。

第10節 タンパク石

第1項 母岩の概要

母岩C；資料数2点。接合なし。

母岩D；資料数51点。接合3個体6点。単独個体55点

第2項 剥離技術と剥片剥離技法の概要

タンパク石も母岩が異なっても同じ剥離技術である。主にSIで剥片が剥離されている。大形のふ厚い剥片から小形の分厚い剥片を剥離し、小形の剥片を石核にしている。相当小形の石核もある。本稿では小形石核として記述した。そこから、さらに径の小さなハンマーで、薄い剥片を剥離している。この薄く小さな剥片が、おそらく目的的な剥片であろう。

第3項 資料の内容

チャートや頁岩と異なり、タンパク石は、非常に薄く、中指や小指の爪程度の剥片を目的としている。そのため、資料群の内容は石核に偏在している。大きな剥片は小形剥片石核の素材である。そこから剥離され、これから石核になる分厚い剥片。そして小形剥片石核として整形加工された「準備された石核（1589）」などの資料群である。目的剥片は少なく8点が検出されている。

第11節 頁岩

第1項 母岩の概要

母岩E；10点。接合なし。

母岩F；9点。接合なし。

母岩G；7点。接合なし。

母岩H；1点。単独個体。

母岩I；1点。単独個体。

母岩J；1点。単独個体。

第2項 剥離技術と剥片剥離技法の概要

1点を除いて、あとはすべてSIで剥離された剥片である。チャートやタンパク石のハンマーと異なり、径が3mmという尖ったハンマーを用いている。軟質ハンマーとした根拠はバルブが発達していないこと、背面の稜線が滑らかなこと、硬質ハンマーに特徴的な打面のダメージ（コーンクラック）が観察できないことである。

第3項 資料の内容

剥片類は大形の石刃状剥片（1618）を含む剥片の資料である。刃こぼれなどはない。資料中に両面加工石器（おそらくヘラ状石器）の製作剥片や、二次加工のされた剥片があるのが特徴である。

総合記述

剥離技術と母岩の目的的剥片について総合記述を行おう。

長谷堂貝塚の剥離技術は、SIという剥離技術で体系をなしている。SIという技術の中で、ハンマーを変えて、数種類の目的的剥片がつくられている。求める目的的剥片をまとめると以下のようになる。

チャートは側辺の刃先の薄い小形の剥片や石刃状剥片も目立つ。チャートの目的的剥片は小形の刃器、もしくは小形剥片石器の素材であり、これらの剥片が資料の主体である。比較的径の大きなハンマーで小形の剥片を剥離している。

タンパク石は目的的剥片ではなく、石核とその素材剥片に偏在する。タンパク石は径の大きなハンマーと小さなハンマーを使い分け、指の爪程度の薄く小さな剥片を剥離している。

頁岩は小さく尖ったハンマーで、この遺跡のなかでは大形の剥片を剥離している。また二次加工された剥片が残されているのも頁岩の特徴である。

結論

今回の資料はSIという剥離技術を主体にし、母岩ごとに剥離技術を比較すると、それぞれ異なる内容の資料が形成されていることがわかる。

また今回の分析の資料は、旧石器時代の遺跡のように、石核から碎片が揃っている資料ではなく、すべて用意された石器である。これは、これらの石器があらかじめどこかで用意され、遺跡に持ち込まれたことも示唆している。これらのことを総合的に解釈すると以下のことがいえるだろう。

- 1、長谷堂貝塚の縄文人のもつ剥離技術はSI（軟質ハンマーの間接打撃）である。
- 2、長谷堂貝塚には3種類の岩石が持ち込まれ、それぞれが異なる役割をもつ道具である。
- 3、チャートは小形刃器と小形剥片石器（石鏃や石錐）などの素材剥片。タンパク石は小指の爪ほどの薄い断片。頁岩は比較的大きな刃器、もしくは大形の両面加工石器である。
- 4、それぞれの役割に応じて、SIという剥離技術は、ハンマーの径を変えること、素材に段階をもたせることの組み合わせで、特定の目的を達成する剥離技術のプログラムをもっている。
- 5、以上の分析に加えて、石器そのものの型式学的研究を行い、さらに同時期の遺跡を比較分析することで、縄文社会の文化を明らかにできる可能性がみえる。

付編 石器分析の目的と方法

石器分類の手続きと分類の目的

石器分類の手続きは、2つの作業によって実現される。最初に私たちが石器を見たときに、石器はみたまの差いで分類される。石皿である、石鏃である、打製石斧であると。これらは大きさ、石材など見るからに違う石器は、あらかじめ分類しておく必要がある。この分類の方法を「器種分類」という。

次に見た目で明らかに違う石器をさらに分類する必要がある。最初に見た目の差いで分類された石器の中で、同じ石器としたモノの中にも、製作者の意図の違いがみられるからである。

以上のように、石器分類の目的は、作った側の意図に従う分類を明らかにするために行われるのである。ゆえに、石器分類によって得られた「分類表」の善し悪しは、どの程度まで製作者の意図に従う分類を復元できているのかで評価がなされるのである。私たちが恣意的に分類した石器の分類表（器種分類表）は、分類した現代人の石器の分類を示しているので、石器研究の目的の最終分類表にはならないのである。

技術属性の記述の必要性

石器の分類で最も必要なことは、石器の技術属性を記述することである。石器は人工物なので、製作者の意図が込められている。その意図は技術属性に表現されているので、技術属性の記述を行うことで、製作者の意図に従った石器の分類を復元するのである。そして石器研究の目的は、技術属性によって石器を見ることで、石器製作者の意図に従う石器の分類を、現代語で記述できる。

剥離技術の定義

石器をつくるためには、石を割る（剥離する）手法を習得する必要がある。この手法を「剥離技術」と呼ぶ。

石器をつくるときには、利き手に工具（ハンマー）をもち、左手に剥離する素材をもつ。利き手の動きと左手の動きの総合動作で石器の剥離は行われる。そこで「剥離技術」の実状をわかりやすくすると、「右手（利き手）の技術」と「左手の技術」に分解できる。「右手の技術」は「ハンマーの種類とその作法」であり、「左手の技術」は素材の傾け方のことになる。

剥離技術の属性項目

右手の技術に従い、ハンマーの種類及びハンマーの動作の作法という属性がある。従って、「ハンマーの種類」と「ハンマーの作法」が右手の属性として記述されることになる。一方左手の技術は素材の傾きであり、剥離面の役割を決める属性である。素材の傾きは、剥離角として記述もできるし、剥離の様相としても記述できる。より現実感のある記述は、剥離角と縁辺や末端の様相を組み合わせた「現代語」として記述されるとわかりやすい記述になる。以下にそれらを詳述する。

ハンマーの属性（右手の属性）

ハンマーの属性は硬・軟質の区分とハンマーの大きさである。

硬質ハンマー（表記は「H」）は、素材よりハンマーがより硬いものを指す。ゆえに硬質ハンマーでは、結果として石器の縁辺に砕けや潰れが生じる。軟質ハンマー（表記は「S」）は、ハンマーのほうが柔らかく、ハンマーそのものが変形し、衝撃のショックを吸収する。その結果打点周辺には砕けや潰れがほとんど生じない。

またハンマーの違いは、打点周辺だけでなく、剥離面様相にも顕著に現れる。硬質ハンマーで加撃されると石核側に残される剥離面の稜線はゴツゴツした切り立ったものになる。軟質ハンマーで加撃されると、石核側に残される剥離面の稜線は平らで滑らかな線となる。また、軟質ハンマーのほうが、剥離面が石器の中心に向かって、より伸びる傾向がある。

本遺跡の場合に限らず、黒曜石のハンマーの種類は特にわかりにくい。黒曜石は縁辺が砕けやすく、打点の砕けだけではハンマーの種類を特定できないからである。しかし基本にもどって観察を行うと、硬質ハンマーの場合は縁辺に潰れたコーンができ、白く濁った打点が発生する。軟質ハンマーの場合は曲げの剥離が頻発するものや、打点が残るものは大きく打点が広がっている。曲げの剥離にはバルブは発生しないので、打点の有無は容易に観察できるのである。また剥離面の幅に硬質・軟質の顕著な差が表れる。軟質ハンマーのほうが剥離面の幅が2ミリ程度大きくなる傾向がある。また本遺跡の場合にはリングのうねりと稜線の切り立ち方についても特徴がある。でみることにする。

ハンマーの大きさは、打点から推定できる打点の径によって記述する。加工の打点の径を測り、ミリ単位で記述してもよいし、その記述をさらに整理して、この遺跡には広い（W）径のものと狭い（N）径のものがある、という「理解」を示した記述でもよい。

ハンマーの作法（使い方）の属性（右手の属性）

ハンマーの使い方は、対象（石核）に直接ハンマーを叩きつける直接打撃（表記は「D」）、ハンマーを石核に押し付けて押し剥がす押圧剥離（表記は「P」）とパンチを使う間接打撃（表記は「I」）の3種類がある。ともにハンマーの使い方が異なるので、剥離面様相も異なる。

直接打撃の場合は、打点は明瞭でバルブは比較的発達し、稜線はゴツゴツする。

押圧剥離の場合は、打点は明瞭なものバルブが発達せず、稜線は平らになる。

間接打撃の場合は、小さい剥離面ながら規則正しく剥離がなされ、バルブがある直接打撃に近似する剥離面になる。

直接打撃のハンマーの作法（右手の属性）

普通に手首を返ししながらハンマーを用いる直接打撃がある。通常の剥離とも呼ばれる。このとき生じる剥離面は割れ円錐の発達する「コーンタイプ」と呼ばれる剥離面である。打点の直下から円錐が発達し、さらに円錐は次第にハンマーの押し出す力に吸収されながら剥離がおこる。

次にハンマーを垂直にたたきつける直接打撃がある。主に楔形石器にみられる直接打撃である。剥離面の打点は明瞭なもの、ハンマーによる圧縮の力が優勢のために、円錐が発達しないで、物体を引き裂くように剥離が起こる。通常の剥離によって生じる「コーンタイプ」の剥離に対して、これを「ウェッジタイプ」の剥離面と呼ぶ。

さらに、ハンマーを寝かせて、石器の鋭い縁に並行にあてるハンマーの用い方がある。この剥離面は広義の折れ面であり、打点がなく、バルブも生じない。「ベントタイプ」の剥離面とも呼ぶ。

このように3種類の剥離面があるが、主にハンマーストーンの加撃によって形成される剥離面は通常の剥離による「コーンタイプ」の剥離面である。

素材の傾きと剥離の方向（左手の属性）

素材の傾きは、剥離面の役割を実現する。平らにおいた石器の縁辺を加撃すると、剥離によって刃先ができる。また立てた縁辺を加撃すると、鋭い縁辺は潰れて、「刃潰し」の状態になる。こうした素材の傾きは、刃先のあるものは剥離角で、刃先のないものは剥離面の様子によって記述ができる。

「石器研究法」によれば、左手の技術によって形成された剥離面の種類は、通常の剥離・急角度剥離・平坦剥離、階段状剥離・刃潰し・槌状剥離の6種類とされている。左手の技術の記述は、この6種類を用いることで、十分に記述ができる。

一方剥離面の方向というのは、ハンマーの加撃による力の抜ける主たる方向である。

人間が素材の石を加撃する時には、その石を叩き壊そうとするのか、薄い剥片を剥がそうとするのか、いずれにしる意識的に加撃がなされる。例をあげれば、榛名平遺跡の打製石斧の側辺には階段状剥離がみられるものがあるが、この階段状剥離は打製石斧から剥片を剥がそうとした剥離痕ではない。石器の周辺をハンマーで叩いて、石器の側辺を整形することが目的の剥離である。では、何故そのようなことが言えるのだろうか。

それは、ハンマーの振り下ろされる方向が、石器の奥に向かって進行しているので、剥片を剥離する方向ではないからなのである。このようにハンマーを振り下ろすときに、何を目的とした剥離なのかを理解する手だてとして、剥離面の方向は分析の対象とされるのである。

剥離技術の記述方法

属性の項目を明らかにしておこう。

ハンマーの種類：硬質（H）か軟質（S）。

ハンマーの当て方：直接打撃（D）、間接打撃（I）、押圧剥離（P）。

ハンマーの径：細い（N）、広い（W）。本遺跡の場合は、ハンマーのコンタクトエリアの径が2mm程度のもを「N」、4mmをこえるものを「W」とする。

直接打撃のハンマーの身振り：通常と垂直（「v」と表記）があるものの、通常は省略して、垂直打撃のみを記述するほうが整理しやすい。

押圧剥離の作法：なんらかの固定具を使う押圧剥離（「MP」と表記）、手のひらのなかで石器を保持して押圧する手のひら押圧（「HP」と表記）の2種類が本遺跡ではみられる。

以上の属性の組み合わせで剥離技術を記述する。このとき、剥離技術の定義に従って、右手/左手の順番に記述するとわかりやすい。

したがって、記述の順番は「ハンマーの種類、ハンマーの作法/素材の傾き」となる。

例えば、径の広い硬質ハンマーの直接打撃で急角度の剥離がなされている加工なら、「wHD/急角度」。同じように、径の狭い硬質ハンマーの垂直打撃で刃潰し加工がなされているなら「nHVD/刃潰し」となる。径の細い軟質ハンマーの固定具を使う押圧剥離であるなら、nSMPと記述する。いずれも、記号の意味と記述の順番の規則さえ守れば、混乱は少ない。

石器の製作技法

石器を製作するにあたっては、剥離技術だけで石器製作はできない。そこにつくろうとする道具の設計図がなければ剥離技術だけでは石器にならないのである。

石器をつくるということは、石の剥離技術の習得と文化の中に埋め込まれた石器形態の理解が必要になる。したがって、石器をつくるということは、その文化の中で習得する剥離技術（ハンマーの種類とその使い方の身振り）と、その文化の中にある道具の形態（形のイメージ）に習熟することである。

石器の形態分析は、石器の形を構成している辺を分解することである。そして、分解した辺にどのような剥離技術でどのような剥離面が形成されているかを理解し、特定の辺が特定の剥離技術によって形成されて、特定の形態がつくられているのが石器の姿である。

石器の形態は特定の辺を特定の剥離技術で形成することで成り立っている。辺と剥離技術の規則的な関係、及びその関係を全体の形態に置き換えると、特定の石器文化には特定の石器製作の基本的な約束ごとがあることがわかる。この石器製作の約束ごとを「石器の製作技法」と呼ぶ。

引用・参考文献

- 「石器研究法」竹岡俊樹著 言叢社 東京 1989
- 『石器研究の感想』 角張淳一「東京考古」16 東京考古談話会 1998
- 『続石器研究の感想』 角張淳一「東京考古」18 東京考古談話会 2000
- 「武蔵台遺跡I」 府中病院遺跡調査会 東京都 1984
- 「江川・中畝遺跡」 高知県西土佐村教育委員会 2000

図版No	写図No	遺物番号	器種	出土地点	遺構・層位	長mm	幅mm	厚さmm	重量g	剥離技術	工具径mm	打面	打面径mm	背面構成	母岩番号
154	149	2201	石刃状剥片	RA33	FP①-1	42.0	28.0	10.0	9.91	SI	7	節理面	4	A 2	B
156	151	2202	剥片	RA33	FP①-2	44.0	47.0	12.0	13.90	SD	6	礫打面	2	A 2	B
156	151	2203	剥片	RA33	FP①-3	32.0	34.0	10.0	5.77	SI	6	礫打面	2	A 2	B
156	151	2204	剥片	RA33	FP①-7	36.0	29.0	7.0	4.54	SI	不明	欠	不明	A 2	B
154	149	2205	剥片	RA33	FP①-8	34.0	39.0	12.0	10.34	SI	9	節理面	7	A 2	B
154	149	2206	剥片	RA33	FP①-9	33.0	29.0	8.0	2.87	SI	不明	点状で半分欠損	不明	A 3	B
154	149	2207	剥片	RA33	FP①-10	44.0	40.0	9.0	12.80	SI	6	切子打面	10	自然面	A
154	149	2208	剥片	RA33	FP①-11	31.0	30.0	8.0	7.04	SI	5	礫打面	6	A 2	B
155	150	2209	剥片	RA33	FP①-13	35.0	30.0	8.0	6.15	SI	4	礫打面	3	A 2	A
155	150	2210	剥片	RA33	FP①-14	37.0	31.0	10.0	6.18	SI	4	線打面	適用なし	A 3	A
156	151	2211	断片	RA33	FP①-16	44.0	28.0	8.0	8.77	不明	不明	欠	不明	U	B
155	150	2212	剥片	RA33	FP①-18	40.0	29.0	13.0	11.51	SI	4	平坦打面	4	A 2	A
154	149	2213	横長剥片	RA33	FP①-19	18.0	39.0	5.0	3.28	SI	6	平坦打面	3	A 2	A
154	149	2214	剥片	RA33	FP	38.0	38.0	12.0	14.25	SI	5	礫打面	8	A 1	A
154	149	2215	剥片	RA33	FP	21.0	21.0	6.0	2.34	SI	3	礫打面	3	A 1	A
155	150	2216	剥片	RA33	FP	31.0	19.0	7.0	4.50	SI	4	線打面	適用なし	A 3	A
154	149	2217	剥片	RA33	FP	24.0	35.0	4.0	2.15	SI	9	線打面	1	B	B
154	149	2218	剥片	RA33	FP	30.0	33.0	7.0	5.10	SI	不明	礫打面	5	A 3	B
154	149	2219	剥片	RA33	FP	37.0	45.0	10.0	12.29	SI	7	平坦打面	10	A 1	B
—	—	2220	小礫	RA33	FP	19.0	12.0	7.0	2.05	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし
154	149	2221	剥片	RA33	FP	26.0	28.0	7.0	3.77	SI	8	線状打面	不明	A 1	B
156	151	2222	剥片	RA33	FP	51.0	36.0	13.0	18.30	SI	5	自然面	3	A 2	B
154	149	2223	剥片	RA33	FP	44.0	41.0	8.0	9.03	SI	7	切子打面	5	A 1	B
156	151	2224	剥片	RA33	FP	20.0	29.0	7.0	4.02	SI	6	礫打面	2	A 4	B
154	149	2225	剥片	RA33	FP	29.0	30.0	9.0	7.39	SI	7	平坦打面	7	A 1	B
156	151	2226	剥片	RA33	FP	48.0	56.0	18.0	25.66	SI	9	節理面	6	A 1	B
156	151	2227	断片	RA33	FP	49.0	32.0	11.0	5.62	不明	不明	欠	不明	U	B
154	149	2228	石刃状剥片	RA33	FP①下層	39.0	23.0	7.0	3.92	SI	6	線打面	2	A 1	A
154	149	2229	剥片	RA33	FP①下層	25.0	23.0	9.0	4.08	SI	不明	欠	不明	A 1	B
154	149	2230	剥片	RA33	FP①下層	32.0	33.0	10.0	6.04	SI	7	自然面	1	A 3	B
156	151	2231	断片	RA33	FP①下層	33.0	24.0	8.0	2.73	SD	6	礫打面	2	A 2	B
154	149	2232	剥片	RA33	FP①下層	22.0	31.0	6.0	2.87	SI	不明	欠	不明	B	B
156	151	2233	剥片	RA33	FP①下層	22.0	31.0	4.0	3.38	SI	9	節理面	6	A 1	B
155	149	2234	剥片	RA33	FP①下層	29.0	20.0	5.0	1.80	SI	不明	欠	不明	A 2	A
155	149	2235	石刃状剥片	RA33	FP①下層	33.0	18.0	6.0	2.55	SI	5	礫打面	4	A 2	B
155	149	2236	剥片	RA33	FP①下層	22.0	26.0	5.0	2.53	SI	不明	欠	4	P	B
155	149	2237	剥片	RA33	FP①下層	27.0	28.0	8.0	4.25	SI	5	自然面	6	A 2	B
155	149	2238	二次加工剥片?	RA33	FP①下層	32.0	19.0	7.0	2.79	SI	不明	欠	不明	A 2 T	A
155	149	2239	石刃状剥片	RA33	FP①下層	29.0	19.0	6.0	1.96	SI	4	線打面	適用なし	A 2	A
155	149	2240	石核	RA33	FP	76.0	74.0	17.0	100.50	SI	6	節理面	適用なし	適用なし	B
155	149	2241	剥片	RA33	FP①下層	23.0	23.0	6.0	2.79	SI	不明	欠	不明	A 2	A
155	149	2242	石核	RA33	FP①下層	33.0	56.0	11.0	16.95	SI	5	礫打面	適用なし	A 1	B
155	149	2243	石刃状剥片	RA33	FP①下層	37.0	22.0	4.0	3.31	SI	不明	欠	不明	A 1	B
156	151	2244	剥片	RA33	FP	39.0	53.0	14.0	17.74	SD	5	礫打面	11	A 2	B
156	151	2245	剥片	RA33	FP	47.0	45.0	14.0	19.35	SD	5	礫打面	19	B	B
155	150	2246	石刃状剥片	RA33	FP①下層	51.0	32.0	6.0	10.83	SI	5	切子打面	7	A 2	A
155	150	2247	縦折剥片	RA33	FP①下層	30.0	26.0	7.0	2.46	SI	6	礫打面	5	A 2	A
155	150	2248	剥片	RA33	FP①下層	27.0	26.0	6.0	3.49	SI	6	礫打面	4	A 2	A
155	150	2249	縦折剥片	RA33	FP①-6	28.0	37.0	10.0	8.19	SI	6	礫打面	5	A 2	A
156	150	2250	剥片	RA33	FP	28.0	30.0	10.0	6.29	SI	9	礫打面	6	A 1	A
156	150	2251	剥片	RA33	FP①下層	27.0	17.0	9.0	3.84	SI	9	線打面	適用なし	A 1	A
156	150	2252	剥片	RA33	FP①-5	26.0	35.0	5.0	3.91	SI	9	線打面	2	A 1	A
155	150	2253	剥片	RA33	FP①下層	30.0	22.0	4.0	2.70	SI	4	切子打面	4	自然面	A
155	150	2254	剥片	RA33	FP①-20	29.0	21.0	4.0	2.56	SI	4	切子打面	4	自然面	A
156	150	2255	剥片	RA33	FP①-4	44.0	31.0	14.0	16.74	SI	9	線打面	適用なし	自然面	A

図版No.	写図No.	遺物番号	器種	出土地点	遺構・層位	長mm	幅mm	厚さmm	重量g	剥離技術	工具径mm	打面	打面径mm	背面構成	母岩番号
156	150	2256	縦折剥片	RA33	FP①-17	45.0	36.0	7.0	10.98	SI	9	節理面	5	自然面	A
156	150	2257	縦折剥片	RA33	FP	40.0	19.0	6.0	6.72	SI	9	節理面	5	自然面	A
		2258	使用痕剥片	31K	II層20	31.0	22.0	10.0	5.44	SI	不明	不明	不明	U	A
160	153	2259	断片	RA35	FP②上層	13.0	21.0	5.0	1.48	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし
156	151	2260	剥片	RA33	FP①-15	31.0	22.0	10.0	5.64	SI	6	切子打面	6	A 4	A
156	151	2261	剥片	RA33	FP①-12	28.0	24.0	4.0	3.25	SI	6	切子打面	6	A 4	A
155	150	2262	石刃状剥片	RA33	FP①下層	30.0	20.0	3.0	1.66	SI	5	平坦打面	2	A 2	A
160	153	2263	断片	RA35	FP②-28	14.0	28.0	5.0	2.86	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし
156	152	2264	石核	RA35	FP②-1	44.0	50.0	19.0	26.33	SI	5	平坦打面	適用なし	B	D
156	152	2265	石核	RA35	FP②-2	55.0	28.0	23.0	16.52	SI	5	平坦打面	15	A 2	D
156	152	2266	剥片	RA35	FP②-6	39.0	37.0	15.0	9.23	SI	5	平坦打面	2	A 2	D
156	152	2267	剥片	RA35	FP②-8	24.0	27.0	9.0	4.10	SI	6	平坦打面	10	A 2	J
157	152	2268	剥片	RA35	FP②-9	32.0	52.0	17.0	16.54	SI	不明	欠	不明	U	D
157	152	2269	剥片	RA35	FP②-11	62.0	55.0	20.0	45.41	SI	6	平坦打面	20	A 3	D
157	152	2270	剥片	RA35	FP②-12	36.0	42.0	13.0	16.39	SI	6	平坦打面	10	P	D
157	152	2271	剥片	RA35	FP②-13	47.0	32.0	17.0	14.96	SI	7	欠	線状打面	A 2	D
157	152	2272	石核	RA35	FP②-16	27.0	43.0	25.0	15.32	SI	5	平坦打面	適用なし	A 2	D
157	152	2273	剥片	RA35	FP②-17	28.0	49.0	14.0	13.01	SD	5	平坦打面	15	U	D
157	152	2274	石核	RA35	FP②-19	76.0	48.0	23.0	48.98	SI	5	平坦打面	2	B	D
157	152	2275	剥片	RA35	FP②-20	28.0	42.0	14.0	11.53	SD	5	点状打面	9	U	D
157	152	2276	石核	RA35	FP②-22	58.0	68.0	25.0	30.53	SD	不明	欠	適用なし	U	D
157	152	2277	剥片	RA35	FP②-23	32.0	28.0	16.0	9.72	SI	5	平坦打面	10	B	D
157	152	2278	目的剥片	RA35	FP②-24	22.0	21.0	11.0	2.36	SI	5	平坦打面	10	P	D
158	152	2279	目的剥片断片	RA35	FP②-25	14.0	29.0	5.0	1.11	SI	不明	欠	不明	P	D
158	152	2280	目的剥片断片	RA35	FP②-26	26.0	24.0	8.0	2.28	SI	不明	欠	不明	P	D
158	152	2281	剥片	RA35	FP②-27	37.0	38.0	20.0	17.02	SI	5	平坦打面	22	P	D
158	152	2282	石核	RA35	FP②-29	37.0	40.0	23.0	18.32	SI	5	平坦打面	適用なし	A 2	D
158	152	2283	目的剥片	RA35	FP②-31	25.0	29.0	7.0	2.15	SI	5	平坦打面	6	A 2	D
158	152	2284	目的剥片	RA35	FP②-32	14.0	20.0	5.0	0.92	SI	不明	欠	不明	B	D
158	152	2285	剥片	RA35	FP②下層	50.0	49.0	17.0	20.46	SI	6	点状打面	適用なし	U	D
158	152	2286	剥片	RA35	FP②下層	35.0	43.0	15.0	15.41	SI	5	平坦打面	10	U	D
158	152	2287	剥片	RA35	FP②下層	42.0	53.0	19.0	23.82	SD	5	自然面	10	U	D
158	152	2288	剥片	RA35	FP②下層	49.0	74.0	24.0	44.27	SI	8	平坦打面	20	A 3	D
158	153	2289	準備された石核	RA35	FP②下層	32.0	41.0	25.0	19.07	SI	不明	不明	不明	不明	D
158	153	2290	目的剥片	RA35	FP②下層	43.0	72.0	12.0	19.58	SI	4	平坦打面	10	B	D
158	153	2291	剥片	RA35	FP②下層	39.0	24.0	18.0	9.57	SI	5	平坦打面	10	P	D
159	153	2292	剥片	RA35	FP②下層	38.0	44.0	15.0	11.96	SI	8	平坦打面	9	U	D
159	153	2293	剥片	RA35	FP②下層	17.0	27.0	12.0	2.34	SI	6	平坦打面	3	B	D
159	153	2294	剥片	RA35	FP②下層	20.0	25.0	12.0	3.71	不明	不明	欠	不明	P	D
159	153	2295	目的剥片	RA35	FP②下層	22.0	29.0	6.0	1.85	SI	3	平坦打面	5	B	D
159	153	2296	剥片	RA35	FP②下層	44.0	29.0	20.0	9.95	SD	不明	平坦打面	17	P	D
159	153	2297	小形石核	RA35	FP②下層	27.0	19.0	10.0	2.97	SI	4	平坦打面	適用なし	B	D
159	153	2298	目的剥片	RA35	FP②上層	22.0	19.0	10.0	1.83	SI	3	切子打面	2	B	D
159	153	2299	目的剥片	RA35	FP②下層	9.0	16.0	4.0	0.24	SI	3	平坦打面	5	P	D
159	153	2300	小形石核	RA35	FP②下層	17.0	16.0	10.0	1.50	SI	不明	平坦打面	適用なし	A 4	D
—	—	2301	裂片	RA35	FP②	14.0	8.0	5.0	0.33	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	D
—	—	2302	裂片	RA35	FP②	14.0	8.0	5.0	0.33	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	D
159	153	2303	小形石核	RA35	FP②上層	24.0	20.0	11.0	3.49	SI	3	平坦打面	適用なし	B	D
159	153	2304	剥片	RA35	FP②上層	22.0	23.0	10.0	4.16	SI	不明	欠	不明	A 4	D
159	153	2305	石核	RA35	FP②-10	37.0	45.0	20.0	16.03	SI	6	欠	適用なし	B	D
159	153	2306	剥片	RA35	FP②-18	25.0	46.0	16.0	16.02	SI	6	欠	適用なし	B	D
159	153	2307	石核	RA35	FP②-3	63.0	48.0	24.0	39.07	SI	5	切子打面	15	A 2	D
159	153	2308	剥片	RA35	FP②-5	34.0	23.0	10.0	3.31	SI	5	平坦	10	A 3	D
159	153	2309	石核断片	RA35	FP②-21	36.0	16.0	11.0	4.19	SI	不明	欠	不明	A 3	C
159	153	2310	石核	RA35	FP②-14	32.0	35.0	16.0	14.64	SI	5	自然面	適用なし	B	C

図版No	写図No	遺物番号	器種	出土地点	遺構・層位	長mm	幅mm	厚さmm	重量g	剥離技術	工具径mm	打面	打面径mm	背面構成	母岩番号
160	153	2311	剥片	RA35	FP②-15	27.0	19.0	13.0	3.56	SI	6	平坦打面	4	B	D
160	153	2312	剥片	RA35	FP②-30	29.0	27.0	9.0	4.92	SI	6	平坦打面	4	B	D
159	153	2313	剥片	RA35	FP②下層	19.0	28.0	11.0	3.11	SI	不明	欠	不明	U	D
159	153	2314	裂片	RA35	FP②上層	21.0	23.0	13.0	3.74	SI	不明	不明	不明	適用なし	D
159	153	2315	剥片	RA35	FP②下層	55.0	51.0	16.0	22.17	SI	不明	平坦打面	14	U	D
159	153	2316	石核	RA35	FP②-7	18.0	25.0	11.0	2.29	SI	3	適用なし	適用なし	p	D
159	153	2317	石核	RA35	FP②-4	17.0	48.0	13.0	5.24	SI	5	平坦打面	9	A 2	D
160	154	2318	剥片	RA37	炉下FP③	35.0	38.0	8.0	6.87	SI	3	平坦打面	4	A 2	F
160	154	2319	剥片	RA37	炉下FP③	26.0	57.0	11.0	13.12	SI	6	平坦打面	3	A 1	F
160	154	2320	剥片	RA37	炉下FP③	36.0	52.0	11.0	8.95	SI	3	平坦打面	5	A 2	F
160	154	2321	剥片	RA37	炉下FP③	51.0	28.0	11.0	8.47	SI	3	平坦打面	3	U	F
160	154	2322	剥片	RA37	炉下FP③	32.0	40.0	11.0	8.59	SI	不明	平坦打面	12	A 1	G
160	154	2323	二次加工剥片	RA37	炉下FP③	35.0	15.0	5.0	2.11	SI	3	平坦打面	3	B	G
160	154	2324	剥片	RA37	炉下FP③	55.0	27.0	9.0	8.99	SI	不明	線打面		A 1	F
160	154	2325	剥片	RA37	炉下FP③	40.0	39.0	11.0	6.86	SI	不明	線打面	適用なし	B	G
160	154	2326	剥片	RA37	炉下FP③	37.0	28.0	8.0	6.88	SI	3	自然面	4	A 2	G
160	154	2327	剥片	RA37	炉下FP③	29.0	38.0	13.0	10.65	SI	3	平坦打面	5	B	E
160	154	2328	剥片	RA37	炉下FP③	22.0	23.0	6.0	4.18	SI	3	平坦打面	3	A 2	F
160	154	2329	剥片	RA37	炉下FP③	49.0	50.0	11.0	5.90	SI	3	平坦打面	3	B	H
160	154	2330	剥片	RA37	炉下FP③	62.0	43.0	9.0	13.57	SI	3	自然面	3	A 1	G
160	154	2331	裂片	RA37	炉下FP③	21.0	33.0	7.0	3.11	不明	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	F
160	154	2332	横長剥片	RA37	炉下FP③	22.0	47.0	8.0	5.06	SI	3	平坦打面	5	A 4	F
160	154	2333	剥片	RA37	炉下FP③	24.0	20.0	6.0	1.55	SI	譜面	欠	不明	A 3	I
161	154	2334	剥片	RA37	炉下FP③	42.0	31.0	8.0	6.64	SI	4	自然面	3	U	G
161	154	2335	剥片	RA37	炉下FP③	34.0	52.0	8.0	8.80	SI	3	切り打面	3	U	G
161	154	2336	石刃状剥片	RD340	北半埋土1層	77.0	35.0	14.0	22.01	SI	4	平坦打面	14	A 2	E
161	154	2337	二次加工剥片	RD340	北半埋土1層	46.0	53.0	13.0	18.52	SI	4	切り打面	10	A 3	E
161	154	2338	剥片	RD340	北半埋土1層	42.0	47.0	13.0	17.19	SI	5	平坦打面	6	A 3	E
161	154	2339	二次加工剥片	RD340	北半埋土1層	37.0	42.0	10.0	7.53	SI	3	平坦打面	8	U	E
161	154	2340	剥片	RD340	北半埋土1層	45.0	20.0	9.0	5.94	SI	3	平坦打面	7	A 1	F
161	154	2341	剥片	RD340	北半埋土1層	40.0	50.0	14.0	16.93	SI	3	その他	8	U	E
161	154	2342	剥片	RD340	北半埋土1層	23.0	38.0	4.0	2.65	SD	不明	欠	適用なし	A 2	E
161	154	2343	剥片	RD340	北半埋土1層	32.0	55.0	10.0	15.90	SI	3	平坦打面	3	U	E
161	154	2344	石核	RD340	北半埋土1層	48.0	59.0	14.0	29.17	SI	不明	欠	適用なし	適用なし	E
161	154	2345	石刃状剥片	RD340	北半埋土1層	30.0	25.0	9.0	6.09	SI	9	節理面	7	A 2	B
161	154	2346	剥片	RD340	北半埋土1層	25.0	42.0	11.0	8.30	SI	3	欠	9	A 2	E
155	150	2253・2254	接合資料1	RA33	FP①	30.0	32.0	6.0	5.26	SI	4	切り打面	4	自然面	A
155	150	2209・2212	接合資料2	RA33	FP①	52.0	31.0	19.0	17.66	SI	4	平坦打面	4	A 1	A
155	150	2210・2216	接合資料3	RA33	FP①	39.0	36.0	10.0	10.68	SI	4	線状打面	適用なし	A 3	A
155	150	2247・2248・2249	接合資料4	RA33	FP①	36.0	37.0	12.0	14.14	SI	6	礫打面	6	A 2	A
155	150	2246・2262	接合資料5	RA33	FP①下層	51.0	32.0	10.0	12.49	SI	5	切り打面	9	A 2	A
156	150	2250・2251・2252	接合資料6	RA33	FP	28.0	41.0	23.0	14.04	SI	9	礫打面	6	A 1	A
156	150	2255・2256・2257	接合資料7	RA33	FP	46.0	58.0	18.0	34.44	SI	9	節理面	5	自然面	A
156	151	2260・2261	接合資料8	RA33	FP①	30.0	27.0	16.0	8.89	SI	6	切り打面	6	A 4	A
156	151	2204・2222	接合資料9	RA33	FP	51.0	38.0	17.0	22.84	SI	5	自然面	3	A 2	B
156	151	2203・2224	接合資料10	RA33	FP	32.0	38.0	13.0	9.79	SI	6	礫打面	2	A 4	B
156	151	2226・2233	接合資料11	RA33	FP	50.0	56.0	18.0	29.04	SI	9	節理面	6	A 1	B
156	151	2211・2227	接合資料12	RA33	FP	50.0	36.0	14.0	14.39	不明	不明	欠	不明	U	B
156	151	2202・2231	接合資料13	RA33	FP①	52.0	51.0	12.0	16.63	SD	6	礫打面	2	A 2	B
156	151	2244・2245	接合資料14	RA33	FP	47.0	55.0	21.0	37.09	SD	5	礫打面	19	B	B
159	153	2305・2306	接合資料15	RA35	FP②	56.0	52.0	21.0	32.05	SI	6	欠	適用なし	B	D
159	153	2307・2308	接合資料16	RA35	FP②	63.0	48.0	32.0	42.38	SI	5	平坦打面	適用なし	A 3	D
160	153	2311・2312	接合資料17	RA35	FP②	29.0	39.0	15.0	8.48	SI	6	平坦打面	4	B	D
160	153	2259・2263	接合資料18	RA35	FP②	21.0	29.0	5.0	4.34	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし	適用なし

図版No	写図No	Na	接合番号	接合	石材	石材産地	所見	図面縮尺
154	149	2201	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	背面に3mmのSI剥離面	s=1/2
156	151	2202	13	2231	チャート	南部北上山地	バルブが非常に発達しているため、SIよりもSDの可能性が高い。背面に頭部調整の小さな剥離面が観察できる。	s=1/2
156	151	2203	10	2224	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	2204	9	2222	チャート	南部北上山地		s=1/2
154	149	2205	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	径の大きな工具	s=1/2
154	149	2206	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
154	149	2207	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
154	149	2208	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	自然面の石核底面あり。	s=1/2
155	150	2209	2	2212	チャート	南部北上山地	180度打面転位	s=1/2
155	150	2210	3	2216	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	2211	12	2227	チャート	南部北上山地	剥離軸で捻り折れている剥片の断片	s=1/2
155	150	2212	2	2209	チャート	南部北上山地	180度打面転位	s=1/2
154	149	2213	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	自然面の石核底面あり。	s=1/2
154	149	2214	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
154	149	2215	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	150	2216	3	2212	チャート	南部北上山地	剥離の開始部はクサビタイプ。背面の稜線が低く滑らかで、背面構成も規則的である。非常に径の小さなソフトハンマーの間接打撃と推定できる。	s=1/2
154	149	2217	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	両面加工石器の加工で生じた剥片の可能性ある。	s=1/2
154	149	2218	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	背面に径5mmの工具のSIの剥離が観察できる	s=1/2
154	149	2219	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
—	—	2220	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	資料体から削除	s=1/2
154	149	2221	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	2222	9	2204	チャート	南部北上山地	底面に自然面	s=1/2
154	149	2223	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	コーンが未発達。	s=1/2
156	151	2224	10	2203	チャート	南部北上山地		s=1/2
154	149	2225	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	末端はヒンジフラクチャー。	s=1/2
156	151	2226	11	2233	チャート	南部北上山地	コーンが未発達。	s=1/2
156	151	2227	12	2251	チャート	南部北上山地	剥離軸で捻り折れている剥片の断片。	s=1/2
154	149	2228	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
154	149	2229	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
154	149	2230	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	2231	13	2202	チャート	南部北上山地	2202の断片。	s=1/2
154	149	2232	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	打面は折取りの可能性もあり。	s=1/2
156	151	2233	11	2226	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	149	2234	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	149	2235	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	背面に4mmのSI剥離面が観察できる。	s=1/2
155	149	2236	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	縦折れ剥片	s=1/2
155	149	2237	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	縦折れの剥片。	s=1/2
155	149	2238	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	背面はHIの剥離面	s=1/2
155	149	2239	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	149	2240	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	石核の素材は角礫。作業面は石核素材の側面に形成されている。本格的な剥片剥離作業は行われていない。	s=1/2
155	149	2241	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	打面と下部欠損	s=1/2
155	149	2242	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	剥片素材の石核。素材の側面を打面に、素材の打面を作業面にして、小形の縦長剥片を剥離した痕跡がある。	s=1/2
155	149	2243	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	縦折れの剥片。	s=1/2
156	151	2244	14	2245	チャート	南部北上山地	接合13と同一個体	s=1/2
156	151	2245	14	2244	チャート	南部北上山地	接合13と同一個体	s=1/2
155	150	2246	5	2262	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	150	2247	4	2248・2249	チャート	南部北上山地	底面と側面に自然面。接合は同時割れの可能性が高い。	s=1/2
155	150	2248	4	2247・2249	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	150	2249	4	2247・2248	チャート	南部北上山地	底面と側面に自然面。裏面の接合は同時割れの可能性が高い。	s=1/2
156	150	2250	6	2251・2252	チャート	南部北上山地	底面と側面に自然面	s=1/2
156	150	2251	6	2250・2252	チャート	南部北上山地	底面と側面に自然面	s=1/2
156	150	2252	6	2250・2251	チャート	南部北上山地	底面と側面に自然面	s=1/2
155	150	2253	1	2254	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	150	2254	1	2253	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	150	2255	7	2256・2257	チャート	南部北上山地	背面の打面付近以外は自然面	s=1/2

図版No	写図No	Na	接合番号	接合	石材	石材産地	所見	図面縮尺
156	150	2256	7	2255・2257	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	150	2257	7	2255・2256	チャート	南部北上山地		s=1/2
—	—	2258	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	縁辺に不規則剥離。素材は断片。	s=1/2
160	153	2259	18	2263	砂岩	南部北上山地	資料体から削除	—
156	151	2260	8	2261	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	2261	8	2260	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	150	2262	5	2246	チャート	南部北上山地		s=1/2
160	153	2263	18	2259	砂岩	南部北上山地	資料体から削除	—
156	152	2264	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	打面方位をしながら、次の剥離に平坦打面を準備して、丁寧に剥離作業を行った石核。石核の素材はおそらく剥片であろう。	s=1/2
156	152	2265	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	図の中央に小形の石刃状剥片を剥離した面が見える。石核の素材は大形剥片の断片。	s=1/2
156	152	2266	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	末端辺の細かな剥離面は間接打撃に際して石核を成形したときの剥離と、石核が固定されたときの潰れ痕と推定できる。	s=1/2
156	152	2267	適用なし	適用なし	珪質頁岩	南部北上山地	単一母岩	s=1/2
157	152	2268	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	厚い剥片。石核の素材になる剥片の可能性が高い。	s=1/2
157	152	2269	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	剥離のあと、打面の残ったコーンを小さな剥離で取り除いている。右側辺の不規則剥離は事故剥離。加工ではない。	s=1/2
157	152	2270	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	背面はポジティブ面に覆われ、それをSIの小さな剥離面が切っている。石核が大形剥片であることがわかる。	s=1/2
157	152	2271	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
157	152	2272	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
157	152	2273	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	ダブルコーン。小形石核の素材となる剥片。	s=1/2
157	152	2274	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	大形の剥片を素材にした石核。図の中央手前に横長剥片を剥離した面がみえる。石核の素材を剥離した工具は径が5mm。石核素材と剥片剥離は同じ工具である。	s=1/2
157	152	2275	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	裏面はネガ面。大きな剥片を分割して、この剥片には切面が残った。この場合ネガ・ポジは意味をもたない。ここでは剥片と呼称する。	s=1/2
157	152	2276	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	大形の剥片から、さらに小形で分厚い剥片をとった残核。ここから剥がされた剥片が、さらに小形剥片を剥離する石核となる。	s=1/2
157	152	2277	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	剥片素材の石核のブランク。裏面にはダブルコーン。	s=1/2
157	152	2278	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	タンバク石でつくられる目的剥片。	s=1/2
158	152	2279	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	目的剥片の断片	s=1/2
158	152	2280	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
158	152	2281	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	小形石核の素材になる剥片。	s=1/2
158	152	2282	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	裏面の左側辺の面は大きなポジ面。	s=1/2
158	152	2283	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
158	152	2284	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
158	152	2285	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
158	152	2286	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
158	152	2287	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	小形剥片石核の素材となる剥片。	s=1/2
158	152	2288	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	小形石核の素材。	s=1/2
158	153	2289	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	未使用の石核。正面の左側辺に石核の整形剥離がみえる。	s=1/2
158	153	2290	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	大形の優美な剥片。タンバク石からは剥離することが難しい剥片。貴重品の可能性がある。	s=1/2
158	153	2291	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	大形剥片の主要剥離面から剥離された剥片。	s=1/2
159	153	2292	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	背面の手前右角に大きなポジ面の一部。	s=1/2
159	153	2293	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	底面は大きなポジ面の一部。目的剥片として剥離された可能性も高い。	s=1/2
159	153	2294	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
159	153	2295	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
159	153	2296	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
159	153	2297	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	この資料群の中で最も小さな石核。タンバク石の用途を示す重要な資料。	s=1/2
159	153	2298	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
159	153	2299	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
159	153	2300	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	小形の素材剥片の打面部分から2枚のさらに小形の剥片を剥離している。	s=1/2
—	—	2301	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	資料体から削除	—
—	—	2302	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	資料体から削除	—
159	153	2303	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
159	153	2304	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	小形剥片石核の素材。	s=1/2
159	153	2305	15	2306	タンバク石	南部北上山地	大きな剥片の打面をSIで除去。さらに折取っている可能性がある。	s=1/2
159	153	2306	15	2305	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
159	153	2307	16	2308	タンバク石	南部北上山地	大形の剥片素材の石核。背面に接合している剥片は、ここで剥離されたもの。	s=1/2
159	153	2308	16	2307	タンバク石	南部北上山地	大形剥片から剥離された石核。	s=1/2
159	153	2309	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	石核の素材はおそらく剥片。非常に脆い石質だが、きれいな並行剥離の模様を通る。両端は潰れていないこと、石質が脆いことから両極打撃ではない。	s=1/2
159	153	2310	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2

図版No	写図No	No	接合番号	接合	石材	石材産地	所見	図面縮尺
160	153	2311	17	2312	タンバク石	南部北上山地	事故割れ。	s=1/2
160	153	2312	17	2311	タンバク石	南部北上山地	事故割れ。	s=1/2
159	153	2313	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	打面をSIで除去。その剥離の開始部は曲げの剥離。背面の右の面は大きなボジ面の一部。	s=1/2
159	153	2314	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
159	153	2315	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	曲げの剥離のため、コーンが発生しなかったため、工具の径は不明。	s=1/2
159	153	2316	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
159	153	2317	適用なし	適用なし	タンバク石	南部北上山地	剥片素材の石核	s=1/2
160	154	2318	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	石核底面あり。	s=1/2
160	154	2319	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地		s=1/2
160	154	2320	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地		s=1/2
160	154	2321	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	背面に石核調整剥離あり	s=1/2
160	154	2322	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	曲げの剥離。剥離角が非常に大きい。	s=1/2
160	154	2323	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	裏面のバルブをとるようにソフトハンマーの押圧剥離で二次加工がされている。石器の未製品。	s=1/2
160	154	2324	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地		s=1/2
160	154	2325	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	背面の手前は大きなボジ面。	s=1/2
160	154	2326	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	ダブルコーン	s=1/2
160	154	2327	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	背面にP面あり	s=1/2
160	154	2328	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	SIの縦長連続剥離の資料	s=1/2
160	154	2329	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地		s=1/2
160	154	2330	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	やや大形の剥片	s=1/2
160	154	2331	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	背面にP面あり	s=1/2
160	154	2332	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地		s=1/2
160	154	2333	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地		s=1/2
161	154	2334	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地		s=1/2
161	154	2335	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地		s=1/2
161	154	2336	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	石刃状剥片	s=1/2
161	154	2337	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	加工は径3mmのSIで、チャートの工具と同じ。	s=1/2
161	154	2338	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	正面の右剥離面は大きなボジ面。石核は剥片素材	s=1/2
161	154	2339	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	剥離角が130度以上あり、両面加工石器の加工剥片の可能性ある。	s=1/2
161	154	2340	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地		s=1/2
161	154	2341	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	打面は石核の折れ面	s=1/2
161	154	2342	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	両面加工石器の剥片の可能性ある。2339と同じ剥片。	s=1/2
161	154	2343	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	背面にP面あり。四面を折取った剥片。小形剥片の石核の可能性あり。	s=1/2
161	154	2344	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	剥片素材の石核。裏面から縦長の剥片を剥離している。	s=1/2
161	154	2345	適用なし	適用なし	チャート	南部北上山地	正面の左手前角に不規則な剥離面がある。	s=1/2
161	154	2346	適用なし	適用なし	頁岩	南部北上山地	両面加工石器の剥片の可能性ある。2339と同じ剥片。	s=1/2
155	150	接1	1	2253・2254	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	150	接2	2	2209・2212	チャート	南部北上山地	180度打面転位	s=1/2
155	150	接3	3	2210・2216	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	150	接4	4	2247・2248・2249	チャート	南部北上山地		s=1/2
155	150	接5	5	2246・2262	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	150	接6	6	2250・2251・2252	チャート	南部北上山地	底面と側面に自然面	s=1/2
156	150	接7	7	2255・2256・2257	チャート	南部北上山地	背面の打面付近以外は自然面	s=1/2
156	151	接8	8	2260・2261	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	接9	9	2204・2222	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	接10	10	2203・2224	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	接11	11	2226・2233	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	接12	12	2211・2227	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	接13	13	2202・2231	チャート	南部北上山地		s=1/2
156	151	接14	14	2244・2245	チャート	南部北上山地	接合13と同一個体	s=1/2
159	153	接15	15	2305・2306	タンバク石	南部北上山地	工具径は背面から推定	s=1/2
159	153	接16	16	2307・2308	タンバク石	南部北上山地		s=1/2
160	153	接17	17	2311・2312	タンバク石	南部北上山地	事故割れ。	s=1/2
160	153	接18	18	2259・2263	砂岩	南部北上山地	資料体から削除	s=1/2

2. 黒曜石

長谷堂貝塚出土の黒曜石製石器・剥片の原材産地分析

藁科 哲男

(京都大学原子炉実験所)

はじめに

石器石材の産地を自然科学的手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光X線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石遺物の石材産地推定を行なっている^{1, 2, 3)}。地質時代に自然の力で移動した岩石の出発露頭を元素分析で求めるとき、岩石と露頭原石の組成が一致ことが必要条件で、十分条件を満たしていない。その露頭から流れた岩石であると言うことは、自然法則に従って流れたルートが証明できて、十分条件が満たされる。産地分析では『石器とある産地の原石が一致したからと言って、その産地のものと言い切れないが、一致しなかった場合その産地のものではないと言い切れる』が大原則である。人が移動させた石器の組成とA産地原石の組成が一致したからと言って、産地と出土遺跡の間に地質的関連性がないため、移動ルートが自然の法則に従って証明できず、その石器がA産地の原石と決定することができない。従って、石器原材と産地原石が一致することは、必要条件であるが十分条件を満たしていないことから、直ちに考古学の資料とならない。確かにA産地との交流で伝播した可能性は否定できなくなったが、十分条件のB、C、Dの産地でないとの証拠がないために、A産地だと言い切れない。A産地と一致しなかった場合、結果は考古学の資料として非常に有用である。それは石器に関してはA産地と交流がなかったと言い切れる。考古学は、様式が一致するという結果が非常に重要な意味があり、見える様式としての形態、文様、見えない様式として土器、青銅器、ガラスなどの素材があり一致すると言うことは古代人が意識して一致させた可能性があり、一致すると言うことは、古代人の思考が一致すると考えてもよく、相互関係を調査する重要な結果である。地質など自然科学の場合は、自然科学的方法(物理・化学的方法)に従って、産地を特定するが、分析装置を使用すれば科学的分析と誤解している科学者がみられるが、装置は物差しにすぎず、得られた結果を自然の法則に従って処理し産地を特定しなければならない。考古学者は考古学を基準にして、例えば産地が遺跡から近い、移動キャンプ地のルート上に位置する。または原産地地方との交流が石器以外の他の遺物で証明されているなどの条件を考えて、石器の石質と一致する最も近い産地の原石を肉眼観察を基準にして推測する。この結果が信用される場合は、石質の一致よりも、産地との交流を推測しても考古学条件に無理がないためである。これは、遺跡から500 km以上離れた産地の石材が石器と一致しても、遠距離の産地を言わず、近くの一致した産地しか言わないことから分かる。従って、実際に遠距離から伝播した原材でも、近くの産地のものとして処理している。日本中の産地の石材を観察すると、とても肉眼観察で産地を特定することはできないと思う。また地質学者に聞いても、とても肉眼観察で産地など特定できないと言う人が多い。石器原材の岩石名、産出産地を述べる場合客観的なデータに基づいて決定した結果を記さなければ、報告書全体が正確さを欠くように思われる。黒曜石、サヌカイトなどの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量成分組成には異同があると考えられるため、微量成分を中心に元素分析を行ない、これを産地を特定す

る指標とした。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物のそれを対比して産地を推定する。この際多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。蛍光X線分析法は試料を破壊せずに分析することができて、かつ、試料調整が単純、測定の手続きも簡単である。石器のような古代人の日用品で多数の試料を分析しなければ遺跡の正しい性格が分からないという場合にはことさらに有利な分析法である。今回分析を行なった試料は、大船渡市猪川町字中井沢78番地2ほか位置する長谷堂遺跡から出土した縄文時代中期から出土した25個の黒曜石製遺物の産地分析についての結果が得られたので報告する。

黒曜石原石の分析

黒曜石原石の風化面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光X線分析装置によって元素分析を行なう。主に分析した元素はK、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの各元素である。塊状試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り、それでもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zrの比量をそれぞれ用いる。黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に黒曜石の原産地は分布する。調査を終えた原産地を図1に示す。黒曜石原産地のほとんどすべてががつくされている。元素組成によってこれら原石を分類し表1に示す。この原石群に原産地は不明の遺物で作った遺物群を加えると170個の原石群になる。ここでは北海道地域および一部の東北地域の産地について記述すると、白滝地域の原産地は、北海道紋別郡白滝村に位置し、鹿砦北方2kmの採石場の赤石山の露頭、鹿砦東方約2kmの幌加沢地点、また白土沢、八号沢などより転礫として黒曜石が採取できる。赤石山の産地の黒曜石は色に関係無く赤石山群（旧白滝第1群）にまとまる。また、あじさいの滝の露頭からは赤石山と肉眼観察では区別できない原石が採取でき、あじさい群を作った（旧白滝第2群）、また、八号沢の黒曜石原石と白土沢の転礫は梨肌の黒曜石で組成はあじさい滝群に似るが石肌で区別できる。幌加沢よりの転礫の中で70%は幌加沢群になりあじさい滝群と元素組成から両群を区別できず、残りの30%は赤石山群に一致する。置戸産原石は、北海道常呂郡置戸町の清水の沢林道より採取され、この原石の元素組成は置戸群にまとまる。この原産地は、常呂川に通じる流域にあり、この常呂川流域で黒曜石の円礫が採取されるが現在まだ調査していない。十勝三股産原石は、北海道河東郡上士幌町の十勝三股の十三ノ沢の谷筋および沢の中より原石が採取され、この原石の元素組成は十勝三股群にまとまる。この十勝三股産原石は十三の沢から音更川さらに十勝川に流れた可能性があり、十勝川から採取される黒曜石円礫の組成は、十勝三股産の原石の組成と相互に近似している。また、上士幌町のサンケオルベ川より採取される黒曜石円礫の組成も十勝三股産原石の組成と相互に近似している。これら組成の近似した原石の原産地は区別できず、遺物石材の産地分析でたとえ、この遺物の原産地が十勝三股群に同定されたとしても、これら十勝三股、音更川、十勝川、サンケオルベ川の複数の地点を考えなければならない。しかし、この複数の産地をまとめて、十勝地域としても、古代の地域間の交流を考察する場合、問題はないと考えられる。また、清水町、新得町、鹿追町にかけて広がる美蔓台地から産出する黒曜石から2個の美蔓原石群が作られた。この原石は産地近傍の遺跡で使用されている。名寄市の智南地域、智恵文川および忠烈布貯水池から上名寄にかけて黒曜石の円礫が採集される。これらを組成で分類すると88%は名寄第一群に、また12%は名寄第二群にそれぞれなる。旭川

市の近文台、嵐山遺跡付近および雨文台北部などから採集される黒曜石の円礫は、20%が近文台第一群、69%が近文台第二群、11%が近文台第三群それぞれ分類された。また、滝川市江別乙で採集される親指大の黒曜石の礫は、組成で分類すると約79%が滝川群にまとまり、21%が近文台第二、三群に組成が一致する。滝川群に一致する組成の原石は、北竜市恵袋別川培本社からも採取される。秩父別町の雨竜川に開析された平野を見下す丘陵中腹の緩斜面から小円礫の黒曜石原石が採取される。産出状況とか礫状は滝川産黒曜石と同じで、秩父別第一群は滝川第一群に組成が一致し、第二群も滝川第二群に一致しさらに近文台第二群にも一致する。赤井川産原石は、北海道余市郡赤井川村の土木沢上流域およびこの付近の山腹より採取できる。ここの原石には、少球果の列が何層にも重なり石器の原材として良質とはいえない原石で赤井川第1群を、また、球果の非常に少ない握り拳半分大の良質な原石などで赤井川第2群を作った。これら第1、2群の元素組成は非常に似ていて、遺物を分析したときしばしば、赤井川両群に同定される。豊泉産原石は豊浦町から産出し、組成によって豊泉第1、2群の2群に区別され、豊泉第2群の原石は斑晶が少なく良質な黒曜石である。豊泉産原石の使用圏は道南地方に広がり、一部は青森県に伝播している。出来島群は青森県西津軽郡木造町七里長浜の海岸部より採取された円礫の原石で作られた群で、この出来島群と相互に似た組成の原石は、岩木山の西側を流れ鱈ヶ沢地区に流入する中村川の上流で1点採取され、また、青森市の鶴ヶ坂および西津軽郡森田村鶴ばみ地区より採取されている。青森県西津軽郡深浦町の海岸とか同町の六角沢およびこの沢筋に位置する露頭より採取された原石で六角沢群をまた、八森山産出の原石で八森山群をそれぞれ作った。深浦の両群と相互に似た群は青森市戸門地区より産出する黒曜石で作られた戸門第二群である。戸門第一群、成田群、浪岡町県民の森地区より産出の大釈迦群（旧浪岡群）は赤井川産原石の第1、2群と弁別は可能であるが原石の組成は比較的似ている。戸門、大釈迦産黒曜石の産出量は非常に少なく、希に石鏃が作れる大きさがみられる程度であるが、鷹森群は鷹森山麓の成田地区産出の黒曜石で中には5 cm大のものもみられる。また、考古学者の話題になる下湯川産黒曜石についても原石群を作った。男鹿群は秋田県男鹿市の男鹿半島の金ヶ崎温泉のあった海岸より採取された原石で作られ、男鹿半島の脇本地区で採取された原石の組成は男鹿群と相互に近似していることから、この両産地の原石の起源は同じと考えられる。岩手県の黒曜石原産地は北上川に沿った範囲に点々と見られ、雫石群は岩手郡雫石町の小赤沢地区の礫層から採取された原石で作られ、折居群は水沢市真城の折居地区の礫層より採取された円礫で作られ、花泉群は西磐井郡花泉町の払田および金沢の両地区の礫層より採取された小円礫の原石で作られた原石群である。これら岩手県の原石群の組成は相互に似ていて、これら原産地を元素組成で明確に区別できなく、遺物を分析したとえこれら岩手県下の原石群の中の一地点に同定されても、この遺物の原石産地はこれら岩手県内の複数の原産地を考えなければならない。月山群は羽黒山から月山にかけての西麓付近に点々と分布する黒曜石産出地点より採取した原石で作った群である。最近、鈴木氏より提供された黒曜石原石は、寒河江市から転礫として産出した黒曜石原石で、西北九州の中町産地の原石と組成が似るが、一致せず全く新しい組成の黒曜石と判明し、寒河江群として原石群に加えた。湯倉群は宮城県加美郡宮崎町柳瀨の湯倉真珠岩層の露頭付近で採取された原石で作られた群である。新潟県内の原産地では、佐渡島は大佐渡山地の南部に位置し、所在地は佐渡郡金井町堂林、二ツ坂地域から佐和田町との境にかかる地帯である。今回分析した黒曜石は林道工事のときに産出した円礫状の原石で、1 cmから3 cmの大きさのものが大部分で、大きな原石は長径が約10 cmのものが確認できた。現在、林道での採取は困難で、僅かに同地域の沢で少量採取できるにすぎない。この沢で採取した最大の原石は長径が約5 cmの円礫で、小型の石鏃を作るには十分の大きさである。元素比の組成の似たもので群を作ると、佐渡第一群と佐渡第二群の二つの群にまとまる。これら佐渡第一、二群は佐渡固有の群で他の産

地の原石群と区別することができる。新発田市の板山原石は牧場内に露頭があり、小粒の黒曜石は無数に採取され、牧場整備で土木工事で露出した露頭からは握り拳大の原石を採取することができた。板山産地から北方約5kmに上石川黒曜石産地があり良質の黒曜石を産出している。また、新津市の秋葉山地区から小粒の黒曜石が産出することが知られていた。また、秋葉山南方約3kmの金津地区から新たに黒曜石が産出している地点が明らかになり金津産原石で金津群を作った。この他新潟県では入広瀬村の大白川地区から採取される黒曜石は大半が親指大で肉眼的には良質であるが石器原材として使用された例はない。中信高原地域の黒曜石産地の中で、霧ヶ峰群は、長野県下諏訪町金明水、星ヶ塔、星ヶ台の地点より採取した原石でもって作られた群で、同町観音沢の露頭の実験原石も、霧ヶ峰群に一致する元素組成を示した。和田峠地域原産の原石は、星ヶ塔の西方の山に位置する旧和田峠トンネルを中心にした数百メートルの範囲より採取され、これらを元素組成で分類すると、和田峠第一、第二、第三、第四、第五、第六の各群に分かたれる。和田峠第一、第三群に分類された原石は旧トンネル付近より北側の地点より採取され、和田峠第二群のものは、トンネルの南側の原石に多くみられる。和田峠第四群は男女倉側の新トンネルの入り口、また、和田峠第五、第六群は男女倉側新トンネル入り口左側で、和田峠第一、第三の両群の産地とは逆の方向である。男女倉原産地の原石は男女倉群にまとめると組成は和田峠第五群に似る。鷹山、星ヶ塔の黒曜石の中に和田峠第一群に属する物が多数みられる。麦草峠群は大石川の上流および麦草峠より採取された原石で作られた。これら中信高原の原産地は、元素組成で和田峠、霧ヶ峰、男女倉、麦草峠の各地域に区別される。伊豆箱根地方の原産地は笛塚、畑宿、鍛冶屋、上多賀、柏峠西の各地にあり、良質の石材は、畑宿、柏峠西で斑晶の多いやや石質の悪いものは鍛冶屋、上多賀の両原産地でみられる。笛塚産のものはピッチストーン様で、石器原材としては良くないであろう。伊豆諸島の神津島原産地は砂糠崎、長浜、沢尻湾、恩馳島の各地点から黒曜石が採取され、これら原石から神津島第一群および第二群の原石群にまとめられる。浅間山の大窪沢の黒曜石は貝殻状剥離せず石器の原材料としては不適當ではあるが、考古学者の間でしばしば話題に上るため大窪沢群として遺物と比較した。

結果と考察

遺跡から出土した石器、石片は風化しているが、黒曜石製のものは風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。産地分析で水和層の影響は、軽い元素の分析ほど大きいと考えられるが、影響はほとんど見られない。Ca/K、Ti/Kの両軽元素比量を除いて産地分析を行なった場合、また除かずに産地分析を行った場合同定される原産地に差はない。他の元素比量についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやや不確かさを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。

今回分析した長谷堂貝塚出土の黒曜石製遺物の分析結果を表2に示した。石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて原石群との比較をする。説明を簡単にするためRb/Zrの一変量だけを考えると、表2の試料番号68656番の遺物ではRb/Zrの値は0.305で、折居群の[平均値]±[標準偏差値]は、 0.306 ± 0.033 である。遺物と原石群の差を標準偏差値(σ)を基準にして考えると遺物は原石群から 0.03σ 離れている。ところで折居群の原産地から100ヶの原石を採ってきて分析すると、平均値から± 0.03σ のずれより大きいものが97個ある。すなわち、この遺物が、折居群の原石から作られていたと仮定しても、 0.03σ 以上離れる確率は97%であると言える。だから、折居群の平均値から 0.03σ しか離れていない

ときには、この遺物が折居群の原石から作られたものでないとは、到底言い切れない。ところがこの遺物を男鹿金ヶ崎群と比較すると、男鹿金ヶ崎群の平均値からの隔たりは、約14σである。これを確率の言葉で表現すると、男鹿金ヶ崎群の原石を採ってきて分析したとき、平均値から14σ以上離れている確率は、百兆分の一であると言える。このように、百兆個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、男鹿金ヶ崎群の原石から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は折居群に97%の確率で帰属され、信頼限界の0.1%を満たしていることから折居産原石が使用されいると同定され、さらに男鹿金ヶ崎群に一兆分の一の低い確率で帰属され、信頼限界の0.1%に満たないことから男鹿金ヶ崎産原石でないと同定される」。遺物が一ヶ所の産地（折居産地）と一致したからと言って、例え折居群と男鹿金ヶ崎群の原石は成分が異なっている、分析している試料は原石でなく遺物で、さらに分析誤差が大きくなる不定形（非破壊分析）であることから、他の産地に一致しないとは言えない、同種岩石の中での分類である以上、他の産地にも一致する可能性は推測される。即ちある産地（折居産地）に一致したと言っても一致した産地の原石とは限らないために、帰属確率による判断を表1の170個すべての原石群について行ない、低い確率で帰属された原石群を消していくことにより、はじめて折居群の産地の石材が使用されていると判定される。実際はRb/Zrといった唯一の変量だけでなく、前述した8ヶの変量で取り扱うので変量間の相関を考慮しなければならない。例えばA原産地のA群で、Ca元素とRb元素との間に相関があり、Caの量を計ればRbの量は分析しなくても分かるようなときは、A群の石材で作られた遺物であれば、A群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Rb量も一致するはずである。したがって、もしRb量だけが少しずれている場合には、この試料はA群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行なうホテリングのT²検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて産地を同定する^{4, 5)}。産地の同定結果は1個の遺物に対して、黒曜石製では170個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果については低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略しているが、本研究ではこれら産地の可能性が非常に低いことを確認したという非常に重要な意味を含んでいる、すなわち、折居産原石と判定された遺物について、カムチャッカ産原石とかロシア、北朝鮮の遺跡で使用されている原石および信州和田峠産の原石の可能性を考える必要がない結果で、高い確率で同定された産地のみの結果を表3に記入した。原石群を作った原石試料は直径3 cm以上であるが、多数の試料を処理するために、小さな遺物試料の分析に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。このため、得られた遺物の測定値には、大きな誤差範囲が含まれ、ときには原石群の元素組成のバラツキの範囲を越えて大きくなる。したがって、小さな遺物の産地推定を行なったときに、判定の信頼限界としている0.1%に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、原石産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離D²の値を記した。表3の原石産地（確率）の欄のなかで、分析番号68677の遺物が【花泉(0.4%)・・・】と記されている確率は、遺物が被熱?のためか異常に風化しカリウムが大きく分析されたために、Ca/K、Ti/Kの両軽元素比量を除いて産地分析を行った結果で、表1の170個の原石群の中で最も確率が高く同定された産地は隕石系の花泉であった。今回分析した結果の中で最も多く使用されている産地は、地元、隕石系の黒曜石で、北上川に沿った範囲に点々と見られ、隕石群は隕石町の小赤沢地区礫層、折居群は水沢市真城折居地区礫層、花泉群は花泉町の払田、金沢両地区礫層より採取された原石で作られた原石群で、相互に似た組成の黒曜石である。相互に似た組成であるために、例えば、同じ黒曜石製遺物の分析場所を変えて、10回分析したとすると、最も高い確率

で同定される原石群は一回目は折居、二回目は雫石、三回目は花泉かも、一回目が花泉かもしれない。重要なことは、表1の170群から折居、雫石、花泉を除いた他の167の原石群の原石でないと切り切れるということである。また、男鹿脇本、金ヶ崎産黒曜石も組成が似ていて区別明確に区別できない場合が多く、複数の産地に同時に同定された遺物は、判定の欄にはたまたま最も確率の高い確率で同定された産地の群名を記した。長谷堂貝塚遺跡出土の黒曜石製遺物の中で、最も使用されている、雫石系（折居、花泉、雫石）の原石は19個（76％）で、男鹿産（脇本、金ヶ崎）は4個（16％）、月山産が1個（4％）使用されていた。雫石系の黒曜石が北上川流域の礫層から採取されることから、長谷堂貝塚に持ち込まれた雫石系の黒曜石は現在調査をした産地以外から搬入された可能性も十分考えられることから、今後、雫石系の黒曜石が採取できる礫層の分布を考古学者自身で発見し、原石を採取し私達が分析し雫石系原石の分布範囲を決定することが必要と思われる。また、男鹿半島、金ヶ崎・脇本で産出する黒曜石が使用されていることから、日本海側との交流も推測され、さらに、月山産の原石も見られることから、山形県南部地域の生活情報も本遺跡に伝播している可能性を推測しても、産地分析の結果と矛盾しない。

参考文献

- 1) 藁科哲男・東村武信(1975)、蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定(II)。考古学と自然科学、8：61-69
- 2) 藁科哲男・東村武信・鎌木義昌(1977),(1978)、蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定(III)。(IV)。考古学と自然科学、10、11：53-81：33-47
- 3) 藁科哲男・東村武信(1983)、石器原材の産地分析。考古学と自然科学、16：59-89
- 4) 東村武信(1976)、産地推定における統計的手法。考古学と自然科学、9：77-90
- 5) 東村武信(1990)、考古学と物理化学。学生社

表1-1 各黒輝石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	元 素 比										
			Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K	
北海道	名寄第一	114	0.478±0.011	0.121±0.005	0.035±0.007	2.011±0.063	0.614±0.032	0.574±0.022	0.120±0.017	0.024±0.016	0.033±0.002	0.451±0.010	
	名寄第二	35	0.309±0.015	0.103±0.005	0.021±0.006	1.774±0.055	0.696±0.044	0.265±0.011	0.301±0.022	0.026±0.020	0.028±0.007	0.394±0.010	
	白滝地区	赤石山	130	0.173±0.014	0.061±0.003	0.079±0.013	2.714±0.142	1.340±0.059	0.283±0.019	0.341±0.030	0.073±0.026	0.028±0.002	0.374±0.010
		八号沢	30	0.138±0.010	0.022±0.002	0.105±0.017	3.123±0.127	1.846±0.065	0.105±0.019	0.475±0.045	0.076±0.046	0.027±0.008	0.359±0.042
		幌加沢	23	0.139±0.009	0.023±0.001	0.099±0.015	2.975±0.102	1.794±0.077	0.104±0.010	0.470±0.037	0.103±0.027	0.027±0.002	0.369±0.007
		あじさい滝	29	0.142±0.010	0.023±0.001	0.101±0.014	3.038±0.125	1.787±0.076	0.115±0.015	0.457±0.035	0.076±0.044	0.027±0.005	0.365±0.011
	近文台	第一	30	0.819±0.013	0.165±0.006	0.081±0.010	3.266±0.117	0.604±0.031	0.941±0.030	0.165±0.020	0.039±0.016	0.039±0.002	0.457±0.008
		第二	107	0.517±0.011	0.099±0.005	0.067±0.090	2.773±0.097	0.812±0.037	0.818±0.034	0.197±0.024	0.041±0.019	0.035±0.002	0.442±0.009
	〃	第三	17	0.514±0.012	0.098±0.005	0.066±0.014	2.765±0.125	0.814±0.068	0.815±0.042	0.199±0.039	0.078±0.008	0.034±0.002	0.443±0.011
	秩父別	第一	51	0.249±0.017	0.122±0.006	0.078±0.011	1.614±0.068	0.995±0.037	0.458±0.023	0.235±0.024	0.023±0.021	0.022±0.004	0.334±0.013
		第二	25	0.506±0.016	0.098±0.005	0.070±0.011	2.750±0.099	0.805±0.042	0.808±0.032	0.197±0.026	0.027±0.016	0.027±0.003	0.371±0.010
	滝川	第一	31	0.253±0.018	0.122±0.006	0.077±0.009	1.613±0.090	1.017±0.045	0.459±0.025	0.233±0.029	0.038±0.018	0.025±0.003	0.370±0.023
		第二	15	0.510±0.015	0.098±0.005	0.068±0.009	2.740±0.072	0.802±0.019	0.812±0.019	0.192±0.026	0.032±0.023	0.030±0.004	0.393±0.031
	置戸・所山	第一	65	0.326±0.008	0.128±0.005	0.045±0.008	1.813±0.062	0.824±0.034	0.454±0.020	0.179±0.023	0.044±0.020	0.030±0.002	0.412±0.010
		置戸・置戸	58	0.464±0.016	0.138±0.005	0.049±0.008	1.726±0.072	0.449±0.024	0.407±0.023	0.133±0.019	0.026±0.014	0.032±0.003	0.456±0.010
	ケシヨマップ	第一	68	0.575±0.056	0.110±0.011	0.051±0.011	2.555±0.086	0.595±0.058	0.636±0.027	0.167±0.027	0.037±0.020	0.030±0.003	0.397±0.013
		第二	65	0.676±0.011	0.145±0.005	0.056±0.014	2.631±0.126	0.606±0.030	0.712±0.032	0.170±0.028	0.030±0.013	0.030±0.003	0.392±0.010
	十勝	十勝三股	60	0.256±0.018	0.074±0.005	0.068±0.010	2.281±0.087	1.097±0.055	0.434±0.023	0.334±0.029	0.064±0.025	0.029±0.002	0.396±0.013
		美蔓第一	41	0.499±0.020	0.124±0.007	0.052±0.010	2.635±0.181	0.802±0.061	0.707±0.044	0.199±0.029	0.039±0.023	0.033±0.002	0.442±0.015
	〃	第二	28	0.593±0.036	0.144±0.012	0.056±0.010	3.028±0.251	0.762±0.040	0.764±0.051	0.197±0.026	0.038±0.022	0.034±0.002	0.449±0.009
	赤井川	第一	50	0.254±0.029	0.070±0.004	0.086±0.010	2.213±0.104	0.969±0.060	0.428±0.021	0.249±0.024	0.058±0.023	0.027±0.002	0.371±0.009
		第二	30	0.258±0.065	0.072±0.002	0.080±0.010	2.207±0.083	0.970±0.045	0.436±0.026	0.245±0.021	0.021±0.029	0.025±0.007	0.371±0.007
	豊泉	第一	75	0.473±0.019	0.148±0.007	0.060±0.015	1.764±0.072	0.438±0.027	0.607±0.028	0.157±0.020	0.025±0.017	0.032±0.002	0.469±0.013
第二		40	0.377±0.009	0.133±0.006	0.055±0.008	1.723±0.066	0.516±0.019	0.513±0.018	0.177±0.016	0.007±0.015	0.030±0.005	0.431±0.010	
青森県	折腰内	35	0.190±0.015	0.075±0.003	0.040±0.008	1.575±0.066	1.241±0.046	0.318±0.014	0.141±0.033	0.076±0.021	0.024±0.002	0.348±0.010	
		27	0.346±0.022	0.132±0.007	0.231±0.019	2.268±0.085	0.865±0.044	1.106±0.056	0.399±0.038	0.179±0.031	0.038±0.003	0.499±0.013	
	深浦	六角沢	36	0.080±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.002	0.064±0.007	0.035±0.004	0.026±0.002	0.379±0.010
		八角森	41	0.077±0.005	0.098±0.003	0.013±0.002	0.701±0.018	0.134±0.005	0.002±0.002	0.070±0.005	0.034±0.006	0.027±0.005	0.384±0.009
	青森市	戸門第一	28	0.250±0.024	0.069±0.003	0.068±0.012	2.358±0.257	1.168±0.062	0.521±0.063	0.277±0.065	0.076±0.025	0.026±0.002	0.362±0.015
		〃第二	28	0.084±0.006	0.104±0.004	0.013±0.002	0.691±0.021	0.123±0.006	0.002±0.002	0.069±0.010	0.033±0.005	0.025±0.002	0.369±0.007
	鶴ヶ坂	鷹森	33	0.344±0.017	0.132±0.007	0.232±0.023	2.261±0.143	0.861±0.052	1.081±0.060	0.390±0.039	0.186±0.037	0.037±0.002	0.496±0.018
		鷹森山	47	0.252±0.017	0.068±0.009	0.079±0.033	2.548±0.131	1.149±0.069	0.568±0.108	0.288±0.037	0.049±0.036	0.028±0.005	0.383±0.018
	下湯川	大釈迦	36	9.673±0.479	2.703±0.149	3.267±0.217	21.648±1.500	0.090±0.021	1.708±0.102	0.155±0.015	0.169±0.031	0.053±0.042	0.858±0.088
		大釈迦	67	0.253±0.016	0.067±0.008	0.077±0.029	2.519±0.148	1.147±0.065	0.558±0.087	0.286±0.035	0.047±0.040	0.028±0.003	0.385±0.018
秋田県	男鹿	金ヶ崎	43	0.294±0.009	0.087±0.004	0.220±0.018	1.644±0.081	1.493±0.081	0.930±0.043	0.287±0.039	0.098±0.040	0.029±0.002	0.368±0.008
		脇本	45	0.295±0.008	0.087±0.004	0.219±0.017	1.671±0.077	1.503±0.072	0.939±0.054	0.286±0.045	0.108±0.034	0.028±0.006	0.367±0.009

表1-2 各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地		分析 個数	元 素 比										
原 石 群 名			Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K	
山形県	月 山	44	0.285±0.021	0.123±0.007	0.182±0.016	1.906±0.096	0.966±0.069	1.022±0.071	0.276±0.036	0.119±0.033	0.033±0.002	0.443±0.014	
	寒 河 江	48	0.385±0.008	0.116±0.005	0.049±0.017	1.806±0.054	0.580±0.025	0.441±0.023	0.212±0.020	0.056±0.015	0.033±0.003	0.460±0.010	
岩手県	雫 石	25	0.636±0.033	0.187±0.012	0.052±0.007	1.764±0.061	0.305±0.016	0.431±0.021	0.209±0.016	0.045±0.014	0.041±0.003	0.594±0.014	
	折 居	22	0.615±0.055	0.180±0.016	0.058±0.007	1.751±0.062	0.306±0.033	0.421±0.051	0.228±0.079	0.045±0.011	0.041±0.005	0.594±0.055	
	花 泉	30	0.596±0.046	0.177±0.018	0.056±0.008	1.742±0.072	0.314±0.019	0.420±0.025	0.220±0.016	0.044±0.013	0.041±0.003	0.586±0.030	
宮城県	湯 倉	21	2.174±0.068	0.349±0.017	0.057±0.005	2.544±0.149	0.116±0.009	0.658±0.024	0.138±0.015	0.020±0.013	0.073±0.003	0.956±0.040	
	塩 釜	37	4.828±0.395	1.630±0.104	0.178±0.017	11.362±1.150	0.168±0.018	1.298±0.063	0.155±0.016	0.037±0.018	0.077±0.002	0.720±0.032	
栃木県	高 原 山	40	0.738±0.067	0.200±0.010	0.044±0.007	2.016±0.110	0.381±0.025	0.502±0.028	0.190±0.017	0.023±0.014	0.036±0.002	0.516±0.012	
東京都	神津島第一津	56	0.381±0.014	0.136±0.005	0.102±0.011	1.729±0.079	0.471±0.027	0.689±0.037	0.247±0.021	0.090±0.026	0.036±0.003	0.504±0.012	
	“ 第二島	23	0.317±0.016	0.120±0.008	0.114±0.014	1.833±0.069	0.615±0.039	0.656±0.050	0.303±0.034	0.107±0.026	0.033±0.002	0.471±0.009	
	長 根	40	0.318±0.020	0.120±0.005	0.118±0.014	1.805±0.096	0.614±0.036	0.664±0.045	0.291±0.029	0.093±0.039	0.034±0.006	0.476±0.012	
神奈川県	箱根・笛塚	30	6.765±0.254	2.219±0.057	0.228±0.019	9.282±0.622	0.048±0.017	1.757±0.061	0.252±0.017	0.025±0.019	0.140±0.008	1.528±0.046	
	“ ・畑宿	41	2.056±0.064	0.669±0.019	0.076±0.007	2.912±0.104	0.062±0.007	0.680±0.029	0.202±0.011	0.011±0.010	0.080±0.005	1.126±0.031	
	鍛 冶 屋	31	1.663±0.071	0.381±0.019	0.056±0.007	2.139±0.097	0.073±0.008	0.629±0.025	0.154±0.009	0.011±0.009	0.067±0.005	0.904±0.020	
静岡県	上 多 賀	31	1.329±0.078	0.294±0.018	0.041±0.006	1.697±0.068	0.087±0.009	0.551±0.023	0.138±0.011	0.010±0.009	0.059±0.004	0.856±0.018	
	柏 峠 西	35	1.213±0.164	0.314±0.028	0.031±0.004	1.699±0.167	0.113±0.007	0.391±0.022	0.143±0.007	0.009±0.009	0.047±0.004	0.663±0.020	
	小 豆 峠	40	0.110±0.008	0.052±0.004	0.297±0.038	3.211±0.319	0.829±0.089	0.154±0.030	0.547±0.054	0.087±0.057	0.025±0.014	0.429±0.016	
富山県	魚 津	12	0.278±0.013	0.065±0.004	0.064±0.008	2.084±0.095	0.906±0.057	0.641±0.046	0.194±0.014	0.102±0.021	0.027±0.002	0.372±0.009	
	高岡市	二上山第一	36	0.319±0.017	0.113±0.006	0.040±0.008	1.720±0.080	0.740±0.052	0.665±0.029	0.121±0.026	0.047±0.031	0.015±0.014	0.392±0.018
		“ 第二	40	0.710±0.017	0.202±0.008	0.054±0.011	1.994±0.152	0.413±0.028	0.840±0.050	0.118±0.025	0.051±0.031	0.020±0.020	0.599±0.024
“ 第三		45	0.441±0.052	0.108±0.014	0.079±0.021	2.251±0.138	0.794±0.155	1.222±0.088	0.127±0.041	0.067±0.053	0.015±0.014	0.412±0.025	
長野県	霧ヶ峰	171	0.138±0.009	0.066±0.003	0.104±0.011	1.339±0.057	1.076±0.047	0.360±0.023	0.275±0.030	0.112±0.023	0.026±0.002	0.361±0.013	
	和田峠第一	143	0.167±0.028	0.049±0.008	0.117±0.011	1.346±0.085	1.853±0.124	0.112±0.056	0.409±0.048	0.139±0.026	0.025±0.002	0.355±0.016	
	“ 第二	17	0.146±0.003	0.032±0.003	0.151±0.010	1.461±0.039	2.449±0.135	0.036±0.012	0.517±0.044	0.186±0.025	0.027±0.002	0.368±0.007	
	“ 第三	62	0.248±0.048	0.064±0.012	0.114±0.011	1.520±0.182	1.673±0.140	0.274±0.104	0.374±0.048	0.122±0.024	0.025±0.003	0.348±0.017	
	“ 第四	37	0.144±0.017	0.063±0.004	0.094±0.009	1.373±0.085	1.311±0.037	0.206±0.030	0.263±0.038	0.090±0.022	0.023±0.002	0.331±0.019	
	“ 第五	47	0.176±0.019	0.075±0.010	0.073±0.011	1.282±0.086	1.053±0.196	0.275±0.058	0.184±0.042	0.066±0.023	0.021±0.002	0.306±0.013	
	“ 第六	53	0.156±0.011	0.055±0.005	0.095±0.012	1.333±0.064	1.523±0.093	0.134±0.031	0.279±0.039	0.010±0.017	0.021±0.002	0.313±0.012	
	鷹山・和田	53	0.138±0.004	0.042±0.002	0.123±0.010	1.259±0.041	1.978±0.067	0.045±0.010	0.442±0.039	0.142±0.022	0.026±0.002	0.360±0.010	
	男女倉	119	0.223±0.026	0.102±0.010	0.059±0.008	1.169±0.081	0.701±0.109	0.409±0.052	0.128±0.024	0.053±0.017	0.026±0.002	0.354±0.008	
	麦草峠	68	0.263±0.020	0.138±0.011	0.049±0.008	1.403±0.069	0.532±0.048	0.764±0.031	0.101±0.018	0.056±0.016	0.029±0.002	0.401±0.017	
	双子池	83	0.252±0.027	0.129±0.007	0.059±0.010	1.630±0.179	0.669±0.052	0.802±0.058	0.111±0.024	0.037±0.032	0.027±0.007	0.401±0.011	
	大窪沢	42	1.481±0.117	0.466±0.021	0.042±0.006	2.005±0.135	0.182±0.011	0.841±0.044	0.105±0.010	0.009±0.008	0.033±0.005	0.459±0.012	
	横 川	41	3.047±0.066	1.071±0.026	0.115±0.015	7.380±0.366	0.158±0.016	0.833±0.040	0.186±0.015	0.023±0.012	0.045±0.005	0.513±0.021	

表 1-3 各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	元 素 比										
			Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K	
新潟県	佐渡第一	34	0.228±0.013	0.078±0.006	0.020±0.005	1.492±0.079	0.821±0.047	0.288±0.018	0.142±0.018	0.049±0.017	0.024±0.004	0.338±0.013	
	“第二	12	0.263±0.032	0.097±0.018	0.020±0.006	1.501±0.053	0.717±0.106	0.326±0.029	0.091±0.022	0.046±0.015	0.026±0.002	0.338±0.009	
	上石川	45	0.321±0.007	0.070±0.003	0.069±0.011	2.051±0.070	0.981±0.042	0.773±0.034	0.182±0.023	0.038±0.027	0.026±0.007	0.359±0.009	
	板山	44	0.232±0.011	0.068±0.003	0.169±0.017	2.178±0.110	1.772±0.098	0.772±0.046	0.374±0.047	0.154±0.034	0.027±0.002	0.359±0.009	
	大白川	22	0.569±0.012	0.142±0.007	0.033±0.005	1.608±0.049	0.261±0.012	0.332±0.011	0.150±0.015	0.033±0.011	0.036±0.003	0.491±0.014	
	大金津	46	0.331±0.011	0.097±0.037	0.030±0.007	1.711±0.066	0.618±0.027	0.283±0.012	0.181±0.016	0.035±0.018	0.027±0.009	0.402±0.012	
	金羽根	55	0.163±0.019	0.053±0.005	0.099±0.011	1.354±0.058	1.615±0.063	0.084±0.012	0.309±0.036	0.100±0.028	0.023±0.007	0.340±0.030	
石川県	比那	17	0.370±0.014	0.087±0.004	0.060±0.009	2.699±0.167	0.639±0.028	0.534±0.023	0.172±0.028	0.052±0.018	0.032±0.002	0.396±0.017	
福井県	安島	21	0.407±0.007	0.123±0.005	0.038±0.006	1.628±0.051	0.643±0.041	0.675±0.030	0.113±0.020	0.061±0.016	0.032±0.002	0.450±0.010	
	三里山	21	0.350±0.018	0.123±0.008	0.036±0.006	1.561±0.081	0.608±0.031	0.798±0.039	0.069±0.020	0.062±0.013	0.028±0.002	0.381±0.008	
島根県	加茂	20	0.166±0.006	0.093±0.008	0.014±0.003	0.899±0.031	0.278±0.017	0.009±0.003	0.061±0.015	0.154±0.018	0.020±0.001	0.249±0.016	
	津井	30	0.161±0.008	0.132±0.182	0.015±0.003	0.940±0.041	0.301±0.014	0.015±0.005	0.060±0.013	0.144±0.008	0.020±0.002	0.244±0.008	
	久見	31	0.145±0.006	0.061±0.003	0.021±0.004	0.980±0.023	0.386±0.011	0.007±0.003	0.109±0.013	0.238±0.011	0.023±0.002	0.315±0.006	
福岡県	八女昭和溜池	68	0.261±0.010	0.211±0.007	0.033±0.003	0.798±0.027	0.326±0.013	0.283±0.015	0.071±0.009	0.034±0.008	0.024±0.006	0.279±0.009	
佐賀県	中野第一群	39	0.267±0.007	0.087±0.003	0.027±0.005	1.619±0.083	0.628±0.028	0.348±0.015	0.103±0.018	0.075±0.018	0.023±0.007	0.321±0.011	
	“第二群	40	0.345±0.007	0.104±0.003	0.027±0.005	1.535±0.039	0.455±0.017	0.397±0.014	0.069±0.016	0.059±0.014	0.026±0.008	0.328±0.008	
	梅野	39	0.657±0.014	0.202±0.006	0.071±0.013	4.239±0.205	1.046±0.065	1.269±0.058	0.104±0.032	0.380±0.047	0.028±0.005	0.345±0.009	
	腰岳	26	0.214±0.015	0.029±0.001	0.076±0.012	2.694±0.110	1.686±0.085	0.441±0.030	0.293±0.039	0.257±0.029	0.027±0.002	0.356±0.008	
	椎葉川	59	0.414±0.009	0.071±0.003	0.101±0.017	2.947±0.142	1.253±0.081	2.015±0.099	0.147±0.035	0.255±0.040	0.030±0.007	0.388±0.009	
	松尾第一群	40	0.600±0.067	0.153±0.029	0.125±0.018	4.692±0.369	1.170±0.114	2.023±0.122	0.171±0.032	0.255±0.037	0.032±0.003	0.376±0.008	
	“第二群	40	0.953±0.027	0.307±0.010	0.126±0.013	6.666±0.342	0.856±0.070	1.907±0.119	0.147±0.029	0.194±0.028	0.033±0.008	0.383±0.010	
長崎県	老岐島	久喜ノ辻	37	0.172±0.009	0.066±0.002	0.030±0.005	1.176±0.043	0.385±0.012	0.011±0.004	0.135±0.018	0.354±0.014	0.023±0.002	0.276±0.007
		君ヶ浦	28	0.174±0.007	0.065±0.002	0.033±0.006	1.174±0.035	0.389±0.012	0.013±0.005	0.129±0.014	0.356±0.012	0.023±0.003	0.275±0.008
		角川	28	0.146±0.009	0.038±0.002	0.059±0.009	1.691±0.100	1.726±0.085	0.035±0.008	0.344±0.040	0.717±0.047	0.023±0.002	0.338±0.010
		貝畑	49	0.135±0.010	0.037±0.002	0.056±0.009	1.746±0.073	1.834±0.064	0.022±0.013	0.334±0.046	0.714±0.040	0.021±0.009	0.339±0.015
	松浦	第一	23	0.218±0.010	0.029±0.002	0.085±0.013	2.692±0.125	1.674±0.064	0.439±0.027	0.284±0.047	0.266±0.028	0.027±0.002	0.359±0.012
		“第二	17	0.176±0.016	0.030±0.004	0.062±0.022	2.364±0.389	1.607±0.245	0.308±0.074	0.277±0.056	0.210±0.050	0.026±0.002	0.361±0.010
		“第三	16	0.245±0.019	0.060±0.006	0.045±0.012	1.975±0.240	0.878±0.099	0.421±0.081	0.130±0.030	0.145±0.023	0.026±0.002	0.358±0.013
		“第四	22	0.287±0.019	0.067±0.004	0.044±0.007	1.906±0.106	0.765±0.074	0.484±0.034	0.115±0.023	0.117±0.018	0.028±0.001	0.367±0.007
		淀姫	44	0.334±0.014	0.080±0.004	0.044±0.009	1.744±0.069	0.533±0.030	0.485±0.039	0.094±0.022	0.119±0.017	0.027±0.002	0.353±0.011
		中町第一	25	0.248±0.017	0.058±0.008	0.057±0.007	1.884±0.085	0.832±0.092	0.403±0.026	0.112±0.021	0.152±0.017	0.026±0.002	0.363±0.007
		“第二	17	0.327±0.030	0.080±0.017	0.045±0.007	1.832±0.074	0.653±0.088	0.488±0.030	0.090±0.030	0.093±0.023	0.027±0.002	0.358±0.012
		古里第一	40	0.192±0.020	0.027±0.003	0.080±0.016	2.699±0.215	1.780±0.164	0.413±0.065	0.312±0.056	0.259±0.040	0.027±0.002	0.358±0.008
		“第二	22	0.414±0.012	0.073±0.006	0.102±0.015	2.898±0.204	1.221±0.094	1.951±0.124	0.133±0.047	0.261±0.034	0.031±0.002	0.383±0.010
		“第三	19	0.257±0.035	0.062±0.009	0.054±0.009	1.939±0.131	0.812±0.113	0.436±0.052	0.101±0.029	0.145±0.037	0.028±0.002	0.364±0.011
		松岳	43	0.941±0.009	0.054±0.005	0.040±0.008	1.686±0.114	0.833±0.058	0.251±0.025	0.192±0.032	0.124±0.039	0.018±0.011	0.331±0.017
大崎	25	0.161±0.011	0.051±0.002	0.037±0.006	1.718±0.056	0.948±0.030	0.179±0.018	0.191±0.026	0.137±0.019	0.024±0.002	0.340±0.006		

表1-4 各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地		分析 個数	元 素 比									
原 石 群 名			Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
大分県	観音崎	41	0.216±0.017	0.045±0.003	0.428±0.057	6.897±0.806	1.829±0.220	1.572±0.180	0.325±0.088	0.622±0.099	0.035±0.002	0.418±0.011
	姫島地域	33	0.221±0.021	0.045±0.003	0.450±0.061	7.248±0.668	1.917±0.194	1.660±0.173	0.355±0.057	0.669±0.105	0.035±0.002	0.419±0.009
	* // 第二	32	0.634±0.047	0.140±0.013	0.194±0.026	4.399±0.322	0.614±0.077	3.162±0.189	0.144±0.031	0.240±0.041	0.038±0.002	0.451±0.011
	* // 第三	10	1.013±0.140	0.211±0.026	0.126±0.016	3.491±0.231	0.305±0.067	4.002±0.174	0.109±0.021	0.137±0.028	0.040±0.004	0.471±0.017
	* オイ崎	29	1.074±0.110	0.224±0.024	0.122±0.012	3.460±0.301	0.286±0.048	4.010±0.197	0.101±0.022	0.133±0.025	0.040±0.003	0.469±0.014
	* 稲積	25	0.653±0.066	0.141±0.016	0.189±0.030	4.398±0.425	0.605±0.096	3.234±0.264	0.151±0.033	0.245±0.050	0.037±0.002	0.448±0.015
	塚瀬	30	0.313±0.023	0.127±0.009	0.065±0.010	1.489±0.124	0.600±0.051	0.686±0.082	0.175±0.018	0.102±0.020	0.028±0.002	0.371±0.009
	荻台地	50	1.615±0.042	0.670±0.013	0.096±0.008	5.509±0.269	0.284±0.031	1.526±0.053	0.097±0.016	0.032±0.018	0.032±0.005	0.310±0.011
	緒方下尾平	64	0.482±0.036	0.286±0.015	0.051±0.008	1.361±0.095	0.303±0.019	0.712±0.043	0.089±0.018	0.055±0.021	0.012±0.010	0.288±0.016
	熊本県	小国	30	0.317±0.023	0.127±0.005	0.063±0.007	1.441±0.070	0.611±0.032	0.703±0.044	0.175±0.233	0.097±0.017	0.023±0.002
南関		30	0.261±0.016	0.214±0.007	0.034±0.003	0.788±0.033	0.326±0.012	0.278±0.015	0.069±0.012	0.031±0.009	0.021±0.002	0.243±0.008
轟		44	0.258±0.009	0.214±0.006	0.033±0.005	0.794±0.078	0.329±0.017	0.275±0.010	0.066±0.011	0.033±0.009	0.020±0.003	0.243±0.008
冠ヶ岳		21	0.261±0.012	0.211±0.008	0.032±0.003	0.780±0.038	0.324±0.011	0.279±0.017	0.064±0.011	0.037±0.006	0.025±0.002	0.277±0.009
一ノ宮滝室		32	1.381±0.013	0.641±0.009	0.100±0.006	6.845±0.178	0.316±0.022	1.319±0.039	0.099±0.013	0.038±0.014	0.021±0.008	0.227±0.006
一ノ宮坂梨		63	1.597±0.098	0.732±0.046	0.097±0.008	6.690±0.314	0.282±0.022	1.316±0.051	0.102±0.013	0.037±0.015	0.024±0.011	0.257±0.021
箱石峠		84	0.791±0.082	0.279±0.009	0.045±0.005	1.208±0.023	0.279±0.018	0.811±0.046	0.046±0.012	0.029±0.014	0.031±0.009	0.366±0.033
大柿		53	1.542±0.125	0.670±0.033	0.089±0.010	4.894±0.474	0.279±0.028	1.432±0.089	0.094±0.013	0.027±0.016	0.031±0.008	0.312±0.011
白浜	78	0.208±0.021	0.101±0.009	0.024±0.006	1.382±0.086	1.021±0.099	0.351±0.037	0.162±0.027	0.027±0.022	0.022±0.007	0.317±0.009	
宮崎県	桑ノ木津留											
	〃 第一群	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.070±0.009	1.521±0.075	1.080±0.048	0.418±0.020	0.266±0.034	0.063±0.024	0.020±0.003	0.314±0.011
	〃 第二群	33	0.261±0.015	0.094±0.006	0.066±0.010	1.743±0.095	1.242±0.060	0.753±0.039	0.205±0.029	0.047±0.036	0.022±0.002	0.323±0.019
霧島	36	35.158±1.118	5.001±0.175	0.041±0.002	0.038±0.002	0.009±0.004	0.155±0.005	0.035±0.019	0.000±0.000	0.035±0.019	0.446±0.022	
鹿児島県	間根ヶ平											
	〃 第一群	45	0.186±0.010	0.083±0.005	0.047±0.008	1.611±0.079	0.948±0.055	0.340±0.032	0.281±0.031	0.041±0.032	0.022±0.008	0.358±0.014
	〃 第二群	45	0.247±0.018	0.106±0.006	0.047±0.008	1.488±0.074	0.768±0.034	0.428±0.049	0.235±0.020	0.039±0.027	0.024±0.008	0.378±0.013
	〃 第三群	42	0.584±0.012	0.176±0.005	0.037±0.007	1.484±0.097	0.449±0.031	0.675±0.049	0.143±0.023	0.036±0.022	0.023±0.014	0.390±0.019
	日東	42	0.262±0.018	0.143±0.006	0.022±0.004	1.178±0.040	0.712±0.028	0.408±0.025	0.100±0.018	0.029±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	五女木	37	0.266±0.021	0.140±0.006	0.019±0.003	1.170±0.064	0.705±0.027	0.405±0.021	0.108±0.015	0.028±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	上牛鼻	41	1.629±0.098	0.804±0.037	0.053±0.006	3.342±0.215	0.188±0.013	1.105±0.056	0.087±0.009	0.022±0.009	0.036±0.002	0.391±0.011
	平木場	34	1.944±0.054	0.912±0.028	0.062±0.005	3.975±0.182	0.184±0.011	1.266±0.049	0.093±0.010	0.021±0.010	0.038±0.003	0.408±0.010
	竜ヶ水	28	0.514±0.032	0.167±0.008	0.063±0.009	1.524±0.079	0.619±0.038	0.719±0.054	0.115±0.019	0.082±0.016	0.037±0.003	0.523±0.009
	長谷	30	0.553±0.032	0.137±0.006	0.065±0.010	1.815±0.062	0.644±0.028	0.553±0.029	0.146±0.021	0.066±0.020	0.037±0.003	0.524±0.012
台湾	台東山脈	37	0.510±0.010	0.198±0.007	0.038±0.007	1.862±0.079	0.353±0.019	0.519±0.017	0.123±0.012	0.024±0.017	0.029±0.007	0.407±0.010
ロシア	カムチャッカ	72	0.473±0.012	0.166±0.007	0.046±0.007	1.572±0.059	0.199±0.011	0.497±0.016	0.126±0.011	0.009±0.014	0.039±0.010	0.460±0.030

表1-5 各黒曜石の原産地における黒曜石製遺物群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地 原 石 群 名	分析 個数	元 素 比										
		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K	
北海道	H S 1 遺物群	67	0.241±0.021	0.107±0.005	0.018±0.006	1.296±0.077	0.430±0.016	0.153±0.009	0.140±0.015	0.008±0.013	0.018±0.012	0.325±0.042
	H S 2 遺物群	60	0.453±0.011	0.135±0.008	0.041±0.008	1.765±0.075	0.448±0.021	0.419±0.019	0.130±0.015	0.015±0.019	0.034±0.010	0.500±0.015
	F R 1 遺物群	51	0.643±0.012	0.124±0.008	0.052±0.007	2.547±0.143	0.530±0.032	0.689±0.032	0.156±0.015	0.004±0.008	0.029±0.011	0.407±0.047
	F R 2 遺物群	59	0.535±0.061	0.106±0.012	0.053±0.009	2.545±0.138	0.557±0.051	0.685±0.029	0.165±0.021	0.016±0.022	0.027±0.009	0.373±0.043
	F R 3 遺物群	37	0.380±0.037	0.084±0.007	0.052±0.009	2.548±0.145	0.586±0.056	0.681±0.033	0.164±0.021	0.017±0.023	0.023±0.006	0.292±0.037
	F R 4 遺物群	44	0.261±0.043	0.074±0.010	0.051±0.008	2.500±0.117	0.639±0.057	0.679±0.032	0.155±0.021	0.009±0.017	0.018±0.008	0.258±0.036
	F H 1 遺物群	32	0.898±0.032	0.221±0.007	0.054±0.006	2.540±0.101	0.426±0.018	0.802±0.023	0.109±0.013	0.017±0.021	0.037±0.003	0.447±0.011
	K T 1 遺物群	56	1.103±0.050	0.146±0.007	0.081±0.008	2.942±0.133	0.314±0.053	0.775±0.082	0.133±0.016	0.019±0.021	0.043±0.007	0.516±0.015
	K T 2 遺物群	38	0.959±0.027	0.154±0.005	0.085±0.010	2.882±0.092	0.542±0.028	1.111±0.040	0.107±0.015	0.012±0.016	0.042±0.008	0.519±0.010
	K S 1 遺物群	32	0.275±0.007	0.107±0.005	0.047±0.010	1.751±0.051	0.836±0.038	0.468±0.021	0.180±0.019	0.023±0.028	0.025±0.007	0.345±0.010
	K S 2 遺物群	62	0.244±0.011	0.070±0.004	0.056±0.013	1.749±0.168	1.080±0.108	0.424±0.036	0.327±0.042	0.037±0.031	0.023±0.011	0.379±0.011
秋田県	K N 遺物群	107	0.351±0.011	0.121±0.006	0.053±0.007	1.581±0.071	0.347±0.020	0.219±0.014	0.216±0.015	0.054±0.017	0.029±0.011	0.475±0.040
	T B 遺物群	60	0.252±0.014	0.113±0.007	0.124±0.015	1.805±0.088	0.875±0.056	0.663±0.038	0.272±0.029	0.083±0.037	0.026±0.008	0.378±0.021
岩手県	A I 1 遺物群	41	1.519±0.026	0.277±0.010	0.078±0.006	2.849±0.073	0.167±0.010	0.526±0.017	0.251±0.013	0.009±0.012	0.058±0.017	0.929±0.024
	A I 2 遺物群	61	3.141±0.074	0.552±0.021	0.080±0.008	2.752±0.062	0.094±0.009	0.716±0.019	0.242±0.011	0.008±0.014	0.083±0.029	1.353±0.049
	A I 3 遺物群	61	0.950±0.013	0.215±0.004	0.117±0.009	4.306±0.100	0.114±0.008	0.909±0.028	0.248±0.012	0.014±0.016	0.028±0.006	0.360±0.009
	A I 4 遺物群	122	1.850±0.059	0.474±0.025	0.067±0.007	2.055±0.077	0.083±0.006	0.531±0.030	0.177±0.010	0.011±0.013	0.064±0.025	1.061±0.105
	A I 5 遺物群	122	3.167±0.092	0.696±0.027	0.101±0.009	3.787±0.108	0.114±0.010	0.892±0.026	0.241±0.012	0.006±0.012	0.091±0.020	1.234±0.052
	F S 遺物群	45	0.272±0.090	0.097±0.029	0.053±0.007	1.791±0.083	0.327±0.019	0.453±0.024	0.207±0.018	0.029±0.027	0.017±0.011	0.339±0.011
	S D 遺物群	48	2.900±0.050	0.741±0.016	0.118±0.010	3.922±0.077	0.117±0.012	0.906±0.026	0.246±0.013	0.008±0.017	0.083±0.013	1.195±0.029
長野県	N K 遺物群	57	0.566±0.019	0.163±0.007	0.086±0.011	1.822±0.084	0.467±0.031	1.691±0.064	0.102±0.021	0.041±0.028	0.038±0.003	0.500±0.014
青森県	H Y 遺物群	31	0.238±0.011	0.131±0.006	0.048±0.008	1.636±0.066	0.418±0.028	1.441±0.015	0.482±0.024	0.029±0.028	0.020±0.015	0.481±0.068
	S N 1 遺物群	33	0.287±0.006	0.087±0.004	0.033±0.005	1.597±0.037	0.244±0.011	0.258±0.011	0.281±0.012	0.009±0.012	0.021±0.006	0.329±0.006
	S N 2 遺物群	29	0.209±0.006	0.116±0.006	0.076±0.008	1.571±0.082	0.716±0.035	0.292±0.017	0.264±0.029	0.028±0.030	0.023±0.009	0.383±0.015
鹿児島県	K I 遺物群	40	0.363±0.010	0.098±0.004	0.056±0.011	1.937±0.060	1.028±0.041	0.538±0.026	0.189±0.025	0.032±0.032	0.029±0.010	0.451±0.010
	U T 遺物群	46	0.297±0.013	0.107±0.005	0.053±0.010	1.638±0.104	1.012±0.056	0.736±0.039	0.168±0.027	0.034±0.028	0.024±0.011	0.390±0.014
	S G 遺物群	48	1.668±0.034	0.778±0.038	0.082±0.010	4.106±0.222	0.202±0.014	0.699±0.025	0.133±0.013	0.015±0.019	0.027±0.021	0.553±0.033
	O K 遺物群	32	1.371±0.074	0.687±0.025	0.061±0.008	3.109±0.161	0.202±0.012	0.579±0.027	0.122±0.014	0.009±0.014	0.027±0.018	0.518±0.021
北朝鮮	会寧城外遺跡	70	0.135±0.012	0.062±0.006	0.017±0.003	1.118±0.051	0.585±0.036	0.088±0.019	0.150±0.022	0.372±0.035	0.025±0.004	0.319±0.012
ロシア	イリスタヤ標準試料	26	18.888±2.100	6.088±0.868	0.293±0.032	27.963±2.608	0.055±0.017	2.716±0.162	0.163±0.019	0.036±0.030	0.173±0.029	1.674±0.240
標準試料	J G - 1 ^{a)}	127	0.755±0.010	0.202±0.005	0.076±0.011	3.759±0.111	0.993±0.036	1.331±0.046	0.251±0.027	0.105±0.017	0.028±0.002	0.342±0.004

H S 2 群=置戸・置戸山群に一致、F R 2 群=ケショマップ第一群に一致

平均値±標準偏差値、* : ガラス質安山岩 NK 遺物群 : 中ノ原遺跡、H Y 遺物群 : 日和山遺跡、S N 遺物群 : 三内丸山遺跡出土、K N 遺物群 : 此掛沢遺跡、H S 遺物群 : 北進遺跡、

K I 遺物群 : 桐木遺跡、U T 遺物群 : 内屋敷遺跡、A I 遺物群 : 相ノ沢遺跡、F S 遺物群 : 房ノ沢遺跡、S D 遺物群 : 下館銅屋遺跡、F R 遺物群 : 東麓郷 1, 2 遺跡、F H 遺物群 : 東 9 線 8 遺跡、K T 遺物群 : 北区 1 遺跡、K S 遺物群 : キウス 4 遺跡 A 地区、S G 遺物群 : 志風頭遺跡、O K 遺物群 : 奥名野遺跡、T B 遺物群 : 戸平川遺跡出土などの産地不明の原石群。

a) : Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. (1974). 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. *Geochemical Journal* Vol. 8, 175-192.

表2 長谷堂貝塚出土黒曜石製遺物の元素比分析結果

分析 番号	元 素 比									
	Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
68656	0.667	0.188	0.056	1.759	0.305	0.430	0.216	0.028	0.036	0.574
68657	0.606	0.183	0.059	1.823	0.284	0.423	0.241	0.055	0.035	0.571
68658	0.653	0.185	0.049	1.571	0.308	0.387	0.239	0.047	0.035	0.567
68659	0.598	0.168	0.044	1.391	0.319	0.366	0.217	0.045	0.035	0.551
68660	0.683	0.196	0.054	1.853	0.321	0.456	0.233	0.053	0.033	0.576
68661	0.623	0.181	0.053	1.610	0.315	0.445	0.261	0.010	0.034	0.587
68662	0.562	0.169	0.047	1.591	0.345	0.449	0.261	0.069	0.038	0.555
68663	0.661	0.190	0.059	1.641	0.300	0.451	0.252	0.045	0.042	0.592
68664	0.278	0.133	0.166	1.843	0.879	0.973	0.320	0.123	0.033	0.446
68665	0.312	0.090	0.263	1.685	1.554	0.933	0.350	0.154	0.028	0.357
68666	0.722	0.142	0.077	1.878	0.207	0.260	0.525	0.053	0.052	0.810
68667	0.560	0.159	0.054	1.816	0.334	0.413	0.263	0.111	0.030	0.547
68668	0.609	0.188	0.062	1.740	0.327	0.413	0.223	0.048	0.034	0.542
68669	0.666	0.178	0.060	1.864	0.316	0.434	0.211	0.054	0.040	0.594
68670	0.614	0.184	0.048	1.558	0.323	0.404	0.235	0.042	0.038	0.570
68671	0.310	0.083	0.196	1.412	1.497	0.900	0.307	0.160	0.021	0.340
68672	0.660	0.191	0.064	1.878	0.357	0.474	0.203	0.071	0.040	0.594
68673	0.268	0.077	0.223	1.578	1.518	0.925	0.333	0.115	0.023	0.324
68674	0.300	0.095	0.195	1.477	1.356	0.811	0.299	0.123	0.022	0.334
68675	0.487	0.149	0.060	1.725	0.354	0.397	0.250	0.046	0.037	0.529
68676	0.545	0.162	0.076	1.753	0.371	0.433	0.258	0.054	0.038	0.555
68677	0.188	0.058	0.036	1.419	0.347	0.417	0.217	0.025	0.016	0.212
68678	0.659	0.198	0.067	1.692	0.318	0.444	0.187	0.032	0.041	0.543
68679	0.633	0.187	0.063	1.619	0.332	0.401	0.204	0.052	0.036	0.574
68680	0.676	0.197	0.060	1.800	0.313	0.441	0.198	0.034	0.038	0.576
JG-1	0.786	0.211	0.075	3.942	0.973	1.260	0.332	0.063	0.025	0.320

JG-1 : 標準試料-Ando,-A., Kurasawa,-H., Ohmori,T.&Takeda,-E. 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal, Vol. 8 175-192 (1974)

表3 長谷堂貝塚出土の黒曜石石器の原産地推定結果
(大船渡市猪川町字中井沢78番地2ほか)

分析 番号	資料 番号	出土地点	層位	原 石 産 地 (確率)	判定	器種
68656	1507,	31K,		折居(92%)、零石(67%)、花泉(39%)	折 居	石鏃
68657	1448,	26L,	Ⅱ層-5cm	折居(53%)、花泉(27%)、零石(23%)	折 居	石鏃
68658	1755,	RH06下のピット,		折居(4.4%)、花泉(1.6%)、零石(1.0%)	折 居	R F
68659	1715,	31J-PP2,	埋土	零石(1.1%)、花泉(0.2%)、折居(0.1%)	零 石	両極石器
68660	1488,	31J,	Ⅱ層-5~10cm	花泉(18%)、零石(10%)、折居(7%)、高原山(0.2%)	花 泉	石鏃?
68661	1494,	31J,	Ⅱ層-20cm	花泉(4.9%)、零石(3.7%)、折居(0.4%)	花 泉	石鏃
68662	1811,	RA40,	貝層ブロック	零石(3.0%)、折居(1.1%)、花泉(0.3%)	零 石	
68663	1827,	試掘トレンチ4,		折居(8.9%)、花泉(3.8%)、零石(2.1%)	折 居	
68664	1828,	試掘トレンチ4,		月山(26%)、出来島(1.4%)、鶴ヶ坂(0.1%)	月 山	
68665	1823,	31K,	Ⅱ層-5~10cm	男鹿脇本(4.6%)、男鹿金ヶ崎(3.8%)	脇 本	
68666	1812,	RA40,	Ⅱ層-20cm	折居(11%)	折 居	
68667	1817,	29J,	Ⅱ層-5cm	零石(2.7%)、折居(0.9%)	零 石	
68668	1814,	27M,	Ⅱ層-20cm	花泉(88%)、折居(74%)、零石(67%)	花 泉	
68669	1822,	31J,	Ⅱ層-20cm	折居(73%)、零石(35%)、花泉(21%)	折 居	
68670	1820,	29L,	Ⅱ層-15cm	花泉(18%)、零石(13%)、折居(5.4%)	花 泉	
68671	1818,	29M,	表土除去後	男鹿金ヶ崎(1.7%)、男鹿脇本(1.2%)	金ヶ崎	
68672	1825,	32K,	攪乱	折居(12%)、花泉(7.7%)、零石(0.3%)	折 居	
68673	1821,	31J,	地山より20cm上	男鹿金ヶ崎(11%)、男鹿脇本(1.6%)	金ヶ崎	
68674	1819,	30J,	—	男鹿脇本(27%)、男鹿金ヶ崎(3.7%)	脇 本	
68675	1824,	31K,	Ⅱ層-5~10cm	花泉(58%)、折居(47%)、零石(4.7%)	花 泉	
68676	1810,	RA36,	北西埋土下位	花泉(14%)、零石(2.5%)、折居(1.3%)	花 泉	
68677	1826,	表探,	—	【花泉(0.4%)、零石(0.14%)、FS-GUN(0.11%)、折居(0.1%)】		
68678	1815,	28L,	Ⅱ層-20cm	折居(26%)、花泉(3.9%)、零石(2.9%)	折 居	
68679	1813,	24Q,	Ⅱ層-5cm	折居(6.1%)、零石(4.9%)、花泉(4.5%)	折 居	
68680	1816,	28L,	Ⅱ層-10cm	折居(94%)、零石(46%)、花泉(41%)、高原山(1.3%)	折 居	

注意：近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも関わらず結果のみを報告される場合があります。

本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っていますが、判定基準の異なる研究方法（土器様式の基準も研究方法で異なるように）にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係（相互チェックなし）ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察をする必要があります。

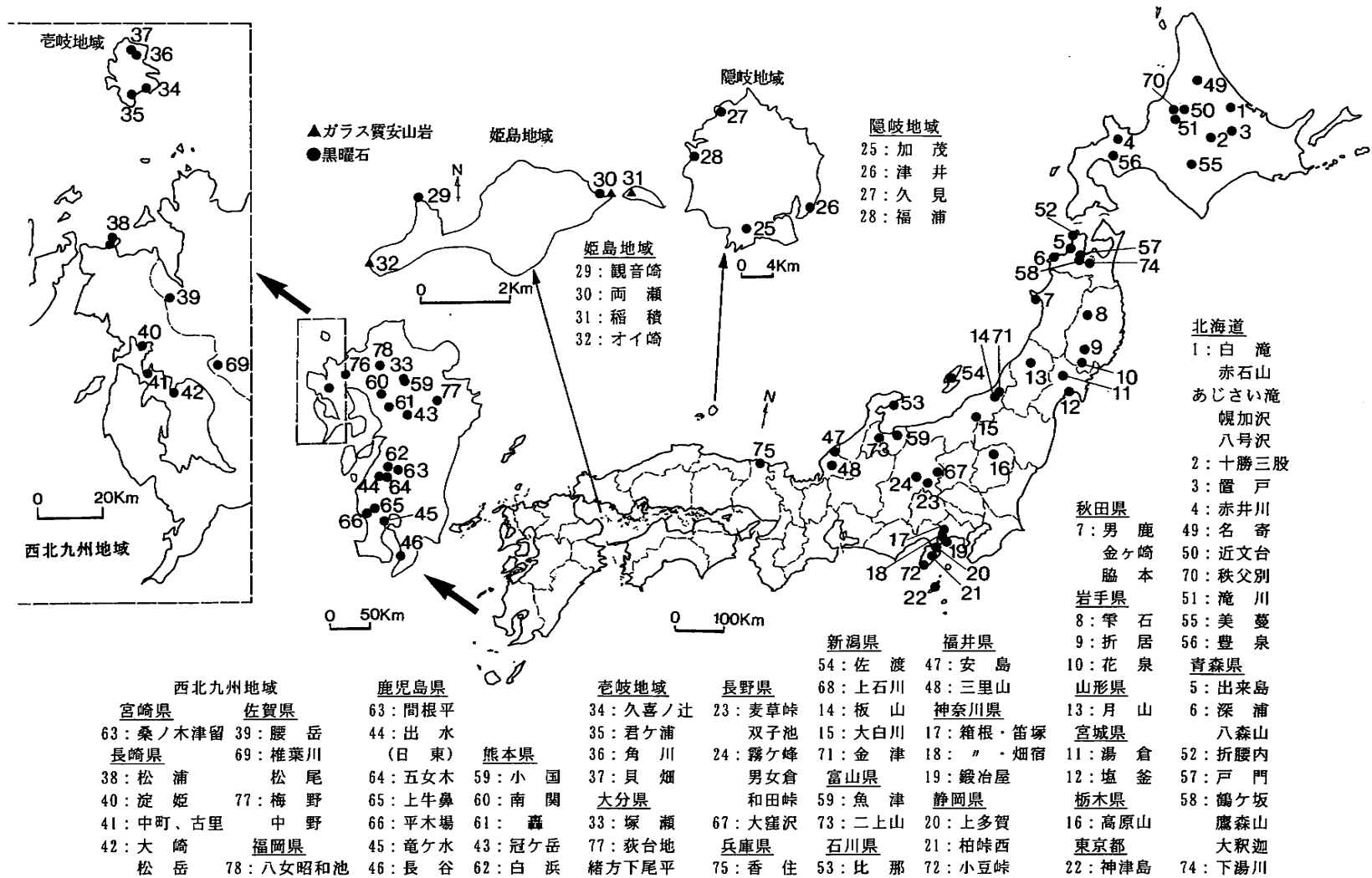


図1 黒曜石原産地

3. 垂れ飾り

長谷堂貝塚出土の垂飾りの非破壊による蛍光X線分析結果

藁科 哲男

(京都大学原子炉実験所)

出土玉類の色調をみて白とか緑色が主体のとき、ヒスイ以外に玉髓、メノウなどが考えられるが、遺跡の発掘調査報告書などには一般的に肉眼観察で岩石の種類を決定し、それが真実のよう思われているのが実態で、命名定義が不十分なものが多いと思われる。玉類の原材料としては滑石、軟玉(角閃石)、蛇紋岩、結晶片岩、碧玉などが推測される。それぞれの岩石の命名定義に従って岩石名を決定するが、非破壊で命名定義を求めるには限度があり、若干の傷を覚悟して硬度を調べる、光沢感、比重、結晶性、主成分組成を求めるなどで、非破壊で命名の主定義の結晶構造、屈折率などを正確には求められない。原石名が決定されたのみでは考古学の資料としては不完全で、どこかの産地原石が使用されているかの産地分析が行われて初めて、考古学に寄与できる資料となる。遺跡から出土する大珠、勾玉、管玉の産地分析というのは、玉類の製品が何処の玉造遺跡で加工されたということを調査するのではなくて、何ヶ所かあるヒスイ(硬玉、軟玉)とか碧玉の原産地うち、どこかの産地の原石を使用しているかを明らかにするのが、玉類の原産地推定である。玉類の原石の産地を明らかにすることは考古学上重要な意味をもっている。糸魚川市でヒスイが発見されるまでは、中国、雲南、ビルマ説、発見後は、専ら国内説で、岩石学的方法¹⁾および貴重な考古遺物を非破壊で産地分析を行った蛍光X線分析で行う元素比法^{2, 3)}が報告されている。また、碧玉製管玉の産地分析で系統的に行った研究は含有元素分析に蛍光X線分析法と含有イオン、色中心を分析する電子スピン共鳴法を併用することにより産地分析を正確に行った例⁴⁾が報告されている。石鏃など石器と玉類の製品はそれぞれ使用目的が異なるため、それぞれの産地分析で得られた結果の意味も異なる。(1) 石器の原材産地推定で明らかになる、遺跡から石材原産地までの移動、活動範囲は、石器は生活必需品であるため、生活上必要な生活圏と考えられる。(2) 玉類は古代人が生きるために必ずしもいるものではない。勾玉、管玉など玉類は権力の象徴、お祭、御守り、占いの道具、アクセサリとして、精神的な面に重要な作用を与えると考えられる。従って、玉類の産地分析で、明らかになる玉類の原石の分布範囲は、権力の象徴としての玉類であれば、権力圏を現わしているかもしれない、お祭、御守り、占いの道具であれば、同じような習慣を持つ文化圏が考えられる。石器の原材産地分析で得られない貴重な資料を考古学の分野に提供することができる。

今回分析を行った玉は大船渡市猪川町字中井沢78番地2他に位置する縄文時代中期(29L-II層-5cm)と考えられる垂れ飾りである。この玉を非破壊でエネルギー分散型蛍光X線分析を行い得られたスペクトルを図1(68681)に示した。分析された元素はナトリウム(Na)は痕跡程度で、マグネシウム(Mg)、珪素(Si)は主成分的に分析され、カリウム(K)、カルシウム(Ca)、チタン(Ti)は珪素に比べて相対的に少ない含有量で観測されている。また、クロム(Cr)元素の含有量もカルシウム、カリウムなどに比較して多く含まれている。また、鉄(Fe)元素は純粋結晶鉱物以外の岩石には一般的に含有されている元素で、鉄ピークに対しては含有量が少ないが、ニッケル(Ni)、クロム(Cr)、マンガン(Mn)のピークが見られる。しかし、ニッケルよりエネルギーの高いルビジウム(Rb)、ストロンチウム(Sr)、イットリウム

(Y)、ジルコニウム (Zr)、バリウム (Ba) などの元素は検出限界以下である。分析された垂れ飾りは、板状など定型でなく、不定形をしているために、分析された結果から一グラム中に含有される元素の%濃度を正確な定量値として得ることができない。ファンダメンタル・パラメータ法で計算しても、遺物の形の影響を補正する値が分からないために、不正確で無意味な定量値となり、真の定量値でない結果から推測された結論は間違っている可能性が大きいと思われる。分析された各元素のピーク値から形の影響を小さくする方法として、各元素の分析値の比をとり表1に標準試料の結果と共に示した。垂れ飾り玉はMg/Siの比が大きいことから、マグネシウムが主成分の岩石で、比重も2.827(表1)ありは透角閃石、陽起石など軟玉の可能性が推測されるが、カルシウムの含有量が少ないと推測され、また、現在調査を終えている10ヶ所のヒスイ(硬玉、軟玉)産地および、10ヶ所の碧玉産地の玉材の組成と一致しなかった。Mg、Siが主成分で考察すると、滑石、蛇紋岩などが推測されCa、K、Crが不純物元素として含有され、国産滑石はFeの含有量が比較的高いと言われていること、また、滑石原石の蛍光X線スペクトルも定性的に図1とほぼ一致している。比重はかなり重い、滑石の範囲を越えていない。硬度が低いなど滑石の可能性が推測されるが、クロム、鉄が蛇紋岩の共生鉱物のクロム鉄鉱、磁鉄鉱で、さらに暗緑～黄緑色の部分が見られることから蛇紋岩の可能性も否定できない。蛇紋岩と決定するには、主成分鉱物の蛇紋石を確認することが必要である。この玉の原材の産地は、何処かの変成岩帯に由来すると思われるが、現段階では、原石産地の調査に加えて似た組成の玉類の分析データを集積することが大切と思われる。ヒスイ(硬玉、軟玉)以外の玉類の石材産地は原石産地が不明のものが多く産地が特定できないが、非破壊の元素分析からでも、岩石名を特定する場合の誤判定を避ける非常に貴重な資料となるため、組成分析はできる限り実行することが大切で、不定形の非破壊分析には同時多元素分析の方法でなければ、定形試料用の逐次元素分析法(波長分散型)では計算された結果は精密分析値の様に計算されるが、いくら分析者が正確な分析を強調しても、実態は、試料が少しでも動くとなれば分析値が大きく変動するため元素間ピークの相対的な高さの関係すら不確実になることを理解しておかなければならない。同時多元素分析(エネルギー分散型)では原理的に変動の影響が少ないのが特徴である。岩石名決定には最低条件として組成分析結果との整合性を考慮すべきと思われる。

参考文献

- 1) 茅原一也(1964)、長者が原遺跡産のヒスイ(翡翠)について(概報)。長者ヶ原、新潟県糸魚川市教育委員会：63-73
- 2) 藁科哲男・東村武信(1987)、ヒスイの産地分析。富山市考古資料館紀要 6：1-18
- 3) 藁科哲男・東村武信(1990)、奈良県内遺跡出土のヒスイ製玉類の産地分析。
榎原考古学研究所紀要『考古学論攷』, 14：95-109
- 4) 藁科哲男・東村武信(1983)、石器原材の産地分析。考古学と自然科学, 16：59-89
- 5) Tetsuo Warashina (1992)、Allocation of Jasper Archeological
Implements By Means of ESR and XRF. Journal of Archaeological
Science 19：357-373
- 6) 番場猛夫(1967)、北海道日高産軟玉ヒスイ。調査研究報告会講演要旨録 No.18：11-15
- 7) 河野義礼(1939)、本邦における翡翠の新産出及び其化学的性質。岩石礦物鉱床学雑誌 22：195-201

表1-1 長谷堂貝塚出土石製玉の元素比および比重の分析結果

遺物名	分析番号	元素比								
		Na/Si	Mg/Si	Al/Si	K/Si	Ca/Si	Ti/Si	Cr/Fe	Mn/Fe	Ni/Fe
垂飾り	68681	0.024	3.094	0.010	0.275	0.755	0.306	0.032	0.006	0.094
JG-1 ^{a)}		0.006	1.010	0.020	4.343	3.474	1.002	0.001	0.023	0.001

元素比							遺物重量 グラム	比重
K/Fe	K/Ca	Ca/K	Ca/Fe	Ti/K	Ti/Fe	Ti/Ca		
0.001	0.364	2.745	0.004	1.114	0.002	0.406	19.85610	2.827
0.110	1.250	0.800	0.079	0.231	0.024	0.288		

比重：かさ比重

a) 標準試料、Ando,A., Kurasawa,H., Ohmori,T.&Takeda,E. (1974). compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal, Vol. 8 175-192.

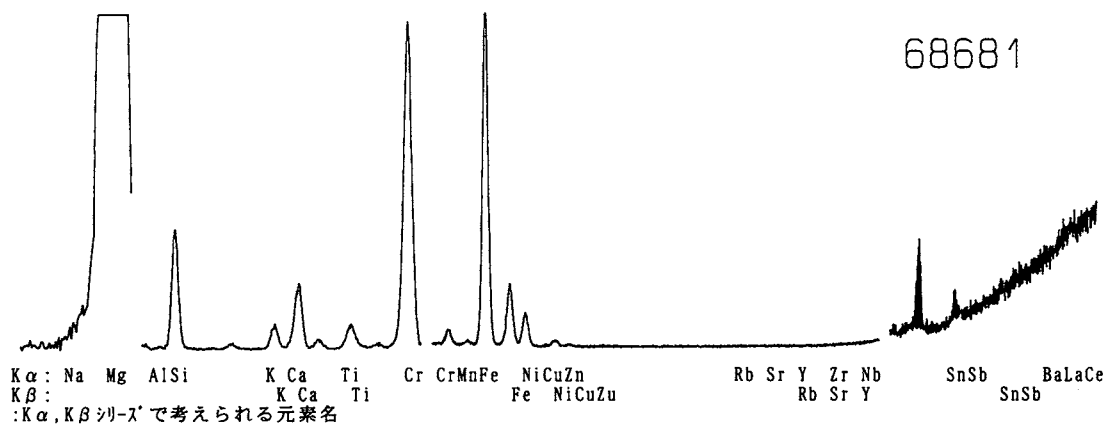


図1 長谷堂貝塚出土垂飾り、(68681)の蛍光X線スペクトル

4. アスファルト

岩手県長谷堂貝塚から出土したアスファルトの化学分析

北海道大学高等教育機能開発総合センター 小笠原 正明

株式会社 古環境研究所

1. はじめに

北日本・東日本の縄文遺跡からは、接着剤として当時広く使われていた天然アスファルトが出土する。日本におけるアスファルトの湧出地は、秋田県や新潟県など限られているので、それらの多くは交易によって産地から遠く離れた地域まで運ばれたものであろう。アスファルトは、複雑な構造を持つ多くの化合物からできているが、重質油分析の手法を用いて比較的化学構造の似通ったいくつかの化合物群に分け、さらにそれぞれのマススペクトルを測定すれば、産地推定の根拠の1つとして使えることが最近の研究で明らかになった(小笠原 1994、1999 a、1999 b、1999 c)。この報告は、同様の手法を、岩手県長谷堂貝塚から出土したアスファルトに応用して得られた結果をまとめたものである。

2. 分析方法の概要

発掘されたアスファルト塊の中心軸に近い部分と表面に近い部分の2カ所からそれぞれ0.5g程度を採取した。ベンゼン-メタノール(B-M)混合溶媒で抽出し、可溶分の溶媒部分を減圧蒸留で除いて乾燥した後、さらにn-ヘキサンで抽出した。ヘキサン可溶分はオイル分、不溶分はアスファルテンである。オイル分に含まれている溶媒を減圧蒸留で除いた後、高速液体クロマトグラフィー(HPLC)にかけた。試料注入から最も短い保持時間で脂肪族炭化水素(パラフィン)類や脂環族炭化水素(シクロパラフィン)類などの飽和炭化水素部分(フラクションP)のピークが現れ、次いでベンゼン環を1個持つ炭化水素すなわち1環芳香族部分(フラクションM)、さらに2個を有する2環芳香族部分(フラクションD)、3個以上を有する多環芳香族部分などのピークが一部重なって現れた。フラクションPを分取してFI-マススペクトルを測定した。FI-マススペクトルの測定には、北海道大学農学部の日本電子製JMS-01SG-2型質量分析計を用いた。

3. 結果

図1に長谷堂貝塚出土アスファルトのオイル分のフラクションPのFI-マススペクトルを示した。M/z=400付近に最大のピークがあり、M/z=450付近にショルダーがある。また、M/z=450よりも大きい領域に長い裾を引いている。このスペクトルの形は、秋田県二ツ井産のアスファルトと良く似ている。このマススペクトルのz数解析による産地推定を試みた。z数とは、炭化水素の一般式を C_nH_{2n+z} と表した時のzのことで、パラフィン系炭化水素からの水素の不足数に相当し、分子構造中に不飽和結合が無い化合物ではナフテン環の数にのみ依存する。実測のスペクトルを、z=2からz=-10まで2つおきの7つの成分スペクトルに分割すると、スペクトルの形を特徴づけているのはz=-6と-8であることが分かる(小笠原 1999a、1999b)。z=-6と-8の成分はそれぞれ、重質油の産地の目印として利用されているバイオマーカのステラン類およびホパン類を含むものである。

図1のマススペクトルについて、M/z=300-600の範囲でz=-6とz=-8のスペクトル強度の比をとってこれをR値とした。二ツ井町の産地から無作為に抽出したアスファルト試料のR値の平均値は、 0.632 ± 0.036 であり、一方新潟県のアスファルト産地である新津市の大入産の試料のR値の平均値は 0.837 ± 0.060 と

求められている。長谷堂貝塚出土のアスファルト試料の1つは0.708であった。もう一点の試料についても同様の分析を行ったが、実験の再現性はきわめて良くほとんど同じ形のスペクトルが得られ、スペクトルの解析から得られたR値も0.696ともう一つの試料にきわめて近い値を示した(表1)。

4. 産地に関する考察

アスファルトの原産地については、新潟県沿岸部から津軽海峡北岸部までの広い地域が考えられるが、化学分析によって産出アスファルトの性質が明らかにされているのは、秋田県二ツ井、同槻木、および新潟県新津の3産地である。二ツ井と新津のアスファルトのR値は違いが大きく、区別が容易である。一方、秋田県槻木産のアスファルトは変異が大きく、中には新津の値に近いR値を示すものもある。

本貝塚から出土したアスファルト試料は、R値だけを比較すると二ツ井産に近いが、統計的にはそう言えない。発掘した試料が、ある産地の試料とどのくらい近いか遠いかは、産地の試料の測定値の平均値と発掘した試料の値の差をとり、産地の試料の標準偏差で割った「相対偏差」を見れば分かる。これが、産地からの隔たりを表す定量的な値となる。相対偏差の絶対値が2を越すと、同じものである確率は5%程度となる。3を越すと実施的に確率はゼロになる。この相対偏差で比較すると、表1に示されているように、本試料と新津産試料の距離は相対偏差にして2.1から2.3、二ツ井産試料との距離は1.7から2.1であり、有意の差は無い。図2は二ツ井産と新津産のアスファルトのR値の測定値の分布を示したものであるが、本試料の測定値は2つの試料の測定値の分布の重なった部分に位置していることがわかる。すなわち、どちらであるかは言えないし、また、どちらの産でもない可能性もある。

以上、二ツ井産であるか新津産であるかという、2つの可能性にしばって議論してきたが、これまでに各地から得られている測定の結果をまとめて示した図(図3)を見ると、また別な可能性が考えられる。図3の星印は二ツ井系統、二重丸は新津系統、白抜き丸はその中間の系統を示している。すなわち、この白抜き丸に注目して、秋田県の米代川、岩手県馬淵川と三陸沿岸部には、二ツ井系統でも新津系統でもないアスファルトが出回っているとも考えることもできる。この第3の系統のアスファルトの原産地がどこであるかを探ることが重要な課題として浮かび上がってきたように思う。

参考文献

- 小笠原正明・阿部千春・前川靖明・横山 晋(1994)「豊崎N遺跡出土の天然アスファルト塊」『考古学ジャーナル』373号: pp. 25-29
- 小笠原正明(1999 a)「縄文時代の交易・アスファルトがたどった道」『化学』9月号: pp. 28-30
- 小笠原正明(1999 b)「アスファルトの化学分析と原産地」『考古学ジャーナル』452号: pp. 2-5
- 小笠原正明・櫻田 隆・能登谷宣康(1999 c)「二ツ井町富根字不動沢地内のアスファルト浸出地について」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』14号: pp. 50-57

表1 産地および遺跡から得られたアスファルトのR値と相対偏差

産地名・遺跡名	R 値	二ツ井産からの相対偏差	新津産からの相対偏差
産地			
秋田県 二ツ井	0.632±0.036	—	-3.386
新潟県 新津	0.837±0.060	-5.275	—
遺跡			
岩手県 長谷堂貝塚No.1	0.708	-2.125	2.099
長谷堂貝塚No.1	0.696	-2.330	1.760

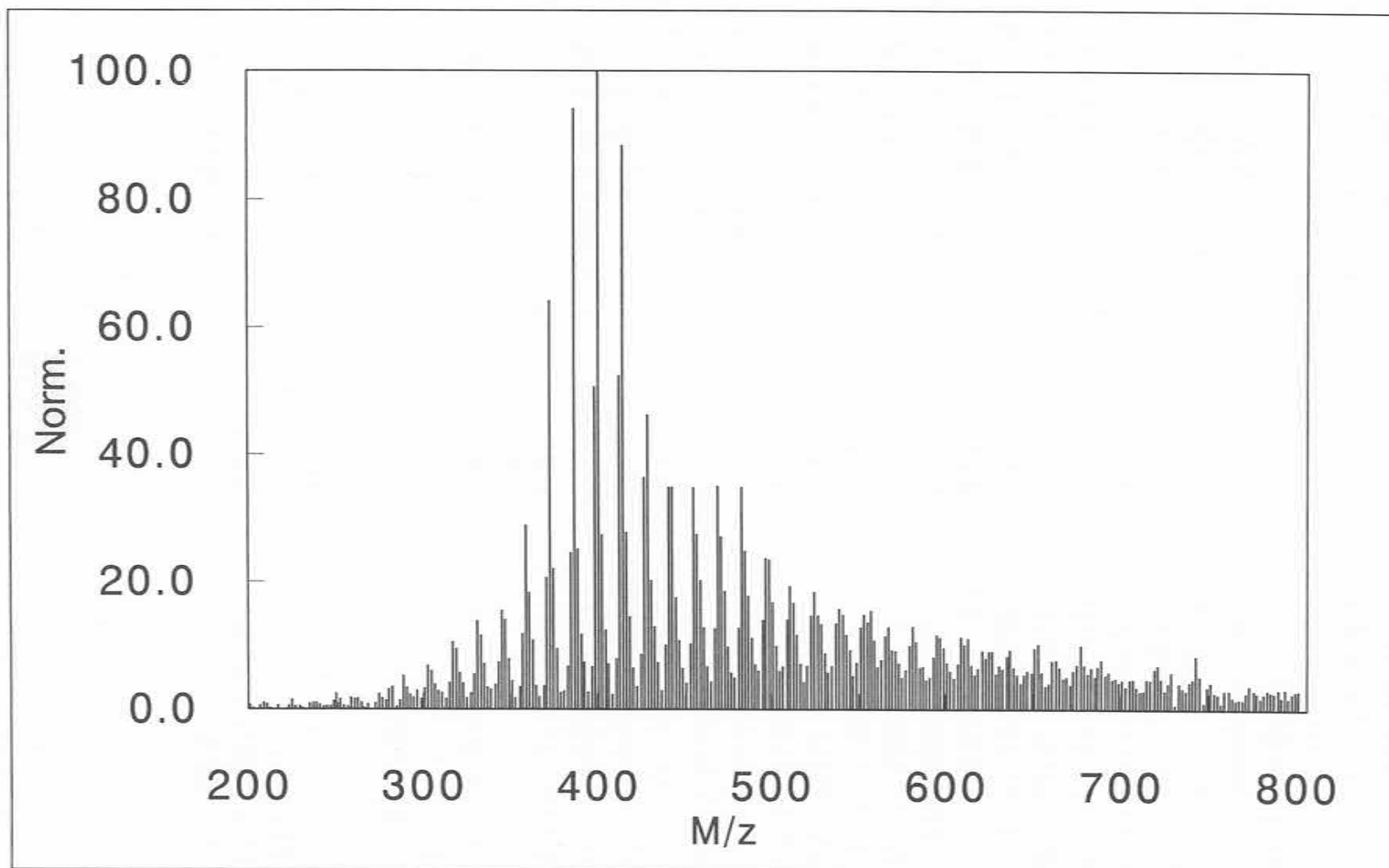


図1 岩手県長谷堂貝塚で出土したアスファルト塊のオイル成分のフラクションPのFI-マススペクトル。

縦軸は信号強度、横軸は質量Mを電荷数zで割ったもの。

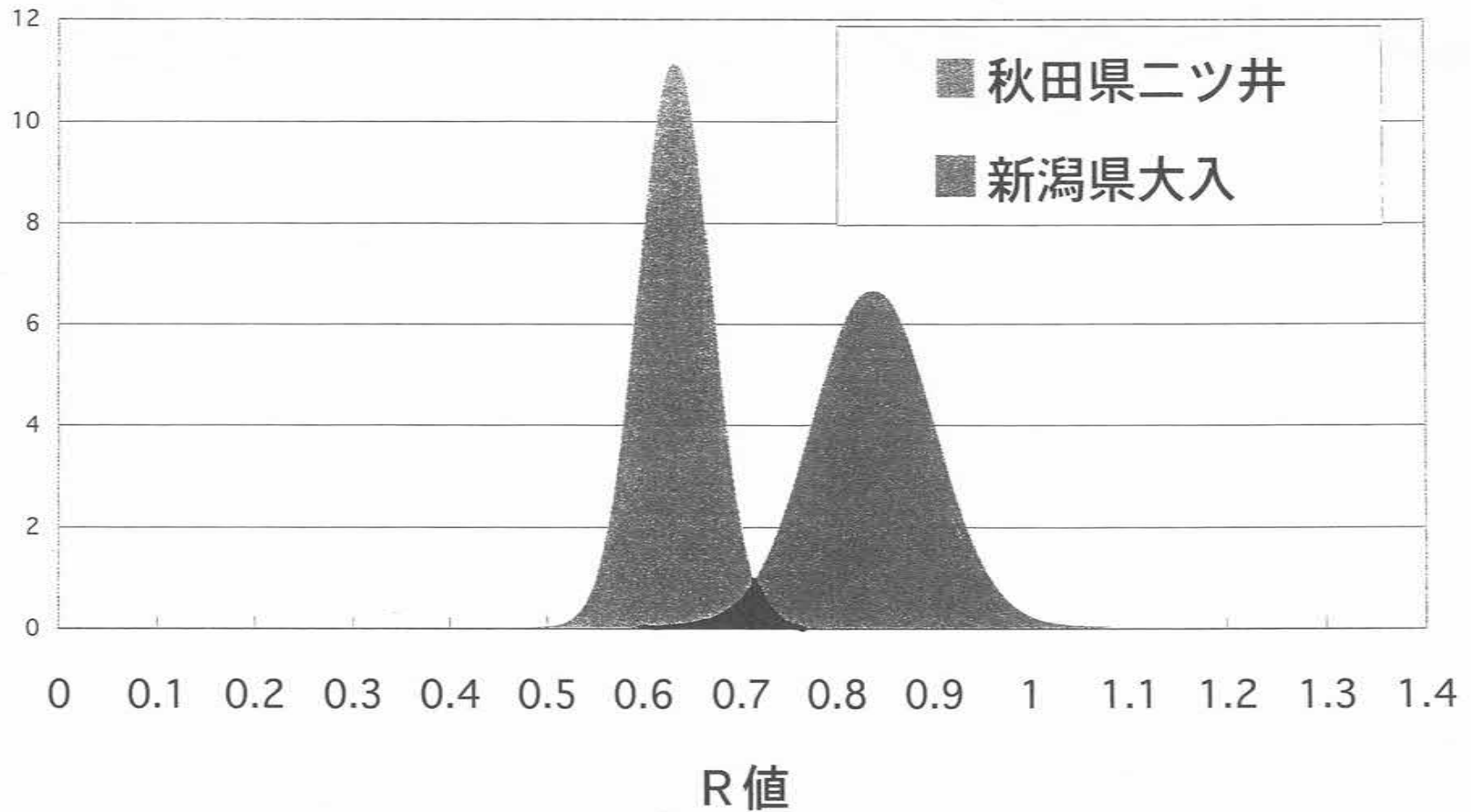


図2 秋田県二ツ井と新潟県新津大入の2つのアスファルト産地から得られた試料のR値の測定値の分布

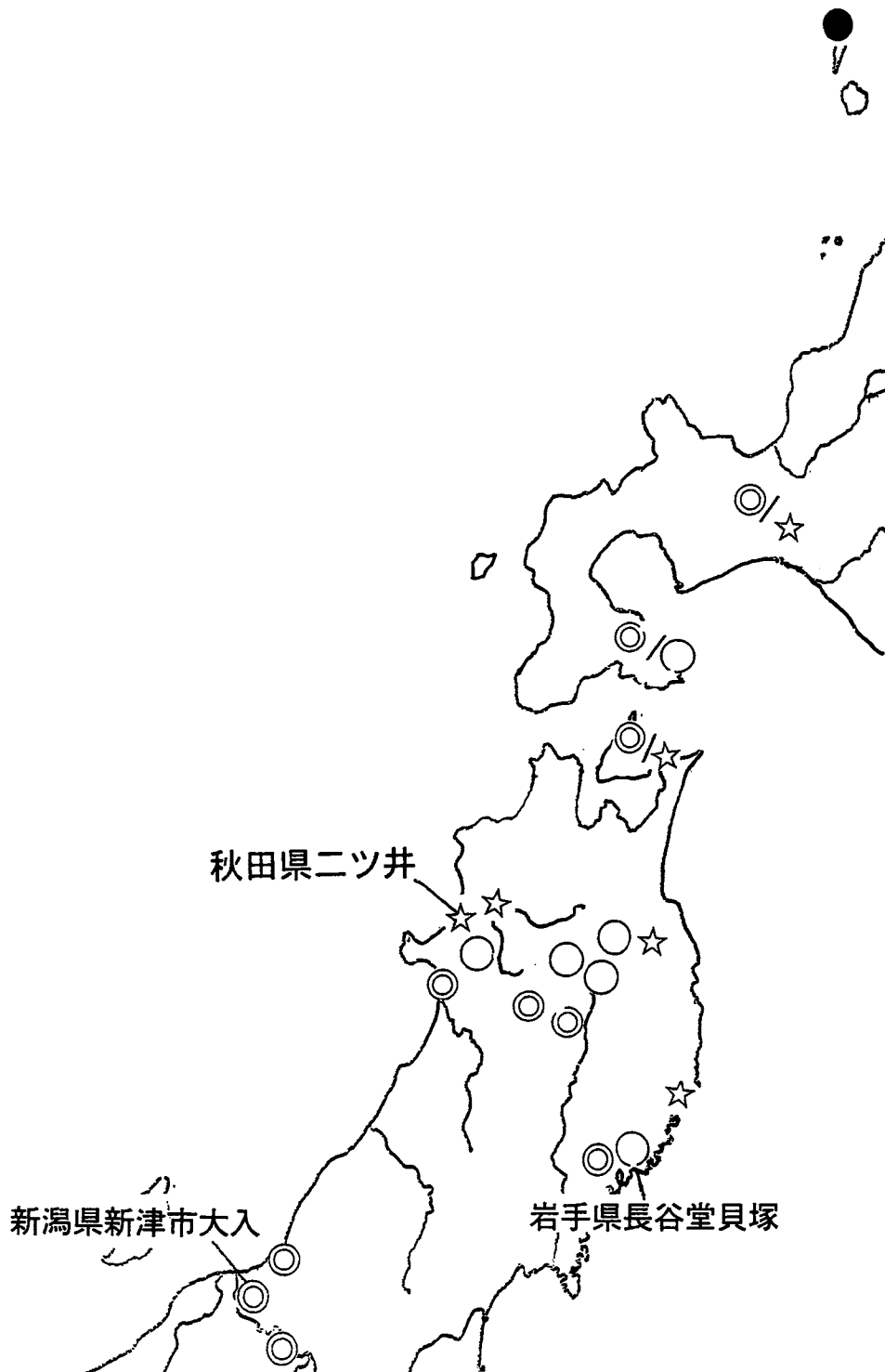


図3 これまで得られた産出あるいは出土アスファルトの性質；◎：新潟県新津産に分類される試料；☆：秋田県二ツ井産に分類される試料；○：前2者の中間の性質を示す試料；●：前3者のいずれとも違った、かけ離れた性質を示す試料（この試料は、北限の縄文遺跡と言われる北海道礼文島船泊遺跡から出土したものである）

5. 琥珀

琥珀

(財)元興寺文化財研究所

分析の概要

1. 分析目的

長谷堂貝塚出土の琥珀製品が、琥珀であるかどうかの確認と、産地同定を行う。

2. 使用機器・原理

- ・フーリエ変換型赤外線分光光度計 (FT-IR) (日本電子(株) JIR-6000)

赤外線を試料に照射することにより得られる、分子の構造に応じた固有の周波数の吸収を解析し、化合物の種類を同定する。

- ・電子線マイクロアナライザー (EPMA) ((株)掘場製作所製 EMAX2000)

試料に電子線を照射し、その際に試料から放出される各元素に固有のX線を検出することにより元素の種類を同定する。

3. 分析方法・条件

KBr錠剤法*

(*KBr(臭化カリウム)錠剤法 試料をKBrと混合、圧縮し、錠剤を作成して行う分析法)

分解能 1 cm^{-1} 、検出器 TGS

分析結果

分析に使用した破片は、肉眼による観察では、比較的失透がなく、全体的に劣化が進行していないと思われた。しかし、試料採取を行った結果、No.1およびNo.2はかなり脆い遺物であることが判った。その中でも堅くてより健全な部分(それぞれの試料ごとに写真に示した2カ所からサンプリングを行う)を選んで、FT-IRによる分析を行った。その結果、No.1およびNo.2とも採取した2カ所のスペクトルは吸収位置・強度が一致した。さらに2点ともスペクトルはよく類似し、 $3500\sim 2800$ 、 1710 、 $1500\sim 800\text{ cm}^{-1}$ 付近の吸収から琥珀であることが確認された(図1・2)。しかし、No.3については琥珀に特徴的な吸収がみられず、FT-IR分析(図3-1)と電子線マイクロアナライザー分析(図3-2)より、ケイ酸化合物であると思われた。

次に、No.1とNo.2について、 $1800\sim 800\text{ cm}^{-1}$ 付近の吸収位置および強度の産地の判明している標準琥珀から得られたスペクトルと比較し、産地同定を試みた。試料は、比較的劣化していない部位から採取し、分析したが、 $1300\sim 800\text{ cm}^{-1}$ の吸収が非常にブロードで、標準試料に見られる特徴的な吸収は得られなかった。また、日本で最も算出量の多い久慈産および銚子産、いわき産の琥珀とは一致しなかったが、岐阜県丹生川村丸山遺跡出土琥珀、石川県能都町間脇遺跡出土琥珀のスペクトルとほぼ同じ吸収パターンが見られた(図4)。以上の結果と採取した試料が非常に脆いことから、本資料は見かけ以上に劣化している可能性が高いと思われた。

出土琥珀は、劣化していない部分の赤外線吸収スペクトルが得られれば、その産地同定は可能である。しかし、劣化が激しいと、全体的に吸収はブロードになり特徴的な吸収が消失し、新たに異なった位置に吸収が表れることがある。さらに、出土琥珀は劣化状況が様々でそれによって吸収位置や強度が変化する。

以上のことにより、現時点でこの琥珀の産地を限定することはできなかった。

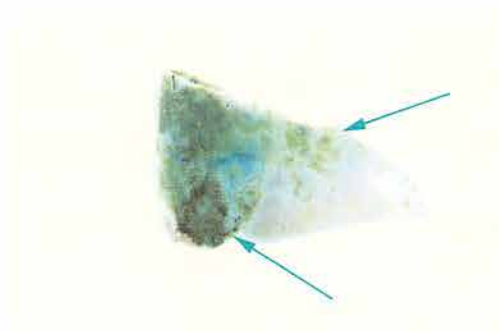
今後は、FT-IR以外の分析方法も併用することで様々な状態の琥珀の産地同定が可能になると考える。



No. 1



No. 2



No. 3

長谷堂貝塚

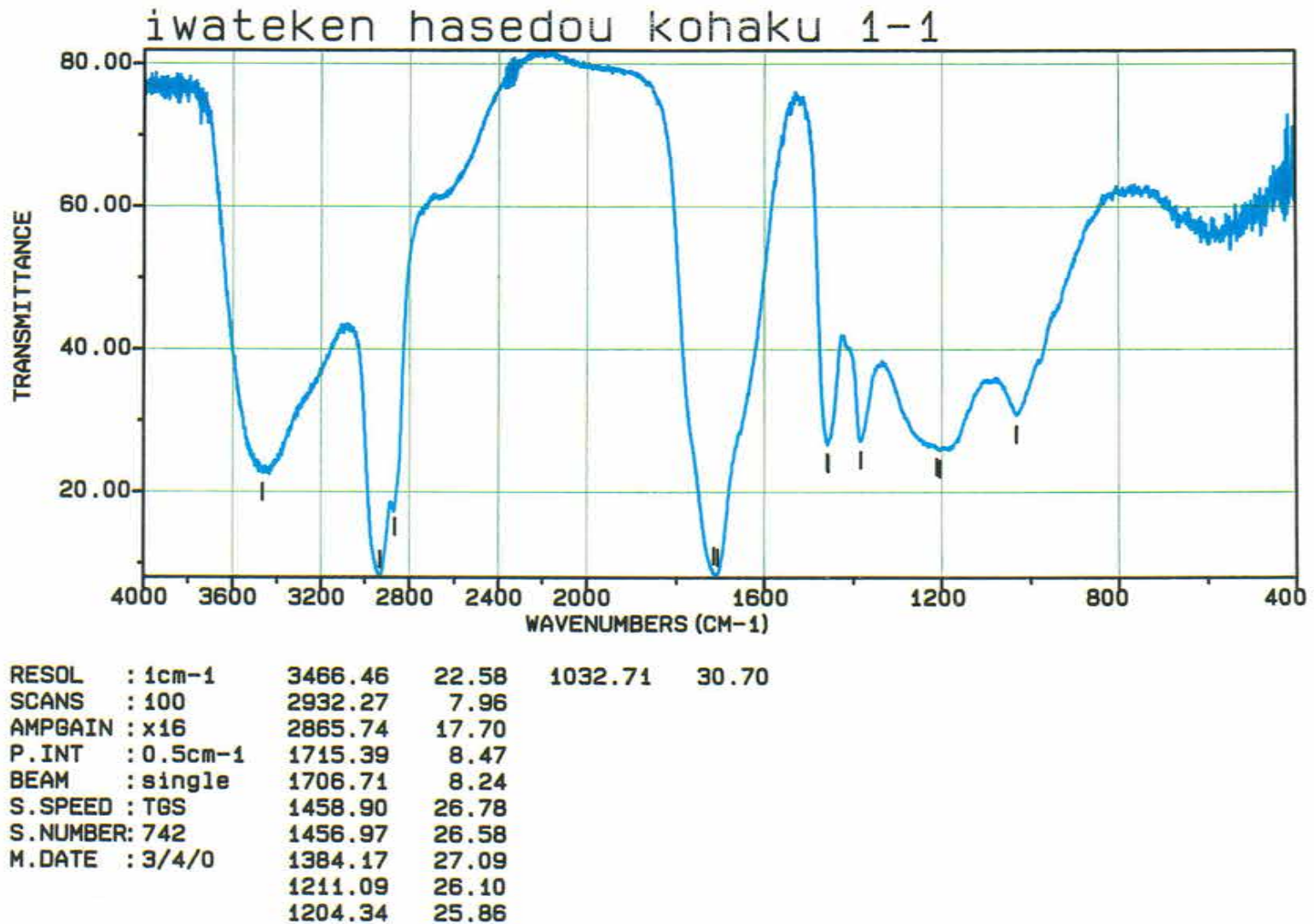
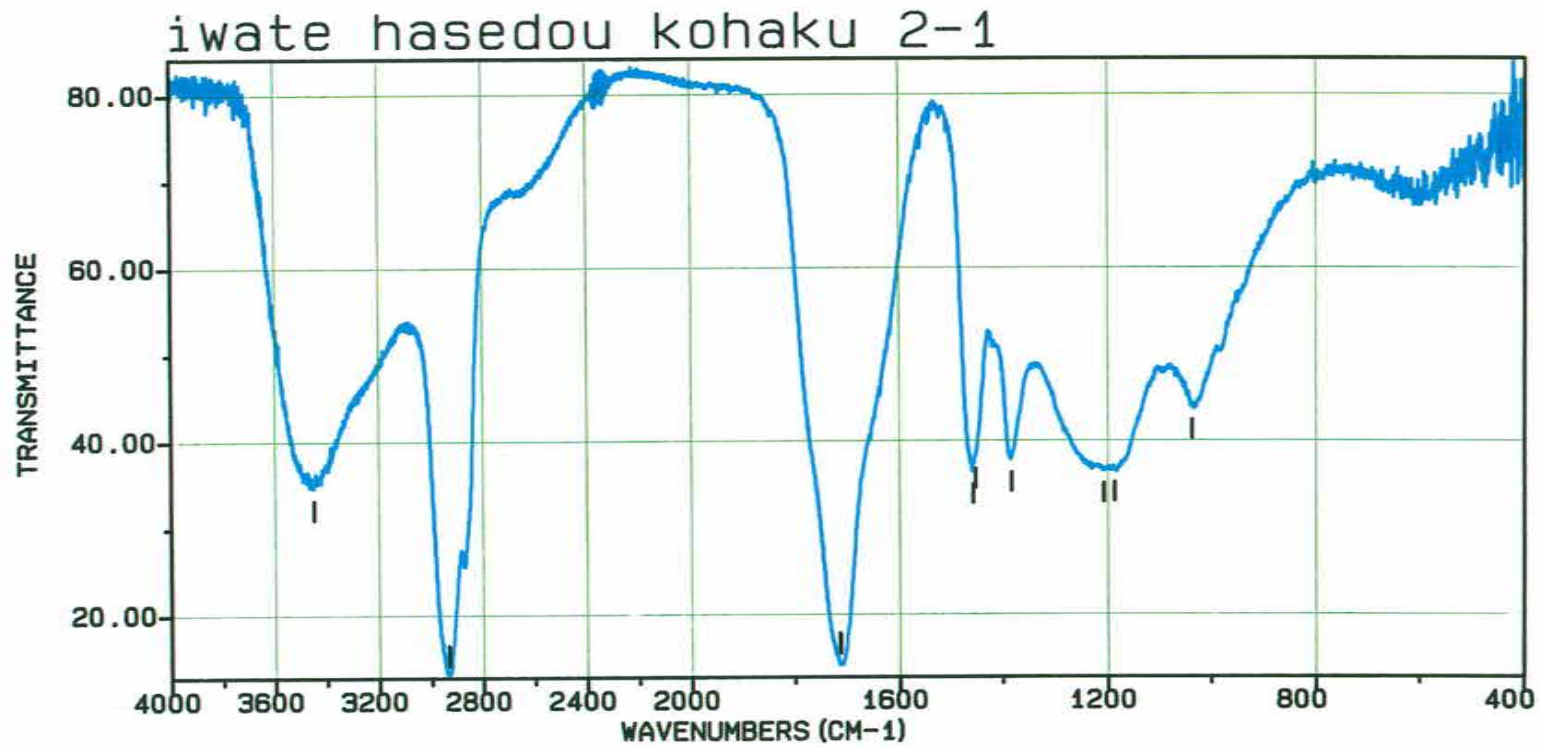
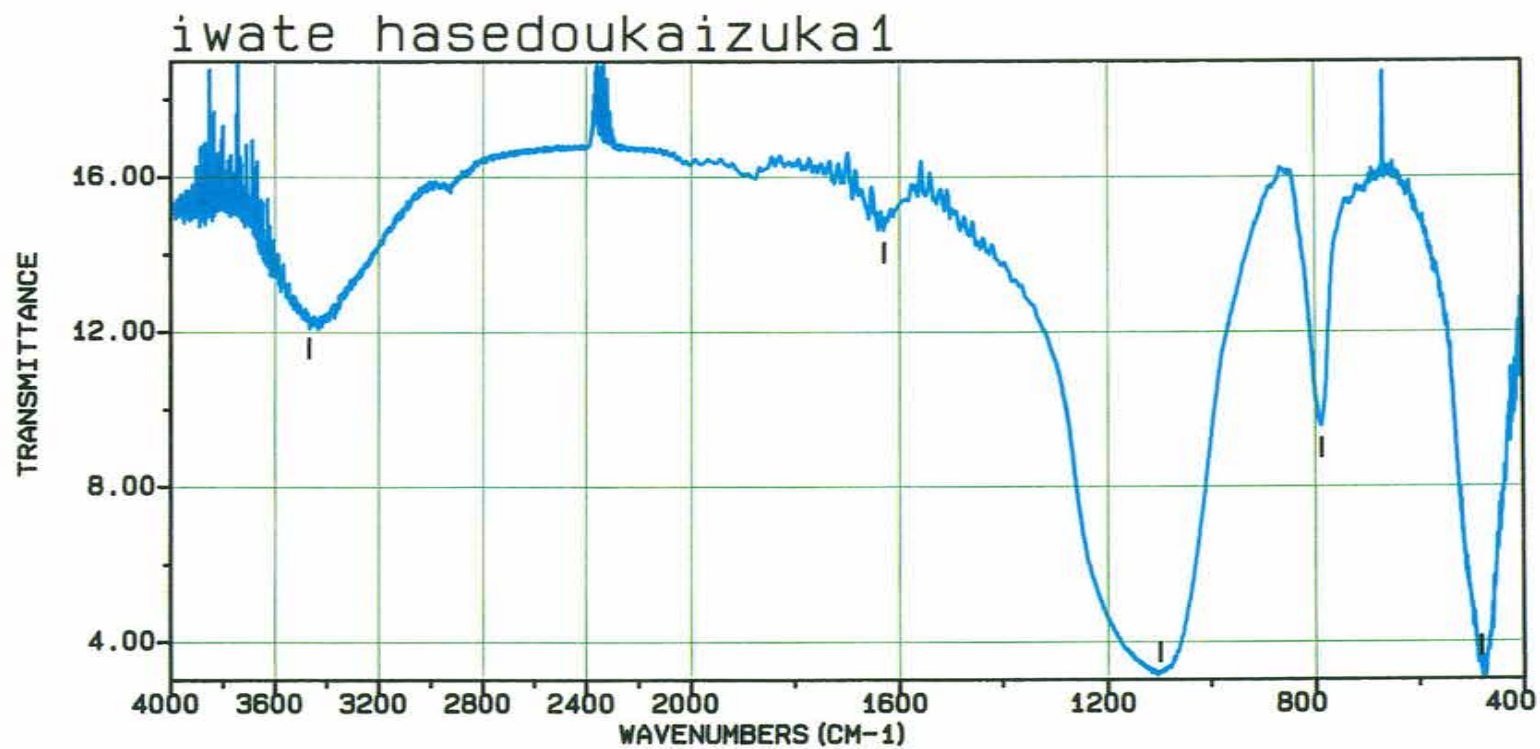


図1 長谷堂貝塚出土琥珀赤外吸収スペクトル



RESOL	: 1cm-1	3449.10	34.68	1036.56	43.89
SCANS	: 100	2937.09	13.02		
AMPGAIN	: x16	2935.16	12.83		
P.INT	: 0.5cm-1	1715.39	14.35		
BEAM	: single	1713.46	14.16		
S.SPEED	: TGS	1456.97	36.45		
S.NUMBER	: 744	1452.15	38.19		
M.DATE	: 3/4/0	1382.73	37.83		
		1207.72	36.56		
		1186.99	36.70		

図2 長谷堂貝塚出土琥珀赤外吸収スペクトル



RESOL	: 1cm-1	3468.39	12.15
SCANS	: 100	1629.57	14.60
AMPGAIN	: x32	1100.20	3.17
P.INT	: 0.5cm-1	787.79	9.55
BEAM	: single	481.64	3.33
S.SPEED	: TGS		
S.NUMBER	: 735		
M.DATE	: 2/24/0		

図 3-1 長谷堂貝塚出土遺物赤外吸収スペクトル

— (AB) :

VS: 1K
HS: 20KEV
(10EV/CH)
PREL: 0SEC
ELAP: 278SEC
Z=14 SI (K)

EMAX
HORIBA

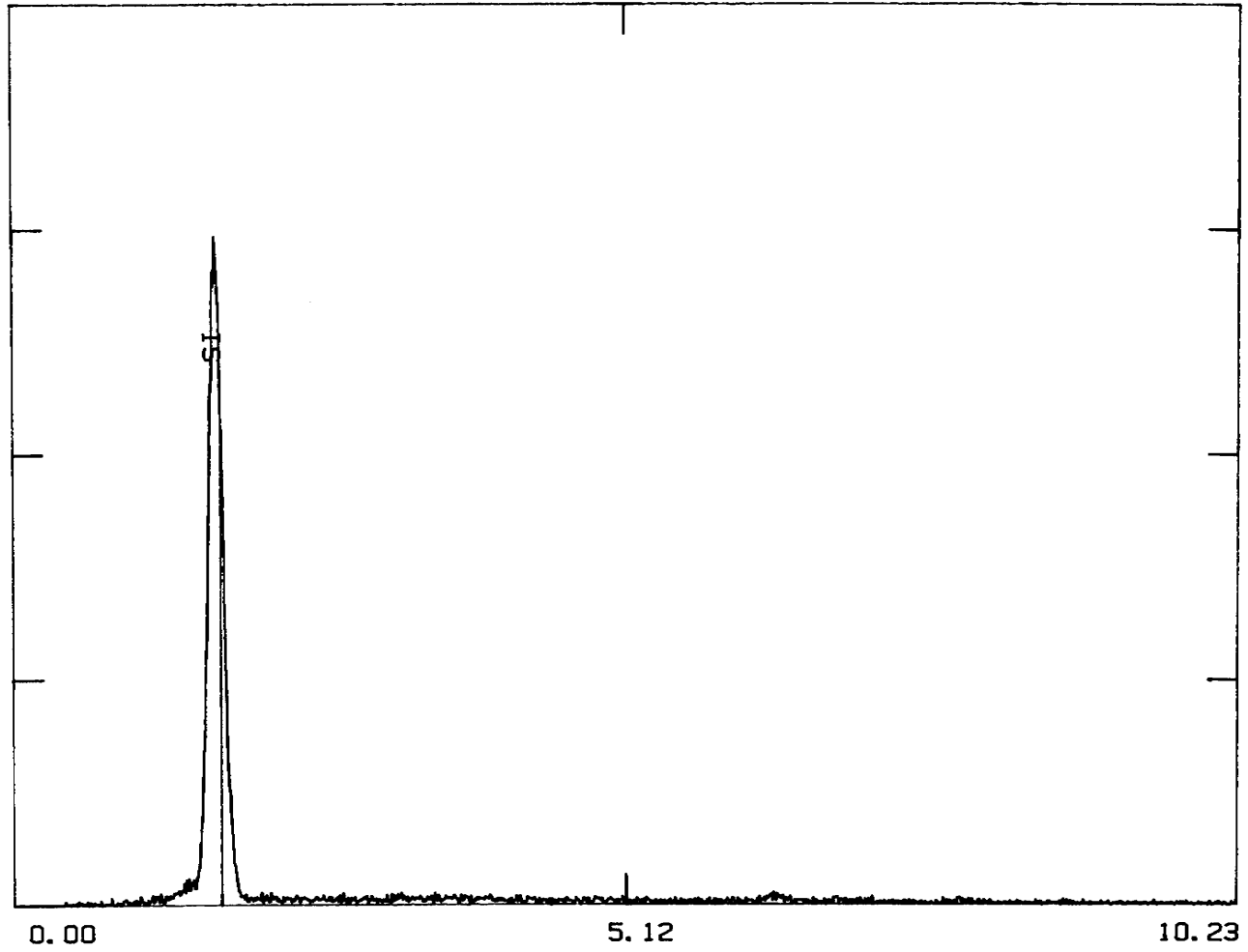
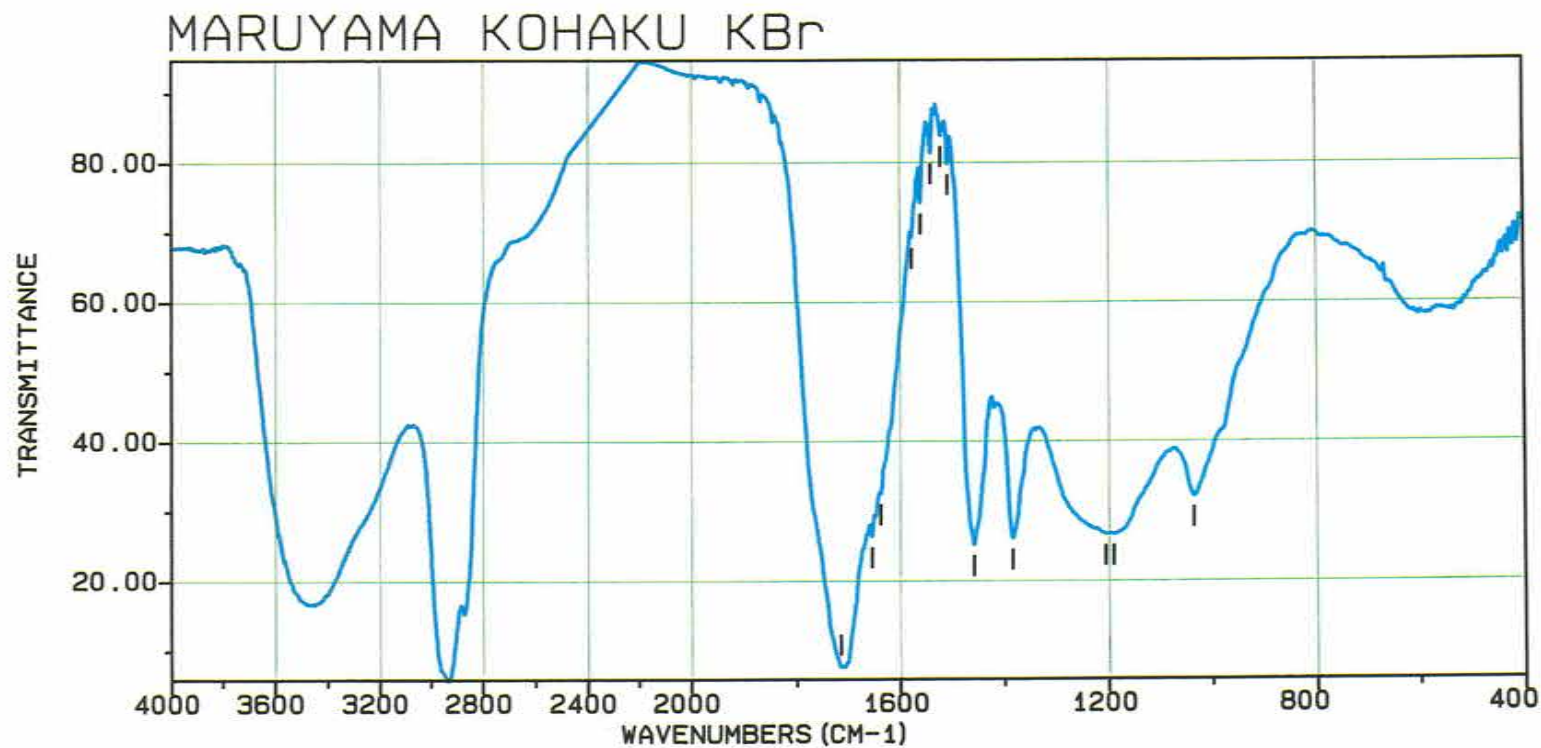


図3-2 長谷堂貝塚出土遺物EPMAスペクトル



RESOL	: 4cm-1	1716.36	7.75	1205.31	26.80
SCANS	: 530	1654.64	26.47	1189.88	26.79
AMPGAIN	: x16	1637.29	32.62	1035.60	32.28
P. INT	: 2cm-1	1577.51	69.36		
BEAM	: single	1560.15	74.30		
S. SPEED	: TGS	1540.86	81.52		
S. NUMBER	: 280	1521.58	83.99		
M. DATE	: 10/22/96	1508.08	79.94		
		1457.94	25.29		
		1384.66	26.19		

図4 丸山遺跡出土琥珀赤外吸収スペクトル

長谷堂貝塚から出土した琥珀の産地のNMRによる推定

帝京科学大学理工学部環境マテリアル学科

中 條 利一郎

中 田 尚 孝

丸 山 弥土理

元興寺文化財研究所

植 田 直 見

岩手県文化振興事業団

阿 部 勝 則

1 はじめに

琥珀は「新生代の第三紀の松柏科植物（マツ、スギ、ヒノキなど）の樹脂が、地中で化石化したもの。成分は $C_{40}H_{64}O_4$ でコハク酸などの樹脂酸を含む非晶質の有機化合物である」¹⁾と定義されている。炭素数が5の整数倍のテルペノイド（イソプレノイドとも言う）で、香料（岩手県久慈市では薫陸香）として珍重されていた理由がわかる。また、化石化に伴って重合が進行し、鉱物系の宝石と似た外観を呈するようになる。このため、有機物でありながら、縄文時代には既に装飾品として用いられていたようで、縄文時代の遺跡から出土する。ここで採り上げる長谷堂貝塚（岩手県大船渡市）から出土した琥珀もその一つである。理化学的方法の一つであるNMR（核磁気共鳴）により、その産地を推定するのが目的である。試料は2点あり、

No. 1：RA33住居跡、周溝埋土、原石のまま？風化し、剥落。暗赤色。

No. 2：RA33住居跡、II層-20cm。

である。詳細は現地公開資料²⁾または本書の対応する個所を見られたい。そのほかに、比較のために用いた現在産出する試料、劣化がスペクトルに及ぼす影響をみるために用いた梨久保遺跡（長野県岡谷市）出土の試料を用いた。

琥珀は有機物である。従って、

1) 原料となる松柏科植物の種類により、琥珀の組成が異なる可能性がある。
2) 化石化の過程で、圧力、温度などにより、組成が変化する可能性がある。
3) 装飾品として使用されている段階での劣化により、組成が変化する可能性がある。これらの内、1、2は産地推定にプラスに作用すると考えられる要因である。一方、3は産地とは無関係に組成が変わる可能性があり、解析に際して注意しなければならない要因である。これらは理化学的方法に共通する要因であり、すでに研究されている理化学的方法が多岐にわたるのは、どれをとってもオールマイティーではないからである。因みに、現在までに琥珀（出土品であると否とを問わず）に適用されている理化学的方法には

- 1) 薄層クロマトグラフィー (TLC)
- 2) 赤外線呼吸スペクトル (IR)
- 3) X線回折
- 4) ガスクロマトグラフィーと質量分析の併用 (GC/MS)
- 5) 示差熱分析 (DSC)
- 6) 発光分光分析

7) 中性子放射化分析

8) 核磁気共鳴スペクトル (NMR)

が知られている³⁾。ここで用いるNMRを琥珀に用いたのはLambertら⁴⁾が最初であり、その成果は彼自身による単行書⁵⁾でも知ることが出来る。海外では、Cunninghamら⁶⁾によっても研究されている。また、これらを纏めた総説がGhisalbertiら⁷⁾によって書かれている。これらはすべて先駆的研究として素晴らしいものであるが、

- 1) 遺跡出土品を扱った研究がない。
- 2) 日本産の琥珀を扱った研究がない。
- 3) 組成についての定量的な研究がない。

など、この報告書出版という見地からすれば、まだまだ不十分なものであることも否めない。

2 NMRスペクトル

子供の頃に遊んだ馬蹄形の磁石でも、登山の必需品である方位磁石でも、磁石と名のつくものには共通の性質がある。それはN極とS極の内、同じもの同志の間には斥力、異なるもの同志の間には引力が働くことである。これは試料を構成する原子分子の電子の属性であるスピンに由来する。同じものが同じく原子分子を構成する原子核にもある。これに由来する磁性が核磁気である。このものは電子の磁性に比べて3桁小さい。これを検出する方法が共鳴である。核磁気(正確には核磁気モーメント)は原子核の種類(この研究で測定するのは炭素の安定同位体の一つである¹³C)ごとに決まっている。しかし、ここで対象とする原子核は裸ではなく、電子に掩われている。このため、外部から磁場をかけても、原子核が感じている磁場は外部からのものと異なる。従って、琥珀を構成する各化学種ごとに共鳴磁場の大きさが異なり、スペクトルは複数のピークからなる。また、各ピークの強度はそれを構成する核の数(モル数)に比例するから、強度測定により、各化学種の存在比が定量出来る。なお、NMRというのはNuclear Magnetic Resonanceのアクロニムで、エヌエムアールと読む。

用いた装置は帝京科学大学設置の日本電子製JNM-Alpha-500型NMR装置で、磁場強度は11.74T(テスラ)である。

発掘試料測定の場合、気になるのは必要な試料の量である。試料管に充填する必要があり、質量にして0.2g程必要である。これだけ多量の試料が得られない場合、食塩により希釈すればよい。琥珀の場合、琥珀対食塩の質量比1:10までは測定可能なことを確認してある。測定終了後、水に溶解して食塩を除去できる。また、magic angle spinning(MAS)と称する高速回転の際、偏心を避けるため、試料を粉末にする必要がある。分子レベルでは非破壊の分析法だが、材料レベルでは破壊を伴う。

標準として用いた久慈川代の試料の固体状態での¹³C NMRスペクトルを図1に示す。たくさんのピークが重なったものであることがわかる。これらのピークの帰属はLambertら⁸⁾によってされており、ここでもそれをそのまま使用する。定量化は12個のピークの強度を使用する。どのスペクトルでもCH₂CHに帰属されるピークの強度が最も大きい。それでこのピークの強度をスペクトル毎に1,000と定める。残り11のピークの強度をこれとの相対値で示す。そうして久慈川代のものの対応するピーク強度との差を求める。それを更に2乗したものを以下で用いる。以下これを指標と呼ぶことにする。

3 劣化の影響

梨久保遺跡出土の試料では、劣化が進んでいると思われる脆い部分とそれ程劣化が進んでいないと思われる部分が共存している。両者を分離した後、別々にNMRスペクトルを測定し、相対強度を求めたのが表1である。なお、この場合に限り10個のピーク強度で比較してある。表1からCH₃、CH₃、CH₂、CH₂といった飽和結合性のピーク強度に劣化の影響が大きく出ていることがわかる。従って、以下の研究では、これらのピークからの情報を除外した考察と、すべてのピークからの情報に基づいた考察を行う。

4 ウィンドウ関数の影響

図1をはじめ、NMRスペクトルはこの形のものがいきなり測定されるのではなく、そのフーリエ変換が測定される。図2にFIDと記したのがその例である。FIDというのは、Free Induction Decayのアクロニムで、自由減衰曲線という訳語がある。これにウィンドウ関数と呼ばれる関数を掛けた後、フーリエ変換したものをスペクトルとして用いる。ウィンドウ関数はスペクトルのS/Nを改善したり、分解能を向上させたりするのに用いる。一般にFIDの裾を切るようなウィンドウ関数は分解能の向上に有効であり、裾の影響を大きく見積もるようなウィンドウ関数はS/Nの改善に有効である。また、前者は運動性に富む部分が強調され、後者は運動性に欠ける部分が強調さざる。通常ウィンドウ関数を掛けても強度に影響が出ないものが用いられるが、この研究の場合、強度に影響が現れる。これは運動性の異なるものが混在していることを示唆している。琥珀は外観的には固体のようである。それで運動性とは何ぞやと訝られる向きもあるかも知れない。琥珀は液体の分子運動が凍結された状態のもので、物理学的な意味での固体ではない。分子の末端その他のフラフラする部分があると、それらは凍結状態でもなお分子運動をしている。聊か専門的に過ぎるようであるが、この研究では避けて通れないので、コメントしておく。具体的な事柄については次節で述べる。

5 長谷堂貝塚出土の琥珀の産地

図3、図4は、それぞれ、試料No. 1、No. 2のスペクトルである。比較のために、文献⁸⁾のスペクトルを赤線で記入してある。これらと比較に用いたものすべての指標を表2と3に掲げる。前者では運動性に欠ける部分が強調されるウィンドウ関数を掛けてあり、後者では運動性に富む部分が強調されるウィンドウ関数が掛けてある。各試料毎に12個のピークの指標すべてを加えたものが、表2、3の赤字で合計と記した列に掲げてある。また、両者を纏めて棒グラフにしたのが図5である。分子の骨格となる部分の分子運動は凍結している筈であり、図5の茶色の棒で比較すべきである。そうすると、不思議なことに長谷堂貝塚出土の試料は、わが国の琥珀の三大産地のどこのものとも似ていない。これは同じ岩手県でも、水沢市の中半入遺跡出土のものが久慈産と推定されるのと大きく異なる。

劣化の影響を考慮に入れた棒グラフが図6である。長谷堂貝塚出土の試料の指標の和と三大産地のそれらとの差は更に大きくなる。従って、劣化の影響を考慮に入れても、長谷堂貝塚出土の試料の産地は推定出来ない。

今回の結論は以上である。別の可能性が考えられる方は試料を提供頂ければ、比較することは可能である。

文 献

- 1) 「平凡社大百科事典」、1027 (1990、平凡社)
- 2) 「大船渡市長谷堂貝塚現地公開資料」、(1999、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター)
- 3) 佐藤昌憲、保存科学研究集会研究発表要旨集、V-1 (1999)
- 4) J. B. Lambert and J. S. Frye, *Science*, 217, 55 (1982)
- 5) J. B. Lambert "Traces of the Past", 161 (1997, Addison-Wesley)
- 6) A. Cunningham, I. D. Gay, A. C. Oehlschlager, and J. H. Langenheim, *Phytochemistry*, 22, 965 (1983)
- 7) E. L. Ghisalberti and I. M. Godfrey, *Studies in Conservation*, 43, 215 (1998)
- 8) J. B. Lambert, C. W. Beck, and J. S. Frye, *Archaeometry*, 30, 248 (1988)

表1 梨久保遺跡（長野県岡谷市）出土の琥珀の劣化の大小による
スペクトルの相対強度のちがい

	CH ₃	CH ₃ CH ₂	CH ₂	CH ₂ CH	O=COCH ₂	HOCH ₂	C=CH ₂	C=C	C=CH ₂	CO ₂ R
梨久保遺跡 劣化小	0.808	0.896	0.803	1.000	0.194	0.184	0.086	0.182	0.107	0.191
梨久保遺跡 劣化大	0.618	0.777	0.720	1.000	0.186	0.107	0.064	0.158	0.060	0.160
各ピークの差	0.190	0.119	0.083	0.000	0.008	0.077	0.022	0.024	0.053	0.031

表3 代表的な試料の指標（T3 = 10%、T4 = 15%の場合）

	CH ₃	CH ₃ CH ₂	CH ₂	CH ₂ CH	O=COCH ₂	HOCH ₂	C=CH ₂	C=C	C=CH ₂	CO ₂ R	CO ₂ H	CO ₂ -	合計	合計
大船渡 長谷堂貝塚1	0.01	0.0063	0.023	0	0.0154	0.0322	0.0017	0.0057	0.01	0.01	0.0012	0.0008	0.1073	0.068
大船渡 長谷堂貝塚2	0.0023	0.0068	0.023	0	0.0048	0.0107	0.0012	0.0006	0.0012	0.0074	0.0008	0	0.0588	0.0267
鏡子 波止山1	0.0163	0.001	0.008	0	0.0012	0	0	0	0	0	0.0004	0	0.0269	0.0016
鏡子 波止山2	0.001	0.0038	0.0252	0	0.0004	0	0	0	0.0001	0.0023	0.0003	0	0.0331	0.0031
鏡子 波止山3	0.0146	0.008	0.0347	0	0.0043	0.0003	0	0	0.0003	0.0002	0.0004	0	0.0628	0.0055
鏡子 波止山4	0.02	0.0012	0.0004	0	0.0039	0	0	0.0008	0.0002	0.002	0.0006	0.0004	0.0295	0.0079

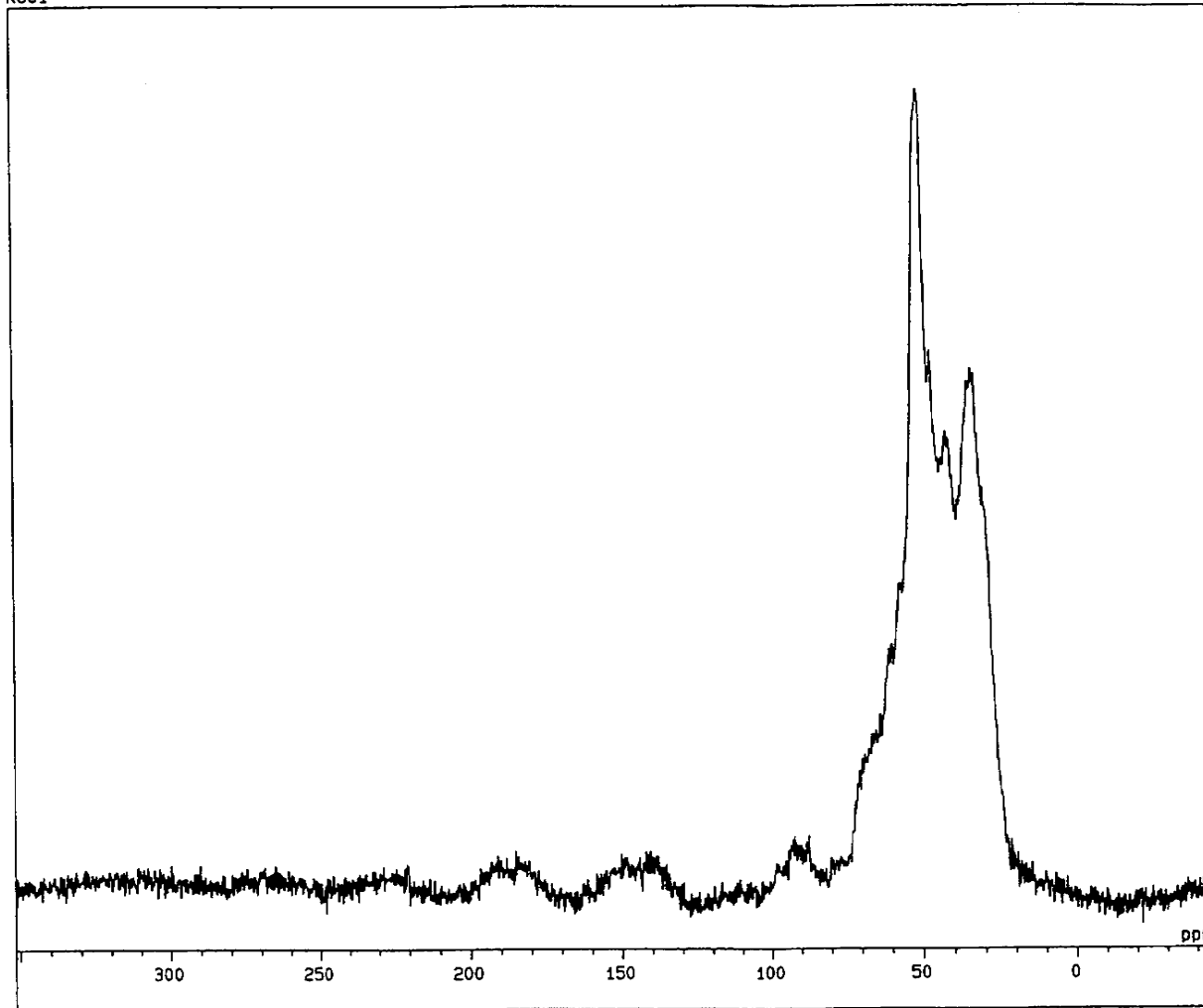
合計:すべてのピークの値の合計
合計:劣化の影響の大きい三つのピーク(CH₃, CH₃CH₂, CH₂)の値を除いた合計

	CH ₃	CH ₃ CH ₂	CH ₂	CH ₂ CH	O=COCH ₂	HOCH ₂	C=CH ₂	C=C	C=CH ₂	CO ₂ R	CO ₂ H	CO ₂ -	合計	合計
大船渡 長谷堂貝塚1	0.0017	0.0006	0.0144	0	0.0207	0.0282	0.0086	0.0113	0.0106	0.0047	0.0008	0.0012	0.1028	0.0861
大船渡 長谷堂貝塚2	0.0405	0.0215	0.0314	0	0.001	0.0015	0.0006	0.0031	0.0004	0.0024	0.0004	0.0004	0.1122	0.0188
久慈 川代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久慈 野田村	0.0017	0	0.0006	0	0.0003	0.0002	0.0002	0	0	0.0001	0	0	0.0031	0.0008
久慈 堀内	0.0083	0.0005	0.0001	0	0.0046	0	0.0006	0.0031	0.0008	0.0006	0.0004	0.0004	0.0194	0.0105
いわき 南沢	0.0038	0.0089	0.001	0	0.006	0.0012	0.001	0.0082	0.0002	0.0031	0.0028	0.0008	0.037	0.0233
いわき 入間	0.0002	0.0244	0.0021	0	0.0002	0.0005	0.0001	0.0012	0	0.0001	0.0001	0	0.0289	0.0022
いわき 末鏡	0.002	0.0089	0.001	0	0.001	0.0008	0	0.0021	0	0.0003	0.0001	0	0.0162	0.0043
鏡子 波止山1	0.0248	0.0002	0.0105	0	0.0009	0.0008	0.0004	0	0.0004	0.0017	0.0002	0.0001	0.04	0.0045
鏡子 波止山2	0.0052	0.0014	0.0017	0	0.0014	0.0014	0.0002	0	0.0001	0.0002	0.0002	0.0002	0.012	0.0037
鏡子 波止山3	0.0135	0.0062	0.0008	0	0.0038	0.0014	0	0	0	0.0001	0.0002	0.0002	0.0262	0.0057
鏡子 波止山4	0.0128	0.003	0.0008	0	0.0062	0.0002	0	0.0009	0.0001	0.0004	0.0001	0	0.0245	0.0079
鏡子 若ヶ浜	0.0107	0.0003	0.0006	0	0.0028	0.0004	0	0.0018	0	0.0001	0.0001	0	0.0168	0.0052
鏡子 西明浦	0.0006	0.0089	0.0001	0	0.0002	0	0	0.0001	0	0.0005	0.0005	0.0024	0.0133	0.0037

合計:すべてのピークの値の合計
合計:劣化の影響の大きい三つのピーク(CH₃, CH₃CH₂, CH₂)の値を除いた合計

表2 測定したすべての試料（表1に掲出のものを除く）の指標
（T3 = 90%、T4 = 100%の場合）

KUJI



JEOL

12-OCT-2000 11: 44: 36.56

DFILE : ALPHA
SFILE : M7-20000721-4

EXMOD : CPMAS
IRMOD : IRLEV
POINT : 8192
SAMPO : 1024
FREQU : 50000.00 Hz
SCANS : 1024
DUMMY : 1
ACGTM : 0.0205 sec
PD : 7.0000 sec
RGAIN : 23

PW1 : 5.50 usec
PW2 : 2000.00 usec
PW3 : 5.50 usec
PW4 : 5.60 usec
PI1 : 10.0000 msec
PI2 : 10.0000 msec
PI4 : 1.0000 msec
LOOP4 : 100

OBNUC : 13C
OBFRQ : 125.65 MHz
OBSET : 126000.00 Hz
OBATN : 100

IRNUC : 1H
IRFRQ : 500.00 MHz
IRSET : 134474.00 Hz
IRATN : 40

ADBIT : 16
CTEMP : 25.1 c
CSPED : 5168 Hz

RESOL : 6.10 Hz
BF : 10.00 Hz
T1 : 0.00 %
T2 : 0.00 %
T3 : 90.00 %
T4 : 100.00 %
REFVL : 29.50 ppm
XE : 50000.00 Hz
XS : 0.00 Hz

operator

図1 久慈川代で産出した琥珀（標準試料として用いたもの）の

¹³C 固体高分解能 NMR スペクトル

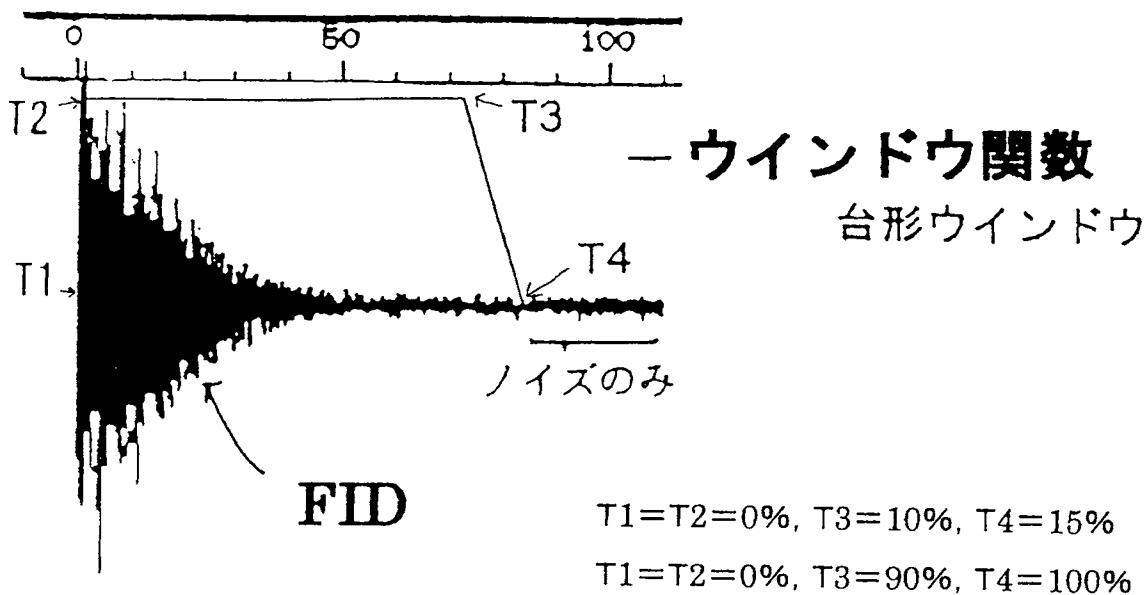
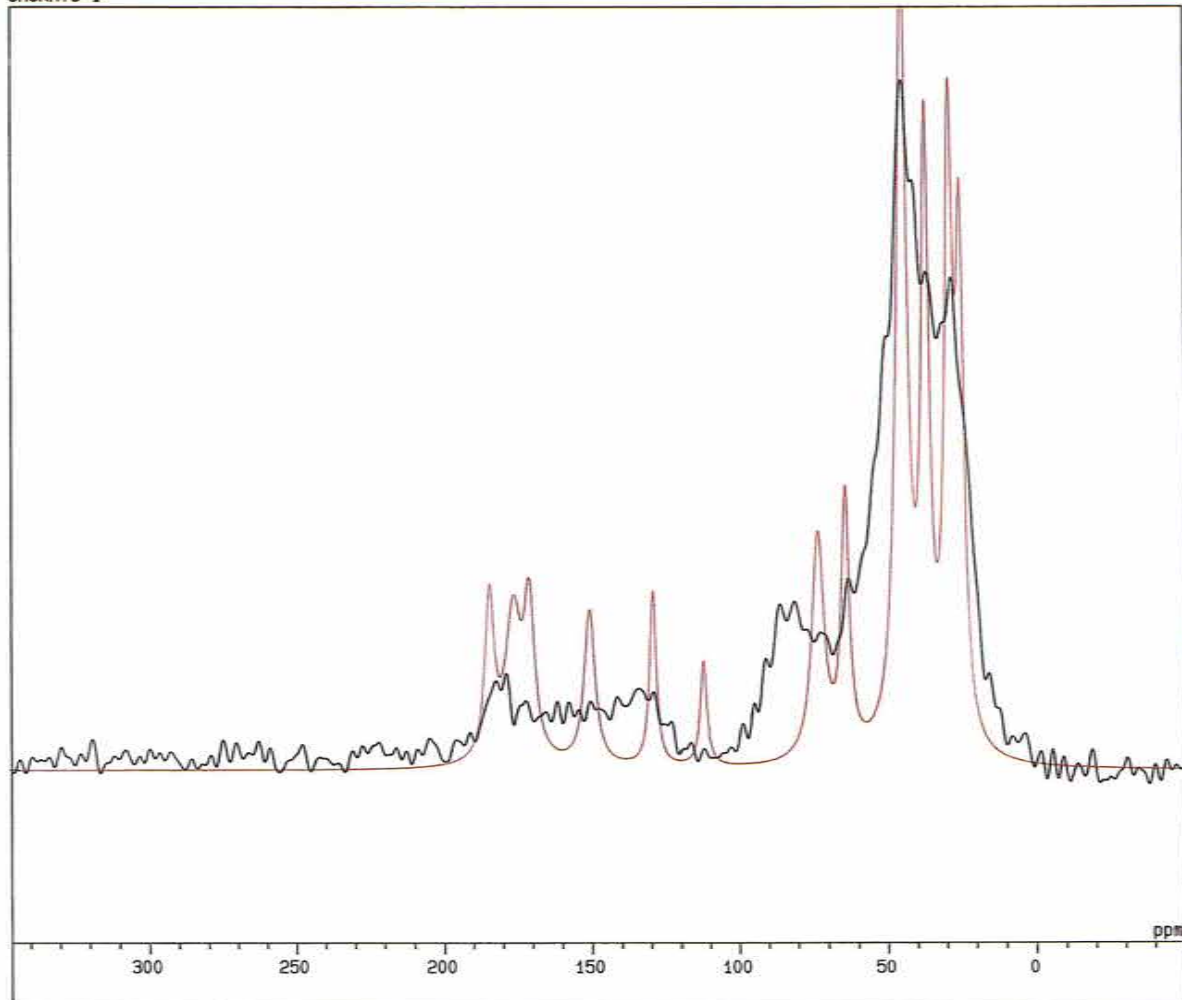


図2 FID (自由減衰曲線) とウィンドウ関数 (模式図)

$T1 = T2 = 0\%$ とし、 $T3 = 10\%$ 、 $T4 = 15\%$ で運動性に富む部分を強調、 $T3 = 90\%$ 、 $T4 = 100\%$ で運動性に欠ける部分を強調

OHUNATO 1



JEOL
7-NOV-2000 17: 10: 57.21

DFILE : ALPHA
SFILE : M7-20001012-1

EXMOD : CPMAS
IRMOD : IRLEV
POINT : 8192
SAMPO : 1024
FREQU : 50000.00 Hz
SCANS : 8192
DUMMY : 1
ACQTM : 0.0205 sec
PD : 7.0000 sec
RGAIN : 23

PW1 : 5.50 usec
PW2 : 2000.00 usec
PW3 : 5.50 usec
PW4 : 5.60 usec
PI1 : 10.0000 msec
PI2 : 10.0000 msec
PI4 : 1.0000 msec
LOOP4 : 100

OBNUC : 13C
OBFREQ : 125.65 MHz
OBSET : 126000.00 Hz
OBATN : 100

IRNUC : 1H
IRFRQ : 500.00 MHz
IRSET : 134474.00 Hz
IRATN : 40

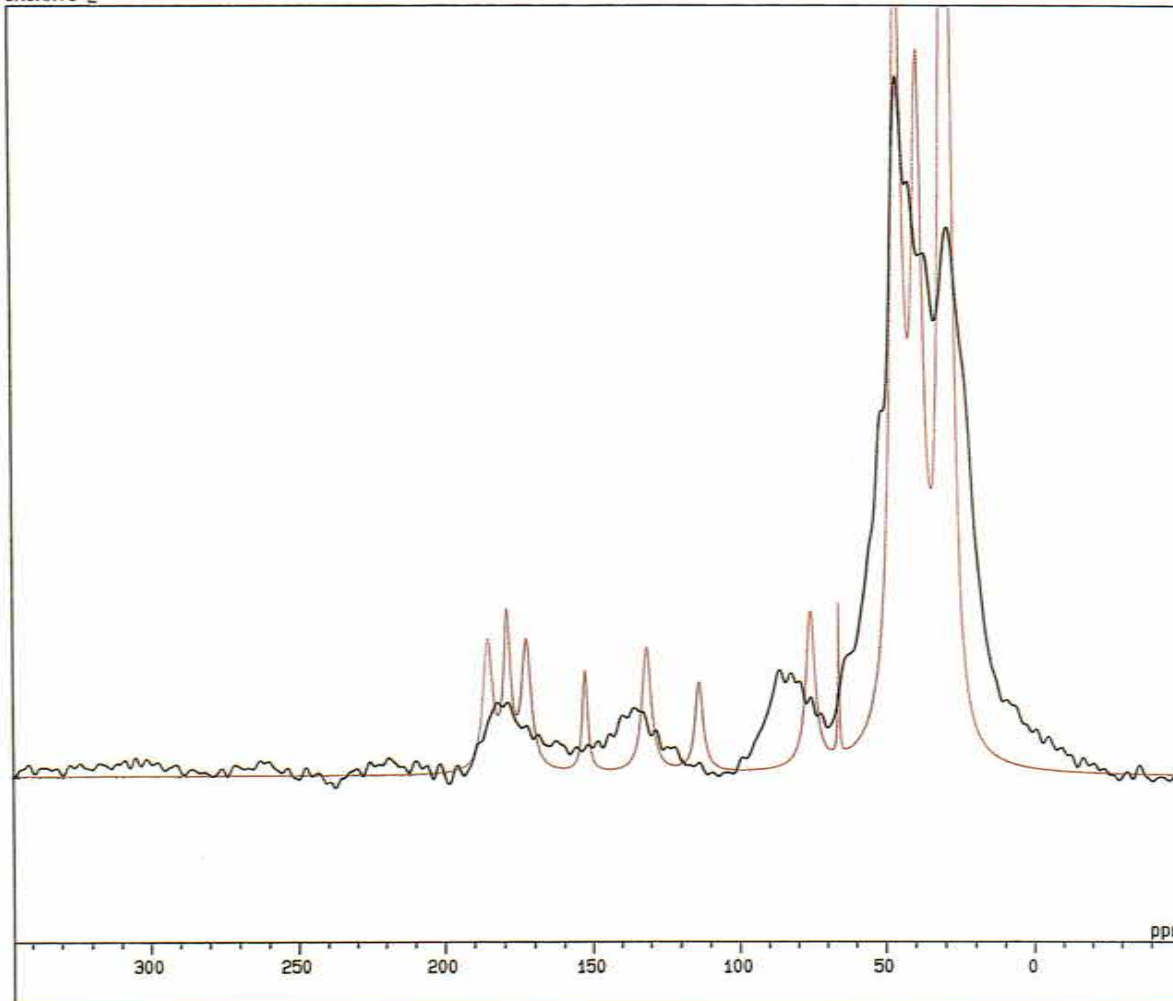
ADBIT : 16
CTEMP : 23.8 c
CSPED : 5568 Hz

RESOL : 6.10 Hz
BF : 30.00 Hz
T1 : 0.00 %
T2 : 0.00 %
T3 : 10.00 %
T4 : 15.00 %
REFVL : 29.50 ppm
XE : 50000.00 Hz
XS : 0.00 Hz

operator

図3 長谷堂貝塚出土試料 No. 1 の¹³C 固体高分解能 NMR スペクトル (黒)。赤は比較に用いた文献⁸⁾のスペクトル

OHUNATO 2



JEOL
7-NOV-2000 16: 11: 26.03

DFILE : ALPHA
SFILE : M7-20000729-1

EXMOD : CPMAS
IRMOD : IRLEV
POINT : 8192
SAMPO : 1024
FREQU : 50000.00 Hz
SCANS : 8192
DUMMY : 1
ACQTM : 0.0205 sec
PD : 7.0000 sec
RGAIN : 23

PW1 : 5.50 usec
PW2 : 2000.00 usec
PW3 : 5.50 usec
PW4 : 5.60 usec
PI1 : 10.0000 msec
PI2 : 10.0000 msec
PI4 : 1.0000 msec
LOOP4 : 100

OBNUC : 13C
OBFRQ : 125.65 MHz
OBSET : 126000.00 Hz
OBATN : 100

IRNUC : 1H
IRFRQ : 500.00 MHz
IRSET : 134474.00 Hz
IRATN : 40

ADBIT : 16
CTEMP : 23.5 c
CSPED : 5679 Hz

RESOL : 6.10 Hz
BF : 30.00 Hz
T1 : 0.00 %
T2 : 0.00 %
T3 : 10.00 %
T4 : 15.00 %
REFVL : 29.50 ppm
XE : 50000.00 Hz
XS : 0.00 Hz
operator

図4 長谷堂貝塚出土試料 No. 2 の¹³C固体高分解能NMRスペクトル(黒)。赤は比較に用いた文献⁸⁾のスペクトル

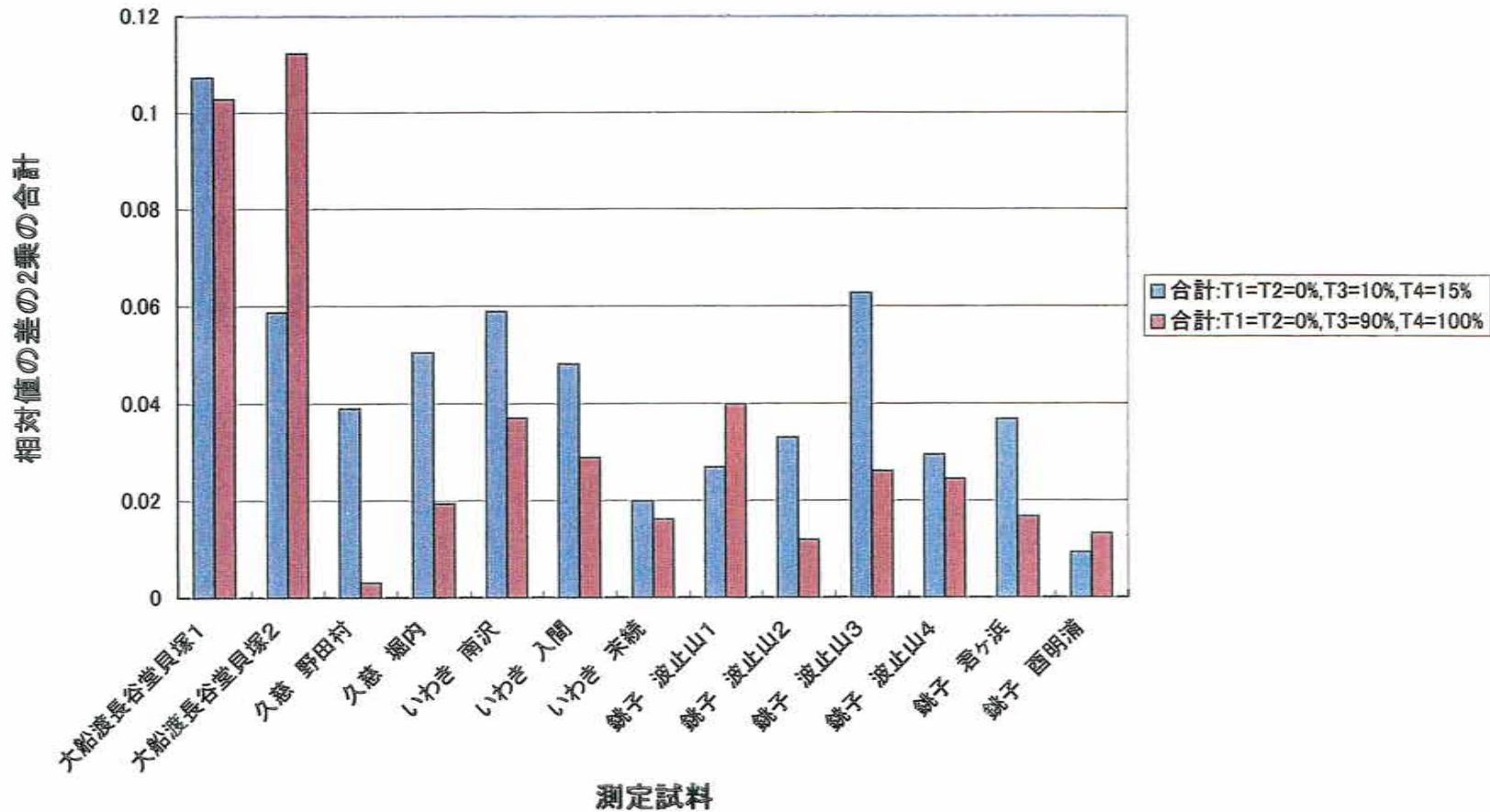


図5 測定したすべての試料（表1に掲出のものを除く）の指標の和：
 1 2個のピークすべての和（青：分子運動性に富む部分を強調、
 茶：分子運動性に欠ける部分を強調）

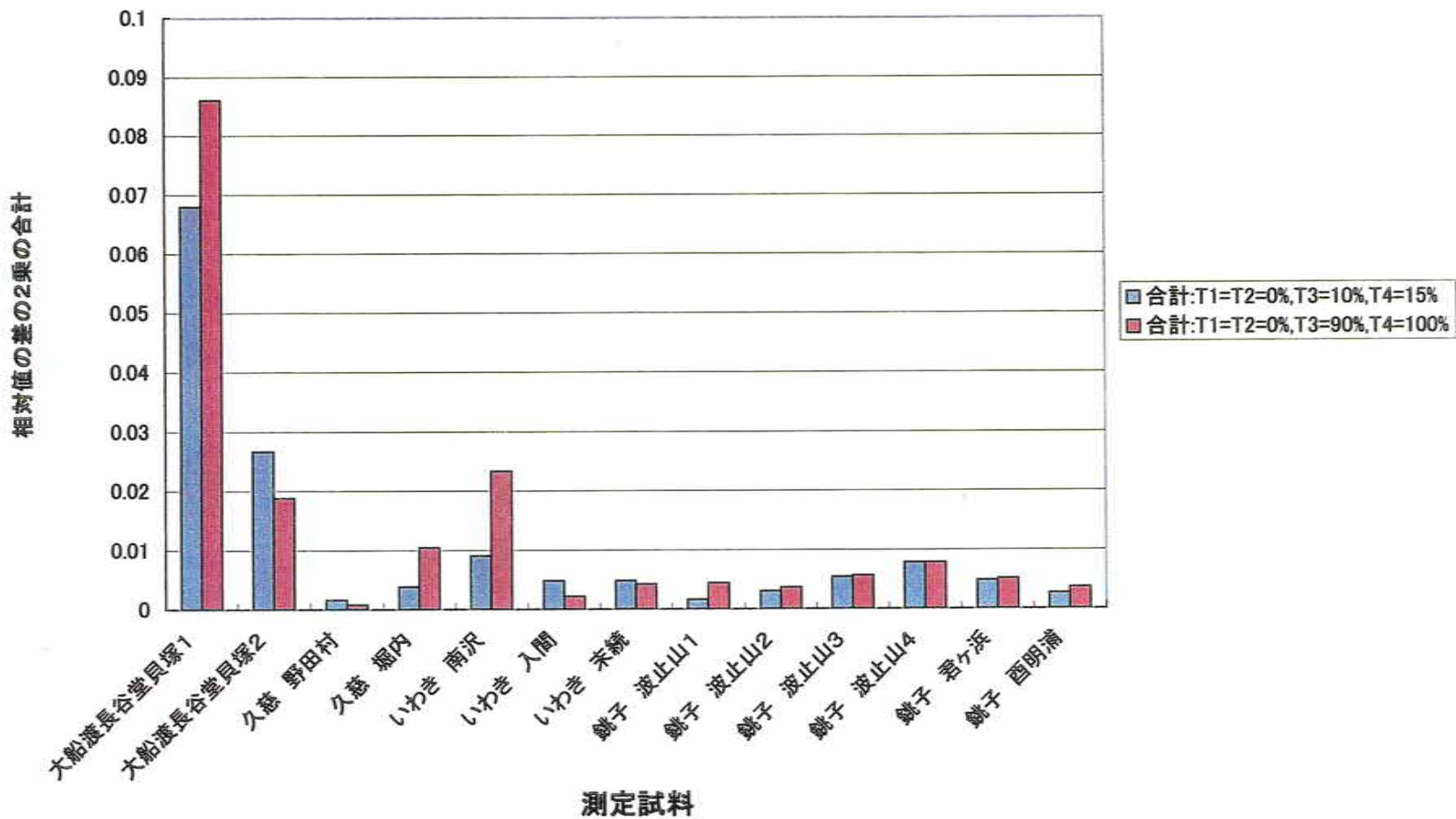


図6 測定したすべての試料（表1に掲出のものを除く）の指標の和：
 劣化の影響が小さい9個のピークの和（青：分子運動性に富む
 部分を強調、茶：分子運動性に欠ける部分を強調）

写 真 图 版

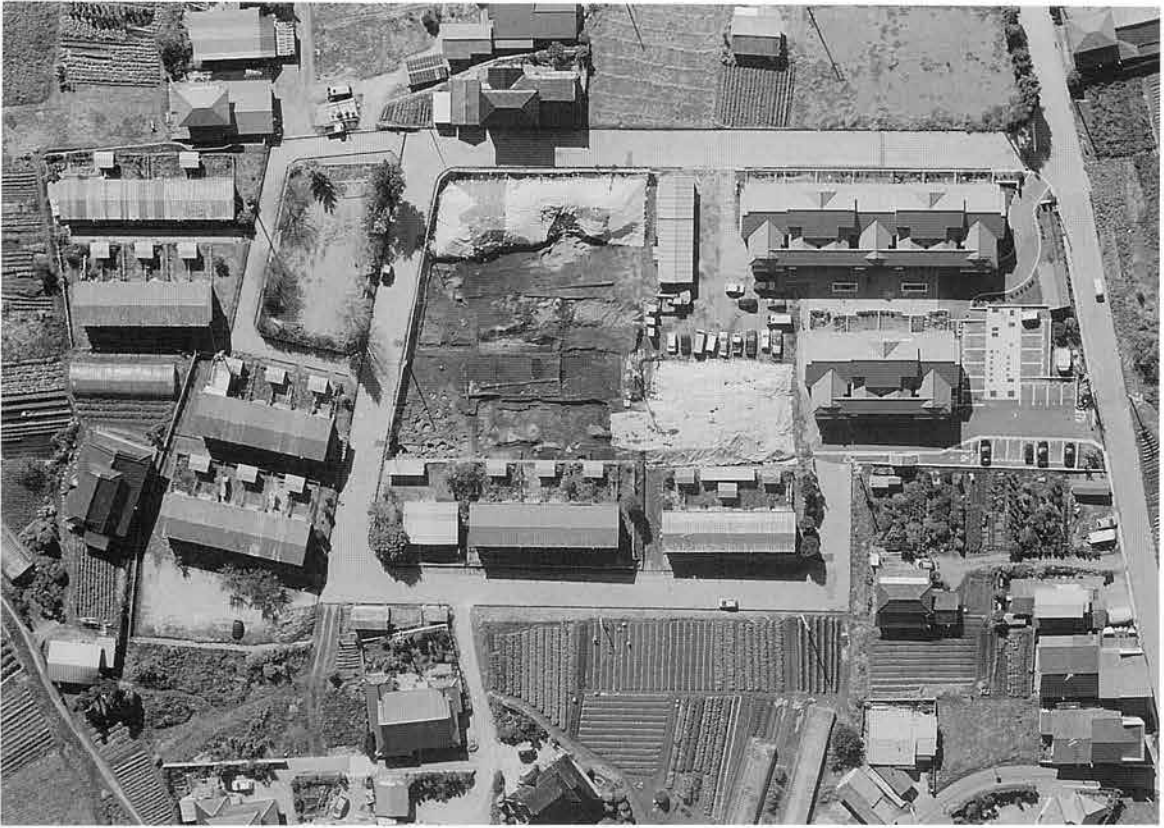


遺跡遠景（南西から）



遺跡全景（北から）

写真図版1 遺跡全景



調査区近景（北から）



調査前の遺跡近景（南から）



長谷堂中貝塚の碑



長谷堂南貝塚遺跡の碑

写真図版 2 調査区近景



RA24 平面

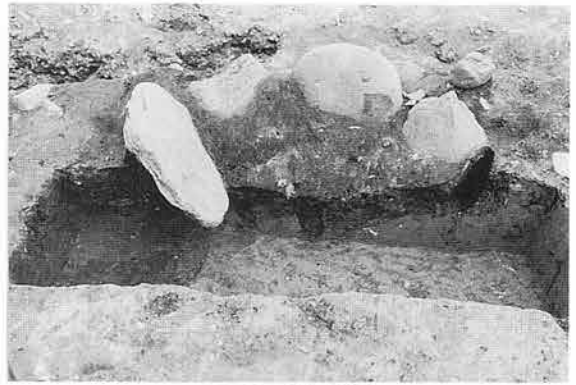


RA25 平面

写真図版 3 RA24・25住居跡(1)



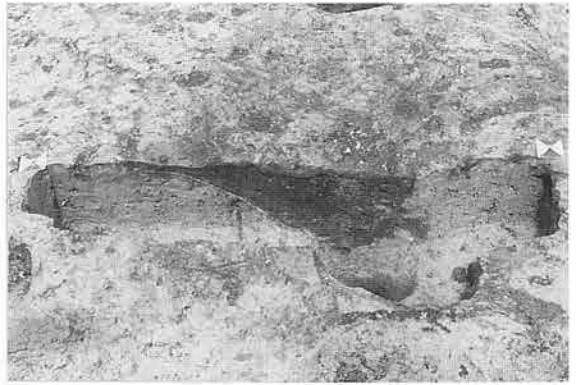
RA24 炉 平面



RA24 炉 断面



RA25 炉1 平面



RA25 炉1 断面



RA26 平面

写真図版 4 RA24・25 (2)・26住居跡



RA27 平面



RA28 平面

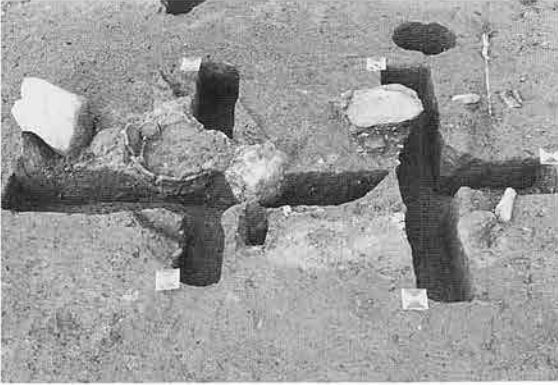
写真図版 5 RA27・28住居跡(1)



RA27・28 断面



RA27・28 断面



RA27 炉 断面



RA28 炉 断面



RA29 平面



RA29 断面

写真図版 6 RA27・28 (2)・29 (1) 住居跡



RA29 炉 平面



RA29 炉 断面



RA30 平面



RA30 断面



RA30 炉 平面



RA30 炉 断面

写真図版 7 RA29 (2)・30住居跡



RA31 平面



RA31 断面



RA31 炉 断面

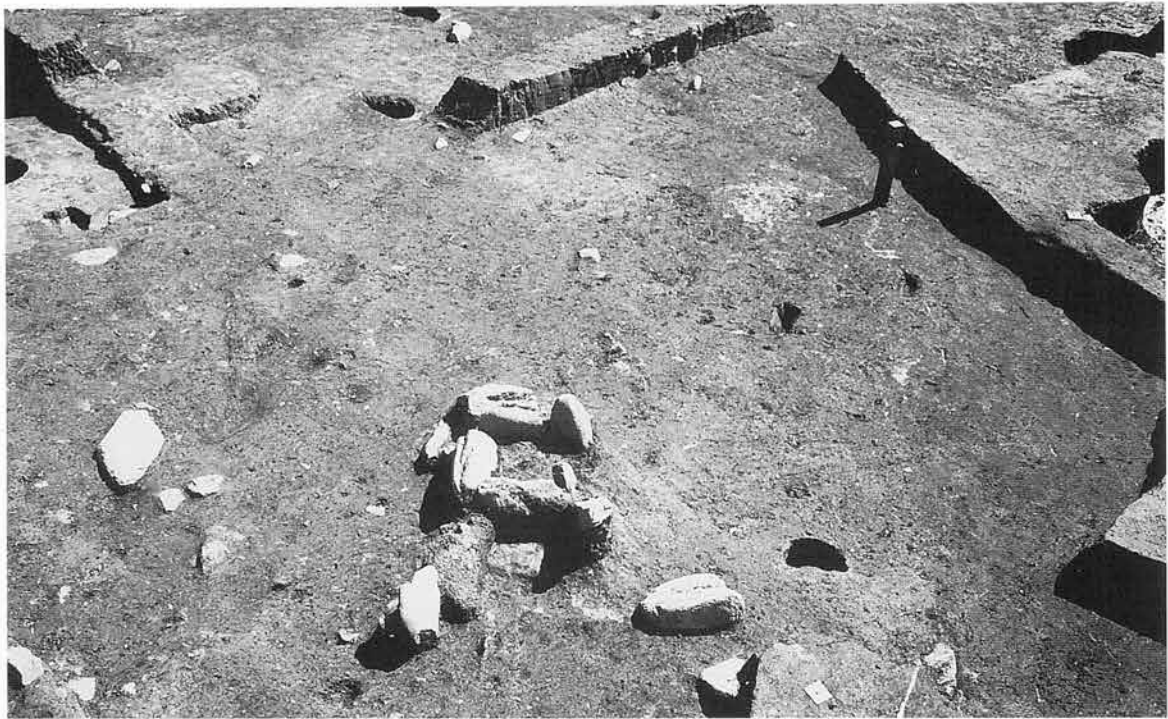


RA32 炉 断面



RA32 断面

写真図版 8 RA31・32住居跡(1)



RA32 平面



RA33 平面



RA33 炉 平面



RA33 炉 断面

写真図版 9 RA32 (2)・33住居跡



RA34・35 平面



RA35 平面

写真図版10 RA34・35住居跡(1)



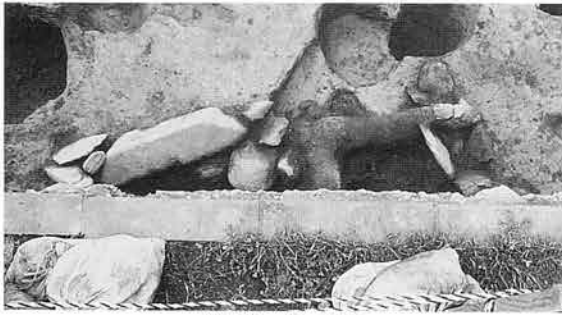
RA35 断面



RA34 炉 平面



RA34 炉 断面



RA35 炉 平面



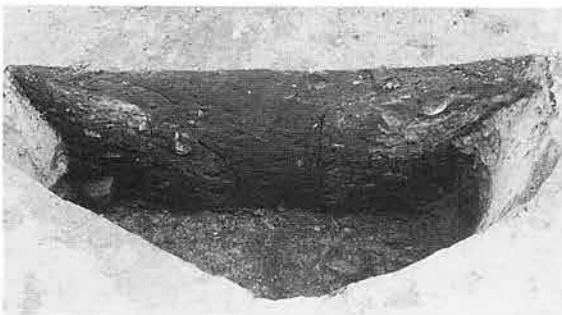
RA35 炉 断面



RA35 炉 埋設土器



RA35 炉 埋設土器

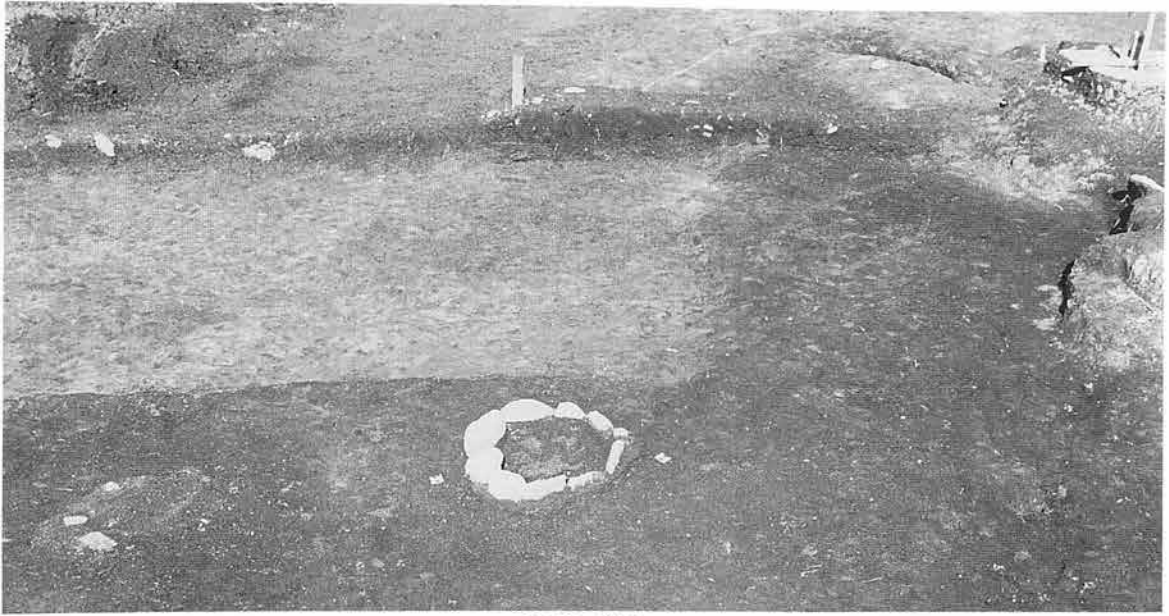


RA35-PP 2 断面



RA35-PP 3 断面

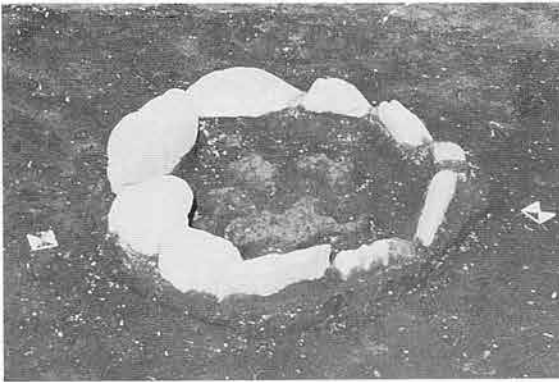
写真図版11 RA34・35住居跡(2)



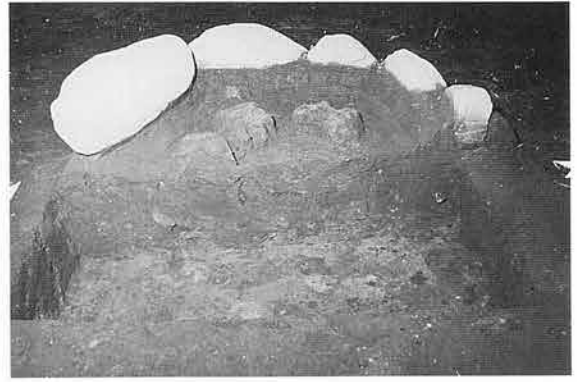
RA36 平面



RA36 断面



RA36 炉 平面



RA36 炉 断面



RA37・39 断面

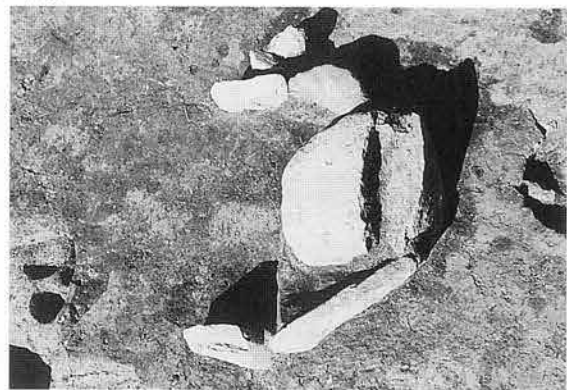
写真図版12 RA36・37・39住居跡(1)



RA37・39 平面



RA37 炉 断面



RA39 炉 平面



RA39 炉 平面

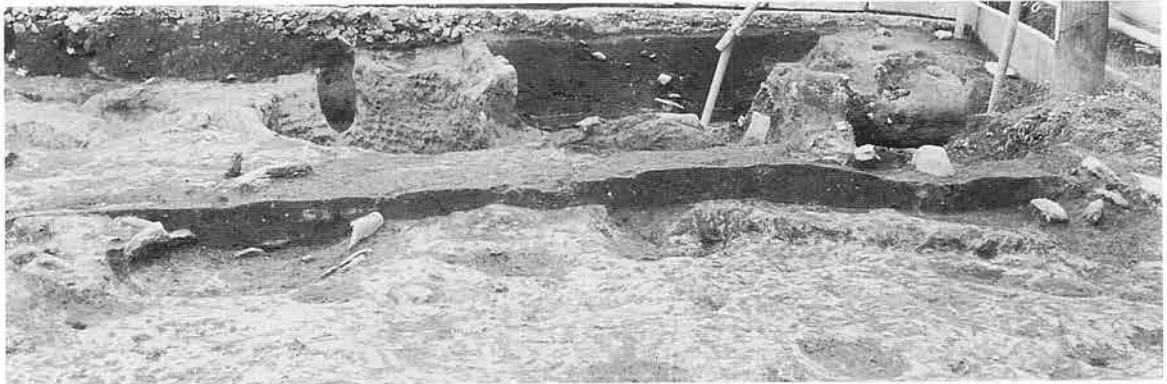


RA39 炉 断面

写真図版13 RA37・39住居跡(2)



RA38 平面



RA38 断面



RA38 炉 平面

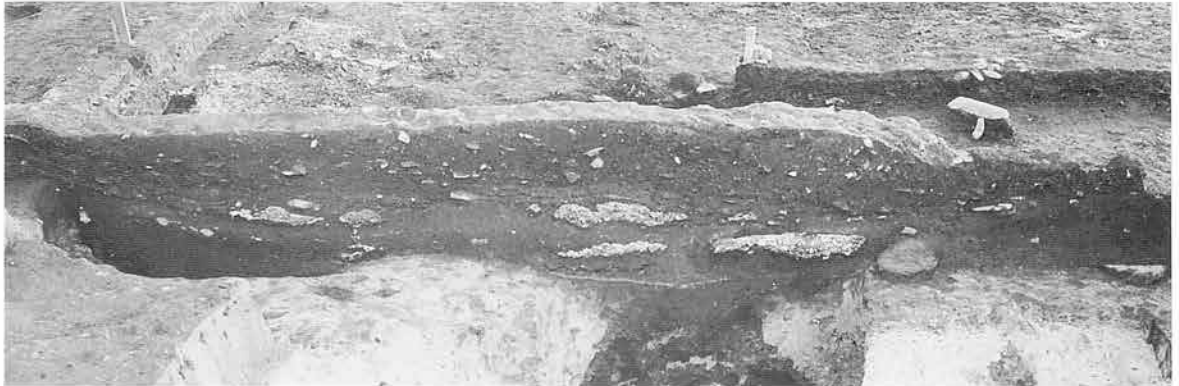


RA38 炉 断面

写真図版14 RA38住居跡



RA40 平面



RA40 断面



RA40 炉 平面



RA40 炉 断面

写真図版15 RA40住居跡(1)



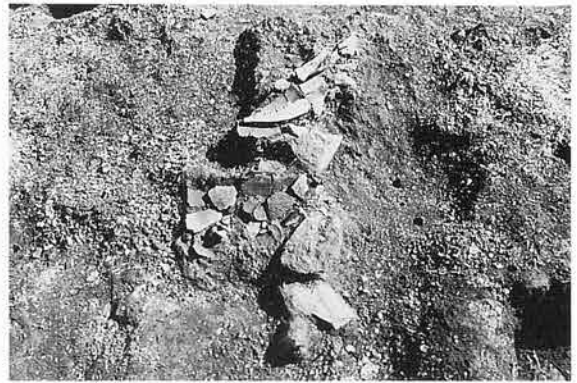
貝層出土状況



貝層・獣骨出土状況



獣骨出土状況



獣骨出土状況



貝層断面



獣骨出土状況



貝層出土状況



鹿角出土状況

写真図版16 RA40住居跡(2):貝層



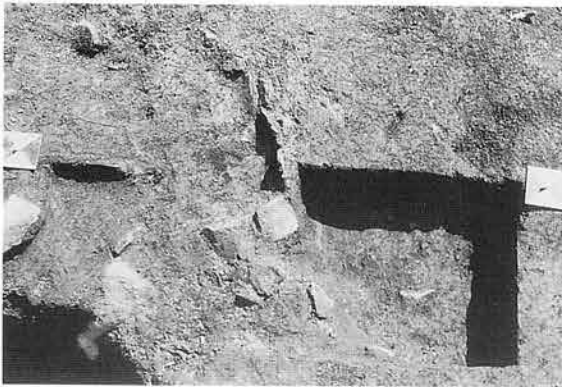
RA42 平面



RA42 炉 平面



RA42 炉 断面



RA43 炉 平面



RA43 炉 断面

写真図版17 RA42・43住居跡



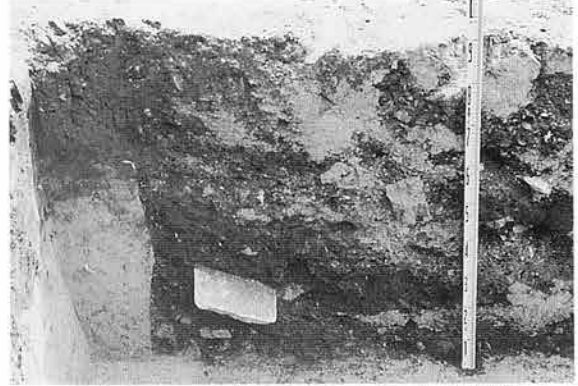
RE02 平面



RE02 断面



作業風景



基本土層 II・III層とカクラン（アパート基礎）



現地公開の様子



現地公開の様子

写真図版18 RE02竪穴状遺構



RA24 : 18K (2093)



RA26 (7)



RA33 : 30J (219)



RA37・39 (27)



RA40 (170)



RA40 (182)



RA33 貯蔵剥片



RA35 貯蔵剥片

写真図版19 住居内遺物出土状況



第11号掘立柱建物跡



第11号掘立柱建物跡①



第11号掘立柱建物跡②



RD282 断面



RD283 断面

写真図版20 第11号掘立柱建物跡 (1)



RD284 断面



RD285 断面



RD286 断面



RD290 断面



RD287 断面



RD287 平面

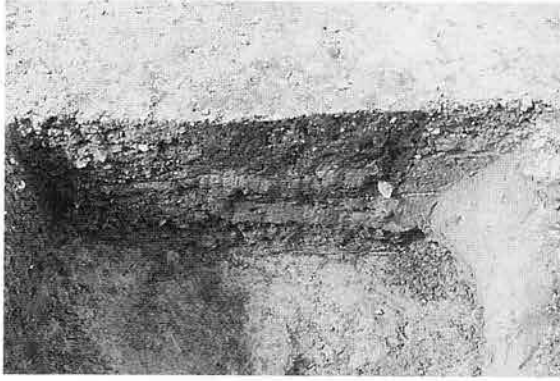


RD288 断面



RD288 平面

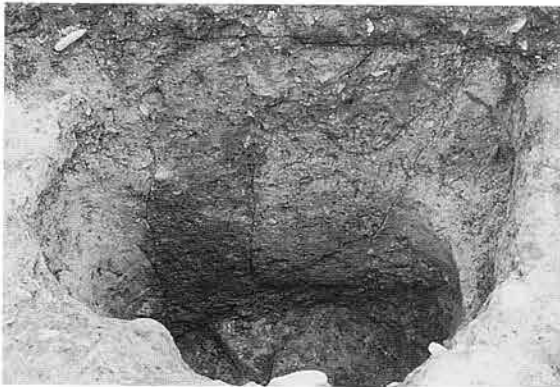
写真图版21 第11号掘立柱建物跡（2）



RD289 断面



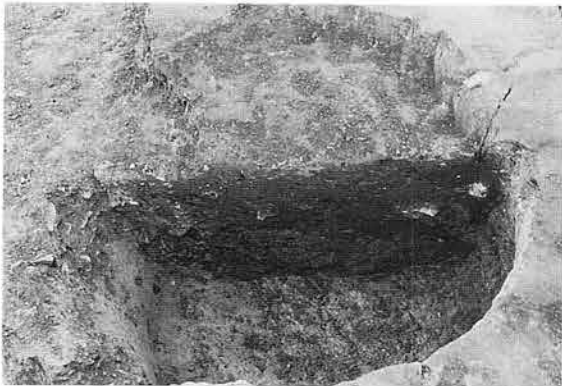
RD289 平面



RD294 断面



RD295 断面



RD296 断面



RD297 断面



RD298 断面



RD299 断面

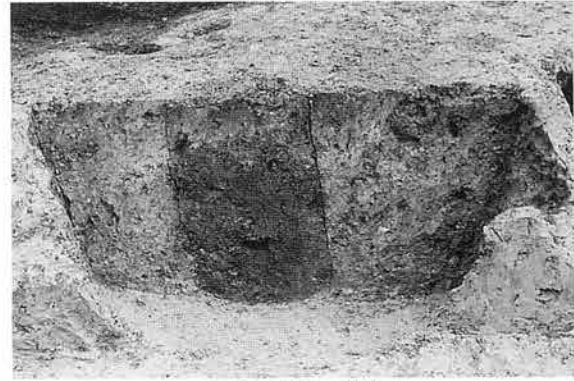
写真图版22 第11号掘立柱建物跡 (3)



第12号掘立柱建物跡



18H-PP 1 断面



19H-PP 1 断面

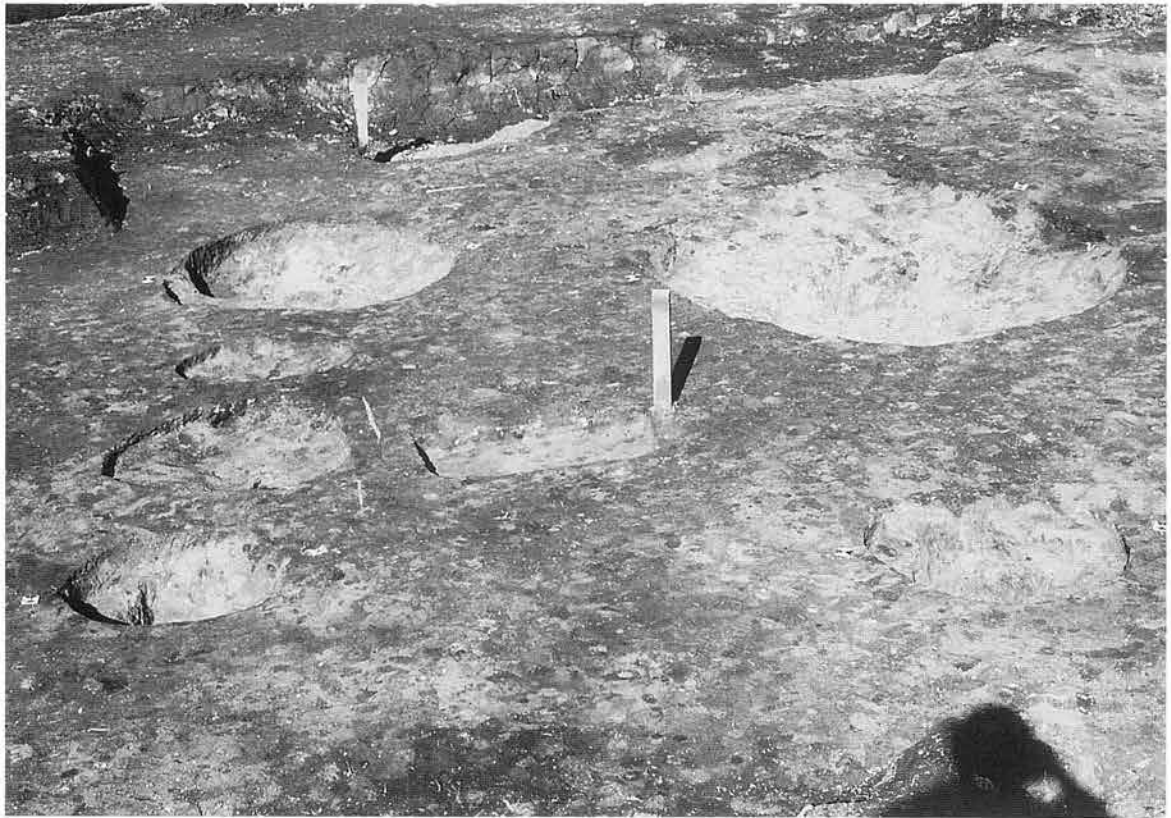


19I-PP 1 断面



19H-PP 3 断面

写真図版23 第12号掘立柱建物跡



第13号掘立柱建物跡



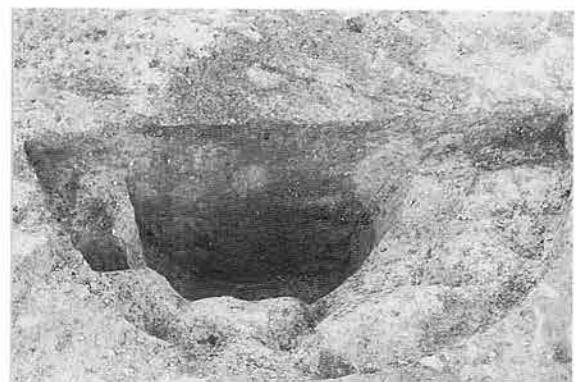
29O-PP1 断面



29O-PP2 断面

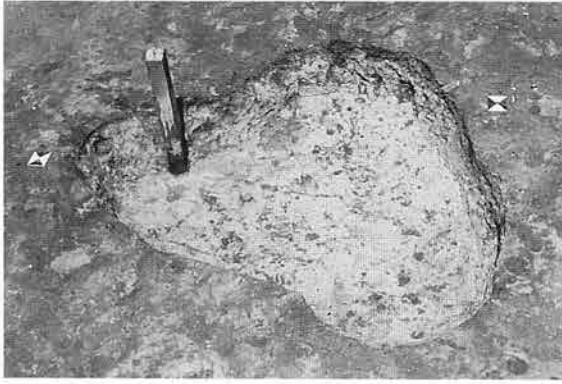


30O-PP1 断面



30P-PP1 断面

写真図版24 第13号掘立柱建物跡



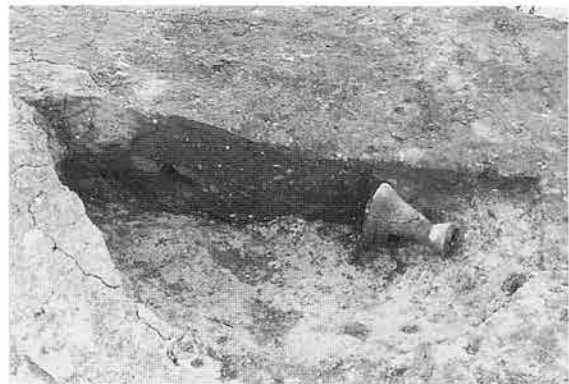
RD301 平面



RD301 断面



RD302 平面



RD302 断面



RD303・304 平面



RD303・304 断面

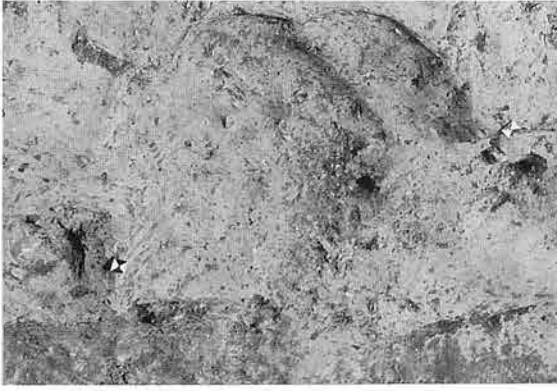


RD305・306・307 平面



RD305・306・307 断面

写真図版25 RD301~307土坑



RD308 平面



RD308 断面



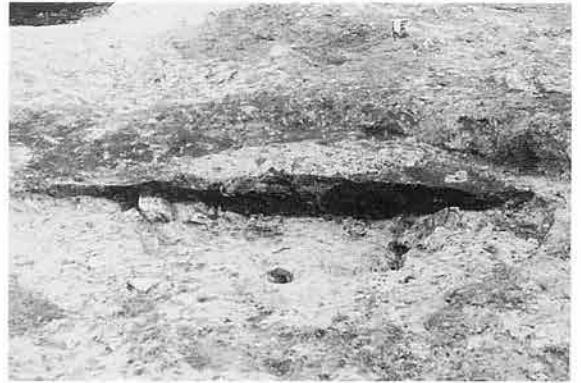
RD309 平面



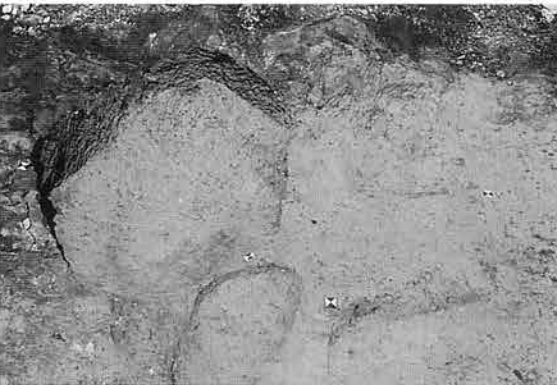
RD309 断面



RD310 平面



RD310 断面

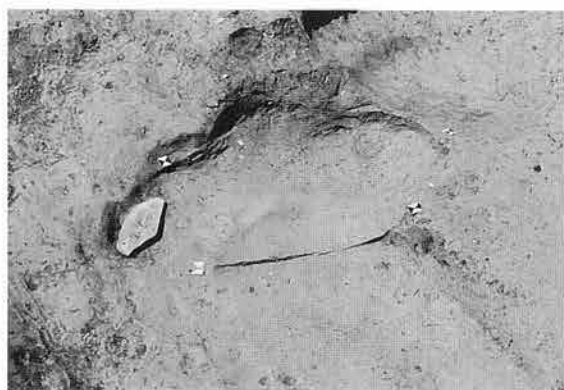


RD311・312 平面

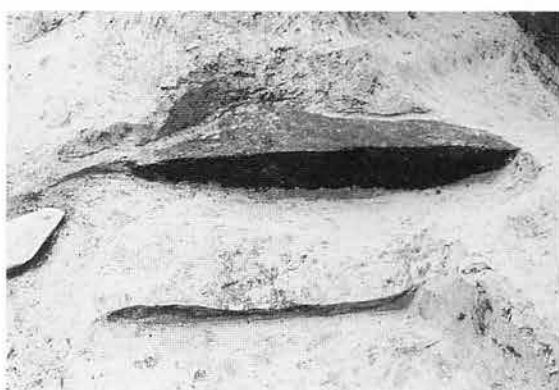


RD311・312 断面

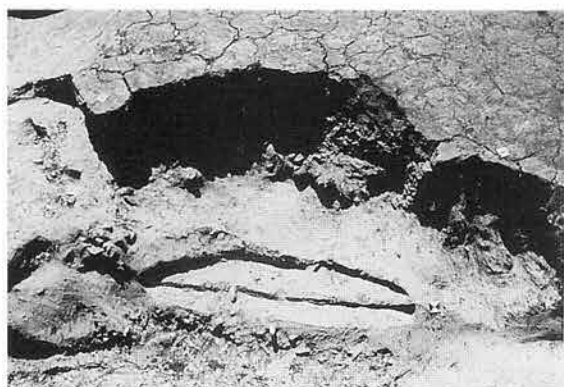
写真図版26 RD308~312土坑



RD313 • 314 平面



RD313 • 314 断面



RD315 • 316 平面



RD315 • 316 断面



RD317 平面



RD317 断面

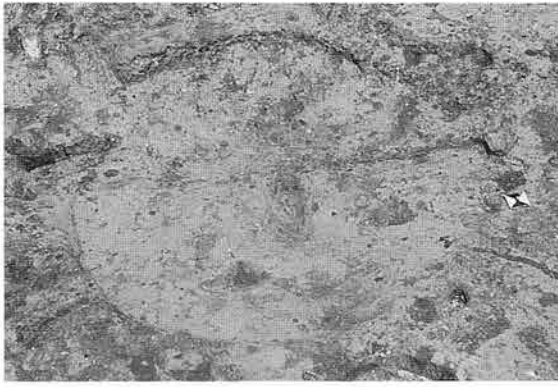


RD318 平面

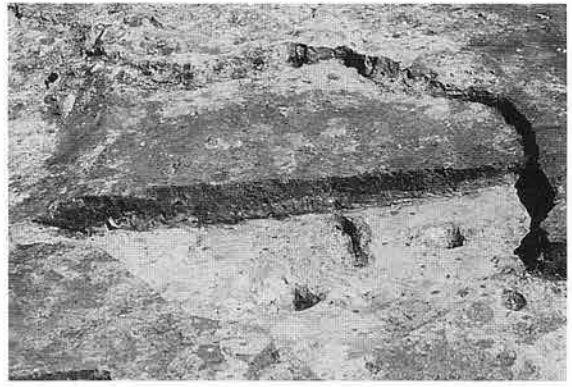


RD318 断面

写真图版27 RD313~318土坑



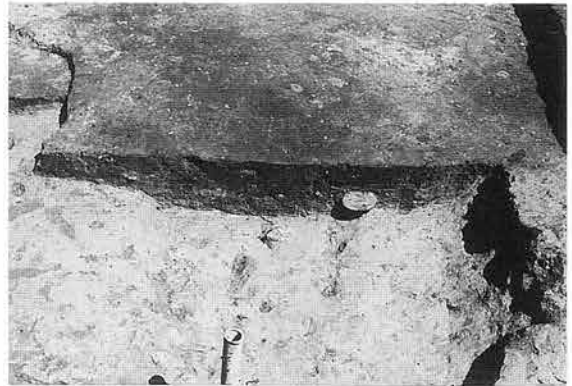
RD319 平面



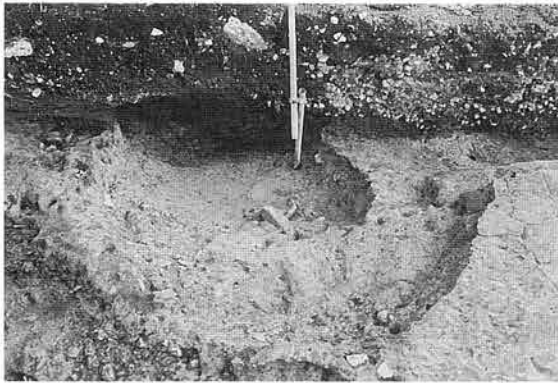
RD319 断面



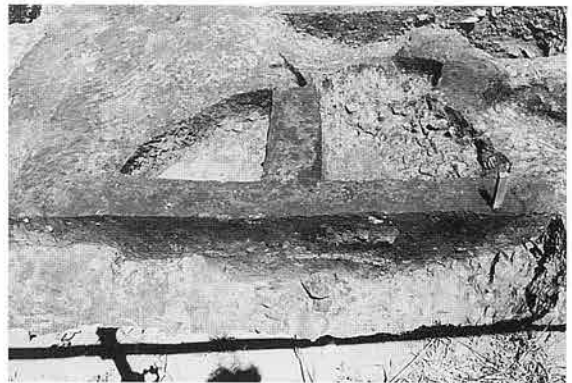
RD320 平面



RD320 断面



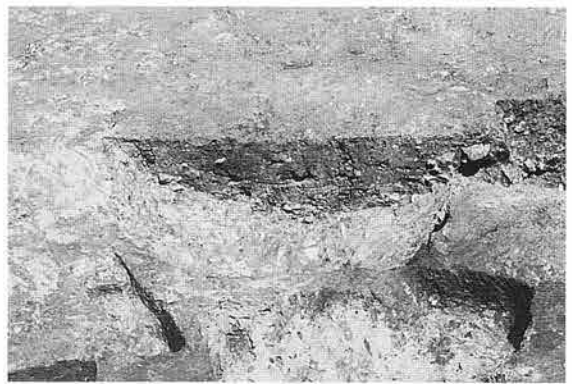
RD321・322 平面



RD321・322 断面



RD323 平面



RD323 断面

写真図版28 RD319~323土坑



RD324 平面



RD324 断面



RD325 平面



RD325 断面



RD326 平面



RD326 断面

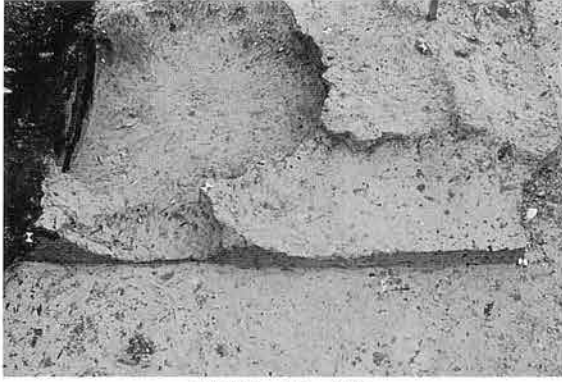


RD327・328 平面

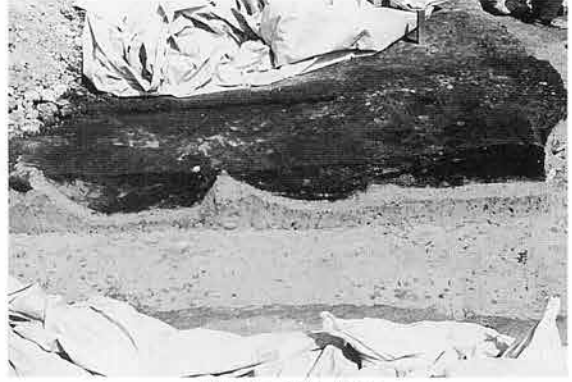


RD327・328 断面

写真図版29 RD324~328土坑



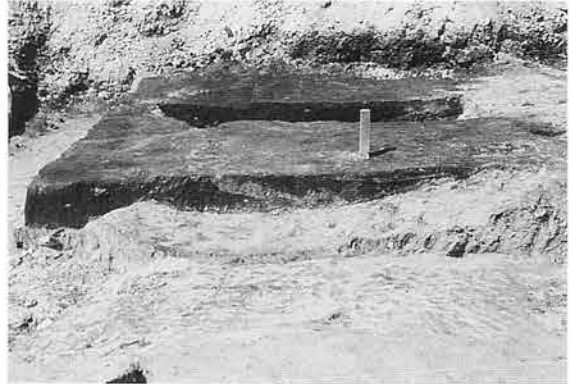
RD329・330 平面



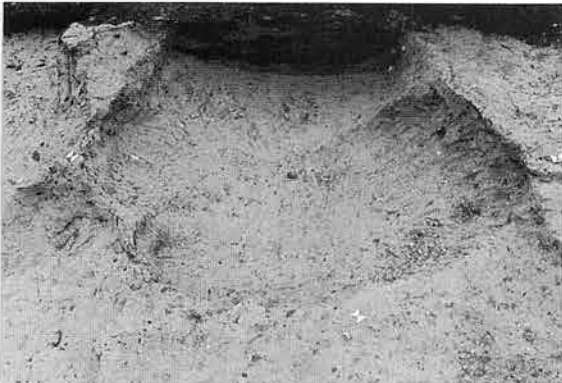
RD329・330 断面



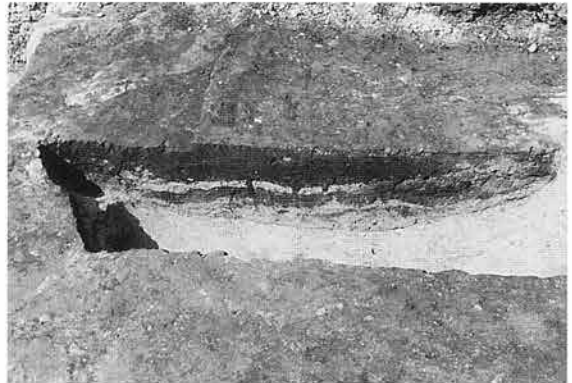
RD331 平面



RD331 断面



RD332 平面



RD332 断面



RD333 平面



RD333 断面

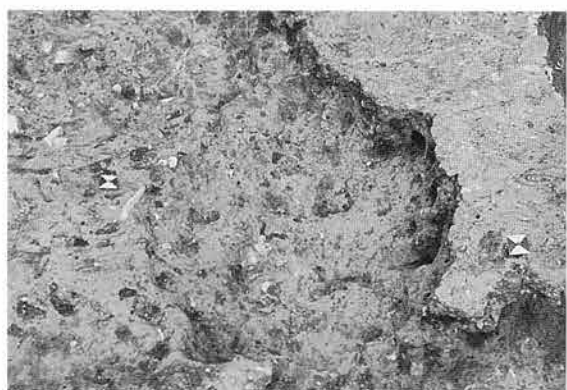
写真図版30 RD329~333土坑



RD334 平面



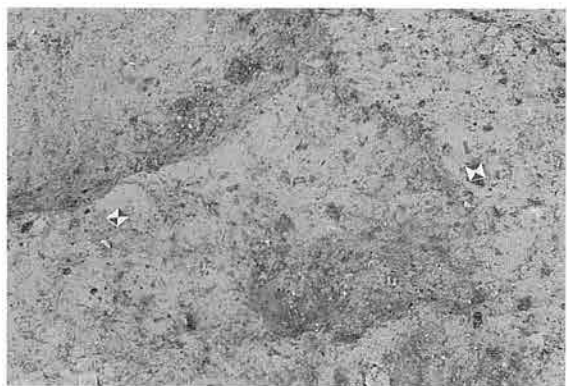
RD334 断面



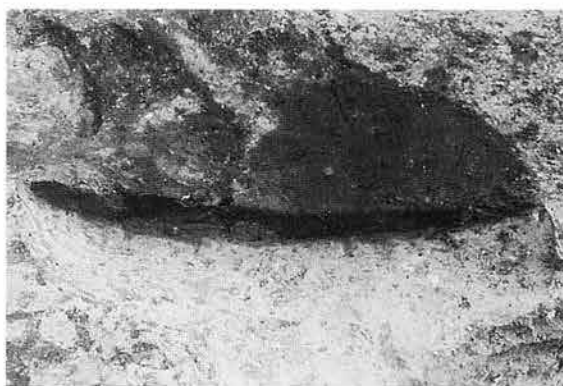
RD335 平面



RD335 断面



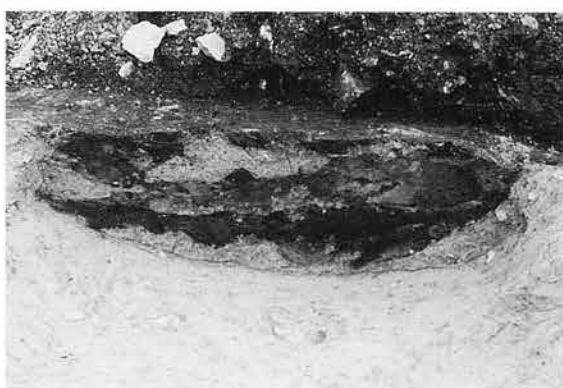
RD336 平面



RD336 断面

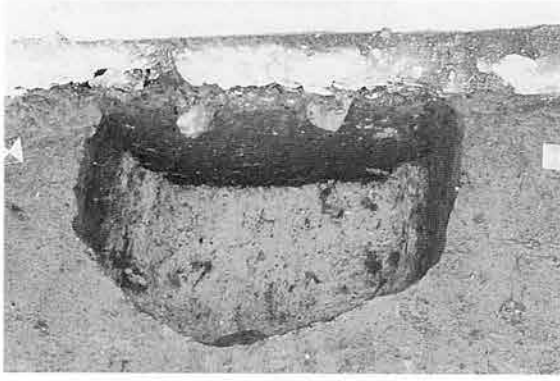


RD337 平面



RD337 断面

写真図版31 RD334~337土坑



RD338 平面



RD338 断面



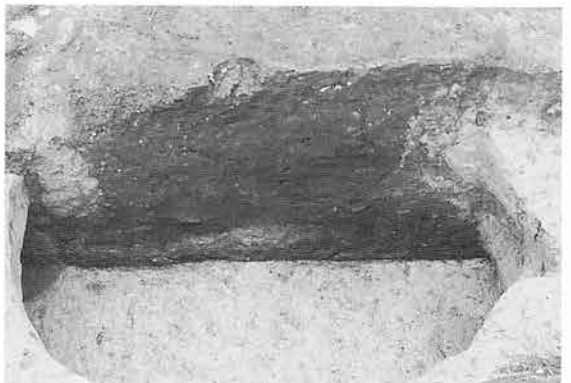
RD339 平面



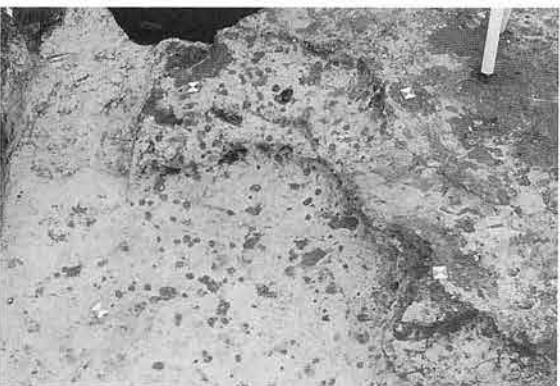
RD339 断面



RD340 平面



RD340 断面

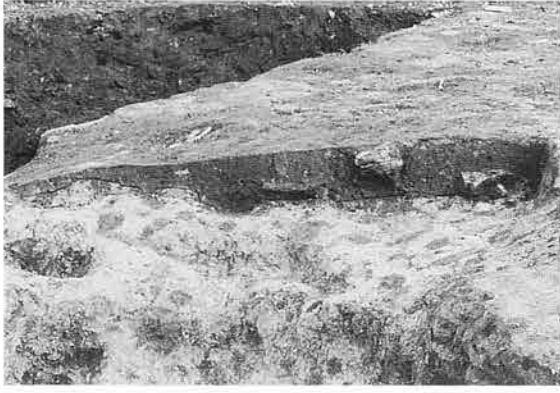


RD341・344 平面



RD341 断面

写真図版32 RD338~341・344土坑



RD344 断面



RD343 平面・断面



RD342 平面



RD342 断面



RD346 平面



RD346 断面



RD347 平面



RD347 断面

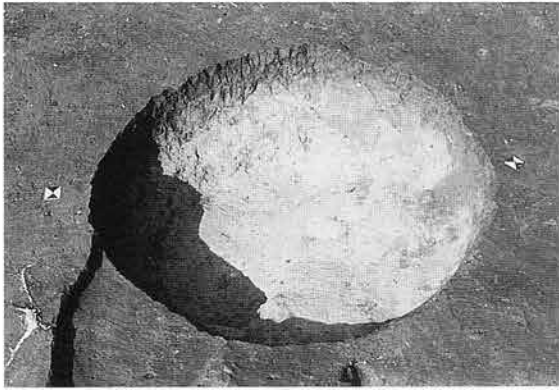
写真図版33 RD342~347土坑



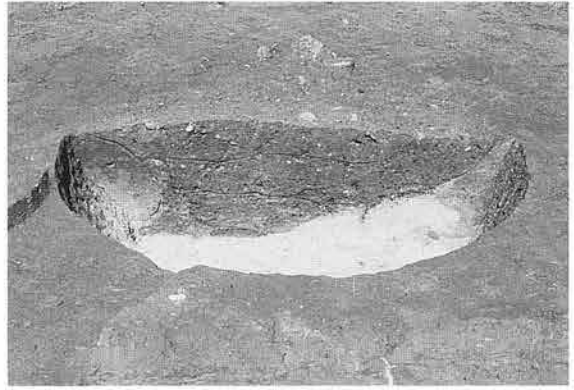
RD348 平面



RD348 断面



RD349 平面



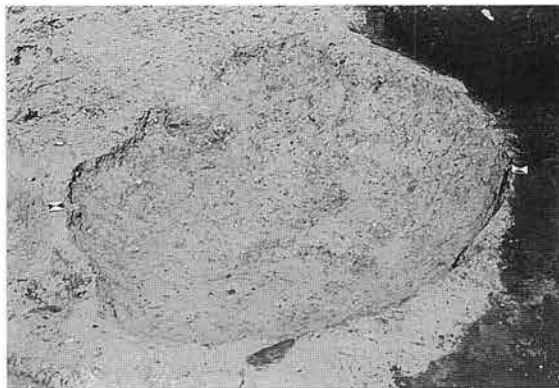
RD349 断面



RD350 平面



RD350 断面



RD351 平面



RD351 断面

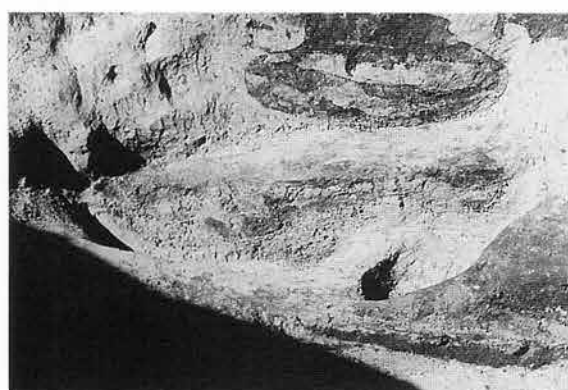
写真図版34 RD348~351土坑



RD353~357 平面



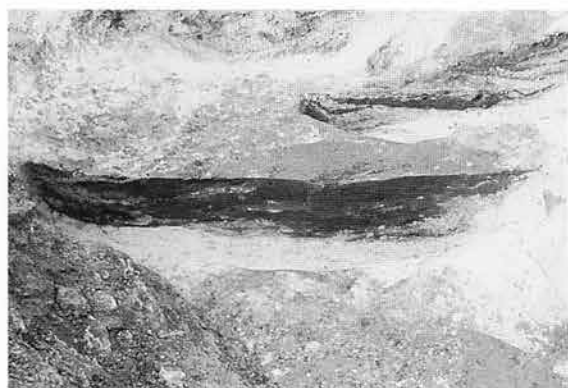
RD352 断面



RD353・354 断面



RD354 断面



RD355 断面



RD356・357 断面



RD358 平面



RD358 断面

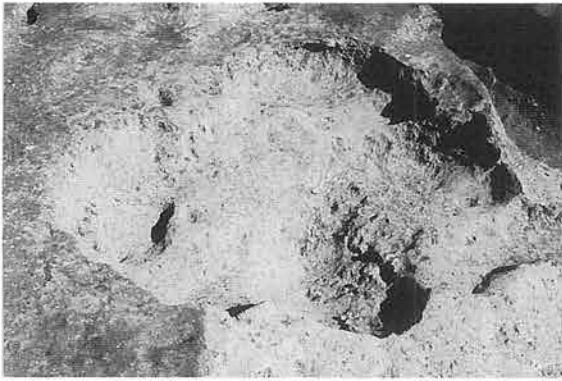
写真図版35 RD352~358土坑



RD359・360 平面



RD360 断面



RD364~367 平面



RD361・362・367 断面



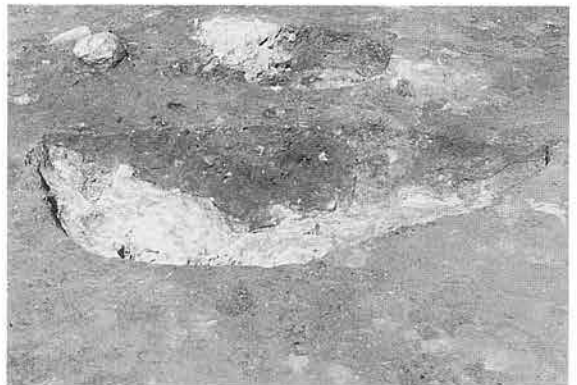
RD364~367 平面



RD353・364・366 断面



RD365 平面



RD365 断面

写真図版36 RD359~367土坑



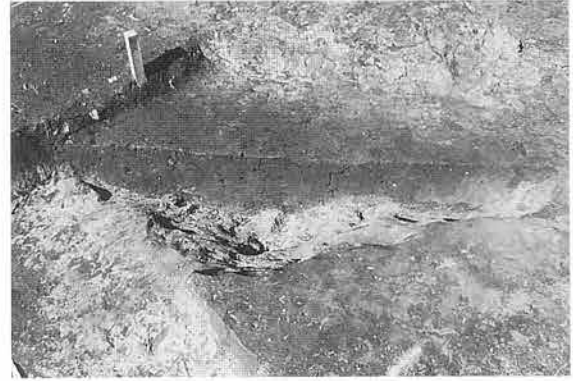
RD368 平面



RD368 断面



RD369 平面



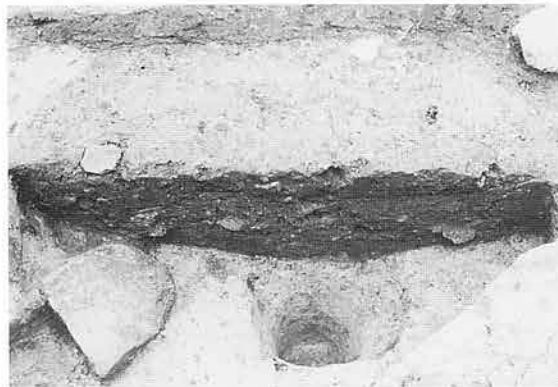
RD369 断面



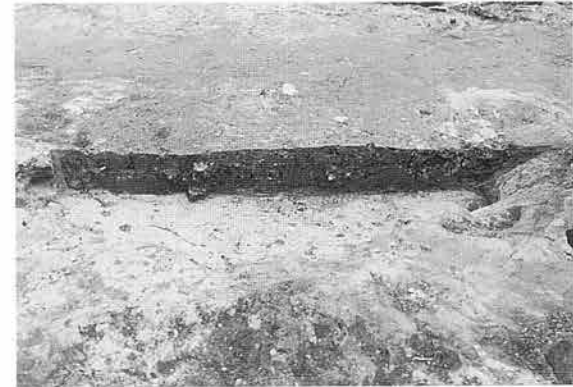
RD370 平面



RD370 断面



RD372 断面

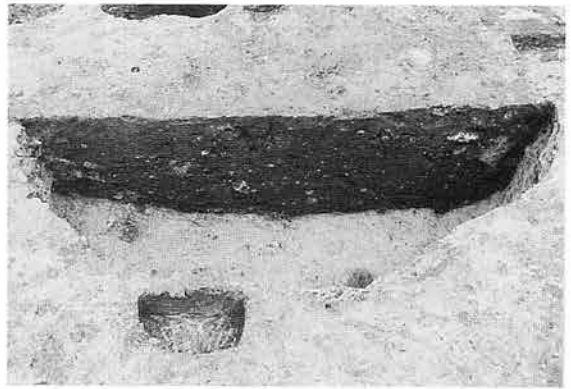


RD373 断面

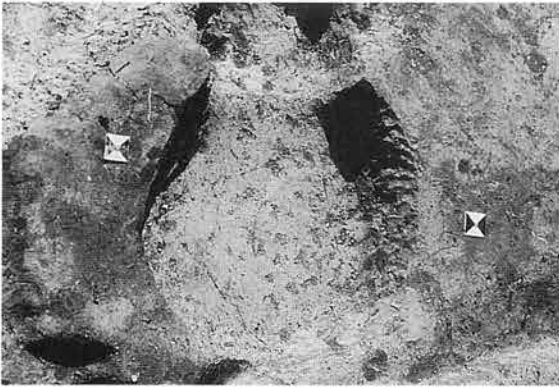
写真图版37 RD368~373土坑



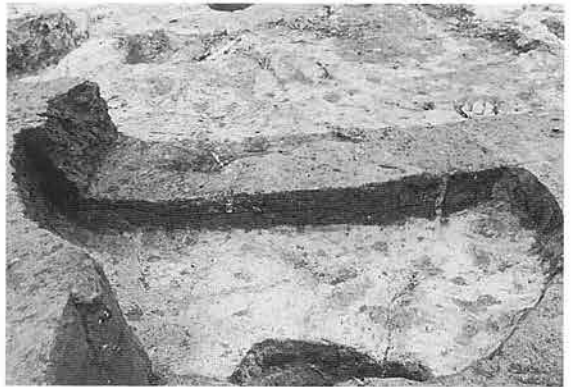
RD375 平面



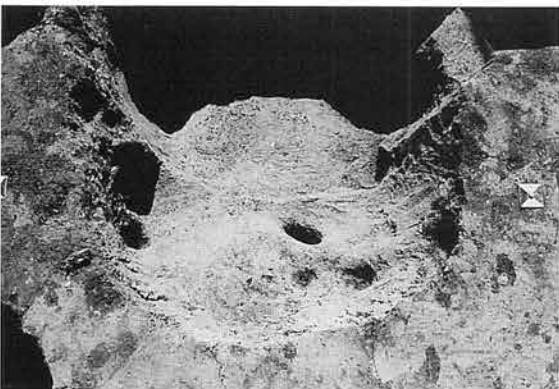
RD375 断面



RD376 平面



RD376 断面



RD377 平面



RD377 断面



RD378 平面



RD378 断面

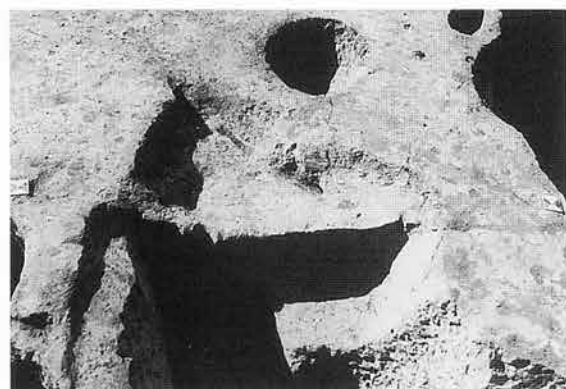
写真図版38 RD375~378土坑



RD379・380 平面



RD379・380 断面



RD381 平面



RD381 断面



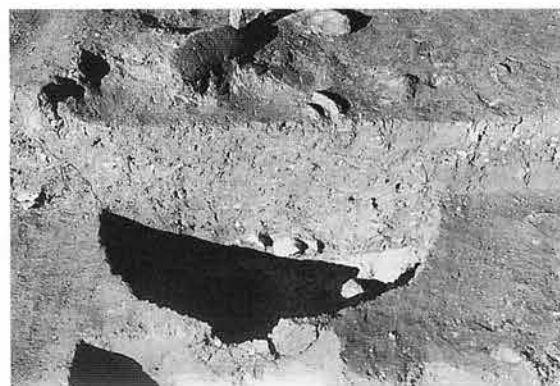
RD382 平面



RD382 断面



RD383・384 平面

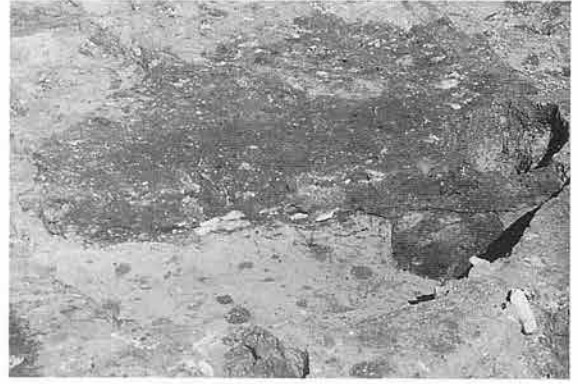


RD383・384 断面

写真图版39 RD379~384土坑



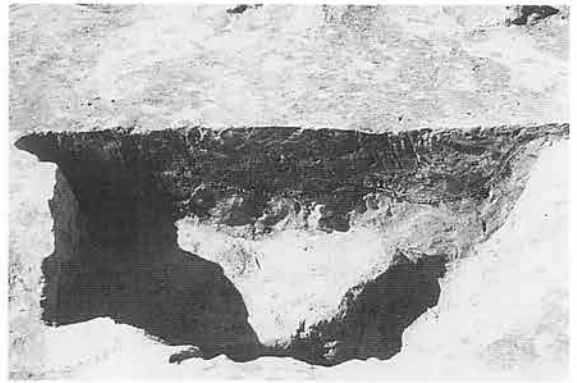
RD385 平面



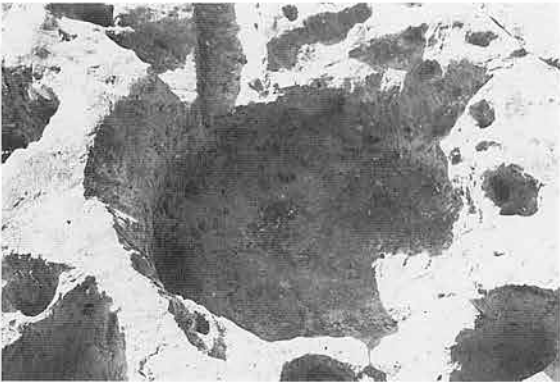
RD385 断面



RD387 平面



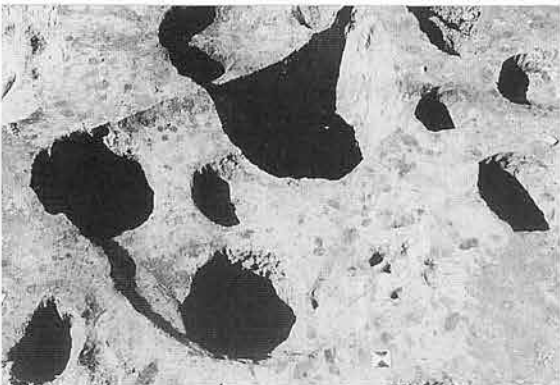
RD387 断面



RD388 平面



RD388 断面

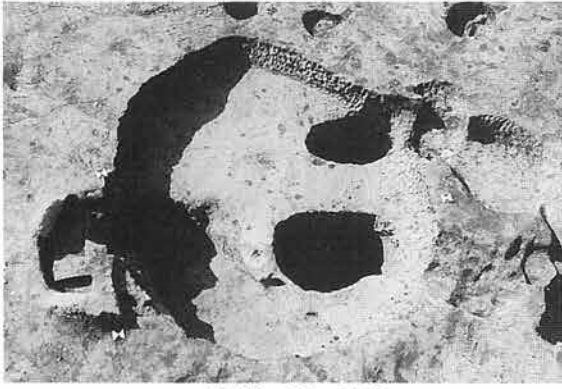


RD386 平面



RD389 断面

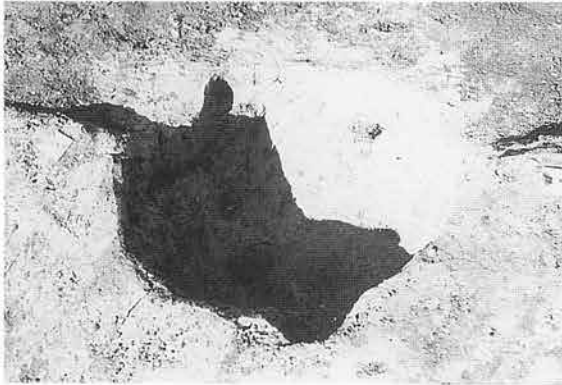
写真図版40 RD385~389土坑



RD389・390 平面



RD392 断面



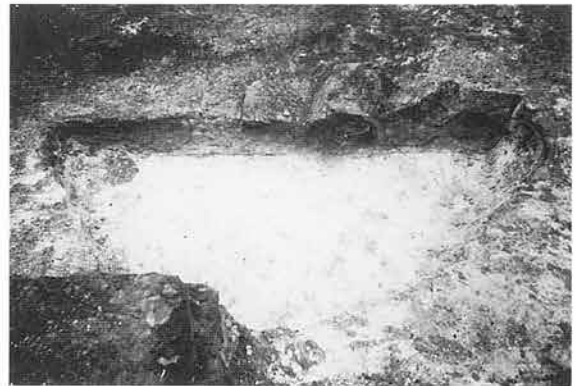
RD393 平面



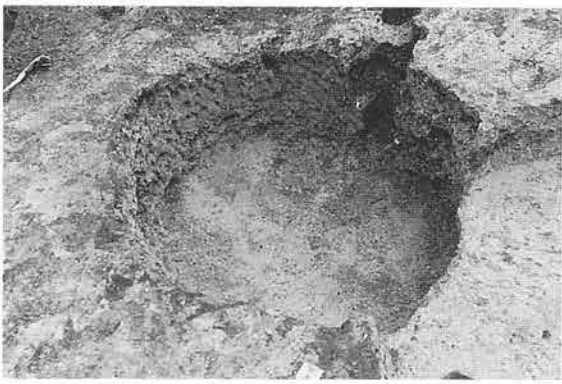
RD393 断面



RD394 平面



RD394 断面



RD395 平面

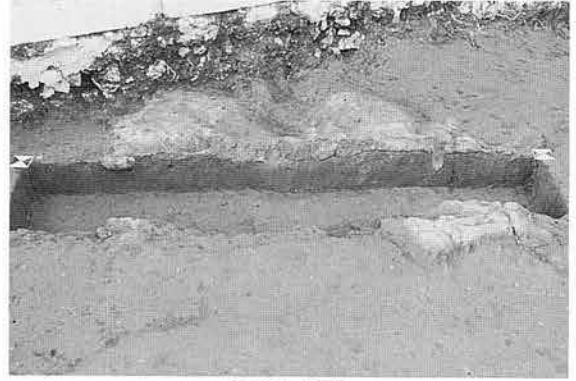


RD395 断面

写真图版41 RD389~395土坑



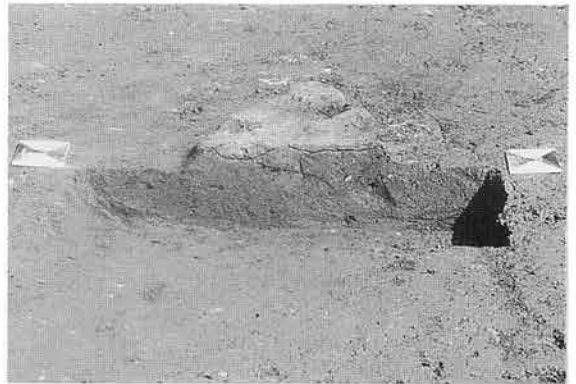
RF07 平面



RF07 断面



RF08 平面



RF08 断面



RF09 平面



RF09 断面



RF10 平面



RF10 断面

写真図版42 RF07~10焼土遺構



RF12 平面



RF12 断面



RF13 平面



RF13 断面



RF15 平面



RF16 断面

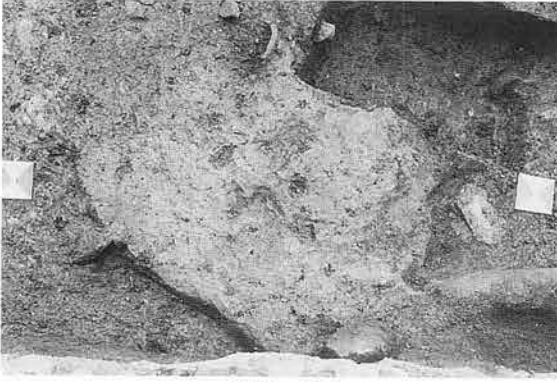


RF14・15・16 平面



RF15・16 断面

写真図版43 RF12~16焼土遺構



RF17 平面



RF17 断面



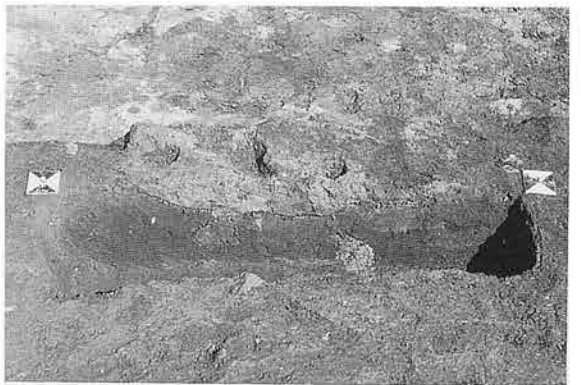
RF18 平面



RF18 断面



RF19 平面



RF19 断面



RF20 平面

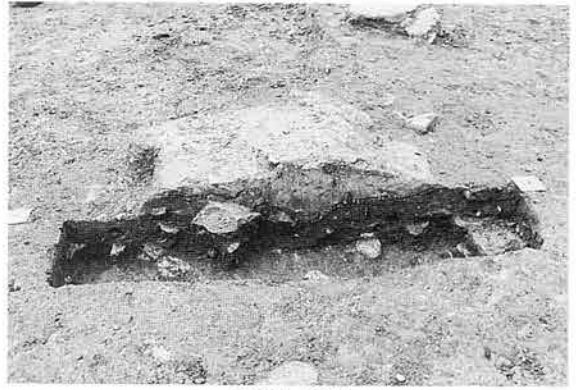


RF20 断面

写真図版44 RF17~20焼土遺構



RF21 平面



RF21 断面



RF22 平面



RF22 断面



RF23 平面



RF23 断面



RF25 平面



RF25 断面

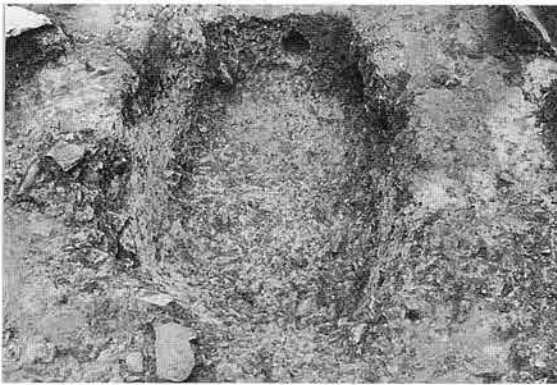
写真図版45 RF21~25焼土遺構



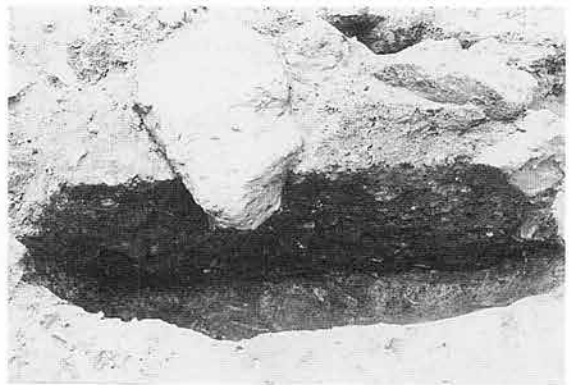
RF26 断面



RH05 検出状況



RH05 下位から検出された土坑 平面



RH05 下位から検出された土坑 断面



RH07 検出状況



調査区南側の様子



RH07 下位から検出された土坑 平面



RH07 下位から検出された土坑 断面

写真図版46 RF26焼土遺構、RH05・07配石遺構



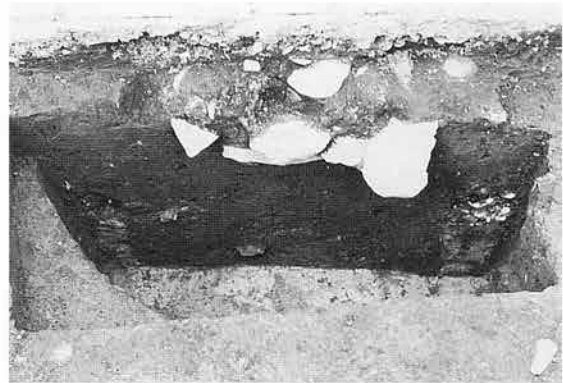
RH08 検出状況



RH08 断面



RH09 検出状況



RH09 下位から検出された土坑 断面



RH10 検出状況



RH11 検出状況



RH11 下位から検出された土坑 断面



RH11 下位から検出された土坑 平面

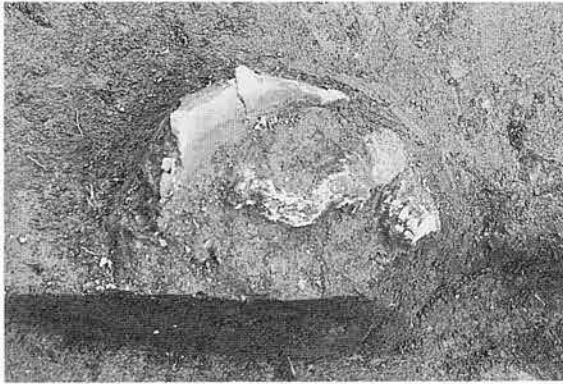
写真図版47 RH08・09・10・11配石遺構



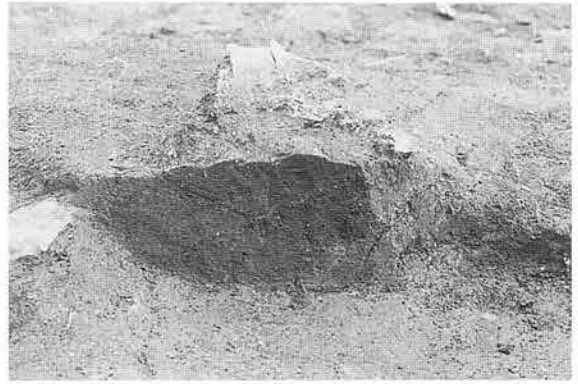
RZ07 平面



RZ09 断面



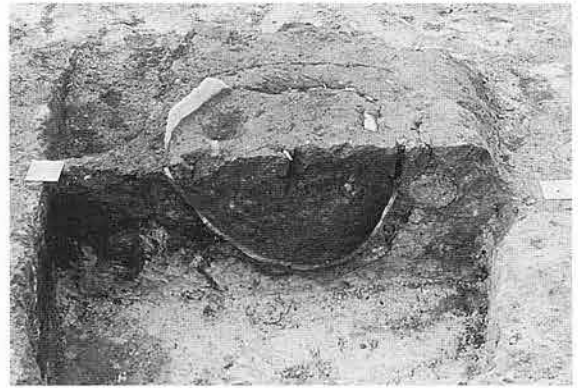
RZ08 平面



RZ08 断面



RZ12 平面



RZ12 断面

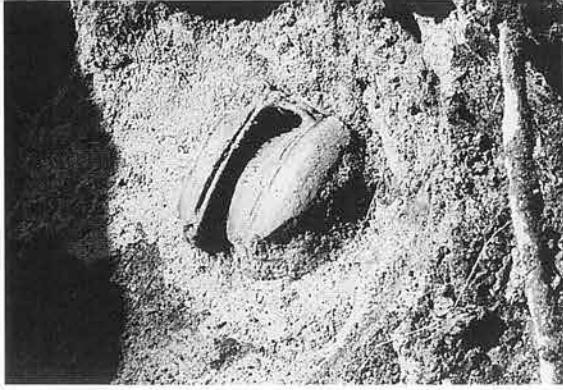


RZ13 平面



RZ13 断面

写真図版48 RZ07~13土器埋設遺構



RD396 (57)



29L・29Mグリッド



17Kグリッド (1995)



18Lグリッド



21Tグリッド (93)



27Iグリッド



27Iグリッド



30Oグリッド (228)

写真図版49 土坑・遺物包含層の遺物出土状況



1



2



3



4



5



6



7



9



8



S=1/2 (2·4·6)
S=1/3 (1·3·5·7~9)

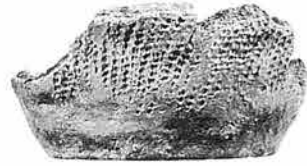
写真図版50 土器(1)



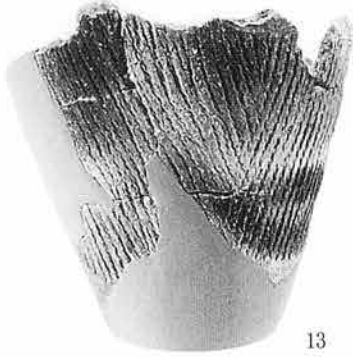
10



11



12



13



14



15

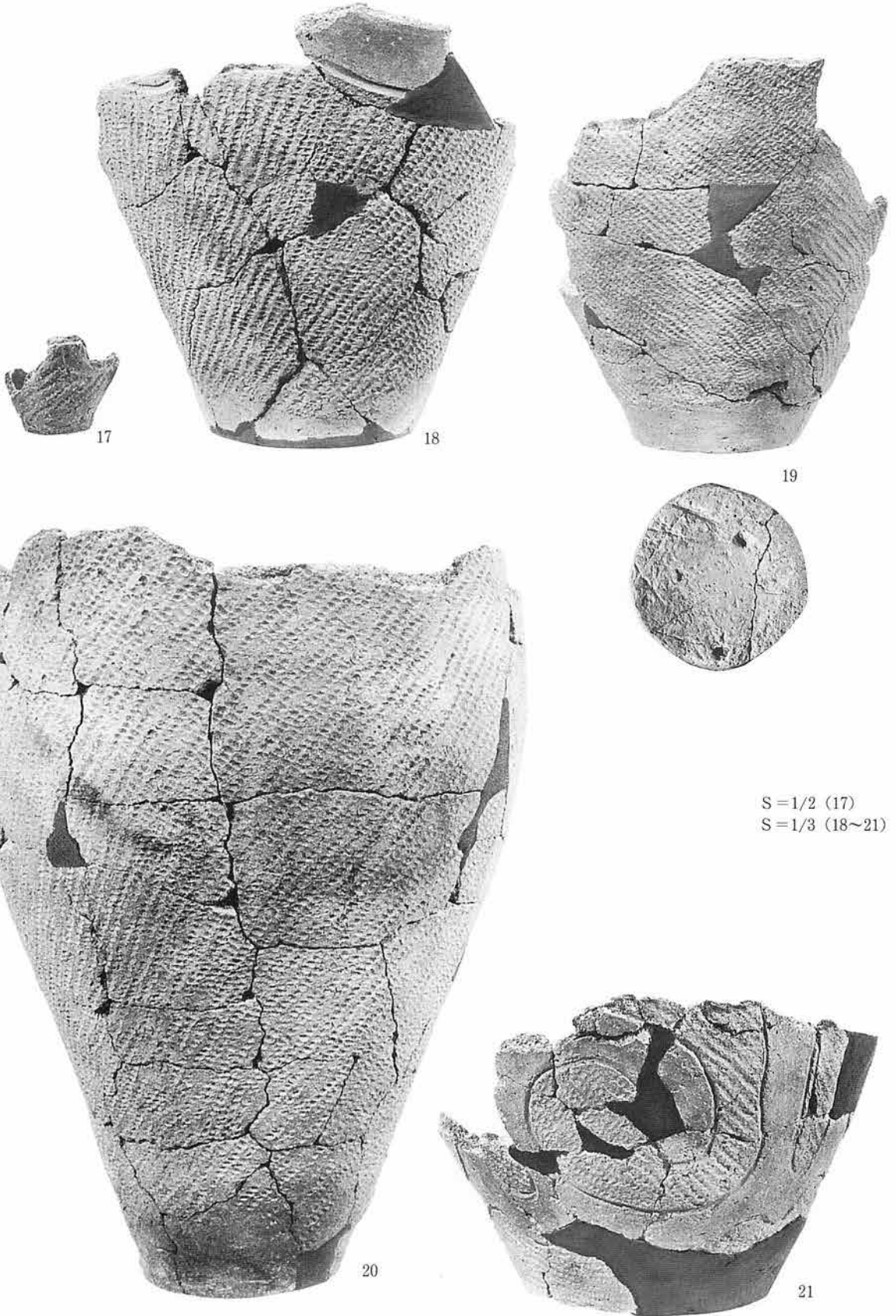


16



S = 1/2 (16)
S = 1/3 (10~15)

写真図版51 土器 (2)



S = 1/2 (17)
 S = 1/3 (18~21)

写真図版52 土器 (3)



22



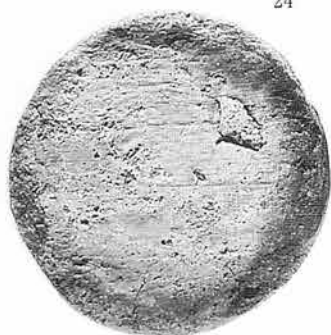
23



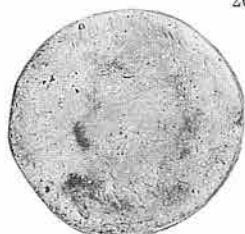
24



25



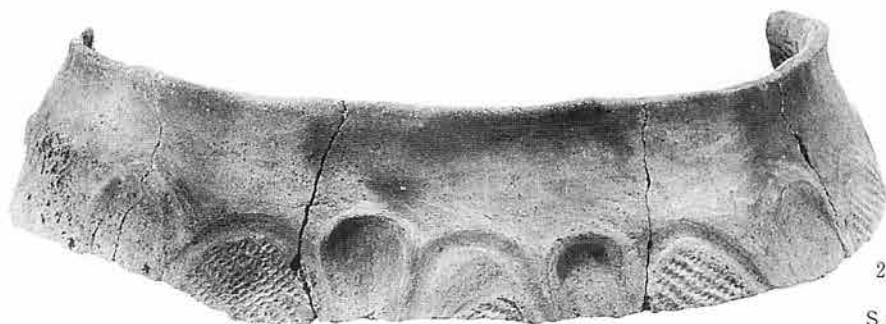
26



27



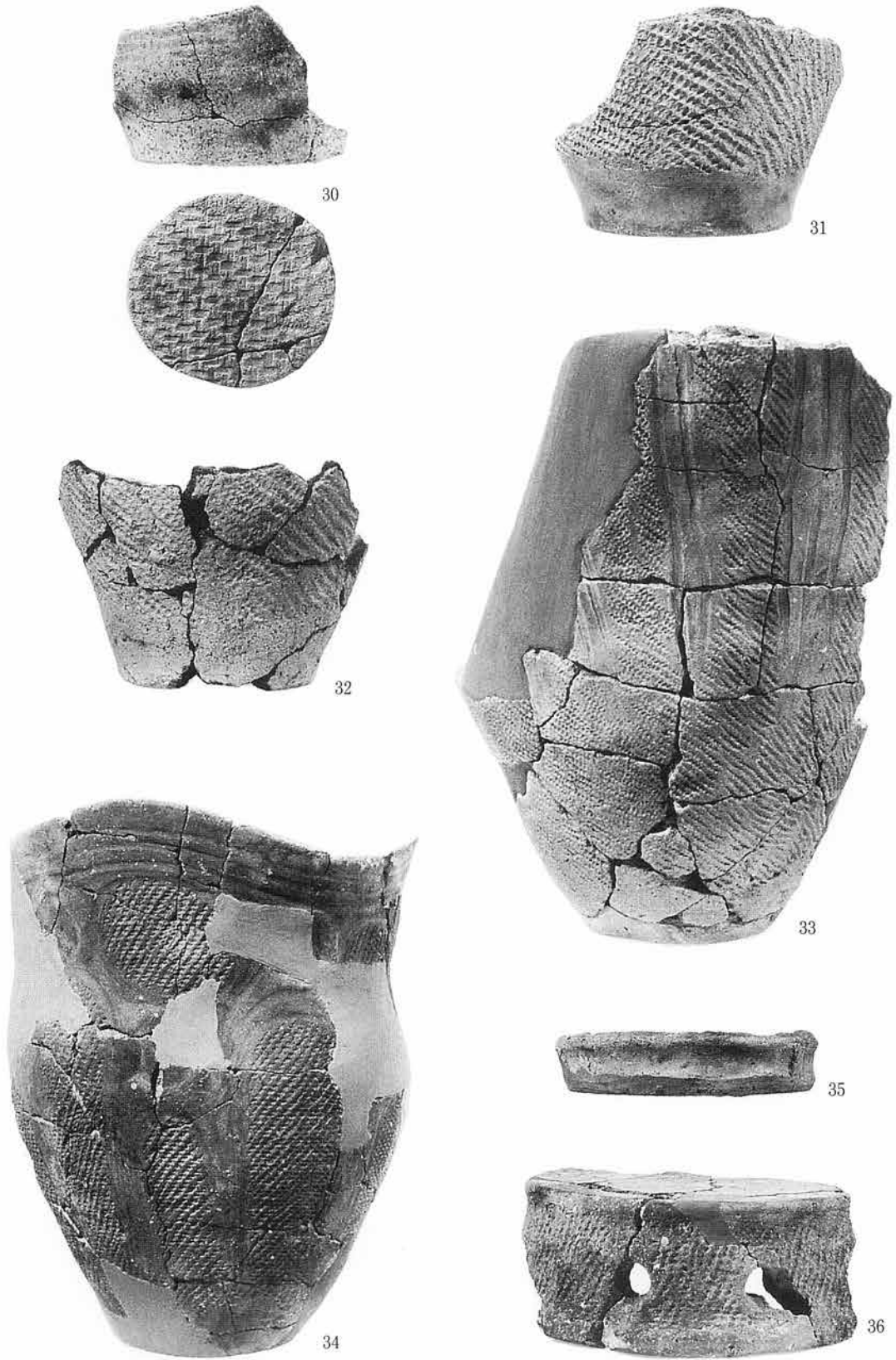
29



28

S=1/3

写真図版53 土器(4)



S=1/3

写真図版54 土器 (5)



37



38



39



40



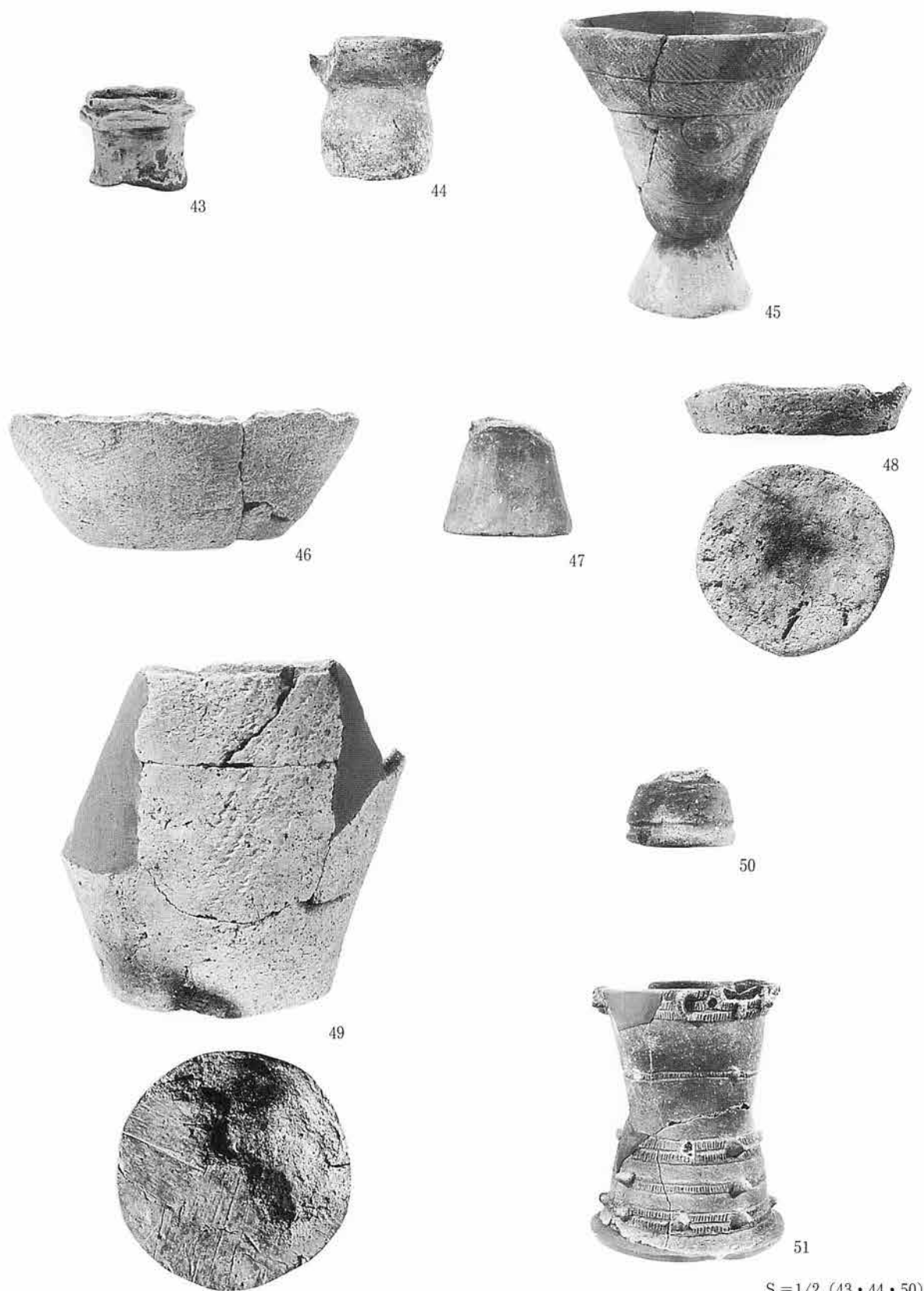
41



42

S=1/3

写真図版55 土器(6)

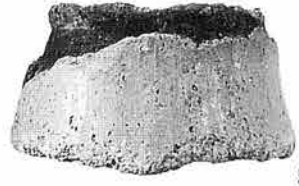


S = 1/2 (43・44・50)
 S = 1/3 (45~49・51)

写真図版56 土器(7)



52



53



54



56



55



57

S = 1/2 (53 • 55)

S = 1/3 (52 • 54 • 56 • 57)

写真図版57 土器 (8)



S=1/3

写真图版58 土器(9)



64



65



66



67



68



69



70



71

S=1/3

写真図版59 土器 (10)



72



73



74



75



76



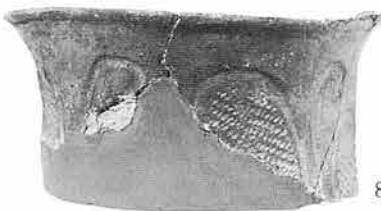
77



78



79



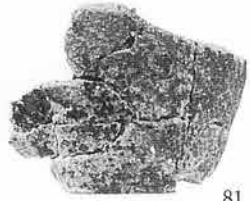
80



S=1/2 (73・75)

S=1/3 (72・74・76~80)

写真図版60 土器 (11)



81



82



83



84

S=1/3

写真図版61 土器 (12)



85



86



87



88



90



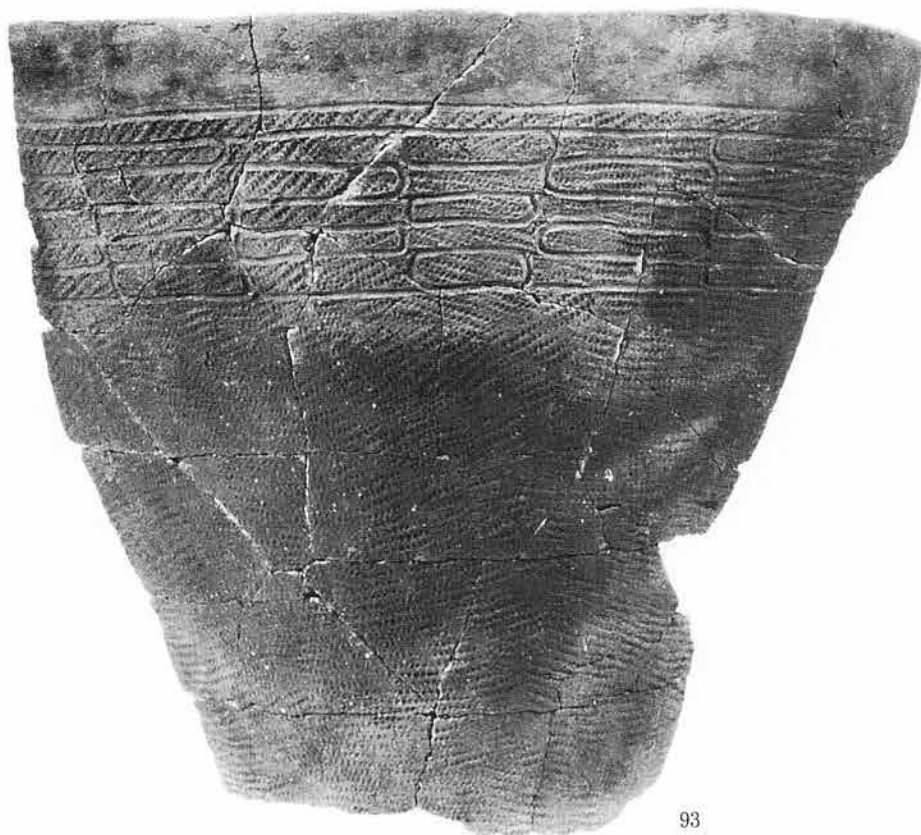
89



91



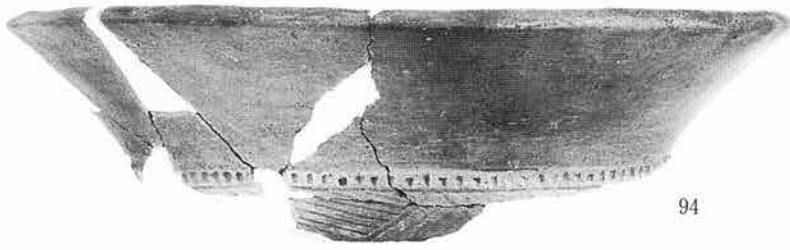
92



93

S = 1/3

写真図版62 土器 (13)



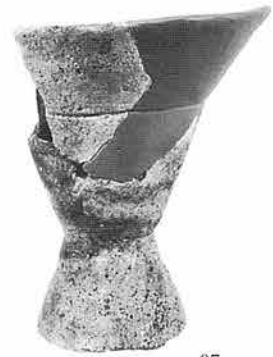
94



95



96



97



98



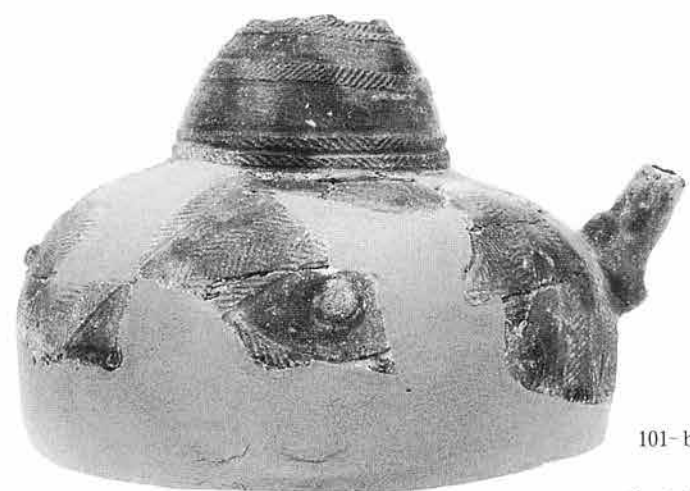
99



101-a



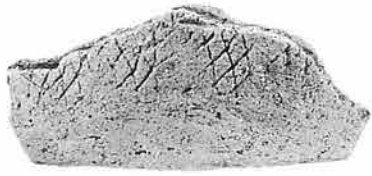
100



101-b

S = 1/3

写真図版63 土器 (14)



102



103



104



105



106



107



109



110



108



S = 1/2 (104)

S = 1/3 (102 • 103 • 105~110)

写真図版64 土器 (15)



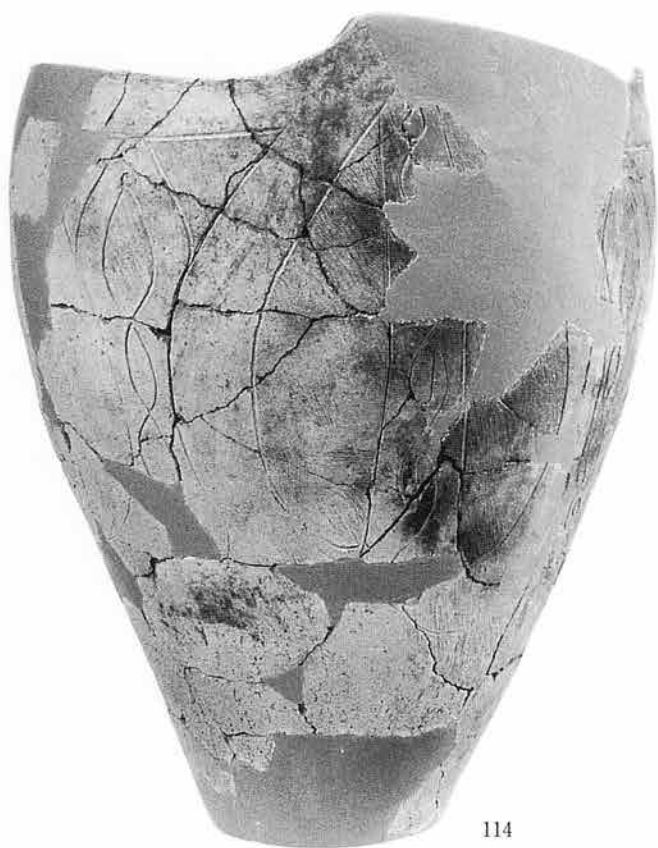
111



112



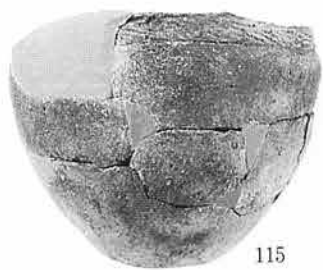
113



114

S=1/3 (111・112)
S=1/5 (113・114)

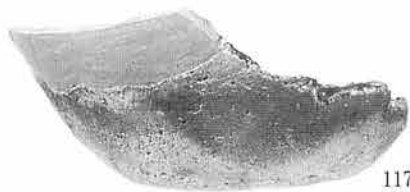
写真図版65 土器 (16)



115



116



117



118



119



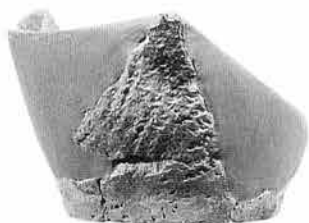
120



121



122



124



125



S = 1/2 (125)
S = 1/3 (115~124)



123

写真図版66 土器 (17)



126



127



128



129



130



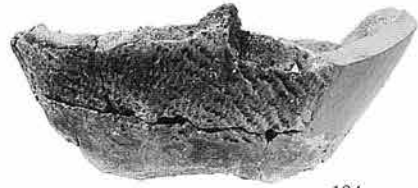
131



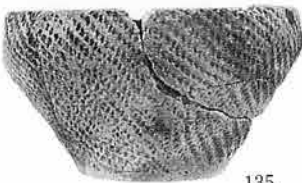
132



133



134



135



136



137



138

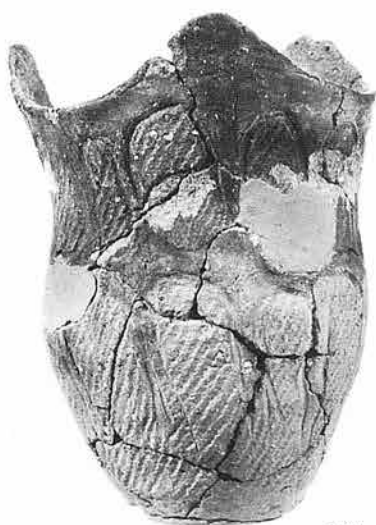
S = 1/2 (126)

S = 1/3 (127~138)

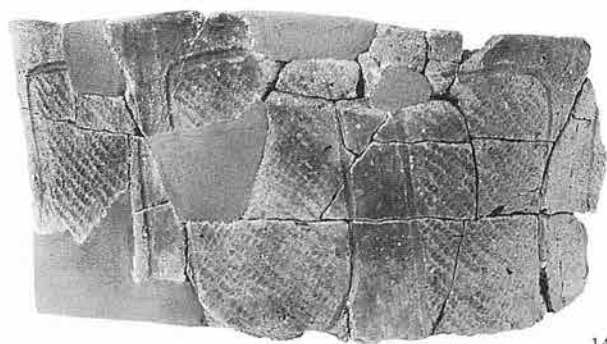
写真図版67 土器 (18)



139



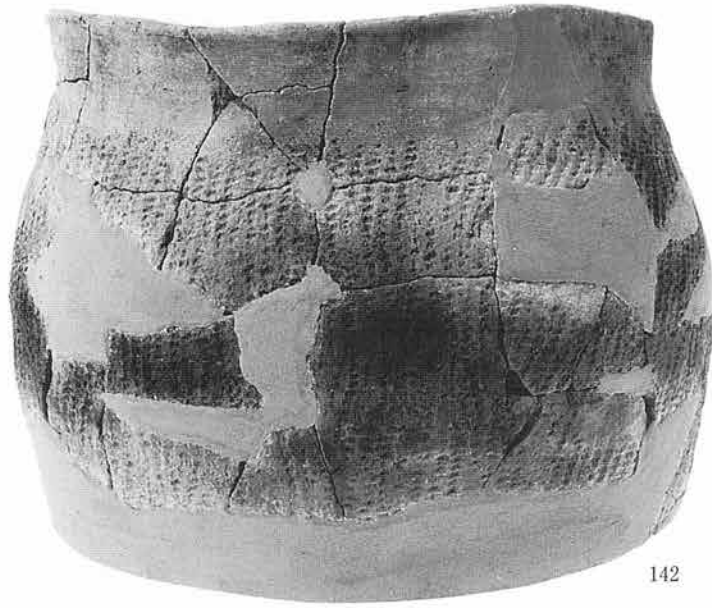
140



141

S = 1/3 (140 · 141)
S = 1/4 (139)

写真図版68 土器 (19)



142



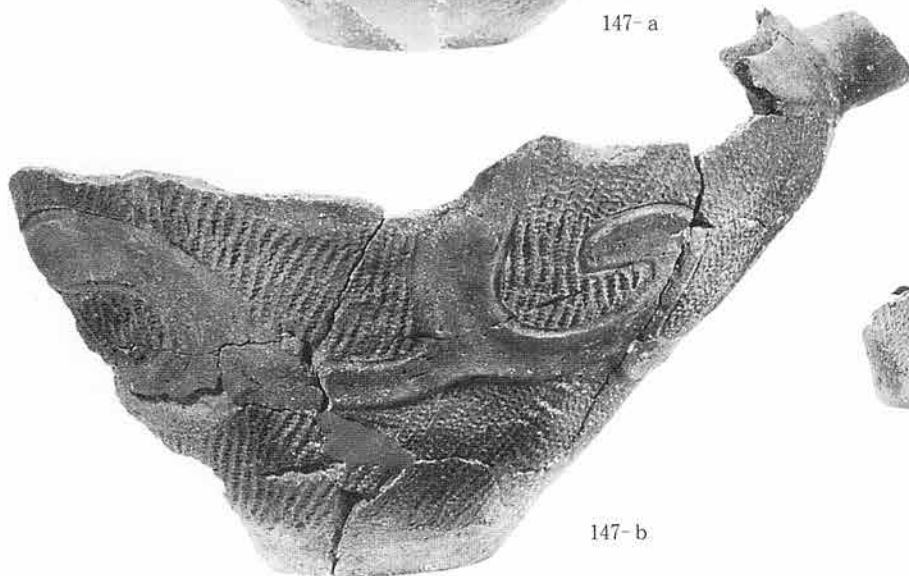
143



147-a



144



147-b



145

S = 1/3

写真図版69 土器 (20)



146



148



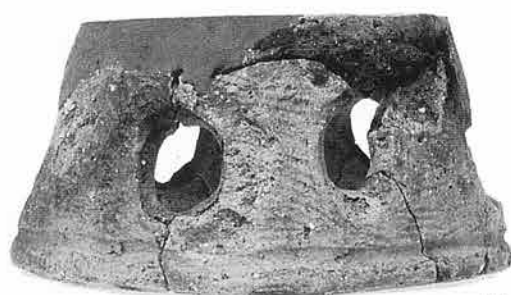
149



152



150



151



153

S=1/2 (152)

S=1/3 (146・148~151・153・155)

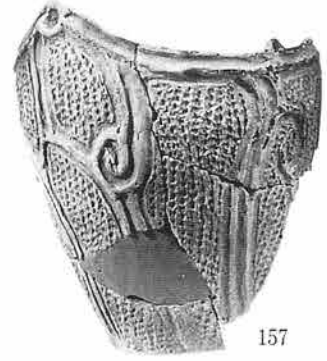


155

写真図版70 土器 (21)



154



157



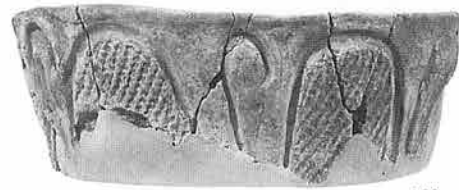
158



156



159



160



162



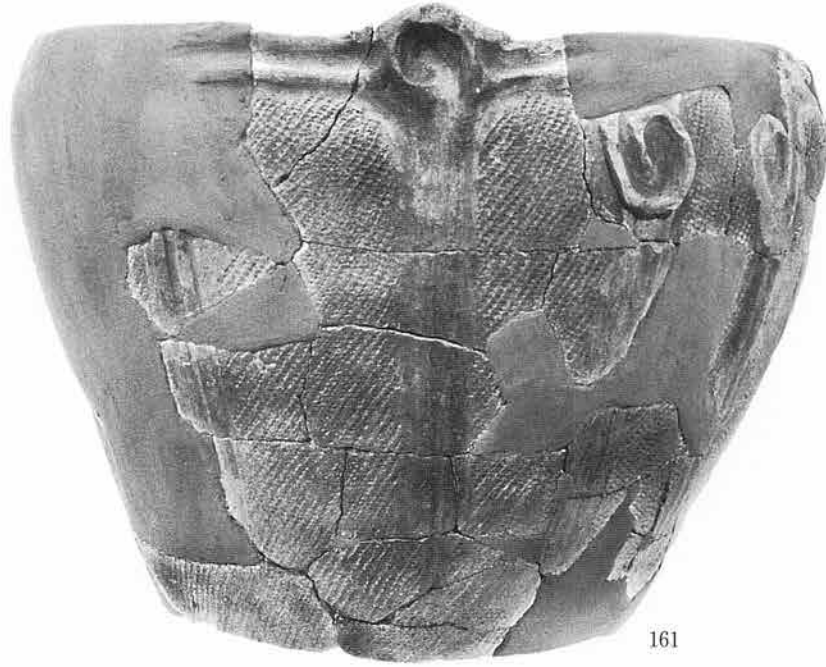
163



S = 1/2 (156)

S = 1/3 (154 • 157~160 • 162 • 163)

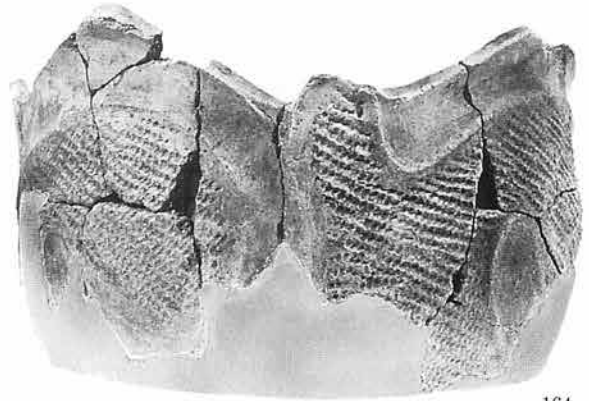
写真図版71 土器 (22)



161



165



164



166



167

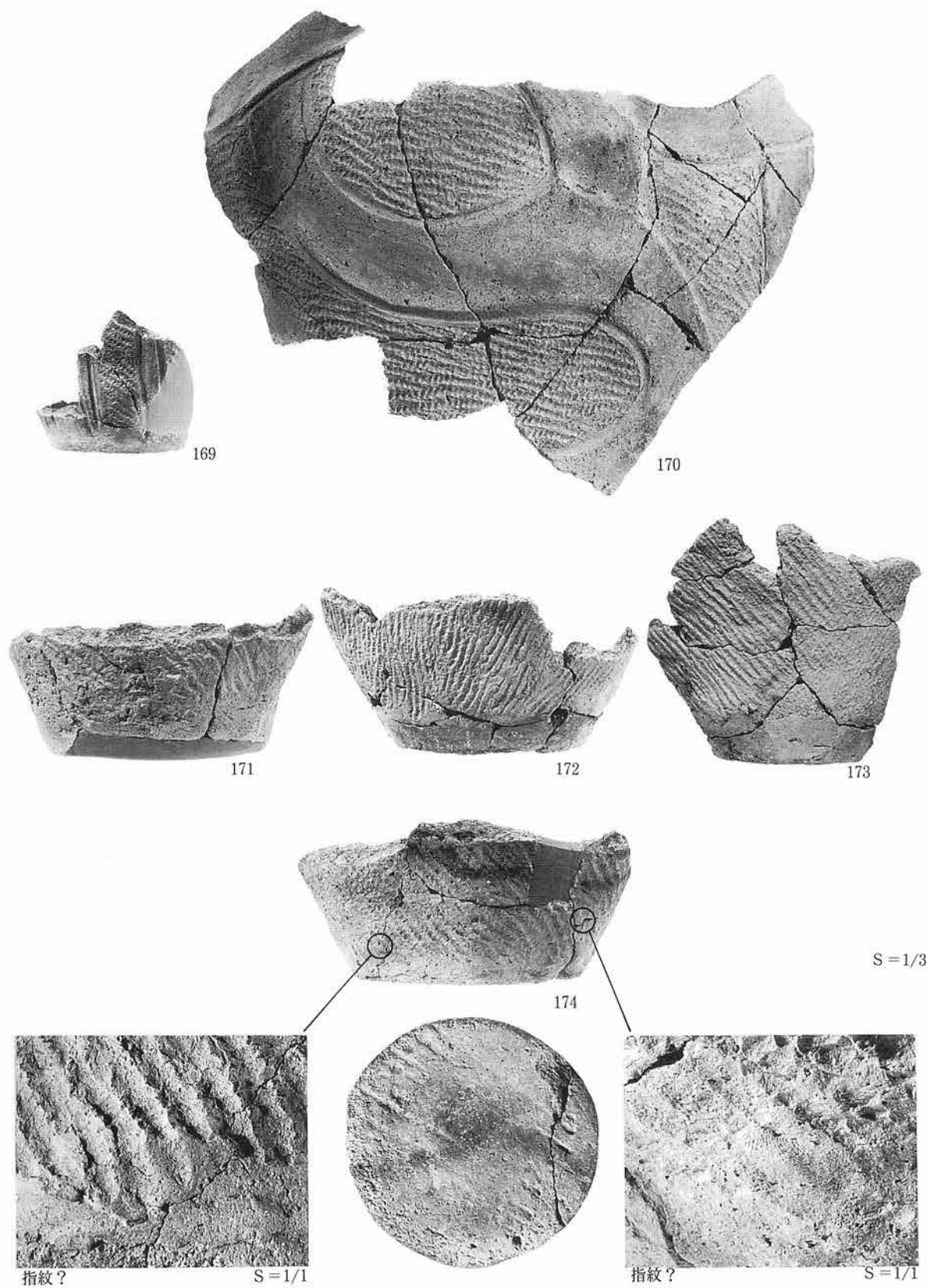


168

S = 1/2 (168)

S = 1/3 (161 · 164 ~ 167)

写真図版72 土器 (23)



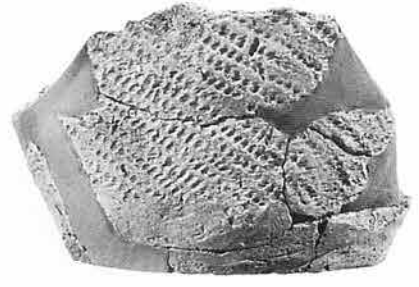
写真図版73 土器 (24)



175



176



177



178



180



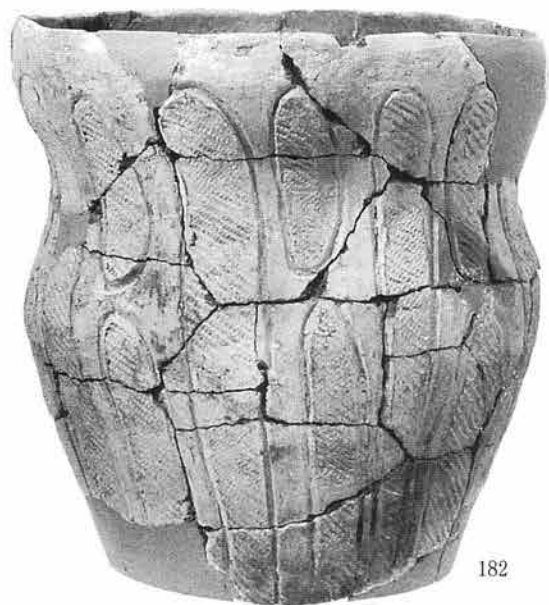
179



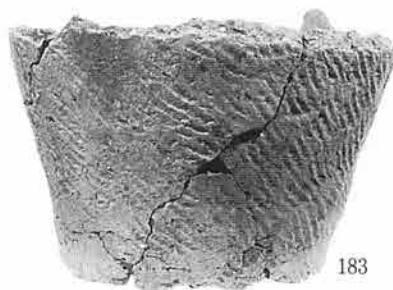
181

S=1/3

写真図版74 土器 (25)



182



183



186



184



185



187



188



189



190

S = 1/2 (185 · 188)

S = 1/3 (182 ~ 184 · 186 · 187 · 189 ~ 193)



191



192



193

写真図版75 土器 (26)



194



195



196



197



198



200



201



199



203



S=1/2 (196)
S=1/3 (194・195・
197~201・203)

写真図版76 土器 (27)



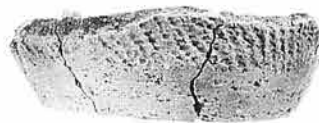
202



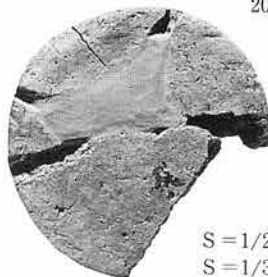
204



205



206



S = 1/2 (204)
S = 1/3 (202 • 205 • 206)

写真図版77 土器 (28)



207



208



209



210



211



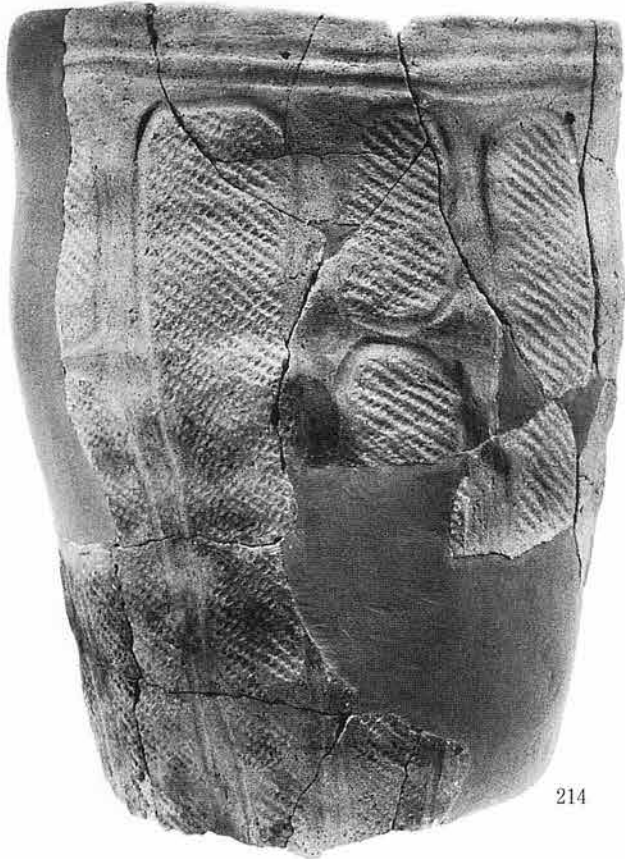
212

S=1/3

写真図版78 土器 (29)



213



214



215



216

S = 1/3

写真図版79 土器 (30)



217



219



218



220



222



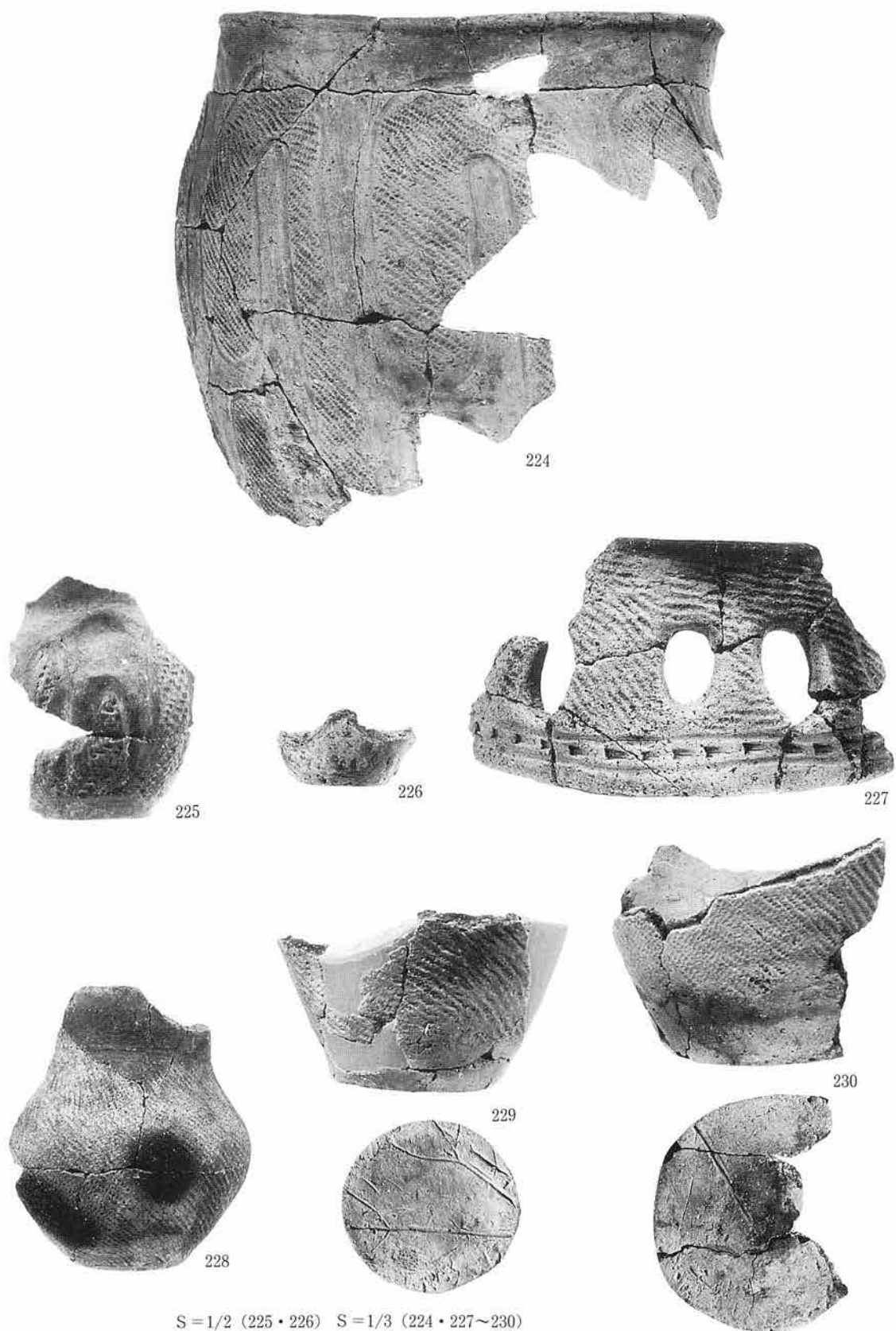
221



223

S = 1/2 (218)
S = 1/3 (217・219~223)

写真図版80 土器 (31)



S = 1/2 (225 · 226) S = 1/3 (224 · 227~230)

写真図版81 土器 (32)



231



232



233



234



235



236



237



238



239



240



241

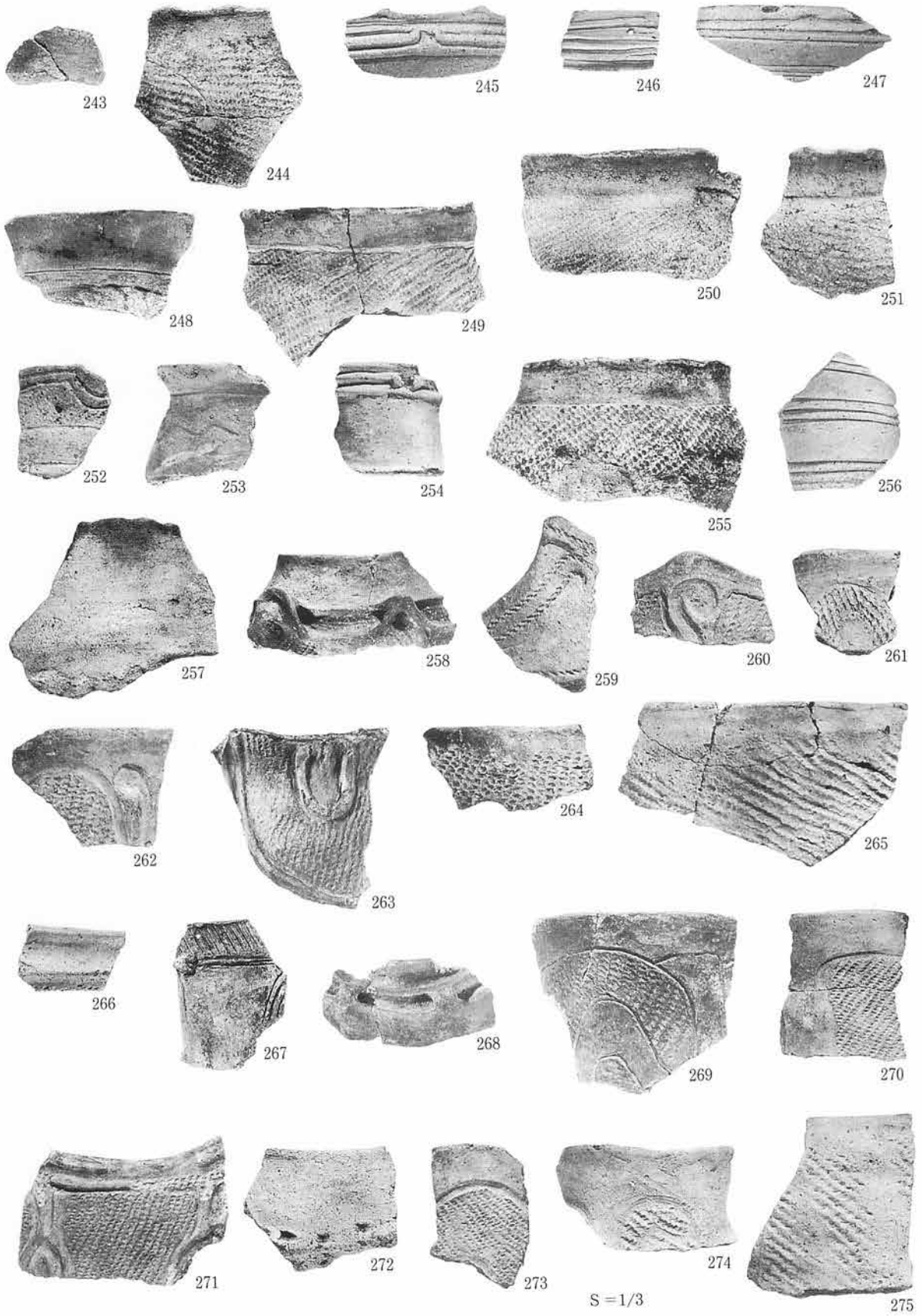


242

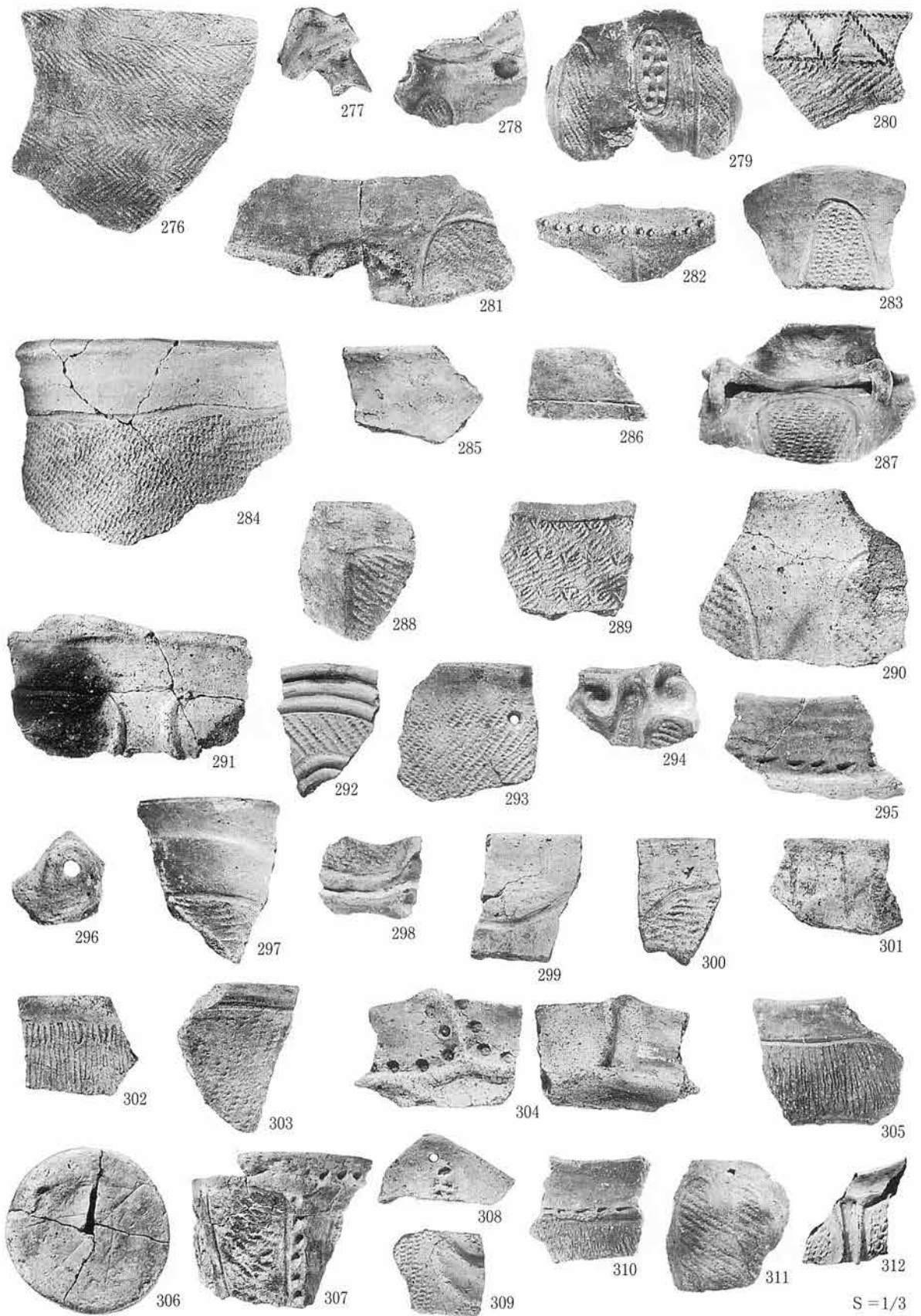


S = 1/2 (241)
S = 1/3 (231~240 • 242)

写真図版82 土器 (33)

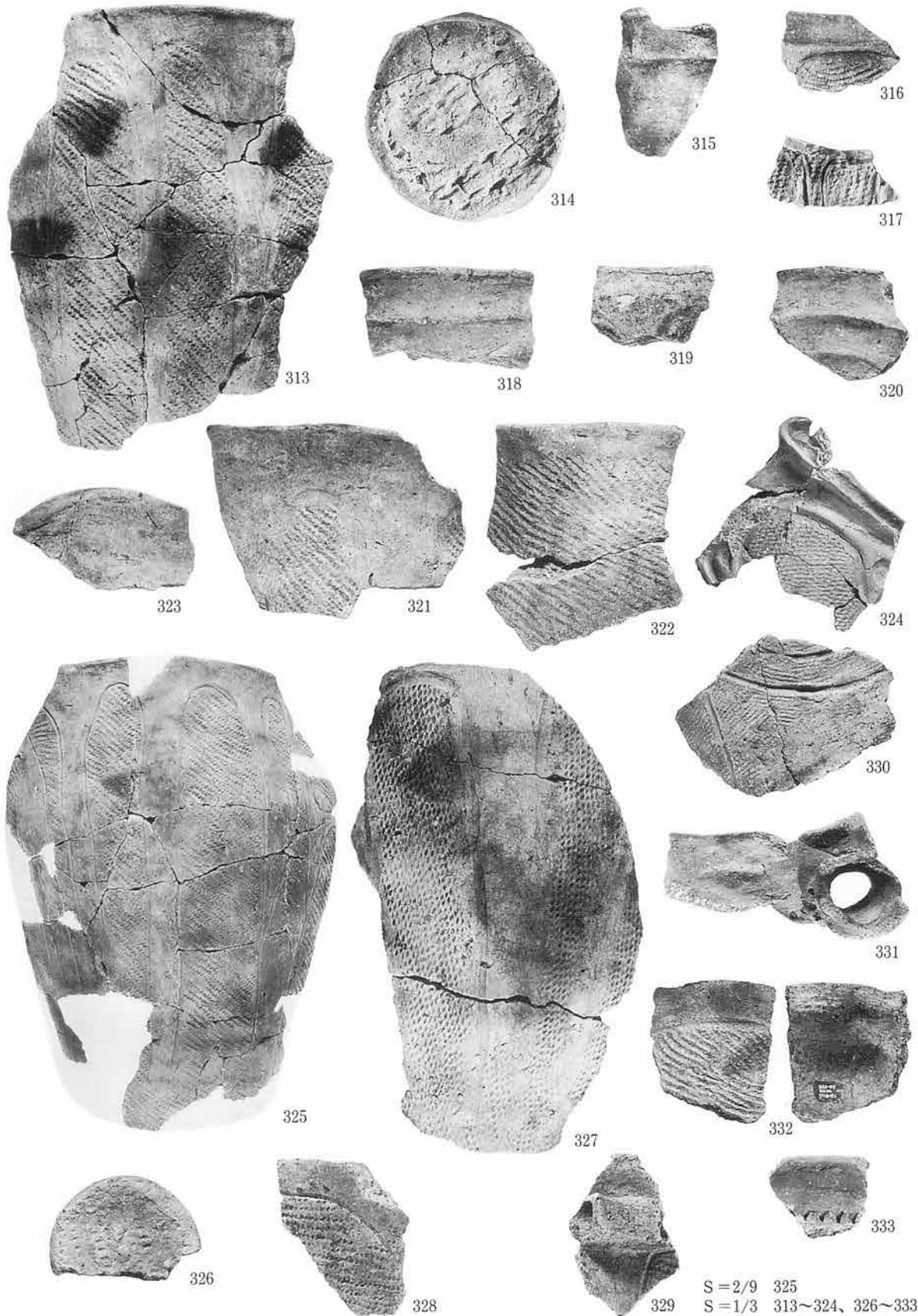


写真图版83 土器 (34)



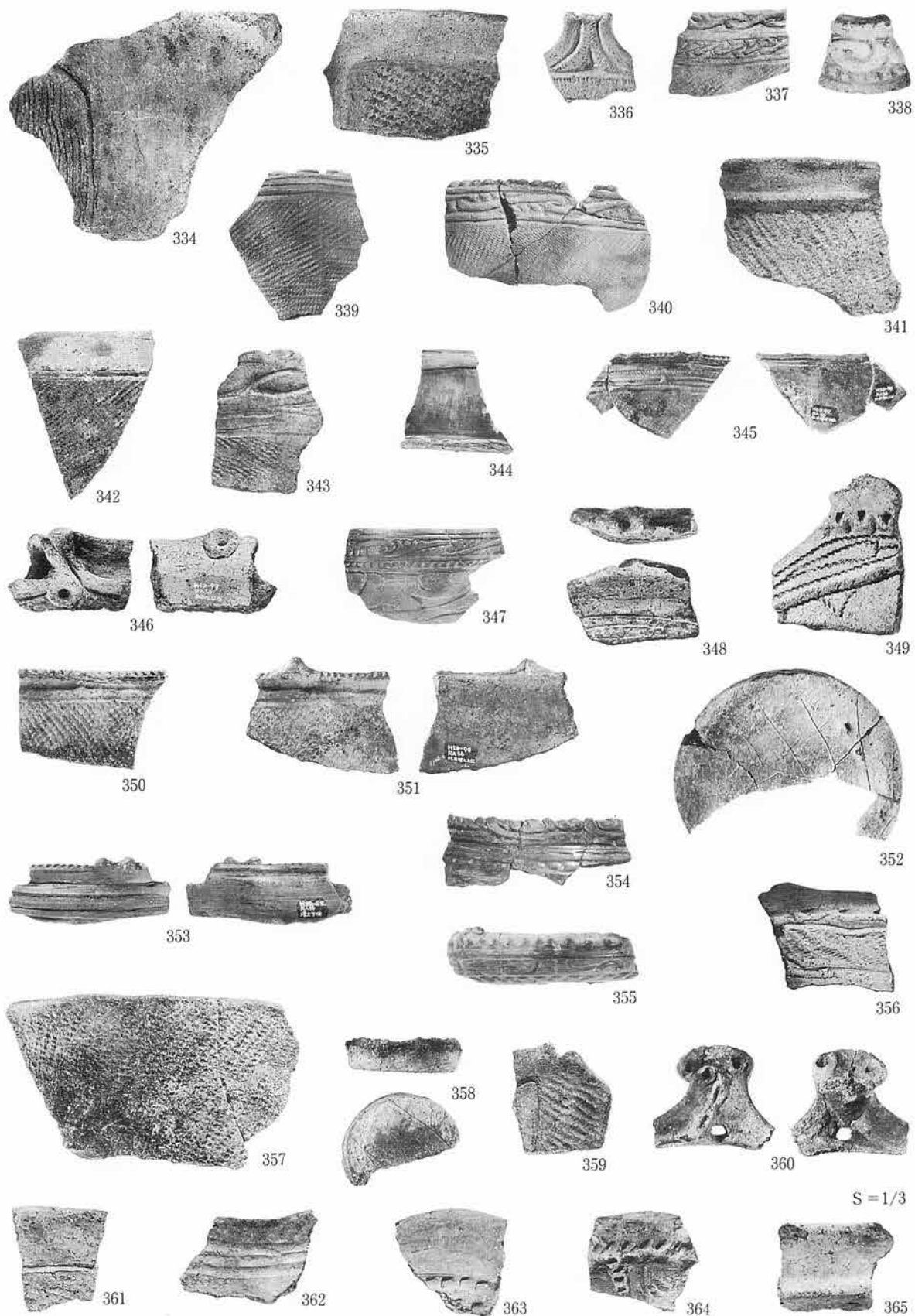
S = 1/3

写真図版84 土器 (35)

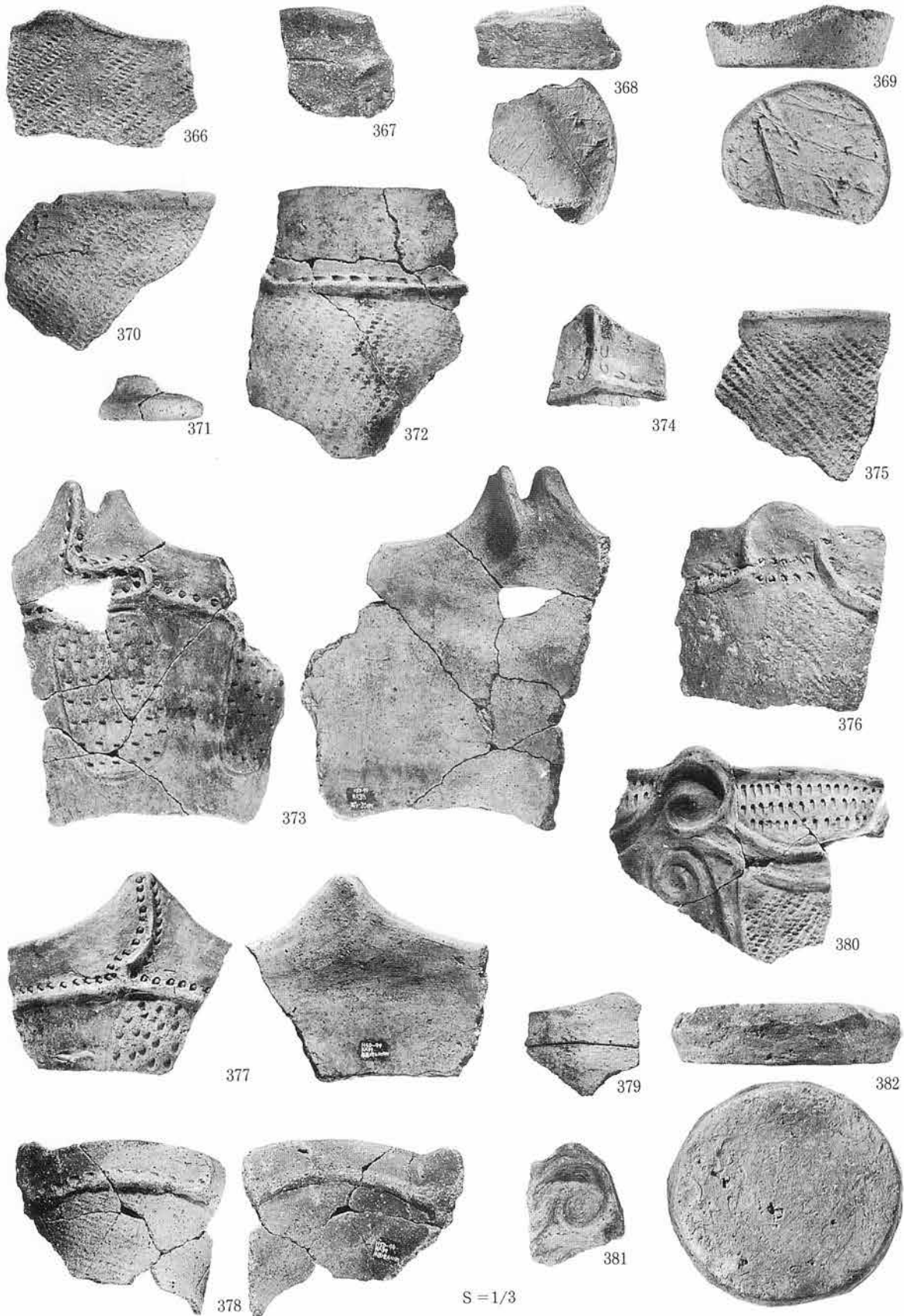


S = 2/9 325
 S = 1/3 313~324, 326~333

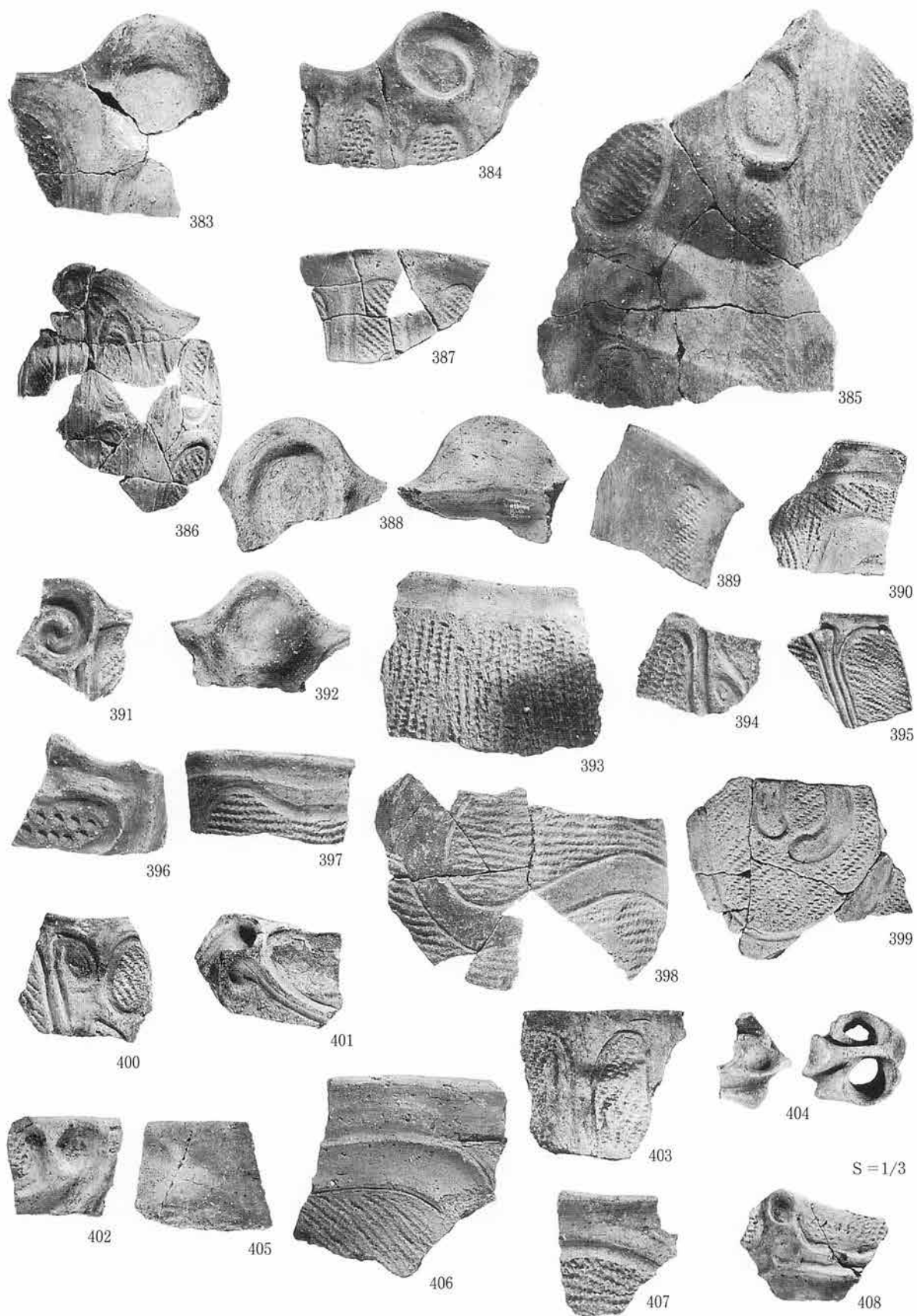
写真図版85 土器 (36)



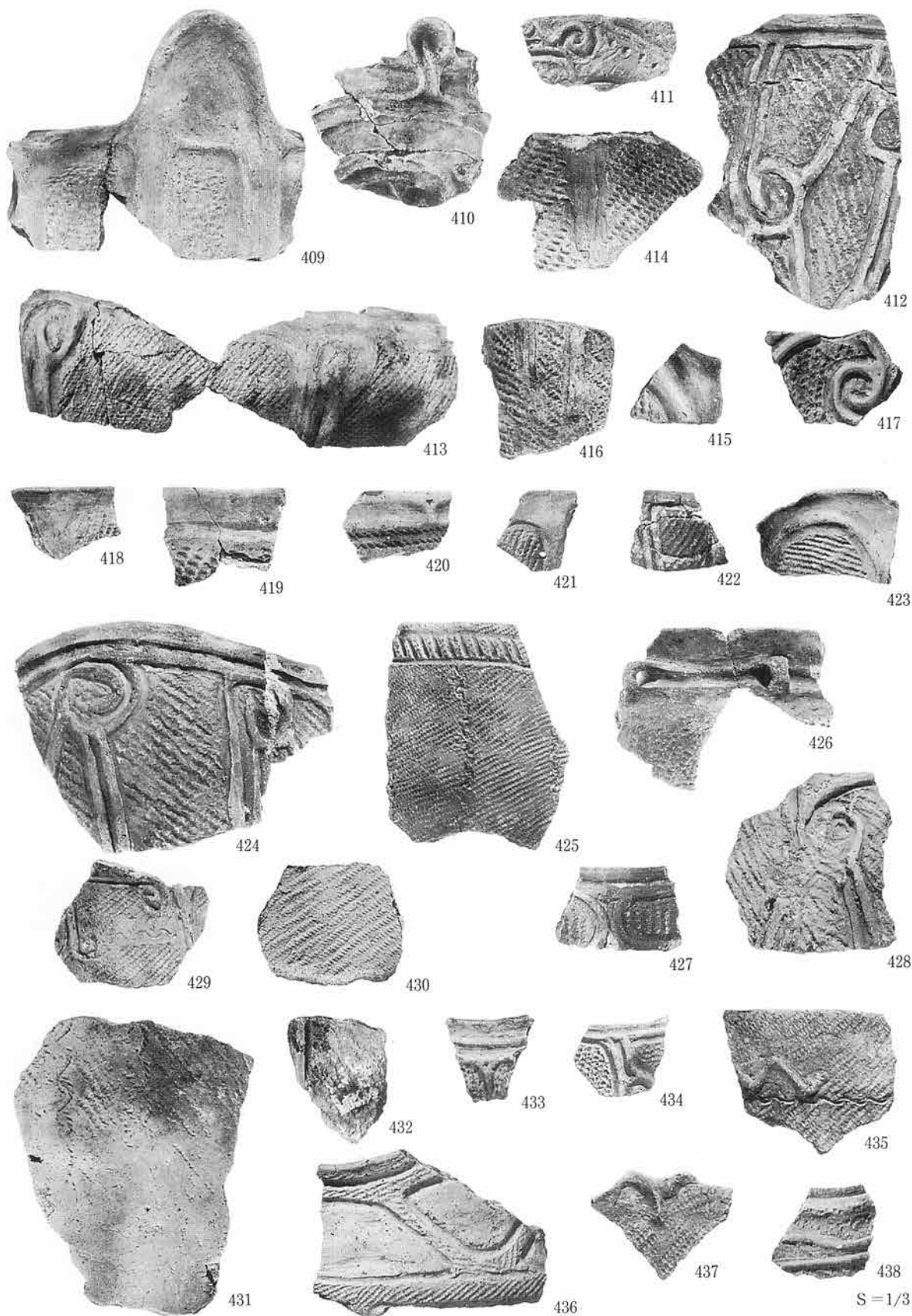
写真图版86 土器 (37)



写真图版87 土器 (38)



写真图版88 土器 (39)

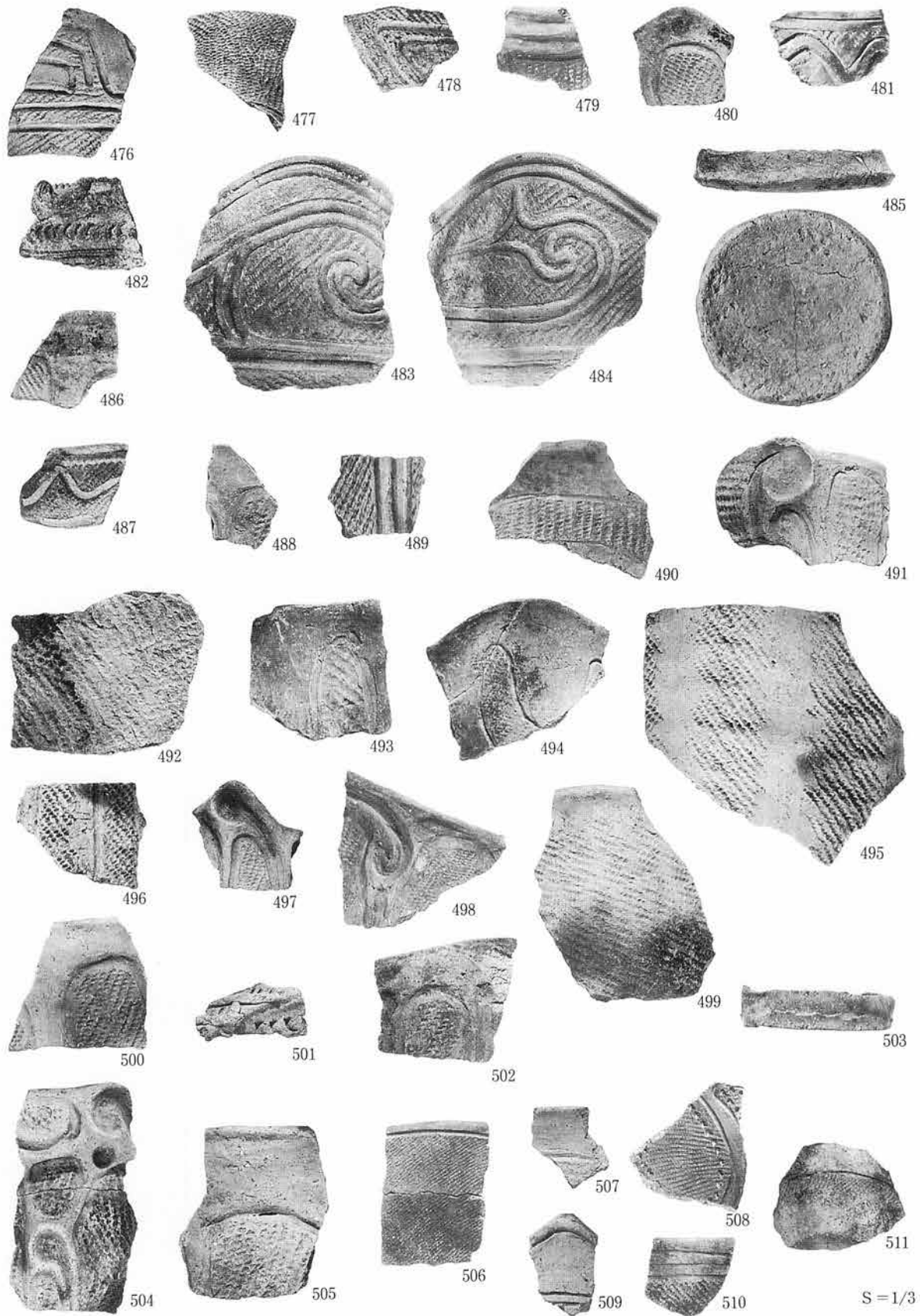


S = 1/3

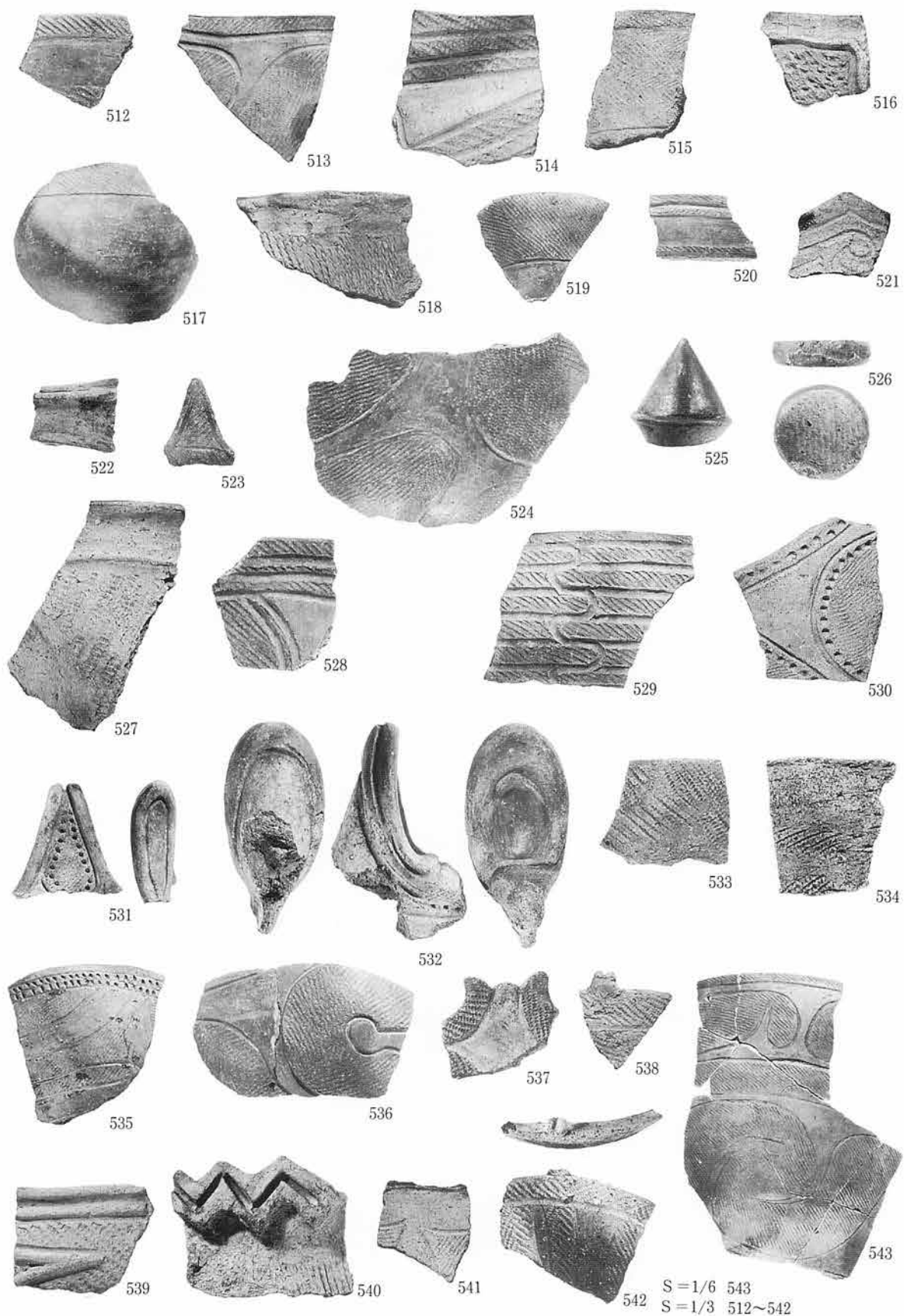
写真図版89 土器 (40)



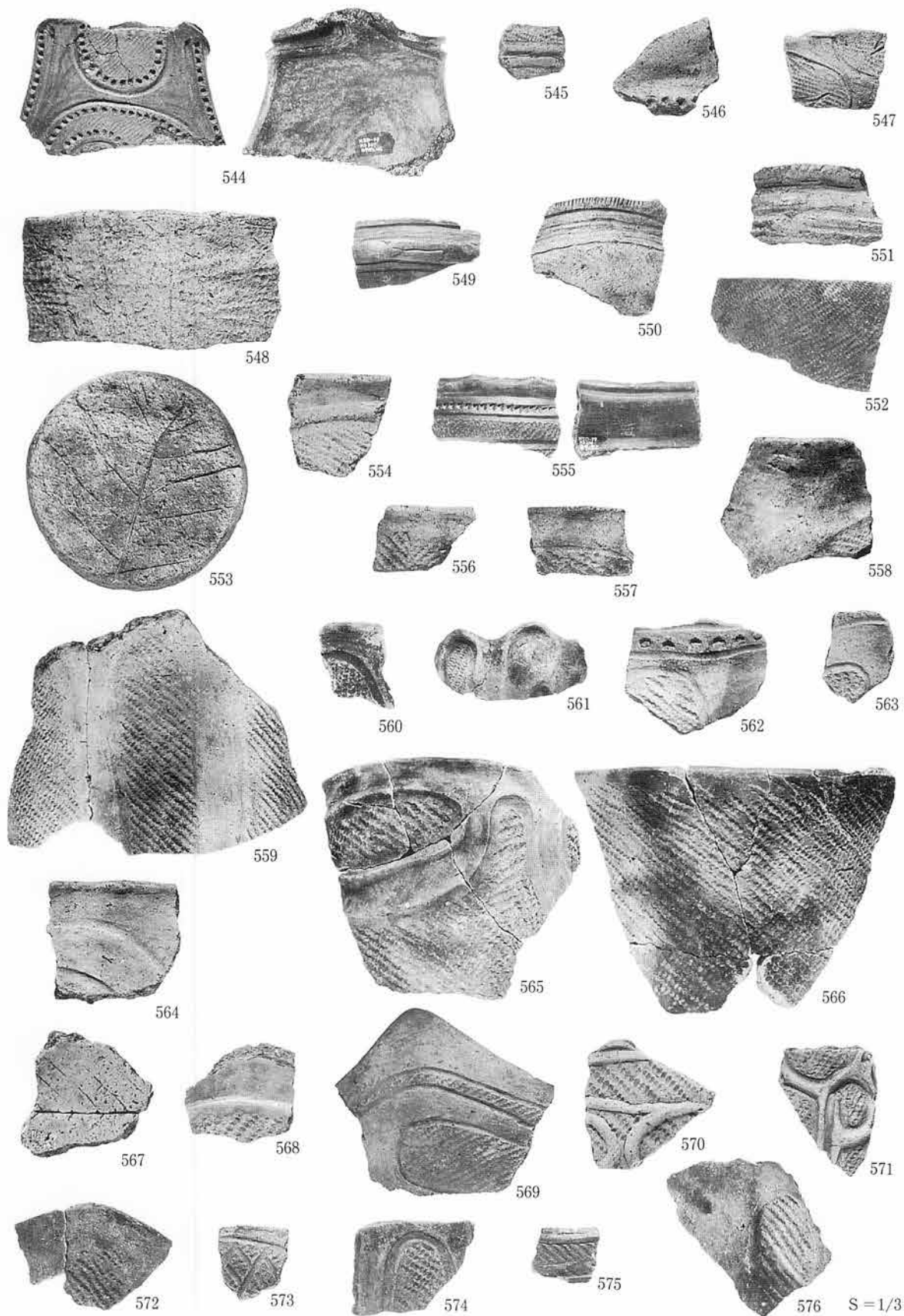
写真図版90 土器 (41)



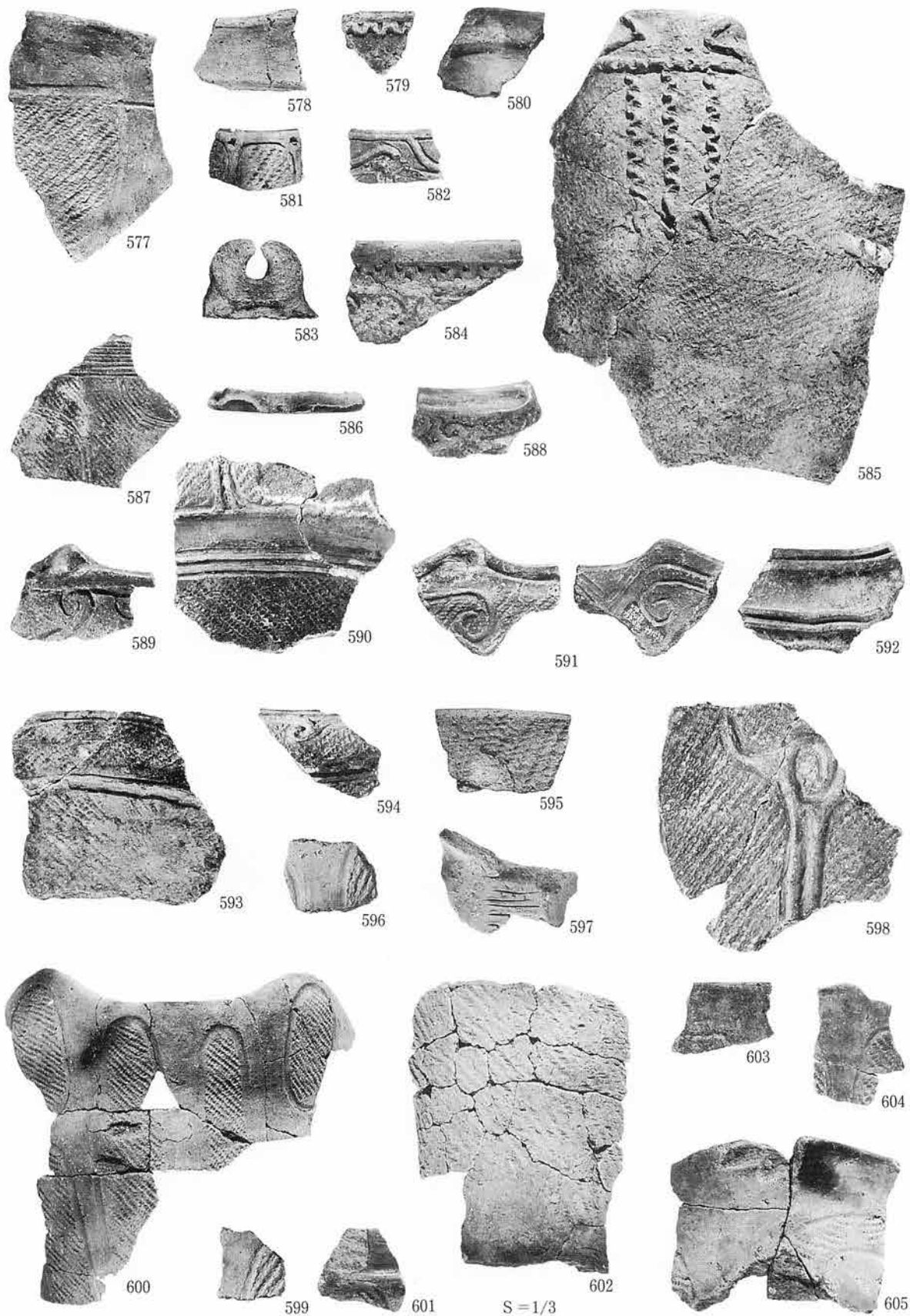
写真图版91 土器 (42)



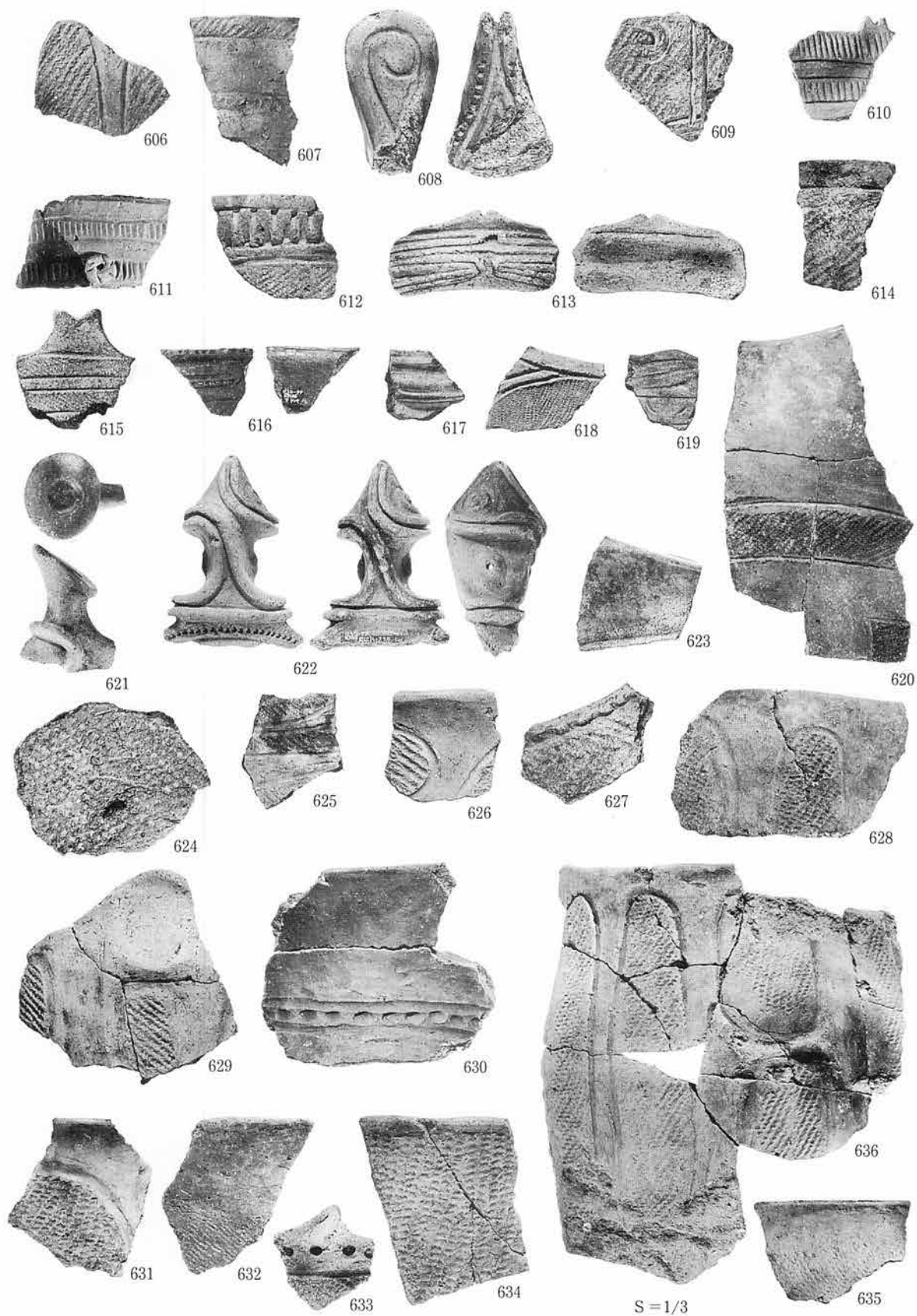
写真图版92 土器 (43)



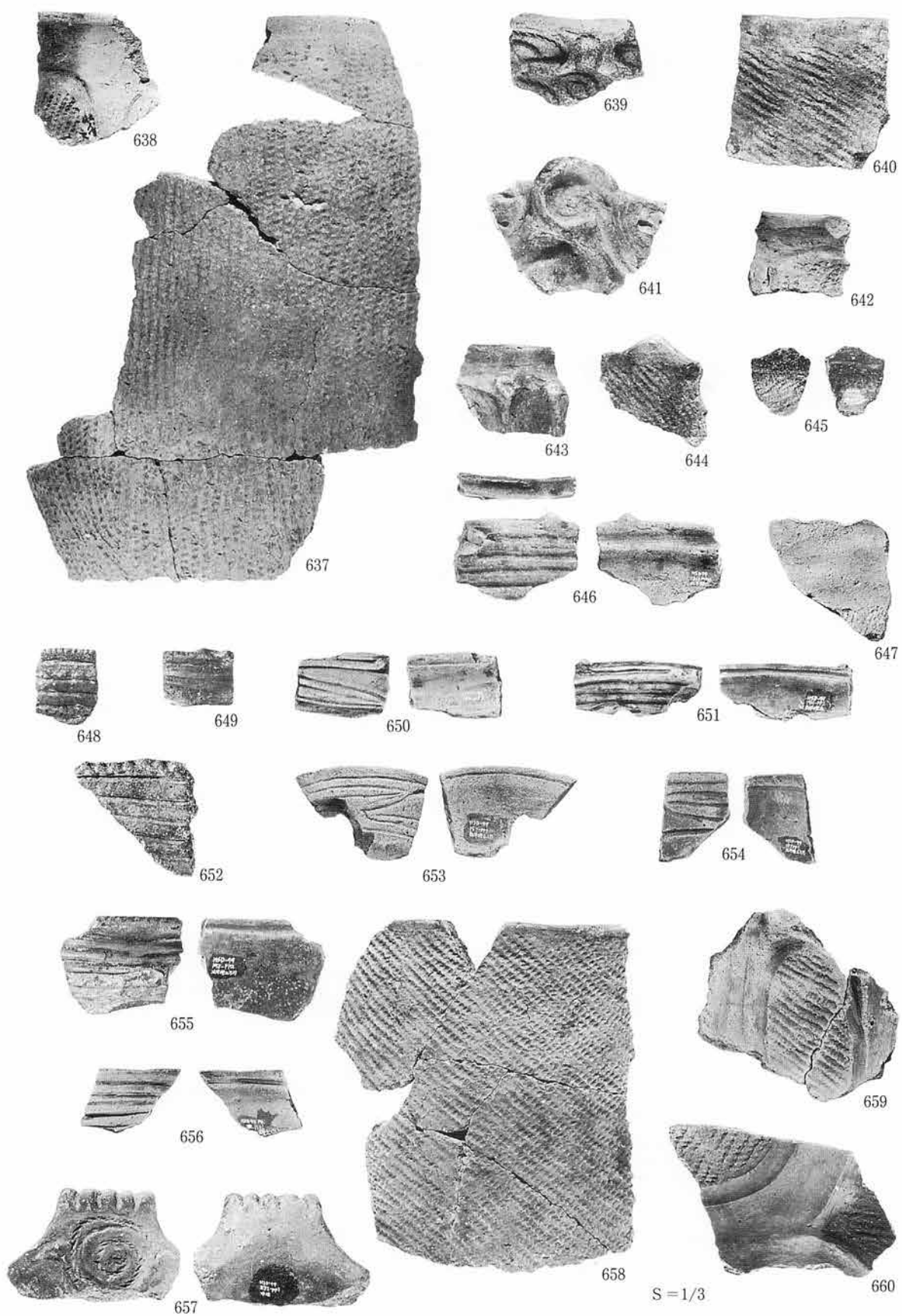
写真図版93 土器 (44)



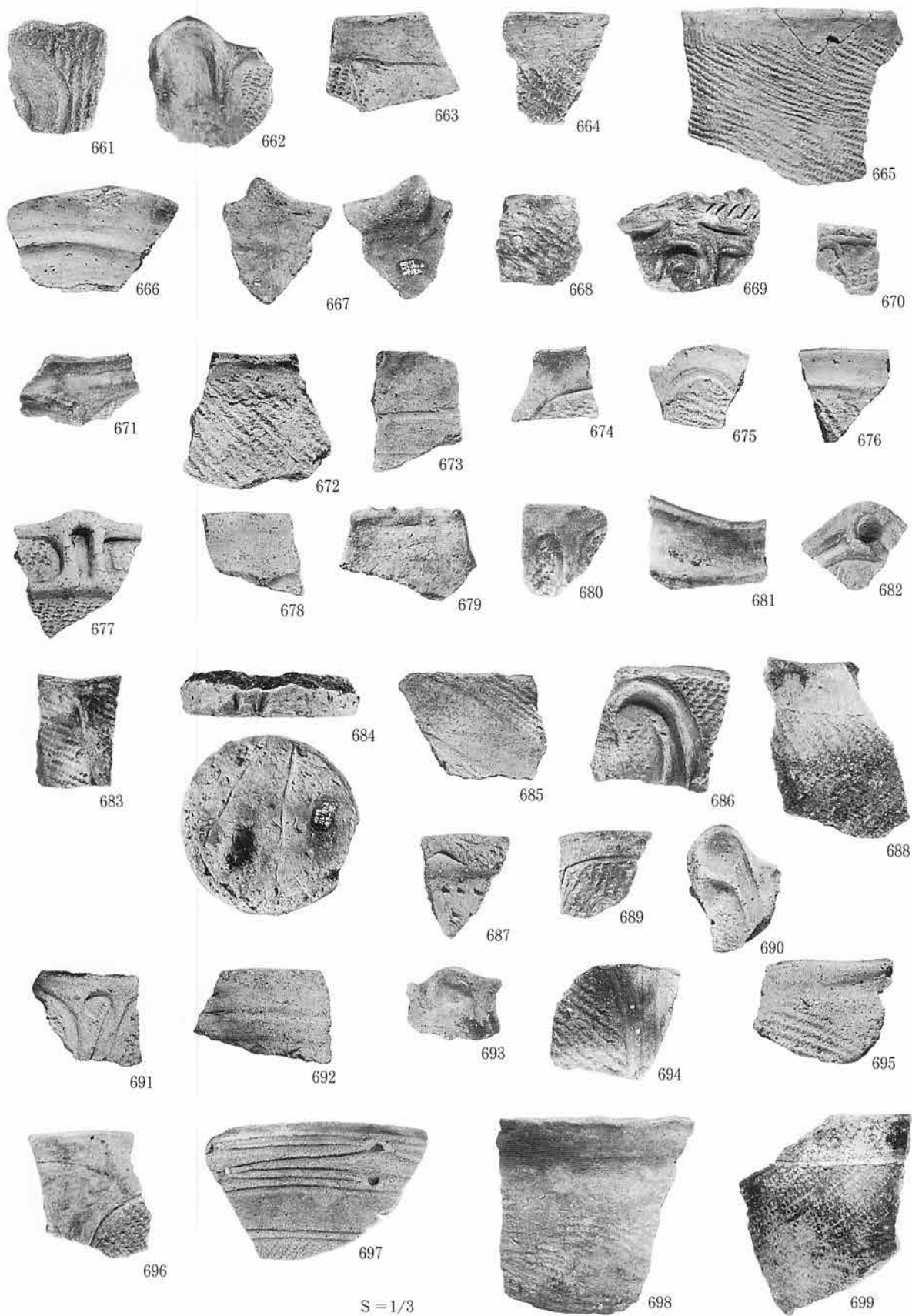
写真図版94 土器 (45)



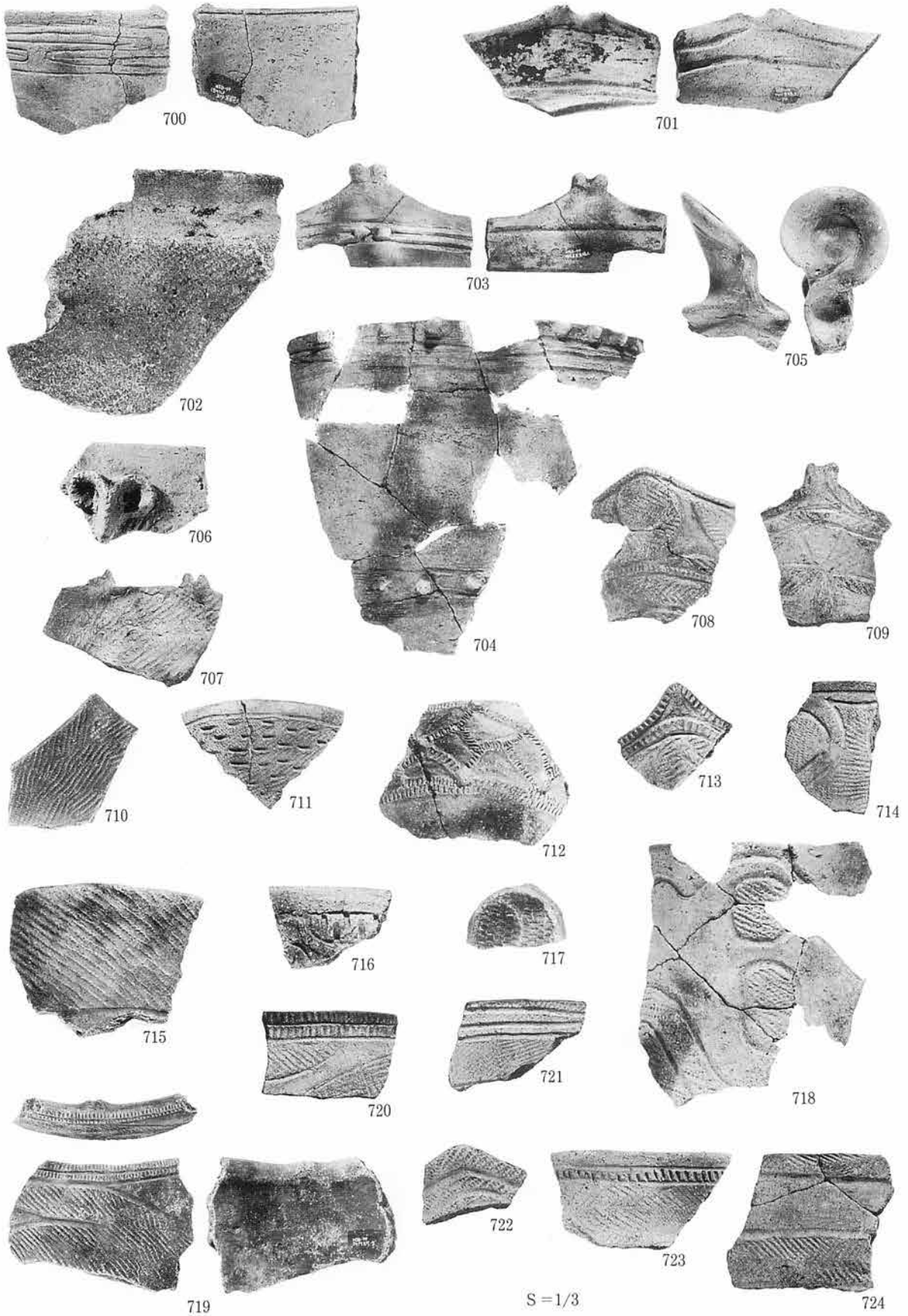
写真図版95 土器 (46)



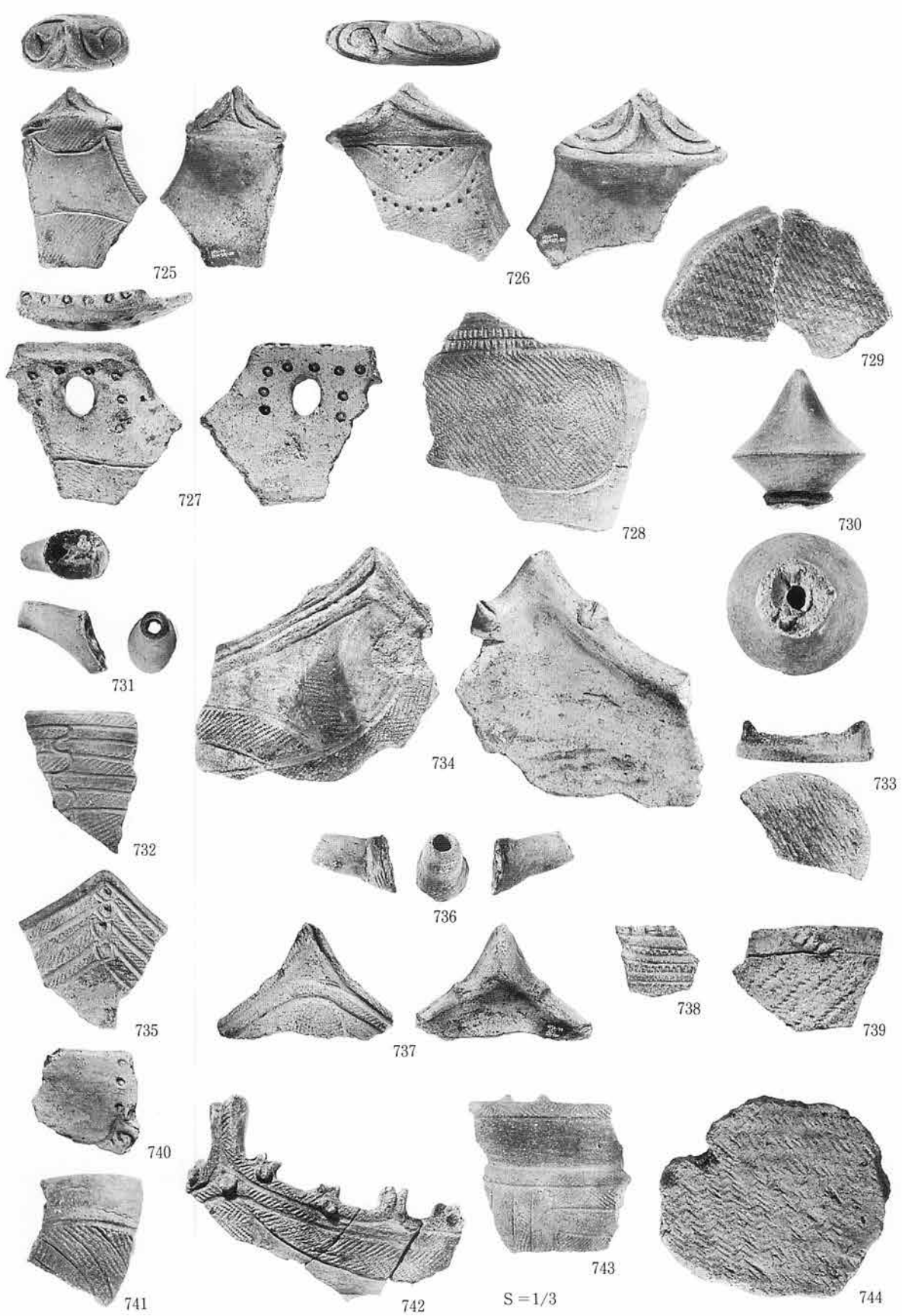
写真図版96 土器 (47)



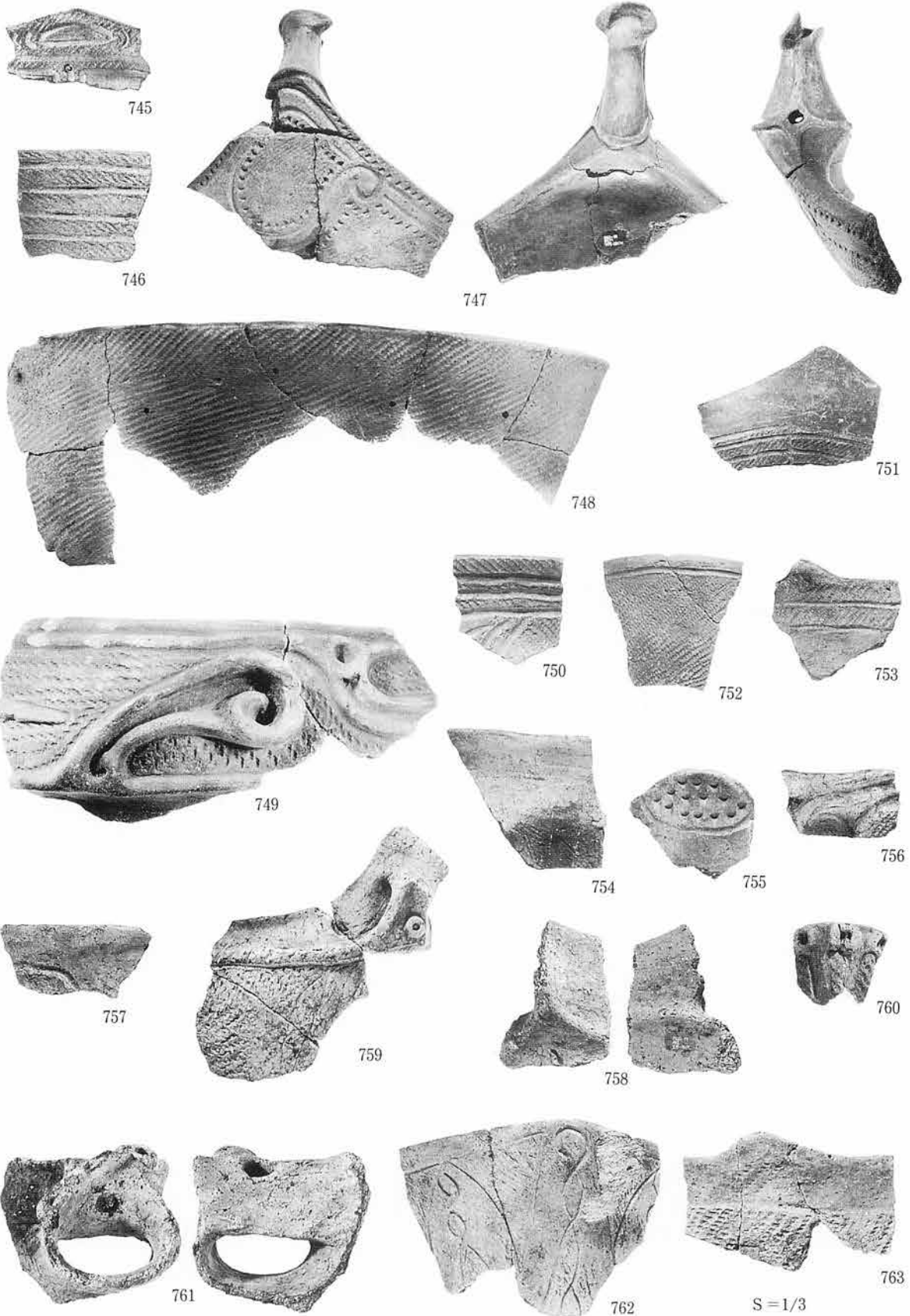
写真图版97 土器 (48)



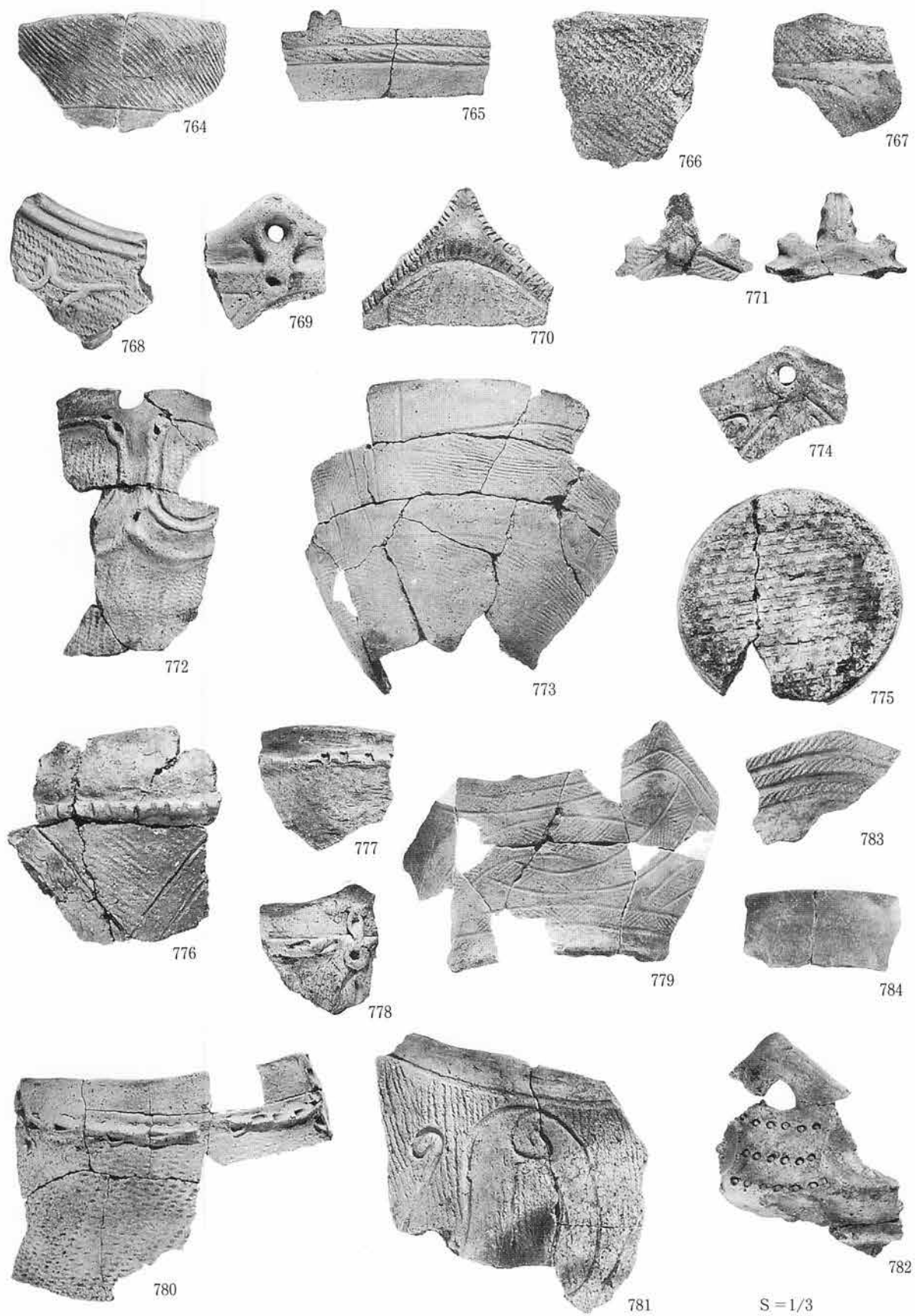
写真图版98 土器 (49)



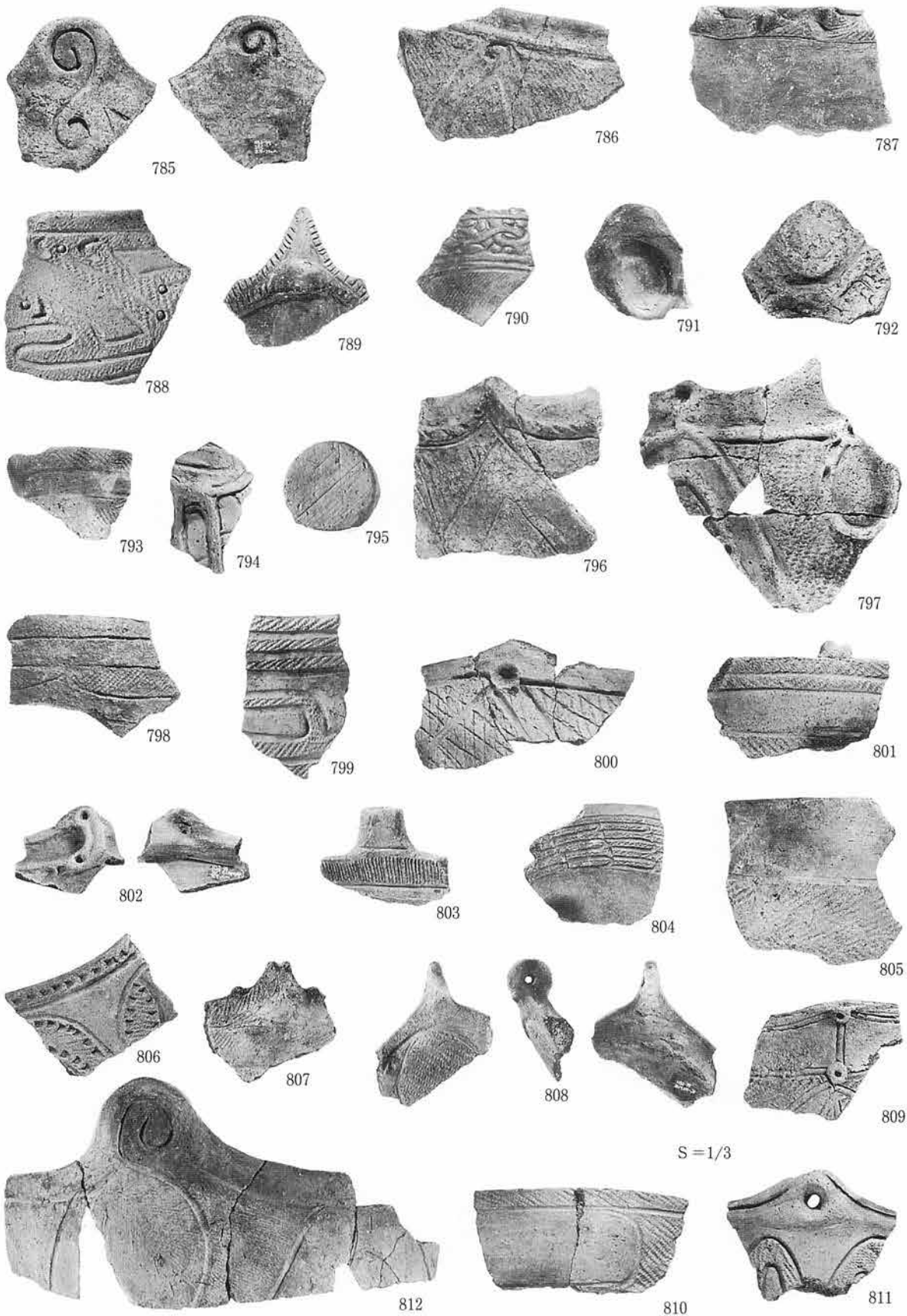
写真图版99 土器 (50)



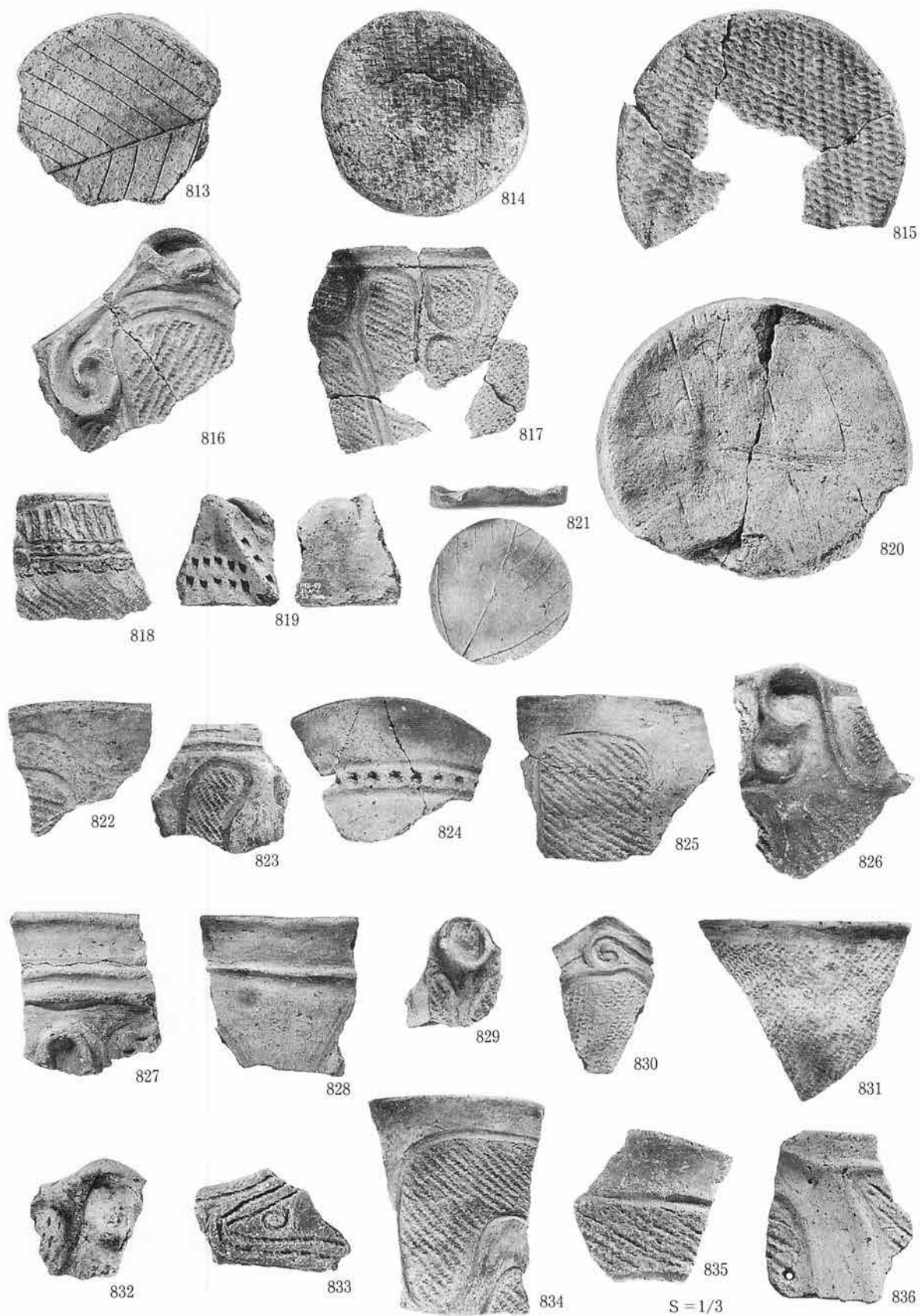
写真図版100 土器 (51)



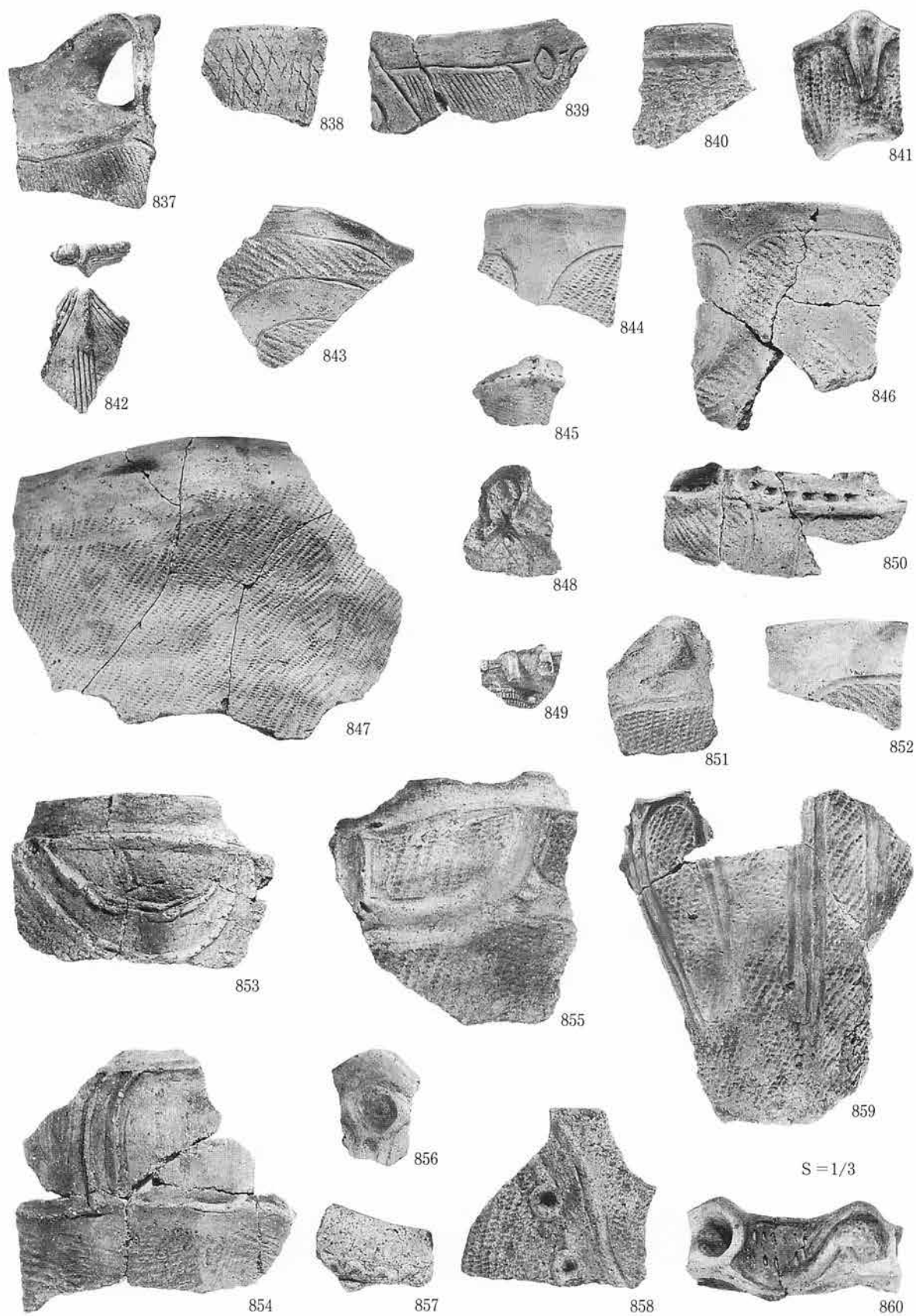
写真图版101 土器 (52)



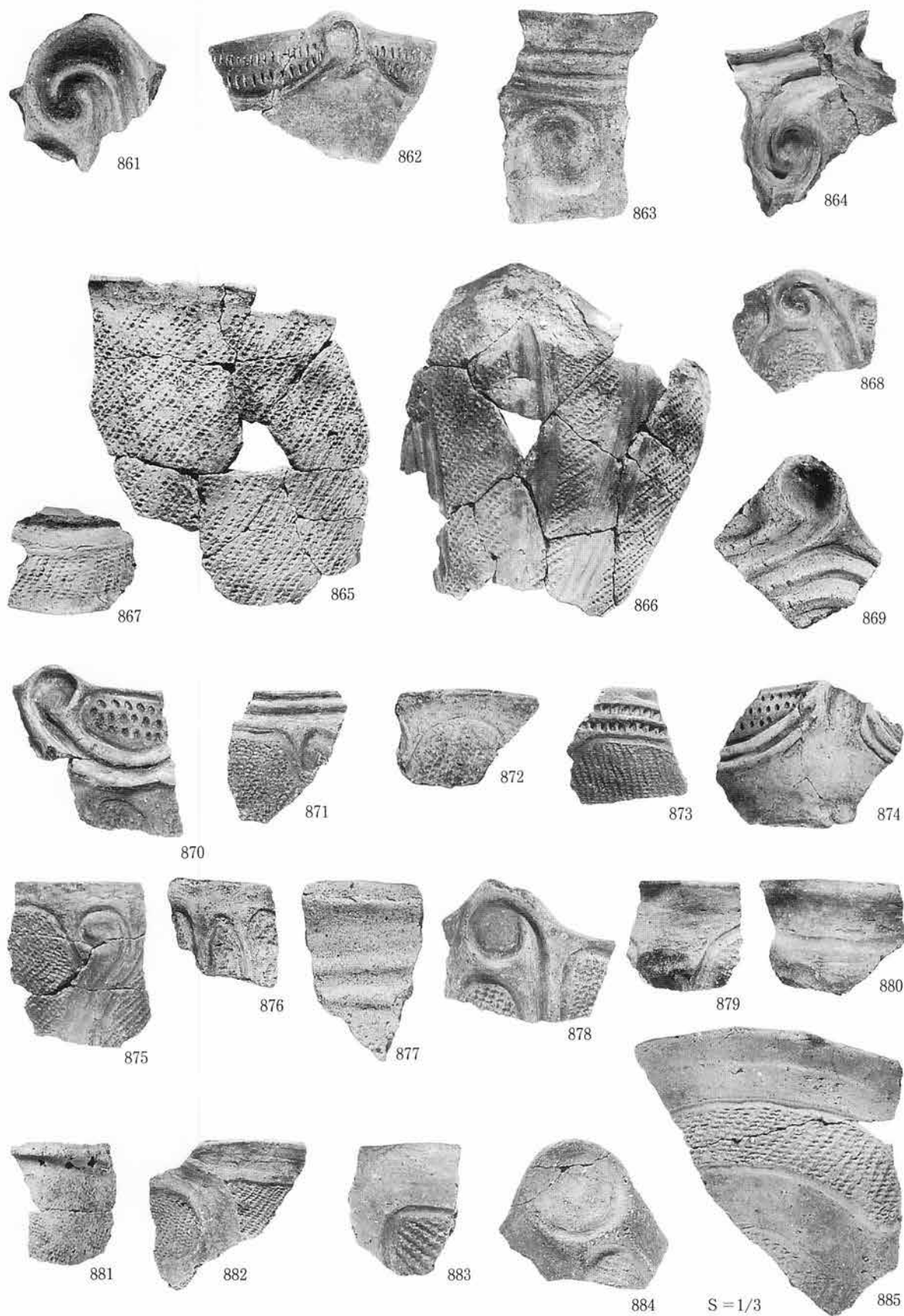
写真图版102 土器 (53)



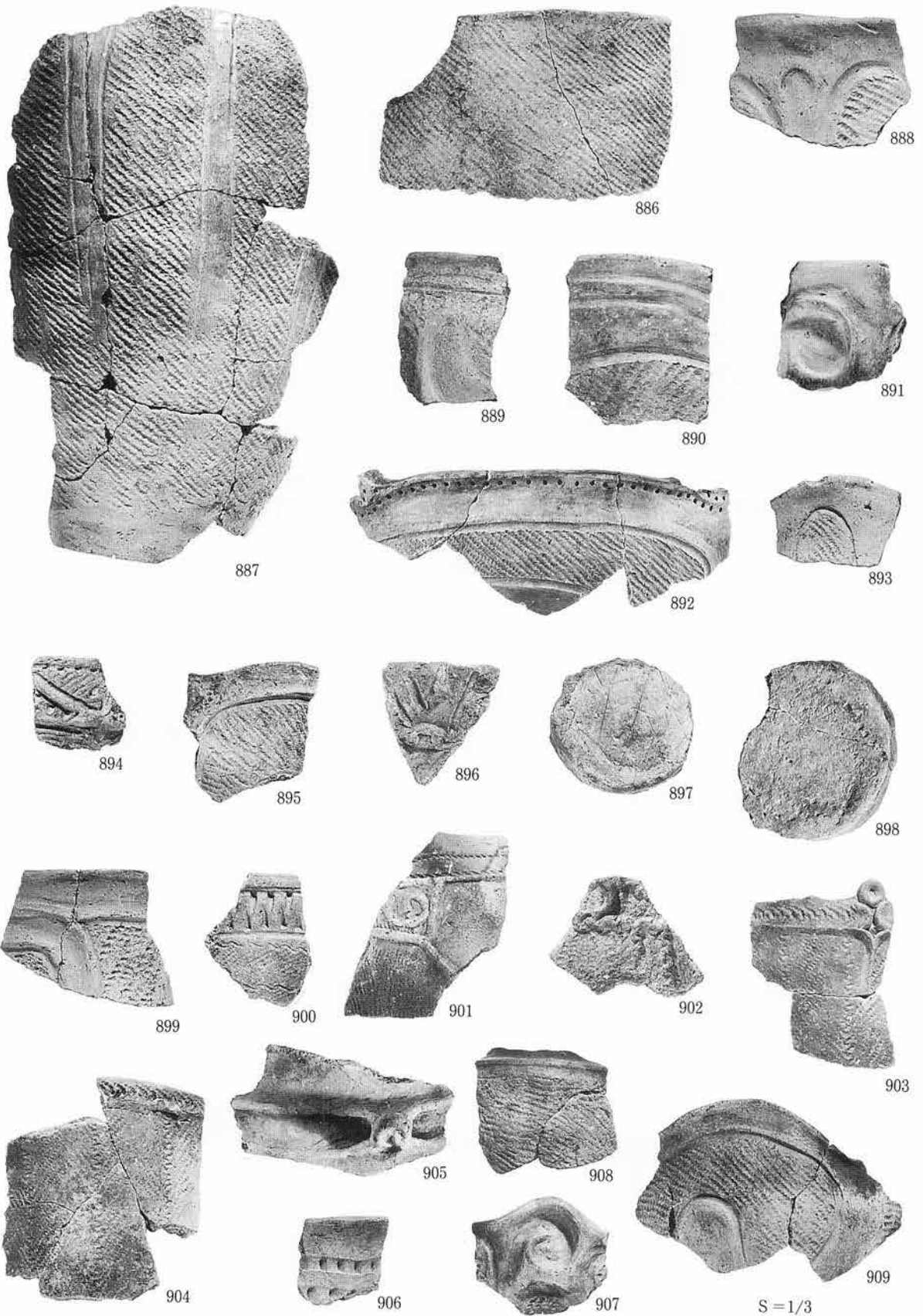
写真图版103 土器 (54)



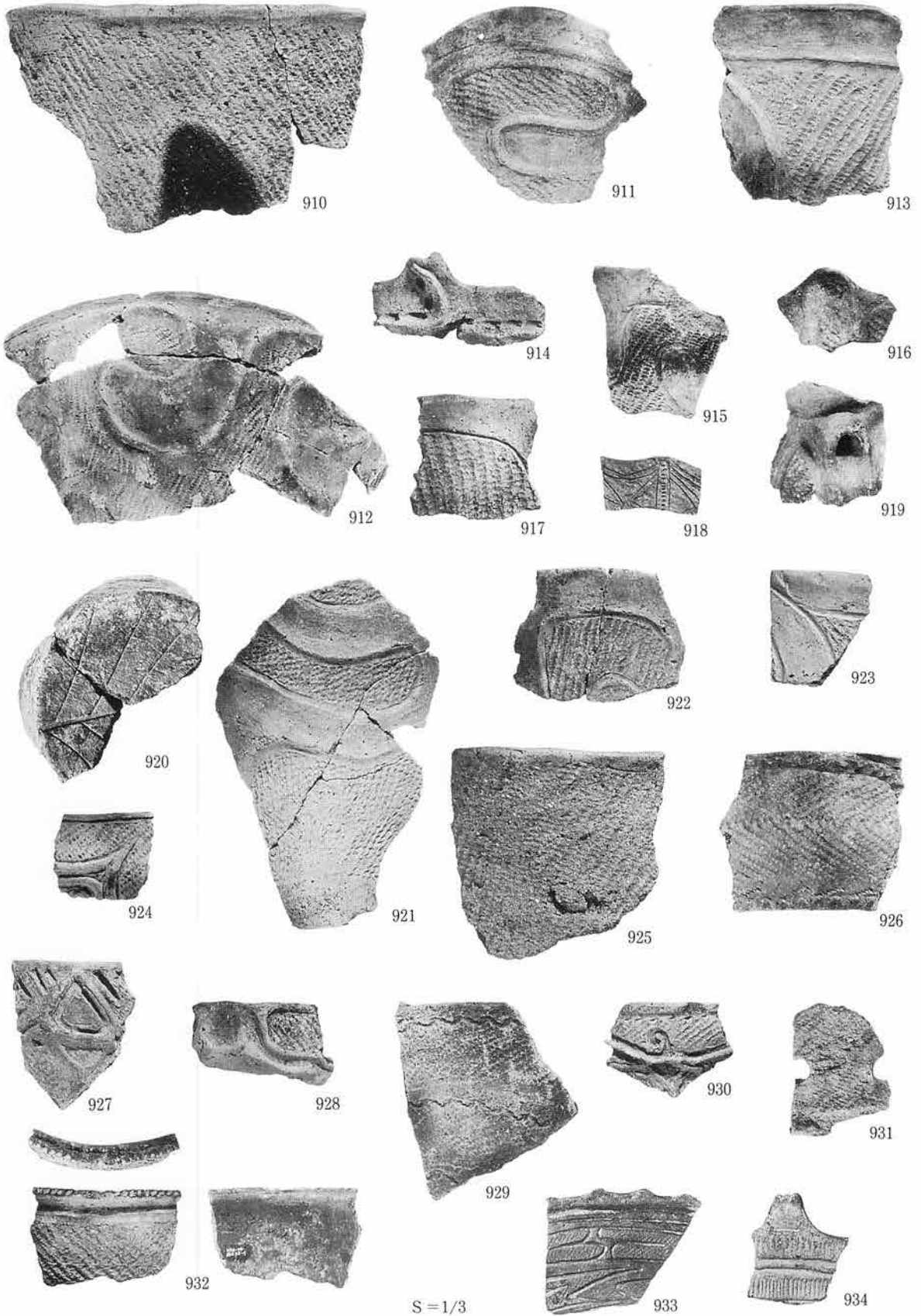
写真図版104 土器 (55)



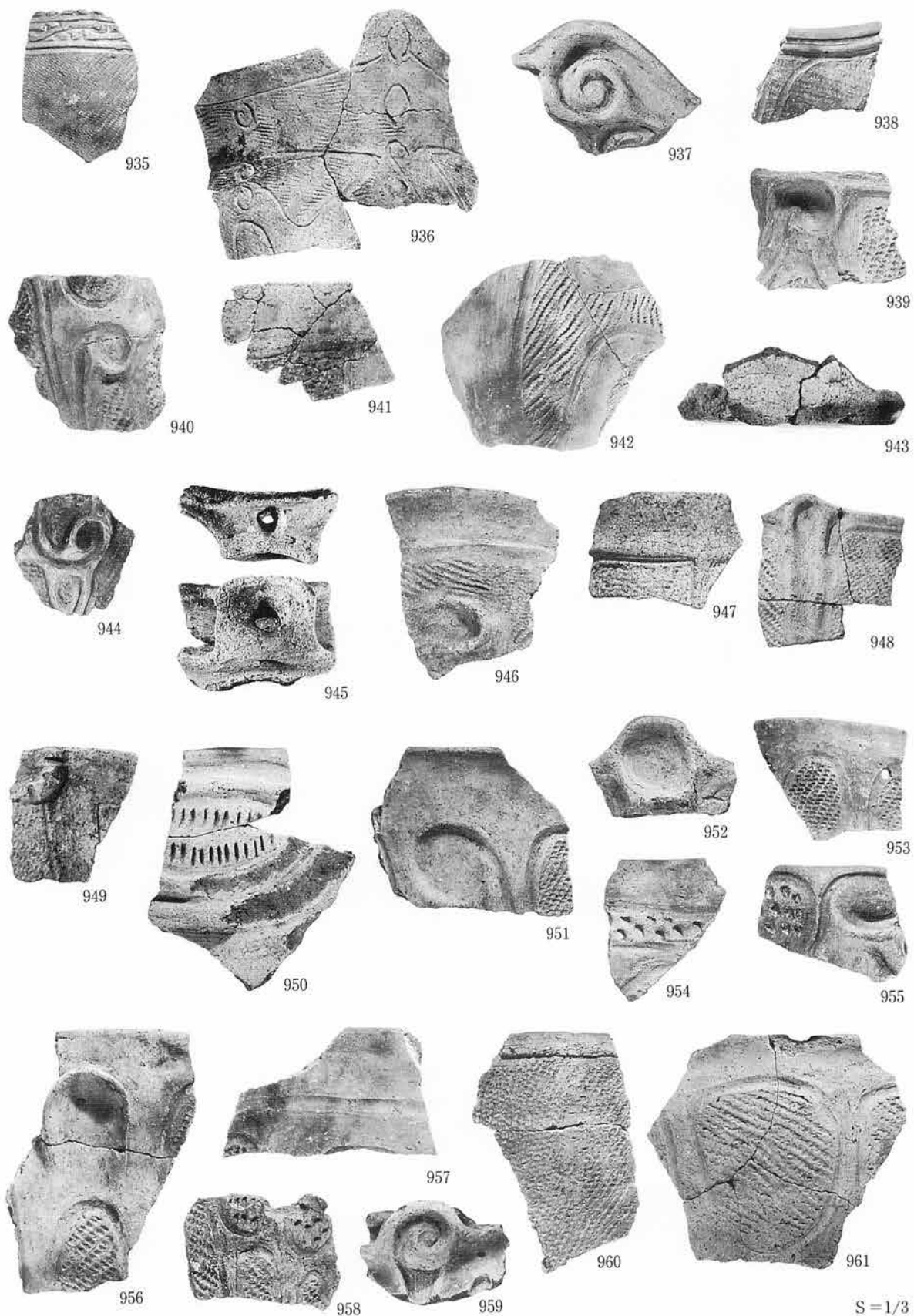
写真图版105 土器 (56)



写真图版106 土器 (57)

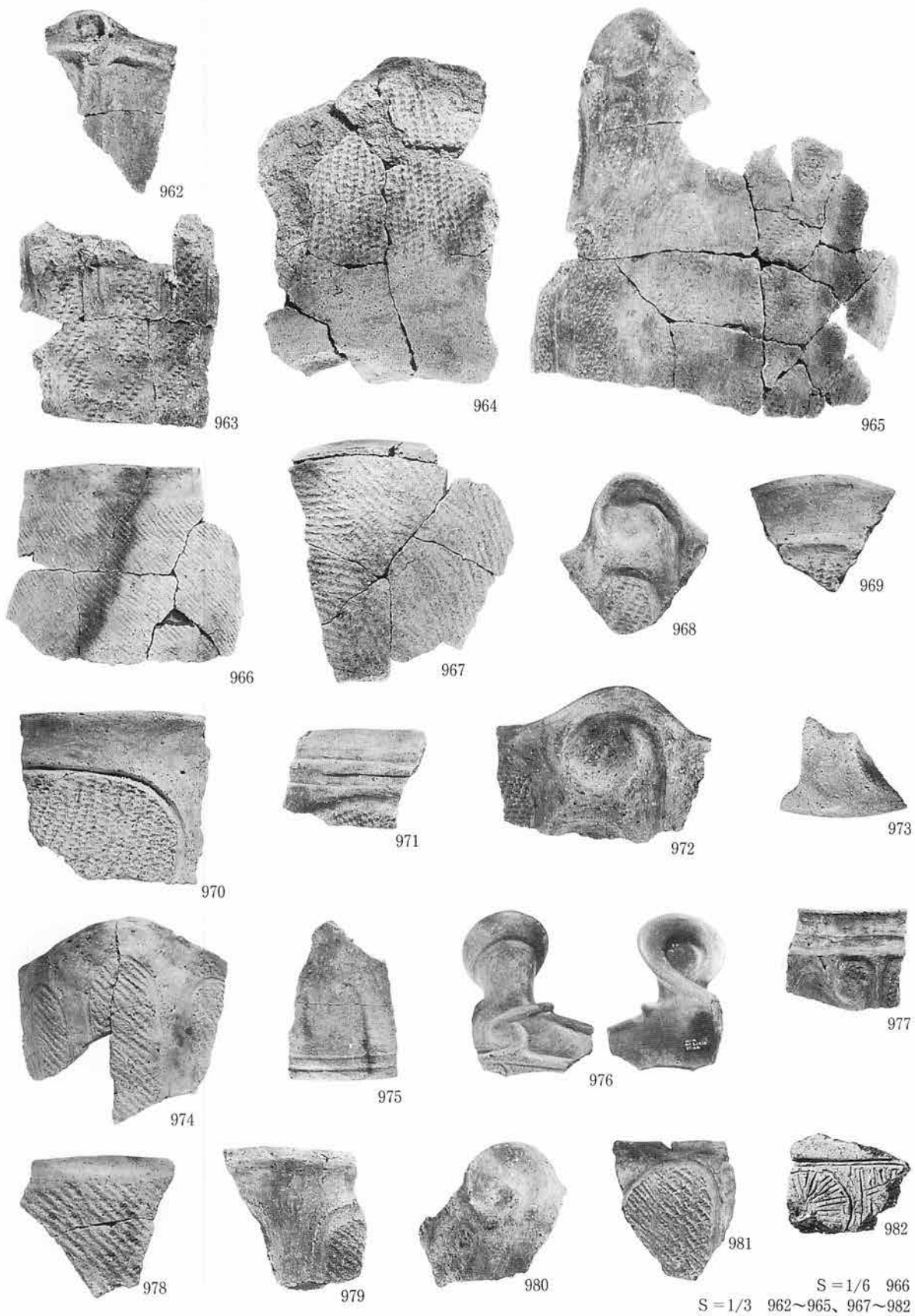


写真图版107 土器 (58)

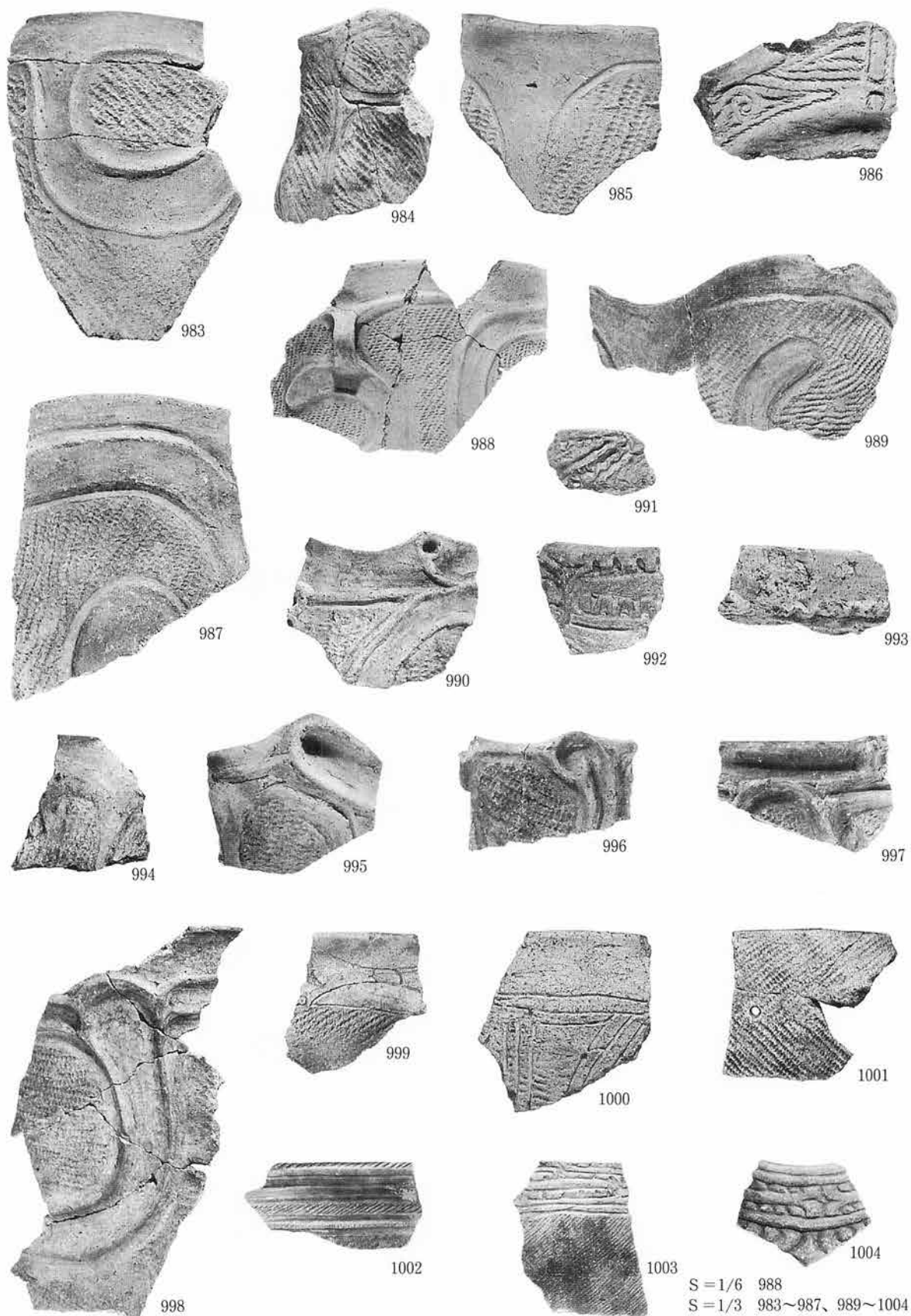


S = 1/3

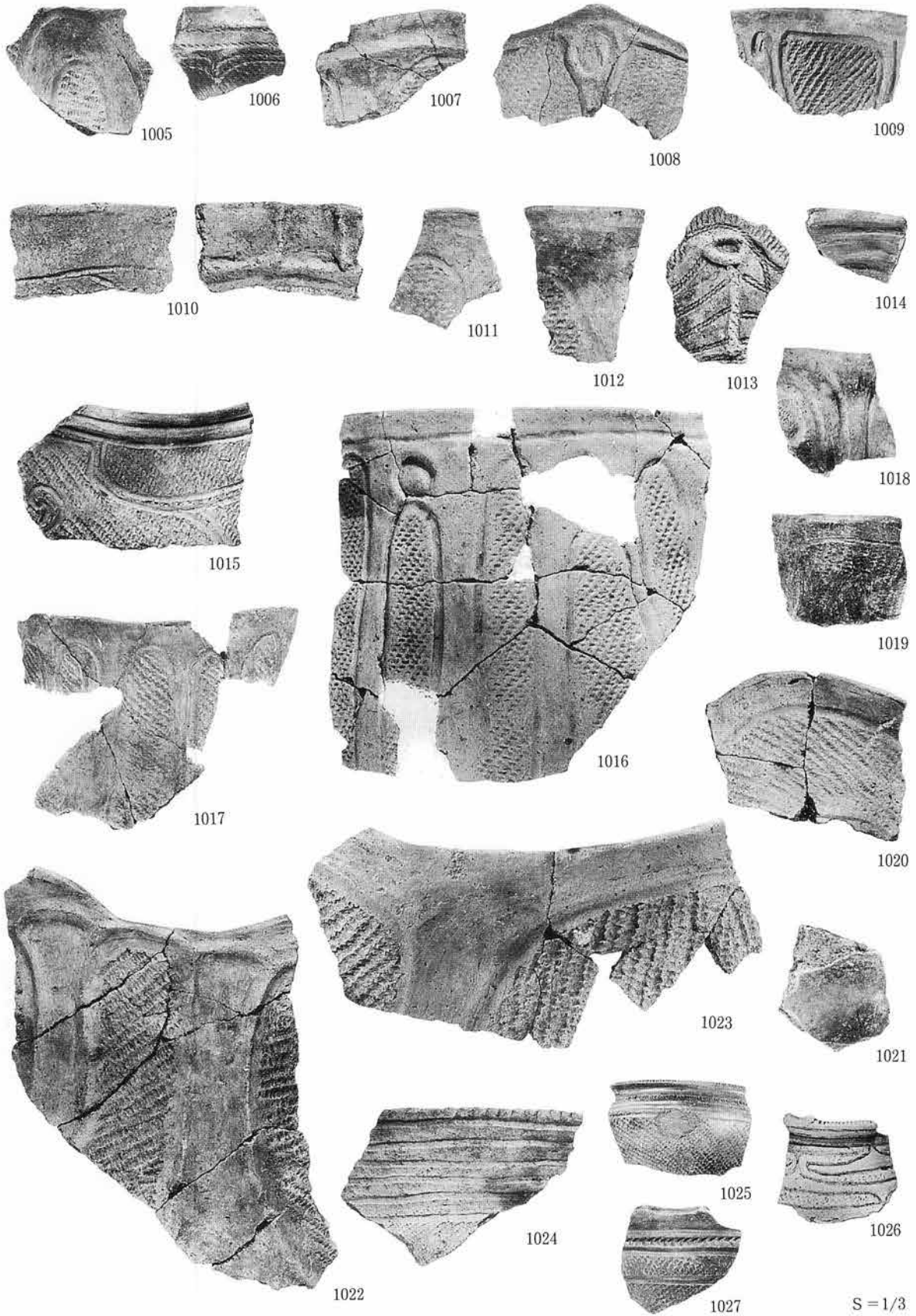
写真图版108 土器 (59)



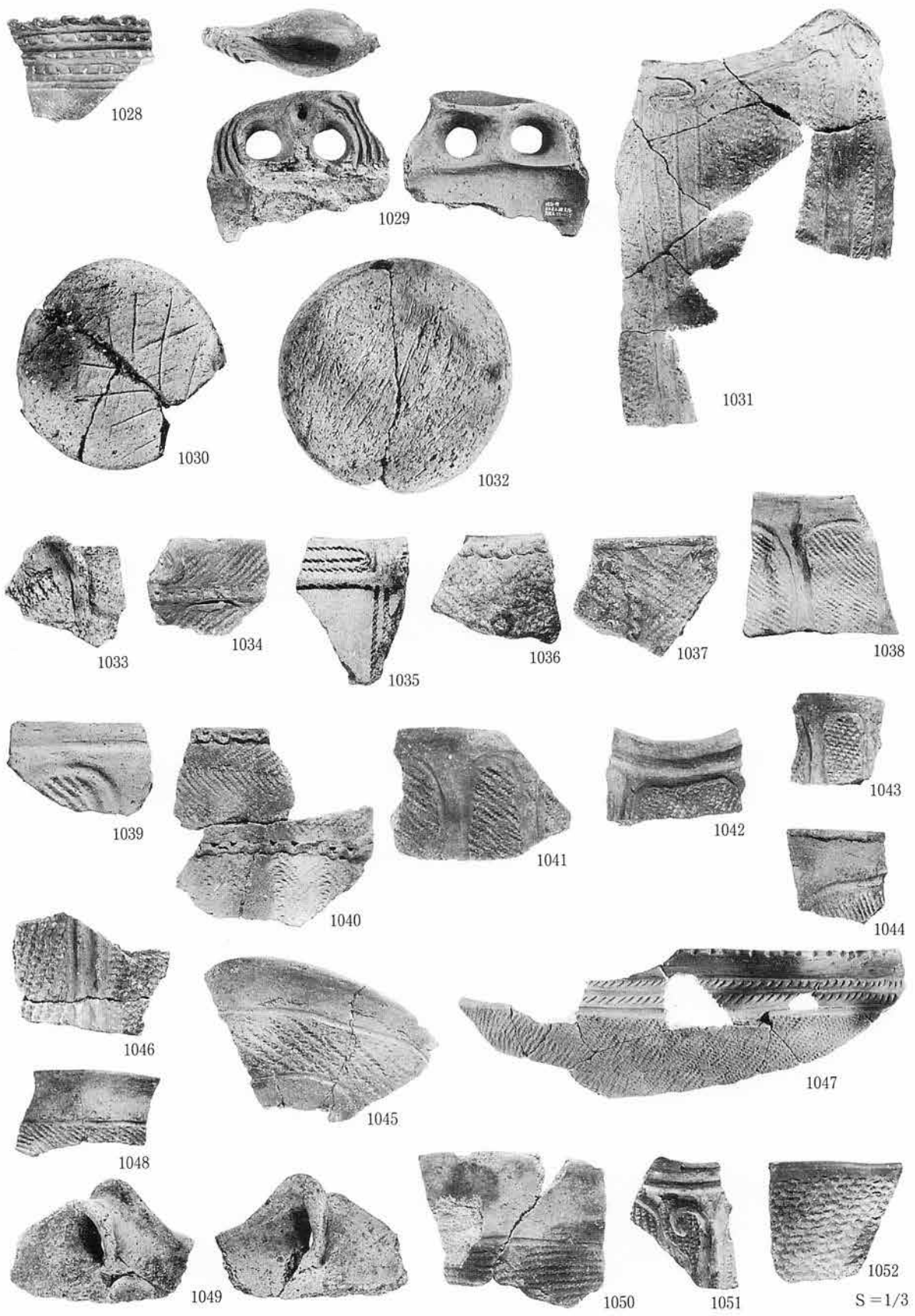
写真图版109 土器 (60)



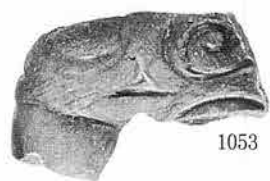
写真图版110 土器 (61)



写真図版111 土器 (62)



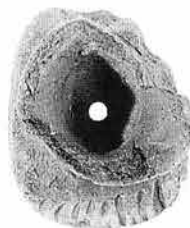
写真图版112 土器 (63)



1053



1054



1055



1057



1056



1058



1059



1060



1061



1062

S=1/2

写真図版113 土製品 (1)



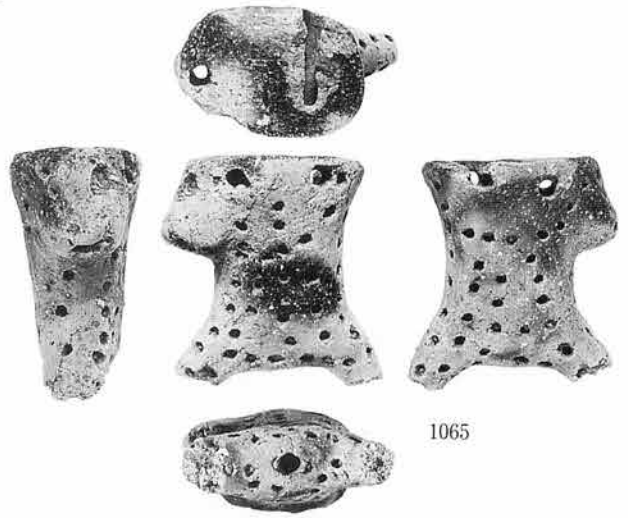
1063



1064



1066



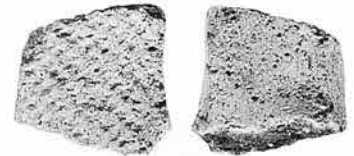
1065



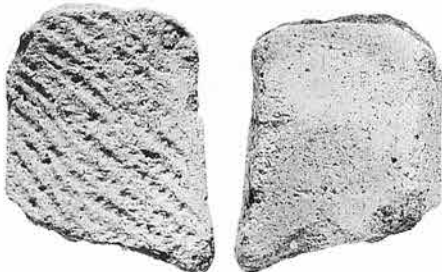
1067



1068



1069

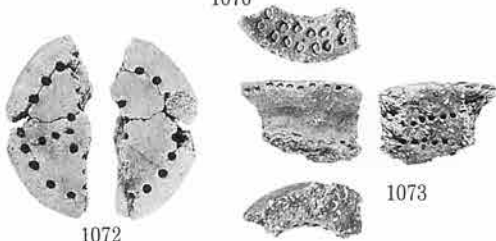


1070



1071

S = 1/2



1072



1073



1074



1075

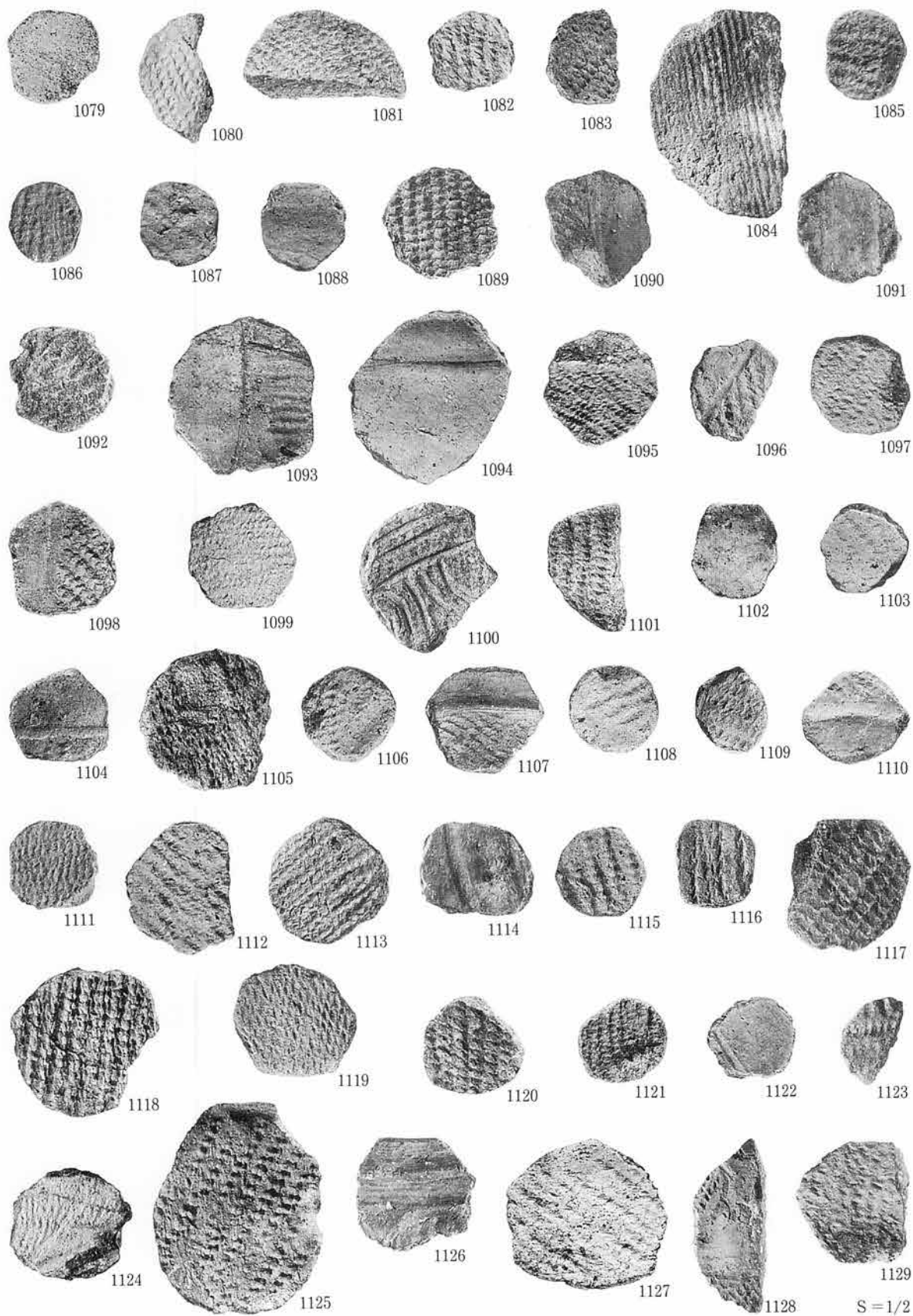


1076

1077

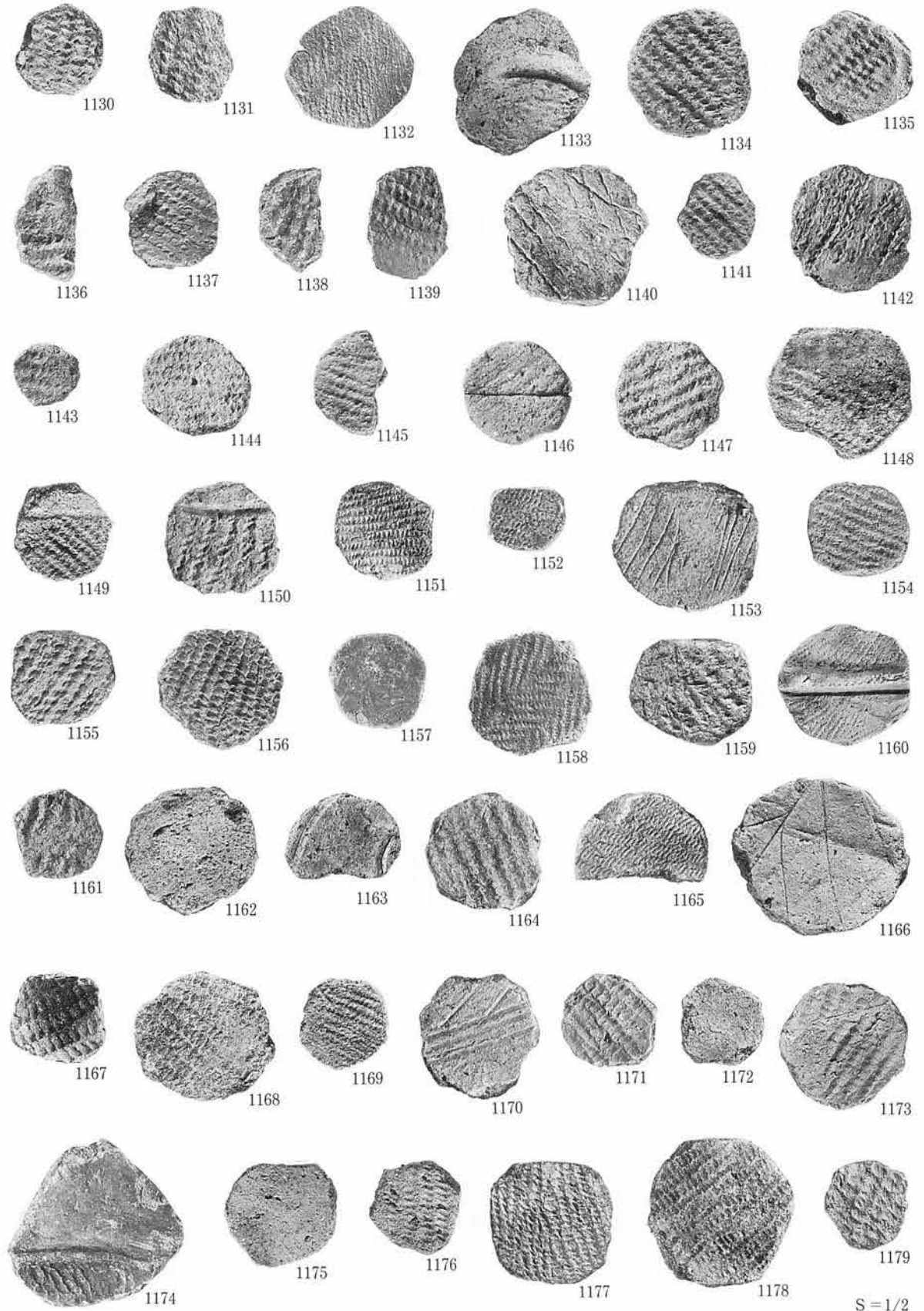
1078

写真図版114 土製品 (2)



S = 1/2

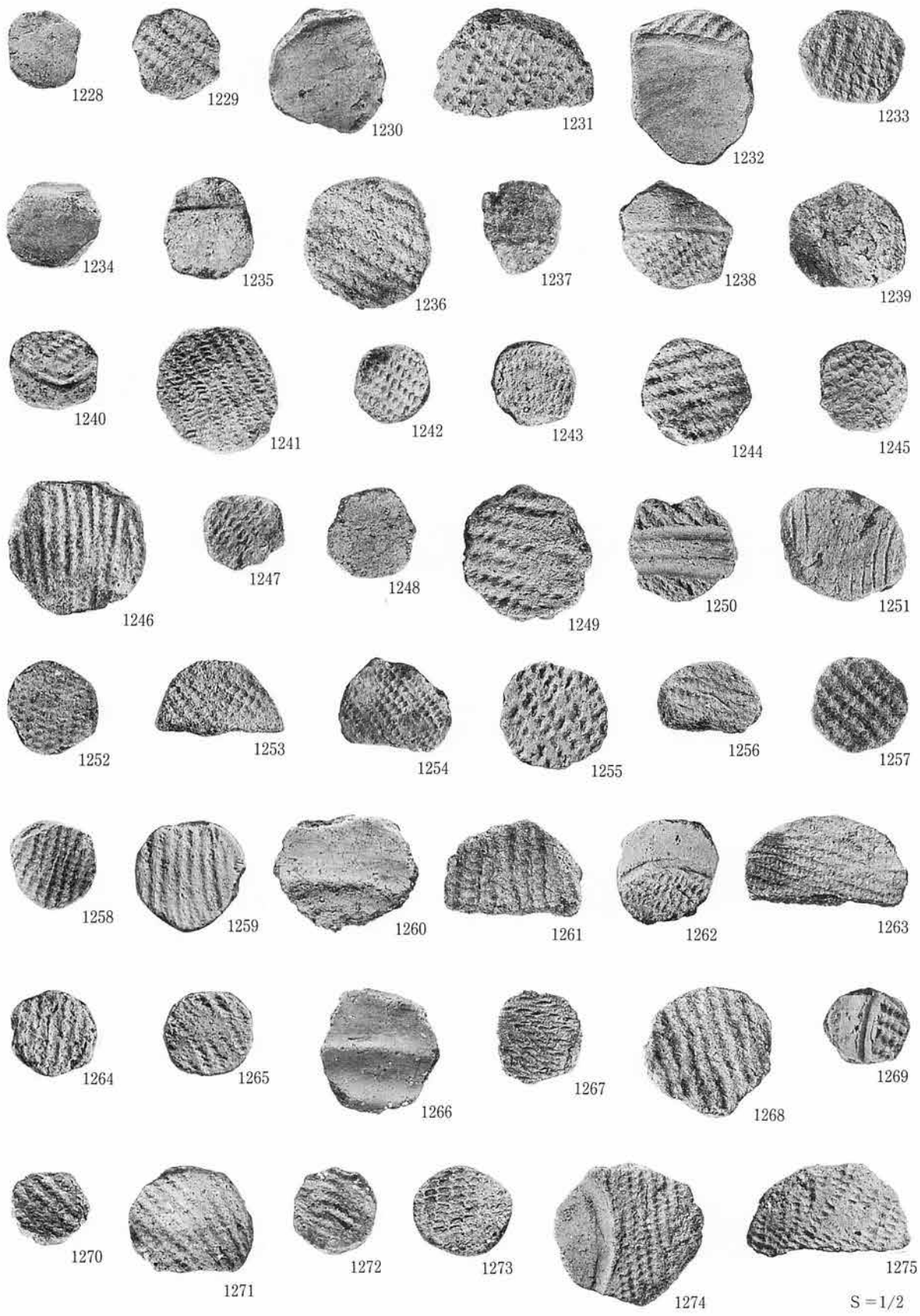
写真図版115 土製品 (3)



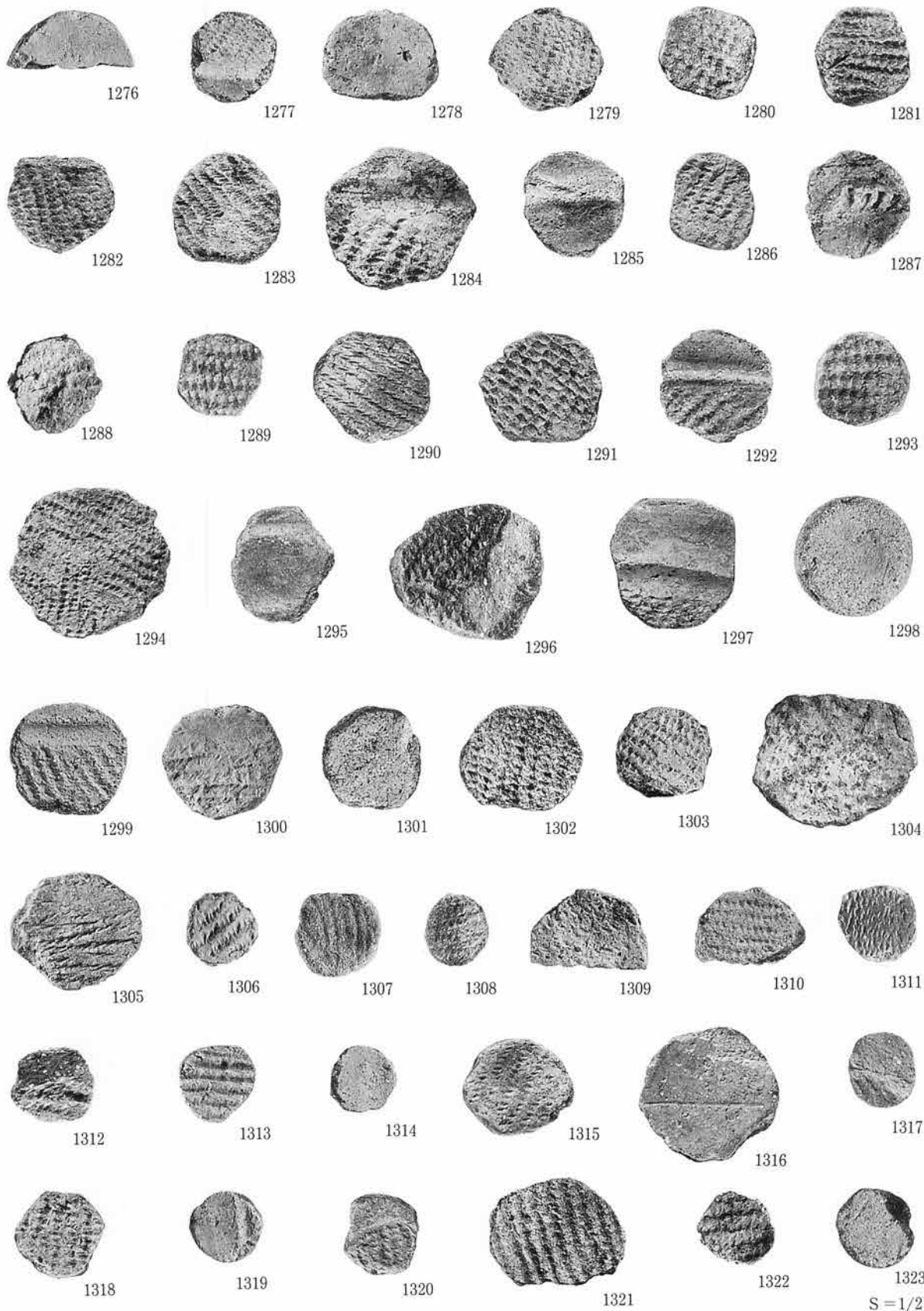
写真図版116 土製品(4)



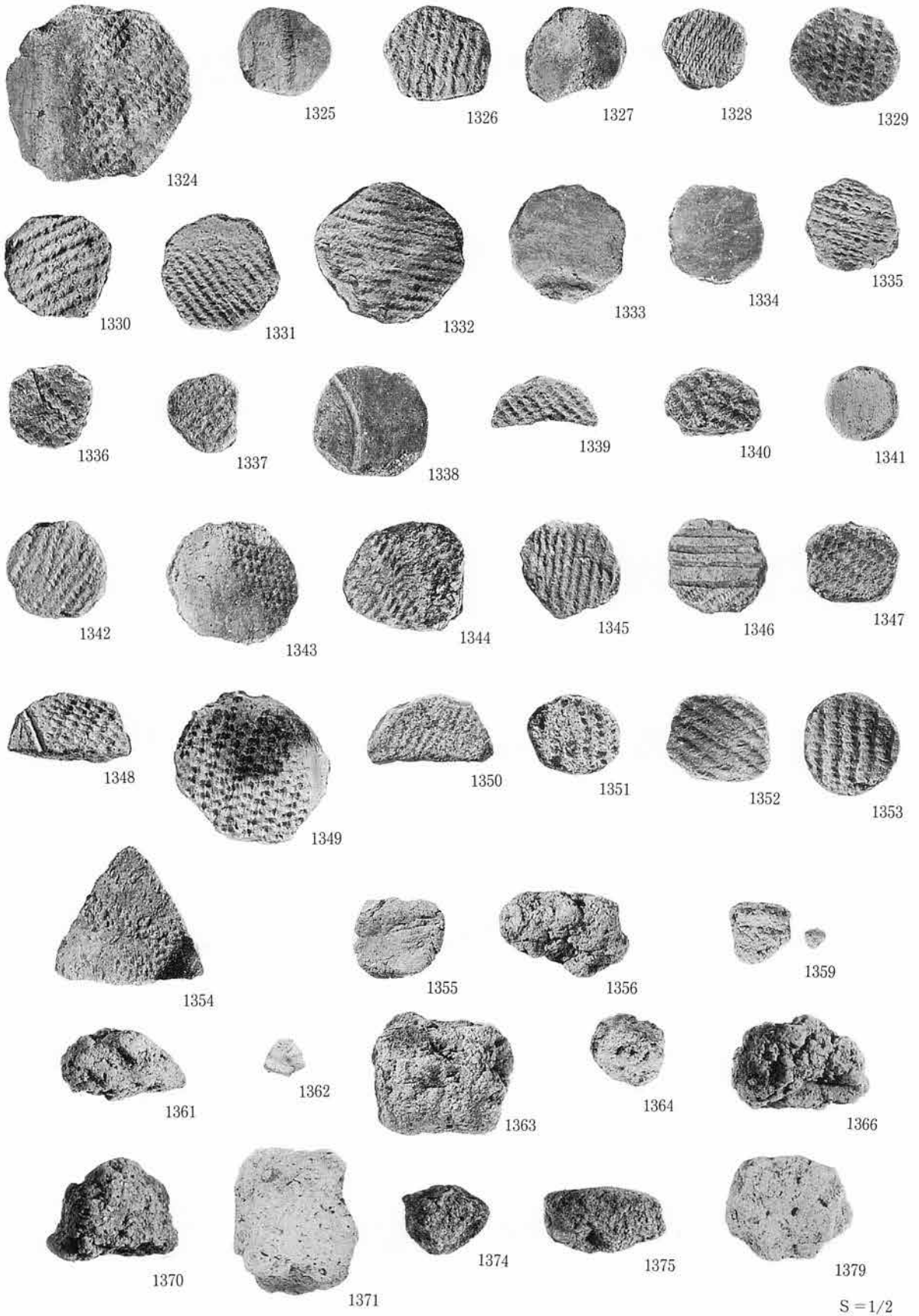
写真図版117 土製品 (5)



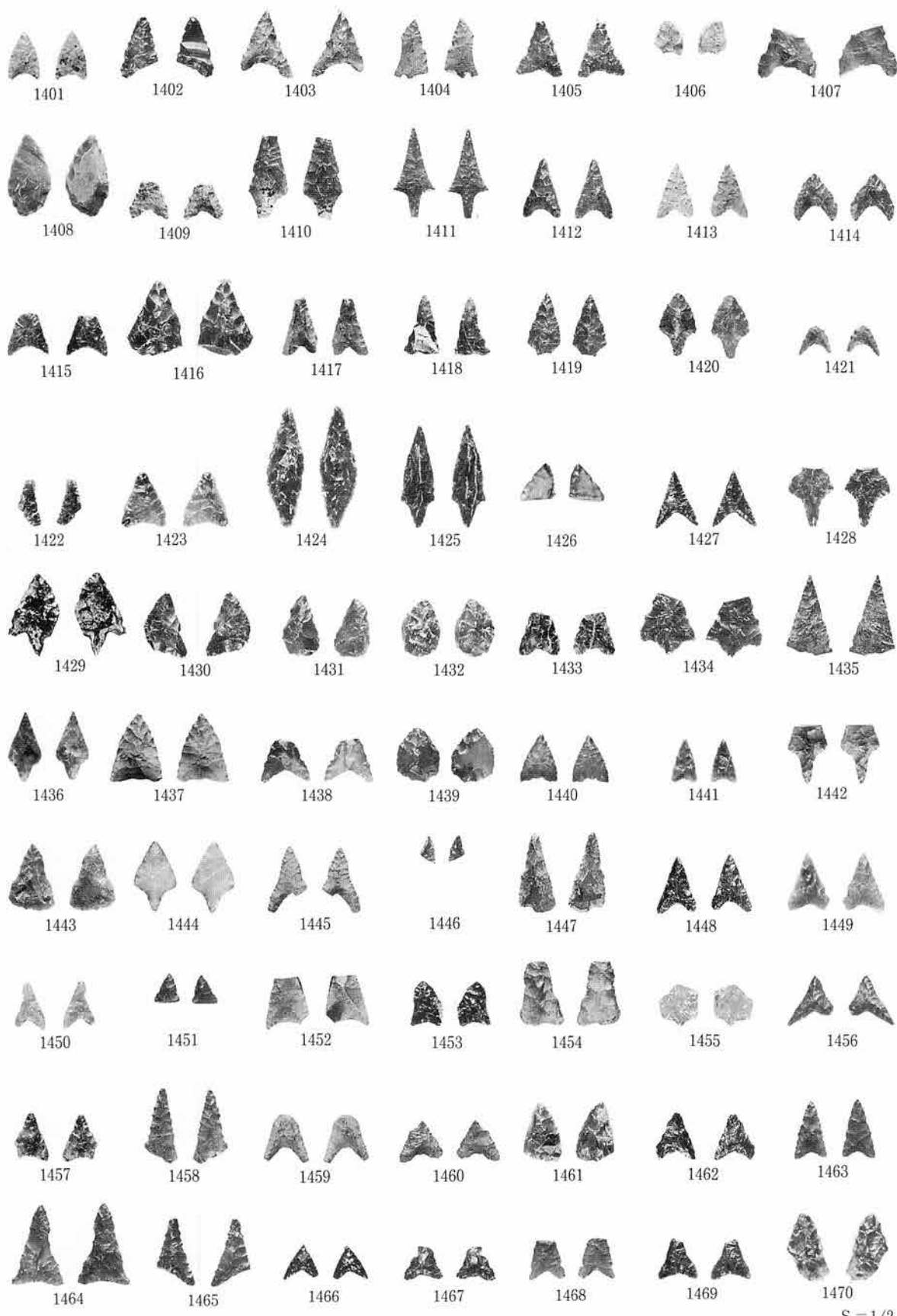
写真図版118 土製品 (6)



写真図版119 土製品 (7)

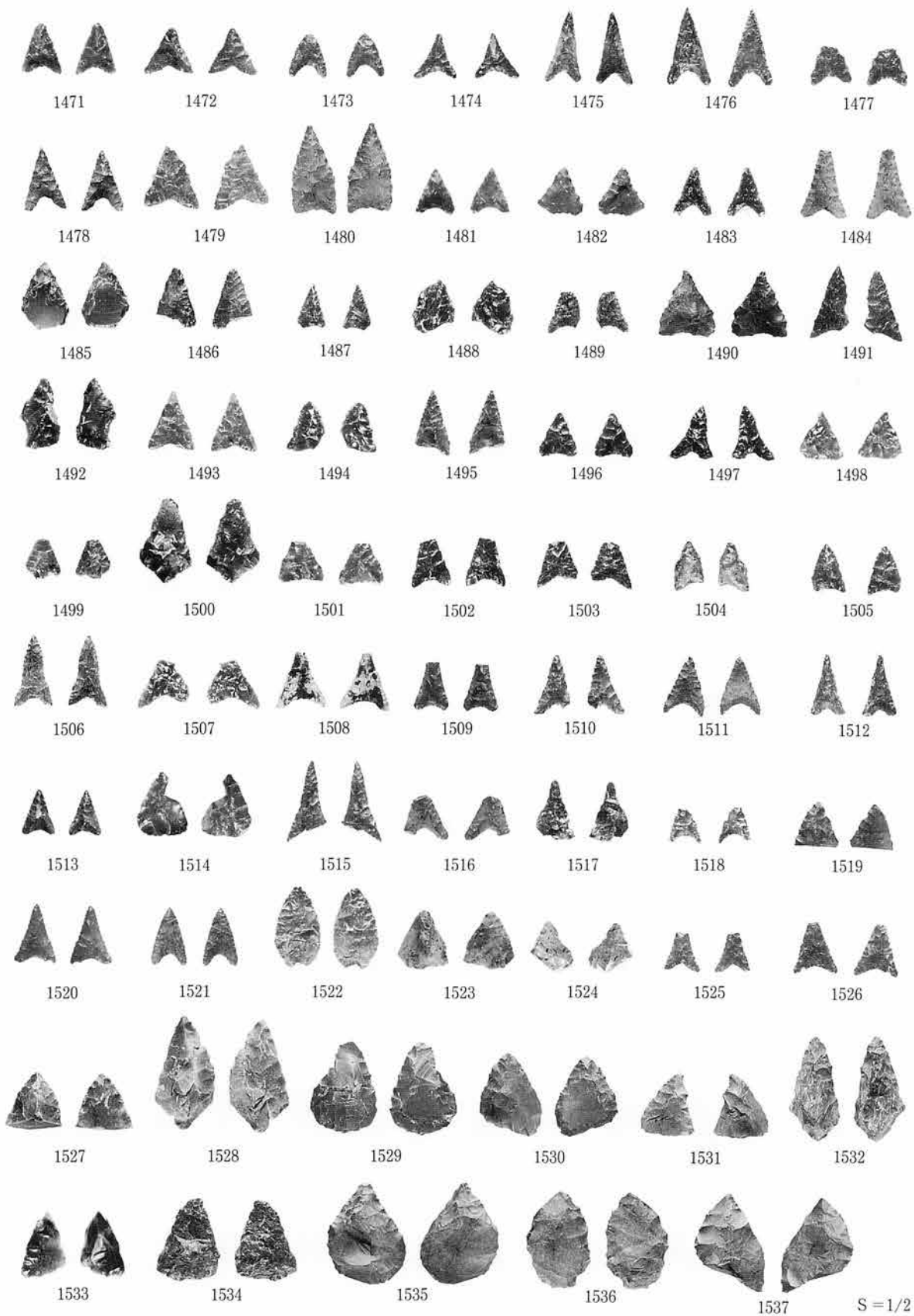


写真図版120 土製品 (8)

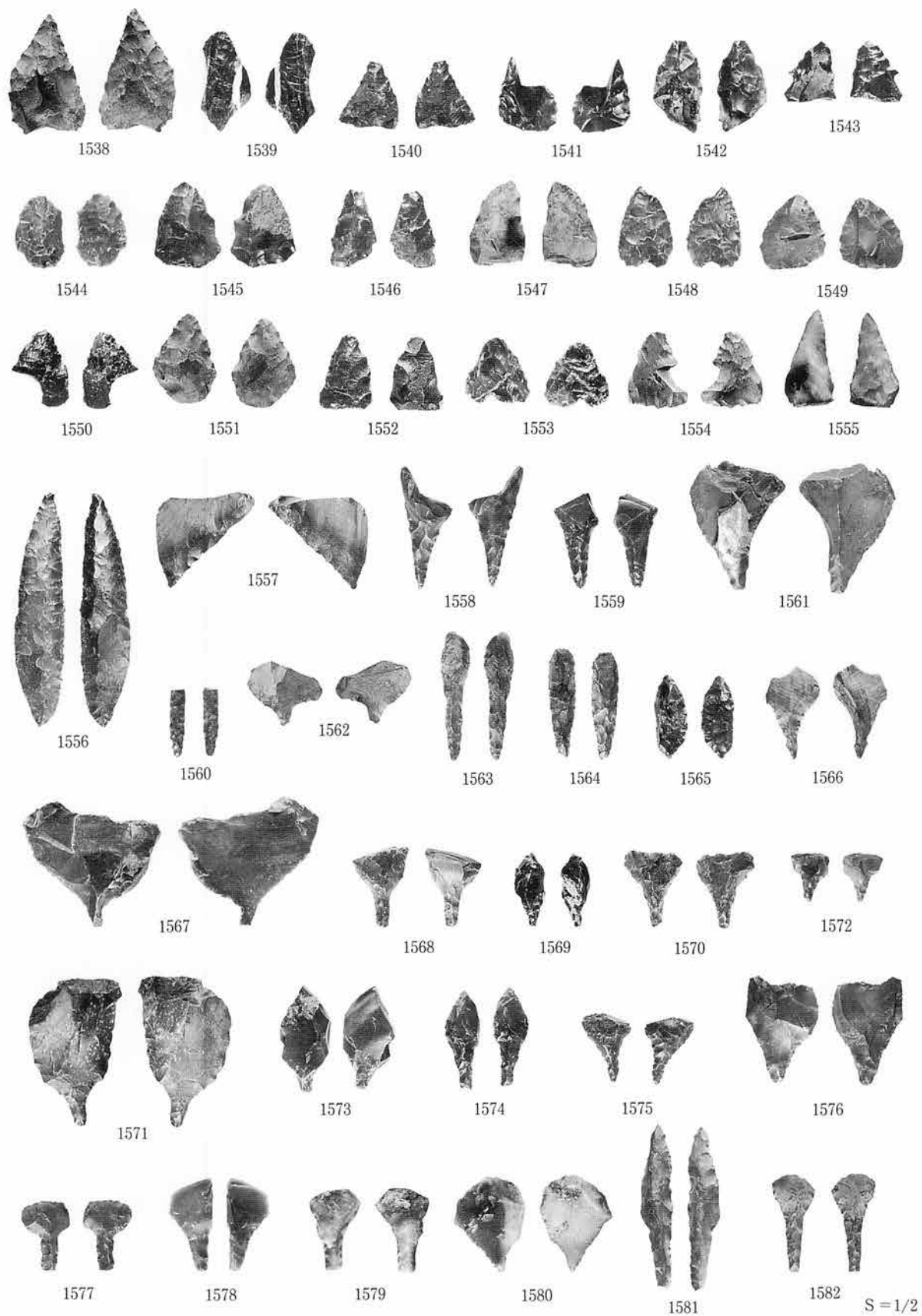


S = 1/2

写真図版121 石器 (1)

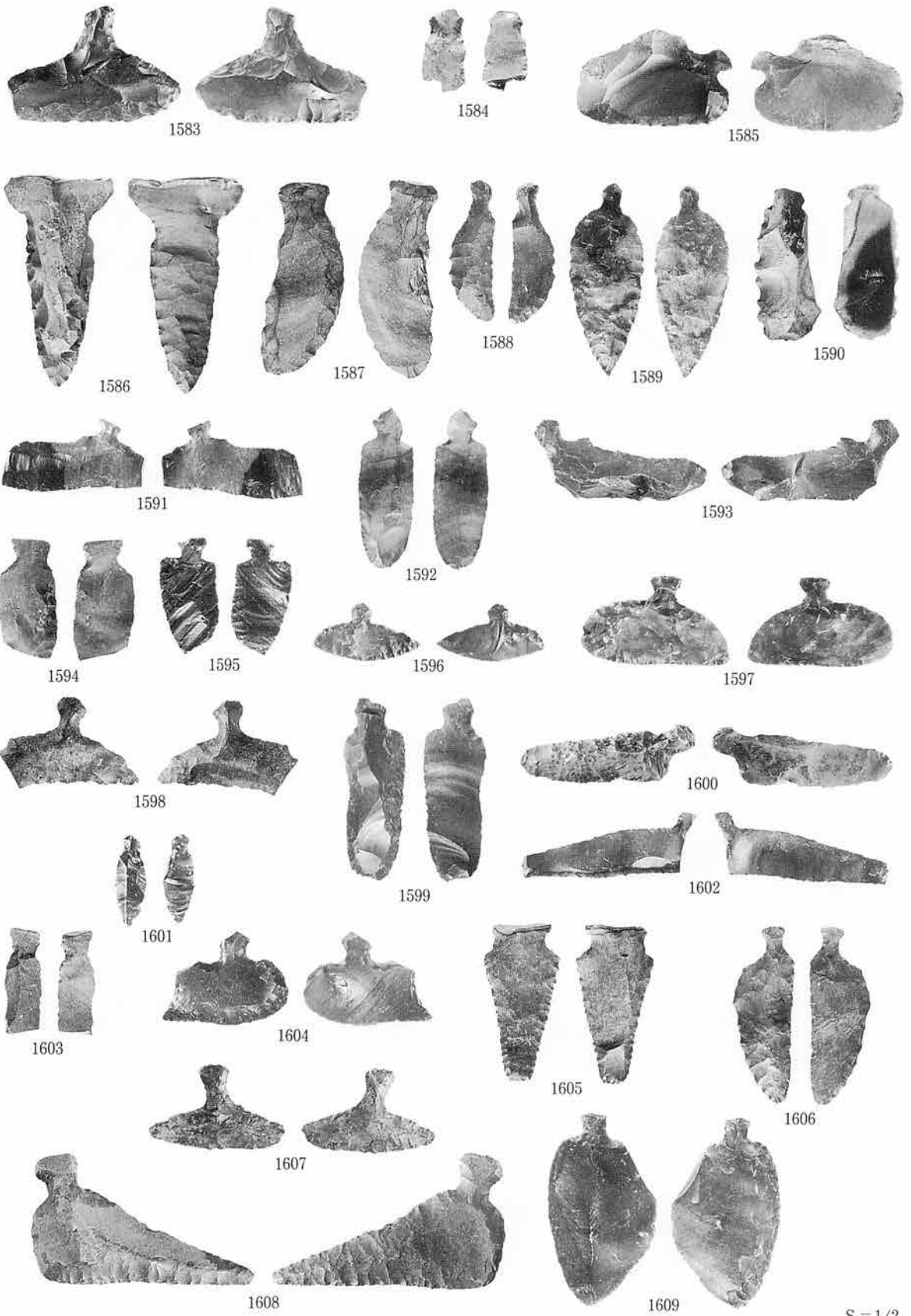


写真图版122 石器 (2)



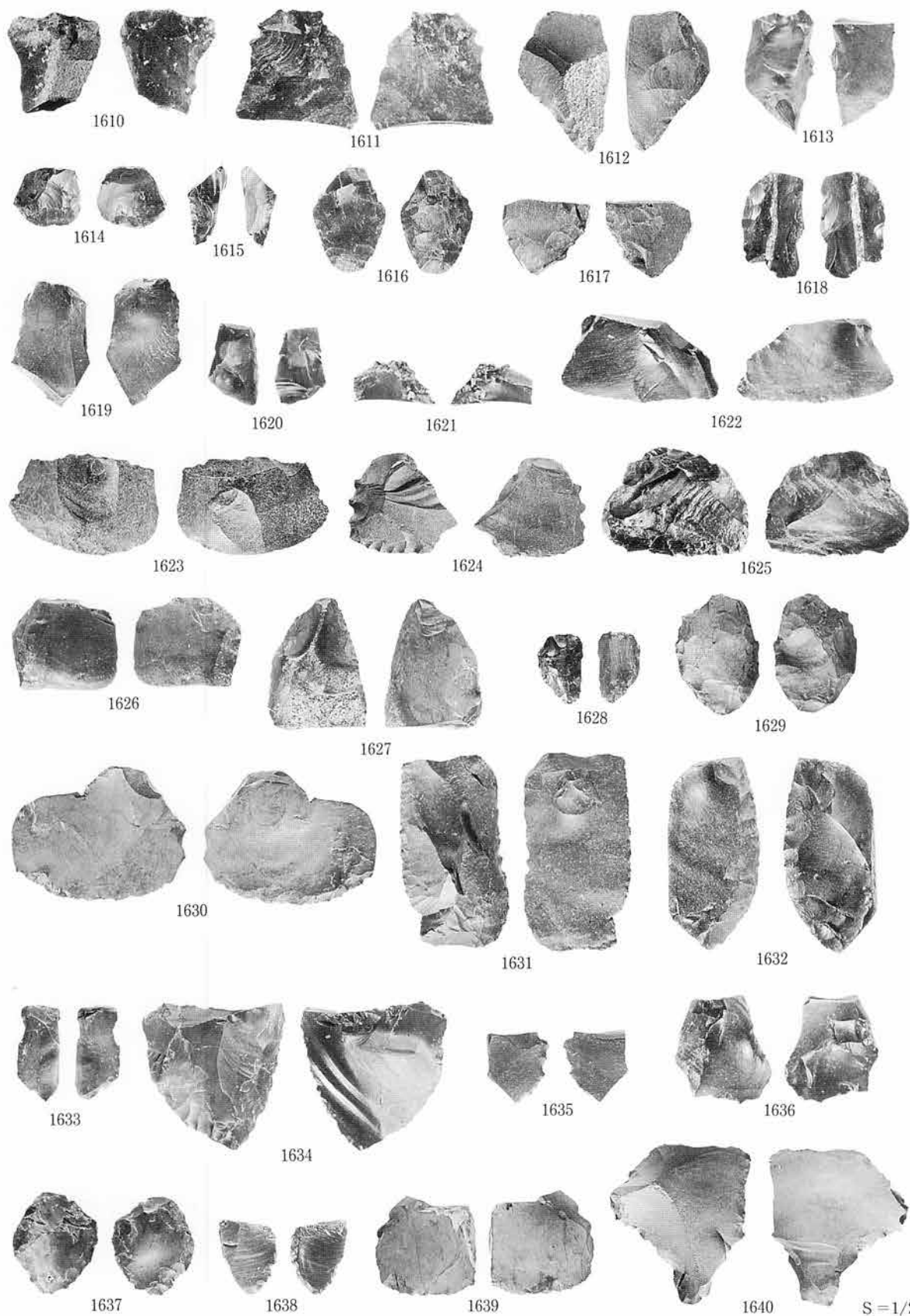
S = 1/2

写真図版123 石器 (3)



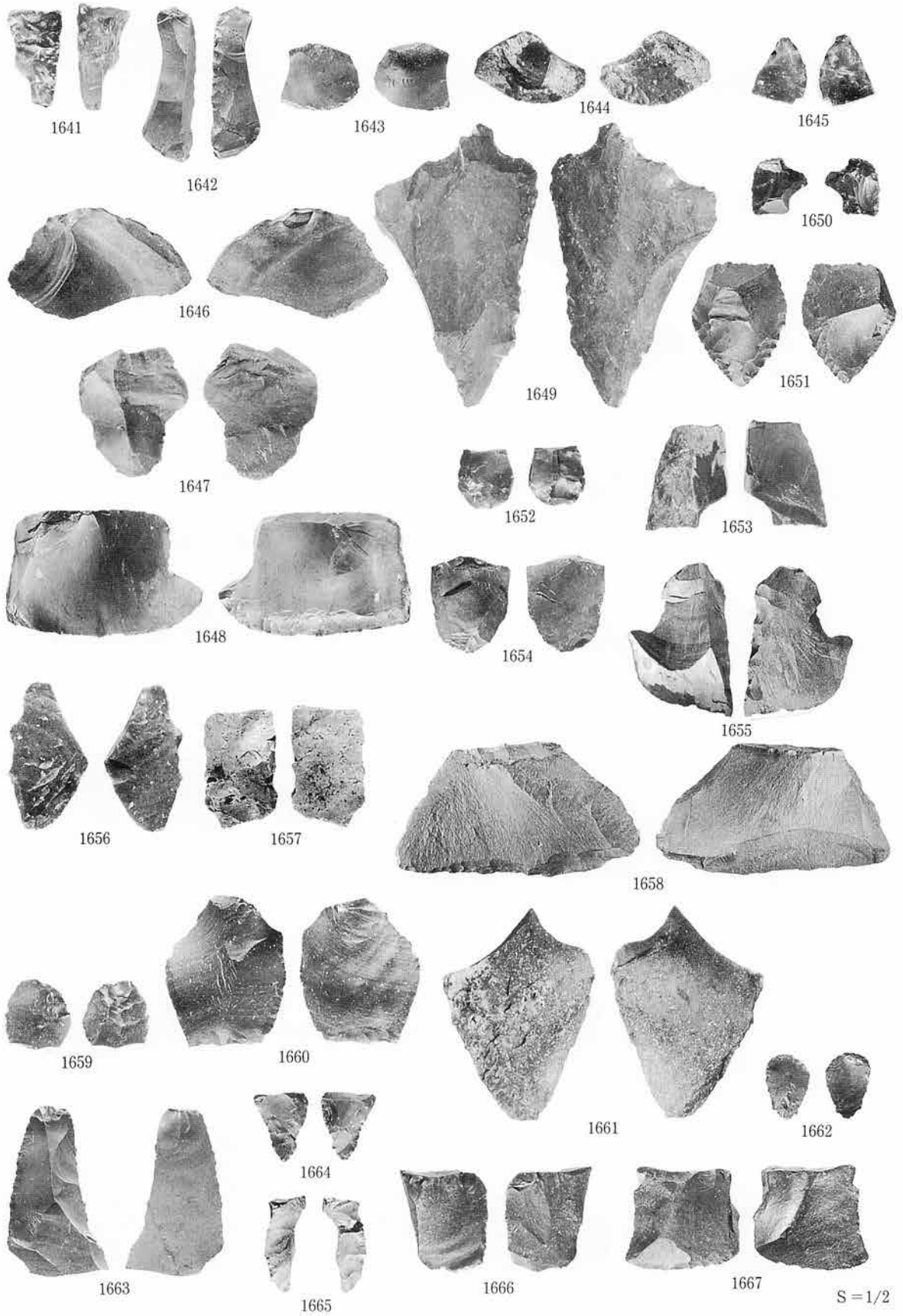
S=1/2

写真図版124 石器(4)



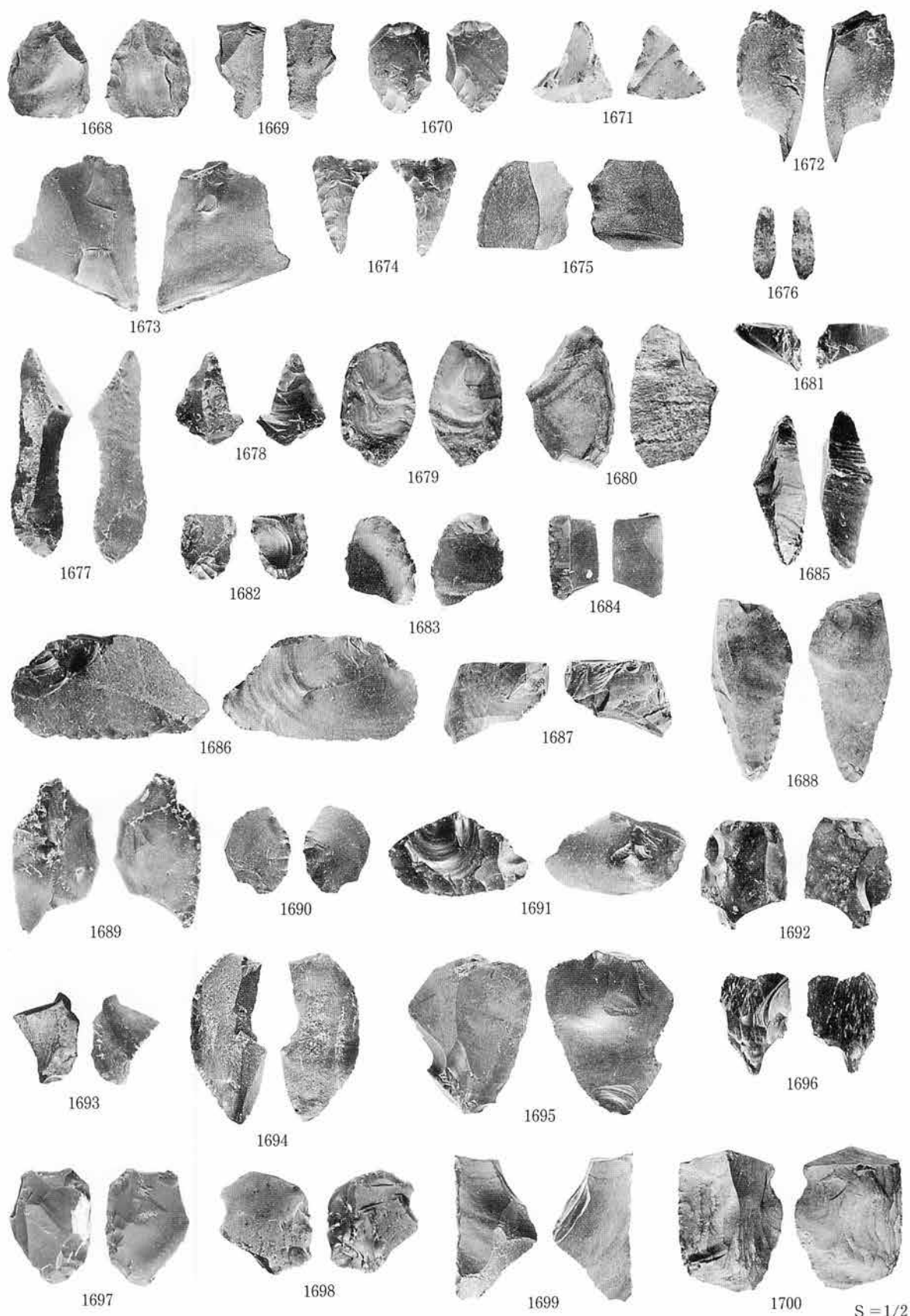
S=1/2

写真图版125 石器(5)



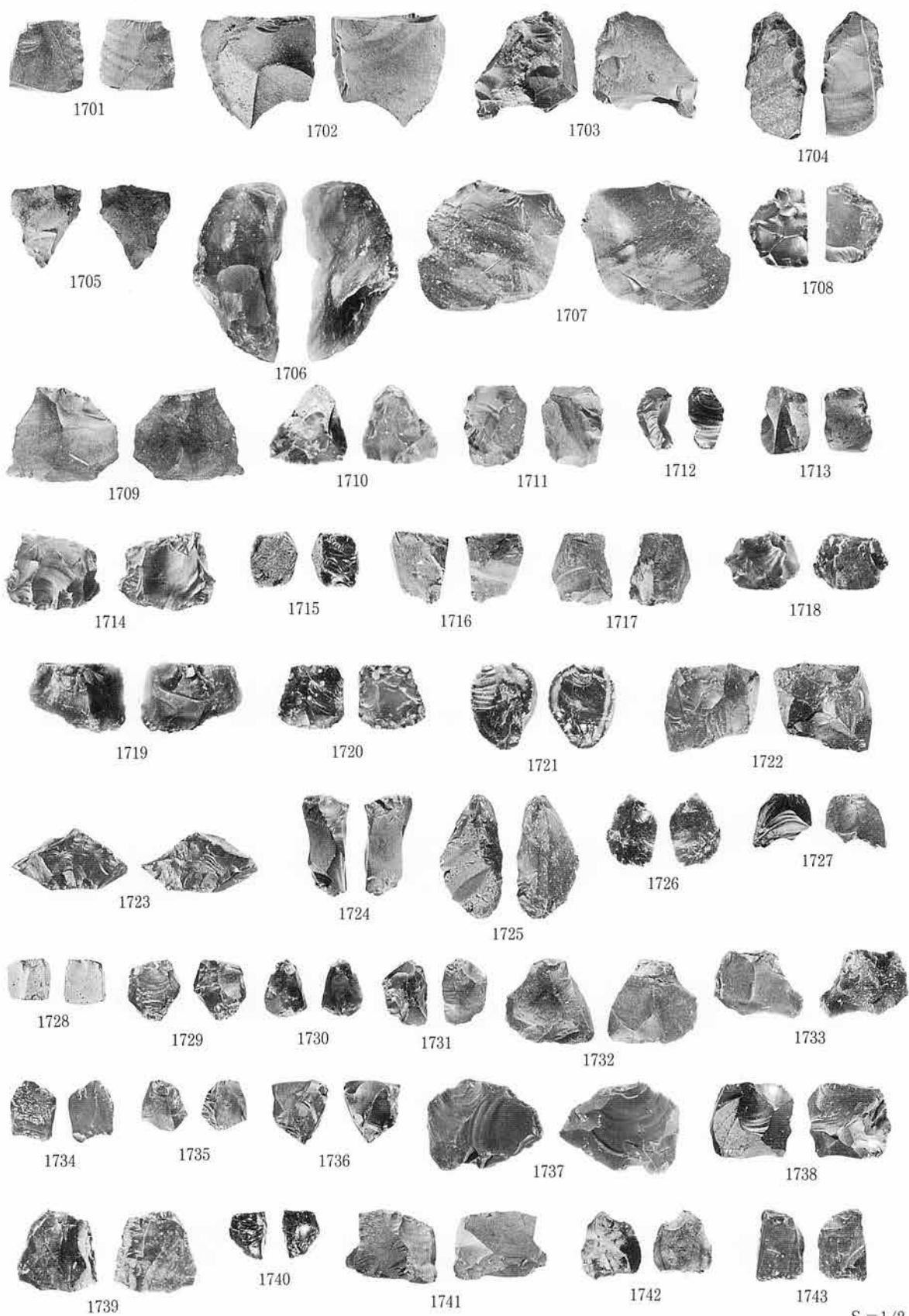
S=1/2

写真図版126 石器 (6)



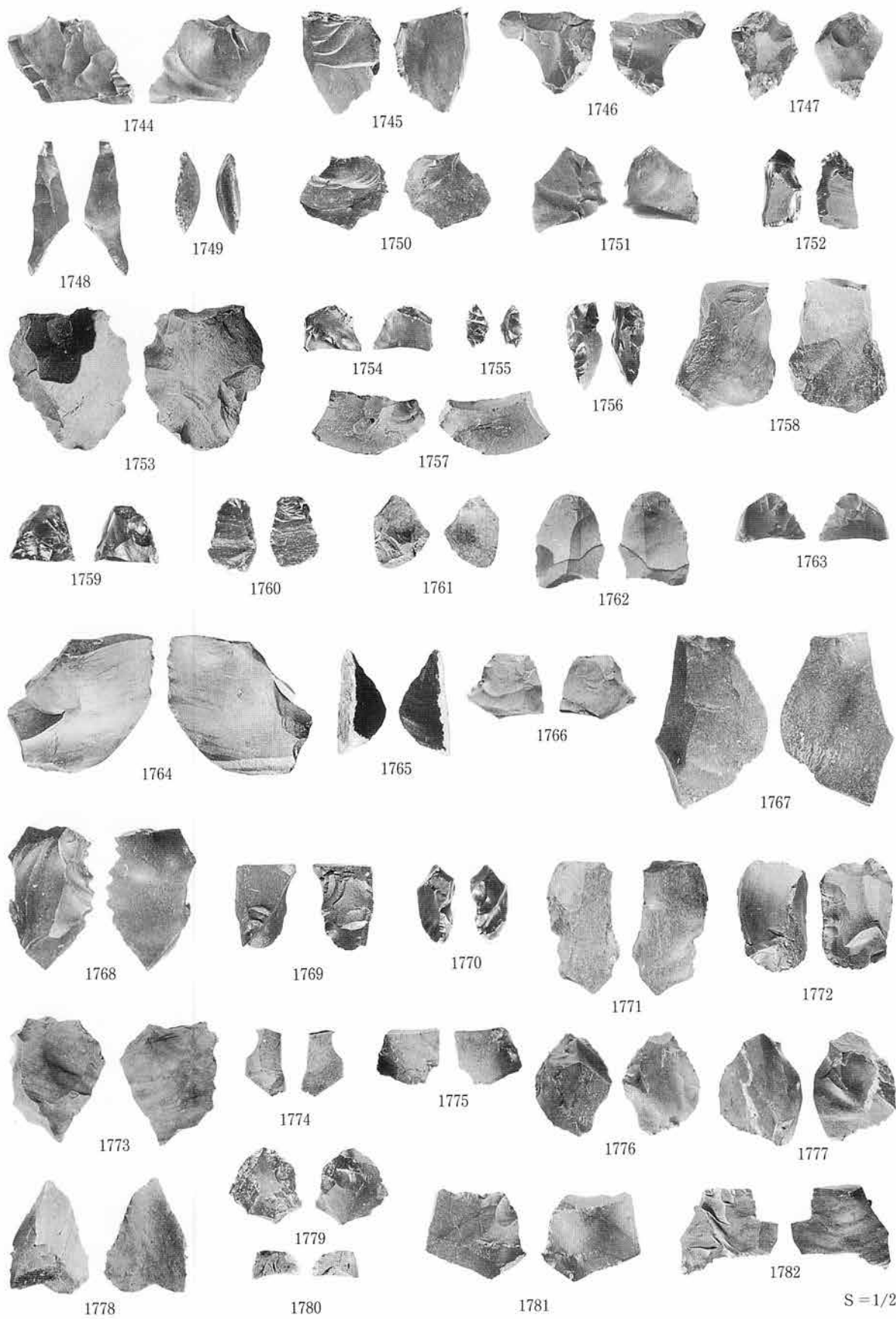
S = 1/2

写真图版127 石器 (7)



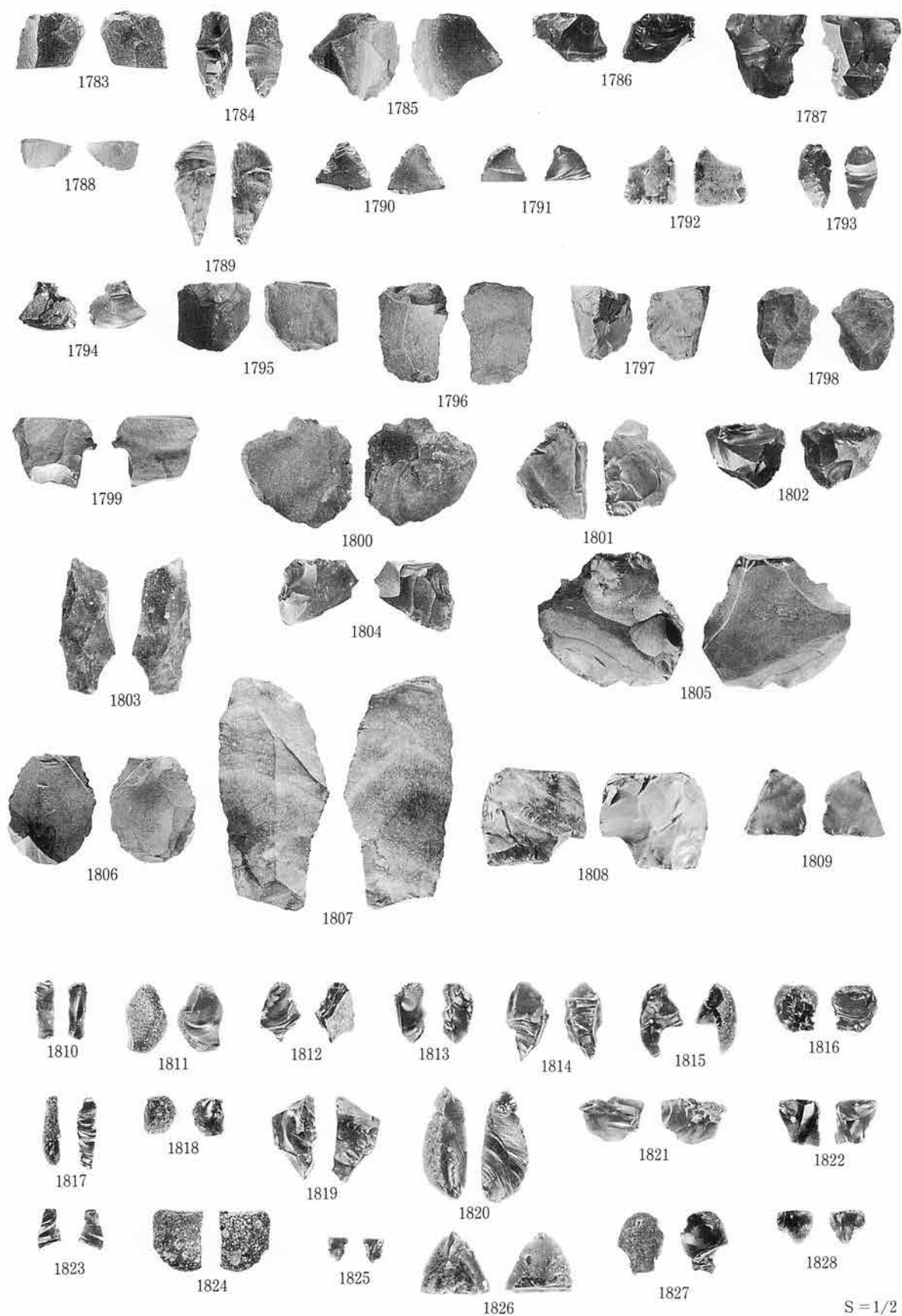
S = 1/2

写真図版128 石器 (8)



S = 1/2

写真图版129 石器 (9)

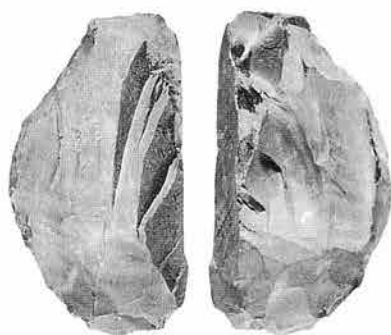


S=1/2

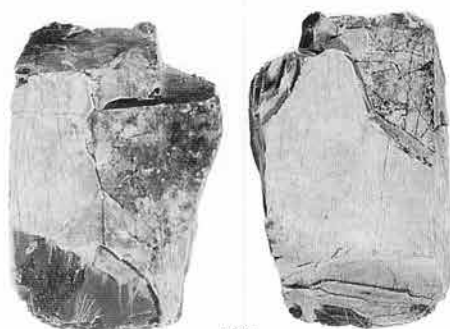
写真图版130 石器 (10)



1829



1830



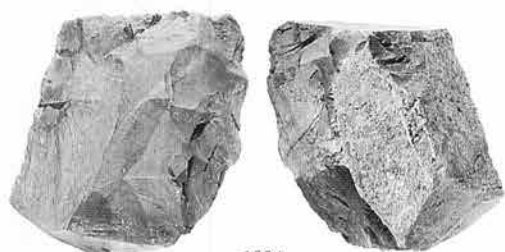
1831



1832



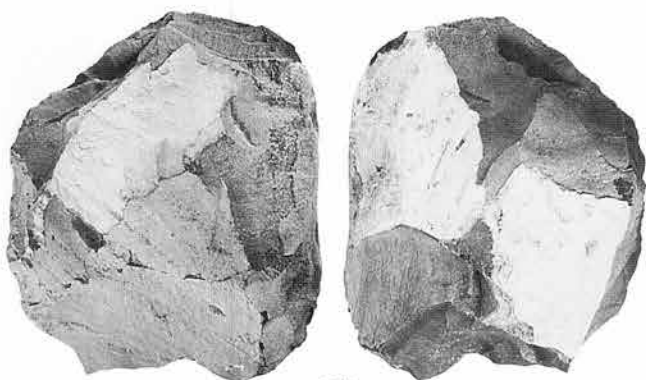
1833



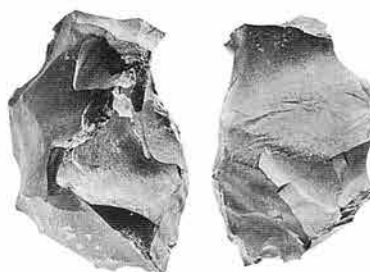
1834



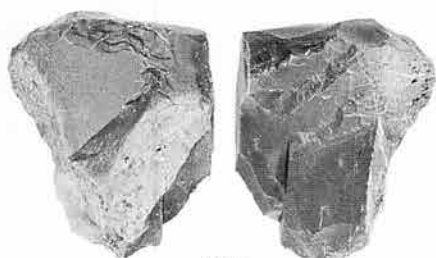
1835



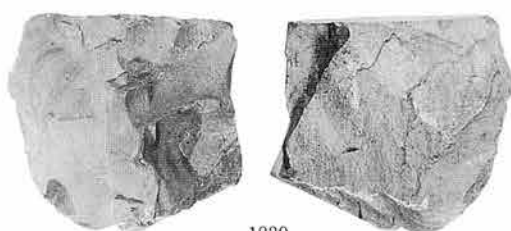
1836



1837



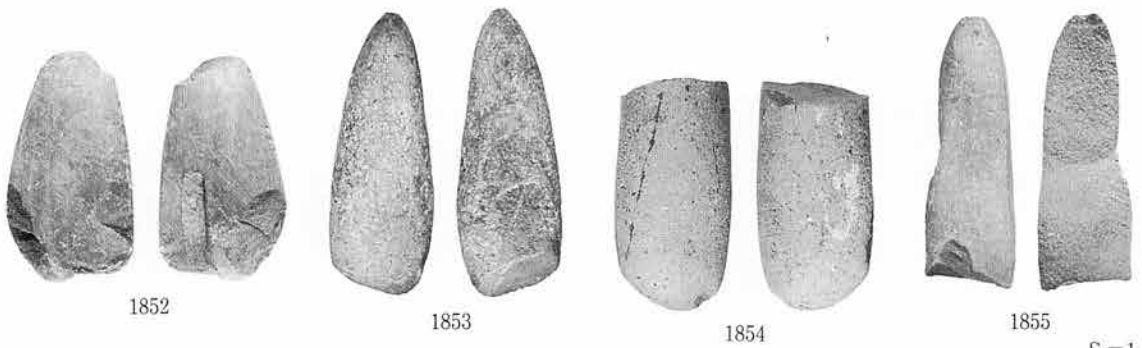
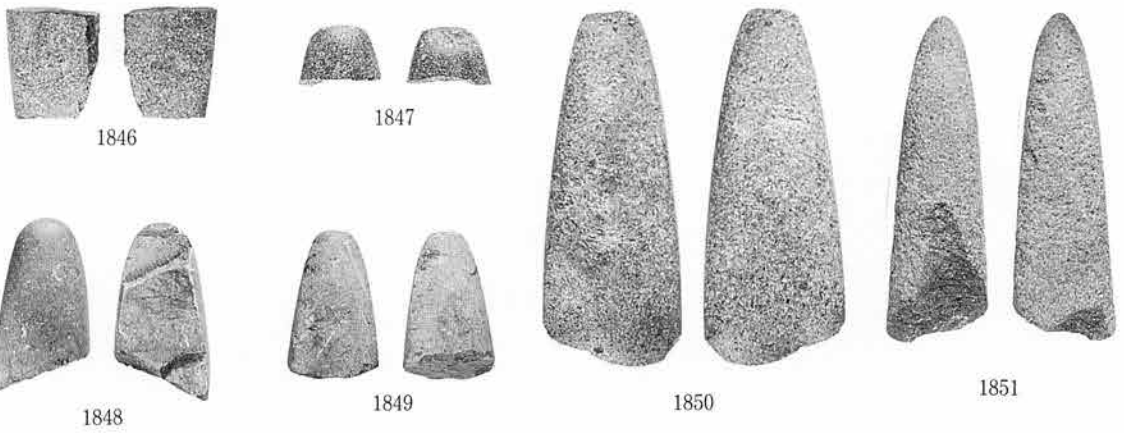
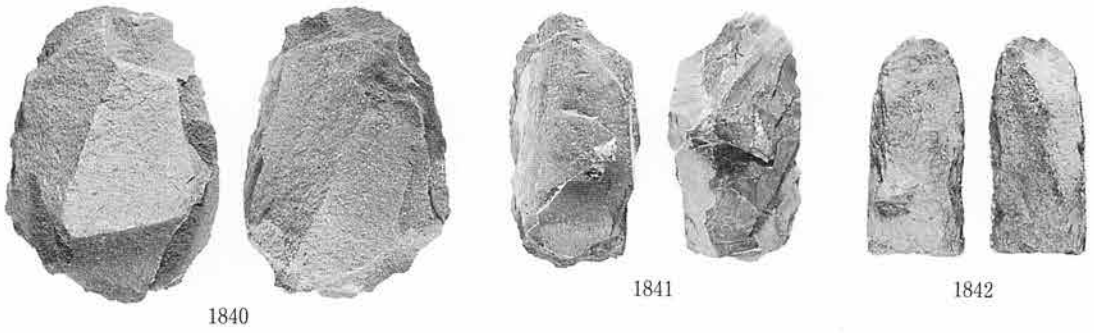
1838



1839

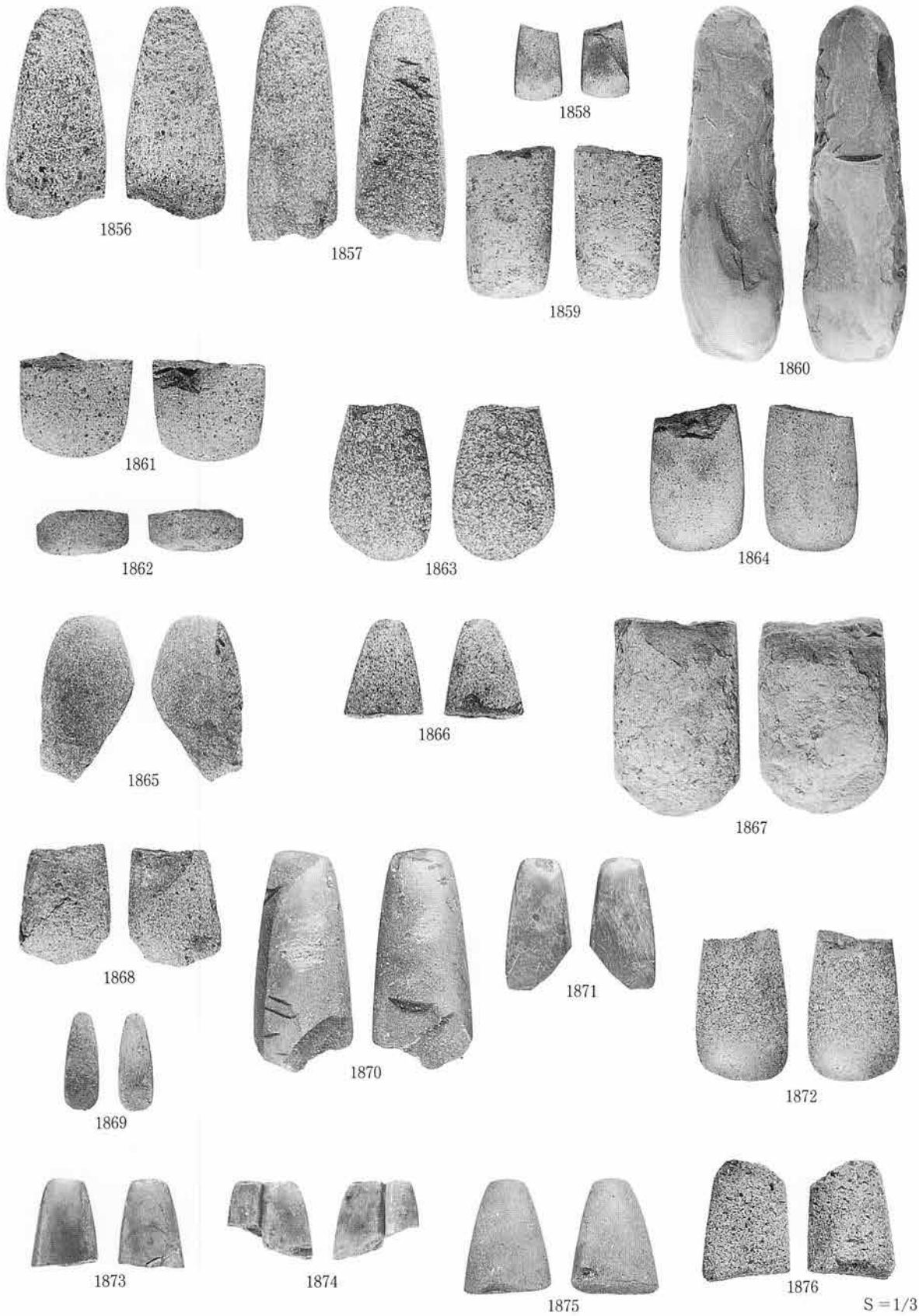
S=1/2

写真図版131 石器 (11)



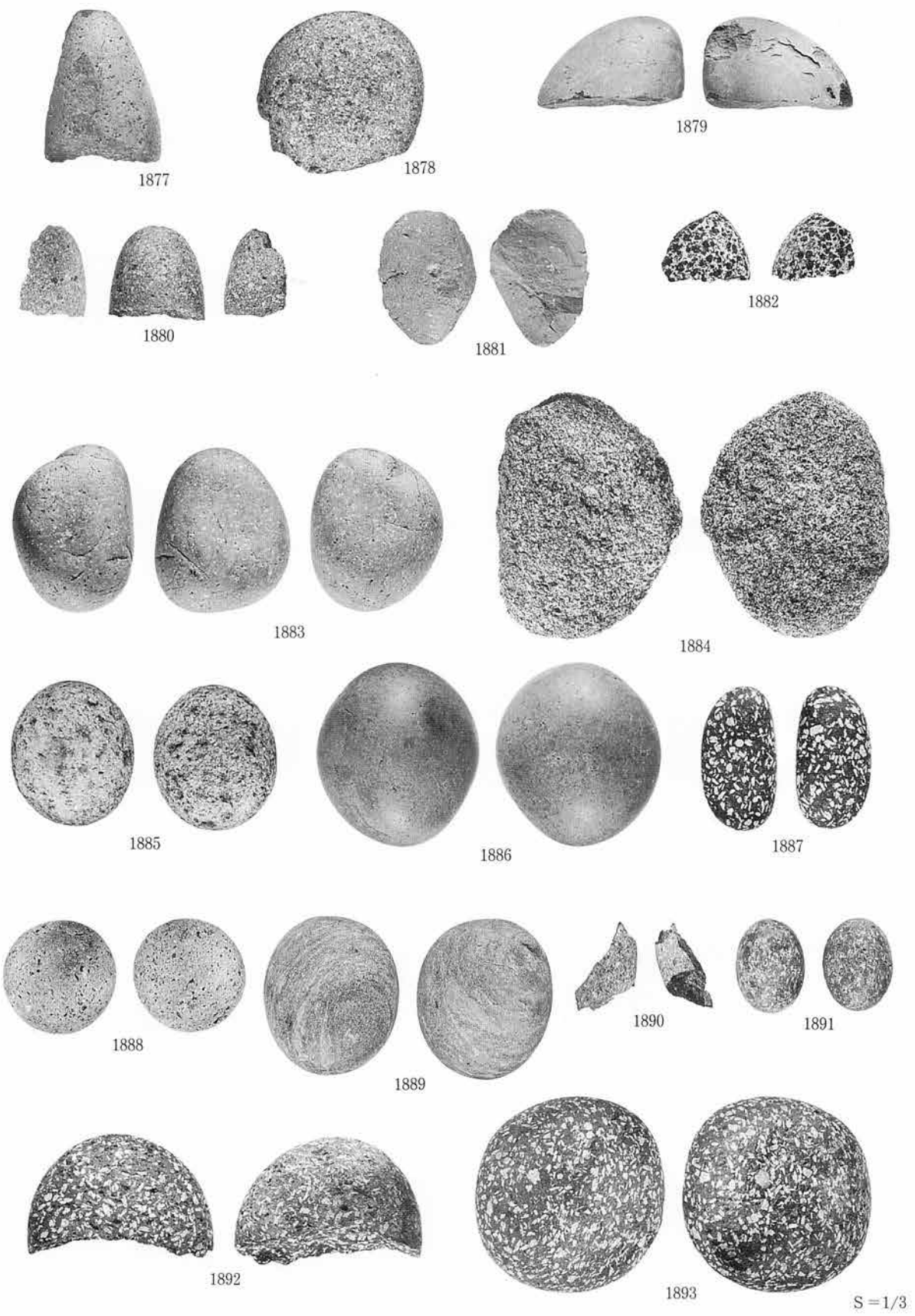
S = 1/3

写真図版132 石器 (12)



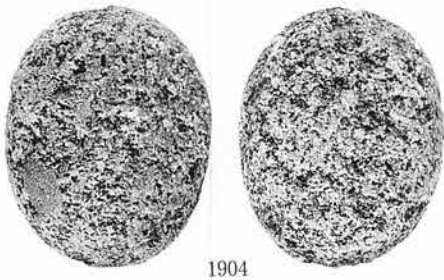
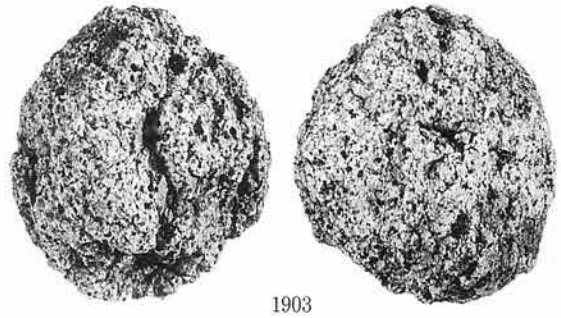
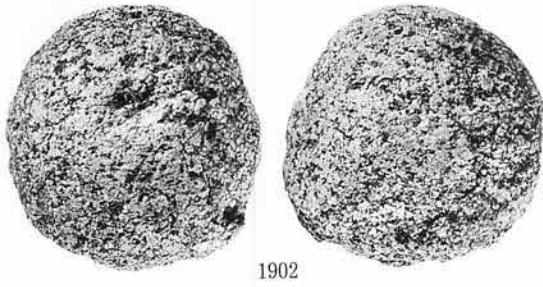
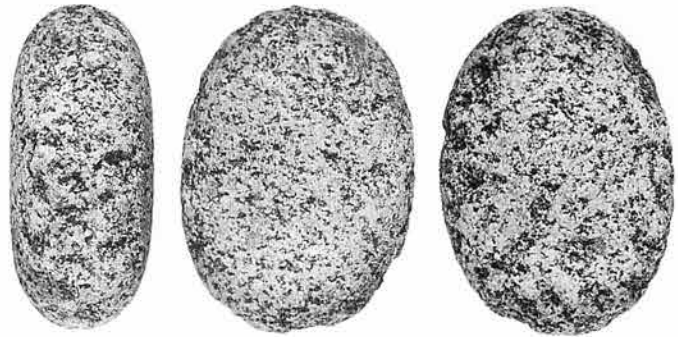
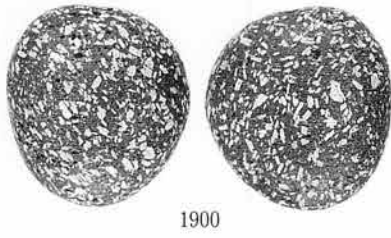
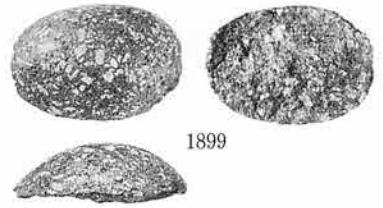
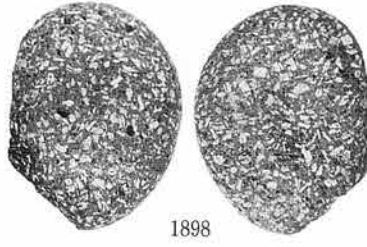
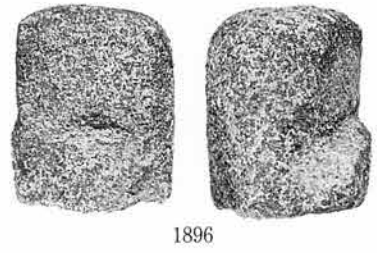
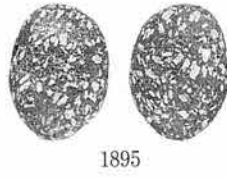
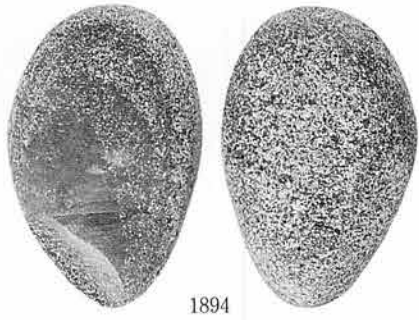
S = 1/3

写真図版133 石器 (13)



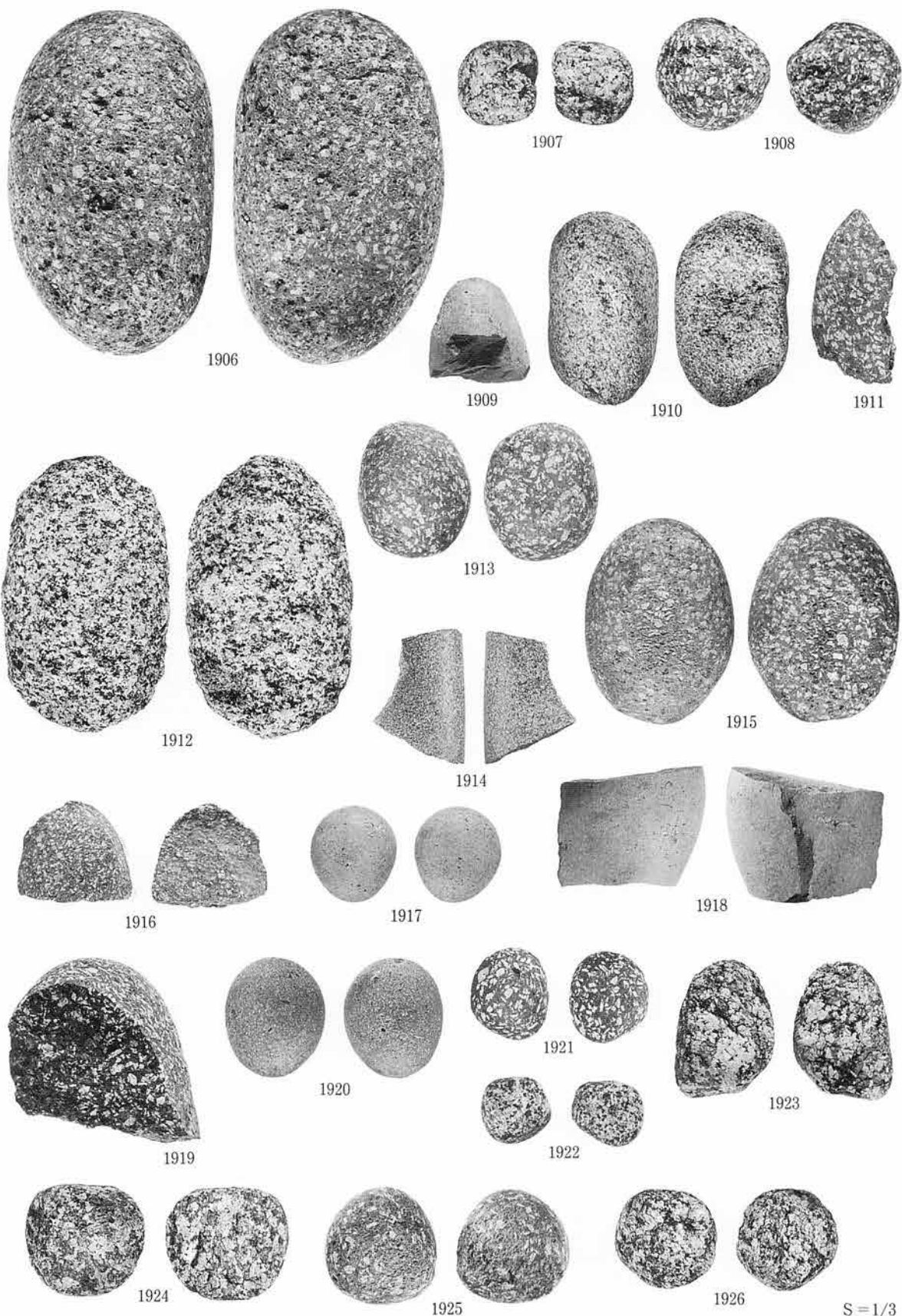
写真図版134 石器 (14)

S=1/3



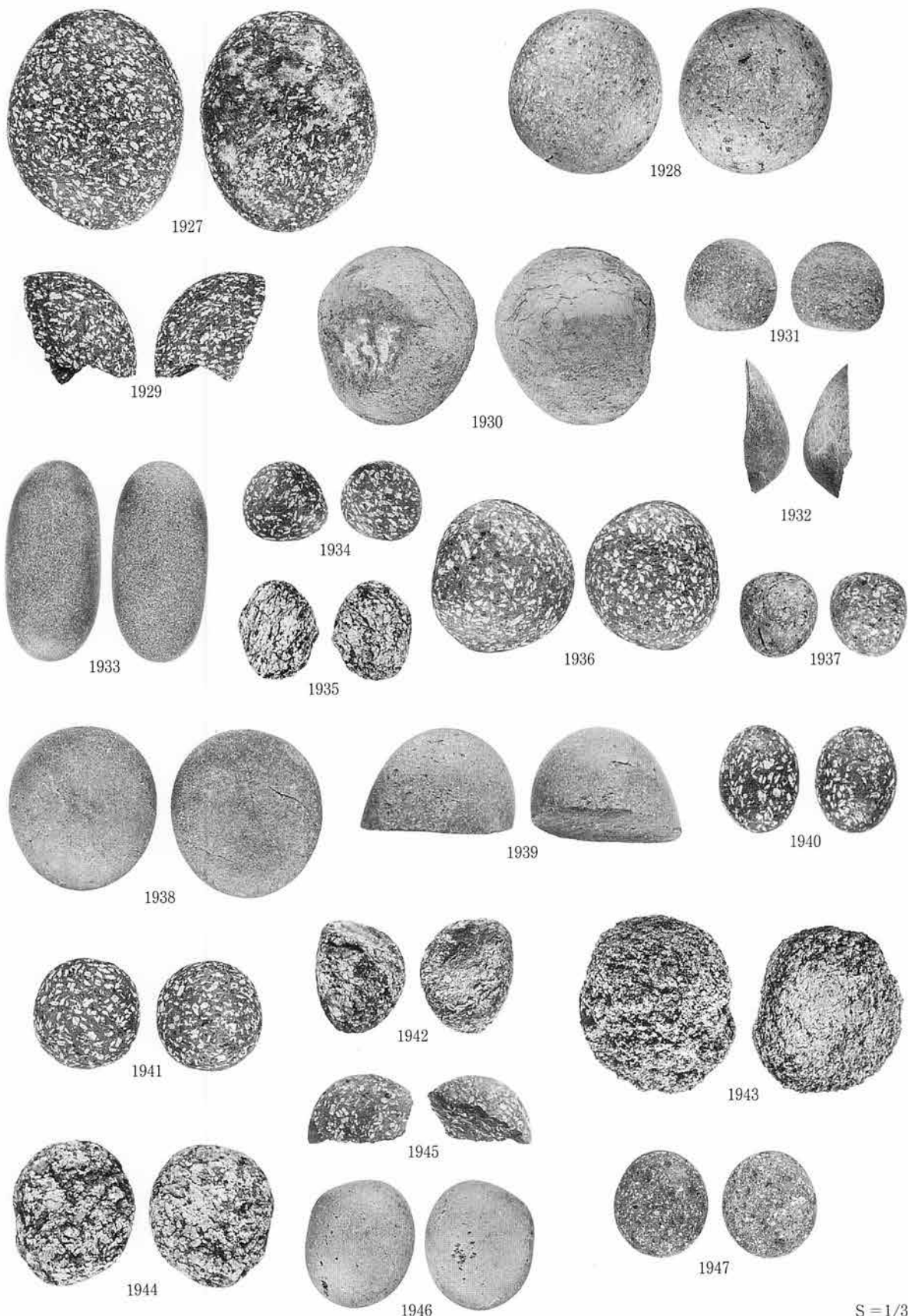
S = 1/3

写真図版135 石器 (15)



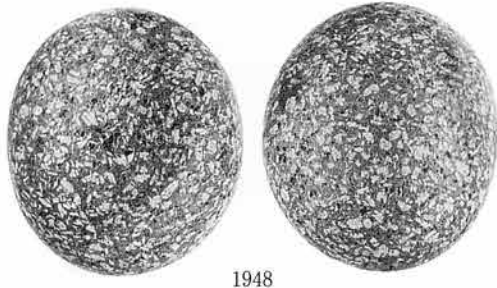
S = 1/3

写真图版136 石器 (16)

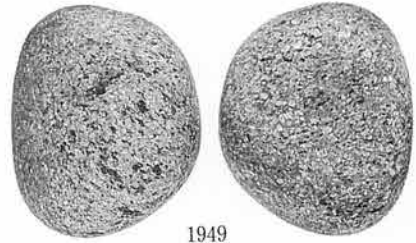


S=1/3

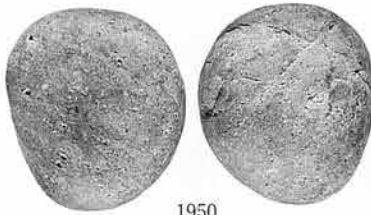
写真图版137 石器 (17)



1948



1949



1950



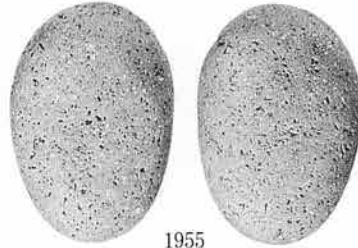
1951



1952



1953



1955



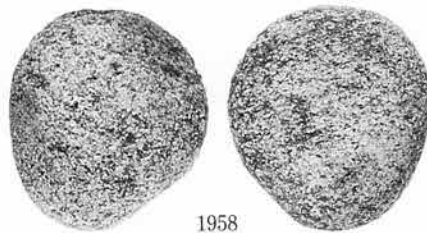
1956



1954



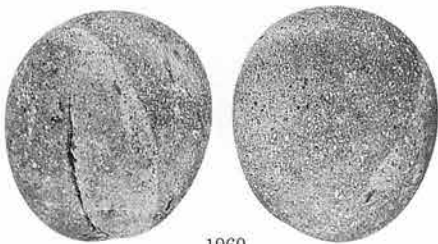
1957



1958



1959



1960



1961

S = 1/3



1962



1963

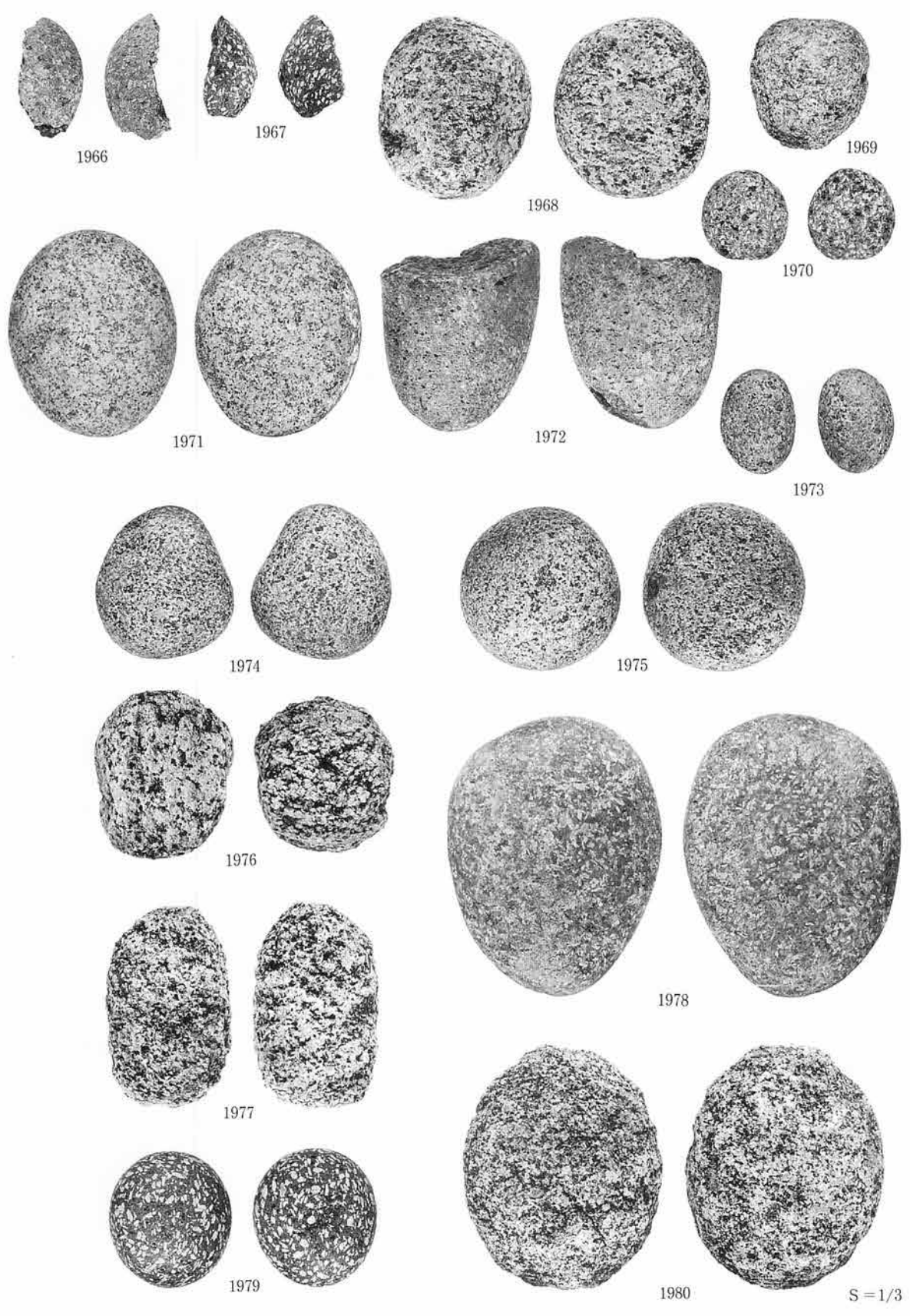


1964

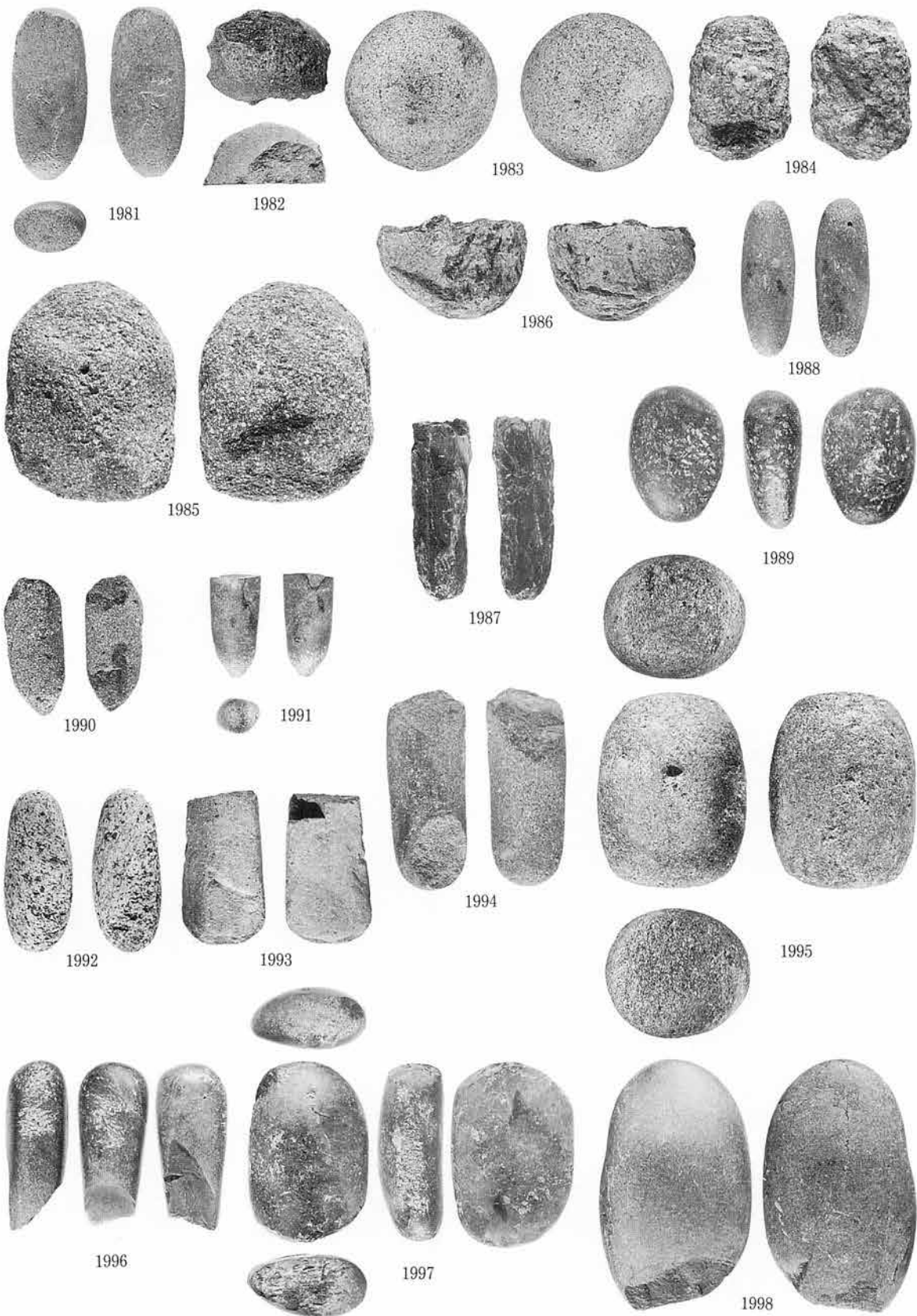


1965

写真図版138 石器 (18)

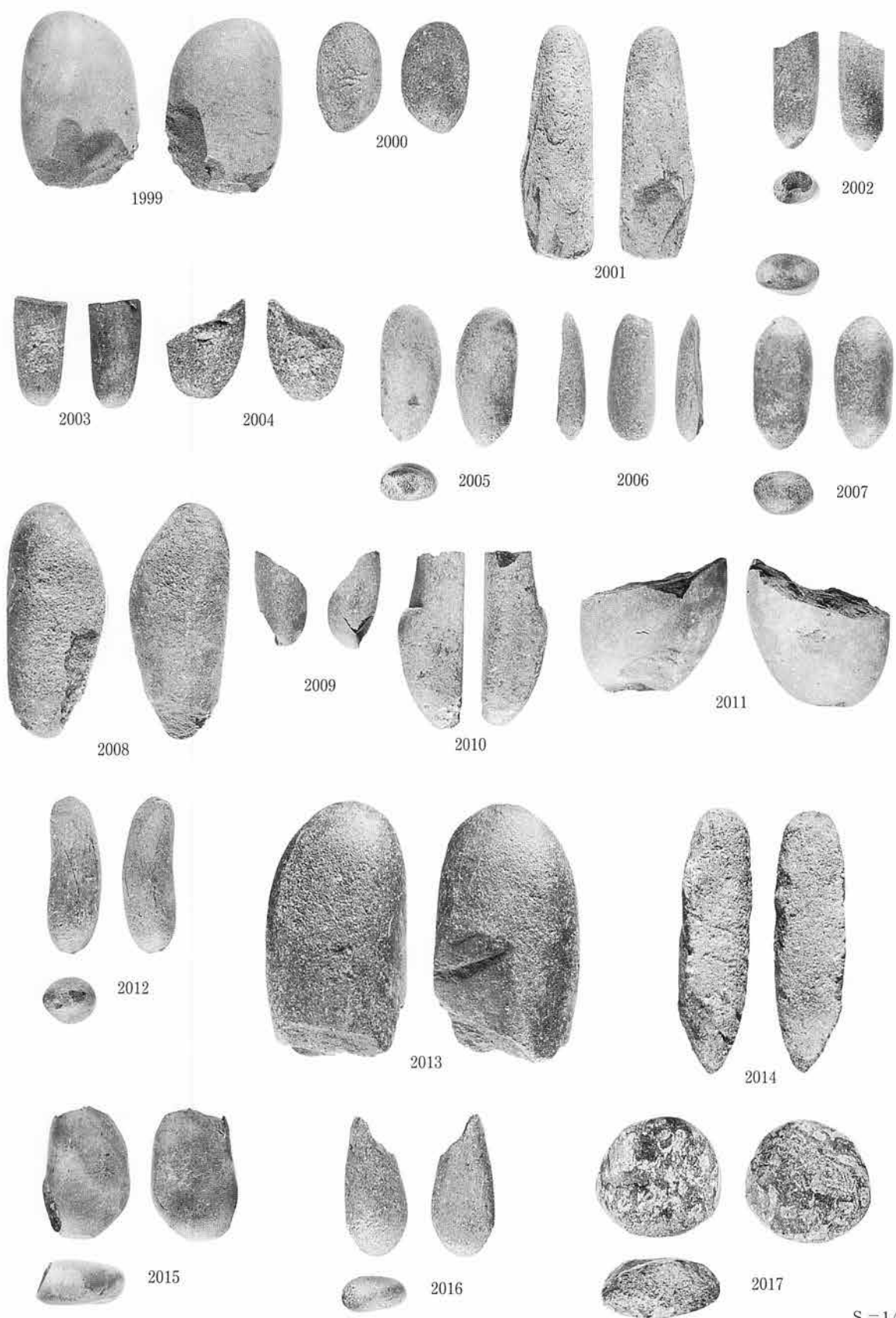


写真图版139 石器 (19)



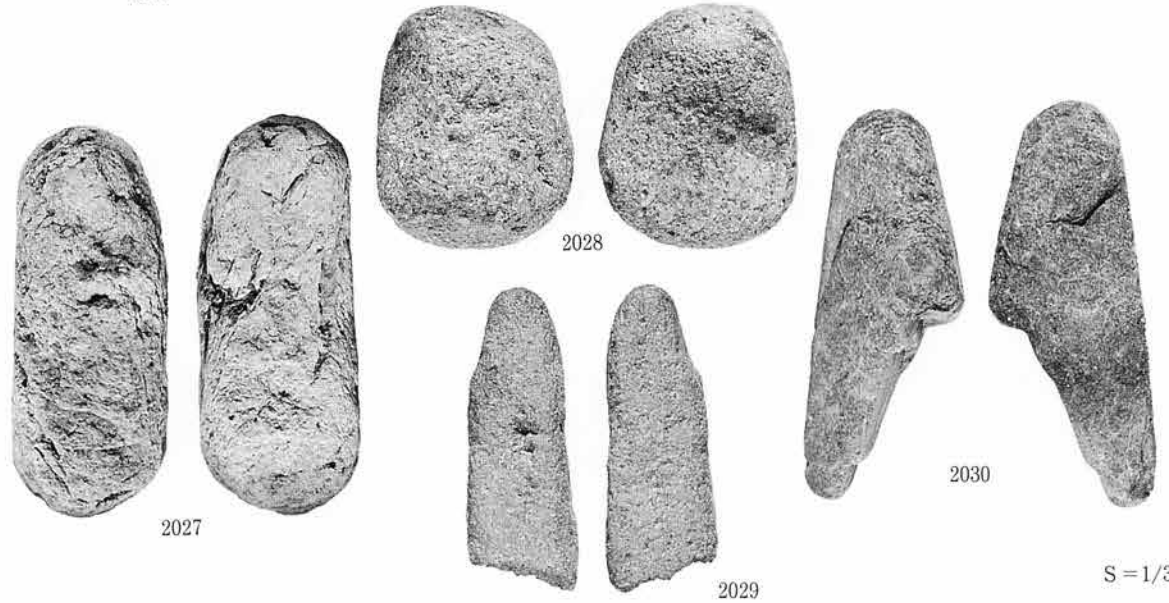
S = 1/3

写真図版140 石器 (20)



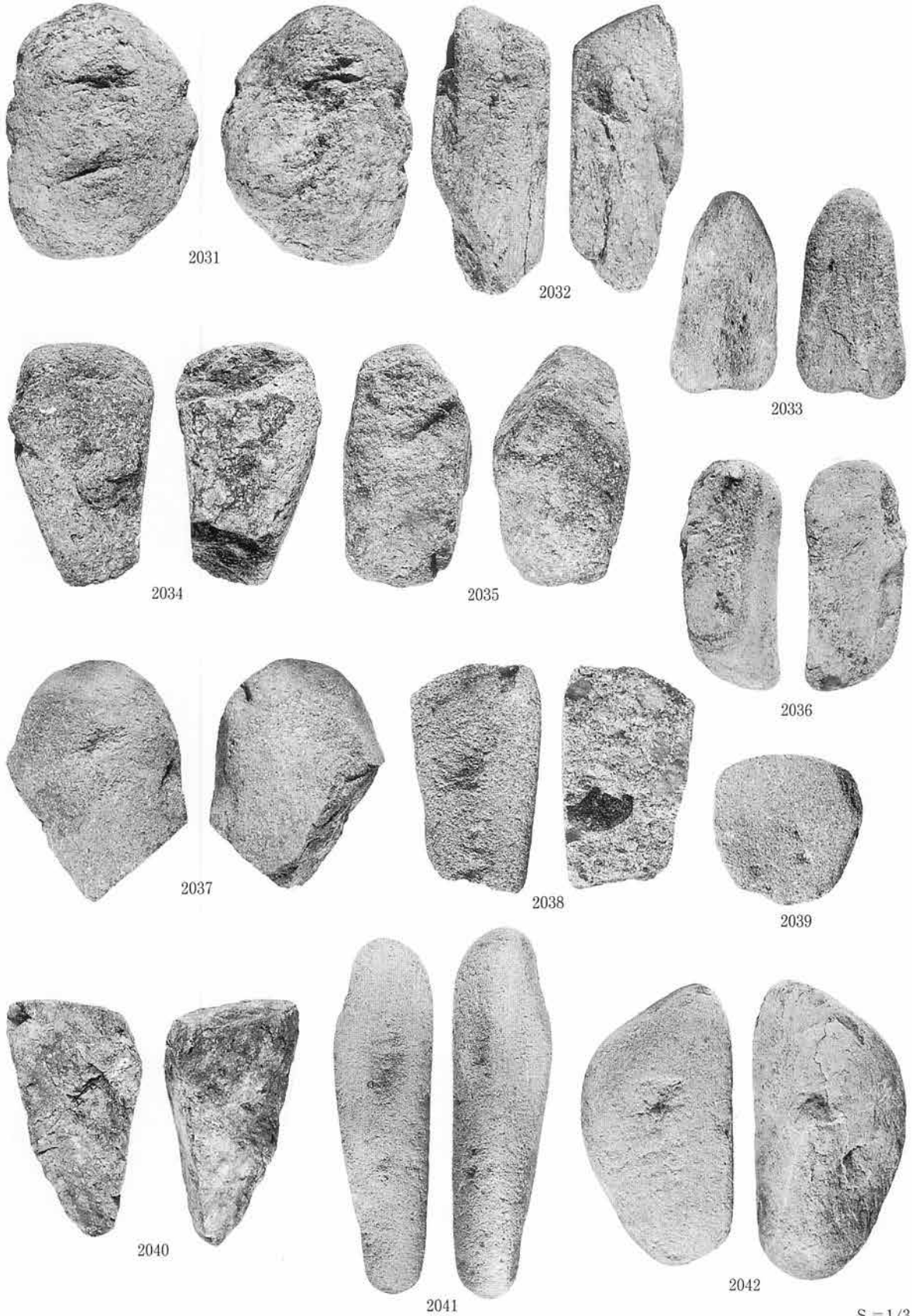
S = 1/3

写真图版141 石器 (21)



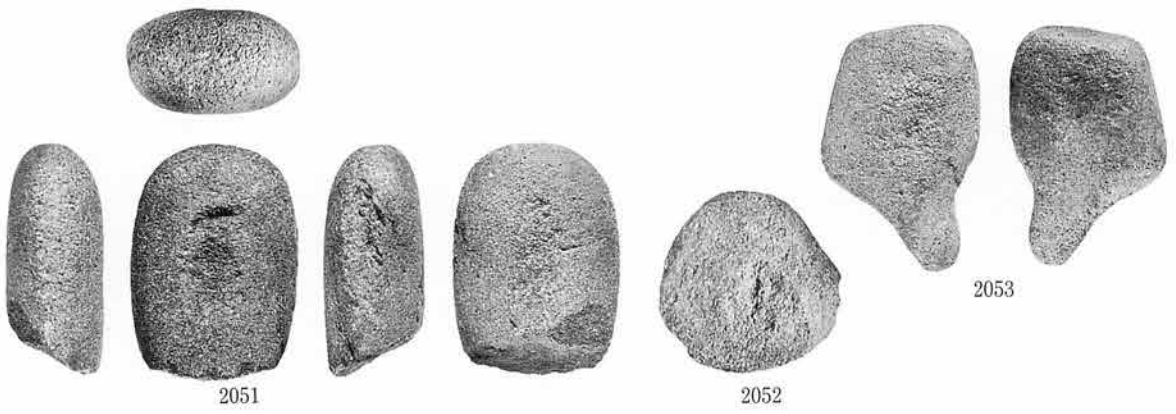
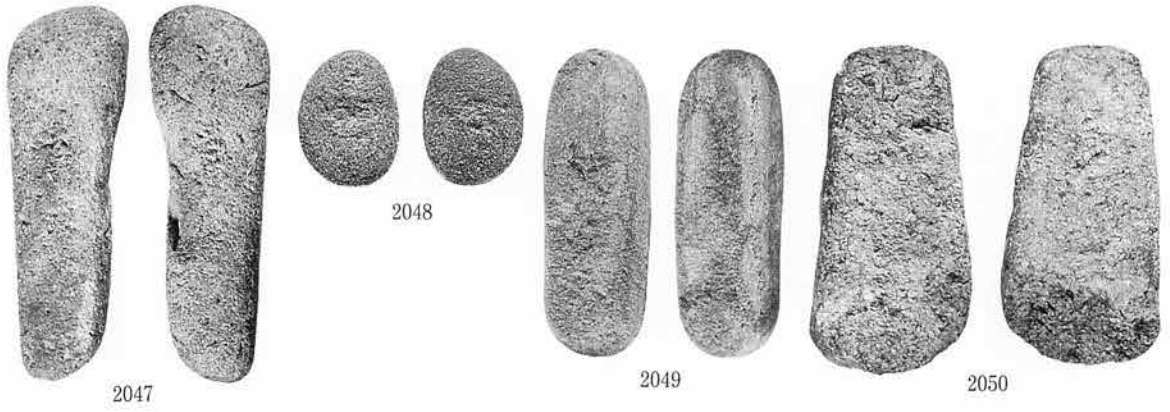
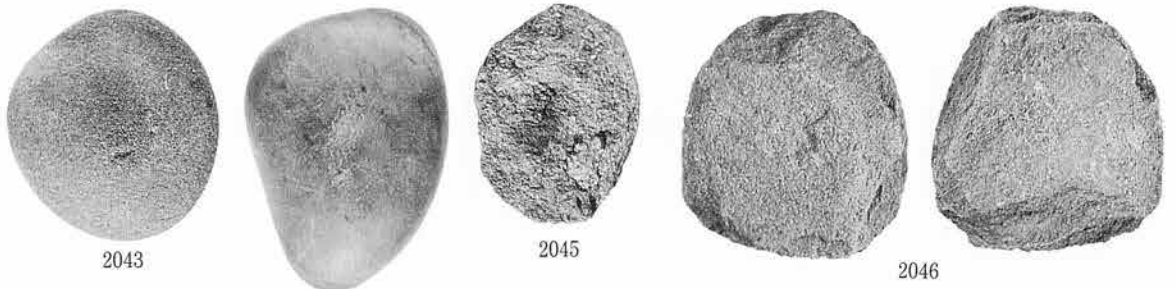
S=1/3

写真図版142 石器 (22)



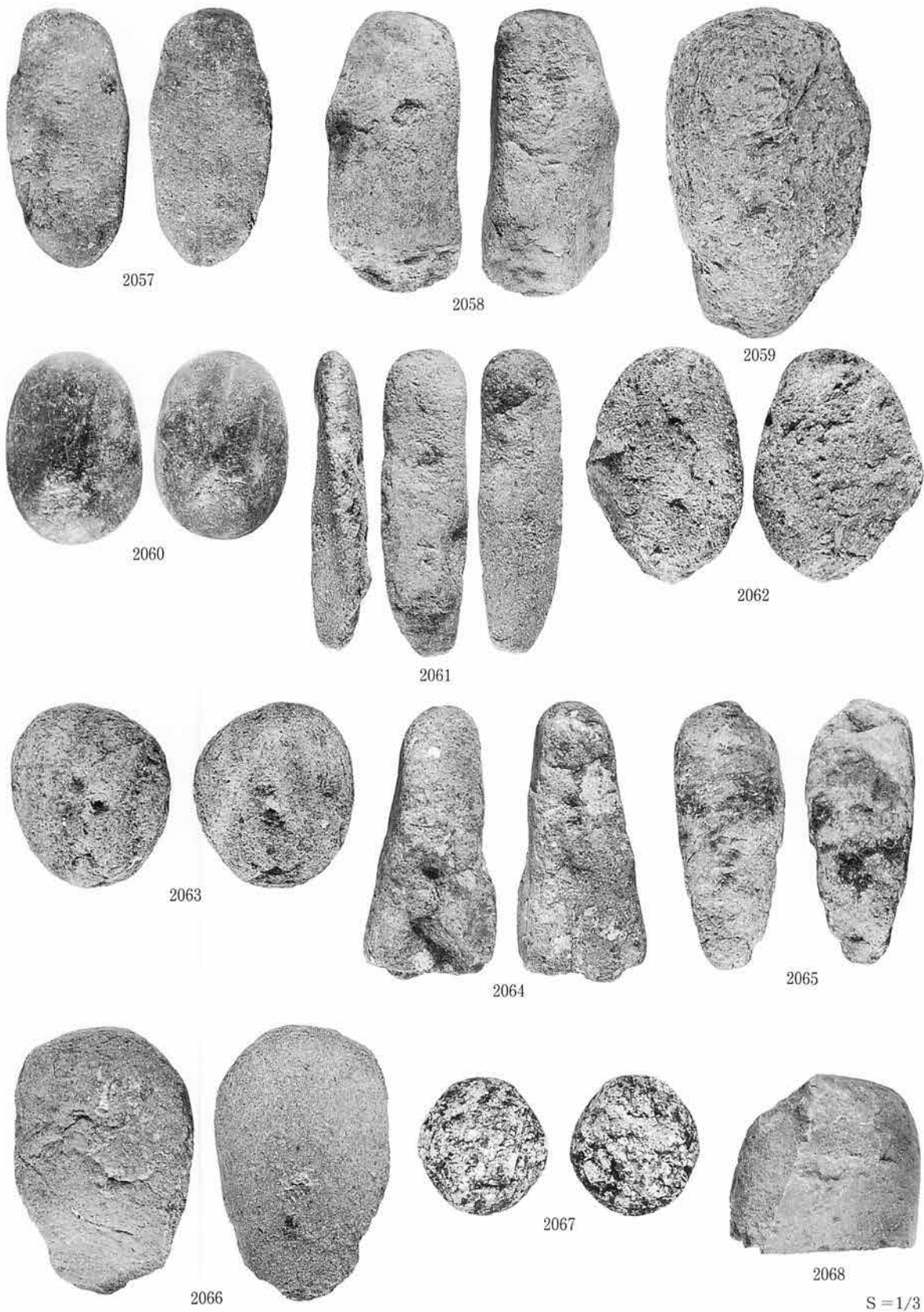
S = 1/3

写真図版143 石器 (23)

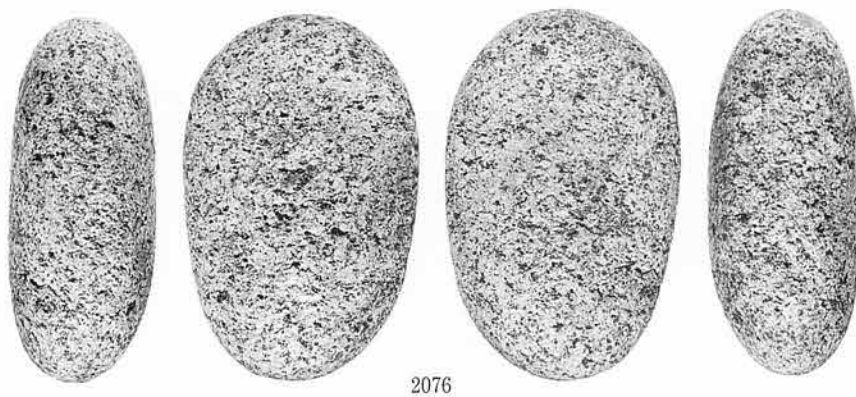


S=1/3

写真図版144 石器 (24)



写真図版145 石器 (25)



S=1/3

写真図版146 石器 (26)



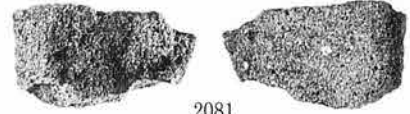
2078



2079



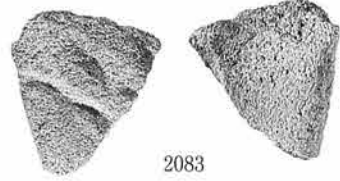
2080



2081



2082



2083



2084



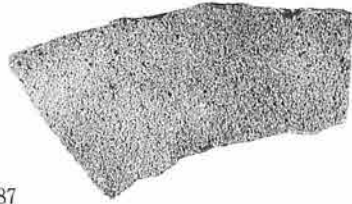
2085



2086



2087

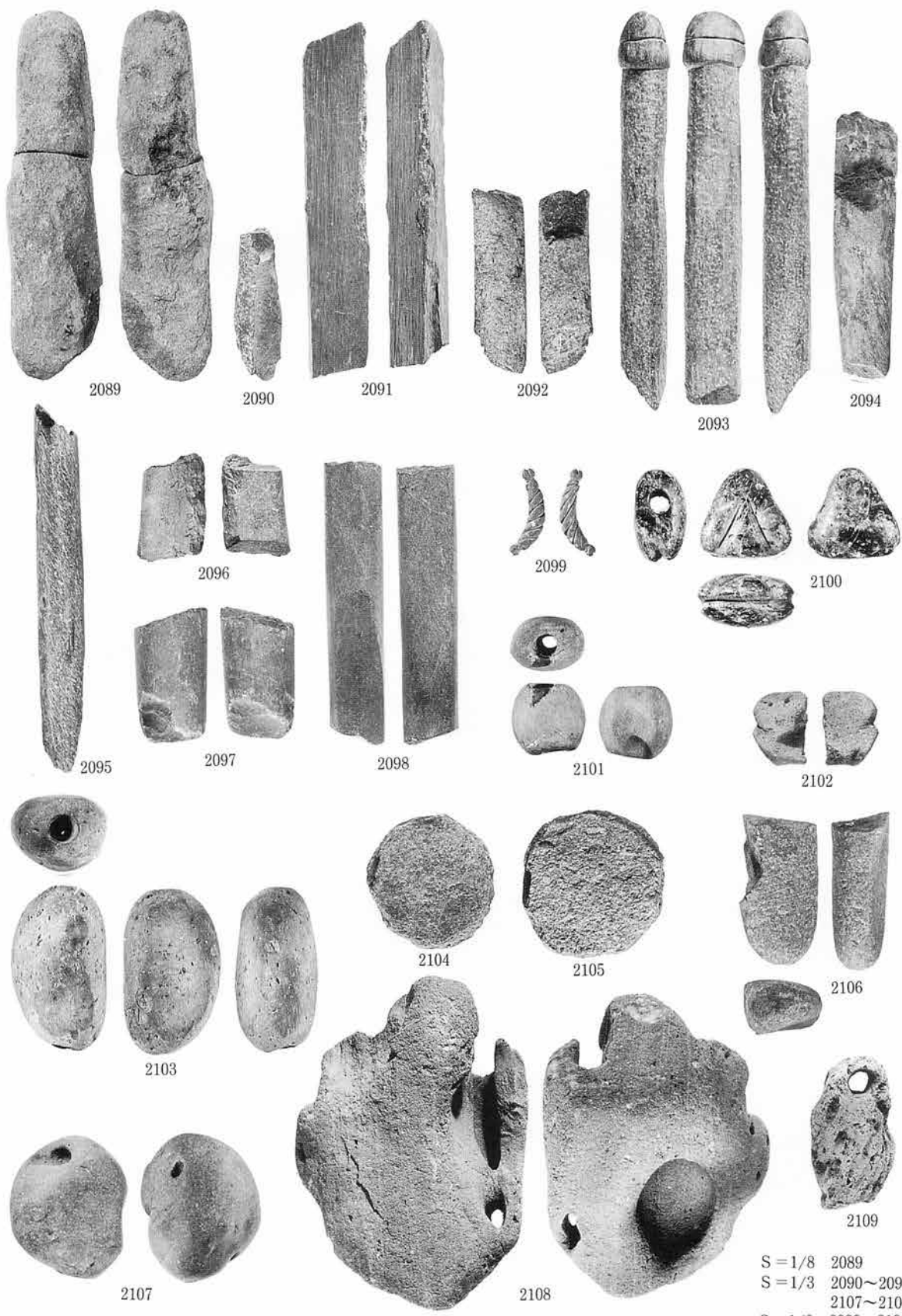


2088



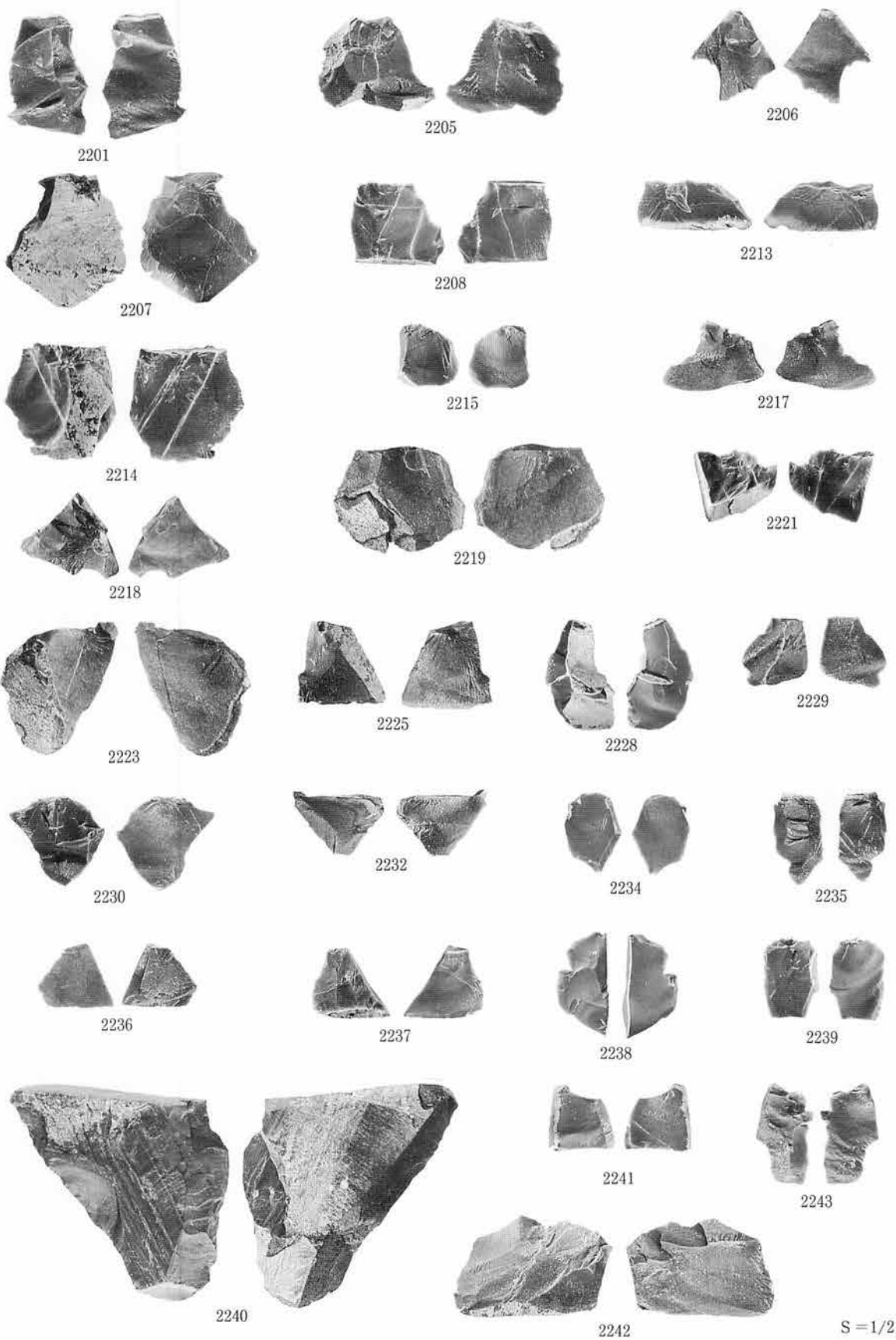
S=1/3

写真図版147 石器 (27)



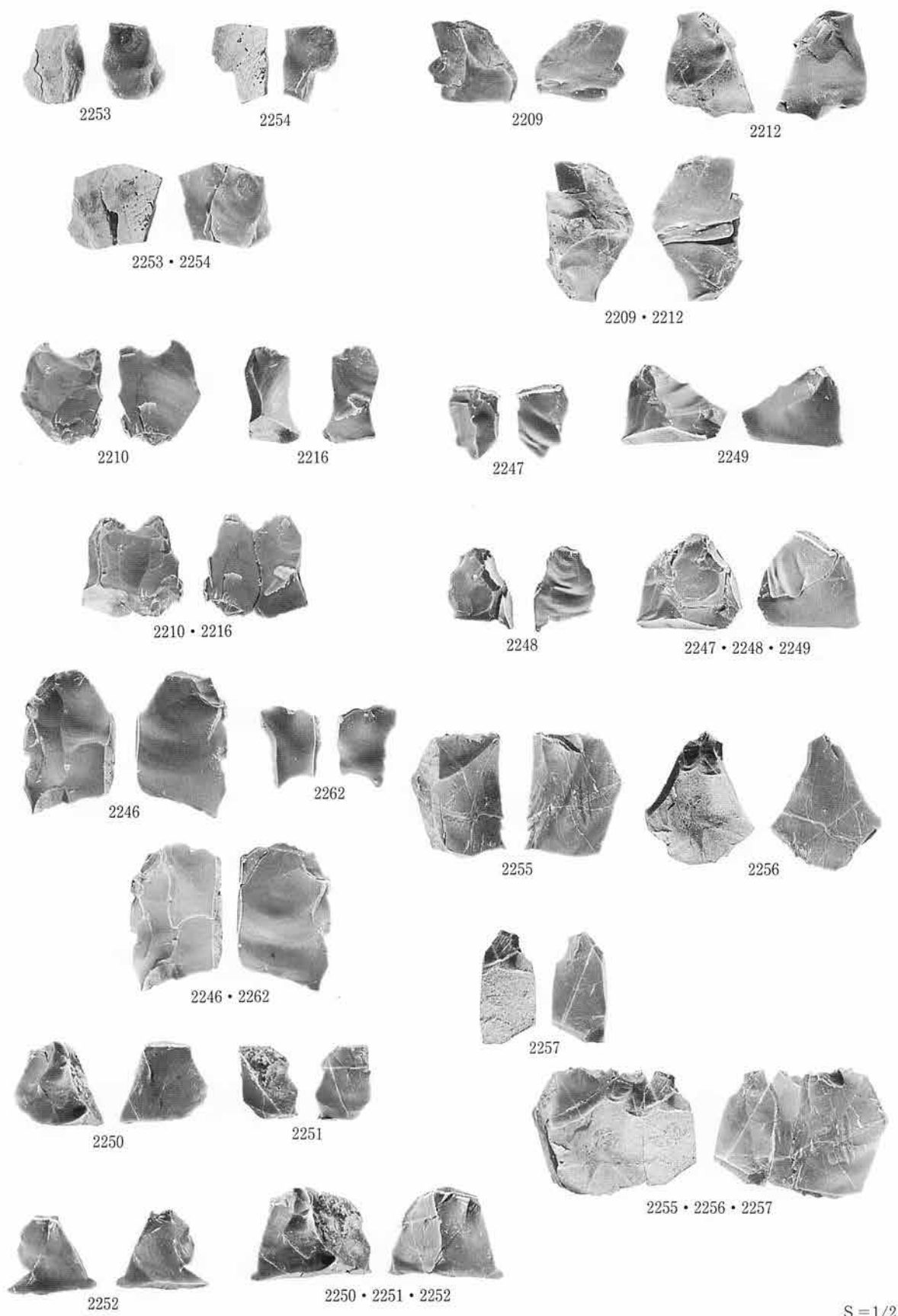
S = 1/8 2089
 S = 1/3 2090~2098、
 2107~2109
 S = 1/2 2099~2106

写真図版148 石製品



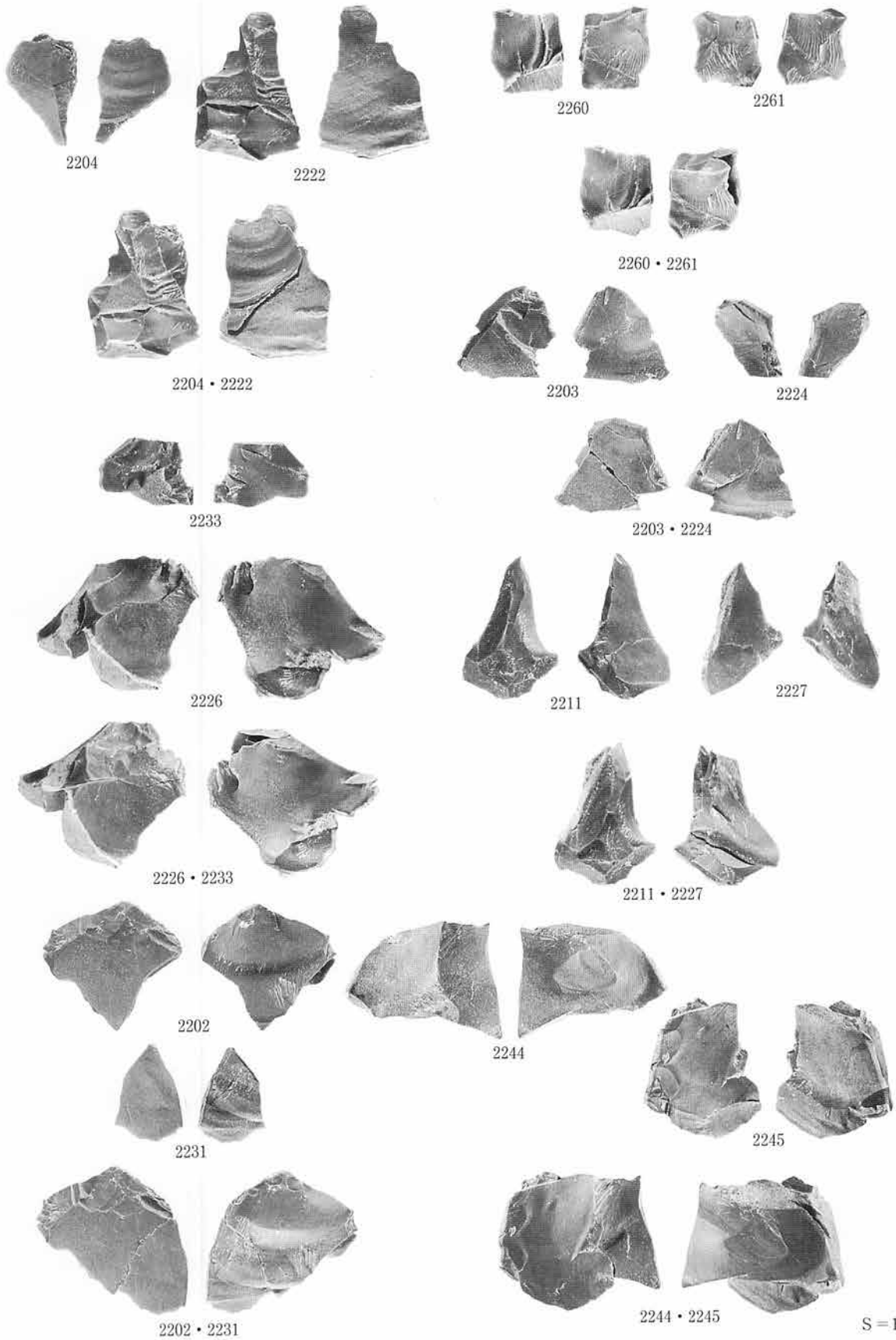
写真図版149 貯蔵剥片(1)

S=1/2

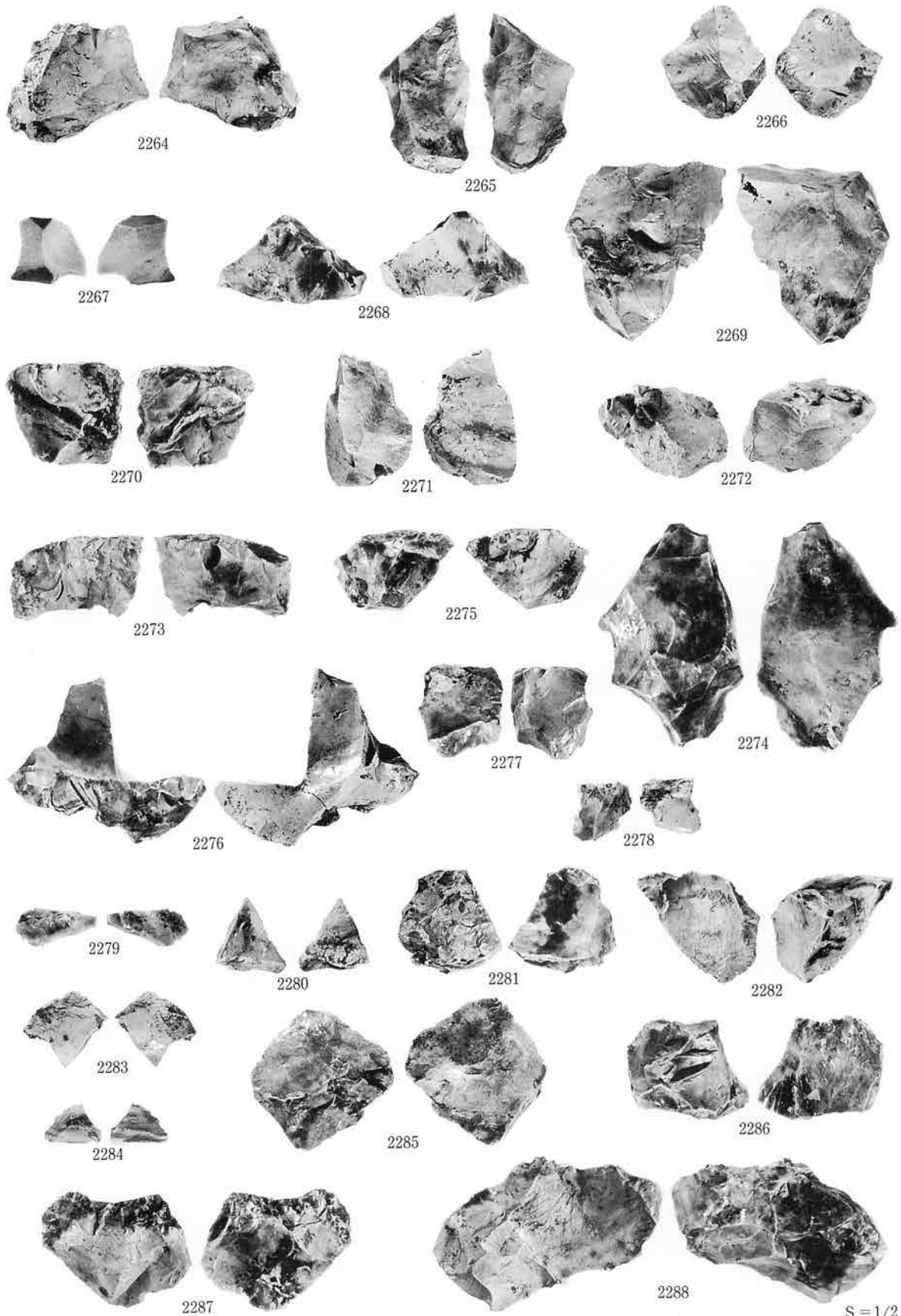


S=1/2

写真図版150 貯蔵剥片 (2)

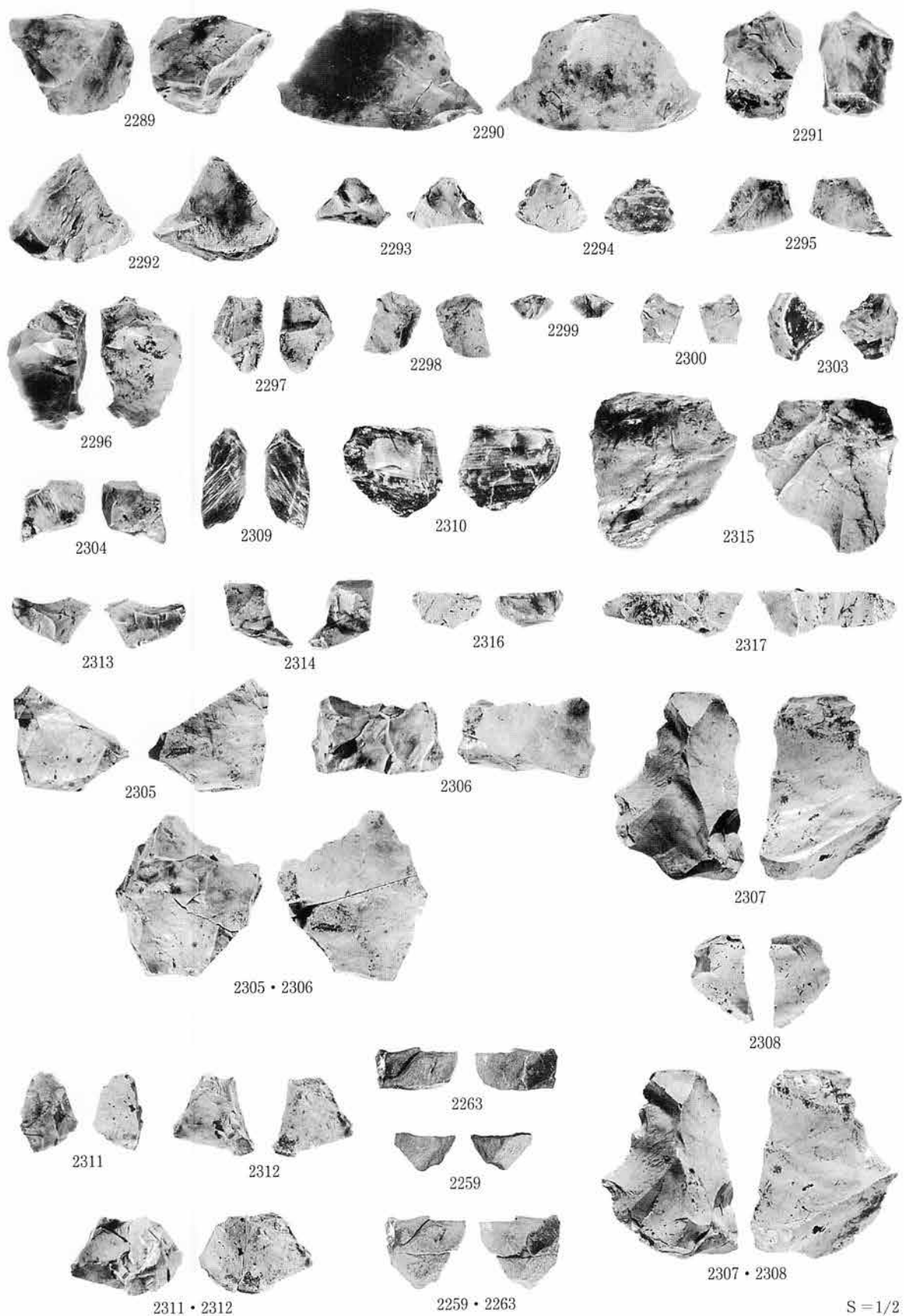


写真图版151 貯蔵剥片 (3)



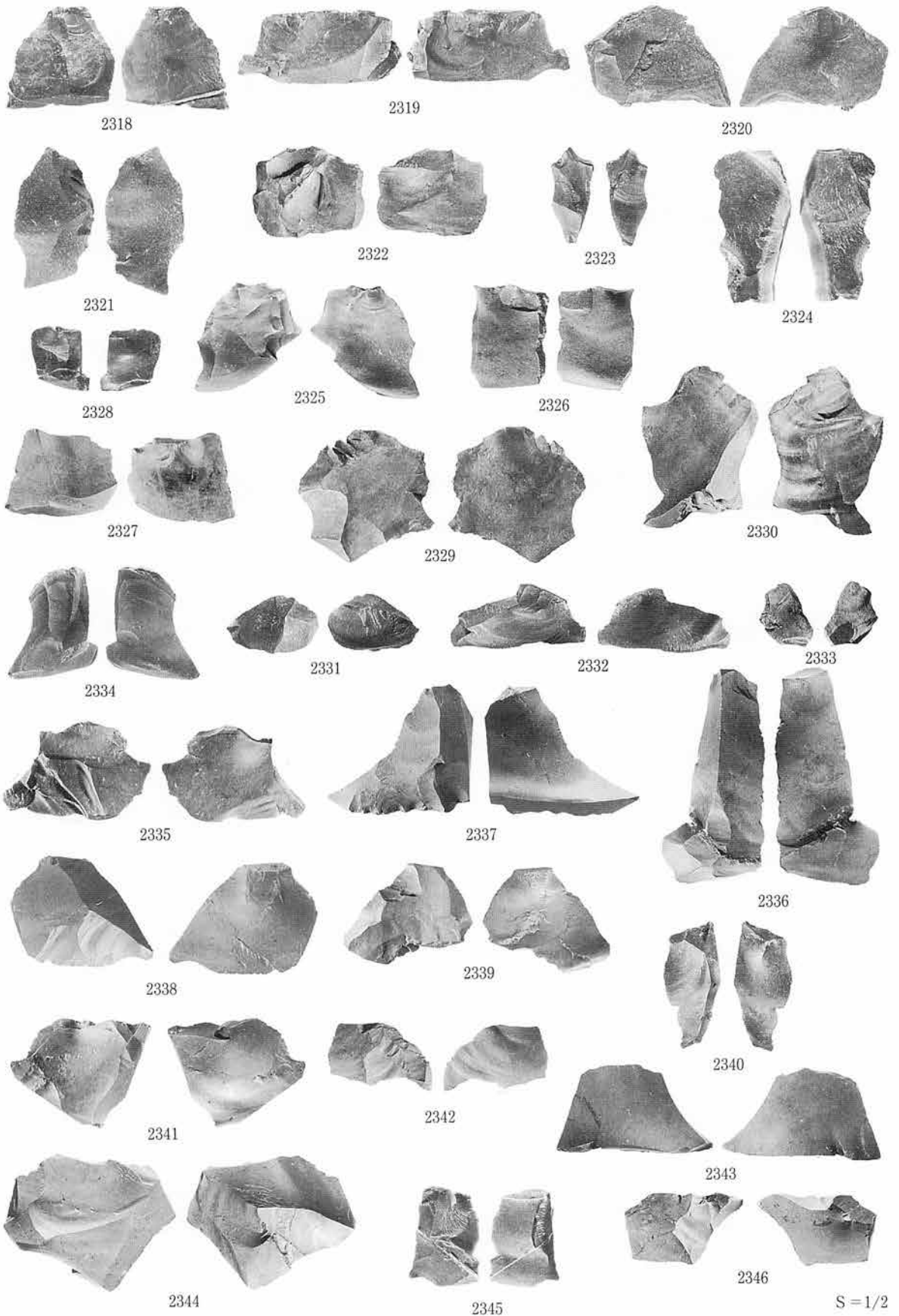
S = 1/2

写真図版152 貯蔵剥片 (4)



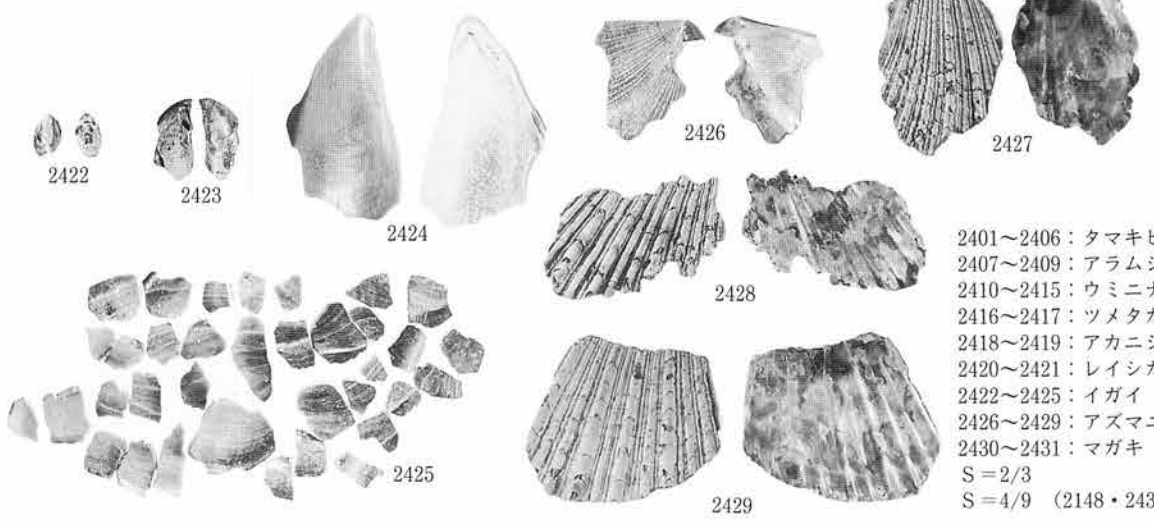
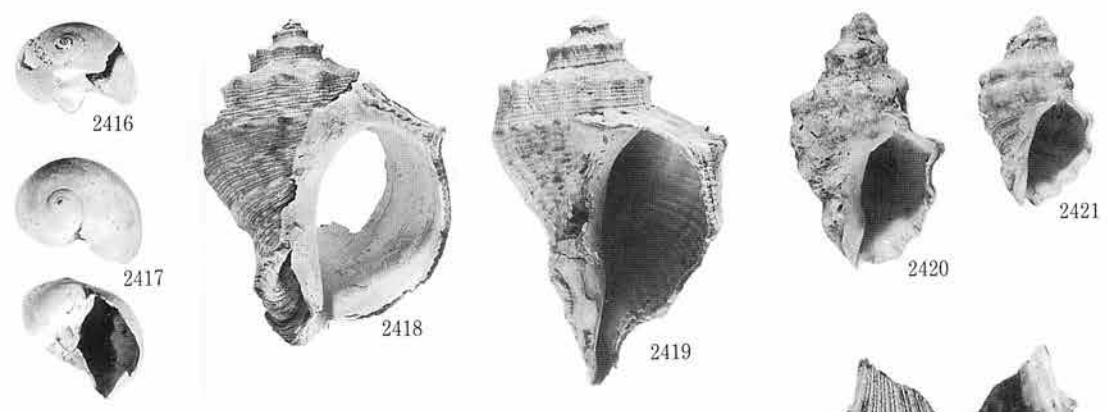
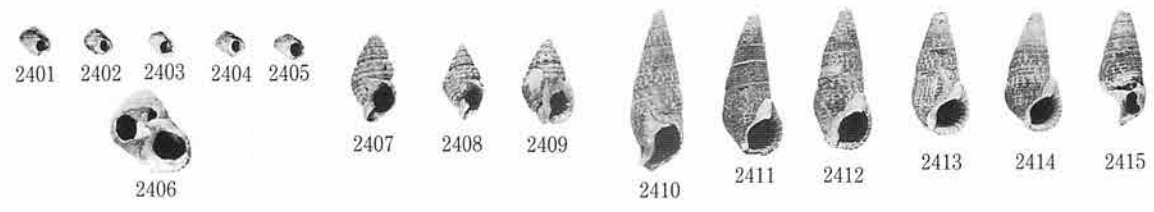
S = 1/2

写真图版153 貯蔵剥片 (5)

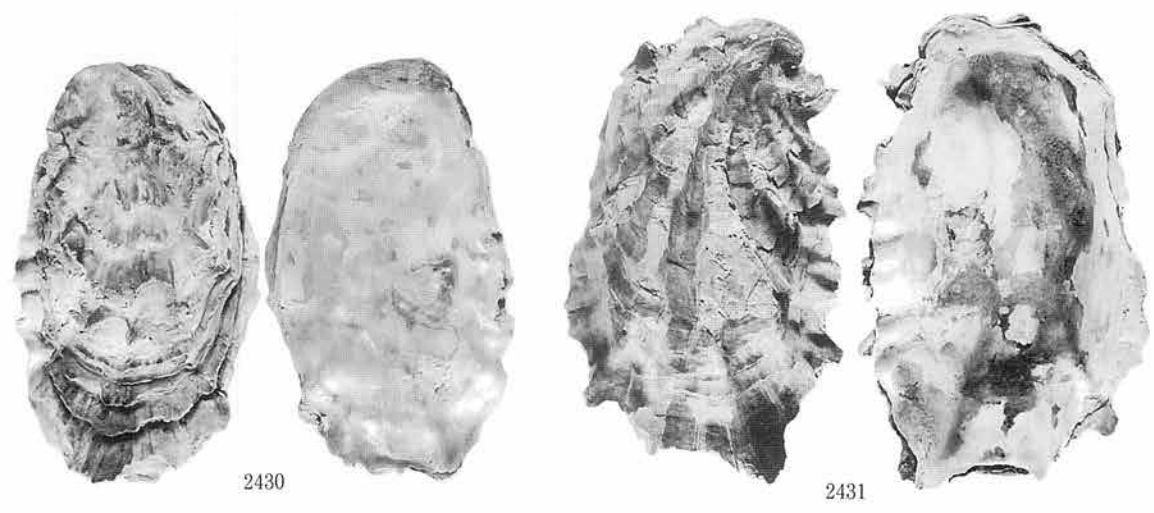


S=1/2

写真図版154 貯蔵剥片(6)



2401~2406 : タマキビガイ
 2407~2409 : アラムシロガイ
 2410~2415 : ウミナナ
 2416~2417 : ツメタガイ
 2418~2419 : アカニシ
 2420~2421 : レイシガイ
 2422~2425 : イガイ
 2426~2429 : アズマニシキガイ
 2430~2431 : マガキ
 S=2/3
 S=4/9 (2148・2430・2431)

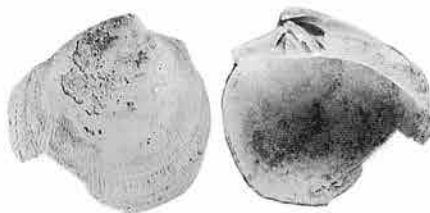


写真図版155 動物遺存体 (貝類) 1 : RA40 (1)

RA40



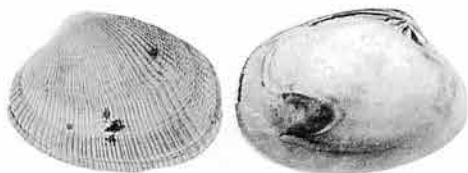
2432



2433



2434



2435



2436



2437



2438



2439



2440



2441



2442



2443



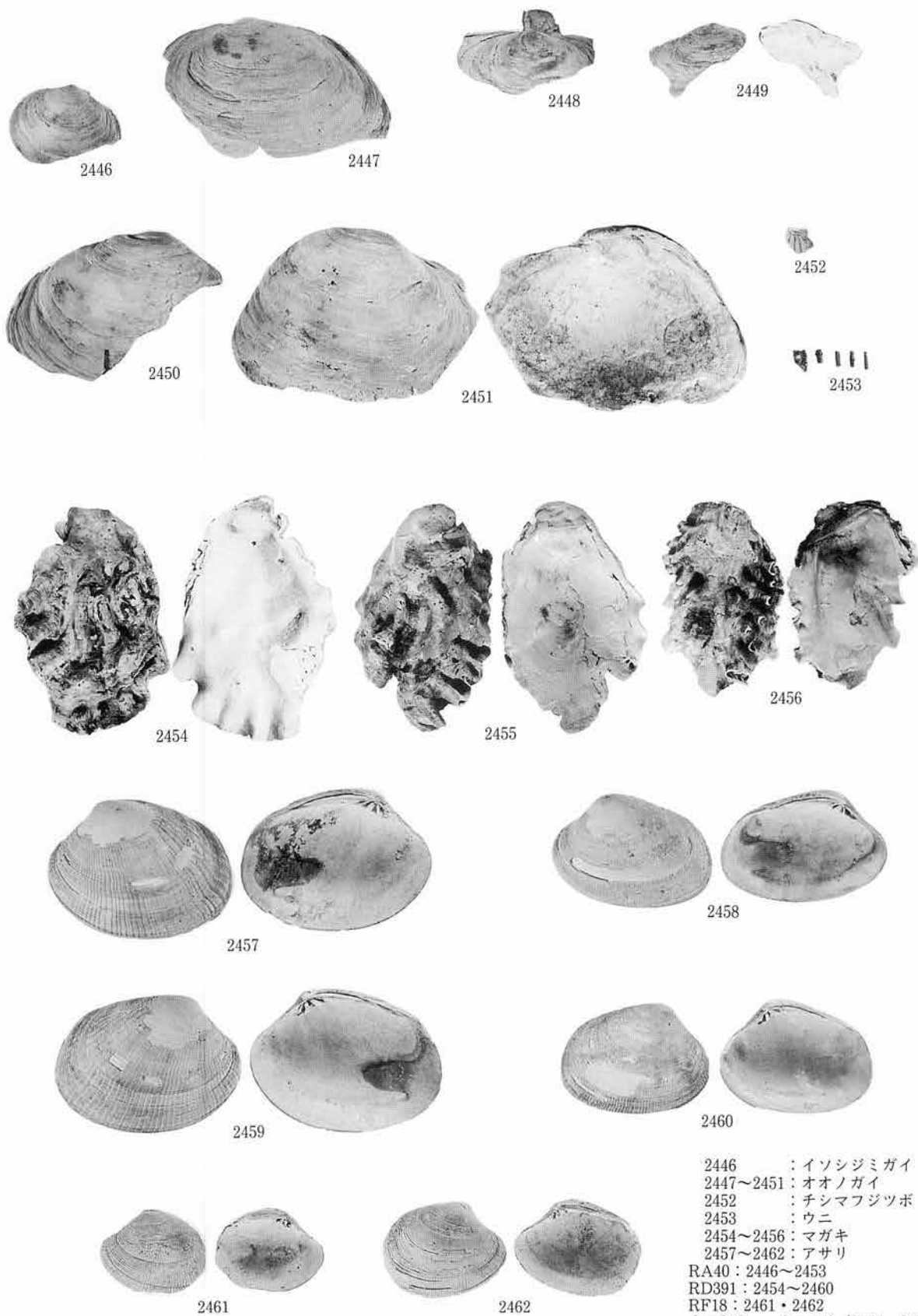
2444



2445

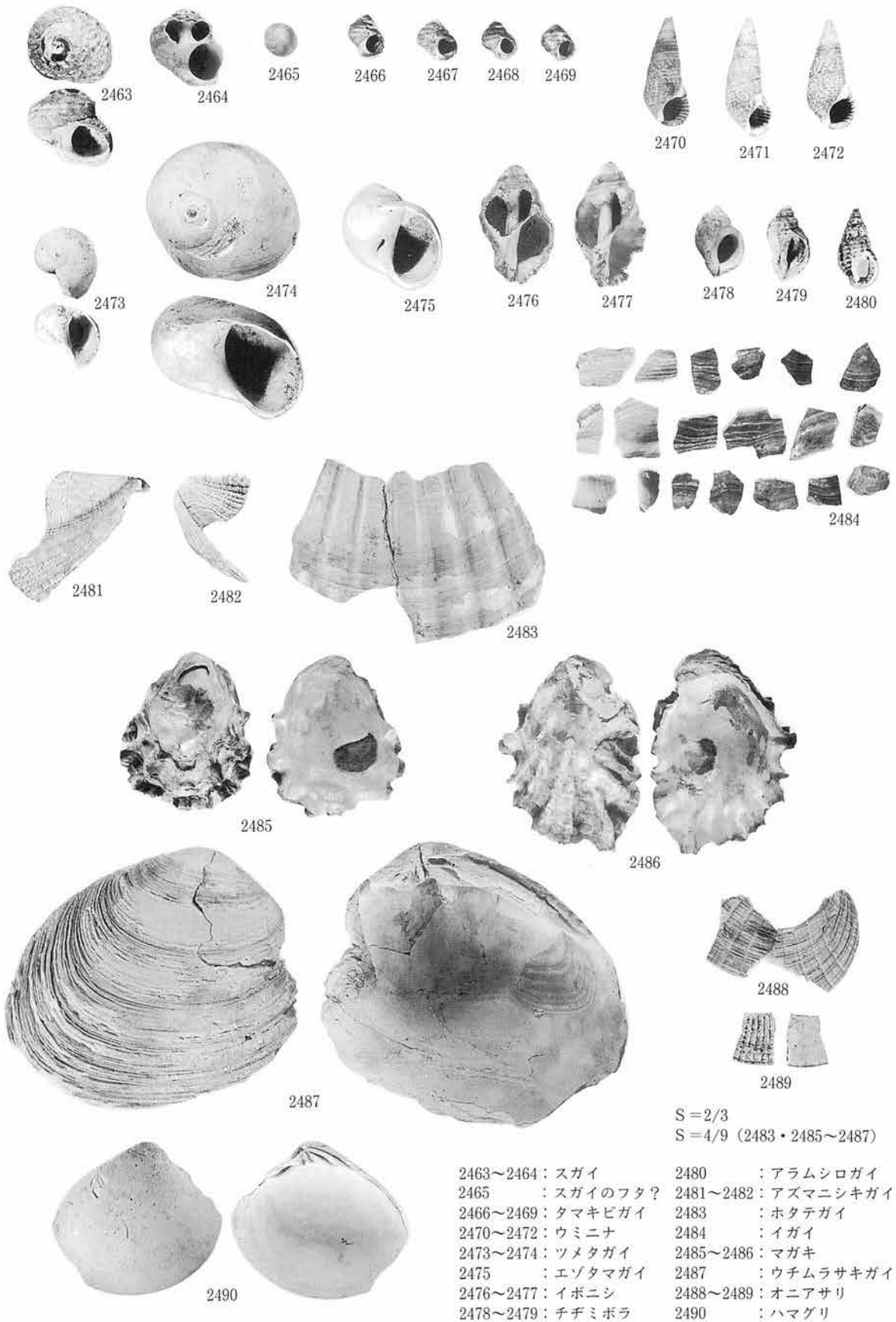
- 2432 : ウチムラサキガイ
- 2433 : オキシジミガイ
- 2434 : オニアサリ
- 2435~2443 : アサリ
- 2444 : シオフキガイ
- 2445 : ミルクイガイ
- S = 2/3
- S = 4/9 (2445)

写真図版156 動物遺存体 (貝類) 2 : RA40 (2)



- 2446 : イソシジミガイ
- 2447~2451 : オオノガイ
- 2452 : チシマフジツボ
- 2453 : ウニ
- 2454~2456 : マガキ
- 2457~2462 : アサリ
- RA40 : 2446~2453
- RD391 : 2454~2460
- RF18 : 2461・2462
- S = 2/3 S = 4/9 (2454~2456)

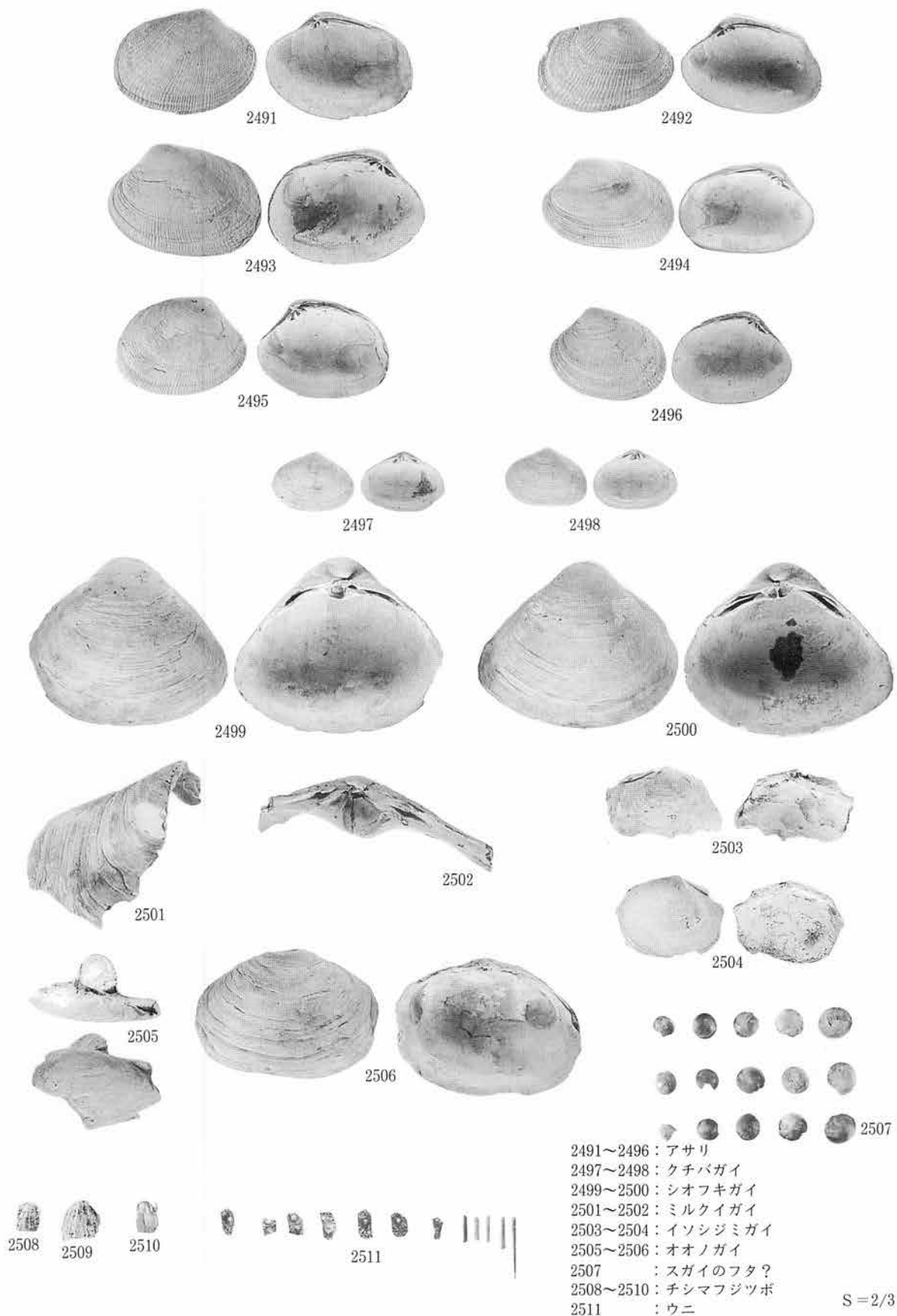
写真図版157 動物遺存体(貝類) 3 : RA40 (3)、RD391、RF18



S = 2/3
 S = 4/9 (2483・2485~2487)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 2463~2464 : スガイ | 2480 : アラムシロガイ |
| 2465 : スガイのフタ? | 2481~2482 : アズマニシキガイ |
| 2466~2469 : タマキビガイ | 2483 : ホタテガイ |
| 2470~2472 : ウミニナ | 2484 : イガイ |
| 2473~2474 : ツメタガイ | 2485~2486 : マガキ |
| 2475 : エソタマガイ | 2487 : ウチムラサキガイ |
| 2476~2477 : イボニシ | 2488~2489 : オニアサリ |
| 2478~2479 : チチミボラ | 2490 : ハマガリ |

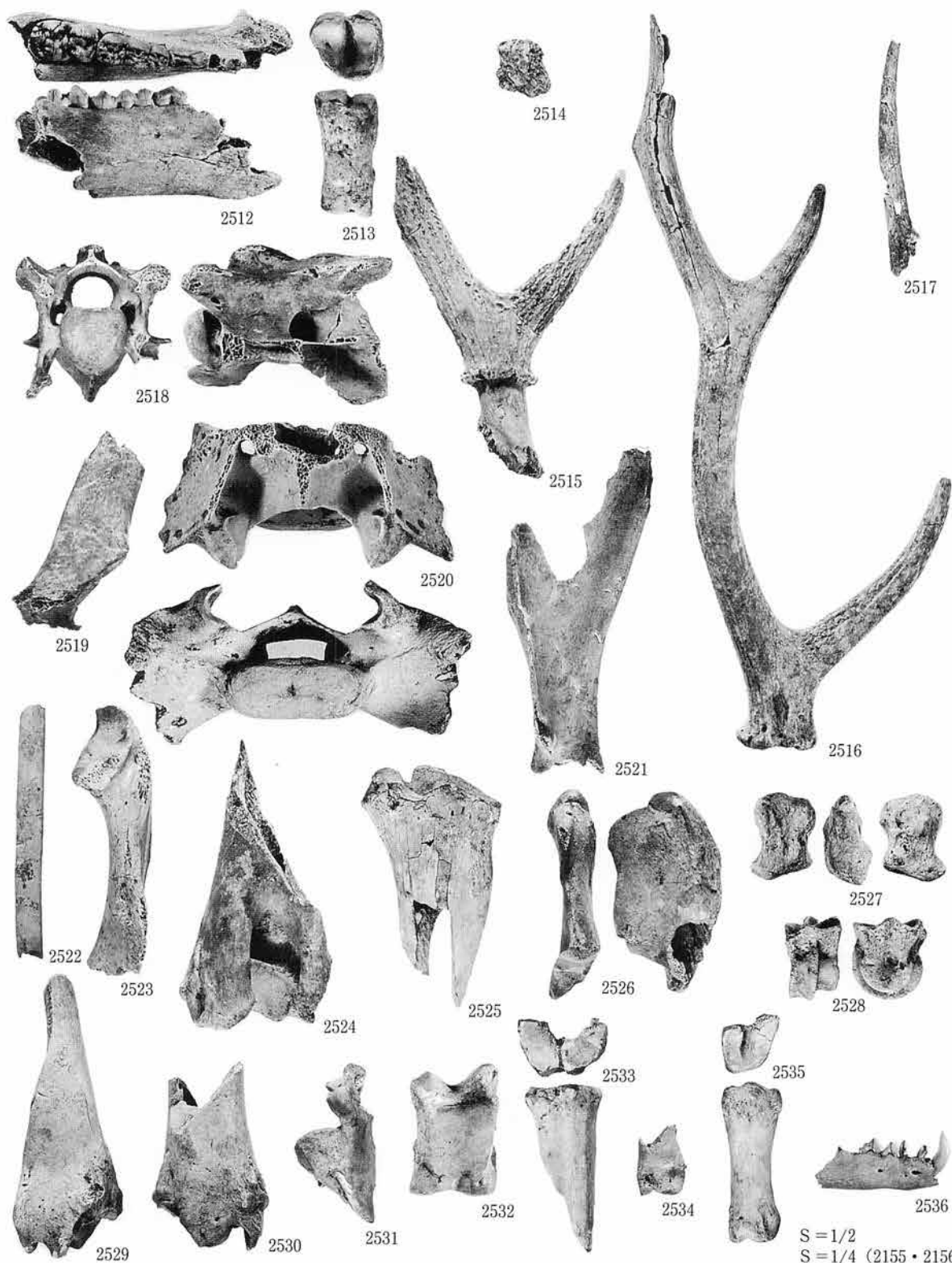
写真図版158 動物遺存体 (貝類) 4 : RZ11 (1)



2491~2496 : アサリ
 2497~2498 : クチバガイ
 2499~2500 : シオフキガイ
 2501~2502 : ミルクイガイ
 2503~2504 : イソシジミガイ
 2505~2506 : オオノガイ
 2507 : スガイのフタ?
 2508~2510 : チシマフジツボ
 2511 : ウニ

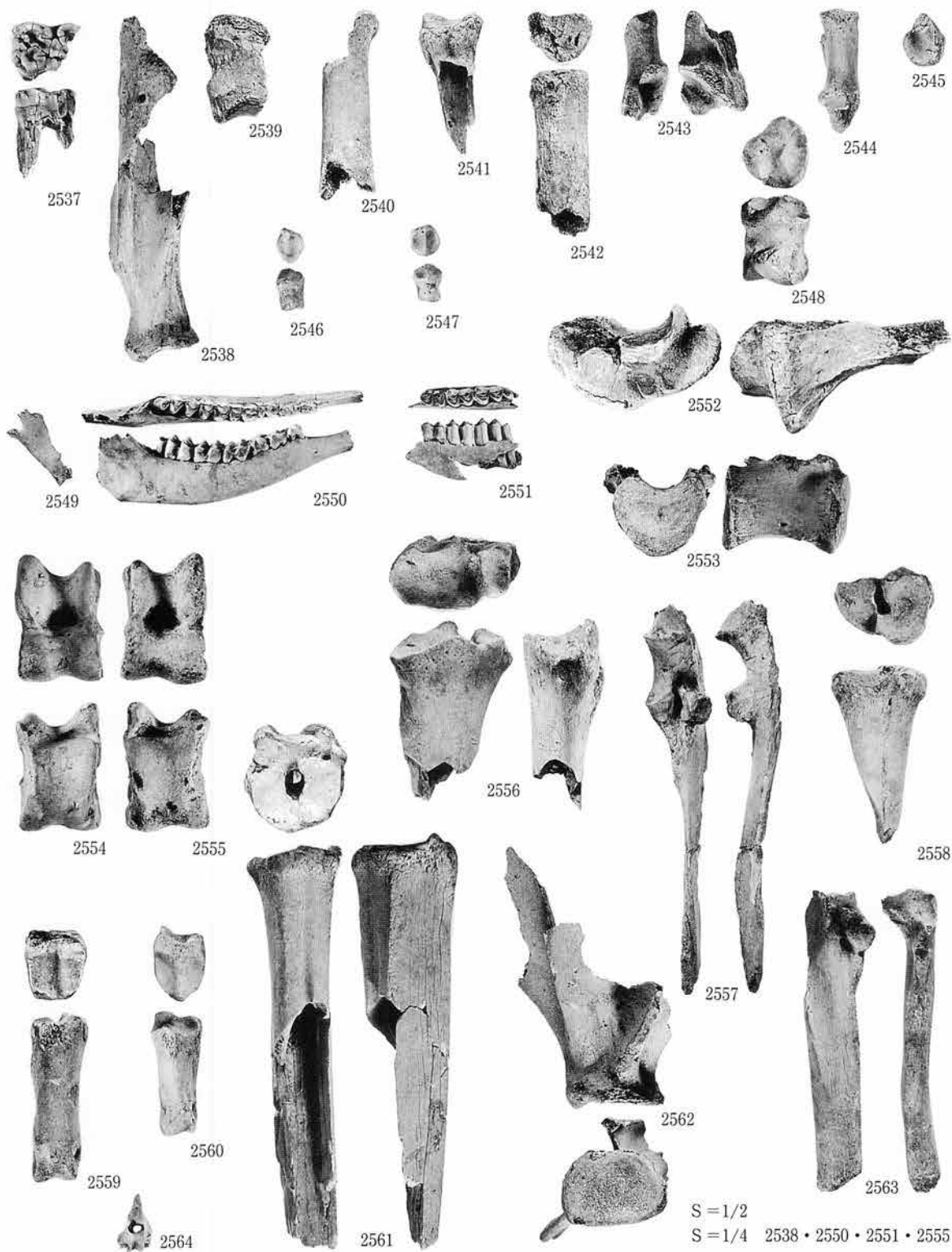
S=2/3

写真図版159 動物遺存体(貝類) 5 : RZ11 (2)



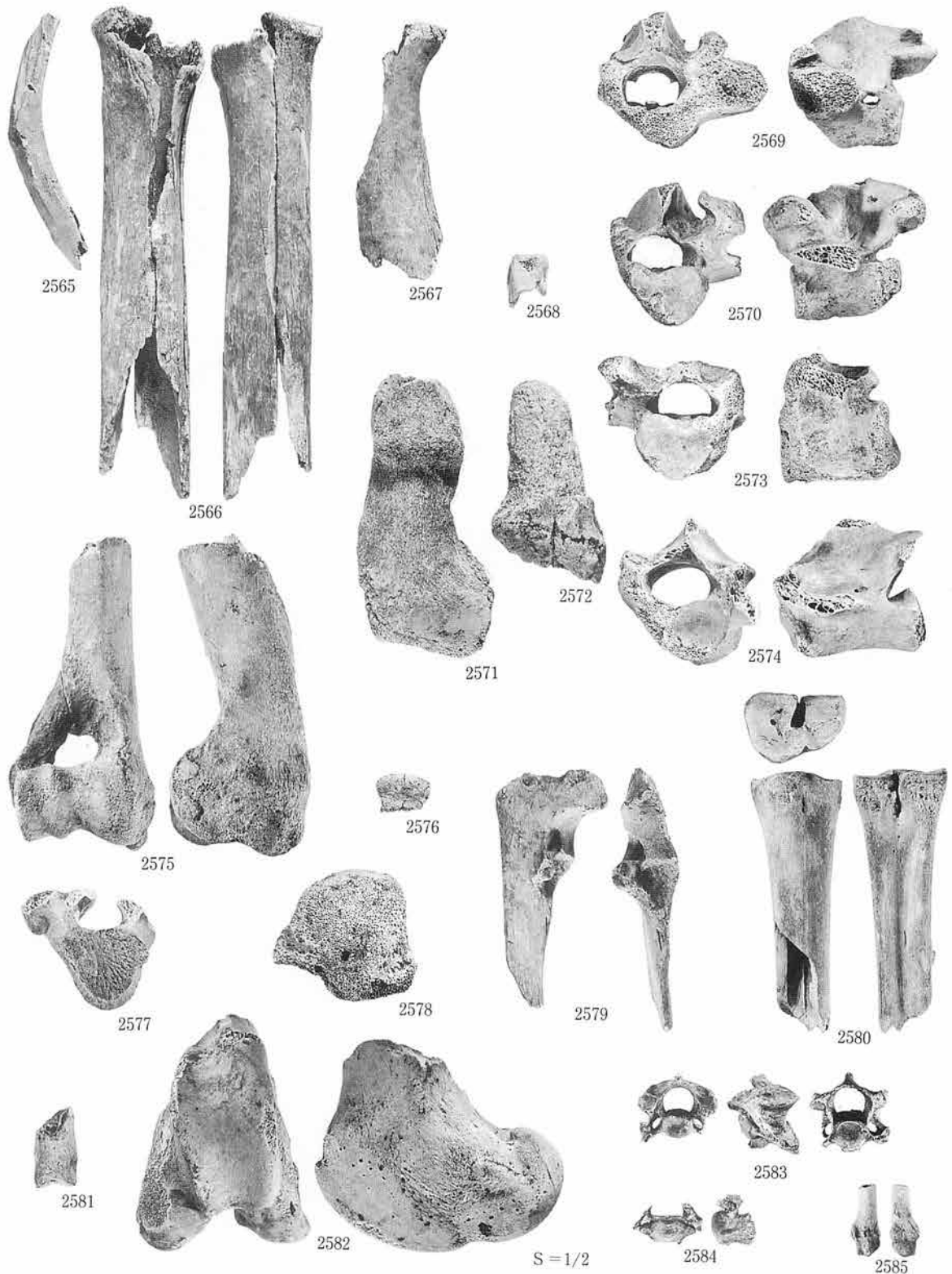
- | | | | | |
|--------------------------|----------------|----------------|------------------|------------------|
| 2512 イノシシ下顎骨 (R) P4M1・M2 | 2517 鹿角 | 2522 シカ肋骨 | 2527 シカ手根骨 (L) | 2532 シカ距骨 (R) |
| 2513 イノシシ基節骨 (L) | 2518 シカ頸椎 | 2523 シカ寛骨 (R) | 2528 イノシシ中手骨 (L) | 2533 シカ中足骨 (L) |
| 2514 鹿角 | 2519 シカ胸椎棘突起 | 2524 シカ上腕骨 (R) | 2529 シカ脛骨 (L) | 2534 シカ基節骨 (R) |
| 2515 鹿角 (R) | 2520 シカ仙骨 | 2525 シカ橈骨 (R) | 2530 シカ脛骨 (R) | 2535 シカ基節骨 (R) |
| 2516 鹿角 (R) | 2521 シカ肩甲骨 (L) | 2526 シカ尺骨 (L) | 2531 シカ踵骨 (R) | 2536 タヌキ?下顎骨 (R) |

写真図版160 動物遺存体 (獣骨) 1 : RA40



- | | | | | | | | | | |
|------|----------------|------|-------------|------|------------|------|-----------|------|---------------|
| 2537 | イノシシ下顎第2後臼歯遊離歯 | 2543 | イノシシ踵骨 (R) | 2549 | シカ右下顎突起 | 2555 | シカ距骨 (L) | 2561 | シカ中足骨 (L) |
| 2538 | イノシシ肩甲骨 (L) | 2544 | イノシシ踵骨 (L) | 2550 | シカ右下顎骨 (R) | 2556 | シカ橈骨 | 2562 | オットセイ?肩甲骨 (L) |
| 2539 | イノシシ尺骨 (L) | 2545 | イノシシ基節骨 (L) | 2551 | シカ下顎骨 (R) | 2557 | シカ尺骨 (L) | 2563 | オットセイ?尺骨 (R) |
| 2540 | イノシシ第4中手骨 | 2546 | シカ中節骨 (L) | 2552 | シカ軸椎 | 2558 | シカ中手骨 (R) | 2564 | ウサギ?上腕骨 (R) |
| 2541 | イノシシ第3中手骨 | 2547 | イノシシ中節骨 (L) | 2553 | シカ腰椎 | 2559 | シカ基節骨 (R) | | |
| 2542 | イノシシ第4中手骨 | 2548 | イノシシ中節骨 (R) | 2554 | シカ距骨 (R) | 2560 | シカ中節骨 (L) | | |

写真図版161 動物遺存体 (獣骨) 2 : RZ11



- | | | | | |
|------------------|-------------|------------------|----------------|------------------|
| 2565 シカ肋骨 | 2570 イノシシ頸椎 | 2575 イノシシ上腕骨 (R) | 2580 シカ中手骨 | 2585 イヌ科? 中手骨 |
| 2566 シカ橈骨 (R) | 2571 鹿角 | 2576 シカ距骨 (L) | 2581 シカ基節骨 (R) | RD391: 2565~2567 |
| 2567 シカ寛骨 (L) ? | 2572 鹿角 | 2577 シカ胸椎? | 2582 シカ大腿骨 (R) | RD396: 2568~2574 |
| 2568 イノシシ基節骨 (L) | 2573 シカ胸椎 | 2578 シカ上腕骨? | 2583 イヌ頸椎 | 遺構外: 2575~2585 |
| 2569 イノシシ頸椎 | 2574 シカ腰椎 | 2579 シカ尺骨 (R) | 2584 イヌ腰椎 | |

写真図版162 動物遺存体 (獣骨) 3 : RD391・396、遺構外



84 a ・アスファルトが詰められていた土器



2591 b (上面)



84 b

・上器内部の様子



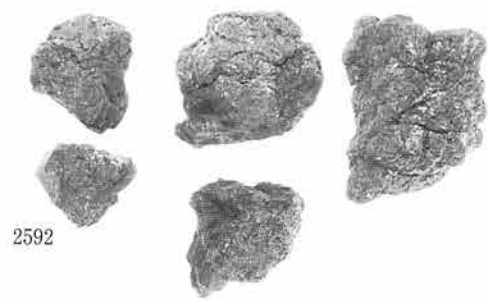
2591 a

・土器内部に詰まったアスファルト



2591 c

・アスファルト (側面)



2592

- 2591 アスファルト
- 2592 アスファルト
- 2593 琥珀
- 2594 琥珀
- 2595 オニグルミ
- S = 1/1 (2592~2595)
- S = 1/3 (84 a・b、2591 a~c)



2593



2594



2595

写真図版163 アスファルト・琥珀・植物遺存体

報告書抄録

ふりがな	はせどうかいづかはくつちょうさほうこくしょ							
書名	長谷堂貝塚発掘調査報告書							
副書名	県営長谷堂アパート建設事業関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第367集							
編著者名	阿部勝則・平めぐみ							
編集機関	(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL019-638-9001・9002							
発行年月日	西暦 2001年3月27日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
はせどうかいづか 長谷堂貝塚	いわてけんおおふなとし 岩手県大船渡市 いかわちやうあざなかいまわ 猪川町字中井沢 ばんち 78番地2ほか。	3203	NF39- 1151	39度 05分 33秒	141度 43分 09秒	19990701～ 19991029	2,800㎡	県営長谷堂ア パート建設事 業に伴う緊急 発掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
長谷堂貝塚	貝塚	縄文時代	竪穴住居跡 20棟 竪穴状遺構 1棟 掘立柱建物跡 3棟 土坑 96基 焼土遺構 17基 配石遺構 5基 土器埋設遺構 5基 柱穴状土坑 104基 貝層 1	縄文土器 (中期・後期・晩期) 130箱 土製品 302点 石器 661点 石製品 21点 貯蔵剥片 4箇所(164点) 黒曜石 25点 琥珀 2点 アスファルト 2点 骨角器 2点 動物遺存体 (貝類・獣骨類) 20箱 植物遺存体 (オニグルミ) 1点	縄文時代中期を主体とする竪穴住居跡・掘立柱建物跡・土坑・焼土遺構を検出した。土器・土製品・石器・石製品は縄文時代中期・後期・晩期のものがある。貯蔵剥片・黒曜石・琥珀・アスファルト・骨角器。貝層 (動物遺存体) は縄文中期に属する。			

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所 長	伊 藤 民 也	副 所 長	櫻 田 次 男
〔管理課〕			
管 理 課 長	川 浪 清 徳	嘱 託	千 葉 芳 夫
管 理 課 長 補	山 崎 善 光	〃	藤 島 恵 子
主 査	立 花 多加志	〃	新 田 トヨ
主 事	日 影 睦 夫	〃	佐々木 光 恵
〔調査第一課〕		〔調査第二課〕	
調 査 第 一 課 長	佐 々 木 勝	調 査 第 二 課 長	高 橋 與 右 衛 門
調 査 第 一 課 長 補	佐々木 清 文	調 査 第 二 課 長 補	中 川 重 紀
主 任 文 化 財 專 門 調 査 員	小 山 内 透	主 任 文 化 財 專 門 調 査 員	高 橋 義 介
文 化 財 專 門 調 査 員	赤 石 登	〃	金 子 佐 知 子
〃	吉 田 充	文 化 財 專 門 調 査 員	中 田 迪
〃	小 原 眞 一	〃	工 藤 道 孝
〃	小 笠 原 健 一 郎	〃	古 館 貞 身
〃	金 野 進	〃	阿 部 眞 澄
〃	鳥 居 達 人	〃	松 尾 芳 幸
〃	金 子 昭 彦	〃	工 藤 徹 稔
〃	東 海 林 淳 美	〃	前 田 計
〃	阿 部 勝 則	〃	岩 渕 悟 宏
〃	羽 柴 直 人	〃	早 坂 宏
〃	小 野 寺 正 之	〃	濱 田 由 起 夫
〃	菅 原 靖 男	〃	安 藤 晃
〃	長 村 克 稔	〃	高 木 正 彦
〃	溜 浩 二 郎	〃	千 葉 淳 一
〃	菊 池 貴 広	〃	佐 藤 武 彦
〃	村 上 拓	〃	半 澤 昭 太 郎
〃	本 多 準 一 郎	〃	杉 沢 直 美
〃	北 村 忠 昭	〃	中 村 雅 之 (研修派遣)
〃	丸 山 浩 治	〃	星
〃	村 木 敬	〃	
期 限 付 員	小 林 弘 卓	期 限 付 員	鈴 木 聡 (12月退職)
〃	江 藤 敦	〃	吉 川 徹
〃	藤 原 賢 徳 (6月退職)	〃	北 田 勲
〃	菊 池 賢	〃	吉 田 里 和
〃	井 上 信 介	〃	原 美 津 子
〃	川 又 晋	〃	斎 藤 麻 紀 子
〃	吉 田 眞 由 美	〃	島 原 弘 征
〃	北 田 博 義 (11月退職)	〃	

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第367集

長谷堂貝塚発掘調査報告書

県営長谷堂アパート建設事業関連遺跡発掘調査

印刷 平成13年 3月21日

発行 平成13年 3月27日

発行 財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 盛岡市下飯岡11-185

電話 (019) 638-9001・9002

FAX (019) 638-8563

印刷 株式会社 熊谷印刷

〒020-0066 盛岡市上田1丁目6番49号

電話 (019) 653-4151

FAX (019) 654-0435